

**横浜市中期計画  
2022～2025（素案）に対する  
パブリックコメントの実施結果について**

**令和4年11月  
横浜市**

# 目 次

はじめに	1
1 パブリックコメント実施概要	2
2 パブリックコメント実施結果	2
3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方	4
計画全体	4
共にめざす都市像	25
基本戦略	37
9つの戦略及び38の政策	55
行財政運営	603
大都市制度	622
DXの推進	630
その他	636

## はじめに

「横浜市中期計画 2022～2025」の策定にあたり、市民の皆さまから多くのご意見をいただくために、様々な段階において、幅広くご意見を募集しました。

令和4年5月に「新たな中期計画の基本的方向」公表後、市民アンケートや市民意見募集を実施し、大変多くのご意見をいただきました。また、素案公表後はパブリックコメントを実施し、原案策定の参考とさせていただきました。

なお、パブリックコメントでいただいたご意見とご意見に対する本市の考え方は市民情報センター及び各区広報相談係で閲覧いただけます。また、本計画のホームページにも掲載しています。

令和4年5月31日 「新たな中期計画の基本的方向」公表

・市民アンケート（6月10日～7月8日）

→ 3,888人から回答

・市民意見募集（5月31日～7月15日）

→ 410人・団体から意見提出

※ 市民アンケート、市民意見募集でいただいたご意見については、下記ページに掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2022-2025/soan.html>

令和4年8月30日 「横浜市中期計画 2022～2025」（素案）の公表

・パブリックコメント（9月15日～10月14日）

→ 1,979人・団体、4,273件の意見提出

※ パブリックコメントでいただいたご意見については、下記ページにも掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2022-2025/pabukome.html>

令和4年11月29日 「横浜市中期計画 2022～2025」（原案）の公表

# 1 パブリックコメント実施概要

## (1) 実施期間

令和4年9月15日～10月14日

## (2) 周知方法

### ア 素案冊子及び広報よこはま特別号の閲覧・配布

素案冊子及び広報よこはま特別号を、市民情報センター、各区広報相談係において配架し、閲覧に供しました。また、広報よこはま特別号については、新聞折り込み（朝刊7紙）により市内各世帯へ配布しました。

### イ 関係団体への説明

横浜市町内会連合会、区連合町内会（18区）等で素案内容とパブリックコメント実施について説明を行いました。

## (3) 意見提出方法

### ア 電子申請システム

専用の受付フォーム

### イ 電子メール

受付専用アドレスあて

### ウ 郵送

広報よこはま特別号に専用封筒を添付（切手不要）

### エ FAX

政策局政策課あて

### オ 窓口持参

政策局政策課あて

# 2 パブリックコメント実施結果

1,979人・団体から、4,273件のご意見が寄せられました。

## (1) 意見提出状況

提出方法	人・団体数
電子申請システム	589
電子メール	208
郵送	572
FAX	486
窓口持参	124
合計	1,979

## (2) 項目別意見数

章名等	意見数
計画全体	83
共にめざす都市像	80
基本戦略	121
9つの戦略及び38の政策	3,409
行財政運営	137
大都市制度	38
DXの推進	40
その他	365
合計	4,273

(3) 戦略別意見数（基本戦略、9つの戦略並びに38の政策）

戦略に寄せられたご意見と各政策に寄せられたご意見を戦略ごとにまとめています。

戦略名	政策 No.	意見数
基本戦略『子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ』		121
戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』	1～6	1,741
戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』	7～17	431
戦略3『Zero Carbon Yokohama の実現』	18～19	144
戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』	20～25	86
戦略5『新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり』	26～28	424
戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』	29～30	72
戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』	31～32	156
戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』	33～35	133
戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』	36～38	84
戦略全体		138
合 計		3,530

(4) いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
修 正	ご意見の趣旨を踏まえ、原案に反映するもの	46
包含・賛同	ご意見の趣旨が既に素案に含まれているもの、 又は素案に賛同いただいたもの	807
参 考	今後の取組等の参考とさせていただくもの	3,235
そ の 他	その他	185
合 計		4,273

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とその分類、本市の考え方を掲載しています。

- ご意見の内容により分類して掲載しています。
- 原則としていただいたご意見を原文のまま掲載していますが、横浜市パブリックコメント実施要綱・運用指針に基づき、要約等を行ったり、非公表としている場合があります。

### 3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

計画全体

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「共にめざす都市像」、「基本戦略」、「基本姿勢」、「9つの戦略」、「38の政策」、「行政運営」について、特別市についての言及があるべきだと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、市全体で特別市の早期実現に向けて着実に取り組んでまいります。
200ページもあって中々読む気が起きません。作ることが目的になってませんか？10分の1ぐらいのボリュームに、すべきです。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
全体的に、現状の課題認識や前提となるファクトデータ（現状と将来推計）を明らかにした上で、それぞれの戦略の妥当性を明示してください。また、個々のテーマについても、何をどこまで行うかの到達点を、その進捗を含めて計数的に把握できるようにしてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅠ「中期計画の特徴」の計画策定にあたっての基本認識及びⅤ「9つの戦略及び38の政策」の各戦略における現状と課題、各政策・施策における指標に含まれていると考えております。
横浜市中計2022～2025を策定する事は結構な事と思いますが、その前に「やるべき事がある筈」です。 先ずは、選挙公約を如何に実現するか？の道程や財源を明示するべきです。選挙で「3つのゼロ」を標榜したにも関わらず、全く動きが無い。公約すら実行されずに新規に「中計」を策定しても「画餅に帰する」「屋上屋を重ねるだけ」です。 定性目標なんぞは、ちょっと考えれば「何でも思い付き」ます。肝心なのは、「財源をどうするか」の実現可能な定量目標です。 前市長は、財源問題を真摯に捉えて、賛否分かれるIRを推進を目指したが、現市長、「IRに反対する」「3つのゼロ公約を行う」等々、いいことずくめで、無責任としか思えない。 繰り返すが、「画餅に帰する」「屋上屋を重ねる」だけの政治は、“敵に慎むべき”です。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
魅力ある都市づくりには、多くの課題がありますが、あくまで、横浜市の実力の範囲内での計画であること。 現在進行中の日本政府の予算は、日本の財政の実力を大きく超えたものであり、将来世代にとって、大きな負担になるのは明確です。その上で、更に、横浜市が、財政力を越えた計画を立てることには、不安が一層増し、落ち着いた気持ちになれません。 総花的にならず、効果が高い計画の立案をお願いします。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
戦略が9つにも分散されていますが、要は横浜市を将来国際的にどのように発展させるのかという大々的な観点から俯瞰した上での大本となる戦略はどうなっているのか？ 昨今の日本国の立場や国際的位置づけの事実から予想される近未来は決して安定、安全、さらなる発展は容易ではないと思われれます。 この実情を勘案して、日本は、神奈川県は、そして横浜市はどうあるべきで、何をどうすべきかに関する取り組みを織り込んだ戦略が大本になるのではないかと思います。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
横浜市は未曾有の転換期、人口減少・・・とされていますが、これは横浜だけの問題ではありません。いつの時代も全国共通の問題です。長期的には横浜の歴史も踏まえ、国際都市横浜・国際金融都市横浜・DX先進都市横浜・日本で一番住みやすい横浜・・・の方が具体的な目安になると思いますが如何でしょうか。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
計画が生き生きとしてくるのは具体的な数値目標です。各論では数字を記載されていますが細かな数字ではなく横浜市が全体として目指す大きな目標数値です。難しいのは承知ですが世界一の・・・、日本一の・・・という夢を掲げてはどうでしょう。 よし悪しは別として、民間では数字が全てという面があります。本中期計画は総花的な非の打ちどころのない優等生の論文を見ているような感じがしました。数字を入れることによって計画は生きてきますしハッキリしてきます。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「9つの戦略」という表現には違和感を覚えます。「戦略」とはなにと戦うのでしょうか？最近では学校でも中期学校経営方針に「戦略」という言葉を使う学校もあって驚いていますが、普通に「政策」とか「方針」という言葉を使えばいいものを、あえて「戦略」という刺激的な言葉を使う意図はなんでしょう？行政は戦（いくさ）や争いではないのですから、簡単に「戦略」などという言葉を使わない方がいいと思います。ご一考くだされば幸いです。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>本計画書、読みましたが非常に読みづらいです。                  文書構造の在り方、ストーリーの立て付けがずっと入ってこない点においては、これだけのボリュームがあるものを市民に広く読んでもらうという視点においては改善すべき事項です。                  「挑戦する＝明日をひらく」と理解すると、もう少しシンプルな構造としたほうが良いと感じました。                  原因の一つは「SDGs」。これを一々、無理に絡めようとしているがために、文書構成だけでなく、無理な文章となっている箇所が多々あります。                  SDGsは国連および経産省・財務省辺りが推進していることは理解していますが「日本および横浜市は過去から継続してやって来ていること」でしかなく、今更一々アピールすることでもないと考えています。（これは国政に対しても言えること。）                  一体、誰に対するアピールですか？この計画書を書く上でのオーバーヘッドでしかないです。                  市財政が万年赤字なのですから、こういう無駄なコストの削減から取り組んでいただきたい。                  にも関わらず、しつこいくらいこぶこんで来ている、本当に読みづらくて仕方がないです。横浜市民の計画なのですから、こういう時こそ、横浜市の言葉で語るべきです。                  これだけ多くの施策・取り組みがある中で「優先度」が見えない点を危惧しています。                  全てをやる、というのではなく「優先順位を付けて取り組む」ことが重要ではないでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>2040年を目指した「ありがたい姿」に溢れる希望、2030年を見据えて「託す次世代を育てる9つの戦略」、2025年までの「具体的な38の政策」、いずれもこれまでに横浜で示されたことのない市民の意識を尊重した野心溢れる計画、と受け取りました。                  ただ、2030年、2040年に望む姿の設定はともかく、直近の数年間の方針と計画について横浜市が抱えている様々な問題点を克服しておかなければ将来企画は画餅に帰しかねない、と感じます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>明石市や流山市を参考に子育て世代や若者らの生産性のある世代へ直接支援をお願いします。都内にいた頃「支払うものが多いのに還元が少ない横浜にだけは住みたくない」と同世代(20代後半です)が言っているのを無視して住み始めてしまいましたが、本当にその通りで後悔しかありません。私には具体的にどのようにしたら生産性のある世代の暮らしが良くなるのかが分かりませんが、暮らしづらさを感じていること、苛立ちを感じていること、困り感があることは伝えさせていただきます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>明日をひらく都市の意味が不明。 9つの戦略とありますが意味としては“課題”の方が適切な言葉です。 戦略名が長すぎます。 以下改善案です。 課題1 子育て世代が集まるまち 課題2 生涯活躍ができるまち 課題3 循環社会の実現 課題4 国際都市横浜の実現 課題5 郊外の活性化 課題6 多様な文化都市 課題7 自然あふれる横浜 課題8 災害に強い都市 課題9 経済基盤づくり 都市像は「輝く明日が見える都市」 カタカナ言葉が多すぎます。例えばオープンバージョンは“起業”で充分です。</p>	<p>参考</p>	<p>戦略名称についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>これからの4年で38もの政策を推進して成果が出せるとはとも思えません。推進させるための人材や原資（資金）の根拠はあるのでしょうか？また達成目標をアンケートによる賛同率で測るという政策がいくつかみられますが、このアンケートが誰によって実施されるのか？市が行うのであれば都合のよい数字を作ってしまうのではないですか？相変わらず性善説にのっとたやり方でお粗末としか言いようがありません。あらゆる市民にいい顔するのは止めて、市の成長と存続に必要な最も大切な事を分析し、そこに集中してはいかがでしょうか？総花政策で任期をなんとか乗り切るのは格好悪いですよ。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の推進についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全体について：計画を合併にしない。 VUCAの時代の計画実装の持続的な仕組みを子供や、高齢者にも分かりやすく、伝えて下さい。横浜市民（含む企業団体NPO等）一人一人が、関心のあふ分野で主体的に参加したくなるように、また参加せねばと思えるようにしてください。パブリックコメントを方便に、目的手段をはきちがえないようにしてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>山中市長が選挙でかかげた3つのゼロ（敬老パス・子供医療費・出産費用）と中学校給食の全員喫食の公約をぜひ実現して下さい。 大都市として市民サービスに欠けている。川崎市と比べ、はずかしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>市民の目線、早急対応、結果を出す体制への「改革」を要望します みなとみらい集中はやめる「区役所への予算権限分散」 区役所に予算権限を分散し地元の要望をもっと細かく聞き反映する行政してほしい。 住民生活は横浜市全域であり、市庁舎のあるみなとみらいからのコントロールはやめてほしい。各区役所に予算権限を分散させるべき。 例：コロナワクチン接種：横浜市は全国でも最下位の接種の遅さ、一方大都市東京は区ごとに接種体制を取り墨田区江東区は早かった。 市民の健康安全を真っ先にまもることができず、横浜市はなにをやっているのか市民は大きな不満を持っている。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市長が選挙戦で重点公約とした“中学校給食の全員実施”と“三つのゼロ”（子ども医療費／出産費用／75才以上の敬老パス負担金） 是非共実施して欲しいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>高齢者の事ばかり書いているように思われますが、次代を担う子供達のために予算を使ってほしいと思っています。 高齢者の多くの人は若い時からコツコツ働き貯えている方が多いように思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市は坂道が多く、東京、名古屋、大阪、福岡等のように河川が作り上げたような平地が少ない。ここに首都東京を支える生活圏が成り立ち、大阪市を抜く日本第二の都市であるが、あくまでも人口の数である。昭和50年頃、町田市に住むが、この街は人口増加を抑えていた。社会インフラ、学校施設まで満足な対応が出来ないと言う理由からである。横浜市は未だ少子高齢化という課題に浮かれ、人口増から来る弊害、将来的な課題を見据えず開発したミスを認識していないようである。学校給食の結論も結局は学校敷地の狭小さに依る成果ですか。水道事業や交通網形成のため、隣接都市の吸収合併という考えもありますが、このような難しい話題は計画に上らないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>もう少しござっぱりと整理した素案資料にならないのでしょうか。 文章の修飾文言が多すぎます。 またあちこちに同じような文言が頻発しているかにも部局レベルの紙面専有競争のような印象です。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>今後、少子高齢化・人口減が間違いなく進行していく日本、神奈川県、横浜市がこの問題にどのように対応していくのか？この社会基盤の脆弱化にどう対応していくのか？これが未来を考えていく上での最重要課題かと考えている。現在、顕在化している諸課題に対する戦略・政策を推進することも大切であるが、これからすべきことの50%であり、残りの50%は改革に向けたべきであり、この面でのような施策・戦略を打ち出すのか、この横浜市中期計画の中にも明示すべきかと思えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に「明日をひらく都市」を実現していくためには、明日をひらく都市を「共にめざす」仲間を増やす必要があります。仲間とは、現在の横浜を支えてくださっている方々はもちろんのこと、今後横浜市民になっていただく方、横浜で生まれる方、横浜で働く方です。仲間を増やすために、「横浜で子育てしたい」と思っただけのような、あらゆる策を講じる必要があります。」と記載しており、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜市としても、新規事業優遇策や従来からの規則の緩和の見直しなど行政主導により国内外からの事業の誘致の育成をはかることが地域住民にとって、何よりも希望を持てる未来に繋がるものではないでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市としても、今後増加する65歳以上の高齢者の雇用促進の確保をはかっていることが地域住民にとって、何よりも希望を持てる未来に繋がるものではないでしょうか？ 社会に貢献し、収入を得て安心に自分らしく暮らしていける社会を中期計画の中で描いてはどうでしょうか？</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策3「事業活動を支える柔軟な働き方の実現とシニア等の人材の活躍支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>今回の中期計画素案は、全体ボリュームが大きく構成が複雑であり、中期と長期の視点が混在し理解しにくい印象を持ちました。市民にわかりやすい原案の策定に向けて、次の3点について考慮して、素案の改善に努められるよう要望いたします。 1. 中期計画期間の早期に、新たな基本構想（長期ビジョン）策定を検討すること。 2. 「基本戦略」と「9つの戦略」の関係を整理し、総合的な視点を明示すること。 3. 都市形成の歴史を踏まえて、横浜独自の都市活性化戦略の立案に努めること。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>素案の策定に携わった関係課職員各位の努力に敬意を表します。基本的には前回の素案と比べても十分な検証が行われており、内容はもとより構成を含めて行政計画としての完成度が高いものと評価し、さらなる期待を表明するものです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>年金生活は苦しい人がたくさんいます。年金6万で生活できますが、横浜市は財政が無いんですね。変なところにお金を使わないで良く考えて使えないのですかね。 無駄遣いしないでください！！</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
70代の私にとって、若い世代時、ギリギリで生活をし、3人の子育て、大学まで出した苦勞を考えると今の若い世代は優遇されているなあと思います。外食をし、生活形態を変えず、全て与えられる。本当に必要な事は弱者（生活）を援助することが、大事なのではと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び素案の戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』などに含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
まずしい中で一生懸命生きています。少しばかりでも良いですので、ご援助くださることを念じています。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び素案の戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』などに含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
各戦略、夫々の戦略については基本的には理解するが、何をいつどのようにしていくか！ 今一步踏み込んだ具体性が見えない点あり！ 単なるスローガンで終わらないよう実現の時期、目標、具体化の姿を明示してほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のV「9つの戦略及び38の政策」の各政策施策の目標や指標等として記載しています。
基本的には賛成です。 以下を政策に追加することを求めます。 平和人権・憲法を行政に生かす政策目標がないので追加することを求めます。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
基本的には賛成です。 以下を政策に追加することを求めます。 憲法と地方自治法を行政運営の基本とします。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
各項目にある「関連ある政策」は「政策」で良いのではないのでしょうか。	参考	記載方法についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
人口減なので、子育て支援策に一番力を入れるべきだと思います。 国が全く期待できないので、自治体が何とかするしかない。 日本最大の市が動けば各自治体も動きやすいと思います。 期待しています。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に「明日をひらく都市」を実現していくためには、明日をひらく都市を「共にめざす」仲間を増やす必要があります。仲間とは、現在の横浜を支えてくださっている方々はもちろんのこと、今後横浜市民になっていただく方、横浜で生まれる方、横浜で働く方です。仲間を増やすために、「横浜で子育てしたい」と思っただけのような、あらゆる策を講じる必要があります。」と記載しており、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
全体構成について 市政の計画を策定するとき一番大切なことは何であろうか。それは、市民一人一人の生活を考えることではないだろうか。 横浜市中期計画での課題や施策については、一人一人の一生との関わりの検討が一貫していない。 おそらく、この中期計画の「目標」である「共にめざす都市像」が間違っているためと考える。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
「目指す都市像」「基本戦略」「38の施策」という構成になっているが、どう見ても、はじめに「38の施策」があり、それに意味づけをするために「戦略」「目標」が考えられたとしか思えない。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
総じて横浜市に住む者の考えに働きかけるイメージのつきやすい中期計画であり、このような情報を市民にも共有いただくことをまずは感謝している。今回の提言を市民からの声として是非取り入れていただき、公民同じ方向を目指す計画として進め、横浜市の「子どもを中心とした」良い未来を共に創っていきたく考える。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>全体の構成についてですが、最後にある「計画の前提」は冒頭におき、突っ込んだ分析をした上で、基本戦略に触れてもらった方が理解しやすいと思います。プレゼンテーションを意識してのことと理解しますが、俯瞰した形で問題点と課題を整理する方が多くの市民には伝わりやすいと思います。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全体を通して感じたことをひとこと。  「由らしむべし知らしむべからず」という論語にある言葉を思い起こします。  私は、カジノIR問題から横浜市政に関心を持ち、できる範囲で市の行政に関心を持つようにしています。この間一貫して感じるのが前記の言葉です。説明するまでもないのですが、「人民を為政者の施政に従わせることはできるが、その道理を理解させることはむずかしい。転じて、為政者は人民を施政に従わせればよいのであり、その道理を人民にわからせる必要はない」という意味合いで使われます。  「理解を深めた」を市民の賛意評価語にしていることからそれはよくわかります。市長が変わりました。市民は、地方自治の2元代表制を理解しつつ、民意を市政に反映させるために、2元代表制の弱点を補完することも求めています。議会対応で手一杯かもしれませんが、市民の声を丁寧に聞く中から、住民満足度に関わるポイントなども見えてくるかと思えます。  市民のための市役所、という原点にたつての行政を期待しています。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全体的な印象  9つの戦略と38の政策について、大都市の政策である為にある程度は仕方がない事ではあるが、総花的で魅力に欠ける印象を受けます。  最近では東京の衛星都市に成り下がり、特色のある街作りを放棄している印象です。戦略①子育て、②住みやすさ、③環境対応等、さいたま市、千葉市との区別がつきません。どういう街にしたいのか、もう少し明確に打ち出して欲しいと思えます</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中期計画について考慮いただきたくお願いいたします、  将来の街の全体像・想像図を描いてください  マンガのようとかバカにせず、未来都市横浜をどう考えて個別事案におおしていますか？  何年でも言えるみんなで応援と可能性を開くとかは読む気になりません。  ぜひ、市長が描く未来都市を示していただきたい。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>“次世代を共に育むまちヨコハマ”で言われていますように、子育て・教育もコミュニティづくりも地域住民の共同なしにはなし得ないことは言うまでもありません。その観点から要望したいことが一つあります。  林前市長時代は、中期計画素案の冊子は販売されていたと記憶しています。中期計画素案を手に取り、じっくり目を通し、市民が要望や意見を述べるためには、パソコンから各自打ち出して入手しなさいという方式では、パソコンを持っていない市民やパソコンに不慣れな市民を、結果的に排除してしまうことになります。施策を市民と共に進めるためには、その施策に市民が関心を持ち、よく理解し、納得していることが必要不可欠な条件でしょう。是非、この点を考慮していただきたいと適切な方式に替えることをお願いします。</p>	参考	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>3つの0の早期実現を!!</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠～出産期～乳幼児期～」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>銘打って「文化と創造の子ども未来都市YOKOHAMA横浜」                      度肝を抜く！ワクワク感！おもしろい！！子供が喜ぶものは大人も実はワクワク。                      子供から大人まで楽しめて知的に満足。                      みなとみらいを企業ばかり占めるのではなく市民の為の広いスペース、施設を。                      天井高い屋内と野外スペース（今の広場も活用可）                      施設は有料、駐車場も。（市民割引を）                      音楽と図書館                      1.大きな図書館（大和市図書館シリウスは最高です）人形劇や紙芝居など民間の力を借りる                      2.演奏場、置き楽器（自由に弾ける）横浜はJAZZでしょうか？                      3.ロボットアニメーションキャラクターをみなとみらいに移動。最高技術の結集であり、地球の未来。さらなる進化を期待世界のアニメーションキャラクター！！                      4.EVとアニメーションロボットキャラクターの協働。新しい物を開発、展示販売想像するだけでワクワクしませんか？</p>	<p>参考</p>	<p>市民利用施設等についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>項目名                      P2-3、18政策                      P3-6-29、8-33・34・35政策                      P2-7・14政策                      「都市物流搬送システム」（真空管埋設）                      官民連携事業→郵便物宅配DM災害時支援物資（水・食料）                      「IT文字情報は瞬時に送信可能も物流は飛脚時代なり」                      「お母さんと子育て支援」（食の安心安全「健康・健脳食材配給制）                      妊娠→出産→育児（健康食）→教育（健脳食）→就職結婚老後天国へ                      ・医療費低減                      ・感染症予防食で免疫力強化                      ・「地産地消」安全食材農家、育成支援                      ・国造りは地域・家庭・お母さんにあり</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市民の声を直接聞く機会を作り、真に市民と直結した行政を行ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>誰もが住み続けたいまち、子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマの実現に向けて、中期計画素案を纏めていただき感謝を申し上げます。お世話になります。                      以下、パブリックコメントを記します。よろしく願い致します。                      全般にわたって。                      横浜市民の平和と安全な暮らしを支える横浜市政にあって、平和と安全な暮らしに深く関わる基本的人権の確保と支援は不可欠な要素だと思います。例えば、ジェンダー平等への踏み込んだ戦略と政策が見られません。進歩的な横浜の風土には、現状では取り組みの不足感が否めないと思います。ぜひ検討をお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策12「ジェンダー平等の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>実現手法が示されていない。                      実現の仕組みが必要、縦割りの正義を振りかざし、提案を受け入れないマインドあるように感じるのは私だけか？                      職員一人一人に意識を浸透させてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私たちは2019年8月22日、林前市長がカジノ誘致を正式表明して以降、それを撤回させるための市民運動に参加する中、2020年11月、「ヨコハマ375万人市民自治をどうする!？」というシンポジウムを開催。その直後に立ち上げた市民組織です。その多くが市長選挙では「カジノ反対と市民自治」の立場を明確にした山中市長実現のため運動に参加しました。</p> <p>山中市長誕生は、横浜市民の「民意の勝利」であり、市民自治の復権と評価しています。以降、「住み続けたいまち横浜」という新たな市政に大きな期待を持ち、その実現のため、市民自治を発展させるべく活動してきています。</p> <p>私たちは、山中市政になって初めて市政の基本方向を打ち出す「中期4カ年計画」に大きな関心と期待を抱き、「新たな中期計画検討部会」を設け、学習を重ねてきました。</p> <p>しかし、ようやく提示された「中期計画の基本的方向」には、率直に言って期待はずれ、幻滅さえ感じました。その理由は、部会として提出した「意見」で詳しく述べましたが、随所に「子ども」重視、「誰もがWELL-BEING」などの文言は多用されていましたが、「市民の命とくらし優先の市政」への転換が明確になっておらず、それを実現する方策、とりわけ財政の裏づけがされていないからでした。</p> <p>私たちが、その点にこだわったのは、「中期計画」に先行して「財政ビジョン」が市会で議決され、「歳出改革」を大胆に進めるとされていたからです。</p> <p>どんな市政であるかは、「戦略」や「政策」に付けたキャッチフレーズやお題目ではなく、「財政のつかいみち」で決まります。「市民の命とくらし優先の市政」というならば、財政が市民のくらしに重点的に配分されなければなりません。これまでのように大規模な開発に振り向ける財政は削られねばなりません。</p> <p>こうした観点を最も重視して、私たちは「中期計画」素案を検討しました。さらに、それを実現するうえで、不可欠となる「市民自治による市民のための市政推進」が明確になっているかどうかも検討しました。</p> <p>以下に、検討結果に基づいての意見を述べます。</p> <p>1、中期計画(素案)についての基本的評価</p> <p>中期計画(素案)が20年後のありたい都市像を「明日をひらく都市」と設定、それを実現するため、今後4年間にとどまらず、10年間にわたって追求する「基本戦略」を「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」と新たに打ち出したこと、その実効性を保障するために、財政の裏づけを明記したことは、大きな特徴である。</p> <p>①第一に、「基本戦略」は、なによりも「子育て世代への直接支援」を起点として、「コミュニティ生活・生活環境づくり」→「生産年齢人口流入による経済活性化」→「まちの魅力・ブランド力向上」→「都市の持続可能性」の「好循環」をつくることによって、「明日をひらく都市」を実現すると明示した。</p> <p>これまでの細郷、高秀、中田、林市政が掲げた基本的「戦略」と比較すれば、その意義は明らかである。これまでの「戦略」は基本的に、「経済活性化」を起点とするものであった。たとえば林市政1期目、2010年策定の「横浜版成長戦略」は、「活力ある横浜経済(成長産業の強化)」を通じて、「市民生活の課題解決に取り組んでいく」としていた。続く林市政3期目、2018年策定の「中長期的な戦略」は、「経済活性化」起点の考え方をさらに突出させた。「力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現」(戦略1)、「人が、企業が集い躍動するまちづくり」(戦略4)を高く掲げ、「成長と活力を生み出す都心部」などの実現に向け、財政を積極的につぎ込んだ。「カジノ導入」策は、その究極の選択と言える。カジノの寺銭で横浜経済を大いに潤し、法人市民税を超える860～1000億円の増収になり、「豊かな市民生活を確かなものにする」財源を確保できるなどと大いに振れ込んでいた。それが市民多数の反対に遭い、頓挫した。</p> <p>新たな中期計画を策定しようとする今、検証されなければならないのは、これまでの「経済活性化」を起点とする「戦略」そのものである。その結果、果たして「市民生活の課題」は解決されたのか？ まったく解決されていない！ 類似政令市との比較、県内各市との比較からも明らかだが、子どもの医療費はまだまだ無償化されておらず、負担が続いている。日本最大の基礎自治体と誇り、個人市民税の税収比がもっとも高い横浜市が、中学校給食さえ受けられない恥ずべき姿をさらしている。市民意識調査では横浜を住まいに選んだ理由のうち「子育ての環境が整っているから」は7.2%にとどまっており、それを理由に転出した市民も少なくない。</p> <p>検証の結果はそれにとどまらない。対照的に、大規模開発に充てられた一人当たり普通建設事業費は、政令市比較で最大となっている。これは、これまでの「経</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、計画推進の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>経済活性化」を起点とした「戦略」が、「今日の財政の厳しい状況」をもたらした主たる原因、根源であることを端的に示すものだ。</p> <p>総括すれば、「経済活性化」を起点とする「戦略」では、トリクルダウンで「市民生活の課題」を解決できなかったばかりか、財政も厳しくなって、悪循環となり、持続不可能になってきたということである。これまでの「戦略」は破綻したといえる。</p> <p>したがって、横浜市にはそれに代わる「戦略」を打ち立てることが求められている。時代はまさに歴史的転換期にあり、コロナパンデミックを経て市民は、切実に新たな市政のあり方を求めている。</p> <p>新たな中期計画は、それに応えるものでなければならない。そうした角度からみて、中期計画(素案)に今後10年間の「基本戦略」を「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」と設定し、「子育て世代への直接支援」を起点とする好循環の道筋を明記したことは、破綻した「戦略」に代わる新たな「戦略」を示したものとして評価できる。</p> <p>また中期計画(素案)には、「基本戦略」に沿って、当面の4年間に取り組む「38の政策」が提示された。山中市長の「3つのゼロ」などの主要公約も盛り込まれている。中学3年までの小児医療費助成は「所得制限や一部負担金を撤廃し、23年度内に無償化」する(政策1)、出産費用については、国の動向を見極めながら、「無償化を含む負担軽減策を実施する」(政策1)と明記されている。</p> <p>また、75歳以上の敬老バス無償化については「持続可能な地域の移動サービスの検討を進める」(政策28)と明記されている。</p> <p>中学校給食については、デリバリー型給食を「原則利用」として「選択制」から「全員給食」実施に向け、26年度には「供給体制を完了」(政策5)となっている。</p> <p>中期計画(素案)が、市民や各界の要求と知見によってブラッシュアップされ、広範な市民の共感を得られるようにものとして策定されんことを期待したい。</p> <p>②第二に注目したのは、「基本戦略」の実効性を担保する財政の裏づけが明記されていることである。</p> <p>素案には、「財政ビジョン」、「行政運営の基本方針」との関係にも触れ、財政の使い方は「『基本戦略』への貢献度が強い策を優先して実行していく」(P.11)と書き込まれている。</p> <p>さらに、「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の「(3)計画期間中の財政見通し」には、「中学校給食の喫食率向上や供給体制の確保に向けた準備、小児医療費助成の制度拡充、敬老バスの75歳以上の無償化についての現時点で推定される事業費240億円を見込んでいる」(P.189)と明記している。</p> <p>われわれは、「中期計画の基本的方向」についての意見の中で、中期計画の策定に先んじて「財政ビジョン」が策定されたことなどから、「明日をひらく都市」像がどんなに魅力的に描かれ、「WELLBEING」なるキャッチフレーズをつけられていても、それを実現するための財政が保障されていなければ、絵に描いた餅に終わると厳しく批判した。</p> <p>しかし、素案に書き加えられた財政の裏づけを示す上記の一文は、そうした危惧を完全ではないにしても、ある程度払拭するものであった。</p> <p>こうして中期計画(素案)は、「基本的方向」の問題点を改め、これまでの「経済活性化」を起点とする「戦略」を転換し、「子育て世代への直接支援」を起点とする新たな「基本戦略」を軸に据えたものとなった。山中市長の「3つのゼロ」など主要公約も一定「政策」に盛り込まれ、財政の裏づけも明記された。</p> <p>そうなのは、「基本的方向」についてパブコメが、政策局の予想以上に評判が悪く、批判的意見が多かったこと、寄せられた意見の48%が「子ども」にかかわる要求だったことなど、市民の声を受け入れざるをえなくなったからであろう。</p> <p>そういう意味で中期計画(素案)は、山中市政が「命と暮らしを優先する市政」への転換という市民の願いに応えようと第一歩を踏み出したものと、期待を込めて評価したい。</p>		

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「中期計画」を実際に推し進め、貫徹するには、市政運営全般に市民自治を組み込まなければならない。</p> <p>①中期計画(素案)には、どこにも市民自治の重要性がきちんと位置付けられていない。 われわれはカジノ誘致反対運動と市長選を通じて、市民自治の重要性を再認識した。山中市長誕生は、横浜市民の「民意の勝利」であり、市民自治の復権と評価した。 したがって、中期計画(素案)の中にどのように書き込まれているか、大きな関心をもって読んだ。ようやく見つけたのが、新しく加えられた「行財政運営」の大項目の中の、「行政運営3」(P.133)として「住民自治の充実と協働・共創による地域のさらなる活性化」に書かれている。そこには「ここでいう住民自治の充実とは『横浜特別自治市大綱』における『区における住民自治の強化』(住民代表機能、住民参画と協働の充実)を指します」と小文字の「注」がある。驚くなかれ、それだけである！ これは、中期計画(素案)の重大な欠陥と言わなければならない。 カジノ誘致を強引に進めた林市政の市政運営は、かつてない市民の抵抗に遭い、市長選挙を通じて挫折させられた。今回の中期計画には、「カジノの蹉跌」ともいべき横浜市史上かつてない挫折を経て、どのように市政運営を再構築するか問われている。自分たちの声が反映し、信頼に価する市政運営になるか、市民は注視している。 しかし、9月13日に公表された「横浜IRの誘致に係る取組の振り返り」(最終報告)は、およそ市民を納得させるものではなかった。市長(行政)が自公与党(議会)と一体となって「二元代表制」を振りかざして、市民の広範な声、直接請求をないがしろにし、直接民主主義を踏みにじったことは市民との信頼関係を破壊した。この誤りを率直に認め反省してこそ信頼は回復するが、それが見えない。主権者たる市民の声を聞き、市民自治を尊重、発展させてこそ、市政は成り立ち、前に進むというのが引き出すべき教訓だが、弁解に終始している。それゆえ、中期計画(素案)にも市民自治の重要性が位置付けられていないのだろうが、「カジノの蹉跌」の痕跡さえ見いだせないのは、どうしたものか。 他方、山中市長は、選挙戦で「カジノ反対」と「市民自治」を掲げた。当選後の初議会での所信表明、「これからの市政の方向について」の中でも、「市政運営には、市民の皆様との信頼関係が欠かせません」「市民の皆様の声聞き、市政に生かす、そのような現場主義の徹底とともに、地域で活動されている皆様との協働による住民自治を実現してまいります」と市民自治の重要性を強調している。 これは、「カジノの蹉跌」を経験した横浜市の新たな行政運営の指針となしうものである。 以上から、中期計画(素案)の「行政運営」の中に、「カジノの蹉跌」から引き出した教訓を反映させ、これからの行政運営の基本として「市民自治を尊重し、発展させ、共に市民のための市政を推進する」と書き込む必要がある。 さらに、「基本姿勢」(P.14)の中にも、重視する視点として書き加えるべきである。中期計画の「38の政策」を取り組むにあたっての「基本姿勢」としななければならない。この視点は、「協働・共創の視点」とは本質的に異なったものである。</p> <p>②中期計画の「基本戦略」「38の政策」を生きた市政の中で貫くには、市政運営全般に市民自治を尊重、発展させ、その力に依拠することが不可欠である。クラウゼヴィッツは、「戦略を立てることはたやすいが、実戦のなかでそれを貫くのは難しい」と言っている。 それに模していえば、「中期計画」の大戦略・「明日をひらく都市」、基本戦略・「子育てがしやすいまち、共に次世代を育むココハマ」、 「38の政策」を策定するのはたやすいが、それを実際の市政運営のなかで貫くことは、「難しい」ということになる。 中期計画(素案)のパブコメを経て、原案を作成した後の事態を具体的に想像してみれば、それは容易に分かる。 まずは、12月市会に原案がかけられれば、「子育てがしやすいまち、共に次世代</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>を育むヨコハマ」や市長公約にかかわる政策に対して、多数野党、とりわけ自民党議員から、財源問題を口実にした攻撃が浴びせられるだろう。あるいは、山下ふ頭の再開発、旧上瀬谷基地跡地の大規模開発を推進せよとの攻勢もかけられるに違いない。来年の統一地方選挙を前に、山中市政の手による初の中期計画に対する攻撃が、激しさを増すのは必至である。</p> <p>他方、すでに庁内では、策定中の新中期計画を前進させるうえで最初の関門である来年度の予算編成が始まっている。市長から「基本戦略」を念頭に置くようにとの「市政運営の基本的考え方」が発出され、総務局、政策局、財政局の局長連名による「歳出改革の基本方針」も出されている。しかし、局「縦割り」の悪弊を打ち破れるか難題である。</p> <p>これらは、ほんの一、二の例だが、策定した中期計画がさまざまな批判、抵抗にさらされるのは避けられない。</p> <p>こうした生きた市政運営の中で、中期計画を堅持し、貫こうとすれば、市民自治を尊重し、発展させ、その力に依拠する以外にない。歴史的転換期の変化激しい横浜市を取り巻く環境、人口減少、高齢化、格差が拡大する社会での利害対立の激化—実際の市政は、こうした情勢下で運営しなければならないのである。市民自治の力、市民の信頼と支持こそが中期計画推進の原動力である。人口377万人を超す日本最大の基礎自治体は、日本でもっとも市民の声が市政に届きにくい自治体である。この現状を変えるための制度面の改革は、言うまでもなく市民自治を発展させるうえで最大の課題である。これは、飛鳥田市政以来の経験を総括し、期間中の適切な時期に市民と一緒に議論し、具体的な方針を決定するようにしなければならない。</p> <p>当面は、市政運営全般に市民の声がよりよく反映するように、市民自治を尊重、発展させることを重視して進めなければならない。</p>		
<p>「計画策定にあたっての基本認識」や「共にめざす都市像」について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 住民の福祉の向上を基本とした政策・運営をすすめる文言を補強すること。</li> <li>2, 市民の意見を重視する民主的市政運営をめざす旨の文言を補強すること。</li> <li>3, 企業との関係は、水平の関係ではなく、あくまでも市民生活優先の視点を貫くこと。</li> </ol>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅰ「中期計画の特徴」の計画策定にあたっての基本認識及びⅡ「共にめざす都市像」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>基本となる構想がこれまでどう進捗してきたのか、その結果課題が何か、どこを修正して解決していくのが示されていないので、あまり期待が持てない。</p>	参考	市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>横浜市の行政組織としての問題点に対する改革が中期計画に盛り込まれていない。</p> <p>前市長が推進しようとした「IR施設誘致」や現在計画されている「三ツ沢公園のサッカー場増設」等市民にとって重要な施策が一部関係者の意見や活動によって、突然表面化して大きな問題となっています。このような市民にとって重要な施策は具体的内容（費用や収益性、生活環境への影響）を明確にして、市民に詳細に説明の上意見をしっかりと聞くことが肝要です。しかし、「IR施設誘致」や「三ツ沢公園のサッカー場増設」は具体的内容の明確化と市民への詳細な説明、しっかりと市民の意見収集ができてなかったと言わざるを得ません。このような横浜市の行政組織としての問題を改革する施策を中計に盛り込むべきだと考えております。</p> <p>具体的には下記のような政策をの中計への記載ならびに具体的な施策への展開をお願い致します。</p> <p>政策「市民の声を反映した街づくりの推進（重要施策の住民への説明、意見の収集の仕組み作り）」</p>	参考	政策についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>189ページの「計画期間中の財政見直し」では、4か年累計で1000億円の収支不足となるとされています。一方、戦略5の政策26（p85）には、「旧上瀬谷通信施設地区において、……大規模な土地利用の転換」、や「国際園芸博覧会の成功に向けて、……会場周辺のインフラ整備や、快適で効率的な輸送システムを構築します。」とあります。</p> <p>1000億円の財政難と言いながら、上記のような大型開発を行うことは矛盾しています。不要不急の大型開発は中止すべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>すべての戦略をバランス良くでなく、子育て世代や年金世代が安心して暮らせる、中学給食の全員義務化、無償化、医療費助成の所得制限撤廃や年齢拡大、図書館の充実など、勇気をもって最優先に取り組んでほしい。</p> <p>戦略1、戦略5、戦略8は、横浜が住む場所として選ばれるために必要不可欠なもので、優先度が高く、市長公約の通り、実現を希望している。財政難を言うなら、本来横浜に入るべき税金をふるさと納税で奪っている国が悪いだけである。</p> <p>政策1の施策5、政策5の施策1、政策6の施策4、政策26の施策3、政策27の施策4、政策35の施策5は、横浜が住む場所として選ばれるために必要なので、優先度が高く、市長公約の通り、実現を希望している。財政難を言うなら、本来横浜に入るべき税金をふるさと納税で奪っている国が悪いだけである。</p> <p>SDGsの視点も総花とならず、市長公約の3つのゼロを全面に目標3、4を優先に取り組んでほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画を踏まえた、戦略・政策の推進についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「オーディナリー・ライフ・シティ」を目指します。</p> <p>普通の市民が、普通にできる生活都市を目指していき、市民と共に、目標を共有して取り組んでいきます。</p> <p>今後は、言うまでもなく「超高齢化と超少子化」が予想されますが、これを逆に良い機会とできるように様々な施策を工夫します。</p> <p>普通の市民生活ができることを最大の目標とし、広域の問題については、隣接の川崎、横須賀、相模原、大和等との市とも協力して課題の解決に当ります。さらに、神奈川県とも時に応じて協力していきます。</p> <p>旧山下埠頭地区を、今後の最初で、最大の再開発エリアとします。</p> <p>ここを中心として、さらに北部の、港北ニュータウンを囲む周辺のエリアに若いファミリー層を対象にした町を作っていきます。</p> <p>逆に、南西部の泉・栄区付近に、中高齢者が居住できる新しい福祉の町を作ります。</p> <p>この三つの中心エリアを重点的に整備し、民間の投資を誘導します。</p> <p>鶴見・神奈川、磯子・金沢の湾岸地域は、旧来の蓄積を生かしつつ、エンターテインメントや文化・芸術に特化するエリアとしていきます。</p> <p>みなとみらい地区整備で、横浜市が「シフィコ横浜を整備したように、横浜市が各エリアで責任を持って先行的整備を行ない、それで民間の投資、進出を促します。</p> <p>そこで、旧山下埠頭地区では、金沢区福浦の横浜市大病院の移転をします。これに併せて、特養などの福祉施設を整備し、さらに民間老人ホーム、医療施設の進出を促します。また、山下埠頭の先端部には、岸壁利用権付きの高級住宅を整備させて、外国人を含むセレブ層の住居を期待します。</p> <p>また、埠頭基部では、海洋性レジャー施設など、市民利用のできる施設を作ります。</p> <p>このように、まず最初に旧山下埠頭地区の整備を行い、みなとみらい地区が1990年代以降の横浜市の興隆をもたらしたように、旧山下埠頭地区の開発を、横浜市全体の整備の手本とします。</p> <p>北部では、新しい時代の児童・女性の施設を整備し、南西部では、先進的な高齢者の施設を整備します。</p> <p>まず、最初の整備は、横浜市が必要な施設を責任を持って行ない、その後民間の進出、投資を促進します。</p> <p>世界に開かれた都市とし、積極的に海外からの人や企業の移転を促進するために、従来からの海外との交流を基に、国際的企業、組織、機関の活動を助けて行きます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略5『新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり』及び戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>IR付きカジノ誘致を撤回されたのは市民の意見に耳を傾け実行された山中市長の迅速な対応を評価します。山下ふ頭を含む内港地区の再開発にあたっては、港湾局主導ではなく、全庁挙げて横断的に横浜港を中心に掘えどういう街を作っていくか、市民、有識者、職員が協議する場を設け、住民自治を基本に進めてほしいです。大企業主導の大型開発ではなく、市民の希望をもとに自然、文化、芸術、教育、観光資源など調和のとれた横浜市まちづくりとして進めることを願います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます</p>
<p>P111の政策36「交通ネットワークの充実」およびP179「ストレスのない暮らしの交通環境」に渋滞の緩和が挙げられているが、信号を変えることでいくつか緩和できないだろうか。市が尾駅と国道246号線との交差点「市が尾駅前交差点」で北西から246号線に向かう道が昼夜問わず渋滞している。246号線へ右折する車が多いので、時差式信号や右折専用信号を導入してほしい。その点川崎市は渋滞する交差点がいつの間にか時差式に変わっていて対応が早く良い。また、長津田駅南口の長津田駅前交番のある交差点は歩行者も車も多いのに信号がないせいで車が進まず常に渋滞しており、特に交差点の形が歪なせいで見通しが非常に悪く危険な為、早急に信号機を設置してほしい。その点川崎市は歩行者が多い交差点にはいつの間にか信号機が導入されていて対応が早く良い。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全体的に曖昧過ぎて、意見を募集できるような素案ではない。最低限、下記は書け。          ○誰がいつまでにどこで「いくらで」何をどうするのか。          ○そのお金は誰が出すのか          ○出来上がるものは民営なのか、市営なのか。          ○メリットとデメリット          たとえば、中学校給食の8万食デリ弁工場建設ですら詳細が書かれていない。「市が調理する方式なら国費負担があるが、民間デリ弁方式は国費負担がない。市負担で民営の工場を造るが、災害時にお弁当を作るなどの対応はできない。建設費が高いから契約は半永久的に続く。デメリットばかりだが、デリ弁強行する。」と必要な情報やデメリットも書け</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策には関係ないのですが、「力強い子育て支援」や「いきいきとした」という抽象度の高い言葉が気になります。          「力強く」や「いきいき」は意味があるようで、具体的な意味を持たない修飾語（情報量が少ない・なんとなく明るいだけの修飾語）は、読み手からすると具体的な状況がわからず、書き手の意図と読み手の理解が乖離しやすい言葉に思えます。（分かりやすいようでミスリードしやすい）          子育てに注力する、とか、一人一人が人生を楽しめるとか、別の場所で行っているのであれば、特にこの修飾語はいらないのかなと思います。          （雰囲気イメージさせたい気持ちはわかります）</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市政のカラーはどこにどのように出ているのでしょうか？ 林市長時代の中期計画との対比説明がなく、中田市長時代の基本構想との関連も説明がなく、これまでの横浜市における中期計画と基本構想の中での経過説明や今回の中期計画の位置づけ・特徴の説明がないと、今回の中期計画の歴史的な位置づけ・評価が出来ないと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>今回の計画の特徴として、基本戦略において「次世代を共に育む 子育てしたいまち ヨコハマ」を掲げ、横浜に関わる様々な人・団体の皆様と共に、横浜の受け継ぐ多様な魅力をさらに高め、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指し、市民生活と都市の姿の好循環へつなげていくことを目指すこととしました。</p>
<p>はじめに基本点について          前回の長期ビジョン「横浜市基本構想」のメインキーワードは「市民力と創造力」で、第1エンジンは「市民の活力と知恵の結集」でした。今回のキーワードは、「市民と共有」レベルに後退し、住民自治も本文から消えて、「行政運営の基本方針」に移されたことに強い違和感を感じます。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>全体に抽象的であり、「市民・住民が主役」、「国際平和への貢献」について全く触れていない。項目を起こして書き込むべきだ。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>総合的な感想。 項目のタイトルをはじめ耳障りの良い言葉の羅列で、担当者の自己陶醉のようである。 ・過去現状の比較データの説明が判り易い。それに対しての具体的な実施施策が見受けられない。 ・実施する担当部署、日程が明示されていない。 ・現状に対する改善事項が具体的でない。 したがって、コメントのしようがないが、計画内容は良いことですから賛成です。 職員の皆さん、是非、早く実現するように頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>19～20Pの目次機能 後述の見出しとして目次的機能があるとページ検索しやすい</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全体的に本計画が財政基盤の不安の中でも未来予測としての計画牽引力として位置づけられていることとこれまでのプロセスに弊団体含めて多様な主体との意見交換やセッションを行いつつ揉んできたことなどを前面に押し出して計画として位置づけていけたら市民力ヨコハマの力強さや参画力をアピールできるものとなるのではないか？という視点も提案したい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ヨコハマ開港4・0への挑戦黒船シンドロームとの闘い 山中市政下で初となる、新たな「横浜市中期計画」の策定にあたっての支柱として、「第4の開港＝開港4・0＝を指す」との心構えをもって臨んでほしい。「横浜のありたい姿」(P8他)として目標に掲げる「2040年」。その先の開港二百年をも見据えた壮大な構想を描いてほしい。 開港1・0 横浜港開港（1859年、海に向こうからやって来たショック“元祖・黒船①”） 開港2・0 関東大震災と復興（1923年、地球規模のショック“黒船②”） 開港3・0 第二次世界大戦と敗戦と接収と接収解除（海に向こうからやって来たショック“黒船③”） 開港3・1 戦後復興から高度経済成長/ドルショック（重厚長大産業隆盛、技術革新、工業製品の輸出、海に向こうからやって来たショック“黒船④”） 開港3・2 第1次、第2次石油ショック（海に向こうからやって来たショック“黒船⑤”、産業構造転換、省エネ技術） 開港3・3 バブルの発生とその崩壊（超円高、工場の海外移転、対外投資、第二臨調行革、外国人技能実習制度・外国人労働力の流入増加（“黒船⑥”）、就職氷河期・ロスジェネレーションの出現） 開港3・4 グローバリゼーション/リーマンショック（海に向こうからやって来たショック“黒船⑦”、非正規雇用労働者の増加顕在化、二(多)極化・格差、日系二世等の母国への送り返し） 開港3・5 東日本大震災/気候変動（地球規模のショック“黒船⑧”、つかの間の「絆」、防災意識、BCP、脱炭酸、やっど「外国人技能実習法」制定） 開港3・6 新型コロナのパンデミック/ポピュリズムの台頭/ウクライナ侵攻ショック（地球規模＋海に向こうからやって来た複合ショック“黒船⑨”、分断、社会生活の変容、水際対策、客船、インバウンドの消失） 開港4・0「特区」（開港「特区」）で生まれ変わるヨコハマ（黒船恐怖症の完全克服） (1)「特区」制度を活用して、横浜をよりいっそう、多様性・寛容性に富んだ街、人口減少に歯止めを掛ける街、人権尊重・人道に篤い街に引き上げる。そのため、以下の事業が早期完全実現するよう「特区」申請をする ・横浜の新たな地場産業の創出。市内の農水工商業発の新たな横浜名産・名物・特産の産出</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>・横浜が全国に先がけて、選択制夫婦別姓、LGBT、同性婚の容認・合法化</p> <p>・横浜市が率先して移民の受け入れ。難民・避難民の認定条件の緩和。受け入れた外国人への職業訓練、技能実習や職業あっ旋等行うことでの労働力化を促進。帯同家族への日本において生活する上での住宅の貸与、社会教育（学校教育を含む）、社会保障等の漏れのない適用・充実</p> <p>・横浜が全国に先がけて、一定条件の下、在浜外国人の市民権獲得の承認、参政権の付与の容易化。横浜が国に先行して、対北朝鮮制裁の緩和・廃止＝貨客船の受入れ、在浜朝鮮学校（生徒）への差別的措置の撤廃→「核」「ミサイル」危機からの解放→国交正常化に寄与する。と同時に、全拉致被害者の早期救出・帰国に結びつけ貢献する</p> <p>(2)開港大学の開設＝不平等「日米修好通商条約」克服を土台とした、新たなグローバル都市ヨコハマの再生</p> <p>・国連・国連機関、国際機関で活躍できる人材を育成する。市際（自治体間）外交のマンパワーを育成する</p> <p>・平和国家・平和都市を具現する外交交渉力をもった（例、ウクライナ問題の平和的解決）人材を育成する</p> <p>・横浜市、市内企業の海外進出の後押し、海外企業の横浜誘致に向け、市民・市職員を対象に、国際法・海洋法、通商、国際規格、知的財産等を熟知したスタッフを養成（あるいは、養成後、市職として採用）する</p> <p>(3)スポーツによる貢献</p> <p>・プロ/準プロのスポーツの組織・施設等の充実、選手層の厚さを増していくための措置の質量両面での充実</p> <p>・今後、横浜がスポーツに貢献する方向として、ビジネスとしてのスポーツをマネジメントする要員の育成。スポーツ指導者（コーチ、監督）の養成。審判の養成（資格取得）する教育・研修機関の設立 （なおこれは、五輪贈収賄スキャンダルとして、今、持ち上がっている、似非スポーツビジネスとはまったく別次元の取組みである）「政策8 スポーツ環境の充実」を参照</p>		

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>もうひとつの「IR」</p> <p>「中期計画の特徴」の「計画策定にあたっての基本認識」(P3)や、「計画の前提」の「横浜をとりまく環境」(P157)の中で、人口減少・超高齢社会、市内経済の衰退、市税収の減少、インフラの老朽化等々の悲観的すがた、厳しい「現実」を見せつけ、市民の危機感を煽っている。</p> <p>ところが、ページを繰ると一転、「共にめざす都市像(めざす未来の具体像)」(P161～)として、「FUTURE SCENARIO」や「未来の兆し」といった“明るい未来”“理想郷”を描いてみせている。しかし、その現実社会から切り離された空疎な絵空事の世界たるや、ギャップがあり過ぎる。SFアニメか、はたまた、大昔から伝わるお伽噺か、いずれにせよ、現実世界に生きる市民が関わる問題でも、現実的課題に取組まなくてはならない行政人の扱うべき問題でもない。</p> <p>本件「素案」作成を受託したコンサル会社は、このギャップを埋める、つまり横浜を取り巻く厳しい環境・現実から、未来の横浜が目指す「具体像」、否、理想像に一步でも近づけ、「共にめざす都市像」の実現に向け、理想郷への“架け橋”となるのが、「10年程度の中長期的な戦略」と「4年間に重点的に取り組む」政策を示した「9つの戦略及び38の政策」(P18～)である、と言いたいのであろう。これを見て評者は、「2つのIR」ではないか、との結論に達した。</p> <p>まずひとつ目、横浜市の現状を人口減少、市税収の減少、インフラの老朽化などといった悲惨な姿を市民に提示する。その解決策は、IR=integrated resort(統合型リゾート)＝カジノしかない!とのフェイク情報を市民に吹き込み・マインドコントロール・誘導する——という意味のIR。</p> <p>そしてもうひとつ、(一番いい例は)横浜市が「市債」の起債に当たって投資家(市債の買い手)に向けて、発債者である横浜市が、「横浜市はこれからもまだ発展する」「横浜市(債)は大丈夫」「横浜市(債)は買い!」と説得する投資家向け広報活動・情報開示=investor relations=IR。</p> <p>カジノを導入しようとするための横浜市(当局)は、市民に対してあらゆる資料・数値を駆使して市の悲惨な現状(上記、人口減少、市税収の減少、インフラの老朽化等)を見せつける。一方、市債を買ってもらいたい(もうひとつの)横浜市(当局)は、投資家に対してあらゆる資料・数値を提示して市の将来性を明るく描き語る。</p> <p>横浜市(当局)は、市民と投資家の両者に、同じ資料・数値)を用いて、一方に向かっては現在・将来の横浜市の悲惨な姿を強調しながら、その舌の根の乾かないその口で、もう一方に対しては、横浜市の現在・将来は安泰であると広報する、のである。これほど明らかな二枚舌＝ダブルスタンダードはあるだろうか。</p> <p>この「中期4カ年計画(素案)」において対象は狭義の「投資家」ではない。「横浜に転居しよう」(“住みたい街”へ移り住む)と考えている市外住民であり、「横浜に進出・移転しよう」(“誘致”に応じる)と考えている企業経営者である、が、広い意味の「投資家」と言って間違いはないだろう。</p> <p>と言うことは、逆も成り立つことにはなる。つまり、投資家に対しては横浜市の悲惨な現状・将来を説明する。とすれば、当市の市債は誰も購入しない、ことになる。しかし、(詳細は承知しないが)幸運にもかかる事態には陥っていないようだ。もうひとつ、市民に対して市の明るい将来を示すのなら、それはそれで結構。横浜市は今も将来も安泰。問題は何もない。従ってカジノ(の方のIR)は不要!との結論に達する。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画の特徴                      “この中期計画の位置づけ”がさっぱりわからない。                      「横浜市都市計画マスタープラン」（概要版平成25年3月）によれば、都市計画マスタープランの位置づけは『横浜市基本構想（長期ビジョン）』や都市計画法上の上位計画である『都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』に即して定めます』となっている。つまり「横浜市基本構想」「都市計画方針」に沿ってマスタープランが策定され、その範囲で中期4カ年計画が策定されると考えますが、どうなっているのか？                      「中期計画の特徴」では「社会の変化が激しい中では、先を見通したビジョンを描くことは困難」と記されている。つまり時代変化は大きく、市が現在持っている「知性」では見通せない、といっている。                      加えて横浜市にとっては山下埠頭、上瀬谷基地跡地返還、米軍根岸住宅返還と戦後70年にわたる米軍占領の終焉に伴い、新たな都市づくりの時代に入ったといえるだろう。                      こうした横浜市が迎えた新たな時代に向き合う都市づくりの「基本構想」が問われているのではないか。                      横浜市がこれまで迎ってきた都市づくりの基本的枠組み、「基本構想」「マスタープラン」がどうなのかをとらえ返せず、「中期計画」で役人が考えることを勝手に組み込む、しかも「財政ビジョン」で財源がない、その枠内で考える、とする手法は如何なものか。「統計データ等から将来を想定」ではあまりにも近視眼的な計画ではないだろうか。13名の有識者はどのような役割を担われたのでしょうか？                      私は、日本が持てる「知性」を登用、結集し、明石康「基本構想」に代わる横浜市都市ビジョンの策定を「国際港都審議会」に諮問すべし、それまで上瀬谷等の大規模開発事業は凍結されたし、と考えます。                      私はこの基本構想策定を日本総研寺島実郎氏に依頼してはどうかと考える者ですが、市のトップが責任をもって人選すべきと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>(1)中期計画素案は200Pに及び膨大なものですが、パブリックコメントをしようにも市民向けの冊子がなく、ホームページを見られない市民にはコメントしようがありません。希望者しても冊子を配布しないのは市民の意見を尊重しようとしているとは思えません。                      (2)横浜市の現状が今どうなっているのか、課題がどこにあるのかが分析されないまま、バラ色の未来だけを描いているとしか思えません。こうした計画で4年後、10年後に計画が達成されるとは思えません。                      (3)子育てしたいまちづくりそのものは市民が望んでいたことだとは思いますが、絵にかいた餅だけでは誰も横浜に住みたいとは思いません。1年後、4年後に成果を現実のものにして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>広報及び計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>予算がついていないので、わかりづらいです。特別会計を市民、職員に示して議論をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市中期計画拝見しました。悪い内容とは言いませんが、その多くが、相模原市や藤沢市に主語を変えても成立するようなものが多かった印象です。横浜は日本でも有数の都市であり、世界をもっと意識した施策を取っていくことが可能だと思います。</p> <p>もっともお金を稼ぐ事を意識した中期計画を充実させたほうが良いと思います。</p> <p>そこで私の考えるコンセプトは「羽田から横浜へ」です。遠距離のフライトを経て、羽田空港から電車で東京に行くこと、これは日本語の出来ない旅行者にとって負担はとても大きいものです。そこで横浜に外国からの旅行者がアクセスしやすいハブとなる施設を作り、まずはバスで羽田空港からその施設にアクセスさせます。</p> <p>多くの外国人はTOKYO、KYOTO、OSAKAといった都市をあげますがそこにYOKOHAMAも加え日本に到着した日や帰国する日に横浜に1泊してもらう環境を整備します。</p> <p>ハブとなる施設のコンテンツとしては主に3つを考えています。</p> <p>1、チェーンストアパーク 日本での食事だと、寿司などのイメージが一般的ですが、日本のチェーン店のコストパフォーマンスは外食の高い外国の方にとって衝撃的なものであると思います。コンビニのお菓子やアイスも同様です。日本人にとっての当たり前が外国の方にとっては大変貴重なものになっています。企業としても、外国の方にどういったメニューが受け入れられるのかというマーケティングデータを収集することが可能です。</p> <p>2、大型ゲームセンター カジノ誘致が話題に上っていましたが、ただのカジノであれば世界中いたるところに存在します。 そこで日本独自のアミューズメント施設として、大型ゲームセンターを設営します。ゲームやアニメのキャラクターといったコンテンツを基軸に日本しかないゲームセンターを設営することによって、家族連れや多くの若者が横浜に立ち寄ってくれることになると思います。</p> <p>3、インバウンド向けバスターミナル 海外からの渡航者の多くは大型のキャリーケースを携えています。その状態で、日本の複雑な鉄道を乗りこなすのは非常に困難です。羽田空港からまずはバスでハブ施設に移動。そこで時間をつぶしながら、ホテルなどにもバスで移動できる環境を作ります。併せて、首都圏には日帰りバス旅行で行きやすい観光地は数多く存在します。羽田空港へのアクセスもしやすいため日本の各都市への回遊をしやすくすることが可能になります。現在黄金ルートといわれる東京、京都、大阪以外の都市への観光増加にも寄与することが出来ると思います。</p> <p>みなとみらい地区や鶴見エリアといった湾岸地域にこうした施設を作り外国からの旅行者が必ずSNSで発信するような施設が出来たら非常にわくわくすると思います。</p> <p>私自身英語がほとんどしゃべれませんが、新婚旅行をはじめ、ヨーロッパに長期の旅行を3回ほど訪問しています。その観点から感じることは、東京は決して旅行者にとって行動しやすい都市ではないという事です。</p> <p>是非横浜が、日本の玄関口の都市としてのポジションを獲得しましょう。</p>	<p>参考</p>	<p>今後の市政運営の参考にさせていただきます。</p>
<p>その他</p> <p>全体的に曖昧過ぎて、意見を募集できるような素案ではない。最低限、下記は書け。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰がいつまでにどこで「いくらで」何をどうするのか。</li> <li>・そのお金は誰が出すのか</li> <li>・出来上がるものは民営なのか、市営なのか。</li> <li>・メリットとデメリット</li> </ul> <p>たとえば、中学校給食の8万食デリ弁工場建設ですら詳細が書かれていない。「市が調理する方式なら国費負担があるが、民間デリ弁方式は国費負担がない。</p> <p>市負担で民営の工場を造るが、災害時にお弁当を作るなどの対応はできない。建設費が高いから契約は半永久的に続く。</p> <p>デメリットばかりだが、デリ弁強行する。」と必要な情報やデメリットも書け</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」「戦略」など、もともとは戦争用語だと思いますが、違和感を持ちました。一歩譲ってそうしたものとすると「敵」は何か、彼我の力関係はどうか、どう戦うかが明示され、そこで「戦略」ということも意味をもってくるのだと思います。ただ本当のところは、戦争用語で行政計画を、何か、勇ましく見せるようなことはやめてもらいたいと思います。</p> <p>「敵」という以前に、「2040頃の横浜のありたい姿」が、大目的として前提になっているようです。そのころは私は生きていない公算が大きいです。だからどうでもいいとは決して思いませんが、どういうリアリティーがあるのか。「明日をひらく都市」は「お花畑」のように思います。その限り、誰も否定しないでしょ。花開いてほしいです。しかし、その「お花畑」の実現なり、今の横浜市のなかになにそれに連なる要素があれば、それを持続・拡大することが、なんの妨害もなくうまくいくのでしょうか。そうさせるための&lt;素案&gt;なののでしょうか。そうすんなり読めません。というのもどういことが最大の妨害物であり、危険なのか。そのことをどう切り抜けるかという基本的なメリハリが見えにくいということではないかと思えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」やⅡ「共にめざす都市像」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>はっきり言って、自然災害や社会災害（戦争、病気、政治腐敗など）の力で、「明日をひらく都市」が開く前に、大打撃をうける危険です。それに対処するきつぱりした立場なくして、横浜の未来はない、と思います。【戦略8】では災害との関連で「強靱な都市」がうたわれます。地震、風水害、に強い、地域で支える防災などが提起されていますが、災害に強く戦争にも参加しない「平和都市」「自治都市」という目的を明確にすべきだと思います。すでに横浜市は1980年代に「非核都市宣言」をしています。今こそその立場をあらためて内外に明示すべきだと思います。</p> <p>この大前提、大目標のもとで、いろいろな施策が統合されるべきだと思います。その際、未来の横浜を担う次世代を育てる、という点を、基本に置くことに賛成です。その点において「横浜の魅力」をさらに高める、ということも賛成です。カジノ誘致を排除したことは、その点でも評価します。どうすれば「未来の横浜を担う次世代」が育つのか。これは横浜にとどまらず、次世代の育ちにかかわる社会の総合力が問われる。横浜の力だけでは完結しない。しかし、その中で横浜市政がどういかけがえのない役割を担うのか、果たすのか大事だと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」及び素案の戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子どもたちの中に表される社会格差や差別をなくす。すべての成長する世代の尊厳を守ること、この課題が大きい。横浜市政がどうい方針を持つかが問われると思います。それが、未来の横浜を担う次世代を育てる、という点を、基本に置くという、（素案）を評価する基本にもなるのではないかとさえ思います。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市長の公約である「3つのゼロ」を実現して下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい町横浜に!!</li> <li>・高齢者のすみやすい横浜に!!</li> </ul>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>弱い者等への配慮、視点は必要だが、それが強すぎ。偏りすぎると大都市横浜は衰退してしまう。</p> <p>例えば、大企業への視点、政策がない。中小、零細企業の成長だけでは横浜は成長しない。</p> <p>大企業にはそこに働く労働者、研究者等があり、その人たちへの配慮、視点が欠けている。</p>	<p>参考</p>	<p>今後の市政運営の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>総花的で、全国すべての大都市にあてはまり、横浜市案と言うより、単に国策追従しているように伺えます。穿って見ると、政策局が仕事をしているアライバイ作りのようで、特段新たに中期計画を策定する必然性が見あたりません。各施策をどう作るかが、本計画との整合をいかに説明できる内容で、この中期計画の意義を見出し難いです。「中期計画ありき」に映るのは、今迄の検証や反省をしていないからです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●他の大都市の計画と、何が違うのか？</li> <li>●先の中期計画に対し、何を变えようとしているのか？</li> <li>●個別施策において、この中期計画がどのように参照され影響するのか？</li> </ul> <p>いかにもコンサル会社へ外注されたような独りよがりな美辞麗句のオンパレードです。一見凄そうに見せて内実中身がない形容詞を多用する在り方に市政の行く末を心配します。</p> <p>これでは、各施策がこの中期計画に沿っているかを検証することができません。すべてを抽象的に言うことは何も言わないことに等しく、ほとんどの施策は、どう作られても本中期計画に抵触しなく、中期計画自体の実効性が問われます。</p> <p>また、作りっぱなしの計画では意味がなく、先の中期計画の見直しや陳腐化を検証し、それらを是正する具体的な改善策を導く方針が語られてこそ中期計画です。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に前中計と大きく変わる所はない様です</li> <li>・前中計は予算規模が記述されていましたが、本中計にはないです。前中計と予算において大きく変わる事項が記述が不足しています「新規」とか、「大幅に拡大」とかは何か」が分らないのです。</li> </ul> <p>収入で言えば国土強じん化 5 年集中期間は国の補助金は増えると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果、質問</li> <li>・全体にSDGsが全面的に出てきてとてもいいです</li> <li>・施策・政策は38に分けていますが、SDGsの17項目で何が多いのですか？</li> <li>・全部で9戦略ありますが、全体を示す指標は作りませんか？</li> </ul> <p>例として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市GDP</li> <li>・人口自然増</li> <li>・市民アンケート、住み続けたいか？など。</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食と3つのゼロ（子ども医療、出産、敬老パス）を明記してほしい。</p> <p>予算はあるのは自民党的名目だけなんでもかんでも反対しているのは野党ではなく自民党。市行政はちゃんとやってほしい。横浜市から用途地域を見直しのお知らせが届いた。</p> <p>予算なれば出来ない。</p> <p>商店街活性化の予算がついている。財源はある。経済を回してほしい。</p> <p>自民党議員と一般市民どっちが大事なのか。民主主義を守ってほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【自治会加入率の減少問題について】                      当自治会は、分譲と賃貸のミックスで、全戸 626 世帯、自治会加入率は全体で39%、近年減少傾向にあります。                      p.43                      自治会加入率 69.4%                      ・「令和2年度自治会町内会 地区連合会アンケート調査」では、役員の担い手不足・高齢化、行政からの依頼事務等への負担感が課題として明らかになっており、課題解決が急務です。…と述べています。                      p.44                      ・協働による地域づくり（イメージ）として、市民主体の地域運営についてプラットフォームを図解し、区役所からのプラットフォームへ支援(協働)するとして、コーディネート・調整・情報提供 …と述べています。                      P.134                      ・地域支援機能の充実では、加入率の低下、コロナ禍による地域活動の停滞などを踏まえ、優先的に取り組む施策・事業の検討をすすめ…地域の担い手の負担軽減と新たな担い手の確保につなげます。…と述べています。                      しかし、具体的な施策の記述はなく、同ページでは「庁内検討」はblankとなっています。                      P.163                      加入率は近年減少傾向にある一方で、市民意識調査では隣近所の付き合いについて、「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」と感じる人が増加している。ここでは、加入率の減少を「意識」の変化にあるとしています。                      【意見・要望】                      ・中期計画素案は、自治会加入率の低下の原因のひとつに、行政からの依頼事務への負担と述べていますが、これは当自治会との認識とも一致します。「半ば強制的ともとれる役員の輪番制の問題、役員になったら大変だから自治会にも入らない」また「自治会員のメリットがない、入っていないと困る場面はない」の声が出されていますが、やはり自治会の加入率低下の中心点は、役員になるかどうかにあるように思われます。役員の事務負担が余りにも多すぎます。行政からの依頼事務軽減を切望します。(また、加入率の減少を「意識の変化」に求めることには同意できません)                      ・都筑区地域振興課(地域力推進担当)は、「外部専門家との自治会運営の検討会」などは、予算が少ないという理由で十分にもてない」と言います。                      中期計画素案での区役所からの支援として「コーディネート・調整・情報提供」(p.44)とは一体どういう事を想定しているのでしょうか?予算が伴わない施策は何の意味も持ちません。予算の充実を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>行政の役割（地域内市民と企業が夢と希望そして誇りが持てる環境を作る）を再確認する。又、新たな世界状況に向け、従来の延長ではなく新たな視点で、以下の様な計画を行う。</p> <p>横浜市は、激化する都市間競争において、世界から選ばれる都市を目指す。 ビジョン：「世界に貢献する都市横浜」 具体的事業：海洋都市横浜として、海洋産業の世界的中心地を作る。 ・横浜市は都市誕生とともに、海洋を中心に経済発展をしてきました。 ・海洋に関連する企業団体が集積しています。 ・海洋の研究開発を行う国の機関（海洋研究開発機構、水産研究・教育機構、理化学研究所）が立地しています。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」の主な施策4「海洋都市横浜の取組による産業の振興」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>行政の役割（地域内市民と企業が夢と希望そして誇りが持てる環境を作る）を再確認する。又、新たな世界状況に向け、従来の延長ではなく新たな視点で、以下の様な計画を行う。</p> <p>横浜市は、激化する都市間競争において、世界から選ばれる都市を目指す。 ビジョン：「世界に貢献する都市横浜」 具体的事業：上瀬谷地区一部にモノづくりを中心とした研究開発施設を集積させて、京浜工業地帯の再生に繋げる。（京浜工業地帯の中心都市としてモノづくりを中心に日本経済を支えてきた。）</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>行政の役割（地域内市民と企業が夢と希望そして誇りが持てる環境を作る）を再確認する。又、新たな世界状況に向け、従来の延長ではなく新たな視点で、以下の様な計画を行う。</p> <p>横浜市は、激化する都市間競争において、世界から選ばれる都市を目指す。 ビジョン：「世界に貢献する都市横浜」 具体的事業：自動車の動力源が、電気・水素等に変化し、原油タンクが今後不要になると想定されます。これを新たな産業育成に活用する。 具体的には、「海洋都市横浜の取組による産業の振興」として、陸上養殖を研究し、市民への食料供給（漁食）に寄与する。</p>	参考	ご意見につきましては、政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」の主な施策4「海洋都市横浜の取組による産業の振興」及び戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>横浜市が、世界から選ばれるには、単純明快な都市イメージが必要です。 横浜市は、6大事業完成後、都市イメージを市民に示す努力をしませんでした。しかし、 2009年、開港150周年式典で、それまでの「国際港都横浜」を「海洋都市横浜」と変更し、開港200年に向けての将来構想を発表。 2014年、「中期4か年計画2014～2017」で、「海洋都市横浜への挑戦」が方針として発表。 何れも継続されず、今回も「中期4か年計画」では、「9つの戦略及び38の政策」という表現では、市民にとって簡単にイメージされる都市像にならないと思います。 地球表面積の7割は海洋で、国連は、1982年「海洋は人類共有の資産」という考えを基に「国連海洋法条約」が制定されました。現在170ヶ国が批准 我が国は、条約によると世界で第6位の海洋面積を有していますので、海洋産業にとって、有利な条件を保有しています。 様々な視点から考慮して、「海洋都市横浜」を横浜市の中心政策＝柱にすべきだと思います。 「海洋都市横浜」を実現させる為、「海洋都市横浜うみ協議会」が出来て以来、事務局と以下の事業を行うべく協議をしてきました。 ①海洋に対する市民の関心を高める事業：市内全小中高等学校（概算1000校）、学童保育所（200カ所弱）、コミュニティハウス（100ヶ所強）に定期的に「横浜の海・世界の海」に関する情報を冊子作成して定期的に配布する。 ②海洋産業を支えるサプライヤー企業群の強化育成事業：自動車産業（陸）、宇宙航空産業（空）に比べ、産業全体を支えるサプライヤー企業群が、世界的に十分育っていないので、それを強化する為最新の海洋情報が学べる「海洋講座」を定期的に開催する。対象は、中小企業者、ベンチャー志向者、学生等 ③「海洋都市横浜」のシンボルとして、「海洋科学技術ミュージアム」をMM地区地先海上に建設する事業：民間が主体となり、最新の海洋技術発信基地、海洋教育の現場、海洋文化の現場、M I C E施設等の役割を持つ施設として建設する。</p>	参考	ご意見につきましては、政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」の主な施策4「海洋都市横浜の取組による産業の振興」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>④その他事業：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋研究開発機構、水産研究・教育機構、理化学研究所の連携を事務局が中心となり行う。</li> <li>・横浜市は、海洋研究を行う世界的学者を複数名スカウトしてきて、関係先機関等に派遣する。</li> <li>・海洋研究を行う団体への支援策を、独自に設ける。</li> </ul>		
<p>「共にめざす都市像」について 抽象的で分かりにくく、かつ、明るい未来しか描かれていないように感じる。もっと、現状を変えなかった場合、どのような悲惨な未来が待ち受けているかを強調した方が良いのではないか。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>中学校の給食について、原則デリバリー方式にするって事ですが、市長は、中学校給食は、自校式でと公約しました。 自校式という事で、子ども達に温かい安全な給食を、提供できること。夏でも腐る心配がない事。同じものを食べるという事で差別がないこと。またその他、災害時の炊き出しなどにも使える自校式になぜしないのか？ 栄区の小学校の給食室を改修工事したとき1000人分の準備ができると1億以上かけて、改修したのに、その後も中学校を隣同士にして統廃合したのに、せめてその給食室を使える環境にあるのだから、それを利用しないもおかしな話し。給食室がないのは横浜市だけ。子育てできません。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示ししました。ご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>都市像とされている「明日をひらく都市」が、この内容にどの戦略もこじつけることができ非常にあいまいです。このままでは2040年度の検証の際に計画の内容が満たせたのやら満たせてないのやらわからなくなるものと思われま。都市の参加者の定義としての「現在の横浜を支えてくださっている方々はもちろんのこと、今後横浜市民になっていただく方、横浜で生まれる方、横浜で働く方」というのは良いと思いますので、ではこの参加者の方にどのようなことをしていただきたいのか、この部分で提示をお願いいたします。</p>	参考	「明日をひらく都市」についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>まず初めにやることは、全ての道路、歩道を整備すること。 道を広くできないなら、整備するだけで人が通りたくなる。 税金を第一優先に使ってください。 子育て、高齢者に使うことは、不満に思う人がいます。 道路は、住民全ての満足度が確実です。 人口流入の期待も持てます。 いい例がオリンピックのために整備された東京です。 道路整備された一部の地域のみ満足度高いし、地価も上がってます。整備されていない地域は、不満爆発してます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「共にめざす都市像」について 全体的に地域住民向けの計画としているのか、「明日をひらく都市」が抽象的でわかりづらい。 世界レベルの選ばれる国際都市を目指すために、花と水の都市、港湾の都市、芸術の都、などのように、誰もがイメージしやすい、わかりやすい、わくわくするような都市像のフレーズが欲しい。2040年までにより強固な海外目線での都市のPRと刷り込み、そのための未来像が必要と思う。 個々の政策提言は現状の課題に即した網羅的なものになっているが、新しい未来像に向けたワクワクするものを感じない。特徴のある一本芯の通った世界レベルの目標があり、その実現に向けた個別施策とすると、より納得感がわく。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「共にめざす都市像」について 共感できます。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>表題の「明日を開く都市」、目標が2040年ですから抽象的な夢でもやむを得ないかもしれません。思わず安倍元総理の「美しい国日本」を思い出しました。具体性の乏しいフレーズに見えます。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「共にめざす都市像」について 概ね違和感ないが、横浜らしくもっとエッジが効いていても良いと思う。世界中の人々を惹きつけ、横浜が日本の再成長を牽引して欲しい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「明日をひらく都市」 一番伝えたいのは「横浜市は未来を切り開く挑戦の地であり続ける」ということでしょか？同意しますが、文章としてもちょっと伝わりづらいです。また、「明日をひらく都市」との兼ね合いも伝わらないです。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
「明日をひらく都市」と「共にめざす都市像」の兼ね合いが本当にわからない。キャッチコピーは一つに統一すべきだし、サブコピーを置くなら、その構造が伝わるようでないという意味がありません。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
「共にめざす都市像」について 今回、一言お伝えしたいのは、「未来を考える場合、現状の正しい把握・認識から入らないとダメである」という点です。 約30年前に東京都から引っ越してきましたが、インフラストラクチャーや行政の遅れに愕然としました。しかし、当時存在した「市長への手紙」であざみ野から246交差点の渋滞情報を伝え、簡単に渋滞を改善できる案（存在していた中央分離帯をなくし、右折車線を確保するという簡単なこと）を提案し、すぐに採用していただきました。このことから、非常に柔軟な思考を持った市であると感じました。	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
中学給食について、他の都市のようになぜ給食がないのか疑問です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
子供の医療も小学生3割、未就園児2割負担で落ち落ち病院にも通えませんが、差別化しないで欲しいです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
都内の友人で、土地が高いので横浜市に家を購入しようか悩んでいる友人が複数いますが、中学給食について、他の都市のように給食がない、子供の医療も小学生3割、未就園児2割負担で落ち落ち病院にも通えないという、理由で横浜市に住むのは全くオススメしないと持ちの友人には伝えてあります。この理由を伝えると皆児童手当打ち切り世帯の為横浜市に住むことは選択肢から外れます。横浜市は日本の中でも有数の子育てしにくい都市に当てはまると思います。是非改善してください。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
「共にめざす都市像」について 子育て世代として次世代に目を向けた視点を評価したい。絵空事にならないよう、実効性のある施策を展開してもらいたい。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
旧上瀬谷通信隊跡地にドーム球場を作ってベイスターズを誘致する。ボールパーク構想で集客する。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
今、全国では先進的な未来都市作りが盛んに行われて居ますが、横浜には歴史と伝統が残りが魅力である事をアピールする、今有る歴史的な街並みを残す取り組みを行なって頂きたい。横浜の魅力は他の都市に無い古き良き街並みが残る所に有るからです。	参考	ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
街の商店街の再開発では無く、商店街を盛り上げる取り組みを行なって頂きたいです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策4「商店街の活性化」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
近年横浜市では宅地開発が著しく、森林が少なくなって来ています。横浜市の魅力でも有る、緑溢れるまちづくりに帰り、森林保全に勤めて頂きたいです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に推進してまいります。
市の職員の業務整理を行うべきと考えます。 産業育成、子育て支援など多くの課題を抱えていますが、これらの多岐にわたる事業の根幹に職員の業務煩雑さがネックになっている（紙での申請、SNSでの申請など）と思われます。 国がやろうとしているペーパーレスの活動と併せて、職員の業務効率化に焦点を当て、維持費や業務効率の良い自治体像を目指して固定費や省力化に力を当ててほしい。 その後の余ったマンパワーや予算を外資企業を誘致し、力強い産業を都市として創り上げてほしい。	包含・賛同	デジタル技術も活用しながら、効率的・効果的に行政サービスを提供する持続的な行政運営を実現していくことが必要であり、ご意見につきましては、素案の行政運営2「行政サービスの最適化～事業手法の創造・転換～」及び素案の政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」をはじめとした各取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
基本戦略の循環図の起点に「子育て世代への直接支援」がありますが、これが起点ではなくコミュニティ生活環境づくりが起点ではないでしょうか。人と人が信頼と安全でつながるコミュニティーが無ければ、人と人が出逢い、結婚し、子供を産む循環は生まれません。その為に豊かな生活環境があり、良質な住宅があり、良好な交通環境があり、働く場所が住宅と至近距離にあるといった、地域の生活圏・生活サイクルが生まれる下地作りが大切だと思います。そのなかで子供が生まれる世帯に必要な助成が得られるシステムを構築するようにしないと、直接支援だけでは出生率もあがらず、生産人口の流入も限定的になります。つまり冒頭から強力な企業誘致による経済と雇用の強靱化による生産人口の呼び込み、横浜市営地下鉄延伸による交通環境の整備、都市計画道路整備による輸送物流や公共交通や緊急車両通行の強化、外国人材増加に向けた地域社会多様化に向けた自治会や商店会の進化などを、もっと力強く訴えて欲しいと思います。	参考	ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
9月22日記者発表の市民意識調査にある「今後の横浜のまち」に示されている内容と整合が図られているように思えません。突出して要望が高い、医療体制の充実の指標が入院の完結率でいいのでしょうか。	参考	「入院医療の市内完結率」を維持・向上させていくためには、病床数の確保や地域医療機関の連携体制の確保、それを担う医療人材の確保等により市内の医療提供体制の充実を図ることが必要であることから、政策指標として設定したものです。いただいたご意見につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
「住民同士の助け合い」を要望する割合は極めて低い結果となっているにもかかわらず、地域コミュニティの活性化を政策として打ち出すなど矛盾を感じます。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
「スポーツを身近に感じる」を要望する割合は極めて低い結果となっているにもかかわらず、スポーツ環境の充実を政策として打ち出すなど矛盾を感じます。	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
昔と違い時代が刻々と変化し、人々の考え方や行動変容が起こっていることを受け止めるべきです。市民意識調査の結果と戦略政策の構成の関係性を計画内に記載し、要望に対する対応がわかるようにしてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、戦略の関連データ、政策の現状と課題に掲載しています。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「市民生活の未来」のなかで、「暮らしやすく誰もがWELL-BEINGを実現できるまち」と記載されています。 「WELL-BEING」という言葉は、最近注目されているとはいえ、まだ一般市民には認知度が低いと思いますので、「WELL-BEINGとは？」について、どこかで解説頂けると理解が深まるのではないのでしょうか。ご検討いただければ幸いです。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を追記しました。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>給食問題ですが、今のデリバリーお弁当はこれまでの経緯からやむを得ない部分もありますが、将来を見据えて徐々に自校方式に変えていくことが良いと思います。</p> <p>SDGsのゴールの「貧困をなくそう」「飢餓をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」という三つのゴールに合致するのが自校方式給食だと思われるからです。子どもの貧困は深刻で、給食が主な栄養源という子供も少なからず存在する中で、地元の野菜を使った栄養価の高い昼食を提供することは大切な市の責務ではないでしょうか。</p> <p>また、デリバリーのお弁当はもし使い捨てのお弁当箱を使っているとすれば大量のプラスチック廃棄物を出していることになり、将来世代の子供たちの教育上もよくありませんし、今後石油価格の高騰で給食費を圧迫することも考えられます。現実的に今すぐは無理でも、進むべき道筋は見えているのではないのでしょうか。私は、横浜市がSDGsの先進都市になって欲しいですし、バルセロナのように経済危機を克服した住民自治の都市とも連携して行って欲しいと思っています。横浜で育った子供たちが明日の横浜を担っていくことを期待して、給食費も市からの補助をつけ、徐々に無償にしていければ良いと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市は高齢者が増加しており、仕事をしたいと切望する人も少なくないと思います。</p> <p>現在仕事をしている方も含め、生涯現役いきいきサロン(仮称)の開催を希望します。</p> <p>異業種間交流のような場で、情報交換して仕事に繋がる事が目的です。単なる趣味の集まりやおしゃべりサロンではなく、あくまでも「仕事をする」という目的を目指します。</p> <p>参加資格は70才以上、自己の経歴を生かしながら、新しい分野への挑戦する強固な意志がある事etc.明確な基準をもうけます。</p> <p>企業の顧問や会長職にある方には、積極的にご参加いただきたいと願っています。</p> <p>単に高齢者が住みやすい都市ではなく、仕事をする高齢者が増える事で、より活性化したパワフルシティを誕生させるプランです。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>テーマ06に「地方自治体としての財政健全化」を加えてほしい。</p> <p>具体的な財政対策はどうする？</p> <p>やりたいことが並べてある総花的、市の財政運営も入れるべき。17年後の目指す姿を実現できる財源はできているのか。夢ものがたりで終わるのでは。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のVI「行財政運営」に財政運営として含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>18年度後をどんな横浜市にしたいか。それぞれに意見はあります。</p> <p>明治22年に横浜市となってから133年経過し、選挙のある度にビジョンを発表して当選された政治家の皆様が理想的な横浜市を作りたいと夢見て政治を行ってきたので、今日の横浜があるのですが、政治家の思い通りとはなっていないように感じています。</p> <p>そして、私たち市民に意見を聞いて政治家がどのように政治に反映させられるか。政治家の思惑がどこにあるのか、市民の意見が反映するのかなど、絶望的考えが浮かんで仕方ありません。多くの目標を掲げて当選しても、与党の思惑、野党の思惑の思い通りとはなっていないように感じています。</p> <p>そして、私たち市民に意見を聞いて政治家がどのような意見を持つのか。良い意見であっても一顧だにしない方たちにしか見えていません。</p> <p>横浜市に2022年7月1日現在、3773673人の人々が住んでいて、2040年まで18年ありますが、はたして何人が住んでいるのでしょうか。</p> <p>自然を思いっきり壊して作り上げた工場、商業、農地、山林こうした土地は横浜市だけでなく日本全体を変えました。</p> <p>地球全体が人間が多すぎるのですが、日本全体、横浜市も土地の広さに比し多すぎます。私自身も生まれて長年生きてきましたが、江戸期に3千万人が住んでいた人々でさえ、日本の天変地異に悩まされ、命を懸けて一揆に命を懸けざるを得ない状態から、今日4倍もの人口を抱える国土になりました。</p> <p>政治はパニックに陥り、移民、戦争、などあらゆる施策で国土を守ろうとしました。戦後高度成長の幸運が無ければ国民半分が飢え死にすところでした。</p> <p>食料自給率は現在もひつ迫状態ですが、世界の気候変動で輸出国が不作に</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>陥った場合、どうするつもりなのでしょうか。人口増加は止めるべきで、自然減に任せ、少ない働き手でどうやって生き延びるか。これが地球に課せられた最大の命題で、横浜市も失った農地を如何に増やすか。</p> <p>見渡す限り農地だった場所が全部住宅となった今、政治家が開発を進めてきた場所を政治家の責任で農地に戻すのも政治家。</p> <p>思い通りとはなっていないように感じています。そして、私たち市民に意見を聞いて政治家の責任ではないでしょうか。</p> <p>猛暑日など無かった土地が今や大変な場所にも関わらず、子供を増やす政策など聞いて呆れます。</p> <p>人口は自然に任せ、寧ろ過疎地への移住や、空き家の取り壊し、農地を宅地に変更不可、リフォーム促進、など大型開発も止めて市民の住みよい施策のみの推進したい。</p>		
<p>市民の未来のWELL-Beingに乳幼児を含む子供のWELL-Beingの内容まで検討していただきたいです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜市が単に「ハマ」という言葉を大事にし、街のイメージは「中華街」「豪華客船」「イベント」という経済効果も不確かなもので売り込むが、横浜市民の暮らしをしっかりと掴まえた行動目標は何であるかを知りたい。</p> <p>横浜市は海岸部も平地が少なく、丘陵部は起伏が多いため、産業や生活の環境はあまり良くない。そういう中で無理やりと思える人口の増加を抑制無く進めて来た経緯に成り立つと言える。</p> <p>首都東京に近隣する地理にあり、また残念なこと歴史の積み重ねが少ない。この認識に立ち、新しい街の有り様を率先して示し、成長する都市でありたいと願う。横浜市は田舎である。社会資本整備から市政の進め方についてもそうである。ここに偉大なる暮らし良い田舎を築き上げることは、面白く、大いに意味がある。</p>	参考	<p>まちづくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市民の皆様がありたいと考える姿は、お一人おひとりの価値観や生活環境などにより様々なのでという文言ですが、価値観や生活環境によりとするよりも、価値観や状況などによりとするのが良いかと思いました。</p> <p>ありたいと考える姿は、障害、病気、高齢化など、生活環境以外から来るものもあり、それらをなどで表すよりも、状況などという表現で全体を包含した表現とするのがより適切なのではないかと考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者を支えるという表現についても、支えるのは高齢者だけでなく、また高齢者でも支えられずに自力で活躍できる人もいることを踏まえると、対象者を限定する表現よりも、互いに支えるなど、もっと共助を前面に押し出してもよいのではないかと思います。高齢者は支えられるものという過去のイメージを払拭して、もっと新しい価値観で互いに助け合う町を表現してほしいと思いました。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ、現状では、ご近所の借家・アパートの住民との込みにケーションが取れません。道で会っても挨拶無し。ポイ捨ては日常茶飯事です。全く、コミュニティが失われています。ほとんど、町内会に入らず、この3年間コロナで、お祭り・節分・敬老会も中止で何方が生きているか、亡くなっているかわからない状態です。地域が壊れています。高齢者には不安が沢山あります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険料・国民保険料の値上げ、診療費の負担の増額。病気になったら、暮らせません。</p>	参考	<p>介護保険制度、国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>子供たちが育まれるまちですが、中学校に給食が無いのは「横浜市」だけです。全員喫食の中学校給食を実現すべきです。給食は「教育」の一貫です。食育です。横浜市の授業の「カリキュラム」に食育がありません。食育法に違反しています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
子供が生まれるには「出産費」がかかります。全額公費負担にすべきです。少子化にストップがかかります。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
育児にお金がかかります。保育園・幼稚園も憲法で謳われているように「無償」化しなければなりません。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
多世代が交流できる「地区センター」の活用が必要です。東京では「児童館」と「老人施設」が背中合わせで創られています。	参考	市民利用施設についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
2040年頃のありたい姿 都市を削除し、別名に。 横浜市は6大都市でやっと名前が出る市です。3位までなら賞をもらえますが、6位では入賞程度でしょう。地方へ旅行へ行行って横浜から来たと言ってもどこと言われることも多々ある市です。 転入してきた人も住んでいる人も都市だと思って住んでいるのでしょうか 都心への通勤通学の利便性と東京より若干住居費が安いからの理由で住んでいるだけです。 都市の定義は政治、経済、文化の中心となっている大きなまちということですが、該当しているように思われません。いっそのことコンパクトシティなどに置き換えすぐに手が届く行政のイメージを作つたらいいのでは。 コロナ以降生活環境が変わりました。これからもっと変われると考えられます。企業移転も中央から地方へと動いています。現状を良く見て分析して下さい。	その他	ご意見として伺います。
「共にめざす都市像」について とてもよく考えられていると思います	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
「共にめざす都市像」について 未来の夢を語るのも、計画立てるのも良いことです。 しかし、「現在」が未来へ繋がっています。 現在横浜で暮らしている市民が充実して暮らしていなければ、横浜の未来は語る事が出来ません。 今、生活している市民の声をきちんと聴いてください。 そして取り入れて下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅠ「中期計画の特徴」の3「計画の構成」に「社会の変化が激しい中では、先を見通したビジョンを描くことは困難なため、現在までの経過や統計データ等の中で、今後さらに顕在化・深刻化しそうな課題を把握し、それが解決された姿を「共にめざす都市像」として描いていきます。市民の皆様がご自身に置き換えて、様々な暮らしのイメージができるように、いくつかの例で示しています。そして、その実現に向けて、基本戦略を掲げ、めざす中期的な方向性・姿勢を明確にした上で、9つの中長期的な戦略を定めるとともに、戦略を踏まえて計画期間の4年間に重点的に取り組む38の政策をとりまとめています。」と記載しており、個別の戦略・政策等に含まれていると考えております。
「共にめざす都市像」について 「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」に大賛成です。これをどう具体的な政策に結びつけていくかです。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「自然や文化」 でしたら、何故希少生物等が息息する里山を破壊して、期間限定人工花壇の花博を開催するのですか？ 横浜の民主主義の誇りでもあった旧市庁舎の市民広間を壊したのですか？ 横浜市に愛着のない方々の政策に思えます。 プランターに植え付けられた花を駅前広場に設置して、それで満足ですか？	その他	ご意見として伺います。
「共にめざす都市像」について カーボンニュートラルと言いながら、関内駅前に3棟もの高層ビルは必要ですか？ 高層ビルとなるとオール電化となりますね？ その電気、何処から送電するのですか？ 太陽光パネルも現在でさえ、巨大ごみで問題が生じています。	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策2「関内・関外地区の活性化推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>以下に、主に「広報よこはま（特別号2022年9月発行）」の記述に対するコメントを述べます。</p> <p>共にめざす都市像（素案P7） 「明日をひらく都市」は抽象的すぎる。この言葉には、「開発」「発展」の意味が込められているのではない。 SDGsが悪いとは言わないが、どんな形であれ「発展」が絶対というものではないと思う。もっと、市民に寄り添った都市像にしてほしい。 誰だって、「前を向いて生きている」。「どこにもない都市である」必要はない。唯一性を目指す必要はない。 それよりも、一人一人が「明るく、元気で、楽しく暮らせる都市」であってほしい。これを「ともに目指す都市像」にできないだろうか。 人には、「生老病死」がついて回る。そのどの時点でも、明るく暮らせる都市であってほしい。 それらを実現するために必要なことをその貢献度から優先順位をつけ施策として実施してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「共にめざす都市像について」 9P基本的方向でお示した、と資料上の下部に記載があるが、前述の記載が内容が見当たらない。頁番号を記載いただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>横浜市では、横浜市中期計画2022～2025策定に向けた議論の出発点となる、「新たな中期計画の基本的方向」をとりまとめ、令和4年5月31日に公表しました。素案の記載は、このことをお示したのですが、分かりやすい記載に関するご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 「共にめざす都市像」の6項目は、2040年を達成年としている。内容は、「基本構想」の「都市像」や「基本的柱」を想起させる。現在の「基本構想」は2025年までである。今回中期計画を策定するにあたり、基本構想の改定を合わせて提案すべきである。基本構想でないものを前提にすえ、これを実現するための戦略や政策を提案して意見を求めるのはルール違反である。 また、「共にめざす都市像」の6項目には「平和」「住民自治」の視点が欠如している。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 一部の恵まれた人を除いて、多くの人が今、将来をあきらめています。 地球温暖化は進み、社会保障制度は縮小され、自分の給料も上がりません。 そのような困難の中にあっても、人々が明日のために一歩を踏み出そうと考えることができる、様々な未来の選択肢にあふれている都市であることを期待します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 直近4年間だけでなく、2040年頃までの未来について考える視点が斬新だと思いました。自分自身の将来、老後についてどうあるべきかについても考えることができました。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>Ⅱ 共にめざす都市像、 明日をひらく都市OPEN×PIONEER 2040 YOKOHAMA (p7) について 「ありたい姿を追求し、皆さんと共に力をあわせて、創ってきた今の横浜。」と述べているが、これまで、市民のありたい姿は何だったのか、その姿に対して現状はどうか、満足だったのか、何が欠けていたのかということを確認する必要がある。 今までの振り返りなしに展望だけ示しても、無責任である。何をどうしていくのか、改善すべき方向・方法・手段が見いだせないはず。行政として市民と共有したい “共にめざす都市像”は何なのか？いつの時点でも書ける美辞麗句での着飾りは、もう卒業して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「共にめざす都市像」について 2022～2025の枠組に全く目新しさを感じません。 敢えていうなら、青葉区には若い方々が増えている印象（世代交代や好イメージなど）があるので、「子育てしたまち」より「新たな子育て世代と、住民との生活環境が程よく共存するまち」にしていだけたらありがたいです。 本音で言うと、まだ現役世代ですが、いまのままの横浜市政が続くなら、地方・海外移住を含めて検討していきます。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>どの施策も聞いたことがあり、アメリカをはじめとする外国からの受け売りで考えていて、歴史ある日本の特徴や輸入に依存すぎる現状を振り返った独自のベースとなるポリシーを忘れていていると思います。“2040年頃のありたい姿”の「地球における持続可能性をひらく都市」に「基本コンセプト」として以下を考えるべきと思います。 (考えるべき基本コンセプト) 横浜市の“2040年頃のありたい姿”に、「エネルギー自給率、食料自給率の100%を実現し、市民すべてが市内で自給自足で普通の生活が継続出来る社会インフラの仕組みを構築する」を基本コンセプトとする。この横浜市の施策の実践が国の施策に影響を与え、日本が自然と調和した持続可能な国に変針するキッカケを与える。具体的な施策を以下、箇条書きで記載します。 ・食料自給率100%は、小さな地域毎に実現させる仕組み作りを制度化する ・水源地の保全確保、外国資本に地権はNG等の法律整備 ・計画的な森林の保全が大事であり、管理する組織や人材の重要性を広め、保水機能維持や木材の活用をサステナビリティの視点を考えた経済を取り入れ、植林を計画的に進める。 ・天候の激甚化により水害やけ崩れリスクが高い住宅地の対策を長期的に計画する (移住も含む) ・省電力設備構築と源水事業をセットで実施していき電気の地産地消を目指す ・一次産業（林業、漁業、農業、畜産業等）の社会インフラとしての重要性を認識した政策実行とITを活用したシステム化に先進事例を試行していく制度の構築。 ・社会保障の維持、年金・健康保険制度等の利点を市民に伝える、将来下がるや破綻する視点ではなくメリットをキチンと伝わる様にする。対策すべきは運用先に外資（外国を儲けさせているだけ）を入れている点で有り、国内の仕組みでの運用を増やすべき ・電気は、水力発電（地域毎の小規模発電）、風力発電、地熱発電、太陽光発電等の自然エネルギーの活用を基本政策する。バックアップとして市の火力発電所等の建設や民間企業の発電所の活用を図る。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>「共にめざす都市像」について 総合的に 「基本戦略」に5つのテーマを設け、テーマ毎の戦略を円循環として捉えたのは、評価できます。その上で、「素案」では、めざす都市像としての理念が示されたものの、その都市の全体の設計図、いわばランドデザインのようなものが提示されていないのは物足りません。横浜のまちづくりの基本絵図が全く不明です。都心臨海部と郊外部を一体的、総合的に把握し、企画調整を行う、庁内横断的な統合調整機能を持った市長直属の機関が必要なのではないでしょうか。 「DX戦略」では、「その司令塔となるデジタル統括本部に、新たに「デジタル・デザイン室」を設置し、行政・地域・都市、この3つのDXを展開します」とあります。これと同様に、この「素案」に基づく「まちづくり戦略」の司令塔となる「まちづくり統括本部」を新設し、新たに「まちづくり・デザイン室」を設置する。そこから、横浜の未来の都市像として、市内全域に亘る統一感、一体感のあるものを打ち出して欲しいです。</p>	参考	計画を踏まえた、市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「共にめざす都市像」について 子育て施策に期待しています。 給食はデリバリーで良いので、実現可能性を重視して下さい。切実です。 子どもは今まで嫌がっていたハマ弁をよくたのむようになりました。	包含・賛同	ご意見につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「共にめざす都市像」について 広範囲にわたる都市のありたい姿を極端に偏ることなく、しかし夢の持てる形で書いてあり良いと思います。 特にウェルビーイングとサステナブルはメッセージとして良いと思います。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「共にめざす都市像」について 明日をひらく都市というフレーズは、英語表記open×pioneerがあることで、これからの横浜市の思いが、より伝わると思います。今後様々な場面で、このフレーズを日本語、英語を色々とバランスさせて使うと面白いと思います。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「共にめざす都市像」について 抽象的な聞こえのよい言葉が並び、何を狙っているか分かりません。「明日をひらく都市、世界のどこにもない都市」とありますが、もう少し具体的な都市像を目指さないものでしょうか。	参考	ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。
「共にめざす都市像」について とても市民のことを考えて作られたものだと感じます。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「共にめざす都市像」について イメージがわからない	参考	ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。
今後の横浜市が、筑波研究学園都市のような、シンクタンクシティとして躍進することを期待します。横浜市の躍進に「ものづくり」や「観光」を目玉にするような旧態依然の発想は時代遅れと言わざるを得ません。これからはソフトウェア、アイデア、特許や技術で世界に打って出ること考えなければ町は寂れていくばかりです。そのためには、根岸の米軍跡地に横浜市大の研究機関を新設し、海外からの技能者や研究者を招聘し、若い人々の研究開発を奨励し、特許をたくさん取得輩出するよう道筋をつけるべきです。海外の教育が大学に入ってから本当の勉学と研究に注力されるもので、子ども時代は寧ろのびのびと遊ぶ時間を確保しているのはご存知のとおりです。横浜市はそうした先進教育、先進研究の拠点として、日本をリードするような都市に生まれ変わるべく注力していくことを提案します。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策23「市内大学と連携した地域づくり」を進める上で、参考にさせていただきます。
「共にめざす都市像」について ・「都市（本素案に392回登場）」「まち（同227回）」「地域（570回！）」の定義が不十分（ない）で、ごちゃ混ぜに使われていて、イメージが描き難い。総じて、言葉ばかりが踊っている ・「○○づくり（339回）」と言葉を曖昧にしている。例えば、P9「強い基盤づくりを目指します」とあるが、「強い基盤を作ります」で何ら問題ない。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
「共にめざす都市像」について 記述が抽象的すぎて、横浜の都市像がよく伝わってこない。 「だれ一人、取り残さない」というような、明確な市民の心に響くような力強い都市像を示してほしい。	参考	ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。
「共にめざす都市像」について 「横浜に関わる、全ての人々が前を向き、希望にみちあふれた毎日を送れる、世界のどこにもない都市を共に作りましょう。」とありますが、 前市長のようにカジノを横浜に誘致しようとして市民生活を悪化させないことを強く望みます。	参考	市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「共にめざす都市像」について 一人一人の個性の発揮が、横浜全体の発展につながる都市を目指していただきたい。都市基盤の整備よりも一人一人の市民の精神的な豊かさが誇れるような都市をめざしたい。社会的弱者（高齢者、障害者、幼児など）に優しい都市をめざしてほしい</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び素案の戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』などに含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 都心部だけでなく、横浜市のすべての地域で、こうなってほしい。例えば、旭区金が谷や中沢などは人口も多く、緑も豊富だが、バスがないと買い物すら困るほど、近くにお店や文化施設が何もない。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 明日をひらく都市という概念が抽象的にすぎ、目標と責任が曖昧にされている。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 2040年頃迄という事で長期的な視線で練られており、内容は賛成です。が、なかなか長期的な視点はわかりづらいので大まかなでもいいので達成する期間をそれぞれの課題ごとに出すとわかりやすいかなと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>戦略は10年程度先の姿を記載し、達成時期については記載しておりませんが、いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>9ページ市民生活の未来 「一人ひとりが自分らしく活躍でき」を、「一人ひとりが人権を尊重されて自分らしく活躍でき」に変更してほしいです。人権を尊重されることが重要だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 令和4年5月31日に公表した「新たな中期計画の基本的方向」にあった『市民と行政が同じ方向を見て』というバカげた表現は消えているが、結局はあの「基本的方向」のまま、批判を受けた部分を「共に行動するヒントになれば幸いです」と謎の表現に変えただけ。 IRのような行政の暴走を止める装置をつくるのではなく、「同じ方向を見て欲しい、見れないなら共に行動するヒントにして」と。市民をたいそう馬鹿にしているようだが、市にヒントを貰わなくて結構。そんなことより市民サービスを向上させろ。一部の利権者だけではない、多くの市民の民意を組んだ行政をする気はない宣言にしか読めないが、上から目線で箱モノ一辺倒の古い都市像を早く捨てろ。</p>	<p>参考</p>	<p>今後の市政運営の参考にさせていただきます。</p>
<p>「共にめざす都市像」について 将来の夢物語を述べても駄目です、現状の課題を解消して住んで良かったと実感出来る事が最重要です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>共にめざす都市像（めざす未来の具体像） 「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」（P161～P186）は、不要。「原案」のとりまとめに当たっては当該項目は削除すべきである。 「基本的方向」に対する市民意見が求められた際、評者も指摘し、意見を述べさせてもらった。おそらく、他の多くの市民の方々からも同様の、それ以上の論理的、科学的な意見が寄せられたものと想像するが、いずれも、「新たな中期計画」を策定する、市当局者、あるいは有識者、コンサル業者らが描く「めざす都市像」は、現実社会から切り離された空疎な絵空事の世界でしかない、等の感想を述べておいた。今般「素案」として示された「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」は、こうした市民意見を一顧だにせず、どうしたことが「基本的方向」のまま再録したものにすぎない。 従って繰り返しになるが、本「素案」の「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」に対する評者の見解は、「中期計画」の最終版をとりまとめに当たっては、当該項目は削除すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市政の問題点は、まさに市職公務員が選良意識丸出しで高踏的に白亜の新市庁舎に籠り、困難な社会で生きる市民の現場に顔を出そうとしない、市民と話そうとしない、窓口も閉じて市民の声も聴こうともしないことにあるからである。</p> <p>7頁「明日をひらく都市」は、カジノIRを造ろうとしていた時の言葉とほとんど変わらない。</p> <p>9頁「共にめざす都市像」は、「WELL-BEING」とか「持続可能性SDGs」とか、流行りの美しい言葉を使えば良いというものじゃない。内実が分からないこの手のイメージ言葉は使うべきではない。高齢者にも理解されにくいだろう横文字では。</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を追記しました。
<p>共にめざす都市像 一部の利権者だけではない、多くの市民の民意を組んだ行政をする気はない宣言にしか読めないが、上から目線で箱モノ一辺倒の古い都市像を早く捨てる。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>共にめざす都市像 ・統計データや有識者等の知見よりも先に市民意見を *有識者とは、自身の利益のために、市民を裏切っても、権力に都合良い意見を代弁し、手続きの正当化に加担する者という認識です。この認識を変えさせるべく、公明正大を担保するため、人選の透明性や理由、実績の公開制度等、その仕組みを整えていただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について 「子育てしたいまち」を強調されたのは、子育て世代として大変ありがたいのですが、一方で周囲から子育て世代を奪うだけに終わったという評がある他自治体の轍を踏まないか心配です。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>人口増に伴う生産年齢人口の充実、内需拡大、経済振興を狙うなら、思い切って国に先駆けて、人口増が続くフィリピンやインドネシアからの移民を大々的に受け入れるとしても良いのではないのでしょうか。 そのための「多文化共生局」のような部署を設けても良いような気がします。</p>	参考	本市においても人口減少が進む中、ご意見の趣旨につきましては、外国人材受入環境整備や多文化共生の取組に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>「子育てしたいまち」を基本戦略とすることに大賛成。明石市に学びたい。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>「基本戦略」について 住宅についてです。子育て世代にとって必要なのは、収入の20%程度で入居できる、適切な広さと近隣に気兼ねせずに子育てできるしっかりした構造の住宅の確保です。 街中で散見される空き家の活用や老朽アパートの改善を進めること、家賃補助などを組み合わせて、子育て世代の住宅確保を支援する施策が、基本戦略実現のために必要だと思います。</p>	修正	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」に含まれていると考えておりますが、子育て世帯に対する支援を明確にするため、文章を一部修正します。
<p>「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」に共感します。臨海部やみなとみらい等の都会的なものから日本大通りなど開港を思わせるもの、少し離れば豊かな自然があり、横浜は東京にはないブランド力があると思います。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「基本戦略」について 「次世代を共に育むまちヨコハマ」は共感、理解できるが、「子育てしたいまち」が唐突過ぎるとともに、全世代共通の全体像を表しているとは言い難い感じがします。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>基本戦略「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」は少子高齢化時代に大切なテーマで良いと思います。横浜市の最重要課題とするには少しパンチが足りない、“日本で一番・・・”とすると具体性があるように思いますがいかがでしょうか。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「基本戦略」について テーマは異論ないが、今後10年20年先の年齢別・所得別人口構成をどのようにしていきたいのか。高齢化を抑制し、生産年齢人口流入を目指すことは理解するが、どの所得層にフォーカスするか。東京から近く、地価も相応に高い。市の財政健全化、市民のより良い暮らしの獲得のために、中流・上流階級の流入にフォーカスすべきと考える。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>「中期計画の全体像」 横浜市としての取り組みの骨子は以下と理解しています。－中長期的な課題：人口減、継続的世情変化への対応、都市機能の維持と進化－これらを先んじて2025年具体施策として「準備」「改善」「発展」させていく ここが一番の肝にも関わらず、P10以前にメッセージとして伝わるような文書構造となっていない点が非常に残念です。もう少し見直していただけないでしょうか？ 当ページの右図ですが、「人口減」「都市機能の維持と進化」という視点でしか記載されていません。 「継続的世情変化への対応」という面がごっそりと抜けています。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>いずれも重要なテーマがあげられています。 しかし、横浜市の財政事情を鑑みれば、どのテーマにも等しく比重を置いて実行しようとするすべてが中途半端で終わると懸念しています。 そこで、このテーマ01～05には優先順位をつけて取り組むべきと考えます。 そして、基本戦略のトップにあげている通り、もっとも優先されるべきなのはテーマ01です。まずテーマ01の十分な実現を最優先し、次いで余力があれば、テーマ02、更に余力があればテーマ03などとすべきです。 第二次大戦後の焦土の中で、日本が復興を遂げたのは、当時の通産省の産業別傾斜配分があったからです。あれもこれもどれも重要などと言っている余裕はなかったからです。 横浜市に住んでいれば、子供を産み、子供を育てるほどその夫婦は裕福になる。こういう実績を出せば、放っておいても横浜市の人口は増え、産業も活発になるでしょう。 どうか圧力にめげずに、唯一の重要なテーマ01だけに注力するようお願い申し上げます。</p>	参考	計画の推進についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>基本戦略の中でも子育て世代を市内にどう呼びこみ定着させるかが今回の要点ではないでしょうか。即ちテーマ01～05についても順序はあります。 自分の考えでは02と05は分かれるのではなく、一項目であると思います。これあってこそ03が起こるのであって、01から順というのは間違った取り組みとなるでしょう。04、01も一項目とすべきでしょう。すると、(02、05) → (04、01) → 03のプロセスが可能だと思います。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 子供に関する費用について、所得制限をなくしてほしい。両親で残業して働いて、各種税金も納めて、それで児童手当、医療費補助の対象外はつらい。二人目あきらめた。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 子育て世代の生活しやすさを進める上でひとつ検討していただきたいことがあります。それは未就学児連れの親の路線バス運賃無償化です。我が家もそうですが車を持たない、持てない家庭が増えています。大人なら徒歩で行く最寄り駅までも子連れの時はバスを利用しています。路線バスは高齢者や障害者の方は無料のバスで乗れるのに対し、我々は毎日運賃を払っており、経済的に負担です。子どもを抱きながら立って乗らざるを得ないときなど、この街はやはり年寄りには優しい世代には厳しい街なのかなと思っています。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 子育て世代への直接支援について、全ての子育て家庭へ平等に支援してほしい。小児医療費等経済的負担の軽減に関しても他の自治体では所得制限がないところも増えているので所得制限をなくしてほしい。児童手当もなくなった中、医療費まで多く負担しなければならぬのは全く納得いかない。所得制限される所得であっても子供をもう1人2人産むのが難しいと感じる原因となっている。所得が多いということはそれだけ横浜市へ納税しているのだから制限を設けないでほしい。そうでなければ子育て世代はどんどん他の自治体へ流入していくと思うのでぜひ平等な支援を検討して頂きたい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>ブランド力向上について、横浜中央市場を観光地化することでこれまでとは違う観光スポット開発につなげるべき。 これまでのみなとみらいのショッピングモール開発が主で、どこに行っても似たようなものばかりで魅力は少ないと思う。 そこで、東京の築地や豊洲の市場のように観光地として再開発し、一般人でも入りやすい環境を整えるべきだと考える。 今の市場は一般人が入っているのかわからないし、車もどこに停めているのかわからない。横浜駅から近いのに案内もなく地元民以外は行きにくい。 この辺を改善し、バイサイドブルーも市場経由にすることで一気に活気づくのではないかな。</p>	参考	ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策5「市場の活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について 子育てについて子育てに力を入れている明石市のようなところは子育て世代の流入で人口が増えています。子育て世代が休みの日にゆっくり過ごせる環境、例えばズーラシア近くの森を開発して公園を作るなどして、横浜市民に優先した料金の芝の広場を作って欲しい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>コミュニティについてですが自治会長をやった事がありますが、若い世代は忙しく自治会を避ける傾向があります。自治会長などの負荷を与えるようなものは行政が務めて、防災やレクリエーションなど若い世代を含めた話し合いなどを主催してほしい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>「子育てしたいまち次世代を共に育むまちココハマ」をめざす基本戦略は賛成です。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>「基本戦略」について 子育てしやすい街への舵取りは大賛成です。 子どもが欲しいけど経済的に断念する家庭は多いと思います。子ども2人ではなく3人、4人いる家庭が増えないと少子高齢化を鈍化させることはできないのではないのでしょうか。経済的な不安がなく生活できる見通しが立たないと子作りには以降しなと思います。 私は中学生2人と1歳7ヶ月の双子がいて計4人を育てていますが、将来が不安です。 あと数年で子ども手当が第三子なのに第一子扱いになってしまうし、保育園代やその他費用の負担が大きく、3歳の無償化になるまで無駄にお金は使いたくありません。 この考え方って経済的にも損失ですよ。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>環境面も大和市や町田市に比べると税金も高く、無償で使える魅力的な施設（大型図書館や室内遊具）もないため、近隣の自治体へ引っ越す家庭の話もよく聞きます。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>教育面も他自治体ではあまりやっていないこと、例えば日本の無駄な英語教育にメスを入れて、横浜で育てれば英会話できるようになるプロジェクトなど、教育面での魅力も欲しい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 何が課題で何が問題で何をやる必要があるのか見えてきません。現実として日本の人口減少と高齢化は不可避であり、生産人口減少による経済活動の担い手不足と税収減があり、高齢化による扶助費負担が重くのしかかること、外国人材の導入が急がれる事、それらを少しでも緩和させるために、企業の本社等の誘致、横浜港を中心にクルーズ産業の再活性化、コンテナハブ港として横浜港の先端IT化、自然災害対策として急がれる横浜環状道路南線の整備、グリーンラインの延伸、遅れた都市計画道路整備の延長、駅周辺再整備による地域コミュニティの商業活性化と高齢者など歩行困難者が安心して買い物や通院通所できるまちづくりを具体的にシンプルに訴えるべきと思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のIX「計画の前提」や素案のV「9つの戦略及び38の政策」等に記載しています。分かりやすい発信に努めて参ります。
<p>子育て支援強化の一貫として、収入制限を撤廃 なぜなら、制限対象者は所得に応じて相応の税金を納めているので、二重に負担を負うべきではない。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
基本戦略の「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」というならばまず児童手当の給付に所得制限を付けることから撤廃してください。1人目の子供を昨年の年末に産みましたが、横浜市は所得が896万円以上だと児童手当が支給無しですね？神奈川県で横浜市が1番名が知れているのに最低額です。年収が1000万円超えてようが未来を担う子供がいるならば所得制限を付けない方がいいと思います。共働きの場合は1000万円等余裕を超えています。時短勤務で保育園の保育料と同じ額しか稼げないのです。何のために働いているのでしょうか？もう少し、子どもがいる家庭にメリットのある活動をしないとどんどん横浜市から人離れていき「まちの魅力・ブランド力向上」には繋がらないと思います。現に私の周りの子育て世代は横浜市では子育て「しにくい」と感じ横浜市から離れていっています。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。 なお、児童手当制度につきましては、国が定めた法令・規則等に基づき、支給要件、給付内容等も全く同一とした、全国民を対象とする単一の制度となっております。
子育ては中学生までではない。もうその時期を過ぎた子供しかいないので、存在を無視されているように感じる。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、子ども・若者育成支援に関する施策・事業の推進にあたっての参考にさせていただきます。
「基本戦略」について テーマ01に「個性や多様性を大切にする教育の推進」とありますが、能力のある児童に彼らの能力に見合った教育を受ける機会を提供する取り組みに欠けていると思います。理数系の能力に長けている児童には、より高度な教育を受ける様にして欲しいと切に思います。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
基本戦略の中に、企業を横浜市に誘致するための戦略が不足していると感じます。税制面での優遇措置、企業誘致に向けた都市整備の検討をし、戦略として具体的な政策に反映してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきまして、素案のⅢ「基本戦略」及び素案の政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
基本戦略として記載されている、5つのテーマに沿った街づくりが実行できれば素晴らしいです。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
公立幼稚園が横浜には無い点は、とても大きな課題であると思われれます。	参考	幼児教育についてのご意見として、参考にさせていただきます。
市内図書館の蔵書が少ない。青葉区在住、山内図書館が生活圏内で一番寄りですが、余りにも本が少なく読みたい本が予約待ちで一年経っても読めない、など図書館利用者にとっても残念な状況です。東京の図書館と比べても蔵書に大変見劣りが目立つ。館内スペースも狭く岐阜や石川など他県の様な素晴らしい図書館がとても羨ましいです。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
山中市長が公約を守り、子育て支援を一丁目一番地と政策として掲げて、その具体的な施策として我々子育て世代の最大の関心事である小児医療の所得制限の撤廃と中学校給食の実施に、即実行に取り組む姿勢に共感と感謝の気持ちでいっぱいです。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
13年後を目指した今後3年間の計画であるので、13年後を想定し最初の3年間に何をやるべきか、それは大きな木になるために足元を固める時期。 高度成長期に作った制度やインフラを修復し、生活面の物理的な面より生活の上での豊かさ、ゆとり、心地よさ、生きがいを感じることでできる横浜にするためのベースをつくること。それがひいては子育てによく生活がしやすく街に魅力がでて人口の流入と活性化につながる基本を明確化し さらに横浜市が健全な形で存続できるよう財政的にも健全であること。これが基本戦略ではないのか。 現在が良くなければ将来も良くならない。すなわち「市民の子供から老人までが今と未来も幸せに過ごすヨコハマ」が、基本戦略ではないのか。 基本戦略が子育てしやすいですか。こらだけでは短期的な視野が狭いテーマではないのか。 子育てができる環境＝親の生活の精神的金銭的ゆとりをまず確保すること。ということは現在の若者、子育て夫婦を支援することが最重要では。共働きする子育て夫婦が子供を安心して預けることができる＝子育て夫婦の親＝老人と子育て夫婦の連携できる環境＝老人にもゆとり。結局子育てできるという環境は世代間を超えた協力できる環境体制づくりができること。 基本戦略はやはり「市民の子供から老人までが今と未来も幸せに過ごすヨコハマ」ではないか？	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案冊子を拝見しました。保育所や放課後キッズの整備だけではなく、子供達が家族とともに充実した時間を過ごせる環境整備も行って頂きたいです。</p> <p>理由、①長時間保育は子供と保護者の絆に影響を与えることが示されています (Hazen,N.L.,Allen,S.D.,etal.,(2015).Very extensive nonmaternal carepredictsmother-infant attachment disorganization:Convergent evidence from two samples.Development and Psychopathology,27,649-61.)</p> <p>②乳幼児期から親元を離れて長時間預かってもらいたいと考えている子供はいません。</p> <p>③親子の愛着形成が上手に形成されない場合、非行に走る傾向が示唆されています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>私の持論ですが、国全体で下がり続ける出生率を考えると、政令指定都市横浜も人口流入に頼らざるを得なくなる日も近いでしょう。現状では子供の預かり先を作ることで、就労人口を確保しようとする政策では、限界がくるはずで。すでに東京23区でも保育所の定員割れが始まっています。</p> <p>重要なのは子供の数が増えることではないでしょうか？3人目以降の子育て世帯には毎月8万円の給付金を支給するなどした方が、箱モノを作ってそこに補助金をつぎ込むより良い気がします。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>[基本戦略テーマ3 生産年齢人口流入による経済活性化について]</p> <p>若手の有能な労働力を市内に確保していただきたいと思っております。それも潤沢に。2019年のデータによれば、横浜市の市民総生産は14兆5,255億円で、日本のGDP599兆6,988億円の2.6%に相当します。</p> <p>市内の生産能力を高めるために優秀な若手をしないで活用し、横浜を日本の経済成長の牽引力となるような地域にしていきたいと思えます。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>奨学金返済で苦労している学生が多くなります。条件をつけて補助金を支給し、社会人として気持ちよく仕事に邁進できる環境をご検討願います。</p> <p>条件として次の2点を挙げておきます。</p> <p>(1) 市内に在住している奨学金返済中の社会人か、最終学歴が市内の大学、高専、高校を最終学歴とする社会人であること。</p> <p>(2) 市内の事業所に勤務中の場合は一定の割り増し補助の対象とする。</p>	参考	学生支援についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について</p> <p>01.子育て世代への直接支援</p> <p>私は孫が小学3年で給食には大変お世話になっております。昨年の市長選挙で「全ての生徒に小学校の様な給食を」公約の市長が誕生して、とても嬉しく支持しています。そして実行して頂かなければならないと思っております。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>基本戦略の子育てしたいまちというメッセージはとても素晴らしいです。</p> <p>子育て支援と銘打っているものの、所得制限がかけられているものが数多くあります。</p> <p>子育て支援と貧困支援は別物です。</p> <p>子育て施策に係るあらゆる所得制限の撤廃について計画内に明記してください。</p> <p>また、国の制度で所得制限があるものについては横浜市としても上乗せを実施するなど、真に子育てしたいまちとなるよう、お願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について</p> <p>10年間の戦略における目標年次は、2032年ですか？それとも中期指針の2030年ですか一緒ですか？別ですか？</p> <p>意見の回答は戦略説明ページへの目標年次の追記に変えてお願いします。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>2. 基本戦略と9つの戦略の関係整理</p> <p>「Ⅲ基本戦略」の部分は、山中市政としてのスタンスが明確に示されており、特に12ページの構造図は縦割り部門別に陥りがちな9つの戦略について総合化を試みたユニークなものになっています。今回の中期計画の核心部分であると考えますので、この構造図についての概念整理や言葉の選択をしっかりと検討すべきだと思います。</p> <p>まず中央の円の基本戦略は、前後の言葉を整理して「明日をひらく都市＝次世代を共に育むまちヨコハマ」と修正してはどうでしょうか。また、以下の9つの戦略を次のような順番で並べ方を再整理して、よりシンプルな円環構造に直してはどうでしょうか。各戦略間の関係性が動的なダイナミズムにより説明しやすいものになると考えます。この場合、「テーマ01」などの数字表示や「誰もが安心して出産育児ができるまち」などの説明文はあえて不要であると思います。また下記の戦略5では「都心」を「都心部」に訂正した方が適切であると思います。</p> <p>○子育て世代への直接支援  (戦略1) すべての子どもたちの未来を創るまちづくり</p> <p>○コミュニティ・環境づくり  (戦略2) 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり</p> <p>○生産年齢人口流入による経済活性化  (戦略3) 未来を切り拓く経済成長と国際都市横浜の実現</p> <p>(戦略4) 市民生活と経済活動を支える都市づくり</p> <p>○まちの魅力・ブランド力向上  (戦略5) 成長と活力を生み出す都心部・臨海部のまちづくり  (戦略6) 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり  (戦略7) 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現</p> <p>○都市の持続可能性  (戦略8) ZeroCarbonYokohamaの実現  (戦略9) 災害に強い安全・安心な都市づくり</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
成長ばかりが目立ちます。脱成長戦略が必要です。高層ビルを建てるのではなく、横浜市に広大な自然と田畑があります。人が生きるには、水と食料が欠かせません。今ある「川」を保全して「田畑」をもっと広く活用に「米」「麦」「蕎麦」等の穀物の増産が必要です。川が有り、池が有り、田畑が有る事で、昆虫・鳥・花々が咲き誇る自然が再生されます。空気もきれいになります。	参考	環境保全についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
太陽光発電とメガ「蓄電池」を各区に設置すれば「停電」の不安がなくなります。	参考	災害時の非常用電源についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
今横浜市は「再開発」と称して「川」「池」「災害用井戸」「田畑」を無くそうとしています。横浜市の未来は「緑」が多い森林が多い、そしてその自然の「恵」を活用した「産業」の再生が求められています。生きた人間・生物を大切にする、未来都市でありたいと思います。自然を一旦壊したら戻すことが出来ません。	参考	環境保全についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
みなとみらいの開発はこれ以上やらないで下さい。無機質な環境がつくれ、息苦しい横浜市になっています。今の「野毛」のような人のおいがする街にして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策1「横浜駅・みなとみらい・東神奈川臨海部周辺のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>基本戦略に足りないものは、どうしたら税収を上げられるかという視点。どんなに素晴らしい計画を持っていようが夢を語ろうが、先立つ資金（税収）がなければ何も実現出来ない。横浜市に欠けているものは全国から人が集まる様な魅力的な施設やアトラクションや場所。分かりやすい例が千葉県浦安市のテーマパークである。年間4000万人が訪れ、宿泊し、飲食する。あの施設のお陰で浦安市の財政は潤っている。横浜はエキゾチックで魅力的な街だと思われているが実際には全国各地から泊りがけで来て楽しめる様な施設もアトラクションもない。観光スポットもある様で、全国レベルの観光地かと言うと、全く違う。京都や奈良、長崎、伊勢志摩などの例を見れば明らか。全国どころか東京や首都圏から訪れても泊りがけで来る様な目的地にはなっていない。皆、日帰りだ。つまり宿泊代や食事代（夕食、飲酒）などのお金が落ちない。そんな中途半端な横浜の観光資源による税収不足を解決し得る起死回生の手段と思われたのがIR計画だったことは誰の目にも明らか。IR計画が実現していれば、施設から上がる固定資産税、事業者からの法人住民税を始めとして多数の雇用が生まれることによる人口増加、住民税の増収も見込めたらうし、全国から人が泊りがけで来ることになってははず。もちろん各施設での事業や催しからの様々な収入も見込めたとはいえない。IRはせっかく候補地に名乗りを挙げておきながら、選に漏れたのではなく、自ら辞退するというとんでもない愚挙に出て消えてしまった。これによって失われたのは余りにも大きい。なくなったものを嘆いても仕方がないが、それに代わる代替策はあったのだろうか。IRに匹敵するような強烈なインパクトのある都市計画、都市事業がないままに自ら辞退してしまった愚行を挽回する手立てを何としてでも考えなければならぬ。この責任はIR反対を掲げて当選した山中市長にあるのは間違いない。市長にIRに匹敵する、或いは勝る対案を示して欲しい。</p>	参考	<p>財源確保についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」 「誰もが自分らしさを発揮し暮らすことができる街、それが私の目指す横浜の姿です」との初心を貫いて下さい。大変で苦しいこともあると思いますが、多くの市民は望んでおります。お願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>基本戦略 ・基本戦略はいつも総論OK的な表現になりがち →全部実現できるんすか？ ・ありたい姿から逆に何をすべきかを定めることは重要だが、日本の将来を考えると、色んな事が縮小均衡に向かうと思われるので、譲れないことを決めて欲しい。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本戦略」について バランスよく見えます</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>「基本戦略」について 「まちの魅力・ブランド力向上」 横浜の歴史は「ペリー来航」からなので、たいした歴史はありません。西洋文化の日本で一番最初に影響を得たところとしては、外国人には魅力はありません。国内向けの魅力でしかありません。中華街も世界中にあり、国内にもあることから集客力は望めません。横浜独自のブランド、スカーフなどの製品は、国内向けに力を入れるべきです。鎌倉や箱根等の観光地の隣町として、交通アクセスのための街づくりをしてはいかがでしょうか？</p>	参考	<p>市の特徴についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>共に目指す都市像実現のための基本戦略策定の推論の仕方も、非常に狭いものになっている。P11にある「仲間を増やし」「子育てしたいまち」は、必要かもしれないが、十分と言えるのか。都市像実現への貢献度がどれほどなのかも示さずに、それ一本で行くのは、どう見ても妥当性があるとは言えない。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>基本戦略・戦略の構造（素案P12） テーマが円環になって配置され、矢印でつながれているが、この矢印の意味は何かかわからない。時系列を示しているのか、因果関係か、何なのだろうか。テーマ3の生産年齢人口流入とあるが、人口増を想定しているのか、生産年齢だけの人口増加を目指しているのか不明である。いずれにしても、無限の未来までは何であれ“増加”を見込めるものではない。安定して持続するという事を考える必要がある。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
13Pテーマ01の中の費用負担軽減の対象の中に教育費の負担軽減についても検討いただきたい。 また、幼稚園の保育事業（こども園）を増加させることも検討いただきたい。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
子育て支援、次世代育成に重点 横浜市、日本国、全て次世代の子供たちが荷っていくのです。子供が平和でゆたかな土地で育って、たくましく、優しい人になることを願っています。 そのために横浜市が理想の市政を行いますことを願います。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
基本戦略・戦略1について (1)「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」と謳う基本戦略を掲げ、テーマ01「子育て世代への直接支援」から戦略をスタートさせ、テーマ05「都市の持続可能性」まで好循環させる組み立ては、新市長の下新しい横浜市政に相応しいとまず評価いたします。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
【11P】行政サービスの最適化、という言葉があります。最適化の意味合いがわかりません。行政の業務内容と費用との兼ね合いのことを言われているのであれば、中期計画素案を作成するにあたって、どのような最適化を行なったのか、あるいは、行なうのか、を明確にして頂きたいと思えます。そうでなければ、計画も市民の見えないところで「何らかの手法で最適化されて可決・実施になる」ということとなります。	その他	行政サービスの最適化は、持続可能な市政運営に向けて、限られた経営資源を最大限生かし、行政サービスの質の向上と業務効率化・コストの適正化を目指すものです。本計画の行政運営分野に掲げ、実現を図っていきます。
「基本戦略」について 「子育て」を基本戦略として、政策群の柱に据えたことは評価できる。しかし、9の戦略をそのままにして、5つのテーマにはめ込むことをしたため、項目が錯綜してわかりにくくなってしまった。また、「共にめざす都市像」の6項目と5つのテーマとの関係が不明である。	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
「基本戦略」について 横浜市はこれまで、「子育て世帯に優しいまち」とは決して言えなかったと思います。 子どもたちが自由に集える児童館は無く、学童保育制度は充実しておらず、中学校給食もありません。 伝統的に町内会の加入率が高く、2世帯住宅も以外と多い横浜では、子育ての社会化が発展して来ませんでした。 新しく横浜住む方々の多い北部では、子育て中の保護者自身が、助け合う制度や団体を新たに立ち上げるケースも多かったと思います。 そのような中、基本戦略として「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」を掲げたことは、大変すばらしいことと思います。 行政は、「人」が住まなければ成り立ちません。 これまでの企業誘致、観光客誘致を目指す都市から、住んでいる人々に優しく、これから住む人にとって魅力のある都市を目指していただけることを期待しています。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「基本戦略」について 子育て人口を増やすことにより、高齢者を支えていく等の好循環を生み出す、という考え方に大変共感しました。若い人、新しく市民になる人、これから生まれる人だけでなく、長年住み続けている人も大切に続けるまちであり続けてほしいです	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P11. 中期計画の全体像 2040年頃の課題が解決した姿と記載がありますが、どれも今実現できているべき、若しくは数年で追いつくべき項目と思えます。(P13～P17) また、全体像がひどく曖昧で横浜らしさがありません。横浜市を他の市に置き換えても成立すると思えます。横浜らしさを活かした提案を希望します。	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
中期計画（素案）を見てみますと、基本戦略に「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」が据えられています。林市長の計画と照合してみますと、その位置づけが明らかに違います。計画策定への視点、姿勢、力点の置き方が違うということだと理解します。わたくしは、この姿勢・視点に共感し、大賛成です。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画の基本戦略にあるように、“子育てするなら、ヨコハマで”と移住してくるようになるためには、子育て世代の人びとを引き付けるだけの誘因、魅力的な施策が不可欠になり、また、ヨコハマの特性が多くの人びとの目にとまるようにならなければなりません。そうだとしますと、「子育て世代への直接支援」が子育て真っただ中にある市民にとって最も切実な要望・要求に応じて支援であることが不可欠な要件になる筈です。素案にある「中学校給食の在り方」は、このような観点からみますと、まだ、大きな隔たりがあります。せっかく政策として取り組むのであれば、生徒と保護者の当事者たちの要求・要望にストレートに応え、生徒たちが心から喜ばれる施策にしていきたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「次世代を共に育むまちヨコハマに」は、“子育て・教育を共に支え合うヨコハマに”と言い替えることが出来ると思いますが、それを合言葉に、まちづくりを進めようとするのであれば、「コミュニティ・生活環境づくり」が、子どもたちの成長・発達を見守り、励ますものでなければなりません。一言で言いますと、子どもに本当にやさしいコミュニティ・地域づくりであることだと考えます。よく言われていますが、それは、高齢者や社会的弱者にとってもやさしい地域になることだと固く信じています。是非、子育ての施策と両立する、一貫性のあるコミュニティ・地域づくりの施策を目指してください。言う必要もないことですが、施策全体が相互補完するものでありたいものです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本戦略」について 子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマとても良いと思います。明石市のように、子ども施策を充実させれば若い人達にも住んでもらえると思います。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「基本戦略」について 最も重要視したいのは、横浜市が何をメインにして行政運営していきたいかという方向性を、もう少しだけでも良いので具体的に提示していただきたいと思います。給食事業もいのですが、それ以外があまりにも漠然としすぎていて、行政区分人口（300万人）に対するきめ細かさが不足しているように感じます。一方、小生は2022年より障害者認定を受け、初めて横浜市の障害者支援の実態を知りました。行政毎に施策は異なるようですが、初めてそれなりに高額な市民税を払い続けてきて本当によかったと思った次第です。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>基本戦略 「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」 ・子育て世代への直接支援 給食費無料を提案します 理由 中間所得世帯以上の子育て世帯(納税してくれる世帯)を取り入れるには、次々と所得制限されてる世帯が納得いく平等な政策が必要です 児童手当等のお金でははつきりって本当に子供の為に使われるか分かりませんが、小学校の給食というなら、平等であり、確実に子供の栄養となり、子供の為に使われます。生きていくのに食べない子はいませんよね？ここに注目すべきです。 修学援助費の給食費の項目をカットできます。学校によっては、就学援助費を申請している家庭が半分との話も聞いています。それでしたら全ての家庭に税金で賄ってみてはいかがでしょうか。 思いきった政策と思いますが、納税世帯が流入するリターンを考えてみてください。</p>	参考	<p>学校給食についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について            テーマ1について、            経済的負担の軽減は、所得制限をつけずに、実行してほしい            所得制限をつける場合も単純に年収だけでみないでほしい。本人たちの努力を考慮してほしい。            現行、所得制限で様々な補助が受けられない世帯の中では、横浜は子育てがしづらい。お金がかかるとよく話題になります。そのため、東京等への転居を検討される方も多いです。            困ってる人を助けることは必要ですが、努力をしている人が報われる制度設計をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>子育て世代への直接支援について            今の若い世代は子供を育てる為、月数万円の仕事をしている人が多い。            子育ては大切な仕事として捉え、しっかり子供を育てて行くために月10万円支給する。            育児を、将来の日本を支えて行く人材を育てる立派な仕事として捉え、市がお給料を出す。という考え。            数万円のパートで子供を犠牲、母親が苦勞している家族が大半。            母親をもっと家庭に戻しましょう。            子育ての大切さ、人間形成の大切さを考えて頂きたい。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます
<p>コミュニティ、生活環境づくりについて            現実的に今横浜市で子育てをしようとする、無料で伸び伸びと遊ぶことが出来る施設が無い。            確かに地価は地方と違うので大変だと思います。が、だから仕方がないではなく、ではどうすれば、また、本当に子育ての大切さを感じているならそれを大優先にすべきではないでしょうか。            次世代がこの街に住んで欲しいと思うのであれば。            こどもの国と言う素晴らしい施設があっても高い入園料、立派なログハウスがあっても駐車場が無く小さな子供を何人も抱えているお母さんが一人で連れて行けるでしょうか？現実子育てをした人は出来ないことはわかります。            また、横浜市には児童館も無い。            土日、子供を遊ばせるのにお金をかけて遊ばせなければならぬ所しか無い。これで若い世代が集まるでしょうか。            地方で子育て世代が集まっている所は、児童館設備が本当に素晴らしい。            地方でできて横浜市では出来ない。            出来ない理由を探すのではなく、どうやったらできるか。そちらに目を向けないと子育て世代は、住み着かない。            こどもの国の近くにスーパー銭湯が出来た話があるが、全くもってのほか。近くにスーパー銭湯があるが、ガラガラ。            横浜市としてもこどもの国をもっと活用して、その周りに横浜市が支援をして子供のための施設を作るべき。            点在するのでもいいが、今あるところから子育て世代を集めて行く、そして広げて行く。            英語の力、都内にある子どもが仕事を体験できる施設、海外にあるような子ども施設。            まだまだ子供のために資金を掛ければ世の中は変わってきます。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます
<p>子育て支援、次世代育成に重点を置く            未来を担い築いていく子どもや若い世代が豊に安心して学び成長できる環境を整えることは、とても重要なことだと思います。数十年の目先のことではなく、百年、二百年と先を見据えて取り組んで欲しいと思います。どの子どもも無限の可能性を持っていると思うので、誰でも自分らしく生き生きと生活ができるまちにしたいと思います。            近くの公園の改修があったのですが、これまでの設備もそうでしたが、利用するものの感覚とはかけ離れた設計だったようで残念です。もっと利用者や地域の声を反映できるようなシステムができれば良いですね。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>現状認識</p> <p>1. 産業、消費者環境（貴都市像テーマ05, 03に関して） 横浜の主たる産業基盤の状況</p> <p>1) 重要な労働需要源であった石油産業、化学工業、重化学工業は今後著しい成長が困難と思われる。</p> <p>2) 自動車産業 E V車への転換で、それを支える従来の部品産業の産業編成、特にモーター及其関連企業がこの地区に集積されているかがkeyとなり何れ、広範囲に大規模な産業転換が行われる可能性があるとの推測され、将来の展望が不透明である。</p> <p>3) 港湾関連はアジアでの競争に取り残され、衰退の一步と推測される。</p> <p>4) 観光過去のしがらみにとらわれ、資源が十分に有効に機能されておらず、とくに横浜を代表する中華街は高い、ますい、客を待たせる等の悪循環に落ちいつており、今後更に地区の起爆剤となるとは考えにくい。観光のみならず、集客力のああるスポーツ、特にイベントを抱き合わせが出来ると例えば、アーバンスポーツへの事業環境整備及び企画が不十分と思われる。</p> <p>5) 起業を目指す方への支援 今後、企業を目指す特に、若者（学生）に対して資金面及び具体的な場所の提供等が市の政策として明確に示されていると思える</p> <p>2. 生活居住環境（貴都市像テーマ01, 02, 03に関して） 生活居住及び社会生活空間への改革</p> <p>(1) 個（家族）生活居住空間の問題 大雑把に言えば、日本の生活居住空間の基礎は文化的な相違もあり、中国の大家族制の生活空間と違い、戦後特にまずは多くの住居を提供するとの発想より、家族の年齢経過による将来の要請を十分に考慮する余裕がなまきまま生活居住空間を計画した事で現在の諸々の問題が起きています。従い今後、根本に生活居住空間を大改善する発想が必要と考えます。</p> <p>(2) 社会生活空間のコアの問題 やはり社会性空間においては、利用者側の年齢経過、生活環境の変化に対応する為、当然、育児、教育、介護、地域コミュニティー等へ、公共サービスの利用者へのアクセスと運営の観点より新しいサービスを、今から時間を掛け徐々に構築していく必要があると考えます。</p> <p>(3) 街づくり環境（貴都市像テーマ01,02,03,04に関して） 今後の人口の減少に伴う少子高齢が進み、つまりそれが住民の居住環境のサービス低下を一層加速し益々じり貧となると思われ、労働力の不足が顕著になってくる、一方経済的に考えても、もはや今後高度成長は難しく、一定の成長下で経済運営が当分続くと考えられる。その為、労働不足に対応する必要性と、家族所得の確保のため、社会経済的な時代の要請として、女性の社会職場への進出が今後一層、急速に進む事は必定と考えます。</p>	参考	市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>基本戦略テーマ02, 03 住まいの問題 空き家問題がクローズアップされている一方で、住み続けるための方策が提案されていないと感じます。特に低所得者や高齢者が借りられる住宅が少ない現状があります。横浜市居住支援協議会があるものの、まだまだ地域の不動産屋との連携協力が進んでおらず、また、縦割り行政の弊害でしょうか、協議会と福祉保健サービス課と協働するということもほとんどありません。まちそのものが新しく建て替わり家賃が上がる中で、身寄りのない低所得者や高齢者はますます行き場を失います。足腰が弱り、アパート2階からの転居が必要となっても、新たな居居が見つけられません。保証人のいない方に対して、保証会社の判断基準が見えづらく、審査に通らない方も多くおられます。居住支援について、関係機関や部署間の連携を強め、居住支援法人を増やす働きかけをおこない、住み慣れた横浜で暮らし続けることができるような仕組みにしてほしいと思います。</p>	包含・賛同	ご意見につきましては、素案の政策2「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について            子育てしたいまちを目指すなら、子どもたちの為に予算を使って下さい。            まずは配達弁当ではない、温かく出来立ての中学校給食を実現して下さい。            図書館も他の自治体に比べ、著しく劣ります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本戦略」について            子育てしたいまちを中心において、関連するテーマが広く関連性を持って貢献し            合いつつ良い循環を生むという良い構成だと思えます。            ともすればある分野に力を入れることは他の分野を軽んずることとられがちなところ、            両立を目指すメッセージは新しいと思えます。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「基本戦略」について            市政として様々な戦略がある中で、この基本戦略が設けられた事で、市長の今後4年間の思いが、良く分かります</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>素案の基本戦略「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」の、子育て世代への直接支援～中学校給食の実現についてが「デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向け推進」となっているのが理解できません。            「デリバリー方式による供給体制」と「生徒に満足してもらえる給食の提供」は両立しません。デリバリー方式はやめるべきです。それは「ハマ弁」で実証したはずです。            デリバリー弁当が不評で喫食率が30%程度という事実を正しく評価してください。「おいしい」と満足してほしいならデリバリーでなく、あたたかい給食を提供する小学校のような自校調理方式を基本とする給食です。            デリバリー方式の給食を導入したものの結局「自校調理方式」に変更した自治体もあります。なぜ横浜市が敢えてデリバリー方式なのか理解できません。            横浜市の中学校の半数で「自校調理方式」での給食が実施可能との調査がされているそうです。より良い給食を実現する可能性があるのになぜしようとしないのでしょうか。            横浜市の中学校が一斉実施できないならできる学校から順次実施してもよいと思います。            市民は中学生に「温かくて、おいしい、楽しみな」給食の提供を求めています。            長い間「横浜市にも中学校給食があったらいいな」が子育て家庭の願いでしたが、ついに中学校給食が重点政策になりうれしいです。近い将来に「横浜市にはおいしい中学校給食がある」と言われるようになって期待します。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「基本戦略」について            「子育てしたいまち」に是非ともなってほしいです。            現在、小学生を育てており子育て世代の友人、知人が沢山いますが、「子育てするなら横浜市はやめた方がいい」と皆、意見が一致します。小児医療費の所得制限、中学校給食が未だに行われていない、等、デメリットしかありません。小児医療費の所得制限が無く中学校に給食制度のある他の自治体が羨ましいです。転入、転出する友人がいると横浜市以外の自治体を勧めています。それくらい、子育てで必死な世代にとっては重要な問題です。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>その他            山中市長が注力する「子育て支援」に期待します。            次世代の人口を増やすための子育て支援こそ、新しい事業よりも大切だと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について ぜひ実現して欲しいと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「基本戦略」について 「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」という基本戦略、すばらしいと思います。 前市長まで永らく今回のテーマ03の経済活性化から語られていたところから、テーマ01「子育て世代への直接支援」からの循環への大きな転換、歓迎します。ここに未来があると思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「基本戦略」そのものにも、「38の政策」等にも問題点や課題が含まれている。これまでの「経済活性化」を起点とする戦略を転換するような「基本戦略」だけに、これまでの戦略を進めてきた勢力からの厳しい批判にさらされるのは避けられない。それだけに、踏み出した第一歩を確かなものにし、第二歩につなげるために、何点か補強的意見を提起したい。 「基本戦略」そのものの問題点と補強意見。 素案(P.11)には、「『基本戦略』への貢献度が強い策を優先して実行していくこと」に続いて、「『行政運営の基本方針』を踏まえた行政サービスの最適化(事業手法の創造・転換)をセットで進め、将来の横浜市民を支える財源もしっかり確保していきます」という一文がある。 ・問題点の一つは、この文章の限りでは、こども対象の予算は優先するが、他の扶助費、障害者や生活保護などや市民団体向けの補助金の削減、市民が利用する使用料、利用料金、手数料などの負担増、さらなる非正規化、民間委託化による人件費削減等々、他の市民サービス削減につながらないか危惧が残る。 それを解消するために、他の市民サービスにしわ寄せしないことを明示すべきである。 ・もう一つ、こちらがより大きな問題点だが、「経済活性化」のための新規大規模開発、それへの財政投入に余地を残していることである。 横浜の経済界を代表する横浜商工会議所は「カジノ誘致」最大の推進勢力であった。そこが来年度の予算に向け「横浜市政に関する要望書」(9月)を提出している。「新たな経済成長ビジョンの策定」と併せ、山下ふ頭再開発に関しては「統合型リゾート(IR)に匹敵する大型プロジェクトによる新たな産業振興」を、さらに旧上瀬谷通信施設跡地活用については「複合的な集客施設の推進」「新たな交通システムの早期整備の着手」をなど、いくつもの「経済振興」策が盛り込まれている。 市会の多数を占める野党、とりわけ自民党は、それらの要求を背後に「基本戦略」を骨抜きにしようと攻撃を仕掛けてくるのが大いにありうる。この攻撃に対して有効に反撃し、打ち勝たなければ、「子育て世代への直接支援」を起点とする「基本戦略」は堅持できず、好循環は貫徹できない。従来の「経済活性化」を起点とする市政運営に逆戻りしかねないリスクを抱えているのである。 そうしないためには素案の中に、新規の大型開発についてはこれまでの「費用対効果」による検証を元に、適切な基準を設定し、「大型開発を規制する」条項を設けるべきである。これは、「子育てしたいまち、次世代を共に育むヨコハマ」の「基本戦略」を打ち固めるために必要なことである。 かつて飛鳥田市政は「六大事業」を提起し、その後長期間、都市(まち)づくりを導いたが、「乱開発」「公害」など市民生活に影響する開発に対して国に先んじて厳しい規制をかけたことが一つのカギであった。時代は変わったが、その経験には学ぶべきところがある。</p>	<p>参考</p>	<p>「基本戦略」や「38の政策」の推進等に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>基本戦略、「子育て支援・次世代育成に重点」に賛成します。とりわけ今、平和を求める理念が求められていると思います。ここに力を入れていただきたい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について すべてに都市として全体像が美辞麗句の羅列イメージで、現状と実現への過程との乖離を感じる。 既に財政ビジョンが策定されているのであれば、それに沿って戦略を立てざるを得ないのではないか。それぞれの施策でも基本戦略との乖離がみられる。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」等に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>子育てしやすい町横浜をぜひ実現してほしいです。他の自治体でできている子育て支援政策が大都市横浜だからできない（財源がない）とあきらめてしまわないでできるところからやってほしいです。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「基本戦略」について テーマ1・2は大方賛成です。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>「基本戦略」について 子育てを戦略の中心に据えたことは、本当によい決断だと思います。高齢者ですが、税金は未来のために使うべきです。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「基本戦略」について 「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」を掲げ、山中市長が就任にあたって述べた「誰もが自分らしさを発揮し暮らすことができる街。それが私の目指す横浜の姿です。」の初心を貫いた基本戦略となっております。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>「基本戦略」について 自宅は第一種住居地域です。周辺は坂道、細道のためベビーカー、子供を乗せて自転車での買い物はとても大変です。また高い運転技術が必要な道路事情なので歩いて行けるスーパーがあれば住みやすいのと思う日々です。 近くに育児用品や学用品を扱うお店がもつとあれば、子供を遊ばせる公園、習い事、学童施設があれば住みやすいのと思う日々です。 学校の児童数は増加傾向にありますが、最寄り駅のショッピングモールは子育てターゲットのお店も少なく不便を感じます。 子育て世帯が住みやすい町はバリアフリーを感じる道路、ショッピングモールにもユニバーサル仕様のトイレ、買い物だけでなく一休みしやすいなど高齢者にも優しい、全世代に住みやすい町だと思うので「住みやすさ」を感じる環境づくりをしてもらえたらと願っています。</p>	参考	ご意見につきましては、計画を踏まえた、基本戦略の推進に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」と基本戦略に据えたことは市政の基本方向を市民の生活を最優先にした政策を行うことを明確にしたことで評価します。5つのテーマの最初に「子育て世代への直接支援」を据え、ここをスタートに生活環境づくり、生産年齢人口流入による経済活性化から最後に都市の持続可能性につながる連関性は共感できます。この基本戦略を全政策づくりに貫いていただきたい。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「基本戦略」への貢献度が強い策を優先して実行していくこと、「行政運営の基本方針」を踏まえた行政サービスの最適化（事業手法の創造・転換）をセットで進め、将来の横浜市民を支える財源もしっかり確保していきます。 このように基本戦略の項に書かれているので徹底していただきたいです。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について 東京郊外で子育てがしやすいイメージがありますが、医療費は1歳からかかり、中学校には給食がない。都内から引っ越してきて驚きました。子育て層を引きつけるには少なくとも都内とおなじ子育て支援策を設けるの必要があると思います。小学校の学童であるキッズは素晴らしい制度だと思います。誰もが利用できるし、質も良く、リーズナブルすぎる利用料。もう少しここはアピールしても良いかと思えます。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」及び戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 子育て支援を中心としてとても良いと思います</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>「基本戦略」について 11ページに「将来の横浜市民を支える財源もしっかり確保」とありますので、しっかり確保してください。横浜市は花博やカジノIR誘致などのイベント関連にお金を多く使うイメージがあるので、生活に関わる財源が不安です。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「基本戦略」について 13ページテーマ2の施策例に、スポーツに親しむ環境づくりがあるのに、文化芸術に親しむ環境づくりが無いのは何故か。テーマ2に戦略6を位置づけるべきだ。区民文化センターや横浜美術館、みなとみらいホールなどの施設を有しているにも関わらず、子育て世代のそれら文化施設の知名度は低い。私自身は知っており、それら施設の子供向け事業に参加しているが、周りのママ友パパ友の話を聞く限り、施設の目的も含め十分子育て層に普及しているとは思えない。このような細部だが、スポーツはあるのに文化芸術がないと、文化芸術好きは蔑ろにされているように感じるし、横浜市として注力する気は無いのかと勘繰ってしまう。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 各政策の、現状の類似または当該施策からの変更内容、変更予算額をお教えてください。又、今後は表記ください。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 重層的支援強化の施策の具体策はどの政策が当たるのかお教えてください。又、夕テ割り行政が問題視されていますが、その具体的な改善施策をお教えてください。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 子どものいない大人や、育休中や復帰後の親ごさんの地域での居場所・活動の確保と地域参加促進の施策が必要と考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 「横浜市は行政単位が多く過ぎるから、動きが悪いね。」と多くの人から聞きます。改善が必要です。大都市行政の弊害を是正する施策を実行してください。例えば、 ・各区や、より小さなエリアの特徴を活かせる区の裁量権（予算も含めた、できれば各部局の市全予算の各10%程度）のある自由度のある施策が可能な仕組み作りをお願いします。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅶ「大都市制度」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 「横浜市と県の連携が足りない」を解消する施策をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、市と神奈川県との連携に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 財源について800億の人員費削減：人員削減で、行政サービスを減らすしかない。既得権の削減と新施策への再配分。市民協働で効率的にサービスする。</p>	修正	ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。
<p>「基本戦略」について インクルーシブな社会には、分離しない教育（学び・育ち）が必要と考えます。どんな具体的な施策等あるのかお教えてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本戦略」について            学校が地域活動と連携する姿勢が不足していると感じます。特に校長先生の考え方によっても、多きな開きが有るようです。より地域とのつながる予算と仕組みが必要と考えます。学校地域コーディネーターには各校10万しか予算が無いようですが、それでは、学校と地域の協働は進みません。又、良い事例の展開が出来ていないので、確実に進めていただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について            都市像にしても、戦略にしても、市会で市長が具体的なところは答えられなかった。            市会での豊田市議の指摘通り「行政の共通認識」になるはずのものが、読み手によって感じ方の変わるもので良いわけがないだろう。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>基本戦略の「子育てしたい」「次世代を共に」は若い世代むけが重なって表現されています。どんどん増えている高齢者や頑張っている壮年世代のことが基本戦略に表されていません。「5つのテーマ」の「生産年齢人口・・・」には壮年世代のことがあります。高齢者問題・対策については、含まれていません。5つのテーマの右隣のそれらの具体例にも、高齢者のことは何も書かれていません。山中市長は、選挙の時は自分の親の「老老介護」の話をしたり、「三つのゼロ」では「敬老パスの75歳以上の負担ゼロ」を公約に挙げていましたが、「基本戦略」と「5つのテーマ」の中にはなく、高齢者問題は眼中にない、基本戦略には入れなくてもよいテーマであると見なしているように思われます。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>前回の「中期計画の基本方向」にはなかった「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」という「基本戦略」を入れたことは評価したい。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>子育て支援、次世代育成に重点に大賛成です。            市長さんがおっしゃるように子育てに魅力ある街は高齢者にも、子育てには直接関係ない人達にも、すべての人に魅力ある街になると思います。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>テーマ01子育て世代の直接支援            この表現にはどうしても現金給付的な着想を持たれがちです。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「子育てしたいまち」            恵まれない妊娠や子どもを持つことに肯定的な気持ちを持たなければというイメージを与えないか？結果的に子育てしてよかったという感覚を大事に、子ども子育て支援を中心に掲げるからこそ多様性や横浜らしさを今この時に前面に出すのは結果、子ども子育てに還元されるには次世代は子どもだけに限定せず、それぞれのライフステージごとに常に未来を描けるものであってもよいのではないか？と思った。            9つの戦略のうち1「すべての子どもたちに未来を創るまちづくり」が基盤となるワードで統一していったらどうか？</p>	参考	ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>13P子育て世帯のコミュニティ、生活環境づくりの施策例            「図書館づくり」「町内会・自治会」と具体的に施設、組織が前面に出てきていることと後述の「環境づくり」「風土づくり」との兼ね合いツールと醸成していくものとの事例表記のレベル合わせが必要では？</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>中期計画の全体像(P.11)            政策の優先順位付けに賛成。            市長が市長選で訴えた3つのゼロなどの公約を、市民に誤解のないように、選挙で市民に与えたイメージどおりに実現させるために税金を優先的に使うべき。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠～出産期～乳幼児期～」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>&lt;該当する項目箇所：子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ（p.12 など）&gt;</p> <p>■意見</p> <p>－規模が小さく、知名度も低く、これから人口を増やそうとする市町村ならならばいいが、すでに規模が大きく、知名度が高く、多様な人々が住み、成熟度も高い都市のスローガンとしては特定セグメントに片寄り過ぎて、広範な市民の共感を得にくい。</p> <p>－将来の納税者を育てることが必要かという思いは判るが、直接そこに行こうとし、直接支援をするとすると、必ずしも適切でなく、効果にも疑問が生ずる。</p> <p>－子育て支援は、分野別戦略の筆頭にあってもいいが、まちづくりの基本戦略は、多様な市民、納税者の支持と共感をもう少し得やすいものとした方がよい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>誰もが住みたくなる横浜には山中市長が公約に掲げた3つのゼロ(敬老バスの無料化、子ども医療費の無料化、出産費用の無料化)は待たないと思います。とりわけ子ども医療費、出産費用の無料化は遅くとも23年度には実施してください。敬老バスについては市民全体が納得するために時間がかか手もかまわないと思いますが、高齢者の健康維持や生きがいなど施策の必要性を横浜市が周知に努めてください。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に、着実に計画を推進してまいります。
<p>P13基本戦略子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ</p> <p>基本戦略を子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマにしたことは大歓迎です。</p> <p>泉明石市長も子育て重視で町が活性化したことを発信しており、国会に参考人に呼ばれたりしています。また、明石市ホームページの「市政ガイド2022」でも詳しく紹介しています。</p> <p>泉明石市長参議院での子ども家庭庁設置での参考人発言2022年6月7日で詳しく分かります。</p> <p>どのような予算設計で、明石市は5つの無料化を達成したか。</p> <p>「予算の一般会計の1%をシフトすればいいだけです。明石市の一般会計はだいたい1000億円、その1%は10億円。毎年、10億円をシフトして、私が就任してから10年かけて100億円くらい増やし、もともと120億円だった子ども政策の予算を250億円にした。税収が10億円落ち込んで、その額が子どもに回ると考えればいい。そうすれば予算を組めるに決まっているわけです。</p> <p>もはや子ども政策は、理想ではなくリアリティだという空気が広がってきていると言っています。</p> <p>横浜市の予算規模からいえば、1%と言えば、いくらですか？</p> <p>そうした規模で、子育て重視、中学校給食もおかずも温かい生徒と親に喜ばれる内容にしてください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>p.11「子育てしたいまち次世代を共に育むまち」</p> <p>このコンセプトはとてもいいと思います。子どもを中心に考える政策に大賛成です！</p> <p>しかし、2030年までに温室効果ガスを大幅に削減し、気候危機を回避しなければ、子ども達には命の危険を伴う過酷な未来、希望のもちにくい悲惨な未来が待っていることにお気づきでしょうか？気候変動が後手後手になるほど、子どもたちには解決不能な気候危機を残してしまうことになります。気候危機をいとめるには、2030年までの本気の対策が必要です。今がラストチャンスです。なので、この中期計画では、子育てと同列、もしくは子育てのすぐ下に「気候変動対策」を入れてください。そこまでしなければ、気候変動の深刻さは市民にも伝わりません。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>p.11「テーマ5都市の持続可能性」</p> <p>都市が持続するためには、2030年までに大幅に温室効果ガスを削減しなければなりません。2013年度比50%削減は、従来通りの対策を続けることを意味します。最近「1.5℃の約束」の報道でも繰り返し言われていますが、もう従来通りの対策では気候危機は食い止めることができません。</p> <p>都市の持続のために、地球の持続のために、気候危機対策をもっと分かりやすい中心軸に示してください。今のままだと、自然災害と同列で、地球温暖化が自然現象のように見えてしまい、市民が危機感をもちにくいと思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>基本戦略 都市像にしても、戦略にしても、市会で市長が具体的なところは答えられなかった。 市会での豊田市議の指摘通り「行政の共通認識」になるはずのものが、読み手によって感じ方の変わるもので良いわけがない。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>基本戦略に「子育てしたいまち次世代を共に育むまちよこはま」を掲げたことは、山中市長が就任時に語られた「誰もが自分らしさを発揮し暮らすことができる街。それが私の目指す横浜です。」との初心を誠実に貫いてきたことに敬意を表します。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>P.13「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」の実現をずっと願っている者です。 「国は人なり」といいます。かつての日本には「子は社会の宝・子育ては国家的仕事」という言葉がありました。世界的にも「ひとりの人間を育てるには村中の人が必要」という古くから子育ての名言があります。 「かなーちえ」に来る母たちは皆、聞いたことがない、自分たちの感じる今の世の中では信じられないと。社会の中で「子育て」の位置がとても低いように感じています。</p>	参考	ご意見につきましては、Ⅲ「基本戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>基本戦略の「子育てしたいまち」は良いと思います。人口が増え、税収も増え何より未来につながるコンセプトですね。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」に大賛成です。これを脊柱とし、ゆるがぬ市政の推進を強く望みます。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>基本戦略は素晴らしいと思う。子育てをまずかかげ誰もが住みたい街をめざす事を一番にかかげたことは評価する。 中学校給食、医療費など、住みにくいと転居していく若い人を多く見ている。横浜を選ぶには子育て世代が住み続けたい街にする施策をうつことだ。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「テーマ01子育て世代への直接支援 医療費助成の所得制限や一部負担金の撤廃枠を高校生まで引き上げて下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>共稼ぎがどんどん広がるのに公費負担のない家庭弁当に固執し続けた市の歴史にやっと終止符。全員対象の中学校給食を歓迎します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>なぜデリバリー方式ありきなのか疑問。作り手に生徒が食べる顔や食べ残し状況が見えないデリバリー方式では残飯やフードロスが避けられません。おいしさや栄養バランス、食べ残し（フードロス）ゼロを全国に誇れるような全額公費負担の中学校給食をめざしてほしい。出来立てが食べられて生徒の顔も食べ残し状況も見えない自校方式を基本とし、デリバリー方式は過渡的措置として位置づけ、計画を見直してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>明石市長は「市長には『予算編成権』という強力な権限があるので、市長が「子ども予算を増やす」と指示さえすれば、削減対象を決めなくても、財政当局が“やりくり”をして予算案を作成することになります(市税収入が減った場合と同様)。できないというのは“思い込み”です。」と訴えています。</p> <p>明石市と横浜市の規模比較です。</p> <p>明石市の5つの無料化に必要な予算は、全体予算の2%弱です。横浜市に見直すと200億円位でしょうか。</p> <p>世帯の大きさは違いますができそうです。是非、山中市長の決断お願いいたします。</p> <p>* 一般会計は明石市1200億円横浜市1兆9千700億円(明石市の16倍) * 人口は明石市30万人横浜市376万人(明石市の12倍)</p>	<p>参考</p>	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>いまだに選択制、デリバリーなど言ってるのがおかしい。</p> <p>全員が必ずデリバリーなら給食と言ってもまだ許せるが、選択制では何も変わって無い。</p> <p>これを何年も「給食」と言ってるのが、意味わからない。</p> <p>美味しくない、冷たい、食べる時間が無い。</p> <p>こんなので、浜弁を頼む人は未だにクラスに2から3人程度。</p> <p>親は仕事前にお弁当を作らなければならず、時代に合ってなさすぎる。</p> <p>林文字前市長からやっと変わり、完全給食を期待していたのに。</p> <p>横浜市は子供に興味が無さすぎる。</p> <p>成長期の子供達を、何だと思っているのか。</p> <p>小学校の給食室利用、中学校に配送。</p> <p>または全員同じ業者からのデリバリー式。</p> <p>統一して。</p> <p>どちらかは地域によって、上手く行く方にするなど。</p> <p>今の家からのお弁当は、給食では無い。</p> <p>誰もお弁当を、作るのが楽しみなんて思っていない。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小児医療助成ですが、院外薬局で薬代が無料となることから、先発医薬品を希望する親御さんが少なからずいらしゃいます。後発医薬品の普及推進の取り組みとは矛盾する形となってしまっているように思われます。解決策についてご検討いただけると幸いです。よろしく申し上げます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の早期実現に向けて最優先で取り組んでほしい。他の自治体では中学校給食が当然のようにある。実現すれば、子どもたちの食育に貢献する他、親の負担軽減になる。物価高や経済状況の悪化にともない、共働きが今後さらに増加することが見込まれる中、ぜひ早期の実現を望む。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子育てに所得の大小は関係はありません。もしもの時のために保険に入る必要があるようでは、少子化が進む一方だと思います。私自身も名古屋市から横浜市に引越してきたのですが、名古屋市と同様に是非とも中学3年生までの医療費助成の所得制限の撤廃を実現していただきます様、よろしく願います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援（～妊娠・出産期・乳幼児期～）」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子どもの成長期にバランスの取れた食事を残さずに美味しくいただくことがとても重要だと思います。そのためにも、中学校給食を実現していただくとともに、今の小学校の給食を含め、美味しくいただける様、よろしく願います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>現在、中学生がいます。うちの子供は、毎日、弁当を持参しています。理由は、美味しくないから。最初こそ、好きそうなメニューを選んで注文していましたが、美味しくないから、お弁当を作ってほしいということになりました。中学に給食室を設置するのは、難しい問題があるのだとすれば、近くの小学校で中学的分も一緒に作って届けるようにするのはどうかと、ずっと思っています。それなら、少しの手直しで、実現できるのではないのでしょうか？小学生のような、美味しい給食を中学生にも食べられるようにして欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>一人ひとりの児童生徒の資質・能力の育成のためには次の視点が必要だと考えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教師不足をただちに解消する。</li> <li>●教職員が本業に専念できるように働き方改革のさらなる推進。ICT活用により業務の効率化はすすんでいるが業務の適正化が進まない。1番の原因は保護者の苦情対応である。勤務時間外に繰り返し押しつけてきて数時間にわたって学校の業務以上の要求を行う。対応にあたる教職員は生気を吸い取られメンタルを壊していく。スクールロイヤーにこのような時に業務の整理をしてほしい。法的根拠をもったスクールロイヤーからアドバイスがあると理不尽な要求に速やかに対応できる。スクールロイヤーの配置増加を強く望む。</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>地域での子育て支援について</p> <p>社会的養護が必要な子どもへのサポートの充実を。里親制度が全然知られていない。縁組が必須でないことや手当が出ることも知られていないから、経済的に無理と選択肢自体を諦めている人も多いと思う。啓蒙の工夫を。養護施設の職員の定着を高める工夫(待遇の改善、人員配置の充実)を。世代連鎖を防ぐためにも。また、卒園児の追跡を必須にし、継続した支援体制を。</p> <p>児相は地域でサポートにあたる児童委員や学校などの情報共有を。個人情報保護を理由に児相が地域と情報共有せず孤立やマルチリトメントが改善されなければ子どもにとっても不利益。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」及び素案の政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進について、中学校も、小学校と同等の給食にしてください。</p> <p>わたしが病気があったことから、15年ほど前に子どもが中学生になるにつけ、小学校と同等の中学校の給食がないことに衝撃を受け、どうやって毎日お弁当をつくらうかと困りました。夫がつくりましたが、忙しかったため、冷凍食品の揚げ物ばかりでした。のちに、はまべんもできましたが、昼休み時間も短く注文受け取りすると昼休みがより短くなるため、利用者は少なく、お弁当がない人は登校時にコンビニで買っていました。</p> <p>栄養面、また、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供できることから、デリバリーでなく自校か給食センター、近隣小学校での調理がよいとおもいます。</p> <p>他の自治体ではできるのに、横浜市ができない理由を明示してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>スポーツだけではなく芸術 舞踊・ダンスが学べる環境を提供して欲しい 多くの芸術家が活動の場に窮している。 バレエなど狭い教室でなく広々とした所で学びたい。 使われていない公共施設 創造都市センターや県民ホール・K A A Tのお稽古場など 使用していない時は貸出して欲しい気軽に使えるようにして欲しい このままでは芸術が育たない。 大きなのびのびとした発想が生まれ難い。 世界に羽ばたく芸術家を育てられる環境を提供して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策30「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「無料化」について 住民が自治体からサービスを受ける場合、基本は、サービスを受ける住民が一定の受益者負担をするのは当たり前です。 しかし、実情から言って、子育て世代が、大変な状況になっているのは理解できません。 経済的負担の大幅な軽減（例えば1割負担）があっても、無料化はやめたほうが良いと思います。ただし、生活保護世帯等生活困窮者には、無料化は賛成です。 一定額を負担することも、自覚と誇りに繋がります。 この考え方は、子育て世代対応だけでなく、ほかのサービスの場でも、一貫したほうが良いと思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨は、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市立図書館のemailリファレンスサービスを利用したことがあります。大変便利なサービスで感謝しています。もっとレスポンス良く返答がいただけたらとありがたいのですが。 いのちの電話や横浜市立図書館のemailリファレンスサービスのように、困りごとをよろず相談できる窓口を作っていただけませんか？AIやデータベースを利用して省力化を図っていただきたい。お金もリーズナブルな額なら払って良いです。 大学で学問は学べるが、お金の稼ぎ方を教えてくれるところがないのは、日本の教育制度の不十分な点だと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1、学校のクラスを20名にして欲しい 2、少しでも特性が有る子供を別学級に追いやるのではなく、ある一定レベルの子供は、通常学級で支援員をつけて過ごさせるのが良いと思う 3、今のままでは、情緒的とやり方が大きく変わるのではなく、先生不足から、一緒にたにの指導。勉強も遅れる子供も多数。中学個別級だとその後の行ける学校が少なく、結局、支援学校希望が増え、支援学校出ても安定的に稼げない・稼ぐ場所が少ない 4、1・2のようにして、特性的に記憶力や数字に強い理系の子供も多くなると思うので、情報や統計、機械などの仕事を増やし、その進路先を増やし、稼げるようにして将来的に財政難を軽減する事は出来ないか？</p>	参考	<p>ご意見の1～3につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関連するご意見と捉え、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。ご意見の4につきましては、働く場についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略」について 生産年齢人口流入を掲げるにも関わらず、子育て及び一部スタートアップ支援策だけでは、戦略として弱い。子育て戦略においては、全ての政策において所得制限の撤廃、共働き支援のために学童保育の充実（従来の学童保育だけではなく、相応の月謝を取った上で、塾や習い事、遊びの場を提供する総合施設を設立）、子育て世代の横の繋がりを意識したサークル創出支援（親子で参加可能な趣味サークル（例えば、野球観戦、BBQ、キャンプ、各種スポーツ等）、週末に子育てをしながらの新規事業創出（コワーキングスペースに子どもの遊び場を併設するイメージ））をお願いしたい。また、子どものいない現役世代への支援（不妊治療支援の拡大（病院への支援を通じた施設数増加、治療時間延長）、交流施設建設（食事、風呂、学習場所等が揃った施設があれば、現役世代の家事負担を減らし、新たな交流場所になるのでは））も検討必要。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は市立小学校で教員をしていますが、9つの戦略及び38の政策の第一に教育を取り上げていただき大変嬉しく思っております。次世代の市民を育成することを大切に考えていくことには大いに賛同できます。6つの政策についても大事なことばかりだと思いますが、私は特に「政策5子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進めていただきたいと思います。現在、小中学校では小学校3年生以上は40人学級を基本に学級編制がされていますが、ここが実は非常に厳しい状況です。例えば40人分のテストやプリントを一人分1分で見たとしても40分かかります。実際には一人分1分では済まないで、それ以上の時間がかかることは想像に難くないと思います。これが35人分になっても5分しか変わらないだろうということではありません。そうです、35人学級が実現すれば40人のクラスは20人ずつ2クラスになるからです。一気に時間は半分になります。これは一例に過ぎませんが、1クラスの人数を減らすことこそが、子ども一人ひとりを大切にした教育につながると思います。</p> <p>もちろん、そのためには「教室」という箱の確保、人材の確保が必要で、そのために莫大な予算が必要なおもわかります。しかし、あえてここで現場の意見として申し上げることで、必要の無いものを配当したり、ピントのずれた政策を進めたりしないようお願いしたいです。せっかく教育を第一に取り上げているので、ぜひ予算をよりよい方向で使ってください。どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」及び素案の政策6「豊かな学びの環境の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>教育について充実してください。教師を増やし少人数学級実現といじめ早期解決をし、児童一人一人みてください。行事選択性に生徒児童負担軽減とともにコロナ禍部活遠征する教師の警戒感のなさを改善してください。校舎清掃は海外では業者がしています。児童生徒にさせないか選択制にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」及び政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>妊婦健診無料にし、保育料上げてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1の基本戦略の政策1と2に関連して、3歳からの保育無償化ははかられています。3歳未満の保育無償化もお願いしたいです。共働き世帯が増えており、それでも生活が厳しいです。安心して働けるように保育料の心配がなくなると市民として嬉しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校の先生の人数が足りなく、ニュースでも試験の倍率が下がり問題のある先生が増えていると報じられていました。先生をふやしても質の改善に繋がらないのであれば意味がありません。学校には事務の方や用務員さんがいます。そのような資格の無い方で優秀な方の数を増やせば人出として使えたり目が届きやすくなったのではないのでしょうか。小学校にあがるこどもを持っているので不安です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>あたたかい、できたての中学校給食、みんなで一緒に食べさせて下さい。小学校と同じ給食を、お願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学給食は自校方式で実施することを望みます。 デリバリー方式は無駄も多く、生徒の希望にもそわずやめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、自校方式、親子形式であたかい給食をしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」の「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」について 中学校給食をめぐる状況は大きく変化しています。青森市が2022年10月から市内小・中学校の給食費を無料にすることを決定しました。物価高が暮らしを圧迫する中で市民に寄り添った良い政策だと思います。 かつて横浜市議会では「愛情弁当」論が一部会派から主張されていましたが、実態はほとんど母親が弁当を作ることが「当たり前」ということでした。しかし時代は大きく変化し、働く母親が多数になっています。中学校給食実施は当然の施策です。問題はデリバリー方式を最終目標にするのではなく、自校給食の実現を最終目標にすべきだと考えます。 しかし145校を一気に自校給食とすることには無理があると思います。そこで、まず親子方式で実現可能な中学校で自校給食を実施することを求めます。その中で、保護者、生徒、教職員の意見を聞いた上で順次、自校給食を広げていったら良いと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー型の給食でなく、自校式でみんなで温かい給食を食べさせて上げてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー給食は、おかずが冷たくておいしくないと中学生が言っています。デリバリーをやっていた大阪市大磯町もやめて自校や給食センターにデリバリーはやめて下さい。他の自治体で失敗したデリバリー給食をなぜ横浜でやるのでしょうか。結果的に税金のムダ使いとなります。反対します。 自校料理やセンター調理方式にして、あたかいおかずの食べられる給食にしてください。いっせいスタートでなくてもクーラーの時のように何年かかけて全校でやってください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「豊かな学びの実現」 「すべての市民が居心地よく豊かな時間をすごせるよう、老朽化した図書館の再整備がすすめられている」とのことですが、現在の中央図書館は、急な坂の上であり、子育て世代にとっても高齢者にとってもたいへん使いづらい施設です。行きたくても行くことができない人が多くいます。設備も老朽化しているので、建て替えが必要と思いますが、その際は、みなとみらいエリアが関内エリアなど、平坦で交通アクセスのよい場所に建て替えることを検討していただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>中学校給食 デリバリーはどんな形でも反対です。自校方式でおねがいします。理由として、「食育」は、あたたかいものはあたたかいうちに食するというのが本来の食のありがたさと思うからです。デリバリーではいくら工夫してもこれは無理かと思えます。 署名をとって知りました。給食ないなら給食のある他県に引っこそう！と東京に引っこした人がいるそうです。（子育て安心の街というなら考え直して頂きたいです。） 災害が騒がれる昨今、避難場所での食事はいつも問題になることです。デリバリーではいざという時、役に立ちません。備えるなら、中学校にも自校方式の炊き出し施設が必須です。 長年の悲願である中学校給食、横浜でも全国並みに実施宜しくお願いします。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>今やる事は子供たちの貧困の解消です。「子供は国の宝です」</p>	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>横浜港は徳川三百年の鎖国を開港した歴史的な港である。 日本の近代化は横浜港を考えずには成り立たない。この栄えある歴史の街に住む横浜市民が、以外とこの歴史の真実とうとい。私は学校教育で横浜の歴史的事実を子供達に教えることが大切だと思う。 子供達が横浜に育つ誇りをもって生きていけることが、横浜市民の活性化に大いに役立つはずである。 子孫に横浜の偉大な歴史を教え、横浜に愛着と誇りをもってもらう。 歴史の街横浜を、誇りをもって子孫に語り伝えたいと思う。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>山中市長の公約 子供の医療費 = 0 はどうなったのでしょうか？</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>山中市長の公約 出産費用 = 0 はどうなったのでしょうか？</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>全ての中学生に温かい給食が提供できる様にして下さい。（自校形式の）</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子供一人一人の個性を大切に教育をすすめて下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食は、子どもたちの求めているあたたかい給食が一番やって欲しい!! 今のデリバリーは冷たくておいしくないと言ってます。(知り合いの子どもさん) 持続可能な社会を目指すならやはり小学校のような給食をできるところからすすめて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食実施については、以前から要望も議題としてもありますが、なかなかすすんでない印象です。義務教育期間は全中学校給食（デリバリー含）の実施及び、少子化の現状から小学校・中学校の給食の原則無料化にし、共働き推進の国の政策に伴い、子育て世代のあらゆる負担を軽減し、すべての子供（日本の未来の財産）に格差なく学びに集中できる環境を整えてほしい。 円安やデフレ、給料の上昇が期待できない今の時代で子育てにかかる費用は相当です。 少子化を食い止めるには令和の現状にあった思い切った政策が必要と考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>コロナ禍を経験し、出産、乳幼児期の子育てには安心してふれあいやコミュニケーションを取れる場所が限られ、核家族の養育者の孤立やメンタルケアも心配なところ。 また、夏の記録的な猛暑等も乳幼児を育てる家庭にとっては子供の日常的な外遊び等、非常に厳しい環境にあるとおもいます。 そういった厳しい子育て環境において、子供も親も障害の有無に限らず横浜市民が無料で利用できるパブリックスペースを実験的にでもつくってみては。 (参考 明石市 子育て支援など) 地区センターやこども園等の支援スペース等もちろん地域に根差した必要な場所であり、子供が小さいうちは非常に救われた場所。 こどもに目を配ってくれるボランティアさんや相談にのってくれるアドバイザー的な方々に支えられ、思いを共有できることで、将来的にも子育て世代や子供たちにお互い様の精神で優しいまなざしを向けられる横浜市民を目指してもらいたいと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』を進める上で参考にさせていただきます。</p>
<p>早期から（小学生から）格差なく子供達に、メディアリテラシーやお金の教育を学校の教育現場できちんと教えることで、正しく情報を利用、活用できる基礎を、また犯罪に対する自衛の力をつけていけるよう、道徳の時間の教科書の上だけでなく、専門家による出張講演等、プロフェッショナルな方々とふれる機会を横浜市としても支援できないものか。 昨今の目まぐるしい令和の環境の変化において、アップデートは必要。 こどもの未来に責任ある大人の行動が必要と考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費助成の拡充 カジノ撤退に次ぐすばらしい施策です。実施は5年度当初からお願いします。つづけて高卒まで拡大して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食はデリバリー方式でははずかしい。自校方式を基本に。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「全員実施」の中学校給食は「デリバリー方式」ではなく自校方式を含め、子どもたちに喜ばれる給食ができる様にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1, 2について子供について所得制限をなくしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>3歳以下の子供の保育料を無料にして欲しいです。 今、手取り350万弱ですが、子供産んで時短したら4分の3、100万以上年収が減る計算です。 そこに、我が家の年収で計算すると1歳児の保育料が8万弱、年間100万飛び、150万の残りから税金を引かれほとんど手元に残りません。正社員ですが、これでは働き続ける意味がありません。 3年間タタ働きた上に家事育児、不可能です。 やっている方もいらっしゃると思いますが、計算をすると子供はいらないかな、と感じます。 子育て負担考えたら、とても恐ろしくて子供なんて産めません。 どうか、もっと産みやすい、育てやすい環境を作って頂きたいです</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上での参考にさせていただきます。</p>
<p>子育てしやすいまちづくり、とありますが、医療費支援に制限があるのを他の都市並みに手厚く改善してほしいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>図書館の新刊蔵書数が少なすぎます。新刊で人気があると350人待ちなどで、いつ借りられるか分からない状況です。予約できる冊数も少ないです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>単純に子を1人産むのにお金がかかり過ぎる。 産んだ方が得だと思わせないと出生率は上がらない。 妊娠したら日常生活もままならないのに、仕事など出来ない。 補助券ではなく通院出産までの費用を全て免除し、さらにお祝い金などないとお金が足りない。 出産一時金では補えない事態もある。 子供の為に用意する物が多すぎるのに、男性育休で払われる給料の割合が低すぎるので育休を取れない。 今時、出産祝いで記念樹など必要ない。 なら、オムツ1つでも送ってくれた方がマシ。 子供1人産むのに金銭面のマイナスの要素が多すぎて、2人目を産む事を諦めてしまう。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上での参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>2児の父の子育て世代です。子育てしやすい町になるために、まず見るのは、小児医療費助成です。理由は、家計に直結するため、最も実感しやすい支援だからです。</p> <p>親の収入上限の廃止もしくは世帯合算で上限引き上げをお願いします。助成を受けてない親の子供は医療機関受診の必要性を冷静に判断しており、助成を受けている親の子供は軽症で受診していませんでしょうか。</p> <p>急な熱発などで、本当に必要な時に当日の小児科受診が困難な状況が続いています。</p> <p>助成上限をなくし、すべての世帯から一律1000円徴収などの一部負担とし、不要な受診を減らし、本当に必要な子供に限りある医療資源が平等に提供される政策に期待したいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は自校方式、親子方式、兄弟方式、センター方式を組み合わせ、計画的に進めてもらいたい。他の自治体でもやっていることですから、横浜市でできないことはありません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>教職員が不足しています。過重労働は教育の質の低下だけでなく、教職員の人權問題でもあります。正規の教職員の採用を増やすべきです。教育環境の充実は横浜市への転入者の増加を生み、将来の税収も期待できます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費の中3まで完全無料化、所得制限の撤廃の即刻実施を希望します。未来を担う子どもの費用は平等に負担してこそ安心して子どもを産み育てる希望につながると思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施を即刻希望します。ハマ弁は凍る寸前の温度管理で子どもが冷えによる腹痛が続く頼むのをやめてしまいました。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>全員喫食の給食には賛成ですが、なぜデリバリー方式なのでしょう？ デリバリー方式はおかずが冷たく、現在も食べ残しが多いと聞きます。なぜそのような不人気なお弁当を給食にするのか理解できません。</p> <p>全校一斉スタートに拘らず、センター方式や自校方式、親子方式など数年かけて出来るところから始めていけば良いと思います。毎日冷たいお弁当を強制的に食べないといけないなんて、絶対に嫌です。子供には小学校のような出来立ての給食を食べさせたいです。</p> <p>デリバリー弁当は断固反対です！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市は市民税が高い割に、他の自治体、市町村と比較して子育て世代への恩恵が少ないと思います。</p> <p>特に、医療費助成拡充については優先的にご検討いただきたいです。</p> <p>みなとみらい地区などの街づくりも必要なことは重々承知しておりますが、まずは市民の生活を守ったり負担を軽減するという視点での政策推進を期待しています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食については優先的にご検討いただきたいです。(特に、中学校給食については現市長が公約に掲げていたものと認識しております。) みなとみらい地区などの街づくりも必要なことは重々承知しておりますが、まずは市民の生活を守ったり負担を軽減するという視点での政策推進を期待しています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小児医療費助成について、中学3年生まで所得制限や一部負担金が撤廃されたことは、非常に嬉しく思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、小学校と同じ温かい給食を実現して欲しいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>教職員の採用を一層推進して、残業時間の軽減を進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見につきましては、素案の政策6「豊かな学びの環境の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子育てがしやすい横浜市をめざしてほしい。お子さんを産むことが金銭的に苦でないように。お子さんファミリーが増えることが横浜市が発展し続けることに必須だと思う。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>市内にいて都内に通わなくても十分な教育ができるように。中学と高校が一緒になった優秀な学校が市内で増えると思う。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」では、イジメについて、家庭、地域、学校現場がどうあるべきか、言及があるべきと思います。いじめ対策について横浜市としての考え方、対策、予防策をしっかりと示すべきと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1について強く支持します。子は国の宝です。横浜市は東京都と物価や生活水準は大きく変わりませんが、子育て世代への支援が乏しく本当に残念に思います。子は国の宝です。すべての子どもが教育や医療など適切な支援を受けられるように早急に取り組んでいただきたいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P26の施策5は、他の自治体に比べて本当に遅れている点です。これを理由に横浜市から都内に引っ越した知人がいました。頑張って共働きで稼いでも、保育料は高くなる上に医療費もかかるようになり、なんともやるせない気持ちになっている子育て世代は沢山います。生活は一向に楽になりません。所得制限撤廃は必ずしてください。すべての子どもが医療にかかりやすくなることで病気の予防ができ、結果的に将来的には医療費を抑えられるのではないのでしょうか。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>他の自治体では三歳児健診でスポットビジョンを取り入れ障害の早期発見に繋がっていると思うので、横浜市でも検討してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>施策4について、実際に私が体験したのが、核家族で周りに相談できる者がおらず、子育て支援センターが利用しづらく、保育園や幼稚園に行く前のコミュニティがなく心細かったことです。センターがあっても徒歩10分以上かかり行きづらかった。もっと気軽に利用できるよう、子育て支援拠点を増やしてほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>綱島在住ですが図書館が利用しづらいです。日吉に貸し出し所ができて有難いが、子どもと絵本を読むために、図書館（菊名）に電車で行くのはとても苦労します。また、菊名の図書館も古いので、子どもは武蔵小杉駅の中原図書館の方を好みます。ぜひリニューアルして行くのが楽しみになるようなきれいでおしゃれな雰囲気図書館にしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>多様性を生むため、地域にいる外国籍市民を募り、学校に招待してその国について語ってもらうなどの取り組みをすると、地域の多様性への寛容性も増すのではと思います。（夫が外国籍で、疎外感を感じてしまっているため）</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>私は現在、小学校で特別支援級の有償ボランティア・支援員をしています。多様な教育的ニーズに対応するには『人』が足りない。人が足りていない現場では、教職員の『笑顔』がない。見ていて、辛いです。</p> <p>3年間支援員を続けられたのは、子どもたちが可愛いから、一生懸命な先生の手助けになりたいから、その思いだけです。正直、時給500円に見合っておりません。ボランティアとはいえ、子どもたちを預かっていることには変わらないので、責任が発生します。支援級に配置されているので、目を離さず、打ち合わせをしているわけでもないで、臨機応変にその日その時に対応している現状です。東京都は有償ボランティアでも時給1000円と一般的です。最低賃金くらいにならないと、手を挙げる人は他のパートに取られてしまうのも仕方ありません。『ちょっと働きたい』という子育て中の人材を活用するには、時給も大事な要素です。</p> <p>『人』がいないと、手が回らない。教員も自分の考えたタイムスケジュールに子ども達を乗せたいがために、無理が生じ、笑顔が消え、悪循環に陥ります。特に低学年は、初めての学校、大きな集団生活に慣れるまで、親子共ども不安を抱えています。中には支援が必要な子ども、通常級で入学することもあります。それを迎える担任に笑顔がなかったら、どうでしょう？教職員が笑顔で受け入れられないものを、子ども達が笑顔で受け入れることは、到底無理でしょう。他者理解、多様なお友だちを尊重して、思いやる。その心の余裕をうむには、人の手が必要と感ずります。校長采配で対応が異なるのも、いち保護者としては納得いきません。学習支援に、ボランティアの保護者をどんどん迎える隣の学校。自分の子の学校は、それを校長に提案しても受け入れられず、逆に『支援員をやってくれる方いませんか？』と尋ねられる。支援員がいなければ、保護者を使う以外にないと思います。教員は、保護者の目が気になるかもしれませんが、手が増えるに越したことはないと思うのです。</p> <p>教員の働き方改革も、重要です。それと並行して、学校に来てくれる人を増やすために、色んなハードルを下げる必要があると感じています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」及び政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>私自身、心疾患もちで療育の必要な子どもがおり、保育園に看護師がいないことで受け入れを拒否されることが多く、政策の中で看護師のいる施設を増やすと記載されており、非常に助かると感じました。</p> <p>ただ、もう一点もし可能でしたら、障害児や病児に対して、保育園に預けるためのポイントを少し高めにしていただくと助かります。</p> <p>障害者手帳や愛の手帳があっても重度でないとポイントがつかず、保育園に受け入れにくいのが現状です。</p> <p>医療的ケアが必要な子どもを育てる中で、働いて保育園に通わせたいけれど、病院や療育に行く回数が非常に多く、働ける日数も限られており、そこでポイントが低くなってしまい、せっかく受け入れられる施設を増やしていただいても保育園に受け入れないということが増えています。</p> <p>以上のことからもし可能でしたら、障害児、病児が集団に入りやすくなる環境づくりをお願いいたします。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>学校給食を、自校方式であたたかい食事を提供してほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について、学校調理方式を望みます。                      自校方式・親子方式などを組み合わせ工夫すれば実施可能です。                      親子方式も一校→一校ではなく、三校→一校など工夫する必要                      デリバリー弁当は冷たいおかずで不味く全国で破たんしています</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>少人数クラス推進を！                      発達の違いの大きなお子さんがとても増えて、その対応がほぼできない。特別支援級もいっぱい。                      国連に指摘されても、インクルーシブ教育なんて程遠い日本の教育システム。                      未来のある子どもたちの教育を高齢者の交通バスより優先して（私も高齢者ですが）もらえたらと思います。                      まずは通常クラスの人数を減らすことで先生の負担も小さくなるのですから。よろしくをお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」及び政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリー方式にこだわることなく、可能な学校から自校方式の全員給食をぜひ！                      これでこそ「給食を教材とした食育」が推進できると思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施と自校方式で温かい食事を支給して欲しい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>今高2の子供がいるが、妊娠中も健診は基本有料で、高齢出産にかかる国からの補助しか出なかった。出産しても、医療費助成は中学以降断続的にしか受けられず、給食についてはハマ弁もあったが有名無実化していた。（当時の林市長からは、親子の絆とかいう訳の分からん言い訳でお茶を濁された。）                      つまり、少子化対策で打ち出された対策は、我々にとっては後手後手であり、むしろ腹立たしい。                      我々のように無視された世代にも、少しでも還元された感の持てる対策がなければ、ふるさと納税で流出が止まらないのも仕方ないのではないか。                      例えば、神戸市のように高校生の通学定期に補助を出す、または、女子中高生の子宮頸がんワクチンにも市独自で補助を出すなど。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」デリバリー制度を導入することですが、選択肢を増やしたり、前日までに申し込みができるなど柔軟性の高いサービスにするように、お願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の全員実施ですが自校方式の全員給食をお願いします。そして給食費は本人負担なしです。今、労働法制の改悪などで就労人口の6人に一人は年収が200万円以下で働いていわゆるワーキングプアです。学校にはお弁当を持ってこれない生徒が存在します。成長盛りの中学生にこんな思いをさせてはいけません。全員給食、自己負担なしならこういう生徒は存在しません。ぜひお願いします。中学校給食をしていないのは県内でも大磯町と横浜市だけです。大磯町は中学校が3校しかありません。よろしくをお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>私は横浜に生まれ育ち、横浜に誇りと愛着を強く持って生きてきました。しかし家族を持ち、子供を育て始めると、小児医療の所得制限により自己負担があり、他の自治体、特に東京都や藤沢市などの所得の制限がない子育て世代への支援が大変羨ましく感じて、横浜に対する魅力や愛着が大きく揺らぎはじめました。子育てのために心身を賭して所得を一生懸命高めて、市民税というかたちで寄与しているにも関わらず横浜市のこれほどと変わらず所得制限を継続している姿勢に疑問と落胆の気持ちです。愛着のある横浜を離れてでも、所得制限がなく、躊躇なくそして不公平感を感じないで子供達に医療を受けさせてあげられる自治体への転居を考えています。</p> <p>小児医療の所得制限の撤廃は、即実行してください。実行までに時間がかかるようでは我々子育て世代はすぐに離れてしまいます。この2点はスピード感を持って即実施して日本全国にアピールして下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>私が中学生の頃から弁当持参で、中学給食がある都民と差を感じ、母親達が不満を抱いていました。それが何十年も変わらないまま、自分がその状況をわかえます。こういった経験から同じく子供を持つ予定の友人夫婦に横浜に住むことは決して勧められません。</p> <p>その中で、山中市長の公約と実行力に希望をみつけています。日本の今後少子化に対して、子育て世代、特に比較的高所得の世代に対して魅力的な都市にしていかなないと、今後絶対に横浜市の実現はありません。</p> <p>その上で、先に挙げました中学校給食の実施は、即実行してください。実行までに時間がかかるようでは我々子育て世代はすぐに離れてしまいます。この2点はスピード感を持って即実施して日本全国にアピールして下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>先日山中市長が発表した「横浜市中期計画2022～2025」（素案）のニュースは全国へのアピールに非常によい機会だったと思います。山中市長が横浜市を魅力的な都市にするための政策を実施する実行力に期待しています。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>財源の問題は、市民税をあげても、日本最大の市の横浜市民全員で少しづつ負担したり、歳出を見直して、市民全員でサポートしていきましょう。決して子育て世代への施策への反対勢力に負けないで下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>おむつの無料サービス、年少扶養控除の復活</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p> <p>なお、国税の取扱いに関する事項については、本市の中期計画の枠組みには該当いたしません。</p>
<p>自・公市議員達は「お母さんの作った弁当」が一番と主張していたのに、「デリバリー方式を全員（全中学生に）に」とはどういうことですか。「全中学生が食べられる」が主題ではなく、「あたたかく、栄養バランスのある給食を」が大事なのです。自・公市議さん良く自分の子供さんやお孫さんが冷たいお弁当を食べることを想像してください。本当に情けない自公市議。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>少子化は日本の大変な課題であり、解消のために医療費の補助や無償化、出産費用の補助、子供のいる家庭の減税など思い切った政策を行って欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>現在息子2人中学生で、中学校給食を利用中です。私が仕事でハマ弁を利用してもらっていますが、子ども達から①非常に不味い（毎日言ってます）②みそ汁が冷めていて薬品の味がする。だしの味が無い。③おかずが冷たく、野菜本来の味が無い。</p> <p>上記3つを繰り返し訴えており、安心した給食では全くありません。市長が試食したとの事だが365日試食して考えて欲しいです。</p> <p>ととても不味いと言いつけるので親の試食を設けて欲しいです。</p> <p>前市長の林氏と同様に、山中市長はデリバリー方式継続、5社と協議して提供する会社を検討との事。そこで提案です。</p> <p>①検討中の5社の試食を市内全ての中学生に行ってもらい、評価された会社にデリバリーを決定する。</p> <p>②契約は1年間とし、年度内に再度他社の給食提供を市内全中学生に行ってもらい（ex 1週間くらい、月曜A社、火曜B社、水曜A社、木曜B社）食べ比べて評価して選ばれた会社と契約更新する。</p> <p>子ども達に温かい（センター方式・自校方式）給食を切に希望も叶わず、とても残念です。せめて、子ども達の希望をくんだデリバリー方式になるよう目を常に光らせて今後の動向を見守ります。</p>	参考	<p>皆様からのご意見を真摯に受け止め、献立や味の更なる改善に取り組んでまいります。</p>
<p>子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進について</p> <p>北海道で小学、中学と給食があるのがあたりまえの中で育ち横浜に結婚で暮らすようになりました。小学校のように完全給食が中学校でも実施されることをずっと希望しています。大都市横浜がなぜ給食でないのか。どんな理由があるのかのかわかりません。</p> <p>未来を創る子ども達へのお金は1番に用意してほしいです。デリバリー式は給食ではないと思います。税金は1番に給食の実現に使って下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校での完全給食を展望してほしい。</p> <p>これまでも行政として「横浜らしい中学校給食のあり方」など“給食”を旨として検討されてきたと思っています。しかし、政令指定都市中で下位に位置しているの感否めず、長年の市民として悔しい思いがあります。</p> <p>今回の中期計画を機に完全給食が可能な学校可能な地域から一歩ずつ実現する計画を中・長期的に示してほしいと考えます。お願いいたします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>市独自の英才教育システムを樹立、推進すべきである。</p> <p>①市民が子供の教育について強い関心を持っているのは「進学」。市立中高一貫校で進学を主眼とした英才教育システムを創設すべきと思う。</p> <p>②「国際」とか「芸術」とかではなくはっきりと「東大を中心とした一流国公立大学」への理念主体の進学塾並みの公費コースである。</p> <p>③低所得世帯子弟へは授業料免除奨学金等の支援措置が必要。</p> <p>（参考）</p> <p>（1）昔話であるがかつては都立高校など貧しい家庭の優秀子弟がその進路を切り拓いていくルートがあった。しかし、学校群制度などにより金持ち子弟の私立高校ばかりに独占されている。なんと皮肉なことであるか。</p> <p>（2）建前は別として本音の部分では教育委員会も同じ思いが共通しているのではないだろうか。</p> <p>（3）同様に政策で独自の特徴を出す地方自治体も出てくるかもしれない。横浜市は諸条件から言ってもこうした特徴を持つ都市として最適と思う。一種の「街づくり」であり「ふるさとづくり」にもなる。指定教育についてはどうか建前ではなく「本音」でシステムを構築してほしい。「学校給食がどうだこうだ」市民の関心の水準はもっと高いところにあるのではないのでしょうか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
デリバリー購入できない人にとって何の恩恵もない。それは不公平。デリバリー推進したいのなら、購入代金はすべて公費負担とせよ。これなら公平である。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食は実施してください。マズイとごみばかり増えるのでウマイものを出してほしい。 早急に体制の確立をしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
保育園と老人デイ施設と障害施設を一つの建物に合同にできたら良いなあと思う。 保育園の行事に参加したり、園児が老人施設で家庭のように遊んだり、障害のある人との生活を常に目にしていれば自然に手を貸せる人になるのでは？ 敷地が同じなら駐車場のスペースもとりやすいと思う。施設バスも運行時間をずらせば台数も少なくすむ。送迎に使われない時間には園児の遠足にも使える。環境整備のスタッフも兼業できて効率的だと思う。 色々な人が“居る”のが大事だと思う。私は保育士。すべての施設で働ける。潜在保育士も働けると思う。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
学用品の支給について 子供達は特例を受けることを差別として嫌う。特に旅行に同じように行けないのは思い出作りとして大変なものであろう。一様に参加することが可能になればいいのだが。費用をどう捻出するか？	参考	ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
「子育てしたいまち」をうたうのであれば、中学校全給食はマストでしょう。 中学校給食があたりまえすぎて、横浜市に給食がないことを知った時のショックが忘れられない。 子どもの貧困問題でも全給食は助けになるはず。 弁当販売を「給食」と呼ぶ、非常識を即刻やめてほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
今や大半がダブルインカム夫婦世帯。1,000万近辺の世帯子育てに経済的支援は必要なのか？対象者限定すべき。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
図書館について 港南図書館 駐車場がない。環境が悪い。木々やベンチを置いて子供達や成人がゆったり前庭でくつろぎたい。（武蔵野図書館）	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食の実施については4年と言わず今すぐに実施していただきたいです。 義務教育の中学校で給食が実施されていないのはどう考えてもおかしいと思います。 子どもの身体が作られる大切な時期、他の自治体に比べて横浜市の子どもの栄養状態が悪くなったとしたら、大人はどう責任をとるのでしょうか。すべての学校であたたかい給食を食べれる環境を、1年以内に整えるべきだと考えます。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子供達は、「小学校の給食は美味しくなかった」とよく言います。ならば小学校の給食を利用したら良いと思う。</p> <p>①小学校の給食室で中学校の給食も作る ②地域の人を顧用し、配達してもらう</p> <p>物価上昇で給食の材料も大変だと思います。農協や農家と連携し曲がったキュウリ等々B級品を積極的に取り入れるべきだと思う。毎日八百屋のトラックを学校前で見かけてそう感じました。地域の農家、農協、人材を多く利用することにより皆で子供を見守る社会にしていきたい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、温かい親子方式か自校方式で全員へ。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用も無料にして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1の政策指標について 現状横浜市は子育てしやすいと感じている人が14.1%としかないということが非常に問題であるのにも関わらず、目標値が20%と非常に弱気に見える。もっと目標を高くしてほしい。50%にしてみてもどうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2の政策指標について 横浜市が待機児童のほかに保留児童という指標を作っていることはみんな知っている。そして今問題になっているのは待機児童数+保留児童数です。みんなそちらの指標を見ている。 保留児童数の削減目標値も記載してほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2の現状と課題について 「令和4年4月の保育所等利用申請者数は過去最多の73,538人となるなど、保育ニーズは依然高い状態にあります。一方で、育児休業を取得される方の増加や就学前児童数の減少などにより、年齢や地域によっては定員割れが発生しています。」 →以上の記載について、「地域によっては近隣の保育園に通えず他の区の遠方まで通っている家庭も多くある」と追記してほしい。 実際港南区から神奈川区に通園しているものです。よろしくお願ひします。 また、定員割れが発生していると記載ありますが、今後横浜市への生産年齢の人口増加を本気で増やすなら、多少空きがあるくらいの制度設計とすべきだと思います。現在の保育園の空き状況だと、横浜市に移住したいと思っても保育園が空いてないのであきらめることになるかと思ひます。 結果として生産年齢の人口増加を阻害することになるかと思ひます。これらも加味した政策にしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費中学3年まで完全無料化を。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食は学校調理方式。 中学校の昼食時間をもう少し長くしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用の無料化実施、ぜひ実行して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子どもは国の宝です。中学校給食の全員実施を是非とも実現させてください</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小児医療費無償化もお願いします</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、温かい物を食べられる学校調理方式を主とするもので再検討して下さい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中3までの小児医療費無償化は大歓迎です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>出産費用の無料化は必ず実施して下さい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は温かい物を食べられる学校調理式で検討して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーでなく、自校式のあたたかい食事を食べさせて上げて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
出産費用の無料化	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食の自校方式（工夫次第だと）	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学3年までの医療費無償化	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>デリバリー方式による中学校給食に反対します。</p> <p>また、デリバリー方式の中学校給食利用を原則とすることに反対します。</p> <p>すべての生徒が満足できることを目標としていますが、デリバリー方式の給食では、生徒は到底満足できません。</p> <p>アンケート結果や、他の自治体の動向を見ても明らかです。</p> <p>全員に供給することに拘らず、出来る場所から、自校で調理したての給食を提供することをはじめてください。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>子ども・幼児を虐待する大人に対して抵抗する力もなく大人の様な知恵もまだない小さな命が長期にわたり聞くのも恐ろしい虐待を受け、苦しみついには死に至る記事を目にして怒りと悲しみとどんなに怖かったらう、苦しかったらうという感情に押しつぶされます。</p> <p>そして、毎日、怖がり苦しみ、何とか救いの道を小さな頭脳で考え他の大人たちに助けを求め続けたにも拘わらず助けなかった我々社会に怒りを覚えます。</p> <p>私は横浜市地域ケアプラザに勤務した経験がある者ですが、同様な事が高齢者でもありました。マンションの1室に老女に鍵をかけて閉じ込めて、時々、遠方から家族が見に来るだけの案件があり、毎度、区役所職員と地域ケアプラザ職員で情報共有するのですが、区役所は見守るだけで何もしない、こちらも区役所より以上に前に出られなかったため、そろそろ警察に通報したらと進言したが、若い職員は家族が普通の人間ではない、警察に通報して大事になると厄介になるとの事、上司に相談したがまだ様子を見るとの事でした。無益な時間が過ぎついに、老女は亡くなってしまいました。原因も不明です。区役所、地域ケアプラザの職員が普通でない家族と交渉するのは恐ろしい面もありますし、又、職員のセキュリティも具体的に確保されているわけでは有りません。ましてや権限もないので無益な慎重論になってしまいがちです。その間に事態は進行しているのです。</p> <p>警察と連携し情報共有して事に対峙しなかったのが悔やまれます。</p> <p>区役所や地域ケアプラザでは独り暮らしの高齢者の見回りをしています。警察も同様に見回りをしている様ですが、お互いに情報交換する場がありません。</p> <p>(双方でお互いを信じる事が出来ず、個人情報洩れるのを懸念しているのでしょうか?)</p> <p>児童虐待防止の為に、警察署がハードルが高いイメージがあるならば、警察署の中の地域防犯課等と区役所・地域ケアプラザが連携し情報共有と速やかな実行動をとれる仕組みが出来ないのでしょうか。家族との面会や状況検分等の必要があれば家族が自己の理由を盾に拒む事が出来ないような法律や条例も必要と思います。勿論、医師、幼稚園、保育園、学校の先生や地域の方々の一次情報は大切です。</p> <p>しかしこれらの人々が直接関わるのは危険ですし又、個人が特定される恐れのため、通報をためらいがちになります。情報提供のしやすさと秘諾性を担保する仕組み、情報提供者のセキュリティの確保を再検討する必要があると思います。</p> <p>子どもは国の未来の宝です、宝を壊してはいけません、又、虐待を受けた子が親になると同じようにその子どもに虐待をしてしまう傾向があると云われています。</p> <p>憲法にも保障されている人権を守らねばならないと思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」の主な施策1「児童虐待防止に向けた取組」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小児医療費（中3まで）完全無料に早期に実施すべきと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」デリバリー方式でなく、学童が少ないため空き家に給食室を作り、優先的に地元の食材を使用して給食しては如何でしょうか。（65年程前の出来事に食事の時間になると、教室抜ける生徒が何人か居り、先生に聞くと弁当を持ってこれない家があると言う、たまには先生の弁当の「ふた」に分けてもらい食べていた。）皆と同じ給食食べることが（1つ釜の飯）尊い言葉と思いますが、如何でしょうか。早期全員実施作成です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示ししました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用ゼロに向けて検討開始、大いに期待しておりますが、財政も心配して居ります。実行向かって頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学生、高校生は、県等からも補助金があり、多方面からの支援（前回も18才までの10万円一律給付も含め）がある。 一方、大学生は補助金だけでなく、その他の支援から毎回抜かされているので、大学生に対しても、より一層の支援や一律の補助金も対象にするべきだと思う。</p>	<p>参考</p>	<p>大学生への支援に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>子育て期間において最もお金が掛かるのが高校・大学期間ですが、その期間における支援について何も書かれていません。少子化の最大の原因は、子供を多く生むほどお金や工数が掛かって損するという社会システムであり、それを何ら対策しないのでは、少子化が止まるわけがありません。 本来、子供は大人になってから子供の居ない老人も含めた社会全体の社会保障費負担や経済活動の源になる大切な社会的投資なので、親が子育て費用を負担するという現在の基本方針が根本的に間違っていて不公平です。子育て費用や工数は全て社会全体で負担し、親は子供の居ない人と同じ可処分所得や自由時間を持つようにすべきです。それが出来なければ少子化が止まらないのは当然のことであり、誰でもわかると思います。 また、裕福な家庭しか塾などの高度な教育を受けられず、トップレベル大学の進学も不可能である現実、憲法で保障された平等に明らかに反していますが、なぜこのような憲法違反の状態を放置するのでしょうか？ 更に、親は、高額な養育費用を稼ぎ続けるために、起業や新分野やへの転職等、収入リスクが高い行動を避ける傾向が高く、合わない、やりがいの低い仕事をストレスと共に嫌々続けるしかなく、日本の産業競争力停滞の大きな原因になっていると思います。私も、子供の生活費や教育費に全く費用が掛からなかったら、もっと新たな道を歩めたらと思うています。 また、社会人になってからも、大学等での学びなおしには経済的な負担が非常に大きく、躊躇する人が非常に多いです。それによっても、高度な知識を身に付けて社会の発展に貢献できる人材を潰すことになっています。 子育てとか、ひとり親とか、老人介護とか、障がい者支援とかいちいち分けるのではなく、事情により働けない人や、社会に役立つことを学んでる人に、行政が全額費用を出して面倒を見るという、当たり前のことをやって欲しいです。そのために増税が必要で、丁寧に説明をすれば、多くの人は納得するはずで。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜の中学生にも温かいできたての給食実現を！自校方式で実現してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学の給食は、現状の選択制が適切であると思います。 国際色豊かな横浜は、外国にルーツを持つ家庭も多いです。宗教上、給食を食べられないお子さんもいるのではないのでしょうか。 10人に1人はいると言われる発達障害のお子さんは、偏食の特性を持っていることが多いです。 アレルギーを持つお子さんも、増えてきています。 上記のようなお子さんや保護者は、日頃から周りとの違いで肩身の狭い思いをしていることが多いです。 家庭弁当を認めれば解決ではなく、クラス内で「周りとの違い」「普通ではない」を浮き彫りにして、不登校や別室登校の増加、最悪はいじめなどにつながるリスクになり得ます。 生徒全般に言えることですが、今、デリバリーを頼んでいる子供は好き嫌がなく、不満がないので残飯も多くないと思います。 中学生は、身長が150センチ台から180センチまで、体格も様々ですし生徒によって食べる量が全く違います。 今はご飯の量などを選べますが、全員強制になったら「標準」に合わせて一種類になると思われるので、小食の子は残し、大食漢の子は足りなくなると思われます。 不登校や五月雨登校のお子さんもクラスに数人いるのが当たり前なので、手をつけられない弁当も一つの学校で毎日十数個出てくると予測されます。 残飯は今以上に大量に出ることになりますが、他の自治体より進んだごみ削減に取り組んできた横浜市の施策に逆行することになりますし、税金で給食を配り、税金でごみ処理をすることになると思われます。 「子供一人一人を大切に」「多様性を認め合う」という目標を掲げながら中学の給食は「全員同じ物を一緒に食べる」を一番の目標に掲げています。 「全員同じが良いことだ」というのは昭和の親世代の価値観であって小学校の給食も、「無理矢理食べさせない」「一人一人に合わせて量を調節」するのが当たり前となっている中、時代と逆行した方向に向かっていることは、開港してから常に時代の一步先を進んでいた横浜市の方針にそぐわないと思います。周りがやっているから、うちも、という横並び意識で物事をやっている、必ず時代遅れになります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>給食に投入する税金は、教員の採用に使ってください。 先生が病欠、産休に入ったら、代用教員がなかなか見つからず、見つかるまで管理職が面倒を見ている状況を改善する方が先決です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市立図書館の充実について。 2021年から港北区に住んでいます。 子どもを出産して車を持っていません。移動には坂を上り、下りして駅までベビーカーで歩きます。(電動自転車も検討していますが、道が狭く危ないです)図書館に行こうとすると、30分以上かかります。往復では移動だけで1時間です。きっともつかかる市民も多いと思います。忙しい毎日に1時間かけて図書館に通おうとする人が何人いるでしょうか。いくら図書館の事業を魅力的なものにしても、なかなか目的地にさがりません。図書館が区の広さ、人口に対して少なすぎます。子育て世代だけではなく、生涯学習という視点からも図書館が少ないし、遠いし、人生100年時代を学びながら生き抜くイメージが全く持てません。 たしかに、図書貸し出し機能のある地区センターはありますが、かなり偏ったラインナップであるし、子どもがたくさんの本から自分で選ぶという体験が積めないことを思うと、知識の幅が広がらないと感じます。 知や学びは人を育てると思います。この図書館の少なさに、横浜市は人を育てる気がないのでは？と悲しくなりました。これでは、都内への引っ越しや他県の地元へUターンする人もいるのではないのでしょうか。 人の集う、図書館の新設を希望します。人口と広さに比例させた適正数をお願いしたいです。 すぐには難しいと思いますので、駅ビルのフロアなどに図書館機能を設けてほしいです。 よろしくお願いします。 子育て世代には本当に辛いです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>子育て世代にも利用しやすい図書館、について。 横浜市は、住民に比して図書館が貧弱すぎます。 図書館は、こどもだけでなく、すべての年代の居場所になり得ます。 既存の図書館の再整備、新刊の購入、拠点地域に新規図書館の開設が必要です。 同時に、電子図書館やオンラインお話し会、音読のライブラリー化もすすめていただきたいです。 収益の改善については、カフェの併設、有料のスタディコーナーはいかがでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1の政策1（素案冊子P26）で、「出産費用（基礎的費用）の無償化を含む妊娠・出産・子育てにかかわる経済的負担の軽減を図ります」とありますが、基礎的出産費用の無償化については早急に実現してください。それに加え、妊産婦検診・検査、産後母子ケアなど出産に関わるすべての費用の無償化を目指すことを計画に入れることを望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「中学3年生までの小児医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃」ということは、「中学3年生までの小児医療費の完全無料化」であり、高く評価します。必ず実現して下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1の政策2（P28）で、「待機児童や保育の必要性が高い保育児童の解消に向けて、安定的な保育・幼児教育の場の確保に取り組みます」とありますが、3年後の目標人数だけでなく、待機児童ゼロを目指すことを望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1の政策3（P30）で、「ヤングケアラーについて、……実態調査の結果等を踏まえ、支援策の検討を進めます」とありますが、これから検討を進めますというのでは遅すぎます。「できるところから支援・対策に取り組みます」としてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1の政策5（P34）で、「中学校給食の利用を原則とし……デリバリー方式による供給体制の確保」とあります。選択制から「給食利用を原則」（全員に供給できる体制確保）とした点は評価できます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式は「温かくない」などの問題があり、他都市では学校調理方式への転換がすすんでいます。デリバリー方式を見直し、学校調理方式（隣接する小学校からの配送も含め、市内72校で可能）を基本に、センター方式などを組み合わせて実施することを求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1の政策6（P36）で、「小学校における35人学級の段階的な実施に伴う教職員の確保」とありますが、小6までの35人学級を横浜独自で早めに実施・完了することを望みます。また、それに見合う教職員の確保・配置を目指してください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「児童生徒の急増地域や減少地域における学校規模の適正化」とありますが、小学校では1学年1学級でも適正な規模です。機械的・一方的な統廃合は行わないようにしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全員実施原則を決定していただき、学校給食の本来のあり方に一步近付くことができても嬉しく思います。 現在の選択制では、子供たちが昼休み時間を確保したいとの理由で食べられない子が多いと伺っておりました。 給食を摂らない生徒は、成長期だというのに十分な食事を摂れなかったりバランスの悪い食事が続いたりと家庭により健康格差が大きく見られるかと思えます。全国的に見ても将来、生活習慣病等の発症率として大きく差が出てくるのではないかと懸念しておりました。 学校給食法においても「義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならない。」とあります。何卒、学校給食全員実施を実現していただきますようお願い申し上げます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>次のステップとして自校式を検討していただきたく思います。これから校舎建て替えや改修を行なう学校には、順次給食室の設置を希望いたします。自校式に移行させる準備をできる学校から進めていくべきだと考えております。 自分達の学校で作られる給食は生徒にとっての生きた教材であり、多くの事を学ぶ経験となります。食材の大切さや給食作りに携わる方を目にする事で感謝の気持ちを育め、また、給食当番などの役目を通し、協力することの大切さや衛生の知識などが身につくかと思えます。 デリバリーのお弁当では、提供することが困難なメニューや、衛生上の問題から提供できない食材も出てくるかと思えます。 自校式により、より温かくしっかりと食器に盛り付けられた通常の給食をより早く実現できるように希望いたします。また今後とも学校給食が生徒にとってより良い食育推進となることを期待しております。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はいまでは無償化もすすんでいる中、横浜でみんなであたたかいものはあたたかく、冷たいものは冷たく小学校のような給食をのぞみます。 お金がないのではなく、子どもの為にあたりまえにお金を使って下さい。 場所はないのではなく、方法はいっぱいあります。親子方式など、デリバリー方式は反対です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子どもたちは、本人にとっても社会にとっても大切な存在であり、大切な「時期」です。</p> <p>中学生期は体づくりの点からも精神面からも大きく成長する時期だと思えます。勉強でも運動でも身体面での充実は欠かせません。そのために大事なのは食事です。家庭任せ、弁当屋まかせでは偏りが生じますし、何より一人一人バラバラで、家庭生活の違い、単刀直入に言えば経済レベルで大きな差が生じることが懸念されます。</p> <p>その点、全員喫食の給食（デリバリーではなく）ならば安価で、生徒や保護者が求めているという「温かさ」「おいしさ」「栄養バランス」がかなり充足されるはずです。横浜市教育委員会の調査による「方式」を実行すればそれは可能となります。アレルギーを持つ子への対応もデリバリー式弁当ではできなくてもこれならできます。もちろん人的な配置は必須であり、教員に負担をかけさせるのはもってのほかです。</p> <p>小中学生の子どもたちを心身ともに豊かに育てていく責任が、私たち大人と行政（市・県・国）にあります。「自己責任」ではありません。</p> <p>子どもたちに食べさせるのは空腹を満たすだけの「えさ」であってはなりません。「文化としての食」を大人の責任において食べさせるべきです。</p> <p>また、今すぐできるのは牛乳の全員への提供です。骨の形成においてこの時期でのカルシウムのきちんとした摂取は必要です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>・196ページに及ぶ膨大な資料に大半を目を通す事は困難ではないですか。全体像として、日本のどこの市町村で策定してもほぼ同様な内容になるのでは、と感じます。</p> <p>・コメント項目は絞りますが、掲記ページの政策に関して、予算の段取りはどれくらい取れていますか？</p> <p>・日本中が少子化、子育て支援に関して窮している中、政策に必要な予算って確保可能なのでしょうか？</p> <p>・もっと突っ込んで、どの予算からどのように確保していくんだ。</p> <p>他の市では実現出来そうもない横浜ならではの突飛な発想や、思いっきりが必要では</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>・娘が二人目の出産間近です。昨日妊婦健診に行きました。一人目の時もそうでしたが、1.5時間程以上待たされます。つわりの時期も含め体調はずっと良くなかつらそうです。</p> <p>この状況を見ても、適齢女性に子供をたくさん産んでなんてとても言えません</p> <p>・こういう事一つ一つをどのように解消していくのか、細かい施策を積み重ねて、行くのが重要で、本当に行政に頼りたいところです。</p> <p>一例として「出産費用は無料としてすべて市が補助する」 「妊婦健診のサポートにシニアボランティアを活用する」とか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>196ページに及ぶ政策は膨大過ぎて、予算の確保や具体的施策がとれないのではと危惧します。もっと絞るべきです</p> <p>結局結果はこれまでと同じ少子化、人口減少等にあえいでいくのでは。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>計画ではデリバリー方式で全員喫食を進める計画が発表されているのが、反対です。給食はご飯もおかずもあたたかい（小学校と同じ）ものだと子どもは思っています。全国で実施されている自校式が日本最大の政令市で、できない訳はないと思います。お金がない、場所がないは通用しません。無駄なテーマパークなどに使うお金があったら、未来を担う子ども達のために税金をつかってください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「素案」でいう「生徒に満足してもらえる給食の提供」デリバリー方式は矛盾する施策である是非。小学校でできて、中学校でやれない訳がないと思います。デリバリー方式でなく、自校方式か親子方式でやってほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1の政策1主な施策1に関して、25ページの横浜市の子育て支援に満足して住み続けたいという世帯の目標値が20%というのは少なく感じます。正直に申し上げて、横浜市は他の市に比べてかなり子育て世帯への支援が手薄だと感じます。</p> <p>たとえば近隣ですと東京都や埼玉県では妊娠した時点でタクシーチケット代等がもらえると聞きました。</p> <p>妊娠時期、体調不良であったりコロナの感染リスクがある中そういった支援がなく電車やバスでしか妊婦健診に通えないことにとっても不安を覚えました。</p> <p>東京都では子供が生まれたら10万円分の子育てグッズがもらえるので差がありすぎて、引っ越してきたことを後悔しそうになります。</p> <p>また、妊婦健診の補助券に関しても、自身が予定日をかなり超過したため最後の方は補助券がなくなってしまい全額自己負担であり、子供一人を産み育てるのにかなり費用がかかるのだと感じました。週数にかかわらず出産までをサポートしていただけたら嬉しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1の主な施策5の子ども医療費に関しても、東京都などでは高校生まで無償化と言われている中、横浜市ではようやく中学まで無償化と、差を感じます。税収の差があるのはもちろん承知の上ですし、頑張って無償化範囲を広げて頂いている中かとは思いますが今後高校生まで広げていただけると助かります。</p> <p>子育て世帯への支援を手厚くすることで、今後横浜市への転入も増え、将来の納税者を増やして活性化させていけるのだと思います。</p> <p>現状ですと「子育て支援の手厚い他の市へ引っ越したい」という世帯のほうが多いかと思えます。</p> <p>支援センターなどは充実しており、職員さんも皆親切で本当に助かっておりますので、金銭面での支援もぜひ増やして、本当の「住みたい街横浜」を実現していただきたいです。</p> <p>そのためにも目標値をもっと高く設定して尽力していただきたいと思えます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2の主な施策2に関して、静岡市のように保育園と幼稚園をすべてこども園に統一し、かつ待機児童所を設置するするやり方はいかがでしょうか。</p> <p>待機児童がかなり減り、保育園に入れなかった子の親も待機児童所があることで職場復帰できたと聞きました。</p> <p>職場復帰できるイコール税収が増えることにも繋がります。</p> <p>また、保育園ではどうしても「保育」中心になり、幼稚園で行うような「教育」を受けられない環境にあり、共働き世帯の子供への教育機会が損なわれてしまいます。</p> <p>こども園にすることで保育園と幼稚園のいいところを取り入れて教育も実施できたりするなどメリットが大きいと聞きました。</p> <p>のちのちの子どもたちの学力アップに繋がったりはしないでしょうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>やっと全員給食とのこと、嬉しく思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリーではなく、おいしく温かい給食にしてほしいと思います。親子方式、兄弟方式等々、やり方は工夫できるのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー型ではなく、小学校と同じ自校で作ったできたての温かい給食を希望します。孫は中学生です。共働きなので、デリバリー弁当を注文しますが、いつもまずいと言っています。</p> <p>他の地域でもデリバリー型給食は不評で子供達に喜ばれる出来たての給食に変えるところも出ています。出来たての温かい給食は誰が考えても、冷たい弁当よりも美味しいではないですか、中学生は成長の途上に有り、将来を担う、大事な子供達です。</p> <p>栄養士さんの計算された、地産地消の新鮮な食材を使った自校方式の給食は心と身体を元気にして健康になります。大都市横浜市は他市におくれをとらない様、未来ある子供達を日本の中でも一番元気で健やかな子供達にするんだとの気概を持って欲しいと思っています。よろしくお願いたします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>東京都品川区の様に横浜市も、子供を守るという観点から、子供へのGPS貸し出しや携帯電話購入補助制度を設けて頂きたいです。</p> <p>全ての子供を対象として頂けたら、大変助かります。</p> <p>(International School各種学校も対象として頂きたいです。)</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関連するご意見として、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生全員にあたたかい給食を実現して下さい。あたたかい給食はおいしく、残す生徒が少なくなります。おいしいので、給食がたのしみになります。給食を通じて、生徒同士の会話がはずみ友情が芽生えます。自校方式にしていけば調理員との会話もはずみます。人との関係を結ぶ力がつきます。健康に良い食事についての知識もつちかわれていきます。ぜひ自校方式を中心とした給食をやり始めて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式の冷たい弁当ではなく食育としての自校方式の温かい給食を、一斉に開始できなくても計画的の順次開始して欲しいと考えます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>地域における子育て支援の場の利用者数を倍増させたいのであれば、魅力的な施設を作っていただきたいです。私は戸塚区上矢部町在住ですが、戸塚駅前には小規模なキッズスペース程度しか無く、地域子育て支援拠点は駅から少し離れており、子ども二人を連れて歩いて行くのは大変で、車で行けば駐車場の料金が気になってしまいます。また、上矢部地区センターは老朽化しておりセンター内が暗く、プレイルームは古いおもちゃが少しある程度で週2回の支援員さんがいらっしゃる時間以外誰もいません。駅前に大型の無料プレイスペースと図書館が作られている明石市の例をぜひご覧下さい。子供の遊び場があれば、子育て家庭が集まり、経済が回ります。多子家庭や、雨の日でもアクセスできるよう、駐車場の提携もお願いします。地域のプレイルームも、0歳児とその親にとっては大事なスペースです。どうか更なるご支援のほどよろしくお願い致します。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>明石市の図書館など、成功事例をご参照いただきたいです。ぜひ図書館周辺の住民だけでなく、市内どこの住民であっても利用しやすいよう、十分な駐車場の用意、または提携も併せてご検討のほどお願い致します。また、例えば地区センターも含めて利用者カードを統一し、県立図書館や市立図書館の蔵書もオンラインで予約・地区センターへ取り寄せることができたらと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について                      自校調理ができる中学校から実施してほしいです。又、近隣の小学校と合わせ届ける方法をとれば、実施できる中学校は増えます。                      長期計画で実施校を増やしてほしいです。デリバリーは破たんします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>放課後、児童、生徒が自由に球技運動できる広場、又は解放できる体育館つき児童館を鶴見に作って下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」及び政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について                      “全員実施”デリバリーではなく小学校と同じ様な自校方式又は親子方式で温かい給食でお願いしたい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>素案P34                      中学校給食の全員実施                      デリバリー方式でなく、小学校と同じ自校方式、親子方式であたかき給食を実施してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>どの子にも豊かな教育を、30人学級を早急に実施してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>市会議員、市長、市の職員の皆さんは御自分たちが毎日食べたいと思う食事を子どもたちとわかちあって下さい。                      SDGsも気候危機も、カーボンニュートラルも子どもたちの未来をつくるのは、今を生きる大人の責任です。世界は学級給食を基軸に人間の持続可能な自然との関わり方、暮らし方を創り出そうとしています。横浜市がその先頭に立つことを願います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>孫はシングルマザーが子育て中、小学校の様な温かな給食を願っております。私も色々勉強しまして、義務教育の中学生に「横浜市は中学生給食なし」にとっても驚き残念に思っています。</p> <p>そして給食施設も将来を見据えて自校式が原則に願います。家庭形態の様々な昨今、「食育」がより重要になり小学校の経験もあり、工夫次第で食事時間も取れる筈。先行地域では実際に給食実施しているのですから。</p> <p>そして各年代市民住民に大変重要と思われるのは、災害時に給食施設活用ができる事です。小学校・地区センター等使えなくなったら中学校と選択肢が多いのが、これからの時代と思います。</p> <p>教育委員会作成した調査表「ミックス方式、小中学校組み合わせ令和4年8月版」の調理能力を単純計算すれば中学校と必要数は賄えます。事は簡単ではないのは重々承知ですが、業者任せにするより、地域で運営すれば、地産地消も、不慮の事故が起きた時も被害が少なく済みます。</p> <p>当事者として、慌てて中途半端な箱物を作るより、将来を見据えて、地域の中学校小学校の給食室設置をお願いします。</p> <p>優秀な横浜市職員の皆さま、期待しております。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1 横浜市では不妊・不育への支援は相談支援だけなのでしょうが。 東京都では、保険不妊治療の先進医療に最大90万円まで助成という報道も出ています。子育てしたいまちと謳うのであれば、相談支援だけでなく、東京都のように中身のある支援を計画に明記して、4年間のうちに実現してください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>妊婦健診の助成額も横浜市は全国平均以下です。出産育児一時金は国の制度ですが、健診の費用助成は横浜市で決められるのではないのでしょうか。ぜひお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市中学校給食ですが、デリバリー型ではなくて、全員が温かい給食を食べられるようにして欲しいと思います。 小学校給食の様なその場で作って食べてもらうあたたかくて美味しい給食の実現をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 子どもたちのアンケートでは6割の子どもたちがあたたかい給食がいいと答えています。今のデリバリー弁当では、温かい給食はむずかしく、大阪市ではデリバリーから学校調理に変更しています。エアコンでも3年計画で行っています。 子どもたちがのぞむ、中学校給食を要求します。 教育委員会の調査で自校方式で39校、親子方式で22校、兄弟方式で11校可能を報告。できるところからお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>かねてより望まれている「中学完全給食化」は、ハマ弁を全員に食べさせると言ってるわけでないことくらい分かりますよね。 子供たちが食べたがらないものをお金取って完全給食にするとか、嫌がらせですか？そんなにハマ弁使いたいなら市長を先頭に市役所で食べてください。 我々の言ってる「中学完全給食化」はこういうことではありませんので、即刻事業を棄却してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「小児医療費助成の拡充」について、市長の公約どおり確実に進めていただきました。</p> <p>さらに言えば、特別区では高校生までの医療費無償化を掲げており、今後のさらなる拡充を期待したい。</p> <p>少子高齢化の対策としては、何よりも費用面での助成が欠かせない。財政的には困難かもしれないが、選択と集中により、370万人をほこる横浜市の変革に期待したい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>①給食の時間を今より伸ばし、もう少し余裕をもって喫食できるようにしてほしい。</p> <p>②横浜市財政を鑑み、財政負担を少しでも減らすため、デリバリー方式での全校展開を進めてほしい。自校方式、親子方式、きょうだい方式は、全校展開にかかる時間が長く、単一自治体として不公平感が大きいと、絶対にやめてほしい。</p> <p>③デリバリー方式の給食を食べたことのない市民による「デリバリー方式=まずい」というレッテル張りに負けないよう、子どもたちのニーズに沿った献立作成の工夫なども検討してほしい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策1 切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期。乳幼児期～ 政策1の2 26ページ基礎的な出産費用の無料化をしてください</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1 切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期。乳幼児期～ 政策1の5 26ページ子どもの医療費を中学校3年まで無料化してください</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進 政策5の1 34ページ 学校給食法に基づき子供の成長に必要な栄養の摂取、食育、食習慣に重要な役割を果たす中学校の全生徒対象の完全給食をデリバリー方式でなく、育ち盛りの子どもたちに温かいおいしい給食を提供するために自校方式・親子方式等地域の实情に合わせて実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食、全員で食べられる給食の実現を…長い間署名活動をしてきました。自分の子どもたちはすでに40代～50代になっています。孫の代になりました。デリバリーを市は考えているようですが、大阪市のように“完全な給食”を実施して下さい。</p> <p>他市町村は（東京区、青森市など）はすでに「無償化」の時代です。1/3以上の自治体が実行しています。</p> <p>子どもたちを大切にしたい横浜であってほしいと願っています。署名活動をしていると他市の方々から「横浜は住みにくいのでひっこそうと思っている」という声をよく耳にします。特に若い層にもっと力を入れて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>意見 中学校給食の早期実現を切にお願いします。 理由： 1 すべての生徒に栄養に配慮した昼食を。 2 働く両親のための負担を軽減させるために。 3 お弁当のおかずが貧富の差が表れたり、愛情のありなしが問われたりすることをなくすために。 よろしくお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
大切な子供の命を守る事。人手足りない。言いわけや保育の命を預かる意識のなさ。一人一人の心がけとシニアの人を手に借りて、バスの送迎バスチェックと声かけできたら、守れると思います。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます
政令都市で給食がないのは横浜市です。すべての子ども達にあたたかい給食を提供して下さい。デリバリーでは本来の給食とは言えません。これからの未来を担う子ども達に平等にあたたかい給食の実現をお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
図書館の充実をお願いしたいのです。鶴見図書館などは、だいぶ古くなっておりま。明るく清潔な、幼児でも少しは話し声が気にならないような図書館を見直しをおねがいします。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
横浜市の図書館の数を増やして欲しいです。他所から転入してくると横浜市の図書館のサービス規模は絶望的でもっとも改善すべきです。私は西区に住んでいますが近所の軽井沢コミュニティの図書室（？）は著書も少なく、古く、いまだに紙に書いて借りるスタイルで悲しくなります。横浜市は外面ばかり気にして市民サービスはとても貧弱です。中学校を間借りしたようなスペースでは無く、大きな図書館を作ってほしいです。本を読んだり図書館の自習コーナーで勉強することで子供達にも豊かな教養を身につける機会が生まれると思います。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
孫たちの中学給食にあたたかい物を食べさせてやりたい。横浜だけ（？）が遅れているのが残念。未来を担う者を大切にしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
いち早く指定（指定ごみ袋）にし、そのごみ袋のお金で、中学校に給食室を作り、中学校でもできたてのあたたかい給食を提供すべきだ。食育や地産地消、地元雇用の拡大にもつながる。本当に横浜は遅れている。お金を使い方、運用の仕方がまちがっている。ぜひ検討していただきたい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
医療の実質無料化は反対です 過去の施策から、高齢者や生活保護対象の医療費の実質無料化では大きな無駄	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食について デリバリーではなく全員が温かい給食を食べることが出来るようにしていただきたい デリバリーではコンビニ弁当のようです 一度冷やさないと聞かれないと聞いています。 出来れば地産地消で地元の農家さんなど顔の見える食べ物を活用して下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市は芸術家を学校に派遣するプラットフォーム事業（学校プログラム）を行なっていて、子供の心の育ちを支援する素晴らしい取り組みだと思っている そこに『p4c = 子供のための哲学』も取り入れてもらえないだろうか？ これにより自分の意見を持てる子、他人の意見を尊重出来る子が育てば政策4, 5についても自ら救いを求めたり発信出来る子が出てくるのではないかと思う 道徳、授業中では先生の顔色を伺い正解を求める場になってしまうので、やはり外部の人間が学校へ入って行き、違う場として子供が解放される必要があると思う。 是非、検討していただきたい。</p>	参考	<p>芸術文化教育プラットフォームについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>こどもたちに温かい出来立ての給食を出して下さい</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子供への支援、小学校給食の無料化 お金集める費用も必要、その分緑税みたいの作れば。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療の助成の所得制限の撤廃はぜひ早期実現を期待したい。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食に関しては外部業者からの提供に加え、学校内での調理に加えるなどより美味しい給食の拡充を期待したい。財源は高齢者より子供、若者に手厚く配分してほしい</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子ども達の逃げ場、相談場所、遊び場所が必要だと思っている。子ども食堂を含めて総合的な取り組みをしてほしい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 中学校給食は早急に取り組む必要があると思う。食事をきちんと取ることは教育、成育の基本だと思う。残ったりした場合でも欲しい人に持って行けるようにすることで無駄が出ないことも大切。オリンピック選手村での大半がごみとされたような状況は国の恥。 市民としての教育となる給食の場とらえられたら良き若者を育てられる</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策6、9、38 大和市の評判高い図書館のような場が広まることを願っている。チマチマしたものが多く口うるさく使わせないような施設が目につく。役所的な管理の悪い面が出ていて、きれいになっていることが大切で、広く皆に開かれた場になっていない。</p>	参考	<p>市民利用施設についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>幼・保・こども園の送迎バス置き去りの件を受けて、横浜市内の実態調査をする。結果を分析し、必要な対策を検討・実施する。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育てで支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます</p>
<p>政策③いわゆるヤングケアラーの方策を探る項目かと思うが、行政が直接介入する前に、大人を再教育する機会が必要と考える。2親等以内の親族には相互扶助の義務があったはずなのに、就学期の子どもが困る→行政なんとかしろ。これでは何の為の法なのか分からない。行政の直接介入の前にワンステップ。親族に協力を打診して、能力がありながら協力を惜しむ場合は、子どもが成長した時に、年長の親族の扶助から外してやる、くらいのことはよいと考える。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策⑤ （中学校における学校給食の実施。27年前から署名に協力してきたが、あかんもんはあかんという背景があります。）「総ての生徒に、平等に」これを「最終的にすべての生徒に平等に」とすればよいのではないかしらと考える。例えば、区や学区（旧学区）といった域をモデル地区にして、実施してしまう。お母さんは不平等だの、割喰った感を（特に子どもに関して）を嫌うので、モデル域と未実施の差に盛大に不満を持っていただければ少しは進歩するのではないだろうか。 市立中学校の教員は給食指導をしていないから、給食（中では弁当）の時間は事務給相当とすとか。つまり、小学校教員は指導しているので、経験年数に応じて、教科指導並みに昇給するが、中学校教員は事務給並みにしか昇給しない、などとして、中学校教員に盛大に不満を持っていただく。こういうのも推進力にならないだろうか。 ※余談ですが、子どもが小学生の時、町田の給食メニューをなぜか知っているお母さんがいて「1品多い」と。欠食児童でもあるまいに、1品不足がそこまで不満かと思ったことがあります。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>共働き父母が増える中、中学校給食を検討</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見を踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>1クラスの人数を見直す等子育てに関する予算を増やす。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』を進める上で、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>この国を担う子供達の支援を最優先してほしい。学校や教育委員会などの組織が硬直化している。もっと柔軟に対応するべき、いじめ問題などは人権の大きな問題だ。 すばらしい理想論はあるが、もっと足元を見つめ真摯に向き合ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費助成更に拡充し、18歳迄の完全無償化を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育てで支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P33～36 どの子にも豊かな教育を</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見を踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P23～30 お金の心配なく子育てできる街へ</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「デリバリー方式」では、温かい給食の提供ができない。自校方式、親子方式、兄弟方式、小規模センター方式をミックスして温かい給食を提供する方向を追求してもらいたい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学給食について…デリバリーでは他都市においてデリバリーからセンター方式や自校・親子方式に切り替えている。いきなりセンター方式に変えるのは大変と思うが思い切った方式にした方が結果的にうまくいくと思う。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
ひ孫は今年中学1年に成りました。母親は勤めているので朝弁当を作ってやるのは大変だと言っていました。自校方式の給食をお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学生にも自校方式の給食を食わせたい。 小学校の調理場を利用させてもらうという方式が言われていた事がありました。その方向では難しいのですか。自分の子供の時は、実現しなかったので、現在40才ですが孫の世代には実現して欲しいです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食について 未来をになう子供が、みんな平等に食事を健康的に楽しくとれることは生活の基本です。一日の一食でも学校で確保できるのは安心な生活の第一歩です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校はデリバリーではなく、自校方式にするべきと思います。生徒たちは温かい給食を望む声が多く、デリバリーだと冷たく食品ロスも多い	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食を全員喫食は大いに評価します	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
デリバリー方式ではなく、小学校と同じように自校方式にするべき。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
少子化対策としてもお産費用の無料化を早急に進めるべきです。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>中学校給食についてお願いします。</p> <p>現在の食事が「ハマ弁」というお弁当とききます。冷たく美味しくないため残食が多いともテレビのニュースになりました。美味しくないからパン（菓子パンや調理パンなど）で昼食代りにすることもあるでしょう。家庭はほとんど共働きです。中学生はこれから大人になる、体力もつける大事な時期です。そして、温かい給食をとることで、心の豊かさも育まれます。</p> <p>お願いです！是非大事なこの年代の子供達に温かく、美味しい食事を提供して下さい。横浜市の評判もよくなると思います。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>中学校給食について</p> <p>災害の時にも役立てることが出来る。学校で調理する仕組み作りは将来的に有効です。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>学校内に給食を作る施設を作れば温かい作りたての食事が可能で、災害時の食料供給にも利用できる所以施設作りが必要。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>給食は温かいのにして下さい。デリバリーから親子方式に切り替えているのにデリバリースタートはありえません。デリバリーでは温かい給食は無理です。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>せっかくの給食だから、作りたての温かい物がほしい</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食を小学校と同じように、温かい物を食べさせてあげたいと思います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
デリバリーではアレルギー対応はできないと思います	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
中学校給食は自校式給食で全生徒が温かい食事がとれるように希望します。現在のデリバリーでも負担金が多いと聞いています。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
困難な状況にある子供、母子家庭への支援を充実してほしい	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
児童虐待の防止を充実してほしい	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食を早く作って下さい	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
孫が鶴見区に住んでいますが、孫たちに温かい給食を食べさせたい。デリバリー方式ではダメです。小学校のような給食を中学でも実施して下さい。よろしく願います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食について 全ての中学生が給食を食べられるようになるのは前提だと思います。一方でデリバリー方式の冷たいお弁当ではなく、自校調理や親子調理方式を含めたあたたかい給食になるとよいと思います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食は完全無償化と自校方式で全員食べられる給食をお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について、冷たいお弁当は反対です。育ち盛りの中学生と“おいしい”と喜ばれる温かい給食を！予算的には同額と聞きました。小学校と同じ給食を切に望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市中期計画2022～2025（素案）のP33およびP34の中学校給食を「デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の確保」「アレルギーへの対応などによる家庭弁当の選択も可」について。 横浜市教育委員会健康教育・食育課が2022年9月2日の横浜市教育委員会会議で提供された「中学校給食＜ミックス方式＞小中学校組み合わせ（令和4年8月版）」によれば、自校方式が可能な39校で、余食（余力）が11,000食生まれる計算が成り立つのではありませんか？ これに親子方式（1小1中だけでなく、大阪市で実施している2小1中や3小1中方式）と兄弟方式とをあわせて実施すれば、全144校での学校調理方式（自校、親子、兄弟方式）は可能なではありませんか？ 144校が一斉にスタートすることが規模の点から無理であるならば、順次実施する計画を生徒、保護者、教職員、市民に明らかにして進めれば、納得が得られるのではありませんか？一番肝心な点はおかずの冷たいデリバリーでは残食が多く、評判が悪いことは、全員へのデリバリーを過去に実施して取りやめた大阪市など他都市でもすでに経験済みのことです。横浜も同じ轍を踏む必要はありません。それこそ税金の無駄遣いになるのではありませんか？ さらにアレルギー対応のためのいわゆる除去食や宗教上の理由で必要な豚肉などの除去食をデリバリー給食でどのように対応するのですか？不可能なのではありませんか？以上のような理由から全144校での学校調理方式によるできたての温かい給食の実現を中期計画2022～2025に盛り込んでいただくよう、切望いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1～6は、義務教育の中学生迄の政策です。 子育てでは、それで終わりではありません。 義務教育までは、塾代をかけられる家庭やそうでない家庭もありますが、公立でなんとか差がなく教育を受けることが出来ます。 しかし実際に大変なのは、高校からで、親の経済力によって、教育格差が顕著になってきます。交通費、医療費、修学旅行代、塾代等、馬鹿になりません。 更に大学進学となれば、学費が重くのしかかってきます。就職前に多額の奨学金と言う借金を抱え、就職しても借金返済で貯金も出来ず、結婚も遅くなり、少子化になる負のループに陥ります。 子どもを産むことを躊躇する不安を解消して頂きたい。 学びたい子ども達が、親の経済力によって、学びを諦めざる負えないような状況にならないようにして頂きたいと切に願います。 子ども達、子育て世帯が住みやすい地域になれば、高齢者福祉につながります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、子ども・子育て家庭への支援に関する施策・事業の推進にあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1 妊婦健診補助券の金額見直し、補助券の利用で負担を0円に（P26政策1） 検診内容は同じなはずなのに妊婦健診の金額は、個人病院と総合病院と大学病院で異なる。まず妊娠中の医療費サポートを検討し直して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策2 保育園の死亡事故対策 2004から2020年の16年間に218人の子供が亡くなった。 保護者が信頼して安心して預けて仕事に迎えるよう保育園の第三者機関による指導、指摘の改善と強化をすべきではないか。また指摘の結果を保護者だけにでも公表するべきではないか。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>生協によるオムツと育児相談の支援 コープ神戸では、おむつ定期便という0歳児をもつ家庭に、おむつやベビーフードなどの育児用品を毎月届け、母子の健康状態などの見守り、子育て情報の提供を行っている。子育て経験のある配達員が1軒ずつ手渡しして回り、困りごとの相談に応じている。</p>	参考	子育て支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>待機児童の預かり保育強化（P28政策2） 満1歳児の4月入園競争率が高くなり、入れなかった場合に仕事を辞めるしかない。そのため近頃は保活と呼ばれ、点数まで計算して必死に保育園入園の活動をしなければならなくなった。 一時預かり保育は週3回の利用制限がある。 週3回では正社員には戻れず時短でも働けない。また一時預かり保育所の定期利用は満員、都度利用は毎月1日の9時先着順でこちらは毎月保活になる。仕事に復帰できるよう利用制限を廃止すべきではないか。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>p27政策1 施策2について 経済的負担の軽減方法について、出産費用助成よりもまずは保育料の多子軽減の範囲を拡大するべき。現状、上の子が小学生となると下の子は第1子扱いとなり、軽減措置が受けられない。兄弟の年齢差により軽減される期間が異なり不平等を生んでいる。 そして妊娠出産→復職または妊娠出産となると、どうしても第3子を保育所へ入れるまでに年数を要する。第1子が在所中に第3子も保育所へ入れられる年齢差で子を授かることは無理に等しいのではないか？ 度々市民の声でも要望があがっているので、国の制度に基づく範囲を超え、まずはこちらの問題から取り組んでほしい。育児中にかかる費用が軽減される方が、子育てしたいまちに相応しいと思う。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>市立図書館について、大和市の文化創造拠点シリウスをぜひ参考にさせていただきたい。 乳幼児等子育て世帯にも利用しやすい環境（読み聞かせスペース等）と屋内こども広場が充実している上に、自習する場、飲食店等があり非常に学ぶ場として利用しやすい施設であると感じる。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>中学校給食について アレルギー対応を除く全員喫食は賛成。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>デリバリー方式に統一は反対。 デリバリー方式は効率的とのことだが食事が大きく異なってくる中学生の男女が調整できない同一の弁当というのは無理があると感じる。フードロスを生む。自校、親子方式を望みます。自校、親子共に実施不可な学校は本当に給食質の建設が不可であるのか今一度第三者機関等に調査を依頼していただきたいです。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>p34政策5 施策1について 食事時間も同時に見直していただきたい。全国ほとんどの自治体で実施できているのだから、時間割は他自治体と比較して何が問題であるのかを公表してください。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
低予算で済むからデリバリー、ではなく、給食室を設置し、温かい食事を作る方式で、人生で一番の成長期である中学生に、栄養豊かな昼食を食べさせてあげてください。私の中学生時代には無く、子どもどころか孫の世代にも、実現できていないとは、日本一の政令指定都市の恥でしかありません。これからの日本を作る子どもたちに、大人たちがしっかりした姿勢を見せるべきです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
保育士の増員、処遇改善を求めます。 全ての保育・教育施設に質の高い乳幼児期の保育・教育の実践が求められているにもかかわらず、保育士の数は慢性的に不足しています。質の高い保育を実践するには何よりも質の高い保育士が十分に配置される必要があります。保育士の配置基準の見直し、増員を求めます。そして、保育士不足の原因は保育士の給与が低く、生活に不安があるからです。保育士として、生き甲斐を持って、生涯働き続けることができるよう、処遇改善を行ってください。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、参考にさせていただきます。
3歳以降の保育料が無料化されているのに、二歳児までの保育料は高いままです。保育料の軽減と第二子の無料化を求めます。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策1、出産費ゼロ賛成。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策3、子育て支援・保育費・幼稚園費ゼロ賛成	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策3、子供の居場所づくり賛成	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策4、虐待の防止のために「児童相談所の拡充・増員」を望みます。	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策5、給食は「教育」です中学校給食全員喫食・食育も同時にやる。給食費も無償にする。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策6、木造の学校建設をお願いします。ぬくもりを感じる「教育」にして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
政策7、健康には「無農野菜」「牛乳」「たまご」「肉」が必要です。横浜市内の農業を無農薬にして「学校給食」に提供してください。	参考	学校給食についてのご意見として、参考にさせていただきます。
P35の政策6「豊かな学びの実現」市立図書館の再整備の方向性が検討され街の魅力づくりに資する新たな図書館増が共有されています。 私は、地区センターでの本の返却や予約本の置き置きだけでなく、地区センターの中に図書館の分館を造り、図書館の機能を入れてほしいと願います。これは、高齢者が歩いて行けるところに図書館があれば通えるし、子育て世代にも子どもたちにも便利だし、利用が増えると思います。 今の地区センターの状態はただの本の水たまりです。地区センターと図書館とが連携できるシステムを作っていただきたい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は後期高齢者ですがバスや町中を見ても高齢者の多さが目につきます。とくに昼間のバスなどはまるで老人会の貸し切りバスのような状況です。この高齢化と少子化には我ながら不安を感じます。</p> <p>何とかして少子化を食い止める施策に期待をしますが今までと同じことの繰り返しでは大きな成果は期待は出来ません。何としても若い方々の意見を吸い上げて施策に生かしてほしいと思います。</p> <p>またそのためには人口を増やすことも必要で、最近田舎暮らしを希望する方が増えていると聞きます。ならば逆転の発想で都会暮らし、横浜暮らしを率先するような施策もありかと思えます。若い方々の知恵と工夫で新たな可能性を探って頂きたいです</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に「明日をひらく都市」を実現していくためには、明日をひらく都市を「共にめざす」仲間を増やす必要があります。仲間とは、現在の横浜を支えてくださっている方々はもちろんのこと、今後横浜市民になっていただく方、横浜で生まれる方、横浜で働く方です。仲間を増やすために、「横浜で子育てしたい」と思っただけのような、あらゆる策を講じる必要があります。」と記載しており、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>待機児童を保留児童について調査をされた事は全国でも初めてであり、評価しています。是非、保育所の定員外入所や定員制により、保育士が年度始めから配置できず途中からの入所が困難にならないよう、対策をとり、子育てしやすい横浜にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリー給食を全員へというのは一定の前進かと思えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー給食は冷却しなければ配送できず、冷たいおかずは残食につながりフードロスに。「それみたことか！！」「家庭弁当が一番」に逆もどりという事にならないよう3カ年計画等で市債を発行してでも自校方式や兄弟・親子方式の給食を本腰を入れて、やって欲しいと思えます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>温かい給食を中学生にも実現して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>給食、デリバリー方式ではなく、自校方式による給食を実現する。成長期の中学生に栄養のある温かい給食を実現する。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 食事のおいしさは、あたたかいものはあたたかくです。デリバリーの給食はおいしくないといって残食が多くて他の自治体では結果やめています。 特に育ちざかりの子供はなるべく食べ残しを少なくして、栄養はバランスよくとれるようにしていくことは重要と思えます。 小学校ができていますし、他の自治体もできています。デリバリーでなく小学校と同じような給食を検討して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>具体的な項目：中学給食について 私の意見・要望：今のような業者弁当ではなく、小学校と同じように自校方式又は親子方式で、中学生に皆と一緒に温かいものを食べる給食を提供して頂きたいと切に願います。 お母さんの愛情弁当とよく言いますが、愛情がたっぷりあっても、働いているお母さん、病気のお母さん、母子家庭のお母さん、父子家庭のご家庭は、毎日のお弁当作りは、なかなか難しい事が多いと思います。 実際に息子の友人は中学時代に母子家庭でお母さんが教師でしたが、殆どお弁当を作ってもらえず、登校時にコンビニで買ったり、買う時間もなかったりで満足はいく昼食を取っていませんでした。あるお母さん達は、子供達にお弁当を作らせていました。そのお弁当は、ご飯の上に卵焼きをのせただけの物でした。 また、心の成長面でも、小学校のような給食の所は、いじめが少ないという統計もあるようです。 成長期に給食で皆が同じものを食べることによって育まれる心と体の成長は、何も増して大切な物だと思います。日本の将来を担う子供達に健全な食育環境を提供することは、大人の役目だと信じています。 小学校のような温かく美味しい給食環境を、今の中学生にも、ぜひ、整えてください。 この事は、横浜の長期にわたる悲願です。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>（政策3、4、5）満足に食事ができない子供達が全国で16%あるとの情報がある（今は20%？）ので、横浜でもこの減少に努めていただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>子供の虐待の報道がある度に行政の対応遅れや怠慢が明らかになるので、これを解消してください。子供を大切にす政策に対する戦術の早期具体化と実行を！！</p>	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「園児一時不明・放置15件」 ・幼児の安全確保</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます
<p>政策2 中学校3年生までの医療費補助の所得制限の撤廃 （1）子どもの医療費負担について、地域格差があるのは、納得できません。 （2）横浜市の乳幼児医療証の所得制限については、特に制限の金額が低いと思います。 （3）1年でも、1日でも早く、子ども医療費助成に対しての所得制限を撤廃してほしいのです。また、中学3年生までの医療費について無償化を強く希望します。 不安を感じた時に医療費負担を感じる事なく、子供を病院に連れていける環境を宜しく願います。（6才・4才の母）</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>少子化や保育園定員割れを表現される事が多くありますが、今までの園・学校の定数が多いのであり、子ども、児童に対する大人の割合を増やし、個々が発揮できる質の向上に変換して欲しいです。 また、一人あたりの面積も増えることで身体の成長を促し、精神面の不安にも繋がり、関わる大人の負担も減らす事が出来ると思います。人口を増やす事ばかり意見が述べられていますが、現市の面積においては多い位ではないかと思ます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>虐待される幼児が多い社会 特に再婚などの幼児の悲しい事件、弱い立場の人間の尊厳が著しく傷つく社会、悲しいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>よく思うんですが学校の空教室を保育スペースにするのはできないんでしょうか。給食室も校庭も使えるようにすればわざわざ場所をさがさなくてもいいのにと。あるものをどんどんつかって人を雇えば仕事も増えるんじゃないかなと考えています。一から作るムダもなくなるし。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>介護ヘルパーをしている友人が話してくれたのですが、現代ヤングケアラーの話をよく耳にします。そういうご家庭に公的サービスとしてヘルパーの介入はできないのでしょうか 同じ子を持つ母として子供には子供らしく、可能性ある将来を歩けるようにサポートできたら…と切望しない訳にはいきません。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の最大のウイークポイント中学給食問題、何十年も女性に（母親）に弁当を作らせてきた現実があります。働く女性の増加の中で、又貧困家庭の給食による栄養問題などコロナ禍の中で育ち盛りの中学生の食育問題は重要課題です。 財政問題を理由に中途半端なデリバリー方式にするのではなく21Cに通用する温かくおいしい自校方式を複数手がけても実施してほしいと思います。 汁物の充実や男女中学生の家庭科教育—食育的観点からも給食当番の役割は意味のある教育になります。せめて、親子方式でのおいしい給食！ 社会人になればいやでも弁当（プラスチック容器）の世話になりますが、毎日あの容器で食べれば美味しくありません。飽きます。 みどり税を給食税に切り替えて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1.について、 ◎横浜市の派遣チーム(保育士)を作る。 短期で働ける保育士の登録。 ※正規保育士の有休取得の低さ しっかり休められることによって、継続して働ける。 ※資格ある保育士を派遣することで現場の質の確保。 ※保育士の資格をとっても、現場に入ってみないと、実際の保育がわからず・辞職の人が多。この問題を解決するために、いろんな保育園に手伝いで働くことにより、ここで“働きたい”と選択ができる。(処遇なども) ※園の実情（日常）を実際に見られることで、監査だけでは、見逃されている。虐待に近い保育把握できる。(特に、親族経営者など、実際に勤務していたら、守秘義務などで話しができない。) 内部告発の難しさ→保育士の一斉退職。 (派遣者の)数名、同じ報告があがればその保育園の実態把握ができる。 企業などの保育園進出は、(法人の方がひどい場合も)あたり前になっています。 本来なら、“公的機関での保育”があたり前だと思いますが、そこを民間施設が補っているのが現状です。 せめて、現場の実情を把握してもらいたいです。 横浜市の子ども・子育ての支援の充実のための具体策だと思います。 是非ご検討をよろしくお願い致します。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食について デリバリーでは冷めてしまい、すぐに飽きてしまう。 自校式調理可能な学校、近隣の小学校で対応可能な学校から試行して始めてほしい 一斉に全校なくても</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>児童虐待対応 市内5か所め（鶴見）に加え、さらにサテライト機能を持つ児相の拡充を。一時保護所の受入定員増</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>素案P34中学校給食の「全員実施」について 我が子から孫へと長年の夢が全員喫食という形で実現できるようになり、ほんとうにうれしく思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>現中学2年生の孫が一か月ばかりデリバリー方式の弁当を食べました。おかげで冷たく味も濃くあきてしまい残すことが多かったと話していました。「小学校のような温かい出来たての給食をたべたい！！」 どうせ実施するなら自校方式や親子方式（近隣の小学校）で子ども達も望むできたてで温かい給食をお願いします。 初期投資にはお金がかかるとは思いますが、長い目でみれば採算が取れるのでは、又災害時には炊出しにも利用できるのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学校給食「デリバリー方式」にてこの方針はがっかりです。 すでにデリバリー方式を採用した他都市では残パンが多すぎて給食に切り替えています。やはり、他都市に学ぶべきで、始めから生徒の評判の悪い弁当はやめるべきです。 市長も弁当を試食しているようですが、小学校の給食と食べ比べてみてください。子供の気持ち、意見が第一です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>ほぼ全国の中学校で「学校調理」の給食が行われています。 政令都市の横浜市がなぜ実施できないのか、実に不思議でなりません。政党の党利の目線が気になります。子ども達の目線が入っていません。食育と言われる様に子ども達の将来がかかっています。校内でお母さん方がつくった愛情たっぷり温かい、おいしい給食を子ども達は求めています。給食で冷えたご飯を子どもたちが喜ぶと反対してくる方は思っているのでしょうか。冷めた弁当はやめましょう。議員のみなさん子どもの目線で判断下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>①市教委の調査で、自校方式可能校39校、親子方式可能校22校、兄弟方式可能校11校であると報告されています。まずはこの可能な学校から実施に踏み切るべきだと考えます。足りないところは、センター方式で工場を建てる気になればできる話。優先すべきは、生徒が「満足する温かい給食」にはやく踏み切るか、生徒に評判の悪い、業者任せにするかだと思います。 ②親子方式の組み合わせについて、市は「1つの中学校に対して1つの小学校から配送する」前提にこだわっていますが、他都市のようにそれを見直し、複数の小学校からの配送も可能にすれば、改修工事、人の配置、配送計画など、比較的大きな予算を立てなくても、親子方式はできるのではないのでしょうか。直ちにこのような計画案をつくってください。 ③子どもの大事な1食（食事）を、業者に任せるわけにはいかないです。業者は利益を上げるのが目的。諸般の事情で利益が上がらなくなれば撤退もありえます。そんな業者弁当は、「給食」とは言えません。しかも、長期の契約してしまえば取り返しがつかなくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食は完全無償化と自校方式で全員食べられる給食をお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、デリバリー方式ではなく、小学校のような温かい給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>保育園の先生の待遇を改善して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、小学校のような温かい給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく小学校と同じように温かい給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>保育士さんへ補助を、お願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全国の中学校のほぼ80%が給食を実施している中、横浜はデリバリー弁当を給食にと考えていらっしゃいますか？ “できたてを食べたい”の署名集めの時に「弁当はダメ」「おいしくない」「取るのをやめたよ」の声が多いです。山中様この度、中学校給食を実施することで、歴史に名前を残して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食 山中市長の言う、育ち盛りにまともな食事を、に大賛成。 私は家庭菜園をしているが、芋くらいなら作りたいと思う気持ちもあります。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学給食は、小学校給食と同じようにあたたかい栄養のバランスのとれたものにして下さい。 子どもたちはおいしくないと言っています。少子化の今、小学校でも職員の数さえ増やせばできるはずです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療の前進は大歓迎です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>中学校給食は小学校のような給食がのぞみです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>妊娠～子育てにかかる経済的負担の軽減というのなら、最優先にすべきは保育園保育料や学童保育料の負担軽減である。 出産費用は一部のホテルのようなサービスをしている産院や無痛分娩を選択しなければ自己負担金はたかが知れている。また医療費についても入院などない限りは家計の負担になることは少ない。 『桁違いに毎月かかる保育料』の負担が大変我が家は小学生二人、2歳児一人がいるが、所得制限で児童手当もなく、保育園と学童の保育料だけで11万以上かかっている。かなり負担(放課後キッズクラブは低学年までの子どもがほとんどで、中学年以上の子どもには人気かなさそう、その辺りの意味も考えてほしい。そのため我が家ではキッズに入れる予定はなし) また、第三子なのに上の二人が小学生のため、第一子扱いの保育料(77500円)も高すぎる上の子どもが小学生でも減免してほしい。 子育て政策のニーズも様々だとは思いますが、少子化や人口流出を抑制するのに一番有効なのは出産費用の軽減ではなく、『持続的な』経済的負担軽減だと思う。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生全員喫食の給食はよいと思いますが、自校調理や給食センター方式は莫大な費用と時間がかかるので、現行のデリバリー給食をより改善する方向で進めていただきたいと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P26の小児医療費助成制度について 川崎市からこの春転入してきましたが、所得制限があること、所得制限に引っかからなくても自己負担があることに驚きました。 共働きで子ども2人を育てるに当たって横浜市を選びましたが、今の制度のままでは安心して暮らせないと感じます。 所得制限の撤廃と中学3年までの助成を早急をお願いいたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の全員実施を子どもたちからもデリバリー方式が評判が悪いので、自校方式か親子方式での実施が望ましい。お金がかかってでも中学生が喜ぶ学校給食にして欲しい。親は子供や孫が喜ぶのが一番うれしいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34の政策5 中学校給食について デリバリー方式での喫食が軌道に乗ったところなので、その方向を維持して、食事時間の確保や、温かい食事の提供などの方法を探って欲しい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食についてですが、個に応じた対応が求められる世の中であること、それぞれが自分にあった生き方を選択できることがこれからの世の中に大切かと思えます。自分で選べる、という新しい形の給食を目指してこそ、未来都市横浜ではないかと思えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食 P33 政策5 標題について私のコメントを送ります。 中学校給食は、問題の冷たい配達弁当でなく自校調理、親子調理など温かい給食を中学生にも食べさせたい。 小学校で美味しい給食を食べて育った中学せい、小学校と同じ給食を食べたいといっています。 皆が同じものを一緒にたべることも教育として重要なことだと思います。 教育委員会が調査した、素晴らしい資料もみました。 これなら、2026年を待たずにできるところから、中学校の給食が実施できると思えます。 子どもたちのために、市長は公約を実現すべきです。 温かい給食は子どもの体と心を育てる大切な、教育ツールです。 SDGsの観点から、デリバリー方式の弁当は、車の排気ガスを増やすことになりま す。 地球環境をこれ以上悪くしなためにも、遠くの工場で作った弁当を車による配送をやめましょ う。 自校調理、ミックス方式なら排気ガスも少なくできます。できるところから自校またはミックス給食を始めましょ う。 市長公約実現に向けて頑張りましょ</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策3 困難な状況にある子ども・家庭への支援とあるが、この困難という尺度について今一度考えていただきたい。 子育てにおける困難はけては経済面だけではないと思う。 私はシングルマザーであるが、正社員であり所得要件に当てはまらない為に、児童扶養手当はもとより横浜市が掲げているひとり親支援制度を一つも利用することができません。ならば、より働かなくてははいけず。より子供との時間は制限されけして生活は楽ではないので、日々の生活も節約せざる得なくなります。支援を受けている世帯のお母さんは、週3、4日しか働かず市営交通の補助ももらえるため子供と電車で出かけたりしている姿を見ると初めは、まじめに働いて子供に寂しい思いをさせながらも、本当にこの手一つで育てている自分がバカらしく感じるほどでした。 話が少しそれてしまいましたが、児童扶養手当という形でなくても、もっと手軽に人手のサポートが受けられる仕組みや、イベント参加への補助、子供の学習サポートなど。所得制限を設けず、ひとり親全員平等に機会を与えて欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>昔からなぜ大都市横浜市は伸び盛りの中学生に給食が無いのでしょうか。どの政党も声高ではありません。浜弁はコンビニの方が便利でおいしいの評価。全員が同じもの。温かくバランスの良い給食にこそ意味があります。</p> <p>予算や施設づくりには膨大な費用が必要ですが、ほかの工事より優先度は高いはず。</p> <p>3年間のことなので親も子も過ぎてしまうと意識が薄れることもあるでしょうが、毎朝ボリュームのあるお弁当を早くから作らなければならない母親（父）の苦労もわかって下さい。議員の方々（特に男性）毎朝作ってみて下さい。愛情弁当を否定するわけではありませんが、子育てしやすい環境を作る大きな前進となると思っています。</p> <p>共働きの若い世代にぜひ朗報を。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」について「デリバリー方式」の見直しを求めます。義務教育の給食は「食育」です。子育て支援、次世代育成に重点ならば自前の給食施設にての給食の「全員実施」です。「デリバリー方式」ではコンビニエンスの弁当と同様です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進について市立中高一貫校を増やして欲しい。サイエンスフロンティア中高の取り組みは素晴らしいレベルの高い学生が集まっている。それだけ需要があることを示している。建設地の候補として横浜西部はどうだろうか。瀬谷区や旭区は中学受験率が低く、教育水準も低い。市立中高一貫校のような目標となる学校が出来れば子供たちの意欲につながる。</p> <p>優秀な学生が集まることで市内の教育格差も縮まると考えられる。</p> <p>また、横浜西部には充実した設備を整える十分な土地もある。</p> <p>「子育てしたい町、次世代を共に育むまち」を掲げるのであれば市立高一貫校の増設についてぜひ検討していただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>他県で教職に在った者です。中学校給食がない事に驚きました。子供の貧困が問題になって久しく、学校給食の必要性は切実なものがあります。さらにデリバリー方式ではなく、自校方式を目指すべきです。</p> <p>災害発生は時を選びません。給食設備が各中学校にあれば避難所としての機能が強化されます。大都市横浜だからこそ、必要と思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>次に食材の地元産を目ざすことで横浜農業の持続発展、環境の維持をはかってください。横浜の多様性は実に大きな魅力です。子供達の郷土愛が養われるはず。食を通じて子供達の学び、育ちにどれほど寄与できるのでしょうか。これは未来の投資です。予算（財政）的問題が言われていますが、大局的な見地から、抜本的な見直しが行われますよう心から願います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1に反対する訳ではない。しかしこの実施には財源の裏付けが必要である。カジリゾートを中止した今新たな財源があるのか？</li> <li>・元々戦略1は国全体で推進すべき課題であり、それを横浜が先んじてやることは失敗はゆるされない。</li> <li>・当青葉区も高齢化が進んでいる。戦略1の重要性を理解しつつも一方で老人切り棄てとの見方もできる</li> <li>・実現が無理な戦略1と戦略2とを入れ替えるべき。</li> <li>・カジリゾートに代わる将来政策が何なのか早急に発表すべき！</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>医療費の助成ですが、現在我が家は対象外なので、支払いが発生しています。その中で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬を沢山もらっている</li> <li>・家に残っている薬を確認せずに多く処方する病院があることを経験したり、お友達のお母さまから聞いたりします。</li> </ul> <p>この様なことは、ないようにして欲しいです。（その様な病院にはもう行きません。）</p> <p>薬を多くもらっている方として具体的には、泡タイプの保湿薬です。我が家の息子が軽いアトピーなので、毎日使用するため、少しでも安価なローションタイプを使用しているのですが、助成を受けている方は高額な泡タイプを1度で3本位もらっていると聞くと、本当に泡タイプが必要なのか疑問です。その点を考えて、かかりつけ医も決めています、全くすべての病院で適正な薬の処方をして頂くようになって欲しいです。無料にすると、どうしても安心を求めて薬を多め、医療にも多くかかってしまうので、入院など的高額時には必要かと思いますが、全て無料でなくても良いと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成制度の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P2戦略1「中学校給食の提供」には全力を挙げて下さい。将来を期待される中学生をよろしく願います。敬老パスの「少額負担金」は給食に回してください。枯れ木は元気です。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>母子（父子）世帯に援助を 生活に困っている家庭に子供食堂だけでは限界がある。 行政がもっと補助や援助すべきである。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>給食もさることながら、まずは1クラス人数を減らすことで特性の大きな子への対応も少し丁寧なことができる、教師の負担も減る、そのことでクラスひとりひとりの環境（人、時間、質、関わり等）が今より整備され教育の質も量も上がる。またインクルーシブ教育を日本は違ったとらえ方をされていて、たくさんの不都合もおきている。クラスの中にいる特性の大きなお子さんに対応できるボランティアの制限もあるし、まずは先生方（忙しくてそれどころではないが）が、特性の大きなお子の対応を身につけられることで、今よりも授業が楽になると思う。保護者との信頼関係がしっかり作れれば、協力も得られ、子どもの発達も倍大きくなるはず、民間企業との連携で児童発達支援室の質を上げるよりもまずは学校、保育園、幼稚園が先と思う。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」及び政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>新吉田地区には図書館がなく、菊名の横浜市港北図書館か、日吉の日吉の本だなまで行くのは普段使いには遠すぎます。子供と自転車や徒歩で行ける距離に図書館ができればうれしいです。ぜひご検討のほどよろしく致します。網島も遠いので新吉田地区のどこが良いです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>私は去年品川区から磯子区に引っ越してきた者です 品川区に住んでいるとき、貧困家庭、ひとり親、ヤングケアラー等が多いことを知り日本は先進国とは言えども世界の中では最下位の方にいます こんな先進国と言えるのでしょうか？ 私は毎年、年に2回くらい子供食堂、ひとり親家庭に品川区社協を通じて寄付をしています。 横浜市はどのくらい予算をここに計上しているのか分かりませんが子供たちのために、ぜひぜひ予算の優先順を考えていただきたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3 社会的孤立を早期に防止する（経済的困難のみならず） 親子、学校生活から排除される（葛藤を抱える）若い世代特に中高生に家・学校以外の場所（安全な場所）を提供する。民間団体の力が活用されることが一つの方法だが、民間団体は財政的に脆弱であり、助成を行ってほしい。 また、民間団体のネットワークづくりも含めた予算をたてる必要がある。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>約1年半前に東京小金井市より転居してきました。川崎市か横浜市と考えていて、たまたまこちらの家が良いとなり引っ越ししました。その後すぐに中学校給食が無いことを知り、驚きました。全く「ない」ということは頭になく、当然「有る」ものだと思っていたのです。</p> <p>川崎市はちょうどその頃中学完全給食になったみたいでしたので、家族全員で失敗だったねとくやみました。こんな都会で給食ではないなんて・・・。</p> <p>中学三年間だけ川崎に家を借りて住もうか、こちらの家を売って引っ越しとか検討中です（お弁当も給食も子供はいやみたいです）（食も大切な（配膳など）勉強かと）</p> <p>いま5年生なのでまだ間に合いますので</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用ゼロは子育て支援にとって大事。早急を実現を望む</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学までの医療費ゼロは横浜に住んで良かったと思える政策だ。ぜひ実現してほしい</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>中学校給食全員給食は子供の成長を願う者として大事にしたい。そのため温かい給食全員で食べられる給食を望む（小学校を同じように）</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>今、子供を産む人が減り、子供が少なくなりました。</p> <p>それは子供にお金がかかる事。今の若い人は将来を考える人が減り、結婚しない人が増えてます。子どもは生まれてからすぐ病気がけがをします。病院にかかる子供たちは所得制限のおかげで病院に行けない子供がいるのは知っていますか</p> <p>所得が高いからと言って所得が低い人と比べない方がいいと思います。（子供平等に）</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>親が子供を虐待なんで減らないと思いますか</p> <p>むかしと今はちがう。昔は隣近所が子供を見守っていたから。今はそれが全然ない。</p> <p>隣にだれが住んでいて子供がいるのかも知らない人が多いから横浜市も良くない。</p> <p>マニュアルなんか見てやっつること、危ないと思った。</p> <p>すぐ動くことが出来てない。何度同じことのくりかえし。マニュアル廃止にするべき。</p> <p>一人、一人がよく考えるべきでは。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>昭和31年学校給食法が中学校にも適用されて66年が経っており、私が中学生だった57年前も周りの都や県では給食でしたが横浜市はず～と弁当でした。</p> <p>なぜこんな大きな政令指定都市の横浜市が完全給食を実施できないのが全く解りません。</p> <p>地方の小さな都市でもきちんと何十年も前からできていることが横浜市ができない！</p> <p>今回の選挙で市民（母親たち）が期待していたのは小学校給食の様に各校に給食施設がある又は、給食センターから各校へという事でした。</p> <p>デリバリー方式に決めたことは全く前の市長と等と変わりありません。予算が取れないということですが、地方都市で出来るのですから「真剣にやる気がないだけ」と思います。</p> <p>早急に予算をとり実施して下さい。できない訳がありません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>教育委員会が作成した中学校給食＜ミックス方式＞小中学校組み合わせは素晴らしい資料です。全中学校＜144校＞の半数がミックス方式の給食ができると示しています。</p> <p>デリバリーのためたい弁当より、ミックス方式であたたかい給食がすぐにできることを示しています。</p> <p>・デリバリー弁当は冷たい、まずいという中学生の声を聞くと温かい給食を求めているのがよくわかります。小学校でおいしい給食を食べてきた中学生は小学校と同じ給食が食べたいと言っています。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施P34 中学給食をお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、自校方式等、温かい給食の提供を！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」について 私の友人が埼玉県の上尾に住んでいる公明党支持者です。その方が神奈川はなぜ給食ではないのかって言ってきました。私も今まで知らなかった自民党と公明党の反対で実現できなかったのですものと友人に話します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P33～P36 将来を担う子どもたちにゆきとどいた教育を実現して下さい。具体的には少人数学級や教職員の人員増員などを行う。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>P34 すべての生徒が出来たてのあたたかい給食が食べられる様、できる所から進めてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食もデリバリー方式ではなく、小学校給食のようにして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 全員にしたことはいいことだと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について デリバリー方式でなく、温かい弁当を食べられるものにして下さい。全部一気にできなくとも、小学校と一緒に含めて検討して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中3までの医療費無料化を必ず実現してほしいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食実施（全員）</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>出産費用ゼロにしてください</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食をすすめて下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>現役中学生からもデリバリー弁当「おいしくない」と聞いています。給食は全員が同じものを食べるのが基本。心身共に成長する中学生期、専門家による栄養管理のもと、温かくて、楽しみになる小学校のような給食、長年の願いを実現してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>物価の高騰、年利削減のなか、市長の公約「3つのゼロ」で小児医療費無料の拡大、うれしい実現でした。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>子供達に少しでも心温まる給食の支援を宜しくお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>小学校に出る温かい給食を中学校にも実施出来るようお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>何といっても温かい給食が食べられるようにして下さい。 できるところからで、全校一斉に実施できなくてもいいです。 とにかく業者さんのデリバリー弁当は「美味しくない」と不評です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34政策5デリバリー給食で、生徒や保護者が望む温かい給食を提供して欲しいと思います。喫食率も30%近くまで増えてきているので、まずは、既定路線を完遂する方向で、より良い給食の実現を目指すことが現実的である。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学給食は自校方式で温かくアレルギー対策も可能な給食実現をしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 現行のデリバリー型は中学生からの不満の声が上がっています。 全員喫食にこだわらず自校方式、親子方式など可能な所から順々に“あたたかい、できたて”給食の実施に踏み出して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子ども一人一人を大切にするという教育はハードルが高いと思われる。 子ども一人一人に教えるべきは一人一人の命に尊厳を持たなくてはいけないという事を教えることではないかと思えます。 ついでに人は様々、顔がみな違うように感じ方考え方もみな違っているのだ。違って当然なのだと思えます。 民主主義の根本は“人は皆違うのだから各々が違う意見を出し合ってその中で最良の意見を見つけていかなければならないのだ”という事でしょう 人を思いやるのは大切だけれどみな同じ“思い”を持たなくてはいけない“ということ はあり得ない考え方でしょう“違って当たり前”という教育をすればいいやしいては暴力も減らすことができると思えます。 各学級で一つの問題を提起して皆で討論することを提唱します。 “いじめ”で自死する子供達をなんとか救いたい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食は小学校と同じ「自校調理方式」不可能ならその地域（子どもの数）によって作る温かいまま食べられます。栄養士さん地域のお店などでその独自の給食ができると思えます。一日一度はきちんとした食事をすべきだと思います</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用無償化等 出産費用無償化は是非お願ひしたい。ただ、妊婦検診も無償化してほしい。 里帰り先は償還払いを拒否されました（登録を拒否） 同じ妊婦なのに人によって支払いに違いがあるのはよくわかりません。 新生児検診も償還払いできず負担になりました。公平な制度を望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
非課税世帯への5万円、10万円の現金配布も所得を考慮し、一人親世帯に特定すべきであると思う。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
私は高齢者で残りの人生も少ないのですが、これから生きる若い世代が、今よりもう少し楽に生活出来ることを願っています。 今日、たいていの親は共働きで日々苦戦しています。わが娘夫婦も同様です。食べ盛りの子どもを持つ親は、弁当作りも大変です。 中学校の給食制度は一日でも早く実現して頂きたいです。 他の自治体できていることが何故できないのでしょうか？民間との協力も必要かと思えます。これは項目3にも関係していると考えます。 貧困家庭の子ども達に一日一食栄養バランスの取れた食事を提供する。食は心と身体の基本です。是非とも最優先で取り組みをお願いします。 「未来が少し明るいものになる」これが老人の希望です。 「自分たちも頑張って来てよかったなあ」と思えるんです。お願いします！	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食の実現50才になろうとする娘の生まれた頃から要求してきました	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
児童相談所の所長及び、職員が特定の大学出身者で占められている現状を改めて下さい。	その他	ご意見として伺います。
世帯の優遇を廃止して下さい。金貸しをしている者すらい（職業柄詳しい）。税金を支払ってきた年金生活を第一に優遇して支援をしてください。	その他	ご意見として伺います。
中3まで医療費ゼロは大賛成。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
全国各地で小中給食実施から無償化へ。横浜ではデリバリーがやっとな。温かい自校方式給食なら災害時も力になる。 5年計画、改築から広げる等してほしい。生活に困っている中学生が安心できる給食、進学も！	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食の全員実施に踏み切る事を歓迎します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食の実施方式が現行のデリバリー方式を拡大するの方針には賛成できません。 食中毒対策としておかずを冷却せざるをえず、生徒にも不評です。他の自治体でもこの方式が失敗し、撤退しています。 やはり自校、または親子方式という学校で調理する給食が最もふさわしいと考えます。 2026年度に全校一斉スタートするにはデリバリー方式しかないとされていますが、一斉にこだわらず、全校の5割の72校が可能とされている「学校調理方式」に着眼した見直しを強く求めます。 大阪市などでデリバリーから「学校調理方式」への切り替えが進んでいることも参考にすべきです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>聞くとところによると「デリバリー方式」をお考えのようですが「デリバリー」は冷えていてまずいという声を子どもだけでなく食べた保護者からも聞きました。是非ここで育ち盛りの中学生に温かい会食制の中学校給食を決断してほしいと思ひ、パブリックコメントを書きました。</p> <p>小学校の様に全部自校方式でやるのは無理があると思ひます。</p> <p>①まずやれる学校から実施していく</p> <p>②自校方式だけじゃなくいろいろ例えば「親子方式」だとか「兄弟校方式」だとか可能なやり方で始める</p> <p>③どうしてもそういうやり方が今はできない地域は「センター方式」でと工夫しながら、温かいおいしい中学校給食を実施してほしいし可能だと思います。</p> <p>先生方が「また仕事が増えそうでイヤだ」の声も小学校のやり方で工夫できます。具体的にはもう書くスペースがありません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市が目指す中学校給食がデリバリー方式の弁当と聞いてびっくりしました。私が望んでいる学校給食は、小学校で実施されているような温かいものは温かいまま、冷たいデザートは冷たくして供される物です。弁当の形で供される物は考えられません。</p> <p>他市から横浜へ来て子育てをした私は「えっ！こんな大都市なのに中学校は給食が無いの？」と。これにはびっくりしました。</p> <p>横浜市は市税を何に使っているのかと疑問に思いました。</p> <p>未来を担う子どもの成長を真剣に考えて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5</p> <p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実現</p> <p>1.自校方式可能校39校を直ちに実現するための予算を組んでください</p> <p>2.親子方式の組み合わせは「一つの中学校に対して1つの小学校から配送する」前提を見直し複数の小学校からの配送が可能な計画案を作る事</p> <p>3.自校親子方式が実施不可の中学校については、センター設置などの対応策を講じること</p> <p>4.ミックス方式で全校までの年次計画を立てること。デリバリーでも2026年全員実施は不明で難しい。一斉スタートにこだわらぬ業者委託に走ることは危険。中止を</p> <p>5.中期計画に1～4の予算を組み込んで、ミックス方式に踏み切ってください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施</p> <p>基本的体力のため皆が公平に食べることが出来るのが大切な欠く事なく、貧富の差も子ども達が感じず、同じ食事を摂る事が精神的にも大切な事と思ひますので是非実施して頂きたく思ひます。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>港南台に在住の方は港南図書館の交通の便が余りよくないので利用していません。</p> <p>現在の図書館の位置付けが適切な場所にあるのか検証することも必要と思ひます。また、一区一館の制度も地域状況から必要に応じては、サブ図書館を設置出来るようにお願いしたい。</p> <p>令和2年の年間図書館の利用者をみますと港南図書館は18位です。</p> <p>JR港南台駅から600mも離れている港南台地区センターの図書貸出冊数（41,190冊）は、令和2年のデータでは横浜市内81地区センター内で1位です。これほど利用者多く、また電車、バスのアクセス良い港南台に図書館の誘致を望みます。</p> <p>最近図書館内部の環境が様変わりして、受験勉強の場のような室内でなく、心が安らぐ雰囲気環境に変遷しているようです。幼児から老人まで楽しく過ごせる環境の図書館の設置をお願いしたい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食を実現して下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
子育て支援は大賛成です。給食	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
子育て支援は大賛成です。小児医療費無料	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
中学校給食の「全員実施」できれば自校方式で「あたたかい物は」温かく食べられるようにして下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校での全員が喫食できる給食は速やかに実現するべきです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」 デリバリー方式では温かい食事として提供することができないほか、盛り付け後に輸送するため、メニューも限定されることとなります。より豊かな食育の推進、配膳を共同作業で行う教育的視点なども踏まえ、「自校方式」「親子方式」「きょうだい方式」など様々な形態を多角的に組み合わせれば、デリバリー方式ではなく調理方式で実施が可能です。デリバリー弁当ではなく、調理したての給食で中学校給食を実現してほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
給食はデリバリーではなく自校方式やむなくても親子給食で	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食について なぜ横浜市だけがこんなにも遅れているのか。なぜハマ弁なのか。基本はハマ弁反対です。きちんとした小学校みたいな給食をお願いしたいです。横浜市だけです。こんなことでも。全員給食をハマ弁にするのなら4年かかるのはどうしても納得いきません。ハマ弁ならせめて2年位で完了させてほしい。あとハマ弁にするならお昼時間も10分ほど長くしてほしい。現状だと取りに行き返すに行きだすと食べる時間ないです。少しは子供のこと考えて下さい。横浜市は子育て支援がまったく出来てない市です。出来ることなら引越したいぐらい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 全ての中学校でみんなができてを食べられる中学校給食を始めください。工場で作るデリバリー給食ではなく、小学校みたいに給食調理員さんが学校でつくるみんなで一緒に食べられる中学校給食にしてください。デリバリーではアレルギー対応は出来ません。地産地消の工夫もしてください。食育は未来をつくる子どもたちに、とても大切なものです。</p> <p>市教委の調査では、約半数の72中学校で「自校調理方式」「親子方式」（隣接区の小学校から中学校へ）「きょうだい方式」（中学校から中学校へ）いずれかが実現可能だとわかっています。</p> <p>できる所から順次始めてください。予算をつけてください。全国9割の学校でやっている中学校給食、他の地域もデリバリーから自校、親子方式に切り替え、おいしい給食を競争しています。</p> <p>学校給食は「生徒の心身の健全な発達に資するもの」。自治体はその普及・充実に責任があります。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策4について 児福法の改正により、児童の権利の擁護が図られた福祉施策を推進するため、令和6年から市町村におけるこども家庭センターの設置が努力義務となった。横浜市にも直接影響のあるため、その旨をしっかりと計画に明記すべきではないか。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>P27・28の保育・幼児教育にかかる子育て支援について、政策指標が適切ではない。待機児童はゼロでも保留児童の多さは周知の事実。語句定義の言葉遊びをするべきではない。生産年齢人口や年少者の人口を増やしたいのであればさらに高い目標を設定すべき。人材確保に課題があるのは明白で、保育士などの採用について、処遇改善には賃金の向上も含まれると思うが賃金面についても行政によるバックアップを明記すべき。加えて、こども青少年局側の人材確保を行うことで各保育園・幼稚園側の負担軽減がなされるような施策を検討するべきではないか。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費中三まで無料化</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施（調理方式で）</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式の全員給食にするという方針には反対です。 学校給食法という給食とは、現在小学校で実施されている自校方式をさします。 小学校卒業まで給食を食べていた子どもたちが中学校に入ったとたん冷たいデリバリー給食にする意義がわかりません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小児医療費を中学3年まで無料化する方針には大賛成です。 できたら国の政策として小児医療費無料化するよう提言してほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>幼児の頃の予防接種をする場所は区役所ではなく、小学校を中心にしたらどうでしょうか？区役所の狭いところにワヤワヤ並ぶのも他の兄弟を連れて行かざるを得ない親も、もう少し広い場所だと思う。</p>	<p>参考</p>	<p>本市では、子どもの予防接種に関しては区役所ではなく市内の協力医療機関において実施していますが、ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3 経済的な理由で習い事や学習をあきらめている子供を支援するための場を放課後の学校（小学校）を活用し、横浜市の「はまっ子」と似た形で運営しては？ シルバー人材や、学生、留学生に、責任感を持って取り組んでいただくために講師としての時給を払って行っては？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生の自校方式の給食を早く実現してほしい。デリバリーではなく。そのための予算をしっかりと確保。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学校の教員を増員し、先生がないあるいは免許外で教えるなどの事態をなくしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>少人数学級を推進し、子どもの学力の保障、教育の機会均等を願います。親の経済事情が教育格差にならないよう高校も公立の定員を増やしてほしい。私立はムリでも公立ならなんとかできる学力の子はまだ多いです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」及び政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜の中学生にも「温かい」+「できたて」の全員給食実現を希望します。横浜の中学生、学校の遅れを一日も早く改善して下さい。 中期計画4年後、26年度以降、デリバリー方式のものを全員が食べられるようにする試案は撤回して欲しい。 現行、デリバリー弁当40%を全員にただけではアンケート結果に兆う変更は行われぬ。 このままデリバリーのこだわる市議会主張は一部既得権益を温存するだけで、対象者中学生と中学生の家族要望に反している。 子供一人ひとりの成長に何にも変え難い栄養面を「満たさない」「満足のいくあたかき」「できたて」「量の加減」を可能とする。自校式、小学校のような給食を保障するものではない。 26年度からの構想では遅い。今から計画しても27年度には、自校給食のできる中学校から自校給食に切り替え、全員が喫食をめざすことが、その他の遅れをカバーできる唯一の道である。 全中学147校中、自校実施が39校ある。できる条件にある39校の子供達に犠牲を強いるのは市民に対する強権発令としか言えない。 税の公平性の観点からも、一日も早く自校方式を実施（あたたかい給食を提供することこそが、市民も社会的要請にも即している。） 未実施の理由は「できない」を前提に、したくない主張を押しとおしているだけのこと。 全員給食しかない！前時代的な横浜の負の遺産は踏襲してははらない！！ 住民自治を揚げ、山中市長に託したあたりまえを市民は希望している。市長は中学校給食喫食の公約を躊躇な実行して欲しい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>81才の女性です。子育ての時は、中学校給食なしなんでかなあと思いながら、政治、社会のこと少し学んで税金を納めているのにせめて義務教育の場で昼食を税金で食べさせてあげるのがやさしい政治ではないのかなあと思うようになりました。</p> <p>生きるための一番は「食」だと思います。</p> <p>「安心・安全」なんて当たり前です。私も常に考えて作っています。（横浜「自校調理方式」があるんですから、私の子供はそこで食べましたなんでもよく食べます。）</p> <p>行政の方々はもっと学習していると思います。よろしくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>昨日の国会論議を踏まえて、明石市長が、自らの市政における先進的取り組み——繰り返し発信していることですが——を強調しています。まさに、その模範に、横浜市もみ習うべきです。</p> <p>若い世代の子育て支援に重点を置いた政策を具体的にどしどし進めよ、というのがそのエッセンスです。</p> <p>その観点から、中学生に「温かい」「できたて」の給食実現は、非常に重要な政策であり、一挙に全市ではできないにしても、まさに、可能性のある区を手始めに中学校給食を実現し、それを全市に広げていくことが大切だと考えます。</p> <p>その意味で、金沢区の市民がまとめた中学校給食実現に向けた要望書（下記抜粋）は、重要な論点を網羅していると考えます。</p> <p>この実現は、山中市長の公約でもあるといわなければなりません。</p> <p>----- 素案批判・対案の提示 -----</p> <p>市の「給食」素案の問</p> <p>①生徒・保護者が1番に給食にもとめるのは、「温かさ」「おいしくわくわくする」「栄養バランス」の3つと答えている。（市教委アンケートより）子どもたち・保護者の願いははっきりしている。</p> <p>②衛生上2時間以内に食べる基準を守ることができないデリバリー方式では、おかずを一度冷やして配送される。そのために残食が多く、評判が悪く、自校方式、センター方式などに切り替えている。（大阪市、平塚市など）</p> <p>③素案では地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することをうたっている。自校方式の小学校では現在も実施されていて好評だが、工場で作られた弁当のデリバリー方式ではそれはできない。</p> <p>④デリバリー方式では、調理者も食材もみえない、もりつけ・配膳を通して学ぶものがない。生徒の給食を通して成長する観点が無い。</p> <p>⑤「素案」でいう「生徒に満足してもらえる給食の提供」とデリバリー方式は矛盾する施策である。</p> <p>⑥市教委の調査でも自校方式可能校39校、親子方式可能校22校、兄弟方式可能校11校合計72校(全市の50%)と発表されている。センター方式も組み合わせれば、学校調理方式を中核とした給食が可能である。川崎などでは2階建て給食室などで敷地の不足を補っている例もある。</p> <p>⑦自校方式、親子方式、兄弟方式、小規模センター方式、ミックス方式など可能性を最大限追求して中学生の期待に応えるべきである。</p> <p>⑧無理に一斉実施して禍根を残すよりも、「子ども・子育て支援」を重点政策とする横浜市として将来にわたる問題ですから、学校調理を基本に各学校の条件に合わせて、いろいろな組み合わせで「温かく」「おいしい」給食を子どもたちに提供すべきではないでしょうか。</p> <p>⑨教職員に新たな負担をかけないために、人的配置も必要である。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食が全校実施になることは賛成です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリー給食では、冷凍して後に配られるそうで、得てして冷たいままの食事になるとか。業者任せではなく、自校で調理し温かい給食になってほしいと願います。また小学校の調理余力を生かせば、小学校から中学校へ配送する親子方式は実現可能といわれます。</p> <p>育ち盛りの中学生には、給食は大切なものなので、ぜひ温かい給食を食べさせて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>孫の成長を楽しみにしている現在です。</p> <p>一番大事な成長期に温かいできたて中学給食が実現出来ると子供達に心も温かくなり、未来を明るくたくましく、生きぬいてくれると信じています。家庭での食育も大事ですが、一日の大半を過ごす学校での中学給食是非実現してほしいと強く思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>出産費用（基礎的費用）の無償化を含む妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減賛成です。特に、出産については、安心して出来る環境づくりが必要です。産婦人科医が減少傾向にあると聞いています。経済的負担の軽減と合わせて、医療体制の充実を求めます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学3年生までの医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃し、安心して医療機関を受診できる環境を整備</p> <p>明石市では、高校まで「無償化」したと聞いています。朝日新聞で、横浜市市長の記事に明石市市長がコメントを寄せています。住みたい街にしていきたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向け推進</p> <p>学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。</p> <p>自校、親子、兄弟などの方策があります。教育委員会の資料から実現の可能性があると思っています。デリバリー方式にこだわる理由が分かりません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学給食について、「おいしい！」とデリバリー給食について言ってるが、おかしい。</p> <p>冬など冷たい弁当で温かい給食を比較して食べてから言うべき。</p> <p>弁当は飽きるのではないか。全国では給食の無料化が大勢になろうとしている。</p> <p>横浜市の給食は数十年遅れの対応。真剣に検討してほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>保育士さんの数を増やして、人の入れ替わりが多いので、定着できるよう給料体制を見直し（アップ）して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子どもたちに教育の一環である中学校給食の一日も早い実施を！ ※デリバリー方式ではなく、温かい給食を未来をスクスクと育つ子らに！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>p 33政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」 政策の目標学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。 p 34主な施策1 すべての生徒が満足できる中学給食の実現 問題点が多いので再検討をお願いしたい。 問題点は生徒や保護者が求めているのは「温かさ」「おいしさ」「栄養」などである。このデリバリー方式では一度冷やしたものを配送する、その後は加熱などあるが、出来立てとは言えない。また作り手＝調理員さんなどの顔が見えないなど。要は予算であろうが、自校方式がベストである。自校方式が無理な場合いくつかの実践例（金沢区釜利谷地域など）があります。デリバリーではなく「親子方式」「兄弟方式」など組み合わせをするなど工夫して生徒・保護者が望む給食の実現をはかり、彼らの喜ぶ顔が見たいものである。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について 中学校給食について 必要としている生徒にあった給食にしてほしい。家庭の事情や好みにより、自分で「選択」できるような制度設計が好ましいと考えます。 また、地域差がでないようなるべく実施時期を統一して実施できるよう望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>スクールカウンセラー配置について 全校配置はもちろん、なるべく多くの時間をとれるようにしてほしい。子どもたちだけでなく家庭、先生たちのニーズも増してきて、今後さらに重要度が増してくる考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>子育てしたいまち やはり、子どもたちが健康で体力をつけるために、中学校給食は一番必要なことだと思います。温かい完全給食をすぐに実行してもらいたいと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「切れ目なく力強い子育て支援(妊娠・出産期・乳幼児期) ) 出産費用の無償化を含む妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減を検討している事は素晴らしい。子育て世代への支援が若い人たちの定着につながる。財政の見直しで財源を確保して是非実現してほしい。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>上瀬谷開発、都心部開発、高速道路開発等の大型開発に市が本当に必要な支出だけを行っているか精査して財源を確保してほしい。</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見直しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「中学3年生までの医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃し、安心して医療機関を受診できる環境を整備」を23年度実施を提案されたのは素晴らしい。市役所の外部からも応援して、議会での承認に繋がるように応援したい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>p26の施策1およびp34施策5について、ユネスコの国際セクシュアリティ教育ガイドンスに則った性教育を実施していただきたいです。本ガイドンスは子供たちが自分の体について理解し、主体的に自分の人生を考え、行動する上で重要なものです。産婦人科医など外部講師による講演等により、どの学校でも必要十分なレベルな性教育を行えるよう、ご検討いただきたく思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>p26の施策1について、予期できない妊娠を防ぐために、岡山県ではおかやまアフターピルプロジェクトにより、薬局にてオンライン診療・その場でアフターピルの処方が可能となっています。避妊具による避妊の失敗や、望まない性行為などアフターピルが必要とされる場合、24時間・48時間・72時間と時間が経つにつれアフターピルによる避妊の確実性は下がります。特に金曜や土曜の夜のニーズが高く、土日で病院が休診であったり、そもそもアフターピルがどういうものか、どこで入手できるのかの知識が無かったりします。おかやまアフターピルのようなシステムを横浜でも整え、同時にアフターピル、低容量ピル、IUSについても併せて啓発活動を行っていただきたく思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>p33政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」政策の目標の中で「デリバリー方式により」とあるが、反対します。それは①生徒・保護者が一番に求めているのは「温かさ」「おいしくわくわくする」「栄養バランス」の3つと答えている。②衛生上2時間以内に食べる基準を守ることができないデリバリー方式では、おかずを一度冷やして配送される。そのために残量が多く、評判が悪く、自校方式、センター方式などに切り替えている。③素案では地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供する事をうたっている。自校方式の小学校では現在も実施されて好評だが、工場で作られた弁当のデリバリー方式ではそれはできない。④デリバリー方式では調理者の顔が見えない。食材も見えない。結論、費用の問題もあるが自校方式を基本として、親子方式・兄弟方式やセンター調理などを組み合わせ工夫すべきである。横浜市の努力で、生徒・保護者が喜ぶ顔が見れることを期待したい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食 現在検討されているデリバリー方式ではなく、地産地消を基本とした自校方式（小・中の親子方式）、どうしても困難な場合でもセンター方式での実施を希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学校給食法に基づき子供の成長に必要な栄養の摂取食育食習慣に重要な役割を果たす、中学校の全生徒対象の完全給食を自校方式・親子方式等地域の実情に合わせて実現して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>料理は温かいものは温かく食べることが基本です。冷たい食事を子供達に提供するなんて言語道断です。</p> <p>育ち盛りの子ども達には美味しく安全で温かい食事をあげて下さい。そのために税金を使って下さい。未来を創る子育てしやすい横浜を作ってゆくためには誰も文句言えないと思います。未来の投資です。</p> <p>一斉に冷たい“浜弁当”を給食として実施するのではなくて、経年的な予算計上し、やれるところから実施して下さい。市長へ学校給食を目指して下さい。</p> <p>子ども達が食べない弁当給食は税金の無駄使いです。大阪での給食の教訓を学び、実施に向けて動き出して下さい。</p> <p>横浜は給食がないから転居先からはずしたという声を聞きます。子育てしやすい街づくりの為に学校給食は大きなポイントです。</p> <p>市長へ子ども達の声を聞いて下さい。“温かい給食”を望んでいます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1政策5について・・・この項目の説明で何故「学校給食」が突然出てくるのか。「いきなり」感があるのですが。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」の構成について、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市長の「3つのゼロ」のうちを何とかがんばってほしい。</p> <p>中学校給食は40数年も前からお願いしている。政令都市では横浜だけではないですか。</p> <p>デリバリー方式で全員というけれど、小学校と同じように手づくりで地元の野菜等取り入れた給食を強く望みます。</p> <p>マンモスの東京でさえも中学校給食なのに横浜市にないのが不思議なくらいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校に勤務している者ですが、いまだにトイレの和式が多くびっくりしています。子ども達のトイレで6つあるうち5つが和式、1つ洋式でとても使いづらいです。家では洋式が多いと思います。わざわざ小学校に入学する前に、和式のトイレに慣れさせるために和式のトイレのある所に入って練習しているという話を聞きました。</p> <p>経済的に大変とは思いますが毎日の生活で使うものです。是非洋式に変えてほしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食はデリバリーではなくて温かい給食をみんなで食べる物にして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校や中学校の給食は無料にして下さい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小学校に給食あるのだから中学生に温かい食べ物を。</p> <p>食育、郷土料理、地産地消。地元のお店で食材調達。学校ごとのイベントに合わせたこたて。午前の授業を終えてインターバルの必要性。カリキュラム、授業の変更は先生方の負担も一時的にあると思うが、小学生ができていなのだから中学校で何故しないのか。</p> <p>給食室の雇用を増やしてもらえば、コロナで困っている非正規の方々も安定した職場が増える。栄養士も雇用してもらい、食育、アレルギー対応。</p> <p>子どもの背景となっている家庭の様子を知る手がかりとなるでしょう。</p> <p>このようなことに予算をかけてほしい。まず横浜の為にと思ひふると納税はしていません！！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P34中学校の給食全員実施について                      小学校の給食の様に作って子供たちに食べさせてあげて下さい                      川崎市等多くの自治体が行っているのになぜ横浜市だけ？</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市内の中学生にもぜひ温かい給食を提供して頂きたいと思えます。ぜひ、よろしく願いいたします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>市の教育委員会アンケートで生徒・保護者が一番求めるものは、「温かさ」「おいしくわくわくする」「栄養バランス」の3つ                      この3つに応えられるのは「デリバリー方式」ではなく、「学校調理方式」です。親子方式・兄弟方式・小規模センター方式等々、可能性を真剣に追求し、中学生の期待に応じて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市が長い間の市民の願いである中学校給食を現在の選択制から全員給食にする方針が出されていることを知り喜んでます。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食はデリバリー方式でなく小学校のように「学校調理方式」をお願い致します。みんなが出来たての給食が食べられるよう、又子供たちの食育に役立つと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>私は横浜市内住みの3歳の男の子を持つ母親です。                      現在、幼稚園に通っています。                      息子は1歳半健診の時に、言葉の遅れについて引っかかり、2歳まで様子を見ましょう！と指摘を受けました。おそらくこのように言われるお子さんも少なくはないと思えます。                      ただ、様子を見てるだけで発達に不安のある親子さんはその間、どこにも相談出来る場所がなく、不安な思いをして過ごすだけです。私もその1人でした。                      人員の問題もあると思いますが、何かこう気軽に相談出来るような居場所をつくってほしいです。吐き出し口があるだけでも多少なりともラクになります。その間のフォローの仕方も含め。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜はすべて私立幼稚園ですが、発達に不安のあるお子さんに対して、潤滑に園探しが出来るよう、市がサポートするなりしてほしいです。私の息子がこの件で、園探しが大変でした。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>インクルーシブ教育をもっと！オープンにしてほしいです。                      市全体でこれからの将来を担う、子供達への支援を偏見なく、充実させてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜はいい街だけど、その裏で、子育てしにくいから、他の市へ引っ越し！というお話を周りで聞くことも実際にあります。凄くもったいないですね。横浜って。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P34中学校給食の実現について。 共働き家庭にとって切実な願いです。 保育園の数が充実したことで、子育て世代の横浜での「住み始め」のハードルはここ数年でグッと下がったのではと推測しています。その世帯が、子どもが中学生になる頃に給食があるかないかによって、親の勤務時間やキャリア形成に影響が出ます。給食があれば、その分朝の負担が減り、勤務時間を伸ばしたりキャリアのステップアップがしやすくなります。結果、納税者・納税額の向上にも繋がるのではないのでしょうか。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について要望させていただきます。 デリバリー方式で供給量を増やす方向との事ですが、求められているのは小学校と同等の温かい給食です。 出来ない場所があるからや予算がかかるからではなく、出来る場所から親子方式やセンター方式を開始し拡充していく方法を検討頂きたいと思えます。 成長期の3年間にデリバリー弁当ではなく給食があるのとなのでは、子供たちの栄養面でも精神的な面でも違いが出てくると思えます。 他の市区町村で子供たちが当たり前で食べられている給食を、横浜市の中学生在が食べられる環境を整う事を切に願います。 また、温かい給食を落ち着いて食べられるよう時間的な改善も是非行って頂きたいです。 横浜市は保育料が高いし、特に中学校に給食がないから住まない方がいいと川崎市や東京の方から言われています。(転居先の検討時に実際に言われた事です。) 保育料は負担すればいいですが、給食は個人の努力ではどうしようもありません。横浜市で安心して子育て出来る環境の実現をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の子どもたちのお昼ご飯にデリバリー型の給食が導入されました。大変良いと思います。国全体の教育予算が大きく増えない中、新しく給食室を作るというのは、他の学校予算を圧迫するのではないかと心配していました。以前川崎市で、中学校全校給食を行うという公約を掲げた市長が当選し、給食を始めるために校舎の修繕もままならないという状況に陥ったと聞いていました。だから、大きな予算を投入するのではなく、持続可能なやり方を選択した大変良いやり方だと思います。 中学校は授業が1コマ50分で小学校より長く、教室の移動や、部活動もあります。小学校は給食時間として45分とって、昼休みを挟み5、6時間目をやると3時近くなります。中学校で小学校並みの給食時間をとると、おそらく部活動の時間がとれなくなると思います。小学校のように以前や片付けに時間のかかる給食は、中学校の日程になじまない、子どもたちに負担がかかると思います。 「温かいものを食べたい、食べさせたい」という声が大きいため、デリバリー型でもう少しあたたかいおかずなどが食べられるような工夫をしていただけるとありがたいです。 デリバリー型の給食を担う業者は、食べ残しの調査などを行って、子どもたちが喜ぶように積極的に改善にとりくむところを選定してください。 給食を中学校全校で行うなら、学校ごとの開始時期が大きくずれることのないよう、数年で全校で行えるようなやり方導入してください。学校や区で大きな差があると、不公平感を持つと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>山中竹春市長へのFAXです。半世紀前に東京都の小学校の教員としてスタートしましたが、大田区の下田小学校の教員と、下田中学校がとなりだったので両方の職員やPTAや生徒のみなさんとも交流しました。思い出は学校給食です。横浜市では、まだ、中学校給食が温かい、できたての状態の給食があたり前になっていないことは、だまっているわけにはいかなくずっと要望してきました。「デリバリー」でなく、作ってくれた給食の調理員さんの交流が大事です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食「全員実施」を求めます。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
子どもにとっておいしくて温かい給食は健全な成長の源です。デリバリー方式はやめて下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
小児医療費の完全無料化うれしいことです。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
中学校給食の「全員実施」をお願いします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式ではなく、自校式給食をお願いします。働かなくてはいけない生活で給食があつたらどんなに助かったでしょうか。友人にさそわれて給食署名を長期にわたり続けてきました。数十年です。現在の若い働く親達に、そしてなんといってもみんなで同じものを食べる給食をお願いします。他県の人に話すと、「横浜は他市と比べて遅れている」と言われます。中学校に「みんなで食べるあたたかい給食を」をお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は温かい自校調理式で実施すべきだと思います。一斉に始める事にごodawらず出来る学校から実施し改良を加えながら段階的に行えばよいと思います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
少子化が問題化している現在一番成長期にいる中学生に早く給食が実現できるような市政にして下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校全員喫食、あたたかできたての自校方式給食を実現して下さい。中期計画4年間で全員喫食を旨ざす山中市政に全面賛成です。過去10年以上懸案だった給食の遅れは一部政党の一部権益から給食をとりあげたくない反対論が根強いと聞いています。中学校給食を提供できない社会状況は全くの時代錯誤です。3年間もの成長期にある子供の食育はおろかあたたかい食物を提供できない市行政の怠慢を問われざるを得ません。実施したアンケートでは147校中39校が自校給食を実施できる結果を得ながら、まず実施できる学校から実施し市民の要望に答えるべきです。できないとされる未実施校は選択方式の中から自分の学校でできる給食体制を整える両面からの取り組みが必要です。「できない」「やれない」はやりたくないの全く子供の利益を考えないにすぎない不毛の論理です。一部の既得権益を優遇することはやめて下さい。すでに市行政側からの有効なデータも示されているようです。市民、中学生、中学生の保護者の希望を伝えるべく期は過ぎています。全員自校方式を旨ざしていただきたくお願い致します。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画、山中市政は全身全霊で公約実現にお力を発揮して下さい。                      中期計画、中学校給食は、一部の反対勢力が阻んでいるというのは事実ですか。                      民主主義に反しています。                      時代の要請に応じた山中氏公約宣言を実行すべきです。                      自校給食をやる学校の子供達から着手して下さい。やれない学校はやる方法を真剣に考え子供の命、成長を優先して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食が選択制から「給食を原則」としたことは歓迎します。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の実施方法が「デリバリー方式」とすることは再検討が必要だと思います。                      「デリバリー方式」では生徒の多くが希望する「温かい給食」や「アレルギー対応」が困難です。                      「温かい給食」や「アレルギー対応」を可能とするためには、「デリバリー方式」ではなく、「自校」または「親子」という学校で調理することが必要だと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校の統廃合、とても機械的だと思います。                      少人数学級は世界の流れ。子どもたちのすがたをぜひ見て下さい。                      先生を増やして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食を小学校と同じ様に全員が食べられるような給食をお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食「全員実施」子どもに最善なものを再検討を！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学童保育指導員の処遇改善を望みます</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>山中市長頑張っていますが、中学校給食だけは考えなおしてください。 何としてもデリバリー方式でなく小学校の様な温かい自家方式の給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式ではなく、小学校の様な温かい給食を実現して下さい！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校でデリバリー弁当をお食べになり「美味しかった」との感想とそれを全員喫食にしても良いかとお考えだと聞きましたが、小学校の様な給食を試食なさってください。ダシから手作りで温かい昼食をみんなで食べる子ども達に感想を聞いて下さい。月曜日から金曜日まで弁当だなんて給食ではありませんので。どうぞお力尽くして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』 良いことばかり書いてあるが、手前の問題も解決すべき →例)子ども食堂に対し効果的なサポートを行うなどの施策が必要 →横浜市のフードドライブは制限がきつい、もっと賞味期限近いものも消費できないか？ →何故消費期限が2ヶ月未満はダメなのか？ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/sakugen/default2020090.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/sakugen/default2020090.html</a> →コンビニエンスストアはフードドライブを実施しているが、実施店舗が少ない、制限も多い、多くのコンビニチェーンが参加すべき</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>小・中学校の教育にフォーカスがあるように見えるが、高校・大学の教育にもっと力を入れる →未来を作るにはこの世代伸ばすべき →頑張る・勉強する若者には支援を積極的に行う。 →成績が良い若者には（返還不要の）奨学金を出す →Web/Onlineで自己学習する無料の講座を用意する →特にIT系の学習プログラムを中心に用意する</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>グローバル教育、国際都市を目指すのに英語へ教育取り組みが弱い →具体的目標がない、設定したくない？ 例) TOEIC700点を、いつまでに取得するためは何すべきか</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>落ちこぼれる中・高生をどうするか                      →勉強しない生徒は勉強させることが難しい                      →ムリに勉強させない                      →趣味や得意な分野を見つけて、そこだけ伸ばす                      →そうなると普通の教師ではなく、各分野専門家が必要                      →そういう仕組みをどやって作るかを議論して欲しい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について                      政令指定都市最後の中学校給食実施です。中期計画の素案では、全員給食早期実施の為にデリバリー型を取り入れるとあります。現在のハマ弁を拡大にですね。実際にハマ弁は冷たいのが課題です。他の自治体でも同様のデリバリー型の給食が失敗しています。                      最後に実施する横浜市ですから、どこにも負けない給食すべきです。                      小学校給食と同様もしくはそれ以上のレベルを、時間が掛かっても良いですから実施すべきと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>少人数学級について                      この計画には国が進める少人数学級に対する予算が組まれていません。                      誰もが解る学習を進める為には、少人数学級の推進が欠かせません。                      教員の皆さんとも話し合っ、横浜型の少人数学級推進を取り込むべきです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食全員実施ありがとうございます。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー弁当で業者委託との事については反対です。お金の無駄使いと思われる。給食は永久的に続けられるものです。永久的に業者にお金を支払い続けるのでしょうか。冷たくて残飯も多く出るとの他の自治体のデータもあるようです。そんな業者委託に高額支払い続ける事に何の意味があるのでしょうか。                      スタートからできるところから少しずつでも学校調理方式での計画実施を希望します。                      業者に払っていく金額はドブに捨てる様なものです。その分を将来に生かして繋げて行ける学校調理方式を是非お願い致します。                      子ども達を真中に置いて計画実施をお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、小学校と同じような学校で調理する方法にしてください。デリバリー型は冷たく、調理から時間がたっているので味が確実に落ちます。アレルギー対応もできません。                      自校・親子・兄弟方式を検討し、小学校で作れる「余力」をいかして工夫してください。                      全校でいっせいに始める必要はありません。現に西金沢学園などでは自校方式の給食を実施しています。できるところから始めてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1の「妊娠期からの切れ目のない支援の充実」についての目標値が『国の動向を見極めながら』とはおかしくないですか？                      目標設定がおかしいとおもいます。                      国の子育て支援策を評価している意見を見たことがありません。ダメなものを目標にしてもダメなものが産まれるだけです。                      明石市のように子育て支援策が充実しており、他の市から人々が移り住むような自治体政策を目標にすべきではないでしょうか。                      SNSには横浜市で子育てを始めてしまったことを悔やむ投稿があふれているのをご存じでしょうか？                      「子育てするなら横浜市脱出」と大きなうねりになってからでは、遅いのではないですか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
給食費無料にして欲しい	参考	学校給食についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
塾などの費用の助成金	参考	ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「基本戦略」について 「子育てしたいまち」 そのためには、今、横浜で暮している子どもたちを大切にすることが最も大切な事です。今いる子どもたちが満足しなければ、彼らは将来横浜で子育てをすることはありません。 冷たいデリバリー給食で中学生が満足すると思っていますか？ 小学校の給食も充実していませんか。 給食すらまともに整備されない横浜市で子育てしたい人が増えると思いますか？</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>5つのテーマのうち、子育て世代への直接支援「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」について 現在、中1、小4、保育園児があり、フルタイムで仕事をしているものです。子どもを出産してから、中学校給食については、危機感をもって動向を注視してきました。 なぜなら、仕事をしながらの朝のお弁当作りは、私にとって非常に負担だからです。 現在中一の子どもは、ハマ弁を利用させていただいています。 ここまでの色々な政策、とてもありがたく、感謝しています。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>各中学校は、昼食の時間を見直してほしい。 時間の見直しを、各中学校に要請して欲しいです。 子どもから話を聞く限り、昼食時間が非常に短く、ハマ弁を取りに行ったり、返しに行ったりする時間が不足している。 時間がないことで、落ち着いて給食を食べられていない。 これは、とても問題だと思っています。 ぜひ、改善をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について ▼学校給食と言えば、自校調理で温かいのが当たり前です。 私は、他に人たちと何度も教育委員会に行って、中学校給食の実現を訴えてから40年ほどになります。今になって、市教委は、140校ほどある中学校のうち、自校調理方式は50校ほどしかできないという。それは中学校の校舎建築の際、学校給食の実施を考慮して用地を確保してこなかった市教委の責任ではないのか。 児童生徒急増期に、児童生徒の受け入れだけでも大変だったと思う。でもその時に、生徒増が落ち着いたら中学校給食ができるように給食調理室用地を確保しておくのが市教委の責任だったはず。その責任を忘れてもらっては困る。 市教委自ら作りだした困難を、デリバリー給食の口実にするのは、天地を逆にするのだ。 その責任を自覚するのならば、給食調理室の用地の確保に全力をあげて、自校調理方式を中心とした温かい中学校給食を実現すべきです。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 「自校調理方式が全校でできない、親子方式を含めても半数の中学校でできない。だからデリバリー給食を選択制でやる。デリバリーハマ弁給食では3割ほどしか実施できない」これが、林市長時代の市教委の答弁でした。 山中市長になって変わったのは「デリバリーハマ弁給食で10割やる。全員喫食にする」です。「自校調理方式で全校実施ができない」が、その大きな理由です。何が変わったのでしょうか。市教委の姿勢は変わったように見えません。 10割のデリバリーハマ弁給食をやるために、業者に多大の設備投資の負担をさせるわけですから、業者と契約を結べば後戻りができなくなり、デリバリーハマ弁給食から、自校調理方式への転換がいつそう難しくなります。 このチャンスに、自校方式を中心とした、温かい全員喫食の中学校給食を実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 自校調理方式では一斉導入できないから、一斉導入できるのはデリバリーハマ弁給食だと言って、デリバリーハマ弁給食の導入理由にするのは論理がおかしい。止めていただきたい。それは、自校調理方式がデリバリーハマ弁給食よりも優っていることを市教委が認識していることを示している。 「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」にデリバリーハマ弁給食が、ふさわしいというのなら、デリバリーハマ弁給食の素晴らしさを述べるべきだが市教委からそうした声は聞いたことがない。(何度も市教委の方のお話をうかがってきました) ぜひ、この機会に自校調理方式をメインとした全員喫食の温かい中学校給食を実施していただきたい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1 山中市長の公約を実行する為、出産費用の無料化実施して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1 山中市長の公約を実行する為、子どもの医療費無料化を中学3年まで実施して下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食をデリバリーでなく小学校と同じような、自校・親子・センター方式等あたたかく栄養を考えた普通の給食として実施して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学校給食 民間委託ではなく、自校方式で行ってほしい。少子化なのだから、空いている教室をリノベーションして設備を整え、給食正職員を。子供達に安全にあたたかい食事を!!</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>学校統廃合ではなく、存続を!! 地域に開かれた学校にしたら良いのでは? 保育園と一緒にしたり、デイサービス、子育て支援の為の場所など。又、建物があれば、防災時に活用できます。ただ建物を放置していれば、維持費がかかるのでは? それなら活用して下さい。子供達は宝です。教育、福祉にお金をかけなくてどうしますか? 横浜、国を将来背負っていく人達ですよ。もっともっとお金を投資して下さい。人にお金を使って下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の「完全実施」について 私はまっ先に自校方式で中学校給食を実現させてほしい。共働き家庭では一番切実な願い。伸び盛りの中学生にぜひとも温かい給食を</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療費（中3まで）完全無料化について 小児医療中3まで無料化を</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1の政策1～6 お金や施設を提供するだけじゃ見えない。保育士・教師そして親に対する環境づくりが必要 保育士（・教師）に対して、子供に接する時間を保証するため、それ以外の管理的業務は専門員に任せる体制にする、そのための予算処置を講ずる</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>親となる人に対して、子供を作る・育てることの教育を徹底する。そのための施策を国に働き掛ける。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5について ぜひ温かくおいしい給食をみんなで食べられるようにすすめて下さい。なぜ横浜で出来ないのかずっと疑問です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>5年程前私の地域の中学生がお昼になるとお弁当がないので外に出て行くという話を聞きました。義務教育の中学校でこのような辛い思いを子供達に味わって欲しくありません。義務教育だからこそ子供達が心おきなく学校生活に専念出来るよう配慮するのは当然だと思います。給食は大げさかもしれませんが子供達にとって平等に守られていると実感出来る物ではないでしょうか。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の費用は勿論税金でお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリー方式には反対です。小学校で行っている自校式の出来たてで作ってくれる方々の顔が見える給食にして下さい。 子供の貧困が社会問題になっている現在大都市横浜でこそ率先して子ども達が学校でクラスメイトと一緒に笑顔で「いただきます」が出来るようにして下さい。 山中市長さま頼りにしています♡</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
全員給食になるそうなのは非常に良かったと思います	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
冷たいデリバリー給食ではなく、小学校のような給食にしてほしい。1、2年でできるとは思っていません。5～10年の計画くらいで自校、親子、センター等を考えてやってください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
政策5、34頁中学校給食について 中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食をお願いします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
私は地方の出身ですが、小学校も中学校も給食でした。もちろん、小学校と同じ自校方式です。 地方の小さな中学校でさえ温かい給食が食べられたのに、どうして横浜ができないの？ 是非、横浜でも小学校と同じ給食を食べられる様に頑張って下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進を」 自校方式の学校給食を望みます。（小中学校共に） 不景気の中、働くお母さんが増えている中、次世代を担う子どもたちの成長のためにも温かい給食の提供を推進して下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は、小学校の様な給食にしてほしい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は小学校の様な給食にしてほしい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリー方式の中学校給食に反対です。中学校給食も小学校給食のように自校調理で温かい食事してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の給食は冷たいデリバリー方式ではなく自校方式の温かい給食を子ども達に食べさせてあげたい。 小学校と同じようにして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について、デリバリー方式でなくて自校方式にしてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食を学校で調理する本来の給食にして下さい。学校に給食施設を作れば災害にも役立つ。 弁当を給食にするなんておかしい。わざわざ冷たくして輸送費をつかって運ぶなんて！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式が給食に制定されましたが、冷たくてぬるい食事ではなく、作りたてのおいしさがきわだつ食事をしてほしい。不景気の中働くお母さんやパートのお母さんが増えてます。ヤングケアラーも増えてます。国の宝の子供の為です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の早期実現をして欲しい。育ちざかりの中学生に小学校のような給食を食べさせたい。 デリバリー給食は他自治体で失敗している。公的な施策は市で責任をもってやって欲しい。 学校給食は教育の一環として実施されるものです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子ども一人ひとりを大切にした教育の推進を 中学校給食の利用を原則とし、自校方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向けて推進して下さい！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学3年までの小児医療無料は大歓迎です。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>小・中学校共に自校方式学校給食を作して下さい早急に。 昼食がいのちづなの貧困家庭の児童が多くいるそうです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、デリバリー方式ではなく、小学校のような温かい給食して下さい。市民の声を聞いて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>指導員への給料の援助するなどして学童保育の存続を願います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>19、23、31P「戦略1すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」に関連し、ぎゃく待・DVの防止は当然とし、政策の目的として「子ども死亡事件、事故ゼロ」を掲げてほしい（＝意識を高めた目標を掲げていただきたい。）子どもの不幸なニュースを横浜市で見ない、見せない、ことを期待する。 また、上記の具体的な政策については、家庭環境問題によるぎゃく待、や危険な地域環境による事故（最近では用水路に落ちてしまうというもの）といったものを、組織・インフラ両面で防止する、という目的を元に具体的な施策につなげていただきたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>25P「政策1切れ目なく力強い子育て支援」に関し、政策指標の目標値20%は低すぎる。 他市を参考に考えると、同様に子育て政策に重点を置く、兵庫県明石市の住み続けたい人の割合は80%を超えている（2019年度調査） 横浜市でも今回子育て政策を最重要政策として掲げるのであれば、その政策の結果が横浜市に住み続けたい人の大部分の意向となるような数値目標を置く必要があり、数値目標としては明石市と同等を期待する。 また、支援の充実の内容に関し、子育て支援策の所得制限撤廃を期待する。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>35P「政策6豊かな学びの実現」に関し、当人は横浜市西区在住だが、近隣の図書館（中央図書館、県立図書館）が丘の上であり、車以外での移動が困難のため、新たな図書館づくりの政策には期待が大きい。また、電子書籍貸出の対象拡充もお願いしたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>給食について 最近、環境意識の高い欧米の知識層ではベジタリアンが増加しているそうで、欧米人の2割にもなるそうです。 インド人は5割がベジタリアンで出張者の食事の世話は悩みの種でした。 しかし、M I C Eの主体はそういった方だと想像します。 日本には精進料理など色彩豊かなベジタリアン向けの料理があるので、促進をご検討いただければと思います。 食の趣向も多岐に渡るので、給食もビュッフェがいいのではと思います。</p>	参考	<p>学校給食についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>給食について 小学校が出来てなぜ中学が出来ないの 義務教育なのにおかしいよ。バラバラの弁当なんて、出来る所からやってほしい</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食（デリバリーではない） 温かい給食を実現して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>義務教育の間は、給食費も無料化して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子育てしやすい横浜に！ 保育園の充実を。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「横浜市中期計画2022～2025（素案）JP34 施策1 中学校給食に対する意見 現状のデリバリー方式では冷たいおかずの弁当となりおいしい給食とは程遠いものとならざるを得ない。 その為廃棄食材も多いと聞いている。 市教育委員会の調査でも自校方式可能、親子方式可能、兄弟方式可能などを合わせると72校、全市の50%が対応可能と発表されている。 無理に100%実施を急いで、問題の多いデリバリー方式を実施し問題を引かずるよりも学校調理を基本として、各学校の条件に合わせ、「温かく」「おいしい」給食を子供たちに提供すべきと考えます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>全ての生徒が満足できる中学校給食の実現の項目の「デリバリー方式」について 中学校給食を実施するに当たり、まず言いたいことは、ただ空腹を満たせばいいのではないということです。今、貧困問題が更に深刻化し、学校給食が唯一の栄養、生きる為の食事となっている中学生が少なくないと思います。育ちざかりの中学生の食事です。全国でも一番遅れて実施する横浜の中学校給食です。他都市で失敗しているデリバリーはやめて、教育委員会も発表した親子給食可能な学校、自校調理場を建設できる学校からきちんとした小学校と同じような中学校給食を、始めてもらいたいです。少子化対策にもなる大切な事案です。よくお考え下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、小学校のような温かい給食にしてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校のような全員が食べれるあったかい給食をぜひ実現させてほしい。デリバリーのつめたい給食でなく親子方式でもあったかい給食にしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、子どもたちが願っている温かい小学校のような給食を望みます。 デリバリー方式では栄養士さんもなくアレルギー対応もむずかしいです。調理員さん（顔のわかる）が作る自校式を望みます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>私たちの念願の全員にあたたかい給食を！長年の要求です。大横浜が中学給食が実施していないなんて、とても残念です。宜しくおねがいします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について デリバリーを全員喫食にとの考えはやめてほしいです。 食育の観点からもあたたかい栄養がしっかり考えられた自校方式や親子方式の給食にしてほしいです。長年の願いです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、デリバリー方式ではなく、子どもたち・親が願っている温かい給食を望みます。小学校の給食と一緒に食べさせてもらった事があります。出来たての温かい物をとても、なごやかに、楽しそうに全員同じものをおしゃべりしながら食べていました。 給食調理員の作ったものを、専門の栄養士のおすすめ、地場産業をとり入れた給食を誰でもおすすめすると思います。予算がきびしいかも知れませんが、未来の子供達に使わないでは、良い政治とは決まっていえないでしょう。せめて、子供の健康に留意してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市立中学生の給食について「小学校のような給食を」「全員給食」の実施に向けて、林市長の、「母の手作り弁当」→「ハマ弁」へと進みはしましたが、全員給食には程遠く、現在20歳の娘が中学生の時も、不評でした。</p> <p>それでも喫食率を上げようというはされていましたが、そもそも、ハマ弁ではなく、「小学校のような」給食を望んでいるのです。</p> <p>全国的に見ても中学の給食が遅れている神奈川県。</p> <p>市長が変わり、ハマ弁ではなく自校式の給食に推移していくことを期待していた方は多かったと思います。</p> <p>それが、現在選択性となっているデリバリー型給食を「原則利用」と明記。26年度からの導入を念頭に、目標値に「全員に供給できる体制の確保を完了」となっていました。</p> <p>これでは、林さんが目標にしていたことと同じではありませんか。がっかりです。</p> <p>私なら「ハマ弁」にお金をかけたくない。</p> <p>自校式が無理なら近くの小学校と親子式、給食センター方式など、できる学校から事例を作って工夫していくような方針ではなかったでしょうか。</p> <p>中学はたった3年で卒業してしまい、みんな前、次に向かいます。</p> <p>私のように娘が卒業したいまでも中学のことを言う方は少ないでしょう。</p> <p>また、未来の中学生や、その親にとってはまだ先の話でピンと来ないかもしれません。</p> <p>私は仕事で都内の中学校で給食を食べたことがあります、そのおいしさにびっくりしました。</p> <p>出来る地域と出来ない横浜の違いは何なのでしょう。</p> <p>財源なら、このことをもっと前面に出して、ここに特化して力を入れる方法を生み出してほしいです。</p> <p>温かいものは暖かく、冷たいものは冷たく、美味しい給食を食べるということ、顔の見える関係で、一次産業のことをも学びながら、ほっとした時間をつくるということ、などなど。</p> <p>「食」という生きていくうえで欠かせないものに力を入れることは、大きな教育だと思います</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>34P中学校給食 自校方式で全員実施を。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>できれば給食費の無料化を検討してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食を全員実施については賛成です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「デリバリー方式」ではなく「学校調理方式」を中核として「温かい」「できたて」の給食を実現することを望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
将来的には学校給食を小中学校も含め無償化すべきと思います。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
「子育て世代への直接支援」の具体的施策として小児・児童の医療費の負担軽減を打ち出されましたが、これは東京都が実施されている18歳までの期間へ引き上げが求められます。神奈川県との交渉も含めて、基本戦略のテーマ設定がお題目に終わらぬよう再検討をお願いしたいところです。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>中学校給食のデリバリー給食は改めていただきたい。大阪府ではデリバリー給食開始後わずか2年後に、残食の大量発生が続いたことからこれを中止にしました。</p> <p>「中学校給食＜ミックス方式＞小中学校組み合わせ（令和4年8月版）」によれば、鶴見区・港北区・都筑区の3区以外は、「親子方式＋きょうだい方式」の組み合わせにより、すべての中学生及び教員が温かくワクワクする給食を喫食することが可能です。</p> <p>鶴見区・港北区・都筑区の3区はセンター方式で供給態勢を整えれば、横浜市全域で温かな給食の提供が可能になります。</p> <p>19度まで温度を下げたおかずが不評を招くことは過去の他市の例が示しています。デリバリー業者の労働環境も厳しいものがあり、人件費を抑えるために外国人の技能実習生を雇用することで未明や早朝の労働体制を維持し、また利益を確保するために低価格の材料コストの活用が求められることなど、体力増強が求められる中学生のための食育として相応しいとは思えません。</p> <p>まずはミックス方式とセンター方式を導入し、できるところから順次本来の給食に移行する計画策定を強くお願いいたします。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
例えば小学校の給食がある様に中学校もとなり中学校を作り一緒に作る。その他ファミレスやメーカーの様なプロを中学校に入れて栄養の面でも考えていただけるので、私は前から考えていました。市と家庭で半分ずつ資金を出す。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>中学校給食に関して</p> <p>他の都市は、デリバリーからセンター方式や自校・親子方式に切り替えている。それなのに、デリバリーでスタートするのは、おかしい。切り替えた他の都市に学ぶべき。給食費無償化の動きが進む中、横浜の中学校給食は一周遅れどころか、何週も遅れている。市民の声は「温かい給食」を望んでいる。デリバリーでは、それができない。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>子供の医療費ゼロ</p> <p>9月の議会で、全額助成に向けた追加予算を組んだ点を評価する。それに基づいて実現のために、議会でこの額を決定してほしい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>【34P】中学校給食のデリバリー方式採用が書かれています。率直に言って、中学校給食の事業性について、中学校の生徒と保護者という限定的対象者と、狭小な質問内容で事業可能性を判断したことに大きな問題を感じます。大阪市の取組では、大きな方向転換をするたびに、大阪市教育委員会が見解を公表します。アンケート調査の設計や分析も、深いものがあります。横浜市教育委員会は、何も見解を公表せず事務局に任せきりのようです。義務教育における給食の位置づけをキチンと説明した上で、中学校給食の方向性を決めるべきだと思います。デリバリー方式については再考されることを強く求めます。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子どもの数を増やす政策に取り組んでいただきたいです。                      出発点は、結婚～妊娠～出産～育児～保育～小中高大学すべての費用の無料化                      小児～大学までの医療費無料化                      早急に取り組んでいただくことを望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について                      中学校給食は何年も前から要求していました。                      他都市もやっています。デリバリーではなく自校方式でやってほしいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について                      中学校給食は他都市（大阪、神奈川県）でも実施されている。                      なぜ横浜は子供を大切に行政がいつになったら出来るのか？                      デリバリーでなく、自校方式でやって下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施を！                      デリバリーではなく自校方式であたかき給食にしてほしいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>どの子にも豊かな教育を！                      ・少人数学級でひとりひとりが大切にされる学校にしてほしいです。                      ・教員にゆとりがある教育を保障してほしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」について                      中学校給食は温かい調理方式で                      素案では市民から長年要望されてきた「全員喫食」の中学校給食が素案に出されたことに歓迎します。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の「全員実施」について デリバリー方式「弁当」とのことです。弁当でなく調理方式で料理された温かいものが生徒の希望です。このことでお聞きします。</p> <p>1 大阪市では弁当方式でしたが、生徒の不評を買い調理方式に変えたと聞いています。中学生にアンケートなどで調査されましたか。実際に食べる生徒の意見がどうであったかが肝心です。</p> <p>2 少子化で生徒数が著しく減っています。小学校の給食設備の能力は中学生の分も出来るところもあると聞いています。また空き教室などの活用もあると考えられます。こうしたことは調査、検討されていますか。</p> <p>3 食育の観点から検討されているでしょうか。</p> <p>単に食べさせれば良いというものではなく、給食を通じて調理師、栄養士と生徒が交流し、栄養、食べることの重要性、食物の大切さを学ぶことができます。</p> <p>4 地産地消は素案でも触れていますが、地域の農家などと密接につながっている学校で調理する方がはるかに地産地消になるかと考えます。いかがでしょうか。</p> <p>日本の食料自給率が低いことは、大きな問題です。こうした取り組みが大切です。</p> <p>5 最後に要望です。</p> <p>中学校給食は、負担が増えると教職員は難色を示していると聞いています。中学校給食の導入にあたり、負担減をどうするか職員増も含め教職員など関係者と話し合いが必要だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 給食を選択制から原則全員制にするのは前進です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について 実施方法を「デリバリー方式」の方針は、ぜひ見直してほしい。 温かい給食を皆で食べる喜びは何物にも代えがたいものと考えます。 できれば自校方式を可能なかぎり実施するよう強く求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学生給食の全員実施 山中市長になり、中学校給食についても検討が始まり嬉しく思います。 横浜の小学校給食は、栄養面だけでなく食育としても、子どもたちにも父兄にも大変評判がよく、全国に誇れる内容だと思えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学生給食の全員実施 中学校にあがったとたんその給食が食べられなくなり、せっかく積み上げてきた子供たちの健やかな成長のための営みを途中でやめてしまうことになり、残念でなりません。</p> <p>東京都では少なくとも50年も前から中学生にも給食がありました。成長期の中学生に給食がない自治体は、今ではごく少数です。</p> <p>子どもたちには、栄養バランスのよい、温かい食事を、少なくとも一日1回、確実に摂れることが大切だと思います。</p> <p>こども食堂などに注目が集まっていますが、そもそもこども食堂を始めたところは、給食は実施されている地域の朝・夕食、孤食の話です。</p> <p>横浜には、まず中学校給食です。</p> <p>教育委員会の調査では、学校でできるところが72校とのこと。できない所は当面センター方式で、とにかくデリバリーではない給食を実施して下さい。</p> <p>今デリバリーの全員給食を導入してしまうと、業者との関係で、今後長く学校調理方式はできなくなるでしょう。</p> <p>予算がないとよく言われてきましたが、予算（市民の税金）は、どう使うかが問題なのだと思います。</p> <p>まず未来を担う子どもたちのために使ってください。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策2の2 28ページ待機児童0をめざし認可保育所を増やしてください。又、保育士の待遇を改善します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5の1 34ページ学校給食法に基づき子供の成長に必要な栄養の摂取、食育、食習慣に重要な役割を果たす中学校の全生徒対象の完全給食をデリバリー方式でなく自校方式・親子方式等地域の実情に合わせて実現します。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策6の1 36ページ小中学校の全学年で35人学級を実現します。又、教員を増やし、慢性的になっている教師の残業を解消し、教師が生徒に十分向き合える環境をつくります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5-1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 1980年代からみんなで食べられる温かい中学校給食の実現を求めて、市教委の方とも何度も直にお願ひしてきました。 1980年代は、まだ、生徒増が続き、校舎建築が大変で中学校給食迄、予算がなかったのかもしれませんが。その時代にも、学校給食法は存在し、中学校給食は実施している学校は、全国的には過半数を超えていたはずで。将来に備えて、給食室の用地を含めて確保して、将来への中学校給食実施に備えるべきでした。ところが、市教委は、頑なに「学校給食」という言葉を使うことを拒び、「愛情弁当論-家庭弁当優先論」で、「将来への中学校給食実施への備え」を怠りました。 自らの失態を理由にして、デリバリーハマ弁給食の導入をはかろうとすることは、許せません。市教委は、今までの失態をきちんと市民と山中市長に報告・謝罪すべきです。その上に立って自校調理方式を基本にした全員喫食の中学校給食の方針を示すべきです。 自校調理方式を基本にした全員喫食の中学校給食の実現を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の「学校調理方式の実施」を求めます。  「食」は誰にとっても重要で大切なものです。人間形成の必要な時期である中学校時代に「食」を疎かにすることは、その後の人生を変えていくほどの問題です。  全員が学校調理の「できたて・温かい」給食</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>素案冊子34P 中学校給食「全員実施」 選択制から「給食を原則」に転換したことは評価できる。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案冊子34P 実施方式が「デリバリー方式」では給食をつくる工場の供給体制がいものままでは生徒全員の確保ができない。そのために新たな工場をつくる丸投げでは税金の無駄遣い。それぞれの学校に給食室があれば、災害時に炊き出しをすることもできる。また工場からそれぞれの中学校に給食を届ける必要がなければCO2の削減にもなる。 全中学校に給食室をつくるのが無理ならば親子方式や兄弟方式などでも対応できるので、成長ざかりの子供達に温かい給食を食べさせて欲しい。 このことで、子育て中の働き盛りの人たちが横浜に住みたくなれば税収もアップする。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1.子どもの医療費無償化に向け努力されていることに感謝し、さらに高校生までの医療費無償化を希望します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3.子ども・若者を社会全体で育むため、社会についての学び場を作りたい。学校教育だけでなく、社会教育・広く世界を見る力を身につけさせたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5.中学校の給食に努力いただいておりますが、デリバリー方式が安上がりですが、温かいご飯が食べれるのは、自校方式です。デリ方式から自校方式に変えるには今から、未来を予測して、行動してください。今すぐにはできなくても、これからできるを計画してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策6.放課後の学習支援、塾以外でもできるよう、とくに支援の必要な子どもたちに与えてください。また、学校建て替えには給食調理室を追加するようにお願いします。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市長が選挙時に公約した3つのゼロと中学校給食については、市民の期待が大きく妥協することなく推進して下さい。 特に中学校給食については自校方式で全員が温かい給食を食べることができるよう、さまざまな障害を乗り越え実現させて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子どもの医療費助成を、18歳までに拡充する。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は、デリバリーではなく、自校調理方式、親子方式、兄弟方式など多様な手法で、調理したてのものを提供する。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策2について 放課後児童クラブ（学童保育）の政策における位置づけの向上を求めます。かつては、保護者が自主的に立ち上げた組織でありながら、子どもたちの放課後の安全・安心は行政の責任として位置づけられ、先生方の給料等について直接支払われていたと聞いています。 子どもたちに寄り添い、その成長を見守る学童保育の運営について、ぜひ保護者の主体的な放課後施策への関わりを促すという意味からも、充実した支援をお願いいたします。 横浜市施策において、キッズクラブと学童保育の位置づけを対等にしてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>政策5について 生徒全員を対象とした中学校給食を目指す政策は大歓迎です。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策5について 子どもの満足度が低い現行の「デリバリー型給食」への方針は転換して下さい。すでに、横浜市内の中学校でも、学校の創意工夫により、あたたかい給食を提供できている所があると聞いています。 小学校のような給食を、中学生にも提供する方針をあきらめないで下さい。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>P34. すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 デリバリー弁当を給食と解釈するのは乱暴です。生徒たちが望んでいるのは温かい出来立ての食事。デリバリー弁当ではありません。 そもそも「中学校給食を実現する」とうたいながら「デリバリー弁当を給食として扱おう」はあまりにも酷すぎます。ならば市長として立候補するときから「デリバリー弁当を給食扱いません」と宣言すべきです。 中学生は食べ盛りなので小学校のような食缶で出す温かい給食にすべきです。たくさん食べる子もいれば小食の子もいます。各自の食べる量に合わせられる形式がベストです。 また、デリバリー弁当を民間に委託とのことですが、民間ではなく市で対応すべきと考えます。（民間に委託するなら地域ごと密着した弁当屋と契約すればよい） 現在、デリバリー弁当は市外から配達しているためおかずが冷たいと聞きました。横浜市内で出来立ての温かい給食がいいです。冷たい弁当ではなくて。 今すぐ全校自校式が難しくとも、親子式や兄弟式など着手可能な箇所から始めてください。2040年の目標とせず、1年でも早く温かい出来立ての給食を実現してください。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>P36新たな図書館増の構築と市民の豊かな学びの環境の充実 意見 素案の「すべての市民が居心地よく過ごせる場」にするためには何よりも図書館の整備拡充が必要です。 子供から高齢者まですべての市民の学びを保障し、生活に潤いと豊かさをもたらす図書館の役割はコロナ禍を経験した今、ますます大きくなっています。 生涯学習社会を支える中核的な施設として図書館の整備、拡充を望みます。 具体的には、 ○ 図書館の空白地域に新たな図書館を増設する。 ○ 地区センターの図書コーナーを整備し図書館との連携を強める（図書館の本の取次ぎなど） ○ 「日吉の本棚」のような図書取次所を増設する。など</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>みんなが食べられる小学校のような自校方式の温かい給食して下さい。 一斉スタートでなくてもいいですから。。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P33政策5 中学校給食について 教育的観点から学校給食について意見を申し上げます。 外から運んでくる冷たい弁当より校内調理の温かい給食は子どもたちの食に対するワクワク感を育てます。お弁当を持ってくることができない子どもさんにとっては給食室からただよってくるおいしいにおいが脳を刺激します。 学校に来るとおいしくて温かい給食が食べられる。そのことが「学校っていいな」と感じることができます。友達と一緒に同じものを食べる喜びは心も育てます。 自校調理の給食をできるところから始めましょう。 昼食時間にトイレに行ったり外に出ていく子どもがいなくなる様に。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療費（中3まで）完全無料化について 中3までにすると、財源がどの位必要かわからないのと、中3までではなく小6まで無料化とし、中1からは一部負担金で良いかと思われます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」について そもそも給食に出来なかった理由は何でしょうか？ 小職の中学校（埼玉県春日部市の当時は、食中毒があって弁当になったと言われておりました）でも給食ではありませんでした。 また、弁当だと格差や家庭の事情などで色々不都合が出るケースがあるとも聞いているので、出来る所や条件（アレルギー性やその他）で対応していけば良いのではと思いました。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>出産費用の経済的な負担の軽減は賛成で、経済的や人的（男性の育休の義務化）なサポートが必要かと思われる。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、温かい自校方式で実施して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療費（中3まで）完全無料化よろしくお願ひします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P33政策5についてデリバリー方式により…                      デリバリー方式では、学校給食法の趣旨が生かせるとは思えない。                      調理する人も、食材も見えず、もりつけ・配膳を通じて学ぶことが出来ない。生徒たちの給食を通しての成長が望めない。                      「子ども・子育て支援」を重点政策とする横浜市において、学校調理を基本に各学校の条件に合わせて、「温かく」「おいしい」給食を子供たちに提供すべき。                      親子方式（小学校で調理して隣の中学校へ運ぶ）、兄弟方式（近接中学校との組み合わせ）など考えられる。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食が実現することは歓迎する。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5                      デリバリー方式でよしとするのは、成長期の子どもの栄養、食事の大切さという点では問題だと思う。市教委が調査資料を出したことは評価できる。自校方式可能校を直ちに実現するための予算を組んでほしい。                      自校・親子方式のみあわせは、計画案をつくること。                      一斉スタートにこだわり業者委託に走ることは問題が多いので中止してほしい。中期計画に予算をくみこんでミックス方式にふみこんで下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P23～24                      「一人ひとりの学力の伸びの把握」などが言われているが、少人数学級が進まないなかでは、きめ細かな指導は掛け声で終わる。                      個別最適化の名のもと子どもはタブレットと向き合い、子ども同士の横のつながりがなく孤立した学習環境におとこまれてしまう。                      集団の中での学びが必要。原点に帰ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜の中学生に「温かい」「できたて」の給食を実現してください。                      市のアンケート結果で39校が自校給食を行うことが可能であり、2026年以降は自校給食を実施しなければならない。市の調査も従前から綿密なデータが作られており、一日も早く市民の要望に沿う義務がある。できる学校を据置くのは市の義務違反に匹敵する大問題であり、できないとされる学校のできる作業を急ぐ必要がある。全国的全市的神奈川の中学校給食の遅れをこのまま先のばしにすることに抗議する。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食                      デリバリー方式でなく、自校方式・親子方式など学校で作る方向に検討してほしい。「すべての生徒に満足してもらえる給食の提供」とするなら、「あたたかい給食」を望む子どもたち、小学生のような給食を望む保護者にとって自校方式・親子方式など検討してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策6 35人学級を進めて欲しい。                      コロナ禍、安全・安心な教育環境を整えるためにも、35人学級の予算を組み込み、35人学級を早期に実現して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>できたてのおいしい中学校給食を！                      自校方式でできないわけはありません。市のハジです。                      将来をまかせる子どもたちにもっと投資してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の実現自校方式への移行を!!デリバリー方式はダメ                      1.子どもの成長を皆で支えている…子どもにとって自分たちは社会に支えられている感                      2.富める家庭の子も貧しい家庭の子も平等（子どもは「生まれてくる場所」を選べない）                      3.「食育」としての給食（自校式）の重要性＜材料、調理法、栄養について＞                      4.やっぱり「冷たい弁当」より「温かい給食」</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5施策1 中学校給食の実現について                      中学校給食について、デリバリー方式による供給体制に反対し、ミックス方式(自校方式・親子方式・きょうだい方式・センター方式)による中学校給食の実施を切望します。                      &lt;デリバリー方式に反対する理由&gt;                      1. デリバリーでは、温かい給食は食べられません。工場から各中学校へ弁当を配送するにあたり、市は配送時間を4時間までは許容していますが、その対応として「おかず」は冷やすことが条件となっています。これでは温かく作りたての給食が食べられないこと                      になります。生徒へのアンケートでも明らかのように、「温かい給食」を望む声が第1位となっています。                      2. 教育委員会が作成した「中学校給食＜ミックス方式＞小中学校組み合わせ(令和4年8月版)」によりますと、小学校の調理余力食数が84,781食あり、また、自校方式による余力食数が11,364食あるとしています。その結果、単純計算ではありますが、中学校給食の必要食数78,864食を完全に賅ったとしても、なお20,690食余る計算になります。                      3. また、小学校等の調理室の増改築完了するまでの当面の措置として、「1小学校1中学校」への配送にこだわらず、「最大3つの小学校から1中学校」(例えば学年別等)への配送を可能とすれば、ミックス方式による中学校給食の実施は、十分に可能だということになります。「温かい給食」実現のための検討と努力をお願いします。                      &lt;実施方式別の施設整備費の長期推計について&gt;                      「今後の中学校給食の在り方の検討状況について」の「実施方式別の施設整備費の長期推計」について、より具体的な施設整備費の明細を提示してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はぜひ「学校調理方式」でよろしく願います。孫が中学生になります。よろしく頑張ってください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の「全員実施」と自校方式を 私は30年程前に東京都品川区から横浜市港南区芹が谷に引っ越してきました。当時東京都品川区は早くから小中学校の給食問題には関心が高く、中学校ではすべての区で給食が実施されており、当たり前と思っていたのに「横浜では弁当を持って行く」そして全員給食の運動も長くしていて、いまだに署名運動をしていると聞いて「ビックリ！」それから30年余り経った今も「子供たちの食べる物は、安心・安全の自校方式」でやるべきと思っています。建物を作るより先ず（子供達・敬老パスも含めて）人間を大切にす市になってほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>義務教育の間は全員医療費は無料で</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食を「学校調理方式」で温かいものは温かいままで食べられるようにしてほしい</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」ぜひお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>昨年から秦野に住む孫が中学給食（センター式）が始まり、あたたかくてすごくおいしいと喜んでます。おかわりもできると楽しみにしています。 敬老の日の給食は「ちらし寿司」だったと。 横浜の子どもたちにも中学給食を始めてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子どもたち全員があたたかい給食を食べられるようにしてください。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関連するごものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>少人数学級の実現を</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>出産費用、妊産婦検診の無償化を</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
学校調理方式で、“できたて、温かい”中学校給食の実現を!!	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
出産のための費用を無料化を 検診のための費用も無料に	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
全員制の小学校と同じような中学校給食を実現してください。 当事者の子どもたちに聞くとみんな今のデリバリーは「冷たくておいしくない」「注文が面倒」「みんなと同じものを食べるのがいい」と聞きます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
子供達も先生も大変です。先生増やしてください。少人数学級実現できる市独自の制度を。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
妊婦検診無料に。安心して子育てできる市にしたいです。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
我が子は学校への不安感が強いです。 今は特別に用意された別室で過ごしています。 この部屋を、特別なものではなく全校配置にして、教員の予算もつけていただきたいと思います。 今は、仮の部屋で、児童支援専任が空いているときに対応してくれませんが、一人ぼっちの時間帯もあるようです。そうすると、不安感が増してしまいます。 校内フリースクールができ、常駐の先生がいて安心できる環境づくりを強く希望します。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
「教職員の資質・能力の向上」で思うのは、教職員がゆとりを持って生徒に対応できる条件の確保が大切だと思います。現状では過労死ラインの教職員数が2798人とあります。これは異常です。教職員数の増員がまず必要なのではと思います。早急に教職員の増員をお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
基本戦略に「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」をあげたのは、とても良いと思います。その点で私は「中学校給食」について小学校と同様の自校で給食を作り、温かい給食を食べさせてあげたいと思います。学校の建て替えが今後予定されていると聞いています。自校方式を目標にかかげ、現在給食室のスペースが無い学校を順次立て替えていくことが良いのではないかと思います。そして自校・親子方式ができない学校を現在行われているデリバリー方式で全員喫食の給食をお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について デリバリーではなく、できたての給食をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 小中学校連携をはかる上でもデリバリー方式の給食のあり方には横浜の学校教育の方向性に矛盾を感じます。 中期計画にはデリバリー方式で地産地消の推進とうたっていますが、ただ食事をするだけになってしまうのではないのでしょうか？小学校のように栄養士さんからのことばがないことになると考えます。将来を担う子どもたちに国の食料自給率を上げていくためにも、横浜市が先頭に立ちたいと願っています。（地産地消の推進で）</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>私は中学校給食の実現を長い間願ってきました。成長期の中学生にとって給食はその成長を補償するためのものとして、そして義務教育のなかの食育として学校給食法でも位置付けられていると思います。冷たいデリバリー方式のお弁当ではなく、ぜひ全員がそろって食べられる出来立ての温かい給食を実現して下さい。子どもを大切に、子育て世代が住みやすい魅力ある横浜市にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、小学校のように温かい給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>明日の日本のため“食”は大切 子供達にどうぞ温かい給食をお願いします。 デリバリー方式とか“心の通わない食”は食ではないと思う。 小学校給食の時のような“あの匂い” 今日はカレーかな焼きそばかな… 子供たちに、わくわく感を感じさせてあげてください！ 私は食は人を“つくる”と思います。 活動家の皆さまも市民と“一つ”になって目的を達成するまでガンバってください！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 全員喫食の方針を明示したことは重要な第1歩です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について 方法としてデリバリー方式の具体化を図ろうとしていることには反対です。 &lt;理由&gt; ・給食は「全員で」「温かい」食事が基本であると考え、デリバリー方式では調理から配送までの時間が長く、食品安全上いったん冷却して配送せざるを得ないこと。 ・その結果「おいしい！」と感じないという声が生徒の多数となり、他の自治体では自校・親子・センター方式に切り替えている学校もあること。 ・「おいしい！」ことと栄養バランスが取れていること、「家庭の貧困」が生徒児童に食事のうえで影響を与えないようにすること、このような給食を通じて生徒・児童の一体感を醸成することなどが大きな役割です。 ・上記の点から考えると、デリバリー方式をやめ各区・各校の実情を踏まえながら、自校・親子・センター方式の組み合わせによる、一定の期間の範囲内での実施プランを作成、具体化することが必要だと考えます。 その結果、全校一斉実施は困難になることはやむを得ないと考えます。 ・最初にデリバリー方式でスタートすれば、自校・親子・センター方式に変えるには相当な時間と違約金が発生することが予想され、これを機会に一定の時間がかかっても、最初から自校・親子・センター方式を組み合わせ実施する方式を追求すべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「3つのゼロ」について 3つのゼロが目指している方向性は、いずれも市民にとって歓迎する施策だと考えています。なかでも「中学生までの小児医療費ゼロ」の推進にあたって15歳までのすべての子供を対象に、「所得制限」や「一部負担金」をなくす立場を堅持することは大切です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>また、出産費（基礎的）費用ゼロは、その施策の重要性の認識は共有されていると思われ、国の動向を踏まえ具体化を図ることで実現してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜生まれ、横浜育ちです。 やっと全員喫食の中学校給食</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>（政策5）「教育政策」 中学校給食の要求強いです。思い切って「あたたかい給食をみんなで食べる」ことができるよう親子方式など工夫して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーではなく小学校のようなみんなで食べる温かい給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
先生の数を増やして下さい。産休・育休・病休も安心してとれるようゆとりある数を採用してください。ブラックな仕事というイメージです。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食に遠慮なく子供達が食べられるように、小学校の延長のような、心も温かくなるように手作りのものを提供して欲しい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食（自校式）。全員が温かい食事を食べられる様にしてほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食（デリバリーではない）完全給食の実施を！	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食（自校式）で全員温かい給食が食べられる様にしてください。育ちがかりの生徒が差別なく皆平等で給食ができる様をお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
温かいものを温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに食べさせてあげたいので、一日も早く中学校給食を実現してほしい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
年々出産の費用が高くなっているので家計が苦しくなっていると聞いている。ゼロにしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食…全体温かい給食の実現を!! <自校式、センター方式>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5：子供一人ひとりを大切にされた教育の推進 ■ 現状と課題（p33） について</p> <p>【コメント】 「・・・データ分析やICTの活用など、教育のDXの推進が重要です。」と述べているが、現場の先生方の意見はどうなっているのか。DXは教育のツールの一つにすぎない。一人ひとりの学習の習熟度に応じたきめ細かな指導が求められているなら、教師が一人ひとりの生徒に時間をかけて接する必要がある。そのためには、欧米で既に当たり前のとなっているクラス15人～20人といった少人数学級が重要である。</p> <p>【コメント】 「グローバル化、SDGsの進展などの社会変化を踏まえ、課題解決に向けて他者と協働・共生できる人材の育成を目指し、英語教育及び国際理解教育が求められています。」と言っているが、一人ひとりにとって大切な教育とは、人格の完成をめざして行われる教育である。そこでは、真理と正義、個人の価値が尊ばれ、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を図る教育が行われるべきである（旧教育基本法参照）。課題解決能力は教育の結果として現れる一つの能力である。一人ひとりの学習の習熟度に応じたきめ細かな教育こそ求めるべきものではないか。</p> <p>【コメント】 「同上引用文章では、……他者と協働・共生できる人材の育成を目指し、英語教育及び国際理解教育が求められています。」とのことであるが、他社との協働・共生のためには、母国語でものを考えたとともに、他社の考えを理解し、自分の考えを母国語で表明できることが先決であり最も重要である。母国語をきちんと学ばずに、外国語の学習を優先させても国際理解教育とはならない。</p> <p>【コメント】 同上引用文章中のグローバル化についてであるが、確かにグローバル化は進んでいく。しかし、何故グローバル化にこだわるのか。グローバル化は進んでいっても、自分たちの生活の場である地域や町や都市がなくなるわけではない。自分たちの地域での、すなわちローカルな場所での他者との交流や協働・共生の知識や知恵・経験が備わってこそグローバル化に対応できるはずである。学校内外で子どもたち一人ひとりが交流や協働・共生できる場を作り、育て、発展させていくことが重要である。</p> <p>【コメント】 いじめの問題について、「本市は、認知件数が多い学校について、いじめを積極的に認知し解消に向けたスタートラインに立っていると肯定的に評価する国の見解に基づき、……早期発見に取り組んでいます。」と述べているが、国の評価ではなく保護者・市民の評価はどう認識しているのか。あまりにも他人事である。いじめを受けている子どもたち・保護者は、日々息苦しい生活を過ごさざるを得ない。関係機関と連携しながらではなく、いじめ解消を強力に主導する機関を設置し関係機関を巻き込んでいじめ解消を一刻も早く進めて欲しい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5：子供一人ひとりを大切にしたい教育の推進★政策と目標（p33）について 【コメント】</p> <p>■現状と課題の中で、「令和3年4月より選択制の中学校給食（デリバリー型）を提供し、令和4年4月の喫食率は30.1%となっています。給食の質の向上や食育を意識した献立の提供とともに、日本最大の生徒・教職員約83,000人に対する供給体制の確保が必要です。」と述べ、★政策と目標の中で「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。」と結論付けているが、何故デリバリー方式にこだわるのか。</p> <p>日本最大の生徒・教職員約83,000人に対して子供一人ひとりを大切にしたい給食提供体制を整備して欲しい。それこそ全国の市町村の給食事業に対する良い見本となる。</p> <p>以下に挙げるように、デリバリー方式より、親子方式・自校方式の方が子どもたちにとってははるかに素晴らしい給食が提供できる。</p> <p>①誰でも温かい食事を望むはずなのに、何故デリバリー方式で暖かさがなくなった給食をするのか、理解に苦しむ。</p> <p>②身近なところでつまり親子方式・自校方式で調理・提供する方がはるかに短時間で児童・生徒に届けられ、温かい給食を提供できる。中期計画に掲げている“子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進”と矛盾するではないか。</p> <p>③また、親子方式・自校方式であれば、小回りが利き、食材の調達・運用管理もしやすい。</p> <p>④営利追及の事業者が学校給食事業を任せていいのか。利益が出なければ、必ず撤退か値上げかの状況となる。児童・生徒への給食提供の安定的持続性が失われないか。</p> <p>⑤児童・生徒や保護者の多数がデリバリー方式の給食を望んでいるとは思えない。アンケートを取ったのか。</p> <p>⑥給食は児童・生徒の健康にとって必須要件であるから、市直轄の事業として実施することを望む。</p> <p>⑦学校給食の目的には「日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。」とあるが、調理者も見えない、食材も見えない、盛り付けも体験できない、残食分析もできない、料理を配列することもない中で、“給食の目的”を実現できるのか。</p> <p>⑧市の調査でも、現在の小学校の調理余力を生かせば、小学校から中学校に配送する親子方式は実施可能という結果が出ているはず。ただちに、親子方式から始める計画をつくってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式では生徒たちが残す量が多くなる（冬など冷たい弁当はおいしくないため） 先にデリバリー方式で給食を始めたほかの自治体でも学校での調理（親子方式、きょうだい方式）に切り替えているところが出ています。 ↓ 生徒立ちの望む、あたたかい給食（小学校の時と同じ）にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「9つの戦略」について                      戦略1の政策5の子ども一人ひとりを大切に教育の推進について                      「中学校給食の利用を原則とし」とありますが、そもそもお弁当を給食と言うことに無理があると思います。                      デリバリー型のおかずは冷たく、お代わりも出来ず、小学校のようにアレルギーの児童対応の除去食もなく、食べたくない児童や食べさせたくない保護者も多々います。                      小学校のような給食を実現できないのであれば、現状のまま注文したい人だけ注文する方式が一番良いと思います。                      給食を望む声があっても、お弁当を全員で食べることを望んでる親は少数派だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について                      政策5 P33学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式により、すべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。と、ありますが、すべての生徒に満足してもらおうと思うなら、なぜまずいと評判が悪く、一年生全員が登録しても、実際の喫食率の低いデリバリー方式なのか？市議員への説明でも何故デリバリーと決めたのか、担当者はきちんと説明できていませんでした。裏になにか市民に言えない理由があるのでは？と勘ぐってしまいます。他の自治体でもデリバリーを止めて自校方式に切り替えています。自校方式が無理なら親子方式でも良いです。食器で食べられる、温かい給食を何としても望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策2 P27学齢期の留守家庭児童の居場所の確保と質の維持・向上を図り、全ての子どもたちが豊かな放課後を過ごすことができている。と、ありますが、児童保育の利用料の平均は、他都市と比べても高く、必要とする子どもたちが全て入れる状況にはありません。留守家庭の子どもたちは、放課後キッズクラブでは不十分なのです。是非、保護者負担金が減らせるように補助金の大幅アップをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5についてです。                      マーガリンを子ども達のメニューにするのはやめてください。動脈硬化を促し、心疾患の危険性を高めるなど数々の疾患の原因といわれ、マーガリン等に含まれるのが「トランス脂肪酸」です。デンマークでは2003年にトランス脂肪酸使用禁止、米国では2006年からトランス脂肪酸の含有量容器への義務化がなされています。スイス、カナダ、オーストラリア、韓国、ブラジル等トランス脂肪酸の使用が禁止になっています。せめて、横浜市の給食では、マーガリンを使用しない様をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>学校給食についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>指標にヤングケアラーに関する記載がないが、今指標にすべきは、当該案件に関するのではないかと。記載できない理由は何か。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>・子どもに対する生活支援事業が寄り添い型生活支援事業のことだと教えてもらったが、なぜ事業名を出せないのか。                      ・現在、寄り添い型生活支援事業に関わっているが、施策指標にある目標とする登録者数は1施設当たり20人程度を受け入れるように見受けられるが、現実的ではないと思われる。当施設では10人程度の登録であるが、子どもたちは積極的に使ってくれており、これ以上の登録があっても施設の利用はできないと考える。適正な登録者数について、こども青少年局の担当者の方はご存じだと思うので、この目標を作った担当者の方をご確認ください。適正な登録者数での目標設定を望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3の施策4・5ですが、これは、内部の目標であって市民への効果を表す目標なのではないでしょうか。このもの自体を理解していないのですが、市民にも効果わかる指標設定をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食は、冷たいハマ弁をやめて温かい給食にしてください。全校一斉に開始に拘らず出来る所から始めて欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、全員が同じものを食べることが大切。ある学校は小学校と同じメニューで、ある学校は中学校のメニューで、残りはデリバリーでは、統一した食育などできるはずがない。デリバリーなら、それでいいので、継続的に改善に努めてほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食に踏み込んでくれてありがたい。 どんな形であれ、子ども達のために良いモノにしてほしい。〇〇党は、無責任にも、高齢者を動員して、小学校と同じ給食を求めているが、この政策だけが市の政策ではない。子どもは減少していく時に、給食室やセンターは無駄。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学生給食はデリバリーでなく、温かい給食にしてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食 デリバリー方式でなく、自校方式、親子方式で学校を作る方式を検討して下さい。 育ち盛りの子供には、等しく、温かい給食を食べさせてほしい！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「学齢期の留守家庭児童の居場所の確保と質の維持・向上を図り、全ての子どもたちが豊かな放課後を過ごすことができている。」と記載されてありますが、実際は決められたキッズクラブや学童に限られています。 特にキッズクラブは、学校の外にでることが少ないこともあり、地域の人たちとの関わりも少ない。子どもによって、その場やスタッフとあわなくなると行く場を失います。また登録しないと行かない場です。子どもが行きたくても親が登録しないと行かせません。 また、プレイパークは、子どもの育ちを大切に子ども主体の場です。またいろいろな人たちと出会える場です。子どもたちは地域の人たちに見守られ育つことが大切なので、学校のなかで完結してしまうのは心配。 キッズクラブや学童に加えて、子どもたちが自ら行ける場、子どもたちが選んで行かれる場プレイパークも対象になるのではないのでしょうか。 また、子どもの生きる力を育てるには「遊び」が必要といわれています。子どもが自由にのびのびと遊ぶことの必要性等、子どもの育ちと「遊び」の視点も政策にいれて欲しいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」等について、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食 政令指定都市の代表でもある横浜市中学校の給食がないとは恥ずかしいです。ぜひ今からでも温かい給食を実現してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>関連する政策：政策5子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進 中学校給食ですが「全員実施」こそ、大切ではないでしょうか。子どもの6人に一人は「貧困」と話を良く聞きます。中学校時代は、成長時期で、「子どもは社会の宝」という姿勢で、成長に必要なカロリーを個人の糧の状況に関係なく、提供するのが義務教育ではないでしょうか。欧州、これから国の人材を育てている国は、「医療」「教育」は無償と良く聞きます。一度にそこまでは言いませんが、すくなくとも「中学校給食の全員実施」はよろしく願います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>関連する政策：政策5子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進 大阪、川崎でも「デリバリー方式」から「全員給食」へ数年間の努力で改善されたと聞いてます。「市民は中学校給食の全員実施」で山中市長を誕生させたのですから、「中学校給食の全員実施」よろしく願います。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>デリバリーで良いので、全員喫食の中学校給食を早く始めてほしい。子ども達に馴染みのあるメニューには変えて欲しい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策5について デリバリー方式ではなく自校・親子方式での全員制の中学校給食の実施を求めます。 出来たてで温かく全員が食べられる給食を育ち盛りの子供たちに食べさせたい。全員が同じ給食を食べるからこそ、食育、教育となり、貧困層の食事の問題にも役立ちます。 現在の横浜市のデリバリー給食や他都市の状況から、デリバリー給食は副食が冷たい。 それ故、喫食率が増加しない、残食率が大きくなる、それ故栄養バランスが考えられた食事でも、結果的に栄養バランスが悪くなります。 それらの欠点がわかりきっているので、他都市でもデリバリー方式から自校・親子方式へ切り替えが行われています。 デリバリー方式を続けても全員喫食にはならないことは目に見えています。 さいたま市では、敷地が狭くて給食室が作れない学校は2階建てにするなど工夫したとのこと、また、できる学校からはじめて約15年かけて実施したとのこと。 これらのことから、自校・親子方式は一斉に開始できない、予算がない、敷地が狭い、などにこだわらず、将来を担う子供たちへの予算の優先順位を上げて、出来ないことをあげるのではなく、出来るように工夫することこそ自治体としてやるべきことです。 他の都市に遅れてやっと開始した中学校給食がデリバリー方式とはとても恥ずかしい。 中期計画にある「子育てしたいまち、次世代を共に育むまち」には程遠い。 全員喫食の中学校給食は山中市長の重点施策の一つですので強力に推進すべきだと思います。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「共にめざす都市像」について 特に子どもへの施策についてを中心に拝見しました。 今回の施策は「子育て支援」＝「子育てをする大人支援」が中心だと感じました。もちろんそれは重要課題だと認識しています。 しかし、子どもをひとり人間としてみて、子どもたちの社会参画ができる場づくりがまったく施策にないのはとても残念です。 お隣の川崎市では、子どもの権利条約に2000年日本でいちばんはやく批准しており、子ども権利についての理解が進んでいると感じます。 横浜市も「子ども」を一人の人間としての社会参画の場をつくってほしいと思います。それは子どもの意見をとりあえず聞いた、というのではなく、子ども議会をとりあえずつくりました、というものでもありません。 子ども参画を先進的に行っている例として、たとえば子どもたちが提案するまちづくり活動に予算をつける、高知市のこうち子どもファンドや名取市のなとり子どもファンドがあります。 また、静岡市では子どもたちが毎週主体的に活動できる、子どもバザールをやっている「ま・あ・る」があります。 子どもたちは未来のまちづくりの担い手です。 子どもの頃からまちにかかわることが大人になってもまちにかかわること、まちを大切にすることにつながります。 私は横浜で子どものまちを運営しています。 この活動も横浜でのまちづくりに関心を持つ子どもたちを育てる活動です。 子どもたちが社会に参画できる場、おきやくさまとして子どもをただ保護したり、教育するだけではなく、自らが体験する場、Learning by doingを横浜でももっと作っていただけるような施策をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の原則化を支持します。実現可能性の高いデリバリー方式の良さをアピールして、市民の理解を得て得ていこう、お願いいたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>今、全国で子ども食堂が増えています。そしてその重要性も増し、社会に広く認知されるところとなっています。 そのような状況の中、中学生全員がおいしく、安全に温かい給食を食べられることは、社会的ニーズとして強く求められるところです。 ・生徒へのアンケートでは「温かい給食」が一番の要望です。デリバリーでは実現出来ません。 ・他都市では、デリバリーから自校方式や親子方式、センター方式に切り替えています。 ・デリバリーではアレルギー対応ができません。 ・市の調査でも小学校から中学校に配送する親子方式は実現可能となっています。 地域の状況にあわせた柔軟な計画で順次デリバリー型以外の方法で給食を開始し、全員給食を実現してほしいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜の中学生にも温かい出来立ての給食実現をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生の給食は校内給食にして下さい 東京出身ですが、74才の弟が中学の時には校内給食がありました。 50才を過ぎた娘の時から給食をしてくれるよう陳情していましたが、いまだ実行されない横浜市を恥ずかしく思います。 この辺で実行してくれるよう節にお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校の給食はあたたかい料理をもとめています。冷たいとパーセントがupします。デリバリー方式を検討する必要があると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校でやっているような給食をやってください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校の給食と同じ様式で温かい給食を中学校でもやってください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校のような中学校給食を実施して下さい。 孫は中学生で母親が働いているため、ハマ弁、感想を聞くと「まずい！」のひとこと。育ち盛りの中学生には栄養士さんが考えた小学生のような給食を実施して下さい。予算も国から出ているはずなので。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用増額の件、賛成です。 但し費用の出方は全額国家予算で行ってください。現在検討していることは年金の後期高齢者の年金をあてにしている様子です。これは本当に困る。まして国民年金しか国民年金しか収入がない人は生活ができなくなりますので、絶対にやめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食 ・すべての中学校でみんなができてが食べられる給食を始めて下さい。 ・デリバリーはおいしくないの声が多いです。 ・又、昼休みの時間が短く、問題です。改善して下さい。 （今、子どもたちのおかれている状況もきびしい現状があります。食を通して心身の発達を支えて下さい。） ・民間の中学校1校、直営ときました。公立でもぜひ出来るところからでも始めて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、デリバリーは止めてください。栄養を考え食事の大切さ、温かい給食にぜひしてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食は選択性から全員実施へ横浜市は全国的に見ても子どもへの施策が遅れ、子育て世代から魅力がないと言われている。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
どの子にも豊かな教育を、少人数学校の推進、教職員の多忙化解消、特別学校や学級廃止、普通に	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」及び政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食…市の力を総發揮して、自校・親子方式を実施してください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食の「全員実施」について 給食は義務教育の一環です。子どもたちのすこやかな成長に市は責任があります。財政力豊かな横浜市が、全国最低ではおかしいです。努力を尽くして、デリバリー（配達弁当）でなく、温かい給食を、栄養豊かで安心安全の給食を実現すべきです。小学校のような給食を望みます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
全員が食べられる自校方式での「中学校給食」の実施をお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
給食 自校方式、全員実施をお願いします（温かい食事を子供達へ）	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
学校給食を実施して下さい。 自校方式でおねがいします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食 1「デリバリー方式」では、給食を教材とした食育の推進は図れない。 ・何より生徒の希望である「あたたかさ」「おいしさ」が確保できない。「おかず」を一度冷やすから「つめたく」なり、おいしさが半減してしまう。それで残食も多くなる。 ・栄養士さんとのふれ合いもないので、食材についての学習などもできず、地域の郷土愛も育まれない。又、「栄養全般」について学習する機会も少ない。 2「市教委の調査」によると、自校方式、親子方式、兄弟方式、センター方式も組み合わせれば、学校調理方式を中核とした給食が可能である。 「学校調理」を基本に各学校の条件に併せて、いろいろな組み合わせで「温かく」「おいしい」「栄養バランス」給食を子供たちに提供すべきではないでしょうか。 これからの日本を背負っていく子供たちの為に、一番に、横浜市の予算計画を立ててほしいです。 実施可能な中学から、ぜひ取り組んでほしいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー給食 全員喫食になったことはよかったと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー給食 ・アンケートの回答が一番多かったのが「温かい給食」です。ここが一番大事なところだと思います。 ・後で、検討すると言われていますが、まず「温かい給食」実施可能について考えてから、方式検討では？順序が逆ではないか？ ・自校方式、親子方式、兄弟方式など合わせてセンター方式にすればデリバリーでなくできるのではないか？財政的にと言われるが本当に無理なのか？ ・2026年から一斉にデリバリーになるに当たり、契約期間が余りにも長い！ 他市では、デリバリーの不評で、自校方式やセンター方式に変更しているところも少なくない。参考に考えなかったのか？ ・食事は食べられればよいというものではない。「おいしいネ！」と言える小学校のような「温かい」給食にしてほしい！ ・「政令都市で、未だに給食もないの！」の声を聞き、市民として恥ずかしい！ ・無償化の動きもだんだん増えてきています。横浜もその方向に動いてほしい。 ・残食が懸念されます。SDGsの観点からも残食のない「温かくておいしい給食」を体が作られる中学生に食べさせてあげて下さい！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について p34の政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進について 中学校給食の提供体制の目標値が「全員に提供できる体制の確保が完了」としていますが、「全員に温かい給食を提供できる体制確保」とすべき。デリバリー方式ではなく、小学校で実施しているような給食を様々な取り組みでめざすべき。その一方で、現実に経済的な理由で昼食を準備できない生徒をいっていると聞いています。過渡的にはデリバリー方式の併用もありだとは思いますが、行政としての目標をデリバリー方式による全員喫食とすべきではないと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>素案33ページ政策5について デリバリー給食ではなく、自校方式でお願いします。私も、横浜市で生まれ育ちましたが、なぜ、中学校に給食がなかったのか、疑問でした。大人になって、周りの人に聞くと、多くの都市は中学校給食を行っていることに驚きました。横浜市も早く、自校方式の給食の実現をお願いします。 また、自校方式を行っている他都市では、災害時の炊き出しにも活用できると聞いています。横浜市は、300万人都市ですので、小学校だけの給食室では足りないと思います。その市民を災害時から守るためにも、ぜひ中学校給食の実現をお願いします。 全ての中学校を自校方式にするには、予算がなく無理なのであれば、親子方式・兄弟方式の導入も検討してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案33ページ政策5について デリバリー給食について。 業者でなく小学校と同様に給食をつくって提供してほしいです。 子供たち個人のアレルギーにも対応できる温かく美味しいものを今よりゆっくり食べ てほしいです。 横浜市もしっかり検討していけば様々な方式で対応できると思います。 ほかの自治体ではできているのでできないはずがないと思います。 昔とは様々なことが変わって効率よくやっていける部分もあると思いますが、子供の 栄養・食べることが楽しいと思える環境を作ってあげる事は変わらず大人の役割で す。 子育て中のパパママはかなり忙しいスケジュール感の中生活しています。 弁当を作ってあげたい方もいるという話もありますがそれ以上に弁当作りが辛いとい う親のほうが多いと思います。 この給食なら子供を任せられるという思いになりたいのです。 検討してください。よろしく申し上げます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「横浜市中期計画2022～2025(素案)」今後の中学給食の在り方について。 全員喫食を目指すハマ弁は、絶対におやめください。 ダメな理由をあげつらって中学給食実現できぬまま耐え忍ばせてきた横浜市。 20年以上給食実現を目指す署名活動に協力してきましたが何ら変わらず。 あの個人情報はどこへ行ってしまったんでしょう？ 政令都市なのに中学給食を政治利用して、このような悪環境を強いているのは 全国どこを探してもなく横浜市だけです。少子化なのに子どものことを一切考えて いない。 組織の顔色だけうかがってきた人たちが司ってきた結果、ではありませんか。 税金を要らない口コミにじゃぶじゃぶ使っておきながら、給食施設も満身に備え ずにいるなんて恥ずかしいし、市民として怒りを覚えます。 この先についてご提案します。 細かく一校ずつ検証していくとマンモス校もあれば小規模校もあるし、 隣接した小学校がある中学校もある。一括りにして給食室設置の可否を決める やり方がおかしいのです。 私たちが調査した結果、「学校調理式」が全校で実現できます。 親子式、センター式、デリバリー方式、きょうだい方式、など学校整備の可否はこ れまでも検討されてきたことと思いますが、学校の敷地内で給食を作る「学校調 理方式」は最もコストも抑えられます。 現在でも3割程度の利用者しかいないハマ弁を全員喫食にして推し進めようとい う感覚がおかしいです。 おいしくもないものを15分という短い時間の給食で食べさせて、おひるごはんの楽 しみを奪うのですか？ 今は小学校給食も貧困なメニューになっていると聞きます。 どうか、この辺で給食の在り方を子ども目線で考え直してほしい。 間違っても市外の業者に頼んで、デリバリーさせる弁当などやめてください。 そんな税金の無駄使い、腹立たしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【素案34ページ政策5】                      中学校給食について                      息子(22年3月既卒)の母校は2020年の教育委員会が調査した結果、自校方式が可能と判定されていた。                      その調査結果を知れば在学期間に間に合わなくとも、小学校と同等の給食へ改革されるのか？と希望が持てた。                      しかし、一向に進む気配もなく市長が代わり、ハマ弁一択への動きは市内全校『一斉実施』『公平性の確保』を理由に見送られた。                      母校(近隣3校)ではハマ弁以外の地元業者が入り出ておりハマ弁の喫食率が2%程度。クラスに1人か2人しか居ない。                      費用は割高なワンコインのお弁当が温かくボリュームのある内容で「粗末なハマ弁を選択せず済んだ」というのが実直な感想。                      児童は家畜ではありません。                      時間が15分しかないからこそ、温かく美味しい物、何より子供が望む物を食べさせたい。                      親ならば当然の心理が働き、我が家では自弁を軸に時には業者弁当を選択してきた。                      ハマ弁導入により地元業者を排除した他校とは既に差別化されており、それならば自校、親子、兄弟、できる所から、予算を着けない理由はない。                      給食は行政サービスであり、それを外食産業化した提供には断固抗議する。                      また、給食室は災害拠点として市民の財産となり、地産地消と雇用創出も見込まれる。                      何故、できないのか？                      『公平性の確保』と、どの口が言えるのだろうか？子育て世代に強いている保育料試算、医療費補助、児童手当など所得制限を設定している時点で、公平性は確保されていません。                      我が家は所得制限下にあり、累進課税で共助への義務も果たしてきている。                      出来ない理由のこじつけでしかない。                      整合性が取れない当局の思惑はハマ弁業者への利益相反にも疑義が湧く。                      出来ない物を出来るようにするのが行政ではないのか？                      この問題、30年も放置してきた横浜市は重罪です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>公立中学の学校給食を実施してほしい。自校方式、親子方式、給食センターなど複合的に勤めるべきだ。教育委員会が全校で実施出来ないのは不公平になるというが、ハマ弁は冷たい弁当、給食じゃない。不平等は他の政令市はやってるのに、大都市の横浜が出来ないのは恥ずかしい。戦後数十年出来ない事が魔法でも使わない限り無理です。温かい食事を家庭でも取れない家庭も、お弁当も家庭で格差もあり、全校一緒に一緒に温かい給食は教育としても平等である。できる所から初めて段階的にやるのがいい、少子化で学校も減るし、知恵を絞れば出来るはず。子供が給食しか食べられない家庭も増えている。未来のある子供たちにお腹いっぱい食べさせる事が大人の義務であり、政治の最も必要な事だと思えます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「素案33ページ政策5について」                      中学全員給食。                      全体で同じ方式にこだわらなくて良い                      今できる形でいいから、とにかく早く始めてほしい！</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案33ページ政策第5 全国的に給食ありの中、自宅準備する昼食は、あり得ない。川崎市は、市長が変わりあつう間に給食にかわった。横浜市も新市長さんになったので出来るはず。 期待します。 形は、どうであれ、必ず給食にして欲しい。 ネグレクト家庭、貧困家庭でお弁当が準備出来なかつたり恥ずかしい為、学校に行けないのを避けたい。 共働きも増えており親の負担も減らして欲しい 小学校のように栄養バランスの取れた給食がありがたいし、子供も楽しみにしています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>素案33ページ政策第5 デリバリー式から自校へ 義務教育なので、公平な昼食をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>産前産後サポートを利用しました。コロナ禍で遠方の実両親や義両親に頼りづらい中、毎週家事を手伝ってもらい、更に赤ちゃんと夫以外の大人と話すことができ、私の身体面はもちろん精神面でも大変助かりました。コロナ禍で郵送申請・面談無しで利用許可をいただき利用できたのも大変助かりました。素晴らしい制度でしたので広く妊産婦さんに利用していただくべきと思います、コロナ禍が落ち着いた後であっても郵送申請、できれば電子申請、そして面談は必要に応じて電話やオンラインにて実施いただければと思います。また、紹介チラシを作成する、利用者の声を載せるなど、この制度をぜひ利用推進していただきたく思います。 また、産後の赤ちゃん訪問について。家族に濃厚接触者が出たためもあるかと思いますが、玄関先でチラシを渡されただけで終わり、子育て支援として何の意味も無いシステムだと思いました。それよりは、例えば電話やオンラインなどで保健師や相談員の方と5分・10分でも繋いでいただいた方が、産後のお母さんのリフレッシュにもなるのではと思います。 ご検討のほどどうぞよろしくお願ひ致します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」の中に、「デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保」とありますが、学校での調理の可能性をぜひ検討していただきたいです。給食の質が上がり、デリバリー式よりコストがかからない可能性があります。本当に子ども一人ひとりを大切にするのであれば、一律にデリバリー式にするのではなく、アレルギー対応、食育、緊急時の災害拠点など様々な視点から、担当課を越えて、長期的にも子どもたちのためになる政策をしっかりと考えていただきたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5-1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について 中学校給食を制度化することは評価します。ネットでは「この令和の時代に中学校給食がない自治体がある。それが横浜だなんて信じられない」などと炎上していることをご存知ですか。私の家族は勤務先で恥ずかしい思いをしたそうです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリー方式を選択すると聞いてがっかりです。温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままで、しかもおいしく栄養価がきちんと計算されたものを供給することが学校給食法や食育の理念にかなったものではないでしょうか。デリバリで始めても他の自治体のように自校方式やセンター方式などに変更せざるを得なくなることを危惧いたします。その間の時間と労力そして予算の無駄遣いにはならないでしょうか。東京の人口密集地帯ではわずかなスペースでも活用する、二階建、空き教室利用など涙ぐましい努力を子どもたちのために続けておられます。ぜひとも学んでください。都筑区には豊かな農産物があります。また、外国の方の存在と交流など給食を介していろいろな食育ができる条件があります。全市一斉とはならないかもしれませんが、できることから始めていく。経験と実績を積み上げていけば、大都市横浜にふさわしい食育の典型例を創っていき期待しております。私の家族と他の区在住の同僚は横浜と東京の先進区とのあまりの格差に子どもの中学校入学時には横浜からの転出を考えているみたいです。ぜひ横浜愛に燃えた子育て世代のママたちの願いを叶えてあげてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、デリバリーでもいいから、早く実施して、改善できるところは、改善してほしい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P. 35～36政策6で学校図書室の整備について触れられています。私は小学校の図書室ボランティアをしています。学校図書室の本は、多くの子供たちが閲覧するため破損し、ボランティアが修理を重ねて、驚くほどボロボロの状態であったり、破損や落丁がある本も多くあります。また、その多くが子供たちに人気の本やシリーズであり、ボロボロであっても、なお予約が入るようです。多くの図書室ボランティアは素人であり、簡単な修理しかできません。本を新たに購入するとなるとそれなりの金額になるため、予算との関係で、傷んでも買い替えが難しい状況と推察されます。</p> <p>就学中の子供たちにとっては、学校の図書室は1人で行ける最も身近な存在です。子供たちが「問題なく読める本」が揃えられるような整備をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>34ページの政策5にある中学校給食について。</p> <p>私は横浜市の小中学校を出て、自分の子供も横浜市の小中学校を出ています。</p> <p>横浜に住んでいれば中学校はお弁当が当たり前で何の疑問も感じません。</p> <p>自分の子どもにご飯を作る。自分が子供の立場の時も、親の立場の時もそれは当たり前だと思ってきました。</p> <p>中学校に給食は必要ないと考えています。</p> <p>やるとしたら、デリバリー方式です。</p> <p>戦後、全体的に栄養が足りなかった時代に強制的に栄養を取らせるために始まった給食が、今「個」が尊重され、様々な宗教や国の文化が受け入れられるべき時代に、アレルギーの子どもが増えている時代に、あえて「一律全員これを食え」という、時代に逆行するようなことをするべきではないと思っています。</p> <p>たかだか3年間、一時的な家事負担を減らすために、これからどんどん必要のなくなっていく給食のために莫大な税金を投入して施設を作り、負の遺産として残していくのであれば、長期的にみれば、自分の負担を減らすために、子どもたちが大人になった時の課題や負担を増やすこととなります。</p> <p>外注のデリバリー方式であれば、必要がなくなった時に規模を縮小していくことができます。</p> <p>温かい給食にこだわるのであれば、デリバリー方式でも温かいものを食べさせることはできますし、今までずっと冷たい弁当を食べてきた横浜市民ならば「温かい」という小さな理由で莫大な税金を消費してしまうのは不合理だということがわかるはずです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1について、人手不足により教職員の質が下がっていると、知人の教員から聞きました。</p> <p>定期的な指導と、教員として向かない方へは、厳しい対処をお願いしたいです。</p> <p>タブレット端末等で授業を行うが増えると思いますが、SNS被害等、タブレットやパソコンを渡すことによる問題は生じると思いますので、正しい使い方について、教師と生徒への指導も積極的に実施いただきたい。被害者や加害者を増やさない努力の必要性を感じます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1-5については、令和五年度内とのことですが、ぜひ早期実行をお願いします。子供が頻繁に体調を崩すので非常にありがたいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2については、本来は子供のために安全面や先生の質、施設の耐震性などを考慮して保育園や幼稚園に入りたいですが、働いていると、保育園は結局自分で選べない、幼稚園は候補が絞られ、延長保育をしている近所という理由で選択せざるを得ない状況が苦しいです。</p> <p>どこの保育園、幼稚園も最低限、ハード面とソフト面の安全対策は必須で定期的な監査を実施してほしいです。</p> <p>政策2-1で、マニュアルや研修の場を提供しても、現場は多忙だと思うので、真剣には取り組んでもらえないと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2-5は、今後更に需要が増すと思うので、サービスの拡充をしていただけると幸いです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>放課後キッズクラブの改善をお願いします。</p> <p>私は、今年度放課後キッズクラブのスタッフになりました。そこで子ども達の置かれている環境があまりにひどいのに驚いて、意見を送ることに決めました。</p> <p>キッズクラブでの子ども達の環境を調査していただきたいと思います。</p> <p>私が、通っているキッズクラブは、毎日低学年を中心に、およそ70人前後の子ども達が放課後來ます。多いときは、100人近くなることもあります。登録数は、その倍以上です。</p> <p>子ども達は、曜日、学校の予定によって、1時過ぎから2時半ごろにやってきます。それから高学年の授業が終わる3時半までは一つ教室分のキッズルームで過ごします。</p> <p>学校の他の施設は、まだ借りられません。</p> <p>坐って、宿題をやったり、読書をしします。ぎゅうぎゅうで、もちろん密で、動くこともできません。防災上も大変問題です。</p> <p>スタッフも常勤は二人で、あとは、パートと学生アルバイト約20人で運営しているので、それも心配です。</p> <p>ぜひ健やかな子どもの育ちと親が安心して働けるために実態調査をして、より良い対策をしていただきたいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費無料化の実現ありがとうございました。計画通り進捗するようにお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食実現ありがとうございました。計画通り進捗するようにお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>給食は温かく、おいしく、栄養を考えたものが良いと思いますが、デリバリーの給食は副食が冷たく残す事も多いのもつたいないと思います。</p> <p>子供の貧困率や家庭の状況から学校給食が良いように聞こえます。生徒がみな同じ給食を食べられるようにして下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、高校生になった子供のお母さんの中には給食があってもアレルギー対応がしてもらえず、大変だったと聞きました。</li> <li>・地域ごとの栄養士さんや調理員さんの配置で給食を作して下さい。</li> <li>・地産地消や雇用確保にもつながると思います。</li> </ul>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>p.28政策2 主な施策2 「保育所等を整備します」に賛成。ただし、施設・設備の改善は必須である。つめこみ保育には反対であり、園児一人当たりの面積や保育者数などは改善してほしい。並行して園庭や公園の整備拡充などの条件整備が絶対に必要である。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>主な施策3 保育者の処遇改善は待たない。せめて他産業平均と同程度の給与水準が必要である。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>主な施策5 学童保育への補助金・助成金の大幅増額を求める。指導員の処遇改善も必要である。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p.34政策5 主な施策1 中学校給食のデリバリー方式による供給には反対である。 「当面、自校方式・親子方式・センター方式などのミックス方式から出発し、将来的には自校方式による供給を実現する」という方針を掲げるべきである。 義務教育段階の学校給食は、恩恵やぜいたく品ではなく、市民の権利（基本的人権）だ、という基本的な認識に立った政策立案が必要である、と考える。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>主な施策2 一人ひとりの児童生徒の資質・能力の育成の基本的な条件は少人数学級の実現だ、というのが今や世界の常識だと思う。P.36政策6 主な施策3とも関わって、当面小中学校の30人以下学級の早期実現を求めたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p.36政策6 主な施策4 市立図書館の整備と並んで、各区の図書館は「図書室」としか呼べない現状で、抜本的な改善が必要だと思う。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>P34 中学校給食をデリバリー方式を見直し全員が給食を食べられるようにして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P26 小児医療費（中3まで）完全無料化して下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学生の心と身体を守るのは全員みんなで食べる温かい給食！ みんなの成長を応援して下さい。 横浜は全国から遅れています。あたり前の給食を子供達の親達の地域の長年の願いです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子方式がいいんではないですか！？</li> <li>・おいしくて、温かい物を食べさせたい！！</li> <li>・やろうという気持ちで動いていただきたい！！</li> <li>・SDGsの気持ちからも</li> </ul>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>共働きが多いので朝のお弁当作りは大変なので是非給食をお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食が「全員実施」大歓迎です。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 学校調理方式の「できたて温かい」中学校給食の実現をお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34 中学校給食は「自校式」にしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食を自校式にしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の昼食を自校式にしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリーは反対です。給食にしてください。 できる可能性を最大限に追及してかならず横浜の中学校に夕食を、、、！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子供が中学に通っているところからの希望です。これから中学に行く人、育ちざかりの子どもたち、つめたいデリバリー弁当ではなく給食を・・・。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>自分の子やマゴが中学に通っている頃からの給食がほしい！と願っていた事がまだ実現しない横浜市！弁当屋、デリバリーはやめてみんなそろって給食を実現して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市の中学生たちがみんなで給食が食べられます様に。 デリバリーはやめて下さい。 なんとかして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>成長期の子供達にしっかりと温かいお昼を食べさせたいです。ネグレクトなどもあるので学校でしっかりと食べられればそれだけでも安心出来ます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>子ども達に温かい昼食を食べさせてあげたいですね。 育ちざかりの年齢ですよ。皆と一緒に同じ食事をお願い致します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリーでは給食を通して学べる、自分たちでの配膳をとしてみんなで同じものを食べるものがない。 学ぶことが尊いこと。 弁当屋の弁当は愛がない。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について 皆さんと同じ物を温かいうちに食べてもらいたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>自分の子ども達の中学校通学時、孫の中学校通学時にも給食の願いはかなえられませんでした。残念です！ せめて、これから中学生になる皆さんのためにも弁当屋のデリバリーの冷たい食事、配膳、盛り付け、みんなと同じ食事の時間大切なことはたくさん学べます!! センター方式と組み合わせでも給食が可能性を生かし、ぜひ給食をおねがいします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」をお願いします。 身体作りに大切な時期に、困窮な為に食事が疎かになってしまうという平等ではない事が起きている文部省の中学生の平等の教育の中に食事も入っているではありませんか、是非横浜の政策の中に「中学校給食」を入れて下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P34中学校給食の「全員実施」について 育ち盛りの子供達に平等に温かい給食を実施する事は義務教育と言う面からも当然です。 自校方式で早急に予算化して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式について ①保護者・生徒が求める給食は温かい物は温かく冷たい物は冷たく提供できる自校での給食です。栄養士配置のもとで栄養のある安心安全で直かつ食教の教育ができる学校給食です。 ②私は永年都区内の学校調理師をしていましたが政令都市で中学校給食を実施されていない市は川崎と横浜だけでしたが一昨年川崎が完全給食を実施しました。現在横浜が実施している弁当給食は「学校給食法」に規定されている給食ではなくすべての子供が平等で全員が喫食できるものです。一部の地方では(小規模)そのような形態が実施されている所もありますが、都市部で弁当給食を実施されている自治体は不詳で自校又はセンター方式等にもどしている自治体が数都市あります。 ③市の施策で言われているように業者が届けるデリバリーの弁当給食では、冷凍食品が多く使用される、早く作って配達するような現状では美味しく安心安全な物は無理があり、ましてや地産地消の推進等まったく無理な事でありにも現場の実情を理解されていない市民向けに受けるための文章表現としか言えません。 ④横浜市の学校の実情では敷地が確保される学校が多いようで川崎等よりかなり恵まれた環境だと考えます、予算化すれば自校方の学校給食実施にすぐ取り組めると思います。その学校に合った自校直営、親子方式、兄弟方式、センター方式等できる所から取り組むべきです。 これから数年後には少子化がかなり進むことが考えられます。未来ある大切な子達に充実した学校給食が早く実現できるように市に要望する者です。給食の思いは一生心に残るものですので!!</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子育て支援が平等ではないです。子育てをする前は全く気付きませんでした。子育てが始まり、世帯主の収入によって子育て支援に大きく差がある事を沢山痛感してきました。</p> <p>医療費は3歳から大人と同じ3割負担になりました。</p> <p>我が家は4歳と10歳の子が2人おりますが、パパママがアレルギーやアトピーを持っているので、子供達もアレルギーやアトピー、喘息を患っていて、毎月のそれぞれの病気の飲み薬、塗り薬、吸入薬高いお金が、通院費と薬代の医療費にかかっています。</p> <p>医療費が毎月の家計を大きく圧迫しているので、子供達は3歳以降から歯科健診に行かせられなくなりました。</p> <p>フッ素も3歳までは定期的にさせていましたが、医療費がかかる3歳から節約でさせていません。</p> <p>風邪や胃腸炎等季節の流行り物もよく園でもらってきますが、1度の通院で、受診代とお薬で3000～5000円が消えます。子供達が具合が悪くなる度に、またお金が沢山かかってしまう・・・と思ってしまう、そんな考えになる自分に悲しくなります。</p> <p>子供手当も半額になりました。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>2人の子供は1歳の頃も、2歳の頃も、世帯主所得の優先順位により保育園が落ちてばかりで、働きたくても働けず、どちらも幼稚園に入園となりました。</p> <p>保育園に入れない度にお仕事を辞め、幼稚園で働ける短いバイトに就き、また出産でお仕事を变え、の繰り返しです。</p> <p>第2子が1歳の頃にも沢山の保育園に落ち、1つだけ遠い園が短時間枠で受けましたが、第2子なのに月52000円の保育料で、驚いて役所へ問い合わせをしたところ、横浜市独自のルールで、第1子が未就園児でないと、第2子でも第1子とみなされ、保育料が安くないとの事でした。</p> <p>2.3歳差など短い期間でコンスタントに出産したくても、妊娠がうまくできなかったり、持病で体が落ち着くまで子作りができなかったりと事情があります。</p> <p>それを横浜市独自のルールで第1扱いの保育料では、あまりに不平等だと思いました。</p> <p>他の自治体では、兄弟の年の差は関係なく子供の数により保育料は支援されたり、親の収入に関係なく第3子は保育料が無料の自治体も沢山あります。</p> <p>第2子の時、短時間枠で月52000円の高い保育料では、働いた分のほとんどが保育料に消えてしまうので、保育を断念しました。</p> <p>私の周りでは、収入が高いのに自営業でうまく低く申告して、保育園に通わせている方も沢山います。</p> <p>この横浜市の子育て支援や国の子育て支援の不平等さ(親の世帯主所得によるもの)を知った上で、収入が高いのに保育園に優先的に入れ格安な保育料になったり、子育て支援も沢山受けられるという理由で、紙土だけで離婚したいで、実際は同じ家で普通に暮らしている知人もいます。そうやってずる賢く支援を受け続けている人がいるのは、子育てにおいて、親の収入によって子供への子育て支援を平等な支援にしている事からではないでしょうか。</p> <p>しかも、世帯収入ではなく世帯で高い方の収入での判断ですし、世帯全体の収入での判断にしている事もいつも不平等だと思っています。</p> <p>横浜市も国もそうですが、収入が平均より高い人が税金を沢山納めていても、保育園はなかなか入る!入れても保育料が高い、医療費も大人と同じかかる。今後高校無償化でも対象外で助成が受けられなく負担のしかかる、子ども手当も半額だったり受けられないでは、子供の為、家族の為に身を粉にして働いていても、子育て支援が受けられなさすぎて、大変で、一体なんの為に働いているのかわからなくなります。</p> <p>さらに、収入の事が絡んでいるので、そのような事に不満があっても周りに吐き出せません。実際そのような不平等な数々の子育て支援に、今後の子育てがとても不安で、第3子が欲しくても泣く泣く諦めました。</p>	<p>参考</p>	<p>本市では、国の制度に沿って保育料を決定していますが、ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜のブランドはこの次で、誰もが親の所得関係なく、平等に子育て中に支援策を受けられるような、子供に優しい街に変わって欲しいです。このままの子育て支援のあり方では、自分の子供達を横浜でいつか子育てさせたくても、子育てしにくい街より、平等に子育て支援を受けられる街で育てる事を勧めるかもしれません。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>何よりこうリアルで切実な声が、横浜市長や議員にきちんと届く仕組みができて欲しいです。 横浜市長が林さんから山中市長へ久しぶりに変わった時、同じ子育てをされていて、年代も同じで実現したいと掲げていたので、これで横浜の子育てが良く変わるかもしれないと思い、山中市長になってすぐに手紙を出そうとしましたが、手紙を送る先はありませんでした。 市民の声に、電子メールで医療費を平等な支援にして欲しい旨の意見を出しましたが、返ってきたのは市役所のいち職員の方から、ご理解下さいの事務的な返答メールでした。 きっと山中市長の目には止まっていないのでしょう。 本当に横浜市を良い街にしたいのなら、定期的に市民との直接のやり取りをできる場を設けたり、本当に市長が意見をきちんと読み、市民が何に困っているのか、どうしたらもっと楽しく横浜での子育てや暮らしができるのかをよく知ろうとすべきだと思います。</p>	参考	<p>計画の広報・広聴に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>市にも、国にも、貧困の人への支援はもちろん大事ですが、平均より所得が高い世帯への支援をしないのではなく、子供みな平等に支援して頂きたいです。 そうする事で今よりもっと頑張って働いたり子供を作る人も増えるし、子供を私のように諦める人も少なくなり、本当の意味でみんなが安心して暮らせる街になると思います。 未来の子供を輝かせる為に、今変えて下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 小学校と同じような方法での出来立ての給食を中学生も望んでいる。一度には無理でも、3年計画ぐらいで実施してほしい。 他の都市でもできているのだから横浜はおくれをとらないように進めてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。ご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1 政策⑤中学校給食全員が自校方式（それに準ずる形）での実施で温かい給食を実現して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館の充実、貸出、返却を地区センターなどでも行って欲しい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1 政策②保育園の充実、希望する意見（子）が入れる数の確保及び保育内容の充実、働く保育所さんの待遇改善</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P33政策5 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現を やれるところから小学校のような給食を！ 米軍の跡地に給食センターはできないのでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>やっと中学校給食の実現となり文化都市と言われている横浜になったと喜んでいましたが、喫食率の確保に疑問。全ての生徒が満足できる学校給食の実現を希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>やれるところから、小学校のような給食を</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市で一斉にすることがむずかしければ、一校ずつでも自校で作る給食に努力してほしい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>2.政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 中学生の全員が小学校のように温かい給食を食べられる様に、デリバリー方式ではなく「自校調理方式」を強く求めます。なお、デリバリー方式を大阪市はしていたそうですが、現在は学校調理方式に切り替えたとのこと。横浜市もできる所から自校方式に取り組んでください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用について 希望する人が安心して産めるように出産は無償にしてください。子どもは私たちの宝、社会の宝です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育てで支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく自校方式で温かい給食にしてください。温かい食事は人間に不可欠。豊かな心を育てます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市は政令都市でありながら中学校給食がありません。全員が食べられる中学校給食を実現して下さい！ デリバリー方式は反対です。小学校に給食あるのになぜ中学校はないのでしょうか？ 義務教育なら給食あるべきです！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市は図書館の数、そして蔵書数が市民一人あたり全国の政令指定都市でダントツの最下位です。この事実を重く恥ずかしい事と受け止め市民誰もが徒歩圏内で図書館を利用できる環境の整備を願います。 立派な施設も結構ですが、一箇所に集中することなく誰もがいつでも利用できる所、専門家、レファレンスのできる司書の配置と共に読書のまち横浜となるよう希望します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>ようやく中学校でも全員で食べられる学校給食が実現すると聞いて喜んでおります。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>現状のデリバリー方式と聞いてがっかりしました。 食中毒を防ぐために低温配送のデリバリー方式では子供たちに美味しい給食を提供することはできません。 小学校の様に自校方式、そして施設のない所は親子方式など工夫して実現できます。 2026年度まで期間のあるうちに「自校調理方式」で実現することを望みます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策2の主な施策5 放課後の居場所づくりにおいて この施策5には放課後キッズクラブ事業、放課後児童クラブ事業について書かれている政策2の現状と課題において放課後のすべての小学生の居場所と書かれている。 ならばより幅広い子供たちの放課後の居場所や生活の場としてプレイパーク事業もこの部分に位置付けられ、文言を追加するのが妥当ではないかと考えられる。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>働く女性（男性も可）の経済的自立を促す事を目的とし横浜市への若い人の流入、定着、婚姻の増加、少子化防止の為、幼児、学童の長時間保育を実現する。無休0600～2200間運営し、全ての面倒を見る施設を設置する。駅近く低料金、送迎は親、祖父母、登録代理人に限定、三食提供、病気にも対応（園の責任にて受信など）→働く親の負担軽減し、未婚、非婚、一人親、既婚に無関係に安心して長時間労働を可能とさせ収入増につなげ貧困解消を目指す、又長期間保育により子供の孤立化を防止する。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食をこれまでの「選択制」から「給食の利用を原則」へと全員実施にしたことは歓迎です。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>実施方法がデリバリー方式の拡大には賛成できません。デリバリー方式では衛生管理上おかずを冷やすことになり生徒にも不評だと聞きます。温かい給食が可能な自校、または親子方式による学校調理方式を採るべきです。</p> <p>大阪市など他の都市でデリバリーから「学校調理方式」への切り替えが進んでいることも参考にして約5割の学校が可能とされている学校調理方式を採用し、それを順次可能な限り早期に全校で実現できるよう手立てを講ずる方向に見直して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>0歳～18歳までとぎれ々の政策ではなく、国の一貫した政策を計画してほしい。幼稚園、保育所と分けるのでなく幼保一元化を考えて！！（0歳は3人に1人担当、1～2歳は6人に1人担当）</p> <p>1歳児はオムツを外し歩き始める子、走る子と一番手がかかります。1度お昼の食事時を見学に行ってください。（1歳児は4人に1人の担当希望）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の全員実施については賛成です</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の方式についてはデリバリーではなく自校で調理員が作る方式が望ましいです。なぜなら冬は温かいものを夏は作りたての安心した食事を望んでいる人が多いから。しかも材料は国産。自場産のものを使い、アレルギー体質の子どもにも配慮しての給食は大変良い方式だと思いますので、ぜひ実現させて下さい</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>選択制でなく、中学校給食の利用を原則とする事は許可できると思う。定収入で、栄養のバランスをしっかり考えた昼食を摂ることができない家庭の生徒も少なからずいると思う</p> <p>義務教育の間は食育との観点からも給食を原則全員利用してもらうのが良いと思う。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式にはやはり欠けている点が大きく、①配送する間の細菌の繁殖を防ぐためには、きちんと冷蔵した状態で届けるしかなく、「あたたかくておいしい」給食は実現できない。②ひとり、ひとりの生徒の食物アレルギーを正確に把握した給食の提供は各校から離れた業者からのデリバリー方式では困難である。やはり、小学校と同じ自校方式で「あたたかく、おいしく、安心安全な給食」の提供が最善なのである。これを実現している他の自治体は大阪市にも、その他にも多数の例があるのである。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>シングルマザーで子ども2人（高1、中2）を育てています。年収200万少々で毎月赤字生活です。今回国が非課税世帯に5万円の支援を決定しました。シングルマザー（児童扶養手当）受給者にも同様の支援をお願いしたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「学校給食の趣旨を踏まえ」「全員に供給できる体制の確保」とあります。市長の説明や教育委員会の資料によると、原則全員利用に転換することでしたので、「すべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制の確保」とは、令和8年度から「給食の原則全員利用を開始する」と理解します。</p> <p>学校給食法第2条によると、学校給食を実施するにあたっては、学校教育の目的を実現するために、各目標を達成できるように努めるように、とあります。目的は7項目に分かれていますが、「適切な栄養の摂取」「明るい社交性および協同の精神を養う」などです。</p> <p>学校給食は教育課程の一環として行われます。このことを第一に考えると、単純に、栄養バランスがとれた給食を提供すれば良いというものではなく、法が定めるこれら目的をいかにして達成できるか、ここに重点をおく必要があるのは必然です。今回の方針は、「デリバリー方式」で原則全員利用に転換するというにされていますが、デリバリー方式で果たしてこの目標を達成することは可能なのでしょうか。</p> <p>また、「すべての生徒が満足できる」という方針は、現在3割が評価、3割が不評というデリバリー方式の給食で本当に達成できるのでしょうか。</p> <p>生徒たちは不満の理由として温度の問題をあげています。中学校給食には過去の経過がありますが、デリバリー方式では温めなおしをすることはできないとすでに結論が出ています。他都市でも結局この問題がネックとなり、給食を残す生徒が多く、税金の使われ方、給食のあり方として問題が指摘され、他実施方式への転換が行われています。</p> <p>契約期間は10年以上に及ぶ可能性があるとも指摘されています。横浜に生まれ育ち巣立っていく子どもたちに、市が提供するものとして、この実施方式はふさわしくありません。</p> <p>「適切な栄養の摂取」が可能なのは、当然ながら、生徒たちが給食を「提供された量をすべて食べる」という前提となっています。現在は15%の残食が出ていると聞いています。選択制の現在ですら、希望した生徒たちが食べるという前提ですら、85%しか食されていないのが実態です。これでは到底、学校給食法が求めている目標の達成は不可能なのではないでしょうか。</p> <p>そして、その解決は、学校給食の「おいしさ」＝「温かさ（適温）」が必須であると思いますが、デリバリー方式では、特に横浜という大都市では不可能だと思います。現時点で解決策が一切示されていないなかで、4年間もの長期にわたる計画として、今後10年以上を縛る計画として、このような方針を出すのは間違いです。</p> <p>生徒全員が満足する給食をめざすということにはおおいに賛成です。遅すぎるくらいです。しかし、述べたとおり影響力が大きく期間も長期に影響する方針ですので、もっと具体的な事柄を明らかにすべきではないでしょうか。</p> <p>現在の事業者との契約との関係で、令和8年度開始をめざしているとのことですが、現在の事業者にもあと4年間待ってもらうことは不可能なのではないでしょうか。その間に、順次学校調理方式や親子・きょうだい方式を進めることはできないのでしょうか。現在でも4割程度まで供給可能なのですから、併用していけばより多くの生徒が満足できる状況に一步步近づきます。また、両方式であれば、温かくおいしい給食の提供が可能で、小学校のように残食も5%程度にとどめることが可能です。ある意味、小学校では実証済みなのですから、確実性が高いものです。市教育委員会は学校によって実施方式が異なることは望ましくない、一斉に始められるようにすべきだと考えているようですが、145校もあり8万3000人も食する予定のものを、一斉に同一の内容で始める必要はどこにもありませんし、それを無理やりやることはない、多くの市民は感じています。</p> <p>できるところから、最善を尽くすべきなのではないでしょうか。そのほうがずっと合理的ですし、将来に変なツケをまわさないのではないのでしょうか。</p> <p>具体的な方策も示さず、今後10年以上にかかわる方針をこのように勝手に決めてしまうのでは、この計画に賛成できません。</p> <p>市民は、もっとしっかりと意見を聞いてほしいと考えています。</p> <p>中学生が、保護者が、地域住民が何を望んでいるのか、意見を「聞いただけ」で流すのではなく、方針が本当に市民の望むものになっているのかと問いたずきかけとしていただき、是非とも見直していただけますよう、お願いいたします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
各学校、全員で食べる給食が学校の所在地によってスタートの時期が違うということがあり、公教育として問題だと思つので、同時期にスタートしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
横浜市中学校給食について 子ども達が提案した給食が食べられるよう応援しています。 地域と共に給食調理場の確保し地元で根強い農家の方々に協力野菜離れた子ども達に少しでも栄養価の高い料理を この地域に産まれて良かったと思える土地の料理を提供してもらえたらと思います。	参考	中学校給食では、生徒の学びにつながる献立の提供の1つとして、生徒が提案したメニューを給食にする取組を実施しています。ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
p.34政策5 中学校給食について賛成です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食実現に向けて、20年以上前から市民から希望があったかと思つます。 子育てしやすい横浜市になるため、是非実現してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
横浜市中期計画2022～2025（素案）P34について ハマ弁の全員強制は市長の公約違反ではないか。 我が家の小学3年生も小学校のあたたかくて美味しい給食が中学校でも食べられる事を楽しみにしています。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食 中学生は多感な時期なので、一律に「食べなければならぬ」ということになじまない子もいます。給食だけでなく、家庭でのお弁当も選べるようなお昼ごはんにしてください。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関連するご意見として、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食 ・今のデリバリー型の給食はとても良いシステムだと思います。1食がコンパクトにまとまっていて、準備も片付けも簡単です。小学校のような、配膳を伴う給食は中学生の1日の時程に入りません。このデリバリー型で、メニューを工夫してください。 ・学校は、先生が足りなかつたり、タブレットが入ってきて、そのメンテナンスもお金がかかると思つます。各学校に給食室を作るようなお金がたくさんかかる事は、学校にかけるほかの予算を削ることになりませんか。それは、本末転倒だと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
青少年の居場所を充実させるために、居場所の数の目標値の設定と支援をしてほしい。 また、同じ趣味の人たちで集まれるような仕組みが欲しい。	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
給食を原則とせず、家庭弁当と給食の選択制を希望します。 経済的な理由や、子供の意思を尊重するなど、決して選択制はマイナスだけではないと思つます。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
デリバリー方式では温かい食事も提供されず、美味しくもないと子ども達から声を聞きます。メリットは受注を受ける企業側にしかないのではないのでしょうか？ 栄養バランス良く温かい食事で健康を保ち、食への意識を高める食育を推進するならば自校式、親子式での給食提供が望ましいと思つます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校の給食について、デリバリー方式で良いので、早期に完全給食を実施して欲しいです。その後から、自校式になっていくように議論して欲しいです。 完全給食は、「栄養の偏り・貧困(ネグレクト)」に関係します。まずは早期に完全給食を実現することが大事だと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5-1について 子育て世代の負担削減と、虐待などで家庭で満足のない食事が与えられない子供を救うため、中学校における完全給食の実現をお願いします</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式で良いので、早期に完全給食を実施して欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>赤ちゃんからお年寄りまで、市民の為に市政を求めます。中学校給食の「全員実施」は大いに賛成です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>安全安心の質の高い給食の実現のためには、デリバリー方式は良くありません。プラスチック製の容器は熱いものを入れると環境ホルモンが溶け出すと言われています。環境ホルモンは不妊を起こすと言われています。年々子供が出来ないという夫婦が増えています。食産業の利益が健康よりも優先されてはならず、コンビニ弁当のような器を中学校給食で使用するのは言語道断です。 小学校給食はアルミ食器からメラミン（良くない物質が出ると言う事で短期で止めた）から安全な現在の食器になりました。命の為に又、地球温暖化防止活動が逆行するプラスチック容器の使用のデリバリー方式は止めて下さい。 子ども達に温かい自校方式、他校からの運搬方式、あるいはもっと良い方法があるかもしれませんが、温かくておいの香る給食で子供達の命と心を育てて下さい。子どもの命を育てるのは親だけではありません。命を育てる市政は子供たちに「故郷横浜」への愛着を持たせることでしょう。 人として満たされた子供たちは横浜への愛を持って大人になり、未来の横浜を支える人間になると信じます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>特に中学校給食については、現代社会の喫緊の課題です。 過去の経過はともかくとして、原則給食利用を促す、というのは、山中市長に変わったから出来たことだと思います。 家庭の事情で、弁当を用意できないご家庭がいる以上、供給方式は何であれ、栄養バランスを考慮した給食を提供することは、横浜市の責務だと思います。しっかり取り組んでください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学生全員が温かい給食を食べられるようにして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>栄養の取れた美味しいものを食べるとやる気に繋がると思うので、デリバリーではなく作りたての温かい給食を食べさせてあげてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食を今の選択制から「給食が原則」となるようにしていくのは良い事だと思う</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「デリバリー方式」に反対です。 私たちが食する時“冷凍したものを自然解凍”で食べることは本当に少ないと思う。 “「できて」ではない。適温ではない”という問題が解決できないので、これまで他の市町村で結局一度採用したデリバリー方式をやめて自校・親子方式などに変わる例もみられている。横浜は「給食」にするまでも大変時間がかかっている。ぜひ多くの生徒が食べる給食を始めるこの時からデリバリー方式ではない自校方式、親子方式などの給食の形で進めてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食をデリバリー方式の全員制にすることに大反対します。 ほかの多くの自治体でもデリバリー方式から自校式やセンター式に転換しています。(大阪市、広島市、相模原市ほか多数)わざわざ失敗を真似する必要などありません。 横浜市の中学校も一校一校、細かく方式を考えていけば145校の全校で自校調理式ができます。これをそのまま実施すれば良いのです。145校で一斉にやる必要はないです。 「できない理由」を無理やり並べて実施してこなかった横浜市は本当に愚かです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について 戦略1の政策2に関連する内容になるかとおもいますが、放課後デイサービスの利用においての所得制限による負担差が大きすぎます。(差額32,600円年間だと約40万円の負担増。) この点を是非是正して、どの子供も平等に福祉が受けられる機会を与えてほしいです。 切れ目なく力強い子育て支援とありますが、 共働きで頑張り住民税を納めているのに、負担が大きすぎて福祉が受けられる機会があるのに諦めざるを得ないという現状があることを認識し、いち早く是正していただきたいです。 (切れ目なくとありますが、切れちゃってます、、、)</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について P34の政策5 中学校給食について 学校でデリバリー食を保管する場所を衛生的で安全な場所にしてほしい。保管場所では保温機等を利用することで、温かい給食になるのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリー弁当を長期固定化する中期計画（素案）に反対 デリバリーは学校給食の代替えにはならないと思います。小学校のような温かい食事、地産地消でき、配膳等自分たちですることに意味があるのではないのでしょうか？ 既存のルールによって給食室が作れない等弊害があるのであれば、ルールごと見直し改善して中学校完全給食をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について 34ページ政策5 中学校給食について デリバリー方式で、保護者や生徒が望む温かい給食ができる方法を探してほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について 是非行ってほしい。最近共稼ぎの家族が増大しており主婦の負担を軽減するためにも実現するよう願っています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 政策5の施策1 中学校給食はこれで良いと思う</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>未来の子供を大切に教育として学びの環境の充実、図書館の在り方、移動図書館を増やす等推進してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策6「豊かな学びの環境の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食はどんな状況にある子供にも、無料で温かい食事が出来るように学校方式で推進してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1切れ目なく力強い子育て支援、ぜひ早く実施してください。コロナ禍で収入が減り、子育てに不安を持っている人が多いです。経済的なことを考えると出産もとまどう声もあります。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5子供一人一人を大切にした教育の推進 現在デリバリー方式の給食が実施されるように準備していると聞きました。現中学生とその母親に聞きました。とんでもない！との返事でした。「冷たくてまずくて、いやだ」と言っていました。母親も仕事が忙しいので給食はありがたいが、デリバリーでは困る、と言っていました。 地産地消、郷土料理、行事食、安心安全をうたっている素案がデリバリーで出来るのでしょうか？矛盾しています。子供が減っている今、親子方式、兄弟方式、規模センター方式等、十分に可能だと聞きました。無理に一斉実施して禍根を残すよりも、子供のために「温かく」「おいしい」給食を早く実施してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>できたての温かい給食を一日でも早く食べることが出来るように「自校調理方式」「親子方式」など実施可能なところからでも採用してほしい。他県でデリバリー方式を見直しているとの報道もあります。 災害が起きた時避難場所になる小・中学校の調理室はあることは心強いことです。出来ることから始めて下さい。 わが子には間に合いませんでしたが、近所の子には美味しい給食を皆で食べてほしいです！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5（素案33ページ）について                      中学校デリバリー型給食は「冷たい弁当」のみならず「買い食い」でとりあえずの供給策で、市・市民に何も遺すことなく、企業利益に税金を費やすだけ。市の資料（ミックス方式）小中学校組み合わせ（令和4年8月版）によると、自校調理可：39校、綾子方式可：22校、兄弟可：11校、小学校の調理余力を含めると、102,409食可で中学校給食必要数78,864食を上回っている。                      小中学校に給食調理室を備えれば、市・市民の財産となるし災害時対策にも有効。又、給食の盛り付け配膳、後片付け、食品ロス・・・食育の意識も大きい。                      デリバリー→自校方式に変えている他、都市の事例を学び、目先の業者任せ、頼みではなく、中・長期的視点での「在りたい横浜、住みたい横浜」政策を！！                      そして、今できるミックス方式に着手しデリバリーと併用しながら年次計画を立て、「子どもたち、地域にやさしい横浜」づくり政策を切に望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34、1 すべての生徒が満足できる中学校給食                      小学4年生の息子がいますが、家では自分の好きなものしか食べず栄養バランスが悪い中、横浜市の給食はおいしくて楽しみにしています。苦手な野菜たちも皆が食べているからと頑張って食べてくれます。それだけで親としては大変嬉しいです。昭和生まれの私は、中学生時代全ての生徒はお弁当でした。共働きや母子家庭のお子様は、日の丸弁当やメロンパンとコーヒーだけという、今から考えると育ち盛りの大切な時期にはよくないお昼ご飯の子も多かったです。                      お母さんのお弁当造りの負担を少なくする目的でもあり、食育のため心身ともに健康で、あまり病院に行かなくてもよい未病意見も込めてどの子どもにも（年収関係なく）平等に学校給食にして頂けたら幸いです。（大阪府高槻市は給食費0円です）</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P34 2 一人ひとりの児童との資質能力                      子どもが高学年になると、知っていてもわざとわからないフリしたり、振舞ったりするようで勉強をわざとしくくなります。カウンセリングの専門家からは「IQ高く非常に優れているが周りがついていけなくもったいない、なんとかしなくちゃ」と言います。                      我が子だけでなく皆そうだと思う。子供たちは無限の可能性がある。一人ひとりの良いところをもっともっと伸ばしてあげる横浜になればカッコイイですね。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>P26 5 小児医療費助成の拡充 小児科etc                      子どもの突然の入院や花粉症、歯医者色々な病院に通わせていますが、3割負担だと他府県のママに言ったらビックリされます。「横浜ってオシャレやけどケチくさくない？」って！所得など関係なくすべての子供に平等に医療費を免除してママパパの負担を何とかして下さい。お願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について                      市長が全員にと言われ、やっとという思いで喜んでます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について                      デリバリー方式では生徒が望んでいる給食とは言えません。孫も利用していますが、冷たくおいしくないと言っています。アンケート結果もあたたかい給食を望んでいます。                      自校、親子方式など出来るところから始めて下さい。せっかく全員が食べることが出来る給食にすなら最も良い方式で子供（生徒）たちが望んでいる給食して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>妊婦出産費用も無償にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>教員を増やして下さい。コロナ禍で子ども達にきめ細かい対応を求めます。そのためにも少人数学級を、小・中・高校生に実施して下さい。国にも求めて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>素案冊子の34ページ            主な施策1            中学校給食の利用を原則とした上で、アレルギー対応などへの柔軟な対応をして頂けるのであれば、デリバリー方式でも良いと思います。私の横浜に住む友人も助かると思います。            素案冊子33ページ            政策の目標            デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食を、一日も早く実現してください。よろしく願いいたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 P34中学校給食            デリバリー方式ではなく温かい小学校で行っているような給食を早急を実施して下さい。            又、大切な子供たちに食べ物で劣等感を与えないように給食費は公費でまかなえるように。            ぜひ実現お願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はおかずの冷たいデリバリー方式ではなく、温かい自校調理式で実施して下さい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館の本の数をもっと増やして下さい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>市民から選ばれた山中市長の政策提案が実現することを切に願っています。中期計画（素案）はどれも実現してほしいのですが、何よりも命と暮らしを守ること、困っている人や弱者に対して優しく温かい政策の実現を願っています。特に26P小児医療費完全無料化に向けて検討開始の実現を望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中期計画（素案）はどれも実現してほしいのですが、何よりも命と暮らしを守ること、困っている人や弱者に対して優しく温かい政策の実現を願っています。34P中学校給食の「全員実施」に向けて検討開始の実現を望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中期計画（素案）はどれも実現してほしいのですが、何よりも命と暮らしを守ること、困っている人や弱者に対して優しく温かい政策の実現を願っています。出産費用ゼロに向けて検討開始の実現を望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「給食に関する事項」（問題点）                      現行の『デリバリー方式』では次の点において問題があると思います。                      ・調理工場での一括生産であり、デリバリーによる配膳のため『冷えて』しまうおそれがある。また『冷えて再加温の給食』ではうま味が損なわれ不人気さをともなうのでは。                      ・それも原因で、喫食生徒数は多くないと聞いています。                      ・また生産者の『顔』が見えてこないのでは。                      ・子供の貧困が叫ばれている現在、特に一人親家庭・母子家庭の子どもにとって給食は、非常に重要なもの。特に中学時代は心身ともに旺盛に発育する時期であり、給食はそれを促す大切なものと位置づけが重要だと思います。                      （意見）                      ・自校調理方式が好ましいと思います。『温かい調理する人の顔が見える。「食べ残しが少ない。喫食数が増える』ので子どもの心身の健康・発育に寄与できると思います。                      ・食べ残しが削減され、SDGs社会実現に向け少しでも寄与できると確信します。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>33P政策5について                      中学校給食実現良かったです。共働きの娘を見るたび本当に良かったと思います</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>33P政策5について                      できるなら「できたて温かい」中学校給食の実現してほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生達に毎日温かい給食を食べさせて下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生に給食を出して下さい。できれば自分の学校で作ってほしい。生きていくため共感共有して楽しく頂いてほしい。私の時は牛乳のみでした。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校での温かい給食提供をしてほしいです。一番の成長期（心身ともに）です。                      ぜひお願い致します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>子ども2人を育て現在は33才と29才になりますが子育てには本当にお金がかかりますネ                      乳幼児期は医療費、大学生になると教育費があまりにもすごいので、これでは若い人は子供が欲しくてもなかなか難しいと思います。若い人が安心して結婚して子育てが出来るように税金を子育てに関することに使ってほしいです。（医療費、保育費、教育費など）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>給食について                      近くにある小学校の給食設備を利用して中学校の給食を作ることが可能なのではないだろうか。小、中学校の給食をトータルで考えて子供たちにとって何が一番最良なのかを検討していただきたい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学生たちに毎日温かい給食を食べさせて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P33政策5-1、中学校給食について ・アレルギーに対応する給食にして下さい。アレルギーを周囲に理解してもらう大事な機会です。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P33政策5-4、多様な教育的ニーズへの対応について ・通級指導教室を前項に設置して下さい。障害特性により、公共交通機関が使えず、保護者が送迎できず、指導が受けられない子供がいます。 ・通級指導を受けている時間の授業が受けられないので、必要な生徒には保証をして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
全ての中学校で自校式の出来立ての給食を食べさせてあげて下さい。 将来の食生活を豊かにする為にも、中学校の給食は大事なことだと思います。永年の夢でしたので、早く実現してあげて下さい。 他県で出来て、横浜はできないとは考えられません。港横浜としては率先してやってください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校の給食については、温かさの問題などありますが、それは技術的に解決するとして、全員喫食が重要だと思います。原案に賛成です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
小学校教員をしていた30年以上も前のこと、隣のクラスのY君は父子家庭。中学校に入っての夏休み前、体調不良をきたし入院したとの情報が入りました。原因は、小学校にはあった給食が中学ではナンになり、栄養不足になったことかと。多分、菓子パン2～3個で昼を補っていたのでしょう。 中学生は様に育ち盛りです。栄養価のある昼食をデリバリーでなく、小学校のような給食を笑顔で食せる中学校給食を実現させたい。横浜市は中学生数が多く大変と言われますが、東京都でも実現している中学校給食です。ぜひ実現させて下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>日頃の横浜市政向上に向けてのご尽力に、深く感謝申し上げます。この度、横浜市中期計画の政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するパブリックコメントをお送り致します。ご査収を、よろしくお願い致します。</p> <p>政策6「豊かな学びの環境の実現」へのパブリックコメント。</p> <p>新たな図書館像の構築の基礎としての現図書館施設の改善。</p> <p>新たな図書館像の構築に向けて、現図書館施設の改善は、以下のような意義があると思う。</p> <p>1 教育格差の是正には、どの世代においても、再学習支援が必要であり、そのための有効な環境的支援となる。</p> <p>2 高齢者支援対策として、高齢者の社会的居場所作りが必要であり、そのための有効な環境的支援となる。</p> <p>以上のように重要な施設であるにも関わらず、現在の図書館施設環境は、いくつかの改善課題がある。横浜市中央図書館を例として、具体的改善課題を以下に述べる。</p> <p>1 暖房設備が十分に機能せず、寒くて読書ができないのは、環境の基本が機能せず、致命的問題である。市民の健康にも関わる問題であり、抜本的な改善を望む。</p> <p>2 コピー機の機能不全がある。スタートボタンを押してからコピーが始まるまで、30秒もかかることが何度もあり、ひどい時には、3分や5分かかることもまれではない。中央図書館広聴担当に二度、改善をお願いし、広聴担当からは業者に点検を依頼したが異常はなかったとの回答があった。しかし、残念ながら、現在もうまく機能せず、不便を生じている。再度の点検・改善を要望したい。それでも改善できない場合は、今回の計画で、例えば、やや極端な提案だが、コピー機業者を変え、コピー機を入れ替える位の、抜本的な改善を望む。</p> <p>3 パソコンやスマホを使ってインターネットに接続できる場所が、4階だけであり、4階の席が空いていないことも多い。他の階でも、インターネットに接続できるような改善を望む。</p> <p>以上、ご検討をお願いするとともに、コピー機問題のように、早期の対応が可能と思われる課題には、至急の検討と改善をご対処頂ければ幸いである。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食 小学校の様に出来立てでおいしい給食を実現して下さい。私達は30年近く要求してきました。 署名運動時の意見（中学時代、いつも買い弁で友達がみんな手作り弁当でうらやましかったとの事）</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子どもの貧困率が世界で29番目に低い状態です。中学生になってお弁当を待たない子供たちのことを耳にすると、悲しくなります。 デリバリーでなく温かい給食を全員に食べさせることを望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 2026年4月からデリバリー方式で全員給食をすると方針が出されましたが、デリバリーではアレルギー対策が出来ず食中毒対策で温かいおかずを15℃くらいまで冷やすため、中学生は小学校で温かい給食を食べているので、冷たいおかずは敬遠されます。 デリバリー給食は他都市（大阪等）でも失敗して、自校給食にしています。一番に給食を始めることにこだわらず、親子方式や自校で出来る所はぜひ検討し実施して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
34P中学校給食の「全員実施」「デリバリー方式」ではない供給体制を作って下さい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
33～36P少人数学級と正規教職員の予算を確保して下さい	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
23～30Pお金を心配せず子育て出来るために保護者負担軽減に。出産費用、保、幼費用、給食費、小児医療費について	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
33p「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関して。 多様性を大切にする教育を推進するために、罰則付きの差別禁止条例の制定を望みます。 先日、9月後半の週末、横浜駅西口でヘイトスピーチを行う男性にいきあいました。 横浜市がヘイトスピーチを禁止する条例を持っていたら、あのような人物の街頭宣伝は行わせなくて済みます。 子どもたちに、人種・性的志向、性別など自分ではどうすることもできない属性を差別する気持ちを持ってほしくありません。 差別禁止条例制定を強く望みます。	参考	IV「基本姿勢」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
34p「中学校給食の実現」に関して。 デリバリー弁当通称ハマ弁の推進は止めてください。市民が自校式親子式の調理が可能な学校を探しています。 市も、デリバリー弁当推進ありきではなく、小学校と同様の給食提供を目指してください (それが出来ていないため、「え？横浜って中学に給食が無いの？引っ越すのやめよう」と決めた親子を何人も知っています。若い世代の流出は税収不足に拍車をかけます。ハマ弁推進は止めてください、山中市長)。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>生活居住区環境及び街づく環境 これらの問題は相互に密接にかかわっており、家族の生活のあり方そのものが社会の生活環境に重要な影響を与えらる。家族つまり個に関わる取り扱いが社会的な生活居住空間を規定することとなる為、個の生活（家族の生活居住空間）関わる事を社会的なインフラを整える事で将来あるべき姿への変革を側面より支援する事なると考えます。まずは社会全体の生活居住空間を大雑把に述べ、その後家族（個）の居住空間の構築を提案していきたいと思ひます。</p> <p>社会的インフラに関して （1）．社会的インフラの再構築 基本的概念としては、各居住者の世代差（generationgap）をまたぐ融和の問題及び此個の特性を意識せず、各個（各家族）の集合を全体として纏め、全体として運営する従来の社会の運営システムの方より、各居住者の世代差（generationgap）をまたぎ、融和し此個の特性を配慮した社会システムへの構築へ図る。</p> <p>ア．既存施設の再開発（市営住宅、学校が主な対象） まずは育児、学校の施設の統合再開発を推進する。少子化に伴い、現存するが学校の統廃合が進むと思われ、その際、家族居住インフラへの拡充を図る。</p> <p>具体的には、 （ア）学校を統廃合し、改装する場合、例えば、低層部分は老人ホーム、介護施設の併用、運営は民間の業者に任せても良いと思ひますが、を計画し、世代間の融和が出来る環境を整える。又 （イ）既存の市営住宅に関しては、個々の内部間取りは別途下記に述べるが、全体として、低層階は育児施設の併用を図る。</p> <p>イ．各施設の運用に関しては、特に先に指摘した女性の社会進出を支援する方向で、下記方策で実現を図っては考えます。 （ア）．まず幼児及び育児 預かり時間の延長が不可避と考えます。基本的に、08:00-21:00頃までの原則としてフレック勤務タイムを導入、柔軟に対応できる方策(先進諸外国の実例を参考に)検討すべきと考えます。 （イ）学校教育の場 例えば、教師が担当するcoreの教育時間帯08:00-16:00と地域ボランティア（又はP.T.A.役員、元教員、又は専門の業者等に支援を求めて）が担当するextension時間帯16:00-21:00に分け、安全、安心の保護時間帯の創設の検討をおこなっては考えます。 （ウ）交通アクセスの確保 今後発生するだろう、学校の統廃合で避けてはとれない問題の一つに交通アクセスの確保があると思ひます。費用の問題があると思ひますが、諸外国の例もあり、基本的な方向性として、スクールバスによる通園、通学となり将来の我が国の重要な人的資源の育成に関わる社会的コストとして国民が税金で負担していくべきものと理解します。 （エ）．地域社会の活性化 本来日本の生活にあつては、神社お寺が地域の精神的目づ諸々の行事の中心な役割を果たしてきた歴史があります。戦後、政治と宗教の分離が叫ばれる中、地域の重要な役目を果たしてきた、かつ現在も地域社会で隠然たる精神的な支えとなっている神社お寺を無視して地域活性化を構築する事は中々難しいのではと考えます。従ひ、その方面の方々の経験と知見を頂きながら、地域社会の活性化の一手段として共に、地域で共存し話し合いの場を創設する重要性を感じます。 最後になりましたが、各個の生活空間インフラシステムの再構築に関して （2）．個の生活居住空間の再構築 大ざっぱに述べるなら、社会インフラの根幹となる各個（家族生活空間）のインフラの構築を目指します。 ア．生活空間の拡充（市所有の住宅の再構築） 小生はシンガポールに仕事の関係で、長く居住していましたが、生活空間に関して彼我の差は余りにも大きく、なぜ小さ国シンガポールの生活居住空間に余裕があり、はるかに広い国土と、経済力豊かな日本が全くみじめな生活空間となっているか。不思議でなりません。多分その運営に関わる方の社会インフラに対する発想及び将来の個の生活空間への洞察力の知見及び豊かさの違いが具体化され、その建築となっているのでは推察する次第です。従ひ、実証的なtrialになりま</p>	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>すが、下記方策を進言します。</p> <p>イ. 生活空間の新しい施設面での構築                      (ア) 外見構造                      世代間の融和を図る為、下記方策を考えてはと思います。</p> <p>①. 低層階は幼児児童の育成施設の併設を必須とする。又出来れば高齢介護や老人ホームの併設が望ましい。</p> <p>②. 中層、高層階を生活居住空間とする。</p> <p>③. 災害回避の為、ツインタワー方式を取り入れ相互の災害回避の安全ルートを確認する。</p> <p>(イ) 内部構造                      概念としては、夫婦、子供3人の生活空間の提供を基本として下記、バリエーションが具体化を行う。</p> <p>基本生活空間のコンセプト</p> <p>1. 夫婦、子供3人想定                      台所、居間、浴槽、トイレ等20畳                      各個室8畳 x 4室（2畳程度の押入れを含む）                      概算150m<sup>2</sup>-/180m<sup>2</sup></p> <p>2. 祖父、祖母の自宅介護家庭子供3人を想定                      台所、居間、介護用浴槽及びトイレ25畳程度                      各室8畳 x 4室、+ 祖父祖母介護室10畳 + 居間4畳                      概算200m<sup>2</sup></p> <p>尚、現在、子供が3人以上にの家庭にも適用を検討する</p> <p>(2). 生活空間への厳格な運用                      新しい生活空間へは各々が特性として持っているgeneration問題を社会生活空間のインフラとして負担している訳であり、家族構成の変化で適用条件が変わった場合は、可及的速やかに新しい生活空間の場へ移転する事を大前提として厳しく運用する必要がある。</p>		
<p>地産地消の給食を食わせて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>学校給食についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子ども達に温かい給食を！楽しみにしている給食が冷えていたらがっかりです。小学校並みの給食をして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P. 26 &lt;主な施策4&gt;に「補足する」                      *「地域の子育て支援」において、ジェンダー平等の視点（男の子・女の子という意識ではなく、性や個性の多様性）を重視します。                      ※理由：「男らしさ・女らしさ」の慣習がまだ残っている社会であることに配慮し、決めつけず、を押しつけないことが必要」です。                      ・「性の多様性」を科学的（遺伝子の違い等と解明が進んでいる）に学び、その子らしさを重視して、差別につながらないよう配慮する。着る物の色等もうっかり決めつけない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は小学校のような型にして下さい。育ち盛り子どもたちに温かい給食を実現してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
妊娠、出産、子育てが安心してできるような政策願います。まずは出産費用の無償化にしてください	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
35p「豊かな学びの実現」に関して 教員の給与を上げてください。授業以外の雑務を行う職員を増やしてください。 初年度から担任を持たせるような、そういう配置は行わないでください。 初年度に心を病んだ教員であっても傷病休暇を認めてください。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
出産費用ゼロの実現をぜひ実現してください 貧困と格差の拡大により、「子どもを産みたくても産めない」「経済的に不安があり、第2子以降の出産をためらう」などの報道がされています。妊婦健診費用が出せなくて、出産時まで健診を受けずに、出産を迎えてしまうことがあると聞いています。出産費用ゼロの政策を実現するとともに、妊婦健診等出産までの間の母子の健康を守る観点から横浜市の公費額を増額してください。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食の全員喫食を実現してください デリバリー方式の全員喫食をめざす方針が出されましたが、お弁当ではない自校式や親子式などでつくられた給食を提供する方向で再検討をお願いします。温かいものは温かいままで、冷たいものは冷たいままで提供するのが原則であると思います。経済的に苦しく、菓子パン1個持ってくる生徒や食事の時間クラスから出ていく生徒、親がダブルワーク、トリプルワークで身体的にきつくてお弁当をつくれななどの事例があると聞きます。お金の心配なく同じ給食が食べられることは重要なことであると思います。是非公約実現してください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
学校の昼食が「原則全員喫食給食に」となった事は大変な前進です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
学校の昼食が「デリバリー方式」の方向との事。子どもたちに不評なのは冷たいということです。 2026年全校一斉スタートにこだわらず、出来るところから学校調理方式やセンター方式との組み合わせなど、柔軟に取り組みば温かい食事を提供できるのではないのでしょうか。 全国的にもデリバリーから自校方式に転換しているとの事、他の自治体からも学んで、せっかく始める中学校給食なのですから、子どもたちにも保護者にも喜ばれるものにしてください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食 育ち盛りの中学生に温かい給食を実施してほしい。昼食が保証されて安心して勉強できる環境の中学生がたくさんいると思います。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
子どもの人口が減っているとか！安心して出産できる子育てできる社会を！！	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
小児医療費について 市長選の公約どおりに2023年度内に中学生までの通院・入院について所得制限なしで一律無償化することです。横浜市の子どもの医療費に対する助成制度は、他の自治体に比べて遅れていましたが、1995年に始まり徐々に拡充してきました。東京23区では来年度から高校生まで無償化するという方針を出しています。全国的に見ても高校生まで拡充する方向です。横浜市でも今後さらに拡充の方向に進んでいくと思われま。子育て支援策として歓迎すべき傾向だと思えます。 ただし、薬の過剰投与が心配されます。これは国の医療制度に関わる事案ですが、横浜市でもこの点に留意して進めていただきたいと思います。国に対して医療制度改革の働きかけをすることも検討してください。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>出産費用ゼロについて                      出産育児一時金は、1994年に公的医療保険から出産時に支給される制度として、全国一律に始まりました。出産費用は医療機関によってかなり金額に差があります。差額は個室利用やフランス料理など特別食の提供によることもあり、市民が適正な出産にかかる金額を判断するのは困難です。また、出産できる病院は限られていて、選べる状況ではありません。金額は30万円から始まり現在は42万円ですが、国では増額を検討しています。しかし、一時金が上がると病院の出産費用も上がるという声もあります。自治体によっては独自に出産祝い金やベビー用品の提供など上乗せの助成を行っています。                      出産までの妊婦健康診査についても公費負担の制度があり、横浜市では14枚合計82,700円分の健診費用補助券が母子手帳と併せて交付されます。妊婦健診および出産にかかる費用について実態を調査し、適正な助成金額を算出し、安心して子どもを産める環境をつくってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>保育園について                      先日、横浜市ではいわゆる「隠れ待機児童」について分析したという記事が新聞に掲載されました。これまでも再三指摘されてきたことですが、そもそも待機児童のカウントの仕方に問題があります。特定の園のみを希望すると待機児童と見なされません。駅に近いあるいは自宅に近いということは、働く保護者にとって重要な要件です。また、上の子どもと別々の保育園になってしまえば大変な労力を強いられます。分析結果を施策につなげてください。                      中期計画素案の25ページに「3歳以上の保護者の約30%が育てにくさを感じており」との記述があります。就労の有無を問わず預けられることが保護者のリフレッシュになります。その点で乳幼児一時預かり制度は重要な制度ですが、不定期の利用になるため、園にとっては保育者の確保が難しくなります。人件費の支援を手厚くする必要があると考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について                      「デリバリー方式」による「全員給食」をめざし、現在のデリバリー方式の供給体制を拡充し、2026年度以降は「選択制」から「全員制」に転換するという方針です。                      横浜市の中学校給食は、21年度から学校給食法に則った「給食」にしたことで、保護者が負担する給食費は小学校と同様に食材費のみとなり、また、就学援助制度の対象になりました。働く保護者のお弁当づくりの負担軽減と、7人に1人という子どもの貧困問題、給食だけがまともな食事というような状況に対しては、一定の対策になっているはずですが、ところが、新聞報道では7月時点の喫食率は28.8%です。武蔵野市では、センター方式で小学校給食と同じものを中学校給食として提供しています。選択制ですが、喫食率は95～96%ということですが、食材については、有機栽培の農産物の導入に取り組んでいます。質の高い給食は当然喫食率が高くなります。                      多くの市民の希望は小学校のような給食をみんなで一緒に食べるということでした。しかし、教育委員会は「自校方式」と「親子方式」は7割以上の学校で実施困難とし、「センター方式」については費用がかかり過ぎるとしています。ちなみに大阪市では5年間かけてデリバリー方式から親子方式か自校方式に移行したという事例もあります。                      中学生になると個人差が大きくなります。現在のデリバリー給食でも、ごはんを「小」にしても食べきれないという生徒もいれば、「大」でも足りないのでおにぎりを持参しているという話を聞きます。自分に合った食を選択する、栄養のバランスを考えるなど、給食には食育としての目標があります。全員喫食ではなく選択できる制度にするべきです。                      また、農業や食材の生産・流通に関心を持つということも食育の重要なテーマです。近年の気候変動は農業・漁業に多大な影響を及ぼしています。国は「みどりの食料システム戦略」で、環境保全のために2050年までに有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）拡大するとしています。オーガニック給食の取組も検討してください。                      コロナ禍で生徒たちは「黙食」を強いられています。本来は友だちと語り合いながら楽しく昼食をとることも大切です。ところが、給食時間はわずか20分です。教育委員会は昼休みも引き続き食べてもいいと言っていますが、実際には難しいようです。改善するべき課題です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「デリバリー方式」を「全員給食」にする意義は見い出せません。再検討してください。教育については、教職員の不足、時間外勤務の多さなど多くの課題があります。雑務の多さや形骸化した研修が指摘されていますが、「一人ひとりを大切にした教育」のためには、子どもたちと直接向き合う時間が必要です。小学校のような給食の提供ができないのであれば、今の「デリバリー方式」の給食を「全員給食」にするための費用は、これらの課題解決のために使うべきと考えます。</p>		
<p>戦略1 政策5について 中学校給食の利用を原則としたことは評価します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1 政策5について デリバリー方式は、生徒のアンケート、他市の実施状況、全国的に給食無償化の流れに沿うものではなく、早計に実施することは反対です。 1, デリバリーでは、文科省の学校給食法、食育推進法に沿った給食を提供することは困難です。 理由① 生徒のアンケートで1位は「温かさ」、2位「おいしくワクワクする」、3位「栄養バランス」です。4位に「食べる量など一人一人の状況に配慮できる」が続きます。どれもデリバリーではできないものばかりです。「温かさ」はもちろん、食べる量も、工場でランチボックスに詰めて配送するので一律な詰め方しかできません。 理由② 市教育委員会は、学校行事の特別メニューとか生徒考案のメニューなども実施すると、理想を言っていますが、そのような生徒の「ワクワクする」給食を取り入れて、工場経営が成り立つはずがありません。 令和4年6月実施の事業者へのサウンディング調査結果の公開資料を見ると、工場側は、人員確保が大変だといっています。人員確保はパート雇用で、「早朝の重労働で、離職が多いが、外国人研修生の雇用が最も頼りになる」という結果が記載されています。 教育的観点からの給食というより、まさに業者弁当を作る工場の実態です。 理由③ 工場では、アレルギー対応の給食はつくれません。わずかな食品の除去をすることで、一緒に給食を食べられる小学校給食のようにいきません。全員が食べるという目標の追求はできないことになります。 理由④ 文科省は「食に関する指導の手引き・第2次改訂版」を平成31年3月に出しています。食育は子供の時に身につけた食習慣が生涯にわたって健やかに生きる基礎になるといっています。成長期の中学生にとって3食のうちの1食は大きな比重を占めます。 また、学校給食法4条では「義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように勤めなければならない」とあります。設置者は横浜市です。生徒にとって最善の学校給食を実施すべきではないでしょうか。法には学校給食の目標を6項目示していますが、遠い工場から運ばれてきて食べるだけの給食ではこの目標を達成できるとは思えません。調理する人を身近に感じることはなく、食材の地産地消を実感することが出来ません。市教委の言うように業者にやらせるとしたら相当なリスクを背負わせるか、多額な市税の投入が必要になりと思います。 2, 【中学校給食&lt;ミックス方式&gt;小中学校くみあわせ（令和4年8月版）】をもとに検討すれば、学校調理方式は実施可能です。 ①市教委はデリバリーが最適という資料を提出していますが、自校親子などミックス方式を組み合わせれば「温かい」学校調理の中学校給食が実施できる資料を作成し、公表しておきながら、なぜ、公の場の議論にならなかったのですか。これまで、関係した会議を傍聴してきましたが、一度も論議されていません。教育委員会は教育的観点からこの調査資料に基づいて立案すべきでした。そしてその論議を市民に公開して審議すべきだったと思います。一度も教育委員会会議で論じられたことはありません。 ②【中学校給食&lt;ミックス方式&gt;小中学校くみあわせ（令和4年8月版）】の</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>自校調理可能な39校をすぐ着手してください。 ③親子方式の具体的実施案をつくってください。 1 小学校から1 中学校への配送だけではなく2～3 小学校からの配送を可とすれば市内の相当数の中学校に小学校の余力食を回す、つまり親子方式が可能です。 （実際に市教委作成の表の親校名（小学校名）を中学校に充当してみると、鶴見区、港北区、都筑区を除いた15区で、大体親子方式が可能と考えられます。） 自校方式の39校からきょうだい方式で近隣の中学校へ配送すれば、学校調理方式ミックスで「温かい」給食が実施できます。 ④デリバリーありきで検討が進んだことは、教育理念にかけていたと思わざるを得ません。一斉にスタートという縛りは無理があり、順次移行を年次計画で示しその間は、現在の契約期間内（～2025年度末契約）をデリバリーで対応する方法をとってください。 大阪市が横浜市とほとんど同じ条件でデリバリー給食でスタートしましたが、おなじような理由でデリバリーの見直しの付帯決議が市会で可決され、5年かけて全128校自校調理方式に移行しました。 ⑤中期計画でデリバリー方式を改め、中学校自校調理室建設と、親子方式調整実施を始めることを明記してください。</p>		
<p>大都市横浜の中学生に給食がないのは時代遅れそのものです。成長期の子どもたちに温かい給食は絶対に実施して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>P34中学校給食について 「全員実施」はぜひ実現してほしい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P34中学校給食について デリバリー方式は問題があります。 デリバリー方式ではなく小学校のような自校方式、あるいは小学校との「親子方式」で温かい給食を提供して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P33～36どの子にも豊かな教育を 市立学校での教員不足の為、2021年度は市内の小・中、特別支援、高等学校508校で143人の未配置があり、解消までの日数は1日～213日だったとのこと。 また「中学校の入学式で1年生の担任が担当されなかった」との実態があります。 ぜひ、教員を増やして下さい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>給食 小学校のような温かい給食を絶対実行して下さい。給食運動して24年になります。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>今、我が子が51才と46才ですが、その二人が小学1年生の時から中学校給食の実現を願って署名をしてきました。山中市長には今度こそ実現して下さい、節に要望します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P33、34学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式はよりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供体制の確保 ・政令都市で中学校給食の実施について表明されたのは一歩前進です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P33、34学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式はよりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供体制の確保 ・生徒保護者が一層に給食に求めるのは「温かさ」「おいしくわくわくする」「栄養バランス」と答えています。（市教委アンケート） ・親子方式、兄弟方式、小規模センター方式、ミックス方式など可能性を最大限追及して、中学生の期待に応えるべき。 ・無理に一斉実施し禍根を残すよりも、将来にわたる問題ですから学校調理を基本に各学校の条件に合わせていろいろな組み合わせで「温かい」「おいしい」給食を子どもたちに提供すべきではない。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>給食について 高1になった孫が中学生の時「ハマ弁（業者弁当）は冷たくておいしくない」と言っていました。横浜市の中学生にもデリバリー方式ではなく小学校と同様に、学校調理方式での給食を実現して下さい。子どもたちは温かい給食を望んでいます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>素案では基本戦略として「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」を掲げ、「戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」の主な内容には「全ての小学生にとって安全・安心で豊かな放課後等の居場所を確保するとともに、その質の維持・向上を進めます。」と記されています。しかし「政策2」での具体的な内容では留守家庭児童の預かり先についての記載のみになっていて、多様な放課後の過ごし方の視点が欠けているように感じます。 「豊かな放課後の居場所」を目指すのであれば放課後キッズクラブ・放課後児童クラブを充実させるのはもちろんのこと、主体的な外遊びを通じて子どもの「生きる力」を育み、地域の中で放課後を過ごす子どもたちの居場所になっているプレイパークもその対象に加えていただきたいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>また、乳幼児期の外遊びの重要性を考えると、「政策1」の「主な施策4 地域における子育て支援の場や機会の充実」に於いても、屋内型の支援の場だけでなく、公園などを活用した屋外での子育て支援の場を追加することが地域とのつながりを作る意味でも大変有効であると考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「政策1」「政策2」の「切れ目なく力強い子育て支援」の「力強い」とは何をもってそのような表現になっているのでしょうか。そして、その「力強さ」は、具体的に各施策のどこに盛り込まれているのでしょうか。イメージだけを先行させるのではなく、内容と表記を合致させて分かりやすく示していただきたいです。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
34P中学校給食デリバリー方式ではなく、学校調理方式に切り替えてほしい。冷たいおかずでなく温かい小学校給食と同じようにしてほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
是非中学校給食を進めていただきたい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
温かい給食は当然でなるべく早期に始めて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に、向けた体制を確保します」 ①法の趣旨からデリバリー方式はありえない。食育、安全、温かくおいしい給食とま反対が、冷たくまずい。 生徒に不人気なのがデリバリー ②多くの他都市でデリバリーから自校、親子、兄弟方式を含む給食に変更している・・・ことから学ぶべき ③狭い意味での「財政問題」としてとらえずにいた。 ④業者弁当（デリバリー）は事業者投資 ⑤自校方式等は市・市民の財産。災害時、有効活用が可能 ⑥市の資料等からも自校、兄弟、親子方式等での給食は可能 ⑦若い人を横浜に住んでもらうためにも是非、温かい市が主体になった給食を実現してほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校でみんなで出来立てを食べられる給食を初めて下さい。 中学給食あたりまえを実現して下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
子供は宝 中学生全員が温かくおいしい給食が食べられるように。小学校の給食もおいしく。	参考	学校給食についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
少子化を克服するためにも出産費用の無償化、医療費の助成を。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>温かく美味しい給食をみんなで楽しく食べられる様にデリバリーではなく自校調理の様な自校方式に早く切り替えていただける様検討願います。これにより多くの生徒達が勉学にスポーツに意欲的に取り組む様になるものと確信します。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>この度、意見書を依頼されました後期高齢者です。現在の中学校給食をパンフ等で知りました。ネットもメールも無縁の生活で具体的なことは書けませんが中学生生徒達の温かい給食を切にお願いします。 将来は全員給食、完全無料化に予算を優先させて頂きたく要望致します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生は成長期のからだをつくる大切な時期です。栄養バランスのとれた日々の食事がかせませません。しかし、弁当を持たせると部活動の朝練などがあり、長時間腐らないよう気をつけたり、味も落ちてしまい子どもたちの満足するものが作れません。 子育てしやすい街を横浜にもぜひ目指してもらいたいと思います。 できたての温かい給食を中学生にも食べさせ充実した中学校時代を過ごさせたいと切に思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>成長期の生徒に温かい給食を用意することは大変重要な事だと考えます。 早期に実施していただくよう市の政策課に要求したいと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーでは温かい給食は食べれないと思います。家でも孤食になったり、弁当を買ってきて食べている生徒が多いと聞きます。皆で温かい食事を食べられなければ意味のない給食になってしまうと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市の財政は規模も大きく大変豊かな健全財政のはずです。従って各学校ごとに設備と人員を十分に配置して将来を担う世代が何の苦労もなく社会に貢献できるように現在の大人が出来うる対応をすべきと考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>生徒の給食へのアンケートでは“温かい給食”を望む声が1位。デリバリーではそれはできない。生徒の希望がかなえられない、賭け優先の業者によるデリバリー型はやめるべき。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
あったかい中学校給食を自校式で実現してほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
子どもの医療費を0にしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
図書館について一区一館制の見直しと、新図書館の増設	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
学校給食についてはデリバリー方式は色々課題があることが目に見えていますので、見直しを求めます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
全員制を柱にして、給食を考えるのは間違っていると思います。「デリバリー弁当を全員にすれば何の問題もない」というまやかしにはあいた口がふさがりません。根本的に間違っていると思います。「あたたかくておいしい弁当なのか？」ということを考えない、単に全員制にしようという方向には全く絶対反対です。市民の市長に託した思いをきちんと進めてほしいと願います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
最大の政令都市として、不名誉な中学校給食が実施されていない。より早く計画的に、自校方式（もしくは親子方式）の実施を。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食をして下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校の給食 温かい給食を全員で食べてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に した教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組 を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食 デリバリー弁当ではなく、小学校のような温かい給食を適用できるように下 さい。 子どもを大切にすることに予算を！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし た。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてま います。</p>
<p>こどもの医療費無償化 未来を育てるということで、これからの社会を支える子ども達に予算を！ 小さい時は病気をするもの、お金の心配をして受信を控えるような事がな いように、安心して受診できるようにして下さい</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力 強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施 策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えており ます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまい ります。</p>
<p>中山市長、弱気にならないで！！ 温かい給食、自校給食を目指して下さい。（デリバリーはダメ） 市長の態度、もっと堂々と自分の意見を発表して下さい。応援しています！！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし た。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてま います。</p>
<p>中学校給食利用原則として、温かい自校給食にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし た。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてま います。</p>
<p>せっかく「生徒に満足してもらえる給食の提供」を言っているのですから、自校調理 方式をメインとした温かい全員が食べられる中学校給食を実施してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし た。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてま います。</p>
<p>あたたかい、みんなが食べられる中学校給食の実現をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に した教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参 考にさせていただきます。</p>
<p>図書館をもっと多く作ってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」 に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあつて の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について</p> <p>①全員が食べられる、温かい給食を自校方式か親子方式で作って欲しいです。中学生たちが望むのは、湯気が立つような温かい、小学校で食べたような給食です。栄養バランスを考えた給食をぜひお願いします。</p> <p>②給食は子供たちにとっては楽しいひと時であり、好き嫌いのない子どもはすくすくと育ちます。それなのに冷たい弁当はかわいそうです。</p> <p>また、誰かが弁当を持ってこれずに悲しい思いをするのも胸が痛みます。全員が食べられる温かい給食を提供して欲しい—これは保護者の方々の願いです。それに答えて下さい。お願いします。</p> <p>③もともと弁当を持ってこれない人のために、デリバリー弁当を作ったのだと理解しています。それなのに、みんながおいしく食べたいという願いを踏みにじるようなデリバリー弁当を全員に食べさせるというのは、余りにも安易な考えで、強制的に食べさせることになるのではないですか。</p> <p>小学校の給食の様に、温かい給食を栄養士がきちんと考えた給食を開始して欲しいです。</p> <p>川崎ができて、どうして横浜で出来ないのですか。大変な変革になることはわかりますが、やる意義のあることを行うことが本来の市長の務めではないでしょうか。デリバリー弁当など、子どもに食べさせたくないです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>やり方の議論はあると思いますが、まずは中学校給食を実現するという姿勢に賛同します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>p34の政策5 中学給食について</p> <p>デリバリー方式で、保護者や生徒の望む『あたたかい給食』ができる方法を探してほしい、</p> <p>コスト面においてもデリバリー方式の方が現実でな気がします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 施策1は賛成</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式で美味しく温かい給食をみんなで食べられる方法を探してほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5の中学校給食は支持する</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>デリバリー方式で、保護者や生徒が望む温かい給食ができる方法を探してほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食を、全児童で同じ物を食べられる、小学校のようにしてほしい。 まだ中学生は育ち盛りなので、小学校の給食のように、栄養がきちんと考えられている物を食べられると安心です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5の中学校給食に賛成です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>p34の中学校給食について、現実を考えるとデリバリーに賛成</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食について 朝のお弁当作りは負担になっているが、デリバリー方式で注文が出来て助かっている。子どもがコロナや体調不良になった時は、キャンセルも出来2日前までのキャンセルはポイントとして還元されるので経済的にも良い(小学生の時は給食費が返金されることがなかったので) 事前キャンセルができることで、残飯率も増えることはないのではないのでしょうか？ 学校給食より、デリバリー方式の方が、親の経済的負担も残飯率の面でも良いと思います!!</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>33頁の政策5について 「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します」とありますが、「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」は、デリバリー方式では不可能です。そのことは、当局の皆さんをはじめ市長も市議員もよくご存知の筈です。大阪市の事例が如実に示しています。 とりわけ、「地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進します。」との目論見は、デリバリー方式では全くの絵空事です。 一斉実施に拘る必要は全くないのは、例えば、クーラー設置の事例を見れば、明らかです。 時間差があることで文句を言う生徒、保護者は極少数です。 自校調理方式、親子方式、センター方式を組み合わせれば、実現は可能です。「素案」での修正は不可避であります。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>現在行われているデリバリー方式の給食について、大分改善されてきており、今後も基本的にはこの形で行うべきと考える。基本的に全生徒が同じ物を食べる給食を求める声もあるが、成長期の子どもにとって食べる量など大きく違う。また、アレルギー対応食やハラル食など、食に関しても多様性が求められる中で、なぜ同一のものを食べさせるのか、理解に苦しむ。家庭で(自分で作ったものも含め)作った弁当、デリバリー弁当等選択の余地のある方が、多様な要望に対応できる。戦後、子どもたちに栄養を与えるために行われてきた、みんなで同じ物を食べる給食についてこそ、考えるべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>34頁の政策5の主な施策1について                      学校給食の自校方式、親子方式、足りないところはセンター方式で、温かい給食、アレルギーのある生徒への対応可能な給食を実施して欲しい。                      デリバリー方式では、生徒の不人気で、全国でも、学校給食に変更する例も多く見られると聞く。長い目で学校給食を進めて欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式でも中学校給食が実施されることが大事です。頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食頑張ってください。                      子どもの住みやすい町に。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式歓迎です。中学校給食の実現を待っていました。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子育て支援について、意見を述べさせていただきます。                      私は0歳の子どもを育てており、現在育児休業中です。来年度から保育所に子どもを預ける予定ですが、その保育料の高さには不満を感じます。                      我が家の世帯年収は特別高いわけでもなく、平均的な金額だと思いますが、試算したところ月に6～7万円の保育料を支払わなくてはなりません。職場に復帰しても、毎月その金額を支払っていくことを考えると、保育所に預けずに育児休業を延長し、育児休業手当金をいただいた方が、経済的には楽なのかも、と思ってしまう。                      また、仮に第二子も保育所を利用すると、二人分で月10万円近くを支払うことになり、第二子の出産を検討するにあたって、保育料の問題がネックとなり二の足を踏んでしまいます。                      以前は東京23区内に住んでいましたが、その自治体では我が家の年収で計算すると月2～3万円の保育料で保育所を利用できます。年間で40万円以上の差が出ると思います。23区と政令指定都市である横浜市では財政状況やバックグラウンドが違うとは承知しておりますが、あまりの差に、なぜ横浜市に住んでしまったのかと暗い気持ちになります。                      妊娠中の知人がおりますが、保育料のことで悩んでしまい、出産したら市外へ引越すことを検討していると話していました。                      「子育てしたいまち」を目指すのであれば、保育料の見直しは避けられない課題ではないでしょうか。保育所を利用すると、保育料の他にも教材費やPTA会費、指定された用品の購入費用、延長保育料や補食代、交通費などがかかるのです。この慢性的な人材不足の時代に、働く女性が離職することなく、横浜市で「安心して」子どもと暮らすためにぜひ対策をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリーでも美味しい中学校給食は実現可能です。                      是非進めてください</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>図書館問題について 現在の都筑区の図書館は、一日あたりの利用者数、一日あたりの貸し出し冊数とも全市の中でトップになっていますが、図書館の実態は余りにお粗末で、人口約21万に対応したものとはなっていません。まるで高校の図書室程度のものです。人口4, 5万の時期ならともかく、早急に、人口数、情報化時代に対応した図書館の増設を望みます。予算、立地等の問題があるかと思いますが、小、中学校の統・廃合の跡地を利用することも案としては考えられます。 (例：多摩市立図書館)。図書館の問題では、横浜市全体の問題としても、1. 一区一館制度の見直しを早急をお願いします。2. 各区の実情に対応した、図書館の増設を是非行って下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>中学校給食の問題では、デリバリー方式の見直しを求めます。温かい給食の提供をお願いします。万一、デリバリー方式が採用されるようなことになった場合でも、業者との契約については、5年後くらいの見直しの条項を必ず入れるようにして下さい。 あと、一つ、75歳以上の敬老パスの無料化は、山中市長の公約通りに、是非実現して下さい。多額の人件費を注ぎ込んでの「利用状況の調査」などは、全く無駄です。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>子どもの数が減った時にも調整可能なデリバリー方式での中学校給食に賛成です。頑張ってください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学校給食頑張ってください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>デリバリー方式に賛成です。中学校給食をどんどん進めてください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>デリバリー方式でもいいので、中学校給食を進めてください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学校給食の実現を待っています。進め方の議論も大事ですがまずは進めることが一番です。頑張ってください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学校給食の利用を原則とする、と打ち出したことを評価します。横浜市は、日本最大の生徒・教職員を抱えていますので、デリバリー方式が最も現実的なのだと推察します。できる限り早く供給体制を整えて、「子育てしたいまちヨコハマ」を実現してください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学校給食が進んでくれて嬉しいです。是非、これからも前に進めてください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
デリバリー方式で供給体制を確保する、とのことですが、大事なことは、供給体制の如何ではなく、すべての生徒が安心して給食を食べられるようにすることです。アレルギーへの対応など、生徒一人一人の事情に対しては、柔軟に対応いただきたいと思います	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式での中学校給食を歓迎します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式が進まなかったのは、自分だけ注文しているのが恥ずかしい、という人もいたからだと推察します。利用を原則、としていただいた方が良いと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食頑張ってください。デリバリー方式でも美味しいものになります。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式について様々なご意見があるようですが、方式にこだわって議論が長引くことのないよう、中期計画に記載された方向で、中学校給食を前に進めていってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式でも中学校給食が進むことが一番です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食の利用を原則としてください。できる限り早く供給体制を整えて、子育て世代を支援してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
供給体制はこだわりません。すべての生徒が安心して給食を食べられるようにしてください。アレルギーへの対応はもちろんお願いいたします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食の利用を原則、としていただいた方が、方針がはっきりして、良いと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食について方式にこだわるのはよくありません。不転の決意で取り組みを進めてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>これまで実現しなかった、中学校給食の利用を原則とする、と計画に明記したことを嬉しく思います。横浜の中学生の食を支えてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食                      ・デリバリー方式で、保護者や生徒が望む「温かい給食」ができる方法を探ってほしいです。                      共働きなので、朝のお弁当作りは負担になっていました。これまでは、食べている友達が少ない日もあり、利用をためらう気持ちもありましたが、全員がデリバリー方式でも食べることにできれば、子どもも安心して食べられます。                      ・各学校で全員で食べる給食のスタートの時期が違うということになると、公教育としては不公平感を持つと思います。なるべくどの学校も同時期にスタートしてほしいです。                      ・デリバリー給食を担う事業者には、残渣調査などを行い、常に改善を積んでいける場所を選んでほしいです。                      ・小学校給食のように多彩なメニューや、地域の特徴あるメニュー、行事にかかわるメニューなどの楽しさを盛り込んでほしいです。                      ・学校でデリバリー食を保管する場所を衛生的で安全な場所にしてほしいです。また、保温機を置けば、少し温かい給食につながると思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式での中学校給食頑張ってください。応援してます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小児医療の所得制限撤廃を希望します。                      現在、発達障害のある子どもがおり、不登校状態で精神障害の部分においては支援で1割負担ですが、それ以外は3割負担がきついです。学校健診も受けられず、歯医者や心理カウンセリングなども受けたいが、その都度3割負担なので、行きづらい。                      所得があるとしても、子どもの状態と自分自身も持病があり、就業が困難なので、世帯主だけの給与で生活しているところから、色々制限をかけないで欲しい。子ども手当の制限も受けるので、障害児を抱える、不登校児がいるなど、ハンディーがある世帯の補助とは言いませんが、せめても制限の撤廃だけをお願いしたい。                      何千万も稼ぐならまだしも、休みもなく稼いだところから、コロナの給付金ももらえない上に、負担ばかりで、精神的な不公平感がつります。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>13障害児の支援                      不登校の息子は、現在、教育支援センターのハートフル事業でサポートを頂き、感謝しております。                      ただ、在籍校との隔たりを感じたり、最近では命や健康を守ると言った点で、学校だけが全てではないという方針は理解でき、昔ほど不登校児に対する視線も厳しくはありませんが、実際のところ、今後の進学、就職を考えると成績が評価されないなど不安になります。家庭で学習を見守るとすると経済的負担も相当あります。給食も食べられない負担もあります。                      障害の具合で、個別支援級にも入れず、何ともグレーな状態を悶々と生きている子供もかなり増えているので、タブレット学習、ホームエデュケーションのサポートや評価など、拡充してもらえると嬉しいです。本当は欧米の様なホームエデュケーション制度など文部科学省で検討してもらいたいところですが。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
アレルギーへの対応など、丁寧に対応して頂けるのであれば、市の方針は問題ないと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食については、現在選択性のデリバリー型給食を原則利用するの考えですが、市長公約の「全員喫食」に向けて動き出し、やっと動き出したかという思いです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー型給食は温かくないため食べ残しが多いことが、他の自治体からも報告されています。大阪市が親子方式と自校方式を組み合わせる給食の実施にこぎつけたように、センター方式なども含めてあらゆる方式を組み合わせ、全員喫食型の給食を実現するようにしてください。給食は国の法律もあり、給食を実現することは自治体の責任です。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
共働きなので二人の子供の弁当作りが負担になっている。デリバリー方式で同時期に全員が食べられるようにしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
政策5、子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進・・・中学校給食はデリバリー方式ではなく、温かい食事が出来る学校で作る給食にしてください。自校で調理出来る学校は自校で、小学校で中学校の分まで調理出来る学校は小学校で、中学校がいくつかまとめて調理する学校等工夫すれば出来る人考えます。また、できる学校からすぐ始めてください。学校にクーラー設置も何年か計画にして、大きな問題も起こりませんでした（早く設置して欲しい、あっちの学校は設置されてうらやましいという不満はありましたが）大阪では、デリバリー方式から、学校等で料理する方向に移っていると聞きました。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
一日も早く給食が開始させることを第一に考えてほしい。 デリバリー方式でもよいと思います。 給食の時間を長くしてほしい。 食育に大切なことと思います。 親子とも横浜市立中学を卒業した市民より	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
政策5 中学校給食について いまある施設を利用し、効率のかつ保護者が希望する形をとるのがよいと思います。 また、子どもはデリバリー方式は食べたいけど、一部の人のみの利用で申し込みにくいと言っていました。デリバリーでもみんな一斉に同じものを食べることで安心して食べることができると思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>p33政策5について。中学校給食のデリバリー方式は止めてください。要望の理由は現行の弁当給食は冷たく美味しくなく、中学生自身に選ばれていない。市外の事業者の利益ありきで市税が流出するばかりであるの2点です。給食を実施するならせめて小学校並みに、それができなければハマ弁以前のように、各校ごとに近所のお弁当屋さんが毎朝来てくれて家庭弁当と両立できれば良いのではないのでしょうか。各お弁当屋さんには補助金を出して、地域の中学生のためにちょっと工夫してもらえると嬉しいですね。市立高校の食堂や県立高校の購買部も苦戦していると聞いています。民間事業者による大規模な給食は無理だと考えます。子ども達に食べさせることは大人として当然の行いであり、そこから利益を得ようというのがそもそも間違いです。利益は出ないけど必要な事業、そのような事に使う為に市税を納めているのですから、無駄なく市内の子ども達に使ってあげてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>素案33ページ政策5について 横浜市はデリバリー弁当を給食と位置づけようとしています。業者目線での配食はやめてほしいと思います。子ども目線ではありません。 私は青葉区に住んでいます。畑や田んぼが豊かなくさです。地産地消を位置づけた給食はそれこそ顔の見える給食、SDGsにもかなっていると思います。災害の多いことも気になります。万が一のことを考えて、防災目的でも給食センターは必要と考えます。日ごろから機能していれば万が一の際にも対応できます。自校式はもとより小学校の給食センターで中学校給食をまかなうというやりようはあるはず。それこそ子どもに安全・安心、あたたかくておいしい給食を食べさせてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>給食について デリバリー方式は状況を考えれば妥当な選択と考えます</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について デリバリー方式全員喫食は状況を考えれば妥当な選択と考えます</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について、ようやく進めいただき感謝します。 色々な方式があり、様々なご意見があると承知していますが、センター方式での温かさよりも、内容としての栄養価や農産への対応をしっかりとしていただければと思っています。 早期の解決を期待しています。頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について 教室で全員が同じものを食べられるのであればデリバリー方式は状況を考えれば妥当な選択と考えます</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について 我が子はいま5年生です。色々ご事情がありとは思いますが、中学卒業後に整備されても、私にとっては意味がありません。方式にとらわれず、最も早く整備ができる方式(デリバリー方式?)で進めいただければと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について デリバリー方式全員喫食は現状よりよほどマシな施策だと思います</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について、公約通り進めいただき感謝します。 とにかく早く整備して、全国で唯一給食がない自治体から脱していただきたく、デリバリー方式での早期解決を望んでいます。頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>給食についてご意見したいです。 本音を言えば、自校方式での整備が最も良いとは思っていますが、この場合、150校の整備に時間もお金もかかると聞きました。それであれば、最も税金の投入が少ないデリバリー方式でいいと思います。お金最優先で進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について 私たち大人も、お弁当を食べるにあたり、温かいにこしたことはないですが、実際に温かいお弁当であることは少ないと思います。贅沢を言って、整備が遅れたら、税金を多々投入するの間違いだと思います。ぜひ市が提唱されているデリバリー方式で、安価に進めてください</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について 政策として行うのですから、安価かつ、安全性の高さが求められると思います。ぜひデリバリー方式で構いませんので、安全な食として欲しいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1について。 『切れ目なく力強い子育て支援』、「切れ目なく」はよく聞く言葉であるが、支援が連続している実感はあまり感じられなくここまでできました（脳性麻痺で未定頸、重心の16歳の娘を横浜市で育ててきて感じたこと）。 障害のある・病気の子の親への支援の拡充を強く望みます。経済的支援は本当に有難く大事なことです。福祉サービスの量は16年前と比べると増えましたが、それら情報は親自らが探さなくてはならず、また情報にたどり着けない場合もあります。親がサービスを利用しやすく（支援を受けやすく）なるよう、計画相談が早期から入るような環境整備や利用申請等の手続きの電子化をすすめていただきたいです。 障害のある・病気の子のまわりの世話を日々している親にとっては、先の時間が読みづらく、動ける時間が限られているので、情報を探す、申請のため区役所へ出向く時間が減ることは大きな支援になります。 また、計画相談が早期に入るとは障害のある・病気の子の在宅での支援がスムーズに進むことが考えられ、親の肉体的・精神的負担軽減（親の手が増える、考える頭が増える）は親の子の将来への不安を減らし、子の自立した生活にもつながると思います。 障害のある・病気の子が通うことになる特支学校においては、教員がより教育に専念できるよう、専門職（学校ナース、PT,OT,ST,臨床心理士）の増員を望みます。特に学校ナースにおいては、実施できるケアの拡大とナースがそれらを安心して行える環境整備（近隣のクリニックや訪看ステーションなどの連携）をお願いしたいです。学校現場においては、学校に通わせたい親心と通ってくる生徒に向けた先生の想いに頼りすぎでは？医ケアの子も増えてきて、教育・福祉・医療の連携はより高い教育の質の向上につながると思います。 障害のある・病気の子の親にとっては、この子たちと関わる医療・福祉、その他の分野がもっとつながってほしいし、医療・福祉の現場の方々にはお持ちの経験や知識を多方面へ広げてほしい。行政にはその後押しを期待します。 横浜市が「子どもを産みたい、育てたい街。笑顔あふれる街」になることを心から期待しています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」などに関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>給食について 行政が行う施策については、雇用増への視点も重要だと思います。この点については、デリバリー方式が市内に工場を確保できるのではないかと期待しています。市内の子に、市内の人が作り、市内を通して配達するシステムとなるよう総合的な視点で検討をお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
給食について、早期整備を望みます。1番整備が早い方式(デリバリー方式)で進めてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
一部の人からは温かい給食を求める声も聞いていますが、子供に持たせる弁当は傷まないように毎朝冷やして、保冷剤を入れています。一刻も早く、デリバリーでも良いので給食を実現して下さい。 子供や親が何を望んでいるか、高齢者や部外者の理想論でなく、実際の家庭の状況を見て、大きな声ではなく、真の声を聞いてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
子供達に夢を与えられる給食となることをお祈りしています。また親御さんのご負担を考え、最も整備が早くなるデリバリー方式でよろしいのではないのでしょうか。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
1日も早い中学校完全給食の実現をお願いします。 そのためにも、贅沢を言わず、デリバリー方式で進めてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
食の安全性が叫ばれる中、安心して安全な給食をお願いします。そのために、温かいまま運ぶセンター方式には食中毒などが懸念されます。デリバリー方式で十分と思ってます。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
昔、配膳係が廊下で運搬中にこぼしてしまうことがよくありました。そうならないためにも、デリバリー方式で、1人1人に配膳される方が良いと思います	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食はデリバリーの方が安全、衛生面からも安心である。私はコンビニ弁当だが、温かさ、作りたてに何の教育的価値があるのか。その時の声の大きさに左右されるのではなく、比較材料を明確に判断いただければ、それで良い。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
大型公共事業をやめれば温かい給食を食べさせられるかのような主張があるが間違いだ。デリバリー方式で充分である	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について、もっとデリバリー方式のメリットを市長の口から(またはSNSなどを用いて)しっかりと説明していただきたいです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー給食に賛成です。 給食調理室を各校につくることは反対、雇用対策？建設業支援？	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について デリバリー方式は状況を考えれば妥当な選択と考えます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について、サウンディング調査をした上で、事業者の参入意向はデリバリー方式が多かったならば、あとは市民への説明をしっかりとされればデリバリー方式が良いと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
給食について あまり美味しくないといわれるデリバリー方式ですが、かけられるコストを考えれば妥当な選択と考えます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について あまり美味しくないといわれるデリバリー方式ですが、飽食の時代に美味しいかと聞かれればそういう答えになるのであって、かけられるコストを考えれば妥当な選択と考えます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
学校調理方式反対！何年かけるつもりか。廃校の方が早い。それよりも早く給食を実現してほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について、安価に施設を整備し、市内の食材を使い、市民が従業員となり、市の企業が作る。 そんなオール横浜市で作る給食となりうる、デリバリー方式を希望します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
あまり美味しくないといわれるデリバリー方式ですが、かけられるコストを考えれば妥当な選択と考えます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について あまり美味しくないといわれるデリバリー方式ですが、学校にスペースがないことなどを考えれば妥当な選択と考えます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
給食について あまり美味しくないといわれるデリバリー方式ですが、給食センターのスペースがないことなどを考えれば妥当な選択と考えます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
学校調理方式ってどこにそんな敷地の余裕あるの？それより教室増やしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
政策5-1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について デリバリー方式による全員への供給体制の確保に断固反対します。 デリバリー方式を採用していた他自治体の多くは、残食率が高く生徒に満足してもらえる給食を提供することが出来ず、センター方式などに移行しています。日本最大の政令指定都市である横浜市が、他市が失敗している体制に突っ込むのは恥ずかしい限りです。 現状のアンケートでもおいしいのが理由で注文している生徒は少数であり、デリバリー方式ですべての生徒が満足できる給食が実現できる根拠が示されていません。 おかずの冷めた配達弁当を全生徒に強制するのが食育とは笑い事です。食事は出来立てで温かいのが基本です。 学校の敷地が狭く給食室が建てられない場合は2階建てにする、近隣の余力のある小学校複数から提供する、などの工夫をすれば温かく質の高い給食が提供できるのではないのでしょうか？ そういった調査はされたのでしょうか？その可能性を探ろうとせず、デリバリー業者にだけサウンディング調査を実施する横浜市の姿勢には呆れます。 鯉淵教育長は、145校公平に始めないといけないう趣旨の発言をしていましたが、その根拠はどこにあるのでしょうか？公平にしないといけないうならば、現在親子方式で給食が提供されている義務教育学校はどうなるのでしょうか？不公平だという市民の声はあるのでしょうか？ まずは、自校方式で可能な学校から順次開始し、5年から10年かかっても構いませんので、先に挙げた工夫をして温かく質の高い給食の提供体制を整えるべきと考えます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市の教諭による児童に対するいじめや虐待が問題になっています。再発防止の徹底を図るとともに、山中市長、鯉淵教育長は、被害児童に面会し謝罪をするべきです。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策6の1 教職員の採用・育成・働き方の一体的な改革 職員の能力向上とかではなく、教職員が時間外在校時間が長くなる原因をもっと深掘りして、事務作業に追われるなら事務を引き受ける職員や外注（オンライン化も含む）を増やして、教員にはもっと子供・生徒の教育に集中出来るように手当ていただきたい。 指標として2ヶ月連続で月80時間超の職員数を0にすると上げているが、目標達成のためだけに79時間で残業止めするなど、一般企業で起こるようなことが起こっては元も子もない。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>政策5の1 中学校給食の実現をデリバリー方式で準備するとありますが、大阪など他都市でデリバリー方式はおいしくないと不評で見直しがされたと聞いています。まずデリバリー方式ありでなく、2025年までの間に小規模での実施でテストしてから採用でも良いのではないのでしょうか？全生徒に供給可能に準備を完了させてからでは変更も難しく、再考や議論を経て見直し案の実施には時間もコストもかかり、その間、生徒たちに苦を強いる結果になるのではと心配しています。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>「38の政策」について 政策5、施策1に関して賛成します。デリバリー方式により、全員に供給できる体制の確保が完了するとして目標達成に期待します。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学校の完全給食を、早期に実現してほしいです。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学完全給食化をお願いいたします。すぐに無理ならデリバリー化メインでお願いしたいです。 働いている母親としては朝は忙しいので、給食化して頂けると助かります</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。デリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>学校給食について、給食賛成だが、早く実現してほしい。学校調理方式は望んでいない。 市民に比較材料を提示してほしい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。温かいにこしたことはないがデリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。美味しいにこしたことはないがデリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>原案の中学校給食について原案を進めていただくことを強く希望いたします。自身の子育て中にはなかなか進まなかった全員喫食の中学校給食の問題が今ようやく進み出したことに期待しております。我が子の世代は外部の宅配弁当のようなものもありましたが、頼んだ生徒は南校舎3階から北校舎1階まで受け取りに行き、また返しに行くという、皆が同時に食べ始めることができる仕組み作りもなく、短いお昼の時間でかなり負担でした。時代が移り変わり社会変化の中でも先送りされてきた課題、これからの若者たちの将来を想定し、着実に対応していただきたいと願っております。近い将来、親となる我が子たち世代、これからの若者たちが、働きながらも、子どもを産み育てやすい横浜市、住むにあたり選ばれる横浜市となってほしいと思います。目の前に置かれている横浜市の山積みとなった見える課題の解決策、最適な方策で優先的な選択、いつも対応が遅い横浜市でなく、時代を先読みする横浜市となり、進み出した政策が後退りすることないように早急に進める一歩を選択していただくよう、これからの横浜市に期待しております。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。費用負担を考えればデリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>ついに中学校給食の実現が見えてきました。ありがとうございます。公共事業ですから、とにかく早く事業を進めていただき、安全な運営をお願いしたいと思います。方式について議論があるようですが、早く早くできる方式はなんなのか。それで決められれば良いと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子育ての街として、明石市のような施策を集中し、敬老パスのような高齢者向け施策は後回しで良いと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。学校のスペースに余裕はないのでデリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。子供に美味しさを問うのはおかしい。デリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向け推進 地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進【施策指標】全員に供給できる体制の確保が完了について、できるだけ早期に供給体制の確保を切望します。センター方式のデリバリーならでの地産地消にも取り組んでもらいたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校給食は皆が同じものを食べることに意味がある。アンケートを取れば選択されないがデリバリー方式が現実的選択だと思う</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>給食について、方式の議論があるようですが、安価なるべく早く実現するものがないと思いますので、デリバリー方式で進めて欲しいです。 また、成長期であることを踏まえた、タンパク質を多めにするとか、捕食は可能になるとかもご検討ください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子供のわがままをいちいち聞くような話ではないと考えます。デリバリー方式が現実的選択だと思います</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>保護者の日々の負担を考えれば、一刻も早く全員給食とするべき。デリバリー方式が現実的であると考えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>駄作が多い今回の中期計画の中で、給食だけは実現して良かったと思っています。いいことはとにかく早く実現して欲しいです。時間をかけすぎです。実現までに最も早くできるデリバリー方式で、来年にでも実現させてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校の給食は「学校調理」を基本とした「温かくて、美味しい」食事を提供できるようにすべきである。  「政策5：こどもひとりひとりを大切に「教育」の推進」の項に  「施策1：学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。」とあるが、民間業者によって一律大量供給される、いわゆる「デリ弁」は、この政策の趣旨と矛盾する。さらに、現市長の選挙時の公約（「横浜方式ハイブリッド型全員喫食」、「小学校のような給食」、「中学生が満足すること」等）にも反している。  「令和3年4月より選択制の中学校給食(デリバリー型)を提供し、令和4年4月の喫食率は30.1%となっています。」  とあるが、なぜ「デリ弁」の需要が1/3以下しかないのかという現状を、真摯に受け止め、主に学校施設の整備面から否定されてきた、小学校と同質の「学校調理」を施策の基本にすべきである。  そのために、市民グループの調査と提案（「自炊・親子・兄弟」ハイブリッド方式）なども参考にすべきである。  中学校給食の利用を原則とし(アレルギーへの対応などによる家庭弁当の選択も可)、生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた準備を進めるのであれば、地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供でき、かつ給食を教材とした食育を推進することも可能な、「学校調理」方式への施策転換をすべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学校給食について  保護者の日々の負担を考えれば、一刻も早く全員給食とするべき。デリバリー方式が現実的であると考えます。子供の希望を聞いてもきりがいい話です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>学校給食の早期実現をお願いします。  学校調理方式を言いはじめたらキリがない。たまに、近所の飲食店とコラボしてもよい。全校生徒同じでなくてもよいのだから</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>お金がないとよく横浜市はいうが、再開発や鉄道などの都市開発をいつまでもやり続けるからではないのか。  そんなものより、もっと若い世代が喜ぶ施策に方向転換すべきだ。  一つの施策でいつもの効果があるようなことをされたらどうか。例えば中学校給食。雇用もうみ、地元農家が食材を納品し、箸やスプーンなども地元で作る。せつかくの機会を地元の経済に活かさなければ意味がない。それが可能となる方式として、デリバリー方式とし、地元企業に限定して公募すれば良いと思う。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5賛成 理由学校給食が必要と思います。デリバリー給食が現実的だからいつでもできるかわからない学校調理方式は反対です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」は大賛成です。そのためにも「みんなで食べられる温かい中学校給食」をぜひ実現してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>今では全国で行われている「みんなで食べられる中学校給食」が遅れに遅れています。東京に次ぐ大都市ヨコハマ過疎の街じゃあるまいし、中学校に給食が無い！なんて「世界の七不思議」と言ってもいいほど信じられません。政令指定都市で最後になるとか？山中市長様になってからカジノは即時ストップ！「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」を掲げられるなど林前市長の時代とは歴然と違うことに敬意を表します。これまでの市政は中学校給食も無い、医療費も世間では18歳まで無償の所が多いのに極めて低水準。まるで「横浜に住むな！」と言ってるみたいでした。他都市は「子育てするなら〇〇市」と呼び込みの施策を打ち上げ少子化対策にも力を入れているのに、横浜のやり方は真逆！中学校給食については全国の各自治体が試行錯誤を繰り返し、デリバリー方式ではなく自校方式に戻っています。最も遅れて中学校給食に取り組み横浜は他自治体の経験から学び、最初から自校方式で決断して手を付けていって欲しいです。「行ってみたい街、住んでみたい街横浜」と表向きは人気のある街ですが、中学校に給食が無い！なんて詐欺見たいです。どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小中学校の先生を増やしてください。年初から先生が不足し、長時間労働に追まられる実態を改善してください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>少人数学級を小学校にとどめず、身体の大きい中学校にも広げてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略」について 戦略1.すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 中学3年生までの医療費助成の所得制限を撤廃してください。所得制限により医療費助成を受けていませんが、決してゆとりのある生活ではありません。今年度より児童手当の支給の対象からも外れました。かたや世帯年収が我が家を上回る家庭（共働き）や資産のある家庭が医療費助成を受けている場合もあり、不公平な基準です。親の属性（親の数や所得）で助成基準を設けるのではなく、すべての子供が等しく助成を受けられるようにして下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 政策5.子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 中学校給食を強く望みます。全ての公立小学校、他の自治体の中学校で実施している学校給食を「推進」ではなく、「実施」してください。推進しただけでは実施できません。 未だに親の手作り弁当が一番良いと訴える議員がいることに唖然とします。給食に予算を回したくないからでしょうか。弁当を作れない、もしくは満足した内容の弁当を持たせられない家庭も沢山あります。共働きの家庭も多く、弁当作りという負担を増やさないと欲しいです。義務教育の間は、他の自治体のように、栄養価が高く低額で食べられる全員給食を是非実施してください。 子育て世代にとって学校給食の有無は、住む自治体を選ぶ際の重要な項目です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食を進めてください。全員に届けることを前提として、デリバリー方式でもかまいません。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
反対の声に負けずに中学校給食を進めて下さい。デリバリー方式でも大きな進歩です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食頑張ってください。応援しています。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について デリバリー方式であろうか無かろうが、給食利用を原則、としてください。悩む必要がありません。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について 今後も保護者や生徒の意見を聞きながら、大都市横浜にふさわしい、現実性の高い中学校給食を実現してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について 中学校給食の利用を原則とする、との打ち出しに心躍りました。皆さん喜ぶと思いますよ。もう選ぶ必要が無くなるのですから。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について アレルギーへの対応だけでなく、きっと宗教上の理由とか、いくつか例外はあると思いますので、そういった生徒さんには丁寧な対応をお願いします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 政策5 中学校給食について、方針に賛同します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 政策5 中学校給食について デリバリー方式で、全員が美味しく食べられるよう、頑張ってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について デリバリー方式で全員給食を実現することに賛成します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について デリバリー方式で、子どもたちが満足できる給食を実現してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の方針に賛成です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について デリバリー方式でもみんなが美味しく食べられるよう、頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について デリバリー方式で、少しでも早く全員給食が実現することを期待しています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食の方針に賛同します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 学校機関にスクールロイヤーをお願いです。 1校につき1名とはいわなくとも、現在ソーシャルワーカーが1ヶ月に一度地区の学校に來校し、児童の問題に取り組んでもらっています。 同じように弁護士等の法律に関わる方に学校機関に入ってもらえることを強く希望します。 理由としては、主に保護者対応です。 学校は、児童を育てる場であって保護者を育てる場ではありません。 理不尽な要望や要求、放課後の児童同士(家庭同士)のトラブルに教師が介入することもしばしばです。 なぜ、家庭同士のトラブルに、学校が介入しなければならないのでしょうか。 クレームで、人格を否定されたことも何度もあります。 教師の声に耳を傾けない保護者も、第三者として入ってもらえることで話が進むことがたくさんあると思います。 私自身1番の問題なのは、教師の地位が下がっていることです。もちろん教師も人なので、間違えた時は謙虚に対応する必要があります。ですが、保護者は私達のお客さんではありません。一方的な注文やクレーム、理不尽な対応をする保護者に振り回される、正しい教育機関として機能していない状況は、その他の児童にとっても不利益です。 学校でもない、第三者として中立に入ってもらえる機関や人が学校には必要です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 素案33ページ政策5について デリバリー方式ではなく自校・親子方式での中学校給食の実施を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について 中学校給食の実施を指示します。 デリバリー方式からのスタートでも、全員が食べられることに意味があります。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>神奈川区 「38の政策」について デリバリーでもいいので中学校給食よろしくお願いします。子育てしやすいまちに</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 中学校給食の実現を支持します。全員が食べられることを第一に考えてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について デリバリー方式の中学校給食を支持します。まずははじめられる形からスタートしましょう。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 子育てしやすいまちに向けて中学校給食頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について デリバリー方式の中学校給食を支持します。 しっかり進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 課題がありながらも全員が食べられる中学校給食を進めようとする決断を支持します。 頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 中学校給食の実施に助かっています。デリバリーでも美味しい給食です。このまま進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について 中学校給食の利用を原則、という強いメッセージを歓迎します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について もう中学校給食を政争の具にするのはやめてください。中期計画に書いてある方針で、全員喫食の中学校給食を実現してください!</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について デリバリー方式が最も現実的な手法なら、迷わず準備を進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について デリバリー方式で供給体制を確保する、とのことですが、試食会などを通じて、生徒や保護者の理解を深めていってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策1 切れ目なく～ 乳児から小中学生までの医療費無償化を進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の、主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>お産にかかる膨大な費用は、生む若者たちにとって負担が重く耐えられません。負担ゼロにすることで横浜市の人口も大きく増えることになります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 中学校給食のデリバリーは止め、あたたかな食事をとれる自校方式が親子方式などにして下さい。大阪もデリバリーから自校方式に変えました。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>保育園と小中学校の給食の無償化を実施して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策6 豊かな学びの実現 鶴見区の図書館が豊岡小学校と一体となる工事が進められています。これまでの図書館は残して全体の環境を強化してください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>学校現場では、先生の未配置が問題となっています。昨年2021年では143件もあり校長などが授業を受け持っていると聞きます。子どもたちの学びを保証するとともに、出産や育休を保障するためにも先生の増員をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 素案冊子P34政策5の主な施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について デリバリー方式が進まなかったのは、まずい、というネガティブな意見が蔓延したからだと推察します。今後も丁寧なPRをお願いいたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>素案冊子P34政策5の主な施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について デリバリー方式が、全員喫食に向けて実現可能性が高い、ということなら、可能な限り、早く導入してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>～妊婦健康診査の費用について～ 【自己負担額について】 現在、補助券が金額別のもので14枚補助されますが、私は13回妊婦健診に行き、補助券は毎回使用しましたが通算で121,130円の自己負担がありました。横浜市在住の知人の話を聞いてもどこもそのぐらいの自己負担額があるようでした。（川崎市や東京都に住んでいる友人はほぼ自己負担がないという話も聞きました。） あまりに毎回の自己負担額が高いことから病院から指定される健診の間隔よりも予定が入っていて行けないと嘘をついて予約日をずらして健診回数を減らすなどしてしまいました。 病院によっても自己負担額は違うと思いますし、病院によっては過剰な診療をしている場合もあるかもしれませんがその病院でどのような診療内容をされるのか、それが過剰な診療なのかどうか妊婦側では判断できるものではないかと思えます。特に初産の場合は急に始まる妊娠生活にわからないことだらけで、ふつうはどのようなかも判断できる状態ではないかと思えます。 また、妊娠発覚からすぐに分娩する病院を決めて、分娩予約をしないと予約はほとんど埋まってしまうため、自分に合う病院を探す、というのなかなかできません。（予約金が伴う分娩予約をしないと妊婦健診が受けられない病院もあります）ぜひ自己負担額についてご検討いただければ幸いです。 【補助券枚数について】 14枚は健診の最低回数分であり、規定の回数健診に行くとそれだけで上限に達してしまいます。また、特に妊娠の経過に問題がないにも関わらず病院側から規定の期間より健診間隔を狭くされおり、回数を増やされているのではということも経験しました。（理由を聞きましたが、医学的な理由ではありませんでした。） 自己負担額も高いので回数が増えてしまうと補助券もなくなり自己負担額がさらに増えてしまうので、妊娠後期には補助券の枚数を超えないように健診回数を減らしてしまいました。 気持ちに余裕をもって、体調に心配なことがあれば安心して受診できるぐらいの余裕があればいいなと思い、ご検討いただければ幸いです。 【妊婦の医療費負担について】 妊娠中・産後は妊婦健診以外にも様々な医療機関を受診することがあることも多かったため、その医療費負担についてもご検討いただきたいです。 私の場合は妊娠出産に伴い、喘息/痔/鼻炎/腰痛を発症したことで様々な医療機関を受診しました。妊婦健診で相談しても、専門の医療機関を受診してほしいと促されます。妊娠中・授乳中は市販薬を自己判断で使えないのでどうしても都度医療機関を受診する必要があります。妊婦健診以外の医療費負担についてもご検討いただくと幸いです。 ～産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）について～ 【利用対象について】 現在生後3か月（4か月未満）までしか利用できず、こちらの利用対象期間を延ばしてほしいです。 私の場合は母乳や乳房の痛みに関して悩みがありましたが、生後3か月までは右も左もわからずとにかく子供を生かすことに必死でした。生後3か月半ごろからやっといろいろな制度を調べて誰かに相談して状況を整えることを検討することができました。 まずは分娩した病院に連絡しましたが、母乳相談についてはどうしても助産師の数が足りなかったり対応できるか確約ができないため（お産が急に入ったりするので予約を承るのも難しいとのこと）自治体の制度の利用を勧められ、ネットで調べて役所にも電話すると、まずは予約をするための申請が必要。その申請から承認までも1週間かかるとのこと。 4か月になるぎりぎり1週間前ごろに申請しましたが承認できる頃には4か月になるため却下の連絡が来ました。 尚、区役所で毎月開催されている無料の母乳相談にも行きましたがそこでは症状など相談しても、実際の乳房の状態確認やマッサージなどの処置は何もしてもらえず、状態も確認せずに「痛いのは普通だよ」といった言葉だけだったため行く意味があまりありませんでした。 助成内でももう少し長い期間利用できるようになればと思い、検討いただければ幸いです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「38の政策」について デリバリー弁当の給食化は反対、自校式や親子式で出来立ての温かい給食にしてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「38の政策」について 政策5のうちの中学校給食について 公約の「全員喫食」が明確に出されたのは良かったです。 そして、「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」を掲げられたことは素晴らしいと思います。すべての生徒に、美味しいものを食べたいだけ（食べる量が多い子も少ない子にも）食べさせてあげたい、というのが大人としての素朴な思いです。 昨今の状況からして、学校にいる間、全員が食事の心配などせず学べる環境を整備することは、当然だと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について 政策5のうちの中学校給食について ＜結論＞ 結論を先に書くと、「できたての温かい給食」を全員に提供するのが当然と考えます。従って、「デリバリー方式」でなく、「ミックス方式[1]（大阪のいうところの「学校調理方式」と同じでしょうか）での実施が適切と考えます。どうしても数年内の実施が難しい一部の中学校についてはセンター方式で実施を。 [1]「中学校給食＜ミックス方式＞小中学校組み合わせ（令和4年8月版）」 ＜デリバリー方式は不適切＞ おかげで冷たく現在でも喫食率が低く不評（春の生徒と保護者対象のアンケート結果）のデリバリー方式は、本来、まっさきに選択肢からはずれると思います。ほかに、量の調整ができない、アレルギー対応ができない（これは自校方式以外難しいですが）などの問題もあります。また、業者の早朝からの厳しい勤務といった問題もあります。 他のデリバリーを導入した先行自治体でも、残食が多いなどの問題から、大阪など軒並み「学校調理方式」あるいは「センター方式」に転換した、或いはしつつあります。デリバリー方式の行き詰まりは見えており、同じ轍をふまず、最初から、「学校調理方式」で実施すべきだと考えます。 ＜一斉実施にこだわりは無用、年次計画で＞ 市として、「一斉実施」にこだわりをお持ちのようですが、「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」こそが重要でしょう。エアコンなども、全校一斉導入ではなく、計画をたてて順次導入されました。たとえば大阪での移行も数年かけて行われたと聞きます。できるところから順次導入は、十分理解が得られると思います。 ＜「ミックス方式」と、どうしても難しいところは「センター方式」で、温かい給食の提供を＞ 「ミックス方式」でほとんどの学校で温かいできたての給食が提供可能なことは、資料[1]の通り。 鶴見区、港北区、都筑区のみは、「ミックス方式」でも全員提供不可のようです。今後の検討で、状況が変わるかもしれませんが、どうしても無理な場合は、これらについては、給食センターを作って提供する形が適切と考えます。 資料[1]は、教育委員会で資料提出はされるが、検討されていないと聞いています。 数の上の検討から、実現にあたっては様々な課題が出てくると思いますが、そこは、行政のプロである皆様のお力で解決されるものと信じます。 ＜教職員の状況＞ 教職員組合が、今よりさらに労働が過重になるなどの理由で反対だというふう聞いております。 しかし、横浜市でも小中一貫校の2校では先般より親子方式で給食を実施しています。時間配分については、この2校ははじめ小学校や他校の運用に学べると思います。 法律にも定められている大切な「食育」、これまでやっていなかった方がおかしいと</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>も言えると思います。 教職員の労働環境は、色々ニュースで知るところです。この問題も解決すべきことは、当然です。 &lt;終わりに&gt; STOPカジノ統一候補として当選された山中市長が、就任後ただちにカジノ誘致を撤回されたこと、オペラ劇場の計画も白紙にされたこと、新型コロナ対策でワクチン接種申し込みをやりやすくし加速化やコロナ専門病院の設置をじん速にされたことなど（市としてPCR検査場の整備がなかったことは不満ですが）、大変嬉しく思っております。 中学校給食は、横浜市が長年置き去りにしてきた課題で、実施が発表された医療費無償化とならびもっとも期待の大きい市長公約です。「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」が適切な形でなされることを期待します。 学校は街づくりの中心、給食設備が災害時に活躍することは当初から知られていたこと、今後高齢化にあたっては、学校および給食設備のこれまでとは異なった利用も考えられると思います。市民自治が活性化し、活発な議論で検討していけたらと思います。</p>		
<p>中学校給食は今のままで良い。各家庭で、自分たちの都合の良い方法を選択することができる。皆同じものを食べることで、食べられないものがある子には相当の負担になる。選択制なら皆同じでないで、周りを気にしなくて良い。また、教員の働き方改革が、職員の数を増やす事ではなく、進んでいる現在、給食指導が追加されるとさらなる負担増は避けられない。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>P.34政策5 施策1 中学校給食の推進に賛成です。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 施策1 について実施を期待しています。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 中学校給食について大事だと思います、ぜひ進めてください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 施策1 横浜でもぜひおねがいします。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 中学校給食の提供は助かります。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 施策1 賛成。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 施策1 中学校給食、ぜひすすめてください。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P.34政策5 施策1 中学校給食について実現を期待しています。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
P.34政策5 施策1 中学校給食の実施に期待しています。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 賛成します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1、大変だと思いますが、実施に向けて頑張ってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 中学校給食の実現、うれしく思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 中学校給食について、ありがたいです、ぜひ実現させてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 中学校給食について実施に賛成です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 中学校給食の実現はとても助かります、おねがいします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 中学校給食の実現に向けて、がんばってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 中学校給食、ぜひ実現させてください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1。給食は大切だと思います、実施に期待します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 中学校給食について賛成です、子供たちのためにおねがいします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P.34政策5 施策1 中学校給食の実現、がんばってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
素案冊子34P 中学校給食の「全員実施」は賛成です	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案冊子34P デリバリー方式の方針には賛成しかねます。その昔、給食センター方式の話が出た時には、冷めてしまうこと、安全面、輸送時間などの問題があり採用されなかった事実があります。</p> <p>私は、鹿児島県出身ですが、中学校にも給食室があり温かい給食を、みんなで楽しみながら、嫌いなものや苦手なものは内緒で交換したり、自宅での味や調理方法が異なることで感動したことなど思い出がいっぱいあります。なので、横浜市中学校の給食がないことが不思議でした。今回の山中市長の姿勢に大変うれしく思っています。なのに、デリバリーのメリットは何なのか疑問です。</p> <p>小学校と隣接している中学校では親子方式で、できる所からはじめて欲しいです。中学校給食は、育ち盛りの成長には欠かせません。食べるものが体と心を作ることを知っているからこそお願いします。地産地消と食育、雇用の拡大、そのほかあげたらきりがありません。</p> <p>給食室があることで、災害時は炊き出しもできます。前世代で個食が問題になっているからこそ、みんなで同じものを食べる経験が大切だと考えています。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>教育環境の活性化として、市教委と県教委が協力して交通の便の良いところに、中高一貫の公立進学受験校の開設を検討してほしい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「戦略1」の「政策5」中学校給食は、市民が切望する学校調理方式の「できたて・温かい」給食に改めるべきである。これは、「子育て世代支援」の核心部分の一つである。</p> <p>素案では、選択制から「全員実施」に転換すると書き込まれたが、実施方式については、「デリバリー型」となっている。これに対して学校調理方式を求める市民の要求は根強く、運動が続けられている。教育委員会の生徒・保護者アンケートでも、「温かさ」を求めているのが最多であった。しかし、デリバリー型を「最適」とした素案の「実施方式の検討にあたっての項目・考え方」には、そのような生徒・保護者、市民の肝心な要求が十分考慮されていない。もっぱら供給体制や民間事業者、とりわけ財政負担など実施する側の事情ばかりが重んじられている。</p> <p>しかし、大阪市ではいったんデリバリー型で出発したものの、評判が悪くわずか2年で学校調理方式に替えたという事例も出ている。この教訓は生かされねばならない。いったんデリバリー型で出発してから、学校調理方式に替えるとなると財政負担は倍増する。</p> <p>さらに「子供の貧困と給食問題」を研究した専門家は、中学校から高校にかけての時期がもっとも貧困率が高く、中学校給食は「栄養格差」を縮小し、よりよいコミュニケーションをつくるうえでも最適な政策である、と提言している。</p> <p>山中市長は、「子育て世代への支援」を「市政の1丁目1番地」と言っており、中学校給食のあり方は、その核心部分である。したがって、この問題は、「基本戦略」の好循環を首尾よく回すうえでのカギであり、市民の願いに応える市政へ力強く転換できるか否かの試金石となっている。市民を信じ、決断すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P33,P34中学校給食について アレルギーなど個別対応の必要な生徒を除いて、全員給食を実施する計画には大賛成。</p> <p>①家庭弁当は各家庭の生活実態をリアルに映し出す。そのため、弁当の蓋で隠しながら食べる生徒や、顔には出さないが、まわりに気を使いながら複雑な気持ちで弁当を広げる生徒も少なくない。みんなで同じものをおしゃべりしながら楽しく食べる給食が教育の一環としての本来の給食法のめざす食育の姿でしょう。それが横浜ではこれまで長い間ないがしろにされてきた。中学生の生活に少なからず否定的な影響を与えてきたと思われる。</p> <p>②経済格差が広がり、子どもの貧困問題も社会問題となっている現在、子どもたちが安心して学べる条件を整備するのは行政の最低限の責務である。</p> <p>③いま、全国的には教育無償の憲法の規定に基づいて給食費無償に向かっている。一回りも二回りも遅れている横浜の中学校給食の早期実現を望む。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P33政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」                      政策の目標：「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。」とあるが、「学校給食法の趣旨を踏まえ」、「すべての生徒に満足してもらえる給食」は「デリバリー方式」で実現可能であるとは信じがたい。                      ①市教委調査でも、生徒が「栄養バランス」「温かさ」「おいしくわくわくする」給食を望んでいることは明らかになっている。大阪などが「デリバリー方式」から「自校、親子、きょうだい」などの学校調理方式に切り替えた最大の理由は、「残食」が多かったため、生徒の希望する給食、生徒に喜ばれる給食にするためと聞く。生徒は温かくておいしい小学校で経験してきたような給食を望んでいる。市民は子どもたちの期待に応えることを切に願っている。                      ②学校調理方式では、生徒は食材や調理員さんたちの姿を見て、匂いも感じ、調理員さん等と声をかけあったりしながら、感謝の気持ちをもっていただくことができる。工場で作られた弁当を食するのとは違う。これは地場食材の活用などともに食育の大事な要素でもある。                      ③学校給食法に位置づけられた教育の一環としての給食は、学校調理方式によってこそ豊かな学校生活の柱の一つとなるのではないのでしょうか。                      P34主な施策                      施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現                      「デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた準備を進めます。地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進します。」                      ①デリバリー方式に関する問題点と生徒の満足度の問題は1の項で述べたとおり。                      ②「地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進」は大賛成。横浜市はすぐれた食材も豊富であり、それを食することで郷土の素晴らしさを知り、見直すこともあるでしょう。生徒考案のメニュー、行事食などもすばらしい。こうした給食はデリバリー方式よりは学校調理方式の方が企画もしやすく、生徒・地域の一体感も生れ、地域の協力などもやすいであろう。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5について                      中学校給食の全員実施は評価します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5について                      デリバリー方式は反対です。                      教育委員会作成の、「中学校&lt;ミックス方式&gt;小中学校組み合わせ（令和4年8月版）」によれば自校方式は39校で実施可能、親子方式は22校、きょうだい方式は11校、計72校が「温かい」食缶方式の中学校給食が実施できることになっています。令和3年の資料では、自校方式全校実施の施設整備費は309億円、親子方式全校整備して84億円とあります。ただし、市は1小学区から1中学校への配送しか考えていません。大阪市のように2小学校、ないしは3小学校から配送可とすれば親子方式はもっと実施できます。自校方式、親子方式、自校方式で余力の出る中学校からの配送（きょうだい方式）を含めると、約80%の                      中学校で「温かい」給食が実施できます。                      経費を考えると、39校分は全体の約27%なので、施設整備費は約83億円です。親子方式は小学校340校ありますので、試算より低額になるとおもいますが、そのままの試算でいくとして、約167億円で実施できる計算です。                      残りの20%については、中学校の調理室建設の際に余力ある計画を立てることや、学校統廃合でできた空き学校に調理室をつくる事や、給食センター設置等工夫すれば全校で実施できます。デリバリー契約の終了する2025年度末までに急いで着手し、順次移行していけば可能です。                      念願の中学校給食スタートに当たって最善の施策を実施することは、横浜市、特に教育、食育の観点から、教育委員会の責務だと思います。初心に帰って学校調理方式で「温かい」中学校給食の実施に立ち向かってください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案冊子P34政策5の主な施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について、記載の方向で推進してください。 供給体制がとかく話題になっているようですが、それだけでなく栄養バランスや地産地消の視点も大事です。市はこの点も合わせてPRしてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P34すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 デリバリー方式による供給体制をしっかりと確保し、迅速に全員喫食可能な中学校給食を実現していただきたい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校の給食についての要望 資料によると、自校調理可能な中学校や小学校との連携＝親子方式など実現できる中学校があります。 デリバリー方式での26年一斉開始ではなく、実現できる学校から始める方法をぜひ検討して下さい。自校調理やミックス方式をできる学校から実現していく方がはるかに実行しやすい現実的な方法です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>山中市長のカジノ撤回、公約実現に向けての活躍にとても嬉しく期待しています。 中学校給食実施はデリバリーでなく自校方式にしてほしいです。 デリバリー食経験者としては美味しくないで残す人も多くなるのではと心配。大阪？慌ててデリバリーでやったところも自校に切り替えているとか。 災害時に炊き出しができること、地域での雇用の面でも出来たての美味しい給食を食べれば心も少しは満たされていくと思います。 急がば回れ、じっくり考えてください よろしく願います</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>33ページ政策5について中学校給食について 横浜でやっと全員で食べられる給食が実現できるのは大歓迎です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>33ページ政策5について中学校給食について デリバリーではなくてあたたかい栄養バランスのとれたおいしい給食を中学生に用意してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について 12月にFAXした、民間の中学校で直営となりましたが間違いで、小中一貫校の公立だとききました。出来る所から実施をぜひお願いします。 デリバリーは工場も大きいし土地も必要です。 お金のことを考えても、ながい目でみれば直営がいいです。なにより、市の財産になります。地震の時にも避難場所にもなり、食材在庫もあります。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案P33政策5について 成長期の中学生にはデリバリーではなく、栄養のバランスのとれた「あたたかい給食」を食べさせてあげてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>もう長い年月、横浜市の中学校の自校式での給食実施を求めて活動していますが、なぜ？横浜市は実現してくれないのでしょうか？業者弁当は給食ではありません 各家庭での様々な事情はありますが、お弁当を持たせられない事情もあります。皆で同じ食事をとる時間はとても大切です。そして家庭での（例えば父子家庭・・・）様々な事情があり、買弁せざるをえず、経済的な負担も考慮されるべきです。親が持たせるお弁当代で昼食を買わないで、嗜好品とかをコンビニで買ってしまふ子もいます 中学校は義務教育ですね。実施には調理室の新設とか費用が掛かると言い訳を出しますが、計画的に予算を計上し、あちこちの無駄な経費を探すことをして下さい。何故横浜市の公立中学校での完全給食が実施されて来ないの？市民が納得できる動きを望みます。 市長選で中学校給食にふれていたのではないかしら？記憶違いかな</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>将来ひきつぐ子供たちに、小中学校に自校方式の栄養のいきとどいた温かい給食を！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について、すぐにできなくても、無料で実施して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>項目名p.34中学校給食の全員実施 意見市長は、中学校給食を「デリバリー方式」で行うと考えています。しかし、デリバリー方式の弁当は「冷たくておいしくない」との意見が多く、評判が悪いです。大切な子ども達に、「温かくて、おいしい給食」を食べさせるようにして下さい。デリバリー方式の弁当はやめてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>p.34中学校給食の全員実施 市長は、中学校給食をデリバリー方式で考えていますが、デリバリー方式のお弁当は冷たくなっておいしくないという評判が悪いです。温かくて、おいしい給食を子どもたちに食べさせて下さい。特に中学校時代は心身共に一番成長する時期です。子どもたちの健やかな成長のためとデリバリー以外のおいしく食べられる給食制度にして下さい。教育委員会も自校方式、親子方式等いろいろ考えていると聞きます。おいしい給食にして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
p.34子供達に温かい給食を食べさせてあげたい。「デリバリー方式」ではなくやって下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
政策1（切れ目なく力強い子育て支援） 出産育児一時金は42万円だが、神奈川における出産費用は49万9千円（公的病院平均、室料差額除く）となっている。出産費用の無償化の一刻も早い実施を要望。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
小児医療費助成制度の所得制限および一部負担金の撤廃は、大きく評価。東京都で実施の18歳までの助成対象の拡大を要望。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の、主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策番号2中3迄の完全無料化（小児医療費）は、本当に嬉しいです。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
政策番号5学校給食ですが、デリバリー方式でなく、自校方式、親子方式など各学校にあわせ、出来る学校から、小学校のように全員が食べられ、温かく学校へ来るのがまちどおしい給食にして下さい。 デリバリー方式はやめて下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
素案冊子26p医療や福祉の増進に力を入れていただきたい。理念を明確にして下さい。新型コロナ対策ではコロナ撲滅に決意を示してほしい。	参考	ご意見につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
素案冊子34p中学校給食の「全員実施」の方針にすることに賛成です。なお温かい給食の提供を考えていただきたい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
ふつうの中学校給食がなぜ出来ないのでしょうか？デリバリーは冷たくておいしくないと中学生が言っています。だれもが「おいしー」と言って笑いあって食べられるふつーの中学校給食をいちにちも早く実現して下さい。山中市長に期待しています。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食はデリバリー方式ではなく小学校給食のように温かい給食にしてください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく小学校給食の様に温かい給食にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P26小医療費の完全無料化 とても嬉しく思います。横浜が子育てしやすい、住みたいまちへどんどんなってほしい。市長の英断に拍手です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P34中学校給食全員実施 遅ればせながら実施の方針嬉しいです。次世代をになう子達に栄養あるおいしい給食を!!</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>今の延長のデリバリー方式ではなく自校式、親子方式などできたてを食べられる中学校給食を望みます!!</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市の中学生に“温かい”“できたて”給食を実現して下さい 横浜市中学校給食に道を広くパブリックコメントが示すように工夫すれば実施可能な財源、方法を検討すれば可能な自校方式+ミックス方式が提案されました? 教育委員会は順次断行最善の全員喫食温かい給食を実施して下さい。教育、食育は国民市民の最低限度必要な権利です。市はその義務を負って下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーの配達方式はやめて下さい。学校での調理方式でやる。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーの配達はやめて下さい 小学校と同じように皆で食べられる様にして下さい。 自校調理にして学校で作ったものを温かいうちに食べられる様にしてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>自校式の給食、温かい給食、笑顔（子ども）の見える給食で楽しい学校生活の一部を思い出して欲しい 自分が子供の頃、給食は一日の楽しみの一つでした。子供が大人になっても今だに給食が実現していない。一日も早い実現を希望します。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
給食について、全員実施に実現すること	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子供が中学生の時は共働きの為お弁当作りは大変だった。 母親の愛情のあらわれと言われたけれど、あまり思えなかった。 孫になり、働く親に変わり、私が時々手伝ったが、クラスで近くのコンビニや自動販売機のパンで済ます子供が多いと聞き、学校の自動販売機をみに行った。甘いパン、甘い飲み物、しかも一回500円ではおさまらなかった。成長期の子供達のことを考えたら、小学校給食と同じ給食が（皆同じ物、あたたかい物）必要だと思う。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>市民の意見を聞いてくれる市長さんが誕生しました!! 子供の貧困の学習した際（都立大阿部彩先生）、「栄養格差を埋める給食の役割」として多面的にデータを駆使されたお話を学習しました。今や高校生のところまで考える必要があります。 デリバリーは給食ではありません。 食と文化は切り離せないし、一生の心の土台も培われます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>藤原辰史氏の説によると、食べることは生きることの基本である]であるから「文部官僚が占領期に説いた日語、算数、理科、社会と給食の有機的結合という理念はやはり再考に値するだろう。」「食は、あらゆる学びの基本でもある。」「食材を育て、料理し、配分し、食べ、片付ける、という給食のあらゆるプロセスで、具体性をもって身につくかもしれない。」「もっといえば日本の20世紀史を規定する水銀汚染も放射汚染も給食から学べる。」「人間が生きものの連鎖のうえにしかその生を維持できないことは、給食が教えてくれる。」「地域の農業・漁業も給食の食材として学べば、知は紙上を滑るだけのものから、実地に根を張ったものになりうるだろう。」</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
中学給食は小学校の様に温かい給食にして下さい	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食を小学校のようなつくりたて出来たてが食べられるようにとりこんで下さい。 デリバリー弁当は望みません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食を小学校の様な作りたて出来たてが食べられるようにとり組んで下さい。デリバリー弁当は望みません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中期計画を進めてほしい 中学校の給食実施</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>配達はあたたかくないので中止して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は業者による弁当方式でなく、小学校のように、あたたかいものを希望します。全市いっせいでなく、高田小学校と高田中学校のように隣り合せのところは、親子方式などできるところから進めて下さい。 あたたかい自校方式にむけて努力をお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食についてお願いがあります。 全員にあたたかい給食を！ぜひぜひよろしくお願いします。(自校方式ですぐ全員が無理なら、できる所から!!)</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について デリバリーにすると、冷たい給食を食べさせる事になり子供達がかわいそう。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食は小学校のようにあたたかい給食と自校方式で実施して欲しいです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食いつもあたたかい給食を	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
育ち盛りの中学生には温かく栄養の行き届いた給食が一番です。デリバリーでは冷めて全員喫食にもなりません。一斉実施ではなくても、できる所から始めて下さい!!	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食について、長年の夢がかないそうで期待します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
大変革なので少し時間がかかっても、一斉スタートにこだわらず、「学校調理方式」をとってほしい。デリバリーは危険すぎる。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食の「全員実施」人生の中で一番大事な時期です。将来の夢です！	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食は温かい食べものが一番だと思います	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校の給食はできたてのあたたかい物を食べられる様にして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校の給食を温かい給食を作って欲しい	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食は小学校と同じ様にあたたかい物にして頂きたいです!!	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食は小学校と同じ様なできたての温かい給食を食べられる様にして下さい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学生にも小学校のような給食が食べられるようにして下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
他の市と同様、小学校なみに無料給食にして欲しい	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食は小学校と同じ様に温かい食事が良いのでお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は小学校の様にあったかい給食を作れる様にしてあげたい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は直ちに自校方式で実施してほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
保育園をふやしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
給食（中学校）運動は何十年も（半世紀近い）行ってもまだ実現できてない。弁当はこの市でも失敗して自校方式の給食に移行してるのであたたかく栄養の有る給食を育ち盛りの中学生に提供したい。給食設備が有ると災害時であたたかい食事を提供できるので、是非実現して欲しい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校の完全給食をもとめます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
孫の医療費（1回500円）もばかにならない。義務養育の間は無料に出来たらと思う。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
私はいなか育ちだったが、昭和30年代～40年代の頃の義務教育期間は学校給食があった。今、学童の栄養補給の面からも、学校給食は無料で実施してほしい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
育ち盛りの中学生には、栄養の行き届いた給食が一番です。ぜひ実現してほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食は弁当でなく給食施設を各中学校に作って下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
給食は温かい学校調理方式に変えて下さい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食、冷たい弁当ではなく、温かい給食を実施して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
全員喫食は遅きに失する感がありますが、大変嬉しいニュースです。議会の抵抗に屈せずがんばってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリーでは全然だめです。大阪市でも大磯町でも破綻して自校調理になっています。失敗例に学び、最善の方法を段階的にでも追及するべきです。温かく雇用創出、災害対策にもなる自校か親子方式悪くてもセンター方式	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
給食は育ち盛りの中学生にとってはとても大事だと思います。内容も大切ですから、全員が栄養士のもとできちんと考えられたものを全員に食べさせたい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリーでは不十分です。自校方式をめざしてほしい。子どもたちを育てるのにお金をおしまないでほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
30年以上前から横浜でも中学校給食を実施させたいと署名運動を行って来ました。山中市長になってやっと全員喫食の給食が実施される方向になったことで市長選への確信をもてました。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式は他都市での失敗例もあり全校一斉に始められなくても自校方式、兄弟方式、センター方式など手作りの給食で始めるよう強く強く要望します。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は自校式・親子方式で実施して下さい。成長期の中学生には栄養のある食事が大切です。貧困生活にある家族にとって給食は大変な栄養源です。是非よろしくお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
小児医療費完全無料化26P	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の、主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食全員実施34P	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
お金の心配なく子育てできる街に30P	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
どの子にも豊かな教育を33～36P	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」及び政策6「豊かな学びの実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
26P所得制限なくして一部負担金をなくし、無料化してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
34P小学校と同じ給食をおねがいします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
88P出産費用の軽減（負担）、少子化対策を	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
子どもをしっかり育てることがとても大事だと思う。教育をしっかりやること、クラスの人数を20人にしてほしい。お金がない人も教育がしっかり受けられるよう子どもの差別しない	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食は小学校方式で実施を34P	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
「中学校給食」の全員実施を!!	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
横浜市小学校の給食の様に自前で温かい、みんなで食べられる中学校給食を実施して下さい。スペースがある所から順次実施。小学校から持ってくる事も考えて下さい。 署名をしていて中学生に聞きました。①温かい給食を!! ②全員で楽しく食べられる様に!! ③母親がお弁当が大変だと言っていた。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食の「全員実施」 デリバリー方式でなく、子ども達にぜひ給食をおいしく食べてもらいたいと思います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私の子どもは横浜に生まれ育ちました。中学時代上の子はバスケットの早朝部活をしてお昼前に持っていったお弁当を食べ昼食は菓子パンを先生に買ってもらったことがありました。下の子は学校から帰るなり「友達がお弁当持ってこなかったことで食べづらかった。どうしよう？」と言うので明日は友達のもも作ってあげるネ」といったらよるこんで次の日持っていきましたが「きょうはお弁当もって来たよ」と。先生がお家迄行って話したそうでした。</p> <p>・全員給食の進歩は本当にうれしい</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>温かい（給食）を学校で作って下さい。災害被災で避難所になる中学校のためにも。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、段階的でも良いから出来る条件が有る所から自校方式にして行って下さい。災害時にも利用出来る様にして欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>すべての子ども達が必要な栄養バランスの良い食事を摂る事が必要。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>美味しく頂く為には、自校方式が最も最善である。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34中学校給食はデリバリー方式ではなく、あたたかい給食を（親子方式等）にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校の「調理余力」を活用した学校調理方式の給食提供についても準備を進めます。（加筆する） （理由）川崎市は平成29年より、自校方式やセンター方式で「とにかく美味しい」「自然と健康になる」「みんな大好きな」中学校給食を実施しています。横浜市でも、出来たての温かい給食を中学生に提供する市の力量は十分にあります。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>・食育の観点から全員が同じ物なら何でも良いと言うものではない。子供が食べ慣れた、小学校と同じような自校方式や親子方式による、温かい出来たての給食を実施するように強く要望します。また、デリバリーの弁当であれば弁当の空がごみとして、どれだけの量が出るのかと考えると、CO2削減と真逆で、資源の無駄も、気候危機（問題）対策も、大きく影響するのではないかと。</p> <p>・地域農業の維持、発展のためにも、地産地消を第一に考えて欲しい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーの弁当ではなく、あたたかい出来たての給食が、横浜市のすべての中学生食べられるよう要望します。育ち盛りの中学生に豊かな食を保障することをもっと重視していただきたい。</p> <p>また、給食の施設は災害時にも活用できるのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜の中学生にも小学校のようなできたてであたたかい給食を食べさせたい。</p> <p>市教委のアンケートで中学生が「弁当作りの負担をへらしたい」「（今のデリバリー弁当をよくするとすれば）温かいのがいい」と答えていると聞きます。その2点を解決するのは、小学校のようなできたての給食です。大阪市や町田市もデリバリー給食からできたて給食に変更しました。これから実施するので、まわり道なし、ストレートにできたて給食へ、そして無償化へ</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「どの子にも豊かな教育を」</p> <p>「市独自で小1～中3まで、30人以下学級の実現を」具体化してほしい！</p> <p>正規の教員を増やしてほしい。そのために、新規採用の募集定員を1.5倍にしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生にも温かい給食が必要です。自校で作る以外も近隣の小学校の余力を使うなど、可能性を追求し、実現させてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>教職員の多忙化の解消</p> <p>子どもたちが生き生きと活動するためには、教職員の元気とやる気が必要です。そのためには余裕のある勤務がかかせません。無駄な会計やあまり役に立っていない研究などゼロベースから見直すよう指導してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食は育ち盛りでもあり、小学校と同じ様に作り立ての温かい給食を食べられる様をお願いいたします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食は小学校給食と同じように作り立ての温かい給食を食べられるようお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の給食は小学校のような給食にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校のように温かいご飯にしてください。（中学校給食の件）</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の給食も小学校と同じような温かい給食を出していただけたらと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食についてです。 最近山中市長はデリバリー方式で全員食べられる給食にする方針を出されました。 しかしデリバリーでは早速に朝作る為、冷たい弁当になり美味しくありません。私も孫が4人いますが、4人とも「美味しくないので食べたくない」と食べていません。そのようなデリバリーの給食、予算を使って始めることに納得いきません。他の自治体でも以前からデリバリーでやっていたが「あまりにも残ることが多い」という理由から中止にしたり自校方式に変更してきています。是非この横浜市に産まれた子ども達に美味しい温かい給食を提供してほしいと思います。自校方式といっても今小学生が減っています。それならばその小学校で近くの中学校分の給食を作ったり車で配達する方法があります。予算も少なくできます。是非一日でも早く成長期の中学生の為に温かい給食・全員が食べられる給食を実現して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用の増額についてお願いしたいと思います。 今の若い夫婦の賃金は低い現状です。「経済大国」の日本はすでに昔のことになり、賃金のアップは微々たるもので世界の中でも低く恥ずかしいと思います。 出産費用についてはかなり昔から同額の補助となっており、びつくりします。 実際は医療費や部屋代、病院で出される食費等も上がっており、支払いが大変になっています。子どもは日本の宝です。若い夫婦に元気な赤ちゃんを安心して産み、育てることができる環境が必要だと思います。 今すぐにも増額を検討して、実現するよう強くお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子供達には自校式のあたたかい、お弁当食べさせてあげてください。 私も息子が中学生の時から望んでおり、50年もこの問題にかかわってきました。 早く実現して下さい。子供は宝です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>カジノIRでこそ、ヨコハマは大発展すると前市長の主張を横浜市民は拒否。カジノは止められました。市民の声に依拠して中学校給食を実現して下さい。 自校方式での予算をくみ、市民に示して、大きなエネルギーを結集して実現して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は小学校と同じようにあたたかい給食を全員が食べられるようにしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は全員が温かいものを食べられるようにして下さい。 親子式センター式ふくめて考えて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は自校（センター）方式でお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校方式又は親子で調理する学校給食が良い</li> <li>・デリバリー方式は冷たくなるし、アレルギー対応がむずかしい</li> <li>・生徒全員が安心安全で食べられる給食をお願いします。</li> </ul>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10代の成長期の子どもには出来合いの弁当ではなく、栄養のいき届いた給食を食べさせたいです。</li> <li>・お弁当の残量が多いとの事ですが食べ物を捨てる事はもったいないですし精進教育上も良くないと思います。</li> <li>・全国の中学校の9割が給食なのに、なぜ横浜は配達型業者弁当にするのですか？</li> <li>・横浜市教育委員会が作成した調査票では自校方式・親子方式・きょうだい方式など、ミックス方式を採用すれば、学校調理方式の中学校給食が実現できるとあります。</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館、区に最低1つはほしい。都筑区は広いし、人口も増える一方なので2つほしい。 車いすごと入場できて読めるスペースがほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食—デリバリーは応急のもの。自校方式・親子方式のあたかいかいもの食べさせたい。デリバリー反対。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1について、政策5での中学校給食に関しては十分な検討がなされたのか、何故、中学校給食を全員喫食にしなければならないのか、その根拠をデータで示してほしい。また、給食の方式についてもデリバリー方式が生徒たちの満足のいく方式なのか検討過程などの情報公開がされたのか。資料の開示を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>郊外部に住むものとしての生活実感から、次世代にも魅力のあるまち、子育て世代が住みたいまちであるために、学校の統廃合について注視してほしい。このような項目がなかった。学校制度の中で子どもたちが育っていくことを忘れてほしくない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>&lt;戦略5、政策1について&gt; 中学校給食に関して、「デリバリー方式による全員給食」への意見です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 喫食率が低いということは、生徒が食べたくない給食ということです。喫食率の低さについて、要因分析をしてください。「おいしくない」の回答については、何が原因でおいしくないかまで分析して、それを改善した上で全員給食を導入してください。人気がある小学校の給食と比較し、マヨネーズ、ケチャップなど、既製調味料を多様している点は、不人気の一因と考えます。自然な味付けを。</li> <li>2. おかずの容器を「冷用」「温用」に分けて、それぞれのおかずを適温で食べられるようにしてください。現状の19度での提供は、おいさと衛生の両立、と市は謳っていますが、19度で提供される八宝菜が本当においしいのか、実際に食べて、真剣に考えてみてください。</li> <li>3. 喫食率が低いデリバリー給食を、そのまま全員必須にするのは、あまりに乱暴と考えます。</li> </ol>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「子育て家庭応援ハマハグ」アプリ登録しましたが、ほしい情報不足。駅トイレ情報など、子連れで出かけるのに必要な情報にもっと特化してもらえると嬉しい。めぐろ子連れマップみたい。利用者や子育て支援拠点からの情報提供を求めて、それを元に協賛店舗施設に登録依頼しながらバージョンアップしていくのもいいのではないかと思います。</p> <p>民間のアプリと連携は検討して利用方法の拡大は検討していますか？最近、区とアプリの会社は連携協定を締結しています。子育て世代向けのイメージ強いです。自治会との連携もできるそうですね。</p> <p>「ここdeサーチ」内閣府作成したもののショートカットが横浜市川崎市ホームページありますが情報が質優秀すぎるよう携帯やタブレットでみれたことがあります。「よこはま働くママ応援隊」は検索してみたことがあります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 中学校給食の方針に賛同します。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式の中学校給食で、子どもたちが美味しく食べられる給食を提供できるよう、頑張ってください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小学生の子どもがいて共働きのので、中学校給食が全員で食べられるようになることを期待しています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食について 方針に賛成します。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について デリバリー方式でも、子どもたちに栄養バランスの取れた美味しい給食を提供できるよう、頑張ってください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について方針に賛同。しっかりがんばってください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小学一年生の子どもがいます。中学校に上がる前に、デリバリーでも美味しい給食を食べられるようにしてください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食の方式に賛成します。頑張ってください</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 10歳の時から横浜で育ち、当時大都市化が急速に進む横浜では学校建設だけで大変、給食室を作るのは無理、中学校では給食がないのは当たり前と思って過ごしてきました。教員になって最初の保護者面談で一人のお母さんから「なぜ横浜の中学校では給食がないのですか？」と聞かれ答えることができませんでした。今やっと全員喫食の方向性が出されて良かったと思いました</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 内容がデリバリー弁当では、がっかりです。孫が中学生になり「はま弁」の感想を聞いたら「異様に冷たいんだよね」というのが最初に出た言葉でした。（だからあまり利用していない）他都市ではデリバリー弁当が不評で、調理方式に変更していると聞いています。横浜で全員デリバリー弁当を実施するにも多額の予算が必要とされるでしょう。やってみてやっぱり調理方式が良かったと変更するのでは二重にお金がかかってしまいます。だったらできるところから「あたたかい給食を提供できる」調理方式を検討してください。横浜でできるということを示してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1 小児医療費の無償化は遅きに過ぎました。所得制限をつけずに早期に実現して欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 中学校給食は早く全員給食にして欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 給食の実施日を増やして欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の実現応援しています。デリバリー方式でも進めていくことが大事です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー式給食は廃止し、すべての中学校で「学校調理式」の給食を。デリバリー式は欠点が多く、多くの自治体で廃止に向かっている。各校の事情を細やかに精査したロードマップを策定すれば、「学校調理式」の実現は可能である。 一斉開始にこだわらず、大阪市のように、数年をかけて、順次「学校調理式」を実現すれば良い。 「学校調理式」ならば、あらゆる土地調達を必要とせず、国からの補助も得られるので、初期費用も抑えられる。 ランニングコストも低い。その分、給食の質を上げることに注力することができる。 選択制のデリバリー式を全員強制的に移行させるというのは、子供のことを考えていない愚策である。 時代の潮流に逆行する。基本戦略の「子育てしたい街」にも反する。SDGsにも反する。 デリバリー式は廃止し、すべての中学校で「学校調理式」の給食を実現すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式で保護者や生徒が望む「温かい給食」ができる方法を探してほしい。 また、共働きなので、朝のお弁当作りは負担になっていた。これまでは、食べている友達が少ない日もあり、利用をためらう気持ちがあったが全員がデリバリー方式でも食べることにできれば、子どもも安心して食べられる。 さらに、各学校で全員で食べる給食のスタートの時期が違ってしまうということになると、公教育として問題だと思うので、同時期にスタートしてほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画に、現在は「選択制」であるデリバリー給食を「全員制」に移行することが盛り込まれているが、これは絶対に中止すべきである。</p> <p>全員喫食を目指すハマ弁は、絶対におやめください。</p> <p>ダメな理由をあげつらって中学給食実現できぬまま耐え忍ばせてきた横浜市。20年以上給食実現を目指す署名活動に協力してきましたが何ら変わらず。あの個人情報はどこへ行ってしまったんでしょう？</p> <p>政令都市なのに中学給食を政治利用して、このような悪環境を強いているのは全国どこを探してもなく横浜市だけです。少子化なのに子どものことを一切考えていない。</p> <p>組織の顔色だけうかがってきた人たちが司ってきた結果、ではありませんか。</p> <p>税金を要らない口モノにじゃぶじゃぶ使っておきながら、給食施設も満足に備えずにいるなんて恥ずかしいし、市民として怒りを覚えます。</p> <p>この先についてご提案します。</p> <p>細かく一校ずつ検証していくとマンモス校もあれば小規模校もあるし、隣接した小学校がある中学校もある。一括りにして給食室設置の可否を決めるやり方がおかしいのです。</p> <p>私たちが調査した結果、「学校調理式」が全校で実現できます。</p> <p>親子式、センター式、デリバリー方式、きょうだい方式、など学校整備の可否はこれまでも検討されてきたことと思いますが、学校の敷地内で給食を作る「学校調理方式」は最もコストも抑えられます。</p> <p>現在でも3割程度の利用者しかいないハマ弁を全員喫食にして推し進めようという感覚がおかしいです。</p> <p>おいしくないものを15分という短い時間の給食で食べさせて、おひるごはんの楽しみを奪うのですか？</p> <p>今は小学校給食も貧困なメニューになっていると聞きます。</p> <p>どうか、この辺で給食の在り方を子ども目線で考え直してほしい。</p> <p>間違っても市外の業者に頼んで、デリバリーさせる弁当などやめてください。</p> <p>そんな税金の無駄使い、腹立たしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー給食は廃止し、すべての中学校で『学校調理式』の給食を。デリバリー給食には欠点が多く、多くの自治体で廃止に向かっている。各校の事情を細やかに精査したロードマップを策定すれば、『学校調理式』の実現は可能である。一斉開始にこだわらず数年かけて実現できる中学校から順次『学校調理式』を始めればよい。『学校調理式』ならば新たな土地調達を必要とせず、国からの補助も得られるので初期費用も抑えられる。ランニングコストも低い。その分給食の質をあげることもできる。選択制のデリバリー式を全員に強制させるというのはひとりひとりの子どものことを考えておらず、時代に逆行している。デリバリー式は速やかに廃止すべきである。お隣の逗子市では9月より食缶式の中学校給食が始まっている。これで中学生は温かいおかずとご飯が食べられている。デリバリー給食よりもずっと人間的だと思う。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1・2 マスコミ報道で、児童の虐待事件がたびたび出てきますが、人知れず孤独死を迎えてしまう方や、精神疾患を抱えながら生活保護を受けながらろうじて生きている方など、市内にも困難を抱えながら、誰かに相談することもできずにじっと耐えている方が存在します。</p> <p>各区役所に福祉のプロ（専門教育を受け実践経験のある方）を配置し、市民が気軽に相談できる窓口を作してほしいと考えます。現在配置されている職員数では市民の困難に寄り添うことは困難だと思います。一人のワーカーが抱えているケースだけでも対応しきれない状況が伺えます。また、今後の事も考えれば、若手職員の育成も必要ではないでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1：全中学生を対象とするデリバリー式中学校給食は一步前進だと喜んでいきます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
戦略1：小学校と同じように、成長期の中学生に対しても、自校方式の温かい給食提供を目指してほしいと考えます。市内の老朽化した学校校舎の建て替え計画があると聞いていますが、その際、給食室を作ることは、災害時の地域住民の職を補償する手立てともなりますし、子供の成長にも大きな役割を果たすのではないのでしょうか。予算との関係で時間がかかっても、段階的にも、中学校の自校方式給食をぜひ目指していただきたいと考えます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食については、デリバリーでみんなが美味しく食べられる給食を実現できるよう期待しています。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食について、方式に賛成します。美味しく食べられるように工夫してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
政策1、2について：3歳未満のお子さん(無償化対象未満の年齢)を家庭だけで育てている方へ、もっと保育支援があってよいと思う。共稼ぎでない世帯のほうがむしろワンオペの可能性もある。園での一時保育の確保や、一時保育や子育てサポートを利用できるバウチャーの配布などが考えられないか？	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
政策3について：子ども食堂やフードパントリーなどは民間での素晴らしい取り組みと思うが、「あったら嬉しい」というプラスアルファであるべき。食料や制服・学用品のような必需品に事欠かぬよう、行政としての具体的支援策が必要。	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
政策5について：中学校給食の実現について、可能な限り温かい食事がとれる方向性で考えてほしい。我が家には今中学2年生の子どもがおり、入学当初、月に何回かハマ弁を試したが、数か月したら「お弁当がいい」と言い出した。私も試食会で食べたことがあるがお世辞にも美味しいとは言えず、ご飯やスープも保温材から離れているものは冷たかった。できることから、自校方式＞親子＞センター＞どうしてもダメなら弁当デリバリー（飛行機みたいに温めるなどできないか？）、という具合に平等でなくてもベストエフォートで良いのではないか？（そもそも食事に限らず立地条件やPTA活動など平等ではないし（公立学校と言えども）教育内容さえ同じとは言えないのだから）	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
財政状況も厳しくなる中、中学校について全員給食を実現するためにデリバリー方式を選択するのは妥当だと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食について、デリバリーでも、バランスよく美味しく食べられる給食が提供できるよう、ぜひがんばってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食について、全ての学校で同じ方法で提供できるデリバリーに賛成します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食については、共働き世帯が増える中、全員給食の実現に目処が立ってよかったです。この方針でしっかり進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校の給食（16回。たった）については、生産性やコスト面での視点に偏ったデリバリー式をゴールとすることではなく、教育（122回）の1つとして当事者である中学生や小学生を巻き込んだ検討会を継続して進めて、2030年頃目途に少なくとも現行小学校並みの給食を実現できるようにすべきだ。現行の給食でさえ、最終形ではないと思う。給食はとても現代的で常に身近なモノなので、中学生・小学生の誰もが考え意見を交換し合うことの出来るとても素晴らしいテーマとなる。教育に関して、市が嘴を挟むことは控えるべきだが、衣食が満たされない社会からは決して次代を担う人材（118回）は生まれて来ない（新しい人材が生まれないと世襲が蔓延る権威主義国家に成り下がってしまう）。日本一素晴らしい給食の市と、皆から言われるようになりたい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の方針に賛同します。デリバリーで美味しい給食を提供できるよう頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー式給食と学校調理式両方に対応出来るようにして欲しい 学校側がそれを選択出来る形にして欲しい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 孫が温かいおいしい給食を小学校で食べてきました。同じような給食を中学校でも食べさせたいです。 特に昼食を食べることができない中学生が増えていることを考えるとぜひ全員喫食で温かい給食を食べさせたい。 デリバリーということになると民営化である。世界的に見ても民営化には大変問題があることが明らかになっている。 大阪でできたこと（デリバリーから調理方式への変更）を見習ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 P34すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について、中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食に向け準備を進めるとの横浜市の方針に賛同します。着実に早く進めてほしいです。遅すぎます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P34すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について、横浜市の方針を支持します。 「全員で食べる中学校給食」を方式は問わず、やる、やらないの議論はもう終わりにしてとにかく早く進めてほしい。遅すぎるくらいだ。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 P34すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について、今回の横浜市の方針に賛同します。「全員で食べる中学校給食」の実現に向けて、日本最大の生徒、教職員約83,000人に対する供給体制の確保は大変。今回の方針のもと、着実に早く進めて下さい</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食に向け準備を進めるとの横浜市の方針に賛同します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の実現について、今回の横浜市の方針に賛同します。今回の方針のもと、着実に早く進めて下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 子供ひとりひとりを大切に教育 中学校給食について・・・給食は誰でもあたたかいものが食べられ学校方式でやってほしい。無理な学校は当面センター方式で実現してください。デリバリーにこだわっている政党は業者との癒着があるのではないのでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策6 豊かな学びの環境を 教員を増やすこと、教員の過重負担をなくしてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の実現をよろしく願います。 全員の生徒さんに、必要な栄養が平等に行き渡ることが何より大切です。また、デリバリー方式に賛成です。小学校の給食は当番の負担があり、配膳も教育的にはあるかも知れませんが、品数など限界があります。まずは効率的で衛生的な方式、かつ継続できる方式とすべきと考えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学給食を現在の「全員実施」方式を実現して、更にデリバリー方式では無く、「学校調理方式」を一斉ではなく段階的に時間をかけてでも実現することを望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は学校方式で。親子、兄弟、自校、複数の親から等、やろうと思えばできます。是非とも、少しずつでも、実現を！</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用をゼロに。お産は30万円とも40万円とも言われている。食べるにも困っている人は子供を産めない。是非とも実現を。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリー型学校給食の早期実現！ 実現可能性重視！学校調理方式などの時間のかかる検討は後回し！</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」からは、デリバリー給食はあり得ない。大阪市も生徒・保護者の要望からデリバリー方式を変えたという。しかも、これを20年以上変更できないという、将来の選択をも排除するような決定は認められない。生徒の満足を考えるのなら、「温かな食事」が最低要件である。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示ししました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市の文化行政を改める必要がある。まずは、港北区のような大きな区でも図書館が一つという現状。これだけの人口がある自治体には、数館の図書館がある。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5の「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」について すべての生徒という対象は、親が含まれないのか。本当に困っているのは親である。子育てしやすい、働きやすい環境を実現してほしい。 結果、満足という定性的な表現については、生徒に対して早期実現で満足に近づけてほしい。 今の生徒は3年間で入れ替わりますが、将来生徒になる子どもたちが満足できる中学校生活を送らせたい。 素案に掲げた内容の実行をお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー給食の早期！実現してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>学校調理方式はあくまで、早期にできるならやれば良い。 又は、できるモデル校に限定すれば良い</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示ししました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食で食育を。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子どもの医療費はゼロをお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>現在のデリバリー給食について、子どもが冷たくておいしくないと書いています。できたての給食を実施してほしいです。</p> <p>デリバリー方式は、他都市で残食が問題になっています。冷たくておいしくないので、そうになってしまうと思います。自校・親子方法などで実施すれば問題は解決すると思います。いっせいに実施しなくても良いので、できるところから進めてほしいです。焦って形だけ整えると、失敗すると思います。</p> <p>調理室のスペース問題は、2階建てにするなど工夫すれば解決できると思います。横浜市の検討した2階建ての図面と川崎市が実施している自校方式の2階建ての図面を比較してください。横浜市の2階建てでは、スペースが狭すぎます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>選択制から給食を原則としたことについては、大歓迎です。生徒が同じものを食べることで、食育を推進できると思いますし、何より生徒に楽しい時間を提供することになります。ぜひ、このまま進めてほしいです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>34ページの中学校給食について賛成します。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 P34全ての生徒が満足できる中学校給食の実現について、中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食に向け準備を進めるとの横浜市の方針に賛同致します。着実にまた早期実現に向けて推進して行く事が必要と思っております。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>いつも横浜市民のためにありがとうございます。</p> <p>小学生の子どもをもつ保護者です。</p> <p>子どもは通常学級ですが、支援学級の子どもたちと同じクラスで、共に学ぶことを希望いたします。</p> <p>以前、授産施設のお祭りに行ったところ、歓迎して下さる気持ちは、大人の私は理解でき嬉しかったのですが、子どもは、突然近くで大きな声で話しかけていただいたりして、萎縮するようなことがありました。</p> <p>そのような経験から、幼少の頃から、地域や幼稚園、小学校で、障害のある人もない人も、混ざりあって生きていけば、多様な人々が存在することが自然と分かり、協力することが当たり前になって、豊かな社会になっていけるのではないのでしょうか。</p> <p>様々なメディアから、通常学級と支援学級に分けずに運営している学校もあることを知りました。</p> <p>すべての子どもたちがありのまま安心して育ててほしいと願っています。</p> <p>教職員不足で本当に大変だと思います。いち保護者として、日々考えて行動していきたいと思っています。</p> <p>今後ともよろしくお願ひいたします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「出産費用（基礎的費用）の無償化を含む妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減を図ります。」とありますが、基礎的出産費用の無償化については早急に実現してください。それに加え、妊産婦検診・検査、産後母子ケアなど出産に関わる全ての費用の無償化を目指すことを計画に入れることを望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「中学3年生までの医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃」することは評価できます。さらに、「中学3年生までの小児医療費は完全無料化する。」という文言を加えてください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、安定的な保育・幼児教育の場の確保に取り組みます。」とありますが、3年後の目標人数だけでなく、待機児童ゼロを目指すことを望みます。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「ヤングケアラーについて、……実態把握調査の結果等を踏まえ、支援策の検討を進めます。」これから検討を進めますというのでは遅すぎます。「できることから支援・対策に取り組みます。」としてください。	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
「中学校給食の利用を原則とし……デリバリー方式による供給体制の確保」とあります。選択制から「給食利用を原則」（全員に供給できる体制確保）とした点は評価できます	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリー方式は「温かくない」などの問題があり、他都市では学校調理方式への転換が進んでいます。デリバリー方式ではなく、自校調理方式や隣接する小学校からの配送等の見直しを強く求めます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
「小学校における35人学級の段階的な実施に伴う教職員の確保」とありますが、小6までの35人学級を横浜独自で早めに実施・完了することを望みます。また、それに見合う教職員の確保・配置を目指してください。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
児童生徒の急増地域や減少地域における学校規模の適正化」とありますが、小学校では1学年1学級でも適正な規模です。機械的・一方的な統廃合は行わないようにしてください。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>すぐに全員喫食の中学校給食を実施してほしい。</p> <p>横浜市は何十年も、中学校給食は行われないうままだったがそれでも人口は伸びてきた。</p> <p>だが、ここきて市税収のメインである住民税の確保というのも減少化するだろう。円安による物価高や長引くコロナで夫婦で働いても金銭的余裕が少ない家庭において小学生だけでなく中学生への弁当作りは各家庭において大きな負担になっている。</p> <p>食は重要なばかりでなく貧困化する家庭環境のなかで朝食は抜き、夕食も一人で取るという児童も増えていると聞く。</p> <p>そんな中で、栄養がしっかりし、同じ食をコミュニケーションを取りながら味わう給食の地位は重要になってきている。SDGsの意味からも有益。</p> <p>現在の任意デリバリー方式の給食では、行政の一括した補助も望めないが、すでに東京都などでも区ごとに補助割引を掲げたり葛飾区のように無償化を謳っている区もある。</p> <p>横浜市も人口減少への危惧は大きいと思うが、これでは先細りが目に見えている。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5の「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」 1の「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」について。 市の素案では「デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえ る・・・」となっていますが、今必要なは学校に通う生徒がみんな一緒に食べる ことのできる給食です。家庭の状況は様々です。働いている母親も増えている状 況で、その働き方も多様になっています。様々な事情で昼食を充分準備できず、 買い弁当やパンだけおにぎりだけの家庭もあります。教育としての給食、小学校と 同様の給食を実施することを要望します。できるところから構いません、順次整 備し、「地産地消、地域の郷土料理・・・」とあるように、学校教育の一環としての 給食、生徒の意見も取り入れながら学校で工夫できる給食の実施をしてくだ さい。 横浜に10年前に越してきて驚くことが沢山ありました。中学校給食が無い、今や 中学校給食の無料化が他の自治体では議論されている中で、驚きです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館が区に一つしかない。等など、子どもや住民を大切にする施策を進めてください。図書館を増やしてください。小型の図書館でも地域の中に、自転車を通 える範囲に作って下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>政策6 豊かな学びの環境の実現・・・ICTをもっと活用するために教員の免許もつ いたICT指導者（8時間勤務/日）をすべての学校に毎日1人は、派遣してく ださい。 今派遣されている方は、教員の免許を持っていない。しかも毎日来てく れない。 教員は、使い方にたけていなくて、準備をしてもいざとなるとトラブって授業時 間を無駄にしたということを耳にします。それは、教員に十分機械操作等の技術 を身につけさせてこなかったからからです。その時間を勤務時間内に与えてきま せませんでした。 また、ICTをつかった授業を作りたいといっても、今、来校している人は、教員免許 を持っていないので相談にのれないようです。結局、自作ができなくて、業者任せ （業者＝悪というつもりはありませんが）教師の教材意欲・研究は減っていきま す、豊かな学力を持った子どもに育てるには自分の学級・学校にあった授業を作る 必要があります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に した教育の推進」及び政策6「豊かな学びの環境の実現」に 関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>保育子育て政策について、 静岡のバス事故で、全国の園バスに安全装置を付けることになりました。このこと は喜ばしいですが、 保育園での事故は、増加傾向にあります。内閣府でも、教育保育施設事故 は、平成28年は13件。27年は14件。26年は17件。25年は19件。24年は 18件あります。 朝日20年の保育所・保育施設での事故は、1586件。死亡事故は5人でした。 現在の予算措置では、保育士は、4・5歳児24人を一人で保育することになっ ています。そんなことが可能と思いますか？ ぜひ将来の横浜を担う子ども達に予算措置をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支 援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計 画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校に必要な先生（担任の先生）も足りなくて、学校の中でやりくりしている 現状、副校長先生が実質の担任になっているとかの例をききます。 ちゃんと正規の先生を採用して生徒にしわよせがいかないようにしてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」 に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1の2、p26基礎的出産費用の無償化実現</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支 援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参 考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5の1 p34学校給食法に基づき、すべての子どもに必要な栄養を摂取できるよう、中学校自校方式の給食の実現をお願いします。</p> <p>子どもの貧困が問題になっています。今のハマ弁では、すべての子どもに栄養を摂らせることはできません。</p> <p>小学校と同じように温かい食事を全員で取ることは教育的にも非常に意味があります。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>自校方式の中学校給食は、教育現場に不平等を持ち込ませないために、不可欠と考えるので、ぜひ実現してほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学生にもあたたかい給食を！親子方式</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 主な施策1 中学校給食の実現について</p> <p>横浜市教育委員会の調査では、自校方式可能校39校、親子方式可能校22校、兄弟方式可能校11校とありました。まずはこの可能な学校から実施し、足りないところはセンター方式で行う等、生徒が満足する温かい給食の提供を進めて欲しい。災害拠点としても、学校で調理する仕組みを作ることが将来にわたって有効だと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー弁当は副食が冷たい。感覚過敏の特性のある子どもにとっては、それだけで食べられない子もいる。栄養的にも小学校の給食のような、栄養管理のされた作りたて給食を実施してほしい。一斉に開始することにこだわらず、できるところから開始してほしい。</p> <p>共働きで毎日弁当を作るのはとても大変ですし、家庭で作った弁当を数時間保管することは食中毒の心配です。また食育の観点からもぜひともデリバリー弁当ではない給食を実施してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34の政策5-1について</p> <p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実施とありますが、生徒・保護者が求めているのは「温かい給食」です。市が現在行っているデリバリー方式では衛生管理上不可能なようです。自校式やセンター式などの再検討をお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>抽象的内容が多いなか、政策5では中学校給食についてデリバリー式での全員提供の体制確保を明記しており、生徒・保護者らの要望を反映していない。他都市で導入後に失敗が明らかになって撤退した事例の多いデリバリー弁当を今更採用するのは周回遅れであり、「子ども一人ひとりを大切にしたい教育」とは言い難く、反対。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の完全給食は強く願っています。横浜市ならではの方法で実現してくれらと願っています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>母子家庭で3人子供がおります。 中学生二人高校生一人 完全に給食にならないのでしょうか？ ハマ弁が給食という名前になっただけです。 あれは給食ではありません。温かい給食を小学校と同じような給食をお願いします。 毎日3人のお弁当だけで食費がかかって大変です。 それでも給食じゃなくてお弁当なのはクオリティの問題かと思ます。 器も量も温度も適切とは思えません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>（政策5）中学校給食について、デリバリー方式による全員供給の体制確保としているが、デリバリー弁当は冷たさや味の改善が難しく、生徒保護者らの要望も反映しておらず、反対。 他都市で導入後に失敗が明らかになって撤退した事例の多いデリバリー弁当を今さら採用するのは周回遅れであり、そこに公金を投入するのは貴重な税金の使い方としても無謀で不適當。 学校ごとの条件に合わせて工夫し学校調理方式による給食を実現すべきです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 33～34ページ中学校給食 「選択制」のデリバリー式を「全員強制」に移行させるというのは、子供のことを考えていない愚策である。 時代の潮流にも逆行する。「中期計画」の基本戦略「子育てしたい街」にも反する。SDGsにも反する。 デリバリー式は廃止し、すべての中学校で「学校調理式」の給食を実現すべきである。 そもそも中学校に温かい給食をというのは市長の公約だったはずだが、このような形で実現しても誰も納得しない。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校のデリバ給食化に反対します。 中学生に温かく出来立ての給食を出してください。自校式、親子式で可能です。政令指定都市で中学校に給食がないのは横浜市だけで、しかも不味くて評判の悪い弁当を中学生全員に食べさせるとは、何の拷問ですか。 千葉には地産地消で有機農産物の給食を提供しているところもあります。 お金が足りないわけではありません、花博やら三ツ沢の新スタジアムやら湯水のようにお金を使ってるではありませんか。 自校式親子式で給食を提供することはそれほど費用をかけずできます。 子どもたちの身体作りの為にもデリバの給食を止めてください。子どもたちのために一番良い給食を考えるのが行政の役目ではありませんか？ 何かの利権ですか？としか思えません。横浜は子育てに向かない街です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 33～34中学校給食について：中学校給食を冷たいデリバリー弁当の全員給食とするやり方に、市民として反対します。市長就任以来、時間をかけて議論してきたはずですが、今回の中期計画を見ると、本当に市民の声を聞いたのでしょうか。他の自治体の例や地域の工夫や調整で、その結果、横浜の次世代に向けた政策がこうでしたら、誠に情けないと思います。子供を大切に市政であるならば、全員でおいしい温かい給食を食べられるような中学校給食にしたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5中学校給食の案に賛同します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5ー中学校給食について。横浜市の中学校給食を、デリバリーではなく、自校方式を中心としたあたたかい・おいしい給食で、145校中実施可能なところ（すでに2校では実施中）から実施してください。全国の政令指定都市の中でも、デリバリー方式ではなく完全給食を実施しようと、県内では相模原市、県外では神戸市・堺市で計画がされています。昨年実施をされた生徒・保護者アンケートでも、希望が多いのは、『あたたかい』『わくわくするおいしさ』です。2025年からというのではなく、現状で自校方式・親子方式・ミックス方式など、実施可能なところから、あたたかい・おいしい中学校給食をはじめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」と書かれておりますが、すべての生徒が満足するためには、現在実施されている「デリバリー給食」ではなく、小学校のような自校調理方式あるいは親子方式、この2つが困難ならセンター方式で実施すべきです。 現在の「デリバリー給食」は、「冷たい」「おいしくない」と言われています。 先日行った給食アンケートでも生徒が望むのは、「温かい」「美味しい」給食です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策3 困難な状況にある子ども・家庭支援について 令和2年度の横浜市の不登校児童生徒数は5,687人。横浜市の行っているハートフルスペースなどの居場所もありますが、民間のフリースペースやフリースクール、小さな居場所など当事者の保護者などが運営している居場所もあります。私もフリースペースの運営にかかわっていますが、自分たちで出資したお金で基本運営しながら、毎回様々な民間、公的助成金に応募しながら切り盛りしています。安定して運営していくためにぜひこのような施設に対応した公的補助をしてください。不登校の子どもたちは学校に戻ることを前提にした居場所は、心理的に適応しない子が多いです。子どもが自分らしくゆっくり過ごし、自分の生き方を決めていく環境が必要です。私たちのような小さな居場所こそ自分を取り戻す居場所となっています。横浜市は「国の動向を見て（助成するか）決める」としていますが、子どもたちは待たないです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」等に関連するご意見として、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>23ページ、安心して子どもを産み育てられる環境づくり、ですが私は今年出産を経験しましたが不安も多いです。出産一時金ではまかなえない費用に加たくさんの赤ちゃんを迎えるための費用。東京で出産した子は出産祝いで10万円の補助金があるそうです。少子化の今、横浜で子育てはしにくい、というイメージがあります。変えていただきたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
26ページ、小児医療費助成の所得制限の撤廃はもちろん中学3年生までというくくりも撤廃していただきたいです。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
34ページ 中学校給食の実現ですが、何年やってらっしゃるんですか？子供にきいてもママ弁はまずい、そんな声ばかり。デリバリーではなくきちんとした給食体制をつくってください。子供にしっかり税金を使ってください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
p 34 1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた準備を進めます。について →デリバリー方式は冷たいです。温かな給食を望みます。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食について。 給食を受け取る場所が、教室から遠いそうです。もっと受け取り場所を増やしてほしいです。 食べる時間が短すぎるので、あと5分以上欲しいです。部活の時間は、もっと短くてかまいません。 食べる生徒が少ないので、利用しづらいです。小学校のように、全員原則給食を食べることにしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
政策5 P 34すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について、今回の横浜市の方針に賛同します。 「全員で食べる中学校給食」の実現に向けて、日本最大の生徒、教職員約83,000人に対する供給体制の確保は大変とは思いますが、今回の方針のもと、着実に早く進めていただきたいです！	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
戦略1の政策5中学校給食について 冷たいせいで「マズイ」と言われるのは作る人に失礼。温かいおかずと冷たいおかずを分けた容器に入れて、適温で提供してください。 ご飯や汁物が温かいのだからできるはず。いつも出来ない理由ばかりを述べているので、やる気がないだけ、と感じる。 おかずの種類が多くて、作る人にも負担がある。仕切りごとに全て違うおかずにしなくても良いので、その労力を適温提供に費やしてほしい。 親子給食にすれば、解決すると思う。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関連するご意見として、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食について 横浜市にも待ちに待った中学校給食が、いよいよ全生徒対象に行われることになりました。市民が選んだ山中市長が誕生したうれしい結果として、実現がかない、感無量です。自分の子どもたちの時には間に合いませんでしたが、これから女性の社会進出が当たり前になって来る時に、いつまでも家庭に弁当作りを強いるような前世代的なやり方は変えるべきと、ずっと思ってきました。 確かにデリバリー方式には、まだまだ改善の余地はあるとしても、まずは中学校給食を始めることが肝心です。実施していく中で、どのように改善していくべきか、生徒や保護者や学校の意見を聞きながらしていけばよいと思います。 とにかく始めることが大事です。推移をあたたく見守りたいと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 33から34ページの「給食政策」について 「選択制」のデリバリー式を「全員強制」に移行させるというのは、子供のことを考えていない愚策である。 時代の潮流にも逆行する。「中期計画」の基本戦略「子育てしたい街」にも反する。SDGsにも反する。 デリバリー式は廃止し、すべての中学校で「学校調理式」の給食を実現すべきである。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P23の戦略1「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」に「未来を担う子どもを育む子ども・子育て支援の充実」「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」とあるが、所得制限で子育てにかかわる助成金がカットされる世帯への手当を市から補填してほしい。そういった取組みが若い世代を横浜市へ呼び込むことに繋がる。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>P35-36の政策6「豊かな学びの実現」施策1「教職員の採用・育成・働き方の一体的な改革」の施策指標「2か月連続で時間外在校等時間が月80時間超の教職員数」の月80時間という値は適切なのか。「働き方改革」と言うなら時間外労働はせめて月50時間が限界の許容範囲ではないか。「#教師のバトン」等SNSで教員の過酷な勤務が明るみに出中、4年後も月70時間超の教員が多くなるようなスピード感のない目標では、教員になることに魅力を感じないのではないか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 p34すべての生徒が満足ができる中学校給食の実現について、今回の横浜市の方針に賛同します。全員で食べる中学校給食の実現に向けて、日本最大の生徒、教職員約83,000人に対する供給体制の確保は大変、今回の方針のもと、着実に早く進めて下さい。方式は問わず実現させて下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P29の政策3について、世帯の所得分布で1000万円越えの世帯が多くありますが、単身で1000万をゆうに超え児童手当を受け取れない世帯に対して、横浜市から独自に児童手当をいただけると横浜市で子どもを育てるメリットと甲斐があり嬉しいです。財源が厳しいとは思いますがご一考よろしくお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>P35の政策6について、学校におけるICT教育で、コンピュータサイエンスの触りの教鞭を執れる資質を持つ教職員を育て、学校教育に本格的に取り入れてもらえると嬉しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>デリバリー弁当は冷たい。 温かい給食を市民は望んでいるのに、全く意見が反映されない。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実現に向けて横浜市の方針を支持します。 全員で食べる給食を方式は問わず、とにかく早く進めてほしいです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策1 1 妊娠・出産・子育てに関する普及啓発及び相談支援の充実→不妊治療等や妊娠中に仕事を気軽に休めない人は多いです。安心して必要に応じ休暇がとれるよう制度設計をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策2 3 保育・幼児教育を担う人材の確保→公立の保育園幼稚園を増やして、保育士さんに十分な給与を保障するのが良いと思います。ちゃんとした収入がないと優秀な人材が幼児教育の現場に入ってこれないと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現→アレルギーのお子さんはお弁当というのがアレルギーのお子さんを持つ親御さんに寄り添っていないと思います。アレルギーを持つお子さんにも安心できる給食を別途提供することは重要です。今のデリバリー給食も栄養士さん頑張っていると思いますが、災害時の炊き出し対策ができる給食センターの設置も考えてはいかがでしょうか。厚木市で集約した給食センターを設置した記事がありました。またやはりデリバリーはおかずが冷たいので保温庫、温蔵庫で対応はできないでしょうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 P34すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について一日も早く、中学校給食を実現してほしいです。育ち盛りの中学生にバランスの良い、栄養のある昼食を食べさせてあげたいです。デリバリー方式なら早く実現できるのではないのでしょうか。地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食など、食育にも大いにメリットがあると思います。日々の弁当作りが難しい家庭にとって、給食は必要不可欠です。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について 自校方式や親子方式で、小学校のような温かい給食を実施してください。学校給食法で示されています。 加えて、昨今は、子どもの貧困、災害時の炊き出しにと、中学校にも給食が、求められています。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、不人気のデリバリー方式ではなく、小学校の給食に近いカタチで実現してください。 市全体では少子化による各小学校の給食生産の余剰能力を中学校向けに割り振れば段階的に実現可能だと思います。 横浜市の小中一貫の一環として取り組むことができると思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について。 今だってデリバリー方式か弁当持参なんだから、デリバリー反対、という意味が分からない。弁当だって冷めてようが皆さん食べてるじゃないか。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5「デリバリー式の中学校給食」これだけはやめてください。親子式等の活用を緻密に計画すれば、学校で調理した給食の運用が実現できるはずで。国からの補助金も得られるそうなので、市の財政面でのメリットもあるこの方式をなぜもっとしっかりと検討しないのですか？デリバリー方式の業者と横浜市の行政が癒着しているのではと疑ってしまいます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5－中学校給食について。横浜市の中学校給食をデリバリーではなく、自校方式を中心としたあたたかい・おいしい給食で、145校中（すでに2校では実施中）実施可能なところから始めていただきたい。全国の政令指定都市でも、デリバリー方式ではなく完全給食を実施しようと、県内では相模原市、他では神戸市や堺市でスタートしています。横浜市が、昨年生徒・保護者を対象に実施したアンケート調査でも、希望が多いのは『あたたかさ』『わくわくするおいしさ』です。2025年を待たずに、自校方式、親子方式、兄弟方式をミックスしながら、実現可能なところから始めてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校でも、小学校と同様、自校式の給食提供を希望します。 我が子は、小学校の給食が大好きです。 アレルギーがありますが、給食ならば、他のおかずを多めに盛っていただいたり、フレキシブルに対応いただいています。 中学校でも、同じ給食を食べたいのです。 全品同じ温度（ぬるい）の弁当ではなく。 また、15分という短い喫食時間も信じ難いことです。 食事はいくつになっても大切な日々の糧となります。 どうぞよろしく願います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学給食についてはまだ議論が足りないと思われるのでデリバリー給食を実施するのは延期していただきたい。 小学校と違う形で実施するのはどうしてなのか、説明が足りないと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策2：切れ目のない力強い子育て支援：乳幼児期・学齢期。について大人のひきこもり対策をもお願いします。 日本財団の「子ども第3の居場所支援（3年間）以降の行政支援の制度化をお願いします。又、放課後キッズ等の時間がただの時間つぶしでしかない原因が、対応職員不足にあり、充実した子どものための時間となるために、より少人数化が必要と考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3：困難な状況にある子ども・家庭への支援、 困難を抱える家庭が自立するための支援が、不足している。フーパントリー等での支援先への、食支援以外のきちんとした自立支援の制度をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策6：豊かな学びの実現：新たな図書館像の構築…… 横浜の歴史的な、又、将来への知識の集積の拠点としての図書館機能のための、大学、企業等との連携をお願いします。図書の貸し出しだけではなく、知的なリビング、知的な遊び場としてのサテライト図書館の整備をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」 子育て世代に選ばれる都市を目指すなら、子育て支援の周回遅れの現状を解決してほしい。このままでは選ばれるわけがない。</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産祝いは赤いガラガラ（もらえない区あり）</li> <li>・児童館がない</li> <li>・保育園が足りない</li> <li>・小学校の給食は目を覆う酷さ</li> <li>・子供に「図書館は横浜にないよね」と言わせる</li> <li>・いじめの解決方法は「いじめられた子が転校」と事実の隠ぺい</li> <li>・教育委員会が「中学生の昼食はお金をかけない方が良い」というアンケートをとる</li> <li>・本当に困って黙るしかない子供たちに、冷たい弁当を給食だと与え、喫食率を上げる</li> <li>・塾にいれないと勉強が遅れ、学校では一切のフォローがない</li> </ul> <p>とくに「子供には粗末な食事を」という横浜市の基本姿勢は市民に精神的なショックを与え続けていることを自覚せよ。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5</p> <p>1 デリ弁給食をやめろ！全員喫食はもつてのほか！ 〇市が行ったアンケートをどう読んでも求められていない 中学校給食は公共事業である。公共事業は民間に任せると利用する市民にとってデメリットが大きいため公共事業なのである。中学校給食を民間に払い下げたことは「子育てしにくい街宣言」に他ならない。この中期計画に真向から逆行している。保護者・生徒にデメリットしかないと評価された事業を進めてどうする。 〇費用対効果が低すぎる 民営でも市営でも8万食の弁当工場を造ったら、もう引き返すことはできない。半永久的にデリ弁。工場建設費も付加され、費用も全く安価ではない。現に、デリ弁事業は小学校給食よりも利用割合を考慮すると高くなっている。安価だからと始めたにも関わらずにだ。 東みちよ市議が市会で紹介していた「学校というハコモノが日本を救う」の通り、学校に調理室があれば、休日や災害時の活用も市の工夫で出来る。しかし、民の資産となる工場を市費で建設しても、市民には活用できる可能性が全くない。 〇国費負担の隠ぺいをやめよ 市の給食検討資料には自校・親子・センター・ミックス・デリバリー費用が記載されているが、市の事業として出来立て給食を提供した場合、国費負担があることは注釈さえされていない。国費負担を勘案すれば、市民の負担感が変わる。正確な試算資料を作れ。 「国費も税金だ」と詭弁で市民を愚弄するのだから、ではなぜ「国は補助をする」と法律で決めているのかを考えれば明確である。中学生の食事は「公共事業で実施すべき」と考えているからである。この世界に「子供の食事は粗末で良い」という基本姿勢はありえない。またこの隠ぺいは「どうしてもデリ弁にしたい」としか考えられない。試算せよ。</p> <p>2 出来立ての給食提供を、自校式でも他校式（親子式・兄弟式などの他行の調理余力で給食を作る）でも、出来るところからすぐに始めていくことを求める。 お金のない横浜市にはセンター方式よりも自校・他校式の方が長期的みてに安上がりで良い。確実に少子化は進んでいくので給食室の調理余力は増す一方で、給食室のない中学校の必要な食数も減っていく傾向は今後も続く。小学校の校舎補修改築はまだ150校もあり、中学校も校舎補修改築が続く。出来るところから始めていけば良い。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市政の問題に取り組むグループが検討するべき点をいくつかあげている。（以下抜粋）</p> <p>○炊飯だけ自校式：調理室が用意できない中学校でも、炊飯は廊下や教室の片隅でも法的に問題ないとのこと。こうすることで、他校の余力調理で作られたおかず食缶スペースの確保だけで済むので、必要な空きスペースが減り、可能校が増える。</p> <p>○多数校で支える式：多数校で1中学校を支える方式は、横浜市は「食中毒のおそれ」などと拒否しているが、他自治体では行われている。マンモス校など、他校式では供給が足りないと中学校の周辺には当然複数の小学校がある。供給する方の小学校の給食室整備を行えばできるはずである。</p> <p>○必要スペースの再検討：センター式を採用することが決まった町田市は検討段階で生徒人数ごとに給食室の面積を割り出している。小学校の給食室面積をそのままに、調理器具や釜を増やせないかなども検討している。</p> <p>横浜市は各校200名～千名以上という差がある生徒数にも関わらず一律300平米がないと自校式はできないと足切りし、他自治体で採用率が高い2階式の給食室も検討していない。無能なのか、「どうしてもデリ弁がしたい」のかどちらかだと思いが、雑な仕事をするな。</p>		
<p>小学校の給食も貧相すぎる 無茶苦茶な仕入れをやめ、適切な取引先から仕入れを行い、献立担当の栄養士も一掃し、何かの間違いかと思われるような給食をやめよ。 何度でもいう、この世界に「子供の食事は粗末で良い」という基本姿勢はありえない。</p>	参考	学校給食についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>「教職員費用の削減」などと書かれた文書を財政局は撤回したが、教員の資質向上を謳うなら、どうしてあの文書は出されたのか。 教員は正規職員として「不採用」を出しおきながら、非正規職員として研修なしの低給で雇用しているケースが多いとさく。 「不採用」と判断した人物をなぜ雇用するのか？ 「不採用」と判断した人物こそ研修が必要だと思うがしないのはなぜか？ 「不採用」と判断した教員が、正規教員と変わらぬ職能を果たす場合は、低給で問題が起きては困るので、早急に正規雇用に切り替えることが必要である。 教員の削減や、学校改修費の削減など言語道断。何が「子育てしやすい横浜」だ。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>子供が図書館を利用できるように拡充せよ （港北区は、浜松市比の1/11。子供は「図書館で何？」状態） せめて学校図書も拡充させる、図書館予約受取・返却機能を学校にも付与するなど、最低限の実施策を出せ。いまは壊滅的状态であり「市立図書館の再整備の在り方検討」している状態ではない。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>デリバリー式給食（ハマ弁）を廃止してください。 全員強制は子供の成長に良いとは思えません。 中期計画の基本戦略のひとつである「子育てしたい街」とも逆行します。 学校調理式の給食の導入を希望します。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>教職員の採用について 不足は明らか、速やかに増員すべき</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>教育環境の整備について                      子供たちの安全、安心を早急に確保してください。                      学校での記憶は一生もの                      家庭を持ち、住まいを考えると、いい記憶ほど、横浜を選択肢に入れると思いません。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食を実現してほしいです。                      今年から小学校に通う我が子は、給食が本当に大好きです。                      幼稚園の時はお弁当を作っていましたが、冬場など冷たいお弁当を食べるのが嫌だとよく言っていました。小学生になり、温かい給食を食べられるのをとても喜んでます。                      育ち盛りの中学生に、栄養バランスのとれた給食を食べさせてあげたいです！                      デリバリー方式ではなくて、温かい給食を食べさせてあげたいです！難しいかも知れませんが、どうか、よろしく願い致します！！                      中学生の健やかな成長のためにも、出来たての温かい給食の実現をお願い致します。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P、35の政策5その1ですべての生徒が満足できる中学校給食の実現                      自校方式可能校39校、兄弟方式可能校11校、親子方式を工夫し所謂ミックス方式を組み合わせ順次実施していくことで、できたて・温かい中学校給食が可能。是非ともネットで検索し、「やればできる！できたて・温かい中学校給食」を視聴願いたい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>全ての人が満足する中学給食の実現                      中学校給食の利用を原則とし（アレルギーへの対応などによる家庭弁当の選択も可）、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた準備を進めます。地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進します。原文。                      デリバリー方式はどの自治体も上手くいかず、不人気な方法。これを全員に喫食させることで市民の不評を買い、横浜市は何がしたいのか。                      冷蔵庫から出した冷たいおかず弁当を給食と呼び誤魔化すやり方は悪意しか見えない。子供に寄り添う気概も無い横浜市。                      市民の怒りを買い、好き勝手に税金を無駄遣いして責任もとらない。地の利を台無しにする政策には衰退しかない。自校給食を強く求む。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5施策1ぜひ、中学校の給食を実現してください。一度に全市が無理なら、区ごとでもいいです。家庭の負担を軽減し、新たな雇用を生み、少子化対策にもなります。また、地産地消を進めることで、横浜の農業生産物の販路を広げ、食育、文化の継承に役立ちます。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策6施策1 教員採用数を増やしてください。学校は子供と地域を守る最後の砦です。先生方の仕事は子育てだけでなく親育ても含まれるのが実情です。もしも、先生方の働き方改革を今の人員のまま文字通りに実施したら、子供のいじめや自殺、虐待はもっと増えてしまいます。先生方が黙って早朝から夜遅くまで（区役所は5時で終わっても）働いているからこそ、今の件数で済んでいるのです。コピー取りの事務職員や学校司書を置くのもいいですが、肝心の教員が増えない限り、新しい職員の監督責任を負わされた教員にとっては余計な仕事が増えただけです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P.33～政策5 中学校給食について                      これまでの「選択制」ではなく「全員制」のデリバリー式にする事を中止するべきです。                      それは、デリバリー式ではこれまで行われてきたアンケートの結果を重視した場合に一番求められている「温かい食事」という点に応えられないからです。「全員に供給する事」ばかりを目的にすると本来の学校給食から遠ざかり、大人の都合ばかりが優先され、教育の一部である給食を全て民間の事業者任せにするという無責任な事になるからです。                      デリバリー式をやめて、自校式、親子式、センター式に移行している自治体がある事をどのように捉えているのでしょうか。デリバリー式で全生徒に供給する為の設備を整えたら、今後20年近くは続けなければならないと聞いています。試行錯誤を続けた結果3割程度の生徒にしか利用されなかったデリバリー弁当を、選択の余地なく提供してもこれまでのように「温かい食事」を求める声が出続けることになるのは目に見えています。                      給食室の建設用地が確保できない事を「できない理由」とされますが、改めて各中学校の規模(生徒数)を念頭に置いて検討し直してください。                      各校の規模(生徒数)を勘案せずに、給食室の建設可否の基準(300平方メートル)を全ての中学校に当てはめて判定していると聞きました。2階建てにするという方法を取り入れれば更に校内で調理できる中学校は増えるのではないのでしょうか。                      生徒数が減り、空き教室のある中学校があるという事なので、そういった場所を利用する事も考えてみてください。                      給食室を作る事が困難であっても、炊飯器を置く場所を確保できればご飯は校内で、汁物、おかずを従来の親子式、きょうだい式で提供できるのではないのでしょうか。                      横浜市内の全ての中学校で一斉にスタートさせるのは無理なので、できるところからできることを始めるでよいのではないのでしょうか。                      デリバリー式で全員に供給するのは、余りにも安易な方法です。大変複雑で労力の要る政策になりますが、安易な方法だけは採らないでください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>素案冊子、34頁の中学校給食の全員実施について。市の中期計画では実施方式をデリバリー方式にして、現在の選択性から全員喫食の給食に変えるとしていますが、アンケートからも明らかなように子供達が求めているのは「温かい給食」です。デリバリー方式ではこの問題は決して解決できません。今や政令指定都市で調理方式の給食がないのは全国でも横浜市だけです。あの大阪市でさえ、デリバリー方式ではうまくいかず、キャンセル料まで払ってデリバリー方式を止め、調理式の学校給食に変えました。                      長いスパンで、たとえ10年かかってでも、温かい給食を児童に提供してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」では、中学校給食をデリバリー型以外でも進めてください。                      温かいできたての給食が食べられるように中学校内で給食をつくることを進めてください。予算は花博などのイベント関連の事を減らすことで確保してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり この「子どもたち」の定義がわからないのですが、政策を見るに、原則は小学生まで、中学以降は困難な状況にない子どもは対象から外されるということで良いでしょうか？ 「子ども」とは、成人（18歳）までを指すと思っておりました。 もちろん、貧困や虐待を受けている学生のサポートは必要かと思いますが、それ以外の学生たちに対しても、一定のサポートは必要だと考えますが、いかがでしょうか。 （個人的には貧困・虐待等の対策と、子育て支援は分けて考える必要があると思っています）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>P25政策1 切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～ 都内から横浜に来て出産しました。医療費の所得制限の撤廃が挙げられており、医療は都内基準になりそうであることにほっとしております。 子育てには本当にお金がかかります。医療費以外にも金銭的もしくは物質的な補助もご検討ください。 出産・育児をしている身として何点か気になったことがあります。 具体的すぎるかもしれませんが、今後の施策の参考になればと思います。 ①横浜市外（神奈川県内）の病院で出産したところ、産後の検診は補助券が使えなかったこと（産前は使えた）に驚きました。せめて県内の病院では補助券を使えるようにしていただきたいです。 ②産後ケアヘルパーの依頼方法が区役所に申請して、区が認めないとヘルパーを派遣していただけないと知り、「私なんてまだ必要と認めてもらえないかも」「いろいろ考えるのしんどいから、なんとか自分で頑張ろう」と頑張すぎた結果、産後1か月で体調を崩しました。 もっと頼ればよかったと思っているので、支援の敷居をもう少し下げいただけるとありがたいです。（都内では直接事業者とやり取りで、事由は問わずでした） ③施策に相談業務の充実とあり、大変重要な業務だとは思いますが、相談した後解決するための支援もしっかりと充実していただきたいと思います。また、例えば育児が辛いと相談して、一時保育を勧められても、0歳は枠が少ないので一時保育が埋まってしまっていることが多く、直近すぐに預けられないです。実際預けてみると、保育のフロアに見ていただけることは親族に預けるよりも気を遣わず、かつ安心感があり、本当の意味でリフレッシュになり、子育てを楽しもうと思えました。 P27の「政策1 切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」にも関わってくるかと思いますが、一時保育（特に育休から復帰前の0歳児）の施設拡充もご検討いただけますと幸いです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P35「政策6 豊かな学びの実現」 図書館の建て替え等の話が出ていますので提案です。 ①図書館内に、学生や社会人が使えるたちの自主学習の場を作つてはいかがでしょうか？千代田図書館（千代田区）の閲覧室のようなものをイメージしています。様々な理由で家で勉強ができない子が集中して勉強できたり、学生や社会人が学校や塾、職場以外のコミュニティを作ることできると思います。一度、モデル図書館を作つてほしいです。（最初はコストを抑えた仕様→本稼働できれいにするでもいいと思います） ②子ども向けの図書館を作つてほしいです。大和市のシリウスがイメージです。都内からもアクセスが良い駅であれば、都内からの来客も見込めると思います。 例えばですが、ズーラシアや子どもの国もあることから、横浜山側は子育て向けの文教地区として図書館に注力するのもよいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>こどもの成長に欠かせないのは食べることです。幼年期、成長期と十分満足できる楽しい食事をして育った子供はイキイキとしている。満足するということは心が穏やかになる。デリバリーのコンビニ弁当みたいな給食はやめてほしい。貧困の過程では十分な食事が難しく、又親が働いている過程では個食というこども一人で食べている過程もあるという。それを補うのが給食ではないか、楽しく、おいしい、みんなと一緒に食事する楽しみを子供に提供することができるって大人として「親」としての仕事です。行政にできること、子供に幸せなひと時をつくること、それが子育ての一番です。デリバリーなどやめるべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子育て支援・次世代育成に重点に政策を促進していただきたい。 小児医療費（中3まで）完全無料化を所得制限なしで実施してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」 選択制から「給食を原則に」転換してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」 デリバリー方式は市長さんの公約ではありません。全員完全給食を実施してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。」 これについては、現在中学校で3割ぐらいの生徒しか喫食していないデリバリー弁当を給食として位置付けて全員に喫食してもらえるようにするということがあり、実現可能性が乏しいと考えられる。喫食率が上がらない原因の一つは温かくないことがあげられる。現在生徒の4割が喫食できる供給体制を全員が喫食できる供給体制にするためには、デリバリー給食業者が新たに工場を作らなければならない、それを担保するために工場の設置費用を市が一部負担することや、長期契約を締結しなければならないことも想定される。生徒が食べない弁当を供給するために長期に渡って多額の市税を給食業者に支払うシナリオや、提供された弁当の廃棄率が高く食育としてふさわしくない給食となるリスクは想定されているだろうか。「全員喫食の給食」はいいがその方策として「デリバリー弁当の大規模化」を政策採用することは悪手である。 全員喫食を実現するためには、温かくておいしい給食を食べられることが必要であり、そのためには自校方式・親子方式など学校給食設備を活用した調理が現実的である。現在調理室を備えていない中学校については、建て替え時期に調理設備を備えていき、その他についても順次できるところから調理室を整える改修工事をしていく。多くの人口を抱える横浜市では、全校が同時期に一律に同じような給食を始めることは無理である。長期間かけて学校に調理設備を備えていく計画を立てる必要がある。食は生きることにつながっており、生徒は身近に食を学ぶ機会を得ることができる。また東日本大震災で多くの方が学校に避難して、給食室は命を繋ぐために大きな役割を果たしたことから学び、防災の観点からも地域に給食設備があることが必要である。 自校・親子方式での給食ができる学校や地域は順次始めていく。では、すぐにできない学校や地域はどうするのか。全員喫食を実現するための供給体制を確保するためにはどうしたらいいのか。まず現在契約している大規模なデリバリー弁当業者に頼るのをやめて、地域ごと、または学校ごとに地元の小・中規模の弁当業者と短期間の契約を結ぶことを検討することだ。地元の業者ならば、調理・盛り付けから、中学校に届くまでの時間を短縮することができ、温かいまま食べられる可能性が高くなる。調理工場新設や長期契約をすることによる、市財政への負担も軽減できる。それでカバーできない学校・地域については給食センター方式も検討するべきだ。 横浜市全域での一律平等に拘るあまりに、子どもたちにとって大切な食事そのものの価値を後回しにしてはいけない。大規模なデリバリー弁当を給食と位置づけても「全員喫食の給食」は実現しない。学校での給食調理を行う方針こそ早く決定し、数年かけてでも温かくておいしい中学校給食を提供する態勢を整えることで「全員喫食の給食」が実現できるだろう。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>（保健医療費負担軽減の中期目標として） 高校生まで「所得制限・一部負担金なしの医療費窓口負担ゼロ」の実施（政策1） ・横浜市の未来を担う子どもの健康と成長をはかるため、すべての子どもを平等に保障するため実施。 ・子どもの貧困、少子化の問題の解決のためにも必須の事業として位置づけ実施を強く要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保」とあるが、中学校給食の全員利用を言い切った点は評価できる。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「デリバリー方式」は業者弁当＝ハマ弁であり、そうではなく、自校方式を主軸に、条件により親子方式・センター方式を採用するべきである。自校方式による給食供給施設は、教育面だけでなく、地域の高齢者施設、子供食堂、災害時の食料供給拠点としての活用も視野に入れ、整備拡充する必要がある。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「中学3年生までの医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃」は、素晴らしい前進面で評価したい。これを高校生まで広げたら、更に良い施策になる。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「教職員の確保」とあるが、臨任や、どう見ても無理な高齢の再任を充てる員数合わせではなく、正規の教職員の採用を増やし、教育人材の基盤を確立すべきである。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜国立中央図書館について          横浜国立中央図書館は、公立図書館として国内でも最大規模だと思われませんが、私も必要な文献等を求めて時折利用させて頂いており、蔵書の豊富さとその質の高さに感謝しております。先にも書いたように私は、相模原市の市民であり、横浜市と相模原市は、相互利用協定がありませんが中央図書館から図書等を借りるという事が現状原則出来ないわけです。協定がない理由として、地域的な距離の問題や、中央図書館が業務繁多である事等様々な理由がある事は既に伺っております。          先に述べた相模原市における特定地域のまちづくりには、当市の市立図書館も含まれるものですが、こうした検討に当たって、必要に応じた投資も含めて、貸借に留まらない図書購入や運用等を含めた自治体間の幅広い連携を組む事が出来れば、大幅なコスト削減によって、他の喫緊の施策へ予算を回す事も可能になりますし、利用者サイドにとっても有益であると考えます。自治体毎で個々の政策を完結させる必要性というのは薄れてきているとも思います。多様化する・高度化する市民ニーズに対応していく観点からも有益であると考えます。様々な課題はあると思いますが、是非とも、横浜市と相模原市においても相互利用協定を含めた自治体間連携の在り方を積極的に検討して頂けないかと思う次第です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>p.34政策5 子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進          すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について          現在行われているデリバリー式の弁当を全員喫食にするのは冷たさや味の問題等から喫食率が3割の不人気のハマ弁を全員に押し付けることになるので反対です。          多くの弁当生産のためには新たな弁当工場を民間企業が建設することになり、そのため長期の契約をすることになりデリバリー式から変えられなくなる。          組み合わせれば半数の学校では校内で調理できることは市の調査でわかっている。          複数校調理や二階建て調理室等の工夫もして学校調理式による給食の道を探してほしい。          「学校調理式」の中学校給食の一斉開始にこだわらず、大阪市のように数年かけて、順次実現すれば良い。「学校調理式」はあらたな土地調達を必要とせず、国からの補助も得られるので、初期費用も抑えられる。ランニングコストも低い。その分、給食の質を上げることが注力できる。          美味しさや食育の面で学校調理に勝る方法はない。          地域に分散して調理室ができるので災害時にも役立ち、子どもの貧困対策や高齢者支援などにも繋がり市民の資産になる。          すべての中学校で「学校調理式」の給食を実現してほしい。          以上になります。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>保育所の充実 待機児解消のため、保育園を増やしている事は少しずつ出来ていると思うのだが、保育の中身がお粗末になっている。 狭い場所に沢山の子ども。少ない保育士。質の高い保育とは言えない。 また、園庭のある保育園は、本当に恵まれていて、園庭がない保育園も多い。遊ぶ場所を目指して、乳児や幼児を連れた先生達が街にたくさん見られる。 狭い危ない道を必死に手を引いて歩いている姿には頭が下がる。だが、園庭さえあればまいにちのそんな苦労はなくてすむ。 小学校だったら、校庭のないところは認められない。保育園は、園庭がなくても良いという基準だからこんなふうになるのだと思う。 保育士の待遇、保育士1人あたりの子どもの数など国の基準が酷いものならば、子どもの豊かな発達を目指せる基準まで上げて欲しい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>中学校給食 日本の中でも、中学校の給食を実施していない所は、数えるほど。はま弁などという魅力のないお弁当で子どもを豊かに育てられるとは思えなかった。今、全員実施の給食には期待している。しかし今デリバリー方式にしようとしているの事。 できるだけお金をかけない方法を考えるの事だと思うが、温かい美味しい給食を目指すなら、学校方式が一番いいと思う。それが無理ならセンター方式を進めて欲しい。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>小中学校教師のブラック労働改善と人員増 教育の質改善のために教師の労働時間の実態調査を行い、見合った給与の改善と人員増が必要です</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>【P34政策5-1「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」について】 市長が選挙公約に掲げた、全員制の中学校給食に大きく近づく方針が示され、とても嬉しく思っています。 今後の計画策定に当たっては、ぜひとも「全員制」と明記していただきたく、意見申し上げます。 現状の給食が全員制でないために、困難を抱える家庭の子どもが「頼めば無償で提供されるからこそ頼むことができない」状況に置かれている場合があります。すべての横浜の子どもたちに平日の昼食だけでも、野菜がふんだんに使われた給食の提供を望みます。 様々報道されているように、「冷たい」「量が調節できない」といった現状の横浜の中学校給食が抱える課題は確かにありますが、まずは、貧困に置かれる子どもたちの救済策としての全員制の給食が実現されることを切に願います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策1 P26 3. 乳幼児の健やかな育ちのための支援の充実 助産所で実施する新生児聴覚スクリーニング検査に公費補助券使用を要望します。 表題の件、現在助産所で出生した児が、入院中に新生児聴覚スクリーニング検査を実施した場合、公費補助券の使用ができません。 助産所で出生した新生児が、生まれた場所で聴覚スクリーニング検査を実施した場合でも公費補助券の使用ができるよう要望します。 理由として、産褥早期の母親が、新生児聴覚スクリーニング検査を受けるために、他病院施設を受診するには、心身の負担が大きいからです。 聴覚スクリーニング検査は、概ね生後3日以内、遅くとも生後1ヶ月以内に実施されることが望ましいとされています。難聴の早期発見のため、助産所で聴覚スクリーニング検査を受けた場合でも公費補助券使用ができるよう強く要望いたします。 尚、横浜市以外の川崎市、横須賀市、逗子市、葉山町においては、助産所で出生した児が、助産所で新生児聴覚スクリーニング検査を実施した場合でも、公費補助券使用の対象になっています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策1 P26 1. 妊娠・出産・子育てに関する普及啓発及び相談支援の充実</p> <p>公的なオンライン両親教室の事業継続を要望します。</p> <p>コロナ禍で始まったオンライン両親教室は、2021年度の参加者は1786名でした。2022年度も10月1日時点で794名です。特に土曜日や金曜日の夜の会は希望者が多く、働く女性や男性の受講の機会となっています。「妊娠中からの体調管理」「主体的な分娩」「育児について」は、継続した家族の健康教育として必要です。また、核家族化が進んだ現代では、出産前に赤ちゃんを抱っこした経験がない夫婦がふえており、出産前後のイメージがつきにくい状況です。夫婦そろって受講することで、協力して育児を行うことにもつながり、産後の母親の体調や精神面の変化に早期に気づくことができます。出産前から相談窓口を知っておくことで孤立を防ぎ、産後うつや虐待の防止にもつながります。感染状況が落ち着いても、オンライン両親教室の継続を要望いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1 P28 4. 多様な保育・教育ニーズへの対応と充実</p> <p>「性の健康教育」を義務教育で、児童と保護者が受講できるよう助産師会と協働での事業の検討を要望いたします。</p> <p>要望理由</p> <p>近年インターネットやスマートフォンの普及により、子どもたちが性に関する情報を簡単に入手できる環境にあり、10代の子どもが性犯罪に巻き込まれる危険性が高くなっています。</p> <p>そのため、子どもたちが、性への正しい知識を身につけ自己肯定感を高め、犯罪から身を守る力をつけることが重要です。また、自分のライフプランを考えることで、望まない妊娠を防ぎ、性感染症を予防することにもなります。「性の健康教育」には従来の「性教育」の内容に加え、人権教育やジェンダーの平等、他者との関係性についても包括的に学べるようにプログラムを構築しています。</p> <p>教育の現場でも「性の健康教育」へのニーズは高まっており教師や、保護者からの依頼は、年々増加傾向です。（報告書参照）しかし金銭的な負担から、助産師を講師として活用できない現状があります。</p> <p>「性の健康教育」を義務教育で、児童と保護者が受講できるよう助産師会と協働での事業の検討を要望いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 33～34ページ中学校給食について</p> <p>中学校のデリバリー方式給食の原則利用に反対する。デリバリー方式から学校調理方式に順次、切り替えるべきだ。</p> <p>極端に短い時間で冷やした給食を食べることを食育とは言えない。どんなに献立を工夫しようと、生徒や保護者が望むものにはならない。デリバリー方式を廃止する自治体が多いのはそのためだ。</p> <p>各校の事情を精査し、自校方式や親子方式、兄弟方式などからそれぞれ選び、順次、実施すれば良い。学校調理方式は国の補助を得ると初期費用が抑えられ、長期的にはランニングコストも低い。</p> <p>それにとまって、食育に適ったものになるように給食時間を確保する。思春期の早起きは心身に悪影響を及ぼすという睡眠学分野の研究結果もあることから、終業時間を後ろ倒しする。そのため、より一層、教員の業務削減や簡素化など学校の労働環境の改善を行う。</p> <p>学校は地域防災拠点である。給食施設は災害時、食事の提供に活用できる。そして可能な限り、食堂を作る。長期休業時などは地域に開放し、給食がなくて痩せてしまう子どもや独居のお年寄りも利用できる食堂を開設する複合施設とする。</p> <p>他の自治体では当たり前の学校調理方式と比較すれば、デリバリー方式は明らかに劣る。「子育てしたいまち」として選ばれるのがどちらかは明白だ。「子育てしたいまち」を目指すのだから、学校調理方式の給食を実施すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画に、現在は「選択制」であるデリバリー式給食を「全員制」に移行することが盛り込まれているが、これは中止すべきである。</p> <p>多くの自治体がデリバリー式給食を止めて、自校式、親子式、センター式による給食へと移行している。その中で、横浜市だけが時代に逆行する愚かな政策を取ろうとしている。デリバリー式は長時間運搬で冷たい、アレルギーへの対応が難しいなど欠点が数多く、生徒、保護者からの評価も低い。残食率が高く、SDGsにも反する。そもそも学校教育の一部である給食を民間業者に丸投げすることが大きな問題を孕む。</p> <p>全国の政令指定都市の中では、大阪市が2015年から5年かけて、デリバリー式から自校式、親子式を組み合わせた「学校調理式」への移行を実現した。手本にすべき先例であり、山中市長も昨年の市長選の中でそう述べたはずである。大阪市にできたことが横浜市にできないはずはない。一斉開始にはこだわらず、横浜市でも大阪市のように可能な中学校から順次、学校調理式に移行すれば良い。時間をかけて、すべての中学校で学校調理式を実現するロードマップの策定は可能である。</p> <p>横浜市は自校式、親子式、センター式を組み合わせたミックス方式について、検討は続けてきたが、必要とされる6ヶ所の給食センターの建設用地のめどが付かないために実現困難としている。だが、本年8月26日付けの「今後の中学校給食の在り方の検討状況について」という報告書を精査してみると、各中学校における自校式および親子式の可能性を十分に検討したとは言い難いのが分かる。横浜市立の小学校・中学校はすべての中学校で「学校調理方式」の給食を実現するだけのポテンシャルを備えている。その場合には、給食センターの建設も必要ない。</p> <p>「今後の中学校給食の在り方の検討状況について」では、自校式が可能と判定された中学校は39校。残る106校で60127食の不足が発生するとされている。一方、横浜市の小学校の既存の給食室は、中学生の一食換算（小学生の1.3倍）で、71272食の余力を持っていると計算される。これに自校式可の中学校の給食室の余力を加えると76471食となる。単純計算では、親子式および兄弟式での利用が考えられる「余力」の方が「不足食数」を上回っている。</p> <p>しかも、自校式可と判定された中学校は39校だが、その可否判定は300㎡の給食室が建設可能かどうか、の一点で判定されているようだ。横浜市立の中学校には1000名を超えるマンモス校もあれば、200名程度の小規模校もある。小規模校では300㎡を下回る面積の給食室でも、自校式調理が可能ならずである。300㎡一律ではなく、生徒数に合わせた給食室の面積で可否判定すれば、自校式が可能な中学校は39校を上回ると考えられる。</p> <p>加えて、横浜市は給食室の建設において、二階建てを検討していない。二階建ての給食室は、さいたま市では過半数の中学校に採用されている。校庭の狭い横浜市の中学校でも、二階建ての給食室は積極的に採用すべきである。二階建てならば、300㎡の給食室を建てても、敷地面積は約半分となる。150㎡程度の敷地の余裕ならば、はるかに多い中学校が持っているはずである。二階建ての給食室建設で、自校式が可能な中学校数が増えれば、先述の不足食数はさらに減少する。</p> <p>一方、供給の余力を増やすことも可能である。小学校の給食室の余力を横浜市は既存の給食室の蓋の数から算定したと聞けが、他自治体では親子式の検討に当たっては、小学校の給食室の増改築、それが不可の場合でも調理器具の増強を考えている。これらによって、親子式の親となる小学校の給食室の余力は増やすことができる。さらに、兄弟式の兄となる中学校には、可能ならば300㎡より大きい給食室を建設する。これによって、余力はさらに増やせる。</p> <p>このようにして、不足食数を減らし、供給の余力を増やすことは可能である。少子化の影響で、年々、不足食数は減少し、余力は増大することも分かっている。先の報告書で、自校式、親子式、兄弟式を合わせた「学校調理式」の給食が可能と判定された中学校は72校に過ぎなかったが、数年後にははるかに多くの中学校で「学校調理式」が可能な状況となっているだろう。</p> <p>さらに、横浜市独自の方式を加味して、「学校調理式」を実現する道も考えられる。自校式不可の中学校でも、主食調理（炊飯）は必ず自校で行うこととする「自炊・親子・兄弟式」である。先の報告書ではいずれの方式の場合にも64㎡程度の配膳室は必要とされているその建設が不可能とされた中学校はない。となれば、64㎡の配膳室の二階に64㎡の炊飯室を置いた128㎡の給食設備ならば、どの中学校にも建設可能であろう。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>自校式不可の中学校でも炊飯は自校で行い、オカズや汁物だけを運び込むこの「自炊・親子・兄弟式」を取れば、親もしくは兄となる学校の給食室の負担は軽減される。運搬量も大きく減らすことができる。オカズや汁物だけに注力すれば、親もしくは兄となる学校が供給できる食数も増やせるはずである。そこで、「学校調理式」の実現可能性はさらに大きくなる。</p> <p>それでも、生徒数が1000名を超えるようなマンモス校では、自校式が不可の場合、先の報告書の中で横浜市が想定した1：1の親子式・兄弟式では、不足食数をまかないきれないと思われる。しかし、他の自治体では1：1に限らず、2：1の親子式も採用の例がある。こうしたマンモス校の学区内には三つ四つの小学校があることが多いのだから、2：1や3：1の親子式・兄弟式を検討することも理にかなう。必要に応じて、2：1や3：1の親子式・兄弟式を使うことによって、横浜市のほとんどの区で、全中学校の「学校調理式」給食が可能となるはずである。</p> <p>ただし、鶴見区、港北区の二区だけは、最後の難関となりそうである。とりわけ、鶴見区は隣接区が港北区と神奈川区しかなく、先の報告書ではこの二区も不足数が余力を上回っている。不足数・余力のバランスは区によって大きく異なり、この偏りの激しさから鶴見区、港北区の二区では上記のすべての工夫を凝らしても、「学校調理式」の実現困難校が出るかもしれない。だが、その場合には横浜市が検討した隣接区の学校から運搬する親子式・兄弟式だけでなく、隣接しない区からの運搬も検討すべきである。具体的には大きな余力を持つ青葉区からの運搬だ。</p> <p>青葉区から港北区の移動は、間に都筑区を挟むが、きた線の開通によって、移動時間が短くなっている。さらには、鶴見区への移動時間も大きくは変わらない。例えば、余力の大きい青葉区の山下みどり小から港北区の9中学校への移動時間（午前10時半到着を想定）はおおむね25分以内と推定される。渋滞を想定した最大の場合でも45分以内である。鶴見区の10中学への推定移動時間も30分以内、最大でも50分以内である。センター式の場合の一般的な運搬時間と比べても、これは長くはない。</p> <p>隣接区からの親子式・兄弟式だけでなく、港北区、鶴見区については、青葉区（あるいは都筑区など）からの親子式・兄弟式を取ることによって、横浜市の全中学校で「学校調理式」の給食は、無理なく実現すると考えられる。できない理由を探すのではなく、できるようにする方法を考えれば、道は開けていく。</p> <p>鶴見区では汐入小、入船小の2校が32㎡の食缶室が建設不可で、親子式の親の検討対象から外されているが、この2校は少子化で小規模校化して、教室も余っている。32㎡の食缶室が用意できないとは考え難い。細やかに各校の状況をふまえることなく、数字や図面だけをもとにした一律の判定で、可能性を閉じている例が、先の報告書には多いのではないかと考えられる。一校一校、きめ細かく状況を見定めていけば、全中学校での「学校調理式」給食は、調理や運搬のスムーズな在り方も考えあわせた形で、実現されるはずである。</p> <p>「学校調理式」の中学校給食を、二階建て給食室、「自炊・親子・兄弟式」など、横浜市ならでの工夫を凝らして実現すれば、それは他自治体も真似する先例となるに違いない。給食センター建設や全員制デリバリー式のための工場建設には広大な土地を必要とするが、「学校調理式」ならば、あらたな土地の調達も必要ない。ゆえに、初期費用はずっと低く抑えられる。国からの補助も得られるから、「中期計画」に盛り込まれようとしているデリバリー式全員制に比べて、初期コストは半分程度になるはずである。加えて、ランニングコストにも優れる。食育の面からも好ましい。</p> <p>横浜市は「学校調理式」による中学校給食を実現するとともに、「全員制」や「あたたかい給食」をゴールにするのではなく、その先にある、子供のことを第一に考えた、どの自治体にも質を誇れるような給食を小学校、中学校ともにめざすべきである。そのために、「デリバリー式」は廃止し、「学校調理式」を基本とする長期計画を策定すべきである。</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策1 子育て支援～乳幼児期（素案P.26） （政策13障害児者の支援） 乳幼児の健やかな育ちのための支援の充実 ◆3歳児健診で早期相談を勧められても、療育センターと繋がることができない場合があるので、区役所から療育に保護者を受け渡して終わりではなく、相談後の流れなどを想像できるように、プリントやアプリで情報を発信してください。（療育センター待機中の緊急時の相談先や預け先、仲間の存在を知らせる） ◆児童発達支援、放課後デイが一杯で預けることができない、その問い合わせを親自身が電話で確認しなければならないため、アプリ化してお互いの負担を少なくしてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費拡充について ◆障害者手帳持参者には負担の軽減を。 障害者手帳を持つ人に対して、基準以上でないと、所得制限のある場合、医療費の負担があります。 障害を理由に受診拒否する医院があったり、病院内に設備や配慮がないため小児や障害児を診てもらえない際にも、初診料などの医療費がかかります。専門性も必要なため、長距離、高額な交通費もかかります。 その際、所得制限の兼ね合いがあると、小児医療費の負担を強いられています。 ◆費用の負担が難しい場合には、障害のある人を、必ず診てくださる病院を区内に一つ作ってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2 子育て支援～学齢期（p.28） （政策13障害児者の支援） 保育・幼児教育の場の確保、人材の確保、多様な保育・教育ニーズへの対応と充実 ◆発達障害の可能性や診断があると、受け入れてくれない幼稚園保育園がいくつもありました。 無認可幼稚園などに通わせる場合には、有償でした。書類などの申請で無償化にするシステムに変えてください。 ◆発達障害の可能性や診断があると、受け入れてくれない幼稚園保育園がいくつもありました。 国連からのインクルーシブ教育の方針もできるように、保育士の資格に対して特別支援教育を必須科目にして、受け入れ体制を積極的に進めてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3 困難な状況にある子ども・家庭への支援（P.30） （政策13障害児者の支援） ◆このタイトル「困難な状況にある子ども」変えてほしいです。 ◆そもそも困難な状況におかれたのは、学校に特別支援教育を勉強された先生がいないこと、療育と合同で取り組んでいただけないこと、合理的配慮がないためです。 学校内での問題に対して、こども青少年局、保健福祉局、教育委員会合わせた第三者委員会を設置して、隠蔽体質を無くし、子供に対して困難な状況を作らない取組みを早期に打ち出してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策4.児童虐待・DV（p.32）、政策6.豊かな学びの実現（p.36） （政策13障害児者の支援） ◆小学校内の個別支援級（知的）で、担任教師からネグレクトを受けて登校拒否になりました。 昨年にも同一の担任の児童が、登校拒否になりました。 横浜市教育委員会は療育センターや、神奈川県内支援学校、こども青少年局、健康福祉局と協力し、今以上の教師への支援を定期的にしてほしいです。 教師の特別支援教育の専門性、精神的な負担の軽減に取り組んでください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「一人ひとりを大切にされた教育の推進」等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P24 ICT化教育の導入による活用実績があるといひのでは？	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P25 政策指標の「横浜市に住み続けたいと考える子育て世帯割合」の目標20%は高いのか低いのか他自治体と比較してどう判断していいかが不明	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P27 政策指標の「放課後キッズや学童クラブでの満足度」の低さについては何が原因なのかの明確な分析からの課題解決策が求められているのではないかと	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P28 施策指標の①一時預かり事業の延べの利用者数が約20万人/年の増加見込みだけでまだまだ低い目標値と思われる。 現状だけでも年間1家庭が3日程度という試算が出ているので横浜市における1家庭の利用率の実態を精査し目標に掲げて欲しい	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P30 5.ひとり親家庭の自立支援と2・3の若者、子どもに届く生活支援のバランスが推し図れない。生活支援事業の登録者数の目標値もスモールステップであるが地域の中での支えあう仕組みづくりへの手立ても明記して欲しい。	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P31 現状と課題の部分での里親委託児童数についてなかなか増えていかない要因を現状課題として踏み込んで明記すべき。過去6年間、右下がりの状況下を今の現状値より約、倍にするというのは容易ではないか離れた目標かと推察している。	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P32 DVに関する相談件数も目標値としては現状値より少なく、公的機関だけでなく民間支援との協働も視野に入れていくべき	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P34 「4. 多様な教育的ニーズへの対応」の部分は日本語支援拠点の拡充は然り、児そのものだけでなく家族まるごと支えられる機能として地域の中で福祉と分断なく教育的配慮が推進されることを望みます。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5。「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」・「多様な教育的ニーズへの対応（特別支援教育、医療的ケア、日本語支援、不登校支援等）」についてp. 36</p> <p>【意見】  今日、国は「夜間中学の設置・充実の取組の一層の推進」を地方公共団体に促しています。この「夜間中学」（義務教育課程）の今日的な位置付けとニーズをよく理解し、横浜市の政策の「多様な教育的ニーズへの対応」の中に「夜間中学の充実」をしっかりと位置づけていただきたい。これは「学齢期」を超えてなお「義務教育」の内容の学びを必要としている人に「教育機会」の保障と確保を行政が責任をもって行うべき、「教育を受ける権利」にかかわる大きな問題です。（「公立夜間中学」には、多様な人々に対して、「義務教育」を受ける機会を提供する使命があります。）</p> <p>【理由】  国は「教育の機会確保法」（平成28年12月14日公布）の中にしっかりと「夜間中学の設置・充実」としてこの問題について項を設けて述べています。しかし、横浜市は、なぜかこの部分に関しては全く触れず、すっぱり抜け落ちてしまっています。</p> <p>また、国はこの6月に「夜間中学の設置・充実に向けた取組の一層の推進について」を再度全国の教育委員会に対して発出しました。この中で、総務省統計局が行った「令和2年国勢調査（就業状態等基本集計）」の結果を大変重要視しています。この国勢調査に基づく、今日横浜市には、未就学者2,276人、小学校のみ卒業者が9,531人、合わせて11,807人も義務教育を受けられていない人がいることが明記されています。これは横浜市にとって、衝撃的な大変由しき事態ではないでしょうか。さらに、文部科学省は、「今回の調査により、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられなかった方、外国籍の方などが再び学ぶ場として、夜間中学がますます重要な役割を果たし、その期待も高まってくると考えます。」と附記しています。</p> <p>これは現に、未だ義務教育を十分に受けられていない人（横浜市民）が11,807人いて、この人たちに対して、どのように行政が教育（義務教育）を受ける権利を保障していくのか。そのような視点を含んだ、とても大きな問題であると思います。そして、教育基本法にもあるように、それを実行するのは行政の義務であり、責任でもあります。（これは国、行政が行う「義務」にかかわることであり、個人の申告要求を待ってはいけません。行政が今日どのように「未就学者」に温かい手を差し伸べるのかであり、極めてこの問題に向き合う行政の姿勢が問われる領域のことだと考えます。）</p> <p>【教育基本法第二章第五条】  「3国及び地方公共団体は義務教育の機会を保障し、その水準を確保するために、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。」  是非とも、このような国及び全国の地方公共団体の動向を視野に入れ、日本の政令指定都市のトップとして積極的な対応へと転換を図り、横浜市の教育政策の中にしっかりと「夜間中学」の施策を位置付け直してください。</p> <p>【文部科学省夜間中学の設置・充実に向けた取組の一層の推進について（依頼）】  【文科省第三期教育振興基本計画】  ◎以下、抜粋  「○夜間中学の設置・充実・学齢経過者であって小・中学校等における就学の機会が提供されなかった者の中に、就学機会の提供を希望する者が多く存在することを踏まえ、夜間中学の設置を促進するとともに、夜間中学における就学機会の提供等の措置を講ずる。具体的には、夜間中学は、義務教育未修了者に加え、外国籍の者、入学希望既卒者、不登校となっている学齢生徒等の多様な生徒を受け入れる重要な役割を担っていることから、教育機会確保法等に基づき、全ての都道府県に少なくとも一つの夜間中学が設置されるよう促進するとともに、夜間中学の教育活動の充実や受け入れる生徒の拡大を図るなど、教育機会の確保等に関する施策を総合的に推進する」P. 79と明記されています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策6. 「豊かな学びの環境の実現」について</p> <p><b>【意見】</b> 「学ぶことは生きること」。義務教育未就学者にとって「義務教育」を受けることは切実な願いです。 どうぞ「夜間中学・夜間学級の増設・充実」を基本計画に組み込んでください。お願いします。</p> <p><b>【理由】</b> 横浜市の人口は約377万人です。四国4県を合わせた人口が、約365万人です。この人口比率からだけ考えてみても、1校で十分であるということにはとてもならないと考えます。また、政令指定都市の中でも、人口2位の大阪市が4校、7位の神戸市が2校、10位の広島市が2校設置しております。是非とも、このような現状に踏まえ、未来に繋がる広い視野に立った政策の立案をお願いいたします。</p> <p>また、令和2年国勢調査（就業状態等基本集計）の結果、全国に未就学者は約9万4千人、最終卒業学校が小学校の者は約80万4千人いることが明らかにされました。この内、横浜市内には、未就学者2276人、小学校のみ卒業者が9531人、合わせて11807人の義務教育を受けられていない人がいることがわかりました。</p> <p>国勢調査からわかることは、ニーズが無いのではなく、ニーズは確実にあるのです。ただ、明確に手を上げる人がこれまでいなかっただけではないでしょうか。今も夜間中学について、その存在さえ市民の多くの人が知らない状況にあると思います。（広報活動や、ニーズ調査は十分にされているといえますでしょうか。）</p> <p>今求められていることは、この国の調査の結果を受けて、行政が公的な義務教育を受けられていない市民一人一人をどう救済していくかなのです。</p> <p>文科省は次のような一文を附記しています。「文部科学省としましては、今回の調査により、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられなかった方、外国籍の方などが再び学ぶ場として、夜間中学がますます重要な役割を果たし、その期待も高まってくると考えます。」と。</p> <p>この一文からもわかるように、これは義務教育を十分に受けられていない人（市民）に対して、憲法に保障されている等しく教育を受ける権利を、どのように行政が保障していくのかという大きな問題が、今現在あることが再認識されます。</p> <p>横浜市は、「自ら学び社会とつながりともに未来を創る人」を育て、「一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を目指し実現していくとされています。いま全国での「夜間中学・学級設置・充実」の動向は、急速に広がっています。横浜市も基本計画の中にしっかりと位置付けてくださるようお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5. 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 4. 多様な教育的ニーズへの対応（不登校支援等）について 【意見】 「不登校の支援等」の多様な教育的ニーズへの対応として「夜間学校」を含める政策、記述をしていただきたい。学齢期を超えてしまった子供たち、あるいは通常学級に通学困難な子供たちが、再度の義務教育内容の学びなおしをするために、「教育機会の保障」をする「場」として、是非とも「夜間中学」の充実をお願いいたします。 （「公立夜間中学」は、多様な人々に対して、「義務教育」を受ける機会を提供する「場」です。横浜市はその位置づけを具体的に再度しっかり行ってください。） 【理由】 国は「義務教育における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（平成28年12月14日公布）に基づき、平成29年3月31日に「基本指針」を出しています。 その中で、「不登校児童生徒等に対する教育機会の確保等、夜間その他特別な時間において授業を行う学校（以下「夜間中学等」という。）における就学の機会の提供等、教育機会の確保等に関する施策を行うことが必要である。」「夜間中学等における多様な生徒の受け入れ夜間中学等については、戦後の混乱期の中で様々な事情により義務教育未修了のまま学齢を超過した者に対して教育の機会を提供してきた。現在、このような義務教育未修了者に加えて、本国において義務教育を修了していない外国籍の者、また、不登校など様々な事情から実質的に十分な教育を受けられないまま学校の配慮等により卒業した者で、中学校等で学び直すことを希望する者を受け入れ、教育機会の提供を行うことが期待されている。さらに、不登校児童生徒の多様な教育機会を確保する観点から、不登校となっている学齢生徒を、本人の希望を尊重した上で夜間中学等で受け入れることも可能である。」と形式卒業者を含めた義務教育を十分に受けていない人に対して、多様で柔軟な施策へと踏み込み、手を差し伸べていくことを記しています。 今日の現状を踏まえると、不登校だけでなく、引きこもりも含めた問題の解決策を「ハートフル事業」の拡充施策で解決しようとするのではなく、多様な施策の一つとして「夜間中学」もその受け皿となることを明記していただきたいと考えます。 ちなみに川崎市は、「第三期教育振興基本計画」の中で「ICTを活用した学習支援、ゆうゆう広場での体験活動、フリースクール等との連携など、さまざまな取組を通して児童生徒の自己肯定感を高め、登校支援を行うとともに、夜間学級での学び直しも含めて、一人ひとりのニーズに応じた教育の機会を確保し、社会的な自立のための支援を行います。」（P. 57）「●既卒者の学び直しを含む多様なニーズに対応する夜間学級の運営 夜間学級の運営による一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実」（P. 61）を目指すことを謳っています。 【資料】 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針の策定について</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>I have several recommendations, maybe they are included in the main pamphlet, but I did not read it, I am sorry. But anyway, please take into consideration them as a foreign resident of the city.</p> <p>To Strategy 1. Urban development to create future for all children</p> <p>- creating non smoking city(It would be great if residents smoke in only permitted non-public zones. Sometimes I see people smoking, while walking on pedestrians or other public places.</p>	修正	ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。
<p>P.27の政策2について、地域における保育・子育て支援で公立保育所が果たす役割は重要であり、財源を確保したうえで待機児童対策や老朽化対策を積極的に進めること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>P.27の政策2について、保育士配置基準を引き上げるとともに、保育室の面積基準をはじめ保育に関わる基準の改善に取り組むこと。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>P.27の政策2について、公立保育所に求められている事業が増している現状をふまえ、公立保育所の役割を明確にするとともに、市立保育所の廃止民営化は行なわないこと。また、公立保育所の体制整備を行い保育や子育て支援ニーズをよりうけとめられるように保育制度の充実を図るとともに、環境整備や保育補助を直営で実施すること。さらに、調理業務委託は引き続き実施せず、食育推進の役割を公立保育所へ発揮させること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>P.31の政策4について、虐待や触法からの緊急一時保護など、公立の福祉施設の役割が発揮できるよう体制の充実が求められており、住民の福祉増進に責任を負う行政機関としての公立施設の果たすべき役割は重要となっている実状を踏まえ引き続き公立施設として運営を続けるとともに、ニーズに見合う直営施設の増設を検討すること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>P.31の政策4について、児童相談所の設置は人口50万人に1か所が必要であり、現在4か所の児童相談所では、急増する虐待件数に迅速な対応が困難な状況であり、より身近なエリアでの対応ができるよう、法改正の趣旨を鑑み東部方面児童相談所の設置を早急に行うとともに、6館目7館目の設置の検討を進めること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>P.33の政策5について、文部科学省通達にもあるように、自治体として望ましい完全直営方式による全員制の中学校給食を実施すること。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>P.51の政策13について、虐待や触法からの緊急一時保護など、公立の福祉施設の役割が発揮できるよう体制の充実が求められており、緊急的に対応しなければならぬケースなど、現行制度の福祉システムでは補えない事案に対応できるよう、自治体として責任を持った対応をすること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 子ども1人ひとりを大切にした教育の推進 1全ての生徒が満足できる中学校給食の実現(P.34) デリバリーありきで計画されていることに反対。 市が行ったアンケートでは、当の中学生の希望する給食が「温かさ」と「美味しさ」だったとか。また「横浜式デリ弁」は市内外から注目され悪名が高い。 大人から見れば、たかが3年間かもしれないが、その多感な時期の中学生が、まず市外に誇れるような温かくて美味しい給食を食べた思い出が、将来親世代になるときに子供にも勧めたい給食として語り継がれるのではないか。 デリ弁は市外の給食業者から搬入されるとか？横浜市での税金をなぜ市外の企業に流出させるのか？ 市はもっと色々真剣に、中学生が喜んで食べられる温かくて美味しい給食を食べられるように努力すべき。 給食に出す野菜は横浜産の物を使用し、生徒に農家を社会見学させ、自分たちが食べているのは横浜の農産物という自覚を持たせれば食育にも良い影響をもたらし、地域交流となり農家も活性化するはず。 ※大阪にできたことが、なぜ横浜市でできないか、忸怩たる思いだ。 【中学校給食全員喫食の考え方例】 横浜市の全中学校で「学校調理式」を実現するための5つの方法 1. 自校式不可と判定されている中学校には、その敷地の余裕に合わせ、二階建ての給食室を建てる。 2. 二階建て給食室を建てる余裕もない中学校には、配膳室+炊飯室を設置し、「自炊親子兄弟式」で調理する。 3. マンモス校には複数の学校の給食室でそれを支える2対1、3対1の親子式および兄弟式を使う。 4. 親子式および兄弟式には、必要に応じて他区からの運搬も使う。 5. 今後、給食室が改修予定の小学校150校で、親子式に対応するための供給可能食数の余力を増やす。 これらを合わせることで、全中学校で「学校調理式」が実現できる。「学校調理式」でまかなえれば、給食センターの建設は必要ない。デリバリー式給食の工場建設も必要ない。そのための土地を探す必要もない。学校の敷地内で給食を作る「学校調理式」は最も安上がりで、最も品質が高い。 設備投資にお金がかからないということは、その分のお金を「給食」そのものに使えということでもある。子供のために何が一番良いか、を考えれば、それは給食の品質を上げること。安全なこと、美味しいこと、楽しいこと、本当に考えるべき。 財源面で、デリバリー形の弁当方式では市の負担になり、学校調理法式給食にすれば国から補助金が出されるとも聞いた。ぜひ学校調理法式給食の早期実現を。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P.32児童虐待に向けた取組。児童相談所の職員の意識の向上。 制度を推進する前にまずは市以下の区の内情を精査して現在ある制度を徹底的に充実させてから推進してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の原則化を応援します。供給方式は問いません。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>素案冊子の34ページ 主な施策1 中学校給食の利用を原則とした上で、アレルギー対応などへの柔軟な対応をして頂けるのであれば、方式は気にしません。とにかく早く進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案冊子P34政策5の主な施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について 供給体制は市が決めること。栄養バランスや地産地消の視点を大事にして、どんどん進めてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>素案冊子の34ページ 主な施策1 中学校給食の利用を原則とする方針を支持します。方針に拘る必要はありません。みんな一緒に美味しい昼食を食べられるようにしてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>素案冊子P34政策5の主な施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について、記載の通り推進してください。 政治問題にしないでください!</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「デリバリー方式」を前提とする議論に反対です。 子どもたちには自校で作った料理を食べて欲しい。企業に下請け丸投げのデリバリー方式には反対です。食材の安全性、新鮮さ、調理する労働者の衛生面にも自校なら日常的にチェックできます。 子どもの健康、食の安全は未来の宝である子どもたち第一に考えてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 令和2年度の横浜市の不登校児童生徒数は5,687人。横浜市の行っているハートフルスペースなどの居場所もありますが、民間のフリースペースやフリースクール、小さな居場所など当事者の保護者などが運営している居場所もあります。私もフリースペースの運営にかかわっていますが、自分たちで出資したお金で基本運営しながら、毎回様々な民間、公的助成金に応募しながら切り盛りしています。安定して運営していくためにぜひこのような施設に対応した公的補助をしてください。不登校の子どもたちは学校に戻ることを前提にした居場所は、心理的に適応しない子が多いです。子どもが自分らしくゆとり過ごし、自分の生き方を決めていく環境が必要です。私たちのような小さな居場所こそ自分を取り戻す居場所となっています。横浜市は「国の動向を見て（助成するか）決める」としていますが、子どもたちは待たなしです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」等に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 全員喫食の給食を原則にすることは大きな前進。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進</p> <p>現在行っている選択制のデリバリー方式による中学校給食は、子ども達が望んでいる給食ではありません。今年6・7月に行った生徒・保護者へのアンケートでも「あたたかさ」と「ワクワクする美味しさ」を子どもたちは求めています。デリバリー方式ではこの2つは満たすことはできません。山中市長は「基本戦略」テーマ1の中で「すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」を打ち出しています。デリバリーではすべての生徒が満足できる給食にはなりません。</p> <p>1.現在の選択制のデリバリー給食の契約が切れる2025年末に全中学校で一斉に全員喫食の給食の開始を前提に考えているため、設備、経費等の関係で「デリバリー方式」を選択した事になっています。しかし、145校という規模で一斉に同時スタートと想定していること自体に無理があります。しかし、市長の言う「すべての生徒が満足できる中学校給食を実現」するのであれば、あたたかさ、おいしさを満たすことであり、それ以外にもアレルギー対応、残量、有機食材などに考慮したものにすること。</p> <p>2.教育委員会の調査で中学校145校のうち2校は小学校併設校ですでに自校調理方式で実施中。39校が自校式可能、親子方式で可能が22校、きょうだい方式で11校が温かな給食の提供が可能となっています。ここは実施できません。</p> <p>他の72校がいずれの方法でも温かな給食の提供ができないとのことでした。そのことから、全部の中学校に同等の給食を提供するには「デリバリー方式」が対応できるとの結論にいたつたとしています。</p> <p>しかし、親子方式、きょうだい方式での他校に十分な提供可能な余力食数があります。横浜市の試算は「1小学校—1中学校」または「1中学校—1中学校」での提供になっています。しかし、大阪市で行っている「複数の小学校から1中学校」「複数の中学校から1中学校」という方法での対応を行えば、20690食が余る計算になります。（市の資料を使って磯子区Dさん試算）。</p> <p>親子方式も、兄弟方式でもどうしても調達できない中学校はセンターを建設し、学校調理方式と同等の給食を提供するなどの方法を実施してすること。</p> <p>Dさんの試算では鶴見区、港北区、都筑区など数区に対応する給食センターが必要となります。これらを考慮し、自校方式、親子方式、きょうだい方式、センター方式を混合して（いわゆるミックス方式）で温かい給食を提供に踏み出していきたい。ミックス方式で全校実施までの年次計画を立てていただきたい。中期4か年計画の予算を組みこんでいただきたい。</p> <p>1.「デリバリー方式」で全員制の給食を実施した場合でも、2026年度全校で全面实施するには多くの困難を抱えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業者のサウンディング調査でも「早朝の重労働で離職が多いが、外国人研修生の雇用が最も頼りになる」と重労働で人権問題にもなっている外国人研修生の「雇用」を頼りにしているのは問題だと思います。</li> <li>・調理から冷却を経て2時間以内に納品するには午前4時5時からの勤務が必要になるのではないかと。</li> <li>・子どもたちに安全な食を提供する業務を低賃金・不安定雇用の労働者の過重労働の上に成り立つ仕事とならないでしょうか。</li> <li>・中学生は食の量が様々な生徒が多く、現状の選択制のデリバリー方式でも通常の給食に比べて食べ残しが多く、食品ロスにつながっているのではないかと。</li> <li>・調理している場面を見たり、調理員との交流もなく、配膳もなく、取りに来て返すだけのかかわりで、食育にもならないのではないかと。</li> </ul> <p>以上から、全員制の中学校給食はデリバリー方式ではなく、自校方式を軸に親子方式、きょうだい方式、そしてセンター方式も含めてミックス方式で開始できるよう中期4か年計画に年次方針を組み込み、できるところから進めていってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5学校の給食について                      デリバリー型では冷たくて食べにくいとの声を聞いています                      他都市でデリバリー給食の残食の多さも聞きます                      小学校のような、温かいみんなで食べる給食を自校式や親子、兄弟方式など組み合わせさせてやっていただきたい                      できた所から、随時すすめる形でも良いので、どんどんすすめてください</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>保育士の給料の補填などとして、人材を確保してください</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5について                      中学校給食の全員実施は評価します。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5について                      デリバリー方式は反対です。                      教育委員会作成の、「中学校＜ミックス方式＞小中学校組み合わせ（令和4年8月版）」によれば自校方式は39校で実施可能、親子方式は22校、きょうだい方式は11校、計72校が「温かい」食缶方式の中学校給食が実施できることになっています。令和3年の資料では、自校方式全校実施の施設整備費は309億円、親子方式全校整備して84億円とあります。ただし、市は1小学区から1中学校への配送しか考えていません。大阪市のように2小学校、ないしは3小学校から配送可とすれば親子方式はもっと実施できます。自校方式、親子方式、自校方式で余力の出る中学校からの配送（きょうだい方式）を含めると、約80%の中学校で「温かい」給食が実施できます。                      経費を考えると、39校分は全体の約27%なので、施設整備費は約八十三億円です。親子方式は小学校340校ありますので、試算より低額になるとおもいますが、そのままの試算でいくとして、約167億円で実施できる計算です。                      残りの20%については、中学校の調理室建設の際に余力ある計画を立てることや、学校統廃合でできた空き学校に調理室をつくる事や、給食センター設置等工夫すれば全校で実施できます。デリバリー契約の終了する2025年度末までに急いで着手し、順次移行していけば可能です。                      念願の中学校給食スタートに当たって最善の施策を実施することは、横浜市、特に教育、食育の観点から、教育委員会の責務だと思います。初心に帰って学校調理方式で「温かい」中学校給食の実施に立ち向かってください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中期計画に、現在は「選択制」であるデリバリー式給食を「全員制」ではなく、自校式、親子式を組み合わせた「学校調理式」への移行を求めます。                      各中学校における自校式および親子式の可能性を検討してほしい。现阶段では検討が不十分ではないのか？なぜ横浜市の中学生は、長時間運搬で冷たく、アレルギーへの対応が難しいなど欠点が数多く、生徒、保護者からの評価も低く、残食率が高いデリバリー式の給食なのか？                      横浜市の中学生たちが、「横浜市の給食は美味しい」と言える給食であってほしい。                      給食を民間業者に丸投げすることは、子どもたちの豊かな育ちにつながらないと思う。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり                      子どもを大切にする市政推進本部の設置                      市長（又は副市長）を本部長とする推進本部を設置し、子ども関係二法（「子ども家庭庁設置法」「子ども権利法」）の実行に対応する横浜市の子どもの大切にする市政推進体制を確立し、子どもを大切にする横浜市政を強力に推進すべきと考えます。それ位大変で、重要な課題であると考えます。                      現在横浜市では「子どもの貧困対策推進会議」が設置され、こども青少年局を事務局として取り組まれているが、各局を横断する組織であるため全く機能していない、といわざるを得ない。                      関係部局である子ども青少年局、健康福祉局、教育委4委員会、市民局、政策局等をまとめていくには、国段階では子ども家庭庁設置、子どもの貧困対策推進のトップを岸田首相が担ったように、市のトップが責任をもって調整、推進していく体制が不可欠と考えるが如何でしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>計画の推進体制についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり                      「未来を担う子どもを育む子ども・子育て支援の充実」                      「未来を担う子どもの教育の充実」                      に「子どもの権利を尊重するまちづくり」を1項加える。                      そして政策6項に7項目目として「子どもの権利条例の制定」（仮称）を加える。                      先の通常国会で「子ども家庭庁設置法」（令和4年法律第75号）、「こども基本法」（令和4年法律第77号）が成立しました。1994年に国連「子どもの権利条約」を批准して26年、ようやくの法制化です。少子化、人口減少、子ども虐待、こどもの自殺増など子どもや若者を取り巻く社会状況が深刻化する中でようやく造られた子ども関係二法です。「常に子どもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据えて。子どもの視点で、こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもをだれ一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする」ものです（令和3年12月21日閣議決定）。そしてその実行の多くは基礎自治体に委ねられています。                      私はこの二法の中でも「子ども権利法」が同時的に策定された意義を強調したい。それは従来の法律が「子どもの最善の利益」ばかりが強調され、子どもの視点、こども目線できちんと取り組まれてこなかったことのとらえ返しがなされ、新たな社会規範づくりが始まった証左であるからです。                      私たちは先の3月市議会期、市長及び市議会議長あて「子どもを大切にする市政推進を」の要請書を提出しました（平成4年1月26日付）。市側の回答は不誠実極まりないものでした。曰く「国連子どもの権利条約は日本国として批准しており、市も順守している（子どもの権利条例など必要ない）。」「『横浜市人権施策基本指針』には確かに子どもの人権といった視点は入っていない」等。そうした結果、中学校給食をめぐる市議会論議で、教育長が平然と「中学校給食の中身について当該中学生の意見を聞いていない」と市議会ですべてのける事態がまかり通っている状況である。                      国会の「子ども基本法」制定議論の中で、こども基本法の意義は「すべての子ども政策にまたがり、横串を指す機能を持つ理念法が定められることで、問題が生じた場合に法的根拠に基づく批判や改善を行うことが可能になる」「自立した個人として…その権利の擁護が図られ」とされていることを横浜市もしっかり踏まえるべきであろう。                      子ども家庭庁発足は来年4月1日、お隣の川崎市は2001年に「川崎市子ども権利条例」を制定している。今からでも遅くはない、「横浜市子ども権利条例」を早期に制定しましょう。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策4児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実 2 区役所、児童相談所の機能強化 1 児童相談所の地域配備</p> <p>児童相談所の地域配備は、人口50万人に1箇所という国基準からして、市内4か所プラス東部方面へのサテライト拠点では地域対応に問題がある。児童相談所は「児童虐待対策」として語られているが、それだけではなく問題を抱えた子どもの育ちの相談・支援、区役所・教育施設との支援・調整の役割に欠かせない専門機関であろう。国の論議でも子どもと家庭に対する、アウトリーチ型・伴走型が他の支援の重要性が論議されてきた。</p> <p>戸塚区ではJR東海道線の交通便利性からマンション建設が相次ぎ、こども人口が増えている。それがJR洋光台駅にある南部児相の所管ではいかにも不便である。港南区に移転改築とのことだが、これでは戸塚方面に設置しない口実となってしまう。交通便利性も含めて地域性を考慮すれば磯子区、金沢区、港南区方面と戸塚区、泉区、栄区方面を分けて配備するのが適正だと考える。</p> <p>戸塚区に児童相談所を地域配備することを求めたい。療育センター地域配備が、南部療育センターがありながら戸塚区に設置されていることとの整合性からいっても当然の措置であるだろう。</p> <p>2 児童相談所に広報機能を</p> <p>横浜の市民社会はますます多様化し、子どもの育ちも多様化している。女性の労働参加、家庭形態の多様化、孤立化がさらに進展し、社会的養護が更に求められる社会状況である。</p> <p>こうした社会状況下で育つ子どもの状況がどのようなものであるか、市民社会全体が子どもの育ちに関心を持つには、問題を抱えた子どもの状況がどのようなものであるのか、児童相談所から見た「子ども白書」をぜひ発出してもらいたい。そうしたことがあって初めて市民社会、コミュニティが「こども真ん中社会」に関心をよせ、一部の団体や専門機関任せを超えた地域社会全体での子育てが出来ていくのではないだろうか。</p> <p>児童相談所に「子ども白書」機能を持たせ、必要な予算措置を採って下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策2切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期 都市化の進展、女性の労働市場進出に伴い、保育施設が拡大し、行政の関与・規制があったとはいえ、ある意味無政府的に託児機能確保がなされた。「質より量」であったといえよう。</p> <p>子ども二法の成立、施行を機に「量から質」へ大転換されるべきだろう。</p> <p>① 戸塚区では戸塚駅近辺に多くの保育施設が集まっている。それらの多くは園庭のない、マンションの一室、スペースを使用した保育施設である。そのため晴れた日には裏道はお散歩コースが重なり合い、自動車の往来が結構あるため、引率の保母さんは大変であり、子どもの危険度も相当あると思われる。「ひやり、はと」で保母さんの疲労が増すことのないよう、園児の危険がないよう、保育施設には園庭が必置の保育環境を整えていってほしい。</p> <p>② 保育労働者の待遇改善。コロナ下でエッセンシャルワーカーの低労働条件が社会問題化した。低労働条件のため少しでも条件のいいところに異動する、その結果は園児の保育内容、継続性に影響し、保育の低下となる、こうした悪循環を断ち、保育内容を向上させるには保育労働者の待遇改善、格差解消を図ることが不可欠でしょう。岸田政権下で保育労働者の給与9000円改善措置がなされたが、結果1人ひとりの保育労働者にどの程度及んだのであろうか？結果が公表されているのでしょうか？</p> <p>③ 子育て支援施設は多様であり、子ども、お母さんたちの目線でみれば、保育園、幼稚園に行く子、子育て支援拠点に行く子と分断された状況である、日常生活圏で子ども、親たちがつながる、地域コミュニティ強化につながる施設展開を望みたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 「自分のことが好きでないと回答し、自己肯定感が低いと思われる生徒ほど、学校・家庭以外の第3の場を持たない傾向がみられることから、誰もが気軽に安心して集える居場所が身近にあることが重要」との認識は大事なことであり、関係者の共通認識として共有し、対応策を立てることは大切な課題である。実際、学校の休み期、試験の前には地区センター、図書館は中高生でいっぱいであり、有料の学習場所まで開設されている状況である。 本来は児童館が設置されていればよいのだが、横浜では設置されていない。対応策として子ども食堂や地域にあるケアプラザの開放がなされているが、こうした対応策を推進すると同時に地域で自由に出入りできる施設の設置が検討されるべきだろう、空き家対策の活用も検討されたい。モデル設置から開始されることも一考すべき、町内会、NPO等と連携した取組を望みたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進 中学校給食の完全実施 横浜市よ、この問題ではいい加減にせよ、といいたい。デリバリー給食を完全給食と言い張り、やらない根拠づけに税金を投入し、当該の中学生に意見も求めず、一体なぜできないのか、だれがサボタージュし反対しているのか？明らかにしてもらいたい。 ①温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べる中学校給食に即時着手せよ ②昼食は楽しく、ゆっ取り取ろう。昼食時間15分、の実態はどうなのか、公表せよ。 そして「みんなが楽しい昼食時間」を実現するにはどうしたらいいか、生徒、教師と一緒に考えてみよう。現場教師が「労働強化になる」と反対して、とは信じられない怠慢。教育長が先頭に立って対話し、解決策をみだし、必要な対応策をとられたし。そんなこともできないなら責任者教育長を更迭せよ。何年もこんな議論をやっていて、実際には中学校給食の実施をサボタージュしている教育関係者よ、恥を知れ。 ③ご都合主義的「地産地消」対応ではなく、商業主義によらない学校給食と連携する農家の育成、都市農業の確立と一体的な学校給食を推進しよう。 ④学校給食を「たべる」ことだけでなく、農業体験や食事作りへの参加等を通じて食材の「いのちの輪廻」に感謝し、人間中心主義に偏らない生き物の共生を学び、大切に食文化、食育を育もう。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>全体として 『子育てしたいまち』を基本戦略としたことは大いに評価しています。一方では大きな印象として総花的ともかんじます。財源も限られるなかでインパクトのある政策を望みます。若者、女性が積極的に活躍できる環境を作ってください。以下、個別の意見を述べます。 &lt;P34政策5 主な施策1 すべての生徒が満足できる中学校給食の実現&gt; 中期計画の出発点となるべき中学校給食の問題は最重要課題です。なぜそれが簡単にデリバリー方式になったのか大いに疑問です。例えば大阪市ではデリバリー方式で始めて不評のため自校方式に変えています。子どもたちのアンケートでも温かい給食を望む声が大きいです。教育委員会の資料でもミックス方式の資料がでていますがその検討はされたのでしょうか。教育の観点、災害時の有用性などを考えると業者任せのデリバリー方式は『子育てしたいまち』には絶対に相応しくないと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>&lt;P34政策5 主な施策2 及び政策6 豊かな学びの実現&gt; 一言で言えば教員を増やせということにつきるとおもいます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>全員喫食の中学校給食を目指すのは結構です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>自校方式や親子方式など様々な工夫を凝らして、全国でデリバリーから温かくて成長期にふさわしい栄養価の高い給食への動きが加速しています。是非再検討をお願いします。デリバリー弁当業者との長期契約が5年後、10年後、30年後迄足かせになるような計画は絶対にやめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P33政策5 政策の目標 P34主な施策すべての生徒が満足できる中学校給食の実現についてデリバリー方式ではなく、温かいおかずを提供できる自校方式・親子方式・きょうだい方式・小規模センター方式をミックスした方式にしてください。 今回、「デリバリー方式で原則すべての生徒に中学校給食を提供する」としたことは、今だに、愛情弁当論を持ち出す自民党議員や予算の制約を言う自民・公明の議員が多数を占める中、33頁にあるように、「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します。」や34頁の「地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進します。」という内容は歓迎すべき内容を含んでいますが、しかし、これをデリバリー方式で実現できるでしょうか。 大阪府・市などデリバリー方式では「おかずが冷たい、まずい」と残食率が高いので、自校方式・親子方式などで温かい給食に切り替えている自治体が出ています。本当に学校給食法の趣旨や食育を重視するのであれば、もう一歩進めて、自校方式・親子方式・きょうだい方式・小規模センター方式をミックスした形にするのが生徒のためだと思います。 横浜市教育委員会の資料によると、自校方式可能校が39校、親子方式可能校22校、きょうだい方式可能校11校合計72校（50%）と有ります。 先ず、72校が本当の給食で先行し、順次、全体に増やすのが現実的だと思います。 なお、その教育委員会の資料を検討すると、自校方式・親子方式・きょうだい方式で食数としては、全中学校に提供できる食数を作ることが出来ます。 確かに、プラスの区とマイナス区があったり、1つの小学校から複数の中学校に運ぶことが必要となるなど検討すべき課題があることは分かりますが、既に、大阪市等で出来ているのですから、充分色々なケースを検討すれば、可能ではないでしょうか。 少子化対策としても、中学校給食は大きな比重を占めています。今は共働き世帯が多いので、生徒が積極的に利用する給食内容であれば、多くの親も安心して横浜に移住出来るのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P33政策 5 政策の目標 P34主な施策すべての生徒が満足できる中学校給食の実現について給食費を無料としてください。憲法では「義務教育は無償」としています。また、気になる話を聞きました。「現行の給食で、利用した生徒が、給食費を用意できない生徒の親からいじめられた。それを止めさせて欲しい。そうしないと利用できない」というのです。全国でも、小さい都市から給食費無料の取り組みが進んできています。当面、生活困窮家庭の生徒の給食費無料化を進めてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』 ＜方向性＞ （意見）「子どもの貧困の解消」を掲げて下さい。2018年時点で子どもの7人に1人が貧困であり、3食きちんと食べられない状況です。子どもの貧困の解消なくして、すべての子どもたちの未来を創ることはできません。 ★主な内容 （意見）「子どもの貧困の積極的な解消」を掲げて下さい。貧困がない社会、子ども食堂やフードバンクといった緊急避難に頼らずに横浜市が一義的に子どもを主体的に育てる環境を整えて下さい。子どもは夫婦や家庭だけのものではなく社会のものであります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策1切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～ ■現状と課題 （意見）夫婦どもの雇用が安定し経済的にゆとりがないと子どもを産むに至れません。非正規雇用では家庭を持たず、子どもを持たません。非正規雇用の増加こそ問題です。また、横浜市自ら非正規雇用を増やしていること、公契約条例を制定せずに横浜市と関わる業者の労働条件を担保していないことが問題です。また、家賃の高さも生活費を圧迫しています。 ◎主な施策 （意見）以下の施策を追加してください。 ・非正規雇用を減らす施策を打ってください。夫婦どもの雇用が安定し経済的にゆとりがないと子どもを産むに至れません。非正規雇用を減らす施策を打ってください。 まずは横浜市役所から非正規労働をなくしてください。非正規労働では家庭は持てませんし、子どもは育てられません。また、川崎市のように公契約条例を制定して横浜市と関わる業者の労働条件を担保して下さい。 ・横浜市内の家賃が高いので、20～30代が結婚した場合の住居費を援助してください。 ・出産費のみならず妊娠中の費用を無償にして下さい。 ・18歳まで医療費を無料にして下さい。 ・児童手当の所得制限を撤廃して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策2切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～ ◎主な施策 （意見）以下の施策を追加してください。 ・子育てに係る費用を無料にして下さい。 ・18歳まで医療費を無料にして下さい。 ・小中学校の給食を無料にして下さい。 ・ランドセルを配給して下さい。 ・学用品を無償にして下さい。 ・中学校の制服を無償にして下さい。 ・児童手当の所得制限を撤廃して下さい。 ・空き家を改築して、宅幼老所として、地域福祉の拠点として下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「2保育・幼児教育の場の確保」について、保留児童は希望する地域に保育所がないために生じているので、空き家を活用して保育所を増やし、例えば宅幼老所のようなものを作り、地域で子どもを預けられるようにしてください</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>政策3 困難な状況にある子ども・家庭への支援  <b>■現状と課題</b>                      （意見）子どもの貧困に対する記述が不十分で、重大な社会問題となっているのにその視点が欠落していることは、現状認識としては全く浅はかです。子どもの貧困率は2018年で13.5%、ひとり親家庭の貧困率は48.1%、7人に1人の子どもが3食食べられない状態です。食料を買えず書籍を諦め進学を諦め、貧困が再生産されています。子ども食堂やフードバンクは緊急避難的措置であるのに常態化しているのは異常です。  <b>◎主な施策</b>                      （意見）「5ひとり親家庭の自立支援」について、就労支援だけでなく、住居の提供、生活費の補助、養育費の立替も行ってください。また、ひとり親がダブルワークやトリプルワークをせずに安定した仕事に就けるように、横浜市で直接雇用してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>政策4 児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実  <b>■現状と課題</b>                      （意見）コロナ禍もあってテレワークが進む中で家庭の中で家族が密に暮らす状況は対人ストレスを増加させます。こうした時代背景に対する認識が足りません。家庭の外での居場所づくりが急務です。子ども食堂のみならず、図書館や地区センターの増設が急務であることを認識してください。  <b>◎主な施策</b>                      （意見）以下の施策を加えて下さい。                      ・家庭外での居場所の充実（図書館や地区センターなどの増設）                      ・小学校や中学校の一部を夜間に開放し、夕ご飯を提供したり、図書館や子ども食堂以外の居場所として提供したり、地域福祉の拠点としてください。子どものみならず、青年も大人も高齢者も家庭に居場所がない者が集える場としてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」等に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>政策5 子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進  <b>★政策の目標</b>                      （意見）「学校給食法の趣旨を踏まえ、デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた体制を確保します」とのことだが、デリバリー方式はアンケートでも不評であることが明らかです。デリバリー方式はやめて、自校・親子・兄弟方式のミックスにより弁当ではない給食を目指してください。他の地域に用地買収して工場を作るよりも、小中学校の敷地に給食施設を作る方がよほど費用がかかりません。  <b>◎主な施策</b>                      （意見）「1すべての生徒が満足できる中学校給食の実現」として、「中学校給食の利用を原則とし（アレルギーへの対応などによる家庭弁当の選択も可）、デリバリー方式による供給体制の確保生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた準備」を掲げていますが、デリバリー弁当は中学生が望んでいないことがアンケート調査の結果からも明らかです。横浜市は、自校式と一対一の親子式とセンター式のミックスしか検討していませんが、自校方式・二対一又は三対一の親子方式、兄弟方式を組み合わせ、小学校の余剰分を接続区のもう一つ隣の区より運搬することにより中学校給食を賄えるとの試算を、市民の有志が算出しています。                      デリバリー弁当ありきではなく、まずは調理した給食による対応を念頭に検討を行い、せっかく検討したのですから、その検討結果を精査してください。調理した給食を栄養士がついてアレルギー対応にも宗教食対応にも応じられるようにし、給食時間も他の政令指定都市のように30分位にして食育に努めて下さい。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策6 豊かな学びの実現 ■現状と課題 （意見）「老朽化が進む市立図書館の修繕や建替えとともに、まちの魅力づくりに資する新たな図書館づくりが必要」と書かれているが、そもそも市内18区に、一区に1つの図書館しかなく、全国的に見て人口当たりの図書館が全く少ない現状認識に欠けている。1区に2つの図書館を設けるように設置を進めていくことを課題とするべきである。 ◎主な施策 （意見）「4 新たな図書館像の構築と市民の豊かな学びの実現の充実」として、「市立図書館における電子書籍などデジタル資料の活用等にも取り組み」とあるが、市立図書館の充実の視点としては全く足りない。市立図書館は知の拠点であるとともに居場所である。1区に1カ所ですべて市内18カ所の図書館では人口比に比べて非常に少ない。1区に2カ所の図書館を設けてほしい。超高齢社会の際の高齢者の居場所、子どもの居場所、単身世帯が増える中での居場所と成り得、集中して滞在することから社会全体としてのエネルギー消費量も抑えられる。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>1.-5 中学校給食について 私は横浜市立小学校で学習支援をしています。 「中学にいくと給食が食べられない。まずい弁当だからおかわりもないしいやだ。給食はリクエストや、バイキングもあるし、楽しみだから。」と、6年生がいいです。 霧が丘小中のように実際に親子方式を実施されている学校をみて、小中学が隣や向かいだったりすぐかかれないことはないし場所がすぐに確保できる学校もあります。5,6年かけてやれば、できるのではないのでしょうか。お金が無いとか場所がないという説明は、要するに子供にかける金はないという主張です。 成長期の中学生には小学生にも増して、たべることはたいせつです。一人ひとり大切にするというならまず、命に直結する給食をまず充実させてください。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示ししました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>小児医療費の無料について現在は3歳から所得制限がありますが、若い人たちが「住んでみたい横浜と」みんなが思うようになるため、中学3年まで小児医療費の無料化を計画とすること。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>保育士の処遇改善（人員配置・賃金アップ等）、保育園の保護者負担の軽減を図ること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>中学校給食はデリバリー給食が原則でなく、食育・栄養バランスやアレルギー対応、地産地消、防災、栄養士さんがいる学校で調理する学校給食を計画すること。（青年たちが実施している食糧支援活動には多くの貧困家庭の人たちが駆けつけていますが、日頃食事では炭水化物が多く鉄分やカルシウムなど不足がちになるといいます、バランスの取れた食事は発達期の中学生重要です。）</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示ししました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>少人数学級の推進や教職員の増員を図る年次計画を策定すること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>こどもたちのため 出産こんには赤ちゃん制度はいいと思いますが、ベテラン、子育て経験のある保育士をお願いします</p>	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
虐待一時保護が妥当な件でも放置します鶴見区。一時的に保護してまた家に返すようでは問題解決にはならない。注意や研修をただで、良しとなぜできるのか。甘すぎる豊かな学び、先生が足りない	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
小児医療中学3年生まで小児医療無料化 財源は、どこから	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食デリバリー型 生徒が望む温かいできたて小学校のような給食 ミックス方式はやればできます。 デリバリー型を毎日食べるのは嫌だと生徒が拒否反応を起こしています 残飯が多い。他都市で失敗しています	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>【政策5】 給食政策について、中期計画に、現在は「選択制」であるデリバリー式給食を「全員制」に移行することが盛り込まれているが、これは中止すべきである。 散文になって申し訳ないが、問題点や解決策を挙げていく。 &lt;アンケートが恣意的&gt; 利用したことのない生徒などに利用しない理由を聞いても「おいしくない」という理由はでないし、利用したことのある人に利用した理由を聞いたら「おいしくない」という理由は出ない。なお、利用者の8%ほどしか「おいしい」とは言っていないので、味は二の次でやむ無く利用していることが窺える。なぜ子どもたちにおいしいものを温かく食べさせようと思わないのか。 &lt;試算・検討結果が恣意的、いい加減&gt; 横浜市の中学校は145校あり、うち実施困難が半分なのだから半分は何らかできるのである。 それなのに全員一斉スタートを目指したいとデリバリー型を採用しようとしている。小学校はブロック分けされてその日のメニューはブロック毎に異なるのだから、中学校も学校毎に手法が混在していても問題ないわけだし、大阪市でも2015年から2019年のあいだに順次導入していったのだから、導入時期がずれてしまうのは丁寧な説明をしその分補償すれば問題ない。 中学校の敷地に給食室が作れないという結論は、横浜市が机上で調査し判断しただけのもの。結果として、大きなグラウンドがあっても不可、トラックが入れる道が別にあるのに不可、空き教室があるのに不可、親子・兄弟式も親子や兄弟が1：1で最低隣接区でなければ不可、とされている。 敷地不足でも給食室を2階建てにしている自治体もある。小学校の統廃合で市の求める基準より狭いグラウンドになることがあるのに、中学校の敷地から給食室分を削ることを渋るのはダブルスタンダードではないか。 親子・兄弟式でも親や兄が2または3で運営している自治体もある。 教室周辺で大型炊飯器（1クラス2升炊きぐらい）を置いて炊飯している学校もある。 市会でも質疑に出たが、一部メニューだけ配達も、法的に問題というわけではない（私も小学校が実際、自校炊飯ではなかった。）。 実際、供給不足の港北区・鶴見区の親子・兄弟式はきた線・北西線を使い、余力の大きい青葉区から配達すれば賄えるという試算が出ている。 工夫次第でなんとでもなるのである。 また、費用面においても初期導入費こそ親子式で60億円、自校式で260億円といわれるが、ランニングコストは自校式・親子式であれば小学校の半分程度（3学年分）で、中学受験でいなくなる分を勘案しなくても公費負担は約41億円であり、デリバリー型の60億円を下回る。これは、給食は教育の一環で永続的であるが故に長期的にはデリバリー型が高つくことの証左である。更に、市が出したデリバリー型の試算には、流通コストが含まれていない。長距離運搬とそれによる厳しい温度管理で高コストであることはハマ弁時代から指摘されていることである。 費用がかさむといっても、市の一般会計予算の1.5%、新市庁舎の1/3にしか過</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ぎない。子どもたちへの投資をケチっていたら、住民は減り（転入せず）、税金も入ってこなくなるというのに。</p> <p>結局最大の障害は、利権にまみれていると思われるハマ弁時代からのスキームをやめられないことにあるから、デリバリー型ありきの報告書が出るのだ。</p> <p>自校・親子・兄弟式も、センター・デリバリー式も、不確定要素がそれなりにあるなかで、デリバリー方式がいちばん実現可能性があるというが、結局工場用地も確保の保証はない、労働力も外国人研修生が頼りなどと言出す業者が出る始末である（※）。自校・親子・兄弟式なら、学校の敷地でやるのだから、少なくとも用地確保はクリアした状態で検討に入れる。</p> <p>（※）多くの外国人技能実習生の労働環境（低賃金・重労働・非人道的扱い）を思えば、そんなことを考えるような業者は公的事業には不適切である。</p> <p>&lt;添加物等使用問題&gt;</p> <p>給食については、残留農薬、食品添加物、細菌等の検査結果を報告することになっていて、よこはま食育財団が公表しているが、デリバリー型給食にはそれがないようである。この点は極めて問題である。</p> <p>&lt;世の中に逆行するデリバリー型推進&gt;</p> <p>報道されているだけでも、大阪市、神戸市、堺市、広島市、大磯町、相模原市、町田市、平塚市、逗子市が、デリバリー型から脱却、または脱却を決めている。</p> <p>大磯町は残飯率が減ったとの報告がある。市会でも小学校のそれは5%だが、中学校（デリバリー型）については言えないとの回答があり、かなりの差があるのだろうと思われる。</p> <p>また、SDGsの観点からも、残飯問題は勿論問題で、加えて作られた食事が急速冷却され（調理後喫食まで4時間想定のため。センター方式では一般的に1時間程度、学校給食衛生管理基準では2時間である。）市外から長距離運搬されることもエネルギー的に非効率で問題である。</p> <p>&lt;教員が業務放棄している：給食指導&gt;</p> <p>食べることも大切な教育である。だからこそ給食の時間も「指導」のはずであるが、長年の家庭弁当のせいでその時間が指導に含まれていることを忘れていいのか、教員側から「配膳・下膳が面倒」という声もあるようである。それは職務放棄と言わざるを得ない。</p> <p>再び残飯の話になるが、デリバリーは一人一人に合った量の調節ができないため、一般的に女子には多く男子には少ない、また決められた時間内に食べきらないという問題がある。蓋をすれば残飯が見えないため、残すことにも慣れてしまう。小学校では、「世の中には食べられない人もいるのだから出されたものは残さず食べる」（食缶でも一人一人取りに並ぶわけでもなかったため、融通が利かず苦労した思い出しかないが…）と言われたのと矛盾している。予備食を含め税金で賄われたそれらが廃棄される中で、同じ市内で今日もどこかで子ども食堂が住民の善意により開かれている、この矛盾はどう生徒たちに説明できようか。</p> <p>&lt;給食室は雇用創出および地域の防災拠点になる&gt;</p> <p>デリバリー方式の問題は、いわば給食民営化となることである。また、現在も市外から配達されているということから、増設も市外と思われる。これは、横浜市住民が雇用されない、税金が市外に流出する一方であることを意味する。</p> <p>それから、地域にない上民間だから、非常時に利用することもままならない。いまは、災害時の炊き出し機能のために、重油を燃料とした「蒸気回転釜」もある。それらを導入し、地域の災害拠点として学校を充実させることも重要と考える。</p> <p>&lt;10～30年の契約は条例違反&gt;</p> <p>やはり、デリバリー型で8万食を提供する工場を建てたなら、5年程度では元が取れないようで、業者的には10～30年程度の契約期間が必要とのこと。</p> <p>だが、横浜市の条例では、給食関係の複数年度契約は上限5年である。条例を改正しなければ違反となる。</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【政策6】 図書館について、横浜では児童館も含めて不足である。地区センターの数も立地もたかが知れている。 例えば浜松市では、人口79万人に対し図書館24館。ところが横浜市は人口376万人に対し図書館はたったの18館である。 移動図書館があったとしても2週間に1ぺん程度の短時間であり、限られた人しかアクセスできない。 並んでいる本から探す大切さ、勉強する大切さも図書館に求められている機能と思う。 そこで、市内の空き家や空き地を有効利用し、身近なネットワークを作るべきである。これは児童館併設で構わない。 一方、中央図書館は充実させ、VRなどで選べるというのも面白い試みと思う。 居心地良く過ごせるというのは、何もそこにカフェを併設することで解決することではない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>33P政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」の項 デリバリー方式でなく、学校で作った温かい中学校給食の実施を 中学校給食について、「デリバリー方式によりすべての生徒に満足してもらえる給食に向けた体制を確保する」とのことですが、生徒や保護者は温かい給食を望んでいます。デリバリー方式では温かい給食は提供できません。 デリバリー型で実施した他都市では、残食が多く、見直しているところが多いです。 生徒や保護者に初めから満足してもらえない中学校給食を折角実施しても、他都市と同様、見直さざるを得ず、失敗は目に見えているのではないのでしょうか？ かつて、横浜市教育委員会は給食センター方式で一部実施した経過があります。教育委員会は、温食供給のためあらゆる努力をしてきたが、改善できなかった、自校調理方式と比較して、センター方式が経費的にも人間的にも有利とはいえない、児童、父母に喜ばれる給食を実施するにはセンター方式を廃止することがより良い方向であると考えられるとして、1979年自校方式に切り替えました。その時も、温かい給食が提供できるかがポイントでした。教育委員会も目指していました。しかし、改善できず、自校調理方式に切り替えたのです。 失敗が明らかなデリバリー方式ではなく、小学校と同じような、温かい、学校で作った生徒に喜ばれる中学校給食を実施してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>23頁以下「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」何でも創るの字にして愚劣丸出しである。待機児童を他の言葉にして誤魔化した謝罪から語るべきである。中学給食をデリバリーハマ弁強制化はおかしいだろう。子どもの未来を考えれば、ハコモノ再開の金をやめて自校方式の給食に切り替えるべきだろう。花博とテーマパークと山下埠頭再開と三ツ沢新スタジアムはカジノIRと変わらないではないか。ハコモノ再開をやめれば子どもの未来にける保育教育福祉の金が出るではないか。愚かな再開に使って観光客がどれだけ増えそれがどれだけ横浜市収入になるというのか、横浜市の未来のためになるというのか。子どもたちの保育教育福祉の為に使うことしか未来の発展はない。ハコモノ再開のおこぼれの僅かな予算でまちま対応せず、将来世代とそれを育てる子育て世代を応援していくことに一番金を回すべきである。病院も減らしてはならないので、市大の統合等で病床削減する等は絶対にしてはならないことである。コロナの教訓から市役所職員は学んでいないのか？病児保育や医療的ケア児への対応も厚く、補助金も増やすべきである。子育てし易い街と認められれば、若い子育て世代がどんどん流入し増えていくのである。大企業と愚劣な政治家と愚劣な高級官僚にしか益さぬハコモノ再開をしてちんまり観光客が増えたところで、維持経費の方が高く、経年劣化して不良債権化して昔の市内の遊園地のようになった際の誘導補修費等がどれだけだけの負債を作るのか市職員、特にカジノIRを推進した副市長を始め都市整備局の官僚はよく考えて見るが良い。コロナ遷延とロシアウクライナ侵略とアベノクス失敗と政府の無策で物価高騰が著しく、困窮が拡大し、相対的貧困率はだだ上がりである。潜在的困窮児童がどんどん増えている。把握捕捉する場を増やさねばならない。給食でしか食べられない子どももいる。それなのに冷たいデリバリー給食か？子どもの身になって考えて見るが良い。山中新市長は温かい給食をと公約したはずなのに、全員喫食にいつの間にかすり替えているが、全員喫食でデリバリーハマ弁給食なら林市長と変わらぬではないか。これでは公約違反で詐欺であろう。カジノ反対の市民の力で勝ち、野党の推薦で勝った癖に、1年で自民の言いなり、副市長の言いなりか。恥ずかしいと思わないのか。財政負担が少ないからハマ弁等、子どもたちと子育て世代を馬鹿にしていると思えない。そんな発言のどこが、子どもの未来を「創る」のか？ちゃんちゃらおかしい。国連勧告もあり、障害児特別支援学級は、障害者権利条約違反である。SDGsというなら、横浜市は統合教育を推進すべきである。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>13頁と24頁中学給食は、すべての生徒が満足できる給食であれば、デリバリーハマ弁でなく、自校方式の温かい、調理者との交流ある給食である。それなのに34頁で、デリバリー方式にするのは、全く生徒や家族や市民や、これからの子どもたちへの裏切りである。山中新市長は、温かい給食と公約したのであるから、デリバリー方式は公約違反であり、デリバリー方式を強要するなら、その前に市長を辞職すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について デリバリー方式でなく温かい学校給食を。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「9つの戦略」について 戦略1「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」 子育て世代に選ばれる都市を目指すなら、子育て支援の周回遅れの現状を解決してほしい。このままでは選ばれるわけがない。とくに「子供には粗末な食事を」という横浜市の基本姿勢は市民に精神的なショックを与え続けていることを自覚せよ。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5</p> <p>1 デリ弁給食をやめろ！全員喫食はもつてのほか！  ○市が行ったアンケートをどう読んでも求められていない  中学校給食は公共事業である。公共事業は民間に任せると利用する市民にとってデメリットが大きいから公共事業なのである。  保護者・生徒にデメリットしかないと評価された事業を進めてるな。  ○費用対効果が低すぎる  民営でも市営でも8万食の弁当工場を造ったら、もう引き返すことはできない。半永久的にデリ弁。工場建設費も付加され、費用も全く安価ではない。現に、デリ弁事業は小学校給食よりも利用割合を考慮すると高くなっている。安価だからと始めたにも関わらずにだ。  ○国費負担の隠べいをやめよ  市の給食検討資料には自校・親子・センター・ミックス・デリバリー費用が記載されているが、市の事業として出来立て給食を提供した場合に、国費負担があることは注釈さえされていない。国費負担を勘案すれば、市民の負担感はある。正確な試算資料を作れ。</p> <p>2 出来立ての給食提供を、自校式でも他校式（親子式・兄弟式などの他行の調理余力で給食を作る）でも、出来るところからすぐに始めていくことを求める。  お金のない横浜にはセンター方式よりも自校・他校式の方が長期的みてに安上がりで良い。確実に少子化は進んでいくので給食室の調理余力は増す一方で、給食室のない中学校の必要な食数も減っていく傾向は今後も続く。小学校の校舎補修改築はまだ150校もあり、中学校も校舎補修改築が続く。出来るところから始めていけば良い。  市民有志が検討すべき点をいくつかあげている。（以下抜粋）  ○炊飯だけ自校式：調理室が用意できない中学校でも、炊飯は廊下や教室の片隅でも法的に問題ないとのこと。こうすることで、他校の余力調理で作られたおかず食缶スペースの確保だけで済むので、必要な空きスペースが減り、可能校が増える。  ○多数校で支える式：多数校で1中学校を支える方式は、横浜市は「食中毒のおそれ」などと拒否しているが、他自治体では行われている。マンモス校など、他校式では供給が足りないと中学校の周辺には当然複数の小学校がある。供給する方の小学校の給食室整備を行えばできるはずである。  ○必要スペースの再検討：センター式を採用することが決まった町田市は検討段階で生徒人数ごとに給食室の面積を割り出している。小学校の給食室面積をそのままに、調理器具や釜を増やせないかなども検討している。  横浜市は各校200名～千名以上という差がある生徒数にも関わらず一律300平米がないと自校式はできないと足切りし、他自治体で採用率が高い2階式の給食室も検討していない。無能なのか、「どうしてもデリ弁がしたい」のかどちらかだと思いが、雑な仕事をするな。  何度でもいう、この世界に「子供の食事は粗末で良い」という基本姿勢はありえない。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小学校の給食も貧相すぎる 無茶苦茶な仕入れをやめ、適切な取引先から仕入れを行い、献立担当の栄養士も一掃し、何かの間違いかと思われるような給食をやめよ。</p>	参考	<p>学校給食についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策6 「教職員費用の削減」などと書かれた文書を財政局は撤回したが、教員の資質向上を謳うなら、どうしてあの文書は出されたのか。 教員は正規職員として「不採用」を出しおきながら、非正規職員として研修なしの低給で雇用しているケースが多いときく。 「不採用」と判断した人物をなぜ雇用するのか？ 「不採用」と判断した人物こそ研修が必要だと思うがしないのはなぜか？ 「不採用」と判断した教員が、正規教員と変わらぬ職能を果たす場合は、低給で問題が起きては困るので、早急に正規雇用へ切り替えることが必要である。 教員の削減や、学校改修費の削減など言語道断。何が「子育てしやすい横浜」だ。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>子供が図書館を利用できるように拡充せよ (港北区は、浜松市比の1/11。子供は「図書館て何?」状態) せめて学校図書も拡充させる、図書館予約受取・返却機能を学校にも付与するなど、最低限の実施策を出せ。いまは壊滅的状態であり「市立図書館の再整備の在り方検討」している状態ではない。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」 政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」について (意見) 現在の教育は主に「学校」での対面型授業を主軸としています。しかしながら、このような従来型の教育は、世の中の急激な変化や人口の増減などへの対応が追いつかないという問題もはらんでいると考えます。 そこで、私が考えるのは、「多様で柔軟性のある学び」の場の提供です。「学校」という建物の中で行われる対面型授業を主体とした教育から、多種多様な体験のできる、「社会教育型」の学びの場を提供することです。ICTを用いた授業はもちろんのこと、地域の住民や専門的な知識を持つ人材を活かした授業の実践です。子どもたちが真ん中において、その周りに学校や地域社会とのかかわりがあるイメージです。たとえば、講座型、実験・体験型、フィールドワーク型などのさまざまな授業を学内および学外のリソースを活用して行います。具体的には、各種スポーツ、職業体験、芸術、文化、社会見学、会社見学、金融、IT、語学、農業、環境などを、それぞれの分野におけるエキスパートや大学や専門学校などの高等教育機関で学んだり、実践したりする機会を設けます。 (メリット) 教育に多様性を持たせることは、教員OB、シニア層・高齢者などの人材活用につながり、地域の活性化に寄与すると思えます。子どもたちは、多彩な手法により、さまざまな学びの機会を得ることができます。同時に、視野を広げ、また、将来の仕事や生き方について考え、体験することができるでしょう。地域で教育を支えることができれば、近年問題となっている、教師の過剰負担を軽減することにもつながるのではないでしょうか。同時に、「学校」というハードな器のみに頼らない手法は、人口の増減による学校の統廃合という問題に対しても、解決の糸口を見出せる可能性があると思えます。 (留意点) もちろん、課題もあります。現状のテストによる評価に加え、社会教育で得たこと、学んだことを、また、それらの授業へ参加したことをどのように評価するのかということについては、考慮する余地があります。なぜなら、それらは必ずしも従来型のテストという物差しで測ることができるわけではないと思うからです。また、たとえば、単位制を導入するのか、といったことについても考えなくてはなりません。さらに、学校外でのさまざまなフィールドワークや体験講座について、全員参加にするのか、選択制にするのか、さらに、重要なことは、参加する生徒の安全をどのように確保するのが課題となります。そして、費用について、全額保護者の負担にするのか、補助金を活用できるような仕組みを構築するのか、ということについては、考えなければなりません。最後に、言うまでもないことですが、学びの多様化により、教育格差が生じるようなことがあってはならないと思えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」 政策6「豊かな学びの実現」について (意見)</p> <p>この政策の中の「政策の目標」に、「市立図書館において、市民の学びを豊かにする読書活動が推進されるとともに、(中略)老朽化が進む市立図書館の再整備の方向性が検討され、まちの魅力づくりに資する新たな図書館像が共有されています」というコメントがあります。</p> <p>神奈川県全体において、図書館が少ないということは、以前から危惧していました。これは、文化的レベルの向上という観点からも、由々しき問題であると考えます。今回の政策の目標の中で、「老朽化が進む市立図書館の再整備の方向性が検討」されていることは、評価に値するものであると考えます。しかしながら、単純に図書館の増改築をすることは、予算上の問題からも、容易ではないことが想像できます。そこで、大学の図書館の地域住民への開放、電子図書館や電子書籍サービスの拡充、さらに、移動図書館の巡回ルートの増設などが、少しでも負担を軽減するために有効な施策なのではないかと考えました。</p> <p>(メリット)</p> <p>予算の低減化が見込まれます。電子図書館や電子書籍サービスの拡充は時代の流れにも即したものだといえるでしょう。移動図書館については、現行のものがあるため、ルートを増設することは、施策として推進しやすいと考えます。</p> <p>(留意点)</p> <p>大学図書館の地域住民への開放については、実施しているところもありますが、大学構内への立ち入りのセキュリティや、貸出図書破損や紛失といった問題にどう対処するかが課題だと考えられます。また、電子図書館や電子書籍サービスについては、現状、それが可能な図書の数は十分とはいえず、権利関係がクリアできたとしても、電子化については、一定の期間や費用がかかること、また、人的リソースも必要であると思われる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>具体的な問題ですが、中学校給食、権利としての学校給食の在り方です。成長する世代にとって、学校に意味は極めて大きい。そのなかでの食育の位置はまた格別です。戦前の大恐慌のとき、弁当を持ってこれない農村の子どもたちを教師は目の当たりにしました。学校にこれないで口減らしや稼ごのため身売りされる少女がたくさんいました。子どもたちの未来は引き裂かれました。子どもに現われた社会問題だったとも言えます。今の時代、そこまでは行っていないにせよ、或る者は立派な、あるいはささやかな家庭弁当、ある子はデリバリー弁当、あるものはコンビニ弁当、あるものはコンビニへ行ったふりしてなにを食べているかわからない。本来楽しくあるはずの学校での食の時間がバラバラ。こんな思春期の学校「給食」風景ってありますか？横浜の遅れているところだと思います。横浜で生まれ育ってきた方にはきづかれにくいところであるが故に、「持続」しているに過ぎないものです。成長する世代の間で、「同じ釜の飯を食った」連帯感は育つのですか？</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー弁当は、そもそも温度制限があって、温かさを押さえ(さます)ざると得ないといえます。きっぱり、やめるべき。地元素材(農業)活用なども含め、いろいろな意味で、温かく、心のこもったと給食に踏み切るべきです。成長する世代の連帯のためにも、あったかい昼食を共に食べることができる給食というものの横浜の子育ての「新しい」魅力に加えるべきです。それは、【素案】の真価が問われる、指標にもなるのではないかと考えてきます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療費の完全無料や出産費用の無料は一番最初にやって下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>テーマ01すべての生徒が満足できる中学校給食の実現、給食を教材とした食育を推進すると書かれているにもかかわらず、具体的にはデリバリー方式による供給体制の確保とされているのは非常に残念である。</p> <p>手作りの温かい給食を中学生全員に食べさせるのが行政の役割だと思います。デリバリー方式は見直しという文言を入れて欲しい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>テーマ子育て支援</p> <p>乳幼児健診の実施目標が100%を目指していないのはなぜなのか、疑問である。</p> <p>未検診乳幼児への対応を保健師がきちんと行えるよう、保健所体制の充実を優先して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は何十年もやって欲しいと要望しているので今度こそぜひ全員が食べられる給食を実施して！（P35）</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>身近なところにお産が出来る産科医を設けることを市として積極的に行うこと。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>子どもの成長に必要な栄養の摂取など中学校給食を自校方式とし、完全給食を検討し出来る所から順次実施すること。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子どもの医療費助成を高校卒業まで行うこと。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市立保育園の民営化をやめること。保育士など保育園関係者の待遇を改善すること。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>孫がコロナ休校後不登校になりました。2年生までの少人数学級から45人以下学級になり急にクラスの人数が増えて、その環境に耐えられなかった様です。</p> <p>これをみても少人数学級の優位性が判ります。横浜市もぜひ少人数学級を小中学校通して実施して欲しいです。それに判って教職員を大幅に増員して、先生達も余裕をもって子ども達に向き合えるようにして下さい。新学期（年度始め）の教員不足、担任無しはもっての他だと思えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は自校方式で温かいものを実施して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
給食の時間が短いと聞きましたが、食べられる（安心して楽しく）ように時間をとって下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
みんなにあたたかい給食を！！用意からすべて食育になると思います。給食をみんなで平等にうける権利を保障して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
山中市長になり、いろいろな点で横浜市の施策が良くなっていること、感謝申し上げます。 中学校給食100%という方針に賛成致します。かつてのような「愛情弁当論」が前面に立たなくなり、ホッとしております。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
食育の大切さを掲げられているにもかかわらず業者のデリバリー弁当しかないという方針には反対します。できることからあたたかい小学校と同じような給食を目ざして頂きたいです。 ぜひともお願いします。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食は生徒の心身の健全な発達のために適切な栄養の摂取は必要です。 生徒たちが給食によりお互いに社交性も生まれます。すべての中学校でみんなができたてを食べられる給食を政令都市の横浜で始めて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
出来立ての温かい給食をみんなで食べられる様にしてほしい	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
温かいおいしい中学校給食を実現して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食をデリバリー方式ではなく小学校のような給食にほしい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>もう長い年月、横浜市の中学校の自校式での給食実施を求めて活動していますが、なぜ？ 横浜市は実現してくれないのでしょうか？業者弁当は給食ではありません。 あちこちの無駄な経費を探すことをして下さい。 何故横浜市の公立中学校での完全給食が実施されてこないの？市民が納得できる動きを望みます。市長選で中学校給食にふれていたのではないかしら？記憶違いかな</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>数十年署名運動に取り組んできた「中学校給食」市長が変わり一歩前進しました。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>自校方式、親子方式でできればいいな！！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学力競争に人格・人柄競争が加わり、近代学校が持っている権力性のみならず、友達の中においても人格・人柄競争が貴かれることで言いようのない閉塞感、息苦しさ教室を覆っていると言われる昨今です。子ども一人一人を大切にされた教育への取り組みが喫緊の課題となります。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食は（P34）はデリバリー方式ではなく子どもたちが願っている温かい小学校のような給食を望みます。 デリバリー方式では栄養士さんもなくアレルギー対応もむずかしい。 できたてでおいしい給食を実現して下さい。子どもたちの体づくりの一步が心の栄養にもなっていくと考えます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校の給食費を無料にしてほしい（市の負担で）</p>	参考	<p>学校給食についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食は親子式も含めて学校でつくったものを全員食べられる様にしてほしい。 先生方の負担を増やさないように人的配置を</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>今回の選択制から「全員実施」への考え方に賛成します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>実施方法はデリバリー方式という出来たての給食ではなく腹満たしの間に合わせ冷たい弁当方式で行うという事は教育基本法が目的とした人間としてのふさわしい人格・未来の社会形成者としての資質の育成は望めません。人間としてふさわしい育ち、人格を根づかせていく教育は自校方式、せめて親子方式でなければ望めません。</p> <p>それがどう言うことでしょうか。①調理室から漂ってくる食欲をそそる美味しそうな匂い調理員と人間同志の直の会話、教室で食器のふたを開けた時の温かい湯気で心が温まり、人間ならではの感じる心、共感力の育ちと数字の栄養分が体内に吸収力を上げ、体の健康にもつながるのです。②午前の学習で緊張した脳がほっと解かれ人間にかえる時間になります。③同じ釜の飯をみんなで食べる楽しさ、人間としての幸せ感、平等感が育ちます。④動物にはない人間特有の文化素材から料理が作られ出来たてのおいしさを味わう人間ならではの生命、生活文化が育ちます。⑤食教育は覚えることを中心とする教科教育とは異なり、覚える学習に大切な命、生きる喜び、生き物等人格に関わる生きた教育を秘めています。この教育的大きな力を生み出す源が自校（親子）方式なのです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく自校、親子センターでもいいので作り立ての温かいおかずと栄養バランスの良いものを食べさせたい。</p> <p>私は現在68才山形で中学生時代を過ごしましたがおいしい給食を食べて育ちました。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政令都市・横浜に完全給食が実施されていないのは、横浜市民として恥ずかしい事です。</p> <p>中区の場合、立野小学校～中尾台中学校へ親子給食。出来る所からやって下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、是非温かいものをお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食を希望します。小学校と同じような、温かく皆で食べられる給食にして頂きたいです。何卒よろしくご検討ください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食をデリバリーでなく、温かい小学校のような給食にしてください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
お弁当は温かいのが一番。家庭のお弁当の冷たさは味が違うと思う。給食が一番だと思うが、いつになったら実現するのでしょうか。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
全員に温かい中学校給食をお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
小学校の調理余力を生かして、中学校に配送する親子方式にしてはどうか？	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食を小学校の様に温かく全員食べられる様に、是非実現させてください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
小児医療費（中3まで）完全無料化を実現して下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
子育てについては、保育園の保育士配置基準改善に取り組んで下さい。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
保育料無償化を0～2歳についても3歳児以上と同じようにして下さい。安心して子育てできる横浜市を	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食を実現して下さい。温かく、栄養バランスの良いおいしい給食を求めています。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、自校式を目指して欲しい。 一度にやらなくてもできる学校から、親子でも兄弟でも始めていければ良いと思います。 顔の見える人が作る温かい食事を、そして食育の為に是非学校給食法に基づき実現して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の全生徒対象の完全給食の実現して欲しい。 「ハマ弁」でない、温かい給食を希望します。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の完全給食の実現して欲しい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく温かいもの（小学校の給食の様に）して下さい。全校一斉にできないから出来ないというのではなく、出来る所から順次お願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>少人数学級を推進して下さい。 教職員の数が基準より少ない状況と聞きました。教職員を増やし多忙化をなくして子どもたちの教育環境（人的にも）を整えて下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」 私の中学生だった頃、給食はありませんでした。お弁当のない友達もいました。 65年も前のこと。でも今、昼食のない子どもがいるなんて、．．．何とかしましょう。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>食育は人として生成していく中で、大事な事と思います。 クラスの皆で温かいおいしい給食を、子ども達に食べてもらいたい。 何かというと費用のことがネックになりますが、何とかして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は自校方式で温かい安全なもので、作っている人々の姿も見える、ニオイもわかる。もし災害の時はそこを活用できる。 各学校でアンケートを取っただけだと思います。 今ある施設で利用できる場所があるはず、お金をあまりかけなくても作れる。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>保育士です。 近年保護者支援の役割がとて多くなっています。子育てが難しかったり、悩んでいる方が多いことを実感します。その中で子どもの豊かな育ちを支え、保護者に心を寄せ共に育ちあっていく為には、保育者が足りません。 横浜市の調査にて、保育所の保育士充足率として70.7%とありますが、神奈川労連のアンケートでは約82%保育士が足りないと答えています。 なぜ足りないのか。配置基準、処遇など根本を改善しなければなりません。本気で保育士確保、定着を考えるのなら、現場の声をしっかり聞き改善して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「デリバリー方式」について反対です。生徒たちは「小学校のような温かい給食を望んでいます。デリバリー方式ではこの願いはかなえられません。 中学校給食は、今後何十年も続きます。横浜の未来を担う子どもたちの成長を業者に任せるといふ発想そのものが、横浜市の教育に責任を持つ人達が考えたこと、ということを浅念に思います。業者は“もうけ”がなければなりません。教育から“もうけ”を出すものではありません。 全国90%以上の自治体が、何年も前から当たり前に行っている中学校給食。少ない自治体で給食の無料化が予算化されようとしているのに、横浜市は予算がないからと、当面の金額が一番安いからと安易にデリバリーを選ぶということは許されません。 「デリバリー方式」には問題点がいろいろあることは（温かくないこと、アレルギー対応が難しいこと、残菜が多くなるであろうこと、長い目で見ればコスト高になること等々）当局でも十分承知のことと思います。現にデリバリーを選んで、変更したところはいくつもあります。 委員会が資料として出された「ミックス方式」を是非進めて欲しいと希望します。表を見ると小学校の「余力」を同区内、隣接区内で組み合わせれば（2校～3校で）できます。港南区内、やってみました。できます！どうしても「親子」「兄弟」で駄目なところがあれば市で給食センター（小規模なものでも）を建てて対応してください。 横浜の中学生全員が温かい給食を食べられるよう、工夫をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策2 働く人の給料が上がらず、そのためもあってか、共働き家庭が増加しています。 保育園の待機児童0をめざして、認可保育所を増やして下さい。又、安心して子どもを預けられるよう、保育士の増員と待遇の改善をして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 中学校給食はデリバリー方式ではなく、小学校のような温かい給食にして下さい。自校方式、親子方式、センター方式等工夫して実現して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食全員制へ、小児医療費無料化など公約実現に向けて山中市長が進み始めて下さりありがとうございます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食もデリバリーではなく、小学校のような温かい給食になるよう、小学校との親子方式などの自校式の取り込みをお願いします</p> <p>自民党、公明党議員は市民のことを第一に考え、自分たちに利益にばかり目を向けず、心の通った政治をして下さい。国政でも市政でも、冷たい自公政治を改めて下さい！！</p> <p>自公政治大嫌いです（今のままでは）</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施に大賛成です。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく、小学校のような温かい給食して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリーではなく、小学校のような温かい給食して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>全てに生徒が満足できる中学校給食の実現を切望します。</p> <p>デリバリー方式では、衛生上、時間内で食べることなどで残食も多くなり、評判も良くないようです。「温かい」「おいしい」と生徒たちから感謝されることが一番大切な事のように思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34の中学校給食について</p> <p>デリバリー方式ではなく、自校方式、センター方式で温かくおいし給食を供給すべきである。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34の中学校給食の「全員実施、デリバリー方式」見直しについて</p> <p>「“食品ロス”をなくそう」と努力している昨今、冷たくなったお弁当では矛盾するところでもある。「温かい、栄養のある給食」の為に、学校での調理などは是非見直しをお願いしたいと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
すべての生徒が満足できる中学校給食の実現 温かい給食を食べさせたい	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に した教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参 考にさせていただきます。
中学校給食について 温かくて、おいしくて、栄養バランスの良い給食を望むのは、官民同じだと思います。 考えられている「デリバリー方式」でかなえられるのでしょうか。 人材、費用色々問題はありますが、皆が喜ぶ方式を考えて下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし ました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまい ります。
P34中学校給食について 温かい給食を食べてもらいたい。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に した教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参 考にさせていただきます。
去年、初めて本気で選挙を手伝った。 山中市長が当選して本当にうれしかったです。孫は小学4年生です。是非中学 生になっても小学校と同じような温かい給食を食べさせてほしい！ 山中さん、応援しています。ガンバってください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし ました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまい ります。
給食について 小学校のような温かい全員が同じ給食を食べられる様には是非行って下さい。デリ バリーは他でも子どもに不評ですし、義務教育の間は横浜市でも食育にもっと力 を入れて欲しいです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし ました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまい ります。
P36教職員の採用育成、働き方の一体的な改革 働き方改革を進めるには、教員一人ひとりの負担を減らすのが不可欠。教員数 （正規採用）を増やし、教員のゆとりを増やして欲しい。非常勤採用を増やす のでは、教員の負担減にならない。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」 に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていた だきます。
中学校給食は全員が食べられる様にして下さい。デリバリーは他市でやめている 方式です。小学校と同じような給食、自校方式を望みます。 一度に前項実施は難しいと思いますので、出来る所から始めたら良いと思いま す。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし ました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまい ります。
全員が一緒に食べられる、学校調理による中学校給食を実現して下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能 性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の 開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に 勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民 間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供 給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しまし ました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまい ります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小中学校の給食無償化の実施 デリバリー方式反対 出来立ての給食を生徒全員に提供する学校調理方式に切り替えるべき。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の給食実施はずっと以前からの多くの人々の要望です。是非、子どもたちには温かい給食（小学校のような）をお願いします。 デリバリー方式というのはやめて、小学校のような方法での実施を前向きに検討して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食は、食育として大切です。生きて行く上で、子育てするうえで、何をどう食べていくかが重要です。全国で実施されているのに横浜市がまだでは、子どもたちがかわいそうです。一日も早く実現して欲しい。 2026年度から「中学校給食の利用を原則」との方針が示されましたが、「デリバリー方式」で、そのために市内1～2カ所で工場を新設とのことですが、自校方式、兄弟方式、親子方式など色々組み合わせて行うことを考えて下さい。 学校は災害時の避難所となっていますので、そこの給食施設は大切です。そのことも考えて欲しいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について（自校方式、親子方式、センター方式のミックスによる給食体制を順次整えて下さい。） 長年の夢、希望だった中学校給食。林市長の時におざなりにも「給食」の兆しが見えたが「子どもたち」の育ちに沿ったものではなくあくまでも「大人の都合」（財政難を理由に）による形だけのものでした。 山中市長になり、やっと実現の運びになったと喜んだのも束の間「全員制」をうたったのは、大きな前進と思いきや「ハマ弁」での給食で実現するとの事。 申し訳ありませんがこの方も「子ども達の育ち」にとって何が大切かそのために大人たちがしなければいけないことがわかっていないなあと正直がっかりしています。 「栄養面」を考えるのは当たり前の事。ただ動物的な「食べ物」を摂るというだけでなく、「給食」は心も体も育て、将来の「食生活」の原点をも育てる。総合的な教育の柱の一つと考えます。そのためにも小学校給食のような作った人の顔の見える、またクラスのみなどと一緒のものを一緒に頂く。そんな日常の積み重ねが子供たちを育てていくことと信じています。また貧困家庭も増えていることも大きな理由です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食を今の選択制から「給食が原則」となるようにして一歩行くのは良い事と思う</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「デリバリー方式」には反対です。私たちも“冷凍したものを自然解凍”で食べることは少ないと思います。“「できたて」でなく適温でない”という問題が解決できないので。</p> <p>これまでも他の市町村では一度採用された“デリバリー方式”を結局止めて、自校・親子方式に変える例もあります。多くの生徒が「給食」に切り換えるこの時こそデリバリー方式ではなく、自校又は親子方式などの形で進めて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式ではなく小学校のような温かい給食にしてほしいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食を実現して欲しい！小学校のようなあたたかい給食をデリバリー給食は美味しくない中学生が言っていました。だから2回目からは頼んでないの事！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>基礎的出産費用の無料化して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子どもの医療費を中学3年生まで無料化してください（子どもたちの健康を守るためと子供たちを育てる親たちの経済的支援の為に必要）</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について、子どもの成長支援と親たちの負担軽減のためにぜひ必要。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について、財政と将来の子ども数と考えるとどのような形がベストかを広く市民に問いかける必要があると思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>学校調理による中学校給食の実施を求めます。 メリット： 1.生徒が満足する温かい昼食が食べられる 2.調理者、食材の顔が見えると言うことは生徒と保護者にとって安心、安全の信頼関係が持てる。 3.特別職の実施やアレルギー対応が可能になる。 4.地産地消の徹底、食品ロスなどの取り組みができる デリバリーにした場合、業者にとっては儲けが優先になることは否めず、事情によっては食の安心安全は後退してしまう。撤退もありうる。学校給食は生徒の心身の成長を最優先にすべきと思う。時間をかけて学校調理方式の実現を探ってほしい。 安易にデリバリーに走ることは危険だと思う。見直しを求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食に 小学校で給食で過ごしてきた子供たちに中学校でもぜひあたたかい給食を食べさせて下さい。親の愛情弁当と言いますが今の母親は共働きの人が多く給食が実現すれば親にもゆとりができ、子どもにも良い事だと思います。 デリバリーでなく自校方式の給食をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校の給食制度地方では全員無償化が取りざたされているのに給食制度もないなんて横浜のハジ！早急に実施されることを希望</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>形ばかりの給食では「食育」にはなりません。短い3年間の思い出作りや偏食の克服、全員喫食の温かい給食の実現を望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>『少人数学級の推進』横浜市をはじめ近隣の市での高校の教員として教育現場に40年近く勤務してきました。クラスの生徒一人ひとりの学力も人と接する力も多様です。 各教科の授業についてもホームルーム活動も人数が多い事で担任教員、教科担当教員は教材（や教材機器など）をさまざまに工夫して臨んでいますがあまりにも負担が大きいです。 発達障害やそれに準ずる症状を抱えた生徒が一人でもいれば当然その生徒への対応も大事にしなければならず教員は手が回りません。子ども達一人ひとりを本当に大切にその成長を先生方も重ね合わせて生活し学校運営していくためにはひとクラスの人数を減らさないととてもやっていけません。「教職員の定数」も増やして多忙化を解消して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食実現に関して、ここ数年の横浜市の真剣な取り組みに敬意を表します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「中期計画」を読む限り、中学校給食に関しては「デリバリー型」へのこだわりが強い様に感じます。大阪等の例を見てもわかる通り「デリバリー型」の限界は感じてはるはずです。</p> <p>市から出された資料を見ても、近隣小学校の協力を得て2、3年かければ全市立中学校での給食は実現できるはず。ぜひ思い切って中学校給食実施に向けてカジを切って下さい。</p> <p>山中市長の決断を求めます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の実施をぜひ始めてほしいです。</p> <p>昼食を皆で楽しく安心して食べることで身体にも精神的にもかけがえのない成長の一環だと思います。</p> <p>（温かい給食で、学校内で用意できたら最高です。）</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食を小学校と同様にあたたかいものを皆で食べさせたい。</p> <p>署名運動を数十年してきましたが、給食できず、現在他の自治体では給食費無償のところもあり、無償化の運動しているところもあります。横浜は大都市でありながら足元にもおよびません。是非デリバリーではなく、全員実施のあたたかい給食を！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>一日も早く全員で食べれるあたたかい給食を中学生に実施して頂きたいです！！</p> <p>その際、今のデリバリーを広げるのではなく小学校のような給食を実施していただきたいのです。（先日、中学生が今食べている給食はあたたかくない！！と話していました。）</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食についておねがい</p> <p>デリバリー方式ではなく小学校の様な全員で食べるあたたかい給食にして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>デリバリー方式ではなく、小学校の様に皆さんで食べるあたたかい給食にしてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34中学校給食の「全員実施」</p> <p>可能な学校から親子方式・自校方式で実施してほしい。</p> <p>温かいものは温かく、冷たいものは冷たい食事を子供達に！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
P26子育て支援、出産支援で女性の社会進出・出生数アップのため、妊娠等にかかる費用は軽減すべき。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食 中学校での給食を、全員にあたたかく、おいしいものにして下さい。食は人をつくります。成長期の中学生。特に大事なときです。デリバリーはやめてください。本当においしい食事は、人間性にも影響することだと思います 私は30年前から要求してきました。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校も小学校のように温かい給食にしてください。 デリバリー式ではおかずは冷たくおいしくないという子ども達は多いです。デリバリー給食から自校給食や親子給食に変えた自治体の例を学ぶべきです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学生の給食は是非、学校内での調理としていただきたい。 同じ費用でも栄養士、調理人によって内容は様々ですが。 メニューは数名の栄養士さんとセンスのある調理師さんもチームに入ることを栄養士さんと調理師さんは意見が違い、うまくいかないことがあるとよく聞きますが調理師さんは、美味しく、見た目もよくも基本にあると聞いています。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食はデリバリーでなく、自校調理か親子方式で、子ども達に温かい食事を！ 実現できる中学から実施して欲しい。 古い校舎を建て替える場合は必ず給食調理室を作って下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校の給食はデリバリー方式ではなく、出来たてを食べられる給食にして下さい。そして地産地消をかがけて下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
「中学校給食の完全実施」日々成長する子どもの食事は一番差し迫った課題です。今後も見据え、場当たり的でなく、子どもの気持ちによりそい、温かい、安心な、おいしい、満足感の得られるものを望みます。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食 成長期の子どもの給食がすべて弁当のデリバリー方式となることに納得がいきません。冷たくまずいので当初その方式をとった市町村の中で、変更しているところがあります。一挙には無理でも、自校方式、親子方式、せめてセンター給食方式へとできるところから着手してください。伸びさかりの子どもたちに「何でもあてがえばいい」という考え方に強く抗議をします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子どもや大人も豊かに暮らすための文化的施設としての図書館の数、そして資料内容の質はさびしい。図書館にもっと予算を、数を増やして欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の全員実施は大歓迎です。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>何年も何十年も願ってきたように暖かでおいしい安全な給食を求めます。デリバリー方式は断固反対です。自校方式、親子方式、ミックス型など検討して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校にデリバリーでなく完全給食を！！ 中学生は一生の中で一番の成長期、みんなで食べられる小学校のような温かい給食を食べさせたい。デリバリーは冷たくておいしくないとの評判です。工場で作ればお金は安くできますが、大切な子ども達にお金をかけることは、無駄にはなりません。豊かな教育と共に温かい給食を是非とも食べてもらい。将来をにになってもらいましょう。大都市横浜市としてはずかしくない選択をお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食「全員実施」 成長時期にもあたる中学生の全員給食を親子方式等と併せて実施していただきたい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療費（中3まで）完全無料 これからの子育て支援策は各自治体の目玉ともなっています。中学生までの医療費を無料にしてください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>できたてを食べられる中学校給食を是非 山中さんを推し、山中さんが市長に当選し、こんなに嬉しいことはありませんでした。私たちの長年の願い中学校にも出来たてを食べられる給食が山中さんのご努力と意志で実現します様、歴史にも名を残して下さい！</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学3年生までの医療費助成、大賛成、高校生までの延長を希望します。他市の例ですが、同様の政策実行で人口、税収ともに増加しています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全員給食に賛成、自校方式を基本にして、学校同士の組み合わせなど方法はあると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館の拡充、司書と教師との連携を強め読書の楽しさを広げる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市で全員制の中学校給食を学校調理方式で実施してください 8月31日、山中市長は「中期4か年計画」について記者会見を行い、「中学校給食について、現在の選択制を(民間事業者による)弁当配達型デリバリー型給食による全員給食を目指す」と発表しました。 それに先立ち、8月26日、横浜市議会の「青少年教育委員会」では、中学校給食の実施方式について、教育長から次のような報告がありました。 ①学校で調理する「自校方式」については、106校で実施困難、39校で実施可能。 ②小学校から中学校へ配送する「親子方式」については、120校で実施困難、25校で実施可能。 ③「センター方式」については、市内6か所に給食センターが必要。 ④「デリバリー方式」については、現在配送できる弁当の上限が全生徒数の50%から70%であり、残りの分として1～2か所の工場誘致のため、市有地の活用が必要。 ⑤「自校方式と親子方式を合わせた方式」については、61校で実施可能84校で実施困難。「自校方式と親子方式を合わせた方式」と給食施設を整備した中学校から他の中学校に配送する「兄弟方式」を加えた2つの「ミックス方式」については、72校で実施可能、73校で実施困難。その不足をセンター方式で補うためには、市内に給食センターが6か所必要となっています。 「デリバリー方式」は冷えていてまずいという不評が保護者からも寄せられており、個々におかずの量を調節できないという欠点も指摘されています。格差と貧困が広がる中、育ち盛りの中学生に温かい全員制の中学校給食を提供することが何よりも求められています。 横浜市教育委員会の調査にあるように、「ミックス方式」については、72校で実施可能であり(自校方式可能校は39校、親子方式可能校は22校、兄弟方式可能校は11校)、不足しているところをセンター方式で補うことは可能です。「デリバリー方式」ではなく「学校調理方式」を決断することで、その後段階的に、横浜のすべての中学校で学校調理方式による温かくおいしい中学校給食を実施することは可能です。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小児医療費の中学校3年生まで完全無償化に期待しています                      現行の小児医療費助成は、対象年齢が中学校3年生までですが、3歳以上から所得制限が設けられ、小学校4年生以上から一部負担金(通院一回最大500円)が生じていました。                      中学校3年生までの小児医療費の全額助成に必要な追加予算は39億円。横浜市は9月議会で全額助成に向けたシステム改修費の数千億円を補正予算案として提出するとしています。横浜市政の大きな改革の一步です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>出産費用について                      出産費用については妊娠等にかかる「経済的負担の軽減を図る」ことに賛同いたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>どの子にも豊かな教育を願い、生徒減のときこそ、教育条件を改善することができます。特に、35人学級からさらに、30人学級など少人数学級を推進してください。そのためにも、南舞岡小学校などの統廃合の見直しを求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市をお金の心配なく子育てできる街にするために、保育園での保護者負担軽減、保育士の加配など配置基準の改善を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の全員実施                      横浜市民となる子供たちに心いっぱいの手づくりの給食にしてほしい。デリバリー方式ではだめです。ずーと求めて来たのに市議会は何故わからないのですか、人を育てる事が一番大切だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1 政策5 に対する意見                      全員喫食の中学校給食の実施方式「デリバリー方式」の方針を親子方式・自校式・きょうだい方式をとり入れた「あたたかい給食が食べられる給食」の方針を変更して下さい。                      デリバリー給食はつめたい、おいしくない、残食が多いとの声が多くあり、大阪市も「デリバリー方式」の給食から大阪独自の言葉を使った学校調理方式(自校式、親子、きょうだい方式)に順次移行しました。やはり上記の様な声が多くて変えたのだそうです横浜市は一斉に実施にこだわっていると聞きましたが、年次計画順次に出来るところから実施することが現実味があります。ぜひに計画の見直しをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」を                      デリバリー方式を止め、自校で調理・提供方式に変えること。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食 デリバリー型給食ではなく、自校方式や親子方式等を採用すれば学校調理方式の中学校給食の実現ができます。 食事の基本中の基本「温かいものは温かく」</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>保育園の保護者負担軽減について 保育園と幼児園の差をなくしてください。保育現場を是非視察してください。 保育園の予算をふやしてください。 横浜市は園の基準よりは良くはなっていますが、4才5才児を保育士1人で24人の園児を保育する予算になっています。13時間もの間。 事故が起きないのはベテランの保育士の力量によるものです。その保育士もやめていきます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について、「選択制」から「全員実施」になった事は良いと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式ではなく、自校・親子方式をとり入れ、温かい給食を提供して頂きたいです。全市一斉でなくても実現できるところから行って欲しいです。子どもたちに聞いても「小学校の給食はおいしかった。」との声が多い事は食育にも大きな効果があると思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用ゼロに…。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>お金心配なく子育て豊かな教育が受けられるように。少人数学級の推進、先生方の多忙化解消など宜しくお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学給食の全員実施「デリバリー方式」ではなく、温かい給食を願います。横浜に越されてきた方が「横浜って中学給食ないの?」と言われる。横浜は住やすい街と見た目はきれいだけと言われる。ぜひ子育てしやすい街にして下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小児医療無料化を。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>すべての生徒が満足できる中学校給食の実現の項目の「デリバリー方式」について 今、両親が働いている家庭は多く、お弁当作りを負担に感じている家庭があるのが実情です。成長期である中学生が、どの子も平等に安心して中学校生活を送れるように給食によって食の保障がされる事は大切です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー方式の給食では調理者の顔も食材も見えません。 中学生という心身共に大きく発達する大切な時期だからこそ、手作り感のある給食、見える化された五感から学べる給食が大切だと考えます。 令和3年4月から選択制の中学校給食が始まったことは、横浜市にとっては大きな一歩だと思います。今、給食の質の向上や食育を意識した献立の提供を考えるのであれば、「一斉にデリバリー方式の給食を」と考えるのではなく、「各学校での調理を基本に」それぞれの学校の条件に合わせた「生徒や家庭の声の届く」「温かい」「できたて」のおいしい給食を生徒全員に提供出来る体制作りをすることを望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用については妊娠等にかかる経済的負担の軽減を図って下さい。無料として下さい。 少子化の一因に経済的負担が重くのしかかっていると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>現状の3歳以上からの所得制限、小4以上からの一部負担金を撤廃し、無料化を図って下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施は、デリバリー方式ではなく、自校で作る「あたたかい給食」の実現を目指して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>児童相談所の機能強化を図って下さい。 子供の権利条約を生かした判断を。 親や家庭の権利が優先されすぎて、子供の生命が奪われてしまうケースが目立ちます。子供自身の気持ち、や意見を十二分に聞く体制を作りあげて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」を要望します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>できたてで温かい安心安全な給食を全員一緒に楽しく食べられる環境を望みます。 子ども（人の命）を大切に育てられるように税金を使って下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関連するご意見として、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜の中学校でも「デリバリー方式」ではなく、温かく、おいしい給食をぜひ実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P34中学校給食について デリバリー方式での全員給食ということですが、デリバリー方式はうまくいかないところもあるようです。できたてのあたたかい給食、アレルギー対策もできる給食にしてほしいと思います。 自校方式が無理なところは親子方式、規模の大きくない近くの給食センターなどできる方法を考えてほしいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5中学校給食「デリバリー方式で」について 市教委の資料（2022.8.26）によると自校39校、親子22校、兄弟11校合計72校が実施可能と出されています。ぜひ出来るとするところからはじめてください。8万3千人の大所帯だからいっせいは出来ないからやらないと市（市教委）はいつも言っていますが、デリバリーをはじめ2026年度は小・中との児童数が大中に減ることが「義務教育全校検討」に出されています。生徒数5800人、児童数は1万人以上です。結局67,000人となるのですが、このデータでミックス方式、改めて作り直してはいただけないでしょうか？ひとつの例ですが、港南区の丸山台中は561→437人になり、親子の小学校の3校合計で-150人となり親子が可能な気がします。どうぞよろしく願いいたします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 P34中学校給食について デリバリー方式ではなく、子どもたちが願っている温かい、小学校のような給食を望みます。調理室建設にお金がかかる等の意見がありますが、児童数の減少により、小学校の調理室の余力も充分あり中学校の分をつくることは可能です。自校方式、親子方式の組み合わせで、できることから、中学校給食を始めて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>出産費用について 少子化の原因の大きな理由は、若い人達の給与が低く、子供を育てる余裕がない事が問題です。少子化をくいとめるためには、出産費用の無償化は大きな力になります。ぜひ無償化を実現して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小児医療費の無料化は早急に進めていただきたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の全員実施は早急に進めていただきたい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>保育園では、現在大変なことになっている。1つの園に保育師、嘱託保育、嘱託、アルバイト、何十人者の人が働いており、ローテーションを組むのに間違いが多い、園児はいろんな先生に変わる為、精神状態がおかしく、不安定、子供のことを考えて、前の保育内容に戻してほしい。</p> <p>・保育所福祉員は永いことアルバイト（42年間）で働いてきて、身分保障をやっと勝ち取ってきた。保育園を民間に売ったのがはじまりで、後、横浜市の保育園はない中で時間外託児保育園がなくなると聞いて、残念に思っております。時間外託児保育園をなくさないで下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>中学校給食やと中学生にも食べられる永年の運動が実ってうれしいです。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>内容は子ども達がおいしく食べることだと思う人気のないデリバリーより自校方式を考えて頂きたい。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>すべての中学校で皆んなが出来たての給食が食べられるようにして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>小児医療費は中学校3年まで完全無料にして下さい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の、主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>中学校の給食は、デリバリーではなく、全員があたたい給食がとれるようにお願いします。</p> <p>自分の子どもたちは無理でしたが、孫たち未来ある子どもたちにすこやかに育てほしいと思います。食育のために是非、校内で給食をしてほしいです。親子方式など考えてほしい。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
<p>全員喫食の中学校給食を必ず実現して下さい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>デリバリー方式には反対です。</p> <p>今すぐ中学生全員に牛乳給食だけでも実現してください。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>これからの子供達の為に温かいままを提供できる。質のよい中学校給食を是非実現して欲しいです。子供達に喜ばれる、楽しみにされるランチの為に予算をつけて下さい。</p> <p>健康な身体を養い、貧富の差にかかわらず皆が食べられる。栄養のある食事を一食でも、お願いしたいです。6人に1人が貧困世帯の子供である今の世の中で、「横浜市で良かった」と思わせてあげて欲しいです。そして、子供達に将来の健康な暮らしの為に、『食育』として、栄養のバランスのよい食事とはどういうものか、実際に口にし、耳で聴き、目で見ると。食事を提供してあげて欲しいです。今忙しいお母さん方にもどんなに喜ばれることでしょうか。皆横浜はお金がないから中学校給食できないんだと思っているのではないのでしょうか。</p> <p>そんな事はないと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>すべての中学校でみんなができたての給食（小学校のような）を食べられるようにしてほしい。選択制でなく、全員喫食デリバリーでなく未来を担う子供たちが健康で健やかに育つより知恵と力を合わせてできたての給食を食べられるように強く要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>国の緑の食糧政策を踏まえて、中学給食は出発の時点から、有機農法の野菜材料を何%は利用（取り入れ）するという方向性で横浜市行政としてTop（先行・見本）を走って欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>素案にありますように、少人数学級の推進、教職員の多忙化解消は是非進めてほしいものです。そして先生方が授業に集中出来る環境を整えてほしいと願います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の全員実施を希望致します。「同じ釜のメシ」的な給食が、中学生に心と身体の豊かさを育ててくれると思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>デリバリー給食は、業者がまとめて調理したものを、各校に届けるので、喫食時は、冷めてつめたくなっています。政令指定都市の実態を調べてもデリバリー100%の都市はありません。全員給食を開始するならば、温かいものを全員で食べられるようにして頂きたいと思っております。一度デリバリー給食を実施したところでも、その後変更して、自校方式に切り替える努力をしています。</p> <p>横浜市の調査では、「自校調理方式」、「親子方式」、その他の方式で実現可能なところもあると聞いています。出来るなら出来るところから順次始めて、遅れても全校何らかの方式で実現できる、予算の使い方をして頂きたいと思っております。</p> <p>各校に調理場があれば、自然災害時の食事提供にも役立つと思っております。</p> <p>給食費無償化している自治体もあり、無償化の実現も目指して頂きたいと思っております。市の予算が編み出せない場合は、国の学校給食法で国の予算で実現できる方向で要請し、努力して頂きたいと思っております。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館を身近なところで利用できるように、地域ごとに増設してください。小さなお子さんも、親子で絵本に親しむ場所があれば、読書の習慣が将来にわたって身につくと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
小児医療費の無料化の実現は、できれば18歳まで延長していただければと思います。高校卒業して、就職するまで医療費の心配がなくなれば、安心して暮らせます。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
出産費用の負担軽減が実現できれば少子化の対策として住みたい都市に変化したいと思います。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
公設、公営の保育園を増やして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
現在の図書館は大人の為の図書室のようです。乳幼児が楽しくすごせ、学生もしっかり学べる本物の図書館を各区に作って下さい。	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
温かくて心のこもった自校調理式の中学校給食を実現して下さい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
できたてでおいしい給食！	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食全員制の実現をお願いします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食を実施して下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校に給食を!!（自校で）	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
子供達への対策。医療無料化	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
子供達への対策。学校給食の実施	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
子供達への対策。ヤングケアラー対策	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
横浜市の中学校にあたたかい給食を取り組んでほしい	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
中学校給食の「全員実施」は、一歩前進です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「デリバリー方式」との方針です。「デリバリー方式」では、冷たく、ビタミンや栄養もそこなわれず、あたたかくないとお叱りありません。可能な学校から、小学校給食を活用して、あたたかい給食にしてください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
「政策1」 出産費用や子どもの医療費を無償にしてほしい	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
「政策2」 保育所の待機児童を0にする	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「政策2」 放課後の学童保育を学校の責任で安全に運営する	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
「政策4」 ・児童相談所の機能を強化すること ・少年事件に詳しい弁護士スタッフを増員すること	参考	ご意見につきましては、政策4「児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
「政策5」 ・市立中学校での全校で自校方式ないし親子方式の学校給食を実施すること ・デリバリー方式はダメです。冷めた業者弁当では学生がかわいそう	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市の中学校給食はできたとてみんなでおいしく食べる給食にしてほしい。センター調理方式や学校調理方式が出来るといいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5の「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」について 中学校給食をデリバリー方式ではなく自校方式や親子方式で温かい美味しい給食を全員に提供できるようにしてほしい。さらに給食費用は無料にしてほしい。若い人達がお金の心配なく子育てができるように、横浜に住んでよかったと思える町にしてほしい。少子高齢化の中、子供は未来の日本を作る宝です。 宜しくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>どんどん寒くなります。子供達に温かい給食を食べさせてあげたいです。デリバリー方式ではなく各学校で温かい調理した給食を食べさせてあげたいですね！ ぜひよろしくお願ひいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>工場で作られた弁当のデリバリー方式では、食材や又調理者もみえない。もりつけ、配膳を通し学ぶものがないなど、給食を通して成長する視点がない「素案」でいう「生徒に満足してもらえる給食の提供」とデリバリー方式は矛盾する施策ではないでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー方式の給食提供ではなく、温かい給食の提供を待ちのぞむ。自校方式、センター方式を希望します。私も学生の時は給食を待ち望み、楽しく食事をした事を思い出しました。本当に楽しかった!!子供が待ち望む楽しくおいしい給食を期待します。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>あたたかい給食を提供して下さい。人として当然の食事です。教委は北綱島の時のようにいったん決めたことにこだわらず決断して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>給食について</p> <p>(1) 現行のデリバリー方式はおいしくない為残食率が高く、食品ロスの問題が生まれている。</p> <p>(2) デリバリー向上に市の税金が投入され、家庭弁当持参の子ども、貧困で昼食抜きの子どもの間に不公平が生じている。</p> <p>(3) デリバリー弁当も注文できず家庭弁当もない貧困の子どもは昼食時間は教室から離れる現実がある。栄養士による献立、同じものを食することは、子どもたちの心身の発達に大切である。</p> <p>(4) 地場の野菜を利用するなど食の大切さを伝える食育が出来る。給食は教育の上大切である。</p> <p>(5) 学校ごとの給食設備、センターは災害時に地域の役に立つ</p> <p>以上の理由により、小学校並みのできたての給食を提供することは、大人の社会の責任である。</p> <p>自校方式、親子方式、兄弟方式の組み合わせで中学生にも完成給食は出来る。横浜市以外の自治体もデリバリー方式から切り替えている。「やる気」があればできる。是非実践の方向に舵を切ってください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>P.23,24「自ら学び社会とつながりともに未来を創る人」の育成を目指し、全ての子どもの資質・能力の向上につながる教育。一人ひとりを大切に「した教育」を推進するために、今の教育システムを改革してください。</p> <p>日本は国連子ども権利委員会から何度も勧告を受けています。</p> <p>詰め込み、点数評価、学歴社会、受験競争、加えて仲間と屋外で遊ぶ時間も、興味あることを追求する機会もない、など子どもはストレスを抱えている。</p> <p>不登校やいじめ、自殺引きこもりなどの原因になっているとの懸念も指摘されているにも関わらず、政府は無視し続けています。子ども権利条約に基づいて、教育のあり様を見直してください。自治体から、変えていき、国に物申してください。実践しているところがあります。</p> <p>※長野県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の基本目標を「社会全体ですべての子どもたちが良質で多様な学びの機会を享受できるようにします」としています。</li> <li>・伊那市伊那小・・・総合学習体験型学習【すべてを体験する】(通知表、チャイム、時間割、がない)</li> </ul> <p>自らの課題を見つけ、自ら学び、考え主体的に判断、よりよく問題を解決する資質や能力の育成(通知表、チャイム、時間制がない)という理念に基づき60年実践しています。自然からの学びも重大切にしています。</p> <p>※川崎市は</p> <p>全国で初めて子ども権利条約を施行(2001/4/1)</p> <p>子どもは大人と共に社会を構成するパートナーであるとし、この条例案づくりを、市民、子ども参加の中ですすめたとのこと。大人の干渉なく自由に遊べる夢パークがあります(不登校の子どもの居場所、自分探しの場所でもある)</p> <p>※北欧フィンランドは教育と福祉に力を入れ、教育は、すべての子どもが、平等に良質な教育を受けられるよう、義務教育前のプレスクールから大学院までの教育費は無償、全国統一テスト実施なし、入学試験もなく、塾のような校外学習がないから、時間の余裕がある。</p> <p>学校の校則やルールもほとんどなく、自主性を大事にして、個性、違いを尊重しその多様性を評価、理解し互いに認め合っていくことを目指している。そしてこの国は子どもの学力、国民の幸福度ともに世界ランキング1位!です。</p> <p>今、人類は地球規模の、環境問題、気候変動による災害、食糧難、戦争・・・あらゆる問題を抱えています。</p> <p>子どもたちと共にこれらの問題を乗り越えていかなければならない時代です。</p> <p>子ども最優先は国際的な原則ということ。</p> <p>経済最優先から脱却し、子どもの育ちを中心に据えた社会次世代が健やかに育つよう、大人は、それぞれの立場で支援していく社会を実現したいです。</p> <p>以上のことから、学びの場であり、生物としての癒しの場である自然を壊さぬよう、なくさぬようお願いいたします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜でも「温かい」「できたて」の中学校給食を実現してください 40数年前、長女の中学校入学説明会に出席したときのこと、弁当についての話が出た。 “エーッ!横浜では中学校は給食がないのー!”と東京から引っ越してきたというママが悲鳴を上げた。“信じられない、なぜ?横浜になんか引っ越して来るんじゃないかと!”と。 学校側から説明はなかった。私たち親は毎日弁当を作った。 子どもに実情を聞いてみると、本当に様々。彩りも栄養も満点の手作り弁当、業者の注文弁当、中にはコンビニや弁当屋のものを自分の弁当箱に詰め替えたらしい弁当。弁当を隠すようにして食べている子もいるとのことだった。パンをよく注文する子が“パン注王”と揶揄されることも。弁当には、家庭の状況がくっきりと出る。昼食のたびに切ない思いをしていた子がきつといたことだろう。食育も何もあったものではない。ハマ弁が導入されても実情は変わってはいなかった。 ハマ弁について何人かの生徒に様子を聞いた事がある。「冷たいことが多い。」「弁当屋さんの方がおいしい。」「ハマ弁を注文すると何となく皆に気をつかう」等々、喜んで食べている声はなかった。 今回、横浜市中期計画素案の給食に関する政策で、アレルギーなど個別に対応が必要な生徒を除いて、全員給食を実施する素案が出された。大賛成だし、ほっとした。 しかし!先を読み進むと、その全員給食は「デリバリー方式」であることが判って驚いた。今までのハマ弁だって生徒に好評ではなかったし、大磯町や大阪などが残食が多いなどの理由で学校調理方式に切り替えているではないか。着任早々、山中市長さんは何日も試食されたと新聞で読んだ。市長さんは「デリバリー方式」がどんなものかよくご存じではないか、と思う。小学校で、温かい、できたてのおいしい給食を食べてきた生徒たちが満足するとはとても思えない。孫は毎朝、登校前に給食の献立表を見ていくという。 市教委の調査でも、自校、親子、きょうだいなどの学校調理方式が多くの学校で可能で、給食センターで補うこともできるとしている。確かにお金はかかるだろう。それは当然だ。 他の市町村が何十年もやってきたことを、「愛情弁当論」や「中学生になれば食の好みも食べる量も差異が大きくなる」「金がない」等と言って中学校給食に税金を使わなかったのだから。 義務教育の中学校で、学校給食法に基づいた、栄養バランスのとれた、温かい物は温かく、冷たいものは冷たく食べられる、おいしい学校給食の実現は急務ではないだろうか。子どもは大きくなるのを待ってはいない。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>○現在の中学校給食は、デリバリー方式ですが、おかずはどうしても冷やすことが必要で、工場から学校に届くと冷たい物になってしまいます。生徒の声をアンケートで知りましたが、「温かい給食」が食べたいという感想が1位だと知り、生徒は正直だと思いました。</p> <p>私は小学校の教員でしたが、「小学校の給食」は、本当に、温かいものは「温かく」、冷たいものは「冷たく」というあたりまえの美味しい給食を食べてきました。デリバリーでは食教育はできません。①なぜなら食材の本来の出来たての美味しさが、生かされないからです。②また給食を作ってくれる人達との交流がなく顔が見えないからです。③もう1つ、昼食を生徒どうしや先生方との交流のツールとして役立たせることができないと思うからです。</p> <p>○市教委の調査で自校方式39校、親子方式22校、兄弟方式11校ができるとされています。</p> <p>まずは、その実現をすべきではないでしょうか。足りないところはセンターでまとめて作り、配送する。とにかく学校給食法の精神に則った計画にして欲しいです。</p> <p>○その理由を述べます。給食は単に狭い意味の食育ではありません。昔の言葉で借りれば「同じ釜の飯を食べる」という給食を通しての一体感や仲間意識、楽しみ、安心感等中学生の揺れやすい心を支えるツールだと思います。そして、小学校では給食調理員さんや栄養士さんの名前や顔を覚えて、運動会など職員競技で走っていれば「○○さん頑張って」と声をかけます。</p> <p>自分たちの昼食をささえてくれる大事な仕事をしていることを、こどもたちは知っています。デリバリー給食の業者さん達とはそのような交流ができるとは思えません。</p> <p>○横浜市は大都市で、一斉にできるのはデリバリーしかないという考えは、悲しいです。</p> <p>自校方式可能校は39校である。親子方式は22校、兄弟方式11校ができると市教委は調査したとのこと。それならまず各区で1枚でも試しにやってみる。速く始める学校より後の方が良い場合もあるので保護者や生徒は我慢できます。</p> <p>○私は退職した教員ですが、障害児学級を数年受け持ったことがあります。交流は給食でした。</p> <p>その時間では、私のクラスの児童が、食材が食べられないこともありました。食べ方の不器用さなど交流級の児童達はびつくりすることもありましたが、好き嫌いのごとも含めてだんだん理解し、よく休み時間に遊びに来てくれました。給食時間は宝物の時間でした。中学校でも同じことが言えるでしょう。学校給食には、「同じ釜の飯を食べる」という一体感や安心感は、もちろん、「同じ釜の飯でも食べられない」人もいるという発見もあるのです。外国からの生徒にも言えることでしょう。今思えばお弁当ではこの発見はなかったと思います。</p> <p>○横浜市に住む中学生に是非温かい親子給食のプレゼントをしてほしいと、心から望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P.33「政策の目標」の中学校給食に関する文章には、そもそも矛盾があると思う。「デリバリー方式」は、本質的に「すべての生徒に満足してもらえる給食」にはなり得ない。大量生産の冷たいおかずは、現在でも「すべての生徒には満足してもらえない給食」であり、それを全員喫食としてすべての生徒に押しつけることは、教育としての給食にはならない。作り手の顔が見える、安全な食材でできた温かい給食こそ、子どもたちの心と身体を成長させる。栄養豊かで社会的愛情のこもった、教育としての給食であると考え。温かい食事で身体をあたためることは、特に心身に大切な効果を及ぼすことである。</p> <p>横浜市では実際に小学校でそれを長く実践してきた実績がある。中学校でも、自校方式、親子方式、兄弟方式を併用し、どうしてもそれができない所のみ、センター方式を採用するなど工夫して、できるところから順に実施すれば、今から4年間でも相当数の中学校で実施できる。それは、市教委で作られた詳細なデータを分析、活用すれば、段階的計画が十分可能である。デリバリー方式ではできないアレルギー対応、病気対応、宗教上の対応、また地産地消や様々な食育などの具体的施策も、自校調理主体でこそ、きめ細かく実現できる。デリバリーをいったん実施してしまうと30年、40年の契約となり、途中で変えるには多大な費用が発生してしまう。</p> <p>横浜市は、子どもたちの現在と未来を見つめ、今、デリバリー方式はきっぱりやめ、教育として優れた自校調理にかじを切るべき時だと考える。</p> <p>そうしてこそ、市民は、市政に信頼をおくことができる。山中市長には、横浜の子どもたちに最良の給食をぜひとも贈っていただきたいと思う。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子どもに関すること ここに書いてある政策を実現させてほしいです。医療費を無料にしたり、子供の居場所を作って欲しい。若い人が安心して子育てできる横浜を目指して下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>是非、中学校給食を実現して欲しい。他の市で出来ていることが、横浜市で出来ないのはおかしいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>南舞岡小学校の学校規模適正化等、検討について 児童数により地域から小学校が無くなってしまふ事には納得できません。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>一クラス40人という学級を段階的に解消することになっているが、国基準に先んじて、全ての学年で即時実施して欲しい。教室から悲鳴が聞こえてくるようです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食を前向きに検討して下さい。歓迎です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食について、可能な学校から自校方式を取り入れて下さい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学生までの医療無料化など大歓迎です。市民が安心して暮らせる事が、横浜の最も素晴らしい宝物だと思います。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリーでない自校式給食を実現させたいです。人の顔が見える企業任せでない給食を食べさせたい。予算はいくらでもあると思います。デリバリー式でもたくさんお金使ってますよね！	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学校給食を原則としてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
中学校給食について、デリバリーでなくて良い。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
中学の給食が良い案が出て進展して行きますように	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>いつも市政にご尽力いただき感謝です。早速ですが私は横浜の小学校栄養士を42年勤めさせていただきました。はじめ（1966年）は劣悪な職場環境（重油釜、食器洗浄機、保管庫なし、調理員の人手不足、栄養士250校で20人等々）に苦勞いたしました。2千人をこす学校もあり同一献立、共同購入でも学校間格差は大きく栄養士のいる学校は調理員・求職主任・事務職員に大歓迎されました。おいしい給食、食教育にも差が出るのはあたり前です。その後国の「教職員定数法」で25校に1名の栄養士配置があり、現状は2校に1名位の栄養士になっていますね。</p> <p>◎いつの時代でも学校給食の大切さを痛感してきました。すききらいがなくなり子どもから家庭の食事の不足している栄養の3色分けて指摘する、など保護者から喜ばれました。また子どもたちの昼食時の「寒い時にはあたたいわんたんスープ、暑い時には冷たいサラダ・デザート」の笑顔が忘れられません。</p> <p>◎そこにとどまらず家庭の食事・毎年入学時に食習慣調査等を行い家庭への働きかけも行いました。給食指導に担任に役立つと喜ばれました。</p> <p>肥満児が市平均の2倍以上多かった学校では「教室」を開催して生活習慣病予防に力を注いだ。肥満は体重と身長割合より正確には皮脂厚を（体の5倍位）計ることで判定されます。全校児童に行い、家庭にもデータを返し運動の大切さ（体育主任）や食事のとり方（栄養士）生活習慣（養護教諭）など全職員でとりくみました。PTAとも学習会、後にやせすぎの子どもなども対象にし、全校児童が健康になるような働きかけをしました。この結果を給食時の食べ方に学級担任に見守ってもらいました。</p> <p>◎こんな内容が中学校につながればどんな健康意識が高まるかと、想像するだけで胸がわくわくします。全国の中学校給食実施の学校（特に自校方式）での意識が高まるかと想像すると胸がわくわくします。全国の中学校給食の実施学校（特に自校方式）での60年余にわたる食教育を受けた子どもたちは食べることの大切さが科学的に身につけているはずです。</p> <p>（結論） 横浜市は2026年度から現デリバリー方式で「原則利用」とし、業者の参入や市が新施設1～2か所建設をはじめるとしました。施設設備等の30年間の長期推計も示しましたが、方式による差はあまりありません。全校一斉に出来ない事情は市民は承知しています。出来るとする自校・親子方式をまずは試してみたいです。</p> <p>中学校教師・職員は大忙しの毎日。食教育も給食事務管理、衛生管理を主にしているのは栄養士です。前述した私のささやかな実践例は栄養士のほとんどが行っています。教師の負担が軽減されます。</p> <p>自校方式なら調理場建設費も国から補助金も出るし、2校に1名の栄養士が配置（今更ですが）デリバリー方式やセンター方式では1施設2～3名の配置にしかありません。</p> <p>8万3千人の大所帯の横浜市といいますが2026年には中学生は約6千人、小学生は約1万人以上減ると市の統計（小・中学生数推計）にも出ています。デリバリーはやっぱり失敗だったとならぬよう、関係者の意見をよく聞いて待ちに待った横浜の中学校給食の実現に力をつくしてください。特に市長さんをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>成長期の中学校生活の中での昼食は楽しい給食です。自校で地場産品をとり入れて勉強や運動の後の食事は人生の中でも思い出のある心に残るものです。学校生活の一部である給食を温かいぬくもりを感じる食事を提供して頂きたい切に願っています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の実施方式は「デリバリー方式」ではなく「温かく、できたて」の給食の実現を望みます。出来ない理由を並べたてると、望ましいあり方を求め実現させること自体が教育のあるべき姿勢だと思います。学校単位での調理方式はいつ、どんな災害が起こるかかわからない事への対策ともなると思います。ぜひ実現させて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策5の中学校給食について 生徒に満足してもらえる為には、あたたかい給食を小学校の調理方式の様に、自校か親子方式が最も良いと思います。2026年度スタートするとしても、約5割可能な「学校調理方式」から取り入れて欲しいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について その重要な柱として遅れに遅れ恥ずかしいほどの中学校給食を必ず市民の要望を生かして実施してください。全員喫食は当然のことながらアレルギー対応、温かい美味しい給食を可能にするデリバリー方式でなく、先進例、他都市の経験に学び、「親子方式」「ミックス方式」etc.検討してください。ここまで遅れたのですから実施するなら他都市に誇れるくらいのもをお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市中学校給食 温かな昼食、全員喫食を！ デリバリーの給食ではなく、小学校と同じように、温かな食事、自校式・親子式・センター式などを望みます。 給食従事者の雇用に繋がります。安全・安心の食材が使用できます（地産地消）</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1-政策5 子ども一人ひとりを大切に教育を 学校給食は生徒の空腹を充たせば良いというものではない。中学生は心身の成長に最も大切な時期である。従って、給食はバランスのとれかつ安心・安全なものであることが重要であることは論を待たない。 林前市長はデリバリー方式を給食の一形態とらえ推奨していたが、普及効果は上がらなかった。にもかかわらず、現在もこの方式を基本とするの政策はナンセンスである。 私は食品会社で、品質管理・衛生管理の仕事もしてきた。日本の6～9月は高温・多湿のため食中毒のリスクが高い。これを抑えるには、調理と摂取の場が近いことがベストであり、監督者の目が日常的に届くようにすることが欠かせない。デリバリー方式はこの二つとも条件を満たさない。 結論的にいえば自校方式がベストである。しかし、現実を考えれば物理的に困難なケースが存在することも事実である。次善の策として近くの公立の小学校・中学校などと提携していく親子・兄弟方式を併用すればかなりカバーできるのではないかと。次善策も物理的にむりであれば、小規模のセンター方式もやむをえないと考える。デリバリー方式は学校給食とはなじまないと思う。 教育に効率や費用のファクターに重きを置くべきではない。将来の日本を背負って立つ中学生への先行投資だと考え、思い切った財政措置を講じて良いのではないかと。 蛇足ながら私は戦後の混乱期に横浜市立の中学校に在籍していた。経済的に恵まれない家の子供のお弁当はお粗末なもので、弁当箱の蓋で隠し友達に見られないようにしていた女生徒や弁当を持って来れない生徒はじっと我慢をして給食時間の過ぎるのを待つ子供もいたクラスの情景が今もはっきり覚えている。同じ釜のめしを食べた間柄というのは友情をはぐむ原点ではないか。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>学校給食について 中学生の子ども達にあたたかくて、おいしい給食を自校（学校で調理した）方式のものを実施して下さい。 中学生は体格も個人差がとても大きいです。一律のものでなく（デリバリー）食べ盛りで食が重要な時でもあります。 私自身も毎日、お弁当屋さんのものを食べても3日ぐらいで飽きてしまいます。食は食育というように心も育てる、体をつくる生きるための基本です。そこに予算をつけることは、とても大切なことと思います。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>現在、物価高の中で他地域では、給食の無償化や補助が広がっています。横浜でも実施してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校給食 すべての子どもたちへの給食の保障、現在保障のない中学校にも。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「デリバリー方式」でなく、温かく安全な食を保障できるように、自校方式で行うようにお願いします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>外国人の子どもたちへの教育の保障。 ミャンマーなど迫害から逃れてきた人々の保護を横浜市でもすすめてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>子どもたちの心の健康と命を一番大切にして下さい。 大きな現状の課題として、全国学力調査等についてありますが、子ども達にとって学校は今、安心できる場所になっていません。 不登校をはじめ、発達障害等支援学級の子も達も大変多くなっています。先日、国連から分離教育について勧告があったように、ひとりひとりにあった…とされながら、いろいろな子ども達が一緒に育つ場がうばわれています。世界はインクルーシブ教育がスタンダードとなっているのに逆行しています。みんなが共に育つことのできる学校の体制（少人数学級や教員の増員など）を作ることをお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
1 - 3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
1 - 5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
子育てに関する給付金や児童手当の所得制限を無くしてほしい	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
1 - 3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
1 - 5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
1 - 3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
1 - 5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
1 - 3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切に教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切に教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切に教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切に教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。 小学校の様な給食を実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>1-3 困難な状況にある子ども・家庭への支援 学校給食・他の無償化を実現してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>1-5 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 デリバリー給食ではなく、学校調理方式ですすめてください。成長期の中学生に、栄養の温かくておいしい全員給食を早く実現してください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食[戦略1 政策5]</p> <p>この課題が極めて大きな問題となっているのは、山中市長が2021年の市長選時に、公約の一つとして、“中学校給食の全員実施”を掲げていたことを受けて、多くの親がその実行に期待していたからである。しかしその期待は単に全員が給食に預かれればいいというものではなく、Delivery方式による全員喫食といったものはその範疇になかった。</p> <p>まずくて冷めていて栄養的にも問題があるDelivery弁当を全員に押し付けるのは、極端に言う中学生を家畜扱いするに等しい。黙って15分で食べさせるのもそれに拍車をかけるものだ。これでは“子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進”にはほど遠く、むしろ逆行するものである。</p> <p>Delivery方式は、それをかつて採用していた多くの自治体が今や'No'を突きつけたものであり(e.g.大阪府は2015年に学校での調理方式に切り替え、2019年に全128校で完了させた)、横浜市は周回遅れの選択にしがみつこうとしていることになる。あるべき姿は自校方式の採用である。それには完全自校式、親子式、兄弟式、混合型があり、すべての学校を同じ方式にする必然性はない。少なくとも145ある中学校の丁度半分とも言える72校は今でも自校方式のいずれかの選択肢は適用可能である。市は給食室の建設に必要なスペースの制約を根拠にして自校式の困難性を主張しているが、近視眼的で紋切り型の主張である。学校のサイズにはいろいろあり、小さいところでは可能はずである。</p> <p>自校方式にすれば国からの補助金が出るが、市はそれを意図的に隠していた。横浜市らしい汚なさに実に情けない。</p> <p>中期計画では、遅くとも今期計画の終了時(2025年度)には全中学校で学校調理方式を完遂するための具体的な実践計画を展開すべきである。そのためには地域(区)や学校の特性に合わせた多様な方法を模索し最適解を生み出すことである。例えば、敷地に制約があっても二階建ての給食室を建てる、人数が多いマンモス校では2対1、3対1の親子式や兄弟式を採用する(1対1に拘らない)、親子式や兄弟式では他区からの運搬も利用するなどである。</p> <p>大阪市では実に6つもの方式を採用している。地域や学校で方式が異なることは公平性や平等をそこなうものではまったくない。多様性の尊重であり、民主的である。</p> <p>「Deliveryは生徒や保護者が望んだものか」に教育長はまともに答えられなかった。そんなものを押し付け続けるのは非民主的である。</p> <p>「食育」の意味を市はもっと真剣に考えなおさないといけない。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画に、現在は「選択制」であるデリバリー式給食を「全員制」に移行することが盛り込まれているが、これは中止すべきである。</p> <p>多くの自治体がデリバリー式給食を止めて、自校式、親子式、センター式による給食へと移行している。その中で、横浜市だけが時代に逆行する愚かな政策を取ろうとしている。デリバリー式は長時間運搬で冷たい、アレルギーへの対応が難しいなど欠点が数多く、生徒、保護者からの評価も低い。残食率が高SDGsにも反する。そもそも学校教育の一部である給食を民間業者に丸投げすることが大きな問題を孕む。</p> <p>全国の政令指定都市の中では、大阪市が2015年から5年かけて、デリバリー式から自校式、親子式を組み合わせた「学校調理式」への移行を実現した。手本にすべき先例であり、山中市長も昨年の市長選の中でそう述べたはずである。大阪市にできたことが横浜市にできないはずはない。一斉開始にはこだわらず、横浜市でも大阪市のように可能な中学校から順次、学校調理式に移行すれば良い。時間をかけて、すべての中学校で学校調理式を実現するロードマップの策定は可能である。</p> <p>横浜市は自校式、親子式、センター式を組み合わせたミックス方式について、検討は続けてきたが、必要とされる6ヶ所の給食センターの建設用地のめどが付かないために実現困難としている。だが、本年8月26日付けの「今後の中学校給食の在り方の検討状況について」という報告書を精査してみると、各中学校における自校式および親子式の可能性を十分に検討したとは言い難いのが分かる。横浜市立の小学校・中学校はすべての中学校で「学校調理方式」の給食を実現するだけのポテンシャルを備えている。その場合には、給食センターの建設も必要ない。</p> <p>「今後の中学校給食の在り方の検討状況について」では、自校式が可能と判定された中学校は39校。残る106校で60127食の不足が発生するとされている。一方、横浜市の小学校の既存の給食室は、中学生の一食換算(小学生の1.3倍)で、71272食の余力を持っていると計算される。これに自校式可の中学校の給食室の余力を加えると76471食となる。単純計算では、親子式および兄弟式での利用が考えられる「余力」の方が「不足食数」を上回っている。</p> <p>しかも、自校式可と判定された中学校は39校だが、その可否判定は300㎡の給食室が建設可能かどうか、の一点で判定されているようだ。横浜市立の中学校には1000名を超えるマンモス校もあれば、200名程度の小規模校もある。小規模校では300㎡を下回る面積の給食室でも、自校式調理が可能なのである。300㎡一律ではなく、生徒数に合わせた給食室の面積で可否判定すれば、自校式が可能な中学校は39校を上回ると考えられる。</p> <p>加えて、横浜市は給食室の建設において、二階建てを検討していない。二階建ての給食室は、さいたま市では過半数の中学校に採用されている。校庭の狭い横浜市の中学校でも、二階建ての給食室は積極的に採用すべきである。二階建てならば、300㎡の給食室を建てても、敷地面積は約半分となる。150㎡程度の敷地の余裕ならば、はるかに多い中学校が持っているはずである。二階建ての給食室建設で、自校式が可能な中学校数が増えれば、先述の不足食数はさらに減少する。</p> <p>一方、供給の余力を増やすことも可能である。小学校の給食室の余力を横浜市は既存の給食室の蓋の数から算定したと聞か、他自治体では親子式の検討に当たっては、小学校の給食室の増改築、それが不可の場合でも調理器具の増強を考えている。これらによって、親子式の親となる小学校の給食室の余力は増やすことができる。さらに、兄弟式の兄となる中学校には、可能ならば300㎡より大きい給食室を建設する。これによって、余力はさらに増やせる。</p> <p>このようにして、不足食数を減らし、供給の余力を増やすことは可能である。少子化の影響で、年々、不足食数は減少し、余力は増大することも分かっている。先の報告書で、自校式、親子式、兄弟式を合わせた「学校調理式」の給食が可能と判定された中学校は72校に過ぎなかったが、数年後にははるかに多くの中学校で「学校調理式」が可能状況となっているだろう。</p> <p>さらに、横浜市独自の方式を加味して、「学校調理式」を実現する道も考えられる。自校式不可の中学校でも、主食調理(炊飯)は必ず自校で行うこととする自炊・親子・兄弟式である。先の報告書ではいずれの方式の場合にも64㎡程度の配膳室は必要とされているその建設が不可能とされた中学校はない。となれば、64㎡の配膳室の二階に64㎡の炊飯室を置いた128㎡の給食設備ならば、どの中学校にも建設可能であろう。</p> <p>自校式不可の中学校でも炊飯は自校で行い、オカズや汁物だけを運び込むこの</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「自炊・親子・兄弟式」を取れば、親もしくは兄となる学校の給食室の負担は軽減される。運搬量も大きく減らすことができる。オカズや汁物だけに注力すれば、親もしくは兄となる学校が供給できる食数も増やせるはずである。そこで、「学校調理式」の実現可能性はさらに大きくなる。</p> <p>それでも、生徒数が1000名を超えるようなマンモス校では、自校式が不可の場合、先の報告書の中で横浜市が想定した1:1の親子式兄弟式では、不足食数をまかないきれないと思われる。しかし、他の自治体では1:1に限らず、2:1の親子式も採用の例がある。こうしたマンモス校の学区内には三つ四つの小学校があることが多いのだから、2:1や3:1の親子式・兄弟式を検討することも理にかなう。必要に応じて、2:1や3:1の親子式・兄弟式を使うことによって、横浜市のほとんどの区で、全中学校の「学校調理式」給食が可能となるはずである。</p> <p>ただし、鶴見区、港北区の二区だけは、最後の難関となりそうである。とりわけ、鶴見区は隣接区が港北区と神奈川区しかなく、先の報告書ではこの二区も不足数が余力を上回っている。不足数余力のバランスは区によって大きく異なり、この偏りの激しさから鶴見区、港北区の二区では上記のすべての工夫を凝らしても、「学校調理式」の実現困難校が出るかもしれない。だが、その場合には横浜市が検討した隣接区の学校から運搬する親子式・兄弟式だけでなく、隣接しない区からの運搬も検討すべきである。具体的には大きな余力を持つ青葉区からの運搬だ。</p> <p>青葉区から港北区の移動は、間に都筑区を挟むが、きた線の開通によって、移動時間が短くなっている。さらには、鶴見区への移動時間も大きくは変わらない。例えば、余力の大きい青葉区の山下みどり小から港北区の9中学校への移動時間(午前10時半到着を想定)はおおむね25分以内と推定される。渋滞を想定した最大の場合でも45分以内である。鶴見区の10中学への推定移動時どの商品に間も30分以内、最大でも50分以内である。センター式の場合の一般的な運搬時間と比べても、これは長くはない。</p> <p>隣接区からの親子式・兄弟式だけでなく、港北区、鶴見区については、青葉区(あるいは都筑区など)からの親子式・兄弟式を取ることで、横浜市の全中学校で「学校調理式」の給食は、無理なく実現すると考えられる。できない理由を探すのではなく、できるようにする方法を考えれば、道は開けていく。</p> <p>鶴見区では汐入小、入船小の2校が32㎡の食缶室が建設不可で、親子式の親の検討対象から外されているが、この2校は少子化で小規模校化して、教室も余っている。32㎡の食缶室が用意できないとは考え難い。細やかに各校の状況をふまえることなく、数字や図面だけをもとにした一律の判定で、可能性を閉じている例が、先の報告書には多いのではないかと考えられる。一校一校、きめ細かく状況を見定めていけば、全中学校での「学校調理式」給食は、調理や運搬のスムーズな在り方も考えあわせた形で、実現されるはずである。</p> <p>「学校調理式」の中学校給食を、二階建て給食室、「自炊・親子・兄弟式」など、横浜市ならではの工夫を凝らして実現すれば、それは他自治体も真似する先例となるに違いない。給食センター建設や全員制デリバリー式のための工場建設には広大な土地を必要とするが、「学校調理式」ならば、あらたな土地の調達も必要ない。ゆえに、初期費用はずっと低く抑えられる。国からの補助も得られるから、「中期計画」に盛り込まれようとしているデリバリー式全員制に比べて、初期コストは半分程度になるはずである。加えて、ランニングコストにも優れる。食育の面からも好ましい。</p> <p>横浜市は「学校調理式」による中学校給食を実現するとともに、「全員制」や「あたたかい給食」をゴールにするのではなく、その先にある、子供のことを第一に考えた、どの自治体にも質を誇れるような給食を小学校、中学校ともにめざすべきである。そのために、「デリバリー式」は廃止し、「学校調理式」を基本とする長期計画を策定すべきである。</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
人に優しい～「子育てをしたいまち」にするならば デリバリーでない「温かい」中学校給食の実現(教育委員会が解決案を公表済)	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
①中学生までの子ども医療費、②出産費用ゼロ ①②いずれも若者世代の問題であるが、足元では急激な円安による物価急増や電気料金の上昇も控えている。これに対して、賃金上昇は期待できず、出産控えといった状況が予想される。 ①②とも、実行できるかがポイントであろう。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
高校 高校は県営が多いです、市で作るなら、専門性が高い学校やリスキングの学校、4年制の高校などです。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
配達方式で“全員給食”とするのは反対です。 給食事情は変わってきています。配達方式から保温缶式に変えた逗子市のように温かい小学校のような給食を導入してほしい。そして有機野菜を使ったり地元の小麦でパンを使ったり給食費を負担する等計画的に子供たちが喜ぶ給食を目標してほしいと思います。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
現在の小学校の調理余力を生かせば、小学校から中学校に配達する親子方式は実施可能という市の調査が出ています。親子方式から始める計画を作ってほしい。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
P2戦略1政策1 特に中学3年生までの医療費完全実施を高校3年生までの実施を展望しつつ、早急に行なって下さい。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策5 中学校給食は評判の悪いデリバリー方式はやめ、「自校、親子、センター方式」を実施するよう再検討することを強く求めます。 それぞれの学校の現地調査を行い、出来る所から実行して下さい。団塊の世代が小学生の頃は1校当たり、今の倍以上の給食を用意していたと思います。勿論給食の献立、質が今と違うので一概には言えませんが、やる気になれば工夫して出来るのではないのでしょうか。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学生の給食は、小学生のような冷たくない給食を実施して下さい。残食も多いと聞いています。まずいから残すのではないですか。</p> <p>アンケートも結構ですが、子どもたちの声に耳を傾けて下さい。</p> <p>中学生のお母さんとお話した時、お母さんとしては就学援助も受けられるのでデリバリーを頼んで欲しいのだが、子どもはそんなに食事にうるさくない子どもだけれど「冷たくて固い」とデリバリー給食を注文できなかったと言っていました。</p> <p>又、ほかの方は「冷蔵庫から出した弁当の冷たさを想像してみてください。子供はそれが嫌でお弁当作りをしています」と。</p> <p>毎日食べるとなると、残食率もアップしそうです。当事者の意見を重視した政策作りをして下さい。成長盛りの子供に栄養のある温かい給食を願っています。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について</p> <p>デリバリー型採用で、2026年全員実施は可能でしょうか。業者確定も難しいと思います。</p> <p>一斉スタートにこだわる余り、安易に業者委託に走ることは危険です。中止して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>日本でほとんどの地域で小学校と同じような給食をしているにもかかわらず、なぜ、横浜市ではできないのか。</p> <p>2026年度全員にデリバリーの給食が決まりつつあるようだが、デリバリーは中学生の評判が悪く、又ほかの地域で失敗した例がある。同じ失敗を繰り返さないで欲しい。</p> <p>中学生になぜ温かな「栄養のある給食」が必要なのか。今、格差のある時代で持ってくるお弁当もさまざまである。きちんとしたお弁当を持ってこれない子どもは楽しいお昼の時間はない。また、そういう子どもは家でも栄養のある食事が出来ない。</p> <p>中学生は心と体を作る大切な時である。丈夫な体を作ることは、よき働き手を作ることであり、国の発展にもなる。</p> <p>「温かい栄養のある給食」を是非実現させてください。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「デリバリー方式」でなく「学校調理方式」による温かくおいしい「中学校給食」を実施して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>すべての生徒が同じ物を食べられる給食にして下さい。食育を意識した献立の提供を。教職員の供給体制の確保をお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について、全員実施に転換することは嬉しいことです</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「デリバリー方式」にすることには反対です。食育やアレルギー対応、地産地消、防災などの視点からデリバリー方式でなく、自校や親子方式にして欲しいと考えます。</p> <p>現在、デリバリーのお弁当を食べている中学生から、ハンバーグの中身が冷たくおいしくなかったとの話も聞いています。小学校の様に、安全で出来立ての給食を提供できるよう、デリバリー方式でない自校、親子方式に再検討して欲しいです。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>私の小学校入学は昭和20年4月まだ太平洋戦争中でした。8月終戦学校給食が始まったのはたぶん昭和30年ごろかと。私の栄養士と家庭科の教師として赴任したのが昭和34年</p> <p>4月でその頃の給食は、牛乳、コッパン、ジャムorバター汁物（肉、野菜、芋などが入ったもの）米の料理、パスタ、うどんなどの主食は全くありませんでした。</p> <p>それでもみんなで同じものを食べられる喜びで残す子供はあまりいませんでした。今の給食はおいしい物を温かく冷たいものは冷たくがモットーになり時代の変化を感じます。子ども達が幸せに成長していけますことをうれしく思いつづ書いています。</p> <p>最近では共働きが普通になってきて、母親が朝お弁当をつくるのは大変な事でしょう。</p> <p>私の子どもの育つ頃は中学校にパン牛乳等の出張販売があったようですがいつのまにか中止になったようです。給食が始まりほととなされている父兄のかたも多いことと思います。</p> <p>栄養面でも育ちざかりの子どもにとって大切な事ですので。子ども達に温かい食事を食べさせることができるのは日本が平和であるからで二度と戦争のない事を願って子供たちがすくすくと成長して優しい思いやりのある大人になってほしいと願っています。思ったことを書いてしまいました。食育はいつになっても大切だと思っています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>既存施設の計画的な再生</p> <p>緑園都市西小学校の建物の利用について</p> <p>近所に借りられる図書館がないので図書館を作って欲しいです。また体育館など卓球などが出来てお年よりや子供達も自由に使えるようになったら嬉しいです。</p> <p>中川地区センターのようなミニ型があったらと思います。移動図書館も東公園だと新橋町からは遠く感じます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は他都市がデリバリーからセンター方式、自校、親子方式に切り替えている。デリバリーで始めるのはおかしい。切り替えた都市に学ぶべきです。一斉スタートにこだわらないで出来る学校から始めてほしい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食のデリバリーではアレルギーの対応できないときいています。                      自校方式、親子方式、兄弟方式、センター方式いろいろあります。まずは出来る学校から始めるべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>生徒の給食へのアンケートでは温かい給食を望む声が1位です。デリバリーでは生徒が満足する給食になりません。自校、親子方式、センター方式にするよう願います。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリー方式でなく、センター方式、自校方式、親子方式に切り替え生徒に満足してもらえる給食にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>昼めくらいあったかい子供がよるこぶ様な食事を出してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>現在の小学校の調理余力を生かせば小学校から中学校に配送する親子方式は実施可能という市の調査が出ている。ただし親子方式から始める計画を作してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市教育委員会が作成した調査表では自校方式、親子方式、兄弟方式などミックス方式を採用すれば学校調理方式の中学校給食が実現出きます。一斉開始ではなくてもできる学校から始めてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリーではアレルギー対応といわれています。他都市のようにセンター方式又は自校方式、親子方法があります。変更してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリーでは温かい給食は食べれない。生徒の給食へのアンケートでは温かい給食を望む声が1位。デリバリーでは満足する給食にならないので自校方式、親子方式、兄弟方式でまずは可能な学校から始めてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリーでは温かい給食は食べられません。生徒のアンケートでも温かい給食を望む声が1位です。デリバリーでは満足しないでしょう。自校方式、親子方式、兄弟方式でまずは可能な学校から始めてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子ども1人ひとりを大切な教育の推進をお願いします。デリバリー方式でなく、学校調理方式で生徒に満足してもらえる学校給食をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜市は中学校給食を全員実施にするとのことです、これは嬉しいことです</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>デリバリー型給食とのことで困っています。 私には磯子区と戸塚区に中学生の孫がいますが、磯子区の中3の孫は最初から「デリバリーはまずい」とはっきり言い、親子で話し合い、母親の作るお弁当を持って登校しています。しかし母親も仕事があり、朝は大変なようです。又、戸塚区の中1の孫は、いまだに小学校の給食がよかったと言いつづけています。 中学生は体が急成長する時期であり、栄養のあるものをたっぷり食べさせたいのです。是非小学校のような温かい給食を中学校でも実施していただきたく、お願いいたします。 日本全国のほとんどの地域で中学校給食が実施され、中には給食費無償化の動きさえあります。又、デリバリーから自校方式等に切り替えている所もあります。なのに、何故豊かな横浜でそれを実施できないのでしょうか。お金の使い道を検討し直してください。未来を作る子ども達にこそ、お金を使ってほしいと思っています。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デリバリーでは温かい給食は食べられない、生徒のおおくは温かい給食を望んでいます。安易に業者に委託する事にははなたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食はデリバリーでは温かい給食は食べられません。生徒のアンケートでも温かい給食を望む声が1位です。デリバリーでは満足しないと思います。自校方式、親子方式、兄弟方式でまずは可能な学校から始めてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策6 教職員の多忙化は過労死寸前。臨時雇用を配置しても打ち合わせ等で余計忙しい。正規の教員を市独自予算で配置すべき。35人学級の段階的实施などという悠長なじょうきようではない。教職はいまやブラック企業となってしまった。教育に予算を十分つける市政を実現してほしい。 GIGAスクール構想もICT環境整備も土台の教職員のゆとりのない中での早急な導入は現場の多忙化と疲弊を生むのみだ。子どもの個人情報収集もセキュリティーが心配。一括して情報収集・活用などしてはならない。教育の場をもっと単純な、ゆとりある人格形成を目標とした場にすべきだ。 築50年以上の学校施設の改築にあたっては給食施設を必ず併設するようにして下さい。（特に中学校）4割近い学校が老朽化と聞いている。地域の防災拠点、高齢化社会に対応する役割もこなせる給食施設を必ず併設するようにして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5 中学校給食全員実施は大いに評価する</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策5 なぜデリバリー方式といってしまうのか。アンケートでも「温かい」給食を望む声が多いのに、十分な検討もなくデリバリーにきめたことはおかしい。他県や他市でデリバリーは見直し、やはり自校調理方式にきりかえている。早まって業者弁当でスタートするのは反対。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>デリバリー式による供給体制とありますが、おかずを冷たくしてのデリバリー式ではなく、おいしい温かい給食を望みます。自校での調理、小学校で調理しての親子式、それが難しい場合はセンター方式などいろいろ組み合わせて考えて下さい。ようやくはじまる横浜の中学校給食です。子ども達が喜ぶ給食の実施を！ 他都市では残食率が高いデリバリー型の給食をやめて自校式やセンター式にしている状況です。横浜市が逆行することのないように切に望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食のデリバリー方式には反対です。センター方式、自校方式、親子方式に変更して生徒に満足してもらえる給食にしていきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向けた準備をすることですが、デリバリー方式は反対です。冷たくておいしくないとして全国でやめている方式だと聞いています。さらに現在実施しているデリバリー方式は、生徒や保護者が望んでいるのでしょうか。是非、「自校調理方式」や「親子方式」「きょうだい方式」などを検討していただき、全員ができたてを食べる小学校のようなおいしい給食を提供してください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>教職員の働き方改革 教職員の正規採用数の大幅増を望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は自校方式、親子方式などやり方を工夫して子ども達にあたたかい昼食を食べさせて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食について、全員利用実施は大歓迎です</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について、デリバリー方式は反対です。自校調理式や親子式等を考えて下さい。出来たての温かい食事を食べさせたいです。他の自治体でできてなぜ横浜市はできないですか。 子ども達の為に私達の税金を大いに役に立ててください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>地域の食材を使い温かい食事 子供達は朝、あまり食べずにくる子が多様なので、せめて皆と同じ温かな調理者の見える食べ物を給食してあげたい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学生給食の「全員実施」 デリバリー方式では調理者も食材もみえないもりつけ配膳を通して学ぶものがない。生徒の給食を通して成長する観点がない。 「生徒に満足してもらえる給食の提供」とデリバリー方式は矛盾する施策である。温かい給食を求めます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>「デリバリー方式」で拙速に走り出すのではなく、将来の「温かい」「おいしい」に少しでもつながる「学校調理式」に、具体的にたどり着いて欲しい。 心身が大きく成長する中学時代の「食」はとても重要！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の全員実施をぜひお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>次代を担う育ち盛りの子ども達に栄養のある温かい食事を食べさせて下さい。 横浜の近郊には農家も有るようです。農産物の規格外で流通に乗らない品などを安く仕入れたり、消費期限の近いもの等がスーパー等では捨てられるそうですが、それらを上手に使って温かい食事を提供して欲しいと思います。 ハマ弁でなく食育として是非温かい給食を実施して下さいようお願いいたします。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜の中学校にも「あたたかい、できたての給食」をぜひ実現して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食の「全員実施」について 地産地消の推進、地域の郷土料理、行事食や生徒考案メニューなど、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することをうたっている。自校方式の小学校では現在も実施されていて好評だが、工場で作られた弁当のデリバリー方式ではそれはできない。 横浜の中学生にも「温かい」「できたて」の給食実現を！</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性を示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の「全員実施」について                      子どもが小学生の頃、給食を楽しみに、大勢の皆さんのご尽力によって健やかに成長できたことは言うまでもありません。中学校生活でも更に充実した食生活が求められる中で、温かく栄養のバランスのとれた美味しい学校給食の提供の実現は永年の横浜市の生徒、保護者の願いでした。どうか、横浜市民の要求が実現されることを、切に望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食は是非、実現していただきたいです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1の政策5                      「中学校給食の利用を原則としデリバリー方式による供給体制の確保」について                      業者まかせのデリバリー方式の給食では何十年たっても給食調理室ができません。給食はできたてあたたかいものを提供すべきだと思います。全国でできている小学校のような給食を中学校でもやってほしいと思います。                      ぜひ自校調理可能な学校から実現のための予算を組んで下さい。                      食は子供の命です。子どもを大切にす横浜                      大災害が想定される中、給食調理室の存在は重要です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>横浜の中学校の半数72校が自校調理方式可能という報告あります。                      親子方式、兄弟方式組み合わせれば、デリバリー方式やめられます。まずいデリバリー方式の中学生を思うと、いたたまれません。                      大人の責任、子どもに恥ずかしい横浜の実情です。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>こどもの数を増やす政策をお願いします。                      少子化対策を切に望みます。                      結婚前学級の開設                      ※婚前学級は区役所において昭和50年ごろまで開催されていました。                      離婚数を少しでも少なくするためには大切な教室であったと思っています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>妊娠・出産無料化</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>乳幼児～医療費無料</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の、主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>育児支援施設の内容の拡充核家族となり育児の負担も拡大しており解消するには育児支援施設が重要と考えられる。相談できる専門家を置くetc</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に関するもの、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>保育園・幼稚園の無料化</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校対象のデリバリー方式の給食の充実を図ってほしいです。                      ハマ弁に始まり改善を積み重ねて現在の形になりました。当初伸びなかった喫食率も30%となり安定してきたようです                      今の方式でさらに喫食率を上げるために工夫することが現実的で、保護は、市民のニーズとりわけ生徒の満足につながる方式だと思います。                      一部に「小学校のような自校方式を目指せ」という向きもあるようですが費用対効果の側面から反対です。限られた予算のバランスの良い執行が大切だと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>中学校給食について                      デリバリー方式による供給体制の確保に対しては反対です。デリバリーを実施した他市町村では「冷たい」「まずい」との子ども意見を取り入れ「できたて、温かい」自校式中学校給食の実現になっています。                      横浜市でもいろいろ工夫して「できたて、温かい」の給食にしてほしいです。                      「すべての子どもの資質・能力の向上につながる教育の充実を図ります」と戦略1で述べていますが食は基本だと思います。                      ぜひ、デリバリーではなく自校式親子方式など「温かい」給食を実現して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>選択制学校給食が始まりましたが一部で「温かい給食」の声のもと給食室（センター）設置の声を耳にします。それについて疑問があり意見として述べさせて頂きます。まず財源に関する点です。市内140校弱の中学校すべてに給食室を設置することや、センター方式の場合は学校の時ほどに影響がない供給体制の確保が出来るのでしょうか。                      そのためにやはりカジノをという声が挙がったということを危惧します。                      次に子供たちの教育活動に関わる点です。                      小学校の給食をイメージすると給食は食缶の往復運搬や配膳跡型付けなどの時間が加わります。その時間はどうやって捻出するのでしょうか。生徒の登下校時間をスライドするのか課外活動の時間を減らすのかになるかと考えますが、それは子ども一人ひとりを大切にされた教育だと言えるのでしょうか。                      メディアでまずいといまだに報道される「ハマ弁」ですが栄養バランスや彩の整った内容だと思います。以前試食する機会もありましたが、美味しかったです。                      デリバリー方式ですとアレルギーや宗教上（ハラールなどの）個々に応じた対応可能です。                      市には今後もハマ弁への更なる充実を願いつつ現状の施策に基づいた食育の推進を求めます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>現場で作ってその場で食べさせる中学校給食。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学生は温かくおいしい給食を望んでいます。 冷やして配送されるデリバリー方式では、「生徒に満足してもらえる給食の提供」にはならないと思います。全市いっせいに全員契食にならなくてもよいので、小学校の給食室を利用して近くの中学校の分も作るか、小規模センター方式やできる所は給食室を作って自校方式にしたり、各地域の実情を考えて少しずつでも中学校給食を実現して欲しいです。 小学校でやっているような温かくておいしい学校給食を中学校でも実現して下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策⑤の中学校給食は現在のハマ弁を全員が食べられる給食にするとのことですが、私は反対です。災害の時などにも役立つ給食室を設置することは、防災のためにも必要な政策と考えます。児童の数が減少している時なので、学校に空きスペースがないとは考えられません。 私はずっと若い頃から、給食とは温かいものを皆と一緒に食べるものとしてきました。 是非、自校方式の給食を実施することを求めます。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>学校給食には、子どもたちの健全な身体づくりのため、オーガニック（無農薬及び遺伝子操作NO）の食材を使用した食物を提供して欲しい。 少しずつでも横浜市での取り組みが、全国に広まることを期待してやみません。 お隣の韓国の一部や外国では、すでに取り入れている国があるそうです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>各学校で全員で食べる給食のスタートの時期が違うという事になると、公教育として問題だと思うので同時期にスタートしてほしい</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にしたい教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1 政策⑤子供一人ひとりを大切にしたい教育 中学校給食について 小学校支援員をしています。子供たちは「中学へ行くと弁当給食が嫌だよ」と言います。理由は、温かい、おいしい、リクエストできる小学校の給食がいいという事。5年以上かかったとしても段階的に中学も小学校のような給食を実現することは可能です。 現在も霧中のような親子式が出来そうなところがあります。食育は大切です。特に中学生にとっては。 地産地消の農業支援やSDGsの観点からも大切だと思います。是非小学校と同じ給食を実施する計画を作って下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>小学校のような給食を望む多くの声を聞いてきました。 実施すればいいというものではありません。子供たちの心と身体にとって何が最良かの観点から、お考え下さるようお願いいたします。 一斉実施にこだわることなく、できる所から始めることに、多くの子供や親は理解を示します。 「小学校のような給食」を心待ちにしております。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>戦略1 保育園に希望する子供全員が入れるようにすること</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「温かい給食」についてはデリバリー方式で何ができるかを探ってほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
公務員が率先してパパ育休を取得すべき。そして、小さな子供の魅力をどんどんアピールし、育児により仕事の効率や能力が上がることをアピールし、育休取得が当然の権利となること。	包含・賛同	行政運営1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」では、男性職員の育児休業取得率を100%にすることを指標として掲げています。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
母への育児の負担を減らし、社会に進出することを後押ししてほしい。また、病後児保育室の拡充を望みます。 母が美容院、歯科受診に行くことを賢沢とならずに、母の息抜きや、消費≒浪費という観点を男性、女性共に変えてほしい。母のメンタルヘルスや、父の価値観により虐待などが複雑に絡み合い、子どもに悪影響を及ぼしているのが現状としてあるからです。 母親になると、子どもを守るため必死に育てますが、まじめな母が多い印象です。愉しんで子育てしてほしいです。	参考	ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
冷めた弁当より温かい給食を提供することが、子どもたちに喜ばれて満足できる給食が実現できると思います。 そのために自校方式や親子方式、兄弟方式、センター方式を組み合わせ、可能な学校から開始してほしい。 デリバリー方式により提供されると、各事業者は設備投資するために途中で中止することはできない。慎重な対応と十分な検討をして導入すべきです。	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
幼児期の保育所・幼稚園小学校、中学校高校の入学式、入園式で親も出席する式で子供達が社会に守られ生きていく権利がある事虐待されたとき学校や交番で自分に起きている事実をいつでも受け付けるとい事を重ねて話し続けてほしい	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
政策3 コロナ禍で特に単親家庭の子供の生活にしわ寄せがきている。生活面では子ども食堂等のいっそうのサポート、また学習面では進学を考えての放課後学習支援事業等のいっそうの充実を求める。	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」等に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
政策5中学校給食について デリバリー方式による全員給食を支持する。小学校型で自校方式にすると、大きな予算とともに一斉開始が難しいことになると思われる。中学校の3年間は一人ひとりにとって一度きりの大切な時間であり、この学校は今年から、隣の学校は3年後開始などの不平等は子供たちにとって重大な影響がある。一斉スタートを可能とし、様々な食育の可能もある、現行デリバリー方式の全中学生への拡大を期待する。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
デリバリーではない自校調理方式などの心のごもった身近な人による身近な場所での調理を望みます。他自治体ではすでに無料化が検討されているというのに横浜は動物の餌じゃあるまいし、遠くの工場から冷たい昼食を運び全員だからいいだろう。一斉だからいいだろう的な発想を感じます。 小学校では実施しているのですから知恵を出して未来の横浜を作る子たちに応援を！！	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>今、日本はかつてない少子化です。このままでは日本は滅びてしまいます。関連する政策1から6までを確実に実現し、人口を増やすことです。豊かな人間が増えれば、未来は明るいのではないかと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>無理に一齐実施して禍根を残すよりも「子ども・子育て支援」を重点政策とする横浜市として将来にわたる問題ですから学校調理を基本に各学校の条件に合わせていろいろな組み合わせで「温かく」「おいしい」給食を子どもたちに提供すべきではないでしょうか。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>（5つの政策）少子化に進む今、子ども一人ひとりを大切にするために学級の人数を世界並みに減らし、教師と子供がゆったりと向かい合うことのできる環境をととのえるべき、1クラス20人以下へ！子ども達の意見話をしっかり受け止められることこそ教育として大切です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1の6 基本的人権教育をより強化すべきである。ロシアによるウクライナ侵略は、最大の人権侵害であり、この為の教育現場での政治教育は欠かせない。あらゆる人権を深く掘り下げた教育とともに、子ども権利の基本、条例の制定をすべきである。</p>	その他	<p>ご意見として、伺います。</p>
<p>“ぜひ学校の給食室で作ってなるべく早く出せる給食にしてほしい”です。牛乳や汁物もついている物を私たちが中学生の頃（大分県大分市）ではぜひカフェテラス型が良いなあと思っていました。今の横浜は何年も何十年も遅れています。学校で作る中学給食を。数校の小学校という親から中学へ送る形の親子方式が大分で成功しています。温かい中学給食をすべての中学生へ。少しずつの実行でもかまいません。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策5 中学給食は、中学生が一番望んでいる温かい中学給食にして下さい。自校方式、親子方式、兄弟方式、それに加え、大阪でやっているように複数の親（小学校）から一つの中学校へ作って渡して下さい。一度にやらなくても、何年かかけても構いません。給食室の拡充に予算をつけて下さい。</p>	参考	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策1 出産費用の無償化は素晴らしいです。今、出産には30～50万円かかると言われています。私たち祖父母の世代も、自分の子どもやその配偶者にお金の支援を（出産費用）しています。出産費用無償化を是非ともお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食長年運動をやってきたが、今、やっぱり実現してほしい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食の全員実施について                      中学校給食の実施はデリバリーではなく、あたたかい給食を！！                      すぐに全市で実施できなくても、やる気になれば工夫はできると思います。                      お金がないなら、大型開発は待って、未来や生命の為に使ってください。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>子育て支援                      大型開発は止め、どの子共達にも豊かな教育を                      ・ヤングケアラー、児童虐待、経済的に困窮な子供達に早急支援を</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校完全給食の早期実施を</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>47才主婦です。40才結婚を機に横浜へ、5才の子どもがいます。子育てをしていて横浜の行政、福祉の薄さに驚きました。夫の所得制限により、この秋からの児童手当では支給されなくなり、子どもは1才から医療費控除がなくなりました。晩婚のせいもあり両親が高齢。義母は病気がちで入退院のくり返し、老人ホームを転々としてその度お金もかかります。年金だけで補えるわけもなく、自分たちの老後の不安もあり切り詰めての生活です。周りの話をきくと、頑張り損、不公平さを感じてしまいます。                      まずは子どもには医療の平等を保証してほしい。                      街を活性化させ、子育てしやすい、子育てしたくなる街づくりを期待します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます</p>
<p>食教の教育ができる学校給食です。                      私は永年都区内の学校調理師をしていましたが政令都市で中学校給食を実施されていない市は川崎と横浜だけでしたが、一昨年川崎が完全給食を実施しました。現在横浜が実施している給食ではなく、すべての子供が平等で全員が喫食できるものです。一部の地方では（小規模）そのような形態が実施されているところもありますが都市部で弁当給食を実施されている自治体は不評で自校又はセンター方式等にもとじている自治体が数都市あります。                      市の施策で言われているように業者が届けるデリバリーの弁当給食では冷凍食品が多く使用される、早く作って配達するような状況では美味しく安心安全なもの無理</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>①そもそも給食の目的は、子どもの貧困、欠食児童が増えている中、義務教育の内は「食」を提供するという事。 貧しい小学生の学習支援をしている人たちが、長期休みになると子どもたちが痩せると話しています。</p> <p>②-1 欠食児童の増加について、10年ほど前公立中学で非常勤教師をしました。教壇の真下に座っている子が、5月には弁当を持ってこれないという理由で登校拒否になりました。いつもこざいかな恰好をしていて文房具など外見からは「貧困」は全くみえません。</p> <p>②-2 フードバンクの仕事をできるようになり、区の社協から、「お弁当を持たせられないので休ませるとい親御さんに食糧支援を」と頼まれたことがあります。昔と違って、子どもの貧困は外見からは見えません。</p> <p>令和4年月の資料で日本の子どもの貧困率13.7%、7人に一人が貧困だと言われています。</p> <p>③貧しい欠食児童に食べさせるのに、選択式のデリバリー方式浜弁340円は高すぎます。東京都で一番高い給食費千代田区でも中学給食親負担額は305円。</p> <p>④林元市長が5年契約で契約した「はま弁当」。 企業努力を強くお願いし、原料の地産地消で、経費節減して、負担額300円内で収めて頂きたいです。 可能なら違約金払ってでも業者を乗り換えられたらいいかですか？ 20ある政令指定都市で、中学給食のない所は横浜市だけ、恥ずかしくありませんか？ 色々言い訳はあるでしょうが、欠食児童0を目指して頑張ってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の全員喫食はデリバリーで決まりの様ですが、少なくとも冷たいスープ、シチューが配食される事の無いよう工夫してほしいですね。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜の人口を増やすのはやはり子育て世代の呼び込みでしょうね。医療手当の充実、出産、子育て補助、就学応援をどんどん進めて、子育てに良い環境づくりをお願いしたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学給食について まず、現在の給食の時間を延ばしてほしいです。食事の準備や片付け等、お弁当持参でもデリバリー方式でも時間が短いです。そこが改善された上で、デリバリー方式の全員が食べられるお昼ご飯を希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学給食について 各家庭の事情で、弁当を作るのが難しい場合もあり、学業にも大切な「食」を均等に生徒に提供することで、全体の学力向上にもつながると思います。 コストの面でも、デリバリー方式の方が抑えられるので、デリバリー方式をお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略1 政策5について 中学校給食はデリバリー方式ではなく、自校方式で調理した「温かい」中学校給食を実施することを強く望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略1、政策1～6）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
今回の全員で食べる中学校給食の実現を決定した市の方針を支持します。遅すぎるくらいです。着実に早く進めて下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
戦略1の5 中学校給食の安全でおいしい食事の提供	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
1の政策・・出産費用について希望する人が安心して産めるように－出産一時金をあげるか無償にしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
5の政策・・中学校給食はデリバリー方式ではなく小学校のような温かい給食にしてほしい。 親子給食とかがよい	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。
保育士さんの援助を！安心して子供を預けたい。	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
私の娘は公立中学校に通っています。小学校の頃より別室登校をしています教室に入りたくても入れません。勉強をしたくても自分で進めるのは難しいです。今はコロナもあり、オンライン授業もあるようですが別室登校の子も家から出られない子もオンラインで勉強できるシステムを整備していただきたいと思ひます。少しでもクラスの子に関わったりすると自信に繋がるかもしれません。また自分がオンラインに入っていることを知られたくない子は教室にはわからないように勉強を進められればいいと思ひます。勉強したくても学校にいけなかったり、教室に入れなくて勉強が進められない子も登校している子と同じように勉強できる環境をつくっていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
まずは中学校給食の実現をお願いします。頑張ってください。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策10、地域の支えあいの推進の現状と課題について最後に次の二つを加筆してはどうか。</p> <p>1.「体制づくりを一層推進」を「体制づくり、風土づくりを一層推進」</p> <p>2.また、認知症高齢者など判断能力の不十分な人への総合的な権利擁護支援策が必要です。</p> <p>理由現状と課題に掲げられ、次の主な施策に繋がるからです。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策10、主な施策4、身近な地域における権利擁護の推進について文中、「買い物等の日常的な意思決定を支援する」は、「自律性・意思・好みを尊重する支援付き意思決定事業」としてはどうか。</p> <p>2022年9月9日付で明らかになった国連障害者権利条約に基づく日本に対する初の勧告では、障害者の自律性・意思・好みを尊重する支援付き意思決定メカニズムを確立するとなっているからです。</p> <p>(Establish supported decision-making mechanisms that respect autonomy, will and preferences)</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策13「障害児・者の支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策10、主な施策4、身近な地域における権利擁護の推進について「区社協あんしんセンター」は、「日常生活自立支援事業や横浜市障害者後見人的支援事業」とすべきではないか。</p> <p>主な施策であって、実施する機関名ではないからです。また、日常生活自立支援事業だけでなく横浜市障害者後見人的支援事業もこれに合致する施策のひとつです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」の主な施策4「身近な地域における権利擁護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策10、主な施策4、身近な地域における権利擁護の推進について「相続や各種申請手続き等の法律行為を支援する」は、「身上保護や財産管理を行う」とすべきではないか</p> <p>法律行為を支援するでも誤りではないが、一般的な説明では「身上保護や財産管理を行う」と説明しています。現に、横浜市・横浜市社協発行の「ご存知ですか成年後見制度」でもそのように説明しています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」の主な施策4「身近な地域における権利擁護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策10、主な施策4、身近な地域における権利擁護の推進について「地域で権利擁護を担う市民後見人」は、「地域で権利擁護を担う市民後見人・法人後見」とすべきではないか。</p> <p>大都市では、市民後見人と法人後見人を並列で養成、育成しているからです。地域で権利擁護を担う実態にも合致します。第4期横浜市地域福祉保健計画でも「法人後見の普及・啓発事業」と「市民後見人養成・活動支援事業」としてあります。また、2022年3月25日に閣議決定した国の第二期基本計画を見ても、優先して取り組む事項として、「市民後見人の育成、活躍支援」と「法人後見の担い手の育成」としてあります。</p>	参考	ご意見につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」の主な施策4「身近な地域における権利擁護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策10、主な施策4、身近な地域における権利擁護の推進について施策指標として区社協あんしんセンター契約終了者数のうち成年後見制度利用移行者数を掲げていますが、日常生活自立支援事業利用者数や成年後見制度利用者数、区長申立件数、成年後見制度利用支援事業利用者数、横浜市後見人的支援事業登録者数などを掲げる方がベターではないか。</p> <p>身近な地域における権利擁護の推進の指標ですから、区社協あんしんセンター契約終了者数のうち成年後見制度利用移行者数を掲げてもほとんど意味がないからです。</p>	参考	ご意見のとおり、権利擁護の推進に係る取組は多岐にわたると認識しています。横浜市社会福祉協議会が実施する様々な取組のうち、必要な方を適切に成年後見制度につないでいくための一つの指標として設定させていただきました。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略の2番目に、生涯活躍できるまちづくりを入れていただいたことは、とても心強いです。</p> <p>国の政策は、人口減少を踏まえ、どうしても子育てに傾注しがちです。理解はできるものの、今まで社会や納税に貢献してきたお年寄りが不安な老後をおくることを回避するための介護支援体制や、関わる人材育成に、是非とも力を入れていただきたいです。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策15の、地域包括ケアについては、私たちが介護に直面した際に頼りになる地域包括センターやその先にあるケアマネージャーなどもレベル差があるため、活動の定点観測をしていただき、活動実態を把握を推進いただけるとありがたいです。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策12ジェンダー平等の推進 『・選択的夫婦別姓（別氏）制度については、関心も高まっており、本市の調査では、「夫婦は戸籍上、別々の姓を名乗っても構わない」という考え方に「賛成」「どちらかといえば賛成」が6割を超えています。』について、全文削除を要求します。 ・元となる調査結果「令和2年男女共同参画に関する市民意識調査」P4の「(3)夫婦は戸籍上、別々の姓を名乗っても構わない。」が該当する認識ですが、本調査において著しい改ざんが見受けられます。根拠は以下。 ※調査票の記載形式により(2)～(4)の無回答が著しく増えたため無回答を除いて集計しています。 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2020/1204danjo.files/0003_20201203.pdf">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2020/1204danjo.files/0003_20201203.pdf</a> これは、集計母数の改ざんによる情報操作と見受けられます。 そのため、本調査結果の利用を認めることが出来ません。</p>	参考	ご意見につきましては、政策12「ジェンダー平等の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>政策9「自治会町内会におけるアプリ等の活用支援」について 自治会においてメジャーなグループウェアアプリを使うため、費用面での支援、技術面での支援が欲しいです。 継続的に地域活動を行うためには過去の情報を再利用しやすい形で保存し、その情報を元にして意思決定ができるインフラが必要です。 我々の自治会ではこれまで紙バインダー、FD、CD-ROM、USBメモリと媒体を変え、現在は小規模のクラウドサービスを利用していますが、使い勝手や長期的なサービス継続に不安があります。（以前利用していたサービス業者が撤退してしまっただけがある） また、自治会役員会の構成人員が変化して現役で働いている人が増えたため、全員が集まれる時間が限られるのでオンライン会議なども使用したいです。 横浜市で一括契約をして自治会にアカウントを配布する、もしくはアプリ利用料を継続的な補助等の費用面でのサポートと、それらを使いこなすための技術図書貸与、オンラインセミナーや講習などの技術的なサポートを求めます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>「孤独」対策 少子高齢化や学校でのいじめ、さまざまなジェンダーのみならず、さまざまな環境、生活状況などから「孤独」である方もいらっしゃいます。そうしたさまざまな「孤独」である方たちが相談できる専門窓口の創設など、支援策が何かあればよいなと感じました。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>介護している「家族」への支援策 介護保険では要介護者のためのサービスはいろいろとありますが、介護している「家族」へのサービスは数えるほどしかありません。 介護している「家族」に休みはありません。一人で介護し不安を抱えている方も多くいらっしゃいます。レスパイトの面倒な書類手続きをなくしたり、認知症カフェなど地域で介護している「家族」を支える施策を充実させるなど、新たなサービスの創設も含め、介護している「家族」を支援する政策があればよいなと感じました。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策6「認知症施策の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>戦略2 政策15には高齢者を支える、政策が明示されていますが、高齢者を活用する政策も必要であると思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策2「社会参加の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「政策15・高齢者を支える地域包括ケアの推進」の中の「2 社会参加の推進：ライフスタイルに合わせて、高齢者等がこれまで培った知識・経験をいかし「地域を支える担い手」として活躍できるような環境の整備や、ボランティア等を通じた社会参加・生きがいづくりの支援に取り組みます。」の考え方の転換が必要と考えます。それは、これまでのような「余生を生きがいを持って過ごしてもらうという考え方から、積極的活用により横浜のまちづくり、財政に貢献する取り組み」の考え方への転換です。そうした貢献ができる理由は以下のとおりです。</p> <p>①高齢者（65歳以上）人口が、3割を超え（2022年）さらに増加すること。また健康寿命（平均74歳：2019年）も上昇していること。②本中期計画（政府も同じ）では、生産年齢を15～64歳としています。総務省発表（2022.9.19）では、65～69歳就業率が5割を超えていること、また雇用形態は約76%が余裕のある働き方などを望む非正規雇用であること。（その余裕をまちづくり（以下に示す政策の中で個々の知識と経験および自らがやりたい事項を選択したまちづくりへの貢献）など自らの意思による貢献に転換できることが望めること）、②高齢者はお荷物という発想からの転換（平均寿命が特に日本は伸び、当然ながら身体的衰えに対するケアは必要であると考えますが、70歳を過ぎて自らの意思を尊重した上で自らのまちづくりに対し貢献できる項目（下記政策項目など）は多々あること、さらに知識・経験の少ない生産年齢層よりも場合にによっては高いパフォーマンスを示す方も多くおられること）、③自らの体験によるもの（数回の大学での市民講座などに参加すると私（58歳）よりも分野により高い知識・経験を持つ方が多くおられることを拝見し、また分野でのオーソリティの方も多々拝見したこと）</p> <p>こうしたことを考慮しますと、定住する横浜市民である高齢者（65歳以上）を活用（ボランティアのみならず仕事に見合った報酬も考慮）することで、抜本的貢献の可能性があると考えます。</p> <p>高い知識・経験を持つ高齢者が特に貢献できる分野例：「政策2・保育・幼児教育」、「政策3・子ども・家庭支援」、「政策4・児童虐待・DVの防止と社会養護の充実」、「政策5・子ども一人ひとりを大切に教育の推進」、「政策6・豊かな学びの環境の実現」、「政策9・地域コミュニティの活性化」、「政策10・地域の支えあいの推進」、「政策11・多文化共生の推進」、「政策12・ジェンダー平等の推進」、「政策13・障害児・者の支援」、「政策14・暮らしと自立の支援」、「政策22・観光・M I C Eの振興」、「政策23・市内大学と連携した地域づくり」、「政策24・国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献」、「政策25・世界から集い繋がる国際都市の実現」、「政策27・豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」、「政策30・市民に身近な文化芸術創造都市の推進」、「政策31・自然豊かな都市環境の充実」、「政策32・活力ある都市農業の展開」、「政策33・地震に強い都市づくり」、「政策35・地域で支える防災まちづくり」など。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策2「社会参加の推進」等に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>地域の自治会町内会活動は、古くから地域に定住している方々の活動（閉鎖的）であり入りにくい存在となっていると考える人は、アンケート調査（P38）からも明らかであると思います。他方でインターネット、SNSなどの科学技術の発展なども考慮し、各地域活動と同時に、同じ横浜市民として貢献したいと考えている方々に対するアピール、活動の提供もあるのではないかと考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>横浜市は、ナースが少ない都市です。また介護人も少ないです。これからはベッド数が足りなくなってくるので、在宅医療の安心確保をしてほしいです。</p> <p>できるだけ、家族の負担も減らし、最後まで本人らしく過ごせる環境を整えてほしいです。</p> <p>母は肺がんで最期まで自宅療養していて、緩和ケア病棟に入院して3日後に天国に逝きました。89歳でした。</p> <p>私も60代ですので、地域コミュニティの繋がり、支えあいの推進も活性化してほしい。</p> <p>それには、市民の健康づくりが何よりです。</p> <p>子どもやペットとの老人ホームでのふれあいも必要かと思います。</p> <p>些細なことから、優しくしていきたいと思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「在宅医療や介護の推進」、素案の政策10「地域の支えあいの推進」及び素案の政策7「市民の健康づくりと安心確保」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>関連する政策は総てが地域に関連する問題と思います。 この戦略をうまくそれぞれの機関と連携をとり良い結果を得るためには、行政だけでなく地域の理解・協力が欠かせないと推察されます。 本来ならば、各地区には区役所に地域振興課・区政推進課等が存在しますが、地域とはあまり親密さを感じられないのは私だけでしょうか？ もっと、中心となって活躍を期待する次第です、優秀な人材がいるのですから。 地区懇談会を長年行っても、今まではただの話し合いだけで終わってしまいい残念でならないです。 今回、浦舟ケアプラザさん主催で『地域ケア会議』が開催されケアプラザ・行政・社会福祉協議会・地区社会福祉協議会事務局長・民生委員・キャラバンメイト・保健活動推進委員・企業（薬局・コンビニ・キャラバンメイト・商店街理事）が参加し高齢者見守りに対する意見交換し、『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』の一端が垣間見えてきたと感じました。 このような活動が行政・社会福祉協議会・ケアプラザさんが中心となり地域に理解を得るための共同の目標作りも必要ではないかとも思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策9「地域コミュニティの活性化」及び素案の政策10「地域の支え合いの推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策9「地域コミュニティの活性化」について、地域交流サークル活動の支援強化にも力を入れていただきたいです。 コロナ時代になり、不要不急の外出や行事を控えることもある中で、市民の地域交流や社会参加の機会は減っていることと思います。また、子供たちは、マスクお互いの顔も分からず、顔を向かい合わせてのコミュニケーションも容易ではない状況ですが、地域サークル活動も含めて、学校や学級だけが社会のすべてではないことに気づき、自分にとっての居場所を見つければ、広い視野を持って伸び伸びと育てて欲しいと考えています。 現在は、SNSを通じて参加者を広く呼びかけ、小規模でも有志の集まりで柔軟に地域交流サークルを立ち上げることができる時代です。例えば、地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザなどの公共施設に関して、横浜市が区と区の間や各公共施設機関の間を統制し、団体登録の一本化、責任者の居住地域を指定している代表者登録の制限廃止、団体登録者リスト5名署名から必要最小限(正副2名)への削減緩和など、施設利用の現行制度やルールを緩和したり、その他の自治体のように利用無償化いただくと、公共施設利用時の敷居が下がり利便性が高まることで、地域交流サークル活動促進へのサポートになると考えます。 子供たちや人口そのものが減少していくことに加えてコロナで何かと不自由なことから、地域交流が市民生活を豊かにし、横浜の魅力や住み続けたい都市への評価に繋がると考えています。従来からの地域運営への支援とあわせて、地域交流への支援強化についても検討よろしく申し上げます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のIV「基本姿勢」の「地域コミュニティ強化の視点」及び素案の政策9「地域コミュニティの活性化」をはじめとした各政策に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>定年退職後、市内の公園や川岸を散策するのを楽しみにしています。ところが、最近足力が衰えたり、前立腺の弾力がなくなって来ました。鶴見川や恩田川を歩くのですが、途中休もうと思っても、ベンチが見つかりません。また、トイレが近くなりましたので、町中にある公園にはトイレがないところが多いです。川岸にはトイレはほとんど無いのが現状です。新しい施策を実施するに当たっては、全ての公園、散策路、川岸にトイレを計画的に設置するよう願っています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>基本は今の政策の許容量を拡大するように解釈しましたが、今の政策では拾えない障害者も居ますのでもう少し細かい施策も検討頂きたいです。 精神疾患の息子が居ます。30歳過ぎて集団生活が困難で一人暮らしをして居ましたがトラブルがあり、県立精神医療センターに入院しています。 トラブルの際に警察に協力を求めましたが、福祉法により限定的となり、今まさに長期入院の制約で退院に向けた相談をしていますが、行き場が見つかりません。政策にも記載されている通り、社会貢献や就労支援が重要であることは理解出来ませんが、本人の意思が最優先される実状には納得出来ない部分もあります。レアケースかも知れませんが、現場で解決出来ない問題を潰して行く新たな取り組みも織り込んで頂けるとありがたいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策13「障害児・者の支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>専門家のメンバーの女性比率はどの程度意識されていますか。子育てが一丁目一番地というなら女性委員が半分以上必要ではないでしょうか。特に若い女性に委員になってもらうことを期待します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策12「ジェンダー平等の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢化社会の実現に直直し、“介護・福祉・保健・福祉の充実をはかる・・・”“互いに支えあう地域作りのさらなる推進・・・”とありますが、具体策は何でしょうか。一般論としてはその通りと思いますが財政厳しき折に「老いも若きも」面倒見のことはとても出来ないことです。日本は公助先進国？ではないでしょうか。もっと自助努力をする工夫の余地はないのでしょうか。長寿大国は本当におめでたいことなのかどうか、真剣に議論すべきだと思います（大変難しいことですが、私は国が志向している長寿大国は修正しても良いと思っています）。横浜市の高齢者は自助先進市という看板を掲げてみてはどうでしょう。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策1「介護予防の推進」及び主な施策2「社会参加の推進」及び政策7「市民の健康づくりと安心確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>外国人の受け入れについて積極的な街づくりを提案します。日本は少子高齢化で困っています。でもこの流れは変わらないでしょう。日本は何時まで鎖国をしているのでしょうか。外国人労働者なくして日本経済は成り立ちません。難民受け入れについても日本は後進国です。日本の国力が落ちてきている（特にドルベースで見ると日本のGDPは30年前と同じ）一つの要因です。外国に開かれた横浜を目指して頂きたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>自治会町内会の運営支援でICTツールの活用は、効率化の観点からも非常に重要と感じますが、個々の団体で導入を図るには、セキュリティの確保等、ハードルが高いと思います。横浜市として、共通化したツールの開発、導入、運用支援など、積極的な関与が必要ではないでしょうか。（ツールの導入、運用、導入支援の主体は横浜市が行い、自治会町内会任せにしない）横浜市が保有する市政関連の情報を、自治会町内会に連携し活用する、また自治会町内会が対面で集めた地域の情報を、横浜市に還元するといった相互補完が期待できます。政策実行にあたって、ICTツールの活用を狙う際は、横浜市の積極的な関与を留意いただきますよう、お願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>介護を必要としている方に目配りをして欲しい</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策10「地域の支えあいの推進」及び素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」等に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>多文化共生の推進雇用の担い手不足の観点から外国人雇用者を増やすという考えが政府からも出ている点は認識していますが、翻って外国人による犯罪に関する取り組みについての記載がありません。むやみやたらに「外国人労働者」を受け入れることは止めていただきたいと考えます。政策の目標として、多文化理解の促進や外国人差別解消に向けた意識啓発を進めるとともに、在住外国人の社会参画を促進することで、誰もが自分らしく活躍できる、多様性と包摂性に富んだまちづくりが進んでいます、となっていますが、日本に来て日本で労働する以上、彼らに対し日本国文化と思想への理解とコミュニケーション能力（日本語能力）の獲得および日本国憲法、日本国の法律・条例の遵守を最初に求めるべきではないでしょうか。それがあつたうえでの、「満足度の向上」を目指すべきです。上記についても目標として設定願います。</p>	参考	<p>国籍に関わらず誰もが自分らしく活躍できる、多様性と包摂性に富んだまちづくりに関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>安心して医療にかかりたい 窓口負担軽減を市として補助実現すること。まずは、75歳～の現状維持（1割）、次の段階で負担ゼロへ</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、後期高齢者医療制度の事業の実施にあたって、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>年金で入れる老人ホームを作って下さい 介護者の確保をお金を援助して、市として確保してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>金沢リネツの料金高い、プールと、お風呂と一緒に家族ではいけない、障害者割引すると余計高くなる。障害者にやさしい市政を。 シャワールームのでたところ、足拭きマットがなく、更衣室の床が濡れて不衛生、モップはあるが利用者の皆様によりよごは床をふいて下さいと書くだけで清潔になる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「ジェンダー平等や多文化共生の推進」とあるが、横浜市交通局が運営する地下鉄ブルーラインには女性専用車がある点は男女平等とは言えずSDGsに取り組んでいないと思う。 女性専用車があっても他の車両に乗車している女性客が代わりに被害に遭うだけで根本的な解決とならないこと、一律に男性利用者を犯罪者扱いしていること。 トランスジェンダーでも外見が男性の方は事実上利用できる人の対象外であるため、LGBT間での差別や容姿差別につながっていること。 そして、専用という特権のような表現に加え、任意の協力によるものということは一切告知せず男性が乗れないような案内をしている点は男女平等とは言えない。 男性＝加害者というもステレオタイプであり、2021年に、走行中の電車内で女学生がハンマーを持った女に殴られる事件が報道されたように加害者＝男性に限らず、必ずしも女性同士なら安全とは限らないのではないかと。 また、女性専用車のステッカーの乗れる人についての記述も「身体障害者とその介助者の男性」という表現であるが他社線はお体の不自由な男性としており、障害者の定義を定めていないのに対し、横浜市交通局は身体障害者だけが交通弱者と認識しているのは障害者の扱いに差をつけている上、外見で判別ができない内部障害者の男性が女性乗客から暴言や心もとない言葉を浴びない保証がない点も人権意識が遅れているのではないかとと思う。 女性専用車を廃止し、終日運用できる社内防犯カメラの推進、鉄道警察の同乗といった根本的かつ性差別でない防犯対策に取り組むべきである。 また、廃止せずとも熊本市交通局は2021年より女性専用車両から女性優先車両へ名称を変更したが、これにより、優先という表現により任意なのに専用という矛盾点(景品表示法や消費者基本法5条の2項に反するグレーゾーン状態)を解決し、男性乗客やトランスジェンダーの方が乗車しても間違った正義感を持った女性乗客から暴言や心もとない声掛けを受ける等のトラブルも抑止され、女性専用という表現から来る問題点の大部分は解決したことから、熊本市交通局を参考に横浜市交通局の地下鉄ブルーラインの女性専用車も女性優先車という表現に見直すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>精神障害者1級の人には重度障害者医療費の助成があるが、2級でも働けず、在宅生活を送っていて生きづらさを感じている人もいる。 精神障害者2級の人、重度障害者医療費助成の対象にして欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
市営住宅に入れる基準が厳しすぎる。持ち家があっても、古くなってきて障害者で自分で家を確保することが困難。将来の住宅に困ってグループホームは、どこかに通っている人でないと入れないが、在宅生活を送っている人でも入れる住居を作って欲しい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」及び素案の政策13「障害児・者の支援」の主な施策4「住まい・暮らしの支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
現状では高齢者を高齢者が支えている。これでは持続出来ない。そこで若者が参加したくなる様なシステム作りが必要。いきなり若者とは行かないと思うが、高齢者の子供世代、そして子供の子供世代へと受けつがれる様な、参加型支えシステムを構築する。 提案として、“1つの支え”を行うと、1ポイント与えるそして、このポイントがある程度たまると、たとえば“スーパーヘルパー”の称号がもらえる。そして年間のポイント数で、氏名の発表があり、という様な金銭とは別の満足を受けるという様な事を提案したいと思います。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策10「地域の支えあいの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
東戸塚ケアプラザにボランティアで月2回程行っています。使用荷物があるため戸塚から車でいきますが、駐車できません。土、日曜日なので、前の駐車場は一台も停まってもいませんのに、何回も区や市に交渉しましたがダメです。2時間余りで、近くの民間駐車場で1400円ほど支払っています。不条理な事いつも思っています。これではボランティアをやる人がいなくなると思います。臨機応変の処置をお願いします。	参考	ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
昔の自治会、町内会は向こう3軒、両隣で親睦が互いで出来、助け会が現在よりもよかったが、最近は近代的な言葉や自分勝手な状態がどこでも出来上がり、自治会活動も市や県から、支援（金）をどうやって引き出し、みんなに喜んでもらうのか、の様な活動自治会が多いように思われます。もう少し指導の方法を考える必要があるのでは？	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で、参考にさせていただきます。
年金は下がるし、生活面で大変な方が多いと思います。特に生活保護世帯とのギリギリの者達の問題です。それ等の方は保護世帯よりも悪い生活をしています。それ等の方々に対する支援や協力はどこでも話題にも上がりません。 横浜市に住んでよかったと思われみんなが喜ぶ街づくりを考えて下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
高齢者が長生きしてよかったと思える社会にしていきたいと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び素案の政策16「在宅医療や介護の推進」等に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
人生100年時代の高齢化、少子化の令和において、お年寄りを支える現役世代の人口ピラミッドが機能していないこと、またそれを期待されてきた現役世代の所得や非正規雇用等の不安定材料、子育てにかかる費用など市民の環境はやはり楽観できる状況ではない。 高齢者と呼ばれる年代になっても、元気で意欲があればだれでもボランティア（有償）からでも働き、受け入れに積極的な環境を整える。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」等に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
必要としている人に届く介護従事者の処遇改善を	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
保育園の入所問題から始まり、今まで横浜で子育てがしやすいと感じたことはありません。こどもが小学校に入ればPTA問題、町内会問題もあります。働く母親が増えて周りは老人ばかりなのに、旧来の仕事の押し付けが沢山残っていて、現代に対応していません。PTA役員の強要、赤い羽根募金の強要、戸建にのみ町内会費を強制徴用など、どれも問題です。時間もお金も足りません。	参考	ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
コロナになっても十分な医療が受けられないのは、新市長になっても変わりませんでした。市議会のせいですか？何が問題なのですか？	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策17「医療提供体制の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
ぜひ女性が子供がいてもキャリアアップできるような支援(保育時間の延長やベビーシッターなど)をお願いしたいです。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」に関するものとして、参考にさせていただきます。
自治会のデータ管理、回覧板、または非常時等の一斉情報展開のICT推進支援をお願いしたい(自治会で使えるオンラインストレージサービス、ライン公式アカウントなど)	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
外国人を支援するだけでなく、外国人が支援するプログラムを拡大すると、より発信や交流が活発になるのではと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に取組を推進してまいります。
過度なジェンダー平等は悪影響はありません。性別で身体的な違いはあるのですから特長に差があるのは当然だと思います。公平な場の提供はとても良いことだと思いますが、場や制度を押しつけるのは逆に多様性を損なうと思います。(例えば、自分は働きたいのに、いまどきの男性は育休を取って育児に参加するものだという風潮が生まれた場合どうするの？)	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策12「ジェンダー平等の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
70歳の女性です。長年両親の介護をしました。さて、自分たちはどうすれば良いのでしょうか。介護人材の確保と給料上げ、特養ホームの増設を切に願います。弱った時に必ず特養に入れる保障があればお金を残さなくてどんどん使って社会に還元出来ます。毎月いくら基金を払って保障してもらるか、公平に消費税をバーンと上げるか、何か方策はないでしょうか。無理かな。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策9-1「自治会町内会等の運営支援の強化」 現在、道路沿いの掲示板コーナーに広告物を掲示したり、区や県のたよりの配布については、当番の方が各戸に配布していますが、労力的な負担や配布漏れ等もあり、時代にそぐわない点もあるかと思えます。HPで案内する方法を検討されてはいかがでしょうか。たしかに、年配の方やPCをお持ちでない方もいるかも知れませんが、そうした方は別途閲覧できるような方法を検討し、原則HPで告知案内というほうが漏れなく公平で負担も少ないように思えます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策9-2「地域活動に参加しやすい風土づくり」 地域活動に関心ある方は多くいらっしゃると思います。一方で、どんな活動があり、どのように参加すれば良いか分からない方もいらっしゃると思います。これから特に高齢化が進む地域社会において、こうした場づくりは重要だと思いますので、何か見える化ができればありがたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>あつてはならないおれおれ詐欺ですがこの事にばかり注目していますが私たちの生活の中には高齢者や体の不自由な人（障害を持っている人）に親切を装い最終的には無理やり家に押し入り物を勝手に持って行ってしまう人が居ます。おれおれ詐欺にのみ重点をおかず被害者の訴えを聞いて安心して生活できる様協力して欲しいと思います。加害者は頭を使って近づき親切を装う人が大勢います。広報で呼びかけてください。</p>	参考	<p>犯罪防止など警察に係る事項につきましては、中期計画の枠組みには該当いたしません、本市としては地域における防犯意識の啓発などの取組を進める上での参考にさせていただきます。</p>
<p>子どもの居場所づくりの一環として、お寺を開放し「寺子屋」を作る。その活動には高齢のボランティアを活用する。 小中学校を開放して高齢のボランティアが活用できる場所を提供する。勉強スポーツ等何でもOKの居場所。 高齢のボランティアがもっと気楽に活動、活躍できる場所を増やして欲しい。今のボランティアポイントは高齢者施設等のみである。もっと柔軟に物事を考え、高齢者を活用して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>倉田コミュニティについて 社会福祉法人が運営し利用方法をみなさんの施設といっていますが、近くにて1回も利用したことがありません。 地域から見れば、いったい何様の施設という感じです。 福祉という言葉はそれほど強いのでしょうか？税金を払っているのは私達です。</p>	参考	<p>コミュニティハウスについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>昔は空交番を作らないが問題となった。昔は交番がシャッター通りの交番警察官が誰一人いない。安心安全が主体であったが今は昔にもど警察官の姿が見受けられない。事件事故扱っているのか。警察の人員が数少ないのか。 その点もわかりますが交番の仕事も何処ここまでやらなければと考えさせられる事もあります、事件事故の現場で刑事職員交通職員専門的な事も何でもやっているとなると交番にもどるが、遅くその間空き交番となると地域住民は不安がつり地域と交番との支えもうすくなり、お互いに信頼性がなくなり情報交換もなくなり、すると地域も暗くなり、なるべく空き交番をなくし1人勤務の交番は上司がうまく配置するの一つの仕事であると思う。空き交番をなくし交番の玄関は開放入りやすくなっていく。 地域住民と交番とは支えあって明るい社会明るい町づくりが出来ると思う。</p>	参考	<p>交番や警察官に関する事項につきましては、中期計画の枠組みには該当いたしません、本市としては安心・安全な地域コミュニティづくりに取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市（区）には、公共のテニスコートが極めて少ないと感じております。我々横浜市民も東京都（区）の公共テニスコートに応募し利用しています。身近な地域に市民、区民が集える公共のテニスコートが充実することを望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>泌尿器疾患患者等向けに男子トイレにもサニタリーボックスを設置すべき。トイレ利用者は健常者ばかりではない。</p>	参考	<p>公共施設のトイレについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>補聴器購入公費助成半額負担を実施せよ。認知低下防止に役立つ。市健診に無料聴力検査導入を。自覚を促し、不自由のより少ない生活を送れるよう市は支援すべき。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
ジェンダー平等はSDGsの最重要課題に位置づけられており、あらゆる政策立案に「ジェンダー主流化」を位置づけるべきです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のIV「基本姿勢」及び素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
知人の息子さんについて、息子さん40才後半より種々理由付けて就労できず（資格を取っていない、体調不良などの理由で）ひきこもり。母親とは会話あるも父親との確執強く会話もなく、妹の意見も受け入れず精神面問題ありと神経科受診も受け入れられず高齢父母との生活。経済面で先行き困難と思われるが、市の政策としての援助を教えてください。	その他	ひきこもり状態にあるご本人やそのご家族などの相談先として「ひきこもり相談専用ダイヤル（電話：045-752-8400）」を運営しております。また、各区役所の生活支援課では、様々な事情により生活にお困りの方に対し、相談支援を行っています。詳細や具体的なお相談については、個別の相談窓口等へご連絡ください。
高齢者の利用について 人的に豊かな存在を。 ①ひと仕事を終えた高齢者と子供達の話し合い ②高齢者の歴史の身近さを受けとること。お説教ではなく日常のこととして ③目的が必ずしも遂げられるものではないが、それで命を捨てないこと。自死者が多い現在、今生きている老人はどう社会とつながって生きて来たか	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
高齢者も負担軽減の為、子供世帯や夫婦間でも世帯を分けて、保険料金や自己の経費を節約している現状を市長はご存知なのか？正直者が損をしている。	その他	ご意見として伺います。
私は身体障害者で身体障害者手帳2級です。 何とか杖を突きながら外出します。一番危険と感じるのは、駅や商業施設でエスカレーターに乗る時です。 私は左片麻痺なので右側しか立てず、エスカレーターに乗っているとうしろから歩き「なんだよ！」と言ってエスカレーターを登って来る方がいます。そこで具体的に提案します。 1、公共施設でのエスカレーターでは立ち止まった状態で利用 2、横浜市内の鉄道駅内のエスカレーターでは2人乗りを原則とし、鉄道関係者は利用促進させる。 3、横浜市内の鉄道施設商業施設にエスカレーターでは2人乗り促進ポスターを掲示する。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」の主な施策3「誰もがお互いを受け入れ、共に支えあう意識の啓発と醸成」を進める上で、参考にさせていただきます。
市の健康診断に難聴検査を入れて、高齢者の難聴の実態を把握してください。補聴器の補助金を出してください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
現在青葉区に住んでいますが、高度な医療を受けたいと思ったときにどうしても東京23区内の病院に頼ることを考えてしまいます。 癌や難治性の病気に関してできれば横浜市民として市大医学部附属病院や市立などの公立の病院にかかりたいのですが交通の便の非常に悪いところに設置されています。今後の高齢化時代や災害を考えれば今の大学病院の設置場所はとても不便で災害の観点からも考えられません。 東京には東大附属病院、医科歯科大学附属病院などの国立大学医学部、国立がんセンターなど高度な最先端の医療を受けられる施設が多数ありますが横浜には最先端の医療研究をしている公立の医療施設としての市大医学部は研究面でも臨床面でも見劣りがするように感じます。 横浜には公立の大学病院や公立の立派なランドマークになるような巨大病院が交通の便の良いところに必要だと考えます。そこに研究所や大学を含め高度医療研究臨床の集積し世界から優秀な研究者や臨床医を呼び込むことを考えるべきです。 市大医学部と附属病院の充実とともに医学研究のさらなる発展、高度な研究をする医師や研究者の養成を行わないと横浜市民は東京の病院や大学に頼ることになります。市としてもっと人的・金銭的な資源の投入が必要だと思います。安心できる高度医療や医学研究が発信できれば国際都市としての横浜の価値も上がり、東京ではなく横浜に住んでもいいと思える人も増えると思います。	参考	ご意見につきましては、政策17「医療提供体制の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策の目標に「誰もが人格と個性を尊重し合いながら、就労や社会参加を通じて多様な活動に取り組み…」とありますが、このために必要なことは障害を持つ当事者のニーズを行政がしっかりと把握することだと思います。しかし、コミュニケーションに障害のある失語症者は、自分の希望や要求を伝えることが出来ず、社会参加が難しい状況です。</p> <p>横浜市では、「聴覚・聴覚障害者情報提供施設」があり、手話通訳や要約筆記など社会参加に必要な支援が整っています。</p> <p>しかし、同様に意思疎通支援が必要な失語症者への「情報提供施設」はありません。現在、神奈川県では失語症者向け意思疎通支援派遣事業が始まり、横浜市内の多くの失語症者がこの事業に期待していると聞きます。</p> <p>今回の政策が「障害児・者の誰も取り残さない」という理念あるなら、失語症者への「情報提供施設」の設置を強く望みます。災害時に言葉が通じず、逃げ遅れたり取り残された失語症者が全国にいることも大きな問題です。是非、失語症者への支援に注目して頂きたいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策11には「地域の実情を踏まえた多文化共生推進計画の策定や在住外国人の地域活動への参画などに取り組み、外国人と日本人がともに暮らしやすいまちづくりを進めます。外国人差別の解消に向けた啓発や地域社会との交流を通して、多文化理解を促進します。」とありますが、横浜市の教員採用の際、外国籍者の採用は「常勤講師」となっています。同じ試験を受けて、合格しながら外国人であることだけを理由に採用に差をつけ、昇進等に不利益がある状況は明らかな外国人差別です。この差別的な制度のために在日韓国・朝鮮人を始め、日本の学校で学び教員をめざす外国籍の若者が教員になることをためらうとしたら、こんなにもつたいないことはありません。日本語指導や多文化共生教育も大切ですが、学校にロールモデルとなる民族名の先生がいることは、子どもたちにとってどれだけ大きな学びと力になるかを考えたとき、自治体の責任において外国籍者を「教諭」として採用することをまずすべきです。</p>	<p>その他</p>	<p>外国籍の方につきましては、旧文部省の通知に沿って、常勤講師として採用しています。</p> <p>学校運営への参画が公の意思の形成への参画とみなされるため、外国籍の方は常勤講師としての採用となります。</p> <p>常勤講師につきましては、学校運営を行う管理職等に就任することはできませんが、給与その他の勤務条件等は教諭と同じです。</p> <p>横浜市教育委員会としては、今後も国の動向を踏まえながら、対応していきたいと考えています。</p>
<p>政策7「市民の健康づくりと安心確保」1. 健康的な生活習慣の定着と健康を守り支える環境づくり…ここに出てくる「受動喫煙防止対策」に関する具体的な提案</p> <p>屋内に関する受動喫煙防止対策に関しては、国や県の取り組みがあるためここでは割愛させていただきます。</p> <p>提案させていただきたい受動喫煙防止対策とは、多くの市民が集まる公共地域や子どもや有病者が集まる学校・医療機関周辺での喫煙禁止地区の指定を求めるものです。</p> <p>現在横浜で行われている喫煙禁止地区の指定は、主に吸い殻のポイ捨てを対象とした美化推進の観点から行われてきました。また、歩きタバコの禁止やポイ捨て禁止の条例もありますが、実際には形骸化されたものになっています。</p> <p>環境の改善＝市民の健康に直結する抜本的な条例の制定、それは美化推進のためだけではなく、受動喫煙を防止することにより健康を守るという観点から喫煙禁止地区の指定を望むものであります。</p> <p>以前に比べれば喫煙者は減りました。タバコを吸える環境も減ってきたため、「外で吸うぐらいいいではないか」という意見もあるかもしれません。しかし屋内で吸えなくなった分、喫煙者が集まってくる場所があります。出勤や帰宅時間の駅やバス停周辺で“あかり”があり吸い殻を捨てやすい場所（排水溝や植え込み）に喫煙者は集まります。しかしこの時間帯・この周辺には一般の通行人も多く、また子どもたちが学校や塾に通う時間も重なります。</p> <p>「加熱式タバコなら受動喫煙にならないではないか」との誤った認識もあるかもしれませんが、加熱式タバコは確かに副流煙は出ませんが呼出煙（喫煙者の吐いた息）による受動喫煙を起こします（実際に、加熱式タバコの喫煙者の周囲でニオイは感じます）。加熱式タバコも人に害を与える、れっきとしたタバコなのです。</p> <p>（参照1）</p> <p>東京都では各市・区取り組みとして、多くの駅周辺は喫煙禁止地区に指定されています。また「子どもを守る条例」では公園や小児医療機関周辺での喫煙禁止を謳っています。これは東京都に限らず、一般常識として多くの市民が賛同す</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策1「健康的な生活習慣の定着と健康を守り支える環境づくり」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>る意見です。以前、私たちのグループで日吉駅周辺の喫煙禁止に関するアンケート調査を行い、多くの市民が駅周辺での喫煙禁止地区指定要望に賛同してくれました。この結果は平成31年、正式に日吉地区連合町内会などからの陳情書として横浜市に提出しております。（参照2）</p> <p>屋外であっても喫煙者の周囲5メートル以内ではタバコの匂いを感じますよね。加熱式タバコであっても3メートルまでは受動喫煙の害を被っていることが証明されています。（参照3）化学物質過敏症の方や喘息のある方は、この環境で即座に発作を起こします。匂いに対する不快感、また慢性的にこのような環境下に遭遇している人たち（特に子どもは感受性が高い）は将来的な疾病の発症に繋がります。「市民の健康づくりと安心確保」という観点においては、まさに受動喫煙防止対策が喫緊の課題です。是非、駅前やバス停など人が集まる公共地域、公園や学校、医療機関などの小児・有病者が集まる地域での喫煙禁止地区指定を要望する次第です。</p> <p>よろしければ私の職場（診療所）がある日吉駅周辺へ視察に来られませんか。朝や夕方から夜にかけての通勤時間帯、特に路上喫煙者を多く見かけます。現時点では、喫煙者に対し注意したくても条例の後ろ盾がなく、声をかけることすらできません。是非、市民を守り、安心して暮らせる街づくりを推進していくためにも、人々が多く集まる場所や弱者（子どもや有病者）が集う場所において喫煙禁止地区の指定をよろしく願っています。</p> <p>参照1・・・令和2年9月に発刊し横浜市医師会から横浜市にも寄贈した、「横浜市医師会医学シリーズ第34集『タバコに関する諸問題・最新の知見』～東京2020に向けて～」、このなかの第1章で「加熱式タバコによる受動喫煙の害」を詳しく説明しています。</p> <p>参照2・・・平成31年3月25日、4038筆の署名とともに日吉駅前の喫煙禁止地区指定を求める陳情書を提出しました。その後、同年4月24日に回答書「港北政第150号」を頂いています。</p> <p>参照3・・・医学シリーズ第34集『タバコに関する諸問題・最新の知見』～東京2020に向けて～第1章3項「加熱式タバコによる室内空気汚染と受動喫煙」内で詳しく書かれています。</p>		
<p>「政策17の施策3、妊娠・出産から一貫した子供のための医療体制の充実」「子どものかかりつけ医を持つことの啓発」とあるが、啓発のみか？小児医療証を交付する際にかかりつけ医の登録を求めるなどの施策は行わないのか。自立支援医療（精神通院）では利用する医療機関を一ヶ所定める形式で、受療行動に大きな影響が生じる（必要な時に医療にかかれぬなど）といった問題は多くはないようだが。</p>	参考	ご意見につきましては、政策17「医療提供体制の充実」の主な施策3「妊娠・出産から一貫した子供のための医療体制の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「4、がんをはじめとする5疾病対策の推進」とあるが、がんと心疾患についてしか具体的な記載がないが、他の脳卒中、糖尿病、精神疾患については具体的な施策はないのか</p>	参考	「主な施策」には、政策の実現に向けて計画期間内で推進していく施策のうち、主なものを記載しております。脳卒中、糖尿病、精神疾患についても、具体的には記載していませんが、施策の内容に含まれております。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略2の政策15（P56）で、「特別養護老人ホーム等の整備に取り組む」とあります。増設ではなく整備ということなので、入所者の平均待ち時間が、現在の10か月から4年後には9か月ということで、わずか1か月しか短縮しません。「特別養護老人ホーム等の増設、整備に取り組む」とするべきです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>外国人の相談窓口、転入する外国人への情報提供などにもっと予算を付けて欲しい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」の主な施策1「在住外国人に対する情報提供・相談対応の充実」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、取組を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>発達障害者の若者を対象にした当事者会など発達障害当事者交流事業を実施してほしいです。社会人や作業所に通っている発達障害者は、他人と交流する機会が少なく友達が作れるチャンスがありません。 発達障害者の子供の支援も大事ですが若者の支援もしっかりやるべきだと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>「トップスポーツ観戦率」に関する指摘がありますが、市内にはプロサッカー多数あるにもかかわらず、三ツ沢球技場が貧弱であるが為、応援の気運が盛り上がりません。一方で市内には陸上競技場が連携せずに存在していて合理的ではなく、さらに三ツ沢陸上競技場の老朽化も著しいと考えます。 三ツ沢陸上競技場の役割は小机競技場を大々的に再整備することで機能を移し、三ツ沢陸上競技場は廃止した上で、三ツ沢球技場を拡張すべきです。それによって、Jリーグの所属段階に応じて、横浜国際競技場＞三ツ沢球技場＞小机競技場という使い分けが可能です。サッカーは世界中から観戦客がやってくるので、この投資は有効だと考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>2040年には高齢者が1.5倍の158万人になると予想されて、それに伴い高齢者を手厚く介護することに重点を置いたヘルパー、ボランティアを充実させることは、私も高齢者としてありがたいです。しかし、高齢化の波は止まらない訳で、介護施設を整備するより、介護を必要としないよう自立を促すことを重点にする方が、経費の点でも実現性の点でも有利なのではないか。つまり、①ヘルパー、ボランティアに頼らない食事の支度、ごみ出し、風呂の支度など老人が行う。②ケアプラザ、スポーツセンターでの老人体操による体力増強③地域での交流や植栽活動などに重点を置いた支援を行うことが望ましいと思う。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>15 高齢者を支える地域包括ケアの推進 救急車でなく、往診に来ていただけたら助かります。</p>	参考	ご意見につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策2「在宅医療支援の充実」及び主な施策3「在宅医療と介護をつなぐ人材の育成」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>8 スポーツ環境の充実 近くに卓球する場所が欲しい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>政策31 子供達の野外の遊ぶ広場がなくなり、体力の低下、子育て、仲間ができる広場をあちこち作って郊外で、町中はむずかしいが、弁当持参で一日遊べるとか欲しい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策14 1 人親の子供がコロナでますます、困難になっているので、支援策を地域のボランティアにやってもらうようにして、食糧、子守等を実施して未来の子育てして欲しい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」及び政策14「暮らしと自立の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>市民一律10万円の給付→物価上昇に対する生活支援</p>	その他	物価上昇に対する生活支援に関するご意見として伺います。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
人生の最後まで自宅で暮らせること 横浜市に住んでよかったと思える都市にしてほしい	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「在宅医療や介護の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
政策11 外国人材の受け入れを推進する前に若者層の正規就労人数を増やす工夫が先である。	参考	外国人材の受け入れについてのご意見として、参考にさせていただきます。
政策13 統合失調症で立ち直っているのに医療保険に入れない。健保では負担率が30%と高い。	参考	健康保険についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
特養ホーム等介護や援助を必要としている人が、なかなか施設に入れないようです。公共の介護施設などを建設し年をとっても安心して暮らしていけるようにしてください。当然従業員の待遇改善も必要です。	参考	ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
「多文化共生」についてはウクライナ難民について区役所窓口今年2月横浜市として或いは一市民の拙宅として具体的支援策を行なつては如何との提案しましたが何の成果も連絡もないまま現在に至っている事、残念です。日本は高齢化&人口減少に直面、外国人受け入れによる共生が一層求められておりUkraineに限らず、外国人の受入れ民間間の交流(意見交換、懇談会、行事)を推進して頂き度。	参考	市内に避難されている避難民の方に対し、オール横浜で支援を行っています。ご意見を参考に取り組んでまいります。
海外留学の積極的受け入れ。海外企業の誘致拡大で外国人も安心して住める横浜を実現する。日本語と日本文化習慣の教育実施。(対外国人)	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
政策16在宅医療や介護 今、82才ですが夫婦二人暮らしですが、病院へ行ったりするのが大変（今は行っていますが）になるので、利用法をわかりやすく紙面に教えてもらいたい。お金も余りかからない対策を工夫してもらいたいです。	参考	ご意見につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策2「在宅医療支援の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
ジェンダーが平等っておかしくないか？ 「人間が」平等なのでは？ 男、女、障害者、老人、子供すべてに平等にできるなんてことが出来るなんて事はたしてできるのか。 平等にしたことにより、不快に思う少数の意見は無視するのか？ 弱者はジェンダーだろうか？	参考	ご意見については、今後の参考にさせていただきます。
自治会等の運営強化は必要です。 それと共に特に高齢者ではこれに漏れてひとり暮らしの孤立化が目立ちます。 こちらに対するセーフティを必要と思います。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」及び政策10「地域の支えあいの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
戦略2 政策13の障害児者の支援 公助の社会の実現→従事者の労働、環境の改善	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
戦略2 政策11多文化共生の推進アジア文化の積極的、主体的な受け入れ →民族言語習得の支援、場の創生	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>町中のごみをなくしてほしい 植え込みにごみを捨てないで欲しい 市の中心を流れる「帷子川」は「くたびれ川」となり大変汚れております その流れに沿っての歩道はごみ歩道となりせつかつくの桜並木もかわいそう 植物自身はどうにもできません なんとかごみのない町にしてくれませんか？</p>	修正	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>終活をしています。住んでいる家（マンション）は横浜市に遺贈したいのですが、相談できる部署があればと思います。</p>	その他	<p>遺贈に関するご意見として伺います。 なお、寄付に関するお問合せ窓口は、財政局財政部財源課です。</p>
<p>東本郷三菱公園で体操やっています 成人用運動器具が少ない、鉄棒なし、吊り輪なし、雲梯なし、大豆戸遊歩道公園には全て有 週2回自転車で行き、約1時間位体幹筋を鍛錬しています。医者、薬、不要の健康寿命84才 介護保険使用なし。健康祝金を出す予定有りますか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策1「健康的な生活習慣の定着と健康を守り支える環境づくり」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>ミニバスケットボールのゴールをもっとたくさん公園に作って下さい。 市内にバスケットのゴールのある公園はいくつかありますが、ミニバスケットの高さのゴールが旭区の日影山公園しか近くにありません。土日や平日朝夜練習したくても、そこしか行き場が無く1つのゴールにたくさんの小学生が群がって練習しています。 横浜にもプロバスケットボールチームができ、来年、日本にも世界大会がくるのでバスケット文化を小学生の子どもから支援してほしいです。海外にも視野を向けて横浜から世界へ発信してほしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険料をもっと安くして、老後を安心して生活できるようにしてほしいと思います。世代交代はこれが必要で。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P59～60 安心して医療にかかりたい</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P55～58 必要としている人に届く介護</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>後期高齢者医療費1割から2割負担医療敬遠単身上限200万円世帯上限320万円妻特別養護老人ホームの場合、特例措置希望単身上限適用希望。世帯上限400万円として頂きたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、後期高齢者医療制度の事業の実施にあたって今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>豊かで暮らしやすくする為に医療施設を増やしてほしい</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策15について 地域で高齢者が入れる特養が不足しています。お金がない人も入れる施設をもっと作ってください。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策15について 市営住宅へ入居したくても募集件数が少なく、競争率も非常に高く、いつ入居出来るか、本当に入居できるのかと云ったアパート住まいの高齢者からの意見です。 現時点で分割しての公募ではなく、空き部屋が発生したら即リニューアルして入居できる様にして欲しい。又、増設計画を検討して欲しい（毎年継続して）</p>	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>介護保険の見直しはやめて下さい。介護1、2のサービスの削減など介護報酬を引き上げ、処遇を改善し、介護従事者を増やしてください。 介護する人、受ける人が大切にされる制度にしてください。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>特養ホーム増設をお願い致します。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>コロナ禍になり人々の関係性が希薄になり、従来から地域のまとめ役を行っていた自治会という形では続かない状況になっていると感じています。 地区毎の自治会という単位ではなく、最小単位として区単位として、地域の結びつき、防災時の対応のあり方、地域の交流方法等、新しい活動母体を作る上で各世代での話し合いが必要だと思っています。現在の自治会では60.70.80世代の発言が強く、若い現役世代との溝が生まれています。その為には区の単位で問題点を出し合っ、その問題点に対して解決方法を検討することから初めて行くべきだと思っています。将来の災害発生時などに対応が後手後手とならぬよう早めの対応検討よろしくをお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>ここ数年で小規模保育所が多く開所したように感じるが、ぜひ就学前まで転園せずに通える施設での受け入れ拡大を望みます。 理由：小規模保育所であると、転園を伴うため子供本人に多大なストレスがかかる上に、就業中であれば慣らし保育のやり直しによる負担が、第二子の育児休業中であればそもそも転園自体が出来ず預かり保育のある幼稚園を検討せざるを得ないため。</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策8、スポーツが出来る「広場」を確保してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策9、共同でできる事を市が区が支援してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策10、個人情報に邪魔になっています。参加しやすい方策を考えてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策11、在日の差別が横行しています。横浜市も他の外国人学校と同様な支援をして下さい。多文化・共生が横浜市では崩れています。</p>	参考	多文化共生についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>政策12、ジェンダー平等がどの組織でも成り立っていません。市民教育が必要です。高齢者ほど理解していません。家父長制が色濃く残っています。戸籍制度を無くせば実現すると思います。</p>	参考	ジェンダー平等についてのご意見として、参考にさせていただきます。戸籍制度につきましては制度に関するご意見として受け止めさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
政策13、障害児の環境改善を。	参考	ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策14「出前福祉」をして下さい。	参考	福祉についてのご意見として、参考にさせていただきます。
政策15、介護保険料・国保の保険料を低額にして下さい。	参考	介護保険制度及び国民健康保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。
政策16、介護保険料・国保の保険料を低額にして下さい。	参考	介護保険制度及び国民健康保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。
政策17、介護保険料・国保の保険料を低額にして下さい。	参考	介護保険制度及び国民健康保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。
健康づくり・・・について 今高齢者の間では、加齢性難聴が問題になってます。成人健診には、聴力検査はありません。聴力検査を加えてください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
ふれあいの丘都筑センター利用規約 使用条件特に年金について不便で使いにくいいろいろな制約があります 市民がもっと利用しやすく楽しく使えるように再考おねがいします。	参考	市民利用施設についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
これまでも横浜市はスポーツの推進を大切な政策の一つとして取り組んできました。 だれでもいつでもスポーツを楽しめるということを大切にしてきました。 ところが屋外施設がまだまだ不足していると思います。例えばテニスコート、サッカー場、野球用のグラウンドなどもっと欲しいところですね。それと利用料（駐車場を含めて）が、他都市と比べてうんと高くなっていますね。 大和市も米軍を抱えている市ですが、横浜市内にもかなり基地があり、似たようなところがありながら利用料は半額に近い現状ですね 施設の数、利用料の点より市民に楽しみやすくすることを是非取り上げていただきたいものです。 だれでもいつでもスポーツを楽しめる横浜市になることを願っています。	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
（政策16）在宅医療を拡充していただければ老人ホームへの入居も少なくなり、費用の削減に繋がりますので急いでください。	参考	ご意見につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策2「在宅医療支援の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
発達障害（自閉症）の息子がいます。小・中を個別支援で過ごしました。小学校ではその子に合ったペースで課題に取り組んで課題に取り組んで下さり、とても良かったのですが、中学校ではそうはいきませんでした。 習熟度別にクラス分けはして下さるものの、どうしても一年生に合わせてしまうので毎年同じ内容の授業（1年生のまま）複数担任でも全員が体育教師。教科（家庭科）の先生でも毎回アニメのビデオ鑑賞。宿題も無ければテストも無い。 高校に行き、初めての定期試験に戸惑っていました。学校によっては個別支援級でも何科目かは試験を経験したという子がいる様で学校格差を知りました。 試験も何にも無い、コロナで運動会も無い。アニメのオバケの学校以下の学校。 子ども達の学ぶ権利はどうなっているのでしょうか。悲しいです。 これから学校に通う子ども達の為にももう少し学ぶ機会を願います。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
「接種率公表横浜市長不満」の記事 市長選でコロナ対応唯一の専門家のスローガン？	参考	新型コロナウイルス対策についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>人生百年時代が謳われているが、介護ばかりに目を向けられているように思われる。たとえば、高齢者にはジム（スポーツ施設）利用料金の5割を補助金として出し、健康増進・維持するのを支援することを検討されたい。</p> <p>高齢者数が今後増え続けるので、後期高齢者に限定することで良いと思われる。また、後期高齢者で健康な方々には健康に留意して日常頃、運動・散歩などをして努力されているとみられる。介護費用を使われていない分、ジム利用料補助をされるのがバランス上、適切と判断する。</p> <p>ジム利用に際しては、たとえば、次の条件を付すことで如何か。</p> <p>①本制度を利用する後期高齢者は横浜市に申請書（利用時のジム施設名、利用料金、利用開始の予定月などを記載）を提出する。</p> <p>②月間利用日数が15日（10日）以上</p> <p>③月間利用日数が15日未満の場合には補助金を出さない。（10日）＜特別の理由があれば、良しとする＞</p> <p>④ジム本部が毎利用時、認証する（スタンプ制）。</p> <p>（注）横浜市とジム施設との間で、特別協定を締結し、横浜市の補助金負担が少なくなるような方策を検討されたい。</p> <p>尚、後期高齢者のジム利用状況を統計的に把握し、健康寿命との関係等を研究するのも施策のひとつとすることも価値があろう。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策1「健康的な生活習慣の定着と健康を守り支える環境づくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>自治会の見直し 組織としての位置づけ、高齢地の再考、署地域課との連携で市民への意識改革をしていく。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>社会福祉協議会は必要なのですか？民間の社福法人で充分だと思います。天下りのポジションとしてあるのですか？</p>	<p>その他</p>	<p>横浜市社会福祉協議会は、住み慣れた地域社会の中で、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という活動理念のもと、住民やボランティア、市民団体の方々など地域の公私福祉関係者ととも地域福祉活動を中心に様々な活動を展開する民間団体です。</p>
<p>「広報の自治会への配布依頼」について提言させていただきます。</p> <p>高齢社会になって色々問題が山積と思いますが、身近な困りごととして訴えたいと思います。</p> <p>私の住んでいる自治会では広報担当の役員が班別に振り分けて、それを各班長が各戸（14～5軒）にポスティングするシステムで40年以上やってきました。しかし、自治会員の高齢化により順番に回ってくるお役目の班長となって、階段のある住戸にお届けする事が困難となってきた会員が増えてまいりました。</p> <p>苦痛だけではなく万が一配布中に階段から落ちる事故が発生した場合どう補償されるのでしょうか？そろそろ配布の仕事を専門の業者に依頼することをお考え頂きたいと思っております。宜しくご討議をお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p> <p>なお、配布が困難な場合には、自治会町内会単位で民間事業者による配布に切り替えることができます。</p>
<p>生活保護 担当CWの増員を。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険の見直しはやめて下さい。介護1、2のサービス削減など、介護報酬を引き下げ、処遇を改善し介護従事者を増やして下さい。介護する人、受ける人が大切にされる制度にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>特養ホーム増設をお願い致します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
国民年金でも入れる老人ホームをつくって下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
国民年金でも入れる老人ホームをつくってください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
国民年金で入れる老人ホームを作って下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>子どもの相談支援について</p> <p>子どもの療育について相談することを検討した際も、区役所での相談が3ヶ月待ち、紹介された療育センターでの相談が1ヶ月待ち、医師に診断してもらう場合はそこから半年かかるとのことでした。</p> <p>悩みを抱える人、早期療育を考える人にとっては長い時間だと思います。</p> <p>なお、区役所で教えてもらった西部療育センターに電話したところ、住所としては東部療育センターのほうがアクセスが良く、エリアフリーなのでどちらを選んでもいいと伺って東部療育センターに電話したところ、あまり良くない反応をされました。</p> <p>エリアフリーを謳うのであれば現場とのすり合わせ、制度の見直し、人員増が必要かと思います。</p> <p>西部と東部でのアクセスの差も歴然としていますので、西部の移転やセンターの増設を検討していただきたいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策7市民の健康づくり</p> <p>がん検診の大腸がん、2年度に1回内視鏡検査をしてほしい。</p> <p>便潜血検査で異常があったから大丈夫かが心配です。子宮頸がん、乳がんも1年に1度してほしい。</p> <p>以前区役所で骨密度の検査や足型を取ったりしたことがあった。コロナが落ち着いたら又そういう催しを是非してほしいと思います。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>高齢者を対象とした横浜市独自のモデル地区の創設 ～高齢者の高齢者による高齢者のための街が若い世代を支援するプロジェクト～</p> <p>1.高齢者が若い世代を頼りにせず自活できる街 ・雇用者は基本的にすべて高齢者・経済的にも“自立した”地区・店舗（ショッピングセンター）施設、設備など高齢者に合わせた街づくり</p> <p>2.高齢者が現役世代に培ってきた技術、資格能力を活かし、若い世代に継承できる街づくり ・専門職、技術職の教育期間</p> <p>3.高齢者が若い世代を支援する街づくり ・学童保育学習塾や習い事の支援・給食センター（学校給食）・リタイアした有資格者の再教育期間（子育て、介護による教育中断者へ）</p> <p>4.高齢者が生涯現役を目指す街づくり</p> <p>5.高齢者がお互いに支援しあい健やかに暮らすことができる街づくり ・高齢者施設、健康センター、病院などスタッフはすべて高齢者</p> <p>6.高齢者がいきいきと暮らすことができる街づくり ・趣味を持ち、趣味を通じてのコミュニケーションを支援する街 ・運動施設（ウォーキングルート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール、ジムなど） ・昭和映画館、ダンスホール、ボーリング場、ライブ施設、音楽教室</p> <p>7.高齢者が次の世代に文化継承する街づくり ・伝統工芸、文化センター・歴史伝承センターの創設</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>民生委員、児童委員、主任児童委員の選出について 現状は各町内会、自治会より選出されている。 町内会、自治会長は近年、1年交替する人が多い。しかも会長の選出自体も苦慮している地区も多数あり。又、定年延長や共働きの増加に伴う、民生委員選出対象者の減少。 この様な理由にて、今後の民生委員選出方法について、抜本的に改革していかないと、地域の支えあいを一部担っている民生委員の選出ができなくなります。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」の主な施策2「身近な地域で支援が届く仕組みづくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>死後の事務手続きを改善してほしいと思います。 事務手続きは多岐にわたり、同じことを何度も書かされる。窓口をたらい回しにされる。年金保険証返還の手続き等…役所は「現状変更」を嫌いますが、市長さんのトップダウン指示で「専門の窓口」をつくり、高齢者を支える政策にも力を入れていただきたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策15 高齢者を支えるとありますが、なぜ第三者的な言い方をするのでしょうか。高齢者ではなく親です。全員が全員、親が子供が面倒見切れない人もいます。デイサービス等のシステムが存在します。老人はやっかいな荷物ではありません。このまえ「おばあちゃん仮説」という本を読みました。 まさにそのとおりだと思います。老人ホームに入れてから足腰が弱って痴呆症疾患になるのです。お母さんは嫌がるかもしれませんが、老人はりっぱに役立ち、その親を見て子供がそだちます。3世帯家族応援したらどうでしょうか。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>今の時代はアスファルトがたくさん（歩道、もちろん道路）。ある。 これからの時代は、老後の方が（自分）、たくさんいます。 一部の歩道を土と石で作り、水を通るようにし、（水が、雨が、）そのまま、地面を通過するように作ってほしいと思いました。 うまく作れば、町が良く（美化）もふくめ、全体的にすてきな南区になるのでは、と思いました。 歩道、クルマの道路の一部を石にし、美化、（緑木）など、考えれば、出来ると思います。土木作業員さんは大変だと思いますが。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>高田地域に図書館が無くて困っています（自転車で15分位）小金井市に住んでいたころは3か所あり、子供の学校の間に大人がゆっくり本読みしたり、夏休みなど勉強する本を読む借りること、老後の楽しみに近くて便利でした。こちらですと、例えば東横線の各駅徒歩5分くらいのところにもあって欲しいです。</p> <p>特に綱島（近所？）に必要かと（今は都筑区の図書館に通っています）武蔵小杉でもいいのですが電車二本乗って図書館に行く気にはなれません。せめて徒歩30分以内に1図書館はお願いしたいです。</p> <p>また図書館のイベントも増やして欲しいです。子どもクッキングや工作・・・児童館も見かけないのでその役割も。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>誰もが生き生きと福祉、保健、医療、介護無理です 横浜市が考えても無理ですね。なんでもお金ですよね。持っている人は大丈夫、無い人は無理な事。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2 自治会館の不活用又は管理維持力の低下が見られるところがあります 地域ケアプラザ等に合流するとどうでしょうか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策13 障害児・者の支援について 核家族化や少子化の影響による地域の「子育て力」の低下、子育ての「孤立化」「密室化」 その他家族経済、社会的要因などが絡まり複雑な環境に置かれている児童が増えている しかし、保育所等では複雑化困難化する特例な配置を有する乳幼児や家庭のケースに対して対処方法や専門機関との連携方法を学ぶ機会が少ないため十分な支援が困難となっている。そこで保育コーディネーター養成研修を実施し、①相談技術向上による家庭支援、②問題解決に向けた園内のコーディネート、③園内だけでは解決できないケースの専門機関との連携が取れる専門的保育者を育成する。 研修を神奈川県保育連合会に委託し、研修修了者には認定書を交付する。各園に資格を持った保育コーディネーターを配置することにより質の高い保育サービスの提供、保護者の子育て不安の解消（虐待防止）、早期の適切な療育支援が機能強化につなげることができる。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」などに関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2 政策15 関西より横浜に移り数十年経、田舎者との自覚もあり、迷惑もかけぬようひっそりと生活し、自分たちでの自己管理に務め、体調を維持してまいりました。 夫婦ともども高齢となりましたが日々ジム通いを中心に元気にしています。でもいつまでも現状が続くはずもなく、不安感が増えています。これから先々の指針のないまま、人生の終わりが近づいてきた時点での安心感の欠如があまりに寂しいです。 頑張って自己努力して来た者がなんだか損する感が大です。 高額でなかなか決心できませんが自立入居のホームを考え中です。 住み慣れた場所で自分らしく暮らし、安心して最期を迎えられることはどうすれば可能なのでしょう。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P55～58 高齢化が進む中で特養老人ホーム増設、介護従事者の待遇改善など積極的に進めて下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
帯状疱疹ワクチン接種の費用に助成金をおねがいします。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
補聴器購入に補助金をおねがいします。（高額すぎて購入出来ません）	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
安心して医療にかかりたい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>戦略2、政策13 息子は中途障害者で、身体1級、精神障害と重複障害者です。金沢区に住んでいますが通所場所を探しましたが、区内にはありません。栄区の通所施設に送迎をお願いして週3回通っています。親も高齢となり本人も45才となった現在も金沢区で通えるところは無く、20年以上経過しています。近く通える障害者がいきいきと活動活躍できる場所が少なく選択などは全く出来ない状況です。金沢養護学校を出ても行く場がないということを聞いています。通所出来る場所、又何かあった時に安心して預けられる場所が少なすぎて親の負担は増すばかりです。将来親亡き後安心して生活できる場所も有りません。作って下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>地域コミュニティの活性化(戦略2-政策9) 地域情報(ポータルサイト)開発事業の推進 ①地域の単位は中学校区(生活圏)、連合町内会とする 町内会では大小さまざまで標準にならない データ(自治会、社協、商店街、幼稚園・学校、病院、・・・施設、イベント・・・) ②遠くの情報よりも近くの情報が重要—距離の二乗に反比例? 高齢者やコロナでは特に近くの情報が重要 ③プッシュ情報よりもプル情報が重要—TV,新聞よりもインターネット情報が有効 プッシュ情報SNSプル情報 供給者の論理.....生活者の論理 効率(コントロール・一元化)・・自由(多元化) トップダウンのシステム・・ボトムアップのシステム 専門的技術.....一般技術 ④4組織の活性化=Σ受信×発信 (発信がなければ受信ができない) 自治会、社協、商店街などの情報発信が重要 ⑤自治会の目的は地域の活性化 国&gt;地方&gt;県&gt;市&gt;区&gt;連合町内会自治会&gt;近所&gt;家族 連合町内会自治会の部分の情報が特に不足している。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
大岡川の源流である笹下川にコイを放流し、生態系を破壊（コイの獷猛な食欲で従来の生物が食べ尽くされ）岡本橋（歴史ある橋）にコイが集まり、餌やりの市民が迷惑を川の周辺の住民に迷惑をかけている。	その他	ご意見として伺います。
<p>非正規社員の正規社員化支援促進のお願い。 てんかん持ちの障害者（47才）のケースですが、本人は発作を起こす脳神経を除去する。手術を29才の時に実施したあと、発作は徐々に減少し今では薬服用により仕事に支障は無いようになりました。 2008年（本人33才）に父親の友人の紹介で横浜市内のホテル（東証S上場）に就職。 当初の雇用契約は短期契約で6ヶ月毎に更新していましたが勤務期間が5年以上経過したので無期転換を申し入れ承認されました。但し、給与は転換前と同じ時給ベースで最低賃金レベルが継続。本人は毎年月給ベースと正規社員化を申請していたが、殆ど無視されている状態。仕事はシフト制で正規社員と同じローテーションで組まれているが、同一労働、同一賃金のルールは実現していません。 正規社員化の申し入れについては、各職場での判断だけでなく行政からの強い支援を要望します。</p>	参考	企業や従業員に対する支援についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小生一人住まい。83歳の高齢者 突然具合が悪くなって119番の電話も掛けられないような場合、ボタン一つプッシュするだけで何らかの連絡やサポートを受けられる公的サービスの充実を望みます。 セコムなどのサービスはありますが、月額が高くて躊躇します。 区役所に聞くと電話サービスのようなものがあるようですが、今一充分とは言えません。 突然死で発見が遅れた時のことを考えると不安です。ご検討下さい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>私は6人で合唱をする団体に所属しています。2年に一度くらい自主コンサートを実施しています。昨年、みどりアートパークでコンサートをしたいと思いましたがTELしたところ5人が横浜市民でないとのことで6人中3人が横浜市民なのでできないとの事でした。 仕方がないので町田市のホールを借りることにしました。 また都筑の地区センターもシステム変更後、横浜市民以外は登録できないとのこと（全員の住所登録が必要）で利用できなくなりました。 戦略2を見ますとちょっとそぐわない感は否めません。この思いを届けたいと思っていましたので書かせて頂きました。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地域ケア申し込み方法をわかりやすくしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢化の進む社会にあって、老後の安定した生活保護制度は平等に確立していない。 例えば施設入居したくても経済的理由でできない人は沢山いる。 個人の生活確立手段は基本的に夫々の自己責任に帰すとはいえ最後は平等に穏やかに迎えたいもの！犯罪のない平和な世の中を実現。安定した人生が送れる世界に誇れる日本国家を実現してほしい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>金沢区の自然動物園は散歩なり高齢者、子供達の憩いの場として楽しみな所です。 土日は混み合いますが、平日はガランとしています。 私はパスポート会員になり、もう600回以上行っております。 市長への手紙を数回書いていますがトイレが古くなり特に子供達にはかわいそうです。 何とか立て替えてかわいい入りやすいトイレ、パパ、ママたちと行かなくても一人で入れるようなトイレにして頂きたいです。 平日、幼稚園、小学生が来ます。子ども達だけで入ります。なんとか「ワーきれい良かった」と思えるトイレになりませんか。清掃はしてありますがとにかく古いのです。 シンガポールの動物園はピカピカです。あそこまでは言いませんが1か所ひどくぼろぼろの所があります。トイレがきれいだと行きたくなります。 いつも回答は予算がないですが、市長がぜひ見学してください。 今まで長い事市長が来たことありません。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策5「都市ブランド力の向上に向けた動物園の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>重度の知的・身体障害者（51歳）を持つ親です。娘は現在グループホームに入居して五年目になります。娘は日中と夜間発作を起こす難治性のてんかんを持っているので、親は常に見守る必要があり、余裕のある生活ではありませんでした。 母親の私は5年前心筋梗塞に罹り入院しましたが、娘は其间ショートステイで各施設を転々としてきました。娘は知らない場所での生活でとても不安であったと思います。 私は退院後も自宅療養があったため遠くから見守るしかありませんでした。 私は毎日娘の居場所を見ては泣いてばかりいました。 何十年前前から娘は近辺の学校に通えず私は車での送迎に明け暮れていました。このため、時間の余裕は無く、近所の人とのふれあいも少なく、私の頭の中ではいつも疑問を持ちながら生活を送っていました。障害者も地域で暮らし学ぶなど健常者と対等に扱ってほしかったと思いました。 今願うことは障害者も（そしてお年寄りも）、一般の人達と共に地域で暮らせる社会、全ての子どもが大人になるまでの教育期間中、助け合い協力して暮らせる社会、日々の生活が明るく前向きに暮らせる社会、貧富の差が少ない社会、教育を無償化する社会の実現です。 全ての子ども達に夢と希望を与える社会になって欲しいと思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
高齢者も気軽に様々な公共施設に通える交通手段、例えばある区域の各施設を巡回する小型バスがあると社会参加が多くなります。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
安心して医療にかかりたい	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
補聴器補助行って下さい。高齢者は難聴者が多く、補聴器は高額、年金者はつらい 政令都市相模原市は始めているようです。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
日本に住んでいる人は人種に関わらず平等です。ヘイトは絶対やめて下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「健康危機管理対策の推進」 昨今、高齢者を中心に「带状疱疹」を発症する事例が相次ぎ、一度発症すると1カ月程度の強い痛みにより、就労はおろか日常生活にも大きな影響をもたらす症例が少なくありません。こうした傾向を鑑み、他自治体では「带状疱疹予防接種」への費用助成制度の実施が広がっています。他自治体の運用事例を参考に、横浜市でも費用助成制度の創設をお願いしたい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
政策7－施策3「がん検診・国保特定健診等の受診の促進」 市民の健康寿命を延ばしていくために、「早期発見・早期治療」を進め、結果的に医療費削減につながる取り組みであって、大変に評価できる。一方で、私自身が事業所内で健診受診を呼びかける中で経験している“健診受診率向上を阻んでいるもの”は、「定期的に通院しているので健診は不要」「わざわざ健診申込をするのが面倒」など、健康診断の必要性が十分に認識されていないことが大きい。健康診断受診率向上は、横浜市国保の財政健全化のみならず、市内医療機関の安定運営にも寄与し、医療福祉関係の横浜市の支出を抑制していく効果も見込める。当施策の対象となる保険者を横浜市国保に限らず、県内の職域国保組合や協会けんぽなどの中小零細事業者が加入する保険者にも拡大し、健康診断の受診率向上に向けた啓蒙活動全般に広げていくことが望ましい。	参考	ご意見につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策3「がん検診・国保特定健診等の受診の促進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
政策16－施策4「市営斎場・市営墓地の整備」 増加する火葬・埋葬の需要に応えるため、当該施設の整備は急務である。このうち、市営墓地の整備については核家族化の進行により、墓石の新規設置も引き続き必要となり、「石材加工技術者の育成」と「事業振興の支援」も併せて必要になる。石材加工業者によると、「近年増加する地震災害の際に墓石が倒壊する被害の多くが熟練した石材加工技術者の施工によって相当数が回避できる」「他地域の安価な石材加工業者に市場が奪われ、横浜市内の熟練した石材加工技術者の事業継承・技能継承が困難になっている」ことにより、市内の石材加工業者の減少が際立っているという。市内の優良な石材加工業者の事業継承・技能継承の機会として、横浜市内の歴史的価値の高い建造物・建造物跡地などへの石碑・石板等の設置の事業を行ってほしい。事業実施に当たっては「中小企業振興基本条例」を適用し、市内石材加工業者の受注機会を確保されたい。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
P49・50のジェンダー平等の推進やP167「5ワークとライフが心地よく調和した暮らし」について、テレワーク・在宅勤務・移住支援等推進についての記載が乏しい。近隣の藤沢市・鎌倉市などはコロナ禍の移住先として人気になっているが、横浜市も選ばれる街になるべく、サテライトオフィスの誘致支援や職住近接の支援を手厚く行うべき。	参考	誰もが働きやすい環境づくりや社会環境づくりに関するものとして、参考にさせていただきます。
コロナの予防接種に限らず老人を優先するのではなく、働く層の人たち、30～50代とかを先に接種してあげて欲しい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
耳がだいぶ遠くになりました。補聴器の助成をお願いします。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
障害者施設の職員さんの入れ替わりが激しく利用者に影響が出ています。人手が足りなくて忙しすぎて、職員さんが辞めていくと聞いています。職員が辞めなくて済むような人員配置と給料アップが必要です。お願いします。福祉関係は低すぎます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関連するものとして、参考にさせていただきます。
ヘルパーさんの仕事を応援する人がいないと事業所から聞いています。仕事の内容に見合う給料にしてください。日曜日に来て下さるヘルパーがほとんどいません。困っています。増やしてください。（給料が安すぎます）援助して下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
政策15-5 介護人材の確保、定着支援、専門性の向上について 私は、市内の「介護施設」で勤務している。一番、厚労省と横浜市に基本的に理解してほしい事は、「介護の現場での人手不足があるから、ICTやロボットの活用もして業務の効率化を行って、人手不足を解消する手段を導入しよう」という基本的な発想があるが全く的外れなことなのである。介護現場にも医療現場と同じように「多量の事務作業があり、その能率を上げる事は重要である。」しかし、「認知症」や「身体の不自由」が進み介護度が進んだ利用者には「より効率的に介護する」という発想はおかしい。ロボット、AI、ICTの活用でより少ない人数で介護ができる訳がないのである。介護そのものは介護の専門性を備えた介護士にしかできない。ロボットやAIがいかにかに論理的に効率的に正確に思考、行動できても、認知症の進んだ利用者の全く非論理的な思考と行動を非論理的に直感的に掴むことができるのは専門性を備えた介護士だからである。現状で規定されている定員そのものが少なく、定員ちよどでは利用者に対して余裕を持って、温かく、虐待を起こさずに介護をやりきる事はできない。規定より最低30%は定員を増やさなくてはならない。介護士の人手不足を解消するには、第一には賃金の大幅な上昇である。非正規で最低賃金で勤務している介護士の割合は実に多い。最低賃金より多少多い程度の賃金しか得ていない介護士は多数派である。重要なのは、一つは処遇改善の一月当たり10万円の大幅な上昇。2つには、処遇改善手当を雇用事業者に交付して、多くの部分を経営資金に流用されている事を違法とする事。直接、処遇改善手当を現場の介護士に支給する事も非常に重要である。利用者を虐待する事のないように、常に気持ちのコントロールをやりきらなくてはならず、心身共に重労働の介護士の仕事に対して、最低賃金が多少の上乗せの賃金では人手不足が解消できないのも当然である。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
各自治会、町内会への会館づくり 自治会館建設は土地の確保が課題であり、市として区画整理後に土地を易く借用できることで建設費を自治会で積み立てを始めたが数年して制度が廃止され会館が出来ず、弊害が今に及んでいる。 「向こう3軒両隣り」と言われ仲良く付き合っていた時代は過ぎ「隣は何をする人ぞ」でお付き合いのなくなった現代、ましてや地域との付き合いは無くなってきている。 出産率の低下、子育ての弱体、老人（会）の衰退、孤立化に及んでいる。 身近で気楽に集い、学べる場所は絶対必要である。 すべての基は人との「共生」にある。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
政策⑬ 放課後等デイサービスについて、経営者や管理者、児発管の教育を求めます。放デイの意義より自分たちの利益を優先している所が多く見られます。よってスタッフを教育することも出来ない人が多く、何のために放デイがあるのかわかりません。障害児の成長、そして質の高いスタッフ扱える社員育成を望みます。	参考	ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>小生87歳になります。82歳の時横浜に参りました。今まで人とのふれあいを大切にしてきました。こちらに来てからその方法として自治会コミュニセンターでその機会を探しましたが、見つめることが出来ませんでした、ある時ケアマネージャーの方がデイサービスを紹介して頂きました。現在通っています。</p> <p>皆さんとのふれあいのコミュニケーションが出来て大変満足しています。</p> <p>ここで初めて介護職員の方々の活動を見て、只々頭が下がるだけでなく感謝感動でいっぱいです。3K（キツイ、キタナイ、キケン）と呼ばれる職場です。</p> <p>小生が利用させていただいて4年近くになりますがケアワーカーの方が数人辞められました。80kgを超える人を車椅子から入浴のため移動させるのを見てその大変さを実感します。もしも腰を痛めては運送会社で腰にロボットを取り付けて荷物を軽く運んでいる場面をテレビで見ました。</p> <p>昼食も一人では食べられない利用者もいます。口元に運んで食べさせるのも時間がかかります。ケアワーカーのご苦労がわかります。ありがとう。</p> <p>一つの事例として述べましたが人生100年時代です。介護の仕事は一番大切な仕事です。不滅です。</p> <p>10月1日より介護の方々のベースアップが決まりましたがまだまだと思います。他の業種より多い如何にして介護職の大切にする人材を育てるか行政皆様のご尽力をお願いします。乱筆乱文で失礼いたします。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>栄区は特に高齢化が進んでいる。特養ホームをもっと増やして欲しい。</p> <p>何年も待たなければ入れないと聞いている。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>項目的には「戦略2」に該当するかとされます。実際には「公園トイレを設置してください」というお願いです。</p> <p>私の住んでいる団地の目の前には磯子区でも4、5番目に大きな公園があります。しかしこの公園にはトイレがありません。公園名は「杉田坪呑公園」です。この公園はグランドゴルフ、太極拳、朝夕の散歩等近隣の住民が終日利用しております。</p> <p>また保育園などが散歩の目的地として入れ替わり立ち替わり遊びに来ます。しかしトイレがありません。幸い公園の周囲は整備されていないため、一步周りの藪に入ると姿が見えません。男性は用が足せません。しかし女性は困ります。</p> <p>私のやっているグランドゴルフではそのためにやめられた方が何人も居ります。また保育園の児童は大変です。公園まで来て遊び始めると「オシッコ」が始まります。</p> <p>初めは男の子一人です。そして次々に女の子も声を上げます。女の子が言い出した時は、付き添いの先生が困りました。私は早々にその場を去りました。</p> <p>ぜひともトイレの設置をお願い致します。</p> <p>数年前トイレの設置のための住民説明会がありました。勿論私は出席して賛成の意見を言いました。しかしその後「反対」と一人が理由も言わずに発言、数人が同調しました。</p> <p>その説明会はそれで終わりになりました。</p> <p>又、グランドゴルフの仲間が区役所に電話でトイレの設置をして下さいと話しました。</p> <p>担当者の方が近隣の自治会からの申し出がないと駄目と言われたそうです。</p> <p>近隣の自治会とは、私の住んでいる杉田坪呑4街区の事です。</p> <p>確かに公園に隣接した住民はトイレを必要とはしません。しかし反対の声を上げる人は数人です。何とも身勝手な事です。</p> <p>私の住んで居る団地は入居32年になります。この団地に入居した時には目の前にはすでに公園はありました。公園に付き物のトイレはあって当然です。設置をお願い致します。</p> <p>前回設置予定だったトイレは大小、一対だった様ですが、複数式が良いと思います。</p> <p>よろしくお願い申し上げます。</p>	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>9つの戦略及び38の政策の中の戦略2            誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり。ここにピッタリ当てはまります！            私には叶えてほしい事があります。以前よりあたためていた構想なのですが、どうやって造っていけば良いのかずっとわからず悩んでおりましたが、この度の横浜市の中期計画を見てかなり当てはまる！と思い、意見と言うよりは提案になります。聞いて頂けたら嬉しいです。            私が叶えたいことは・・・これから迎える超高齢化社会に備え、今後貧困に苦しむであろう単身女性の為の団地を作りたいという事。            単身女性は社会に相当貢献しているにもかかわらず所得は男性よりも低く、もちろん子供もないので老後の生活に不安を抱えている人が多い。            そこで単身女性の団地を作って皆で協力しあえる生活環境があったら、さらに活躍するのではないかと考えました。お互い助け合い社会貢献もできる！と思います。            政策9、10、14、15がまとめて可能です。            具体的な社会貢献とは・・・基本的には退職後の人生を提案できます。            団地の一階部分で保育資格を持つOBが学童や預かり保育を運営したり、教育資格を持つOBが塾を運営。料理が得意な人が集まってカフェや食堂の運営。美容資格を持つOBが美容室。看護資格を持つOBが緊急のケガや病気の対応など。            便利かつ確実にコミュニティが出来るのではないかと思います。その中でやりたい事出来る事はまだまだあります。            成功したら型を変えたりどんどん広げる。又はいろんな場所に・・・            助け合いながら社会貢献できる環境は安心と生きがい生まれ、認知症の予防、孤独死を減らし、健康保険料の削減など財政の面でも有効だと思います。            ぜひ、この横浜市の計画の中に取り入れて下さい！</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策15            高齢者を支える地域包括ケアの推進            名古屋市や高槻市のように、敬老パスによる各種経済波及効果を計量化して下さい（この科学的分析なくして、料金値上げは許しません）。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>認知症予防に補聴器はかかせません。助成金の支給を！            「メタボ検診」だけでなく特定検診に「聴力検査」を加えて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>選択的夫婦別姓について            親からもらった名前を大切にす権利、ビジネスパーソンとして築いてきた経験・人脈を同じ名前に紐づけキャリア形成する権利を認めていただきたいです。            キャリア形成、スキルアップに際して、途中で名を変えたことによる不利益は、大きなジェンダー不平等だと考えます。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>身体障害者の移動手段の充実            タクシーを使用することが多いが、1人では外出できないのでヘルパーが必要。            家族の負担が大きくて、自由に外出できない。もっと自由に外出したいと思うが外出のときトイレがなく安心できない。駅ビルなどはトイレが整備されていると思うが障害者用のタクシーのり場など移動のときに便利に使えるように整備してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」等に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
介護人材の確保、従事者の処遇改善してほしい	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』</p> <p>・施策が誰でもが対象になっているようには見えない</p> <p>→“誰もが”は理想、そんなことは現実的にはできないので、美辞麗句に見える</p> <p>・衣・食・住が足りてこそ、がまずは必要</p> <p>→職があること重要</p> <p>→どうやって職が増えるのかが計画では見ない</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>小学校での障害児支援について、提案です。現在、小学校の支援員をボランティアで募集していますが、支援を拡充させるならボランティアではなく、職員室サポートのようにきちんと職員として、支援員を募集するべきです。</p> <p>小学校教諭やボランティアだけでは、増加してきている個別級在籍児童への支援には限界があります。小学校教諭の方々も障害児支援について十分な知識も経験も必ずしもあるとは言えず、ましてやりあえず集めた支援員では、難しい面がたくさんあります。十分な支援が行えず、障害を軽視されみんなとの横並びを強制される児童、きちんと支援すればもっとできることがあるのに放置される児童など、現場では残念な場面が少なからず見受けられます。(全ての支援員が手を抜いているわけではないですが)時給500円のボランティアでは支援に対して無責任になりかねません。ボランティアではなく、社会福祉士や保育士などの専門知識を有する方や実際に支援経験のある方を採用すべきだと思います。予算がないなら採用人数を半分にしてもちゃんと責任ある仕事ができるような対価を支払ってまずは人員を拡充すべきです。</p> <p>さらに、支援員の時給500円の謝金と実際の活動内容は釣り合うものではありません。このボランティア・時給500円を決定された方々が現場の様子をご存知なのかと疑問を感じます。パートのように定期的に支援に入り、朝から登校後の支度の支援からはじまり、授業中はもちろん、休み時間もトイレも給食も支援するので、支援員はトイレに行く暇も酷い時は水分補給をする暇もないことがあるのが現状です。そういった活動内容に対して、ボランティア謝金では、優秀な人材確保は到底難しいでしょう。</p> <p>子どもたちにより良い支援をするには、より良い環境づくりが大切だと思います。よって、この支援員・ボランティアという制度の見直しを強く提案します。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>地域コミュニティについて意見します。町内の「生活応援チーム」に参加しています。いま、連れ合いを失って一人暮らしの生活を送っている方が増えています。多くは高齢者で、一人では身近な事が自分で出来ず悩んでいる人たちへの応援です。支援活動は、庭の草取りや木の伐採、塀のペンキ塗り、網戸の張替え等々です。今後、こうした一人暮らしの家が増えて行きます。これからは、支えていく側が高齢で動けなく状況になっています。高齢者の福祉という観点でもっと行政がこうした人たちへの対策を考えていく必要があるのではないのでしょうか。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>ジェンダー平等の推進</p> <p>賛成です</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>国民年金でも入れる老人ホームをつくって下さい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
42P「政策8 スポーツ環境の充実」に関し、大人向けと合わせて、子供期のスポーツによる身体能力の育成は非常に重要と考える。子供向けには放課後キッズクラブなどが必要があるからいる、のではなく、楽しいからいる、という考えになるような環境づくりをお願いしたい。合わせて、スポーツプログラムやスポーツ専門教員などを配置し、子供の健康な体づくりを体制やプログラムの面からも支援いただきたい。	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
47-52P「政策11-13」に関し、多文化やジェンダー、障害児サポートといった政策には、当該者だけでなく、周囲が自然に理解を進めることができる環境が必要であると考える。このために、横浜市ではその他地域に先駆けて、オンラインなどでの住民生涯教育を提供し、差別意識の撤廃やその他基礎知識の向上を目的に、大人への教育プログラムを実施していかないか、検討いただきたい。モラルの無い一部の大人、自分の都合のみを考える恥ずかしい大人（例、コロナ化で、他者も参加している中でカラオケに大人数参加したり、レストランで大騒ぎする一部高齢者など）を減らしていくことにつながり、他者を理解して思いやりの行動に移す、ということに繋がれば良いと考える。	その他	ご意見として伺います。
高齢者のオムツの配給について現在75才以上にならないとオムツの無料になりません。オムツが必要になった時は年齢に関係なく配給してほしい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
自宅で年金暮らしで介護する人も手当が出ればと思います。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
国民年金でも入れる老人ホームをつかって介護者への給料の援助などして下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
安心して医療をとりこんでほしい。 窓口負担とんでもない	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」等に関するものとして、参考にさせていただきます。
介護従事者の給与のアップを計ってほしい。心身共に大変な仕事であるにもかかわらず、賃金が他の職業に比べ安いと思う。 良い人材を集めて、良い介護を行うためにはそういったことに市も目を向けてほしい。良い人材を確保することによって犯罪にもつながりにくくなると思う。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
老人ホーム 国が作って年金でも入居出来るホームを作って下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
【43P】地域コミュニティの活性化ですが、心配事や困り事のグラフがあります。多様化していることは分りますが、質問への回答は「三つ」までの選択なので、上位3位以外はバラつきのだろうと思われ。どの層やどのエリアでどのような困り事、心配事があるのか、という分析とそれに基づききめ細かい対応が不可欠でしょう。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
【45P】地域の支え合いのところで、市としても労働組合の機能をもっと活用するような方向を明確にしてほしいと思います。企業については、市の業務を直接発注する関係なので、そこに気兼ねすることなく、労働組合の社会的機能を地域住民に役立ててほしいと思います。このページの政策の目標の中に、事業者、が入っています。ここに労働組合も入れてください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【55P】地域包括ケア関係ですが、56Pにある目標値は、2025年年度末までの達成目標でしょうか。そうであれば、特養への待機期間（10ヶ月⇒9ヶ月）、人材の確保（203人⇒300人）は、あまりにも目標値として低いのではないのでしょうか。</p> <p>また、地域でのサービス態勢などについても、区内での情報共有が少なく感じます。子育て世代に注力すると同時に、区民への情報提供と人集め（組織作り）を積極的に行なってほしいところです。区役所に行かないと情報がない、月一回の広報は網羅的で、かつ、小さくしか扱われない、など情報発信の見直しも必要です。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」等に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>近視点での問題対応 コロナ共存のためのワクチン定期接種、薬の配布、病床確保</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策12ジェンダー平等 50ページ市付属機関にクォータ制度を導入し、女性活躍の場を広げてください、市の審議会・諮問機関の委員を女性半数にするよう努力します。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策9.新しく自治会を作るときの作り方教えてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>新しい感染症などの健康危機に対して、予防・検査・治療・生活支援の総合的な対策を確立する。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>14の暮らしと自立の支援について、です。 2021年2月に、20代の生活困窮者の女性の生活保護申請を、神奈川区役所の職員が拒否した事件は記憶に新しいところです。 このようなことは2度とないと信じております。 この件で、女性が支援を仰いだのは東京の支援団体でした。 計画では、関連機関と連携して、とありましたが、それはこのような民間団体も含めてでしょうか。 役所は数居が高い、と感じておられる困窮者の方は多いと思いますので、ぜひ幅広く連携して困窮者を支援していただきたいと思います。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策11について 今後、多くの外国籍の方がコミュニティの一員になることが予想されます。 日本人に対しても、そのような方々に対しても、差別は決して許さない、そのような姿勢で各取り組みを進めて頂きたいと思えます。 外国籍に対する地方参政権の付与についてもぜひ議論を進めて下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策11「多文化共生の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。 参政権につきましては、中期計画の枠組みには該当いたしません、ご意見として受け止めさせていただきます。
<p>P47政策10-2, P59政策16-1について 今後、一人暮らしの高齢者が増えていくのは必至です。さらには相続人のいない高齢者の割合も増加していくものと思います。そこで、生きている間の孤立や孤独への対策や死後への対応の準備の支援について一歩踏み込んで、相続人がいない場合には本人がエンディングノートに記した内容を行政が手助けする仕組みも作っていただきたいです。そうすれば身寄りがない場合も安心して最期を迎えることができると思います。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策1「最期まで自分らしく生きるための支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>コロナ禍における保健・医療体制に崩壊を受けて 政策7市民の健康づくりと安心確保 P-40 2 健康危機管理対策の推進 (原文の後に付け加える) 健康危機管理に即応するため、横浜市保健所と保健福祉センターの保健体制を強化します。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜クォーター制は必ず実施促進して下さい。                      国政もそうですが、女性の視点がなさすぎる。市政、特に市議会本会議、委員会傍聴して「男社会」を感じ不快感を覚える。                      ジェンダー平等は世界で最下位に近い不平等な日本ではとても困難な課題だ。                      まず横浜クォーター制の導入を確実に実施してほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>補聴器に補助金を出してほしい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>認知症の講演会をしてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策6「認知症施策の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>最近耳が遠くなり、人と話すのが少なくなりました。やはり人間は会話あつての生活です。是非、老人への補聴器補助制度を作して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>補聴器に補助を</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>国民年金で入れる老人ホームを作して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>補聴器を助成してください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>年金で入れる特養をもっと作ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>高価な補聴器に補助をしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>年を取るのが不安です。介護サービスの制度の見直しで「保険あつて介護なし」という事にならないか心配。より良い介護制度にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>市営バス待合バス停の近くにある喫煙所を廃止してください。受動喫煙になります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策1「健康的な生活習慣の定着と健康を守り支える環境づくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>特別養護老人ホームを沢山つうて下さい。年金で入れるようにして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
補聴器は高額です。ぜひ補助してほしいです。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
政策16 今、74才で老後が心配です。在宅で医療介護受けたいと思っていますが、その為の医療配置・介護施設までの環境整備をお願いします。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
窓口の負担軽減・無料低減診療を	参考	医療費の負担軽減についてのご意見として、参考にさせていただきます。
介護問題は切迫した重要課題です。特養ホームの増設を	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
p.40政策7 主な施策2（p.60政策17主な施策2・5にも関わって） 新型コロナウイルス感染症対策は、保健所体制の充実が不可欠である。 検査体制の整備・拡充も必要で、抗原検査などではなく、PCR検査をいつでも・誰でも・何度でも公費で受けられる体制を作るべきである。 感染爆発が発生したときに、無症状者・軽症者の隔離・見守り施設（俗に言う「野戦病院」）の開設などを含めた、臨機応変な危機対応力の強化を求める。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
p.50政策12 主な施策2 市付属機関に横浜版クォーター制の導入、に賛成する。その推進を図ってほしい。ちなみに巻末近くに紹介されている有識者会議のメンバーも大半が男性であり、ジェンダー・バランスを欠いている。 なぜ女性の登用が進まないのか、きちんとていねいに調査し、その障壁を打開するための積極的な施策の展開を望む。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
p.54政策14 主な施策1・2 生活困窮者の自立支援も大切だが、まずその前提として、生活保護の捕捉率を上げ、誰もが安心して暮らし続けることのできる横浜市を実現してほしい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
p.56政策15 主な施策5 介護職員の処遇改善は行政が責任を果たさなければ実現できない。必要な仕事なのに処遇が低すぎる。一刻も早く改善してほしい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
政策15 主な施策6 認知症サポーターの養成が施策指標も掲げられて重点が置かれているように見えるが、同サポーターの養成による政策的な効果がどう上がっているのか、その評価がよく分からない。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策6「認知症施策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>1 戦略2とおもわれますが、お年寄りへの視点が抜けている。いま、施策の対象になっているのは、スポーツ芸術などに力強いお年寄りか、入所しているおとしりが中心です。その間にあって、よぼよぼと家にいて、じっと外を眺めているお年寄りへの視点が、抜けているのです。</p> <p>対策一具体例 外に出やすい施策1道に休憩椅子をおく(目標300m<sup>2</sup>ごと)</p> <p>2 バス停に椅子を必ずおく 3 地下鉄のホームに、特にエレベーターでの出口に椅子を 4 地下鉄車両の座席の色は、10年前のように、シルバー色に戻してほしい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>高齢者健康センターを新設する</p> <p>1 高齢者は、病気で入院、退院した人は、薬をもらうが、日常生活、食事、運動の助言を受けていない。また、通院している人も薬だけ、元気な人も、家でじっとか、買い物ややつと。</p> <p>2 いま、新しい健康情報が、次々と発表されているが、こうしたお年寄りには、届いていない。そこで、市が、食事、生活、運動などの情報を、年代別(当面は、60～80～)、症状ごとに一高血圧、糖尿病、心臓病などの情報を、調査、収集し、発信する。</p> <p>3 情報の提供は、広報(よこはま)、相談、講演など、お年寄りが、利用しやすい方法を考える。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>改善が必要な例 地下鉄上大岡駅ホームに巨大な飲料自販機が占拠している改札外に移して、ここに、待合いすを置いてほしい。 バス停留所には、椅子を設置してほしい。</p>	参考	市営地下鉄の駅舎についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>「広報よこはま特別号」を見させて頂きました。現在磯子区老人クラブ連合会に属しております。老人会や老人クラブについては戦略2「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」の中に書かれていると思見させて頂きましたが自治会のことは書かれていますが、老人会や老人クラブのことは書かれていません。人生100年時代になり現役世代は自治会が主体ですが、60歳以上は自治会の下部組織である老人会や老人クラブが、かわり見守っている現状です。毎年神奈川県では50クラブの老人会や老人クラブがやめていっている現状です。</p> <p>では、横浜市はどうでしょう毎年20クラブがやめていっています。老人を如何に100歳まで元気にし、医療費削減努力をしている老人会や老人クラブに補助金が出ていますが、横浜市老人クラブ連合会から「単位老人クラブ補助金ガイド」の縛りがきつ見直し提案しましたがゼロ回答でした。残念です。アルコールはダメなのは理解できますが、もう少し自由に使えるにして欲しい。あ・し・た運動「あ」は(歩くこと、ふくらはぎを使うことにより内臓に酸素が行き渡り元気になる)「し」は(しゃべること、しゃべると人の顔を見てしゃべるので認知症になりにくい)「た」は(食べるにより栄養を取ることができる)あした運動を盛んにし、老人を元気にし、家に籠らないようにする老人会や老人クラブが活躍できるような施策、例えばカラオケ大会に歌う人(各老人会や老人クラブの代表)に3割程度の賞金(商品券千円×10人=1万円)を出して欲しいと提案(歌う人も喜ぶし、応援に足を使って来た人も喜ぶ)したが、予算がないと断られた。ならば個人の寄付金を出す事も断られた。この機会に補助金や予算の増額、そして老人会や老人クラブの認識を深めて頂きご検討下さいませよう切にお願いするものです。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策2「社会参加の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策8 健康で生きがいをもって生活できる横浜にするためにも、安いスポーツ施設をもつと増やしてほしい。 特にテニスコートは希望者が殺到して、なかなか使えないのが実情です。市営コートの増設を希望します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は8月まで東京港区に住んでおり、9月より横浜に来ました。 在京の折は港区区内でのシルバーセンターに登録し、各カルチャー教育で学んでおりましたが、横浜に来て横浜にはこれらのサービスがほとんど無い事に気づきました。 自分がやっていたことは区報毎月1、10、30日と月33回を活用し港区内のいきいきプラザ14か所の内7か所で①パソコン、②スマホ、③英語（3か所）、④川柳、⑤俳句（2ヶ所）、⑥語り部ボランティアの方が沢山居られフリーで教えてもらってました。横浜市にも何らかのこのような方法があれば知らせて下されば幸いです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2 政策12① 政策①公立学校の先生などは女性校長も多くなり、昇進など格差は減っているでしょう。 市区役所もそうあってほしいですね。 服装は男女同一である必要はありません。私見ですが</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略2 介護など高齢者へのサービスの充実を！施設の数、働く人の待遇向上、利用数など。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策16在宅医療や介護の推進 介護のヘルパーさんの賃金アップ、労働条件の改善に市の援助を求めます。ただし利用者の利用料は上げないよう、市の援助をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>地域活動支援センターでは地域の障害児・者が通所し日中活動しています 作業活動の内容は、各事業所が通所者の個性、能力に応じた作業内容を工夫、創造しています。お店を営業したり、自主的な手芸品を作り販売したりします。 加えて一般の企業や公共機関からの受注作業が有ります。 ボールペン組立、切手の整理、工業品の組立、印刷配布物の封入など様々にあります。 それらの売上げは通所者に工賃として支払います。 これらの受注品は作業対価が非常に安価です。発注する側の言い通りの安価が現状です。 その値についての交渉は出来ません。何らかの規制や法制備を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策5「就労や日中活動の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>スポーツに親しむ環境づくりとあるが、三ツ沢競技場のサブトラックとテニスコートを潰して球技場の新設は親しむ環境を損なっていないのか。 既存球技場の改修の方がコストも安く、スポーツに親しむ環境も維持できる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 政策13「障害児・者の支援」 障害者が「暮らす」、「働く」場所の不足について。 障害児を育てる母です。現状や課題にあるように、障害を持つ方が増えています。横浜市南部方面では、近年特別支援学校卒業後の福祉就労事業所が足りず、重い障害をもつ方も自宅から遠くの区まで探しに行かなくてはならない状況です。在住区の港南区内の事業所は定員いっぱいです。今後も毎年学校を卒業し、福祉就労事業所を希望する障害を持つ生徒は、一定数いるので、全く足りません。 また同様にグループホームも足りません。入所施設を増やさない方針の横浜市では、グループホームの増設が急がれます。 地域でそだち、地域で暮らす、ということをおもって子育てしています。本人が通える範囲で、安心して暮らしたいと思っていますので、福祉就労事業所やグループホームが足りない地域では、なんとか増えるように、市でも働きかけをお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策4「住まい・暮らしの支援」及び主な施策5「就労や日中活動の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
介護人材は増やして、又専門性の向上にも力を入れてください。 在宅医療や介護の推進は早急をお願いします。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び素案の政策16「在宅医療や介護の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
市営斎場、市営墓地の整備	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策4「市営斎場・市営墓地の整備」に関するものとして、参考にさせていただきます。
戦略②の政策⑬について 現在未就学児で民間療育に通わせていますが、そこで「小学生を受け入れる療育施設が今より少ない為、すぐ移行できず数年希望する療育が受けられない、と思っいて下さい」と言われました。未就学児の療育施設はそこまで少なくないのに、放課後デイになると少なくなるのはどうしてなのでしょう？ 療育は年単位での学びが必要だと感じています。子供達の学びを途切れる事無く支援してほしいと思っています。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策3「障害児支援の拡充」に関するものとして、参考にさせていただきます。
働く側の充実にも力を入れてほしい。 介護の仕事をしている息子は給料の低さに嘆いています。どんなにがんばっても低い賃金ではこの先とても不安だと思えます。ぜひ、介護労働者の改善をしてほしい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
中期計画（素案）全体を通して賛成です。特に多文化共生、平和、人権の事業が大切です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
老々介護をしています。介護は本当に大変です。かなりの費用も家計を圧迫しています。特養ホーム施設等事業55P～58P、安心して高齢者が暮らせる市政政策を心から思っています。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
老人はいろいろ病気になっています。安心して気軽にかかりたいです。P59～60P	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
P51政策13の3、障害児支援の拡充について ・希望者が全員、療育を受けられるようにして下さい。我が子は空きを待っている間に時期が終わりました。他区から転居して、支援が途切れてしまったことも不満です。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策3「障害児支援の拡充」に関するものとして、参考にさせていただきます。
・コロナ他ウイルス菌への抜本対策（ほとんど金がかからない）が有ります。 ・聴かれる感性と能力があれば御説明します。コロナ対策の準備をして居ました。	その他	感染症への対応についてのご意見として、受け止めさせていただきます。
55～58P特養ホームの増設、介護人材の確保、処遇改善をめぐして下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
49～50Pジェンダー平等の推進をまずは役所から見せて下さい	包含・賛同	行政運営1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」において、課長級以上に占める女性割合を指標として掲げるなど、男女共同参画を推進することとしています。いただいたご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
59～60P医療費用窓口負担軽減の拡充して下さい	参考	医療費の窓口負担についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>P. 40＜主な施策5＞に「補足する」            歯科口腔保健「及び、耳鼻咽喉保健の推進」を加える。            ※理由：主に高齢者が多いが、若年性難聴もあり、「補聴器の補助制度」が無いと、高価な補聴器をつけず生活に困難を来す。            ・欧米に比較して、日本の補聴器使用率は3分の1という現状にある。            ・耳鼻科での診療結果により「税金の還元」はあるが、「補聴器購入の補助」制度は、日本でも各自自治体でも最近進んでいる。横浜市でも補聴器購入時の補助制度が必要。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>P. 50＜施策3多様な性へのあり方への支援と理解の促進＞に「補足する」            具体的には、小中高校（私立校を含め）の学校教育に、「男女共学」を推進し、名簿は「あいうえお順」などの「混合名簿」を推進する。            ※理由：従来の「男が先・女が後の名簿」では、女子は「いつも男子の後」や「副」でよとすり込まれてしまいます。ジェンダー平等の名簿とする。</p>	参考	ご意見につきましては、ジェンダー平等の推進の取組を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>P. 56主な施策5に「補足する」            介護・ケア労働者の賃金を上げ（他職種より賃金が低すぎる）、離・退職者を防ぎ、介護者や家族の要望を尊重したケアの質の向上を図る。            理由：ケア労働者の賃金は低く、離職も多い。介護経験のある人は、地域に埋もれている。            ・賃金を上げることで、介護者に寄り添った質の高いケアの可能性が高い。研修の無料保障も必要。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>P. 59政策の目標            「以下の削除部分」を「下記に置き換える」            特に看護師不足を解消し増員することで医療体制を充実し            将来の医療需要増加に向け、限られた医療資源を最大限活用し、最適な医療提供体制を構築することで、必要な医療を受けられ、本人・家族が安心して生活限られた医療資源を最大限活用することができています。            理由：まだ続く「コロナ感染」で、特に高齢者は「入院できても」、10日の間に看護師不足で殆ど放置され、認知症は重要になり、死亡も増えているのが事実。            ・ベッドに「ベルトを渡して（縛られ）」、足踏みもできず、筋力が落ちて「寝たきり」になってしまう。話もできず社会的交流がなく、「認知症」も進んでしまう。            ・最悪に「10日目に死亡」例も多い。家族の面会も謝絶で、電話も規定で不可能。            ・テレビでも取り上げられている。事例に事欠かない！            ・ある医療団体（民医連）の全国調査によると、「あと3人看護師がいたら、患者さんの要望に応えることができるのに」と言うことがわかっています。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>P59～60 医療負担の軽減について            窓口負担軽減・無料低減診療の実現は今後の高齢化社会にとって必須であるから、市長在任中に是非実行できるよう計画案に盛りこんで下さい。</p>	参考	医療費の負担軽減についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>37p「戦略2」に関して。            誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり、とありますが、活躍しなくても生きていけるように社会インフラを整えてください。            紙の保険証廃止が言われていますが、それは拒否してください。            マイナンバーカード普及のために、市民の健康保険証を奪うなど、断固反対です。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。 健康保険証に関する意見につきましては、計画とは直接関係ありませんが、医療保険制度に関する意見として受け止めさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>39 p「市民の健康づくりと安心確保」のために、旧上瀬谷通信施設跡地の里山、田んぼ、川など環境の保全をはかり、横浜市民がホッとできる広大な自然を残してください。 テーマパークは要りません。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>41 p「スポーツ環境の充実」のために、三ツ沢に新球場を作らず、コンサートができる施設にせず、改修だけで税金を有効に使ってください。 旧上瀬谷通信施設跡地のグラウンドも残して生かして、スポーツ環境の充実を図ってください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>47 p「多文化共生の推進」 49 p「ジェンダー平等の推進」のために、罰則付きの差別禁止条例の制定を強く求めます。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>59 p「医療提供体制の充実」のために、今すぐ、無料のPCR検査場を各駅各地域に作ってください。山中市長はコロナの専門家ですよね。なんでまだにPCR検査体制が整わないのですか？整えてください。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>NPO法人の安定した経営を守るための補助金増額をお願いします。 無料塾や子ども食堂、通院サービス、生活支援事業などを行っています。団体や個人の寄付金、補助金で運営しています。運転手などボランティアなどを募集してもなかなか集まりません。経済状況の悪化、年金支給時期の関係で、65歳以上になっても働かざるを得ない状況にあります。厳しい運営の中で最低賃金並みの費用を出ることができないこともボランティアが集まらないと思っています。経営を守りながら、地域の困窮者の支援をしていくことが限界となっています。横浜市としての支援の充実をぜひお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関連するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>全体として「高齢者」の政策が見えません。 25年度に向けて「共に目指す都市像」の中に、「ブランド力を高める」「経済の活性化」などについて記載がされています。経済的な発展のためのインフラの整備が重視される内容であると思います。今現在生活している「高齢者」のための政策が読み取れません。 坂道や階段に囲まれ、買い物のために外出できない地域もあります。また高齢になると難聴で聞き取れない方がいます。コミュニケーションが取れず認知症の発症などが危惧されます。後期高齢者の健康診断に検査項目を入れる、補聴器の補助や補聴器のメンテナンスなどができるような制度をぜひ創ってほしいと思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策28「日常生活を支える地域交通の実現」等に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2 .政策9 .政策10について セルフネグレクト、特にごみ屋敷問題に関して ごみ屋敷になるということはセルフネグレクトであり、背景に精神疾患や認知症を抱えている場合が多いと思われます。そこに経済困難、地域からの孤立が加わり、他者を信用しない、自ら助けを求めない、という状況に陥った結果ごみ屋敷になるのです。そのまま孤独死に至ることも珍しくありません。親が抱え込んでいたひきこもりの方が、親亡き後、孤立してごみ屋敷につながる場合もあります。しかし、セルフネグレクトについての研究は少なく、市民への啓発も遅れており、ごみ屋敷は、ただ迷惑な存在、排除すべき存在とみなされていると感じます。横浜市は「ごみ屋敷条例」と作り、福祉的観点からの関与と支援をされていますが、この条例は普及しているとはいいがたく利用のハードルは高いと思います。予防的観点から、経済問題への支援、早期に医療や介護につなぐことができれば、最悪の事態に至るのとは避けられると考えます。その基本は、気軽に相談できる場所があるか、地域で信頼できる人がいるかではないでしょうか。困っている人にどうやって情報を届けるか、SOSを出せない人にどう気づくことができるか、地域で孤立しないような仕掛けが必要です。地域包括支援センターの一層の充実、民生委員のスキルアップと自治会などの取り組みのバックアップ、及び関係部署間での横の連携が大切であると考えます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支え合いの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略2、政策11について 外国人医療の拡充について 横浜市は外国人が多く、多文化共生のまちです。一方で、不法滞在となつてしまった外国人や難民申請中の外国人にはとても冷たいと感じます。悪意があったのではなく結果として「不法」となつた方や、生まれた国を出ざるを得ない悲惨な事情のある難民申請中の方に対し、医療面での支援があるべきと考えます。難民申請や対策については、国の政策として別の大きな課題があると考えますが、まずは医療です。市には「外国籍市民救急医療対策費補助」制度がありますが、周知されているとはいいがたく、医療費回収のための病院側の努力とその経過説明などを詳細に求められ、救急入院2週間以内、という制限があり、この制度ではカバーしきれないのが現状です。医療を受ける権利は誰でも平等なはずで、人道的にも保険の有無で区別することはできません。しかし、現実にはそういった外国人を受け入れる医療機関は限られており、一部の病院に大きな負担をかける結果となっています。そういう方を受け入れきちんと治療をしている病院に対しての助成を拡充し、治療を保証できる仕組みが必要と考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策11「多文化共生の推進」及び政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者福祉 2024年度の介護保険制度改定に向けて議論が進んでいます。改定の方角は自己負担の増加とサービスの縮小です。要介護1・2の訪問介護・通所介護についても、地域支援事業へ移行することが検討されています。「介護の社会化」を後退させないよう国に働きかけてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」等に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市内の無料掲示板撤廃について一言 老朽化を理由に掲示板撤廃され、落胆しております。（撤廃しなければならぬほどの老朽度合ではなかったと解釈しています） 首都圏でのコミュニティ希薄化・孤独化が叫ばれるようになって久しく市民（特に高齢者）は他者との「集い」と「関わり」を求めています。 掲示板には多岐にわたるサークル活動のお知らせや若者向けの活PR、求人募集、動物の譲渡会のお知らせ等々、様々な告知がありました。 地域で心の通う人間関係を育むことや、元気なまちをつくるためには地域コミュニティを支える住民の横の繋がりがカギになります。 既に掲示板は撤去されていますが、可能であれば掲示板を復活させて頂きたく存じます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>59P～60P75才以上で医療費窓口負担が2割となりました。1割に戻して下さい</p>	<p>参考</p>	<p>後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>聴力検査を市独自の検診に入れて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>補聴器購入助成制度を作ってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>自分が高齢になりこれからの生活がとても不安です。主人が今年7月に76歳で亡くなりました。その時に頼ったのが地域包括センターです。余命が短かったので速やかに近くの介護ステーションを紹介して下さいました。いたれりつくせりの訪問介護をして頂きとても助かりました。 これから先、老介護が増えてゆきます。家族だけでは乗り切れない問題です。市民の皆さんが安心して頼れる包括センターを考案してほしいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支え合いの推進」、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私が経験した訪問介護！ 7月に主人を看取りました。その時にお世話になった中区介護ステーション、クリニックの医師たちの介護システムが素晴らしいものでした。 医師が診断している側で、看護師団がパソコンで主人に関わっているすべてのスタッフ（ヘルパーさんたち）にその場の情報を共有してリアルタイムに癒されています。 看取りをする家族に対するの精神的ケアもしっかりしてくれました。 おかげで最後まで悔いなく看取ることが出来ました。とても感謝しています。 このようなシステムが横浜市で活用されることを希望します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策2「在宅医療支援の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>介護の人材の待遇改善を！ コロナの影響で小さな事業所も苦勞しています。 大事な事、必要な事なのに報われない。今頃も人材不足なのにますます状況が悪くなっています。 市レベルでもやれる事があると思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>外国人労働者の受け入れ体制の不備が全国的に問題になっているが、本中期計画でもう少し具体的に示してもらいたい。</p>	参考	<p>外国人人材にとって活躍しやすい環境づくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策15(2)高齢者の「社会参加の推進」:政策の観点が地域性に偏っている。 社会参加を、ご近所つきあいのレベルに限定しているのではないかと特に、元気な高齢者は、日本全体や国際的なボランティア活動を視野に入れている。また、このような活動の支援として、敬老特別乗車証の制度があり、その利用評価が開始されているが、マイナス面の費用測定になっている。本来、この制度も、高齢者の社会活動を促進して、社会全体の活性化を図ると共に、高齢者を健康にしていける目的であると考え、費用ばかりに評価視点がいついていないか?健康な高齢者を増やすことでの医療費軽減とか、ボランティア活用による社会活動の費用軽減とかの効果も大きい筈である。制度本来の出発点に立ち返ったマイナスとプラスの両面の評価をして欲しい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9 P43、44地域コミュニティの活性化について 自治会町内会の運営支援について、 自治会町内会会員数減少から、運営上の負担が増し活動が成り立たなくなっており、運営上の負担軽減への取組みは必須ですので、川崎市等他都市の負担軽減策の取組等も見ながら、外部委員減、印刷広報物配布の廃止、報酬制度等の導入等、至急資金および人材を投入し取り組んでいただきたいと思っております。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>自治町内会が単なる集金団体になっている。マンションの各家庭から個別集金するのに、災害時の避難場所・食料・水などの確保は自分たちで何とかしろという。それならば、自治会費は払わずに、そういったことにお金を回したいと考えている。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策7 市民の健康づくりと安心確保 横浜市保健所は1か所しかありません。各区の人口は数十万規模です、現在の保健福祉センターを区保健所に変えて新型コロナのような新たな脅威に対応するなど保健体制を強化して下さい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ぜん息で苦しんでいます。1988年「公害は終わった」と政府は公害指定地域を解除しました。鶴見区はその対象地域でした。現在、県教育委員会調べで横浜市内の小中学校生徒の1万8千人がぜん息に苦しんでいます。横浜市内の大人も含めたぜん息患者数の実態を調査したうえで、対策を講じてください。</p> <p>隣の川崎市も東京都もぜん息患者救済の制度を設けています。横浜市内もぜん息患者救済のための医療費助成制度の創設をして下さい。</p> <p>鶴見区生麦小学校の男子生徒のぜん息罹患率は10.05%と大変高い状態です。この小学校は幹線道路に囲まれており、ぜん息の発症原因となるPM2.5による汚染が気になります。既に一般環境測定局が設置されておりますが、PM2.5測定器はついていません。この測定局にPM2.5測定器を設置し、状況を確認の上対策を講じて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。また、PM2.5測定器は、1区1か所を目途に設置しています。鶴見区には、潮田交流プラザ測定局にPM2.5測定器を設置しています。</p>
<p>政策8 スポーツ環境の充実</p> <p>岸谷公園プールは、海もなく遊び場も少ないこの地域にとって夏の楽しみです。統廃合で廃止する案が出ていますが、統廃合は中止して下さい。さらに、大人も気持ちよく使える更衣室に改善し、日よけを設置するなどの改善を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9 地域コミュニティの活性化</p> <p>鶴見区岸谷地域には、公共施設がほとんどありません。岸谷コミュニティハウスをつくる計画はあると言いますが早急に実現してください。</p> <p>政策27豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり</p> <p>鶴見区岸谷地域には、公的な施設がありません。コミュニティハウス設置を計画しているとの話がありましたが、早急に具体化をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9の指標について、なぜ地域コミュニティの活性化につながるのかわからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会町内会におけるアプリ等の活用支援はなぜ指標になるのか謎。先に委嘱委員見直しや市からの情報の下ろし方など行政が押しつけた負担削減すべき</li> <li>・各種地域人材育成講座の延べ受講者数も指標として謎。定住年数が短く自治会町内会加入率が低く人間関係が希薄な場所と、定住年数が長く自治会町内会加入率が高い場所の地域コミュニティの活性化の手法は違うべきで、その特性に合わせてきめ細やかに、地域に合った方法で人材を育てていくべき。受講者を増やすためには楽しい講座になりがちで都心向き。郊外部には向かないのでは。</li> <li>・横浜市民協働推進センター及び各区市民活動支援センターの相談件数も指標として謎。横浜市民協働推進センターとか市民活動支援センターって地域の人は知らない。相談するならケアプラザでしょ？本文にもケアプラザって書いてあるのに、それをわざわざ他のところに相談先を変えさせたいのか。それにしても現状値15,157件から16,000件と微増に過ぎない。何がしたいのかわからない。</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2</p> <p>介護・医療のスタッフ、特に看護師やヘルパー・看護助手の人材を育てることは喫緊の課題です。看護師や介護福祉士・ヘルパーの資格を得ようとする方には横浜市の特例奨学金(市内で勤務を3年程度すれば返済不要)のような制度を設けてほしいです。格差社会の中です。まずは必要な知識を学ぶことを支えながら、いずれは誰かの支えになる人材を育てられる横浜市にしてほしいです。極論を言えば、自衛隊のように給与も補償しながら学べると、希望者が増えるのではないかと考えています</p>	<p>参考</p>	<p>介護・医療人材の育成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P44自治会・町内会等の運営支援の強化</p> <p>自治会・町内会を中心とする市民力は大都市横浜の根幹を支えるものであることから、地域の多様性に合わせた支援の充実を図っていただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>特養ホーム増設を！介護の人材を確保してください。従事者の処遇改善をしてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策7（市民の健康づくりと安心確保） コロナ禍のなかで、保健所機能と体制の強化の必要性があらためて明らかになった。各区に保健所機能を再構築し、医師・保健師をはじめとする職員体制を強化するとともに、業務内容を見直すこと。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策14（暮らしと自立の支援） そもそも、生活保護の捕捉率が低い実態(19.7%)にある。 1、生活保護利用にあたり、「生活保護は権利」であり、生活困難な際はためらわずに利用できる制度であることを周知・徹底すること。 2、情報が届かず制度が利用できていない人を減らすために、アウトリーチの仕組みづくりやネットワーク構築を行うこと。 3、宿泊が必要な利用者に対応するため、宿泊施設の確保・拡充を行うこと。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策15（高齢者を支える地域包括ケアの推進） 政策16（在宅医療や介護の推進） 1、介護人材の確保は、最重要課題(2025年には約6,500人の介護職員が不足)。市としての独自の処遇改善、資格取得・更新費用に関わる助成の拡大など思い切った対策を要望。 2、また、介護現場の業務の効率化や職員の負担軽減のためのICT・ロボット導入の一方で、人員削減が発生しないよう、現場実態を正確に把握し、必要な対応を行うこと。 3、介護保険制度の改定による影響調査を行い、市として必要な対策を講じること。(捕捉給付見直し、利用料の負担増など)</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」等に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策17（医療提供体制の充実） 1、地域医療構想に、今回の新型コロナウイルス感染症の対応を想定した病床の確保を位置づけること。 2、デジタル化の流れのなかで、マイナンバーカードによる医療機関等でのオンライン資格認証が実施されようとしている。利用者・医療機関などの影響を把握し、市民の権利を尊重し、市として必要な対応を行うこと。</p>	<p>参考</p>	<p>新興感染症への対応につきましては、県が策定した地域医療構想との整合性を取りながら今後、県において作成する次期医療計画（令和6年度～）に記載することになっていきます。引き続き国や県での検討を踏まえ、横浜市として必要な病床の確保を進めてまいります。ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>p59～60医療 窓口負担を軽減して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>医療費の窓口負担についての意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P55～58介護 特養ホーム増設、介護人材の確保、従事者の処遇改善をして下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
国民年金でも入れる老人ホームをつくってください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
国民年金でも入れる老人ホームを作って下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
働く、仕事がない72才、年金だけではお金がないのです。生活が苦しい安心して生活ができるよう、安心して医療にかかれますように。	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
後期高齢者の健康診断について（現在76歳、一度も病気や入院をしたことがありません）死ぬ日まで健康保持のため、健康診断を受けようと思っていますが、2年に一度の無料ガン検診（胃や肺、婦人科など）のお知らせがありません。68歳で通知書停止とか。通知は、保険証切替時にでも明記してほしい。元気な高齢者をつくるためにも。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策3「がん検診・国保特定健診等の受診の促進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
特養ホーム増設 子どもたちは共働き。今までのような家庭介護は望めない。若い人たちが働く場所を増やすという意味でも特養ホームに気軽に入れるように増設してほしい。うちのおばあちゃんは入所希望して何年も経つうちに亡くなってしまいました。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
ジェンダー、機構問題は是非取り上げて下さい	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
必要としている人に届く介護へ58P	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び素案の政策16「在宅医療や介護の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
安心して医療にかかりたい59～60P	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
特養老人ホームを増やし、年金で入所できる条件で入れる様にして下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
特養ホーム増設、介護人材の確保、従事者の処遇改善をはかること。お金がないなら大型開発工事を中止して福祉に回すこと。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
P49～50市内企業課長以上の女性割合を18%→30%へあげること	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」の主な施策2「働きたい・働き続けたい女性の活躍推進」の施策指標に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
P55～58特養ホームの増設を	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
病院の統合は反対。ある区に集中したら、とても不便で行かれない。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
自治会 行政からの情報伝達は簡素化していくことも取組み事項としてほしい。 【例：近隣の学校便りは学校側がホームページに載せてくれればそれで充分では？毎月印刷して各自治会に配布回覧必要なの？など】本来の目的は、防犯、防災、美化活動。回覧板で情報伝達メインではないはず。 アプリ開発すれば負担減ることへの解決ではないことは理解してほしい。 年配の方も使うので。ホームページ作成更新できている自治会もあるが、代がかわったら更新ストップしてしまってる自治会もあることを認識してほしい。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
救急救命体制 AED設置場所で不足している地域がないか、も併せて確認してほしい。 横浜市救急条例で特定施設では義務化されていると思うが、AEDマップみると、まだ少ない地域もあると思います。青葉区は高齢者が特に多く、いざというときには遠くて救急車待ちするしかないです。公立小学校にはあるけど、私立小学校や運動場にはない。運動できる地区センターにもない。コンビニ、歯医者、公園などの協力要請も必要かもしれませんが、補助金含めてあった方がいいと判断した地域や施設に設置推奨の交渉や検討をお願いしたいです。	参考	AED設置についてのご意見として、参考にさせていただきます。
ボランティア 負担が大きい内容や人手不足のボランティアは、横浜子育てサポートシステムのように、登録して勉強会して、必要とする箇所へ有償ボランティアしてもらう、というのでもいいと思う。たまプラで実施してるポイントたまとかもよいのかもしれない。 子育て世代でPTAに関わる人もいる。親が働きながら兄弟みながら、できることには限界がある。困ってることあるか、地域サポートで負担分散できることがないか、一緒に考えてもいいのではないかなと思う。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」及び政策10「地域の支えあいの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
「政策8 スポーツ環境の充実」について。書いてある内容を読めば「戦略2の誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」にことさら政策として入れることではないと思う。特に、トップスポーツ観戦率なんて全く一部の個人、個人の趣味の領域である。スポーツの重要性・必要性を「スポーツが好きか、観戦するか」に重点を置いているような文章と統計数値には、借金財政の市にまるで巨大競技場を造るのに賛成しろと言っているような意図さえ感じる。来場者だけが楽しむスポーツイベントでなくても、横浜には特別な施設が必要でない街自体を舞台にした祭りやイベントはたくさんある。ジャズフェスタ、ワールドフェスタ、元町のフードフェスタなど、どれも横浜らしいイベントだと思う。横浜の街を舞台にした新しいイベントを考えてみたらどうだろう。実際の「スポーツ環境の充実」には、市民が年齢問わず気軽に参加できるストレッチ、ヨガ、体操の指導とかを休日に体育館(学校の体育館も含めて)などでやってくれると嬉しい。そして何よりも近所に散歩やジョギングができ、子どもが遊べる緑豊かな公園が存在することが高齢者にも若者にも子育て世代にも癒しとリフレッシュになると思う。ヨーロッパやアメリカの大都市にある、自然でありながら、きちんと手入れされている緑豊かな公園を切に望む。	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」等に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「特別養護老人ホーム等の整備に取り組む」とあります。増設ではなく整備ということなので、入所者の平均待ち時間が、現在の10か月から4年後には9か月ということで、わずか1か月しか短縮しません。「特別養護老人ホーム等の増設、整備に取り組む」とすべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策13 障害児、者の支援</p> <p>①自閉症者の学校、地域、福祉サービス、児童相談所、警察の横断的な連絡網の確立</p> <p>自閉症者の支援のため、地域、行政、警察、児童相談所、福祉サービス、学校などを横断した緊急連絡網が必要です。そのような一般的に活用できるような連続網の仕組み作りを希望します。</p> <p>②シームレスな支援</p> <p>障害者の特性上、地域社会で一生を通じて普通の暮らしを構築する上で、乳幼児、学齢期、青年期、壮年期、老年期で一生に渡るシームレスなアセスメント情報の共有フォームを作り、またその貴重な情報を共有できるシステムの構築を希望します。</p> <p>③放課後デイサービスの格付け</p> <p>学齢期の福祉の大きな支援先である放課後デイサービスは療育だけに止まらず、利用者の家族が日々の生活の経済的な目的や保護者が安全に余裕を持ち過ごすために利用されているケースが多いのではないかと思います。そこで重要な点は、預かりやすい子どもばかりではなく、強度行動障害児も含めて全児童が安全に安心して通所できることの保証です。</p> <p>現実には、①放課後デイサービスを利用する前に施設側で、利用児の預かり易さの格付けや区別があること、②利用開始後に預かりにくくなった児童への意識的な排除があること、③他害などで施設側とトラブルになった場合の労働災害時の事業所の法的責任範囲が明記されたものがないこと、④ハラスメント防止に対する正式な認識が薄いことなどがあります。</p> <p>上記の事案より、行政の評価の範囲を更に拡大していただき、療育の観点だけでなく、サービス全般に渡り家庭が放課後デイサービスを利用する先に指標となる事業所の格付けシステムの構築を希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>10地域の支えあいの推進</p> <p>①助けて！といえる依存先の拡大</p> <p>助けを求めて助けられない絶望感は破壊的なため困っている人が必要な支援や助けを求め難くなっている現実があります。地域、学校、福祉サービス、役所との助けを求めやすい日頃からの関わり合いや関係作りによる依存先拡大の環境構築が必要です。助けてといえる予防的な社会の仕組みづくりを希望します。</p> <p>②近隣トラブルへの関与について</p> <p>民事、刑事などの法的措置の隙間の縫う人間関係の様々なトラブルの中の一つとして近隣トラブルがあります。近隣であるがゆえに法の目を掻い潜り嫌がらせやイジメが横行しやすい環境です。そのようなハラスメントを防止する、または解決する仕組みづくりを希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>生活困窮者への支援策の具体化。年金額の引き下げや物価高により大きな影響を受けている家庭が少なくありません。具体的な支援策を検討してください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>外国人医療の拡充について、難民申請中等の方に対する医療面での支援が必要です。医療を受ける権利は誰でも平等です。一部の医療機関にだけ大きな負担がかかる状況になっています。外国人の受入や減免を実施し治療している病院に対しての助成を拡充し、治療を保障できる仕組みが必要だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策11「多文化共生の推進」及び政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策11 3多様性と包摂性による多文化共生の基盤づくり→川崎市や相模原市と連携し現在の川崎市のヘイトスピーチ条例をもとにヘイトスピーチを罰則付きで規制を行える条例を設定して欲しいです。横浜市は移民の方々も多いです。差別のない多文化共生の街に私もしたいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策11「多文化共生の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>「政策12ジェンダー平等の推進」への意見です。 「ジェンダー平等の推進」というタイトルを「ジェンダー平等と多様な性のあり方の尊重」にしてはどうでしょうか。 「ジェンダー平等と多様な性のあり方の尊重」の方が、政策の目標が2つあることがわかりやすくなると思います。 また、「ジェンダー平等」という言葉のみだと、残念ながら多様な性のことを思い浮かべない人もいます。 1つが「ジェンダーの平等」で「多様な性のあり方の尊重」にあてはまると思います。「ジェンダー平等と多様な性のあり方の尊重」の方が政策の目標や政策指標などにあてはまるタイトルだと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策9：地域コミュニティの活性化：自治会町内会等の運営支援の強化 自治会の大胆な見直し、会議体の削減、SNS利用をお願いします。報告のための会議の廃止をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>政策14：暮らしと自立の支援：生活の困窮している人への自立支援 生活困窮家庭は、行政支援的には複合している場合が多いため、重層的又は、ワンストップ支援を検討ください。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策15：高齢者を支える地域包括ケアの推進 各担当部署の連携と、総合的な見守り、生活支援の徹底をお願いします。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策16：在宅医療や介護の推進 在宅医療も含めた、医療との重層的支援をお願いします。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策7 公約を守り、PCR検査を受けられる体制を早期に整える。 国や県がしないからしないは言い訳にもなっていない。確率の低い抗原検査をしているから良いとか、そういうことではない。 検査にたどり着けない状態を回避するための補助として抗原検査は否定しないが、だからこそ市の独自政策として、いつでもどこでもPCR検査を実施すべきである。市の独自政策というのは、県や国の対策を補うためにおこなうものであって、県や国にお願いをするだけで仕事をしたことにならない。同じようをお願いするなら、先行して行い補助金を求めればよい。 市長はコロナ対策といえば、抗原検査とワクチンの話しかしないが、成果のようにしているワクチン接種も市長就任のタイミングで進んだだけで、分母揃わぬ国と市のデータを比べて、横浜市は進んでいると説明する。せめて公約を守れ。</p>	参考	前段のPCR検査体制のご意見につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。 また、後段のご意見につきましては、ワクチン接種状況の公表の仕方に対するご意見として受け止めさせていただきます。
<p>政策7 こころの健康づくりについて この事業をもっと広く広報すべき。社内でこころを病む社員が増えるなか、支える担い手を育成する研修の受講生が増えてほしい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策6「こころの健康づくりの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「政策12ジェンダー平等の推進」は、ジェンダーや多様な性は誰にとっても関わることで、中期計画に必須なのでお願いします。</p> <p>セクハラなどの加害で働けなくなったら収入が減り、精神面だけでなく、日々の食費、光熱費にも影響が出てしまうので、防止する取り組みが必須です。</p> <p>横浜市パートナーシップ宣誓制度などを継続して多様な性を尊重していくことで、より多くの方が横浜市で暮らしやすくなると思います。</p> <p>横浜市は人口が多いので、啓発、理解促進、支援には地道な継続した取り組みで周知していく必要があります。中期計画で対応を進めてください。よろしくお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「政策11多文化共生の推進」を積極的にお願いします。ヘイトスピーチなどの差別が起きないように啓発を進め、何かあったときは法律の専門家に市民が相談できるようにするなどの対応をお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>ジェンダー平等の推進を進めていただきたい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」の中で高齢者問題が含まれているところは、政策7と政策15と政策28の3か所ようです。それらを中期計画素案の原文で調べてみました。</p> <p>政策7「市民の健康づくり」では、「乳幼児期から高齢期まで継続して健康づくり」が挙げられていて、壮年期の生活習慣病予防で特定健康診査、がん、こころの不調、などの課題は挙げられていますが、高齢者の多くが悩んでいる「難聴」「認知症」には言及がありません。高齢者の衰える目・歯・耳の内、視力には老眼鏡が身近にあり、歯の衰えには保険のさく歯科がありますが、耳の衰えである加齢性難聴には数万から数十万円という高額な補聴器購入という壁があります。東京の半数の特別区や相模原市などでは自治体独自の補聴器購入に公費助成制度があります。横浜市でも高齢者に優しい施策を開始することを要望します。補聴器購入助成制度導入前にも、高齢者の多くが悩んでいる難聴を調べる「聴力検査を特定健康診査の検査項目に加える」とや「耳鼻科での高齢者の聴力検査を補助・指導する」という施策が必要だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>「難聴」につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p> <p>なお、「認知症」につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策6「認知症施策の推進」に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策15「高齢者を支える地域包括ケア」の「2 社会参加の推進」では、高齢者の知識・経験を生かした貢献・社会参加が挙げられていますが、加齢性難聴者が公共施設で演説会や公演を困らずに聞ける設備として、聴力の衰えをカバーする「補聴システム（磁気ループなど）」を拡充することは、加齢性難聴者の社会参加を促すことになると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策15の最後には「6 認知症施策の推進」とありますが、認知症になる前の対策、すなわち「認知症予防」が抜けていると思います。「予防」は政策7に入るべき事柄だと思いますが、政策15の中の「認知症施策」の一環として「認知症予防」の施策を要望します。認知症は難聴との関係の研究が進められ、軽・中度の難聴者への補聴器普及が認知症予防につながる可能性があります。横浜市独自に認知症と難聴の関係を確認し、認知症予防の見地からも、聴力検査の普及と加齢性難聴者への補聴器購入への助成制度の導入を要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策13について</p> <p>18歳以降の障害者の居場所がない。</p> <p>作業所等は15時頃までに終わる所が多く、その後は自宅やヘルパーさんと過ごす以外の過ごし方がない。川崎市のように18歳以降もデイサービスのような団体で過ごせるような場所が欲しい。</p> <p>18歳以降は家族の負担が多く、本人の世界もいきなり狭くなる。また、兄弟間の世話をするヤングケアラーの発生も起きかねない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策13について 作業所が少ない 障害者は増加しているが作業所が増える様子がなく、子供が18歳になる頃、行ける作業所があるのか不安。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策5「就労や日中活動の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策17医療提供体制の充実 施策2 2025年問題に対応できる地域医療構想の実現 施策5 救急救命体制及び災害時医療の充実による危機管理体制の強化 新型コロナウイルス感染症が拡大して、たびたび「医療崩壊」の状況に陥り、救急搬送することもできずに命を失う人が続出した。感染症病床を削減させ、保健所機能を縮小させ続けてきたことが原因の一つと言える。コロナ感染症の拡大に十分対応できる医療提供体制を構築することが市民の命を守るために必要である。 このような中で、金沢区福浦と南区浦舟にある2つの市大付属病院を統合して、中区にある米軍根岸住宅跡地に新たに建設することが計画されている。市民の命を守る2つの中核病院を1つに統合することは、医療提供体制の縮小につながると受け取れる。それぞれの病院が担っていた地域住民への医療、救急医療体制に重大な影響を与えるのではないだろうか。 また米軍根岸住宅跡地は高台に位置しており、病院を設置する場合には道路や交通機関の整備が必須になり、近隣住民への環境影響も大きい。この計画について、市民の意見を広く取り入れて、慎重に検討を行うべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」の主な施策2「2025年問題に対応できる地域医療構想の実現」及び主な施策5「救急救命体制及び災害時医療の充実による危機管理体制の強化」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>100才長寿祝い医療費助成制度の創設（政策7） 長寿で1番の不安は、医療費の負担です。安心できる老後の保障の最大の願いは、暮らせる年金と医療費補助です。100才の長寿を祝い100才以上の医療費窓口無料化をぜひ実現して下さい。この制度ができると、高齢者にとって長寿への励みをもたらすものになると確信します。</p>	<p>参考</p>	<p>医療費の窓口負担についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>人生100年時代、高齢者の社会参加を促進するための重点施策 超高齢化社会を迎え、高齢期の健康増進施策推進と共に、多数の高齢者パワーをまちづくりと地域経済の発展にどう発揮して頂くかが、市政の大テーマです。そのパワーを発揮できる前提条件をつくるための重要な施策として、次の2事業の創設と拡充を要望します。 1）高齢者の生涯学習のための学校制度の創設（政策15） 参考例・長野県シニア大学・明石市60才からの「あかねカレッジ」 ・かわさき市民アカデミー等 1. 創設の主要な目的 ①高齢者の多様な社会参加へ学び、交流する場 ②高齢期を健康で過ごすための最新の実践的知識を学び、経験交流をする場 ③各個人の専門、能力、特技、趣味等を豊かに発展させる学びと経験交流の場 2. 横浜市の役割 ①学習の会場・設備の提供（まずは、全区に専用会場確保し、将来地区センターに併設めざす） ②適切な講師の紹介 ③低額で学べるよう財政支援 ④運営の主役は高齢者自身としつつ、必要な運営支援をする。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策2「社会参加の推進」及び主な施策3「住民主体による活動の支援・多様な主体間の連携体制の構築」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>増加する難聴問題の解決をめざす3提案（政策15-6）                      難聴は、社会参加を困難にします。難聴の進行を抑え、社会参加を維持するには、早期の補聴器活用しかないのが現状です。しかし、高額な補聴器購入は極めて困難です。                      その改善へ、まず、「難聴と補聴器に関する実態調査」を実施しつつ、「聴力検査を市の健診制度に導入」と「補聴器購入の公的補助制度創設」を以下のように提案します。</p> <p>1. 「難聴と補聴器に関する実態調査」を実施する                      ・介護保険事業計画に向けての高齢者実態調査に、「難聴及び、聴力検査・補聴器に関連する項目を新設」し、「経年変化を分析し、施策の充実に反映」する。</p> <p>2. 聴力検査の導入</p> <p>3. 補聴器購入助成制度を創設する。                      （必要性・意義）</p> <p>①適切なデジタル補聴器購入は高額で、現状の年金では到底手が出せない方が多数です。（経済的理由）</p> <p>②補聴器活用により、「高齢者の生きがいづくりと社会参加が促進」されます。この効果は大変大きいと考えます。</p> <p>③海外研究とWHOで、認知症の発症を減らす対策としての必要性・重要性が確認されています。                      認知症予防の切り札の重要事業として位置づけ、導入しその拡充を要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>将来に必要な介護職員確保めざす「全庁組織の新設」と「政策の柱に格上げ」（政策15-5）</p> <p>①超高齢社会むかえ、優秀な介護職員の確保は、不可欠の最優先施策であると同時に、将来さらに需要が高まる職業であり、地域経済への波及効果等、多面的効果が期待されます。この事業の重大性を考えると、「政策の柱」に格上げすることが必要と考えます。</p> <p>②困難な事業を確実に推進するために「全庁組織の新設」を提案します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「社会的処方理念」を中期計画に記載に関する提案（戦略2の理念・基本に）</p> <p>年度の骨太方針に「社会的処方」が記載され、その推進を位置づけました。今後の横浜市健康福祉局の全施策の基調に据えられるべき理念と考えます。対応できる専門職の量的確保を求めると共に、この理念を実現するには、行政と医療介護の専門職そして市民がチームとなって協働することが不可欠と考えます。横浜市の中期計画にこの理念と実施への基本的方針を明記されるよう要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「戦略2誰もがいきいきと生涯活躍のできるまちづくり」の「政策7市民の健康づくりと安心確保」の「健康危機管理対策の推進」は、コロナなどの感染症について、山中市長が公約や選挙時に強調したようなキメ細かな対策を挙げるべきだろう。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「市付属機関に横浜版クォーター制を導入」は、女性の参画で一步前進といえるが、公正・公平な選任を求めたい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>子供へのワクチン接種について                      副反応の検証と対策を行う推進派と慎重派の医師の意見を公平に聞く</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
P40施策目標の「支援者向け人材育成研修受講者数」の目標値の高さには4年間の達成目標といえど具体的にどんな方策をとることで可能になるのかな？の具体的なプランが欲しい	参考	ご意見につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策6「こころの健康づくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P44市民協働条例に基づく協働事業数の伸び率に比べて、協働支援センターや市民活動支援センターへの相談件数の伸び率は鈍化しており条例適用についてはハードルの高さを思えば相談件数はもっと運動してあげておくことが妥当ではないか？ P45のもっとも地域密着型の小地域単位で目配せがつかはずのケアプラザのネットワーク数は全ケアプラザの数から平均を割り出しても800件はとも過少ではないか。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
P49ジェンダー平等に関する基本法の広報周知、意識改革の醸成は本団体でも1年間多様な主体と共に協働実践してきているところです。身近な話題から自身の体験や経験に基づくモヤモヤやあるあるを語り合ってまずは意識化する、気づく、ということからスタートであることを体感しています。 市民理解を得るためのこうした平場での取り組みを拡大、推進して欲しいと思います。企業への働きかけや宣誓制度の運用だけでは既存領域の中だけでも理解にとどまってしまうがちなことを危惧しています。	参考	ご意見につきましては、ジェンダー平等の推進の取組を進める上で、参考にさせていただきます。
P50「多様な性の在り方を理解している市民の割合」の+10%アップの根拠が不明	参考	ご意見の趣旨につきましては、ジェンダー平等の推進の取組に関するものとして、参考にさせていただきます。
P52医ケアに関するコーディネーター養成の急務と各区の3機関の連携があまりにも区ごとにばらつきがあることが懸念されます。地域療育センターの実状を知る限りにおいては現状課題が多すぎて、「ひろば事業」や訪問回数などの目標値がかなえられるかについてはここにもかなり区や運営法人ごとのばらつき、大変さが予測されます。 指標の大事な「地域生活への移行や支援の利用者数の増加も年間え200人に満たない部分も気になります。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
P53のひきこもり状態の支援については幼少期からの繋がりも要因の1つとすると、この分野だけで議論するのではなく世代間を超えた議論のテーブルが必要であることをも物語っています。特別支援と施策を別立てにせずコミュニティ課題としてまた育ちの連続性の中に組み込んで包摂していく課題出しが必要かと思えます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」及び政策14「暮らしと自立の支援」を進める上で、参考にさせていただきます。
P60産科拠点病院および小児救急拠点病院数の横ばいについては勤務改善や体制確保が喫緊の使命であり充足していくことについては現状維持という方向性で理解しました。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策17「医療提供体制の充実」の主な施策3「妊娠・出産から一貫した子どものための医療体制の充実」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策11. 多文化共生の推進</p> <p>【意見】 外国籍で実質義務教育未修了の人の学び直しの場として「夜間中学」があることを位置付け、外国籍の人たちへのきめ細やかな支援策の一つとして、「夜間中学」があることを明記して下さい。また、そのことを色々な手段を駆使して広く広報し、周知していただきたい。</p> <p>【理由】 例えば、本国にて義務教育を十分受けられずに、日本に渡航し、15歳を過ぎてしまってから高校に進学したいと考えても、義務教育課程を満たしていない場合には、高校進学ができないケースがあります。また、経済的にも家庭が大変苦しく、家族を支えるために働きながら夜間に勉強せざるを得ない状況もあります。このような外国籍で義務教育未修了者に対して、日本人と同じようにきめ細やかな支援をしていく政策がいま求められていると思います。（そうでなくては、日本に来て、横浜で暮らして、本当によかった、と思ってもらえるようにはならないのではないのでしょうか。）このような外国籍の人に対して、働きながら夜間に学べる場である「夜間中学」があることを幅広く伝えていくこと。このことが何よりも急務なことと思われる。しかし、残念ながらこのような人たちが集うような場に於いては、全く広報活動が行き渡っていないのが現状です。多様な手段を駆使して、必要な人たちのいるところに必要なことを広報活動していく。そのような常に創意工夫と努力をしていかないと、そのニーズに真に応えることはできないし、血の通った行政の政策にもならないのではないのでしょうか。</p> <p>そして、このようなことを地道に行っていくこと抜きに、「世界の人々が集い繋がる国際都市・横浜の実現」「海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・SDGsの推進」「世界から人材が集う街」に向けた環境づくり」という目標も具体的に実現することはできないのではないだろうか、と思うのです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>To Strategy 2. Achieving "Zero Carbon Yokohama" - creating more parking lots for bicycles in the city (For instance, when I go by bicycle to the Yokohama station, it is difficult to find a daily parking lot on the North - West exit. There are mainly monthly parking lots. I found only on the East exit side daily bicycle parking place)</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>ケアプラザ、中途障害者センター、後見的サービス、機能不全の件 全てが中途半端、相談窓口は沢山、何とかコーディネーターが沢山、委託法人の固定化の弊害、空気は厭むのです 変わらないメニューを繰り返すだけ、対応させられないのなら、最低限の対応マニュアルをつくり、余力で各法人に裁量に任すべき、地域格差が酷すぎます 地域区分の線をひいたのは、市です。 タワーマンションができれば、村一つです。 学校ですら学区変更があったのに、ケアプラザの対応エリア再編は聞きません、区界は押し付け合いに感じますし、ケアプラザ内でも縦割りのようなことをすると感じます 委託先法人が機能してない法人が存在します 障害は弱いとか平然と責任者が言ったりしてますし、相談が相殺されています。 何か有れば謝罪はしますが、謝罪だけで終わらしていいのでしょうか？ある意味、命が関わっています。 地域連携などのプラットフォームに成らなきゃいけないはずが、情報も知恵も持っていない 機能してると思えませんし、機能不全の法人が数十年委託してる現状があります 特に中区がひどい状態です 自治会が壊滅的だからでしょうか？ 基幹相談支援センターの相談が子供メインになり、ケアプラザにふり終わりとか、その後、協力できることは協力はしますが、後見的サービスにすらつながらない現状 行政指導で作った中途障がい者センターの現状、老人会化してる介護保険対応者多数</p>	参考	地域ケアプラザ、中途障害者地域活動センター等についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>身体障害者対象者多数、精神障がい者知識の乏しく扱いが出来ない、わかっていない、勉強もしない職員が多い、ほぼ、パート主婦状態で何ができるのでしょうか？</p> <p>多様性と言われる時代にネグレクトに近い状態です</p> <p>毎年、ほぼ同等のメニューの焼き直し多少の変化のみ、リハビリ、高次脳機能障がい者相談窓口の委託先になっているのにリハビリメニューも、変化もカイゼンも無い、変化くらいでしょうか？血税が使われているのは事実です</p> <p>ごく一部の古参が仕切り個人情報も写真も使い何するのでしょうか？</p> <p>参加費の必要な講習会に強制参加させられた参加費が、運営費かし出された感じがあります</p> <p>リハビリと言いながら、リハビリ？と思う場所で行われていたり意味があるのでしょうか？これが行政指導で作った、NPOの限界と弊害かと紙面上のチェックの限界</p> <p>リハビリも日進月歩で変わっています以上のことから根本的、制度設計し直してほしいです</p> <p>発達障害、高次脳、若年性認知症対応に変えるべきです</p> <p>多額の補助金が出ているのに身体障害者の老人会状態はおかしい法律にある発達障害の対応もなく、曖昧な年齢制限で若年層対応のはずが老人が若年層を追い出し、障害者総合支援法に則った自立訓練（生活訓練）ほぼなく、身体が精神を追い出す状態になっていて、不平等、高次脳機能障害センターも中途障害者センターに押しつけばなっす。</p> <p>現在は、いろいろなセルフマネージメントメニューがあるのに勉強み情報収集もしない</p> <p>NPOはどうなんですか？</p> <p>中区は2週間の夏休みってなんですか？利用料とておいて半分が休みて、内職をさせられて、職員給与のためですか？</p> <p>○型作業所でも、職業訓練場でもないのに全て、職員待遇メインから行っているからこうなるんじゃないでしょうか？</p> <p>東京23区にできることが政令指定都市になぜできないのでしょうか？</p> <p>「いさかいは、いつだって老人が始め、若者が犠牲になる」</p>		
<p>P.51の政策13について、松風学園の改築等については利用者や職員の意見を十分に聞き進めること。更に同敷地内の民間施設は、直営で運営するよう再検討すること。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策4「住まい・暮らしの支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P.51の政策13について、保護者の送迎に頼らなくてもすむよう、通所施設、作業所などの送迎サービスの更なる充実を図ること。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策5「就労や日中活動の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P.53の政策14について、横浜市としての雇用対策を充実強化していくこと。また、ジョブスポットの開始後の検証を行い改善、拡充をしていくこと。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策14「暮らしと自立の支援」の主な施策1「生活困窮者自立支援制度利用者・生活保護受給者への就労支援」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>P.59の政策17について、地域医療の充実のため、医療機関と大学、地域医療対策協議会などと協議・連携して医師等の人材確保対策などを積極的に推進すること。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策17「医療提供体制の充実」の主な施策2「2025年問題に対応できる地域医療構想の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策8スポーツ環境の充実(P.42)</p> <p>3大規模スポーツイベントの誘致・開催による地域経済活性化</p> <p>中期計画年度内の三ツ沢新スタジアム建設に反対。建設費の試算に土地の造成費用が計上されていないため、費用総額が分からないし、試合数などの利用率に見合わない大規模建築は無用。</p> <p>新サッカースタジアムは山下埠頭に海の見える3面屋根付きの設計で建設すべき。</p> <p>中学校の学校給食を充実させるのが優先事項。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策17医療提供体制の充実 新型コロナ感染に対して、神奈川県は医療につながらない自主療養制度を全国に先駆けて行いました。結果、自己責任で検査し、「自主療養」=実態は自宅放置という事態となり、死者も多数出ました。私自身、発熱外来まで3日、入院まで6日かかり、重症となりICUに入院しました。幸い1か月で退院できましたが、半年間酸素吸入が欠かせませんでした。だれでもいつでも何度でも無料で受けられるPCR検査の充実。発熱外来にたどりつけない事態が第6波、7波で顕著でした。初期の段階で医療につなぐための医療資源の拡充。医療従事者への待遇を改善する必要があると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>・まず「失語症」について少なくとも担当課の皆様には正しく理解していただきたいです。せめて「失語症」と聞いてイメージが浮かぶ程度の知識は持っていただきたいです。 ・失語症の方は見えない障害の中でも特に自分たちで窮状を訴えることが難しい病態です。潜在的な失語症者は市内に多くいると予測されます。そういった方の救い出しにも尽力いただきたいです。 ・失語症者向け意思疎通支援者の派遣についても神奈川県は全国に先駆けて先駆的に行われています。横浜市でも協働して養成～派遣の道筋を確立し、全国のモデルとなってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護士への給料の補填などして、人材を確保してください</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>年金で入れる老人ホームをつくってください</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>補聴器が高くてかえません 助成してほしいです</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>コロナで診てくれる診療所が少なくて困ってます お金補助して看護師さんたちを確保してもらおうなど、安心して病院にかかれるようにしてほしいです</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策17「医療提供体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9 地域コミュニティの活性化 自治会町内会等の強化、活性化とありますが、2022年現在の住民にとって自治会という名称を含めての組織は、住民の意向を反映する組織として機能しているとは思えません。 ちなみに私の居住地の自治会の総会は、100人ほどの会場に15人程度の参加者で、大半が役員、一般会員は5名ほどでした。また防災の訓練では、85戸からの参加は3名で消防署から訓練実施の表彰を受けています。 このように形骸化した自治会は、住民の心をとらえきれずに高齢の役員の溜まり場ようになっています。 現在の住民のニーズに対応した新たな組織を考えないと、ますます参加者は減り、そこでは住民の意思を汲み取り、高齢者、子育て、保健、福祉等の有益な施策に活かすことは難しいと思えます。 大規模マンションはマンション内に防災センターという自治組織を持ち、街の当該組織には加盟しません。郊外の戸建中心の地域とマンション群の多い地域を、同様の組織化で括ることは難でしょう。 既存の組織強化、活用のみ考えるべきではなく、現在や近い将来の生活者の家族形態、家族構成などのニーズをとらえ、新しい組織や現組織の見直しを図ることから始めていただきたいと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』 政策14暮らしと自立の支援 政策の目標 （意見）これから住まいの貧困がより顕在化していき、街に行く当てのない人や行き倒れる人があふれるようになることが想定されます。住まいの貧困は人権問題であることを認識し、横浜市が責任をもって根絶することを目標としてください。 現状と課題 （意見）野宿者やネットカフェ難民の把握を横浜市は東京都のようにはしておりません。まずは、その実数調査と実態調査を行い現状把握に努め、どうしたら改善できるのかの方策の検討に努めてください。そうした上で、現状と課題を記載してください。非正規雇用が増えて安定した収入がないために部屋を借りれない人、単身高齢者で部屋を借りれない人、そうした人達がこれからどんどん増えていきます。住まいの貧困は人権問題であることを認識してください。住まいの貧困の根絶はこれからの時代に必須です。これが解決できないと、街に行く当てのない人々があふれ、行き倒れる人であふれます。 主な施策 （意見）野宿者やネットカフェ難民が、はまかせや簡易宿泊所のみならず賃貸住宅に入れるように、横浜市が借主となって住めるようにしてください。住まいの貧困の根絶は、これからの時代に必須です。これが解決できないと街に行く当てのない人であふれます。治安も悪化します。 （意見）「4 自殺対策の拡充」が掲げられているが、経済的問題は相談にのってあげるだけでは解決しません。 自殺は相談だけでは解決せず、経済的支援あって安心して住むところと食べる物が最低限あって、悩みにも立ち向かうことができます。経済的困窮による自殺は、貧困問題であり、政策の失敗である旨を認識し、自殺を考えている人には住む場所と食事を提供して休める場を保障して下さい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」及び政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策17医療提供体制の充実 主な施策 （意見）「2 2025年問題に対応できる地域医療構想の実現」として「老朽化が進んでいる南部病院・労災病院等の地域中核病院や横浜市立大学医学部・附属2病院等について、再整備に向けた支援や検討を進めます」とあるが、超高齢化社会において病院の必要性は高まるばかりであり、特に公的病院の必要性は災害時やコロナや緊急時に十分に認識されたものである。再編して安易に病床数や病院数を減らすことなく、既存の病院を残しつつ、新たに病院を作ることにより横浜市域全体として、公的医療を充実させてください。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」の主な施策2「2025年問題に対応できる地域医療構想の実現」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>介護制度の必要と制度作りから市民として運動し、掛け金も支払ってきましたが、利用したい年齢に近くなってみると、特養老人ホーム・関連施設等の少なさに驚いています。 ①特養老人ホームの増設を最重点に整備すると共に各種施設の充実を図ること。 ②介護人材の確保と処遇改善を図ること。 ③各種介護施設の現場管理者及び介護従事者の研修の充実を図ること。横浜市が主催する研修を行うこと。最新情報と共に、横浜市としての介護事業の社会的役割を鮮明にし、従事者の働き甲斐につなげること。 ④今年2～9月国による補助金で看護・介護・福祉・保育職員の処遇改善された面がありますが、必ずしも十分とはいえません。10月から看護・介護職は、診療報酬や介護報酬の加算という枠組みで継続されることになったが、横浜市としては、国に対して国の補助金での診療報酬継続や介護報酬の職種限定をせず要望をしていくことを計画の中で位置づけること。また、横浜市として独自施策計画を検討してください。 ⑤特に賃金の引き上げ（他の産業と比べて低い）・配置人数等を重点に、国へ要望していく方向も策定すること。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ジェンダー平等実現のために 日本の「ジェンダーギャップ指数」は2022年7月13日の世界フォーラム発表では、146か国中116位で、昨年同様主要7か国（G7）でした。国の内閣府男女平等参画第5条基本計画では、男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、社会全体で見た場合には、「平等」と答えた者の割合が21.2%、「男性のほうが優遇されている」（どちらかといえば男性が優遇されている含む）とする者の割合が74.1%となっている。</p> <p>①あらゆる分野でのジェンダー平等がとりこまれるよう女性の実態を可視化することが重要です。</p> <p>そのためにジェンダー統計の整備と情報発信が重要です。市庁内の男女別統計の推進を図るため各部局の統計資料を市男女共同参画推進本部が点検できる仕組みを作ること。</p> <p>②国の性別情報の取り扱いに関する考え方の整理を待つことなく、庁内での調査は「男・女」の表現だけでない方法を実践すること。</p> <p>③市付属機関に横浜版クオーター制導入を計画すること。</p> <p>④次のことを、国に要望する事項とし計画書に入れこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連差別撤廃委員会で勧告されている「女性のみの再婚禁止期間」の廃止、「選択制夫婦別姓」の速やかな法制化。国内法の整備求めること。</li> <li>・差別撤廃条約の「選択議定書」を早期に批准すること。</li> <li>・「所得税法を改正するように」と国連の差別撤廃委員会の勧告にもとづき、速やかに所得税法第56条の見直しを国に求めること。</li> <li>・国民健康保険制度に傷病手当や出産手当の給付制度を設けること。</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、ジェンダー平等の推進の取組に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>ジェンダー平等立憲民主党の問題。自民党も男性議員ばかり</p>	<p>その他</p>	<p>ジェンダー平等についてのご意見として伺います。</p>
<p>障害児発達障害はずっと先生が育っていない</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者は介護職員、ヘルパーが足りない。介護保険料を払っても介護は受けられず切り捨てられる。在宅医療は口でいうほど簡単ではありません。福祉は人材育成がなにより。フレームワークを作っても上手くいっていません。どんどん先に進むのはやめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>37頁以下「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」まず、カジノIRで横浜市がさんざん（林市長も高齢者の癖に）述べた、高齢化で市財政負担のようなお荷物、邪魔者の言い方は一切やめるべきである。謝罪すべきである。先人に失礼であり、差別、ヘイトを横浜市が醸成したと知るべきである。高齢者が暮らしやすい街は、子どもにも暮らしやすいのである。障害者も暮らしやすいのである。皆が暮らしやすいのである。高齢化を下げることでなく、若者世代を増やすことを考えれば、相対的に高齢化は低下するであろう。考え方が根本から間違っているのである。保健所の統廃合は間違っており、保健所正職員をもっと増やすべきである。予防的な関わりと交流が増えれば、結果として医療福祉費は減るのである。市長は医療的データサイエンス専門家と誇って市長になったのであるから、社会疫学的知見をしっかりと市政に生かして頂きたい。また、繰返すが市大病院の統廃合を始め公立病院の病床削減はやめるべきである。コロナで公立医療機関の重要性が示されたのではないか。市場原理に見合わせ医療を貫徹できるのは公立医療機関の強みである。公立医療機関の存在が民間医療を支えるのである。高齢者には役割を担ってもらうことが大切である。地域の様々な課題にご登板願うのである。特に子どもやひきこもり等の若者支援に高齢者に入って貰うことは、相互に活性化を生み、あたたかな街づくりが進むことは、世界や他地域で示されている。外国人ルーツの子ども達、技能実習生達が、横浜には大勢いる。ヘイトはあってはならないことである。横浜市も川崎市に倣って、いやそれ以上にしっかりと罰則規定のある外国人ヘイトを許さない条例を制定すべきである。生活困窮者が拡大している。これから総合支援金等の特例貸付の返済が求められ始め、更に困窮者は増えるであろう。困窮者が冷遇されるような街は、割れ窓理論でどんどん荒んでいき、治安が悪化し事件も起き余計な支出が結局増えてしまう。しっかりと困窮者の発生を防ぎ、早期に捕捉し生活保護に繋げ、社会参画を支援せねばならない。他自治体を見倣い、独自の給付金を設けるべきである。特例貸付の返済猶予等の特別条例を設けるべきである。ハコモノ再開発はやめ、福祉に傾注すべき時である。この物価高騰と失業増加の時に、花博だテーマパークだ山下埠頭も関内も三ツ沢も再開発だ等と馬鹿言ってる時ではないと知るべきである。デジタル化等と言い政府はマイナンバー保険証&amp;運転免許証一体化等と愚かなことを言っているが、デジタル化は悪辣なハッカーのサイバー攻撃や悪質な企業の魔の手に市民がひっかかる場面を提供するだけである。国からの補助金が減らされてもマイナンバー等は推進しない方が、その後の損失を防ぐことに繋がり却って市政の為である。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>政策7 公約を守り、PCR検査を受けられる体制を早期に整える。 国や県がしないからしないは言い訳にもなっていない。確率の低い抗原検査をしているから良いとか、そういうことではない。 検査にたどり着けない状態を回避するための補助として抗原検査は否定しないが、だからこそ市の独自政策として、いつでもどこでもPCR検査を実施すべきである。市の独自政策というのは、県や国の対策を補うためにおこなうものであって、県や国にお願いをするだけで仕事をしたことにならない。同じようにお願いするなら、先行して行い補助金を求めればよい。 市長はコロナ対策といえば、抗原検査とワクチンの話しかしないが、成果のようにしているワクチン接種も市長就任のタイミングで進んだだけで、分母揃わぬ国と市のデータを比べて、横浜市は進んでいると説明する。せめて公約を守れ。</p>	参考	<p>前段のPCR検査体制のご意見につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」の主な施策2「健康危機管理対策の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。 また、後段のご意見につきましては、ワクチン接種状況の公表の仕方に対するご意見として受け止めさせていただきます。</p>
<p>保健所や区保健福祉センターの職員を増やし体制を強化して下さい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>公共施設のバリアフリー化を進めて下さい。</p>	参考	公共施設のバリアフリー化についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
特別養護老人ホームの建設をすすめて待機者ゼロにしてください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
各種審議会の委員は公募を増やし、男女同数を基本にしてください。	参考	ご意見につきましては、ジェンダー平等の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。
横浜市も带状疱疹のワクチンの費用を助成してください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
介護士・保育士の給料が低賃金なので職員の生活が貧困のため人間らしい生活の出来る賃金を出して欲しい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
介護保険に入って保険料を支払っていても実際介護施設にすぐ入れる所が横浜にはない。 10ヶ月も待たないと入所できない！！	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
地域で生活相談を受けています。障害のある人を地域で支える施策の中で、身体、知的障害に比べて精神障害の施策は実施されて新しいと言う事もあります が不十分さも感じます。 病院の特性で症状がわかりにくい。病識がない（本人が認めない）などがあり退院後の援助体制が不十分です。対応する市の窓口で精神保健福祉士のような専門職を配置して、本人や家族が安心して暮らせるようにしてほしいです。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」の主な施策1「障害のある人を地域で支える基盤の整備」に関するものとして、参考にさせていただきます。
介護施設の増設。誰でも希望者は入所できることを希望します。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
特養ホーム増設。介護人材の確保と従事者の処遇改善を。介護する方も受ける方も安心な制度を。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
美しい街を作りましょう ごみ屋敷問題が、テレビ放送されます。解決には更地にして常にきれいに維持することで固定資産税を安くする。現在は、固定資産税を取るために厳しい対応ができないと聞いています。 温泉街の閉店した、ホテルや旅館はそのまま、街の景観を汚しています。 *その他の建物すべて、閉店するときの後始末ができるよう、建設許可時に保険等をとる義務を与えるべきでは無いでしょうか。 放置されれば、最後は、税金を投入することになり、住民は納得できますか。 更に不安なのは、今、円安でマンションや戸建が外国人に売れていると言われます。 特に物件を見ることなく、投資用に購入した場合、特に不動産業者が外国人の方は、固定資産税のことは十分理解し、説明されるのでしょうか。 これらの問題は、国全体の問題でもあります。 *住民参加型も必要と思います。	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
老後、住み慣れた土地で安心して暮らせる社会になるため、可能な限り自宅で生活で生活できるよう、国の政策に上乘せした介護施設を充足して下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
特養の老人ホームを沢山作って下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
働きながら子育てをしている女性の意見をよく聞き、力のある女性を登用すること	参考	ご意見につきましては、ジェンダー平等の推進の取組に関するものとして、参考にさせていただきます。
地域コミュニティの活性化について、公聴の機会を増やし、幅広い年齢層(特に若年層)からの要望・意見をまとめて政策と反映する現在、行われている。地区懇談会は、開催時間の制約から出席者が高齢者に片寄りがちです。過去には区民会議があり、自治会・町内会の教員以外の住民が参加して、幅広い意見交換が行われた経験があります。近年、行政と地域との距離が近くなり、住民の要望を区の担当者と共同して取り組み、要望を実現した経験があります。行政の担当者の協力に感謝しています。こうした例が数多く現出する機会につながると思います。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
訪問入浴サービスにて働いています。介護点数が足りないからと1回/w入浴の方もいらっしゃいます。充実させて下さい。従事者の処遇改善願います。	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。
横浜は外国人でも住みやすい「平和や人権」を市政の柱として下さい。そのため、外国人に対しては相談体制の強化推進を、日本人に対しては多文化への理解を深めるイベントや会議を充実して下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
ジェンダー平等を推進するために市内企業の管理職の女性割合を18%→30%に引き上げて下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「ジェンダー平等の推進」の主な施策2「働きたい・働き続けたい女性の活躍推進」の施策指標に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「政策14」 ・生活保護利用者に対する偏見や蔑視をなくすよう啓蒙すること ・扶養照会をやめること ・ケースワーカーや福祉職員の人権意識を高めること	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
「政策15」 ・シルバー人材センターで働く老人の労賃を「最低賃金法」に合わせて引き上げること	参考	シルバー人材センターに関するご意見として、参考にさせていただきます。 なおセンターが受注する業務のうち請負・委任契約の場合、最低賃金法は適用されませんが、最低賃金を下回らないよう配慮しています。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>No.9～10政策                      ・町が比較的新しい所の自治会の運営は、昔から住んでいる人達を中心に                      発展が遅れています。新しく住む人達との街への価値観の違いがあり、な                      かなかコミュニティが出来にくいです。                      うまくいっている自治会とそうでない自治会の差の無い様に、行政から                      の指導が必要ではないかと思えます。                      （会長を何十年もやり同じ親戚同志、友達などなど）                      ※丘の横浜と海の横浜との交流。距離（心・気持ち）縮まるといいです                      ね。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に                      関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>地域のコミュニティの大切なことわかります。そのために、住民が気軽                      に集える場が必要です。                      しかし、三春台地域など高台でコミュニティハウスなどがない町は、坂                      を下って登ると、高齢者には条件の悪い所にしか集える場所がありませ                      ん。三春台地域に公的な会館を作って下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に                      関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は現在87歳です。目が悪く障害者4級です。デイケアに週1回利用して                      います。                      紙パンツを利用していますが、経済的に大変なので援助をお願いします。                      耳も遠いので補聴器が欲しいので、援助をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケ                      アの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>私はパートで清掃会社に勤めています（81歳）。妻は87歳で障害4級                      です。介護しながら週3日働いていますが、耳が遠くなり会話が困難に                      なっています。補聴器を求めたいと思っているので、援助をお願いします。                      半額くらいは期待しています。以上。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケ                      アの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>補聴器購入時助成制度の創設。市独自健診に聴力検査をやってほしい</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」                      及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとし                      て、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護について                      高い介護保険料を払ってもいざという時に必要なサービスを受けられ                      ないという現状です。                      特養ホーム、高齢者住宅など増設してほしいです。介護従事者の待遇                      も改善して、安心してよい介護を受けられるようにして下さい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケ                      アの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに                      応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着                      支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護従事者への援助を</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケ                      アの推進」の主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」                      に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>外国人住民の日本語習得、仕事と生活の保障をお願いします。それと                      ともに日本人住民への外国人の人々への理解、他の文化への敬意を育                      てる施策を進めましょう。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」                      に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計                      画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>2-11多文化共生の推進 外国籍の人達、子どもを差別することがないよう、手厚い支援をしていってください。 異なった文化を持つ人達を尊重し、平和で豊かな市となるよう共に進めていきたいと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>2-14暮らしと自立の支援 ホームレスの人への支援、非正規就業の人へ住居費支援を進め安定した社会をめざしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>2-11多文化共生の推進 外国籍の人達、子どもを差別することがないよう、手厚い支援をしていってください。 異なった文化を持つ人達を尊重し、平和で豊かな市となるよう共に進めていきたいと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>2-14暮らしと自立の支援 ホームレスの人への支援、非正規就業の人へ住居費支援を進め安定した社会をめざしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>2-11多文化共生の推進 外国籍の人達、子どもを差別することがないよう、手厚い支援をしていってください。 異なった文化を持つ人達を尊重し、平和で豊かな市となるよう共に進めていきたいと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>2-14暮らしと自立の支援 ホームレスの人への支援、非正規就業の人へ住居費支援を進め安定した社会をめざしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>三ツ沢公園の再整備[戦略2政策8] 三ツ沢公園の再整備に向けた基本的な考え方(案)が8/9付けで環境創造局公園緑地整備課から出され、9/8までの市民意見が募集された。案にはもっともらしい再整備の目的が示されていたが、狙いは新たな球技場の建設であることは疑いようがない。 政策に記された現状と課題を与件としても、解決のためには新球技場が必須であるとはまったくならない。 再整備計画は完全白紙撤回すべきである。主たる理由は以下に述べる。 1. 全体的に都合のよい情報のみを羅列しており、環境、財政、経済性、交通アクセスなどにおける懸念や問題点などを意図的に隠している。 山下埠頭へのIR誘致や旧上瀬谷通信施設跡地利用(花博やテーマパーク構想)などにも共通に見られた横浜市特有の事業展開手法である。 2. “影響を受ける既存の樹木については、移植を基本として検討を進めていきます”と言うが、どんなに検討しても、課題③の“桜の名所や緑豊かな環境を次世代に継承する”を担保できない。自然は基本的に不可逆サイクルであることは、環境創造局なら釈迦に説法のはずだ。 上瀬谷でも桜の木の伐採が問題となったが、どうしてこのような不整合を平気で打ち出せるのか。 3. 新球技場予定場所はとんでもない高低差の崖や沢をならさなければ建設できず、その造成費用だけでも極めて大きい金額になる。平地に建設するのに比べて、2倍近い費用が必要になるはずである。いったいいくらかの建設費(そして</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>公園再整備の総費用)を見ているのか。市は常に財政難をぶち、検討課題の①でも“厳しい財政状況の中”と説いている。</p> <p>公民連携と謳っても、それは基本的に運営を民間に任せることであり、市の財政の毀損が軽減されるわけではない。</p> <p>4.そもそも基本的な考え方とは言っても、市民の意見を求めるのであれば、新球技場を三ツ沢公園内に建設する必然性をきちんと解かなければならない。新球技場の規模や仕様の詳細や採算性なども明かにしておくのが普通である。当然検討した代案も紹介すべきだ。</p> <p>5.現在の球技場の建て替えでは、Jリーグの求める基準を満足することが困難である、等の理由を挙げているが、合理的説得的な説明たりえない本当にJリーグ基準の球技場を建設する必要があると考えるなら、山下埠頭に造つたらどうか。いやそうすべきである。他のさまざまな計画との調整などが当然必要となってもその解決は難しくはない。建設コストもはるかに縮小できるし、アクセスも問題ない。山下埠頭の新たな集客の多様化にも寄与できる。山下埠頭が絶対無二の選択肢とは言わないが、他の場所も含めてさまざまな代替案をいったい検討したのか。したとすれば、その結果概要も含めて背景や理由説明に取り込むべきであり、していないとすれば、それが完了してから基本的見解を披露し、市民からの意見募集をすべきである。</p> <p>6.いずれにせよ、どうしてもこの三ツ沢に新たな球技場が必要となったとしても、既存の園球技場の改修を解決策とすべきである。その中でいかに老朽化対応、Barrier-free化、Jリーグに求められる基準、さまざまな利用者のNeeds対応、などに必死に知恵を絞る、最善の解決策を模索し策定しなければならない。それが仕事と言うものだ。</p> <p>再整備の目的で挙げる4点はいかにももっとうらしいが、今ある豊かな自然環境を犠牲にしてまでやるべきではない。むしろ現環境を保全し発展させながら追求するのが市民自治住民自治を尊重する市政というものである。</p> <p>Jリーグ基準を満たすことや新しい利用Needsの対応が、環境保全を優越するようなことは絶対にあってはならない。</p> <p>7.環境創造局の令和4年度事業計画では本件に関しては以下のように記載されている。</p> <p>13公園の維持管理、運営、整備 (2)公園の整備 スポーツのできる公園の整備 スポーツのできる・・・中略・・・三ツ沢公園球技場の改修に向けた検討等を行います。</p> <p>いつどこでこれから逸脱し、“新球技場”建設案が出てきたのか。誰がどんな組織が言い出したのか。</p> <p>本事業計画の発端は、国民的サッカー選手が林文子前市長にニッパツ球技場への屋根設置を働きかけたことであり、それを林氏が汲んで以降、MainStandの改修案ですと進められてきた。山中市長に本事業計画を説明した2021/10/15にも、新球技場の案などなかった。それが、突然12日後の10/27に、副市長の説明に新球技場の別途建設計画案が確認された。この短期間の急激な方針転換には何があったのか。市長を含めた話し合いの議事録は一切なく、メモすら残していないと言うありえないような回答が市会本会議(9/8)で返された。行政の透明性の確保、意思決定の開示公文書の厳密な管理といった当然あるべき姿の喪失、不作為には愕然としてしまう。市の「行政運営の基本方針」にも反しているではないか。</p> <p>市民に対して“スポーツを通じて、市民が心豊かな生活を送ることができるように”などと言う前に、まずは自らのコンプライアンス違反を恥じ、その徹底遵守を宣言、実践すべきである。</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>自治会役員のなり手不足の原因は、リソースが不足しているからです。 お金と業務量が合っていないと考えます。 行政・市から自治会への依頼する項目は以下の事項です ①防災訓練、②民生委員、児童委員、③公園愛護会など、④広報ココハマの配布など 広報ココハマを例に考えると一戸ずつ紙を配布する手間と自治会のかかるコストが引き合わないのだと考えます。処置案としては、広報ココハマその他の配布は自治会予算では謝金ですが、市からは補助金と考えます。配布の補助金を増額する。 自治会が市から委嘱を受ける形式の費用を増築する。民生委員などです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>市が自治会のニーズを捉える事が不足。 いくつか原因が思いますが原因のひとつとして、区役所に地域(区)の事をよく知っている、区担当者十何年の様な職員がいない事です。たまたに見ます。 原因 市は係長クラスで昇格試験、課長クラスで試験があり、キャリアを積んで職位が上がる仕組みです。 一例として 道路局→交通局→区政策推進課の様に、2～3年で異動する。これでは役職者がその地域(区)の事を理解するころには異動です。 処置案としては 区の各職を長く続けられる様なキャリア形成の仕組みを作る。 市の技官にはある程度長くやっている方はいる。 「同じ区を長く」が易しくないのであれば効外区南部、西部 例として泉区、戸塚区、栄区の中でローテーションする、仕組みを作る。 以上は上級管理職にはあてはまらない。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>44ページ自治会支援強化、参加しやすい風土 自治会におけるアプリ等の活用 すでに市内で先行した事例があると思う。例えば回覧板の配信などである。先行事例を調査し、PRすると良いと考える。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>地域人材育成講座の受講者数の増員案 ①講座をオンライン配信する ②横浜市にゆかりのある有名人、タレントの方に受講していただく一例として、市の仕事をしているタレントの別所氏や三上氏です。 この様な方に市の多様な講座を受けていただき、その結果をインターネット経由で広報する。(有名人の方々にやっていただく。)</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>45ページ地域ケアプラザ ケアプラザはリソースが不足している。人員を増やすのが最も良い。 ケアプラザの立地の課題について、中学校学区にひとつのケアプラザであるが、他の地区のケアプラザの方が近いケースがある。できれば各学区の中心地か、アクセスの良い立地にしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」の主な施策1「地域福祉保健推進のための基盤づくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>社会的孤立者について 行政・市が管理できるデータは氏名、住所、年齢、性別と ・税金、医療費、障がい者、高齢者、その他である これらからある程度特定可能だと思いますが、プライバシーや法令上の課題がありそうです。</p>	その他	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、受け止めさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>46ページ 3.共に支えあう意識 労働者の内公務員に「共に支えあう意識の高い人」はいません。 公務員に職場、業務が近い労働者にもいません。皆さん高い。社協で働いている人達です。 公務員から遠い人達が容易でないのだと考えます。 日々売上・利益、競争している人達です。 SDGsから・ESGやCSRも広がっていますから、長期的には意識は上ります。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策7、12、13、15 重点的にお願いします。特に高齢化は増々進むのが確実です。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>戦略2 政策8 大型の施設も必要かと思いますが、子どもたちがキャッチボールやボール蹴りなど出来るちょっとした広場（公園）を町の中に作って下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>聴力検査を検診の項目に入れて下さい。補聴器購入助成制度を作って下さい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>子育て支援関係が主になっているので、高齢者支援策を増やして下さい。特養ホームを増やし、入居しやすくする。在宅一人暮らしでも24時間安心して介護生活が出来ること。 市と弁護士会、司法書士会等が協力して、一人暮らしの高齢者の生活と財産を見守る、後見人制度を格安で作る。（家族のいない高齢者を守る制度）</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策10「地域の支えあいの推進」、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策16「在宅医療や介護の推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>引きこもりの人が多数いる生ですが、その人たちが社会で働いてくれば人手不足や生活保護者が減るのではないのでしょうか。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策14「暮らしと自立の支援」に関するもの、参考にさせていただきます。
<p>バス専用アリーナ建設</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するご意見として、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>聴力検査を検診の項目に入れて下さい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>補聴器購入助成制度を作って下さい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>補聴器助成をお願いします。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」に関するものとして、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>外国人の急激な町への流入があり不安を抱えています。国によっては国家動員法、国家情報法など自国の都合の良い法律を作っています。（日本、神奈川、横浜にとり大変脅威となる法律です。よく調べて下さい。）町での犯罪防止抑制の為警官によるパトロールを増やしてほしいと思います。又、公的な機関で使用するアプリについては、日本国が作ったものを導入するように。 日本人を守ってほしい！ 今、切実に思う事です。その上で異文化共生の推進でも何でも言いが、きれいな事で日本人を危機にさらす事だけはやめて頂きたいのです。日本が、横浜がのみこまれています。そう感じる人が多いです。 お願いします。 横浜を誇れる市に！！</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>市内に産婦人科病院を増やして、妊娠も出産も楽にできるように出生率を上げましょう。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策17「医療提供体制の充実」の主な施策3「妊娠・出産から一貫した子どものための医療体制の充実」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>障害児やその家族に手厚い対策をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>私は障害者ですが、精神障害です。毎日が思うように動けず、家に引きこもってしまっています。手帳をいただいたときに思った事。 ①精神障害者に対するの対応が厳しく、身体同様に考えて頂けていない事。通院に家族が必ず付き添うのですが、自動車税の減免がなく軽自動車に横になり向かうのは狭く、軽自動車のみ限定だと大変です。 ②水道料金の減免の件は、私の場合、何度も顔を洗い、メランスポンジを使い皮膚が擦り切れ、出血そして病院へ行くを繰り返します。他の身体の部位で気になると一日に何度もシャワーを浴びます。一人になれる空間は落ち着き必要です。又、水をよく使います。水道料金の減免を希望します。 ※精神障害者にも自動車税の減免、水道料の減免を。車の大きさを選ばない。 検討をお願いします。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策13「障害児・者の支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>政策8テニスコートを現在の2倍の量に増やして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>単身の高齢者の死亡の納骨等を一定金額を市に預けた人には市で執り行う方式があっても良いと思います。直葬で戒名も無く市の合葬墓び埋葬とか、お墓が決まっている人は少し安くする事。外郭団体でも組織があればと思います。 横須賀市では似たような死後のあり方を受け付けています</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策16「在宅医療や介護の推進」の主な施策1「最期まで自分らしく生きるための支援」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>（10の政策）子供から年寄まで誰もが気軽に集えるように場を生活の場に広げてほしい。 雑談の出来る場は人の繋がりを広めます。</p>	参考	ご意見につきましては政策9「地域コミュニティの活性化」及び政策10「地域の支えあいの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略2の11 横浜市は国際都市で多くの民族が共生する社会である。特に中国、韓国の人々が多い都市である。それらの人がいじめなき差別を受けている。「差別のない人権基本条例」を制定し、多文化の共生をより広く交流をすべきである。</p>	参考	ご意見につきましては、政策11「多文化共生の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略2、政策7～17）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ジェンダー平等の推進を。 横浜市議会の市議の女性の数が50%に近づくように、クォーター性を決めて下さい。少しずつでも近づいている政党を評価して、その政党に票を入れます。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>物足りないのはジェンダー平等、市民自治への取り組みです。女性活躍の場が欲しいですし、自治については、もっと市民の意見を取り上げる仕組みが欲しいです。町内会長との懇談を市長はしていますが、私たち地元住民は町内会長と話し合う機会はほとんど無いのが現状ですのに、私たちの代表として市と話をするのは解せませんし、女性の存在は殆どありませんね。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2政策13政策14について 支援者の育成、増員を進めて下さい。不足していると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策13「障害児・者の支援」及び政策14「暮らしと自立の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2の15高齢者住宅の充実 年金しか収入がない人でも、入居可能な住宅をたくさん建てて欲しい。候補地として、金沢区小柴の旧米軍基地の返還された土地が広いので、公園にするのではなく高齢者用に医療機関や住宅を建てて欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>15の政策・国民年金でも入れる老人ホームを作って下さい。また介護者の給料の援助などして介護者の確保して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」及び主な施策5「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P2戦略2政策（9）地域コミュニティの活性化（10）地域の支えあいの推進についての提案 高齢者の日常生活支援ボランティアの活動について 今までできていた日常生活が年をとってくるとできなくなってきた時にボランティアの日常生活支援グループの育成（特に町内会、自治体の中に）しかし昔と違い定年退職後の共働きで働かざるを得ないのが現状。家や車を持ち定年後も続けて夫婦して働かざるをえない家族が多いこれらの人たち退職後の自由時間はほとんど両親ともなくアルバイトなどで何らかの働きをしなければ生活ができない家族が多く昔昭和10年代の生まれた年代では定年後に働かなくても自由時間が多くあり、地元での高齢者支援ボランティアをする人はかなり多くの方がいたと感じています。 この様に我々の時代の身分相応の生活で満足して子育てもでき、自分好きな大作業の好きな人なら高齢者の困ったこと。草刈り、庭木の手入れ、防災対策各町内会の高齢者支援ボランティアGを立ち上げサービスすることが町内会としてかなりの地域で活動していましたが現在は高齢化してほとんどできなくなってきて後継者も町内会の会長も関心が浅く自然消滅しているのが現状です。 これらに各地域で考えることで役所はその側面に応援する。すなわち年1回程度でも発表会をしてPRするのがよいのではと考えていますがいかがでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」及び政策10「地域の支えあいの推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>2030年の温室効果ガス削減目標を60%以上（2013年度比）にしてください。横浜市の50%削減目標は、1.5度目標を達成するためには不十分と考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みは重要ですが、再生可能エネルギーの電源の導入を増やす施策だけでは、横浜市が良ければそれで良いという自己満足な内容になるだけではないでしょうか。 再生可能エネルギーが電力を供給できないときに必要となる他の電源をどうするかについてもセットで考える必要があり、そこも含めてこそ、未来に向けた責任ある戦略になると考えます。 横浜市としてはどのようにお考えなのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、エネルギー施策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市市民利用施設予約利用するのに二度施設を訪問する必要があり、CO<sub>2</sub>削減に寄与しておりません。 こちらの利用方法ですが、予約をする→予約が完了したら予約完了のために一度利用施設に行って料金を支払い登録を完了させる、という手順です。これで当日利用が可能になります。予約利用するのに二度行く必要があります。 これは、旅館の予約をしたら予約完了するために旅行前に宿に一度行くようなものです。 施設利用するのに交通機関、車を利用していくことになると思いますが、合計二度足を運ぶ必要があり、横浜市CO<sub>2</sub>の削減にも寄与しません。年間の施設利用者×2倍のガソリン代、もしくは交通機関の利用をすることになります。 予約する段階で、既に登録者が分かっています。またここで振り込み決済をすれば当日1回施設に訪問するだけで済みます。 川崎市については、同様なシステムがあり、予約ができればネットで施設料金の振り込みをすれば利用施設が可能です。 なぜ横浜市だけ簡略できないのでしょうか？</p>	<p>その他</p>	<p>施設の運営についてのご意見として伺います。</p>
<p>1. 脱炭素戦略は、基本的にEU発祥の概念ですが、これは地球環境への懸念に名を借りた経済的覇権戦略の性格を持ち合わせている事に留意する事が必要と想われます。 2. 脱炭素の成果を評価する際には資源環境負荷アセスメントが必須で有り、前提となりますが、この評価技術には曖昧性/恣意性が多分に含まれ得る要素があります。 3. 評価シナリオ次第で、多くの取り組みがダークになったり、ブルーになったり、グリーンになったりする事が頻繁に起こり得る事に十二分にご配慮願いたいのです。 4. 例えば、市が次世代自動車普及施策の一環として水素ステーションの設置を進める事業を推進されていますが、水素燃料電池自動車が現状自動車よりも資源環境の上で低負荷となるには10万km以上の走行においてとなり、通常の自動車使用の環境下ではグリーンになる事はあり得ない・・・との指摘もあります。グリーン水素を使い、貴重な元素を使う電池技術の高度化と再資源化技術の完成無しでのグリーン自動車実現は困難と考えます。 5. 市内は優れた学識を持ったアカデミア機関に恵まれている筈ですので、厳正中立な評価担当部所を設けて、海外の動向に煽られる事無く、戦略-3を展開して戴きたい。 現市長は、ご自身が当該分野の学識者であられる事からして、このような事情は十二分にご承知の筈と存じますが、ご配慮の元、政策実現に向けてお取りくみ下さる事を期待しております。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ゼロカーボンが大切な戦略です。抽象論ではなく、外国に見られるように、2030年にEV化率50%、2040年に100%といった具体的な意欲的な数値目標を掲げてはどうでしょう。東京都のように「新築住宅には太陽光発電の設置を」というのも良いですが、さらに発展させ「既存の太陽光発電システムのある家庭には家庭用充電器を設置させる」、その普及のための思い切った補助制度も創設する必要があります。条例の対応で可能ではないでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ごみ処理問題は自治会にとっても重要な課題です。私の自治会ではごみネットボックスを自治会費で購入しメンテナンスもしています。地域の皆さんの意識は高く結構きちんと維持されています。中にはいい加減な人（特にアパート住まいの方）もいますが、横浜市全体としてみればかなりマチマチな面があります。もう少し立派なごみ処理ネットを市で一括購入して同じものを使用することはどうでしょう。これに関連し、残念ながらペットボトル等のポイ捨てがあちこちで見られます。これは民度の低さでもあります。ポイ捨てに対する禁止・罰則の条例を検討されてはいかがでしょうか。シンガポールを見てください。素晴らしい都市です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、まちの美化に関しては、「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」により取組を進めております。</p>
<p>横浜市がかつて、メタン発酵技術を汚水処理に導入した先進的取り組みがあることに続く事業として、廃棄物・資源循環の実現のために、岩手県久慈市で積水化学工業が中心になって進めている「可燃物のガス化・エタノール化」プラントの技術評価と導入を進めることを提言いたします。現有の諸技術にくらべ、以下の利点が考えられます。 「廃棄物の取り扱い物量に対する効率化」可燃物を分別せずにガス化とエタノール化が進められるため、現在の手分別などの補完作業が不要となり、エタノールの液体として取り出せるため、処理物の取扱いに要するエネルギーや人手が削減される。 「分別回収方式と比べ、新規の設備や人員、市民教育が不要」既存の廃棄物収集方法を大きく変えずに運用できる。不可能と思われる市民の正しい分別作業は求められない。 「設備の規模が大きにならない」従来のバイオ技術による処理技術に比べ、設備面積や投入エネルギーが小さくできるため、コスト上昇が避けられる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策3「環境にやさしいエネルギーの創出と脱炭素化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>再生可能エネルギーと省エネルギーの推進を基本に、利用段階でのエネルギー変換効率を重視する。同時に、そのエネルギーが有する機能を正確に把握して普及策などの政策に反映すべきです。 具体的な事例として、太陽光発電の特化することなく、太陽熱利用やバイオマス資源（家庭、産業廃棄物のほか海の公園などでのあおさのりなど）の有効活用の促進策を提案します。 太陽エネルギーは、地上に降り注ぐ1kW/m<sup>2</sup>に対して、その利用段階での効率は太陽光発電で約10%、太陽熱利用では20%以上が現状です。また、日射量は時々刻々と変化し、夜にはまったくありません。安定した使い方ができるようにするため、太陽光発電では蓄電池、太陽熱利用では蓄熱機能を加えますが、蓄熱に対して蓄電池は高価です。 また、太陽光発電量が下がる夕方に電力会社が節電要請しますが、太陽熱温水器は蓄熱機能を備えていますから夕方、夜に限らず翌朝でもシャワーなど便利に使えます。 金沢産業団地には熱を必要とする食品加工会社がありますが、太陽熱を利用している企業は見かけません。政策19とも関連しますが、リネツ金沢からの熱＋太陽熱によるクリーンエネルギーによる熱供給事業で市内企業をバックアップしたらいかがでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>可燃ごみは、水分の多い「生ごみ」と「その他可燃ごみ」に分別し、燃やしやすいごみでは、焼却場での熱利用効率を高め、コージェネレーションなどへの道を開く。場合によってコージェネレーションの運転は、太陽光発電のバックアップとすることも可能である。 街路樹の剪定枝、建築廃材などの燃焼しやすいバイオマス、下水の汚泥処理段階で生じるメタンと同様にあおさのりのメタン発酵処理なども化石エネルギーの代替として有効活用する。時には太陽光発電バックアップシステムとすることを考慮してみたいかがでしょうか？ また、これらの小規模分散型システム、これを構成する高効率機器の開発、製造で市内企業の育成にも寄与することを付言しておきます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策3「環境にやさしいエネルギーの創出と脱炭素化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略3「ZeroCarbonYokohamaの実現」 ①「脱炭素」という言葉を止めるべきです。理由は「人間を構成するたんぱく質等は炭素を組成元素のひとつとしている」「炭素は多くの有用な物質の基礎素材となっている」という点です。誤解を招く表現と考えていますので当該表現を全て見直してください。 ②仮に、炭素＝二酸化炭素であるならば、表現を正しくすべきです。 ③また「地球温暖化の抑止」が本来あるべき目的です。そのための包括的取り組みとして記載すべきです。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策18、脱炭素社会の推進主な施策 再生可能エネルギー導入の促進『太陽光発電設備の導入』については、以下の理由で除外を要求します。 【脱炭素化を推し進めることによるリスク】 太陽光発電の供給の不安定さを如何に改善するのかその方策が見えていません。電力の安定供給あってこそです。 米カリフォルニア州で起こっている事態。脱炭素を推し進め、電力供給が逼迫し自動車への充電ができなくなった事態が生じています。 そして、ガソリン発電で充電するという本末転倒な事態が生じているのです。 太陽光発電を推し進める市区町村が多くありますが、ちょっとした災害で使用不能になり、かつ、有害物質を垂れ流す事態を起こしています。 9/17～19の台風14号の影響でも散見されています。 また、天候に左右される太陽光発電では電力供給が不安定であり、かつ、これからのより大容量の発電を要求される状況下においては、基盤インフラとして扱うには不適切だと考えます。 また、太陽光発電は脆い。環境破壊とコスト増、この2点に対する疑念がある以上、推し進めることに反対です。 横浜市にはさまざまな緑地制度があります。これらの趣旨を踏まえ、緑地を太陽光発電設備に置き換えることには反対です。 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kyogi/ryokuka/ryokkaseido.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kyogi/ryokuka/ryokkaseido.html</a></p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「持続可能な資源循環の推進」のプラスチックごみに対する取り組みは長年に渡り横浜市が取り組んできている内容ですので更に発展・進化することを期待しています。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策1「プラスチック対策の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「脱炭素社会の推進」の「再生可能エネルギー導入の促進」について 東京都の都環境審議会は一戸建て住宅を含む新築家屋に太陽光パネルの設置を義務付ける条例改正を8月8日に答申しました。対象は、年間の住宅供給面積が2万平方mの大手メーカーです。都議会の審議を経て、2022年度中の改正をめざしています。川崎市も同様の義務化の検討を進めています。 横浜市での再生可能エネルギー導入は太陽光が最も高い可能性があります。冬でも日照時間が長い横浜市の長所を生かして、長い目で見てエネルギーの地産地消を目指し、東京都と同様の条例改正を進めるのが良いと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>気候危機への本気の対策を 屋根への太陽光パネル設置を市の予算で、新築、リフォーム、希望する家族に応じる援助金を具体化すること。</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>ZeroCarbon エネルギー地産、地消体制 ・太陽光発電（全家庭） ・風力発電（洋上、海岸） →蓄電池・水素で備蓄して、ZeroCarbonと電力の地産地消</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
ZeroCarbon エネルギー地産、地消体制 ・ごみ焼却設備を総てバイオマス発電化	参考	ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策3「環境にやさしいエネルギーの創出と脱炭素化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
気候危機への対策 個人でできること、家庭でできること、地域でできること	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』及び政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
次世代自動車の普及促進に関して、充電設備、水素ステーションの設置だけでは不十分。 まだまだ、EVなど次世代自動車は非常に高額で普及には東京都のように取得時の補助金の拡充等が必要。 横浜市は信号が多く内燃機関の車は非常に燃費が悪い。 もっと積極的な政策を期待します。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
気候変動については、人間社会が影響を及ぼしているのかという議論において賛成派と反対派が存在すると思います。また脱炭素社会という手段で、気候変動を止めるという目的が果たして達成できるのか？手段が目的化し、ビジネスのターゲットにされていると思います。本当に目的が正しいのか？目的が達成できるのか？問題設定の確からしさの調査が必要だと思えます。とくに太陽光パネルには、廃棄時の廃棄物問題、生産時に出る二酸化炭素を回収できない問題など、複数の問題があり再考する余地は十分にあると思えます。	参考	ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
燃やすごみの日を増やしてください。普通に食材買って手作りし元気に暮らしていればごみはたまりません。マンションのベランダは東も西もカンカン照りで置くとごみありません。皆の悩みです。	参考	燃やすごみは、減量化の進展や効率的な収集のために、平成20年度から、収集回数を週2回に見直しました。ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
小・中・高校の屋上に最近のエネルギー効率のよい太陽光発電を設置し、校内、周辺地域の電力補給を行う。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
提案があります。 【SDGsパートナーシップ企業を認定する仕組みづくり】です。 以下は京都市の取り組みの例（京都大学との連携）です。 幼稚園をはじめ、市内外の企業が認定を受けだしています。 私も11月に京都へ行って認定書類を作成してみようかと考えていたところ、先日、横浜市の中長期計画について知ったところです。 横浜市の中長期計画について賛同します。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策1「脱炭素化と市内経済の持続的な成長の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
ごみ出しなどで、集積所が遠いため、ボランティアの協力をお願いすることが多いので、将来のごみ収集には戸別収集などが必要となるであろう。狭い道路の市道があり、簡単には行かないが地域外からのごみ出し防止や分別収集違反に対処することのメリットはあると思う。	参考	ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策18 再生エネルギー導入の促進において、太陽光発電や蓄電池導入の各家庭への支援が弱い。PRも足りない。県の活動もあり判りにくい。家庭以外への導入も加速すべき。（事業所・学校）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の、主な施策2「再生可能エネルギー導入の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18 次世代自動車はPHVはもはや不要でEV・FCVを中心に早目に手を打ち、横浜をモデルになるようにして欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の、主な施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>都市美について、ごみの戸別収集をすることで印象はがらりと変わります。 ①今は折りたたみの網ごみ箱やごみの上に網をかけ周囲をレンガ等で押さえているところが多いようです。しかしカラス等が散らかし、そこからあふれたごみ、ポリ袋などが風に吹かれ、あちこちに戦乱しています。 ②早朝、私達はごみ当番を決め週3回、網袋（2枚）を集積場所に出し、収集後、家にその網袋を持ち帰ります。その作業は約3ヶ月に1回回ってきます。高齢者が増え、その間隔が短くなって来ています。雨天時作業が大変です。個別収集ですと自宅前に出せません。ずっと住み続けたい町を目指しているのであれば、ごみの個別収集は必須です。カナダのモントリオール郊外では大き目のプラスチックごみ箱を使用しています。画像で見ると住宅地にはごみ一つなく、整然としています。 自宅前で出すとごみの分別にも気を使うでしょう。是非実行して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>意見 ・ 気候危機対策 ・ 脱炭素社会の推進</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>意見 持続可能な資源循環推進</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「持続可能な資源循環の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>私は、県や市の団地の屋上に太陽光パネルを設置して、脱炭素とそこで生活している人の、生活支援が出来るので、横浜市が全国に先駆け、ぜひ未来に向かって実現してください。 期待しています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>2030年までに2013年比50%CO<sub>2</sub>削減について！ CO<sub>2</sub>排出の約30%が家庭からとなり、家庭での太陽光などの脱炭素化が不可欠と思われます。一方、近隣の新興でも太陽光パネル設置が見られず、従来の家屋で太陽光を設置する家がほとんどありません。抜本的な対策を立てないと家庭でのカーボンニュートラルは進まないかと思えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>太陽光パネルの寿命は20～30年と言われています。FITが始まった2012年からすると、2030～2040年には寿命を迎えるパネルが大量に出現します。 一つは寿命を迎えたパネルの処理 二つは更新をどのように進めて行くのか、大きな課題だと思います。先の話ですが今から手を打って行かないと大変なことになると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略3に関係があるかも知れないがごみ問題も重要だ。カラス対策はキッチンの課題。町中にネットがあふれその効果も空しく、ごみが散在する。もっと美的な都市となるようごみ箱の設置に迅速な収集などこちらにも知恵を出して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜はなぜ指定ごみ袋ではないのか？私は20年前に仙台市に住んでいたが、とくに市の指定ごみ袋だった。横浜に来て、午後になってもごみ収集に来ず、カラスが食いちらかし、ごみが散乱している道路を見てびっくりした。いち早く指定にし、常時9：00までのごみの回収、人材確保、ごみの収集車の拡充等に充てるべきだ。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>数ある課題の中でも最優先に考えなくてはならないのは、温暖化対策ではないかと思えます。最近では地方の小さな町や村でも自前の発電所等を作ってエネルギーの地産地消を推めているとニュース等で紹介されています。そこで横浜でも再生可能エネルギーを使って、原発に頼らない自立した独自のエネルギー政策を実現してほしいと願います。フィンランドでは砂を使ったエネルギーがあるそうです。日本でも可能とか！風やバイオマス、地熱、太陽光等、多種多様なエネルギーを使ってどこにも負けないスマートシティになってほしいと思います。</p>	参考	<p>国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点を考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18脱炭素社会の推進 EV自動車利用の推進→急速充電器の設置促進→コンビニ設置（複数台が理想）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略3 zerocarbonYokohama 関連施策も少ないですし、そもそもあまり具体的な施策がなかったように感じます。CO2排出の多くが建築資材、特にコンクリートなのであれば、今後の横浜市の公共設備は原則木材利用とすることで、明確なコミットメントとしてはどうでしょうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市は道志村との提携関係もあるので、同地との林業協力強化にもなります。週末林業就業など兼業支援などもすれば域内人材開発にもつながると思います。私もそういう機会があれば参加したいですし、そういうNPOなどの支援をしてくれるのであれば自分で立ち上げることも含め考えたいと思います。</p>	参考	<p>山梨県道志村との友好交流についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>公共設備を原則木材とすることは、都市部での木造建築が増えることで光熱費抑制にもつながると思います。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>日本らしいイノベーションとしても産業強化していくことにもなると思います。</p>	参考	<p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18、太陽光発電の促進を。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策19、プラスチック製品の製造廃止にしてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策1「プラスチック対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>⑱脱炭素社会・・・について 再生可能エネルギーに対する関心は増々大きくなっています。東京都が新築戸建て住宅へのソーラーの設置を義務付けると報じられています。川崎市でも検討がされていると聞きます。脱炭素を掲げる横浜でも、ソーラー設置の義務化を実施すべきです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>気候変動は地球の変化は誕生からずっと続いている事であり、固定させようとする事が概念・目標として違っているのではないかと思いますし、二酸化炭素にばかり要因を結びつけるのも違うと思います。生物学を学んだり、楽しめる場が増えて欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>経済格差、教育格差を明らかにした上での政策を展開してほしい。待ったなしである。</p>	参考	<p>政策の展開についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「自然共生による豊かな暮らし」とても良いものを目指していると思いますが、その前に道路、公園etcに目を向けるとごみがないことはめったにありません。プラスチックや缶etc自然に戻らないものも多く、自然環境の多くのダメージを与えつつあると感じます。煙草に至っては火災の元になりえます。モラルを持つことが理想ですが、現実味があるとは思えません。シンガポールの様に罰金制度を導入し、それを財源としてごみのない横浜を実現し、自然を大切にすような取り組みを推し進めていくことを望みます。自然を考える際、第一にごみの不法投棄を解決すべきと考えます。</p>	修正	<p>まちの美化を目的とした「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」により取組を進めております。ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>政策18 市営バスが2022年4月から1時間に1本になって非常に不便です。混みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>太陽光の活動をもっと推進してもらいたい公共の建物にはどんどん使ってもらいたい 個人の住宅もつけたい、しかしだまされたり心配や細かい事が知りたい どうしたら安心して補助をつけてくれることやどこまで使用期間メンテナンス知りたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>ごみ分別に生ごみだけを追加し肥料を作る。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>市の委託しているごみ収集者がスピード出しすぎて危険。</p>	参考	<p>日頃から受託事業者に対しては、業務の公共性を十分に認識し、業務に従事するよう指示を行っているところです。ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略3車を使わないライトアップ禁止</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地球温暖化の阻止をしてください 神宮外苑の樹木の伐採に代表されるような悲慘な計画が散見されます。せめて横浜は愚行をしないで頂きたいものです。 近くの平戸公園でもかなり太い木が先日伐られました。古い話ですが山下公園の南側の大樹も伐られています。</p>	参考	<p>ご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略3脱炭素社会の推進新築戸建てに太陽パネル（川崎・都）義務化へ横浜市は真似をしないでください。大反対！住まいは時代の文化です。 戸建て住宅の義務化の前に公共建物ビルすべて 戸建はアパート事業を最初に義務化して個人の住宅は歴史を鑑み、建物デザインの味をパネルを乗せてダメにしないで下さい 例えば赤レンガ倉庫、三溪園の鶴翔閣にパネルを乗せて誰が美しいと思いますか？ 公共の建物は別ですか？ 一般住宅は次世代太陽電池「プロブマカイト型」などが開発されてからで遅くはないと考えています。今からすべての家にパネルが乗った風景を想像すると恐ろしくなります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策18脱炭素社会の推進 安全対策の名目のもとに街路樹を伐採し、放置しっぱなし又、斜面の貴重な樹木、竹、草を取り払ってコンクリートを打ちっぱなしにするなど、市が実際に行っている施策は脱炭素社会に逆行している。現在の体制、思考で脱炭素社会の推進などできる訳がない。 できもしないことに市民の貴重な金を浪費することはやめてほしい。 従って本件は撤回すべきである。</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>カーボンニュートラルの実現 小さな日本がプラごみの多さ世界で第二位というのに驚きました。 確かにプラに包まれた野菜や、プラ容器に入った食品が多い。 スーパーのポップ等で“プラを使用しないで販売すると”客に協力を求めたりするのが良いのかもしれませんが。 どの戦略も今までとは変わらなければならない時に来ています。そのためには痛みが伴うけれど、皆に少しずつでも協力していただくことが大切です。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策1「プラスチック対策の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に推進してまいります。
<p>P61～P64 気候変動対策として、太陽光パネルの設置に横浜市として補助金を出して下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>太陽光パネルに反対です。 日本の土地には合わないことと地震や台風など災害の多い日本には危険をとまなうと思います。また廃棄処理にも手間がかかります また製品の多くはウイグル人の強制労働にかかわっているとされています。断固反対します。</p>	その他	脱炭素社会の実現についてのご意見として伺います。
<p>気候危機まったなしと感じます。急いで対策を進めて下さい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策18－施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」 住宅や建築物の省エネ化は喫緊の課題で、「建築物省エネ法」の施行により、今後は高気密・高断熱の「省エネ住宅」が基本となるので、今後は既存住宅の省エネ化が課題となる。既存住宅の「断熱施工」「断熱塗装」「内窓設置」など、政府が過去に実施した「省エネ住宅ポイント制度」などに類するリフォーム支援制度の創設を検討いただきたい。 あわせて木材利用の推進が謳われているが、神奈川県内で産出される木材（県産材）は、伐採・搬出・製材・流通の過程が脆弱である。神奈川県とも連携して「川上から川下」に至る流通過程の構築を早急に行い、神奈川県内の木材植替えを通じて、温室効果ガス吸収の機能回復を目指してほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>気候危機への本気の対策を！原発廃止・太陽光パネル設置に予算をつけてください。</p>	参考	国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点から考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策⑩ 学校の屋上や大型施設に太陽光パネルを設置しないのは何故ですか？特に学校は避難所にもなる所です。また、商業施設や繁華街のネオン、TVスタジオの照明など節電時対応を常に意識すれば電力（原発）節減になります。「足る」を知る！ 特定の企業、個人、しがらみ利益をなくし、地球（宇宙）にも抗わない政治であってほしいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
新築住宅・社屋等にソーラーパネルの設置を義務付ける条例を制定する。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
学校教育で気候危機問題をとりあげる。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策5「脱炭素化への行動変容を伴う普及啓発と国内外への展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
1 新築住宅・社屋等にソーラーパネルの設置を義務付ける条例を制定する。 2 学校教育で機構機器問題をとりあげる 3 国及び県・地方自治体にも1、2を呼びかける。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び主な施策5「脱炭素化への行動変容を伴う普及啓発と国内外への展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略3『ZeroCarbonYokohamaの実現』 1 脱炭素化と市内経済の持続的な成長促進 →水素・アンモニアはエネルギー効率の無駄、市が取り組むべきモノではないので、辞める（国方針に関わらない） →専門家の意見（ちゃんと“化学者”の意見を聞くべし）	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
・なぜ、水素ステーション整備を推進するのか？ ・家庭用水素自動車は普及しないと断言します →国内はトヨタのみ、販売伸びていない →水素はエネルギー効率が悪い(前項で述べた) →市内に水素ステーションを建設するには安全基準があり建設はコスト高い →補助金なんて出さないでくださいよ →水素は、運搬・保存などにも課題多い ・FCVは業務用の一部の車のみ →市としてはEVに絞って政策を考える	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
ごみの分別回収の効果・実態の検証 ごみ回収の際にはごみの種類によって細分化し分別回収されていますが、その結果として環境負荷低減・コスト低減といった効果が実際に得られているのか、現状では確認・検証されていないのではないのでしょうか？ 例えば、 ①燃えるごみからプラスチックを除いた結果、焼却炉で生ごみを燃やすために重油を焚き、その結果CO2発生量が却って増えたり、燃料コストが高くないかとか、 ②回収したプラスチックをリサイクルするために、却ってCO2発生量・エネルギー消費が増えているかとか、 ③回収されたプラスチックが業者を経由して海外に輸出され、海外の不法業者による海洋投棄などに至って、地球環境を悪化させていないかとか、等々 本当にごみの分別回収が必要なのか、その効果と実態を改めて検証する必要があるように思えます。	参考	ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策1「プラスチック対策の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
マンション屋上への太陽光パネル設置について、具体的な対策と補助金を！ マンション部の壁等もっと活用すべきと考えます。 環境破壊の大型開発は中止して、無駄な税金は環境へ投資へ	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
再生可能エネルギー導入促進・住宅建物の省エネ化の推進（P61～64）	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び主な施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
P61～64 再生可能エネルギーの促進でマンションでの具体的対策を提示してほしい。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>zero carbon yokohamaの実現</p> <p>素案で「2030年まで温室効果ガス削減50%を目標」を明記していますが、基準の年が明確ではありません。IPCC特別報告『1.5℃の地球温暖化』では、2030年までに2010年比で45%削減し、2050年までに「正味ゼロ」としています。それによって地球の温度上昇が産業革命より1.5℃に抑えられるとしています。もし達成できなくてCO2濃度が高くなれば、後戻り出来ない状態になると警告しています。</p> <p>地球温暖化は気候危機です。CO2の排出削減は緊急課題です。ぜひこの目標達成を要望します。</p> <p>削減目標は達成するためには、CO2の排出源とその量を確認する必要があります。素案作成にあたりどうなっているのでしょうか。国全体では、発電所39%、産業（工場）25%、自動車など運輸18%、商業・サービスなど6%、家庭5%というデータもあります。この傾向は、横浜市でも同様の傾向だと推定されます。このことから、目標達成のためには臨海部の産業地域のCO2削減が決定的になります。ここで削減できなければ、目標達成できません。</p> <p>次に述べますが、臨海部において「省エネ・再生可能なエネルギーの普及・拡大」を推進することが必要と考えます。</p> <p>素案では「水素、アンモニアなどの次世代エネルギーやメタネーション等新技術の活用、カーボン……横浜臨海部に……」とあります。</p> <p>1 政府はアンモニアを次世代エネルギーとして宣伝し、開発を進めていますが、技術開発と実用化の用途は立っていません。「2030年度の温室効果ガス削減目標50%」に寄与できるか不明です。</p> <p>現在アンモニアの生産はハーバーボッシュ法と認識しています。原料もその製造に必要なエネルギーは化石燃料であり、CO2を大量に排出します。アンモニアは化学商品の基礎商品で高価です。このままでは使用できません。</p> <p>これに代わる製造方法は研究開発中ですが、完成・実用化には様々な課題があり目標達成に間に合いません。とうてい目標達成に寄与すると考えられません。</p> <p>メタネーション技術は現段階で実用化されれば目標達成に大きく寄与することは間違いがありません。しかし、原料の水素のコスト削減や大規模製造が課題となっています。製造技術の確立、実用化にはまだ年月がかかり、2030年までの7年に目標達成に寄与できるか不明です。</p> <p>2 「カーボンニュートラルポートの形成」の一つとして、「海外から輸入される液化水素ガスを貯蔵施設」を臨海部につくり、それをもとに「イノベーション創出」と解しました。これは、海外からの水素エネルギーに頼ることは、「エネルギーの自給率」を低めることとなります。</p> <p>輸入先の国が水素製造プラントを建設することが前提になります。LNGプラントと比して、高度な技術と莫大な資金が必要です。乾燥地域に建設する場合、「水資源」確保も必要です。運送費も含めるとはるかに高コストになると考えられます。</p> <p>これもまた、2030年まで実用化というか迫るタイムリミットに間に合うか不明です。以上のことから、アンモニア、カーボンニュートラルの実用化の研究は続けるとしても、臨海部の産業地域においても現に可能な技術や新技術に期待できる「省エネと再生可能なエネルギー」に切り替えて推進するべきです。</p> <p>企業と連携してCO2削減のための次のことを提案します。</p> <p>1 省エネや再生可能エネの取り組みは事業者にとって、初期投資は必要ですが何年かで回収できること、その後は利益につながることを強調したいです。</p> <p>2 省エネや再生可能エネの技術は、廃熱回収などはバイナリー発電など現在ですぐ取り組めるものが多くあります。電力などエネルギーの使用効率アップだけでも目標達成に大きく寄与します。</p> <p>3 企業との連携については大規模事業所とCO2削減のための「協定」を結び</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>同時に「グリーン減税」や低利子の「基金」を設けること。「基金」は大規模事業以外の中小事業所にも利用できるものとします。また、目標達成事業者には「グリーン寄与事業者」として公表し、企業イメージアップをするなど推進することです。</p> <p>4 事業者が太陽光発電や風力発電などの計画する場合、地域住民のとの合意、環境破壊を考慮が必要で、条例などで規制基準をつくるべきです。</p> <p>その他の地域のCO2削減</p> <p>1 農地のソーラーシェアリングを育成・推進する。</p> <p>2 無計画な宅地開発を規制し、緑地を保全・育成し、公園など市民の憩いの場にも活用する。</p> <p>以上、私の少ない知識から述べましたが、ぜひ市政の一助になれば幸いです。</p>		
<p>グリーンエネルギー 水素や電気の活用、その資源確保と供給ステーションの配置</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18 64ページ地球環境を守ることは人類の死活問題であり、行政と市民が力を合わせ取り組みます。</p> <p>原発新増設・火力発電に新増設をせず、原発0 脱炭素社会をつくるため国に対し働きかけます。</p> <p>自然再生エネルギーを各家庭に普及するため太陽光パネルの設置やリチウム電池の導入に助成制度を設けます。</p> <p>市施設の屋上に率先して太陽光パネルを設置します。民間企業者・事業者にも同様に普及を促進します。</p>	参考	<p>国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点を考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の、主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>以下の内容を政策に加える。 公共施設等への太陽光パネルの設置と活用を拡大するなど、自然エネルギーの開発、普及をはかる。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」に含まれていると考えております。</p>
<p>政策18：2030年の二酸化炭素排出50%減の目標を達成し、2050年の脱炭素ゼロ社会を実現するためには、再生可能エネの早期普及は不可欠です。一人ひとりの市民の努力は大切ですが、それでは30年には間に合わない。太陽光パネルの設置は高額な投資を伴うため、市民任せでは進まない。今までの補助金制度で実現したのはわずかです。今般の東京都の画期的な新築住宅への太陽光パネル設置義務化に向けた取組は、安定した電源と省エネを同時に確保しようとしています。工場より個人住宅の多い横浜市にも、同じように省エネ住宅の施策を進めて頂きたい。東京の住宅メーカーへの義務付けのような手法もありますが、補助金制度も組み合わせた選択の多い制度を希望します（自宅屋根には19年に太陽光パネルを設置、ただし蓄電池は資金不足で設置できず。パネルと蓄電池の組み合わせが望ましい）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策19：本年4月に施行された「プラスチック資源循環法」では、自治体は使い捨てプラの削減に取組むはずだが、スーパーやコンビニでは目立った動きはない。容器包装回収ルートで新しくその他プラも加わるはずだが、周知がない。今後の具体的な計画を広報誌に載せて頂きたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策1「プラスチック対策の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P.65政策18：脱炭素社会の推進の「4. 次世代自動車の普及促進」についてです。</p> <p>電気自動車や水素自動車は、ガソリン車に変わる自動車として普及促進を図っていますが、車両費の高額になってしまう問題や、走行距離の短さ、充電設備や充電時間の問題など、問題が多すぎます。</p> <p>高額になりがちな車両費をどうするのかは、メーカー努力等によるところも大きいですが、たとえガソリン車と同じくらいの価格になっても、充電設備の問題は課題のままです。</p> <p>今のガソリンスタンドを、少しずつ充電スタンドに転換していくことも必要ですが、ガソリンと違って、充電に時間がかかるとすると、各家庭での充電設備も必要になります。</p> <p>戸建ての家ならば、駐車スペースに充電設備を設置しやすいですが、マンションの場合は、充電スペースと駐車スペースを分けるだけでなく、充電が終わった車を、充電を必要としている車に交代させることも必要になります。</p> <p>そういったことは、マンション内で考えることかもしれませんが、多くのマンションが同じ事を考えるのであれば、市内のマンションに対して、アイデアを募ったり、自治会などを通して勉強会などを実施する必要も出てくると思います。</p> <p>2025年までであれば、市役所、区役所の車両等の変更や町中の整備の推進だけでもよいかもしれませんが、市民生活そのものに影響が出てくるような事柄についても検討を始めたほうがよいと思いました。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>気候危機対策の件について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抜本的な案がなく申し訳ありませんが、街にもっと資源を回収出来る物（又は箱など）を多く設置し、リサイクルする過程や効果をアピール出来るものを身近に掲示する。</li> <li>・燃料電池車の切り替え促進</li> <li>・電気から別のエネルギーに切り替えが難しいと思われるのと、日本はどうしても自活出来るエネルギーが無いので、火力発電→原子力発電（条件は、安全性を厳しく高める事と放射能の除去や無毒化）への切り替え</li> </ul>	参考	<p>国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点を考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。</p> <p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」及び政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>気候危機対策、風力、光発電の増進を進めてください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>気候危機対策</p> <p>ハマウイングをととも心強く思っています。一機だけでなくもっと多く設置し（技術的な問題があるとは思いますが、）「クリーンな発電横浜市」を目指したいと思えます。海だけでなく陸も。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p.63政策18</p> <p>部門別のCO2排出量グラフを見ても、家庭部門はせいぜい3割で、その他の部門の協賛なしに、ゼロカーボンを実現できない。P.70政策20主な施策2とも関わって、企業・事業所への政策誘導を強めるべきである。とりわけ大企業の果たすべき役割・社会的責任は重大だと考える。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策1「脱炭素化と市内経済の持続的な成長の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P64～66</p> <p>気候危機対策について、待ったなしの重大な問題です。再生可能エネルギーの導入を急いでください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略3</p> <p>SDGsのさらなる推進市として先頭に又子供達などに教育を進める事</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>家庭ごみ自体を減らすために、コンポストを作成した家庭の目標値の設定と支援をしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>気候変動へもつと危機感を持って対策をお願いしたい 63～64P Co2削減目標を引き上げて政策を立て向かってほしい。最先端の政策を打ち出して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>太陽光（発電）設備に対する補助金制度はありますが、太陽熱（温水）設備に対する補助金も再度、検討する必要があると思います。 太陽のエネルギーを有効に利用できる効率を考えれば、光よりも温水のほうが2～3倍高いと思います。 化石燃料の削減、脱炭素に大きく貢献すると思います。（すでに制度があるのであれば、確認不足でごめんなさい）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>資源循環の指針の意味でも各家庭に簡易なコンポストを。不織布バックで出来たコンポストなど、マンションなどでも使えるものの普及を。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略3 再生可能エネルギー導入の促進については、新築の物件の屋根には太陽光パネル設置の義務化をしてもらうのが良いと思います。開発業者には環境問題解決をもとに事業をしていることがメリットになり、利用する市民や事業者も地球環境を考えていることをアピールできます。藤沢市の一角のある町はすべての住宅に太陽光パネルがついていて、素晴らしい取り組みだと思います。良いことは真似しましょう。そこに市からの補助金も少し出してもらえれば、購入しやすくなります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>炭素ゼロは、地元企業、団体、市民との共同なしに実現できない。 中期計画(素案)の「基本姿勢」の4番目に、「脱炭素社会実現の視点」が位置付けられ、「政策18」に「脱炭素社会の推進」、「政策19」に「持続可能な資源循環の推進」が提示されている。 「政策18」には、2050年には脱炭素社会を実現するとして、「2030年度に温室効果ガス削減目標50%(2013年度比)を達成」と明記している。だが、この容易でない目標をどうやって達成するのか、示された方策は電源構成も、進め方にもリスクが多く、目標達成にも本気度が見られない。 重大なのは政府が、ウクライナ戦争の影響を口実に、これまでの「新增設・建て替えはしない」方針を転換し、原発推進に舵を切ったことである。再稼働済み10基の稼働確保、設置許可済みの原発再稼働、運転期間の延長など既設原発の最大限活用に加え、次世代原発の開発・建設を打ち出し、年末までに結論をまとめることになった。 この動きを容認すれば、「脱炭素社会」どころか、危険極まりない社会に踏み入れることになる。脱炭素に向けては、市民とともに政府の原発推進方針への転換に反対し、原発に頼らない太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を大胆に推し進めなければならない。 もう一つ、「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」には、「市・市民・事業者がそれぞれの責任において脱炭素社会を目指すことが求められている」と書かれている。しかし、「関連する産業を新たな成長産業として発展させる」、「市は新たな技術革新のプラットフォームとして積極的な役割を果たす」と強調されており、これまでの大企業支援中心、地元企業軽視、市民不在の進め方が強まるのではないかと、原発、火力発電の大規模中央集中型システムを転換しない限り、その危惧を排除できない。 われわれは、大規模中央集中型システムと根本的に異なる地域に根差した分散ネットワーク型システムへの本格的移行を検討することを提案したい。たとえば、再生エネルギーの地域資源を最大限活用して発電、蓄電、配電、さらには省エネルギー事業を行う公社を市主導で創設し、ここが中心となって市内各地の中小企業、協同組合、NPO法人、市民の参加と協働を強力に推し進める壮大な地産地消のエネルギーシステム構築である。 この構想の肝は、市民各界の積極的理解と参加、協働の力を最大限結集できることだ。それなしに、2030年度までの削減目標の達成は、願望に終わるに違いない。</p>	<p>参考</p>	<p>国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点を考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。本市としては、2050年ゼロカーボンの実現に向けて、再エネの普及・拡大に取り組んでまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市が進めている、資源集団回収事業は、地域の役員が、平均79～84～91歳の高齢者に依存している現状です、更にその資源を持っていく、方はコストが低く、仕事としては、できないと、断られました。</p> <p>市に、相談すると、回収業者は、紹介するが、仕事を受けるかどうかは、保証しないとのこと。今は、何とかお願いして月に1回のみ回収していただけますが、いつまで続くかわかりません</p> <p>この現状をぜひ、考えて貰いたいです</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>大都市横浜が全国に誇れる市民本位の市政の推進を市民の市長「山中さん」でぜひ実現を。市民もがんばります。</p> <p>気候危機への本気の対策を！未来が不安です。CO2削減13年比50%を今すぐ取り組んで下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>気候危機対策、未来に希望が持てるよう具体的に取り組んで下さい</p> <p>カジノ中止で市長の英断、市民が応援しています。がんばって！</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>気候危機への本気の対策を</p> <p>自分個人では何も出来ないとはいえ努力はしている。しかし、パネルをつけるにもお金が必要。これは半分以上の義務化は必要。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>気候危機対策をやって欲しい</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>気候危機への本気の対策を。(63～64P)</p> <p>2030年CO2削減目標（13年比50%）の引き上げを屋根への太陽光パネル設置を開発事業者に義務化</p>	参考	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>P61～64再生可能エネルギーを導入して下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>気候危機再生可能エネルギーの促進</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策18 3 住宅・建築物の省エネ化の推進→特に住宅の断熱化は重要だと思います。事業者への教育と支援、また現在も行われている断熱化住宅工事の補助金の増額が良いと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P63に市民・事業者等の多様な主体と連携し、温室効果ガスの削減を進めることで、2030年度に温室効果ガス削減目標50%（2013年度比）を達成し、2050年には脱炭素社会が実現しています。温室効果ガスの影響により市内の平均気温は年々上昇しており、パリ協定を踏まえ気温上昇を1.5度に抑えるため、これまで以上に温室効果ガス排出削減の取組を加速化する必要があります。とありますが、IPCCは、温室効果ガスの削減対策などに関する報告書を8年ぶりに公表し、「1.5度」に抑えるには、世界全体の温室効果ガスの排出量を遅くとも2025年までに減少に転じさせたいと、2030年に2019年と比べて43%程度、2050年に84%程度まで大幅に削減する必要があるとしています。2030年に2019年と比べて43%程度というのは、横浜市の場合、2013年度比で、約55%の削減が必要ということになります。IPCCの報告をベースにすると現行の2030年50%の数字では1.5度に抑えられない、ということになります。また、ドイツのシンクタンクは、日本の温暖化対策をパリ協定の1.5度目標と整合させるには、国内の温室効果ガス（GHG）排出を2030年までに2013年比で60%以上削減する必要があると記載しています。</p> <p>これはIPCCの「1.5度特別報告書」をベースに試算されており、IPCCが含んでいた、現在では未実証のCO2除去・削減技術の活用分が過剰ではないシナリオを選んだ結果、60%以上の削減が必要という結果が試算されました。横浜市の実行計画も、1.5度に整合性のある数字で設定されるのであれば、2030年にカーボンハーフではなく、55%や60%以上の設定が正しい数値かと思います。ご検討よろしく願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>P63に市民・事業者等の多様な主体と連携し、温室効果ガスの削減を進めることで、2030年度に温室効果ガス削減目標50%（2013年度比）を達成し、2050年には脱炭素社会が実現しています。温室効果ガスの影響により市内の平均気温は年々上昇しており、パリ協定を踏まえ気温上昇を1.5度に抑えるため、これまで以上に温室効果ガス排出削減の取組を加速化する必要があります。とありますが、大都市としての責任を果たし、かつ、未来を担う子供たちに良好な環境を残していく想いで、もっと高みを目指した60%以上の排出量削減の目標設定をし日本の脱炭素社会への移行をリードして行ってほしいです。横浜市の温室効果ガスの年々の削減率を見ると、2030年に50%削減することは実現可能な範囲にあると感じました。横浜はZeroCarbonYokohamaを掲げており、横浜市脱炭素条例も昨年施行され、これからの日本の脱炭素社会を引っ張って行く立場にあると思います。そんな横浜の市民であることを誇りに思いますし、横浜市と一緒に自分にできることを一つずつ行っていきたいと思っています。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>P63に市民・事業者等の多様な主体と連携し、温室効果ガスの削減を進めることで、2030年度に温室効果ガス削減目標50%（2013年度比）を達成し、2050年には脱炭素社会が実現しています。温室効果ガスの影響により市内の平均気温は年々上昇しており、パリ協定を踏まえ気温上昇を1.5度に抑えるため、これまで以上に温室効果ガス排出削減の取組を加速化する必要があります。とあります。2020年の横浜市の温室効果ガス排出量は、1648万トンで、2013年度比で▲24%とあります。7年間で24%減少しているのであれば、年率3.4%減少していることになり、2020年～2030年の10年間で、合計34%削減できて、2030年までに▲60%ほどの削減は可能ではないでしょうか？現在2013年度比で2030年に50%削減する計画になっておりますが、年々暑くなっておりまして、先日も、10月1日というのに最高気温は28度となり、今後の温暖化で子供たちの生活がとても心配です。達成できそうな目標ではなく、達成するために背伸びをして努力しなければいけない数値を掲げることで、より一層地球温暖化の対策に対して、早期に舵をきることができるのではないのでしょうか。地球のティッピングポイントを超えてからの施策は手遅れになると思います。大都市としての責任を果たす意味でも、かつ、未来を担う子供たちに良好な環境を残していく意味でも、ご検討のほどよろしく願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>気候危機対策 ゼロカーボン横浜の実現を。再生可能エネルギーの促進・住宅・建築物の省エネ化の推進していただきたい</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略3『ZeroCarbonYokohamaの実現』(P61～) (P61)脱炭素社会の実現◆環境と経済の好循環の創出の項目にて、企業と連携した臨海部におけるイノベーション創出の取組の一つとして「メタネーション技術」について記載されている点は、脱炭素社会実現には非常に重要であり賛同いたします。本技術は、将来横浜市民の皆様のエネルギー利用に関わる技術でも有ることから、よりご理解頂けるよう以下の通り枠外に注釈を追記する事をご提案いたします。 ※メタネーション…「二酸化炭素と水素の反応により、都市ガスの主成分メタンを生成する技術」（横浜市地球温暖化対策実行計画改定素案P29より）</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』にメタネーションの注釈を追記しました。</p>
<p>(P62) &lt;関連データ&gt;に、横浜市地球温暖化対策実行計画改定素案(P29)に掲載されている「2050年脱炭素化のイメージ」を追加掲載する事を提案いたします。 【理由】 (P62) &lt;関連データ&gt;「地域循環共生圏の例（再生可能エネルギーに関する広域連携）」に掲載されている「ゼロカーボン実現のイメージ」では、全てのエネルギーを再生可能なように誤解が生じる懸念が有ります。横浜市温暖化対策実行計画改定素案の「2050年脱炭素化のイメージ」は、(P61)脱炭素社会の実現にて掲げられている「イノベーションの創出と再生普及、徹底した省エネ」の位置付けがより明確に伝わると考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>(P63)現状と課題に記載のある「水素等の次世代エネルギーの活用」について、以下の通り追記する事をご提案いたします。 ・脱炭素化と市内経済の持続的な成長に向け、臨海部でのイノベーション創出、水素やアンモニア、合成メタン等の次世代エネルギーの活用、市内企業の99.5%を占める中小・小規模事業者の脱炭素経営の支援が必要です。 本提案は(P64)政策18「脱炭素社会の推進」◎主な施策1についても同内容といたします。 【理由】 次世代エネルギーの活用においては、供給インフラや利用機器の投資も含めた経済合理性の観点が重要です。水素のみならずアンモニアや合成メタンについてもそれぞれの用途に対応する活用が見込まれており、「次世代エネルギーの活用を進めていくのは水素のみである」と市民の皆様に誤解されるような記載とならない方が良く考えます。また、現在の技術で活用が見込まれているものについて記載することで、市民の皆様により明確に方向性を示すことができます。追記が難しい場合においても、枠外にて「次世代エネルギーとは、水素やアンモニア、合成メタン等」と注釈を加えることをご提案いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。なお、等の中にアンモニアや合成メタンは含まれるという認識ですので、ご理解のほどよろしく願います。</p>
<p>P.63の政策18について、再生可能エネルギーへの転換を促進するため、横浜市による電力買取制度、再生可能エネルギーや燃料転換の助成制度、公共施設への再生可能エネルギー設置義務、市民共同ファンドなどを導入、強化すること。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18-4 次世代自動車の普及促進(P.64) 政策37-4 カーボンニュートラルボートの形成(P.114) 横浜市に拠点を置く日産自動車と連携し、水素エンジン車の普及をして、横浜市を最先端な水素エンジンの街にしてはどうか。市バスの水素エンジン化と利用者の少ないローカルバスの小型化でコスト削減。 EV車はコストは安いですがパーツ数が内燃機関エンジンと比較して1/10となり、雇用が失われる。国際的に誇る内燃機関の技術を火を消すと後戻りはできないためにぜひ検討してもらいたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>街づくりとCN（CarbonNatural）の観点から下記の通りのコメント致します。                      P64戦略3『ZeroCarbonYokohamaの実現』循環型社会の実現                      ごみ処理に伴う脱炭素化の推進とエネルギーの創出                      ごみ焼却工場で創出した環境にやさしいエネルギーの地産地消、脱炭素化へ向けた新技術の検討を進めます                      ごみ焼却工場で創出するエネルギーをより安定供給と増大させるために、原料となる焼却ごみ（家庭ごみ、可燃ごみ、枯れ葉、雑草等）を再生可能エネルギーと規定して、地域挙げて収集させるシステムを構築する。                      その結果、地域コミュニティ（町内会など）と協働することで、環境活動や美化活動、健康づくりの一環として、地域連携することが可能になる。                      また、民間協働する事で、環境局の負担を低減と地域のシニア世代の副収入源を中心とした雇用の創出になる。                      （関与可能な政策は下記の通りです）                      P40政策7市民の健康づくりと安心確保健康づくりの取組みの一環。                      P44政策9地域コミュニティの活性化協働による地域づくりの推進                      P46政策10地域の支えありの推進地域と関わりながら自分らしく健やかに暮らせる社会                      P54政策14暮らしと自立の支援経済活動や地域の見守り活動等の停滞の影響を受け、生活に困窮する人、地域で孤立する人の支援。                      P56政策15高齢者を支える地域包括ケアの推進。個々の健康状態や関心に応じて参加できる場の提供。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策3「環境にやさしいエネルギーの創出と脱炭素化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P：64 項目：zerocarbyokohamaの実現                      主な施策                      2 再生可能エネルギーの導入の促進                      基本的方向は支持しますが、普及し易い太陽光発電をもっと重視した方が良いと思います。                      ドイツやデンマークの例を出すまでもなく、中国、インドでも普及し、世界では太陽光発電は最も安い電力になっています。FIT制度を充実させる、市で補填するなども含め、戸建ての家を中心に普及させること。農地については、農業と太陽光発電を両立させて普及させる（事例は沢山報告されている）ことが重要です。                      また、施策でも触れているとおり、蓄電池が重要です。小学校区に一つ大型蓄電池を設置するなど、大胆な取り組みで、大量生産で大型蓄電池価格を引き下げさせることが出来れば、普及に弾みがつきます。                      大型蓄電池を造っている企業は県内に有りますが、残念ながら、日本で注文が少なく、主に、中国などに輸出している実情があります。                      また、国に要望し、送電線を国有化させれば、他県との協力関係をつくる事が出来、北海道や九州で作った電力を利用することも可能になります。                      太陽光発電が外国で普及している事例は簡単に入手する事が出来ると思いますので、是非、良い例を参考に大胆な普及策をこじってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>以下、（素案）には述べられていない提案を記させていただきます。                      横浜市を持続可能な財源横浜市による独自の脱炭素事業の公社を立ち上げることを提案します。                      ちなみに、戦前の大阪市では、自治体の電力事業の収益が他の一般財源を支えていたとのことです。                      今、横浜で考えることのできる脱炭素化事業としては、次のようなものを上げることが出来ます                      ①市の施設の屋上や、民家の屋根に太陽光・太陽熱パネルを乗せること（いわゆるPPA）                      ②建造物の省エネ化とそのメンテナンス（中小企業をささえる有力な事業となあります）                      ③地下熱利用による、冷暖房を補助するための地域的システムの設置                      学校の校庭や、市の公園の地下を利用することができるように思います。                      ④下水からの料の抽出                      その他、他の自治体との共同による                      ⑤洋上風力発電というのも考えられます。（伊豆7島の近辺では、十分な風力が得られるようです。）                      以上、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>p.61「2030年度の温室効果ガス削減目標を50%」 地球の平均気温はすでに1.2℃上昇しています。このままだと2030年までにティッピング・ポイント1.5℃をこえてしまいます。「2030年度の温室効果ガス削減目標を50%」は、1.5℃目標を達成するには不十分です。横浜市はゼロカーボン市町村都市会長やC40加盟都市なので、削減目標は「65%以上」を掲げ、日本の温暖化対策を進めてください。どの目標なら達成できるか、ではなく、どの目標を掲げれば気候危機は食い止められる可能性があるのか、と本質的に考えて、目標設定をしてください。気候危機は命の問題です！私は30代女性ですが、こんなに気候危機が深刻な中で、もう子育てはしたくてもできないので、子どもを持つことをあきらめようとしています。</p> <p>どうして、まだ温暖化対策実行計画が改定途中なのに、大切な削減目標が決定してしまっているのでしょうか？2月に山中市長が発表してから、議会でも十分議論されておらず、審議のプロセスも全く分かりません。私たち市民は、この目標は1.5℃目標に整合しないと、ずっと声をあげています。意見交換会から言っていますが、この声は無視され続けていると感じています。私は、横浜に、日本で一番高い2030年温室効果ガス削減目標を掲げて、日本の温暖化対策をリードする都市になってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>p.61「環境と経済の好循環の創出」 横浜市役所職員や市議会議員と話していると、まだ脱炭素・温暖化対策が経済的に難しいという声を山ほど聞きます。「環境と経済が両立すること」「気候変動対策と環境保全なしに今後企業の成長はない」「脱炭素対策で新しい雇用やビジネスが創出される」ということを全職員・議員に浸透させてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P61「徹底した省エネと再エネの普及拡大」「環境性能の高い住宅・建築物の普及促進」等の対策、ととても重要です！市民啓蒙以上にこれを浸透させていくことで大幅な温室効果ガスを削減できます。これまでの横浜市の温暖化対策に具体的なロードマップが見えないので、「できる範囲でやる」のではなく、「絶対にやる」という覚悟を決めて、具体的なロードマップを示してほしいです。</p> <p>そこで、それぞれの項目に、「2030年に向けた具体的な対策のロードマップを作り」という内容を入れてはいかがでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P61「脱炭素社会の実現」に、市民への行動変容を促すとありますが、「市民とともに脱炭素社会を実現する」という内容がないことに関心しました。何度も温暖化対策統括本部に温暖化対策実行計画がよりよいものになるように意見交換をしたり、質問をしてきています。しかし、市民参加条例があるにも関わらず、その姿勢が全くみられず、大きな問題だと思います。なので、「市民参加、市民との協働のもとで脱炭素社会を実現する」としてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p.62「新たな2030年目標設定の考え方」のグラフ 2050年から2030年までの濃い青い矢印が読者に誤解を与えます。矢印の先は2030年60%削減くらいを指していて、あたかも沢山削減するように見えています。点線があれば十分意図は通じるので、濃い青い矢印は削除でよいと思います。</p> <p>また、「バックキャストिंग」とありますが、炭素予算の観点からバックキャストिंगで考えると、2030年削減目標50%では1.5℃目標は守れないので、全然逆算できていないです。2050年までに直線的に線を引いて2030年の削減目標を決めるのは、あまりにも単純すぎます。</p> <p>温暖化対策をリードする存在の横浜なので、気候危機を回避するためには2030年までの大幅な温室効果ガス削減が必要だということをグラフでしっかり示してください</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>p.63「市民・事業者等の多様な主体と連携し、温室効果ガスの削減を進めることで、2030年度に温室効果ガス削減目標50%（2013年度比）を達成し、2050年には脱炭素社会が実現しています」とありますが、2050年に脱炭素社会が実現したとしても、このままだと2030年までにはティッピングポイント1.5℃を越えてしまうと科学者がいっています。2030年に向けた中期計画なので、1.5℃目標への言及を随所に入れてください。2050年カーボンニュートラルのことばかり言っていると、気候変動対策の本質を見失っているように思います。2030年50%削減では、1.5℃目標は守れません。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p.64「再エネ切り替え者数」2500件は、気候危機を回避するためには少なすぎます。 国の方針では、2030年に向けて再エネを36～38%に拡大していく予定なので、これを横浜市にも適応すると、全177万世帯の36%で63万世帯は再エネになります。そうすると、CO2削減見込み量も27万トンから100万トンになります。家庭の再エネ電気への切り替えはもっと進んでいくポテンシャルがありますし、進んでいくような施策をこれまで以上に横浜市にはがんばってほしいです。そうすれば、2030年温室効果ガス削減目標は少なくとも60%以上は削減できると思います！ 研究者の試算によると、かなり現実的に見積もっても、横浜市は62～65%削減できます。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>p.64「住宅・建築物の省エネ化の推進」 こちらに書いてあるように、「等級6または7（最上級）」の断熱性能を備えた住宅を普及させるのがとても大切だと思います。本気でがんばって、家庭部門のCO2を大幅に減らしてほしいです！応援しています！ そうすると、施策指標の「省エネ性能の高い住宅」がどれだけの等級のものなのかよく分からなかったです。建築物省エネ法に基づく基準だとすると、横浜市はすでに高い等級を普及啓発してきているのですから、不十分だと思います。最初から高い等級で普及させたほうが、経済的にも環境効果にもお得だと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>p.64施策指標の件数、戸数、台数がパーセンテージでも示されないと、どのくらい普及されるのかが分かりづらいと思いました。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p.64「5脱炭素化への行動変容を伴う普及啓発」ですが、市民の行動変容の呼びかけが、むしろ市が率先した温暖化対策をしないための言い訳になっているように思います。 市民に啓発するのではなく、気候危機の深刻さをすでに理解している市民をもっと巻き込んで、「市民参画・市民協働の脱炭素社会実現」に書き換えをお願いします。 現在の統括本部は、市民参画を拒んでいるのではないかと思うほど、素案説明会等や意見交換会で、市民の質疑やディスカッションの時間を設けてくれています。問題だと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策5「脱炭素化への行動変容を伴う普及啓発と国内外への展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P60～66の戦略3 ZeroCarbonYokohamaの実現についての意見 先日、日本国内のメディアが「1.5度の約束—いままさく動こう、気温上昇を止めるために」というキャンペーンと番組を放送しました。世界の平均気温の上昇を、1.5度に抑えることは、世界各国の間で合意された約束であり、これを達成することは人類全体にとって急務であると言えます。気温上昇によって、気候災害の激甚化のみならず、干ばつ、氷床の融解、海面上昇、気候難民の大量発生などが、すでに危機的なまでに深刻化しています。 今回の素案も、1.5度について言及しているものの、本市の削減目標を2013年度比の50%と、極めて低い目標に設定しています。日本は世界でもトップクラスの排出責任を担っています。そして大都市である横浜は、より高い削減目標を掲げなければ、1.5度を達成するための目標として不十分であります。 ぜひとも、50%よりもっと高い数字、2030年までに2013年度比で60%以上の削減を掲げるように、改訂素案の内容を変更して頂けるようお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
P63の政策18で、イノベーション創出や脱炭素経営など、経済成長や企業の成長の原動力として脱炭素化や再エネ導入を掲げているにもかかわらず、屋上太陽光パネルの設置について言及がなされていません。環境省の試算では屋上への太陽光パネルの設置による太陽光発電のポテンシャルが高いと指摘されています。施策指標として屋上への太陽光パネルの設置を含めてください。また施策指標に再エネ切り替え率などが提示されていますが、この数値も2500件と低すぎるため、より高い目標を掲げてください。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
2030年目標設定の考え方が62pで提示されていますが、このような安易な設定方法で50%削減を決定したのであれば、即刻目標を上方修正してください。2030年までに世界の平均気温の上昇が1.5℃に達する可能性が指摘されている中で、なぜ2030年度目標は「バックキャスト」などという根拠不明な考え方で規定されているのかが分かりません。気候崩壊を回避するために炭素予算の観点を導入して目標を設定してください。	参考	本市の2030年度温室効果ガス削減目標「2013年度比50%削減」は、国の目標などを総合的に勘案して掲げた一層の取組が必要な目標です。パリ協定の1.5℃目標を念頭に、2050年ゼロカーボンに向けて、全力で取り組んでまいります。
P63に市役所が市内最大級の排出量を誇る事業者として市役所の存在が指摘されていますが、率先して脱炭素化を目指すのであれば全体目標の50%削減よりも高い目標を掲げるべきではないでしょうか？ただでさえ「温暖化対策実行計画市役所編」はパブコメで市民の意見を募集していないのに、このような姿勢で市を「率先」していると言えるのでしょうか。横浜市全体の削減目標を60%以上に掲げつつ、市役所はさらに65%削減を目指すとして初めて「率先」していると評価できるのではないのでしょうか。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
61頁「ゼロカーボン横浜」これも高齢者に分かり易く、脱炭素で良いであろう。流行に流されやすく、高齢者も含めた市民を全然見えない現れである。脱炭素を言うからには、ハコモノ再開発建設ラッシュをやめることである。緑を破壊し二酸化炭素を増やす、花博もテーマパークも山下埠頭再開発もやめるべきである。都合によって、脱炭素と言ったりひっこめたり誤魔化したりするのはやめるべきである。	参考	ご意見につきましては、戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
①公共施設等への太陽光パネルの設置と活用を拡大すること。 ②自然再生エネルギーの開発と活用をすること。 ③市内事業所への二酸化炭素の排出を抑える施策を強化すること。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
生ごみ処理のコンポストの普及を提案します。40年前から生ごみはコンポストで処理し、出来た肥料は家庭菜園で利用しています。焼却によるCO2の排出を削減でき一石二鳥です。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「持続可能な資源循環の推進」主な施策2「食品ロス削減の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に推進してまいります。
気候危機へ本気で考えた対策をお願いします。大型開発はやめて。市民の為になる開発を。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜市が率先して、地球の温暖化防止対策を推進して下さい。 ①二酸化炭素を削減する。再生可能エネルギーの導入の促進 ②市民に気候危機の実態を理解してもらえるような情報の提供、時にはキャンペーンやイベントを企画する	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
地球温暖化を防ぐアスファルトをなるべく使用することを求めます。	参考	ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>気象危機対策として、原子力発電に依存をしないで、再生可能エネルギー導入の促進も進んで実現する方向で進めていただきたいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点を考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の、主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>お願い・プラごみが多いです。回収2度。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市議会が2030年度の温室効果ガス削減を50%とする目標を超党派で決議し、市の戦略と定められ、市民が事業者等と連携して取り組みを進めていることは大変心強い限りです。 しかし、すばらしい戦略もそれを実行する現業部門が具体的な行動に移さねば絵に描いた餅です。現在ボランティアで森づくり活動に携わっておりますが、ビジョンを実現する実施部門に明確な目標設定が皆無の様に感じられます。例えば、樹木の落葉などは大きな公園では園内処理が可能と思われるが、ごみとして焼却に出されております。CO2の削減目標を確実に達成するため、落葉処理の工夫が不可欠ではないでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>気候危機について 気候危機は深刻だと思います。再生可能エネルギー導入促進を望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略3政策18の脱炭素社会の推進(61-64ページ)に関して意見を述べさせていただきます。</p> <p>再生可能エネルギーの推進、特に建物(個人住宅含む)への太陽光発電パネルの設置を推進する動きを大変危惧しております。以下の理由から、太陽光発電パネルの設置促進を中止して頂きたいと願っております。</p> <p>①パネルの原料には、鉛、ヒ素、水銀等多くの有害物質が含まれており、台風などの暴風雨により崩落する危険性があり、崩落による破損等で有害物質が放出され周辺住民に健康被害が及ぶ可能性が高いと思われます。暴風雨による崩落や破損は全国に展開されているメガソーラーで既に頻発し問題になっています。またパネルの表面をくもらせないための化学物質入りの大量の洗浄液による汚染も心配です。</p> <p>②パネルの原料にはレアアースが含まれているが、レアアースの鉱床には放射性物質が含まれている上、それを採取するため危険な化学物質が使用されるため、採掘現場で働く人や周辺住民に核汚染、化学物質汚染、被害をもたらしています。これは大きな問題です。</p> <p>日本で使用されている太陽光発電パネルに採掘現場で働く人や周辺住民に健康被害をもたらさないで調達されたレアアースのみが使用されているとは考えられませんし、日本で使用される太陽光発電パネルに含まれるレアアースが、公害をもたらさない手法で調達されたレアアースかどうかのチェックもされていないと思われま。</p> <p>③太陽光発電パネル設置により大気温上昇がひきおこされます。2階建ての家屋の隣の平屋の屋根にパネルが設置された場合、気温が30度Cくらいの時、2階建ての家屋の2階の室温は50-60度Cとなり、そうなるとエアコンもきかず2階の部屋は使用不能となり、隣家とトラブルとなったり裁判沙汰になったという事例が増えているとこのことは大きな問題と思われま。</p> <p>④③で述べたことは、太陽光発電パネルを設置した家屋の隣家が近くになっても、太陽光発電パネルが大気温度の上昇を引き起こしているということも示しています。気温が上がると、パネルが熱源状態になり上昇気流を発生させてしまいます。個人住宅の小さな規模でもこうなのですから、日本全国に設置されているメガソーラーからの影響はいかばかりかと思われま。太陽光発電パネルの設置は地球の温暖化対策のはずですが、太陽光発電パネルにより温暖化が抑制されるのではなく、逆に温暖化を促進させるということなのではないでしょうか。そして、上昇気流を発生させるわけですから、最近の異常気象の大きな原因のひとつともなっているのではないのでしょうか。</p> <p>⑤気温が上昇すると発電能力も半減するということもあり冷却装置付きのパネルが研究開発中とのことですが、たとえ実用化されたとしても、装置の製作に資源とエネルギーが必要なら、冷却にもエネルギーをつかうことになり、エネルギー効率が悪化することにつながるのではないのでしょうか。太陽光発電というのは製造に多くの資源と大量の電気を消費することや発電量の変動が大きい調整電源として火力発電が必要になるというデメリット及びメガソーラーの場合は自然破壊によりCO2を吸収する植物を激減させるということも考え合わせると推進すべきものではないと思われま。</p> <p>⑥太陽光発電パネル設置で生じる電磁波が健康を脅かす可能性があります。自宅や会社に太陽光発電パネルを設置したことで電磁波過敏症を発症した例があります。</p> <p>⑦火災時は通常の火災とはけた違いに危険で消火が困難とされ住人の安全が脅かされます。</p> <p>⑧パネルの耐用年数が過ぎた後の処分にも問題があります。パネルは数多くの有害物質を含み、処分に困難をきたすため深刻な社会問題になる可能性が大きいとされています。</p> <p>また風力発電も原料に大量のレアアースを使用していること(①に記した崩落した場合の有害物質の放出、②に記した採掘現場や周辺住民への健康被害)、⑤に記した製造に多くの資源と大量の電気を消費することや発電量の変動が大きい調整電源として火力発電が必要になるとのこと、また自然破壊によりCO2を吸収する植物を激減させること、⑧に記した処分の困難さ、に加え、騒音や低周波音による健康被害をもたらすので推進すべきでないと思われま。さらに原発に関しても、放射能の危険性や放射性廃棄物の処理問題等に加え、冷却に大量の海水を使用することによる海水温の上昇により地球温暖化を促進していると思われまので推進すべきでないと思われま。</p>	参考	<p>国全体のエネルギー政策につきましては、経済性や、環境への影響など、さまざまな観点を考慮し、国で総合的に判断されるものと考えています。ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の、主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>園庭を利用した生ごみ（給食、弁当の残り）の堆肥化を推進して（モデルとして）ゆくゆくは全世帯の生ごみの堆肥化を実現してほしい。 私は30年以上生ごみを自宅で処理しています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>私は神奈川区に住んでいます。街中にはいつもごみが散らかっています。特にごみ出しの日の前後はカラスによるごみの散乱がひどいです。収集分別を守れない単身者アパート、マンションの付近はまるで、ごみ街道です。このごみはマイクロプラスチックとなり海外に飛んでいきます。 掘割やみなどみらいの海を汚します。何とかならないでしょうか。皆で町の清掃日を作り町の清掃をしなければ、やりましょう。 カラス除けごみ箱の設置を地域だけに丸投げしないで援助して下さい。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>この夏驚いたことがありました。市役所付近の町でのことです。 カラスの死骸が2か月以上そのまま放置されたままです。皆が無感染症のこともあって心配な街です。 街で携帯電話をしながらのタバコのポイ捨て、ごみの放置も気になりました。 横浜市役所まで歩いて10分もかからない場所ですが、どうかして欲しい。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>P65②再生可能エネルギー導入の促進 ソーラーパネルには有毒物資が含まれており、処理の際の問題、自然災害時に流されたり、火災の際は関電の恐れがあるので水で消化できない、などの問題がある。 森を切り開いての設置など全国で問題になっている。 さらに、製造元も中国製のものがほとんどで、人権問題も懸念されている。ソーラーパネル＝エコという嘘を無知な市民に広めるべきではない。又そのようなことに、税金を投入すべきではない。そのような財源があるのなら、中学校の給食に投入すべきだ。子供は国の宝だ。くだらない政策はやめて欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P64政策18施策2「再生可能エネルギー導入の促進」 特に太陽光発電・風力発電は、電力安定供給を疎外するものでしかない。よって、これらの導入促進のために、市税を使うことに反対する。 同時に施策4「次世代自動車の普及促進」についても発電設備への負荷を高めるだけである。これらのインフラ整備に多額の市税をかけるべきではなく、他の事業へ予算へ振り分けるべきと考える。 結局は、国策となってしまった「脱炭素化」という宗教に踊らされているだけなので横浜市は国へこの国策を破棄する様、提言していただきたい。国力を削ぎ、日本国を更に低落させるだけとなる。（FIT・FIP制度廃止）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び施策4「次世代自動車の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策19 ごみの収集について 収集車の入らない狭い路地沿いの空家跡地に、単身者用のアパートが建ち、その住人のごみトラブルがたえません。管理者は在住していないため、ごみ出しのルールも徹底しません。収取場の者が分別されていないごみの片づけをすることが度々です。 ごみ収集車の入らない土地の単身者用アパート建設に何らかの規制をかけて下さい。業者に建築許可を出す際ごみ収集を考慮した方法を検討して下さい。ごみ集積場に分別されていないごみを出していくことでトラブルが多く、注意のしようもありません。 狭い路地で収集車が入らない地域のごみ出しについては、市としても対策を考えて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略3、政策18～19）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市内小学校のものです。総合的な学習の時間でSDGsについて取り組んでいます。今回、持続可能な街づくりに関連して、パブリックコメントに意見を出すことにしました。</p> <p>私達の住む東戸塚の街に望むこと。</p> <p>子どもが参加しやすいイベントの開催（移動動物園、移動図書館、水遊び、ハロウィンなどの祭り、ドッチボールやマラソン大会）</p> <p>学校などの枠を超えて気軽に参加できる街のイベントがあると、もっとこの町を好きになっていくと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます</p>
<p>政策18脱炭素社会の推進 ブルーライト・ヨコハマ計画 〔横浜市を水素燃焼で“キレイな町”に〕 政策18脱炭素社会の推進に関する意見 水素ガスとメタンガス（都市ガス）混合燃焼 〔徐々に、都市ガスと水素を混ぜながらブルー化する〕 各社水素ガス燃焼機器・装置 〔徐々に、都市ガスと水素を混ぜながらブルー化する〕 …H2-HSGB型水素バーナ …微小な水素火炎を用いたガスタービン燃焼器 …水素専焼バーナを搭載した小型貫流ボイラ カーボンニュートラル(CN)の切り札・水素燃焼活用 ・CNには水素消費が最大の切り札 ・水素活用には、燃焼が最も効率の良い方法 ・工場生産現場の工業炉・ガスタービン・ボイラの燃料を都市ガスから水素ガスへ転換 ・都市ガスへ水素ガスを徐々に混ぜながら水素燃焼を普及 ・横浜を核とした、水素調達・活用・消費の広域コミュニティを構築 ・横浜に有る水素関連組織と施設 ・水素を作り溜める ・東京&amp;川崎に有る水素関連組織と施設 ・水素燃焼技術を研究する ・水素キャリアMCHを輸入・処理・水素を作る ・横浜～川崎～東京に広がる広域消費地域・臨海京浜工業地帯</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>みなとみらいは、緑も多く、大きな木の新緑や枯れた落葉のようにも、季節の移り変わりが感じられます。ごみも無くとても気持ち良い所です。</p> <p>ところが一歩外に出ると、なんとごみの多い事か。例えば、花咲町6丁目の入口は高速道路と隣接していて、ごみがいっぱいです。これでは、ぬぎちらかした玄関に花を飾っているようなもの。また、街の植え込みも草ぼうぼうだったり、ごみのポイ捨てが有ったりします。</p> <p>公園など少しづつきれいに手入れされるようになってきましたが、街をきれいにすることが、花博などの一歩かと思えます。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追加しました。</p>
<p>戦略3の19 太陽光発電パネルを全ての公共建物に設置することを速やかに実行してください。学校などの屋上など、たくさん使えます。 また、団地の屋上などには設置を義務化すべきだと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策6「市役所における脱炭素化に向けた率先行動」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「38の政策」について                      政策の優先順位を考えた場合、財政的な観点からでは、扶助費としてずっと費用がかかっていく「自然人への投資」よりも「法人への投資」の方が投資効率は良いはずですが。                      I Rを諦めた以上、それ以上に収入インパクトがある施策を生み出さなければならぬはずなのに、それが見受けられない。                      端的に言って、「横浜は何で食っていくべき」とお考えなのでしょうか。                      私は、「移民や来日観光客の受入拡大で食っていけばよい」と考えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」で「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を掲げ、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指し、市民生活の質と都市の活力の向上の好循環へつなげていきます。」と盛り込まれています。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜はかつて「国際都市」としての地位を確立し、日本随一の華やかな都市でありました。                      それは、外国人居留地や一種の治外法権的な雰囲気があり、外国の文物の玄関口であったからです。                      ならば、その成功例にならない、横浜を「入管難民法の特区」とし、在留・就労資格を日本国とは決別した独自の制度を確立し、再び「外国人や移民受け入れて栄える」施策に方向転換を図ってはいかがでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>38の政策のうち、少なくともM I C Eでの来訪者27万人は過大と思われます。M I C Eを政策に上げた場合によくあることのひとつに、会議だけ呼んで満足し都市の産業に資さない、と言うことがあります。その意味において、今横浜市に必要なのはM I C Eで呼び込んだ知識を、横浜市の産業に定着させるための基盤づくりの方と思われます。なお、この基盤とは会議場のことではなく、例えば労働環境や、図書館・大学をはじめとした研究環境の整備です。もともと横浜市は産業と知識の結びつきは市の発展上結構結びついてきたので（絹製品の発展や正金銀行はじめ海外金融の機能獲得、京浜工業地帯など）、それは受け入れやすいと思われます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策22「観光・M I C Eの振興」の主な施策4「グローバルM I C E都市としての競争力強化と魅力向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略」について                      環境と文化面が弱いように感じる。国際的にも選ばれる都市となるために、その両面をもっと強化してほしい。国内対策だけでなく、開かれた都市よこはまをもっと強調したい。                      これから世界から選ばれる都市になり海外から人や企業が集う都市になるためには、市民がみな英語は最低話せる、第2外国語の得意な言語も持っている、市内事業者、企業も英語対応は当たり前、という都市を目指したい。実質的に海外からも訪れたい都市NO1、住みたい都市NO1、働きたい都市NO1、企業誘致したい都市NO1になるためには、シビックプライドの醸成と並行して、私たちのマインドと言語を変えることが必須と思う。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>中小、小規模事業者の経営基盤強化にBCP事業継続計画の考え方の普及があると思います。このような考え方の普及定着を中期的に行える仕組み作りを構築することが必要であると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【住民票等、横浜市からの証明書類のローマ字・西暦・英語表記の実施】 種々施策を読ませて頂きましたが、まずは足元ですぐにやるべき事から実施検討を早急をお願いします。</p> <p>現状は、国際都市を目指す横浜市が発行する証明書が英語表記さえできない、国際的に通用しない実態です。</p> <p>私は外国から若干の老齢年金を受領していますが、毎年「生存証明」に類するものが相手国の年金事務所から要求されます。相手国の書式（相手国言語に加えて英語が併記されている）に、氏名・生年月日・現住所など記入して区役所で証明を頂くのですが、昨年も本年も金沢区役所で相手国の書式に証明を頂くにあたり、</p> <p>①証明項目の英語記載部分については、本人が和訳を手書きする事 ②証明者の役職名（金沢区長）の英語表記不可能、必要であれば本人が手書きで記載する事 ③証明される者の氏名／生年月日については、ローマ字表記及び西暦記載はできない。</p> <p>上記「必要であれば、相手国の書式に本人が和訳・ローマ字書き・西暦表記等で記載（手書き）した書式の記載内容について証明するとの事」です。</p> <p>横浜市が発給する住民票は「国際的」には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「本人確認さえできない」</li> <li>・「誰が証明したかもわからない」</li> <li>・「いつ（西暦年月日）証明されたものかわからない」</li> </ul> <p>書類です。</p> <p>住民票を英語・ローマ字・西暦表記いただければ、その住民票を相手国の書類に添付しさえすれば、証明者（区長）が証明した内容を手書きで追記した書類ではなく、完璧な書類としてこの手続は完結するものです。</p> <p>他の書類については存じあげませんが、国際都市を目指すのであれば早急な改善が必要だと思います。</p> <p>具体的な対応など改善の時期を含め回答をお願いします。</p>	<p>その他</p>	<p>住民票においては、日本の国籍を有するものについて戸籍に記載されている氏名を記載することとされており、その氏名をアルファベットで記載して証明することは適当でないことが国から示されています。</p>
<p>「市内大学との連携」については産学連携として発展させるべきものと理解していますし、分野問わずに産学連携を推し進めることはとても重要だと考えています。市立大学の価値を引き上げることに繋がるでしょう。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策23「市内大学と連携した地域づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>都市農業を発展させるオランダの様に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性の高い作物の育成</li> <li>・近い将来、気温の上昇が予測されることからこれらに見合った作物を開発もしくは育成する。例えばドリアンとか。</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>75才以上の交通無料パスなど選挙目当て場当り的な施策は不要です。すぐに芽が出なくてもよいから、市が財政的に潤うような地道な対策が必要です。ミナト未来開発のような！！</p>	<p>参考</p>	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>あらゆる年代が、だれでもいつでも学びなおしの機会を持つことが当たり前になる社会。特に昨今の急速な変化はアップデートが必要。しかし学びなおしに多額の費用が生じるのはすでに格差の生じている社会において意味がない。あらゆる世代がスキルアップの機会を享受でき、世代を超えて生き生きと活躍できることで人も経済も活性化する社会になるような思考の素地づくりも必要ではないでしょうか。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策23「市内大学と連携した地域づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策25について、世界に通用する魅力ある横浜市をもっとアピールしたらいい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>起業支援を英語対応もして頂けると助かります</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>スタートアップ企業やアーティストの拠点を関内を中心とした都心部の古い建物を改修してつくる。市は資金力の弱い立ち上げ段階の団体をサポートする。サポートとは間接的支援ではなく、所有者からマスターリースして、改修して、団体にサブリースし運営はNPO等に委託する当事者になること。チャレンジできるまちには活気が集まる。応援する、ではなく、自ら引っぱっていきリーダーシップを市がはっきり示すこと。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」をはじめとした各政策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策20 これは経済政策でなく、福祉政策なのか？本当利潤追求の事業者は自己責任。コロナやリーマンショックなどの際は例外として恒常的助成はありえない。（不動産も所有している）付加価値を産まない事業者は消滅すべきと思う。昔の農業のように競争力がつかない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市内大学と連携した地域づくりについて 連携した地域づくりの場は横浜の「まち」そのものですが、一人一人が主体的に明日の姿が描ける場にしてください。 大学と市民、企業と行政の間には、それぞれ責任をもち役割を果たすために自ずと壁が必要です。この壁を逆に、異なる視点・見方を活かすのが連携だと思います。 この壁に正しく気付き、越境し繋がって、気軽に真面目に語り合いながら、実装の場づくりを一緒にやれる場が横浜だと言えるようにする。そのため「高い安全性、深い文化交流の機会、高速インターネット環境、そして学生が有意義なプロジェクト」「活動に関わるのに必要な活力ある企業や組織のネットワーク」といった横浜のインフラの強みを引き出しフル活用できるようにしてください。 大前提は本音の目的共有で、不十分で曖昧のまま目先手段に走り、目的とはき違えないようにしてください。 大学を拠点に、かつ横浜の場を足場に、「グローバルな文化の融合」「学際的な学び」「魅力あるPBL」「Web」活用・アクティブ・ラーニング」が複合機能すれば、複雑な問題の解決につながると思います。これらのイノベーションを地域ぐるみでやって、市民大学と連携した地域づくりで、圧倒的なグローバルニッチトップになる。これらが機能するよう旗振り役を据えて下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策23「市内大学と連携した地域づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>国際都市・横浜の計画の中に、小さい頃から子供達が世界に通用できる横浜独自の教育を設ける事も必要だと思います。大人になって国際都市に触れるのではなく、子供の頃から多くの国際人を生み出す横浜教育を打ち出して欲しいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」及び素案の政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」に含まれていると考えております。ご意見を踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>生産人口の減少に立ち向かい、移民受け入れを市民に教育していかなければならない。</p>	<p>参考</p>	<p>人口流入施策についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>日本経済を再び活性化させて世界の成長をリードする日本を復活させる原点に横浜がなっていく。 ITや先端技術研究や教育の拠点づくりを実現する。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>世界中から有能な人材が横浜に集まり、横浜の若者達と一緒に新しいビジネスを立ち上げ成功できるように、サポート。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、外国人材の受入に向けた取組に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜を観光ではなく、最先端のビジネスで活性化させ、結果的に観光業もうるような政策を期待しています。“世界の国際都市YOKOHAMA”</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策22「観光・MICEの振興」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略4 昔から港横浜としての魅力を失うな！私達は幼い頃より山下公園を中心として安心安全な公園施設の下ファミリー、若者も思い出が沢山有る。その観光を市民と共に外国人ももっと楽しんでいただける国際的な都市、観光を推進。水族館やイベント会場の創設。緑、花の充実し世界に誇れる横浜の市民で良かった外国の人も横浜に来て良かったと思ってもら魅力アップの実現を願います。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略4 政策21、24 難民の受け入れ→日本語の学習支援→難民言語で対話できる人の養成→日本でのビジネス展開の支援</p>	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>「国際都市・横浜の実現」を推進するためには、“夜景景観”を整備して、夜の横浜を満喫していただけるような政策をぜひ具体化して下さい。 夜景、夜間景観の整備は観光客の1泊、2泊の長期滞在につなげます。 「昼と夜」の横浜を観光客の皆さんに楽しんでいただくよう、切に希望します。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策20中小企業の支援を。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策21、反対</p>	参考	ご意見につきましては、政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策22、反対</p>	参考	ご意見につきましては、政策22「観光・M I C E の振興」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策23、賛成</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>政策24、反対</p>	参考	ご意見につきましては、政策24「国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策25、反対</p>	参考	ご意見につきましては、政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>具体的な課題解決から作り上げる政策がより分かりやすく、確実に結果の出せる政策になり得ます。横浜市オープンデータもなかなか結果が出せていません。ある課題を解決するために、どんなデータが必要かという視点からデータを作り上げていけば必ず結果を出せるデータになると思います。そこで、国は現在、経済対策の策定に取り組んでおり、小規模事業者の基盤強化としての「稼ぐ力」強化のためには、企業の創造力による新しい商品・サービスの開発が必要で、そのためには環境整備としての企業による従業員の賃上げにあり、平均年収をOECDの先進国なみにする必要があります。そのための具体案提案と政策には予算も必要という視点で意見を述べさせていただきます。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>創造力を発揮できる新しいオフィス環境の構築。 企業内の空きスペースに個室ブースを設置し、従業員は創造的な仕事のために無料で使用できるオフィス環境を構築する企業には支援金を出す課題解決から策定した政策。事務家具メーカー株式会社okamuraの調査によると今後、個室・集中できるブースで働きたい従業員は60%、集中作業をする環境が必要とする従業員は90%います。</p>	参考	企業や従業員に対する支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
新しい機能を組込んだ個室ブース開発と販売・リース事業会社、個室ブース・設備機器販売会社、備品運営・管理・消耗品補填事業会社のスタートアップへの支援金を出す課題解決から策定した政策。	参考	企業や従業員に対する支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。
仕組みだけの働き方改革ではなく、従業員自身の努力で創造力を発揮できる働き方[意識]改革が必要で、現状の働き方改革は在宅ワーク、リモートワークのように仕組みだけの改革であり、これらの仕組みを使用して成果をだす従業員の意識改革が必要で、そのための啓蒙活動に支援金を出す課題解決から策定した政策。	参考	企業や従業員に対する支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。
努力して結果をだせた従業員への適正な勤務評価を可能とする仕組みの構築で、創造的な仕事のため個室ブース設置と従業員への賃金アップのための適正な勤務評価を導入する企業に補助金、個室ブースを使用して効率的で創造的に仕事に取り組む従業員への報奨金等を出す課題解決から策定した政策。	参考	企業や従業員に対する支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。
市内大学と連携しての、働き方の意識改革を実現するため研究と研究成果による企業・従業員への啓蒙のための教育セミナー、解説書出版を実現。時間を2倍にできる精神科医の著作にもあるように、私自身のメインフレームインストールSEとして働いていた時に、顧客のプログラム開発実機テストのための、準備作業、打合わせのために4人定員の個室が用意されており、この個室が常時空いている午前7時から9時まで、ここにこもり集中して仕事をしたことにより、ほぼ半日分の仕事が実現できていました。このような働き方、集中し創造的な仕事を実現させるための具体的な手法を研究開発し、企業/従業員への教育セミナー等で啓蒙する取組を企業と市内大学(商業大学も有力)と連携しての働き方の意識改革を実現するため研究を支援するための支援金を出す課題解決から策定した政策。 特に東京大学の大澤教授のデータジャケットは特許庁の「特許ワークブック」にある特許のシーズを見つけ出し、これより新規性のあるアイデア、真似されないアイデアを派生させる手法で特許を開発するとあり、このシーズに当たるのがデータジャケットで、このデータジャケット派生型の創造開発手法は、日本経済、企業活性化につながる、今後の大きな発展性のある分野になると思われる、創造的な仕事への意識改革のための産学協同研究の具体化の支援する政策をお願いしたいと思います。	参考	企業や従業員に対する支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。
経済成長の為には、政策20-25が必要と思われませんが、基本的には人材育成が問題と思われ。人材育成の為に市内大学と謳われていますが、大学自体がそもそもランキング低下死に体です。もっと人材育成そのものを（課題解決型の人材を育成）する為には教員の育成、援学内容の改善、スタッフの増員を行うべき、学生の減少に伴い行えると思う。	参考	経済成長および市内大学についてのご意見として、参考にさせていただきます。
「9つの戦略」について 国際人による国際都市を旗印に。 ～海外企業の誘致 ～外人のためのインフラ整備 ～市内の学生の海外渡航の義務付けなど	参考	ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>グローバル化と言われて久しいが国民の英語力は殆ど向上していない。 だが年齢を問わず英語でコミュニケーションをはかりたいと考える日本人は多いのではないか。 そこで、市内に英語特区のような地域を作ってはどうか。子供からお年寄りまでそれぞれが目指したい英語力を身に付けるための場所だ よくある英語教室の規模ではなく街ごと公用語が英語の環境で、買い物やアトラクション、宿泊などができるエリアだ。 英語圏の文化も取り入れ国内でありながら海外留学と同様の効果が得られると望ましいと考える。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>外国語住民のコミュニティでの暮らしやすさこそが人を集め活性化するポイントである。これには現在すでに定住している外国籍住民の教育、医療、福祉対応が充実していれば自然に人は集まるはずである。（アメリカのエスニックコミュニティの成立で実証済み） 現在の外国語住民へのサービスには「まだ」課題も多い。 例えば窓口多言語化や本来利用できるはずの制度へのアクセスが言語的なハンデで知られていない。 医療機関での外国人に対する点数計算が日本人より高いなどここに住む外国籍の人には不利なことが多いので、改善すべきである。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略4 国際的歴史的エリアの元町が古くなってきた気がします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>歴史的人物が眠る外人人墓地の手入れがなされていないのは残念です。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>自転車レーンを観光のためにも考えて頂きたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略4 国際都市横浜なら市がもっと有能な外国人人材を採用してオープンに考え方を交流していくとどうでしょうか？外国の人材をまとめる力のある方がまず必要でしょうか。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、外国人人材の活用に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>IR（相当）の再考、実現 不確定事項を1つづつクリアしていくのが行政、事業。わからないから何もしないは成長なし。考える。 ギャンブル依存症は競馬等の方が誘因となる。カジノは余裕のある層しか入れない。ネクタイ着用。ベガスやマカオ、ヨーロッパを視察せよ</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>IRにより世界のクルーズ船を呼べる街にTDLや八景島、鎌倉等への直行ルート船、中華街の再整備、港の丘へ空中ゴンドラ 港を中心に10年20年後に世界のクルーズ船でにぎわう街を想像せよ。 今のままはありえない。世界は進む停滞はグローバルには衰退。 日本で多いのは何も決断せず今までの事を延々と続けること（今がいいから） 自動運転モビリティ、空飛ぶ自動車に変化した街を描け</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策20－施策1「中小・小規模事業者への基礎的支援」 中小企業への支援を大きく打ち出している今回の中期計画は、非常に意義深いものがあるが、林市政下での中小企業振興策の域を脱していない。中小企業診断士や税理士などいわゆる土業による相談支援・アドバイス事業が、隔々の零細事業者の支援に効果をもたらしてはいない。大企業向けの法人税減税の特例が数多い一方で、零細企業は額面通りの重い税負担を強いられている。こうした現状を踏まえ市内の中小零細事業者のみを対象にした「社会保険料負担の軽減」「設備投資に対する助成」等の“真水”の支援を実施されたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>次の用語は日常用語として確立していますか。推察できるものがありますが、私にはよくわかりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 観光的M I C E</li> </ul>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を追記しました。
<p>次の用語は日常用語として確立していますか。推察できるものがありますが、私にはよくわかりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ スタートアップ、イノベーション</li> </ul>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を追記しました。
<p>戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』 ・ゾンビ企業*)は生き残らせない *)10社に1社が“ゾンビ企業”であることが調査会社の調査で判明 →投資は民間のベンチャーキャピタルを中心に、補助金事業は最低限にする →ベンチャー企業・キャピタルを呼び込む施策を重点とすべき</p>	参考	ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>観光・M I C E が、経済成長の柱と言うなら山下ふ頭の再開発に力を入れ加速、周辺の地域との連携を図る →とにかく、山下公園・ふ頭、みなとみらい地区周辺を魅力ある場所にすることが重要</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>国際的な都市にするため、成長戦略のための人手不足を外国人材で補うとあるが、なぜ国内の人材を育てようとししないのか？国力が落ちるだけ →国内教育が重要（別途議論）</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>P67『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』についてコメントします。 日本全体が過去の成功体験から脱却、変革できず停滞している中で、未来を見据えて多様なプレーヤーによるオープンイノベーションの推進、選ばれる国際都市・横浜を戦略の方向性に上げられていることはとても興味深く、共感できます。VUCA時代では、既存の枠にとらわれず、非連続性のチャレンジングな施策も取り組まないと、グローバル全体で産官学ともいつのまにか時代遅れ（魅力がなくなる）に陥るリスクがあります。 ここでは、10年後、20年後のテクノロジーの進化を踏まえて、いくつかの施策を提言させていただきます。今後の戦略検討の一助になれば幸いです。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>昨今メタバースやブロックチェーン、AI等の最新テクノロジーの台頭により、リアルとバーチャル、人と機械の垣根がなくなりつつあり、グローバルでの国や都市、企業の差別化はいかに最新テクノロジーを使いこなせるかも重要なファクターになりつつある。 一方国や都市の成長のため、現実世界での魅力ある都市創りも重要であるが、今後はリアル×バーチャル（インフラ空間、AI等）をいかに融合させ、人、モノ、カネ、情報をハイブリッドで往来できるようデザインするかがポイントになるはず。 また最新テクノロジーの採用を積極的にオープンに横浜市が推進することで、横浜市に国内外から優秀な人材や企業が集まり、施策を通して人材育成、企業の成長が見込まれ、より経済が活性化する好循環が見込まれる。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>横浜市公認のデジタルプラットフォーム（以下、DPF）を立上げ、バーチャル経済圏（人や企業等のつながり）を構築、リアル経済にもシームレスにつなげる。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市地域通貨の流通：DPF内で使用できる地域通貨を流通させ、横浜市内のリアルサービスやモノ・コト購買でも利用可能にする。 DPF内で何らかのアクション（モノの購買やサービスの利用等）をすることで、地域通貨を無料でもらえる。（DPFでの利用促進のため） 横浜市内の観光地、ホテル、飲食店等を利用及び口コミを登録すると地域通貨がポイントとしてもらえ、リアルやDPF内で利用可能になる。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>横浜市メタバース：横浜市内の観光地をメタバースで創り、バーチャルでの市内観光や買い物（地域通貨利用）を可能にする。企業が広告や展示会を出すことも可能となる。 MICEで横浜を訪問する前にメタバースで事前に横浜を体感することや、訪問後にメタバースで交流を深めるハイブリッド型MICEを可能にする。 外国人や外国企業も積極的に誘致し、DPF内は自動翻訳により自国語で会話が可能になる。他都市メタバースとも往来可能にする。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>企業と人のマッチング：横浜市内での求人、求職やビジネスパートナー、ボランティア、イベント等をDPFを通じて簡単に探せる。 個人・法人とも無料で利用可能であり、CtoCでの利用も可能にする。給与や手当て、参加料等は横浜市地域通貨でも支払・受取可能とする。 企業や人の出会い・交流（ビジネスパートナー、スペシャリスト人材、趣味友、婚活など）を市公認で安心して手軽に探せる。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>学習の提供：DPF内で学びたいことを簡単に探せ、メタバース上で受講可能にし、内容が気に入れば、リアルな教育機関での受講も可能にする。（支払いは地域通貨でも可） DPFでは教育機関同士や産官学、企業間同士（大企業とスタートアップ等）のオープンな交流も可能にし、イノベーション創出にも役立つ。 メタバース上では、外国人や海外企業・公的機関へ日本や横浜市の魅力を伝える場を設け、訪日外国人や企業誘致、海外からの投資拡大につなげる。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>外国企業誘致 これまで、横浜は明治以降、海外の窓口として発展してきた街です。戦後も伊勢佐木町をはじめ、山下町、元町、本牧と東京をリードする文化の街でした。この伝統に磨きをかける方策の一つとして、外国企業の誘致を強く挙げてはどうか？政策24に外国企業の進出・定着支援と言葉では書いてありますが、数値目標はないし、具体策があまりないように見えます。最近、東京に進出を計画している外国企業はかなりあります。 これらを窓口を設けて組織的に横浜に誘致することによって、国際都市としての魅力をUPさせ、市民の雇用増加につなげることが出来ると思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策24「国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献」の主な施策2「市内企業の海外展開支援と外国企業の進出・定着支援」及び素案の政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」の主な施策3「戦略的な企業誘致・立地の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>政策20中小・小規模事業者の経営基盤強化 経営基盤が大きく異なりますが、東京都と比べると雲泥の差があります。 中小・小規模事業者は中々情報が行き渡らないことも多いのが事実です。 IDECが行っている専門家派遣の規模回数をもっと拡大する。補助金金額を一桁増やし百万円台にする（ただし、審査を厳しくする）税務相談にリンクして経営相談をするなど相談の機会をもっと設けるなど工夫を求めます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「戦略4」未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現について                      横浜の未来を考える時港地区の事と捉えがちだが、かつて海であった根岸湾埋立地に日石があり、東北大震災の折一旦決まった工場閉鎖が都市部の石油基地として稼働した。しかし、いずれこの工場を閉鎖するかもしれない。この跡地は、もう海には戻れない。ならば次の横浜を背負っていくことを考えておいても良いと思う。                      今の日本の劣化を何としても止め未来を創造する拠点として、地域の開発を考えてほしい。                      政府は「観光立国」と言っているが観光はギリシャ、イタリアの如く破産する。呆られる。この地域を新しい研究拠点としてほしい。                      養殖、気象、エネルギーの技術はもちろん後進国の難民の労働力に頼らない生活、労働環境                      科学電波はミサイル制御の無力化、多くの技術開発の拠点となる様にじっくり考えて欲しい。                      政治家の「金と票と名」を道具にさせないで・・・</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略4・政策25関連：                      国際的な都市になるためには、電柱をなくしてください。都市部で、外国人も歩いても醜い景色をささすことがないように。欧州のかなりの国を訪問したことがあります。都市部では完全に電信柱がありません。横浜も桜木町から港の見える丘公園位まではスッキリしてます。これを拡大して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>無電柱化についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策25『世界から集い繋がる国際都市の実態』（意見）                      ・国際都市の名称を『国際平和都市』と『平和』と明記する。                      一横浜は77年前「横浜大空襲」に遭い市内は壊滅状態になった経験からまた現在ロシアのウクライナ侵略にも鑑み、二度と戦争の惨禍を経験しないことを宣言する意味から「平和」を強調するべきではないでしょうか                      ・そこで、『国際平和記念館』を作るべきではないでしょうか。                      ・また平成30年6月に『横浜市国際平和の推進に関する条例』が制定された以上、『核兵器禁止条約の批准』を日本政府に働きかけ、また核兵器保有国の多くの都市レベルの働きかけも、広島市及び長崎市とともに行なうことが必要ではないでしょうか。                      以上、意見を述べさせて頂きました。</p>	<p>その他</p>	<p>平和施策についてのご意見として伺います。</p>
<p>改革提案                      産業環境                      （1）石油、化学工業関連                      上記の如く、既存産業の基盤の転換が今後急速に進む事が予測され、その為、今後は成長が望まれるFinechemical、医薬品等の当該関連企業へ産業誘致を一層推進する必要性を感じます。それに伴い、これらの産業は高度で少数の技術者の労働需要を生むが、相対的に労働需要が減少すると思われ、その対策として上記産業を支えている数多くの関連中小企業の誘致も、又積極的に図り、結果として労働需要が余り減少しない様、検討する必要性を感じます。                      （2）日本の重化学工業が転換期に来ており、今後更に発展が望まれるソフト産業の誘致に上記項目1と抱き合わせ行う。                      （3）自動車産業                      EV化の進展に伴い、当地区の当該モーター関連の産業の基盤の整備が急務で、一方、特にこの産業を現在支えている中小企業への業態転換を必要と思われる。                      その為、官側の対応として、企業診断、モーター産業関連地区への視察の場の提供、相談を実施し、産業転換に対する手持技術の高度化、製品の多様化を官民一体で取組が必要があると思われる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>消費者へ商業活動の場の拡大                      多くの消費者を引き付け、消費を拡大する場の創設への支援                      ア 消費者のニーズを重層化させる場の提供                      やはり食の文化を取り入れ、場の再構築が必要と考えます。コンサート、各種イベント、特にアーバンスポーツの場の個別の提供はいいのですが、現在これが行われている、赤レンガの例を考えると食の場と一体的で融合された場形成が成されているとは思われません。且つ現状の食の提供はとんでもなく高価で、本市が抱えている多くの飲食関連の中小業者の積極的な参加の下、多様な食文化が安価で提供されているとはとても思えません。例えば、シンガポールのホッカーセンターの様な多様な食文化が非常に安価で楽しめる場を取り入れ、消費の拡大のため、ニーズの重層化への対応が必要と考えます。</p> <p>イ 官側の対応                      消費者が衛生的目つ安全で交通のアクセスよく、豊かな食文化を安価な場を楽しむ事ができる観点よりの運営での支援及び整備が求められると考えます。例えば食事の場の提供に関しては、調理場は個別であるが共通仕様、食事場はオープン共同広場、清掃、トイレ等は共同運営等で全体的に出店者に低コストの経営が出来るよう配慮した場の構築を図り、多くの中小の飲食業者と一体となり、如何に消費者が楽しく、安価に消費を増加して頂けるような全体図が必要になると考えます。</p> <p>起業するに対する支援                      具体的に資金面及び場所の提示を政策として立案し広報活動を行う事を提案する。                      まずは専門に起業支援を行う部署を一元化し、予算及び業務管理並びに管理、監査業務を行う事を提案する。                      ア. 支援額と期間を決め、資金面の支援                      具体的な業務内容及びそれに対する予算案を提出させ、内部で審査後、hearingを行い適合性を調査した後、具体化を支援する。                      イ. 場所の提供（10社程度への対応でスタート）                      各社毎、5-6名のofficespace,事務机、椅子、等を、支援期間を決め、安価又は無料提供。手厚い支援となるが、会議室、客先応接室、給湯器、等は共有設備として無料使用、且つ、専任事務員を置き、場所の管理、調整、かつ窓口受付の業務等を担当させる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>1、パブリックコメント提出にあたって            一般社団法人YOKOHAMAURBANSOLUTIONALLIANCE（以下、YUSA）は、横浜市国際局が推進するY-PORT事業に呼応して、横浜の優れた都市インフラなどの技術を海外へ輸出することに賛同して設立された民間企業団体です。            会員企業はこれまで横浜市が都市間連携を結んでいるタイ王国バンコク都、フィリピン共和国セブ市、ベトナム社会主義共和国ダナン市、インドネシア共和国バタム市等を中心に海外進出に向けた一定の成果を収めて参りました。横浜市とYUSAとの間には連携協定が結ばれており（1）国際技術協力を通じた海外都市の課題解決の支援（2）横浜市の都市づくり・運営の知見と市内企業の技術・サービスをパッケージ化した都市ソリューションの提供（3）国際会議などを通じた横浜の都市ブランド力向上とその活用による国際的ネットワークの拡大、を連携の内容と定めています。このような公民連携による包括的なインフラ輸出の取り組みは国内外でも類を見ない取り組みであり、その先導役に横浜市がなることは国際都市として非常に意義深いことであると感じております。            横浜市のこれからの発展は、顧客となる新興国へ提示する具体的かつ魅力的な発展のモデルとなるだけでなく、国際的な人材の確保や、イノベーション創出の機会として、非常に重要な意味を有しています。YUSAは昨年度より地域再生推進法人の指定を受け、これまでの公民連携の取り組みをさらに発展させて推進することを目指しています。この度の中期計画素案に対して下記の通りコメントをさせていただきます、今後の横浜市の発展に寄与して参りたいと考えております。</p> <p>2、本コメントの構成            上記のようなYUSA・横浜市の関係性から、以下に4点に渡りパブリックコメントを提出させていただきます。            コメント1～3につきましては、国際局主管の政策24に対して、中期計画素案の文案修正をお伝えしております。いずれも当方と横浜市との間に結ばれている連携協定や、当方の地域再生推進法人の立場から、民間企業の希望を述べさせていただきます。この3点の修正により、公民連携による国際技術協力という横浜市の目標の輪郭が鮮明となることを期待しております。            コメント4については、中期計画全体の方向性について、当該計画を主で検討されている政策局さまに対してコメントをさせていただきました。中期計画素案の特定の場所に対する修正を指摘してはおりませんが、国際都市横浜としての特徴を本計画に反映する参考となりましたら幸いです。当社団法人は横浜市との開かれた対話を通じて、より良い都市運営のお手伝いをさせていただき、もって市内経済の活性化に貢献し、横浜市の持続可能な発展の礎となれば幸いです。</p> <p>パブリックコメント1            &lt;該当箇所&gt;            P78政策24主な施策            1本市の強みをいかした海外インフラビジネスの推進            &lt;意見&gt;            該当箇所において、横浜市・YUSA間の連携協定に基づいて以下の修正をご意見申し上げます。            （現行）            主管局：国際局、環境創造局、水道局            （意見）            主な施策1には「新興国都市が抱える慢性的な都市インフラの不足や脱炭素化等の都市課題に対して、（中略）公民連携で技術協力に取り組みます」と記載されているが、主管局が3局のみに留まっており、広範な都市課題に対応するには限界のある体制だと考えます。            市役所の人事では、国際局国際協力部担当部長兼務の人事が発令されていると認識しており、少なくとも当該人事の発令を受けている部局からの協力は必要だと考えます。            下記修正案の通り、主管局を明示していただきますようお願い申し上げます。            （修正案）            主管局：国際局、温暖化対策統括本部、経済局、環境創造局、資源循環局、建築局、都市整備局、道路局、港湾局、水道局、交通局</p> <p>パブリックコメント2            &lt;該当箇所&gt;</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策24「国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献」に関するものとして、参考にさせていただきます。また、海外インフラビジネスの推進にあたっては、庁内の関係部署と連携しながら取り組んでまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P78政策24主な施策 1 本市の強みをいかした海外インフラビジネスの推進 ＜意見＞ 該当箇所において、横浜市・YUSA間の連携協定に基づいて以下の修正をご意見申し上げます。 （現行） 新興国都市が抱える慢性的な都市インフラの不足や脱炭素化等の都市課題に対して、市内企業による実現可能性調査・実証事業等を促進するなど計画策定段階から施設整備、運営まで公民連携で技術協力に取り組みます。 （意見） 当該箇所は横浜市の都市開発や都市経営における知見・ノウハウを提供し、公民連携で国際技術協力を臨むことを示されていると読めます。これに関わり具体的な連携方法、横浜市の役割について明示していただくことで、本施策の実効性が高まるものと考えます。 （修正案） 新興国都市が抱える慢性的な都市インフラの不足や脱炭素等の都市課題に対して、横浜の都市開発の知見を生かし、計画策定から施設整備や管理運営まで、市内中小企業をはじめとした民間企業の技術・サービス・資本などを活用し、一般社団法人YUSAなどとの公民連携により国際的な技術協力に取り組みます。 パブリックコメント3 ＜該当箇所＞ P78政策24主な施策 1 本市の強みをいかした海外インフラビジネスの推進 ＜意見＞ 該当箇所において、横浜市・YUSA間の連携協定に基づいて以下の修正をご意見申し上げます。 （現行） 国際技術協力や海外インフラビジネスをテーマにしたセミナー等の開催数 【目標値】76件（4か年） （意見） 【直近の現状値】19件に対して4か年の目標が76件ということは、現状維持のまま4年を計画している（<math>19 \times 4 = 76</math>件）ということでしょうか。この場合、4年間の目標値としては消極的すぎるのではないかと考えます。 また都市プロモーションについて言及がありますが、具体的にどのような内容を、誰に向けて発信し、それがどのように海外インフラビジネスの推進に資するか明示いただけますと、セミナーやマッチング等開催の実効性がより高まるものと考えます。 （修正案） 国際技術協力や海外インフラビジネスをテーマにしたセミナー等の開催数 【目標値】80件（4か年）</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』 外国人の日本訪問で人気なのは、北海道、東京、大阪、京都など。横浜への観光集客数も2016年以降横ばい（新型コロナ時期除く）の状況。そこで、横浜は、シンガポール、シドニー、ケープタウンなどの魅力ある港町を参考に日本独自の港湾都市を目指していただきたいと思います。</p> <p>横浜には開国という歴史があり、観光、文化、スポーツ、食が凝縮され、多様性のある市民がお迎えする美しい都市です。</p> <p>企業誘致、観光誘致、リピータ確保を向上するためには、まずは訪問きっかけを作ってあげること、そして交通インフラや宿泊施設の整備を行うことが重要だと考えます。もちろん税金の優遇なども必要になっていきますが、ここでは観光を焦点に記載いたします。</p> <p>訪問のきっかけとしては、展示会・見本市、スポーツなどのイベント、観光、出張などとなりますので、従来の取組に加え、それぞれの要素をどう強化して考える必要があります。</p> <p>例えば、「食」では、日本食（横浜市場/刺身）を含めたシーフードピア（サンフランシスコ、ケープタウン、シドニー参考）の建設、「交通」では、羽田空港と横浜港/シーパラダイスとの太陽光発電ジェットフェリーやヘリコプター運航（香港・マカオ参考）、「イベント・ショッピング」では、山下ふ頭に一大パーク、イメージとして、ハマスタドーム＋多目的スタジアム＋国際劇場（オペラハウスイメージ）＋客船ふ頭＋ホテル・ショッピングモールなどの建設、大黒ふ頭も客船ふ頭もしくはヨットハーバーなど。</p> <p>将来は、大リーグを含めた世界の各種スポーツ（国際大会）を一年中誘致できる環境を整備、また一年を通して世界の祭りを呼び込み、そのことにより、リピータを増やし外資企業の誘致につなげることもできると考えます。</p> <p>（個人的に40年前＝学生時代から横浜でF1を誘致しないかなと思っていましたが東京に取られてしまい残念です）</p> <p>また、全世界（全大陸）との姉妹都市の拡充および国際交流推進による知名度アップと企業・投資誘致を促進、例えば、南アフリカのケープタウン、UAEのアブダビ、ブラジルのサルバドール、オーストラリアのパーズなど、美しい港町との姉妹提携してはいかがでしょうか。</p> <p>横浜市は国際都市として、子供を含めた市民と外国人との交流を更に深め、英語などの語学力教育を強化、グローバル人材を育成し、市民が増加、中長期的な観点で横浜が国際都市として発展することができます。</p> <p>更に、横浜市は、財布のいらぬ都市として、スマホ一つ（クレジット・電子マネーなど）で生活できる環境（中国参考）をどこよりも早く整備することで、海外からの渡航者も市民も生活が非常に便利になるのも一つの大きな魅力と考えます。</p> <p>私は、約40ヶ国に渡航経験があり、仕事で中国に11年駐在、中国のデジタル化や都市の急発展を目の前で見てきました。横浜を愛する市民として、少しでも何かにお役に立ちたく、更なる横浜の発展に期待いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策22 4 グローバルMICE都市としての競争力強化と魅力向上→山下ふ頭に国際展示場を設置することでより健全で知的な文化やビジネスの交流が生まれると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策22「観光・MICEの振興」の主な施策4「グローバルMICE都市としての競争力強化と魅力向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」にかかわって労働者の処遇改善にかかわる課題では、中小・小規模事業者への支援が必要不可欠となります。経営者団体のアンケート調査などでも、賃金の引き上げは経営者としても望んでいるものの、同時に中小・小規模事業者への支援がなければできないとの声が多数となっています。その点、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」においていくつかの政策が打ち出されているものの、その内容は相談やアドバイス、資金繰りの支援などに留まっています。この間、多くの中小・小規模事業者から発せられている社会保険料の負担軽減など雇用拡大や処遇改善につながる支援策を施すべきと考えます。</p> <p>また同政策では、「事業活動を支える柔軟な働き方の実現とシニアなどの人材の活動支援」が示されています。しかしその内容は就職支援やスキル取得支援が主となっています。もちろんこれら施策は重要と考えます。それと同時に雇用の課題は、人手不足による長時間労働、非正規雇用の増大、フリーランスを含めた多様な雇用形態による権利の形骸化、低処遇などがあげられると考えます。よって長時間労働の是正による雇用拡大、正規雇用を原則とした安定した雇用形態の実現、処遇改善による雇用の安定化が必要と考えます。</p> <p>シニアの人材活用にも触れられていますが、高齢者雇用の背景には低水準な年金による生活不安があります。そしてこれら高齢者を安価な労働力で活用する事態にも懸念が強まっています。憲法25条に基づいた年金制度の確立を国に求め、あわせて高齢者雇用の実態を十分に把握し憲法に基づいた働き方が実現される施策をおこなうべきと考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策23：市内大学と連携した地域づくり：市内大学の知的資源・研究成果を活かした、さらなる地域貢献 ：学生ボランティアに対する、経済的支援等の充実をお願いします。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>政策20 生産年齢人口の減少を考えるならば、シニア人材だけでなく、専門学校生や大学生も含め、一体とした就職支援を考えてください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策22 観光で国力は伸びません。もし、それが正しければ、エジプトやギリシャは一大強国です。唯一あてにできる観光はMedical Tourismです。国に働きかけ、現在の医師免許保持者に加える形で、医師数を増やし（日本の医師数は少ないので、今いる医師に海外からの患者を担当させたら肝心の国民の医療の質が落ちてしまう）、先進医療を提供することで、海外から富裕層を呼び寄せるべきです。当然、看護師や理学療法士、薬剤師、介護士も増やすこととなります。Medical tourismのために増えた医療関係者は、コロナのように、パンデミックが再度発生した際、自国民の医療にあたることができ、医療崩壊を避けることとなります。横浜は東京、羽田、成田に近く、海外からの患者の受け入れに便利です。横浜市大に医学部があるので、それをフル活用すべきです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策22「観光・M I C E の振興」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「商店街の魅力アップに向けた取組を支援」は、あまりにも貧弱な「支援」であり、地域の住民の要求も採り入れた商店街の抜本的な活性化策を確立すべきである。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策4「商店街の活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「非核平和都市宣言」を生かす取り組みも施策に入れるべきだ。また中国・上海との友好都市関係を生かし、市民・住民レベルの平和友好交流に力を注ぐべきである。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、国際平和に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>P80「国際連携・協力の推進」「国際人材ネットワークを活用した情報発信」などの施策指標が国際都市横浜の実績からして全般的に低い目標値であることが一市民からして違和感がありました</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策25「世界から集い繋がる国際都市の実現」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
計画を何度読み返しても「平和」の問題が語られていません。ウクライナの現状を見ても平和でなければ市民は安心して暮らすことはできません。平和の問題を国任せにせず、平和な市民の暮らしを守るために国にもものを言える横浜市であってください。	参考	国際平和に関する取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。
観光、MICEは、もうたくさん。中華街がコロナの影響で閉店ラッシュ	参考	観光・MICEについてのご意見として、参考にさせていただきます。
政策の一項目に「国際平和」を 計画策定にあたっての基本認識について、「平和や人権の尊重を市政運営の基調としながら」については是とすところですが、しかしながら、具体的政策の項に「平和」がありません。「国際平和」を政策の一項目とし位置づけ、具体的平和施策を盛り込むべきではないでしょうか。 せめて、政策25のタイトルを「世界から集い繋がる国際平和都市の実現」とし、「平和」を加え明記すべきではないでしょうか。	参考	ご意見につきましては、国際平和の取組に関するものとして、参考にさせていただきます。
「横浜市国際平和推進条例」を明記し平和施策の充実を 前回策定された「中期計画2018－2022」には2018年横浜市会で全会一致で可決成立した「『横浜市国際平和推進条例』の趣旨を踏まえた・・・国際社会の平和と繁栄に貢献します」と明記されていました。政策25（79P）及び「横浜をとりまく環境」の項（159P）の『国際連合から「ピースメッセンジャー都市」の称号を授与されるなど国際平和や多文化共生』のところに、今回も引き続き「条例」を明記して戴きたいと思えます。	参考	ご意見につきましては、国際平和の取組に関するものとして参考にさせていただきます。
67頁「未来を切り拓く経済成長と国際都市横浜の実現」これこそカジIRの時と同じことを言っており、都市整備局はじめ自称高級幹部達が全く反省していない証のようなものである。まだMICE等と言っている。パシフィコだって人が来ないではないか。 コロナで追い詰められた中小企業の活性化に力を入れるべきである。	参考	ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略4「未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現」について （意見）</p> <p>本戦略には今後の横浜の成長に不可欠な要素が多く盛り込まれていると感じます。グローバル化の中で、横浜がさらなる成長を遂げるためには、日本を代表するような基幹産業を横浜で育て、世界に発信しなければならないと考えています。私が考えるのは、横浜をITの先進都市にすることです。ITといってもソフト、ハード、部品等さまざまな領域がありますが、それらをすべて包括するものとして、「eスポーツ」が挙げられます。「eスポーツ」とは、electronicsportsの略です。当初はコンピューターを使った対戦型や格闘ゲームの総称でしたが、現在では、広く電子機器を用いて行う競技のことをいいます。たとえば、娯楽性の高いゲームやコンピューター上で行うバスケットボール、サッカーなどのスポーツ競技、さらに、パズルやカードゲームなども「eスポーツ」に含まれます。</p> <p>「eスポーツ」は、単なるゲームだという人もいます。しかし、この中には、実に多くの先端技術の要素が凝縮されています。たとえば、コンテンツとしてのソフトウェアやゲームをするためのハードウェアと5G・6Gといわれる高速、かつ高精度・大容量の情報通信技術。それらに加え、AR（拡張現実）やVR、メタバース、さらにはAIなどの技術も含まれます。そして、「eスポーツ」で使われるハードウェアには半導体が使われているということはいまでもありません。</p> <p>しかし、「eスポーツ」は技術が凝縮されたツールに過ぎません。大切なことは、「eスポーツ」を取り巻くエコシステムには、さまざまな産業が存在しているということです。具体的には、広告、宣伝、放送、出版、ネットなどのメディア、ゲーマーや技術者育成のための高等教育機関、周辺機器の開発・研究施設や専門性の高いデジタル技術に対応する大学・大学院。また、デジタル脳等の研究やデジタル環境下の心理、依存症等の研究・分析を行う医療施設や研究所、半導体工場、そして、医療・介護分野への応用（リハビリや認知症予防や症状改善のためのゲームの利活用）など、多くの分野が見込まれます。</p> <p>（メリット）</p> <p>このように、「eスポーツ」を取り巻くエコシステムは、多岐にわたるため、企業が市場に参入しやすく、企業誘致や巨額の投資を国内外から得やすいと考えます。経済が活性化されるとともに、多様な人材を海外からも呼び込むことや、海外との協力も可能で、産・官・学の連携によるイノベーションの創出や人的交流が期待されます。また、「eスポーツ」の世界大会の誘致やIT・ICT分野の国際展示会が増えれば、人的交流が促進され、それらがまた、インバウンドにもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>一方、国際展示場や会議場、宿泊施設等は既存のもの、あるいは現在建設中のホテル等で代用することで、歳出削減を図ることも可能だと考えます。積極的に投資を行うところと既存のものを活用する、これらの棲み分けを行うことにより、メリハリをつけた予算の配分が可能になると考えます。</p> <p>（留意点）</p> <p>「eスポーツ」には、ゲーム依存症といった「負」の側面もあります。ですから、関連したビジネスを構築する場合には、そうしたことにも留意する必要があるでしょう。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>住宅、商店のリフォーム助成制度を拡充して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の、主な施策4「商店街の活性化」及び政策18「脱炭素社会の推進」の、主な施策3「住宅・建築物の省エネ化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略4</p> <p>今回の中期計画は横浜市在住民を増やそうとすることに主眼が置かれている。しかしながら日本人の人口減少、少子高齢化は防ぎがたく市の財政を住民増加による住民税増収で賄うことは難しいと考えます。法人税増収策を優先すべきと考えます。</p> <p>政策4におけるスタートアップの創出に加え国内企業の誘致に取り組むことを優先すべきと考えます。経済特区、特別法人税等の策定と実施等を検討頂きたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略4『未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略4、政策20～25）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略4 未来を切り拓く経済成長と国際都市横浜の実現について                      政策22 観光、M I C Eの振興                      横浜には若いファミリー族や中高校生が友人たちと遊びに来る。大きなテーマパークがありません。全国の修学旅行生が最終日に必ず訪れると言ってよいほど楽しむところがありません。大人にはほんの少しカジノをやる場所がある。買物も出来てゲームを楽しめるパークがあれば良いと思います。                      以前のIRもう一度いろいろな利点を十分に市民に説明して再度挑戦してもらえたら賛成の人も増えると思います。                      前回は色々な良い事をPRして下さらなかっただけだったという声があちこちで聞かれます。財政破綻に向かっている横浜市ここでこう一度頑張ってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>今後の市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>海外スタートアップ企業の誘致、海外人材の導入を終えて、横浜の国際化を図ればよいと思う。そうすれば、自然と国内人材の確保や中小企業、市内大学、研究機関のレベルアップにつながると考えられる。                      場所として、瀬谷にそういう施設を建設したら良いと思う。                      海浜部のみなとみらいと内陸部の瀬谷の2つの核が、横浜の未来を形作れると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>国際都市横浜の実現に向けた取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略4 政策20                      金沢工業団地内企業の活性化、労働者の働く条件の向上などを求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略5の政策26の上瀬谷地区の新たな活性化拠点の形成について。 テーマパーク建設の案がありました。海外のテーマパークを持って来るのではなく、日本が誇る世界にも通用するアニメキャラクターのテーマパークを作ったら良いと思います。世界中どこにもないテーマパークですが、世界中にファンが沢山おり、子供から大人まで楽しめるとおもいます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略5については、高齢ドライバーによる事故をなくすために、バス路線を継続確保し、赤字路線でも損して交通事故をなくしていく方向で考えたいと考えています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者の移動支援 75歳以上の方の敬老バス自己負担ゼロも大切と思われますが、障害者福祉タクシーのようなシステムが重要と思われます。選択制の移動支援です。バス停まで行けなくて通院する方が多いのでは。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>自殺防止対策 京浜急行の快速及び急行の止まらない駅のホームドアが緊急に必要です。コストは見当つきません。乗客数が多い駅から何とかならないでしょうか？京急だけで可能なのか、補助金が可能なのか、他にコスト支える方策が有るのか判りません。ですから横浜市にどのように要望できるのかも判りません。横浜市の考えを示して欲しいですね。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>市として可動式ホーム柵整備の補助制度があり、京浜急行の駅につきましては補助対象駅の整備は完了しています。京浜急行は2030年代半ばまでに全駅整備するとしており、市としても、早期整備を働きかけていきます。</p>
<p>どの戦略もない、空き家対策がどのように扱われたか気になりました。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空き家対策の推進」に含まれていると考えております。</p>
<p>特に市街地の住居地域のゾーニングの見直しを行い、地域の活性化を促進して頂きたいと願っています。横浜市は住居土地の高低箇所が多く高齢者が増大傾向にある中、戸外へ安全に出向くことが妨げられ、生活品購入や癒しの場所等へ自ら出歩けることができないケースが多発するものと予想されます。高齢者が自分の思いでお金を使い、生活をエンジョイできることは地域の消費経済の活性化にも影響を与えます。従来住宅専用地域であるところで準商業地域と接する箇所や坂道の直下の地域に店舗などが開設できるようにゾーニングの見直しを要望致します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略5「新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」について。横浜は街が汚いです。特に横浜駅周辺は歩いていて気分が悪いくらいタバコやごみのポイ捨て、落書き、ゲロで汚いです。海が近いというのに川にもごみが大量に浮いています。酒のガラス瓶が散乱し子どもにはケガの危険もあります。以前はごみ箱が設置されていましたが、今はほとんど見かけません。オウム事件で社会的に撤去されたこと記憶していますが、その後テロ対策や回収コストの問題は30年近く誰も解決できないのでしょうか？市政の怠慢ではないでしょうか？ごみ箱にごみを入れたくなるナッジ理論もあります。ごみ箱を適切に設置し、工夫し、ごみをごみと呼ぶ悪循環を断ち切っていただきたいです。耳触りのよい政策を並べるのも結構ですが、まずは足元を見るべきです。時々個人的にごみ拾いをしますが、焼石に水で徒労感は半端ありません。市が本気で乗り出すべきです。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>ほぼ決まっている財源と人力で八方美人的な戦略は不可能と思量します。戦略を未来計画推進という言葉に置き換えて考えたいと思います。「未来のある人々・事業」を優先する方向でご検討下さい。現状では、高齢者の医療・介護で財政が傾きかねません。これらに投資して未来があるかといえば疑問です。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の「6. 国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」について                      「快適で効率的な輸送システムを構築」とありますが、新交通システムを建設することは止めるべきだと思います。相鉄線瀬谷駅から会場まで新交通システムを建設することは既に採算上無理なことが明らかであり、博覧会終了後はほとんど利用客がいなくてしょう。巨額の市税を使う博覧会を、かつて中田市長時代の開港150年祭で大きな赤字を残した失敗を繰り返さないようにしていただきたいと                      思います。現実的な参加者数の見直しをして、市民に借金が残るようなことのないよう十分企画と内容の検討をおこなってください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>75才以上の敬老バス自己負担ゼロに                      聞くとみなさん70才になると敬老バスがもらえるとても楽しみにしています。（70才以上無料だとありがたいのですが。）無料だと何しろありがたい、税金を還元するなら敬老バスゼロが一番喜ぶと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス（75歳以上無償化）に反対です。現在でも安価すぎて若い世代の方に申し訳なく思っています。若い方々の負担を軽減を考えて下さい。敬老バス代は今の3～5倍位に値上げが妥当だと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢化による免許証返納を検討する人が多く居ますが、最寄りのバス停へ徒歩20分、私鉄駅30分（高齢者）では医療や買物は無理。（自家用車を手離せず）                      私鉄駅には公共施設、文化医療施設への標識が完備されましたが公共交通機関はありません。瀬谷区役所、瀬谷警察、文化センター、コミュニティーホール、図書館、本郷グラウンド。（全て公共交通機関の路線外。但し瀬谷警察前）のバス停がありますが1日に1本です。                      その道路を回送車（OUTofServicing）は30分に1本走っています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>相鉄バス、神奈中バス路線に「瀬谷警察入口」のバス停がありますがどこが入口か分かりません。通りがかりの人に尋ねると洞穴のような不気味な洞穴を潜れと教えてくれました。駐在署に設置されているパトライト、洞穴内の照明が設置出来ないか。</p>	その他	<p>まちの施設等のご意見として伺います。</p>
<p>三ツ境駅北口ターミナルへの買物をして下りの階段30段は高齢者に酷。従って車道を横断する高齢者を多く見掛けるが下りエスカレーターの設置を求めます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>京浜東北線、根岸線の沿線には昭和41年以降の団地群が多くあります。早いもので建設からもうすぐ50年になろうとしております。その様な地域は高齢化と少子化と個人の住宅（団地に）住んでいる方が多くいます。                      将来この団地をリフォームしていくのか？新しくこわして、再建していくのかによっては、大きく将来が変わります。                      （学校、病院、仕事先、終活と）考えなくてはならない時期の世代が多くいらっしゃいます。行政として、どんな将来図を描いていくのか？を具体的に方向を示していただきな”と思います。洋光台、港南台、本郷台、戸塚、上・下永谷の団地の政策を教えてください。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な政策1「多様な住まい方や働き方・学び方が可能となるゆとりある住まいや住環境の創出」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>中区に住んで75才でも現役で代表取締役をして頑張っています。横浜でも色々施策を考えているようで少しは安心です。現在私は仕事しながらもう25年も継続しているスポーツダンス（社交ダンス）の競技会にも出場して緊張感をもちながら楽しんでいます。その為に週に2回位、地区センターやスポーツセンターに通って練習しているので、バス、ブルーラインの敬老バスは本当にありがたいです。ニュースで数年後75才以上の無償化を検討するとのことですか。今の高齢者はある程度資産もあり元気です。なので敬老バスは今まで通り、収入に応じて支払えば良いと考えています。その分子供達の教育や子育て支援などにあてて未来に向けて明るい社会にして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は旭区に住んでおります。 この住宅地は約半世紀前に造成された住宅地です。（畠山重忠で有名な碑があります。） ずっと周りの家々から第一世代の住人がいなくなり、空家だらけでした。ところが、この3年くらいで家の前の昔の家々が解体されてデザインが前面通路とシームレスにつながった建売住宅が数件1～2年の内に一度に立て替わり、見掛けの道路幅も広くなりました。 入居された方々も40代位を中心とした保育園～小学校のお子様のいる御家族が引越されて来られ、子供さんのはしゃぐ声が聞こえる様になりました。今まではこれが無かったです！</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な政策2「多様な主体と連携した持続可能な郊外住宅地再生の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市長の公約 敬老バス＝0 はどうなったのでしょうか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスのICカード化については同じような案内書類が頻発された気がします。利用者に配布する前に整理整頓して下さい。高齢者用の文書がわかりにくい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>郊外部や高齢世代の多い地域、アップダウンの多い地域、買い物、交通機関に困難がある地域への民間の企業（例えば生協や地域に根差した商店等）とのタイアップ等で移動販売車等の対策がスピーディにできるようにならないか。 年を重ねることで、自分の慣れ親しんだ場所で高齢を理由に、健康的な食生活、しいては生活をあきらめなければならないようなまちづくり、環境づくりは結果として地域コミュニティーの活性にはつながらないと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略5『新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>敬老バス75才以上無料化は公約です。必ず実施するようにお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市営バス法隆寺前停留所（41系統）の周辺に何もなく、大変。夏は日よけもない。雨の時は屋根もない。大きなバス待ちの屋根をつくって下さい。 さらに、綱島発横浜駅西口行の運行回数が少なすぎます。もっとふやしてバス利用者のためを考えてください。 鶴見区西口発馬場7丁目の夕刻（帰宅時）のバス本数が少なすぎます。</p>	参考	<p>バスの運行に関するご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスについては、無収入の子供（小学生が大人の半額、中学生以降は大人と同額）バス代取るのであれば、年金を受給している高齢者は少なくとも子供料金にするのが相当ではないか。駅までバスの地域に住む4人家族でバス代は一日往復約1,800円。外出や習い事など子育て世代はかなりつらい。高齢者は預金が多い人もいるのに、年3,200円から20,500円おかしくないですか。 現在助成が99億、乗車回数を25回に設定したら168億今のままで現役世代が高齢者になった時には今の水準で維持できるとは思えない。 仮に、高齢者が外出しやすくすることで、寝たきりを予防し、介護にかかる支出を抑制するという目的を合わせるのであれば、子供料金を取りつつ、利用回数に応じて、無料ポイントを加算するなどし、利用を促進するのはあり得ると思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地域の公園へのAEDの設置現状AEDは多くの公共施設や民間施設に置かれているが、営業時間外は使えないし、住宅街ではない。個人で購入するには高いので自宅にある人は少ない。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>美しの森にマンションが多く建てられたため、住民が急増しました。このため、美しが丘公園から美しが丘東小学校西側の横断歩道を渡る人の数が激増しています。車も注意しながら走行し、歩行者や自転車横断歩道を横断しようとする、ほぼ止まっていますが、歩行者が走って渡る言ったり、自転車が一時停止しないで渡ろうとすると非常に危険です。ここは押しボタン式の信号を付けるべきではないでしょうか。検討をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「日常生活を支える地域交通の実現」について 本日、IC化された敬老バスを使ってバスに乗りましたが、ICバスをタッチする端末が通常の交通ICカードとは別に設置されておりました。誰が別の端末を設置することを考えたのでしょうか？ 今までの交通ICカードの端末を共用することでこと足りると思えますし、他のお客も戸惑っておりました。 IT業界の常識としてICカードの利用状況（データ）をまとめて分析することにより更なる改善が図れることもあり、別の端末を設置することなど論外かと思えます。今後数年以内に交通系ICカードの端末と統合するのであれば、ICバス用の端末を増設したことは税金の無駄使いになります。期限があり予算を消化するために別端末を増設したのかもしれませんが、誤った判断ではないでしょうか。 敬老バスのIC化はDX案件として評価していましたがガッカリです。市民の便利さと将来を見据えたDX化の推進（推進できる人の配置）をよろしく願います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」において、敬老バスのICカード化により得られる利用実績等も踏まえた検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスを自己負担ゼロにして欲しい。また市営バス38系統のバス路線（鶴見駅～横浜駅）の時刻を現行の2時間おきではなく、もっと増発して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>バスが時間通りに運行する仕組みをご検討お願いしたい(高槻市など同様の取り組み)です</p>	参考	<p>バスの運行についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの取扱いについて 対象年齢になり、利用を開始しましたが、コロナの影響もあり、程なく利用（活用）を停止しました。 理由は、自己負担額に見合う、メリットがないためです 周囲の高齢者の様子からも、居住エリアによって、受けるメリットに差異が大きと感じます。 自宅周辺に市営の交通機関が乏しい高齢者も存在する一方、メリットを大に受けている高齢者も存在し、公平化の観点から現状の敬老バスのあり方や単純な無償化には違和感があります。 交通機関による営業収支に差異が大きい、すなわち、地下鉄はトントン、バスの赤字拡大という現状を踏まえると見直しは必須です。 無償化等による営業赤字の拡大は、現役世代・次世代への負担増は必至であり、運用コスト上昇を承知でバスのIC化するのなら、データを解析し、サービス内容を最適化すべきかと思えます。 客観的な裏付けデータはありませんが、以下のような具体策が考えられます。 1) 敬老バスで利用可能な交通機関に区分する。 地下鉄のみ利用、バスのみ利用、両方利用等で分けし自己負担額に差異をつける。 2) 利用する時間帯や曜日を限定する。（コストへの影響は不明だが）平日限定したり、時間帯を0930から1730までに限定したり、等です。 経験では高齢者は夕方の通勤時間帯の前に帰宅する。 同じく、人混みとなる日曜日・休日のショッピングモールに外出する高齢者は少ない。 通常、日曜・休日の病院の外来診療はない。 以上の2点は、バスのIC化によって容易に可能となる筈です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バス無料化は必要なし。（大阪方式がいいと思う） 無料化するより、横浜青葉区は山、坂が多く大変になっています。コミュニティバスを増やして足の便をよくしてほしい。その方が出かけることにつながると思う。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は米寿の後期高齢者で「敬老バス」利用者です。昨今の急激な物価高や年金の減額で生活を圧迫されております。昨年の市長選挙で山中候補の「目玉公約三つのゼロ」特に「敬老バス自己負担ゼロ」の実現を願い投票しました。 1年目は準備期間として、2年目で目標達成であれば言うこと無しですが、それは無理と最初から思っています。困って年次計画を立て確実に財源を確保し、3年目には「ゼロ」を公約通り達成してほしいと願っています。 「敬老バス」の導入理念は「高齢になっても健全、健康な心身を維持する為、家に籠もらず外出しよう」との事です。現在の日本を築いたのは高齢者です。余生を生きがいを持ち、楽しく暮らせる行政を、是非必ず公約を果たして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は73才の女性です。年金暮らしでなかなか外出（電車やバスで）ができませんでした。敬老バスが使える様になり時間はかかっても横浜まで行ったり、乗り継ぎをしたりして楽しんでます。そのせいか、今はとても元気にしています。 政策の75才以上の敬老バスの無料化是非おねがいします。寿命より健康寿命が延びることが大事と思っています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの自己負担は廃止して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス代払えない人はまわりに誰もいません。今のままで良いです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「敬老バス制度」には、市の財政が赤字である状況を考慮し、絶対に実施するべきでないと考えます。代わりに、週末の運賃を割り引いて、人流の増加による経済の活性化を追求すべきです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>深谷通信隊の跡地の利用はどのような計画が有りますか？中国とアメリカとの関係で時代が変わって再びアメリカの利用土地に成ったら大変ですね。早い内に手を打って横浜市の発展のために利用して頂きたいと思っています。広報等で土地利用の進行状態をお知らせください。</p>	参考	<p>旧深谷通信所につきましては、平成26年6月30日に返還されており、市民意見募集を経て平成30年2月に跡地利用基本計画が策定されています。ご意見の趣旨を踏まえながら、計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>瀬谷区環状4号線近くに住む者です。個々の歩道は狭くまた植樹が歩道の半分を占めていて非常に危険です。一人が通るのがやっとで自転車等来た時はトラブルになった時もありました。歩道を広く植樹は整備して安心、安全な歩道をお願い致します。一度現場を見てください。この道路は新しくできた道路で歩道がこれほど狭く作るとは何十年も前の考え方だと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>郊外部の活性化のため是非園芸博覧会を京急沿線の金沢区で開催してもらいたいです。近くに園芸店がありますが週末は花の苗、野菜の苗土の肥料を求める人たちがいっぱいに関心の高さがうかがわれます。八景島の近辺で開催すれば博覧会＋シーパラをセットで観光できより魅力的かと思えます。シーサイドライン使用の他、文庫駅周辺を整備して大型バスが停車できるようにし、シャトル輸送をしたらよいと思います。 素敵なおガーデンの見本、おいしい野菜を生み出す土壌の作り方など博覧会で紹介したり、地元の野菜の直売など、アイデアが浮かびます。羽田空港からのアクセスの良さも、是非、国内外の方たちに知ってもらいたいです。</p>	参考	<p>国際園芸博覧会につきましては、2027年に旧上瀬谷通信施設で行うこととなっております。ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
文庫駅周辺の自家用車、大型車のアクセスが非常に悪く、送り迎えが大変不便です。早急に整備を行ってほしいです。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策1「鉄道駅周辺のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
商店の入り口などに段差があって足の運びが不安なことがある。少なくとも一ヶ所、手摺りがあると安心である。不安定な散策が出不精につながり、出不精が人を朽ちさせる。老いにやさしい社会が欲しい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
交通について 70才を過ぎて免許証返納。 バスの路線の時間帯が1時間2本くらい増やしてほしい！ 買物、医者通い、利用客は増えています。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
私は66才ですが、車の運転に関しては若いころのようにスピードや間隔等に関し、感受性が鈍くなってきたようです。老人による車の事故のニュースを見るにつけ、早い内に免許返上も考えています。 ただし、まだまだ外出したいし、旅行や買物にも行きたいのですが、車に代わる交通手段の費用がバカになりません。Webでは70才以上で有料パスが交付されるとのことですが、65才以上または免許返上者にも有料パスを発行頂きたい。多少高くとも返上のインセンティブとして機能すると思います。ご検討のほど願います。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市長は選挙の際高齢者バスを無料化すると公約した。が未だに実施されていない。他にも公約はあるが、今更何を云われても実施出来るのか信頼できません。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスを無料にしてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
高度成長時代の古い規制が改正されずに残っている 50年前の都市計画法の市街化調整区域の用途規制が残っており、町の活性化ができない。 京都鎌倉のような古民家カフェも用途変更できないためできない。住みにくい街になっている。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策3「郊外部における多様な機能の誘導」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
75歳以上の敬老バスは現状でよいと思う。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
上瀬谷開発はストップして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの負担もゼロにしてください 老人をもっと尊敬をもって市政を行ってください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスを無料化して下さい	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バス本当にありがとうございます。出不精にならず、積極的に使わせてもらっています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>75歳以上バスゼロに向けて検討開始、大いに期待しておりますが、財政も心配して居ります。実行向かって頑張ってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」について、 「自転車通行空間の整備延長」の増加を目標にしているが、現在整備されている自転車レーンや矢羽根マークでは、全く安全に通行ができるとは思えず、自分の安全確保のために歩道を通行する人が非常に多い。特に、欧米などでは自転車を車が進め越す場合に1.5m程度間隔を空けることが法規化されており、実際に自転車が転倒して並走する車に轢かれて死亡する事故も発生しているにも関わらず、道が狭いのにもかかわらず中央分離帯を設けて車を自転車レーンに寄せられていることが多く、更に中央分離帯の周りにゼブラゾーンを設けてより一層自転車レーンに密着させるといふ、事故をわざと起こさせるような悪質な道路整備も多く見られ、また、非常に多くの車が自転車レーン内を平気で走行したり格好の駐車スペースとして利用している現状を行政の方も当然知っているのに、何も対策せずに整備延長だけするという、知能レベルの低さに非常に憤りを感じています。 欧米などの多くの都市では、自転車レーンと車道の間には柵や植栽を設けたり、歩道に自転車レーンを設けて歩道と柵で区切る等、自転車が転倒した際の安全性を十分に考慮した道路構造になっています。道路幅が狭い場所ではやむを得ないですが、一般道で中央分離帯は全く不要であり、車の利便性や植栽よりも、人の命を最優先した道路整備を強く要望します。 また、自転車はカーボンニュートラルや、公共交通の補完手段としてユニバーサル化にも貢献するため、強く促進すべき交通手段にも関わらず、鉄道駅ホームから非常に遠い所に駐輪場を設けたり、各商店入口の直近の歩道等に駐輪場を設けない一方、改札直前に普段利用しない商業施設やパチンコ店、誰も使わない砂場？や広場？等を設ける等、自転車利用者を迫害して嫌がらせをしているような行政の対応には、毎日多くの人が怒りを感じています。自転車利用者が、最短の時間で電車や商店を利用でき、車の利便性に対抗できるように、もっとまじめに自転車の利便性向上を考えてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>冊子189ページの「計画期間中の財政見通し」では、4か年累計で1000億円の収支不足となるとされています。一方、戦略5の政策26（P84）には、「旧上瀬谷通信施設地区において、……大規模な土地利用の転換」、や「国際園芸博覧会の成功に向けて、……会場周辺のインフラ整備や、快適で効率的な輸送システムを構築します」とあります。 1000億円の財政難と言いつつ、上記のような大型開発を行うことは矛盾しています。不要不急の大型開発は中止すべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は、米寿の後期高齢者で「敬老バス」利用者です。昨今の急激な物価高や年金の減額で生活を圧迫されています。昨今の市長選挙で山中候補の「目玉公約三つのゼロ」特に「敬老バス自己負担ゼロ」の実現を願い投票しました。「敬老バス自己負担ゼロ」作戦の実現計画は、1年目は準備検討期間とし、実施は2年目からであれば言うこと無しであります。どうしても財源確保が難しい場合は「自己負担半額」とし、3年目から公約通り「ゼロ」とする計画でも後期高齢者の皆さんは納得すると思います。「敬老バス」の導入理念は、「高齢になっても健全、健康な心身を維持する為、家に籠らず外出しよう」との事です。現在の日本を築いたのは、後期高齢者が中心となって頑張ったからです。その後期高齢者が余生を生きがいを持ち、楽しく暮らせる行政を、是非共必ず公約を果たして下さい。期待しています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>並木団地を走っていた市営94系統が廃止になり、321系統に変わりました。杉田にも行けて、区役所・金沢公会堂・金沢病院・警察に乗り換えなしで行けました。今は16号線まで出なければ金沢区の中心部に行けなくなり、大変困っています。高齢になり、16号線まで歩いていくのも大変になりました。金沢病院にタクシーで往復すると5000円位かかります。敬老バスを使っていた時とは比較にならない出費です。病状によっては月に何回も通わなければなりません。地域の役員をしていると区役所・公会堂に行くことも多々ありますが、不便この上ない状況です。区役所行きバス94系統を復活して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>経済活性化について 敬老特別乗車証の範囲 1 東京圏内も利用OKとする 2 双方で観光と買い物でき 3 収益税は交通機関へ還元する 消費税のように何%を敬老特別乗車代として確保することです。 4 双方の経済の繁栄となる 5 老人の認知症予防と健康 6 医療の節減になる 7 老人の知人で地域貢献の可能性あり 8 いのなかのかえる飛び出す 東京と横浜の未来について近代的な都市の実現を考えれば魅力的です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策27地域道路中期計画による整備 私の住んでいる日吉地区は昔のまがりくねった農道がそのまま、主要道路になったような狭く曲がった道路です。 道路に面する土地が、空地になってもすぐ住宅等が建てられます、バスも通り歩行者も車を避けながら歩いています。 中期的な計画をたて、主要道路の拡張計画を是非実行して欲しい。道路の拡幅部分の建物の建築を禁止し、10年～20年かかっても安全な道路を整備して欲しい。 横浜市は地形（高低差）の関係もあると思うが、東京、川崎に比べ住宅街の道路整備が遅れている。是非お願いしたい。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>花博も交通の便が悪い。跡地の計画も明確ではない、国際化を進めるには跡地を国際的な文学、研究機関を導入したい。若者学生が増え、国際化の一拠点にしてほしい。もっと抜本的な横浜改革を期待したい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策27 イベント頼りの観光ではなく、県内他地域との連携による地に足がついた観光を推進して欲しい。過度にインバウンドに期待しないで、魅力を高める工夫を望む。</p>	参考	ご意見につきましては、政策22「観光・M I C Eの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策28 自転車利用環境については、既存の自転車用道路（歩道の一部が走行可）の表示が古くなり不明瞭で、歩道部分を走ったりまちまちで危険なので、優先順位を付けて早く改善して欲しい。地元の交番で、市の管轄だと言われた。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>住宅地における電信柱の地下埋め込み。歩きたいまちにするために電柱のあとに植木</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>横浜市港南区日限山に居住する者です。現在83歳、4年前に運転免許証を返納し、外出する際はバスを利用しております。 利用するバスには、京急ニュータウン発①戸塚駅行（江ノ電バス）と②上永谷駅行（市営バス、神奈中バス）の2系統があります。 以前は、上永谷駅行には、市営バス、神奈中バス、江ノ電バスの3系統で運行されていましたが、過日江ノ電バスが突然廃止されました。その結果、バスの運行頻度が低減し、不便なものとなってしまいました。このようなケースが生じた時、欠落した江ノ電バスの運行を市営バスの運行増で穴埋めすることを是非検討していただきたいのです。 日限山は市内有数の高齢者率（65歳以上の高齢者率は40%、最高時43%）で、お住まいには自動車のないガレージが多く存在するという現実があります。バスの利用は生活するのに必要不可欠なのです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>瀬谷区民です。上瀬谷基地跡地の活用について。次世代にしっかりと引き渡していくために、①現状の自然を活かした空間を確保すること。貴重で豊かな動植物の保存。特に、相沢川の源流地域の保全に努めること（暗渠化などは後世に申し訳ない。都内では暗渠化が街を殺風景なものにしています。）。②いずれ来る大震災への防災拠点としての機能を備えること。以上2点を強く希望します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>素案P87～88 JR横浜線川和踏切、危険のため早く工事に入ってほしい。</p>	参考	道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>坂道の多い街である。これに対応した道路構造の安全が考えられていない。十字交差点は坂道トップに多く、昼夜を問わず先方の車両また通行者が視認しにくい。また「f字型の交差点」があり、交差点先の道路がカーブし視認できなく、何とも危ない。こんな道路設計をする「都市」は無い。市の設計施工も杜撰だが、警察交通課の査定もうまく機能していない。 生活道路や通学道路に「安全」がない。小・中・高校生の通学道路に安全は保障されていますか。車が飛び込んできた時に、歩道幅に逃げるスペースはありますか。自転車通学の安全帯は殆ど無い状況が多いです。こういう安全は大きな事故が発生し新聞ニュースとならないと安全対策が講じられないものですか。大都市のプライドとはどういうものですか。先見性と他の自治体のお手本となる施策を成功例をもって示すことです。 学校や救急病院の周辺道路の整備は特に重要で市民の必要な財産です。都市計画は社会資本(特にネットワークとなる道路整備)の整備に重要であって、今の横浜市においては住宅地増設造成のためにあってはならない。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市道は道路構造令を遵守しているか。市道規格に合格するものは何%あるのだろうか。通行速度を30km/hに規制することで放置するのは大都市行政のやることではない。歩道の必要幅員は何mなのか、歩道とは街路樹を植え、電柱を建込む場所ではない。桜の木の成長で歩道幅が縮小し、車いすの身障者の方は通れません。ジム通いの健康管理は素晴らしいが、ジョギング可能な街路はなお素晴らしい。照明ポールに電線柱、花壇と、狭い歩道は煩雑な景観でしかない。将来の共同溝計画にどう対応するのか、これは震災対策でもあろうが懸念がある。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>花博が必要か疑問です。跡地利用がテーマパークとは新しい発想ではない。日本のテーマパークで成功例は二つだけ。広大な跡地に研究所施設等の誘致は如何ですか。横浜市には優秀な頭脳が必要で、近頃話題の理系の集積も大事です。 一方震災等の避難地として、何も無い有用に広い集合場所は特に必要です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者敬老バスの無料化 単純な無料化は財政上の負担が多額であり反対です。 ①バスがIC化された事により利用回数や利用経路がデータ可能になるので、利用回数・利用金額に上限を設け超えた部分については利用者負担とする。 ②現行の利用者負担額を半額程度に引き下げる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「高齢者」我々も高齢者に属しますが、現今の世界的インフレは年金が主な収入となっている世代には愈々厳しい暮らしとなっております。岸田政府は多くの支援策を“国のPB債務が1兆円を凌駕しても日銀が国の債券を60%も買い取るなど、飛んでもない政策を更に進めており次世代への課題が懸念されてなりません。従って甘える意図はありませんが、我々の暮らしも厳しいものとなり、インフラや、交通費などの生活に密着した費用を免除出来る方策を検討してくださいませ(バスのサービスもMainStreatではない起伏激しい道や、不便な場所を移動する小型マイクロバスなどの設営をもし可能なら高齢者が多い地区に配置して頂き度)</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>各区の個性特色を生かし導き出す——金沢区において—— 市立大学移転後の金沢八景キャンパス跡地を活用する。 【市立金沢高校の改築】 市立大学移転後の金沢八景キャンパス跡地の一部と現有高校敷地を併せて用地を拡げ、金沢高校を改築すること。 半世紀に渡る高校建設の工夫を集約して、環境デザイン論、防災、SDGsの取り組みを踏まえた施設とすること。 【個性的な文化拠点の創造】 ◎多数の寺院を始めとして歴史に恵まれている金沢区の特性を活かした個性的なテーマ図書館の建設 ◎社会人が再学習するために利便を図った殿堂の建設 ◎多世代が集うことができる居場の建設 ◎阪神淡路大震災以来積み重ねて来た工夫を集約した防災施設の建設</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策26人を惹きつける郊外のまちづくり 84ページ米軍上瀬谷基地返還後の跡地利用について住民の要望を踏まえ、テーマパークに固執することなく自然を活かした計画を強く要請します。桜並木の保存に努力することも求められています。また汚染土壌については、すべて掘削除去が必要です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策28日常生活を支える地域交通の実現 88ページ 敬老バスは高齢者が気軽に外出する機会を増やし健康に役立ち社会貢献も増やすために重要です。この制度の維持改善を図るため75歳以上の高齢者の無料化や利用できる交通機関の対象拡大を検討してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>瀬谷区は他区に比べても公共交通機関の整備がされていないためバスによる移動が大切な手段であるにもかかわらず、バス路線が整備されていません。市として必要な地域（瀬谷区など）でのコミュニティバスの運行について市民の暮らしと交通を守るために具体化してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>金沢区全般の道路に自転車走行ゾーンを作ってください。 例：金沢八景付近の琵琶神社から須崎交差点辺り。 通勤、通学時に人と自転車との事故もあり、毎日通るのでなんとかスムーズに往来したい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策26として、上瀬谷地区の活性化で周囲の広く空いている土地、若葉台団地などの住環境の再生と新しいまちづくりをします。臨海部を東の拠点、上瀬谷地区を西の拠点とした横浜市のまちづくりを行います。モデルは東京駅と新宿、渋谷地区です。 上瀬谷地区に若い人向きの施策、ブランド力がゆるがず、今後も新しいテーマが創られるディズニーランドの誘致、集客による周辺地域の人口増加、青葉台から環状4号線沿い瀬谷駅までの東急延伸を誘致できると思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>最近、高齢者の方から「バスがなくて困っている」という話を耳にします。本数が少なくなっているのでしょうか。バスがなければ足の悪い方々は家にとじこもるしかできません。 もっと本数を増やして欲しいと思っているのに減らすなんて…。バス会社どうしの話し合いなどで可能にして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策26 普段はキャンプ体験施設災害時は広域避難場所 キャンプ用品と、キャンピングカーの体験場所としてメーカーを誘致、インストラクターとテントたてるとか、1泊体験初めて、いきなり…はという人におすすめする、キャンピングカーも購入を考える人に1泊体験できるように…</p>	参考	広域避難場所についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>横浜市の財政も厳しい中で、敬老バス制度も方法を検討しなければいけない。75才以上無償化するとしても現在のように市営地下鉄バスを共に行うのではなく、どちらかを選択させて無償化することで赤字を減らす努力をすべきである。利用者は地下鉄ORバスの選択をすることにより財政の健全化が可能となるのではないかと考える。 75才以上も無償化のみに固執することなく横浜市の財政も考えるべきである。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>歩道を歩いていたら自転車とぶつかりそうになった。助けてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バスの無料を。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は病気で目がよくみえていません。神大寺の信号のない横断歩道では手を上げないと車はとまってくれません。白い部分も消えている所もあり、気を付けています。 横断歩道を白くぬってください。大口駅前の交番のおまわりさんに言ったことがありますが、どうなったんでしょうか。毎日自分の身は自分で守っています。</p>	<p>その他</p>	<p>交通標識の補修に関しましては、神奈川県警察にお問合せください。</p>
<p>政策28 私は免許も返し主人も返上するのがまもなくになり敬老バス（75才以上無償化）移動サービスを二人暮らしなので、せつにせつに願っています。（私骨折、腰曲がり、近くにスーパーなし）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は旭区の若葉台に住んでいます。 ここの団地は緑の環境がよくとても住みやすい環境です。ですが文化的な施設がなく、廃校になった校舎を利用したりして音楽などサークルをやっていますが、せめて100人規模のコンサートや講演などできる施設を切実に希望しています。 この地域は旭区の中でもはずれで長津田のアートパークや中山の公会堂は近くにありますが、地元の中にそのような施設はまったくなくてとても不便を感じています。住民の高齢率も50%近い状況となり、団地の外に出歩くのが困難になってきています。 団地の中にそのような施設ができれば、外からの人も呼び込むことも可能ですし、大変良い立地と考えます。ぜひ検討いただきたくよろしくお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、団地再生等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの無償化に反対です 元気な高齢者になるためには外出は絶対に必要ですが、サービスに対しては対価を支払うことが原則。 安価な負担で利用できれば、高齢者も堂々と利用できます 以上、バラマキの政策になり住民に負担が大きくなるようにお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>道路！道路が狭く歩道のない道路が多い、子ども、お子さん連れの親子、お年寄りなど見ていて本当に危ないです 一度にとはいなくても出来る所から少しずつ計画的に整備してください これから年配の方が多くなります安心して歩ける場所が家の近くにないと病気も認知症も増えていくのではないのでしょうか どの年齢の人も笑顔で過ごせる横浜にしてください</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策5-26上瀬谷の新たな活性化 横浜大空襲（昭和20年）の記念碑を作り、花が途絶えないように（花の万博後）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策28敬老バスのIC化について 10月から専用ICカード型敬老バスの運用が始まるが使用機器をバス等に増設しなければならず、ムダが多い。民営バス会社等ですでに導入されているオートチャージ機能付きIC敬老バスの導入をぜひ検討してほしい 例) 月初めに横浜市からIC敬老バス利用者に一定額をオートチャージし、月半ばで金額を使い切った場合は、利用者自身で私費で追加チャージできるようにしてほしい。 バス接地機器は現行の交通系ICカード読み取り機一台で済む。技術開発はIT民間企業と共同で行ない取得した特許を他の地方自治体にライセンスすれば元も取れる</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>自転車の道を日本の先駆けとして充実させて欲しいと思います。スマートシティとして横浜の中でいろいろな経済活動が一貫して行える。またSDGsにも通じる持続可能な社会。それは経済だけでなく自然を含めた環境を整えることでできると思います。エネルギーの無駄を省き時間の余裕と心の余裕が生まれる町それが自転車道を作ることで目標が達成できると思います。ワーケーションなどを取り入れている人もいますが、横浜ならばワーケーションの良いところをワーケーションせずにできると思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>山中市長には市民からの絶大な熱い信頼、期待がマグマのように煮えたぎっております 絶対に裏切らないよう全市民の幸せの為、行政の王道を「横浜市民党（勝手に命名）」のリーダーとして、自信を持って堂々と歩んでください。男が一度言った言葉には責任と義務が伴い、男の値打ちが決まります。応援していますので宜しくお願い致します。 市長を2、3期と長期政権とするため地元メディアに積極的に出て顔と名前をPRし、知名度を高めるべきと思います。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>私は82歳の高齢者です。単刀直入に申し上げます。 市長重点公約「3つのゼロ」のうち「敬老バス」を是非実現してほしいのです。 任期中に100%の達成がどうしても難しいのであれば、例えば第一目標値を50%減、第二次で100%減とする計画を立て「ゼロ」を達成したとしても、市長に投票した高齢者は、未達成より納得し、評価することでしょう。ぜひ任期2年目では結果を出して高齢者の支持を万全にしてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスについて市長は無料化を出して当選されましたが、私はもっと上げて良いと思っている。そのイミで75歳以上はいい案、実際年寄はお金を持っているし、現状は安過ぎるそして上げた分は通所定期の割引分として欲しい。市営地下鉄は高い。割引率も低い。（政策6）からも取り組んでほしい。子供の通学定期に充てると言えば理解得られやすいし。年寄でも安すぎるという人多いですよ。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>何らかの市の行事に参加したり、数人のメンバーとの観劇など色々出掛けて、明日を感じ語りあえる都市横浜は理想ですが、自分が高齢者と言われる年齢になり、買い物、その他1人出掛けにならばならない時に、体力的にチョット少しの時間でいいのです、腰掛ける所何と少ない事！ バス停の椅子ではバスに乗らないのに悪くて座れません。スーパーに行っても昔置いてあった椅子が半分程になっています（若い子に占領されています）背もたれなども不要です。長時間座るわけではありません。ちょっとした街のアチコチに置いて頂ければ1人歩きの老人にとって安心に出掛けられます。又スーパーなど作られるオーナーには休憩場所設置の義務も必要です。いかがでしょうか？</p>	参考	高齢者の外出についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略5 27暮らしやすい環境づくり 例えば上大岡駅東口～北側に行くタクシー乗り場出口あたりの歩道に車止めがあり、ベビーカーが通行できない。このままでは上大岡東側の人口、若い世代は減っていきます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P84上瀬谷開発 お金がないなら大型開発やめて</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢化が進む中で敬老バスの無料化を大いにすすめ、移動手段を広げることが必要です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス制度、75才は無償化にしてほしい（年金が少なくなっている）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス、自己負担0に70歳からにして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策26反対</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策27、賛成</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>政策28、賛成</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>政策26：上瀬谷地区の活性化（上瀬谷通信施設跡再開） 以前、何方かがテーマパークのような安易な計画はやめて陸上自衛隊の基地を誘致したほうが大きなメリットがあると言っていました。私も賛成です。そこに防災基地、防災備蓄庫などを併設出来ればと考えます。 世界情勢や気候変動、自然災害、大地震等を見据えた視点が必要だと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>㊸豊かで暮らしやすい・・・について 区内にも遊水地が点在しています。この空間を有効に活用しているケースも多々ありますが、フェンスで囲み未利用の設備も多くあります。 条件に合わせた活用を検討すべきではないでしょうか。</p>	参考	<p>遊水地の活用についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>㊸地域交通について 敬老バスのIC化が行われました。公共交通のある地域ではバスが利用できますが、ない地域では利用できません。この格差は大きなものになっています。ない地域にはコミュニティバス運行など、格差の是正に取り組むべきです</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスは無料化よりも、山坂の多い横浜で陸の孤島地域等の居住者の足の確保の為に、コミュニティバスではなく、敬老バスの使えるミニバス等の拡充を考えてほしい。費用の払える人は払っていいと思うし、今、敬老バスを使っている人は、路線のない地域の市民のことを思ってほしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>身近な事なのですが、市内のあらゆる道路の横断歩道や車の停止線、路肩の停止線が薄れたり、消えています。歩行者、運転者にとって交通安全上極めて問題です。早急に塗装して頂きたい。</p> <p>私が体験したこと・・・免許取得の為教習所に通い路上教習の際、教官に「停止線で止まって」と言われ、停止線や横断歩道がわからず上手に止まれなかった思い出があります（5年前）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、道路標示の補修に関しましては、神奈川県警察にお問合せください。</p>
<p>（政策26、27）良好な街づくりには老朽家屋の建て替えがありますが、その遂行を阻害する種々の都市計画法がありますので、現実合った法に改訂していただきたい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>記載されているすべての戦略を実行するには行政の仕事の効率化（IT化）が必須です。</p>	包含・賛同	<p>行政運営2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」では、「DXの推進により、市民・事業者の皆様の利便性・満足度を高めると同時に、行政の効率化と行政コストの適正化」を図ることを目標として掲げています。ご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>財源確保のためには消費税の完全徴収が必要と考えます。</p>	参考	<p>消費税は消費税法の一部を改正する等の法律に基づき、国において決定されたものであり、高齢化や、子供・子育て支援の充実などの課題に対処し、今後も安定的な社会保障制度を維持していくためには、必要と考えています。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>今の横浜、多額の税金投入をしての花博などのイベントはいいさいます。横浜市民の普段の生活向上の為に税金は使われるべき。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>人口税の増を主にせず、現在ある施設・空き家の活用や修繕を行う事での雇用の補助や資源の循環も望みます。</p> <p>新しい事、物での人集めから愛情のある街づくりへの進化を希望致します。</p> <p>大根橋も収入が増すと言っていたのに結局はまた、国等の補助頼みですよな…。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等対策の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>瀬谷の米軍施設跡にテーマパークを作るそうですが、人工的な遊びの施設を作るより、自然を生かした計画して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>交通整備 （1）自転車は車道へ 特に電動自転車の高スピードによる歩道走行が危険、そのために車道の自転車ゾーンを確保 （2）一方通行エリアを増やして、接触事故を防ぐ</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>11月1日から泉区新橋町で実証運行を始める「アッテ号」は300円の実費払いで敬老バスが使えません。その理由は10人乗りのバスですが、運航会社がバス会社ではない神奈中タクシー株式会社のためだそうです。（道路局） 実費的にはバスとして利用するので敬老バスを使えるようにしてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>後期高齢者はなかなか外へ出る機会が無く、（体が不自由もあって）その為、不健康になる。 敬老バス制度が有るが、一部負担でもらわない人が沢山いる。75歳以上無償化にして、高齢者が自由に外へ出られる様にすれば、元気な老人が増え、その分医療費等が少なくなるはずで。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地区センターでコーラスの指導をしています。利用者の高齢化で通いたくても足が無くてもやめざるを得ない人が出て来たりしています。老人の活動には交通手段が必須でその充実が老化を防ぐ上でも重要だと思います。地区センター、図書館、区役所、公会堂など公共施設を回るコミュニティバスを是非作っていただきたいと思っています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者を大事にしない政治に明日はない。 公約を守れ。（交通バスの無料化等）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>西区岡野に住んでいますが、西区は東海道（JR）など、鉄道で町が分断されており、西区役所や図書館などに行くのに不便です。県市図書館や西区役所に行くのに車道で自転車で行くのに身の危険を感じます。車道は拡幅して、自転車でも安心できる街づくりをお願いしたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>西区浅間台は山肌に住宅はできていて、丘の上の住民は交通の便に苦労しています。ミニバスを通すなどの対策を講じてもらいたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>75才以上の高齢者敬老バスが無料になることが夢です。 実現できれば外出する楽しみが増えて健康的な生活が送れます。是非実現できることをお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P87～88「移動・交通の充実を」 戸塚は坂が多く、バスはメインの道路しか通っていません。ミニバスをぜひ運行してください。 ミニバスを供給する会社、黒字運営できるくらいの行政の支援をお願いしたいです。 これからさらに高齢化します。健康寿命を長くするためにも、高齢者が外へ出歩けるような社会を求めます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>バス便の拡充、高田駅から新横浜までバス運行（新道開通により）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス、自己負担0に70歳からにして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷開発について思うこと 米軍基地跡ということで危険な穴や有害物質がないか心配です。 跡地についての希望 ・子供、市民が集える遊び場 ・農業体験が出来る場 ・避難場所として何かの時には役立てられることもあって良いのではないだろうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バスの負担ゼロについて検討 インフレに怯える年金生活者にとり、敬老バスの負担ゼロを検討してもらえるのは非常に有難いです。 計画期間中に是非実現させて下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私個人の問題ですが、敬老バスは70才以上、自己負担ゼロにしてほしい。長い間60年以上住民税を払い続けたものとしても是非実施して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>大人子供関係なく自転車の危険な運転があります。海軍道路の歩道の様に自転車の走れるようなところがある歩道は珍しいですがとても助かります。自動車と同じ場所、すぐ横を走るのは怖いです。もっとたくさんの場所にそのような歩道を作ってほしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市バス敬老バス無料化 市長公約実現せず。だんまりを決め込んでいるのは許せない・・・との意見が強い。せめて自己負担半額補助からでも始められないのでしょうか</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>84才の高齢者です。外出に「特別乗車証」は大きな助けとなっています。しかし、「P2戦略5 敬老バス75才以上無償化」は、その必要を求めません。無償にすると有難みがなくなり、感謝して使用することはなくなります。年寄りも墮落しますよ。現在の少ない負担の効果は絶大です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者の無料バスについて不要な外出を制限して、感染症の防止を図る。週2回の外出、月10回の外出とし、乗車回数を20回に制限する。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>安心して道路を歩けるようにしてほしい。せめてバス道路には歩道が欲しい。そして子育ての人々が安心してベビーカーが通れる歩道にほしい。段差通行の幅を考慮する。そうすれば高齢化社会も生活しやすくなるだろう。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>道路に関して 横断歩道の白ベンキがはげている。交通標識の色がうすくなっていて意味不明なところがある。補修、修理要。</p>	その他	<p>道路標識の補修に関しましては、神奈川県警察にお問合せください。</p>
<p>日吉駅からコンフォール南行き、東急バスを利用しています。行きはバスが東急デパート入口につけてくれますが、帰りは慶大の方へわたり、10～15分歩いた遠いバス停を利用します。バス停は冬は吹きさらし、風雨をさえぎる板もなく荷物を置いたりすわったりする椅子もありません。 買い物をした重い荷物をもって立って我慢しています。せめて風よけの板か椅子がほしい。私達老人の間でも東急バスのサービスの悪さは、話題にのぼるのですが、敬老バスで乗せていただいた立場なので、何も云えないわねという結論になります。 私共は90才と85才の老夫婦ですが、できるかぎり自立してやっ行ってこうと努力しています。 もう少し老人にやさしいバス停だったら外出も楽なのと思っています。</p>	参考	<p>バス停留所についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>バス停に風よけや椅子を設置するなど、暮らしやすい町づくりの一環として、外出しやすい（老人にも）環境を願いたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>最近都内へ行くことが多く横浜との違いを痛感しております。 都内を散策していると（中央区、江東区）公共トイレ、川沿いの遊歩道、ごみ箱、公園等の設備の充実、清潔さに感動します。 先日、横浜ベイブリッジスカイウォークに行きました。入口付近のベンチは草がぼうぼう、雑草で埋もれていてとても座れるものではありませんでした。 横浜市内どこへ行っても気持ちよく散歩、サイクリングが出来るような環境づくりに期待します。</p>	参考	まちづくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>アスファルト、コンクリートを減らす蓄熱回避 「戸塚区、泉区の用途地域等の見直し」のパンフが配られましたがその中に建ぺい率80%→100%の記載あり。これを80%→40%にする土のある庭の住宅</p>	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策1「多様な住まい方や働き方・学び方が可能となるゆとりある住まいや住環境の創出」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>瀬谷区の米軍基地返還用地は自然の森にしてほしく思います。そこに散策路を作ったら如何でしょう。敷地にも木を植えるようにし、本当に良い環境を得たいなら緑地を設けて下さい</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>高齢者健康増進の為外出支援に大事です。敬老バス無償化（75歳以上）もいいが、財政上の問題もあると思うので、当面これまでの半額に割引くなどして、外に出やすい環境を作ることも大事かと思う</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>花博の計画について、1000千人の動員を見込んでいるようだが、無理がある。交通手段もバスを想定している様だがもっと現実的な見通しを立てて見直しの方がいいと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>中央郵便局、崎陽軒周辺の有料駐輪（機械式）をもっと増やすことはできますか？ “駐輪禁止”だけでは人の性（さが）として「禁止」を破ってしまうこともあるので、無断駐輪する場所がないくらいに機械式の駐輪機を設置してほしいと思っています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>私は、平成28年7月「横浜市地域交通サポート事業」に登録された活動メンバーの一員です 昨年11月に需要予測アンケートが実施され、いよいよ本年11月1日から実証運航が開始される運びとなりました。 協力事業者はタクシー会社であるため、敬老バス適用対象外とのことから、事業採算上運賃300円（大人、子供とも）とし、需要予測アンケートを採りました。 アンケート中、住民から運賃の低減を求める声が多く寄せられました。 実証運行の最大の課題は高額運賃の為に住民が利用を敬遠してしまうことだと容易に想像されます。夫婦や子供連れと利用した場合通常のタクシー利用と大差ない費用負担となります。なお、詳細は令和3年度第3回「横浜市地域公共交通会議」資料をご覧ください</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>現在バス事業者のみが敬老バス適用対象になっているが、地域交通の実現の為バス事業者以外の事業にも拡大して頂きたい</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バスの適用をバス事業者以外の事業にも拡大できない場合、運賃に補助金を出して頂き、利用者負担額の低減を図って頂きたい（例：一律300円を大人200円、子供100円）</p> <p>我々と同様な事業者以外の業者による地域交通事業として、旭区の四季めぐり号（運賃300円）や戸塚区のごすずめ号（運賃400円）等があり、今回の横浜市中期計画策定を待たずに早急な改善を希望します</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>実証運航は、1年間を基本としていることから、半年計画後にはぜひとも補助金など運賃軽減策適用を実現していただきますよう切望します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスはありがたいのですが、バスのルートにない地点に住む高齢者の要望としてぜひコミュニティーバスのようなものを考えて頂きたいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>生活道路の多くには、側道（歩道？）と車道をわけるために、白線が引かれています。</p> <p>人は車にひかれないう側道側を歩くようになってきました。</p> <p>側道はたいてい側溝のフタの上で、多くはでこぼこしており、歩きにくく、私も年齢とともによつまづきようになりました。</p> <p>一方、車はなめらかなアスファルトの上を走っていきます。これは人間重視の観点から大変矛盾していると思います。</p> <p>高齢者のつまづきが少なくなるよう、側道の側溝の上もスムーズに舗装して欲しいと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>免許を返上しました。これから敬老バス利用し出かけようと思った所、時刻表を見たら使いたい時にバスがこない、せめて1時間に1本は走ってほしいと思うこの頃です。どちらにお願いすればよろしいでしょう。パソコンなし、冊子へのアクセス出来ません。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>私は14年前、夫の死後3年目に自然豊かなのが気に入って、現在のマンションを金銭的にかなり無理をして購入し、現在83才のひとり暮らしですが、終のすみかにしたい願望があります。2～3年前から高齢者が駅方面に外出するため、地域を廻るバスの要望が各自治会からたびたび出てきますが、金銭的にむずかしく実現せず、引越せざるを得ない人も出てきました。ドアから駅まで15分～20分、老人には30分以上かかる人もいます。</p> <p>そこで提案ですが、現在の上り（東戸塚方面）のバス停から駅までは他のバス停の2ヶ所分あり、長すぎます。それにより量販店まで歩ければ、バス利用者がふえます。私も帰りはバスを利用しています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスP88 利用しているのでお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>75才以上の敬老バス無償化制度の実現を！</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
敬老バスの件で、私は今のままでいいと思います。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの0には私も今まで通りの負担でお願いしたい。これ以上上げないでほしい。0とは市長もたいへんだと思いますので、明神台は若人の催しものが多い、普段は良いけど催しものがある時は増発をしっかりとお願いしたい。本当に乗れなくて次待つとも野球場から乗ってくる人たちと乗れない状況です。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
バスが通っていないくて、不便な地域にバスを運行して下さい。（高齢で車の免許証を返納したくても出来ません）	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
コミュニティバスでも敬老バスを利用できるように世間では高齢ドライバーの事故により免許の返上など外出の足が少なく、高齢者の外出支援の観点から敬老バスのサービスの範囲を広くして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスゼロにしてください	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
老人には敬老バスは大変助かっています。ひきつづき利用していきたい。できれば停留所に椅子など用意して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
上瀬谷で国際園芸博覧会を開催し、加えて4エリアにわけた土地利用の計画があるようですが、特に検討されているテーマパーク誘致に対するの意見です。テーマパークは、始めの2、3年は良いと思いますが、少し足をのばせば、圧倒的な人気を誇るテーマパークがあるのに、継続的な人気を保つことができるでしょうか？アニメとか映画とか挙がっているようですが、アニメのテーマパーク、秋葉原、映画会社のテーマパークなどがあるのに、今さらという感じが拭えませんが、商業施設も、少し足を延ばせばいくらでもあります。同じようなものができて潰しっごです。生まれたときからここにいる、よく知っている私から言わせれば、上瀬谷の自然はとても貴重なものだと思います。他のどの区よりも、畑と住宅と道路が、上手く組み合わさっている区だと思います。そういう素晴らしい区だから、テーマパークなんてつくりものよりも、ビニールハウスで果物狩りができる施設とか、乳搾りや餌やりの体験もできる牧場とか、地産地消の食事処もある道の駅みたいなもののほうが、上瀬谷には合っているように思います。テーマパークなんて、勝てません。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスも三つのゼロの一つで無料化を公約に掲げていますが、敬老バスの利用者の一人としてゼロでなくても良いと思います。現状維持で値上げはしないでほしいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
バス便について減便でたいへん困っている住民が増えています。採算上の為とのことですが公営交通として市民の暮らしを守る役割を担うため公費で補助するなど制度の改善を検討して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>地域の市営バスが廃止され敬老バスが支給されても年間費が高く費用分を乗りこなすのは至難の業である。まず一日に何本かあるいはマイクロバスでもあればよい。</p> <p>また、遺族年金等非課税の人で年金を高額もらっているにもかかわらず少額の費用であるのはおかしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスに感謝！！ICカード化（対象の交通機関の利用頻度が明確化）大賛成。</p> <p>料金をもう少し値上げしても良いのではないかと</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの75才以上無償化は必要ないと思います。</p> <p>IC化により検証の上とはなっていますが、高齢者にも裕福な人から困窮者まで様々な人がいます。それらの人を一律にする必要は無く、今まで通り所得に応じた負担金があるべきだと思います。</p> <p>高齢者は増え続ける中、貴重な税金をより優先すべきところに使っていただきたいと思ひます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス75歳以上無償化だけでなくバス停すべてに運行状況が見えるようにしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷地区の自然を残して商業施設中心開発はやめて下さい。災害時の避難地として設備を充実してほしい。一部の大園芸業者のためでなく、四季の森公園のように。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>長津田駅から若葉台に向かう道路のバス停に雨や風、太陽の光を除ける物を作って下さい。</p> <p>今年は特に暑く、植えてある木は枯れてしまっただけです。</p> <p>日陰も無くバス停から離れた木陰で待っているのです。</p> <p>青葉台の方では作ってある所が多く見受けられます。市民の生活を平等にしてください。</p> <p>コロナの関係で余計に感じました。歩道には余裕があります。</p> <p>※よろしくお祈りします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市の道路行政の遅れは今後どうなる？歩道の確保できてない主幹道路が沢山あるが！！老人子供は不安な毎日だ！</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスについて</p> <p>全員ゼロでなくても最高の人でも¥5,000位に抑えることは無理でしょうか？いきなりなんでもゼロは大変だと思いますので巾を持たせるのは（パートで働いている人は皆豊かとはかぎりませんが。例えば¥7,000～¥8,000の方を¥5,000位に引き下げるとか）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」 日本の住宅は狭小であり、家族構成の変化や高齢化など居住者の環境変化に容易に対応できない。一方で土地が高価であることから容易に転売も成立しない。住宅の流通を促進する市場整備が急務であることは言うまでもない。ハウスクエア横浜の機能を一層拡充していくことが望まれる。また家族構成等の変化に狭小住宅が対応できないことが、一世代で家屋が償却される現象を招いており、「実家が空き家のまま放置」という現象が散見されている。働き盛りの世代の可処分所得が減少し、空き家を解体する費用が捻出できないことが大きな要因となっているほか、大気汚染防止法の改正により住宅の解体時におけるアスベスト対策の徹底が強化され、解体費用のさらなる増加が必至となる。住宅解体・改修の際に必要なアスベスト含有建材の調査費用や除去費用を横浜市で補助し、空き家解消・未利用土地の流通促進につなげていただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>高齢者が多いがバス等公共の乗り物が地域にはない。 ミニバス等検討してほしい。駅にも出られない</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスは無料に。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策26 莫大な費用は市民負担のリスクです。上瀬谷地区の大型開発は止めてください。 大企業優先の経済政策は見直してください。 花博についても、会場建設に320億かかるかとされていますか？ 会場の在り方、設営など、SDGs未来都市にふさわしい動植物、種、生態系を保全し、現状の地形をいかした会場にしてください。 その後の公園にも生かされてるようにしてください。来場者数は減らし、ゆったりと自然を楽しむ花博にしてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>無料バスは慣れているから有料であきらめています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスでJR電車に乗れるようにして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>10月1日より敬老バスのICカードが読み取り機になりましたが、利用者としてはとても不便を感じています。タッチをする際にカードを立ててのタッチは大変です。カードを持ったまま専用機を上のにせることはできなかったのでしょうか。バスを読み取り機にタッチするのに高齢者は皆戸惑いを感じていると思います。タッチするのに使いやすい場所にしてほしいです。お願い致します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>予算は市民生活をまず保障する使い方を。大型開発より安い住宅の提供。若者が子育てしやすい環境を。少子高齢化は政治の責任です。 今の給料では結婚や子育てはできにくい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」及び主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
せつかく区内にプールがあるのに足（車）がないので行けない。体を動かして、元気に年を重ねたい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策26施策5について、汚染土壌は堀削除を強くのぞみます。自然は残しつつも横浜球場をもってきても良いのでは交通機関は瀬谷⇄十日市場をつなぐ、モノルール又はそれにかわる交通機関	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
海軍道路に交通機関がない。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス自己負担ゼロに向けて 高齢化社会を迎え残された人生を日々健康で元気に過ごしたいものです。家で静かに一日一日を過ごすのではなく、外に出て活動し大いに楽しむべきです。行動範囲を広げる為の重要な支援策である「敬老バス」自己負担ゼロを是非実現させて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの負担ゼロにして下さい。その為にはノンステップバスを増やして足の不自由な人にも利用しやすくしてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」及び主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは今使用している身にとって若い人から見るとおそらくうらやましいと思いますので経費0ではなく現状維持で廃止にならないよう願っています。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの無料化を実現してほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス無料（負担ゼロ）	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略5にも関係するが、住居は空き家を活用すべく、大家を育成し投資も呼び込む <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/jutaku/shiryo/keikaku/housdata.files/akiyatoutaisakukeikaku2.pdf">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/jutaku/shiryo/keikaku/housdata.files/akiyatoutaisakukeikaku2.pdf</a>	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等の対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略5『新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり』 ・外国人などの住宅確保要配慮者が年々増加しているとあるが、外国人の集中する古い公団などが発生し、コミュニティができてしまうのは余り好ましくない ・“高経年化するマンションの増加が想定されるため、管理組合による適正な維持管理や円滑な再生を促進していく必要がある”とあるが、マンションの建て替えを行うため法整備は、現状容易に建て替えできるような状況ではない →建ぺい率、容積などの緩和など、もっと具体的目標を決めるべき →建て替え決議の基準、建て替えに伴う一時住居の確保スキーム	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策3「マンションの適正管理・再生や良質な住宅の供給・流通の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バスは辞める →高齢者の外出支援はもっと別の方法を考えた方が良い →横浜市の負担がついに100億円。乗り放題の敬老バス見直し議論 →一度、こういうのを始めちゃうとなかなか辞められなくなる</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>自転車をもっと活用する街や交通環境の整備を行う →CO2排出量の少ない自転車世界の取り組みは？日本の環境対策と比較し再確認しよう →日本は自転車が利用しにくい →駅にあふれる自転車、街中の走行レーンが少ない、サイクリングロードが足りない →郊外へのサイクリングロードを整備し、e-Bikeの充電設備(道の駅利用)を設ける →e-Bikeの充電規格を作る、メーカーに取り組みを働きかけe-Bikeのレンタルビジネス促進 →健康増進、SDGsなど環境への取り組みにもなる</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷通信基地跡地、花博について 広大な土地があります。花博集客は大切です。しかし、施設建設にはその後の跡地利用を考える必要があります。ここにSDGsに配慮した新たな街づくりをするのが良いと思います。エネルギーは太陽光。風力を利用し地域で自家発電、供給が出る。 自然を生かし、農業・農家カフェなどの地域、中央に集中しているスポーツ施設（特にプール）として体育館・陸上競技場、美術館、3000人から100人位までのコンサートができる会場、病院・老人福祉施設・児童館・保育園・学校を備えた新しい街づくりをしませんか？戸建てではなくて、マンション形式が良いと思います。 ニセコでの開発が参考になると思います。 花博には跡地を意識した構想をお願いしたいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス（75歳以上）自己負担0に。 それだけでなく貧しい年金暮らし。それを又もや削減。後期高齢者医療負担1割から2割。この国のやり方は許せません。ぜひ敬老バス負担0に。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策28について 高齢者の外出支援が健康保持に役立っていると思われるのでぜひすすめて下さい。（後退させないでほしい） ICカード化はデータをとるためだけなのだったか？改札を通るためではなかったのでしょうか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>国際都市園芸博覧会の開催について 半年で1000万人もの人を見込んでいる計画ですが、どんなに頑張ってもこんなに多くの人に来るとは思えません。 この事業で大赤字になれば結局市民の税金で負担することになります。 計画を見直して縮小してほしい。 桜並木も切らないでください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ランニングを趣味にしていますが、具体的にご検討いただければと思ったのは、歩道を広く水平にさせていただきたいです。 例えば、地下浸透型の舗装は有効でしょうか？など、自然と調和したインフラ技術をご検討いただければと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
敬老バスの値上げをせず、引きつづき続けてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
世の中おかしな事だらけですが、自分の住んでいる場所は一人で住んでいる人が最近多くなりました。ここはバスが有りますが、買物、医者通いが出来ます様、バスを通してあげて下さい。お願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの75歳以上無料化を是非実現してほしい。 高齢者の免許返納を促進できるとともに、交通事業者にとってもメリットがあるはずです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの自己負担の7000円は大きい、できるかぎり0に近づけてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスはやめないでほしい ゼロに向けて、検討をかならず！	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの自己負担ゼロ、ナシ 医者通いなので、お願いしたい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
私のまわりでは車に乗るのをやめた人達がタクシーを使っています。どこからでも駅まで行くバスを出して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの無料化を 素案では敬老バスについては、高齢者の外出支援から引き続いて検討としています。 敬老バスを使わしてもらい、たいへん感謝しています。更に無料を希望するものです。 地域には高齢者が多くおられます。高齢になっても元気で長生きできる横浜市にしたいものです。 高齢化すると、自宅に閉じこもりがちになり、このことが生活の活性化を失い、生きる気力の喪失、病気にもつながります。 こうした高齢者対策のひとつとして敬老バスの無料化は大きなものがあると考えます。 1 高齢者の社会活動、文化活動またスポーツ活動の参加の支援になります。 2 健康の維持、増進につながります 3 こうしたことで、医療費負担は減ります。 長野県佐久市のP P Kを横浜市も参考にしたいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>花博中止または見直しを 2027年に国際園芸博覧会を開催を取組むとしていますが、中止が無謀ともいえる過大な計画を見直すべきです。次に理由を述べます。</p> <p>1 参加者を報道によれば1500万人とされています。コロナ禍のなかではたしてこれだけに人が参加するかという疑問があります。この時はコロナ禍は収まっている保障はありません。</p> <p>2 花博のテーマが決まってもテーマパークの計画の具体化や事業者が決まっていない、と報道されています。これでは参加者は何も見られないことになります。</p> <p>3 これだけの人を運ぶ輸送手段がまだに見通しが無いことです。相鉄は赤字になると辞退し、市の第3社セクターである横浜シーサイドも採算性が無いと参加を断っています。計画、設計、工事となるとタイムリミットが迫っています。</p> <p>4 せっかくある現在の自然環境を生かし、もっと違うかたちの活用を計画しても良いのではないのでしょうか。</p> <p>5 無駄なお金の使い方の典型です。過去に「開国博 Y 150」は大失敗し、横浜市は大赤字を出しました。この二の舞になります。一日も早く中止か、現行の計画を大きく見直して無駄な財政を使わないで欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>長浜検疫所跡地の活用を 政策26では「郊外部における多様な機能の誘導」や「戦略的な土地利用の誘導・推進」、「郊外部における新たな活性拠点の形成」を述べています。このことから、長浜検疫所の跡地についても横浜市で引き取り活用を計画していただきたい。</p> <p>長浜検疫所は、現在厚生労働省の所管する施設です。2023年度にはMM地区に移転します。</p> <p>敷地面積3万4千余㎡あり、登録有形文化財の資料館があり樹木も多く緑豊かな貴重な土地です。</p> <p>この土地は野口英世記念館のある長浜公園、米軍跡地の公園と続く広大な緑地を形成しています</p> <p>周辺の住民、区民からぜひ残し、区民のために社会福祉施設や公園などの活用や貴重な文化財資料館の存続をという要請がされています。</p> <p>厚生労働省は、横浜市に引き取りを要請していますが市は断っていると聞いています。</p> <p>このままでは、民間に払い下げられと単なる住宅地に代わり、貴重な跡地、文化資産が喪失します。</p> <p>この跡地を、「人を惹きつける郊外部のづくり」から中期計画の中に入れていただきたいです。</p> <p>ただし、検疫所の移転が迫っています。厚生労働省と跡地については横浜市が引き取ることを前提に継続話し合いをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>当該施設につきましては、国が保有する施設であるため、本計画に位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策28日常生活を支える地域交通の実現 1～4の主な施策を歓迎すると同時にぜひこの施策を実施願います。横浜市は起伏が多い事、広域で電車だけでは、移動が不便です。バスは、それを補う有用な移動手段です。特に車を持たない高齢者にとって必要不可欠です。</p> <p>しかし、金沢区の並木地域の人は財政上の理由から市バスが運行中止や路線変更されて、不自由な生活を強いられています。ぜひ再検討を要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「ミニバスの活用」を加えることと現在の運行の改善を要望します。</p> <p>①金沢区には、歴史ある旧市街地の道路幅は狭く、その道路の安全な通行にはミニバスが適切と考えます。利用客が多い場合、運行台数、運転手の増員になりますが、安全第一、住民サービスです。</p> <p>②地域住民の要望で新しい路線をミニバスが運行しています。しかしバス会社の都合で、運行が午前の開始が遅く午後の終了が早いので、不便との声があります。改善を要望します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>88ページ敬老バスは高齢者が気軽に外出する機会を増やし健康に役立ち社会貢献も増やすために重要です。この制度の維持改善を図るため75歳以上の高齢者の無料化や利用できる交通機関の対象拡大を検討します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策28.敬老バスのデータを収集しておられます。よろしく願います。バス路線の必要な所も調査してください。通学路危険箇所調査してください。市政に期待しています。よろしく願います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」及び主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>高速道路偏重の道路政策ではなく、市民の日常生活を支える一般道には歩道がないとか狭いなど、市民生活に支障をきたしている道路がたくさんある。生活を支える道路の整備にもっと重きを置いた政策をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>生活道路の安全安心対策をきめ細かく進めていただきたい。特に道路として十分機能していない生活道路の拡幅、隅切り、舗装等を強力に推進してほしい。「よこはまのみち」に記載（データベース化）されている道路が、一部の法人・個人等に独占的に占拠されています。そして資材置場、駐車場、耕作地等々に使用され、私たち市民が道路として自由に通行・利用できません。そのため生活道路のネットワークは断絶し、袋小路の状態です。台風、地震等の災害の時、逃げ場がなくなり大変心配です。まさに安全安心な街づくりに逆行しております。</p> <p>土木事務所においても「その箇所は利用する人が少ないので整備する必要がない」と上から目線の返事。道路として物理的に通行・利用できない状態なので、通行・利用したくても不可能な現状を理解してくれません。</p> <p>「横浜市の貴重な道路（用地）が、このままだと占拠している一部の法人・個人等に盗られてしまわないか」と質問すると、「家屋等を建てようとしても建築許可は出しませんので心配ない」と論点をずらした回答しかありません。</p> <p>「現在、家屋が建築されつつある場所もあります」と再質問すると、「次の家屋の建て替えのときは、絶対に建築許可は出しません」と、あまりにも場当たりの回答には憤りさえ覚えました。</p> <p>最大の問題は、横浜市民共通の財産である道路が一部の法人・個人等によって占拠され、無断・無償で使用され、横浜市に損失が生じていることです。即急に無断・無償での道路使用を禁止、中止させることです。そして誰もが安全安心に外出できるよう生活道路は、地域住民のニーズを尊重し、消防車等の緊急車両が通行できるよう拡幅、隅切り等の工事をする。降雪、降雨等でも不便なく通行できるようアスファルト舗装工事をするなど環境整備に取り組んでいただきたい。</p>	参考	道路についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>P89政策28-2について</p> <p>最寄りの駅へはもちろん、買い物や通院にもバスが欠かせない地域に住んでいます。高齢化に伴い、今までは多少の距離があっても歩ける体力があったけれど、それが難しくなっている人が増えていると感じます。十分なバス便の維持ができれば一番いいですが、新たな交通手段の検討にも大いに期待しています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バス（75歳以上）自己負担ゼロにして。 横浜市は老人に対して地方都市の東京より手厚くて良い。 老人の数が多くだけでそれはないと思う。 バス等などに乗れる人は元気な老人、楽しい老後を過ごしてもらいたくお願いいたします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス無償化をめざして 政策28日常生活を支える地域交通の実現行い P-88 2地域の総合的な移動サービスの確保 〈原文3行目後段を以下のようにする〉 高齢者が元気に社会参加することで、横浜のまち、経済を潤し、バス・地下鉄を支えているのが敬老バスです。この多様な効果を検証・把握し、75歳以上の無償化、公共交通機関の利用拡大につなげます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスは賛成です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの自己負担ゼロをお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>花博 2027年の花博は開催場所が悪いので失敗すると思います。ほかの都市に譲る勇気はありませんか？</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は19年前から糖尿病になり現在も2か月に一度ペースで病院でみてもらっています。 それ以来、万歩計と敬老バスは片時も離す事ができません。 おかげで、令和2年度、3年度と連続して目標を達成して横浜ウォーキング事務局から表彰状をいただきました。 私にとって健康維持の重要なパーツは安心して気軽に外出できる敬老バスと日々の励みになる万歩計管理です。 長く元気に暮らせるため、敬老バスの無料化政策を是非実現して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>年金減額、物価高騰等で先が不安。敬老バスはゼロにして頂きたい。2 停留所ですが重い荷物がある時は本当に助かります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」では、入場者1000万人に対応した博覧会を行うと聞いていますが、赤字になった場合、誰が責任を取るのか決めてほしいと思います。この事業で赤字が出たら税金を使うのではなく、これに関係した企業から受注額に応じた分を負担する様にしたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>歩道が狭くてショッピングカーや車いす、高齢者の自転車が通りにくい。電柱やポールが狭くしています。たとえば4号線、紅葉橋バス停付近は特に危険です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
高齢者が気軽に外出できる機会を増やすためにも敬老バスの無料化やコミュニティバスの運行を進めて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
「75歳以上の敬老バス、自己負担ゼロ」をめぐるは、「地域交通を含む総合的な移動サービスとして検討」とされています。 この趣旨はよく理解できない面もありますが、仮に財政面を背景とした「地域の公共交通におけるバス路線の減便や路線の見直し」などを含むものであれば、異なる政策を取りまとめて「どちらを選択するのか」と市民に迫るものであり、納得がいきません。 それぞれ個別問題として政策建てし、検討を求めるべきです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスも早くゼロにしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市バス交通の充実 ①高齢者の買い物や日常生活に使いやすい小型バス交通の充実 ②地域の実情に合った小型バスの活用	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策28に「高齢者の外出支援の観点で、敬老バスのICカード化により得られる利用実績等も踏まえながら、敬老バス制度（75歳以上無償化）も含め、持続可能な地域の総合的な移動サービスの検討を進めます。」とありますが、敬老バス制度の検討を進めるにあたり、〈敬老バスのICカード化による利用実績等〉だけでなく、利用していない市民の意見が大切ですし、費用対効果や健康寿命の延伸への貢献度等を総合的に勘案して進めてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
地域交通はしっかり取り組むべきだが、路線を維持するために、利用者にとりかかりと負担させ、地域にも責任を負わせないと、赤字垂流しになるので、気をつけてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策28 バスの便が減らされ、移動手段が心配です。敬老バスの充実や地域コミュニティバス普及などの施策をお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P88施策2 「敬老バスの負担ゼロ」はぜひ実現させてください。 高齢者の「足」の確保が「引きこもらない高齢者」を増やし、ひいては医療費削減と消費拡大も同時に促進すると考えます。 国の施策で年金が削減される中、市政が高齢者を応援すべきです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>青葉区民会議は、横浜市青葉区において、「自分たちの住むまちを、自分たちの手でよくしたい」という区民が自主的・主体的に組織・運営する市民相互の話し合いの場として1995年より活動している団体です。身近な市民生活の視点から、区民相互が話し合いを行い、地域の合意形成や地域が抱えている課題を共有し、まちづくりを進めていくことを目的としています。</p> <p>このたび、横浜都市交通計画や横浜中期計画の見直しへのパブリックコメントへの意見提出等を目指して、2022年5月に青葉区民への独自の交通アンケートを実施しました。広報よこはま、SNSなどを通じPRを行い、399名から回答を得ました。</p> <p>(<a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kusei/kocho/kuminkai/gaiyo.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kusei/kocho/kuminkai/gaiyo.html</a>)</p> <p>横浜市中期計画への意見</p> <p>青葉区奈良1丁目～5丁目住民より奈良地区センターや奈良地域ケアプラザに行くための「青56」バスのバス停が遠く不便であるので、新たなバスルートの新設して欲しい。また、奈良北団地周辺の地域の人たちが、奈良1丁目付近にあるショッピングセンターや病院に通いやすいようバスルートの新設して欲しい、といった声があります。バスの路線図で示すと赤太字のようなルートです。こうした地域密着の要望を誰でも書き込みやすい地図サイトの公開を希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市中期計画への意見</p> <p>市民は市内の交通問題に対して様々な意見を持っております。この市民の声の「見える化」を図る方策を確立して欲しいと思います。具体的には、市民の匿名での意見募集プラットフォーム（横浜市アイデアボックス）において、交通・道路整備カテゴリーを常設し、付設の「地図サイト」へ書き込みが出来るようにするようにして欲しいです。そのうえで、言い放して終わるのではなく、市議会の担当委員会所属議員がプラットフォームのファシリテーター役（論点整理、問題解決推進役）となるなどし、施策化・事業化につなげる仕組みを作って欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスは、高齢者のみを優遇する、不公平な制度。</p> <p>少ない高齢者を働いている世代が支えられるうちは有効だったが、もはや、高齢者の方が多い時代に現役世代の税を100億円も使うことは許されない。廃止して、若い世代の施策の充実に使ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの負担はゼロにしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>大型開発よりも交通不便の町にコミュニティバスなどを走らせてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>&lt;P88敬老バス75才無償化&gt;</p> <p>私自身「後期高齢者」ですが、「敬老バス75才無償化」は不必要で、年齢に関係なく応分の負担はすべきだと思います。浮いた財源は、生活困窮者、ヤングケアラーなど本当に支援が必要な人(特に子供)に対する施策に使うて欲しいと思います。全ての子供が心身共に健全である事が、社会の安定に繋がると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>シニアにとって移動交通手段は大切です。敬老バスは継続と充実を</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策28-2 地域の総合的な移動サービスの確保 敬老バス制度には大変感謝しております。この制度のおかげで外出しようとの意欲が増すとともに自家用車の利用を自粛することにもつながっています。わずかでも消費支出増に貢献できていることを実感しています。この度の利用実績の調査と実態把握もつと周知してください。カードをタッチしないでいかれる方を結構見かけます。制度存続のためには一定の負担はやむを得ないものと考えます。生活困難な方はやむを得ないものの支払い能力のある方まで年齢で一律に無料にすることは制度存続上無理があります。もつと所得区分を細分化するなど負担割合の見直しはできないでしょうか。バス便の減便、交通不便地帯の居住者の方との格差拡大になってしまうことは困ります。コミュニティーバスの新設、バス路線の経路変更・改善などもう少し地元利用者のニーズに沿った移動サービスの改善・充実を希望します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>小児医療費無償化中学校給食の財源は、敬老バスの見直しで。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>P88 敬老バスの負担をゼロにして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏向西に22系統のミニバスを通してほしい。</li> <li>・敬老バスで相鉄線も利用できるようにしてほしい。 (地下鉄はめったに使用していませんので)</li> <li>・敬老バスを無料にしてほしい。</li> </ul>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P84 緑の大地のままに残してほしい。大災害時の避難先になり得ます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P88敬老バスの負担ゼロについて 年金額が削られる中、敬老バスの負担ゼロは高齢者の外出の為、又、健康維持の為にも絶対に必要な事です。改悪されれば孤独な老人を増やし、医療費の増大につながります。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>ギャラリー行のバスは空いている事が多いですが、図書館、音楽堂のみみじ坂回りにすれば利用客は多いと思います。巡回にすることはできないのでしょうか？以上よろしくお願いたします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策28日常生活を支える地域交通の実現について 私が住んでいる上大岡のマンションは坂の上にあります。以前は若い人、子育ての人が入居でしたが只今の状態は私を含めて老人が多く、杖を突く人車椅子の人が見られます。食料品はあるコンビニ店が来て下さるので有難いですが、問題は病院です。 上大岡の周辺まで足を運ばないとだめ、タクシー使用で往復という人がいらっやいます。マンションの前を保育園のミニバスが停まり園に通っているのを見て私達老人も近隣の公園にバスを乗り入れして下さるとうれしいのですが。私たちは駅の先にしか敬老バスが使用できません。 10/4朝日新聞に二俣川の高齢者の足の記事を見て、私たちのところもあればよいなあとお手紙を書きました。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略5 市バス路線の縮小やダイヤ減で利用者が困っています。赤字であっても公共交通の責務があります。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
94系統のバスがなくなり困っている人々があります。再び走らせて!!小さな声に耳をかたむけて!!	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>“歩道にベンチを”</p> <p>コロナ禍の昨今、足腰を鍛えようとウォーキングに出かけますが、20～30分歩くと小休止したくなります。ところが最近(は)バス停以外にベンチを見かけないことに気づきました。</p> <p>歩道にベンチは確かに邪魔なのでしょうね。</p> <p>年をとってきてその身になってきて感じたことです。</p> <p>ご一考をお願い致します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
山下ふ頭の全ての既設の設備を処分し、エリア全体を保税地域に指定し、全域超高層ビルを無駄なスペースなく、多数建設する。公園等不要。ファストフード店、スナック店など多数設置（観光目的でないエリアを目指す）入居基準は製造設備を設置しない業種企業、研究、開発、大学など知識集中型、インキュベーター型都市を目指す安価でスペース提供を行う、山下ふ頭は公共交通機関が脆弱なため、新横浜—横浜駅—みなとみらい—大さん橋—山下ふ頭をつなぐ大量交通システムを整備する。	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>鴨志田西団地の住民です。一番の問題はバス停から遠い事で起きる不都合です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプラザ近くにバス停があればもっと参加したいとの声が多い</li> <li>遠いバス停では足腰が弱った高齢者の外出の機会が減り、病気、ケガ等で体力的に弱った人々には遠いバス停まで歩くのは困難</li> <li>夜、バス停が遠くその帰り道に変質者に後を付けられる女子高生から「怖くてここには住みたくない」と言われ、家族は駅近くに引っ越ししたという人がいる（子育て時期の若い人の入居が減少に繋がり団地の若返りが難しい）</li> <li>近くのスーパーまでタクシー利用者もいる（多くの年金生活者では無理）私も最近の足の骨折により病院に行けず（遅れて行く）痛みを耐えるという災難にありました。バス停まで歩ききれずに引き返す時、健康な時はさほど感じなかったバス停の遠さに近くにあればどんなに助かったかと・・・以上のような不都合を抱えての生活を強いられています。今の既存のバスルートに西団地経由を加えていただくことを切に願います。</li> </ul>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>鴨志田西団地では数年前（平成15年から数年間）バス停留所誘致の話が持ち上がりました。</p> <p>その時は時期尚早だったのか？話は断ち切れました。</p> <p>今団地の住民も70歳以上の方が3割ほどになり高齢化の波が押し寄せています。</p> <p>加えて高齢化に伴い免許証返上者も増え5年～10年後のことを考えると不安です。</p> <p>不安を解消して豊かで暮らしやすい生活を送るために！歩くことが困難になる高齢者のために！「バス停を団地の近くに作って欲しい！」「何かほかに出来ることはないか？」などいま行動を起こす必要に迫られています。</p> <p>高齢者になっても自分の生活圏で買物、通院、趣味運動など自身の足で行動出来たらどんなにか素晴らしいことでしょう。</p> <p>団地近くに鴨志田ケアプラザが有りますが最寄りバス停が遠くもっと近ければ利用したいと言われる方もいるそうです。団地とケアプラザは近くにありますが。車なしでも暮らしやすい社会にするために公共交通機関の役割を考えていただきたいです。</p> <p>団地＝ケアプラザ前にバス停誘致を！期待しています。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>緑区のJP中山駅の川和踏切の立体交差の事業化を促進することを中期計画にしっかり位置づける。</p> <p>2015年10月1日の当該踏切での40代女性の死亡事故が発生したことから、近隣住民が立体交差点を進める会を設立、1万筆余りの署名を集め、市道路局に提出。</p> <p>市もこれを受け、事業化を約束したが、その後「広報よこはま」でも告知してきている。</p> <p>しかし、同じ言葉を繰り返すだけで進展がない。</p> <p>こんな状態を続けることは市民への背信行為である。</p> <p>そこで、事業化の促進を期間を切って明確にしていきたい。</p>	参考	道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>園芸博後にその地をテーマパークにするという話が出ている。これはP182都市基盤の未来「持続可能な生態系を守り育てている」と矛盾している。</p> <p>100年後の未来を思い、自然を壊すことに反対である。この地をコンクリートで覆ってはほしくない。Y150の赤字28億円の失敗を繰り返してはいけない。</p> <p>一方瀬谷区には大病院がない。住民は安心安全でられない。この地は東京にも近く、首都圏にふさわしい病院を作してほしい。</p> <p>新型コロナ流行以前の計画はもう一度見直すべきだ。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>旧上瀬谷通信施設の再開発では大規模な商業施設ではなく市民の憩いの場として整備して下さい。「海運道路」の桜並木を切り倒すなどもってのほかです。社会福祉に役立つ施設一病院などを中心とした全世代にとって意義のある一を考えて下さい。テーマパークのようなたくさんの人が集まる施設は時代遅れです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>家賃補助付きセーフティネット住宅の供給戸数を増やすとのことですが、様々な事情により現在のアパートなどに住まざるを得ない低所得者への家賃補助も考えてほしいです。</p> <p>現状では家主への補助はあるようですが、利用する大家さんが少ないようです。ハードルはいろいろあるでしょうが、借り手に直接補助する方法を柔軟に考えてほしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>集客力のあるテーマパークを地道に作り上げていくことが必要。私は、日本のアニメは世界的にも人気があるように思ってます。日本のアニメ巨匠達の一大パークに仕上げるのです。各々のワールドが寄せ合うテーマパークにするのです。どれくらいの漫画家を候補にするかは、割り当てる土地と、各漫画家が必要とする土地との関係から自然と数字が出る。各ワールドの規模は、漫画家毎のスポンサーを探し出し、その構想に基づいて作る。全体構想との関連も考え、ワールド構築基準を作る。このパークならクラウドファンディングも集まりやすいでしょう。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>p88の施策・地域の総合的な移動サービスの確保について</p> <p>青葉区鴨志田町の鴨志田西団地は、既設バス路線の停留所から300メートル以上離れていて、高齢化が進む(70歳以上が30%以上)近年、股関節の問題や筋力の低下などでバス停まで歩くことに不自由を感じる人が増えている。また、運転免許を返納した結果、荷物を持って坂道を上がることが負担になるのでタクシーを利用する人も多い。高齢者だけでなく若年層でも、塾帰りの暗い道で痴漢に遭遇する事件も発生している。</p> <p>このような状況を受けて、鴨志田西団地では自治会の中に「バス停誘致委員会」を設置して、横浜市の地域交通サポート事業を拠り所に、バス停を団地近傍に誘致する活動を進めているが、東急バスは路線延長に対して難色を示しているし、近隣の自治会にも賛否両方の意見があるようで話が進んでいない。この局面を開開するために、バス路線の延長が近隣の各自治会や町内会の住民にとってどのようなメリットやデメリットがあるか、横浜市として調査するか、住民の参考になる事例を紹介するなど、もっと強力なサポートを行ってください。</p> <p>一方で、鴨志田西団地では近隣の住民に迷惑をかけず、西団地独自で小さな移動手段を持つことを模索することにした。これは、団地内の各棟の階段下から既存のバス停までの数百メートルから1キロメートル程度を低速で公道を走ることができる電気自動車を運用するものです。</p> <p>この他にも解決手段はあるかもしれないが、地域交通サポート事業にしても住民意向調査から実証運行を経て実施に至るまで通常5年を要するということであり、その間に住民の高齢化はさらに進むことになる。我々にとって安心できる移動手段の確保は緊急性の高い課題です。もっと短期間で解決できる手段やプロセスを横浜市は提示すべきだと考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P84政策26人を惹きつける郊外のまちづくり 米軍上瀬谷基地返還後の跡地利用について、住民の要望を踏まえテーマパークに固執することなく自然を活かした計画を強く要請します。 併せて、和泉川の源流は最低森林を含めて現状を守ってください。 「なぜか」 和泉川の愛護会は宮沢地区に8カ所あり、毎月多数の住民が草刈りや清掃に汗を流しています。又、小学校の子供たちの自然の遊び場にもなっています。持続可能な水と緑の保全です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>P87政策28日常生活を支える地域交通の実現 この2年半に及びコロナ禍の中、私の住む鴨志田西団地の高齢者達は出かける回数が減り、体力、気力も落ちている。鴨志田西団地には、近傍にバス停はない。団地中央から徒歩7分と言われるが、老人にとっては「敬老バスをもらおうともバス停は遠い」であり「行きはよいよい帰りはこわい」という丘の上だ。帰りは10分以上になる。 バス停誘致活動もコロナ禍の中、地域交通サポート事業までもいきつかない。進歩するIT・EV技術を活用して、昇給に効率的に政策28を進めてもらいたい。678世帯の鴨志田西団地にも移動サービスの恩恵がもたらされることを切に要望する。 青葉区のはじっここのエリアが郊外型限界集落とならないように、市の政策に期待する。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスは75歳以上は無料に。 70歳になって嬉しいのは敬老バスをもらえることと言います。負担少なく。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>①70歳以上から無料に－横浜市での敬老バス制度は1974年に全国初の70歳以上の無料の制度で発足しましたがその後の見直しで有料とされてしまいました。年金は切り下げられ、医療費も75歳以上は窓口負担が2倍になってしまいました。ぜひ当初の精神に立ち返り、75歳ではなく70歳から無料とされるよう検討していただきたい。 ②利用対象交通機関に民間鉄道も－現在は鉄道は市営地下鉄ですが、JR、京急、相鉄東急などにも利用範囲を広げることを検討して下さい。名古屋では22年2月よりJR、名鉄、近鉄も利用できるようになりました。 ③横浜市も敬老バス制度の効果の調査を－横浜市健康福祉局も「暮らしに生きる敬老バス」とその効果の大きいことを認めておられますが、実際にどのぐらい社会意義と効果を上げているかしっかり数値化するよう調査することをご検討下さい。 名古屋市では2013年に「日本能率協会総合研究所」に調査を依頼し、市負担金をはるかに上回る効果があるとの調査結果が公表されています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中期計画（素案）はどれも実現してほしいのですが、何よりも命と暮らしを守ること、困っている人や弱者に対して優しく温かい政策の実現を願っています。 88P敬老バスに向けて検討開始の実現を望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>瀬谷の跡地については、テーマパーク構想は拙速だと思います。もう少し時間をかけて考えてもよいのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス 敬老バスがもらえて本当に良かったです。昨年はケガで使用することが出来ませんでした。無料にして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>高齢化社会となった今 安心して老いていける市政であることを望みます。 ・敬老バスは75歳以上は無料に ・介護をもっと利用しやすく</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」及び政策28「日常生活を支える地域交通の実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>81p「新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」に関してです。 郊外部は、特に私が住む旭区にまたがる旧上瀬谷通信施設跡地は、そのまま残してほしい自然です。桜並木を全伐採せず、テーマパークなどにせず、盛り土切り土、川の暗渠化を止めて、田んぼと川と里山を生かした跡地利用をしてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの無料をぜひ実現してください。 横浜市高齢者実態調査（令和元年9月）では、65歳以上の高齢者はほぼ毎日買い物や通院のために徒歩やバスを利用しているとの報告があります。またコロナの感染拡大により自宅に引きこもった結果、認知症発症、うつ状態の悪化、日常動作の自立度の低下などが学会等で報告されています。外出によって身体的・精神的な健康を維持でき、健康寿命の延伸につながります。現在一部本人負担で敬老バスが支給されていますが、買い物や通院だけではなく、趣味やボランティア活動など多くの方のふれあいを作り健康で暮らせるために、敬老バスの無料化を実現してください。 ICカードの利用が求められ、乗車記録がデータとして活用されるともいますが、金沢区でのバスの減便が予定されていると聞きます。バスの運行の減便や廃止につながるような政策には使用しないで下さい。高齢化社会を迎え、高齢者が安心して暮らし、生活できる足を充実させることが、ますます重要になると考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス このバスのおかげで社会参加、健康増進のための諸活動に参加できます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス 敬老バス制度は、高齢者の社会参加を支援し福祉の増進を図るために1974年に始まりました。当初は全員無料でしたが、2003年に利用者負担が導入され、高齢化が進むに伴い徐々に負担額がアップしてきました。 市長は市長選で「75歳以上の自己負担ゼロ」を公約としました。選挙中には市民の皆さんからさまざまな声を聞きましたが、「敬老バスを利用しているが、一定の自己負担は必要ではないか」「若い人達のためにもっと税金をつかってほしい」という意見がありました。 また、住んでいる地域により利用する交通機関は異なります。主にJRや京急電車を利用する人にはメリットはありません。したがって、利用率は2020年度は53.6%、コロナ禍の影響がない2019年度以前でも約56%に留まっています。75才以上が自己負担0円になっても、今利用していない人に利用が広がると思えません。 他都市の事例も参考にして、持続可能で公平な制度はどうあるべきか検討する必要があります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢化の今「敬老バス」は社会参加に必要です。所得に関係なくすべて75歳以上の人には「無料バス」を配布して欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス75歳無料化で健康促進、社会参加による経済の活性化など多面的な効果もあるので是非進めてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バス 年金がいろいろ引かれ手取りが少ないのに又、体が具合が悪い事が多いし、バス（敬老）は無料にして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスについて 現在、後期高齢者の医療費負担が2倍となる中、年金は削減され続け、高齢者の生活は厳しくなるばかりです。10月からの物価高騰で日々の大変さは言うにおよばずです。 敬老バスの無償化は高齢者の社会参加、健康促進に多大な影響をもつものであり、経済活性のためにも是非実現して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>87P～88P横浜は坂が多いので高齢になるときつい。バス便のない所にミニバス運行を</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>189P 敬老バス75才以上無料化を。何かというお金がないからと・お金がないならば不要な大型開発はとめて下さい。市民の意見を聞く機会を作ってほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス無償化をぜひ早めに行うして下さい。外出がしやすくなるのでうれしい。西原住宅、つるがみね付近のバスの本数がとても少なくなりました。不便で困っています。 つるがみね→星川行き、二俣川行き ヨコハマ西口行きの便が少なくなって、困っています。 政策28 日常生活を支える地域交通の実現 高齢者の外出支援の観点で、敬老バスのIC化により得られる利用実績等も踏まえながら、敬老バス制度（75歳以上無償化）も含め、持続可能な地域の総合的な移動サービスの検討をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者が外出しやすくなることによってフレイルの予防になるので、敬老バスの無料化を希望します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>バス便が減っているので、市民の足であるバスを元に戻してほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>75歳以上の敬老バスの料金を無料にして頂きたいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスについて75歳以上の無料化は公的通り実現していただきたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>75歳以上の敬老バス 高齢者の社会参加、健康の為外出する機会を作ってほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
バス便が減っているので、増やして欲しいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
現状、敬老バスは高齢者だけに恩恵があるサービスで納得が行きません。今回の素案では見直しを期待できる表現で良いと感じます。子育てを重視して、夢のある計画としてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策28の2 交通ネットワークの拡充をもっと積極的に取り組んでください。 電車を降りるとアップダウンの激しい、坂が多いのが横浜の特徴だと思います。既存のバス路線ネットワークだけでなく、もっと細部にコミュニティバス網を広げる為の施策・政策でないでダメだと思います。 そのネットワーク網が今後ますます高齢化を迎える横浜市民にとっても外出し、健康を維持するインフラになります。 特に横浜市には日産自動車という自動車界のリーダーカンパニーがあります。自動運転を横浜市も一緒になって開発し、横浜市内に無人運転のコミュニティバスを世界でもいち早く導入すべきだと思います。この4年間でその足がかりにできるように中期計画の見直しをお願い致します。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策28(4)「自転車利用環境」:モノとしての自転車だけでなく、乗る環境も考えて欲しい。現状の自転車は、道路交通法上は自動車と同じ扱いであるが、危なくとも車道を平気には走れない。諸外国のように、歩道と車道に加えて、自転車道を設けるような本質的な施策を考えてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策4「多様な移動ニーズに応じた自転車利用環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
園芸博覧会は誰が望んでいるのでしょうか？ もはや本気でやめることを検討してもいいと思いますし、開催を決めた責任者に、様々な責任をとってもらいたいです。今後は大きなイベントを誘致するのはやめていただきたい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
P81、84あたり 旧上瀬谷通信施設の新たな交通について シーサイドライン撤退を受け表現が「新たな交通」に戻ったことは好ましい。ところで花博の輸送はどうするつもりだろうか。「快適で効率的な輸送システム」とあるがAGTは既に間に合わない。といって1500万人規模のイベントを道路交通だけで捌こうというのは無理がある。結果としてマイカーやバスに頼ることで大渋滞を引き起こし、排ガスで会場を汚すことでSDGsからはかけ離れたシロモノになってしまうのではないだろうか？ そこで原点に戻り、どうにかLRTで整備することはできないだろうか。LRTなら工期も短く、工費も圧倒的に安いはずである。周辺の道路交通には負荷をかけることになるが、マイカーやバスに頼るならそれ以上に負荷がかかる。車線をいじめることにはなるが交通政策全体で誘導してはどうか？ LRTならその後の延伸も容易であり、若葉台団地や十日市場、長津田方面の活性化、利便性向上に即効性が期待できると思われる。 シャトルバスの場合、相当な台数のバスが必要になると思われ、併せて人手不足の運転手の確保も必要となるが大丈夫か？ 専用車線が確保できない場合、大渋滞で全く機能しないことも覚悟しなければならぬ。この場合主に瀬谷口を考えていると思われるが、鶴ヶ峰口も考えてはどうか？鶴ヶ峰方面は国道16号沿いに水水道がほぼ並行しているので、ここをうまく繋ぎ公共交通専用にするれば、距離は長いが大渋滞は回避でき時間も読める。若葉台やズーラシア方面のバスもこちらを使い、後々はLRTとして再整備してはどうか。 LRTの利点の一つは拡張性である。AGTではそうはいかない。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
若い世代のお金を高齢者や都市開発に回す考え方はもうやめてもらえませんか？時代は変わっています。私たち若い世代が喜ぶ施策をもっと予算をつけて増やして欲しいし、特に敬老バスなどはやる必要がないと思います。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P88の「2地域の総合的な移動サービスの確保」に関して、90歳目前の母親と同居しておりますが、高齢者の健康の保持には、外出しやすい環境づくりが必要だと考えます。その観点で、市の財政状況が相当に厳しいのも理解しています。記述のあった敬老バス制度の「75歳以上無償化」については、対象年齢をもう少し引き上げても構わないとは思いますが、是非とも導入いただければと思います。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策28日常生活を支える地域交通の実現</p> <p>①鶴見駅～子安駅区間のバス路線38系統は、1時間に1本しかバスが来ません。利用したくてもなかなか利用できない状況です。本数を増やして下さい。</p> <p>②京急生麦駅西側の生見尾踏切は2016年に踏切横断中の老人が死亡する事故おきました。当時の林市長はスピード感をもって対策を行うと表明し、大型エレベーター2基（自転車も乗れる）を設置する計画を提示しましたが、その後小型エレベーターを設置しましたがこのご線橋には途中で階段があり車椅子などは利用できません。道路局は、踏切を閉鎖すると地域の合意がなければ工事は行わないいと住民を驚しています。踏切閉鎖となれば、両側の商店街が分断されてしまいます。早急に当初案通り安全対策を実施したうえで、問題解決に臨むことを願っています。</p> <p>③都市計画道路岸谷生麦線は、当初計画されてから既に40年が経過しています。同地域には新設される住宅もあり、工事に際しては200軒近くの家立ち退きが必要と説明されています。住環境を壊すこの計画は財政上からも中止することを求めます。</p> <p>④同上岸谷線のため、横浜市が買い上げた貴重な土地がフェンスで囲われて放置されたままです。現在の空地为菜園畑や憩いの場として利用をさせて下さい。</p> <p>⑥鶴見区には地下鉄がありません。敬老バスの利用も限定されています。JR鉄道や京浜急行鉄道も乗れるように改善してください。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス無料化は高齢者のいきいきとした活動を支えます是非実現してください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
バス便の拡充を！1時間に最低3本のバスを！ミニバスなどを考えてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策番号26上瀬谷地区は、開発をやめ、自然のままにしてください。交通便が悪いので、ハイキングなど歩いて楽しめる場所にしてください。大型開発など今のところ、お金をかけるのはストップして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
政策番号28 70歳以上の敬老バスは本当にありがたいです。横浜市内のバスは便利でありがたいですが、赤字が出るところは廃路にするので、友人たちが大変困っています。どうぞ庶民の足のバスの充実をお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市営バスの運行本数が場所によって、30分に1回だと、高齢者は買い物等に出かけても帰りが混雑して困って居ます 現状を把握してミニバス等、運行してください	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P87～88移動・交通 敬老バスをゼロにしてください。年金生活者の足となるバスが、有料だと、経済的に負担になります。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
ミニバス運行の実施をお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの制度やめないで下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
多くは考えきれませんが、現在お世話になっております敬老バスについて0負担にして少しでも厳しい財源にプラスになればと思っています。 又は高額年取の方に対し負担していただくというお考えはいかがでしょうか…？全員0円にする必要はないと思います。 できるだけ若い世帯、若い方の負担が少なくなるようにと念じています。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中期計画を進めてほしい 敬老バスの推進	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは無料にして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスについて 10/1から実態調査をしていますが、駅（地下鉄）により、バスのタッチ場所がバラバラで困る。なんで窓口で出来ないのか？	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
70歳からの敬老無料バスはすばらしい。高齢者が元気に豊かになれる制度です。現在年9000円負担ですが、できれば負担もゼロに。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの自己負担ゼロについて 年をとると病院にかかることが多くなり、バス等を使うことが多くなります。（今まで歩いて行けたところでも足が悪くなるから）。 医療費の窓口負担が多くなる（75才以上2倍化など）ので、せめて、交通費だけでも軽減していただきたい。健康保険料を年金から払うのは大変だから、“重税”といつも感じてます。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
坂道が多いので、バス便をもっと充実したい。 車の通りが多い横断歩道で、何故信号がないのかと思う。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスに東急電鉄、その他私鉄電車も乗れるようにしてほしいと思います	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市民との約束、是非実現して下さい 敬老バス、なくてはならない。検討よろしくをお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
港北区は坂道が多く高齢者が出かける場合タクシー利用しなければならない事が多く経済的にかなり負担になっている。コミュニティバスなど移動交通の充実を望みます。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス（自己負担ゼロ） 75才以上の敬老バスをゼロにしてほしいと思います。交通費がゼロになると、我々老人も外に出て山下公園散歩とか時々ランチも食べに出かけられると思います。心も体もリフレッシュできます。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P88バスは継続して下さい。負担ゼロをお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
テーマパークの計画は縮小して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
花博に使う予算を他に使っては？（例えば、市民税を減らすとか）	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段が不便なこと。</li> <li>・バスは20分おきでおいでしてくる。</li> <li>・百円タクシーはある程度の距離でわり</li> <li>・歩道のないところが多い。</li> </ul>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略5：戦略的な土地利用の誘導・推進とはどんな戦略なのか明確になっていないまま既存の開発行為が行われる裏付けになっているのではないか。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策4「戦略的な土地利用の誘導・推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
東横線沿線（特に日吉・綱島地域）の自然破壊、秩序破壊の大規模開発による人口増は見直すべきだ。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策1「鉄道駅周辺のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
75歳以上の敬老バスは収入によって自己負担額を変えるべき。お金持っている高齢者はたくさんいるのに全員無料にするのは経費がもったいない。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
高齢者や障害者などは移動手段がなく、不自由な生活や社会とのかかわりを持ちにくい状況が生まれています。採算にとらわれない、生活の足としてのコミュニティバスの運行や福祉有償移送サービス事業者への助成拡大等を検討してください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策28；敬老バスで75歳以上タダにするのは聞こえは良い政策であると思うが、バス停まで行くのが高齢者には難しくなっていることに、注意を払っていただきたい。お金は取っても良いから、私自身は青葉区の鴨志田西団地に住んでおり、鴨志田中央というバス停からは約500mの距離がある。若い時は7～8分の距離で問題なかったが、高齢になると倍以上の時間が掛かり、利用しにくくなっている。バスのコースを少し変更すれば、団地の傍に停留所が出来るととても便利になるので、道路局等と相談し、東急バスとも話をしてもらったが、距離が延びる分、便数を減らすとかの話をするばかりで埒が明かない。敬老バスをタダにするよりは、お金を多少取っても良いから、便利にする方を優先してほしい。小型のバスを使うとか、グリーンモビリティを使うとか、手段はいろいろ有るわけで、解決に向けたより積極的な情報の発信や、解決までの対応を早めるように配慮していただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P84の政策26－5について 旧上瀬谷通信施設において土地区画整理事業が始まりますが花博予定地以外にもあの広大な土地には保護してほしい多様な生物が生息しています。新たな活性化拠点として商業的な開発を進めるのではなく、地球規模の気候変動を見据え、自然保護の観点に立ってください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>上瀬谷通信基地跡地での花博は、住民自治を尊重し合意の下に進めてほしいです。現有の自然を生かし、加重な観客動員目標優先にならないように適正規模で行われるようにする。合意が取れない場合は実施も見送ることもあってはどうかと考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>84ページ 国際園芸博覧会は、税金の無駄遣いです。採算のとれない甘い計画を勝手に進めないでください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策28 3子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保→横浜は坂が多く道も狭いので小型でもある程度まとまった人数が乗り降りできるマイクロバスのような公共手段ができると嬉しいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策26－上瀬谷地区における新たな活性化拠点の形成や国際園芸博覧会の開催に向けた取り組みよりも、市民の暮らしに直結する分野に優先的に予算を回していただきたい。そのことが、基本戦略にある子育てしたいまち次世代をともにはぐむまちヨコハマにしていけるためのとても大事な施策になると思います。</p>	参考	社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。
<p>政策26：人を惹きつける郊外型のまちづくり：戦略的な土地利用の誘導・推進・・・ ：みなとみらい地区への偏重予算の解消をお願いします。 ：シャッター商店街のコミュニティサービス化と小商いはる再活用の検討・支援をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」及び政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策27：豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり ：地域の民間の中間支援団体等の支援による、地域のコミュニティの活性化や地域のつながりの再生の充実をお願いします。 ：中間支援団体と自治会等の協働の誘導支援による、自治会の若返りと地域コミュニティの活性化の充実をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策2「多様な主体と連携した持続可能な郊外住宅地再生の推進」及び政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策5「地域の様々な主体と連携した地域まちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
政策28：日常生活を支える地域交通の実現：高齢者の外出支援の観点で、敬老バスのIC化	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策28 期待している政策であり、関係する主管局が網羅されて、ニーズに対応すべく、まとまりがある。 目標達成に向けて是非進めてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
花博のために桜並木を切るなどという暴挙はやめるべき。樹木にも命があり、それはひとをいらしている。命を奪う政策は日十心をむしばんでしまう。自然のおおらかに人は安らぎを得るので、心寂しい市民をつくる政策はやめるべき。今ある自然を生かす政策をとってほしい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現 2027年国際園芸博覧会は、今ある自然を守り、樹木の伐採しないで実施することは出来ませんか？それが出来なければ花博に反対します。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
政策28「日常生活を支える地域交通」では、「敬老バスのICカード化により得られる利用実績も踏まえながら、敬老バス制度（75歳以上の無償化）も含め、持続可能な地域の総合的な移動サービスの検討を進めます。」とありますが、IC化によって利用者の負担増にならないようにして下さい。敬老バス利用によって高齢者の外出・買い物・社会参加が増加し高齢者の健康維持にもなり、敬老バスの経済的効果は乗車運賃の合計以上のものがあります。市長の「75歳以上の負担ゼロ」の公約も踏まえて総合的にとらえて利用者負担が増えないようにしてほしいと思います。地下鉄がないなどで市民の敬老バスの平等使用が望まれます。敬老バスが使える交通手段の拡充をはかり、バス運行の回数や路線を増やして高齢者の外出手段を増やすことも必要だと思います。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策28日常生活を支える地域交通の実現            中心テーマ：施策2地域の総合的な移動サービスの確保            パブリックコメントの目標、現状と課題(以下、PC)として中期計画のあらましが示されています。一方、具体的な動きとして10月1日から本格運用された敬老バスのIC化による実態把握、或いは地域交通の在り方を検討する専門チームが都市整備局に新設され、その成果を期待しているところです。</p> <p>さて、私は2017(平成29)年度から市の地域交通サポート事業の支援を受け、この11月1日から地域ワゴン型バスによる実証運行を開始する(泉区の)新橋バスを走らせる会の代表を務めています。PCに掲げられた「新たな移動サービスの導入」、「高齢者等外出支援」、「起伏が多い郊外住宅地」に該当する地域・活動と言えます。この活動は継続中ですが、「持続可能な地域交通の実現」に対しての課題が、この5年半の間に実感しましたので、意見を申し上げます。</p> <p>乗合バス事業者等に対しては、健康福祉局から敬老特別乗車証の事業費(令和3年度予算では12,657百万円、割合として市税5：利用者負担1)が供出されています。一方、当会の運行事業者であるタクシー事業者は、地域交通サポート事業の該当事業者であっても、その事業費の対象になっていません。(ワゴン型バスによる運行の場合、令和3年度から車両購入等への補助金交付が道路局からされるようになりましたが。)</p> <p>利用者負担の観点から、乗合バス事業者の初乗り運賃は、180円～220円程度で70歳以上の敬老バス保有者は、市税の恩恵を受けた負担額(約1/6程度)で利用していることになります。一方、当会(タクシー事業者)の利用料金は300円で、事実上恩恵を受けていません。</p> <p>同様に、既にワゴン型バスの本格運行実施は、市内2カ所で利用料金は300円と400円です。高齢者福祉の観点で、市道路局が推進する地域交通サポート事業に対するバス事業者が運行する地区の利用者負担とタクシー事業者が運行するそれに、相違が大いにあります。持続可能な地域交通として維持するため利用者確保は大事で、地域及び住民への負担依存を軽減して頂きたい、と思います。</p> <p>また、運転免許証返納について、同様に持続可能な地域交通の実現に対して何らかの方策が必要です。返納時に運転履歴証明書が発行され、お店での買い物等優遇されていますが、民間任せの感があります。免許証返納を考えるが、それには足即ち地域交通の確保が必要との声が多くあります。この地域交通の利用に対し特典等が与えられたら自主返納が促進でき、引いては市民の安全・安心な暮らしに大いに寄与すると考えられます。どの機関(行政、警察)でも唱えている高齢者の運転免許証自主返納への効果がある、移動手段提供に係る具体的な取り組みをお願い致します。</p> <p>以上、ご検討の程宜しくお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策26人を惹きつける郊外部のまちづくり 5 郊外部における新たな活性化拠点の形成 6 国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進</p> <p>この中で、旧上瀬谷通信施設地区の土地区画整理事業と2027年国際園芸博覧会(以下花博)のことが書かれている。この二つは同じ地区であり連動しているものとする。まず花博については、新型コロナウイルス感染症の拡大以前に計画されたものであり、集客目標や感染対策などについて、大きく見直さなければならぬ。会場までの人員輸送手段として、新交通システムの導入が計画されていたが、費用対効果の面で大きな問題があることは明らかである。また花博開催に向けて道路整備が必要となり、街路樹の伐採が余儀なくされるなど自然破壊の問題がある。「花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現」という花博開催目的に逆行して、貴重な自然を失う商業的なイベントになってしまう恐れが大きい。イベントに使われた花は時期が過ぎれば捨てられる。花とはそういうものと割り切る人も多くいるだろう。しかし人間の商業活動のためのイベントで、大量に生産して大量に消費して大量に捨てられる花や緑を目にすれば、これが持続可能な社会のあるべき姿とは到底思えない。SDGsの観点からも、横浜市は花博の予算や規模の大幅な縮小を行い、本来の自然環境保護の目的に沿ったイベントになるように抜本的な計画の変更を行うべきである。</p> <p>旧上瀬谷通信施設地区の土地区画整理事業については、土地利用で4つのゾーンが設定されている。観光・賑わいゾーンが中心となり、周辺に農業振興地区、物流地区、公園・防災地区を配置する計画がされている。中心となる観光・賑わいゾーンはテーマパークを核とした複合的な集客施設を立地させるとしている。今、テーマパークでの集客を中心に据える町づくりを計画することは、適切だろうか。日本はこれから人口が減少して、高齢化がさらに進行していく。街中の商品は外国製品が多くを占めるようになり、経済活動も長期停滞に向かっていく。コロナで外国人観光客は激減して、感染が収まったとしても観光客はテーマパークというよりも、日本の歴史や自然に触れることが一番の目的という調査報告がある。こうした状況を見れば、バブル期のようなテーマパークを核とした開発は失敗に終わる可能性が高い。旧上瀬谷通信施設地区の土地区画整理事業は、地権者の意見だけではなく、広く横浜市民や有識者から意見を聞き、SDGsの観点からも抜本的に計画を見直すべきである。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「敬老バス制度の拡充」と「位置づけの変更」に関する提案 (政策15-2)</p> <p>・横浜市が実施した「市民アンケート調査結果」で、交付を受けていない理由で「自己負担があるため」と回答している方が21%、バスがどのように役立っているかの回答の1位(64%)が「交通費負担の軽減」と回答していることを合わせて考えると、暮らしの厳しさの反映と考えられます。</p> <p>(目的・位置づけ、原案の位置づけの変更)</p> <p>・「老人福祉法の理念の具体化」であり、高齢者がバスを利用して楽しく外出できることは「高齢者の健康増進と多様な社会参加保障する必須施策」であり、「高齢者の移動による多様な活動の発展と地域経済発展」は市政全般に大きな貢献をする制度です。従って、制度の「位置づけは、15-2」です。</p> <p>・さらに、市政の基本に位置付けられた「SDGs推進の立場」からは、公共交通の拡充は「戦略3に位置付けられる重要政策」です。「原案が政策28に位置付け財政論で議論しているのは、時代錯誤も甚だしい誤りであり位置づけの変更を強く要求します。</p> <p>(制度内容)</p> <p>①発足当時の目的に立ち返り、「高齢者全員が等しく無料で利用可能」とすべきです。それを実現する4か年計画を求めます。第1段階75才からの無料化、将来、現状の70才から無料化へ拡充する。</p> <p>②さらに、将来的には国にも働きかけ、パリ市等の先進都市で実施している「鉄道(JR・私鉄)も利用できる仕組みに拡充」を求めます。</p> <p>③当然、「財源は国・県・市の3者が負担する公的制度」として確保を目指すよう提案します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「敬老バス制度(75歳以上無償化)」の「検討」ではなく、山中市長が公約に掲げたように無償化に踏み切るべきである。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>生活道路や公園の整備 私は、今68歳で、55年前に今住んでいる港北区新羽町に越して来た。その頃はまだ、この辺一帯水田だった。 その頃は、水害が多かった。だが、新横浜に大きな遊水池も作られ、堤防も強化され、排水設備も充実させてくれて水害はなくなって感謝している。 ただ、道に関しては、あの頃田んぼの畦道だった所をアスファルトに固めただけで、狭くて歩道のないところが沢山ある。その狭い道を大きな車が行き交い、歩道もないので危険と隣り合わせで歩く。 車椅子やベビーカー、子ども連れ、年寄り、こどもはとても危ない。 ところが、港北ニュータウンに行くと、道路は整備され、車道と歩道が交差しない道作り。せせらぎなどに沿って作られた遊歩道。同じ横浜市に住んでいるのにあまりにも違いすぎて、愕然とする。目立つところに沢山のお金をかけて、庶民が暮らすみんなが使っている道は危険でも放っておく。なんとか改善して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス 現在の自己負担額の倍以上の増額 通学バスの負担額軽減 バス便がなく不便な地域へのミニバスの設置 敬老バス無償化には反対します すでに行った分科会の調査をみても自己負担額の二、三倍の増額をすべきであり、48%の敬老バスを受けない市民の公正性も担保するべきです 高齢者よりも子育て世代への手厚い施策が必要です バス便の不便な地域への公正性も考慮されるべきです</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P.87の政策28について、敬老乗車証について無償化すること。また、バス、地下鉄に乗ることの出来ない高齢者について、社会参加の支援のため、敬老乗車証にかわる、タクシー料金を助成する制度を設けること。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略7国際園芸博覧会の成功とガーデンシティ横浜のさらなる推進(P.95) 中期計画年度内の国際園芸博覧会開催に反対。 今、命を持って存在する樹木や希少な虫のいる川などを不自然な土地に改悪することに反対。花博がテーマパークよりも多い集客数を見込むなどは論外。横浜市の農業振興とは別問題。中学校の学校給食を充実させるのが優先事項。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P84鉄道駅周辺のまちづくりの推進 金沢八景駅東口開発では、区画整理事業として取り組まれたこともあり、地権者中心の話し合いの中で進められ、市民・区民の歴史と伝統のある金沢八景のイメージとはかけ離れた街が実現されています。駅前が公共空間でもあります。皆が憩える場所、店（喫茶店、食堂、レストラン）、100人位が食事をしながら交流できる場所など、今からでも検討して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>金沢八景駅東口開発についてのご意見として、今後の事業の参考にさせていただきます</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略5『新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり』 政策26人を惹きつける郊外部のまちづくり 主な施策 （意見）「6 国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」として、「博覧会の成功に向けて、『一般社団法人2027国際園芸博覧会協会』と連携し、博覧会の認知度向上、市民や企業等の参加意欲の向上など機運醸成の取組を加速するとともに、会場周辺のインフラ整備や、快適で効率的な輸送システムを構築します」とあるが、人口減少社会を迎える中で開発をし続けることはインフラの保全に事欠きコンパクトシティの概念にも沿いませんし、気候危機の時代に大規模な緑地をなくすことは環境破壊のみならず災害を惹起します。上瀬谷を開発することはやめて、自然を生かした自然公園とし、災害時には防災拠点として下さい。ニューヨークのセントラルパーク、ロンドンのハイドパークを参考に、都市としての公園のあり方を見習ってください。 花博をどうしてもやるのであれば、平地でインフラ整備の必要のない山下ふ頭で行ってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策27豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり 政策の目標 （意見）野宿者やネットカフェ難民や友人宅を泊まり歩く方などの住まいの貧困を撲滅する視点が足りません。住まいの貧困は人権問題です。これからさらに深刻化します。横浜市として責任をもって対応するように掲げて下さい。 主な施策 （意見）「2 重層的な住宅セーフティネット住宅の充実」が掲げられているが、野宿者やネットカフェ難民や友人宅を泊まり歩く人などの住まいの貧困者数に比して全く足りません、横浜市が貸主となって住まいの貧困者に貸し出して、実質的な利用者を飛躍的に伸ばしてください。 （意見）「4 地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等対策の推進」が掲げられているが、市内の業者や市民が会する場を地域で設定し、その中でその地域地域の空家をどう活用していくのか検討を重ねていくものとして下さい。空き家の活用としては、住宅に困る方にリフォームして貸し出す、地域のコミュニティの場とする、宅幼老所とする、家庭菜園とする、緑地として保全し手入れを地域の雇用の場とする、などが考えられます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」及び主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等の対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策28日常生活を支える地域交通の実現 主な施策 （意見）「2 地域の総合的な移動サービスの確保」とあるが、市民が日常必要な路線バス路線が廃止となる一方、観光地に重点的に路線を配する姿勢が続いており看過し難い。超高齢化社会において、路線バスは死活問題であり、コミュニティバスの運行も視野に入れて、市民の足がなくなるような施策をとってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>花博建設費320億円開催費360億円やめてください 上瀬谷開発テーマパーク企業が実現可能と言っているだけで 自然を破壊しています 横浜市には失望しています。どうして市民の意見は無視するのでしょうか</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>81頁「新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」ハコモノ開発行政はやめるべきである。価値の転換を図るべきである。 花博は中止し、旧日本軍の毒ガス施設で米軍通信基地だった歴史と緑を尊重し、歴史と自然の鎮魂の場にすべきである。 空き家が多いので、地域で困窮者や障害者の為に活用する住まいと交流の場を作るべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>敬老バスICカードは何処の愚かな官僚が考えたのか知らぬが、僅かな母集団の試験を数量的に拡大すれば良かったのに、どれだけの機器代と人件費と無駄にしているのか。横浜市公務員は自意識とは異なり客観的には余り賢くないと自戒すべきである。無駄な浪費をするより早く敬老バス無料化を推進すれば良かったのだ。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>花博は中止すること。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P87～88（政策28）について                      横浜市の地域交通サポート事業により本格運行しているところで安定して運営されている地区は少ないと思います。                      横浜市は、コミュニティバスの位置付けをもち、本格運行への財政支援をすべきです。利用しやすく安定的に運行を継続するには、財政支援が必要です。独立採算が容易にできるのなら、民間企業が参入していると思います。                      他の自治体でも、本格運行に財政支援しているところが少なくないのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>根岸森林公園、根岸住宅地区跡地計画にも反対する                      ○根岸公園を分断する道路計画をやめろ。地元住民が困ることをするな                      ○市大2病院の統合・移設にも反対する。地域の医療を破壊する行為である。                      ○旧一等馬見所の保全を行え</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策4「戦略的な土地利用の誘導・推進」、政策17「医療提供体制の充実」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>花博の失敗の責任の取り方を表明せよ                      失敗が現実視されている中、強硬するのであれば、行政と議会が推進した責任を最低でも「財政面」でとっていただきたい。市民が負担する赤字はゼロにすることを求める。                      「運営費」だけの話ではなく、「建設費」や他事業に付け替えている「造成費」と「基盤整備費」などの、結果的に生まれる上瀬谷関連事業における赤字は、行政職員の減給（赤字の返済を終えるまで続けよ）や議員報酬の返還によりゼロにすること。                      その上で、もちろん市長・副市長の辞職と議会の解散を求める。                      推進した元市長には賠償を求める。現市長が退任していても、賠償することを議会で決議すること。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市に住んで良かった。若い人達や高齢者も税金を正しい使い方を望みます。敬老バスは無料を望みます。今すぐにでなくても良い。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスは現状維持プラス75才以上に無料化をすすめてほしい。高齢者の元気の素社会参加の意欲にどれだけつなげるか（P89）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>鉄道駅の転落防止柵の整備を進めること。（鉄道各社に指導すること）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老特別乗車証制度の維持と利用しやすい方法の検討などをして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
上瀬谷基地跡地開発などは大規模開発ではなく市民意見を取り入れた開発をして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
風害や日影被害など周辺住民の生活環境を侵害し、防犯・防災上問題の多い超高層建築物を前提として町づくりを見直して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
数年前に運転免許を返納しました。自転車も利用していますが長距離はヒザが痛くなって無理がきかなくなりました。交通手段はバスと電車になります。街の中での移動で困るのはバス便（ルート）が少ない事です。是非ともルートを増やしてほしい。大型でなくて良いです。むしろ街中のルートはミニバスまたはコミュニティバスとでもいうものを設置し病院や買物に気軽に通えるようにしてほしいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスはICカードになって良かったと思います。加えて無料になると更に良いです。以前の様に無差別に配らなくて良いのです。申請した市民（高齢者）に無料で・・・	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
上瀬谷の利用については自然を大切にしたい健康的なものに、また市民住宅を増築など市民の為の利用をお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスも値上げはしない方向でお願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
身体障害の歩行者の安全を守る為歩道通行のルール厳守を警察と協力して徹底してほしい。 ・人は右側通行と－左側通行者が多すぎる。 ・自転車は道交法上は軽車両であり、原則上歩道通行禁止。例外的に歩道通行を許される場合は歩行者の安全第一に！！一歩行者の安全を無視してスピードを出し過ぎて通行する人が多すぎる ・点字ブロック設置目的の徹底を－点字ブロック上に障害物を置いたり立ち止まったりする健常者が多すぎる。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
75才以上の敬老バスは自己負担なしにして下さい。出かけることが多くなれば健康促進になります。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは外出する際に助かっています。ぜひ継続することを願っています。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは大変助かっているので続けてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
敬老バスを今後とも続けて欲しいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
米軍上瀬谷基地の跡地にはレジャー建物ではなく病院などを作って、後は広場を残して下さい。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス制度の充実を！ 交通事故防止のため、高齢者ドライバーの免許証の返納が進められています。返納しても安心して外出、移動出来るようにしてほしいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
75歳以上の敬老バスゼロに向けて 80歳になろうとしている後期高齢者です。住まいは昔は山の中だったかも・・・という高い所です。どこに出かけるのにも坂と階段です。病院、買い物、役所、銀行その他、外出の際はバス利用です。 陽光台まで徒歩30分、上大岡までは50分（足が悪いので）かかります。今年金が減り、物価が上がリ、光熱費も・・・なので、少しでも生活が豊かになりたいと願っています。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは現状維持で良い。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの自己負担ゼロに反対です。バスはありがたく使わせて頂いていますので、負担は当然すべきです。限られた予算は子供に使ってください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスについて これ以上値上げをしりせずにして欲しいです。出来たら鉄道（相模線等々）も対象にして下さい。 コロナ禍になり外出を控え、健康面、社会参加ひいては経済の活性化にもつながります。色々な効果が上がると思います。市民にもっと目を向けた政策をして下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
地域交通について 地域交通の困難な地域について、財政的援助や運航条件の緩和等、地域の実情に合った支援を行ってほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは高齢者の外出支援をしやすくしていると思うが、財政の中で考えて高齢者優遇にならないよう負担の額を考える必要があると思う。 75才以上無料化については納得できない！バス輸送の利便性を上げることも必要と思う。 バスの間隔が減っている現状がある。そういう状況では外出の魅力は減ってしまう。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
浜4のバスの便数を増やしてほしい。3時間に1本の時もある。お年寄りが多く買物に困っている。上の方に32市バス、下の方に神奈中バスがあり、何とか歩ける人は使い分けしているがその内行けなくなるので人ごとではない。数を増やしてほしい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
75才以上の敬老バスを無料にしてください。いつでも安心して外出することが出来ます。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
公約はもちろん守って欲しい。でも3つのゼロについては何人かの友人から「バスがゼロに」なっても自分のところに路線がない。前あった路線が無くなったり不自由で仕方ない。 年いっただら足も悪くなるし、バスしかないのにそのバスが走らない。なんとかしてほしい。 ちなみに私はゼロでも使わない（ほとんど） 市営だけでなく相鉄線でも補助があればと思います。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス負担ゼロ 高齢者の寿命が長くなる中で活動幅を広げる敬老バス負担をゼロにしていきたい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの施策について 75歳以上の敬老バスの負担ゼロは総合的な移動サービスとして「検討する」ことに賛同いたします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスゼロに…。元気で出歩けるように。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスの自己負担を0にする。 敬老バスは高齢者の外出機会を増やし、人々とのコミュニケーションを促進し、歩行を強いる（バス区間同士の移動、バス停留所から目的地までの歩行等）ことから、健康増進に役立ち、高齢者の医療費縮減に寄与することができる。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バス高齢者が多いので、ゼロは無理だと思うので、負担できる人には相応な負担を！	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
京急線のホームドア未着工駅の早期着工実現へ	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
敬老バスは無料にしてください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
バス便、路線を増やしてください。六ツ川から（平戸線木道路）南区役所へ行くのが大変	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
MM地区に西区の広場等区民・市民の利用施設がありますが、アクセスが不便です。 横浜駅前バス停からケイ友病院等行ける便を出して下さい。増して下さい。 みなとみらい地区だけでなく、旧市街地の利便化を	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>主人が要支援1の歩行困難50歩程しか歩行不可となり、通院にタクシー代で1回往復6000円弱かかり、医療業よりも悩ましいところとなっております。通院の為にタクシー代金の補助支援なんとかありませんか。ちなみに9月のタクシー代¥31,200(通院のみ)、10月¥15,000(見込)</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの無料化が実現できれば、高齢者の対策として住みたい都市に変化すると思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスを無料にして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの自己負担ゼロをめざして下さい。少なくとも、増やさないで下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「政策28」 ・市営交通バスの運行計画を市民の声を聞かずに勝手に変えないこと ・中区本牧地区を通る市営地下鉄を作ること、本牧地区は陸の孤島となっている</p>	参考	<p>市営バス・市営地下鉄についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス75才以上負担ゼロにしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>今年、町内会長をやっており、高齢者からバス停に屋根を付けて欲しいと言われてきました。バス会社、市役所に相談しましたが、結局ダメでした。猛暑が続くので、何とか屋根をつけていただきたいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>No.28政策 ・丘の横浜に約50年住む75歳女性です。 海の横浜を見学、発見する。敬老バスは嬉しいです。 グリーンライン線、ブルーライン線の一駅ずつ下車し、街歩き、食べたり買い物や町の人たちと話し、建物見学、自然などなど発見がいっぱい。一期一会ありがとう。 ・丘の横浜は比較的坂道、上り路が多い為、高齢者にとっては外出する機会が少なくなり、コミュニティの寸断も考えられます。（坂道や登坂にチョット休める場があるといいですね）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」及び主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスのおかげで外出、移動が出来、健康づくりに役立っています。無料化、特に低所得の人に実施して欲しいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>三春台等高台にある町にバスを走らせてください。買い物、通勤、通院等に必須です。小型で良いのです。町が活性化します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>相鉄線が延び、地下鉄が通り発展する町と聞いて引っ越して来た者です。立場から泉区役所付近のプロムナード計画はどうなったのでしょうか。</p> <p>以前配られたイラストでは、パリの街角のような雰囲気、歩道も広く取り散歩したり、お茶を飲んだり、ショッピングを楽しめるはずでした。</p> <p>現在は祭儀場が何件もたち、華やかさがありません。深谷の通信隊跡地にはお墓もできるとか。これからは葬式も減りますよ。</p> <p>桜木町や港北ニュータウンは近代化された街並みなのに、これでは泉区に住みたいとは思わないですね。人を惹きつける街でしょうか。</p> <p>同じように住民税を払っているのに、各区差があり不公平感があります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策4「戦略的な土地利用の誘導・推進」及び政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷での花博はよいテキストで進みますように。</p> <p>とにかく市民の森等自然を大切に。通信基地の跡地に「有害物質」が残っていると。ちゃんとごまかしのない未来をよろしく!!</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者の車による事故がニュースで取り上げられるたびに自分自身の運転免許証をいつ返納すべきか考えさせられます。75歳以上の敬老バス自己負担ゼロの実現は、買物・通院・知人との交流・市内のミニ旅など行動を極端に制限する事なく、免許返納の後押しにもなってくれると思います。高齢者の自動車事故を減らす上でも、排出ガスの減らすことができるであろうことなどからもぜひ実現させて下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷開発</p> <p>予算が無いなら上瀬谷開発は止めて欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>82才、女、ひとり暮らしをしています。</p> <p>日頃、敬老バスとデイサービス（週2回）の恩恵に浴びて、ホント、感謝しています。</p> <p>2本杖について、片目不可、坂の上に暮らしているもので、買い物に不自由しています。</p> <p>生協の宅配を利用して、かなり生活は出来るのですが、スーパーも行ってみたいですね。</p> <p>通院は、TAXIを使うことも多く、サイフも心配で、「愛知県長久手市」のような事業があつたら超うれしいです。</p> <p>ご検討いただくと、とてもうれしいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バス[戦略5政策28]</p> <p>10/9付けの毎日新聞が採り上げた敬老バスIC化の問題もリスク分析が十分に行われていなかったことを如実に示している。改札(地下鉄)の傍に読み取り機を設置しないことでどのような混乱や問題が起きそうか、交通ICカードと混同されることはないか、新バスを「ICカード」と呼ぶことの妥当性はどうか、対象者への利用案内が適正か、等子供でも発想できることをなぜ想定しなかったのか。目的が利用実績の把握であることをなぜ明らかにしなかったのか。</p> <p>某市会議員の問いに担当が「事業者に提案をかけた際に交通系ICカードを利用するとの提案がなかった」と答えたようであるが、無責任極まりない。</p> <p>市民の苦情に押されて、山中市長は10/13の記者会見で「読み取り機を改札窓口付近に移設する」との方針を示したが、時期については明らかにできなかった。横浜市は体たらくぶりを満天下に示した情けない事例である。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>①中学生までの子ども医療費 ②出産費用ゼロ ③敬老バス無料化</p> <p>現在は一定額（収入に逆比例する金額設定を負担することで市営地下鉄・バスの年間無料化のシステムが出来上がっている。これを利用している高齢者の中で更なる無料化＝健康維持や社会生活に不可欠な制度と考える人がどれくらいいるか疑問。）</p> <p>その予算は上記①、②に付けてもらうのがベターと考える。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>公営住宅</p> <p>住宅政策というより福祉政策であり、低所得者向けを中心に行うのいいと考えます。</p> <p>しかし、高齢者だけが住む団地では好しくなく、多世代が住む多様性のある住宅など民間ではやりにくい住宅に推進してほしい</p>	参考	ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策2「重層的な住宅セーフティネットの充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>87ページ政策28バスネットワーク</p> <p>コロナでリモートやオンラインですから鉄道もバスも乗常減少する。公営でも私営でも同じです。特に私営の場合は利益に直結しますので減便は仕方ない。</p> <p>中計でも記述していますが、高齢者は比較的減少していないのではと考えます。比較的減少していないのではと考えます。</p> <p>通院やトレーニング・スポーツはあまり減らない。以下は具体的提案です。病院が運行している通院利用者のマイクロバスを支援する、運用の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロバスに通院以外の方（例として病院付近に住む高齢者）を乗せられる様にする。100円で変えとかです。混んでいる場合は不可です。</li> </ul>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略5の政策26「上瀬谷地区における新たな活性化拠点の形成」に関して、現在ある自然を最大限活かして、自然公園を作ってほしいと思います。</p> <p>・和泉川や相沢川、瀬谷市民の森などの自然はとても貴重なものです。瀬谷区民としてはもちろん、横浜市民や首都圏の人にとっても貴重なものだと思います。できるだけ壊すことなく、自然を活かしてほしいと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>誰もが気軽に歩ける為に敬老バスの無料は必ず実現してもらいたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスの存続と、自己負担を減らして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>狭い歩道を自転車が行くので、高齢者は危険でよければなりません。更にキックボードが歩道通行可能になると、さらに危険が増えます。歩道は歩行者の安全第一の政策にして下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>⑥交通ネットワーク</p> <p>三ツ沢中町下町のバス時刻表について</p> <p>三ツ沢から横浜駅へ向かう時はバスの本数は15分～20分の間隔があります。しかし反対に横浜から三ツ沢方面に向けては1時間に1本しかありません。勝手な考えですが浅間町方面に向かうバスはかなりの本数があるように思います。市民病院行きのバスを三ツ沢松本経由にいただくと助かります。</p> <p>年をとりますと帰りは買物をしたりと荷物が増えます。疲れも出てきます。やはりバスは助かります。しかし1時間に1本のバスの時間に合わせるのは大変です。路線の見直しをぜひお願い致します。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>地域交通サポート事業の支援を受けて3年以上活動していますが、未だに実施運行の見込みも立っていません。住民の要望を把握することが始めの一歩と思いい、需要予測調査を実施しました。予想通りでしたが、高齢者の利用層は多くありませんでした。敬老バスの希望はありますが、所持していない人が多く、少数です。</p> <p>敬老バスを新規事業者が参入するためには、条例の改正が必要となり、無償化もよいのですが、先ず参入可能にすべきです。</p> <p>当初高齢者の乗り合いタクシーを目指しましたが、利用者層が少なく採算が見込めませんでした。地域交通サポート事業の状況を見ても、高齢者向け事業では成功例が見つかりません。</p> <p>そこで、通勤通学にも利用できる路線バスに事業者の提案を受けて変更したところ、需要が多くなりました。</p> <p>市道路局の技術支援はありがたいのですが、手続き重視で住民の意向に合いません。誰もが安心して便利な生活出来るよう、役に立つ制度の実現を切に願います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>免許返納のため、バス停（団地中央）からの階段や距離が遠く、買い物や医院への移動が苦痛です。コミュニティバスの運行を実現して欲しいです。</p> <p>これは団地住民全体で検討していますが、なかなか実現しません。緊急の課題です。よろしく願います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>郊外部、バス路線網の再構築が必要と思います。私の住む汲沢、中田、戸塚町付近は道が狭く、駅（踊場、中田）まで15分～18分位歩いてくる方がいらっしゃいます。中区や西区、南区と比較して、交通格差が大きいと思われ是正が必要と思います。マイクロバスや小型バスを活用し（磯子区岡村や戸塚区柏尾町には小型バスがあります。運行すれば、この地域の皆さんも泉になるし、今後の高齢化対策に有益と思います。市役所として、交通弱者対策を行う時期が来ていると思います。神奈中が出来ないなら、交通開発や市営、他社でご検討をお願いします。</p> <p>不便な地域として一例をあげると、汲沢3丁目、5丁目、6丁目、7丁目と中田西3丁目、4丁目、5丁目、戸塚長300～400付近です。これはごく一部です。</p> <p>最後になりますが、交通格差の解消と高齢者対策は横浜市急務と思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢者を支える地域包括ケアの推進（シルバーバス自己負担無償化の実現）</p> <p>未来社会に向けて子育て施策に最重点を置くのは理解できるが、人口の4分の1を占める高齢者が元気に安心して暮らせる社会を築くことも重要である。</p> <p>選挙で、新たな財源確保が期待できる統合型リゾート誘致に反対したのは、財源政策に自信があつたのか。是非「3つのゼロ」公約を実現させるべきだ。なかなか、シルバーバス自己負担ゼロは何としても実現して欲しい。</p> <p>高齢者の医療費、介護費用の増加が懸念される中で、社会参加促進、外出支援で元気な高齢者を確保してもらいたい。</p> <p>選挙支援目当てのパフォーマンスに終わらせることの無い様に願う。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>敬老バスの存続と自己負担を減らして下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市内には危険なバス停が何か所かあると聞きました別の所に替えることを考えてください。命にかかわります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略5P.81～P.88 現状やこれからの課題など全体像は分かるが、具体案が何一つ書いてありません。 P.88主な施策②75歳以上敬老バスの無償化は本当に必要なのか？ P.83政策指標の直近の現状値の低さなど、開発関連企業との連携もあるでしょうが現実の問題として移動手段がなければどれも目標値の増加につながりません。 私の団地の問題点 築年数1983年4月。678戸。 築40年、5階建て、階段無し。(階段には手摺りも付けた) 約40年が経過し、70歳以上の高齢者数は35%に達します。 目につく問題点 5～700m先のスーパーへも途中で休憩しないと行けない。(軽い坂道でも疲れる。) バス停まで遠くに行けない。(元気な人には丁度の距離だと思うが。) 雨の日も病院の数少ない循環バスを待つ人がいます。 高齢でも連れ合いの病院送迎のために車を手放せない人。中には90歳の人もいます。 元気な状態を維持し、行きたいところ行き、趣味を楽しめる高齢者は僅かです。 数年後には移動手段がないと毎日の生活さえ成り立たなくなる。 すすき野団地でやっと自動運転モビリティの実証実験が始まりますが、暮らして50年の経過が必要なのか。遅きに失すと思う！ 築40年の鴨志田西団地でも高齢者のために移動手段の確保が叫ばれています。 行政にはそのための協力や指導、お力添えを切にお願いしたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」及び政策28「日常生活を支える地域交通の実現」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>まちづくりに関するルールの見直し等を日常的に行い、公平、公正なルールづくりをお願いします。特に以下の例の家屋のセットバックの規定改正をお願いします。 3m20cmの道路に接している家屋は、2m道路側からのセットバックは必要ありません。そのため2m道路側境界ギリギリに構築物があり、消防車、救急車、パトカーなどの緊急車両も通行（進入）できません。 軽車両は一部車種のみ出入できますが、何回も切り替えしが必要で、日常生活に著しい不便が生じています。 一方2m道路にしか接していないため家屋の場合、1m10cmセットバックして、道路が3m10cm確保できるようにして、建築許可がありました。 当該家屋をセットバックしても、3m20cmの道路に接しており要件を満たしているとして、当該家屋と同じ道路に2mぎりぎりに建物があるため、1m10cmセットバックさせなければ、2m道路への入口がふさがれてしまいます。生活車両も自由に出入れできず、片手落ちであり、セットバックした意味がありません。 1m10cmセットバックは、緊急車両等の通行を確保するためではないでしょうか。現状は、セットバックの目的が機能していません。こんな理不尽なことが放置され、不便な生活を強いられないよう、速急に適切な是正策(ルールづくり)をお願いします。 土木事務所に相談しても、「現状では問題ないので何もできない」との事務的な返答で門前払いを受けております。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策3「郊外部における多様な機能の誘導」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>3つのゼロのうち敬老バスについては、負担ゼロは必要なしと思います。 今まで通り収入に応じての金額で購入すればよいと思います。 これからますます高齢者が増えることを考えれば、高齢者ばかりを優遇するのはいかかと思いますが…（ちなみに私も76才の高齢者です）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>移動・交通の充実を 青葉区大場町稲荷前地区は、急勾配の坂道の続く丘陵です。71系統のバス、黒須田駅からは39段の階段を昇り、43系統の黒須田口からはひたすら坂道を登ります。昭和40年台に開発された住宅街には高齢者が大半を占め、若い世代は数えるくらいです。店舗はコンビニは全くなく、移動スーパーもないこの地区では、日常の買い物に困っています。若い頃は自家用車で買い物に行っていましたが、免許証返納の現実を目前にして、明日からの食料品調達をどうしたものかと思えます。医療機関もまったくありません。 老人用のデマンドバス、乗合タクシー、その他何かの移動手段、買い物手段を考えていただきたいと思えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略5の政策26 「上瀬谷地区の新たな活性化拠点の形成」 横浜は自然の緑地帯が年々少なくなっています。手入れをした公園の緑も良いのですが本来あった残された貴重な緑を守っていく事も大切だと思います。上瀬谷地区の豊かな自然を残し、さらに緑地をふやして欲しいです。失われたものは戻りません。 災害に備えて、広域防災拠点としての土地整備を考えてほしいです。プレハブ住宅が建てられるスペース（平時は広場）避難建物を作り、日常は催しもの会場として利用もできます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策28については、市のシルバーパス制度はとても素晴らしいと思えます。しかし、赤字だからとバスの便数を減らしたり路線をなくしたりしないで欲しいのです。バスは家の近くまで来られるなくてはならない足なのです。 できれば電車（地下鉄以外の）にも適用できるようにして頂けたら、有難いです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略5 中学校給食は学校で料理した物を食べさせて下さい</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。</p>
<p>政策28高齢者が活動しやすいようにバス代を無料に戻して下さい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市民の身近な足として、赤字を理由にバスを廃止しないで欲しい。 市民の移動手段としてバスの運行を確保すること。各事業者に対して、公共交通の役割を果たしていく為に、財政的な支援が必要です。 高齢化社会では、移動手段としてバスの活用はますます重要です。区民が行政の中心である区役所に直接行ける交通手段がないことは問題です。 金沢区並木地域から区役所や公会堂、金沢文庫方面に行く区役所行きバス路線を復活して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>・市営住宅の外壁塗装、ドアの塗装などももう少し細かく修理して下さい。 ・市営住宅の建替えについて、もう少し情報がほしい。（その頃にはいないよとかすぐ建替えをするように言う人もいる）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、市営住宅の再整備を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略5、政策26～28）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
安全で快適なまちづくりの為に、子ども、高齢者が歩きやすい歩道づくりを進めて下さるようお願いしたいです。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
今年の1月に引っ越してきたのですが、バスが2時間に1本は不便です。高齢者はアウトレットへ行くことより、衣→医が重要と思います。バスのサイズを小さいものにして、公共施設、病院、駅、スーパーetcを中心に巡回してはいかがでしょうか。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略5 政策28 並木団地居住者の金沢区役所行きバス路線の復活を求める声にこたえて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
28の政策・94系統のバスがなくなり困っている老人が多いので再び走らせて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市バスについて 市バスの停車場に屋根やベンチをつけて下さい。市バスの回数を増やして下さい。市バスは長く歩けない人が多いので、横浜駅周辺にもベンチを設置して下さい。お願いします。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策の29は、横浜の財政確保の為に必ず成し遂げて欲しいです。メディアにIRを叩かれて断念しましたが、パチンコと同じなので、冷静に判断して復活もあると思います。日本独自のIR事業、例えばパチンコとのコラボとか建前の本音で考えて欲しい。兎に角、海外から横浜に来たいと思わせるエンターテインメントをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山下埠頭の開発条件をIR検討時の条件と比較し検討する旨を明記してください。IRを取りやめたのだからそれよりも行政の投資が大きくなる、税収が少なくなる、反社会勢力が関わる余地があるなど、条件が下回る事業はすべきではありません。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下埠頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略6成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり みなとみらい地区の開発も概ね終盤にさしかかっており、ようやく大都市としての骨格ができあがってきましたが、東神奈川駅周辺の再々開発と接収地瑞穂ふ頭周辺地区周辺を「第二のみなとみらい地区」として整備する必要があると思います。場合に依っては、中央卸売市場本場の移転再整備も併せて検討したらと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策1「横浜駅・みなとみらい・東神奈川臨海部周辺のまちづくりの推進」をはじめとした各政策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>芸術音楽等横浜がさらに市民のオアシス創りに期待します。 毎年秋に開かれる横浜ジャズプロムナードはジャズ発祥の横浜ならではのイベントで来客数が更に増える要素があると感じます。 このような機会を生かしさらに歩きたい街横浜にするためにはまずはみなとみらいエリアの歩道やペDESTリアンデッキオープン飲食カフェを充実させ圏外からのお客様もそのエリアで支出をしていただけるよう回遊を高める好機かと思ひます。コロナ禍円安海外旅行を度々横浜回遊に政策期待します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」及び素案の政策30「市民の身近な文化芸術創造都市の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」 ・山下埠頭は横浜港を見渡せる一等地であり、若い家族が自由に立ち入れる場所であってほしいと思います。 ・ハンマーヘッド規模の建物と、イベントができるように赤レンガ倉庫の広場のよう構成が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下埠頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>日雨量200ミリ以上の豪雨が帷子川流域に発生すると、構内の溢水事故により横浜駅は数日間機能不全に陥ること必定である。 波及して、地下5階以下に立地する市営地下鉄線とMM21線は数日以上機能不全に陥る。 本件は20数年前から各種計画に“記述”され、その都度先送りされてきた案件である。 上記施策目標が“完了”しても、溢水事態の根本回避とはならないが、次善策として早期完了を期待したい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見につきましては、素案の政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策1「横浜駅・みなとみらい・東神奈川臨海部周辺のまちづくりの推進」及び素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策1「氾濫をできるだけ防ぐための対策の推進」及び主な施策2「浸水被害を減少させるまちづくりの推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>山下埠頭にはアゴヒゲアザランなどが展示育成されるタマちゃんマリランドをつくってください。横浜駅から山下埠頭までLRTを通し、環境に優しくかつ便利な路面電車で通勤通学観光客の利便性良く、観光客増やしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下埠頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」について 西区の紅葉坂の上には県立図書館、音楽堂、青少年会館、能楽堂など文化施設が集積しています。特に県立図書館がリニューアルしてからは、若い人たちが集い魅力的なエリアになっています。しかし、紅葉坂は坂が急で、行きたくても行くことができない高齢者や子育て世代は多くいます。 そのため、紅葉坂にケーブルカーを敷設することを検討していただきたい。 東京の飛鳥山には無料のケーブルカーがある。ケーブルカーは、実用的であるだけでなく、パリのモンパルナスのように観光の点からも魅力的である。 もしもケーブルカーが難しければ、桜木町、伊勢山、紅葉坂上、野毛をまわる循環バスを運行することを検討してほしい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部」の主な施策6「回遊性の向上と多様な主体の連携による賑わいづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
IR廃止後の山下埠頭の利用方法は確定したのでしょうか？	包含・賛同	ご質問の趣旨につきましては、素案の政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」—芸術のまち—                      横浜市は芸術の推進に力を入れている印象があります。                      外から見てもとても好印象だと思います。                      だからこそ、—芸術のまち横浜—とうたっても良いくらいのまちづくりに期待します。                      現在は、イベント単体に留まっている感があります。                      美術館、劇場などは、市民への影響が多くないと思います。                      そこで、例えば、各地域に劇場がある町。                      現在、小劇場を作りたいと考えています。（横浜市内もしくは相模原市内です）                      その地域の人たちに、芸術を身近に捉えてもらえると思います。                      そして、その下の子供たちは、その芸術の中で育ちます。                      その地域でトレンド・アイドルが生まれます。文化です。                      しかし、さもないと、一般社会から芸術が必要とされなくなってしまいます。                      横浜市中期計画にも期待したいですが、個人としても具体的に動きたいと思っています。                      そして、都市デザインにも関わってきます。                      現時点では、みなとみらい・関内周辺は進んでいるようですが、全体的に、理想はあるが具体策は模索中という感じなのでしょうか。                      子供たちのリアリティ、大人の都合やエゴを取り除いて考えると、または、地に足を付けて考えると、アイデアが浮かんでくるように感じます。                      こねくり回して独創的なものを掲げながらのまちづくりで脚光を浴びるようなことはしなくてよくて、多方面においてバランス&amp;センスで作れば、住み心地が良いのではないのでしょうか。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜環状道路、都市計画道路、企業誘致、横浜港強化に向けた施策をもっと考えて盛り込むべきと思います。つまり関内と関外、横浜駅西口一帯、新横浜北口と南口一帯の国家戦略特区の拡大による企業誘致強化、再開発によるオフィス商業ビル建替を容易にする。	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜市文化保存活用地域計画 市内に残る多様な文化財の保存、活用について。具体的に、お願いしたいこと。 横浜市金沢区長浜に在る、横浜検疫資料館の現地保存と活用を計画してください。	参考	当該施設については、国が保有する施設であるため、本計画に位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
臨海部の整備が横浜の特色をつくるために重要であると市内全体で位置付けること。その上で水面を利用しやすい、水際を使いやすいルールに変えていくこと。その覚悟と夢を明確に発信すべき。	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
みなとみらい地区の開発もおわり港周辺は沈滞化の一途である。今のままではじり貧である。一刻も早く山下埠頭地区にカジノ、アミューズメントセンターを誘致して横浜臨海地区の魅力をアピールして集客、産業の活性化を図るべきである。市政に新しいアイデア、魅力ある施策が皆無である。市長は早く退職してもっと実行力のある若い人に交代すべきである。	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>本日、運輸総合研究所とJR東日本共催の「鉄道開業150年記念セミナー」を拝聴しました。</p> <p>森地茂先生と岸井隆幸先生の基調講演とパネルディスカッションを聞きながら、横浜市のこれからに付いて考えながら聞いていました。岸井先生のご意見、これからの都市は、世界に伍してゆくことがサステナブルになる。</p> <p>横浜市は、世界の「海洋都市」として特化すべきであると確信しました。</p> <p>そのために、改めて文化軸を強化すべき事を提案しようと思いました。（以前より頭の中にあつたことです。）</p> <p>みなと博物館が改装されましたが、狭い中に盛沢山の企画が展示され、魅力が半減していました。</p> <p>大棧橋と象の鼻の空間を総合的に再生して、展示場所を確保すべきです。</p> <p>海洋をテーマにした様々な文化企画を、定期的に行う。横浜トリエンナーレの合間を埋める。</p> <p>高度成長期まで、港を舞台としたサブカルチャーを纏めて展示する。</p> <p>海をテーマにした本格的ファッションショーの開催。</p> <p>水上交通強化策として、山下埠頭と大棧橋の下にトンネルを作り、大岡川と中村川をカヤック・サップで繋げる。</p> <p>現状では、業務線が多く行き交う大棧橋を回らなければならない。</p> <p>前回提案しましたが、「海洋」の世界的存在感、横浜市の歴史・地域資源を最大限に生かすことが、世界的海洋の中心地になる事です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます</p>
<p>都心部開発はストップして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略6、政策29</p> <p>山下ふ頭には「アミューズメントパーク」を作つたらいいと思います。</p> <p>人気キャラクターのイベントもいつもたくさんの方が訪れているようですし、人気キャラクターのゲームのイベントの時もたいへんな人出でした。たしか初的人气キャラクターの施設もみなとみらいでしたよね。</p> <p>ゲームキャラクターの施設は大阪にできてしまいましたが、ゲームメーカーのテーマパークでもいいと思います。</p> <p>そのテーマパークの中での移動は基本ゲームに登場するカートとする（他の車両は入れない→テーマパークの様に）テーマパークの中だけしかいない人気キャラクターゲームのキャラがいたりすれば海外客のインバウンド需要も見込めると思うのです。</p> <p>ギャンブルと違い、子供も大人もみんなで楽しめる山下ふ頭であってほしいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策29</p> <p>山下ふ頭の再開発は箱物の商業主義ではなく、緑をとり入れたくつろげる空間を望む。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>古代製鉄遺跡⇒過日、伊豆の反射炉を見学して来ましたが、観光客が沢山来ており、大賑わいでした。</p> <p>その反射炉より、歴史も古く、日本の底力となった、製鉄遺跡を、是非共復活させて、観光資源としたら、日本一の文化施設となり、歴史を振り返る良い機会となると思います。</p> <p>この素晴らしい遺跡を道路下に埋めた状態で放置する事は、文化都市横浜として、恥ずかしい限りです。</p>	<p>参考</p>	<p>文化財等についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>栄区上郷町の都市計画道路「舞岡上郷線」の地下に存在している古代製鉄遺跡「上郷深田遺跡」(横浜市は1986年に発掘調査を9カ月実施して、飛鳥時代の七世紀半ばから平安時代の九世紀前半にかけて、約200年間、砂鉄を使った「たたら製鉄」が営まれていた遺跡を発掘、製鉄関係炉18カ所他、多くの遺構を確認し、炉壁や多数の遺物が出土しました)。 当遺跡は予想を超える大規模な遺跡であったため、未調査部分を残して終了、道路下に埋め戻しています。 尚、この地域の堆積層には大量の砂鉄が含まれており、この砂鉄が製鉄の原料となっていた事も明らかになっています。 今でも、瀬上沢の小川にバクテリアが生息して、清流を維持しています。 古代製鉄の原点、原料「砂鉄」、熱源「材木」、技術「能力」、環境「住居」が揃っていた上郷深田遺跡を後世の人達に残すべきと思います。 ところが横浜市は、その場所に、都市計画マスタープラン栄区プランとして、商業・医療・福祉施設等の用途を誘導し、良好な景観を有する市街地を形成するとともに円海山周辺緑地への玄関口とする土地利用計画を推進しています。 このままにして置くと、道路下に埋没したままになってしまいます。 故に対策として、伊豆韮山の反射炉の様に復元して、古代製鉄遺跡として全国に、更に世界中に伝えて、歴史ある文化都市横浜を啓蒙して欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>文化財等についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>山下ふ頭の再開発について 横浜市を新展開させる軸として、「知」を位置付け、横浜市立大学（金沢八景キャンパス）を山下ふ頭に移転する。 【アイデア】 横浜市立大学（金沢八景キャンパス6.7ha）を山下ふ頭（47.1ha）に移転する。 *参考：東京都立大学（42.8ha） 横浜国立大学（45.5ha） 知の問い直しが課題となっている今日、未来に向けた国際的な大学教育、研究施設の先駆けがとすること。そのために、付属施設を充実させること。 *例：国際図書館、美術博物館、国際会議場、ホール、広場、滞在型研究施設、国際学生寮 市民が集い易い公共施設として設計し、地域景観をリードするデザインでまとめること。 【想定効果】 横浜は、今まで日本の産業、商業の牽引都市であったが、さらに知的牽引都市の要素も加えることができる。 この近隣エリアには神奈川大学、関東学院大学も進出すること、また関内地区は文化ゾーンとして整備する計画があることと相俟って、幅広く深い文化的都市の趣を形成することができる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山下地区の再整備について これまでの国際交流と国にアフリカ諸国や東南アジアとの交流を促進するため、各国の大使館や領事館に建設して、設置を実現してください。 また、市内外または外国の優秀な大学を設置して拠点をつくって下さい、 また、日本の国際情勢に対する考えを発信して、日本の良さをアピールして、研究・学習や仕事・旅行などで、来日する人々を増やすよう発信拠点をつくって下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の税収を増やすために、企業の誘致と働く世代の誘致を目指します。 山下ふ頭及び都心部、臨海部は海運の大規模な拠点や企業のオフィスビル、工事などの立地を生かしたビジネスのまちづくりのモデルは東京駅周辺や川崎扇島、今現在の港湾としての機能です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>衣食足りて・・・と言いますが、文化芸術は人として生きる力を後押ししてくれる重要なものです。前市長の方針も多少とりいれてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策30「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>都筑区に暮らしていますが、図書館の蔵書数のすくなさに、横浜市の知的レベルの関心度の低さを感じます。 中央図書館の充実のニュースがありました。なかなか通うには近くの図書館の充実を望みます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>戦略6 横浜には海がある、それを活かすべく臨海周辺環境街作りを推進する。 まず高齢者と子供達が同時に楽しめる釣り公園・若者に不足なスケートボード練習場、海に面した図書館、レストラン等市民に最も身近に楽しめる場所の創設と昼夜通しての魅力を考え市民生活を豊かにしてほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「市民向けの文化施設について」 「横浜市民ギャラリー」は野毛の音楽堂に近い丘の上にある JR桜木町駅・京急日の出町駅から坂道を10分ほど登らねばならない。 美術館へ行くにも作品を運ぶにも苦勞することになる。 特に高齢者にとっては、 文化施設を設置する時その使用者について考慮されているのだろうか 因みに以前の市民美術教室は、現在関東学院大学の新校舎の立つ場所に あった 関内駅南口から徒歩1分である。坂はむろんない。 新校舎の1階フロアを市民の文化活動に使用できるようにすることはできないものだろうか</p>	参考	ご意見につきましては、政策30「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P92都心部開発 お金がないなら大型開発やめて</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策29、反対</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策30、賛成</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>IR＝カジノ＝ギャンブル→NGの論法ばかりの街頭での演説やアンケートには辟易した。賛成派やメリットの話がほとんど聞けなかった。 私は定年後、コロナ前ですが福岡、大阪、京都、浅草、銀座などに足を運んだが横浜と比べはるかに外国人観光客が多いのに愕然とした。だからIRは横浜への外国人観光客の呼び水になる大きな起爆剤と期待していただけに残念です。</p>	参考	市の活性化についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>今後、山下ふ頭の再開発がどうなるのか？気がかりです。知恵と創意を結集して世界に誇るものを築いて欲しい。しかし現状知りえるアウトラインではなんとも普通でインパクトがなくカジノを頭ごなしに否定し悪者扱いする人たちに画期的なアイデアは生まれるのか？不安があります</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「上瀬谷に観光施設必要」の記事 花博開催で桜並木を切り倒してテーマパーク？それよりIR誘致撤回後の土地の有効活用すべき。</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>現在、考えられているアミューズメント等の箱物は、作って欲しくありません。既に横浜には文化芸術創造や国際都市としての建物も充分にあると思います。それらを上手に活用しているかが問題です。 あのふ頭に植林をして森にして下さい。そして子供達大人達が自由に遊べる広場を。 自然が欲しいです。自然が大切です。散策が出来たり、ゆったりと憩えたり小鳥のさえずりが聞こえたり、リス達が遊んでいたり…。良いですね…そうした森、広場が横浜にあるなんて、お願い致します。 経済、経済…もう沢山。お金を儲けることばかりが生活ではありません。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略6「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>音楽、観劇など芸術的な場所が少ない。これから区によっては高齢化が進みます。区の公会堂などでも、もう少しふえてほしい。若者達とちがいテレビ、ラジオ以外に楽しめる所、場所が少ない。テレビを実際の舞台のちがいはと、とても大きく感じられる。又映画館も若者達向けが多く、よく利用したミニシアターもへりそう で、さみしい。 ミニシアターでは壮年以上がとても多いと感じています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策30「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山下ふ頭 Yamashita Wharf または Quay の再開発への提案をします 海に面した地区ウォーターフロントエリアは人気のあるアミューズメントエリアに再開発されれば観光客に限らず地元の人を訪れます。横浜市の観光の起爆剤ひいては経済発展に寄与すると思います。コンセプトは日本的なものを出しすぎず、むしろ国際基準のものにするのがいい。「横浜に行けば面白いものが出来たよ」と思わせたい。おしゃれなもので若者がデイトに行きたいところ。家族ずれも安心して楽しめるところにする。 例えばシドニーのダーリングハーバー-Darling Harborは参考になる。 私が駐在した1960年代羊毛の輸出港として沢山の倉庫が建ち並び造船工場などもありました。その後経済環境も変わり、老朽化して長年放置されていました。しかし1980年代になって建国200年を記念して再開発が進み現在ではシドニー第一の観光地アミューズメントセンターとして生まれ変わり今日に至っております。私は山下ふ頭は非常に高いポテンシャルを持っていると思います。 横浜市は観光アミューズメントのコアになる目玉がありませんので県外観光客や訪日外国人は横浜に宿泊せず日帰りになっています。これら観光客を横浜に留めるにはコアになるアミューズメントスポットが必要と思います。 山下公園や山手、元町、中華街、みなとみらい地区には赤レンガ倉庫、ランドマークタワー、桜木町大型観光船などあります。また国際会議場、大型展示場や高級ホテルもすでに建設されていますがいずれも点になっていて観光のコアになるがありません。 これらの点を結びつける役目をもつのは山下ふ頭のアミューズメント化だと思う。「横浜に行けば面白いよ」と思わせる。既存のインフラも活性化しウインウイン、観光客も周遊すれば横浜市としての経済効果も全体として期待出来る新たな投資を呼ぶと思います。 施設について コンセプトは国際的感覚のものとし日本的なものをあまり強調しない。おしゃれで先進的なものにする。 横浜市民の総意としてカジノは含めない。カジノはむしろ横浜発展のリスク要因になる。 ホテルは周辺に既存の高級ホテルが十分ある。しかしリゾート型の高級ホテルがあっても良い。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>“歴史と創造性をいかした街づくり”と言っているが国の重要文化財である帆船日本丸は港湾局が窓口になっていてクラウドファンディングをやるといふ。 隣の博物館をあまりリニューアルしてもキレイにはなっていないし、お金がなくて日本丸は市民から募るくらいなので他の局が主管になって管理した方がいいのでは。特に、博物館のこども向けの事業がお粗末である。市内でノウハウを共有してほしい ゲームのような体験型の展示ばかりで民間のような施設でいいのか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市電の一部復活 桜木町駅か、関内駅から本牧、三溪園を経て滝頭車庫まで路面電車を復活させて下さい（根岸駅前も経由）電車はソーラーバッテリーカーでもよいです。 市電沿線に大きな駐車場を作り市の中心部への自動車の乗り入れを減らすのも一案です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、市内の鉄道ネットワークの検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山下埠頭再開発は山下公園に続く森林地帯。大きな森になってくれれば理想ですが、これからの災害を考えて空間地帯が必要です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜を代表する日本庭園・三溪園。コロナ禍も少しずつ収まって行く中、日本人の観光客はもとより、これからは海外からのお客様も見学にいらつしやる事でしょう。</p> <p>三溪園には10もの重要文化財があるそうです。是非海外の方にもこの日本の良さを知って頂きたいです。しかし本牧は交通の便が悪すぎます。是非鉄道を一刻も早く通して欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策22「観光・MICEの振興」の主な施策2「魅力あふれる観光コンテンツの創出」及び政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』 ・山下ふ頭再開発加速 →山下ふ頭再開発は、すでに意見を港湾局に提出済み(6/23)</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市は私が幼少の頃から海を埋め立てて企業・工場を誘致し発展してきましたが、市民が直接海辺に行ける場所は殆ど無くなりました。（金沢区に少し残っていますが）。海に面しているメリットを使っている企業（荷物などの運び込みや運び出し）も有りますが、海に面しているだけで海を利用していない企業・工場も多々あると思います。その様な企業の海に面した部分を横浜市が買い戻して公園化を進めて、市民に海を取り戻すという事は如何でしょうか。</p>	参考	<p>ご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策29 IR（カジノ）がなくなって本当に良かった。市民や観光客が憩える場所になるよう、市民・専門家の意見を聞いて良いものを作って下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>日本の伝統芸術（例えば清*）の公演会場に補助金制度を確立を要望します。</p>	参考	<p>文化芸術についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>臨海地区の再開発 鶴見に住んでいるから強く感じるのですが、鶴見区、神奈川区等臨海部に関する施策が極めて少ないと感じます。臨海部の工場も縮小しているところが多く、広大な土地の供給の可能性があります。この地区の再開発を本腰を入れて検討して欲しいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策4「京浜臨海部のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>92ページ山下ふ頭開発については地元事業者や学識経験者・専門家・公募による一般市民代表等多くの市民の意見が反映できる審議会で検討し、多くの市民が利用できる公共空間にします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P92. 関内・関外地区の活性化推進に反対します。 開港以来の歴史・文化とありますが日市庁舎を更地にしたり高層ビルを建てようとして、関内らしさを失うような計画ばかりです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策2「関内・関外地区の活性化推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画制作29, 30に関連しての提案 山下町における新たなまちづくり構想（提案） 【要点】 横浜ならではの優れた自然・景観、歴史的な遺産、未来への希望を体現したまちづくりを行う。 ◎山下ふ頭地区は、カジノ抜き「ハーバーリゾート」地区として整備する。（既決定） ◎大栈橋近くの山下町地区の再整備（*後述）を通じて、新たな文化・歴史ゾーンを形成する。 ◎オペラなどの音楽・文化機能を山下町地区に設ける 1 提案の趣旨 上記の要点のうち、◎の2つ目について、提案する。 □大栈橋周辺の山下町の現況 ○この地区は、横浜開港と絡んだ特異な歴史的な背景を持ち、かつ上質な都市空間・歴史的景観を有しているところである。 ○別添、図面のように、シルクセンター、産業貿易センター、県民ホールが横並びに建っているが、それらは老朽化しており、耐震工事は実施しているが、中期的に見れば建て替えをしなくてはならない。 ○これら3つの建物は、いずれも市や県が関与して建てられたもので、公共性の強い建物であり、また取り組んでいる事業も公的な側面を持っている。 ○現在の建物の設置状況、大栈橋から横浜に訪れた観光客の横浜のゲートウェイとして貧弱であり、またとくに、産業貿易センターとシルクセンターはそれぞれの事業展開の趣旨が不明瞭になっている。（注：例えば、産業貿易センターの産業展示機能は失われており、ハーバーリゾートが整備されれば尚更で、一方、シルクセンターのシルクの普及・促進も時代に合わなくなっているがシルクセンター内のシルク博物館がその一部その機能を果たしているが、来館数は少ない。） ○こうしたことから、これらの建物を統合ないし2つ程度に集約、再整備（建て替え）し、現在の県民ホールをシルクセンター側に移し、県・市民ホールにし、少なくとも産業貿易センターとシルクセンターは1つの建物とする。 ○こうした中で、新たな建物の開港記念広場側については、公開空地を広く確保し広場化し、既存の広場と左右一体で広い導入空間を生み出し、横浜への来訪客を迎えるようにする。 ○一方、新たな建物については、県・市民ホールについては、コンサートなどで音楽を主にし、これに歌劇のような芸術文化の機会提供も組み込む。これによって、特に演劇を中心とした舞台芸術を主にする神奈川芸術劇場と連携して、開港の地である山下町が文化の発信拠点になる。 ○また、現在の開港資料館とシルク博物館は新ビルの同じフロアで、横浜の歴史を伝える施設として、相互連携によって、横浜の今日までの歴史的発展を発信する機能を果たす。 ○このビルは又、海からの来訪者に対して、横浜の観光案内機能の窓口的役割を果たすことが期待され、観光関係事業者（ヨコハマコンベンションビューロー、県や市観光協会など）が入居する。 ○そのほか、現在の産業関係団体（商工会議所等）が継続入居するほか、情報化ビルとしてSOHOや都市社会系の研究機関等の拠点として整備し、その他、港湾に関する事業者などの入居が考えられ、また、ハーバーリゾートと分担し、中堅企業を顧客とした中規模の産業展示機能をリニューアルして持つとともに、滞在型ではない住機能を持つことも検討されるべきと思われる。 □山下町の再整備の考え方 ○県・市が協調し、民間資本の導入により、新たな文化・スポーツ、観光、産業（情報・健康など）ゾーンとして再整備する。 ○新たな再整備・再開発にあたっては、市、県とも財源的な持ち出しをしない（県民ホール等の再整備費用は除く）ためにも、基本は民間投資を誘導して行うことを基本的スタンスとする必要がある。 ○その場合、行政側は、再開発後のビルに必要な床面積（保留床）を確保する一方、当該地が都市景観協議地区にあるなど法令上の規制もあることから、再開発を円滑に推進するため、関係機関との調整、都市計画決定や建築確認の手続き（さらには、補助金、融資等の獲得）面を中心に支援。（新たな</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>（建設）運営会社に出資することも考えられる。）</p> <p>○また、民間資本が主体となった際整備、再開発の場合は、採算性の問題が生じるため、新たなビルに住宅系の機能を乗せるといった“規制緩和”措置の要請がでてくる場合がある。</p> <p>（参考）当該地区に相応しい再整備・再開発の例</p> <p>○当該地区（商業地域、建ぺい率・容積率600%/80%、耐火建築物100%）の再開発には幾つかの方策があると思われる。</p> <p>○開発のメリットを引き出すためには、例として、横浜市市街地環境設計制度（注1）の活用による高さ制限及び容積率の緩和（特に文化施設が組み込まれると更に容積率が加算される）と公開空地の確保、あるいは都市計画の特定街区制度（注2）の活用による容積率・高さ制限の緩和など措置を得ることにより、開発における採算の確保につなげる方策などがあると思われる。</p> <p>○前者の場合には、都心居住の観点から、住居系の機能の確保が求められることがあり、都市景観協議地区として相応しいかといった問題、後者の場合は、基本的には超高層ビル建設を促すものであり、また改めて街区の都市計画決定が必要となり、手続的に煩雑になる面があるが、一方で、例えば、県民ホールと道路で分断されている状況でも、街区として一体的な開発が可能であり、また公的融資の対象にもなりうるといったプラスの面もあると思われる。</p> <p>○こうした中、横浜市環境設計制度については、すでにシルクセンターを除いて活用しており、公開空地を出して容積率の積み増し等を行っているが、特定街区制度の活用の場合も含めて、一体的なビル（2棟でも可）建設となれば、例えば、港の玄関に相応しく、開港記念広場と連携したより広い公開空地の設定や、県民ホールの場所を配置換して、例えば市構想の“オペラハウス”との一体化を図る、また大栈橋を目前としたランドマークのようなモニュメント的なビルの建設など、この地区の全体的な景観等と溶け込んだ形で、新たな魅力づくりに寄与する建築物の建設の可能性もある。（加えて、都市計画道路の拡幅も可能になる。）</p> <p>○いずれにしろ、再整備・再開発の事業手法としては、（第2種）市街地再開発事業（注3）が想定されるが、この場合、施行者は、芸術劇場・NHKを含めた山下町地区の再開発のようにURなどによる個人、再開発のノウハウを持つ（横浜）市、権利者等からなる市街地再開発組合などが想定され、その際、土地を所有している県、財団、（市）、株式会社や入館者との権利調整をどのように進めていくのが大きな課題となる。</p> <p>○そしてより基本的な課題は、この地域で再整備・再開発を行った場合、建設財源に充てるため、保留床がどの程度生み出せるか、またメインのテナントを探せる（誘致でき）かに事業の成否がかかってくる。</p> <p>（注1）【横浜市市街地環境設計制度】</p> <p>都市計画で規定された容積率や高さ等を緩和により、高い水準の建築計画による良好な市街地を生み出す。建築審査会の同意を得て市長が許可。都心機能の集積による賑わい演出や就業人口の増加、都心に共存できる居住機能の確保等、都心部の活性化に貢献するものを対象。</p> <p>（注2）【特定街区】</p> <p>既存市街地の改善を図ることを目的に、ある街区において既定の容積率や建築基準法の高さ制限を適用せず、別に都市計画で容積率や高さなどを定める。都市計画法8条3項に定める地域計画の一つ。都市計画原案の作成及び決定権限を持っているのは市長。横浜市では現在5つの地域が決定。</p> <p>（注3）【市街地再開発事業】</p> <p>権利変換方式の第一種、用地買収方式の第二種があり、いずれの場合にも、保留床を処分することによって事業費を生み出し再開発を行う手法。補助金も交付されるが、そのためには、地域の指定状況や置かれた状況などが適用の条件になること、また、事業施行に至るには、再開発の基本構想・基本計画の策定、都市計画決定、事業認可など、さまざまな手続きを踏む必要。</p> <p>2. 完成目標時期 2037（令和19）年度頃</p> <p>3. 今後のスケジュール</p> <p>* 以下は、一般的なスケジュールで最短の想定の場合であり、具体的に市街地再開発事業が進めるとなると、踏むべき手続きやスケジュールが変わってくる。</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>(1) 基本的な考え（県・横浜市）の整理2年以内2023～25年度                      (2) 基本構想（マスタープラン）の策定（委託）25～27年度                      (3) 設計案のプロポーザル（委託）、施工者の決定28～29年度                      (4) 権利調整及びロケーション（施工者に委託）30～31年度                      (5) 都市計画等の各種手続き同                      (6) ビルの解体・除却32～33年度                      (7) 新ビルの建設、入居34～36年度                      (8) 運営会社の設立37年度</p>		
<p>臨海部の再開発を考えるについて、山下ふ頭の再開発はみなとみらい21地区の再開発とははっきりと違った特色を持つことが、臨海部全体の魅力を高める事につながると思う。山下公園に山下ふ頭は隣接しているから、同ふ頭が同公園と隣接している側の最低1/3は美しく緑豊かな公園を造り山下公園から連続して一体化した日本で一番美しく、落ち着いて過ごせる場所としてほしい。残2/3を、小売りを中心とした商業施設と宿泊施設を配置して中華街側とのアクセスを良くすれば、魅力、賑わいのある、それでいてのんびり、落ち着いて過ごすことができるエリアになると思う。但し各施設の高さは最高5階までとし、空が遮られることのない街にしてほしい。園各施設も太陽光を中止に再生可能エネルギーを電力としておいに利用する地域としてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山下公園に続く山下埠頭は市民の憩いの場所にすべきだと考えます。                      元来、横浜港は市が管理しており、市所有の倉庫もある。                      企業所有の物権、不動産は市が借りるなり買い上げて、緑多い公園にし、誰もが自由に過ごせる場所にする。                      資金面の一部はクラウドファンディングで募ったり、市民の有志が苗木を持ち寄りたりする。私も喜んで協力したい。                      また、公園にすることにより災害時等の避難場所として使用できるよう合わせて整備して行くのが良いと考える。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>94p「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」に関して。                      図書館を増やしてください。カフェは要りません。差別言動の図書は図書館に入れないでください。司書をきちんと確保してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>お金がないなら大型開発はとめて下さい92P</p>	参考	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P92今は新しい大型開発や大企業誘致の優先度を下げ、くらし直結するサービスや、保障を求めます。                      山下ふ頭は気軽に通えるスポーツレジャースポットを作って下さい。練習場が少ないスケボー、BMX、ストリートダンス、後は電動キックボードもレンタルしていますが、いきなり街中を走るの怖いです。観光客も市民も楽しい、住んでみたい、スポット研究をお願いいたします。リッチな気分、ラグジュアリー体験は不景気には合いません。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P91～92政策29                      山下ふ頭再開発について、「横浜経済をけん引する」ことにとどめず、市民生活に資する、市民が憩える公共空間を創出する視点を加えていただきたい。事業計画の策定にあたっては、多様な市民の意見を反映・収斂していくために、実施を予定している「市民意見交換会」は多数の市民が参加できるような形態にしていきたい。「有識者等による委員会」には公募による市民の参加を保障し、審議は公開を原則にしていきたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「戦略6 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」に関連し、以下の提言をいたします。</p> <p>これまで、いわゆるアンタッチャブルな扱いであった「寿地区」の大改革を希望します。</p> <p>石川町から徒歩数分内という立地の良さにもかかわらず、周辺環境はホームレスを呼び込むようなものとなっている。</p> <p>この一帯だけがヨコハマの中心地のイメージダウンにつながっていることは否定できない。</p> <p>せっかくの立地が生かせるよう、地区内設備の再配置など、抜本的な都市再開発を期待する。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策30文化芸術による街の賑わいの創出と国内外への発信→横浜トリエンナーレは文化的にも経済的にも重要です。横浜美術館を中心にして規模と内容のさらなる充実を求めます。また横浜美術館は他の美術館よりさらに教育に力を入れていた美術館でした。リニューアル後もその役割を大切にしたいです。講演や教室を通じて市民とアーティストとの交流するきっかけを作ってほしいです。また黄金町のアートエリアの高架下もさらに充実させてほしいです。町のリニューアルにアートを使っただけと思われぬようにしっかり黄金町にも力を入れて頂ければと思います。どの地域よりも横浜が現代アートに強い街であってほしいと思います。必然的に海外との文化交流もできると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策30「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>文化芸術活動を通じた次世代育成はとてもよい取組だと思う。ただ、区民文化センターなどで子供向けの事業を探しても、夏休みに集中していたり、そもそも年間の日数が少なかつたりと、参加しにくい面を感じる。文化拠点の機能強化の中で、子ども向け事業の充実を進めてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策30「市民に身近な文化芸術創造都市の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略6：……既存施設等の計画な再生・機能強化、……</p> <p>：現在のコミュニティハウス等、ただの貸館業務がほとんどであり、地域へのアウトリーチ活動、民間活動団体や自治会等との積極的なアウトリーチ活動を主にしていきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山下ふ頭の開発エリアは、スポーツレジャーが出来る場所にして下さい。練習する場所の少ないスケボー、ストリートダンス、自転車、電動キックボード等のマイナーな運動広場もあつたら嬉しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は、市民ではありませんが、横浜市民でなくとも意見提出可能と伺いましたので、意見提出させていただきます。</p> <p>旧上瀬谷通信基地返還地の利用について</p> <p>瀬谷区の旧上瀬谷通信施設返還地において、国際園芸博覧会開催を含む大規模な開発を計画しているとの記述があります。私は、兼ねてから所謂『海軍道路』と呼ばれるルート及びその周辺地域について、横浜市のような都市部と違っていい地域にこれだけの広大でしかも美しく整備された街路や緑地帯であると思っており、周辺部と比較すると突然山間部の高原地帯にでも迷い込んだような感覚になる事もあり、桜の時期も大変美しく、また夏場ですと樹木等で空気が冷やされてか幾分ひんやり感じ、芝生では、かつては、凧揚げであったり、ラジコンであったり、愛犬を遊ばせたり、寝っ転がって読書だったり、ピクニックであったり思い思いの楽しみ方でこの地で余暇を過ごしている人達がい、あまり広く知られた場所ではなかったと思うのですが、知る人ぞ知るという感じで個人的にとっても好きな場所でした。</p> <p>私は、県内の相模原市の出身・在住です。相模原もご承知の通り米軍施設に囲まれた地域であり、米軍から返還を受けた地域というのが点在している状況で、一定の使用の方向性は既に出されていますが、今後その在り方について更に検討を重ねていくものと思われま。その相模原市においても、すべてではありませんが、地域の公共施設や都市公園を含</p> <p>むまちづくりにおいて、市民参画を伴って、検討の場を設けて、計画案を策定しようという流れに行政の在り方も変わりつつあります。</p> <p>また、広大な横浜市にあって一番内陸に位置する瀬谷区は、先の市長選挙で対立候補が最高得票だったという事実もあり、旧上瀬谷通信施設返還地の活用については、計画案の策定に十分慎重期すべきであると思います。</p> <p>是非、市民、利用者の意見にもしっかりと耳を傾けて、市民参画による検討の機会を設て、計画案策定に至る議論を丁寧に進めていくべきだと考えます。</p> <p>個人的な意見として、旧上瀬谷通信施設返還地や海軍道路周辺地域は、現状に大幅な手を加えなくても非常に得難く貴重であり、大変魅力的な地域であると考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』(P89～)</p> <p>【提案】</p> <p>(P90)＜関連データ＞「多彩な取組」に、末広地区の脱炭素化モデル概略図を追加で掲載する事をご提案いたします。</p> <p>【理由】</p> <p>(P89)人や企業が活躍できるまちづくり◆世界の潮流である脱炭素化の推進に記載されている「大都市ならではの都市モデル」として、エネルギーの地産地消・資源循環の取組みを市民の皆様にご理解頂ける事例であることから、本提案をいたします。</p> <p>出典：横浜市温暖化対策統括本部記者発表「横浜市と東京ガスがメタネーションの実証試験に向けた連携協定を締結」 (2022年1月18日) <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2021/0118methanation.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2021/0118methanation.html</a></p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>To Strategy 6. Development of urban and oceanside areas that create growth and activity - creating publicly open BBQ spaces around the city(it would help people to be more socially active and take away the stress and live more happily. Currently only business entities are offering BBQ around the city and service fees are too expensive for average households. I remember the free BBQ space alongside the TAMA river in Fuchu city. ) Thank you so much for reading and considering my comments.</p>	<p>参考</p>	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>&lt;該当する項目箇所1：戦略6山下ふ頭に関する下記の部分について&gt;  p.89「山下ふ頭や根岸住宅地区など大規模な土地利用転換や建物更新の機会を捉えた新たな機能集積、企業立地に取り組みます。」  p.91 5山下ふ頭再開発の推進 主管局 港湾局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•山下ふ頭の持つ優れた立地と広大な開発空間を活かし、横浜経済をけん引するまちづくりを推進します。</li> <li>•市民や事業者の皆様からいただいたご意見等を踏まえ、地域の関係者・有識者等で構成される委員会での新たな事業計画案の検討を進めます。</li> </ul> <p>意見  「機能集積、企業立地」、「横浜経済をけん引」などの経済、産業的な視点とともに、「多くの市民生活を豊かにする」、「来訪者にとっての魅力度を高める」といった生活者視点を加えた事業計画を検討する souhaitei。</p> <p>理由  「市民や事業者の皆様からいただいたご意見等を踏まえ」とあるが、横浜市「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に向けた、市民意見募集等の結果概要について」(R40829)における調査結果をより積極的に尊重すべき。なお、この調査の回答者の11%は横浜市内の人であるが、記述を簡単にするために、市民による回答結果と考える。</p> <p>－「山下ふ頭にふさわしい導入機能」の回答結果  ・回答率1位は「エンターテインメント機能」(47.6%)、2位は水辺・親水機能」(43.3%)  で、多くの人から自ら楽しむことができるこの2つだけが回答率40%を超えている。  ・他方、「滞在機能」(24.6%)、「スポーツ機能」(18.5%)、「コンベンション機能」(16.6%)等、多くの市民は主体的には参加できない、したがって関係が希薄になってしまう項目は、4分の1ラインあるいは2割ラインを切っている。</p> <p>－「山下ふ頭の再開発に取り入れる視点」の回答結果  ・「持続可能なまちづくり」(57.5%)が6割ラインに近い圧倒的な1位で、次いで「多様性社会」(39.9%)、こまめが四捨五すると40%以上になる項目で、いずれも多義的ではあるが、市民が自ら関わられるし、関わり得る項目と見たい。  ・他方、「DX」(23.5%)、「サブカルチャー」(21.3%)、「子育て・教育」(20.1%)、「超高齢化社会」(16.5%)、「医療」(11.2%)など、特定の分野、年代などに関する項目を選択した割合は低い。</p> <p>－上記回答結果の要約  ・回答者の多くは、山下ふ頭が多くの人訪れ、楽しめる場所になるといいと考えている。  ・他方、特定の機能やセグメントに特化し、結果として多くの人にとって馴染みのない場所になることを望む人の割合は相対的に低い。</p> <p>若干の提案・・・山下ふ頭の事業計画として考えること  ○上記調査でも、多くの人からエンタメ性と水辺・親水機能を希望しているが、「横浜には海がない」かも知れない</p> <p>－localwiki「横浜沿岸ガイド」によると、横浜の海岸線の総延長は140kmに及ぶが、そのほとんどが港湾施設や工場などで立入禁止とされているため、一般市民が近寄れる海岸線は14kmほどしかない。  ・14kmは総延長の10%で、他の90%は市民に対して閉ざされており、実際的にはないに等しい。  ・しかも14kmのほとんどは防護柵や護岸壁で遮断され、水に触れることが難しい  －そして自由に海に入れる砂浜は1.5kmほどで、総延長の1%程度、ちなみに市民1人当たりだと0.4mm。  －しかも横浜の海はきれいだとはともいえない。  －以上のように見ると、高村光太郎「智恵子抄」に「智恵子は東京に空がないといふ」という一文があったが、「横浜には海がない」といった言葉が浮かぶ。  そこで山下ふ頭の事業計画の一部に親水性、横浜市民にとっての海の回復といった視点を加えておきたい。</p> <p>－山下ふ頭の立地、横浜市の財政状況を考えると、相当規模の収益、雇用、税を生み出す企業等の誘致という選択肢は捨てられないと思うが、それは別の検討に譲る。  －ただしどのような施設を誘致するにせよ、山下ふ頭全体をその施設および敷地で覆わず、部分的でもいいので、一定の親水ゾーンあるいは親水レーンを作っておく。</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>・なお、親水レーンの幅は、とりあえずは岸壁沿いの数メートル程度でいい。</p> <p>－そこで一般の多くの市民、そして来訪者が然るべきルールを守りつつ、それぞれ極力自由に楽しめるようにし、横浜に海を取り戻すため一歩としたい。</p> <p>－加えて新たな環境技術を適切に選択して導入し、また里海プロジェクトなどの成果も取り入れ、山下ふ頭から横浜の海をきれいにしてゆくプロジェクトを起こし、それも同ふ頭の事業計画の一部としたい。</p> <p>そして山下ふ頭で始めることは、将来に向けたモデル作りで、同様の展開を発展させつつ、少しずつ他のエリアにも広げてゆく。</p> <p>－企業等が占有する埋め立て地の海面沿いの一部を親水ゾーン、親水レーンとして市民に開放してくれるよう協力を求める。</p> <p>－そこで多くの市民がそれぞれ楽しめるようにするとともに、そこから横浜の海をきれいにしてゆく。</p> <p>－すぐには無理だが、先々、横浜の子供や若者たちが横浜の海で泳ぎ、遊び、大人も同様に楽しめるようになるといい。</p> <p>－一定程度は漁業・漁獲も復活し、そこから素材を得た産業が育つことにも期待。</p> <p>－そうなれば、横浜は新しいかたちで海を取り戻せたことになる。</p> <p>－そうすることで、横浜の居住価値、来訪価値を高め、町、都市としての持続可能性も高めたい。</p> <p>－また以上の過程で都市に接する海をきれいにする技術開発とノウハウの蓄積を進め、事業化できるといいかも知れない。</p> <p>－横浜での展開を、東京湾を囲む1都2県にも広げ、さらに日本、世界の都市圏に広げること。</p>		
<p>戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』 政策29活力ある都心部・臨海部のまちづくり 主な施策 （意見）「5 山下ふ頭再開発の推進」として「山下ふ頭の持つ優れた立地と広大な開発空間を活かし、横浜経済をけん引するまちづくりを推進します。市民や事業者の皆様からいただいたご意見等を踏まえ、地域の関係者・有識者等で構成される委員会で新たな事業計画案の検討を進めます」とあるが、横浜経済をけん引する事を第一目的とすることはせず、市民に必要で市民に愛されるものを作るようにして下さい。できれば、三ツ沢に2つ目のサッカースタジアムを作ることせず、山下ふ頭に海の見えるサッカースタジアムを作り、イベント会場にしたり、災害拠点と利用したりして下さい。決して、カジノのないIRのような、みなとみらいの二番煎じのようなM I C Eとホテル群のようなものにはしないでください。そして、事業計画案の検討には、市民委員を公募して検討に当たらせてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます
<p>89頁「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」先ず横浜なのに都心と言うのが如何にも東京に対抗し馬鹿らしく誤解を招きやすいと知るべきである。中心部と言えば良からう。</p> <p>これこそカジノ以来変わらぬ負の遺産である。ベイサイドブルーバスもロープウェイもみっともなく愚かである。即刻やめるべきである。</p> <p>山下埠頭はまたカジノが造られかねない条件にするのは市民への裏切りである。事業者優先で事業者に付け足しで市民意見を求め、全くカジノIRの時と何ら変わらない。自浄能力のない横浜市政は全国の恥である。あれだけのことをして週刊誌にも出て、まだ副市長をしている等と、愚の骨頂であろう。</p> <p>他の開発ももうやめるべきである。開発しても人も来ないし来ても横浜の未来のためにならない。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>文化芸術創造は林前市長の遺物で、もうやめるべきである。市民を馬鹿にしているのか？</p>	参考	文化芸術創造都市施策についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>山下ふ頭再開発は市民が憩える場所として再整備して下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>山下埠頭の開発の推進[戦略6 政策29]</p> <p>2021年の9月初め、市はIRカジノ誘致を断念した。しかし、山下埠頭開発の基本計画の基調は“横浜の成長エンジンとなる都心臨海部における新たなにぎわい拠点の形成”である。拠点の核となるのは観光・集客施設である。</p> <p>市は2021年12月末から2022年6月末の長期に渡り、新たな事業計画策定に向けての市民意見を募集した。その期間の末期である2022年5月末から6月末にかけて、ワークショップ形による意見交換会を実施した。</p> <p>一見、市民意見を真摯に汲み出し尊重しようとするかの姿勢に見える。しかし、IRカジノを前提とした2015年の開発基本計画の7つのZoning(区画)を所与の条件としている。市民からの創造的で自由な発想を否定するものである。さらに許し難いのは市民意見の募集に併行して事業者からの提案募集を行ったことである。</p> <p>市民から多様な豊かな提案を基にある程度の事業Scopeが固まってから、それをベースにした事業提案を事業者に求めるのが健全であるべき姿のはずである。ワークショップでも最終的には開発が箱物づくりを志向したものであるとの方向に誘導しようとする傾向が見られた。</p> <p>これでは本当に真摯にIRカジノ誘致の失敗を反省したのか疑われる。ひょっとすれば、カジノを抜いただけのIRを復活させようとしているのではないかとこの疑念が拭えない。</p> <p>実際市が1年もかけて纏めた「IRの振り返り」は真摯で謙虚な反省や総括にはほど遠く、カジノに失敗した恨み節調の代物であった。</p> <p>“期待通りにならない事業リスクがあった”、“市側からの情報発信や共有の不十分さゆえに市民の理解を得られなかった”、“施策を進めるうえで市民に理解していただくことが大事だと改めて認識した”等々、何を覆ぼけたことを言っているのかと声を大にして言いたい。</p> <p>IRカジノ誘致の失敗の根幹は、あらゆるメディアなどによる市民意識調査で常に60～70%もの市民が反対していたにも関わらず、それに耳を傾けることなく強引に事業を進めようとしたことであり、それを真摯に受け止めないと振り返ったことにはまったくならない。‘理解’していないのは市民ではなく、市自身である。</p> <p>それを教訓と受け止め、反省し、事業総括としないと同様な失敗がいつまでも繰り返されてしまう。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下埠頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>関内・関外地区の活性化推進[戦略6 政策29]</p> <p>目玉は「国際的な産学連携」と「観光・集客」をテーマとした関内駅周辺である。その中核が旧市庁舎街区の活用と、8社による超高層複合ビルの建設である。これら事業は数々の不当、違法な手法を展開しながら進められて来た。</p> <p>旧行政棟は‘保存、活用’の象徴として観光都市ホテルとして残されるが、高さ170mにもなる超高層ビルは当該地区の「地区計画」を無理やり変更することによって建築される。隣接の港町地区開発事業に伴う超高層ビル(150m高さ)も同様である。この旧市庁舎街区活用事業にはさまざまな問題があるが、最大のものは不当、不法なプロセスとそれに連動した超破格と言える建物の安売り及び敷地の激安賃料の77年もの超長期の借地権設定である。</p> <p>本事業の推進は、2017年10月に同地区が「都市再生緊急整備地域及び特定都市再生緊急整備地域」に指定されたことを基盤としており、それによってさまざまな税制の特例措置と補助金(国)を受けることになった。その背景に関係なく本来は開発事業者への資産売却及び土地の貸与は公正、公明な手続きの下、市民が納得する合理的で適正な金額で行われなければならなかったが、随意契約の不動産鑑定社の採用、市政の補完機関と墮した財産評価審議会や監査委員の「協力」を得て、事業者グループへの莫大な利益供与としか言いようのない安値で建物を売却し、土地を貸与した。</p> <p>数々の市条例や法律(地方自治法、地方財政法、文化財保護法、他)違反が歴然と行われ、数百億円単位の財政の毀損をも齎している。</p> <p>2017年3月時点での横浜都心臨海地域都市再生緊急整備協議会には大手企業のトップが構成員となっており、事業の公募以前から開発事業を担う民間事業者として関与してしてきたことを物語る。これは到底、公正な競争と言えるものではなく、横浜市現市庁舎街区等活用事業審査委員会が形式的、アリバイ的で問題だらけの事業者決定であったことは明らかである。</p> <p>港町地区開発事業についても同様である。</p> <p>本件旧市庁舎街区活用事業の不当、不法な事業に対して市議会議員2名による訴訟(提訴、2020年6月9日)、市民原告団100名弱による訴訟(提訴は</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策2「関内・関外地区の活性化推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略6、政策29～30）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>2021年5月27日)が起これ、後者は後に共同訴訟の形で前者に合流した。この訴訟をどう見るか、判決をどう推測するかに関係なく、この客観的な事実についてはしっかりと採り上げるべきである。</p> <p>山中市長は事業の決定的根拠となった建物と土地の不動産鑑定の中身を理解しないまま極めて拙速に(2021/9/30)事業者との本契約締結を承認した。最低限1ヶ月程度は判断を保留し、不動産鑑定そのものや財産評価審議会の答申の問題点、等を訴える市民の声を聴くべきであった。</p> <p>市民の声を聴く!“と訴えて市長に当選しその就任後わずか1ヶ月で豹変ぶりを表した。</p>		
<p>89ページ成長する都心</p> <p>将来的には週5日以内1日はいわゆるエッセンシャルワークにて働く様な社会になると思います。都心と効外を行来するケースもあると考えます。</p> <p>都心に不足しているのは緑、自然、公園、農業です。</p> <p>具体的な提案は</p> <p>①芝生だけでなく高木のある緑が豊かな公園</p> <p>②屋上の庭園や農業</p> <p>③容積率を上げ、緑地を作る仕組み</p> <p>やや政策から外れますが郊外の公園は質の向上、バリアフリーやトイレの改善です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>89ページ魅せるまちづくり</p> <p>夜間景観について</p> <p>みなとみらいの夜景はとてもいいと思うのだが、旅行者は夜景を見て終了では経済効果は限られる。</p> <p>ナイトライフの充実が求められ、具体的にはレストラン、カフェ、ライブ、美術館、博物館などです。</p> <p>具体的な提案としては</p> <p>夜のアミューズメント、美術館等において、市の施設と民間の施設のセット割引券を作るか、みるとみらい夜間周遊券を作る。三溪園やミュージアムなどです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31</p> <p>三ツ沢公園に球戯場を新設という記事を見ました。</p> <p>老朽化した公園の再整備とあるのに新設する案はどこから出てきたのか不明です。反対です。旧上瀬谷地の大規模開発は慎重に市民の声をきいてすすめること。巨大なテーマパークは不要。市民が憩える緑地、集える空間こそ大切で商業ベースのテーマパークはいらない。花博も規模を縮小し、外国や遠隔地からの客を目的とするのではなく横浜市民が憩える公園緑地、農地などを望みます。</p> <p>なにしろ目立つ大きなものを作ったり開発せず、自然を生かした普通の街並みこそ、市民が欲しているものです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策の31は、メリハリをつけて欲しい。もつと緑を残す政策を推し進めて欲しい。もう新築の家はいらないと思います。今ある古い家の建て替えとか自然を残すことを第一に考えて欲しい。公園を増やすとか街に街路樹を増やすとか実現して欲しい。しかも、自然が消滅する前に早く実行してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略7ガーデンシティ横浜 2027年国際園芸博覧会の開催楽しみです。 食料廃棄の解決の為、堆肥化、農業園芸に活用する仕組みを横浜市で普及して欲しい。以前大阪豊中市に住んでいましたが、堆肥の無料配布を推進していました。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、農業の地産地消や食品ロス削減等、循環型社会の実現を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P99にも記載の通り、横浜市は市域の7%が農地で占められ、身近に農地が存在することが大きな魅力と感じています。しかしながらその農地は、耕作放棄地でなくとも、やる気の全く感じられない形だけの農地が目立ち、十分活用されているとは言えない点が残念です。また農地が身近にありながら、世界の大きな流れになっている有機農業やそこからの産物を活用したオーガニックな生活とも身近での接点がなかなか持ちにくいのが実態です。 戦略7で、農の魅力あふれたまちづくりを目指すのは大変重要だと思いますが、その農の中身を、戦略の方向性に掲げた「自然共生」にふさわしいものにしていくためには、そこで行われる農業を、環境保全型農業や環境再生型農業に大胆に切り替え、市民生活の中にオーガニックな要素を持ち込み、拡大していくことを戦略に明示していくことが重要ではないでしょうか。 ロシアのウクライナ侵攻に関連し、穀物価格の上昇や化学肥料の高騰で、多くの市民が食料自給に不安を抱えています。また地域で採れた安心安全な食材を、日々の食卓や給食に使用したいと考える親が増えています。農水省が発表したみどりの食料システム戦略に於いても、これらの点は重視されており、日本の都市近郊農業をリードする立場にある横浜市では、ぜひその先頭を走ることを戦略に明記いただきたいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、都市と農との共生を図る農のあるまちづくりや地産地消など、活力ある都市農業の推進を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策32に、環境との共生を目指す農業への転換を明示し、具体的には現状畑作ではほぼゼロとなっている市内の有機農業の面積割合を、少なくとも農水省のみどりも食料システム戦略と同等、できればそれをリードできる水準まで高めることを具体的な目標として追加し、モデル事業の推進、規格外品を含む有機野菜の給食での積極的利用など、有機農業の拡大を後押しする施策を具体化してもらいたい。同時に環境保全型・再生型の農業を拡大するという観点から、化学農薬使用量・化学肥料使用料についても、みどりの食料システムが掲げた目標に見合う削減目標を明示すべきと考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、都市と農との共生を図る農のあるまちづくりや地産地消など、活力ある都市農業の推進を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策32にあるような、「活力ある都市農業の展開」のように、気候変動や紛争で世界の食料危機が懸念される中で、食料自給率を高めたり自然環境保護にも繋がるような政策は大変良いのではないかと思います。 何れにしろ、農林漁業から、製造業、サービス業、情報産業のあらゆる業態の事業展開が横浜市内の各地域に応じて活発に展開されるようにすることが、横浜市のバランスの取れた発展に繋がるのではないかと考えております。 私の住んでいる青葉区辺りはまだまだ、農業が出来る場所もあり、そういうところで、従来のじいさんばあさん農業ではなく、市場の近くで企業と組んで新たな技術も取り入れ大規模農業を展開し、日本のモデル農業を作り出すような事が出来れば面白いと思っております。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、スマート農業や6次産業化など、活力ある都市農業の推進を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>綺麗な国際都市を目標に緑アップ活動が『ネズミの増殖』にもつながってしまっていると懸念しています。空き家＝ネズミの住処⇒防災・防犯には好ましくないことは明白です。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>日本の農業政策は政府の愚策と失策で需給率が風前の灯となっており、食糧を海外に頼り、現在の世界状況に対して何の対策も打てず放置しています。しかし日本には地方分権一括法があり地方で法律を作り今の農業従事者を助け市民を守る事が出来ます。国の愚策に従う事なく市民の食の安全を守る事が出来ます。</p> <p>是非とも、地方議員さん達のお力でこの横浜からは飢餓が起こることない様にお願致します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷通信施設の跡地利用について、花博後は民間との共同で「スマートシティ」の建設を提案したい。既にそうした意見が出されているかもしれませんが官民共同の街づくりをお願いしたい。</p> <p>自動車メーカーが富士市でやっていることに負けないスマートシティを、例えばメーカー自動車他と共同で作るといったのは如何でしょう。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>都市近郊の公園管理では、芝生・草地管理、施設管理に比べて、傾斜地自然林管理は手が回らず、葛や蔦が繁茂して枯死・倒木により人手が入らない荒廃林化しています。公園管理者に対し、財政支援・管理用機器導入の補助などを進め、「里山形成」をめざした生態系維持方針を適切に進めるように管理指針の提示・検証を進められたい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』 緑豊かな横浜市のために、引き続き取り組みをお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「花博」よりもまず足元から美しくませんか？ 私が良く出掛ける関内駅周辺の道路脇の低垣根下のごみの散乱状況を、市役所の方々は目にすることが無いのでしょうか？ ごみを捨てる場所も無く散らかり放題の無法地帯です。 伊勢佐木町はボランティア（多分）の方々が通りを清掃していただいておりますが、表通りは酷い状況です。 「ガーデンシティ横浜」を標榜するなら街全体を綺麗にしましょう。 シンガポールの街中では数十メートル置きにごみ箱が設置されており、ごみの散乱を見ません。 提案 「クリーンアップ横浜」（CleanupYOKOHAMA） 活動で横浜市全体を美しくして、「花博」賛同の輪が広がる事に繋がればと思います。</p>	修正	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>花博（2027年）あとの上瀬谷通信基地の大農場化を。 今、日本の食糧自給率、37.4%（2019農水省）しかない現状横浜市に一大農場を。高校（農業専門）100～200人定員の農業めざす若い人材と実践の。 少くとも、キュウリ、トマト、キャベツ、大根、白菜の最低の野菜を、ひとつの基準にし、肉は乳牛を中心にした、エリアを設定した、一大農場を横浜の食を少なくとも横浜市20%を供給できるような農場を中心とした地域を実現してほしい。天候、水、電気も全て自前で賄えるソーラーを備えた温室も含むものなど。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>意見 生ごみ、動物排せつ物有効利用による堆肥化プラントの建設 農家／市民への格安分譲 ・三浦市、鎌倉市に例 ・焼却量の削減ができる</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略7、花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現結論から言いますとこの戦略は反対です。ガーデンシティ横浜を目指すとの事ですが、横浜には港の見える丘公園から山下公園から横浜公園桜木町附近まで、また里山公園もあり充分楽しんでます。また市民の森もかなりの数あり、充実しているように思います。 自然公園とかガーデンは少々役割が違いますがガーデンはこれで充分かと。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>昔から緑を増やそうと植林植樹と言われ続けているのですが、本当に必要ならよいのですけれど、落葉の時期になると引っこ無しに落葉が家の回りに散乱します。 少子化高齢化で非常に困っております。昔のように身体も弱って来ています。毎年毎年涙をこぼしながら掃除しております。夏に街路樹が日除けになることも無く、今年の夏にもの凄い勢いで伸び目も当てられない位です。 県立武道館の前、地下鉄岸根公園入口の大木の落葉、しのはら池バス停こぶしの木の落葉には毎年ウンザリしてます。大迷惑しております。税金を払っているのに公道を掃除しなければならぬなんて、不平等な市民です。植えたなら木を短く切ってください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>今年8月に、旭区に引っ越してまいりました。白根通り沿いの緑豊かな場所で大変気に入っています。 夏の間、毎日白根通りを歩いて気づいたことがあります。日陰がなくてとても暑いのです。白根公園や図書館など、人の集まる場所も多いのにそこに行くまで日のあたる道を歩くのは苦痛です。またバス停も多いですが日陰がありません。お年寄りも辛そうです。 白根通り沿いに、ぜひ街路樹を増やしていただきたいと思います。 緑を増やして過ごしやすい街にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>青葉区や都筑区に比べて南部は緑道整備が遅れているので上大岡～日野川を完全に歩ける様緑を多くして寛通させてほしい。 更には、鎌倉街道清水橋バス停付近より上郷線側に円海山まで桜並木としてほしい。横浜の尾根円海山付近をもっと整備して公園化して円海山展望台を早急に作って欲しい。 ここからのミナトミライ方面の展望は素晴らしいので多くの人が待っています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」          子供たちが、大手を振って、なりふり構わず、大声で遊べる環境を作りたいと望みます。</p> <p>昨今の社会では、習い事、受験勉強に励む子への対策、また、放課後の保育所・預かり所の対策が、わかりやすいところだと思います。</p> <p>そして、居場所・コミュニティを作ってあげる動きも見られます。とても素敵なことだと思います。</p> <p>それらも大切・有効という前提とし。</p> <p>しかし、箱を作ること、囲うこと、閉じ込めること、が多くなってしまいます。</p> <p>一方では、大人の事情や都合で、公園での規制、外で遊ぶことの規制が厳しくなっています。</p> <p>縛られることなく、遊び飛ばすことができなくなっています。</p> <p>最初に記したように、子供たちが自由に遊べる環境づくりが必要だと感じています。</p> <p>難しいことではなく、子供たちが自由に楽しめる場があれば良いのです。</p> <p>まずは、公園の整備が大切です。</p> <p>特に「遊具」「グラウンド作り」のセンスが問われます。</p> <p>遊具の選定については、リアリティを持ったセンスを求めます。</p> <p>グラウンドについては、スポーツを手軽に楽しめる場所が求められています。</p> <p>フットサル、バスケ、スケートボード、キャッチボール、など、さまざまなスポーツをいつでも自由に楽しめることが大切です。</p> <p>ちなみに、以前から、ある公園にバスケットゴールを贈呈したいと考えています。</p> <p>新石川公園、山内公園、美しが丘公園などを見ても、もっと有効活用があるので、と思い、もったいないと感じてしまいます。</p> <p>常々、弊社で管理をしても良いから、素敵な場を作って子供たちにとって身も心も自由に飛び回ってほしいと思っています。</p> <p>公園で身も心も自由に飛び回る子供たちは、簡単にコミュニティを作り、居場所を作ります。</p> <p>そこでは社会勉強も兼ねています。</p> <p>さらには、体の基礎づくりです。</p> <p>現在多くの子どもたちを見ますが、公園などで走り回っている子と、そうでない子では、運動能力、体の基礎が明確に違います。</p> <p>政策にある内容も大切に感じますが、根っこ、子どもたちのリアリティを考えると抜けている部分、上記こそ、対策すべきと考えます。</p> <p>「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」につながります。</p> <p>公園や近所で遊ぶ子供たちから派生して、近所付き合いや地域活動が発生します。無理やりではない作られ方です。</p> <p>スポーツ環境は、子供たちの地域スポーツでも、地域の人たちから一線を引く形で実施しています。</p> <p>ここでも囲いがあり、地域社会としては閉ざされています。</p> <p>理由の一つに、「規制」があります。</p> <p>子供たちがスポーツで楽しめる場を作っているはずが、「迷惑をかけてはいけない」が最重要課題となっています。</p> <p>大人たちの都合やエゴで開催されているところを目にします。</p> <p>近隣の人たちが応援できる環境づくりに取り組むべきと考えています。</p> <p>さらに、地域のグラウンド、体育館では、一見、市民活動・スポーツ交流などと謳って、動いているように思われますが、グラウンド、体育館は、「簡単には使わせてもらえない施設」という認識です。</p> <p>試してみようと思っても、対応は非常に冷たいものです。強い規制だけを感じてしまいます。</p> <p>スポーツ振興・トレンドに対して、管理者・企画者の範疇だけで、はたからはリアリティがないように感じます。</p> <p>政策8・9・10など、とても素敵な内容が記されていますが、理想が掲げられているだけに感じてしまい、リアリティが欠けているように思います。</p> <p>施設の開放を増やすことや、施設の充実、担当者の充実など、近所の人が集ってもおかしくない場所を作りたいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>下水処理水の高度処理化や再利用をもっと進めるべきだと思います。また下水道整備から外れ、河川に事業者や家庭の汚水が流れ込んでいる箇所がないか、河川流域の排水溝の水質監査活動も目標設定して欲しいと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策6「良好な水環境の創出、多様な生き物を育む場づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地球温暖化がどんどん進み、世界中で災害が起き又、紛争もあり、いつ、日本の自給率の低さの中で輸入が滞るのかわからない状況です。もっと、日本の農業を大事にする、発展させることができないのでしょうか!! 休耕地や荒れた畑が地方に行くと目立ちます。若い方たちの働き場所としても、財政援助があれば（農家にも）可能ではないかと思えてなりません。今こそ、大転換すべき時だと思いますが県政として何かできる事はないのでしょうか！切に望みます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>世田谷区に住む子供の話を聞くと、児童館、公園、緑道が整備され、遊具も豊富に備えてあり、子育てに良さそうである。うちの近所では近くに公園も少なく幼児や小学生が遊べる場所が本当に少ないと感じるので充実させて欲しい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>ガーデンネックレスも毎年楽しみにしている。国際園芸博覧会も大成功して欲しい。最寄駅からの交通にLRTを使うのもよいと思う。 動物園については「ズーラシア」は特に魅力的な動物園であると思うのでもっと宣伝したら良いと思う。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」及び主な施策5「都市ブランドの向上に向けた動物園の充実」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>統廃合の学校校舎を利用した天候に左右されない室内野菜や魚の養殖を行い、市民への販売、子どもたちの給食・高齢者の食材として安定供給できるようにする。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>駅周辺や道路の車道側にある高木を切っしまいほとんどありません。夏は全く日影がなく暑さが増したように思います。 木を切ったところを中心に日よけ用の植物を植えてはどうでしょうか。例えば高木にならずにすむよう柵作り藤やつたなどの草を植え、夏はミストが出るようにすると少しは夏すごしやすいのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市民・法人が市内の花木に名札を付けてもらう。（原則敷地内） （理由） ・任意ではあるが市民参加とまちの魅力向上 ・多く対象者が花木に親しみ絆を深める ・花木をととしてコミュニケーションの促進 ・市民（子ども含む）の興味を醸成し学習効果に期待 ・環境整備による犯罪の軽減 ・多くの市民の協力によりガーデンシティ横浜の実現。市全体が植物園化 ・定着すれば広報によるブランド化（この取組は世界に例を見ないのではないかと？） （どのように） ・任意で花木に名札を杖写真で送ってもらう ・花の名前アプリを紹介する ・写真を送ってくれた対象者に花木の名札を買ってもらい、さらに近隣にも広めてもらう ・花木名札取付→写真送付→名札買取を循環 ・名札の領収証と購入した袋毎の写真と枚数などを送付してもらい、振込先を事前に特定しておく。 ・名札は100枚訳1,300円のものとし原則ひとり1回の補助とする</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」及び主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略7 土地開発前の野生植物保護について 私は40年前に都心より越してきました。当時裏山と谷間にはカタクリの花、ワサビ、フキ、タラメが自生しておりました。6年度大規模開発が始まり、我が家も2年ほど近くに引越しました。その際貴重な植物が何とかならないかと思いつながら土に埋もれてしまいました。残念！ その後、ツクシヤタラノメも採っていた山も開発され、ミゾソバやセリもなくなってしまい、近くの人は山百合を残したいと何軒かの方は鉢に植えられましたが、1本残らず枯れてしまいました。横浜にもこんなに貴重な植物があるのかと驚きと共に開発が始まる前に植物のスタッフの方々が自生の植物を採取して「横浜の昔植物」ガーデンを街中でなく自然が残る地域に創って頂き又は自然公園の一角にでもお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策31 主な施策4 魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営 旧上瀬谷通信施設・旧深谷通信所の米軍跡地は、2027年国際園芸博覧会を開設するようですが、ぜひ跡地は市民の健康維持・増進のためのランニング等の運動公園設備の整備をお願いします。 同時に避難エリアとして防災のための土地利用をお願い致します。 くれぐれも商業施設を重視（中心）とした土地利用は避けていただければと思います。 環境が大変よいので運動、緑を多用した公園防災広場として利用の検討をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略7のガーデンシティに関して、市長に要求があります。三沢公園の桜は横浜市が誇れるかけがいの無い財産だ。公園自体の設計もすばらしく、私は東京近郊で三沢に匹敵する自由な桜の公園を知らない。については、サッカー場新設計画で公園の樹木伐採が考えられている様だが、現在の自由広場を中心とする桜を現状通り残す事を要望します。この公園は戦後の平和主義をかかげた平沼市長の精神が反映されている横浜の財産です。現在のサッカースタジアムになった時にも何本もの桜を伐採してしまった。これ以上殺伐とした公園にしないで下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>現在市管理にかかる都市公園に隣接する土地を年間有償貸し出して地域の自治会等が農作物や花等の栽培をしているのがあります。しかし、有償ですと高齢者等は負担がかかり花屋作物を育てるのをあきらめているのが現状です。そのため一部の公園に隣接している土地は荒れ放題になっています。 そこで提案ですが、こうした市管理にかかる公園接地の区画地についてはお年寄りや希望者に無償で貸し出しお年寄りに生きがい、健康増進を図るとともに荒れ放題の土地が元の整地された所に花や作物が育つことによって管理費の節減と地域住民の活性化につながると思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>住宅街の整理が進んでいる所が昔からあった大木が無神経に切り倒される。駅前前の桜並木もそうだった。大きな木が保存される豊かなまちづくりと心がけて欲しい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略7 みどり税は廃止して、本当に必要な他の事業を割愛してでも一般財源で事業継続して欲しい。暫定財源だった筈。お金が余って、むりやり事業を作るのはやめて下さい。造園業者の草刈り場か。</p>	参考	「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただいております。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>施策31-2について 維持管理の支援が現状の年単位の数値が目標値では、4年間の数値で減少傾向となっているのは何故ですか？維持管理の内容が良く判らないので何とも言いようがないのですが。作成者の方はここらへんの分析はされているのでしょうか。</p>	参考	指定した樹林地における維持管理の支援では、過去数年の支援実績を踏まえ、横浜市の他の計画とも整合を取りながら、適切な支援件数を目標値として設定しています。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略7花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ 素晴らしい、素案だと思います。ただ、花と農と緑をただ楽しむだけでなく、緑を増やすことが「何のために」「どのような恵み」をもたらせるのかうまく伝えてほしい。そしてこの試みが未来の世代に環境を残すための市民が行う啓発活動につながるようになってほしい。 アイデア1市民、企業、団体等が主体的に行いやすいような環境の創出 アイデア2来場者向けにスマートフォンを使用したゲーム感覚で学べるもの懸賞品が地域の特産物で、かつ大勢の人が当たるものあるいはその場でもらえるなどすれば、参加する人が多いのでは？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>グリーンインフラの中に街路樹の必要性について ①街路樹は近くに住む者にとって有益ではなく、掃除（葉が落ちる木）や、その木に巣を作る野鳥（カラス他）が住人に迷惑をかけている。 ②木が古くなると風水害時、転倒したり、木の枝が飛んできたりする。近年益々台風が以前よりも危険が多い大型なものになってきている。住人にとってメリットはそれ程ない。 ③街路樹を植えれば良いという感で計画されるのはこまる。 ④公園の整備で一ヶ所に樹木を移して住民が楽しめる場所、避難場所等作ることで合わせて考えて欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略7について とても素敵な提案です。ズーシアのそばの花園にも感動しました。 が、街中の緑について、お願いがあります。 ようやく秋めいてきましたが、来年もその先も酷暑を予想します。関内・桜木町から山下公園に歩いて行くために、すてきな木影がほしいです。（市内いたる所に） 夏の木かげは何よりの憩いの場所です。そこを通る涼風。木の発する涼しさを味わいたいです。 街路樹の魅力あふれる横浜。歩ける道、市内の樹木を切らず、のこしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>跡地の野菜作りは労働上大変な作業になります。8時間労働週2日休業ではやっていけない。又、低い収入です。ハウスや果実方面に力を入れているが、野菜作りを重点にした方が農業の基本である。米も重要な作物になる。 米は主食とともに日本の農業にはわら・もみ殻・ぬかなど自然農法には欠かせない作物です。 減反より公的な支援が必要。 政府が高く買い取り国民に安く売る政策をして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>都市農業の展開についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>農業を志す若い人には、最低生活の資金援助をしないと農業離れは進むと思う。付加価値のある物を作れと言うが、大変な事である。62才から10年やってみた感想である。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策2「横浜の農業を支える多様な担い手に対する支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31 国際園芸博は不要。そもそも「ガーデンシティ横浜」なるものは浸透していない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>青葉台駅の花壇は雑草的であり、街路樹下は枯花である。一株いくらのパンジーが植えられているのだろう。街路樹の密な姿にも異常さを見る。剪定作業はコスト的環境的に問題があり、また植物は管理が重要なことを理解していない。ここ青葉区は各家に立派なガーディナーが多く、市民による「ガーデンシティ横浜」は成り立っている。また寺家ふるさと村にはこのコロナ禍、大勢の人がその健康志向もあり集まり利用していました。里山の保持、管理を通じて市民の楽しい場をフォローアップする必要性を理解していただきたい。</p> <p>緑化アップ税の徴収は必要ない。誰のため何のため？非常に不思議な税である。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>国際園芸博覧会に経費かけないで</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>国際園芸博覧会の跡地の財政投入は無駄、もっと地域の絆の整備、拡充に力を入れて</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜のごみ問題と環境と花、緑にかかせない土作りに生ごみを土にまぜ、土をつくることによって、一石二鳥ですし、広めてほしいです。お試してミニキエーロのプランター7月から始めて、驚きでした。生ごみがなくなって微生物の威力に感謝、庭がある家ならおすすめです。マンションはベランダでは、少し埋める時に、臭みが気になります。生ごみをすぐ土とスコップでまぜてしまうと気になりません。2日分をキムチの入れ物に入れて残飯や野菜切りはしないと、水分と味が残っている残り物はすぐ分解して土になります。不思議なので多くの人に実践してほしいです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜に花火大会が無くなって、夏がさびしくなった。以前はみなとみらい花火大会に沢山の人が集まり、関東では人気1、2位を争う花火大会だった。それが警備上の理由か市の熱意が無くなったのか、中止になって残念だ。具体案に乏しい「花、緑、農、水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜」をうたうのなら、せめて「横浜の花火」を復活させて欲しい。そして名実ともに横浜の人気を復活させて欲しい。資金難というなら、クラウドファンディングとか、市民一人一人の献金でも良いのではないか。是非、来年から定期的実現していただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>観光コンテンツについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>神大寺中央公園について</p> <p>19日（日）PM3：30頃4才6ヶ月の孫をつれて行きましたが、すべり台、ログハウスの前に草がしげって歩いて歩けません。早く草刈りしてください。</p> <p>以前、土木事務所に電話してかかってもらいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が降るとすべり台に水がはいってつかえません。</li> <li>・孫がオシッコをしたいとトイレに入り、私も入りカギをしめたら怖いと言ってトイレからすぐ出ました。子供が入っても安心できるかわいらしい造りにしたいかがですか。公園の回り堀の下に不法投棄と見られる丸い車のホイールみたいなもの（以前土木事務所行って直接言いましたがそのままです。）プラスチックの道具箱なら片倉台団地のへいの下にありましたが、団地の草刈りの時に公園側に置かれました。最近土も捨てられています。片倉台団地のへいに子供達がのぼって歩いているのを見かけましたが、へいがくずれている所があります。（うちの町内会長さんには伝えましたが、それきりです。）</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>公園管理等についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>上瀬谷開発について 私は地産地消を目指し、活力ある都市農業の展開に役立てるべきだと思います。 ともすれば、遊園地とか、花と緑のガーデンの話が出てきますが、日本の食糧事情は非常に厳しいものがあり都市近郊においても大規模農地の確保は重要です。 都市近郊の大規模農地開発のモデルケースとして利用していただけたらと希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>「ガーデンシティ横浜の実現」については是非ともこの戦略を推進してください。「ガーデンシティ横浜」を実現して下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策32都市農業の展開 具体的目標設定と市民運動の展開 方法生ごみの徹底的活用とごみ収集costを現在の1/2にする 手段1.現在時々市が堆肥作りの講習会を区役所の隅で行っているが、細々で効果は殆ど期待できない実効性を高めるためにPR開催の回数に工夫すること</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策32都市農業の展開 具体的目標設定と市民運動の展開2.家庭菜園、花づくりのセミナーを開く工夫をすること。以前は県主催で野菜作りのセミナーが行われていた。共同組合、テレビ局、日曜朝は好評「都市農業」とは一体どういうことが原点に立ち、具体的に再考反省してみる必要がある 抽象的な話ばかりでは前進がない。関心のある市民を集めて意見集約しては。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>31.自然豊かな都市環境の充実 横浜は都会であると思う。ビル群、マンションや住宅、交通網しかし、あちこちに公園や歩道に花を植え木々も整備してくれている。花や木々は四季がわかり心も和み豊かになる そこをお願いします 1.花壇の花は洋風、日本古来の花々雑草など花の名前と共に植えて欲しい 2.大きな木は切らない原則として古く倒れそうな木は例外だけれど、新たな施設の建設のために伐採しないで欲しい 3.新たな施設は必要だと思うが工夫して再利用やリフォームでなんとか木々を切らない工夫してほしい—例えば三ツ沢公園の桜やカシ、イチヨウの木を切り屋根付きサッカー場を造る。少なくとも地域住民の意見を聞いて欲しい。散歩を楽しむ老人の楽しみを大切にしたい</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>耕作放棄地の有効活用元気な老人に好きな分の土地を耕作して野菜を作る楽しみ、食べて健康作りの一助に。私は定退後の23年、荒地再生させ60年野菜自給率70%（約200坪）地主さんは年2～3回の除草が必要になります。私のほか4名80歳代健康です</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策3「農業生産の基盤となる農地の利用促進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>私の住む都筑区は農専地域が多く存在するが、地主の多くは高齢化している。私は区が企画したシニア楽農園という取り組みに参加し、地域に多くに友人を得た。今も会費を払いor地主が無償で貸してくれた土地で農業をしている。今後も耕作が難しくなる土地が増えると思う。市としてもっと大々的に広く市民が農業に触れられるような施策をして欲しい。更に進めて市としても農業経営を行い横浜ブランドの小麦や大豆を生産するのも良いと思う</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>国際都市横浜、ガーデンシティ横浜などおしゃれな言葉はいつもできますが、私の住んでいる街のすみずみはごみだらけです。集合住宅が増え、若い人が多そうところのごみ収集場は散らかり風に舞っています。</p> <p>陸橋の階段はたばこの吸い殻、マスク、お菓子の包装紙、ペットボトル～なんでもあり、こんなところを毎日歩いていると生活していくのも大変なところ、更に気がふさぎます。名実共の街にしてほしい!!</p> <p>駅前や区役所付近の街路樹も草ぼうぼう。ごみだらけです。</p>	修正	ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。
<p>公園のトイレ設置について</p> <p>となりの川崎市では小さい公園にでもトイレが設置されている。気軽に長い時間くつろいでいられるためにトイレを設置して欲しい</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>政策31、賛成</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>政策32、賛成</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>旧上瀬谷通信施設について娯楽施設を作るのではなく広大な農地にして、子供たちに食育を出来るようにして、市民が安心安全な食物を得られるような計画にしてほしい。</p> <p>個人に区画割するような農園ではなくシルバー人材や農業に意欲を持つ若者が働ける市営の施設を作り体験学習や子供たちの給食の材料、横浜ブランドの野菜や果物を発展させて欲しい。もう既の施設はいりません。</p> <p>食はすべてに通じます体験学習が出来るようなところがあると良いと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>私は東神奈川にある神奈川地区センターに週1回習い事で通っています。地区センターに行く途中、川のそばを通ると水鳥がいるのですが川が汚れていてとても可哀想です。川をきれいに、水鳥のため良い環境をつくって下さい。お願いします。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策6「良好な水環境の創出、多様な生き物を育む場づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>人口密集地の利便性が多く問題視されますが、緑豊かな地の貴重さや市全体の活用を活かして欲しいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>三ツ沢公園（グラウンド）に新たにJリーグ等、集客を目的とした球技上を作る計画があるとのこと。</p> <p>現在の三ツ沢公園の施設（桜、自然、テニスコート）を球技場に変えることに反対です。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>私の住んでいる港南区には、円海山「横浜のチベット」といわれている山林が有ります。40～50年前はほんの100m位先の野原で揚羽蝶が20～30羽つかまえられましたが、ここ数年、特に今年はスズメもチョウも、みな小型化しています。近くの山林が減ったせいか、庭に台湾リスが現れ、気を付けないと家に走り込み、イヌなど目に見えない様です。</p> <p>数年前の台風被害の倒木もそのままですが、近隣の住民もコロナ禍の散歩に山林を歩き、とてもすくわれたものでした。このご時世に、とても楽しめた散歩コースでした。こういう小さな憩いの山森がどんどんなくなるのがとてもさみしいです。</p> <p>大きな公園も良いですが、地元の小さな山林を大切にしてほしいです。</p> <p>鎮守の森など、昔は身近にあったものです。年とともにとても懐かしい思い出です。</p> <p>国際都市にも身近な森は必要と思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
旭区ズーシア近くの「里山ガーデン」の常時開放をお願い致します。貴重な里山ガーデンは色々な植物の宝庫です。 ガーデニングの開催前の時期や開催中の閉鎖は仕方ないと思いますが、地域の方の散歩道や憩いの場にもなっています。開催中でもないといれないのはとてもなく勿体ないと思っています。是非ご一考をお願い申し上げます。	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
市有地を菜園に利用する。市施設や公園などの一面を菜園として市民が利用する。	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「農に親しむ取組の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
みどり税廃止にしてください。市民税の中で執行してください。	参考	「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただいております。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
作物に規格は不要。→廃棄（規格外）が減少する。きゅうりは曲がったままで良い。	その他	ご意見として伺います。
政策31 環境負荷が高い土地と負荷が低い土地の固定資産税に差を付けて緑地面積を少しでも増加させるようにして欲しい。 住宅地を全てコンクリートした住宅、駐車場は温暖化排水の負荷が大きい。敷地が緑化している住宅等が環境負荷が低い。 環境税のようなものでプラス、マイナスしたらどうだろうか。	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。
ガーデンシティ横浜、大変期待しています。 若者、ファミリー、高齢者が一日中楽しめる公園になるようお願い致します。 交通はバスを充実させれば、十分だと思います。 新交通は赤字になると思われます。 ※自然林をたくさん植えて下さい。	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、参考にさせていただきます。
保土ケ谷区内1号線沿いに住んでいます。街路樹の整備が不十分と思っております。 特に枯れた木が何年も放置されていることは残念です。優先順位があるのかも知れませんが、幹線道路である16号線沿いの街、街路樹整備には早急に取り組んでいただきたい。	参考	道路管理についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。なお、国道16号に関しては、国にお問合せください。
戦略7公園ではなく森を作る日本古来の鎮守の森を目指す	参考	ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略7 都市農業はサバイバルの為に不可欠だと思います。	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
自宅農業を可能とする家屋をデザインして下さい→ハウスメーカーに提案したり、推進したり、東京が住宅メーカーと組んで大型建築物に太陽光発電を設置するそうですが、横浜もご検討下さい	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
街中や公園を綺麗にするために、道路の分離帯は交通の安全のために必要かと思いますが、公園の草刈りが多すぎて、小さいワムシとかトンボ、テントウムシ、バッタ、蝶等の虫がいなくなり、それを主食としている鳥も減っております。明治神宮のように腐葉土として落葉も残して草も刈りすぎを減らして欲しいです。 蚊等の害虫駆除で、減らすためとは分かりますが、人と虫、動物は共存共栄で繋がりがあと思っています。せめて公園の草を刈りすぎないようにお願いいたします。 横浜市は近年マンションも多く、森がどんどん無くなって、小さな生き物をもっと大切に扱って欲しいです。	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>近くの公園で花壇づくりのボランティアをしています。 最近犬の散歩での糞尿の監視がエスカレートしています。小さな公園にマナーの看板が4か所以上建っています。一日中監視をしたり後をつけたり、少し異常です。 殆どの方がルールを守っています。 私も3代目の犬で家族同様です。今は毎日犬の散歩コースで悩んでいます。以前の様に子供たちとペットが共存できる明るく楽しい公園であって欲しい。そういう公園を作って欲しい。ネットや苦情ばかり見ないでください。（横浜市のマナー看板の無料配布をやめて下さい）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>国が食の自給率を増やさないようでしたら、横浜の少ない農業を守って高める努力を市としてやってほしいです。花もいいですが何より大事なものはこの先食とエネルギーは必要不可欠です。横浜から発信してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>他県から転勤に伴い24年前に現在の地に居住。近々他県へ転出する者です 新横浜駅、菊名駅に10分程の徒歩圏内にありながら春、初夏には鶯が鳴き、夏にはカブト、クワガタなどがまだかろうじて見つかるようなところである。ただ、この四半世紀の間にこの界隈でもいくつもの大樹を育ててきた緑地が宅地へと変貌していくところを見てきた。そのなかには相続の為に土地を売却しなくてはならなかった例もあるようだ。そんなことで樹木で覆われていた豊かな緑地が消えていっている。残念な事である。 そこで例えば、緑の維持保全を図る目的で相続税を軽減する代わりに緑の維持保全をこの先義務付けるとか、税の仕組みに手を付けることは出来ないか。勿論条例の範囲でなければならぬが。 産業革命以来の変化で我々は今、将来の我々の子孫に対して極めて重大な責務を負って曲がり角にいる。都市部での緑地の保全はそのためにも大切なことである。 そして、かろうじて今まだ身の回りの残されている緑地に関していえば産業革命なんかよりずっと古くからの遺産であり、これは一度消滅したら未来永劫復活することはないものである。 緑地の維持保全は、鶯やカブトを楽しむ近隣住民だけのものではない。それが出来ればそれは横浜市の「財産」となり「誇り」であり、市民の子、孫そしてそのずっと先まで引き渡せる「宝物」となるのである。勿論今世紀を生きる人類共通の課題に応えるものである。 「自然共生」を考えるのであれば、一時で終わる博覧会より地に着いた“策”である。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>近郊農業を守り育て地産地消に。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策32「活力ある都市農業の展開」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策31－施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」 現在、市内の公園の多くが公園愛護会による日常的な維持管理と、植栽管理を落札した造園業者による年1回程度の剪定がされているが、近年の台風などで立ち枯れ樹木が倒木し、公園に隣接する施設を破壊する事例も発生した。多くの子どもが利用する公園の管理が不十分すぎると指摘せざるを得ない。環境創造局公園緑地管理課および各土木事務所の人員と予算を抜本的に拡充し、市当局による公園施設の管理を行うことと、年4回は剪定等を行える予定価格での植栽管理を発注されたい。あわせて大地震など大規模災害発災時に避難・一時退避する場所となることにも留意し、「かまど型ベンチ」「マンホールトイレ」「埋設型トイレ」「災害用井戸」の設置を進められたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜の「緑」を守って下さい。あまり開発をさせないで下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』 ガーデンシティ横浜と言われてもピンとこない</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>活力ある都市農業の推進 →横浜市での農業生産の主力は野菜類なので、ここは伸ばしてもいいが、伸ばす品目を選択する →例)ハマ梨などのブランド品を伸ばす →郊外に野菜工場を建てる →IT化（スマート農業）を前提とする →地産地消を目指し、横浜市、神奈川県内の流通促進を図る</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策7花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現について 生物多様性の保全、樹林地の保全、里山の保全、緑被率アップ、森林による土砂災害及び水害の防止、水と緑の多面的機能の推進などどれも大賛成で、力強く推し進めていかなければならないと思います。以上を踏まえて上瀬谷米軍跡地の開発について意見を述べさせていただきます。 相沢川から取水している農業用水路には、何か所も湧水があり、跡地の広大な草地や樹林地に染み込んだ雨水が湧水となって相沢川に流れ込んでいます。この水路をなくし、さらに相沢川を暗渠にしたら、必ず相沢川の水量に影響が出てきます。水害の防止、生物多様性の保全にマイナスです。相沢川、大門川とも暗渠にしないでください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策7花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現について 生物多様性の保全、樹林地の保全、里山の保全、緑被率アップ、森林による土砂災害及び水害の防止、水と緑の多面的機能の推進などどれも大賛成で、力強く推し進めていかなければならないと思います。以上を踏まえて上瀬谷米軍跡地の開発について意見を述べさせていただきます。 谷戸と周りの自然林は残してください。 現在、跡地には16枚の田んぼに黄金色の稲が実っており、魅力的でなつかしい里山の風景を見ることができます。谷戸と周りの自然林を開発によって壊してしまうのは暴挙とさえ思えます。里山と自然林は共に生物多様性の保全には絶対必要だと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>花博予定地内に和泉川の源流が2カ所あります。1つは湿地を形成し、もう1つは小さな池から水が湧き出しています。この2つの湧水はこのままの形で残して欲しいと思います。湿地植物園にすることもできるし、隣の市民の森には自然のままの蛍が生息していることを考えると蛍の観察場所にもなると思います。 以上、跡地利用の全面的変更、無理ならば、さらなる一部変更をするべきであると考えます。一度壊してしまった自然は元に戻らないし、今からでも遅くないと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【95P】「生態系サービスを実感できる環境作り」という言葉が難しいですね。行政がそれを主体的に行なうということは、市内に仕組みを作って維持管理する、ということ（管理費が発生する）につながりそうです。市有地に民設民営の施設などを作ることも自体が、時代遅れではないでしょうか。今ある自然を活かすことが一番市民にとっていいことだと思います。みどり税も払って、更にガーデンシティ実現のために税金を投入することは一度止める必要があると思います。</p>	参考	<p>「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただきます。ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【97P】Park-PFIなどを活用しての公民連携で公園の魅力がどうアップするのかがはっきりしません。中期計画全体で「公民連携」が28回使われています。小さい行政を標榜したいことは分りますが、行政が全てを担当するよりも、事業者と組む（作業を外外部する）ことで費用面だけではなく、どのようなメリットが市民にあるか、を明確にしたいところです。カジノIR誘致の時には、事業者情報は守秘義務、ということで殆ど公開されていません。公民連携とは、市民が知るよしもないことが増えるリスクがあります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。公民連携に関するご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策32について あらゆる機会を使って、都市農業の発展を促す取り組みをして頂くことを期待します。</p> <p>例えば、これから始めようとする中学校給食において、また小学校給食においても、地場の野菜、穀物を使って農を身近に感じてもらう、または山下ふ頭の再開発の案として、畑にして給食用の野菜を育てるなど。後者は冗談ですが、農の担い手の促進は、横浜市だけでなく、国としても非常に重要な課題と思います。ぜひよろしく願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>「有機農業」の拡大のための支援策・推進策を是非本中期計画の政策32に盛り込んでいただきたいという趣旨の意見を述べさせていただきます。</p> <p>わが国では、環境負荷低減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進が行われることとなり、そこでは、「環境負荷低減に資する『みどりの食料システム戦略』の実現に向けて、持続的な食料システムの構築を目指す地域の取組を支援する交付金等の活用とともに、資材・エネルギーの調達から生産、流通、消費までの各段階の取組とイノベーションを推進します。」と宣言されています。</p> <p>「みどりの食料システム戦略」KPIとしては、2050年度には、環境保全の中の一つとして、耕地面積に占める有機農業の割合を25%（100万ha）に設定しています。この割合は現在0.5%と言われている割合の実に50倍にもなるもので、全国各地で一斉に取り組まなければ、到底達成できないものと考えます。</p> <p>上記国の戦略の前に、神奈川県では既に平成21年4月に「神奈川県有機農業推進計画」を策定し、有機農業に適用可能な技術の開発、有機農業者の取組への支援、有機農業への参入支援などの取組を進めています。一方、有機農業の取組の拡大には、技術や情報の不足、労力の不足、販路の拡大、農地の問題等の課題を抱えており、「有機農業」をより一層推進していくために、平成30年から概ね5年間を対象期間として、「神奈川県有機農業推進計画」にて、「有機農業」の目指す方向、推進方策及び推進体制を定めています。そのうち、有機農業の推進体制については、県の推進体制はもちろん、各地域（横浜川崎、横須賀三浦、県央、湘南、県西）や市町村における推進体制も整備する計画となっています。</p> <p>このような状況において、わが横浜市の「2022-2025中期計画」の素案を拝見すると、戦略7・政策32の「活力ある都市農業の展開」に本来記載されるべきと思われる「有機農業」が全く記載されておらず、大変残念と言わざるを得ません。政策32の主な施策4「農に親しむ取組の推進」では、農体験を通じた食育の実践とありますが、この農体験で農薬を散布したりすることが良い体験となりますでしょうか。農薬を使用しない「有機農業」こそが、農に親しむ手段としても有効ではないかと思えます。</p> <p>「有機農業」は、無農薬であり生物の死滅をさせないこと、化学肥料を利用せず環境負荷も少ないことから、政策31の「政策自然豊かな都市環境の実現」における「生物多様の保全」にも必要不可欠の要素と考えます。</p> <p>そして、この「有機農業」拡大のための以下の支援策・推進策を具体的に策定して実行することこそが、国・県・横浜市の政策を達成するための必要不可欠な要素と考えます。</p> <p>(1)有機農業への新規参入者支援  a. 農機具・設備・資材購入のための資金補助・融資等、資金面の支援  b. 農地賃貸借のデータベース作成・仲介等、農地確保の支援  c. 有機農業研修実施・有機農業研修先紹介等、技術面の支援</p> <p>(2)既存の有機農業従事者への支援  a. 農機具・設備・資材のグレードアップ・修理・購入のための資金補助・融資等、資金面の支援  b. 農地賃貸借のデータベース作成・仲介等、農地拡大の支援  c. 有機農業技術レベルアップ研修実施等、技術面の支援</p> <p>(3)有機農産物の販路の拡大  a. 有機農産物の流通経路拡大・販売場所の提供・公的機関での利用等、流通・販売の支援  b. 消費者による有機農産物の理解を浸透させることによる消費拡大の支援</p> <p>(4)将来に向けた学校教育  a. 学校教育・食育における有機農業の有効性の教育支援</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私としましては、自身が、環境負荷低減にも消費者の健康にも貢献できる「有機農業」で農業に新規参入したいとも考えております。</p> <p>是非横浜市に、「2022-2025中期計画」の中に、上記の項目について「有機農業」の具体的な支援策・推進策を盛り込んで、国や県の政策にも貢献いただき、市民の皆さんの生活をより豊かなものにしていただきたいと思います。</p> <p>ご検討をよろしくお願いいたします。</p>		
<p>戦略7で掲げられている、花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現について。博覧会の開催が、これまでの大規模なイベントとは違った開催された後も多様な恵みをもたらすようなものになるよう、大人から子どもまで準備段階から参画できるものとなる事を期待いたします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中期計画について</p> <p>都会の中にやすらぐ自然を</p> <p>横浜市はみなとみらい地区を中心に高層ビルが次々と建てられて、業務、生活、楽しみなど活性化している。ハコ～ハコと効が人間はひと息つく時と場所が必要。それは自然環境一花、みどりの木、水辺です。</p> <p>具体的には、日本庭園です。</p> <p>まず、日本庭園にいたる長い誘導路一桜並木にし、ワシントンの桜上野の桜とならび称されるようにする。</p> <p>日本庭園は、築山、池、花や草木で、広い海と空など自然を満喫できる事ができる。築山紅葉、松池一鯉、花菖蒲、蓮、花一水仙、梅、椿、桜、牡丹、芍薬、藤、ヒガンバナ、菊、日本庭園で、市民、国内外の人たちに、やすらぎ、楽しさ、感動をあたえたい。</p> <p>京都に、国内、国外から多くの人を訪れる</p> <p>それは、寺院の文化財とともに、お寺にある日本庭園の素晴らしさが、人々をひきつけるからだと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>今回は、緑に関してお願いしたいと思います。ガーデンシティといわれますが、樹の方が疎かにされ、花壇ばかりが考えられている気がします。横浜市は元々樹の多いところを切り拓いたせいか、切る事はされても植える方は少なく感じます。一般家庭は工夫し、マンションもひと通りの緑地を確保している所が多いですが、県や市の建物（特に新築）の周りの樹は切られるばかりで、その後に植えるのは少なく石の建物が目立つ丈です。是非建物の回りに樹を増やす（やたら古い樹を切らず）事を考えて頂きたいものです。花壇に使うお金を植樹や管理に回して、地味でも本当の緑豊かな街づくりを願っております。</p> <p>港の見える丘公園、山下公園等、確かに美しいですが、「やりすぎ」の声も聞かれます。その費用も巨額と思われる。どうぞ未来の事も考えた緑政策をお願い致します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」、主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」、主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」及び施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>P98主な施策3</p> <p>市民が実感できる花や緑の創出・育成</p> <p>ガーデニングが好きで毎年ガーデンネックレスやバラの咲く山下公園・港の見える丘公園を見ながらの散策を楽しみにしています。</p> <p>港南台に住んでいて広々とした道路や街路樹の美しさはありますが、足元には草が伸びて残念な公園や歩道が多いと感じます。</p> <p>住民が勝手に手を出すことも出来ず、プロのガーデナーがアドバイスして地域の住民も参加できるような場所が近くにあったら楽しいだろうと思います。</p> <p>山下公園のチューリップのばらまき花壇ほどではない手入れの楽な宿根草を中心とした美しい場所が皆の目につく所に一か所でも出来たら、住民の街に対する意識も変わり交流の場となって暮らしが豊かになるのではと思います。</p> <p>市の施策で観光地でない所も巻き込んだガーデンシティの実現を要望します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策31、32② 政策②園芸博用地は土地汚染は大丈夫ですか。 出来れば後利用には生産緑地農作物生産工場などにも利用してもらいたいです。“人生記念樹”は我家では6本植えていただきました。 こういう場所が長く緑地として残って欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策1「農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>都市ブランド力の向上に向けた動物園の充実 充実させるためには、老朽化した施設の建て替えなどの予算が必要であると思います。動物園としての機能を継続するには財源が限られた中では具体的に事業を行う必要があり、横浜のブランド力を向上させるにはズーラシアへの予算投入が重要であると思います。 一方、都市の緑を維持し身近な自然と共生する施設としての機能を備えている金沢動物園は、動物園としてではなく自然生態園としてリニューアルするための予算投入が必要と考えます。 最後に入門編的な役割である野毛山動物園はこれから益々厳しくなる動物福祉上の点からも大中型野生動物の飼育は終了すべきであり、万騎が原を発展的に終了することでふれあいの場としての機能を充実させ、一方では地の利を活かした災害時の避難施設を兼ね備えた屋内型施設として爬虫類館を建て替えて災害に強い町づくりをアピールしたらよいと考えます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策5「都市ブランド力の向上に向けた動物園の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>身近に緑を感じられ、環境行動を実践する人を増やすなら、まず自宅に緑を増やすのが良いと思います。 自宅に緑を増やした人の目標数の設定と支援をしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>95p「戦略7『花・緑……ガーデンシティ横浜の実現』」に関して。 里山ガーデンは無意味です。あそこに自生する植物を大事にしてください。春と秋に大量に「ただ鉢を運んで置く」だけのえせ里山は税金の無駄遣いです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31(4)「魅力ある公園」：公園にある樹木が、伐採されるばかりで、減少してきている。公園の樹木があった場所に切り株だけがあるような箇所を多く目にする。枯れた樹木や密生した樹木の伐採は必要であろうが、並行して、植樹もしないと、絶対数が減ってしまう。苗木の段階から計画的に植林すれば、費用も抑えられる筈である。1～2年で造れる草木の花壇レベルではなく、年数の経った樹木が町中にもあるという大きな資産を発展させる施策として欲しい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略」について 戦略7、ガーデンシティとは何を意味しているか、少し分かりにくさを感じます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31.ガーデンシティ横浜の実現政策 2027年に向けた開催意義に疑問しか感じません。わずか半年間の博覧会の為に多額の税金を投入して開催する意義が全く見当たりません。時代錯誤が甚だしいです。博覧会に巨額の税金を投入するよりも、山中市長が公約に掲げた3つのゼロ、公立中学校の全員給食の仕組み、施設作りに予算をまわして下さい。 歳出改革を謳うなら、まず園芸博を中止にするべきではないでしょうか。 港北区に住んでいますが、この10年でも近隣の自然は、宅地化の為にどんどん伐採され大幅に減少しています。子供を遊ばせられる公園も近所にはありません。この博覧会の為に、長年市民から愛されてきた桜並木も伐採してしまうのですか。 「花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現」するなら、博覧会の開催ではなく横浜市民の生活圏の自然を守り育てるのが一番ではないでしょうか。国際園芸博覧会の中止を強く求めます。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市の政策の中に是非とも盛り込んで欲しい事があります。</p> <p>現在日本の食糧政策は大変乏しいものがあります。このままでいくと日本は近い将来、地球規模の干ばつ水不足戦争戦略物質化される食料ウイルスによるパンデミックなど様々な要因による飢餓が発生する可能性は大であります。</p> <p>その時に備える必要があります。この横浜でそんな犠牲者を次々出すことは行政として許されるものではありません。</p> <p>もう今からでも、十分に間に合います。我々の命の源である農業政策に力を入れて欲しいのです。市民がどんな時にでも安心して食べていける様に農業従事者が経済的にも持続していける政策をお願いいたします。</p> <p>横浜市は素晴らしい近代都市であります。住民サービスの充実は勿論ですが、今の国の政策は亡国の政策です。どうかこの私が大好きな横浜市だけは人間らしさを第一に考えて下さいようお願い申し上げます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>街中の公園抜本的改善の必要性について</p> <p>国際園芸博覧会等大きなイベント開催も必要ですが、「身近にある街中の公園抜本的改善」が必要と思っています。なぜならば、公園機能として、戦略1.を中心に据え「こどもたちの未来を創る」と「5つの戦略」が密接に関係しているからです。又、日常頻繁に利用するのは小学生以下幼少期の子供達です。従って公園が常に、綺麗で安全であることが大切になります。この種の公園は、昭和50年代後半バブル時代初期に土地開発行為をしたときに、マンション提供公園等に産業廃棄物が埋設されています。当時は、産業廃棄物規制が現在ほど、厳しくなかったこと、殆ど無いに等しいことに起因したと考えられます。</p> <p>地球環境問題への関心が高まる中、大気汚染温暖化としてカーボンニュートラル、海洋汚染としてマイクロプラスチック、一番身近な土壌汚染として産業廃棄物埋設には触れないのは何故だろうか、常に、疑問をもっている次第です。</p> <p>これらの「抜本的な改善」を提言します。</p> <p>具体的には、1.埋設されている廃棄物を除去 2.樹木の根っ子からの除去 3.土壌の入れ替えを実施し新たに樹木を植え付けること</p> <p>綺麗で安全な公園創りとその維持管理には、利用者のルール・マナーの啓蒙が重要になります。現代社会ではルール・マナーの軽視が多方面で見かけます。この為にも、子供達に遊びながら「ルール・マナー」を体験的に覚えさせることが重要になります。2016年9月から現在まで、公園愛護会メンバーとして公園の整備と利用者へのルール・マナーの啓蒙を行って来ました。特に、「公園3つのルール」の啓蒙を行い続けることが、子供達の将来に向けて、必要不可欠な事であると認識しています。</p> <p>以下、公園愛護会2016年～2022年までの活動の一部を紹介します。</p> <p>1.【背景】</p> <p>2016年9月から北寺尾四丁目公園愛護会を引継ぎ、公園整備を行ってきました。</p> <p>当時、公園近隣自治会班が清掃活動を2回／年実施していた。</p> <p>しかし、この清掃担当班も・高齢化を理由に清掃出来ない。・利用者が清掃すべき。・騒音でうるさいから公園を潰せ。・清掃範囲を巡って住民摩擦が発生する迄発展した。</p> <p>この様な状況で公園愛護会を引き継ぎました。</p> <p>当時、近隣に新しく保育園が開設され多くの園児が来園するようになりました。</p> <p>公園の状態と言えば・ごみの散乱・犬のトイレ常態化・タクシードライバーのトイレ常態化・不法投棄場所等々「問題・課題だらけ」の公園であった。これらの状況は、近隣公園、鶴見区全体、横浜市を含む、国土全体の傾向であることは言うまでもない事実である。</p> <p>この状態では安全面、衛生面で最悪と思い徹底的に整備に入った。</p> <p>◎ハード面として・徹底的に見える化見通しを良くすること。・掃除を容易にすること。人の入れる道を造り、雑草の生える部分を削減すること。</p> <p>◎ソフト面として・利用者へのルール・マナーの啓蒙である。</p> <p>2.公園の概要</p> <p>3.ハード面整備プロセスで発覚した事案</p> <p>公園内斜面及び植え込み部から産業廃棄物ガラ・金属片他が排出された。現在もある。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>4.産業廃棄物が埋設された時期 昭和50年代後半における土地開発行為と宅地造成工事過程で埋設されたと推測できる。 小生の住むマンションも公園傍に有り、今年、築36年が経過した。当時、提供公園として横浜市に譲渡した公園の一つである。公園を含めてマンション敷地内、及び、近隣民家に於いても同様にガラク等の埋設事例が多数ある。 4.ソフト面ルール・マナーの啓蒙例 最も、難しいことはルール・マナーの啓蒙です。公園ルール揭示物は殆どみないが、子供から大人までスマホは殆ど見ているのが現代社会の実情です。 ◎おわりキーワードは「クリーン」 今後、必要される基本行動基準 1.ルール・マナーを守る（コンプライアンス遵守） 2.地球環境問題に関心があること 3.本質ボランティア活動が出来る事</p>		
<p>三ツ沢競技場は市民に愛されている競技場です。 テニスコートや自由広場をなくして、もしくは縮小して新しいスタジアム整備は必要ないのでは？ 公営の施設に求められるのは幅広い市民が低廉な料金利用できるところにあります。民間では果たせない役割を市には果たしていただきたいと思ひます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>「子育てしたいまち…」人口のかわりに幼児子ども達が自由に遊べる公園が少ないと思ひます。田舎の栃木市には車で30分行けば、入場無料の自然豊かな公園がたくさんあり、大型遊具、1回100円の色々な自転車、ジャブジャブ池等、三世代で一日遊べます。また藤沢には車いすの子供達障害のある子もいっしょに遊べる遊具がある公園が作られたと聞いています。お金がかかる巨大テーマパークはいりません！！ 花博も良いけれどもっと子供達が孫達が笑顔で遊べる公園を作ってください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>三ツ沢競技場改修に使う予算を他に使っては？（例えば市民税を減らすとか）</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>戦略7においては、そのネーミング（ガーデンシティ横浜）と政策の実態があっていない。 政策31：都市農業や政策32：動物園の充実という政策でガーデンシティというイメージが生まれてくるのか。もちろん、国際園芸博覧会やガーデンネックレスといった既に決まった施策への配慮であればこのようなネーミングでなければならないのかもしれない。</p>	参考	ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>&lt;戦略7について&gt; 緑の減少が鈍化しているとのことですが、これからは緑地を増加をさせなければ、食料危機や温暖化につながります。 「今ある緑を守る」ではなく「緑を増やす」に政策をシフトし、ビルや空き家を買上げた上で農園することを提案します。 財源確保、緑化継続のためには「産業としての横浜の農業」の魅力が全国に発信され、大きな収入源になることが必要です。 まずは、横浜の農業をもっと大きくPRをしてください。産業の柱として育ててください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略7：全国的にも農地が減少し食物自給率も減っています。農業では生活関ない国の政策に問題があると思っています。しかし、これは、国民のいのち、地球環境の問題としても危機感を覚えます。</p> <p>大都市横浜にも、まだ、農地は残っています。この少なくなった農地を守るための政策を、市がいろいろ行っていることは承知していますが、もっと力を入れていただきたいと思います。変換される米軍基地跡地や不本意ではありますが、廃校される学校跡地の利用の中に、建物を建てアスファルトを敷き詰めるだけでなく雨のしみこむ土を残し、その土を生かした事業の中に農業への支援を検討して下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>P98政策31自然豊かな都市環境の充実 指定した樹林地の維持、保全の施策の充実。</p> <p>緑地保全協定を結んでいるが、緑地所有者側には将来的に維持管理を継続できるか不安がある。現行では3年ごとに維持管理のための補助金ができることになっているが、所有者側まかせである。緑地保全について専門的な知識、技能をもった個人なり業者がアドバイザーとして常時相談に対応できたり、直接現地を見てもらい適切な管理法をアドバイスするなどの体制を整える必要があると思う。その意味で緑地保全に特化した専門機関の設立が必要である。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>地域の公園に何箇所か幼児が水遊びのできる場所を作って下さい。港北区の近くの三ツ沢公園にジャブジャブ池があります。あれほどの規模ではなく構いませんが、幼児が水遊びのできる場所を作ってほしいです。</p> <p>この気候変動か、とみに熱くなってきている夏、親子で行ける水遊び場がほしいです。太尾南公園など水が流れていますが、汚く入って遊ぶのはできません。区内では、各区で小さなジャブジャブ池や児童館での幼児プールなど工夫した水遊び場ができています。豊かな学びの環境の実現という意味でも、ぜひつくってほしいと思います。</p> <p>なお、公園の汚いのが目につきます、孫を連れていったとき利用するのに抵抗があります。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>p97の政策31-1について</p> <p>ガーデンネックレスを継続していく計画ですが旭区で展開されている里山ガーデンの大花壇のように春と秋だけ解放するのではなく、日頃から市民が利用できる空間にしてほしいです。</p> <p>市民の手でその土地に元々あった樹木や草を育て谷戸を再生し本来の里山の環境を未来に残せないでしょうか？</p> <p>生物多様性の維持・豪雨などの災害対策としても森は必要と考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現</p> <p>現存する自然や農業を生かすことを重視し、農業の新興を支援することを基本に進めることが大事だと考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>戦略7農業について</p> <p>横浜産の農産物をもっとアピールしてほしい。</p> <p>魅力あってこそ、産業の持続につながる。</p> <p>SDGsの観点から、食物自給率向上は不可欠。</p> <p>日本を代表する都市として、その責任をもっと果たすべき。</p> <p>今の手ぬるい対策では、高齢化と都市化の波に飲まれる一方。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策32：活力ある都市農業の展開                      ：師岡にある梅の丘公園にある、団体用分区分園の様な子どもが公園でも遊べるような市民農園付き公園の充実や、アウトドアスペースのある市民農園の整備をお願いします。                      ：市街化調整区域の資材置き場やコンテナ倉庫等、違法性のある施設の撤去の促進をお願いします。                      ：公園施設の市民団体等の利用の積極的な促進をおねがいします。又、全ての公園施設での市民団体等との協働事業の実施をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「農に親しむ取組の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>旧上瀬谷通信施設跡地の開発をやめよ                      川を暗渠にし、谷戸と水田・畑を潰し、湧水を無視し、土地をならず区画整理事業は絶対に行ってはならない。基本姿勢SDGsに完全に逆行している。                      上記の区画整理事業を造成基盤事業とする国際園芸博覧会も中止せよ。                      せめて行かなければ、SDGsに沿った計画に一から見直せ。                      上記の区画整理事業と花博の跡地に造られる公園整備事業も今の計画では絶対に行ってはならない。                      瀬谷区旭区民の求めた公園は、草一本残さず自然を刈り取り、土地を平らにならし、暗渠にした川から取水して水辺空間を演出するような恥知らずなものではなく、現在の自然を生かした公園である。またその公園が20年後に全面供用、花博後15年も経ってからしか使えないなど、ありえない。                      今日生まれた子が20歳に使える公園など、市民は求めている。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>三ツ沢公園の再整備案に反対する                      ニッパツ球技場の隣に2つ目の球技場を造ることに反対する。                      市民の利用できる公園施設を潰し、なぜプロスポーツのためだけの施設を市税で建設するのか？せめてJリーグの規定のために横浜市民が費用を負担する根拠を示せ。屋根がなくともHPに名前が載るだけの「制裁」をサッカークラブが受けるだけ、屋根が全座席にある必要もない。法的な問題もなく、その費用を市民が負担しなければならない根拠も示されていない。                      ニッパツ球技場を補修し、北側の客席に屋根をつける                      Jリーグの規定もクリア、ニッパツのピッチが近いという特性も維持でき、芝生も維持できる。何よりも、ニッパツ球技場の平均動員が4000人ほどならば、15000人のニッパツよりも大きな球技場を造る必要もなく、そもそも立地の悪さからして人が来ない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>根岸森林公園、根岸住宅地区跡地計画にも反対する                      根岸公園を分断する道路計画もやめる。地元住民が困ることをするな                      市大2病院の統合・移設にも反対する。地域の医療を破壊する行為である。                      旧一等馬見所の保全を行え</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策4「戦略的な土地利用の誘導・推進」、政策17「医療提供体制の充実」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>緑を破壊するだけの市政なら、みどり税を返還せよ。                      三ツ沢、上瀬谷など、草木を刈り取り地形を変えるような開発ばかりし、みどりが全く増えない一年草の花のタネを配布する事業に税金を使うなら、みどり税を全額返還しろ。</p>	<p>参考</p>	<p>「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただいています。ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31、32日本の食料自給率を上げるためにも、また、災害に強い都市づくりのためにも、やたらに開発するのではなく、近郊農業を発展させるべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策31について わたしは、地域の里山環境の保全活動をしています。 横浜市から、第18回横浜環境活動賞「実践賞」を授与されていますので、会の活動内容は把握されていると思います。 活動地域内に、奈良町はらっぱがありますが、地域の環境にふさわしい利用について、住民アンケートをとり、市長陳情をしておりますが、実現されていません。 現在、はらっぱの利用について、管理委員会から周辺住民に広報もされず、補助金の使途についても、報告されたことがありません。利用する周辺住民の意見が反映され、透明性のある管理運営がなされることを要望いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策32活力ある都市農業の展開 「横浜農場」を売り出し、地産地消を進めていく方針は期待できる。生産者が元気になるためには農産品が売れることが一番であり、生産地と消費地が近い横浜の利点を最大限活用し、戦略を持って消費者とつなげていくことが大切である。農業を支える担い手を確保することも重要である。新規参入にあたってハードルが高い農業分野に社会福祉法人やNPO法人の参入など農福連携を進める仕組み作りにも期待する。一方で、支援すべきは人であり市は仕組み作りには留まらず、新規参入者の農業研修機会の提供や、農地を貸借する人をつなげるマッチングや、福祉的な労働の担い手となると考えられる障がいを持った方などへの支援に取り組まなければならない。せっかく農業に就いても生活に困窮したり、働く尊厳を保てなかったりすることがないように、相談できる窓口を開いておくことが必要である。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>施策31「自然豊かな都市環境の充実」について この施策の目標に「生物多様性保全に向けた行動」が掲げられ、現状と課題において「横浜みどりアップ計画」では、約1000haの樹林地の指定・保全のほか、市民協働で花や緑のまちづくりに着手する地区の増加など、横浜の特徴である里山環境の保全・育成、花や緑のまちづくりの推進などが進み、緑被率の減少が鈍化しています。」と記されています。 しかし、減少する緑被率の低下に対応するため、樹林地の保全を主たる目的として「横浜みどり税」が導入されていますが、この税金の使途は見栄えのする市街地の美観向上に偏っており、樹林地の地道な保全が長年にわたってなされておらず、里山の荒廃が加速度的に進んでいます。 具体例として、2019年の初秋から秋にかけての大雨と台風で、里山に大被害が発生していますが、これは樹林地の保全が行き届いていなかったことに起因しています。 里山の尾根筋や傾斜地において適切な樹齢で伐採されず、大木となってしまった樹木が台風の強風で倒れ、豪雨で緩んだ表土とともに崩落する現象が至る所で発生しており、その対応は対症的な後手に回っています。流出した表土は再生されず、生態系に大きな影響を及ぼすと共に、流出した表土は河床を浅くして水害の増大を招き、市民の安全を脅かす結果となります。 また、樹林地の減少はCO2の増加、気候変動やヒートアイランド現象等に直結するなどSDGsに逆行する問題でもあります。 そこで、既に遅きに失していますが、次のような抜本的対策に最優先で予算を回し、即対応することを求めます。 2019年秋、近隣の里山被害について自主的に調査して50カ所以上の崖地の崩落を確認、陳情書を提出しましたが、満足な回答がなく、関係部署との面談の機会を持ち被害の現状確認と対策を要請しました。しかし、予算と人手がなく、現状認識すらできないという耳を疑うものでした。また、この時の面談記録は、市側には残されていないことを申し添えます。 （「2019年秋の豪雨と台風による瀬上市民の森の崩落被害状況」参照） （1）里山の尾根筋や傾斜地にある樹木を伐採する。（通常、造機は20年 蚊ら30年で伐採し、萌芽更新を促す）萌芽更新が期待できない場合は、適宜、植樹する。 （2）樹木に巻き付いて樹木を枯らす蔓性植物とその予備軍の除去 （3）食害により樹木を枯らし、鳥の巣を襲う台湾リスの駆除</p>	<p>参考</p>	<p>「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただきます。ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>公園の整備 身近な所の公園が50年前からずっと変わらない。置いてある遊具は、鉄棒、ブランコ、滑り台、砂場。大阪や名古屋に私の子どもがいるので遊びに行くと、さまざまな遊具が置かれている。広い公園に豊かに遊べる工夫が沢山ある。担当者は、県外に見に行った事が無いのかと思うほど。他の県のことも参考にして、より良い環境を子ども達に与えて欲しい。 保育所の充実とも関係するが園庭もない。遊びに連れて行く公園も狭くてお粗末。こんな環境で子育てしたい魅力のある街にはならないと思う。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>ローカルフード法案 自治体での条例制定を行う</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31，政策32に関連して 「中期計画」には、豊かな魅力あふれる都市実現の一環として多様な農業の推進、都市農業の持続的発展を図るとありますが、沿岸域に展開する漁業に関する項目はありません。市域の漁業者（殆どは横浜市漁協に結集する漁業者—2018年漁業センサスでは232人の海上作業漁業就業者）は臨海部の都市環境において多様な水産物の供給を現実にも担っているばかりではなく、いまや「カーボンニュートラル」等の環境生態保全活動の中心的な活動主体です。どうか、豊かな都市沿岸域・環境の担い手たる漁業と漁業者の存在を正当に評価し、さらに応援してほしいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>7-31緑アップ事業について 私は、緑アップ事業のひとつである、里山ガーデンが実施されている里山で、25年保全と、美術展をおこなってきました。この山には貴重なシダなど、夏の水辺のヘイケボタルなどの動植物があり、森の手入れによってどんどん豊かになり近隣の皆さんの良い散歩道でした。 そこに里山とはまったく関係のない園芸植物の花壇を作ったりフィールドアスレチックや、マウンテンバイクの通路をつくったり、コンクリートで固められていく山を見ると、とても緑アップのうたい文句とはかけ離れた場所になっています。しかも、春と秋以外は高いフェンスにかためられてお金を何千円も払わなければ入れない場所になってしまいました。 緑アップとはなんでしょう。本当に里山を大切にすることは、里山ガーデンを一部の業者を入れて設けさせる場所にするのではないと思います。都市に残された貴重な自然を大切にしようと、市の担当が入り横浜国大など大学も入って環境評価をし、残し方を考えていたこともありました。もっと自然の現状を調査してそのばにあった、丁寧な緑アップを考えてほしい。今の里山ガーデンは決して元の自然には戻りません。せめて、残った森の自然を一部の業者のものとして、年間で市民が自然に触れられる場所少しでも作ってほしいです。 また、園芸博覧会が、実施される場所の自然を全く人工的なものに作り替えるのではなく、市民特に子供がその後も利用できる場所になるよう広く意見を求めるよう、要請いたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>95頁「ガーデンシティ横浜」 緑を活かし創るなら、花博のような緑にかこつけた開発はやめるべきであり、テーマパークは言語道断であり、山下埠頭は市民の憩いの緑多き空間にしてカジノやら遊技場やら創るべきではなく、三ツ沢スタジアム新建設等はやめるべきである。 新しい農業として、自然農を拡大すべきである。 化学肥料を廃するのが、SDGsであろう。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略7ー政策31と32旧上瀬谷通信施設跡地の開発をやめよ 川を暗渠にし、谷戸と水田・畑を潰し、湧水を無視し、土地をならす区画整理事業は絶対に行ってはならない。基本姿勢SDGsに完全に逆行している。 上記の区画整理事業を造成基盤事業とする国際園芸博覧会も中止せよ。 せめて行かならば、SDGsに沿った計画に一から見直し。 上記の区画整理事業と花博の跡地に造られる公園整備事業も今の計画では絶対に行ってはならない。 瀬谷区旭区民の求めた公園は、草一本残さず自然を刈り取り、土地を平らにならし、暗渠にした川から取水して水辺空間を演出するような恥知らずなものではなく、現在の自然を生かした公園である。またその公園が20年後に全面供用、花博後15年も経ってからは使えないなど、ありえない。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>三ツ沢公園の再整備案に反対する ニッパツ球技場の隣に2つ目の球技場を造ることに反対する。 ニッパツ球技場を補修し、北側の客席に屋根をつける Jリーグの規定もクリア、ニッパツのピッチが近いという特性も維持でき、芝生も維持できる。何よりも、ニッパツ球技場の平均動員が4000人ほどならば、15000人のニッパツよりも大きな球技場を造る必要もなく、そもそも立地の悪さからして人が来ない。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>緑を破壊するだけの市政なら、みどり税を返還せよ。 三ツ沢、上瀬谷など、草木を刈り取り地形を変えるような開発ばかりし、みどりが全く増えない一年草の花のタネを配布する事業に税金を使うなら、みどり税を全額返還しろ。</p>	参考	<p>「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただいています。ご意見につきましては、戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜ブランドの農産物の開発と普及をして下さい</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策32「活力ある都市農業の展開」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>緑あふれる横浜として乱開発に規制して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>三ツ沢公園のサッカー場については自然を生かした方法をお願いします。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>子ども達の自由に遊べるこども広場を作って下さい。雨の日でも遊べる場所が欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>お願い ・地域、公園の整備街にあった ・どの公園も同じ、幼児～老人の憩いの場に。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜にはまだまだ農家があります。 食料自給率を上げるためにも、今後何が起きるかわからない情勢に備えるためにも、農家を存続させ、安く安全、新鮮で身近にある、を確保しておくべきだと思います。輸入が出来なくなったら大変です。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>大変暑く長い夏で今後の温暖化を心配している一人です。絶滅危惧種がますます増えており、人間もいつまで生きて行けるか、食糧危機が意外に早く来るかもしれないと思っています。少しでもこの局面を遅らせるために森林など、自然環境を増やしていきたいです。</p> <p>これまで、どこどこで開発してきましたが、出来る所は昔の自然に戻していくことも考えていきたいです。</p> <p>また、自然林原生林の持ち主と業者間で売買されていくごとに、行政（国の法律）では抑止できないまま開発されていくことが残念です。災害へつながることも心配です。</p> <p>自然が残された緑豊かな街、町で人のつながりを持って歴史、文化を守っていきたいです。</p> <p>毎日の生活で、木陰の多い街路樹の下を歩ける環境であって欲しいです。</p> <p>庭の木を一本増やす運動を呼びたいです。</p> <p>緑の多い横浜の未来を願って書きました。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市はみどり税をとり、緑を増やそうとしていますが、まず取り組むべきことは今ある木、緑を減らさないことではないでしょうか？</p> <p>私は11年前に西区に引っ越してきましたが、その間、緑が増えるどころか多くの木々が切られたり、強剪定されるのを見てきました。例えば、小学校、中学校、高校の校庭の木々や、街路樹は強剪定され、電信柱のようになっていきます。また、市の施設は緑が少ない。新しい市役所も花はあるけれど、木、特に大きな木は少ないです。これらの現状を踏まえて市は率先して市の施設の敷地内に木を植えて、民間の手本となるべきです。</p> <p>山下公園や港の見える丘公園には、これでもかと言わんばかり、にぎにぎしくバラをはじめ色々な花が植えられています、やりすぎだと思っている市民も少なからずいます。花は始終植え替えが必要で、業者を儲けさせるだけです。花は程々にして、大きな木を植えるほうが、経済的にも地球温暖化対策にも良いと思います。</p> <p>市長が変わった今、「花から木へ」、一部は「メンテナンスフリーな庭」へ方向転換する良い機会だと思います。</p> <p>自然が残る旧上瀬谷通信施設の再開発も、自然環境を保全した樹木だけの自然公園が望ましい。花博をやるなら、自然破壊は最小限にするべきで、多くの市民は造りこんだ公園ではなく、何も無い樹木があるだけの公園を望んでいると思います。</p>	参考	<p>「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただきます。ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の、主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>7-32活力ある都市農業の展開</p> <p>年2回1ヶ月開催の里山ガーデンを無くし、農地として、農業者や市民が使えるようにしてください。</p> <p>花博開催後は遊園地にしないで、農地や草地として市民利用をすすめてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>7-32活力ある都市農業の展開</p> <p>年2回1ヶ月開催の里山ガーデンを無くし、農地として、農業者や市民が使えるようにしてください。</p> <p>花博開催後は遊園地にしないで、農地や草地として市民利用をすすめてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>7-31自然豊かな都市環境の充実</p> <p>都市の肝機能ともいえる公園に樹木・草地を増やし、生物多様性を進めて下さい。校庭、寺社林、企業緑地の緑アップを支援し、市内に緑の島をたくさん作り回廊してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>7-32市内農産物の自給率アップをめざし、遊休地や分区園を農業者や市民にもっと使わせてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「農に親しむ取組の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>7-31自然豊かな都市環境の充実 都市の肝機能ともいえる公園に樹木・草地を増やし、生物多様性を進めて下さい。校庭、寺社林、企業緑地の緑アップを支援し、市内に緑の島をたくさん作り回廊してください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策3「市民が実感できる花や緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>7-32市内農産物の自給率アップをめざし、遊休地や分区分園を農業者や市民にもっと使わせてください。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「農に親しむ取組の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>100ページ農地の利用 農地でグリーンインフラとして有効でかつ管理が比較的易しいのは柿や梨、ぶどうといった果樹だと思う。例は梨</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>冊子の見方がわからない。 戦略7政策32 ※横浜を愛する者として、この政策を知りともうれいのですがもっとわかり易いと言うか、参加の簡単な方法ありませんか。多くの市民と横浜をよくする話し合いをしたい。 戦略7政策32 他のも全部大切です。2035年の食料自給率最悪のケースを想定 2021年2035年 米98%11% 野菜79%4% 果樹39%3% 牛乳乳製品63%12% 牛肉38%4% 豚肉49%1% 鶏卵97%2% 鈴木教授による試算より この表のことを知って市民が生きること何より大切な食料のこと、研究も日々進歩していますが、一人一人がせめて少しでも得られる毎日が過ごせる様に行きたい。 「パブリックコメント」を実施しますとご意見を、と募集していました。書き方をまずどの様にして良いかわからずまとまりません。私も失礼ながらこの様な事を書かせて頂きましたが、まとまりがありません。 よくわからなくても、横浜に生まれ育った市民としては本当に良くしたい。大好きな「横浜市歌」を大切に市民で歌い合い、団結してよりよい街に行きたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>公共施設の整備 三ツ沢公園にサッカー専用球場の早期整備（横浜FCの拠点に）</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>戦略7政策31、32について（他にも意見有りますが、この項について申します） 地域の小公園、都市公園、自然公園の充実（すでに現在している公園もある） ①緑、木々を季節ごとに合うよう整備していく ②公園内にはベンチを必ず設置 ③都市公園は多くの市民が訪ねやすく歩きやすいようプロムナードを整備。ベンチと屋根付きの休息所を設置 ④自然公園内は整備する地域と歩道のみ整備。それ以外の所は人の手を入れるのを最低限にする ⑤市民の森の一層の拡大と充実を ⑥これら整備等するには金銭と労力が必要ですが地域の方々と協力したいと思う市民は必ずいますのでそのための周知や運営体制を行政が音頭を取り、街づくりの一環として進めてほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全・活用」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>都市農園について一言 農地や（大田）果樹地は経済面と市民の保養面でぜひ残すべきと思っています。 （市内各地を歩いた経験から）</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>私は小学生の時に生糸検査場（所？）（後の第2庁舎）の入り口に飾られた大きな美しい生糸の束を見るのが好きでした。現在、着物を着るようになり日本の絹のしっとり感は独特な風土が作る高級な農産物だと知りました。先日の日経新聞で茨城県（？）が桑畑を転作すると知り、とても残念に思いました。シルクセンターも三溪園も過去を伝える場になり、県内でも愛甲町の研修の場も過去を体験する場になっています。 日本の高品質な小石丸や天蚕等が産業として育てられないものでしょうか？養蚕は空き教室で子ども、障害者、高齢者が専門家の指導を受けながら協働できるのでは、と夢を描いています。まずは始めの一步とならないでしょうか。 絹は現在多様な使い道があり、桑も飼料として利用でき、政策⑩⑪にもつながります。 天蚕の人工ふ化は難しいと言われていますが、動物園では色々成功しているので、何とかできないかと期待しております。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略7花、緑、農、水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現 2027の園芸博には、世界中からのお客様を横浜に迎えて、横浜ならではの魅力を世界に発信して、博覧会終了後も国内外からのリピーターや初めて訪れる人々を増やしたいです。そのための戦略を以下のように提案します。 ①空き家を活用して、宿泊施設を安く訪問客に提供する。リフォーム代を助成する。これを推進するプロジェクトチームを作る ②空いている部屋のある人に部屋を提供してもらい、民泊を推進する。これをアレンジしていくプロジェクトチームを作る。 ③園芸博で会場内を市民のボランティアガイドが案内する。日本語のみの人、日英、日仏、日中など、多言語対応をめざす。この体制を作るためのプロジェクトチームを立ち上げる。 ※①～③すべてに関わってお手伝いが出来ますので、なんなりとお申しつけ下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>老後（定年後）のボランティアで鶴見区の体験学習農園のボランティアをしていますが発足時のメンバー（定年後）の年齢層が高齢化の問題もありますが鶴見区の矢向、尻手、江ヶ崎町の向上跡地のマンション化で新住人の住居を増やしていますが、工場や農地の土地利用の割には住民の憩い場のスペースの公園や原っぱや市民農園が矢向地区では少ないと思います。 私達旧住民と新住民の交流面も課題ですが現状面の体験学習農園の余裕スペースが実現見込みが有りそうでしたら鶴見区の矢向地区の市民農園スペースを検討していただければ幸いです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「農に親しむ取組の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>戦略7政策⑩自然豊かな都市環境の充実 里山ガーデン、緑アップ計画について 緑区から助成をいただいて、里山ガーデンの隣で活動する団体のメンバーです。 里山ガーデンの土地には多様な動植物が生息していました。今はほとんど見ることが出来ません。外来種の植物も増えています。 貴重な里山をつぶして、里山には関係のない園芸植物を植えることは本当に「緑アップ」なのでしょうか。まして、フィールドアスレチックの業者や利用客は関心がありません。 関係のない植物を並べて「里山ガーデン」とは納得できません。少しでも良いので、里山らしい環境を作って下さい。 平家ポタルのいる水場や玉虫のいる森を戻して下さい。 以前より意見が出しやすくなり感謝しております。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>政策29活力より土や樹木に触れる公園をもっと多く作って下さい</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略7、政策31～32）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>（31の政策）みどりを増やすため？商店街にフラワーポットが並べられましたけどそこにゴミを突っ込んである光景を多々見ており、かえってフラワーポットが無い方が良くらいです。グリーンを増やす前に身近な周りのポイ捨て（ごみ、缶、タバコ）を行なわせないような工夫が必要ではないでしょうか。フラワーポットがごみ入れ場になっています。</p> <p>グリーン、花が台無しです！市民の意識が低すぎます！！</p> <p>ただフラワーポットやグリーンを増やせばよい問題ではないですね。</p> <p>☆タバコの吸い殻が目立ちます。条例は何の役にもたっていませんね。</p>	修正	<p>ご意見を踏まえ、政策19「持続可能な資源循環の推進」にまちの美化に関する記載を追記しました。</p>
<p>戦略7</p> <p>上瀬谷基地跡地に、都市型農業を。小規模の農家の支援を。</p> <p>家庭菜園を作り、貸し出しを3～5年と長期にして欲しい。近くに肥料や苗を売る店も作って欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>ガーデンシティ横浜の実現について</p> <p>花のイベントが多い最近ですが、ちょっと意見させていただきます。</p> <p>作り物のプランターにこれでもか、というくらい色とりどりの花を植えこんであるのを見ると、辟易してしまいます。花はあくまで自然の中で咲かせてほしい、自然を感じる植栽であってほしいです。「ナチュラルスティックガーデン」が理想ですが、そこまでいなくても、せめて花だけごてごて飾るのは止めて欲しいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策1「ガーデンシティ横浜のさらなる推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>戸塚の時代から泉区に住んでいます。父方も母方も農家ですが農業の後継者が少なくなっているのを年々感じています。相続で土地を手放し家や商業施設になっていく一方お金を払っても畑を借り農業に興味のある方もたくさんいます。</p> <p>そのマッチングを市が仲介するようなシステムの構築そもそも跡を継いで農業がやりたくなるようなシステム作りを期待します。</p> <p>例えば学校や地域イベントで野菜づくりの講習等のうかの方を講師として指導（大学や企業の人ではなく）近隣の飲食店、幼稚園学校の給食、施設に横浜の野菜を使ってもらえるようなシステム作り等。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>32の政策・自給率を高めるためにはこれから大事な時。国産物を増やして輸入作物に頼らないよう農業を活力あるものにしてほしい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略8の災害関係は、日本一の人口を有する大都市横浜として、災害発生時の自治体の対応シミュレーションを行い、抜け漏れをあぶり出して欲しいです。もし、既に行っているのであれば、私が知らないだけかもしれませんが、その知らないという現実をお考えいただき、広報活動のご検討もよろしくお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の防災施策を検討する上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>魅力ある都市づくりには、攻めだけでなく、守りも必要です。 私は、大震災が発生した場合をもっとも危惧しています。 横浜市はこれまでも、様々な施策を打たれていますが、震度7以上になったとき、今までの対策で大丈夫でしょうか。万全な対策はなかなか難しいですが、どこが急所か、見極めておくことかなと思います。私自身も思いつきませんが、例えば、 (既に計画はあるかもしれませんが) ・瀬谷区の通信基地の跡地利用 ・大災害のときには、大量の震災ごみが発生する。その場所をどう確保するか。 横浜市中で、他に活用できる遊休の土地はあるのか。 他の自治体の方も受け入れ可能なら、国または当該自治体から費用をいただく。 ・横浜市民の多くの家が倒壊することもあり得る。多くの仮設住宅設置が求められる その場合、他に活用できる遊休の土地があるか。 ・横浜市と離れた、多くの自治体と大震災時の相互援助計画を交わしておく。 横浜市は大規模な自治体ですから、複数の自治体との関係構築が必要だと思います。 早期復興を果たしたいものです。他方、困った自治体を早く援助したいものです。 市民の安心と誇りに繋がります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」の「政策の目標」にある大規模地震での迅速な復旧・復興につながるよう、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>災害に強いまちづくりをお願いいたします。避難所の充実と共に、大型台風や大雨対策など、自然災害を見込んでお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略8「災害に強い安全・安心な都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を進めてまいります。</p>
<p>災害に強い安全、安心都市づくり 総ての電線地中化 ①台風で先づ心配なのは停電。この大きな要因は張りめぐらした電線電力通信等がくもの巣状態、これでは安全が弱い ②日本の玄関口に当る横浜は観光都市でもある。ヨーロッパの観光地で電線の「くもの巣」を見たことがない。安全上、観光上、全面的に。計画的に地中化すべきだ。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は青葉区に在住しています。 この地域では「災害時には、小学校へ避難」とだけ広報されています。幸い水害や崖崩れ等の災害は想定しにくい地域ですが、心配は地震です。家屋が倒壊しないまでも家具の下敷きや、階段から転落は想定できます。一人暮らし世帯の我家など助けを呼べません。地域には安否確認の支え合いは聞いたことがありません。高齢化が進み自力で小学校まで避難できない方もでてくる事と思います。せめて地域で安否確認の支援づくりをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>廃校になっている給食設備の有効復活して下さい。 有事の時に炊き出しが出来るのではないかと。防災対策も併せて考えて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>鶴見区本町の密集地であったところ。マンション建設づくり以外に公園等を広くとり、避難場所として一部確保できる様お願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」の主な施策1「地震火災対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>マンションの屋上等には太陽光パネルを設置し停電時の外灯等の電源の確保をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>災害時の非常用電源についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「電線地中化」 都市デザインの一つです。言わずと知れた電線地中化。 せっかくの景観。 「横浜市」なのに電線で景色が。。。 という状況。 他よりもこっちの政策に予算を設けましょう。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>鶴見川両岸の遊歩道の完全回遊化を促進すべきと思います。 既に、形としては、国、県、市町村での取組があるようですが、自転車、歩行者は、道路、電車などの橋により、断続的になっており、また舗装路も断続的であり、完全回遊路と完全舗装路を建設すべきです。更に、サイクリング路専用路の完備などを行うことも視野に入れて事業化をすべきと考える。 横浜市には鶴見川1級河川があり、この河川を充実することが横浜の山と川、海との融合。上流、下流の住民の交流にもなり、ウォーキング、ランニング、サイクリングのスポーツ振興にもなり、花、緑、水の豊かな魅力あふれるガーデンシティー横浜の目玉にもなり、推進すべきと思います。 種々の企画にばら撒いては、何も残らないと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>川づくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「戦略8」の重要度について 9つの戦略には先後はないと思いますが、多くの希望溢れる戦略の中で、災害に対応する「戦略8」はこの戦略の政策設定項目を誤るか、又は設定した政策の進捗に後れがでると多くの市民の人命にかかわる事態をもたらす可能性を含む戦略です。 これは同時に災害で受けた被害の復旧・復興に多大な時間と費用をもたらすことにもなり、財政面に不測の事態を及ぼす性格のものでもあり、全企画に及ぼす影響度は極めて大きい戦略であると認識します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略8「災害に強い安全・安心な都市づくり」に含まれており、市民の命が守られるとともに、都市としての機能を維持するための重要な戦略と考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>各区の防災計画について 横浜の場合市の防災計画では基本を定めていますが、個々の事項に関しては各区が区の方針や区を取り巻く環境に応じて記載事項や内容を加除して各区で防災計画を定めています。しかし、この際災害関連の法規に反する事項もある等の問題点を含んでしまっている例が散見される状態になっています。 これは各区で防災計画を作成する際に企画に独自色を持たせようとする意志が働いている場合もあると思われますし、災害と防災に関する知識・認識の不足もその原因になっているとも考えられます。 これらの問題点の解消が優先ですが、先ず現在の18区の防災計画の精査・修正・公表と共に、その内容を各区の防災関係者が共有することが必要と思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>地域の防災システムについて 「政策35」に示す「地域で支える防災まちづくり」には、行政サイドのみでは賄えないためとして、従来と変わらず消防団が主体に挙げられています。しかし消防団とその構成員の機能・実力には敬意を表しますが、現今の団員の減少傾向もあり、地域の防災の主体を担うには限界が出ています。 現在の地域の防災は地域防災拠点を中心に、拠点範囲内の自治会・町内会の防災部門が、拠点の運営と共に自治会等の組織内の防災力向上活動（在宅避難を主目標に定めて、要援護者支援体制、家具転倒防止、家屋の耐震性向上、水・食料のローリングストック、医薬品・トイレパックの準備、更に土砂災害に対する早期避難の緊急時情報伝達、等）をさらに推進することが重要とされ、一般的になっています。 この各自治会・町内会の防災の核は、地域防災拠点運営を担う横浜市特有の「防災リーダー」の機能を活かして、拠点と自治会・町内会の双方にまたがった連携をとることが一般的であることも認識願います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「災害支援システムプロジェクト」について                      現在、災害時に市内外から救援に駆け付けてくれる災害救援ボランティアの受け入れシステムとして、市社協が民間企業の支援を受けて、「災害支援システムプロジェクト」を立ち上げ、システム開発中であり、その成果を各区社協と防災ボランティアネットワーク等で受け入れ、災害ボランティアセンターの運営に当てるための準備段階にあります。                      これには市の市民局とも協議を交していることは把握されていると思いますが、この動きとシステム完成時の活用とを市の防災体制の一端を担う内容として「政策35」にも包括して示すのが良いと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>地球温暖化による風水害や地震が多発している昨今ですが、この自然災害に対する支援強化を強く望む者です。現状では災害に対し国や自治体のサポートが手ぬるいと考えています。日本は世界一防災投資を減らしてきた国です。人命や財産を失った人々に対するサポートがブアで遅いため、被災者の苦悩は計り知れません。これを少しでも緩和する手段として、国や自治体の対応手続き（復興資金や住宅の提供）を早急かつ簡素化することを望みます。具体的には仮に資金提供に1か月かかっているのを半分に低減するとか、空き家を借用、提供するなどを進めていただければ、生活の安心を取り戻せます。災害は個人の責任ではありません。最低限必要な改善や検討を本計画に盛り込んで下さい。切に願います。</p>	<p>参考</p>	<p>自然災害への対策強化についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>豪雨や災害への対応強化。素案冊子106ページですが、「50年に一度の災害」「いまだかつて経験したことがないような」との表現が毎年聞かれます。災害時、アマチュア無線局に協力を呼び掛けてみてください。電話は不通でもアマチュア無線ならダイレクトにつながります。横浜市にもかなりの局がいるはずで、3.11でもアマチュア無線が活躍したと言われています。</p>	<p>参考</p>	<p>災害時の情報受伝達についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>子育て支援のほかに、災害対策、横浜市の土地の土砂災害警戒区域への補強強化も是非お願いします。坂が多い横浜市、土砂災害への対応も住み良い横浜市に向けてよろしくお願いします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>地域のガケ、かべにきれつがはいつているところをいっぱいみかけます。いつくずれてもおかしくないと怖いです。調査を真剣にして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、崖地の安全対策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>災害対策で水道管の更新工事を見受けますが、横浜市の住宅地ではどのような被災が発生しますか。例えば浦安市とか札幌市の水道管被災は液状化現象が原因です。埋立て造成地ではない坂道の多い横浜市とは根本的に災害状況に違いがあります。只々水道管を更新するだけが能じゃありません。広い空き地を用意しておきましょう。大災害が津波か火災か、はたまた土砂災害か、この街のハザードマップを真剣に作成し、地震対策は適正に取り掛かるべきものです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>防災には公共施設が砦となる。                      そこで、防災の観点から公共施設をコンピュータで一元把握するネットワークを作成し、災害に応じて公共施設をフル活用できるようにする。                      そのことにより、防災、避難の有力な資源とすることができる。                      さらに、各施設に「防災カー」を駐在させ、暫時増強して、防災、避難に機動力を持って対応することを提案する。                      ＊「防災カー」とは、キャンピングカーの大型から連想できる、キッチン、トイレ、寝台など人が生活するのに基本的な設備と光熱用水を備えた車両である。他に入浴設備、娯楽設備を備えた車両も開発する。</p>	<p>参考</p>	<p>災害時の対応についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>地域防災は、地域事情に即応しなければならないことは言うまでもない。横浜市には大規模マンション・団地が数多くある。そこで、大規模マンション・団地単位で、緊急時のライフラインを確保するための設備建設、管理組合を防災本部とした緊急時の行動訓練の指導を推進する。そうすることにより、大規模マンション・団地建物の堅固さが、そのまま良好な避難場所となる。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>地震・風水害に強い街へ、斜面・法面の多い横浜における、斜面对策工事の補助を増やして防災へのインセンティブを増加してほしい（全額工事費を公費ではなく、自己負担も入れて、促進してほしい）</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強いまちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>私の住む本宿町には二俣川とリリ川が家の前にあり昔は川が溢れて大変だったそうです。毎年私は（私の家は橋がかかっているところを通るのに川の使用料）を払っています。今年も6000円位払いました。この川の廻りは草が生い茂り道の側からは川の水位も見えない状況です。今日（9月18日）大型の台風が来ていてこの状況ではとても危険です。毎年川の使用料を払っているのですからせめて市は草刈り、大雨その他に備えてもらえないものでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、河川の安全度の向上を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>川の横の道は保育園児もマンションの公園に遊びに来たりします。草がボウボウで道までツルが伸びたり道幅が狭くなったりしています。何が事がおきる前に早めに対処してください。立派な案を作るより市民や子供達の足元を見つめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>道路の維持管理に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>狭溢路で緊急自動車の進入可能とする為、道路中心より両側2メートルは擁壁等造ってはならないとされる。傾斜地の場合、山側は土手を削って同路面と平面にするよう求められる。他方、谷側は土地を盛って同路面と平面にすることまでは求められず、建物を道路中心から2メートル離せばよいとされる。この規定ではいつになったら4メートル幅道路になるのか？山側の地主にとって不公平を感じざるを得ない。谷側も土地を盛って平面にするよう規定すべきだ。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」の主な施策2「建築物の耐震化等による安全の確保」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>地域防災拠点の訓練活動について 行政、特に消防署の指導と関与を強化すべきと考えております。総務局危機管理室の防災運営マニュアルなど立派な資料は沢山ありますが、訓練活動を着実に実行して行きたい拠点は少ないのではないのでしょうか。拠点の運営委員会が主体となるべきですが、委員の大半は一年交代で防災知識の積み重ねは出来ておりません。会議を開いても活発な論議は出来ず、行政からの出席も余り期待できないのが実情です。保存食や新しい防災機器を届けるだけでなく、行政としての密着した指導をお願い致します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>防災倉庫はこの拠点も満杯の状況です。拠点の学校の教室が空いている状況のようですが、その利用など行政としても柔軟に対応できることは、早急に行うようお願いいたします。</p>	<p>参考</p>	<p>地域防災拠点についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>自治体の重要な役割はいざという時に頼りになる存在であること。例えば今後も大災害が発生することは充分あり得ると思う。その時住民を如何に良く助けることが出来るか。これが自治体の評価となる。自治体は積極的な政策を推進するより、問題発生時の支援策等どちらかと言えば裏方的仕事に徹して欲しい。費用をかければどんなことも出来る。如何に費用を使わずに重点施策を行うことが出来るか、知恵を絞って欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>大きな予算を使い派手なことをするのではなく、経済成長が見込めない中困っている生活者が多い時代故減税目標をたて、住民負担を出来る限り軽減することを考えるべきだと思う。もう広大志向は捨て税金の効率的な使用を是非考えて欲しい</p>	参考	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>アリーナにも近い篠原町に住んでいます。集いの街でもありますので特に水害に強い都市づくりを願っています。 アリーナ付近で鶴見川と鳥山川が合流しますので特に不安を感じています。楽しくアリーナ、日産スタジアムに集えるように、この先の大雨にも対応できるような都市づくりを願っています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」に含まれていると考えております。流域治水の推進に関するご意見として、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>一定数以上（例えば10世帯以上）の集合住宅の場合、汚水管（トイレ）と雑排水管（台所・風呂場）の建物から外へ出る部分の配管に倒振性フレキシブル管の使用を新築で義務づけてはどうか。又、既存の集合住宅では、配管の改修時に耐震性フレキシブル管の使用を義務づけてはどうか。 直下型大地震では建物から外へ出る部分の配管に強い力がかかり、破損しやすい。この部分を耐震性フレキシブル管にすれば、トイレ等をそのまま使え、避難所に避難する必要が少なくなる。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、建築物の耐震対策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策33、賛成</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>政策34、賛成</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>政策35賛成</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>素案P101戦略8「災害に強い安全・安心な都市づくり」について ここでは、政策33「大規模地震への対策」と政策34「激甚化する風水害への対策」を掲げ政策35「災害から命を守るための地域防災力の向上」に具体的な対処策を導いておられますが、地震と風水害に「火山灰への対策」を加える必要があると考えます。具体的には富士山（あるいは箱根火山）が直近の宝永噴火と同じ火山灰を多量に放出するタイプの噴火を起こした場合は、中央防災会議においても、横浜は、数日でライフライン等の都市インフラ機能が麻痺すると考えられております。更に噴火自体、大規模地震と前後して起こる可能性と、火山灰被害は風水害との多重災害の可能性もあり、それらについて中期計画においても言及すべきではないでしょうか。</p>	参考	<p>横浜市防災計画に対策を定めています。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策33及び34並びに「火山灰への対策」に「国民保護に向けた対策」を加える必要があると考えます。2022年2月ロシアによるウクライナ侵略と北朝鮮のみならずロシアが核兵器に言及した威圧を行い、中華人民共和国と台湾との関係を含めた国際情勢の緊張に鑑み、現時点において検討中である行政計画に国民保護法制に紐づく住民保護に向けた言及がないのは不自然であり、市民の共感を生み出す情報発信と言えるか疑問です。この場では、国・県・自衛隊との連携のもとで地域防災力の向上を図る程度で十分なのですが、まずは中期計画における言及が何よりも大切であると考えます。</p>	参考	<p>市民の安全・安心についてのご意見として、受け止めさせていただきます。</p>
<p>政策34流域治水について 河川関係の業務に携わっているものですが、今回の総合計画で横浜市が新たに流域治水を打ち出したことに心強く思っております。 整備水準の引き上げも重要ですが、流域治水の特徴である、まちづくりにおいて、水害に備えた高さ基準など土地利用規制や住宅部門においては耐水化が進むことに期待しておりますので、この4年間、まちづくり部門、住宅部門と連携して進めてほしいと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策2「浸水被害を減少させるまちづくりの推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略8 広域な河川敷の維持、コンクリートの護岸整備をしない山梨の武田堰、京都福知山の明智藪</p>	参考	<p>河川管理についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜の旧中心地もミナトミライも沼地や海浜だったので地震に弱い。近未来にある地震時の逃げルート明示、避難可能施設を地図板にして各所へ</p>	<p>参考</p>	<p>都心部や都心・臨海周辺部における地震時の避難ルートについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策33「地震に強い都市づくり」 いわゆる「首都直下型大地震」について、「元禄型」「大正型」「東京湾北部直下型」が想定されているほか、「南海トラフ巨大地震」「三浦半島断層群地震」などの被害想定がハザードマップ等で公開されており、市民の多くがこのいずれかが発生しかねないと考えている。このうち「首都直下型」の震源は、関東ローム層の下に隠れた断層が動くことを想定しており、実態としては「どこで起きるかわからない」と言われている（東大地震研教授・談）。については市民に対して「ハザードマップは事例にすぎないこと」を周知し、「市内どこでも震度7を想定した備えを」と啓蒙する必要がある。こうした点に留意した場合、緊急輸送路も多重化が必要である。加えて、大規模地震等の発災時の道路啓開で先頭に立つ建築土木重機を保有する事業者への日常的支援、応急仮設住宅建設用地の配置計画の事前策定など、市当局が事前に準備できる課題は多いことから、「横浜市震災対策条例」のブラッシュアップを早急に行い、必要な人員を確保することを求めたい。町内会・自治会に対し、自主性に頼らずに防災訓練等の実施や市民防災センターでの実地訓練参加を求め、費用補助を行ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>戸建ての雨どいタンクへの助成だけでなく家庭用調節池の設置への助成も行っては？ U字溝又は、雨水排水管から地下のタンクへ水を溜め、手動ポンプで汲み上げる井戸づくりです。量は少なくとも数が増えれば防災、節水の効果が出るのでは？</p>	<p>参考</p>	<p>雨水貯留についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>H25年12月の国の首都直下地震対策検討ワーキンググループの最終報告に沿って、地震の強度想定／被害想定／防災方針を全面的に見直し改定するよう強く要求する。 補足説明： 地震は「どれぐらいの強さの地震がどこで起こるか」の想定によって、被害の大きさも大きく変わり、必要となる防災も大きく異なってくる。 地震防災の基盤となるこの想定は横浜市はH24年10月時点のものに基づいている。 横浜市地震被害想定調査報告書 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/wagaya/jishin/higai/jishinhigai.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/wagaya/jishin/higai/jishinhigai.html</a>（平成24年10月） 東京都も従来H24年4月時点の想定であったが、今年4月に改定した。なぜなら、H25年12月に国が首都圏直下型地震に関して想定を大幅に見直し、「都心南部直下型M7.3」が従来考えられていた「東京湾北部直下型」より被害が大きくなると評価したためである。 首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書 「都心南部直下型M7.3」が起きた場合、地震直後の断水人口は1400万人、1週間後でも850万人という恐るべき状況となる。 横浜市も直ちに地震想定／被害想定を見直し、市民に広く告知し認知させなければならない。特に横浜市北部の被害は重大になり、備え方もまるで異なってくる。</p>	<p>参考</p>	<p>地震時の被害想定についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>神奈川県は国の上記の報告を受ける形でH27年3月に地震の強度想定／被害想定を出しており、新しいボーリング地盤調査結果を加えて、より信頼性の高い報告書を作っている。</p> <p>神奈川県の報告書に基づけば、筆者が住む都筑区の大半で震度6強の揺れとなり、横浜市の想定震度5強とはまるで異なる。</p> <p>神奈川県の報告書に基づくと、筆者の住む勝田南では全半壊が40～100棟と想定される。</p> <p>都筑区は2000年6月の新耐震基準の改定以降に建てられた家屋が多く、家屋通しの間隔も広いことから被害が大きく広がる可能性は少なく「自宅避難」がメインになるが、港北区、鶴見区は古い家屋が多いため、火災が広がった時には大変なことになる。都筑区内の消防は全て港北区の現場に急行することになり、都筑区内では救急車でさえ期待できない。そういう事情を区民に知らせておく必要がある。だから個助、近助、共助で初期消火できる体制を備えておくことが重要だ。</p> <p>この近助という新概念ももっと広めなければいけない。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>港北区、鶴見区、神奈川区においては火災発生を想定して何十万人をどこにどうやって避難させるかという実現不可能な命題を背負うことになる。発災時には港北区、鶴見区では消防がドローンを使って火災状況を刻一刻感知し、逃げる方向を区民に知らせる必要がでてくる。人口が膨大なので避難所は不足するため火災が起きなかった地域は「自宅避難」しなければならない。十分な備蓄は必ず必要になる。</p> <p>発災時には通行できない道路が多く、停電でガソリンスタンドも動かなくなる。より円滑な食料・防災用品の配給のためには区ごとに備蓄センターを置くべきと考える。</p>	参考	大規模火災の避難対策についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>発災後の食料と水の配給に関してもリアルな想定をしておく必要がある。断水人口が1400万人ということは全国の給水車を全て集めても対応できないというレベルだ。横浜市だけが自衛隊を呼べるわけではない。だから今横浜市が市民に訴えている《水・食料の備蓄は3日分》でいいはずがない。</p>	参考	ご意見につきましては、災害備蓄品の検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>これまでの横浜市の防災に関する広報・ポスター・チラシには間違ったメッセージが多すぎる。本当の大災害では被害が小さい家屋では「自宅避難」しなければならないし、水・食料の配給が困難なのだから備蓄は多くしなければならない。</p> <p>筆者はそういう思いでホームページを作ったが、都筑区民に向けては「自宅避難」で正しいものの、港北、鶴見、神奈川区民に対するメッセージははっきりかけていない。基本は「自宅避難」であるものの、半壊・全壊の家屋が非常に多く、既定の避難所だけでは収容しきれない点と、火災が発生して延焼する場合の避難ルートまで含めたガイドが必要になるからだ。風向きのパリエーションを含めた火災の延焼シミュレーションが必要になる。その意味で、品川区などは都と別に独自に作っているガイドは火災を考慮した避難ルート（ハザードマップ）まで示しており、参考になる。そういうものを区ごと／地域ごとに至急に作る必要がある。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>戦略8方向性</p> <p>大規模な地震や風水害等の自然災害が発生しても～とありますが、今年起きているロシアによるウクライナへの侵攻侵略のような人為的な災害も加えていただきたい</p>	参考	横浜市国民保護計画に定めています。ご意見につきましては、参考にさせていただきます。
<p>政策35の5に避難先として地下鉄を加えていただきたい。</p> <p>また、小中高の校舎には地下室を作り、地域防災拠点の環境整備を進めていただきたい。</p> <p>よろしく願います。</p>	参考	地域防災拠点についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>政府から要請のある中国、北朝鮮からの攻撃に対する「シェルター」の確保を早期に実現する事。</p>	その他	ご意見として伺います。

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は横浜市緑区に住む者です。かつて当該地域は、旧市街地は住宅地と農地、山林が混在する農村と京浜工業地帯に通勤する場所であり、道路、水道、電気、ガスなど生活に直結するインフラ整備が横浜市の中でもっとも遅れた地域でありました。</p> <p>近年、住宅地の開発により、既存の道路の狭さがとりわけ中山駅周辺の道路で車と人の往来に不安を感じています。中山駅から緑区役所を経て森の台に向う通学路は危険な場所です。また寺山町から中山中学に至る通学路も狭く屈曲しているため見通しの悪い箇所があります。車両の通行も交互通行しなければならない場所があります。</p>	参考	通学路の安全についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>中山中学は災害発生時の避難先となっている場所です。以前、寺山町の杉山神社から先に多数の避難者が車を利用し、交通の渋滞が生じた場合、避難者と車両の誘導についてだれが責任をもって交通整理をするのか防災訓練の際に質問をしたことがあります。今までこの訓練をしていませんが、実際にやってみなければどうなるのか分からない不安があったからです。寺山の杉山神社内に自治会の建物があり、ここが情報基地としてふさわしく、ここに指揮をとる人を配置して、情報基地として機能することが混乱を少なくするとして提案したことがあります。しかし、こうしたさまざまな事を予想した対応は検討されていないようです。</p>	参考	広域避難場所についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>地震の発生と共に火災の発生が重なった場合の避難先をひとつにしておいていいのか疑問に思いました。当日の気象、とくに強風(風向風力)により、中山中学が避難先にふさわしくないのは、近隣の四季の森などに火災が及んだ場合です。森林火災の場合、800度にもなることがあります。当該地域は、具体的な災害発生に応じた避難者の誘導と救急車の進入が問題となるでしょう。これには情報管理と通信、指揮系統が明確でないと混乱することになります。つまり、訓練を受けた者が指揮命令をすることが肝心です。防災訓練ではこうした話が出たことはありません。その地域のもつ地理的な条件について住民との意志疎通がはかれているとは思えません。故に、行政としての役割と責任のもとでどうするのかまず提案してください。</p>	参考	広域避難場所についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>道路整備は優先課題と思います。地震に強い都市づくりと書かれていますが、例えば直下型地震で震度7というような想定をして考えているのでしょうか。地震の場合は、立川町田ラインに地構のずれがあると理解しています。</p>	参考	ご意見につきましては、地震火災の対策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>さらには複合災害の場合にどうするのか。電気、水道の停止、復旧の見通し7日以上というようにです。こうなると近隣の他の都市との連携も必要でしょう。おそらく、横浜市北部地域は川崎、町田、相模原などの他都市との相互の連携は今から進めておいていいと考えます。将来にわたり、何年にもわたり根本的な防災街づくりは必要でしょう。</p>	参考	ご意見につきましては、防災のまちづくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>市の総論に異議はありませんが、市民に向けての提案はより具体的で自分のこととして考えられるようなものでないと、自らのものとして受けとめるには難しいと思います。市民の自助が提案されていますが、こうしたことを実現するには長い間、地域住民の自治意識や連帯、相互の信頼を築かなくては生れないと思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』 大規模災害時(地震)には通信できることが大事 →携帯網を維持できる仕組み強化すべき →防災拠点にはスマホを充電できる太陽光パネル用意する →最近ではポータブルの物から大きいものもある →携帯キャリアと災害時の携帯インフラ維持の取り組みをしっかり行う →車載型基地局、可搬型基地局、移動電源車を速やかに配備できるように各キャリアと調整をする</p>	参考	ご意見につきましては、災害時の通信環境の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【102P】自助共助の認知が進むことが、行政にどういう意味があるのでしょうか。むしろ、行政に期待できないから、自助共助が増えるのではないのでしょうか。令和3年の質問文もまずは「自助共助」の言葉の認知を聞く形に変更されています。政府が災害に限らず、自助・共助の次に公助、といったことが言葉の認知度を高めただけの気がします。むしろ、「よこはま地震防災市民憲章」の認知理解が余り進んでいないことに注視すべきだと思います。横浜市として、防災拠点を作った、緊急体制はこうなっている、という具体的な形を作り出すことが市民の安心につながります。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>【106P】にある「適切な避難行動につなげるための対策推進」の内容は、ツール作成とその提供レベルの話にとどまっている感じがあります。数値目標も周知活動の件数だけでは、心許ないと感じます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、風水害における適切な避難行動の促進を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【108P】にある自助意識の向上、共助の推進、なども、時系列的な流れでの施策として理解はできませんが、基本は横浜市としての動きという大きなものがある自助共助、ということの基本にして組み立ててほしいところです。防災などは、人的要素が大きな役割を果たします。市の負担は大きいと思いますが行政の基本だと考えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>災害に強い安全・安心な都市づくり 崖地対策等について 横浜市は起伏が多く、危険な崖地が数多くありながら対策工事が極めて遅れています。 近年、「過去記録の無い豪雨」など予想できない雨量が多発しています。そうした中で、崖崩れの危険性が高まっています。豪雨時市内どこかで崖崩れの災害が発生しています。 ①国や県とも必要な協議を行い、雨量と地盤や開発、周囲の状況から、崖崩れの危険性高い場所について至急対策工事の実施を中期計画に入れていただきたい。 ②崖崩れの危険性があるにもかかわらず、私有地であるため有効な対策が出来ないところがあります。 必要な財政支援と指導が必要です。耐震対策と同様に「所有者支援」を計画に入れていただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>災害に強い安全・安心な都市づくり 防災力の向上について 「地域住民、事業所に働く人の防災力向上」を加える 災害から命を守るためには、最終的には個人個人の行動にかかります。そのために地域単位、町内会、事業所単位までのきめ細かい防災力の向上が必要です。横浜市は全国各地で取り組まれている例、被害例などを参照しながら、事前に危険場所の確認と安全対策、避難対策の作成、避難訓練の実施を呼びかけ、場合により義務付けが必要と考えます。 このために各行政区は、これをもとにハザードマップなどを参照に地域住民、事業所と協力し具体化して強力に進めることが必要と考えます。 ここでは、住民一人一人のいのちをまもることが基本、そのために住民の合意を得ていくことが必要です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>106ページ 横浜はがけ地が多く9800か所あるとされている。対策が必要なのは1356か所という。この対策目標が4年で120か所では極めて少ない・抜本的に目標をあげ、実施します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>8について、具体的な施策として、イタリアのようなことを導入してほしいです。これらは切実なことだと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>災害時の避難所についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>必要な防災についての各論が最も大切にする数年前から電源消失時には下水は使えない、低地などに逆流してくるという知識がまだあまり広まっていない。自宅マンションのエレベーターについて中にいる人がどうなるかわからない人がいる。私の住居地域には大雨の時には避難所が崖崩れの為利用できない。もし利用できたとしても地方のように少ない人口ではないため、とても避難所でどこにかできる人数ではないと考える。</p> <p>従って私たちはマンションが無事なら自宅で不自由な生活を送ることになるが地方の避難所をイメージする人が多いせいかトイレをもう一つ増やそうかという意見が出たらしい。</p> <p>10階建てのマンションで1階まで用を足して戻って来られる人は多くない。老人は自宅でトイレを考えるしかない。私はビニール袋と猫砂でなんとかしようと考えている。</p> <p>またハマツトイレを補助金を出して整備しようとしているが下水が使えない時にそれは本当に使えるのか。</p> <p>また水や配給物資についても若い人は何とかなるにしても、老人には無理である。</p> <p>例えば電源消失の階には滑車などを使った力の弱い者にも上階まで持ち上げる道具が開発されないものかと思う。そしてできればすべてのマンションに設置してほしいと考える。</p> <p>補助金をお願いしたい。</p> <p>また自宅用の防災倉庫を、マンションや戸建ての家に設置する時も補助してもらおうと助かると思う。</p> <p>千葉の様に1か月も電気が来ないということは考えにくくても、この先は富士山の噴火でどう対応したら良いのかも広報の特集で書いてもらおうと助かる。どの程度のどんな被害なのかもわからなくて不安である。よろしくお願いします。</p>	参考	災害時のトイレについてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>急激な気候変動による局所・緊急的防災対策 政策34風水害に強い都市づくり P-106 5局所・時限的な災害への機敏な対応 (4の後に、5として追加する) 局所・時限的な洪水・浸水・がけ崩れなどの災害に、機敏に対応できるよう、区役所・土木事務所など出先機関の強化・整備を図ります。</p>	参考	水害時の防災体制についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>戸建て住宅の庭は土が見えることとする。新築では義務化も検討すべきだと思います。</p> <p>そのために既存住宅を含め土が見える住宅には報奨金品ないしは固定資産税特例減額でインセンティブを付けるのが良いかと思う。</p> <p>政策34に言う流域治水の流域とは川の近くだけを言うものではありません。一度降った雨水は山や丘ならどこでも高いところから東西南北いずれかの方角へ下りいづれかの河川に流れます。もちろん一部は直接海に流れます。多くの都市では近年庭先をコンクリートで覆い、土を見せない住宅が目立ちます。住宅ばかりではなく多くの工場、事業所、商店、各種の施設などでも土が見えないことが多いようです。これでは大雨が降ると水は一気に道路へと流れ、雨水溝に入りきれず、あつという間に道路は冠水します。</p> <p>そこで上記の提言を申し上げます。戸建て住宅の庭は土（芝生も良い）を多く残し、雨水を浸透させることが大事です。最近の新築戸建て住宅は庭をコンクリートで固めていることが多く、これでは降った雨を全て道路へ直接流すこととなります。老人ホームや介護施設も庭はコンクリートが多いのではないのでしょうか。コンクリートで庭を覆うと草取りをせずにすみ大いに楽ではあります。しかしその代償が道路の冠水であり、温暖化を進めることにもなります。町にも都市にもグリーンゾーン、グリーンベルトが必要です。これは洪水対策や温暖化予防にもなるのです。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策2「浸水被害を減少させるまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>崖の対策強化をした土地の所有者を正しく評価する。（横浜市の場合崖地が多く、擁壁工事を実施した土地所有者が多い。これが評価されていないのが実情ではないか）評価することで崖対策がすすむと考える。</p> <p>横浜市は下末吉台地が鶴見区から中区、保土ヶ谷区、南区のあたりまで広がり、40～60Mの台地と多くの谷（谷戸）を形成する特異な地形が多い。この特異な地形がかなり多くの横浜市民を支えている。この台地と周辺の谷、ないしは谷戸の多くの土地所有者はこの崖地に大小様々の擁壁を構築している。事実としてこれらの擁壁が住宅地の存在を可能にしている。ところがこの擁壁が正当に評価されているように思えない。それどころか擁壁のある土地がかえって低く評価されてようである。これでは崖対策の進展を妨げるのではと危惧する。</p> <p>下末吉台地鶴見区の県立鶴見高校、県立三ツ池公園の周辺、中区の港の見える丘公園から洋館の残る山手歴史地区の丘陵地、三溪園のある本牧地区などは典型的な下末吉台地上にある。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>台風対策に崩壊しかけた空き家の撤去ないしは飛散防止対策が必要 言うまでも無いが空き家が多いこの頃、台風が来るたびに飛来物が飛んでこないか心配だ。実際に2019年9月の台風15号により、近所の崩壊しかけた空き家から飛散した建築部材がわが家に飛んで窓が損傷した。意外と知られてないが横浜は全国でも風の名所だと個人的に思っている。対策は急務であると思います。風速が特に強いのは横浜では海岸部や海に近い高台ではないかと思うので、そこを重点とした対策が必要だと思います。</p> <p>2019年は二回強風が吹いた。9月の台風15号は横浜の観測史上6位の瞬間最大風速41.8m/sであった。翌10月12日の台風19号では史上3位の43.8m/sであり、1949年8月の44.3m/s以来実に70年ぶりであった。これは横浜でも殆どの人が経験しないことになる。（終戦記念日以前に生まれた人は知っている？）ちなみに1位は1938年9月1日の48.7m/sである。（数値はいずれも気象庁横浜地方気象台）</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策27「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」の主な施策4「地域活性化や子育て支援等に資する総合的な空家等の対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策34風水害の対策について 令和3年7月に静岡県熱海市での大規模な土石流災害が発生に伴い「宅地造成等規制法」が改正されました。今後は、横浜市でも土地の用途にかかわらず、危険な盛土等を規制することになっていくと思いますが、その旨は中期計画に入っていますでしょうか？入っていないければ記載をお願いします。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>横浜市の密集市街地の対策について 私の住んでいる西戸部二丁目目は古い木造住宅が立ち並んでいる地区です。よく町内の掲示板で防災まちづくりのニュースや回覧で、横浜市が行っている防災まちづくりの事を見かけ、きっとこの町は危ないところなんだろうと思っています。防災地図づくりや公園でイベントをやられているようようですが、それがどういう仕組みで密集改善されていくのかよくわかりません。避難することも大事ですが、行政ですから住民としては、ハード的なことを期待します。具体的にまちがどのような姿になっていくのか、目標や理想のイメージみたいなものを計画に示してほしいです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」の主な施策1「地震火災対策の推進」に含まれていると考えております。取組にあたっては狭あい広幅や公園整備などまちづくりのイメージを示しながら推進してまいります。</p>
<p>気候危機への本気の対策を 外にも沢山気になることがあります。本気の対策をと思っています。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略8 安全安心な都市づくりに関連（バラまきを廃し、資金捻出を前提） 核シエルターの充実 安全保障環境（核を中心に）の若しい悪化の中、核シエルター等の整備は人口比設置が利用可能な代替施設を含め極めて少ない日本であるが、特に当市近郊には米軍軍事施設等も多く、横浜における現実の危険性は極めて高い。特に住宅地においては警報があっても逃げ込むそれなりの施設がなく早急な整備の充実が緊急の課題と思ひ実効性のある計画的施設が欠かせない</p>	その他	<p>安全・安心についてのご意見として伺います。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ブロック造土塀等の強化対策 傾斜地の多い横浜はブロック造り土留めが多く、大型地震等の際、危険を感じる。一定の高い構造物には補助制度もあるようだが、1m位の比較低い構造物も多く、大型地震等の際のリスクも感じられる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」の主な施策2「建築物の耐震化等による安全の確保」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>行政の指導等も具体性がない感であるが、隣同士の話合いもなかなか難しい、町会や役所等利害関係者の話し合いの接会をリードし、若干の補助等も加え、近隣協力するよう誘導の施策を望む。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」の主な施策2「地域防災の担い手育成、防災組織体制の充実（共助の推進）」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>災害に強い都市づくり 山の植林時に、檜や杉等の間にどんぐり木等の材木を植えると保水と動物の保護が出来ます。いのししも山に戻ります。</p>	<p>参考</p>	<p>災害に強い都市づくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>近年、局地的豪雨が多発しており、各地で水害や水難事故が発生しています。兵庫県都賀川では、平成20年7月に発生した局地的豪雨により、雨の降り始めから10数分程度という極めて短時間に水位が1m以上も上昇し、児童を含む5名が亡くなるという水難事故が発生しました。 河川管理者をはじめとする行政および河川利用者は、このような急な増水による水難事故の可能性を認識した上で、対応を図っていく必要があります。川は、学び、行動する場として非常に優れたものですが、このような事象が起こると川に対する畏敬や恐怖心が薄れ、地域の人々の意識から河川が存在が遠いものになってしまう。人（特に子供）と自然との接点として重要な役割を担う河川の利用に際して、局地的豪雨により発生する急な増水による水難事故防止の観点から、河川護岸整備や河道掘削、樹木伐採は不可欠です。あわせて啓発活動、情報提供のあり方などに留意しながら子供が安心して学べる川づくりを実現してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策1「氾濫をできるだけ防ぐための対策の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に河道の安全確保を推進してまいります。</p>
<p>私の住んでいる地域（西戸部町一丁目）には、まとまった避難場所がありませんので、大きな地震や火災が発生した場合どこに避難すればいいか不安です。また、坂道や階段がおおく、避難路を限られています。逃げやすさが向上というのは、具体的にどう意味でしょうか？階段をなくしたり、道をつくってくれるのでしょうか？公務員宿舍跡地の防災公園や道路の計画があれば記載してください。すぐにできなくても具体的にできるものがわかると安心できます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」の主な施策1「地震火災対策の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策34(1)「氾濫防止」：現在、河川の氾濫を防ぐ手段のひとつとして、地域に遊水池・調整池があるが、その運用費用は住民の負担になっている。この中には固定資産税まで含まれており、大変な不公平感を感じる。国土交通省も恒久調整池は官の管理とする方針が示されているにもかかわらず、横浜市では、民の負担を強いており、このままでは、きちんと管理がなされないケースも増えて、本来の氾濫防止の役に立たないことも懸念される。抜本的な対応を求める。</p>	<p>参考</p>	<p>遊水池及び調整池の管理についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策34、風水害対策を一つの政策にまとめたのは良いと思います。目標達成に向けしっかりと取り組んで頂く事を期待します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>政策34風水害に強い都市づくり ①地球環境が急変しています。土木事務所の役割が増す中、それを担う出先機関の強化を図って下さい。 ②鶴見花月公園が2021年11月に完成して喜んでいます。横浜市中区初めての防災公園ですが防災機能を活用する方法が全く公表されていません。この公園は地区公園と指定され周辺は1台の駐車場もなく緊急車両の停める場所も不明です。防災公園街区整備事業として国の資金も使って設置した公園ですから、鶴見区全体で活用できる内容に改善して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>災害時の公園の扱い方についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策34について 気候変動を背景として台風の豪雨災害の激甚化が懸念されています。横浜でもそのリスクがあると心得て、水害からの避難を徹底することが肝要です。そんな中、施策3の避難行動の推進は評価できます。その上で、施策2に盛り込まれている中長期的には浸水被害を減少させるまちづくりを目指す必要があると思います。高台移転など、国が提唱する「流域治水」に施策や法制度が盛り込まれています。財政的な制約がある中どう行動していくか横浜市の政策手腕が問われると考えています。政策34はそれの出発点として中長期的視点で展開されていくことを願っています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策2「浸水被害を減少させるまちづくりの推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略8 災害に強い街については、災害時困るのは食べ物です。中学校にも給食室を作ることによって災害時の対応も可能になります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略7政策34 鶴見川流域に関して、氾濫の対策として新横浜周辺のスタジアム遊水池、サッカー予備グラウンドに一時的避難の対策は承知しているが、支流の一級河川大熊川堆積（土）により約1kmに亘りが河川の3分の2を埋まっていること指摘の今日の豪雨は各地で想定外だとしている想定外の対策は？堤のかさ上げ、堆積材の除去は、どうするのか 新政策や崖地等の対策 民地に対する危険性の対策は？勧告は出来ないか（都筑区判断）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>中期計画を進めてほしい 気候危機対策</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」、素案の政策31「自然豊かな都市環境の充実」及び素案の政策34「風水害に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>美濃輪町の山が裸になっているところがあります。キケンなのでどうにかして</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>豪雨や震災への対応強化。（106P） 命が危険な崖が約1300か所ある崖地対策。目標120か所をもっと引き上げて</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>豪雨災害は対策をやれば防げるはず。何よりも優先して人命を守って欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「政策35地域で支える防災まちづくり」の中の「主な施策2地域防災の担い手育成、防災組織体制の充実」について 施策目標として、「防災力向上マンション認定件数」が掲げられているが、手を挙げたところのみ展開するやり方、また結果として得られる認定制度では、展開する側も実際に防災力向上を目指す側にとっても甚だ効率が悪く、多大な時間を消費するだけであると感じる。自分は現在マンション群の一つに居住し、管理組合の理事の一人として防災関連業務にも携わっているが、個々のマンション毎に担い手育成や防災体制の充実を図るのではなく、マンション群のようなある程度まとまったエリア全体に網を掛けるような方式で展開されてはどうか。もちろんそれぞれの規模によりレベルは異なるのは当然であるが、全てを同じにする必要はなく、逆に違いが双方で明らかになることによって、互いに競い合いさらなる向上が図れるであろう面もあるし、最終的には必然的に可能かつ規模に応じた体制に近づくとおもう。よって認定制度の基準も段階制にするなどの工夫が必要と感じる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」の主な施策2「地域防災の担い手育成、防災組織体制の充実（共助の推進）」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>災害に強い安全・安心な都市づくり 過去の災害のデータや地域住民の要望をもとに災害に強い町づくりを推進して</p>	参考	安全安心な都市づくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略8 災害に強い安全・安心な都市づくりに関する提案 花博の跡地はこの戦略を具現化する街にする。 跡地には十分に間隔を空けて戸建てまたは低層住宅を建設する。 市内の不燃化推進地域の世帯をここに一時的に転居してもらいその間に元の地域を再開発する。 そのまま住み続けることも可とする。 街としての道路、学校、交通機関の整備も必要。 また、市内はタワーマンション等の超高層住宅の建設を禁止する。その代わりにそういったデベロッパーには花博跡地に優先的に戸建て住宅の分譲を認める。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>P105の政策34について、先日の静岡県清水区の豪雨災害で県知事と市長の間で齟齬があり、自衛隊への支援要請が遅れたことがあったため、資料にあるような市民への直接的な災害対策とともに、行政の災害対策の運営面の健全化とその公表などしてもらえると嬉しいです。</p>	参考	風水害時の危機管理体制についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>政策35 5 避難者等対策の充実強化→避難所はプライバシー確保を優先し非常時でも人間らしい生活が送れる対策を望みます。イタリアの避難所はとても参考になると思います。</p>	参考	災害時の避難所についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>政策35：地域で支える防災まちづくり：防災意識の浸透（自助意識の向上） ：自治会組織に頼らない、防災WSの実施等をお願いします。 ：避難施設で収容な能力（自助が基本であることの周知）を市広報誌などで、明示、説明をお願いします。</p>	参考	ご意見につきましては、自助意識の浸透や地域防災拠点の環境整備を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>戦略8 横浜市の防災のハードソフト両面の各取組が計画どおり進みことに期待しています。 そんな中、課題としては、防災リスクが定量的に評価できていないことです。政策指標をみると、どれもが事業の目標となっており、それ自体が進んだとしても横浜のリスク低減にどれくらい寄与しているのかわかりません。 俯瞰的な目標があるとよいかと思いました。また、大地震のあとに台風が来るなど時間と空間を次元化した複合的な被害想定も必要かと思われます。こういった課題に対応するためにはデジタルツインを活用して、定量化とともに施策の優先順位や災害の見える化を行えば、合意形成に役立つなどより一層防災対策が効果的に進められるのではないかと思います。 この4年間で横浜をまるごとモデル化した災害シミュレーションを推進してください。</p>	参考	防災施策における被害想定や目標設定についてのご意見として、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」について 新たな市街地開発許可については、市民の安心・安全確保を第一に考え、広範囲にわたる既存住宅地において自然災害が開発に伴い増加することに留意し、単に気象の激化に追付いていない都市計画法の開発許可の基準に則るだけでなく、横浜市として高度な人道的判断を行うよう求めます。 特に、「上郷開発計画」などの郊外部のまちづくりにおいては、都市計画法の開発許可の基準が、昨今の気象激化に伴う1時間に100ミリを優に超えるような豪雨に対応できておらず、開発許可の基準に則り開発が許可された場合、雨水の吸収量が大い既存の緑地が減少すると共に、雨水の吸収が極めて少ない市街地の増加と相まって雨水の流出が著しく増加し、たとえ75mm/h対応の調整池を設けたとしても、都市型水害の増大が周辺をはじめ、離れた下流域の住宅地においても危惧されるところです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策2「浸水被害を減少させるまちづくりの推進」及び主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「テーマ05都市の持続可能性」の施策例について 「集中豪雨等による崖崩れから市民の生命を守るため、崖地の安全対策を推進」は、実態調査のための人員増を打ち出すべきである。</p>	参考	ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』(P101～) 【提案】 (P101)災害から命を守るための地域防災力の向上 ◆避難者等対策の充実・強化の記載について、以下の通り追記する事をご提案いたします。 ◆避難者等対策の充実・強化 地域防災拠点の環境整備（災害時給水所の整備、生活用品の整備等）を充実するとともに、一人ひとりに配慮した拠点運営を行います。また、災害時の激甚化・長期化を見据えて防災用の電源や空調が確保できるよう、エネルギーの多重化・分散化を行います。 【理由】 地域防災拠点では、昨今の災害の激甚化や長期化により、保安用電源以外に避難生活者の健康に関わる空調用エネルギーの確保も重要となります。既に横浜市では、避難所となる市内小中学校の体育館47校に熱中症等の避難者健康対策として停電対応型ガス空調設備が導入、または導入が決定されており、こうした避難者等対策の「強化」についても記載する事をご提案いたします。また、(P102)〈関連データ〉に台風被害における停電戸数と復旧日数のデータを追加することで、風水害時においてもエネルギーの多重化・分散化が重要であることを市民の皆様にご理解頂けると考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>(P108)政策35「地域で支える防災まちづくり」◎主な施策1「防災意識の浸透（自助意識の向上）」の記載について、以下の通り追記すると共に、注釈を記載することをご提案いたします。 災害から命を守るため、横浜市民防災センターでの自助共助プログラムやデジタル技術を活用したコンテンツ…（略）等を通じて、市民一人ひとりに「自らの命は自らで守る」防災意識の浸透を図ります。また、ハザードマップ、マイ・タイムライン、防災アプリ、地震情報※などのツールや多様な情報伝達手段を活用し、適切な避難行動を支援します。 ※横浜市のHPから閲覧できる地震情報HPで、地震発生後すぐに市内660カ所の震度階を見ることができます。 【理由】 横浜市で採用頂いている弊社の地震情報HPは、高密度に設置された地震計により収集された詳細な地震情報を発生後数分で見ることができます。より多くの市民の皆様へ情報収集ツールの存在を知って頂くことは、発災時に自ら安全な避難行動を取る上で非常に重要なことと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」を進める上で、参考にさせていただきます。なお、多様な情報受伝達手段の中に地震情報は含まれるという認識ですので、ご理解のほどよろしく願います。</p>
<p>【提案】 (P108)政策35「地域で支える防災まちづくり」◎主な施策5「避難者等対策の充実強化」の記載について、以下の通り追記する事をご提案いたします。 避難者が安心して避難生活を送れるよう、地域防災拠点の環境整備（トイレ、生活用品、飲料水等）を進めるとともに、一人ひとりの人権やペット同行避難者の受け入れに配慮した拠点運営を推進します。 加えて、PPA事業により設置した蓄電池や、横浜市小中学校の体育館に導入した（予定含む）停電対応型空調設備を災害時の防災用電源・空調に有効活用します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策35地域で支える防災まちづくり                      現住所の中区元浜町の指定避難所は、本町小学校です。そこに行くには弁天橋という市庁舎前の大橋を渡り、健常者が晴天の日でも20分以上はかかる距離を歩かなくてはなりません。                      災害避難をする場合は、強風豪雨、夜間など条件の悪中を避難すると想定されます。弱者と言われる高齢の足腰の弱った方々、車椅子や杖などを使う人、赤ん坊を抱いた人などが無事に避難できるでしょうか？                      従来の小中学校体育館等にごかわらず、民間の広いスペースある場所を避難所として使用できるように検討すべきと考えます。                      元浜町周辺には、第二合同庁舎、協同組合ビル、横浜球場等多くの避難所となる可能性のある建物があります。                      ●広いスペースがある●垂直避難ができる（頑丈な建築で階数がある）●数カ所のトイレ、給湯室（水場）がある●非常電源が使える                      民間施設の難しさもあると思いますが、非常時に住民、帰宅困難者の避難所としての提供ができるように検討してほしいと考えます。                      また多種類の避難の呼びかけにもあるホテル避難についてです。災害時に避難ホテルとして協力するホテルのリストアップ、その場合には優先的に部屋の提供、避難活用できるホテルの施設などを、市はホテル避難を推奨するだけでなく、積極的に検討してください。                      他の地域も現在の避難所では避難が難しい場合にも、民間の施設を検討することで、現実的な選択が可能なことと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>災害時の避難所についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』                      政策35地域で支える防災まちづくり                      主な施策                      （意見）「5 避難者等対策の充実強化」が謳われているが、地域防災拠点として地元小学校・中学校に避難する人が多いので、小学校・中学校に給食調理施設を設けて、被災時に食事を提供できる体制を整えて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>避難所の環境整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>風水害は危ない盛土、崖放置</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>101頁「災害に強い安全安心な都市づくり」                      ハコモノ再開発に回す金があれば、崩れつつある橋梁や堤防の補修に回すべきであろう。</p>	<p>参考</p>	<p>防災対策におけるハード整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>公共施設の耐震化を進めること。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>地域防災拠点ごとに防災・避難計画を策定し、防災訓練を実施の補助金などを増額して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>地域防災拠点の運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>プライバシーや三密に配慮し、車避難、ペットに対応できる避難所の整備して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>避難所の環境整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>崖崩れ危険地域の対策を強めて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
住宅の耐震化を進めて下さい。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
臨海部の駅、地下街の津波対策を進めて下さい。	参考	臨海部の津波対策についてのご意見として、参考にさせていただきます。
市が管理する河川や湧水地の安全対策などを進めて下さい。	参考	遊水池の安全対策についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>崖地対策について 住宅敷地の崖地対策について、地盤品質判定士会と連携し希望者には助成措置を講ずるなど、早期に気軽に相談できるようにする。</p> <p>雑木対策について 雑木対策は、災害時に倒木や送電線の切断など早期の対応が求められている。市の点検態勢を整備し、必要な整理を求めると同時に、特に高齢単身世帯や共有地の雑木整理について助成措置を講じてほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>84歳一人暮らし、女性です。 両方の股関節は人工骨で歩行困難。災害が怖い。ご近所も恒例の人たちばかり、避難が出来ない。雨、風など不安でたまりません。どうしたらいいのかわからない。相談するところが、どこにあるのでしょうか。 子供たちは遠方に住んでいます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
危険な崖がブロックベイ等、補強を増やす。	参考	ご意見につきましては、ブロック塀等の改善を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
自然災害への対策。誰一人無駄な人生であってほしくない	参考	本市の災害対策についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>102ページ災害に強い都市づくり 自助と共助を知っている人が少いについて 誰が知らないかを考えると都市の高齢者ではないか？(仮説) 3.11大震災以来、防災訓練もあるし、BCPも進んできた。職場でも学校でも自助共助は浸透していると思う。 根本の課題は学校、河川、燃え多い住宅地等は国の資金で整備は進んでいるが、シンプルに言えばお金が足りない事。 マイホームの改修、備蓄の活用などは国も市も手が廻らないという事ではないか？ 学校や職場では説明されている。 高齢者が知らないならば、処置案は高齢者の行く施設にポスターを貼る。パンフレットを配布する。 病院、クリニック、民間に近い図書館機能なども持ったNPO等です。パンフレット等に二次元コードをつける。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見を踏まえた広報周知を行いながら取組を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>103ページ地震対策 現状と課題、地域目標の表 減災目標の状況の表は本中計、市の対策において最も重要な指標である。死者予測が重要である。 中計の他の政策で直接的に死者は出ない。子育て支援が遅れて、まちづくりが4年遅れても死者は出ないが、まちづくりの内の地震に強いまちづくりが遅れると死者が出る 質問 避難者は令和4年（2022年）で94%まで達成しているのに、死者数が60%にとどまるのは残念ですし、原因が解りにくい、もっと説明してほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、減災目標達成への取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>104ページ火災対策 火災に最も効果的な事項は老朽建築物の除却であり、この目標はとてもない</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
<p>1.耐震化について 「是正指導」とあり、前中計より拡大され評価できる。 P104耐震化 [質問]旧耐震基準の建造物は多くは個人の戸建と推測します。 「その事で違反になるのか?」いわゆる既存不適格なのか</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、建築物の耐震化を着実に推進してまいります。なお、旧耐震基準の建築物は、違反建築物には該当しません。
<p>P104ブロック塀等の改善 前の中期計画2018～2021では指標は狭あい道路でした。今回はブロック塀とせまくなった。 ブロック塀の方がPDCA管理がしやすい等のメリットが考えられますがそうであれば、もう少し目標値は上げられると考えます。</p>	参考	ご意見につきましては、ブロック塀等の改善を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P104都市インフラの耐震化 上下水道などのライフライン施設は重要です。 送配水管の耐震化が現状30%、2026年では35%では残念です。インフラ工事は費用がかかりますが、どのようなコストダウン策を検討・実施していますか?</p>	参考	ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」の主な施策3「都市インフラ耐震化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P104緊急輸送路 橋梁はほぼ完成して評価できます。沿道建築物はこのペースだとあと10年くらいかかりそうです。何が残っているのですか?おそらく民間の建物、個人宅ではないでしょうか? どのような対策をやっていますか?国や市からの補助は出ますか?</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。なお、要件によりますが市の耐震補助制度があります。
<p>P105河川氾濫対策 根本的な原因は河川の権限の多くが国、県にあって、市ではない事だと考えます。 内水は原因が下水道なので、市の範囲ですが境川、柏尾川は多くは県です。 河川の氾濫を改善するには、県の責任である河川を段階的に市の責任、権限、財源で対処に変更して行くのが良いと考えます。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」に関する具体的な事業や取組を行うにあたって、参考にさせていただきます。
<p>P105崩地対策 違反造成に対する是正指導を強化してほしい。 さらに計画段階での審査や実施工事の監査なども強化してほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P107.防災備蓄水 自助、共助の取り組みは特に問題なく、いかに実行するかです。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「地域で支える防災まちづくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>P108.消防団 消防団に入るメリットを増やす施策が望しい。</p>	参考	消防団の充実強化についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>地震対策 幹線ばかりでなく都心部の完全電線地中化 市内の幹線ほとんどの地中化</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、無電柱化の計画を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略8 横浜に青地が多い。青地に生い茂った木を伐採してほしい。青地の管理を国と県、市、区が連携して住民が困っている実情をよく聞いてほしい。青地と知りつつ、私用に使っている所もあれば青地故に手を出せず放置されている所も多い。特に樹木の伐採は適時やってほしい。 こういう住民の細かい声を聞くシステム、そして解決する工夫こそ、住みやすいヨコハマといえると思う。大きく街とひとくりせず、小さな声をひろう市政にするために、区政参加の仕組みを作ることが住民自治につながると思う。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略8 P101 磯子区は崖地が多く、急傾斜地も多く安全対策を強くのぞみます。 路地の崖地が雨のたびにポロポロと土がこぼれ、土地所有者（業者）が本格的擁壁工事を拒み、簡単な土止めの杭と板を設置していったが老朽化しずればじめた。業者は一向に工事しようとせず、磯子土木事務所にいったが、土が崩れて道をふさぐようになれば、土木がやりますという返事。崩れる前にやるべきでしょう。事件が起きたり事態が悪化しなくても対応しない、これが行政かもしれないが市民の声に応えるとはいえない。土木から業者に勧告するとか解決に向けて動くということが何故できないのだろうか。崖地対策は大きな斜面ばかりでなく、地域住民の声をきいて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地震によるブロック崩壊がありました。市全部特に通学路を点検し安全に通れるようにして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【防災・防犯問題について】 p.102 30年以内にM7程度の首都直下型地震の発生確立70%と記述しています p.101 p.107 p.108では、「自助意識の向上」が強調され「自助」という言葉が繰り返し使用されています。 また、災害に備えて「3日以上」の防災備蓄の自助目標6割の記述があります。 「自助」と聞いて、特に30代、40代の若者は「自己責任」という言葉を連想するといいます。或いは高齢者は「自助」と言われても身体が動かない、お金がないと希望を見出す言葉とは思えないといいます。 ・当自治会でも、高齢者・歩行困難者・車いす使用者・障がいをもつ人が多くいて、災害発生直後の安否確認だけでもいざという時人手が必要な人が多くいます。困難を伴います。ここが最重要課題です。 中期計画素案は、在宅要支援者にたいしては、個別避難計画の作成の検討との記述があります(p.108)が、「計画作成に向けた検討」とだけの記述にとどまっています。 ・各種講習会では、災害発生時、戸建てが優先されるので、マンションは「救助隊・消防車はすぐには来ないと思ってほしい」と言われます。一方、消防団員の充足率は直近96.9%の記述があります(p.108)が、ここでいう充足率とは、一体何を基準にしているのでしょうか？ ・また日常の防犯パトロールでも、防犯というよりも駐車違反やハード面の点検になっている感否めません。直近の事件や事故の防犯情報が提供されないまま、パトロールしているのが現状です。 【意見・要望】 ・災害時こそ、自治会への期待・信頼に応えることが求められると思いますが、一方で自治会では限界があります。 ・災害発生時、消防や警察が救出・救助にどう関わるのか？明示してほしい。要援護者の個別避難計画は、進捗状況を示してほしい。また事件・事故情報の提供を求めます。 ・担当者や責任者が自治会役員会に出席して、上記について説明する機会を随時つづことを要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策35「地域で支える防災まちづくり」及び政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略8、政策33～35）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>フェーズは「安全、安心」な町。災害、人災等それらに迅速に対応できる行政システムの構築を短、中、長期に考えて欲しいと思います。 DX含め、これらのペースが構築できなければ不可能かと。マイナス等もありかなと。</p>	<p>参考</p>	<p>防災対策についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略8 政策34 がけ崩れ防止策を徹底してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略8の33 地震に強い都市づくり、古くなって危険な建物が沢山有ります。一日でも早く対策を立てて下さい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「地震に強い都市づくり」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
クルーズ船の乗降人数の目標が低すぎます。誤植でないでしたらこのような目標の事業には予算を割くべきでないと思います。観光消費の目標とも矛盾しています。	参考	ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
戦略9市民生活と経済活動を支える都市づくり ①臨港貨物線の貨客線化を推進するとともに、②山下ふ頭からみなとみらい～神奈川臨海部(JR京急東神奈川、東急東白楽または京急子安駅)を結ぶ中量輸送機関の整備が必要であると考えます。	参考	ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
グリーンライン（横浜環状鉄道）延伸と新設を急いでください。 中山駅～二俣川駅～東戸塚駅～上大岡駅の移動が迅速になり、バス運行を減らせます。 将来のための、重要な交通インフラです。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
横浜環状鉄道の早期開通をお願いしたい。計画段階から全く進んでいない印象を受ける。 横浜市はコスト的にすぐにバス路線という結論を出すのが、やはり定時性、速達性の観点から鉄道は欠かせない。ブランド力のある魅力ある都市は、鉄道網が発達しており、例えば名古屋市地下鉄を見習ってほしい。まずはみなとみらい線の根岸駅までの延伸など実現可能な部分から早期に取り組んでほしい。住みにくい街は人口が流出してしまうため早期に取り組んでほしい。 また本牧地区にLRTを整備するなど、鉄道自体が人を集めるような魅力ある街にしてほしい。市電保存館の保存車両を一部整備して走らせるなど観光資源として活用しても良いのではないかと思う。 市大が根岸米軍跡地に整備される方向だが、交通アクセスを良くしてほしい。最低でもバス専用軌道を作るなど、定時性、速達性を確保できるような整備をお願いしたい。高台のため懸垂式モノレールやロープウェイなども検討してほしいと思う。根岸、本牧、石川町、吉野町の各方面からのアクセス性を十分考慮し、交通網の整備をお願いしたい。	参考	横浜環状鉄道の早期開通について、ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 その他、ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策4「戦略的な土地利用の誘導・推進」を進める上で、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
ブルーライン新百合ヶ丘まで伸ばし、グリーンラインも鶴見やズーシアまで伸ばしてください。 上瀬谷通信施設跡地に伸ばす予定の上瀬谷ラインは瀬谷駅から横浜線や田園都市線と繋ぎ、跡地施設への交通ははもちろん、横浜西部交通空白解消し通勤通勤便利にしてください。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策36「交通ネットワークの充実」の施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
川和ふみきは命にかかわる問題なので、早くとりかかってほしい。	参考	道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
学校の統廃合を行うことはよいと思いますが、跡地について、今後その広さの土地を取得するのは困難であるから、安易に宅地、マンション用地として売却するのではなく、高齢者施設、保育園等の敷地として定期借地とする（地域の需要は変化していくため。）	参考	廃校を含む保有資産に関しては、その特性に応じて役割・位置づけを明確にした上で、売却・貸付を含む活用や公共施設の敷地とするなど、市民の理解を得ながら、価値が最大化されるよう適正化を進めます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
たまプラーザに居住していますが、道路の白線が消えている場所が非常に多いです。ドライバー目線でも、特に雨の日は停止線がわからず、事故の原因ともなります。道路状況の把握と補修の対応をお願いしたいところです。	参考	道路標示の補修に関しましては、神奈川県警察にお問い合わせください。
先日、台風でバス通りのユリノキが倒れましたが、他にも老朽化してしまった街路樹が散見されます。たまプラーザ駅の桜も伐採したり、ケアをされているようですが、より一層の対策をお願いいたします。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>グリーンラインの利用者も多く、6車両化が進んでいるが、延伸する計画を進めてもよいのではないかな？</p> <p>中山から瀬谷方面に延伸するのは距離が長いのでコスト的に難しいかもしれないが、日吉から鶴見なら実現性たかいのでは？</p> <p>更に貨物線との相互乗り入れで東高島駅経由の桜木町乗り入れはできないだろうか？</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、ご意見も踏まえながら、検討していきます。</p>
<p>市民生活と経済活動を支える都市づくりには、市民の所得を増やす視点が欠けています。市民の所得を増やすためには、ワーキングプアを減らすこと、非正規雇用を正規雇用に変換することが必要です。そのために、まず市役所がお手本を示してもらいたい。横浜市役所で働く人には多くの非正規雇用の人がいます。又、安易に派遣職員やアルバイトで業務をこなしている部分も多くあります。人件費を節約しているようですが、人件費の経済波及効果と仕事の質の向上による効果を考えれば、正規職員を増やす方が、市内の経済も活性化し、税収も増えます。委託業務も見直し、市直営でやる方が効果的なものは直営にもしてもらいたい。保育園の民営化推進は保育の質の低下を招きます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜港をアジア最大のクルーズハブ港として整備する。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」の主な施策3「クルーズ船の受入と整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>都市計画道路のうち最低限3環状10放射を100%開通させるなど、横浜の機運を盛り上げる政策をしっかりと折り込むべきと思います。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>もうインフラは、現状維持もできない。どんどん厳選して減らしてゆべき。すべての区にスポーツセンターや公会堂、図書館はいらぬ。2, 3区で兼ねればよい。動物園も3つはいらぬ。1つあればじゅうぶん。</p>	参考	<p>ご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>インフラは巨額の費用を必要としますが、何も生み出さない土地を人間に恵みを与えてくれる尊い事業です。これをインフラの「ストック効果」といいます。このストック効果を知らない市民、いや国民が多いことがインフラの保全更新の問題における根幹的原因です。どうして、現在の社会が豊かに便利で生活を送れるのか、その答えは、先人が積み重ねてきたストック効果に支えられているから生活できています。</p> <p>今後も豊かな生活、さらには人を呼び込む横浜にするためには、決して十分ではないインフラを良質な形で積み重ね、ストック効果を高めることが絶対に不可欠です。インフラを建設するのなら長持ちするものに、今ある膨大なインフラを維持管理しながら上手に使いこなすことが、横浜市の土木技術職員の使命なのではないでしょうか。素敵なインフラに支えられた豊かな将来の横浜を創り出してください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』及び戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』を進めるため、関連する各政策(33、34、36、37)において、都市インフラの整備を進めることとしています。</p> <p>また、維持管理は、政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」において計画的な保全（点検、修繕）により、都市インフラの効果的な予防保全・長寿命化を進めていくこととしています。</p> <p>インフラは、豊かな社会や安全な都市を支える役割があることを理解し、次世代に繋がることを見据えながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>交通インフラの整備が早急に必要</p> <p>横浜市内の道路整備実施は遅すぎ、計画後30年を超えている。</p> <p>経済活動は制限され、住民も不便な場所という考えは固定され地元で長く住む住民以外の流動性の高い若い世代は、不便な場所から離れていく。結果、子育て世代は不便、子育てに経費がかかる横浜よりほかの都市を選ぶ。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」に関するものとして今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高速道路はストップして下さい。</p>	参考	<p>市内の道路ネットワークについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「交通ネットワークの充実」ですが、グリーンラインの鶴見延伸を新川崎経由で実現すべきです。地域交通はその地域内だけで留まればいいわけではなく、障害をお持ちの方などが様々な場所へ容易に移動できるという点も含まれます。グリーンラインを新川崎経由とすれば、品川始発のリニアへの結束が鉄道間の乗り換えで実現でき、移動が容易になります。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>瀬谷に予定している交通手段はグリーンラインを中山から三保－霧が丘－若葉台－卸本町－瀬谷とつなげていくことで、陸の孤島とも称された霧が丘・若葉台地区の利便性が向上するのみならず、工場集積地域である卸本町の価値向上、卸本町至近に存在する横浜町田インターへの高速バスバス停復活なども期待でき、前述の新川崎直結と組み合わせると市内の広い範囲で品川からリアの利用が可能となり、市内全域の価値向上につながります。なお、グリーンラインを二俣川につなげるのは、神奈川東部方面線が開通するいま、余り得策ではありません。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>道路の拡張をしてスムーズな流れを交通安全（通学路）の歩道等を洗い出して、段取り、測ってもらいたい。半分できるか、1件だけのために何年も開通できない。説得が足りないような気がする。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の発展はいままで、みなとみらいが重要だった。 20年前の横浜市の計画では環状鉄道の整備計画が有りはしたが、日吉-中山開通の後、全く進展していません。特に二俣川は都心として計画されていましたが、鉄道は相鉄のみ。交通網の違いは際立っています。高齢化が進み過疎化が危惧される状況。交通の便が悪いので、若者が敬遠している。二俣川は横浜駅から12分の地域です。交通の便がよくなれば若者の定着が進む。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高速道路の環境対策 ⇒横浜環状南線は完成後は横浜市に活力に貢献し、経済の活性化に繋がるでしょうが、排気ガス対策がお粗末です。 近くに居住している小生は直接排気ガスの影響を受けるほど近くに居ます。これほど緑が多く、綺麗な街が、排ガスで覆われてしまとなると、昔のご公害の街「川崎の工場地帯」のようになってしまうと思います。 是非共、綺麗な街、栄区を維持する為にも、高速道路の排気ガス対策は徹底して欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>横浜環状南線についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>環境が汚染されると予測される現状計画 「よこかんみなみせん」は地域の環境対策として、排気ガスによる環境への影響を考慮し「トンネル構造」とし、排気ガスを換気所に集め、煤や微塵を取り除き、上空高く吹上げ、拡散・希釈するとの計画ですが、現状の計画では「大気汚染を拡大」し、且つ「沿線の環境悪化」を高めると予測されるので、徹底的な改善が必要となります。 現在の計画は、トンネル内の排気ガスを換気所に集中させ、上空高く吹き上げ、拡散し大気に希釈させる計画です。 排気ガスは希釈されるので、地上に着地した折には、地域に与える影響は小さいとの事ですが、長期間に渡り大気汚染が継続されるので、その影響は甚大であります。</p>	<p>参考</p>	<p>横浜環状南線についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>環境汚染対策を実施している首都高速道路の事例 「よこかんみなみせん」と類似した首都高速のトンネル道路では、各換気所に排気ガス対策として低濃度脱硝装置を設置して、道路沿線への環境対策を徹底して実施しています。 その効果は、換気所に集められた排気ガスから、NO2「二酸化窒素」は90%以上、SPM「浮遊粒子状物質」は80%以上、除去してから、大気に放出しています。</p>	<p>参考</p>	<p>横浜環状南線についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「よこかんみなみせん」の換気所には、SPM「浮遊粒子状物質」除去装置を設置するが、NO2「二酸化窒素」を除去する低濃度脱硝装置を設置する計画がありません。</p> <p>又、換気所は「公田換気所」と「笠間換気所」の2か所であり、横溝道路と連結する「釜利谷Jct」は開放状態のままの計画であり、ここから排出される「排気ガス」が庄戸地区、金沢地区の周辺に撒き散らかされ、大気汚染が拡大してしまいます。</p> <p>故に、総合対策として、「釜利谷Jct」にも換気所を増築し、各換気所には首都高速道路と同様に「低濃度脱硝設備」を設置して、「緑豊かで美しい街」を実現すべきと思います。</p> <p>是非とも、市民の健康対策として現計画を修正し、徹底した排気ガス対策を実施して欲しいです。</p>	参考	横浜環状南線についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>“JR横浜線川和踏切り”</p> <p>大変危険なため、早急に工事を始めてください。</p>	参考	道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>市営地下鉄の延伸は小田急沿線都民の横浜市内への呼び込み、非常に重要な経済政策となりますが、当初計画では単に市内での交通網整備だったのだろうか。大局的に見るインフラ構想のミスが多い。早急に緊急に延伸事業化を進め、市営地下鉄沿線の活性、市内全体の発展を図るべきです。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>ローカル交通を担うコミュニティバス等の拡充を</p> <p>高齢者はお金もあるので、無料バスは不要、応分の負担をするのが市民の義務</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>磯子区滝頭3丁目～岡村1丁目の四間道路について</p> <p>昨今、この道路沿いにおいて、建物が建築され、それはそれで活性化され良い事と思いますが、水道工事やガス工事で道路が舗装されたあと、既存の住宅のゆれがひどくなりました。バスや車の通行も大切な事です。</p> <p>この四間道路全体の再舗装の検討をお願いします。何年前にしていた後には、バスが通行してもゆれがだいぶなく快適でした。</p> <p>このままゆれがひどいと住宅に損害が出てくる気がします。</p> <p>検討の程よろしくお願ひいたします。</p> <p>最後にいつも市民の為に耳をかたむけていただきありがとうございます。助かっています。</p>	参考	道路の維持管理についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>横浜は敬老バスがありとても助かっていますし、外出できる楽しみをもらっています。ICカードに10月から切替わり慣れれば増えると思います。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>バスが運転手不足やガソリン高騰で減便されたり、高齢者が座席すわれずギシギシのバスの光景です。提案でマイクロバスを増便できないでしょうか。福祉タクシーのノウハウがあれば車いすの人もベビーカーの人もシニアも安心してすわれて外出できると思います。バス代や運転手や時刻表など問題があるでしょうが、タクシーは年々高くなるし、介護タクシーも高いし、ぜひ交通の便考え直してほしいです。</p>	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>病院船を建造し、横浜港内に繋留する諸外国の患者を客として受け入れ、自由診療で高度医療までサービス提供する 特に手術と短期リハビリを施す。心臓、脳などの手術、癌切除、眼科、耳鼻科等にも 日本の医療は公立医療機関から民間に移ってしまい責任を持った体制が崩れてしまった 横浜市大病院が責任を持つ医師を組織的に養成することを前提に外国人を対象にした医療にも手を伸ばしてほしい （夢）アフリカ、中東に病院船を送り紛争地、飢餓地域等へ国連組織と連携し活動を広げていく</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P112高速道路 お金がないなら大型開発やめて</p>	参考	<p>高速道路についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>優先席を専用席と表記を変更する 北海道札幌市の地下鉄での電車内表記は優先席ではなく専用席です。 高齢者や子連れベビーカーに車椅子など本当に必要としている人が使える席を作るべき。 優先席を譲るより専用席と表記を変えた方がいい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略9および政策38について インフラの保全更新にデジタルを活用するとありますが、ビックデータでは特殊な劣化状態を見つけることは難しいと思います。点検結果を見つけるのは技術者です。世の中のトレンドに流されない方がいいと思います。もし、AI活用は技術者の点検を補完するような機器の開発であれば可能ではないでしょうか。</p>	参考	<p>政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」の主な施策1「都市インフラの着実な保全更新の推進」において、新技術等を活用した点検手法の導入などによるインフラメンテナンスの高度化・効率化を図ることとしています。ご意見につきましては、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策36、一部反対</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策37、横浜市の企業がつくるのであれば賛成。大手ゼネコンの参入に反対。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略9 政策36 横浜市循環地下鉄の建設を！ 現在、東京や大阪の大都市には循環線（JR）があるが、大都市の横浜市にはない。私は現在の地下鉄ブルーライン線を伸延・分岐させて横浜市の循環線に改編したらと考えています。 現在のブルーライン線の仲町台～戸塚間はそのま利用して新たに戸塚～二俣川～中山～仲町台（一部グリーンライン線利用）を開通させれば、ブルーライン線が循環線となり横浜市内中心部と郊外と結ぶ幹線交通網になります。 この案により郊外のまちが点でなくネットワークで発展し、市中心部との交流が増えて、やがて横浜市全体が大きな面で栄えるでしょう。現在は都心部臨海部のみが発展する施策が中心です。 私は横浜循環地下鉄線の建設で“未来をひらく横浜市”の発展を提案します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策38都市インフラの保全更新について 維持管理とは、存在するインフラをただ維持するだけが維持管理ではありません。設計や工事を直接行わない行政の技術者でも、どうやってこの構造物ができているのか？変状原因は何か？構造上のウィークポイントを理解できていますか？図面を読めますか？配筋図を読めますか？ 変状のほとんどは初期欠陥であり、それらは設計、施工、不適材料に原因があります。 維持管理とは総合技術です。既設構造物の維持管理で得た知見を、新設構造物の設計や工事に反映し長寿命化を可能にする、維持管理と新設構造物と連携したPDCAを回すことが持続可能なインフラの保全に繋がります。限られた予算で効率的な修繕作業をポイントとしては、劣化していても一概に修繕するのではなく、構造的に評価して決めることです。修繕する必要のない劣化損傷もあります、むしろそういったものの方が多いと思います。表面だけ劣化部分を直すくらいならもとに戻さないほうが構造物の損傷進行がわかって維持管理しやすいです。行政技術者が保有すべき視点とスキルと組織としての管理体制について追記してください。</p>	<p>参考</p>	<p>維持管理につきましては、政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」において計画的な保全（点検、修繕）により、都市インフラの効果的な予防保全・長寿命化を進めていく考えです。ご意見につきましては、参考にさせていただきます。 なお、行政運営1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」において、横浜市人材育成ビジョンの推進を掲げ、この中で専門分野ごとの人材育成を進めることとしています。</p>
<p>先の市長選について、ある有名な爺さんは「横浜にはもうバクチ場は不要」を掲げました。大勢の年寄り喜び、高く評価しています。 バクチ場はなくとも「P3戦略9 市民生活と経済活動を支える都市づくり」を進め、洛陽の市価を高めましょう。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」 公共施設とりわけ庁舎・事務所・文教施設などは、行政サービスの基盤であると同時に、市民の財産であり、災害発生時には市民の生命と財産を守る避難施設ともなる重要な建築物であり、個人専用住宅とは比較できない高い品質が求められる。加えて、こうした公共施設を建造・建築する際には、従事する建築技術者や技術者にとっては高い施工技術をいかんなく発揮すると同時に、後進の指導を行う貴重な場面ともなる。「完成だけが目的」ではなく、「完成させるまでの過程も目的」となります。こうした視点と品質確保にも留意し、「週休2日制」「施工時期平準化」「建設キャリアアップシステムの加入促進」などが目指されたことは評価に値する。しかし建設技能労働者の多くは「週6日働かないと暮らせない」という賃金水準が長年にわたって放置され、工程だけ週休2日にすると収入が下落する実態にある。公共工事の積算に用いられる「公共工事設計労務単価」には遠く及ばない賃金水準が日給計算されているケースは少なくない。高い品質を求められる公共工事に従事する以上、その技術に見合った賃金水準を確保することはもとより、建設産業全体にむけて「働き方」「働かせ方」のモデルを公共工事現場から発信していくことも必要であり、他の自治体で導入が進む「公契約条例」を横浜市でも制定し、賃金労働条件の下限を義務付けるとともに、総合的な発注施策のツールとして活用することを求めたい。あわせて建設キャリアアップシステムを最大限に活用したモデル工事を早急に取り組むことを求める。</p>	<p>参考</p>	<p>公共工事等の品質確保にあたり、市内中小企業における働き方改革や生産性向上に寄与する取組は重要と考えており、政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」においてしっかり進めていく考えです。いただいたご意見につきましては、参考にさせていただきます。</p>
<p>建設技能の伝承・後継者育成は、OJTとOFF-JTの両面が必要で、横浜地区建築職業訓練協会や神奈川県建設技術センターなど、職業訓練法人等による様々な講習や訓練はますます重要となっています。これら職業訓練法人等に特段の配慮と支援が必要です。特に個人専用住宅のみならず神社仏閣などの新築・改修に必要な建築大工を育成してきた横浜建築高等職業訓練校に対して、長年にわたって横浜市による運営支援が続けられてきましたが、地域に技能や伝統祭祀を披露できる「建前披露」や「技能競技大会」などへの支援が求められる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、時代に即した公共工事等の適正な発注と担い手の育成を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策37について                      貨物量増加を既存の輸出入貨物に依存することは難しく、国際トランシップについても韓国、中国との競争に勝てる可能性も少ない。その中で増加が見込めるのが内航船を活用した地方港との連携であり、それにより釜山港接続貨物から内航船での横浜接続への切り替えによる貨物量増加が見込まれるかと。                      一方で内航船は外航船と比較してパース優先順位が低く、慢性的にパース待ちを強いられている状況が内航船運航会社の経営状態を圧迫していると考えております。                      その状況を改善し、内航船運航会社が外航船社に対してより競争力のある料金提示を可能とし、その結果として地方港貨物の横浜接続を可能にするようになるかと。                      この問題を解決するため、南本牧、本牧エリアに直結した内航船専用パースが必須となりますが、内航船専用であれば小型のクレーン1基のみの設置で安易に設計可能かと。南本牧に於いては一つのTOSで運用しているので、システム的な問題も解決済みかと思いますが、本牧エリアに於いては各ターミナルが独自のTOSで運用しているため、この問題を先に解決することが必須だと考えられます。                      その問題解決策として新D4、D5の開業に向け、横浜市（YKIP）主導で共同TOSを導入することができ、同じタイミングでD1、BCへの参加を促し、本牧ふ頭で同一TOSシステムの運用を行い、BC/Dふ頭間を内航船専用パースとし構内シャーン走行が可能となれば、各ターミナル間の共同利用や円滑なターミナル運用が可能かと。                      また同一TOSにより集中ゲートの設置が可能となり、各ターミナルごとに設置しているゲート待機場所をまとめ、コンパス運用も容易になり、かつ今後予想されるトラック運転手の労働時間の問題についても待機時間の軽減により労働環境の改善が見込まれ、待機時間にトラックから排出される排気ガスの低減にもつながるかと存じます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>カジノ計画中止となり市の収入の見込みが減少その上ふるさと納税で百億以上の税収が少なくなり、バラマキは考えるべきです。増税は御免だ！！                      円安・ドル高は日本が国債を多発して金利を上げられないからでは・・・</p>	<p>参考</p>	<p>財源確保についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>以前は入港が横浜港－70%東京港－30%でした。                      現在は横浜港－30%東京港－70%です。                      ご苦労多いと思いますが頑張って下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>平成25年に8月に鶴見区生麦の生見尾踏切で痛ましい死亡事故が発生してから今年で満8年を経過しました。当時市長は「スピード感をもって解決する」旨表明し、市当局は当初「バリアフリー化のほか自転車載せられる大型エレベーターを設置する新たな跨線人道橋を整備したうえで、踏切を廃止する抜本的な対策を行う」とした計画を推進してきました。                      しかし当局は令和元年5月27日の都市計画審議会常任委員会への報告で、「既設の跨線人道橋にエレベーター（人のみ）を設置する速攻対策を実施する。新設の跨線人道橋の整備は、踏切閉鎖への地域のご理解を得てから抜本対策として実施することとする」としました。                      これは当初計画を180度変更するものであり、加えて地域の理解を得る時期、方法、評価などについては全く「白紙」とされています。これまで既設の跨線人道橋にエレベーター（人のみ）を設置しましたが、中央にある階段（13段）についてスロープ化などの対策は全く行われず、車椅子や乳母車など交通弱者にとっては何らの利便にもなっていません。                      このままでは、既設の跨線橋に健常者用のエレベーターを付けただけで、死亡事故まで発生した踏切の安全対策は全く行われていません。生見尾踏切の安全対策のため、地域住民の合意が得られている当初計画に戻って早期に着工していただきたいと思っております。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>初めて陣ヶ下溪谷公園に行きましたが、溪谷を渡る水の所（石が敷き詰められている所）があぶないところがあり、すべるとけがをする所があり、小さな子、老人にとってあぶないところがありました。もう少し整備してほしいです。溪谷はとても気持ち良くみんなが来られるようにしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>公園管理等についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策36に渋滞129箇所がなくなると書いてあって興味を持ちました。 鉄道の開通による時間短縮も凄いです。なにより横浜は慢性的な渋滞が、住むうえでネックと思っていたのでその渋滞がなくなるのであれば、生活がすごく便利になるので魅力アップです。 私は、現在住宅購入を検討しており、こういった情報が場所選びに有益です。同じように思っている人はたくさんいると思います。 ここに具体的な箇所を書いてほしいです。期待しています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>そういえば、地下鉄計画、 中距離電車の鶴見停車等、以前からの課題に全く触れられていません。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>必要な公共工事は行うべきだが、その監理をしっかりしてほしい。新横浜駅近くの環状2号線の高架の橋脚補強工事は長い期間傍目にはのんびりとやっておりとても効率的には見えない。抜き打ちで確認して、費用に見合った適切な工事が行われるよう、逆に期間ばかり長く無駄な費用がかからないようにしてほしい。 また、公共工事のあと、その結果も確認してほしい。新横浜駅前広場は、排水の設計が悪く、雨が降ると水浸しになり、歩けなくなる。公共工事のPDCAをまわすようにして、効果的に税金を使ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>公共工事に進め方についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>交通ネットワークの中で横浜環状道路等の整備推進は、すでに完成したところでは住民の住環境を壊したり、他道路と重複している道路もある。 また、用地買収が困難なため長期間にわたって整備がとん挫している箇所もある。計画時の杜撰さとともに中止するという選択肢を持たないため数十年経過しても進捗しない箇所もあり、大変な無駄遣いとなっている</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>横断歩道の白い線が消えている道路が多くなっています。安全面でも定期的な点検・塗装してください。</p>	<p>その他</p>	<p>道路標示の補修に関しましては、神奈川県警察にお問合せください。</p>
<p>(関連する政策：政策36交通ネットワークの充実) 広報みどり「令和4年度主要事業紹介」で、以下の記述がありました。 「②都市計画道路の整備（イ）中山北山田線（中山地区/川和踏切）事業化に向け、設計等を進めます。」 ようやく、「事業化」と「設計等を進めます。」という文言に、嬉しくなりました。これは、「10709筆の署名」と「道路局の尽力」そして、あの川和踏切を毎日利用されている沢山の市民の「声なき声」の力だと思います。 そこで、今後の事業化について、少し述べさせていただきます。 (1)立体交差化ですので、「上」(高架橋)か「トンネル」かだと思います。 そこで、その2つについて、市民が理解出来やすい、簡単な設計概略図を作成し、それに対する意見をパブリックコメント等で募集されてはいかがでしょうか？ 「設計」ということばではなくて、設計の概略図で、市民が「可視化」できて、本格的になるなという気持ち熟成になると思います。 (2) 次に、パブリックコメント等を分析して、大体の基本設計をまとめて、このような方針で設計を進めています等の市民説明会を行って頂いては、いかがでしょうか？ 先ず、「意見を聞く耳」と「これは市の立場から譲られない」という立場、それに、その時に「全体の工程、設計概略の説明可能部分を説明していただけたらと思います。」 (3) この事業は「線路の立体交差化」ですので、JRとの交渉が大変なのではと推察いたします。市民を味方につけて、事業化を推進するという姿勢で頑張ってくださいと思っています。 (4) 中山駅は、この50年間は、JRでは、大々的な「便利さ」「改善」等が行われてこなかったときいています。 鴨居駅、十日市場駅、長津田駅に比較しても、そろそろ、中山駅、中山駅の踏切を改善していただいても、いい頃だと思っています。大変期待しております。 市民要望の声も、よろしくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>経済成長はもう望みません。箱物を新たに造ることももうやめようではありませんか。コンクリートの建造物は50～60年でもう老朽化、建て直しです。人間は自身の欲望のために自然をずいぶんと痛めつけてきました。人間はそろそろ身の丈に合った暮らしをしないと取り返しのつかないことになりませんか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」の主な施策2「公共建築物の将来を見通した計画的な保全更新の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>暑い日の除草作業に頭が下がります。歩道、歩道橋等のコンクリートの除草は根から枯らす除草液を散布されてみてはいかがでしょうか？都筑区の中丸バス停、幼稚園裏側はすぐに雑草が生えます。</p>	<p>参考</p>	<p>歩道の維持管理についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>私は東海道53次を歩いている者です。その道程それぞれの街でいろいろな美しいマンホールを見てとりこになり、写真に撮って楽しむようになりました。宿場によってはここが「〇〇宿」との表示板等があったりしますが、全体統一のものは無く、歩いている者がこの宿場来たという証明になるものがありません。城、寺、神社の様にスタンプ、御城印、御朱印もありません。まだ4分の3しか歩いていませんが「東海道53次〇〇宿」の文字のはいいたマンホールは川崎宿と草津宿だけだと思います。横浜市には神奈川宿、保土ヶ谷宿、戸塚宿の3つの宿場があります。「東海道53次〇〇宿」のマンホールを設置していただけたら有難いです。話題になると思っています。よろしくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>下水道施設についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>JR中山駅近くの川和踏切について・・・事故が起きて今年の10/1で早や9年になりました 今年も10/1には踏切側にいくつもの花が手向けられていました。立体交差化の予算も立てられていますが進捗状況が市民には伝わってきません。今計画はどこまで進んでいるのか、これからどのように進めようとしているのか市民（緑区民）に区役所など使って説明をしていただきたいと思っています。困難にぶつかっているのならその原因は何なのかも知りたいです。よろしくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>港湾関連</p> <p>既に世界水準の競争力を全く失っており衰退産業の道を辿っており、目の需要でやっと依存している縮小均衡の産業に落ち込んでいる事明白であり、大幅な産業転換を迫れている事、衆目の一致するところですが、多くの困難な難題が横たわっており、関係一同が厳しい現実即してこの問題の検討及び解決し、一刻の猶予も無く大決断をする必要に迫られていると考えています。その為には、港湾物流の施設の構築及び運営体制の中長期観点よりの構築が必須と考えます。</p> <p>①. アジアとの競争力又はグローバルな競争下では既に一国一港体制の海陸一帯の施設の構築及び運営体制に突入しており、少なくともアジアでその覇権を取り戻し、巨大港湾物流マーケットへ構築を目指す為、早急に東京都と厳しい折衝と叡智を結集して対策を行う事が必要と考えます。</p> <p>ア まず海（港）に関して、東京湾oneport体制（横浜港）への協議を行いOneport体制の構築を図り、その為、今後発生する種々の問題点、その解決策を、官側（国土交通省、県、市）、業界団体（港運協会）、利用者団体（船社関連企業）、及び専門家を交えて早急に検討する事を提案します。特に、韓国との競争で、hubmainportなるにはどういう条件が必要かとの具体的な検討が重要になると思います。又、</p> <p>イ 併せoneport体制になった場合、東京の新しい役割への変換を同時に検討する事が必須となります。現状の大変恵まれた東京の航空産業立地を考慮すれば有利な産業に政策的に特化した場合、現在の羽田空港をはるかに凌駕するアジアはもとより世界でも有数の巨大Mega空港の構築運営が可能となると考えます。</p> <p>②. 個別の港湾運営体制の改革推進</p> <p>アジア各国との競争に耐える為、上記項目の実施の前提として、可能なすべての個別の改革を行う事が必要と思われる。</p> <p>ア. 港湾諸費用の改革</p> <p>船の入出港に関わる諸費用</p> <p>例えば、baypilotとharbourpilot及びtug重複作業の解消、また費用に関して安全を確保して上での、競争原理の導入、や東京湾一体として運営での費用の削減策の検討</p> <p>イ. 港湾作業</p> <p>現在の業者を集約統合し、一社による共同の港湾作業会社を設立。この会社による出来れば東京港、横浜港をこの一社で運営する事が重要と考えています。例えばシンガポールの様にシフト制を引き365日24時間稼働の体制を確立する事も当然必要と思います。</p> <p>ウ港湾施設の機能別の配置および集約</p> <p>70年代、80年代とコンテナ化が急速に進み、港湾施設の集約が進んでいますが、今後一層大規模の機能別配置の集約化が必要と思われます。</p> <p>(ア) 本船荷役に伴う荷捌きヤードの出来るだけの自動化</p> <p>(イ) 貨物の保管、仕分け、受け渡しの作業の自動化および無人化</p> <p>(ウ) 配送機能の多様化への対応（鉄道、小口配送へのアクセスの確保）</p>	参考	ご意見につきましては、政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>地下鉄延伸の経過について</p> <p>1年前にあざみ野～新百合ヶ丘駅についてのルート決定の報道があったが、その後まったくと言っていいほど何の発表もない。いつ頃工事を（土地の買収も）するのか、現在の状況を教えてほしい。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」に含まれていると考えており、高速鉄道3号線の延伸について、現在、取組を推進しています。
<p>道路整備事業をきめ細かく。</p> <p>都筑区池辺町に在住しているが、都筑区でもニュータウン地区は別にして、旧、それ以外の地域の道路の整備を。</p> <p>歩道のない道路は年配者の多い地域は危険極まりない。一日も早く。</p>	参考	ご意見につきましては、道路整備事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>産業道路の整備（新羽町～都筑区大熊町）の早急実現を。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策36の「交通ネットワークの充実」について JR鶴見駅では、京浜東北線の両側に、湘南新宿ライン（横須賀線を含む）と埼京線相鉄線が走っている。湘南新宿ライン側にはスペースがないので無理そうだが、埼京線相鉄線側は待避線を含めて4本レールが走っている。この待避線を撤去して、ホームをつくれれば埼京線相鉄線を停車させ、京浜東北線と乗り換えすることが出来るようになる。災害時（特に台風などによる大雨時）に多摩川鉄橋が通行不能になったとき、鶴見で乗り換えることが出来れば、鶴見以南の利用者にとって便利になる。また、鶴見駅の跨線橋は昭和に作られたもので、災害時に不安がある。駅ビル等の鶴見駅の総合的な建て替えを含めてこの事案を検討していただきたい。JR東日本とJR貨物の2社に対してお願いしたいわけがないので、調整等が大変だとは思いますが、行政が働きかけなければ、もうからないことには金を出さないJR東日本は何もしてくれないので、ぜひ頑張ってください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>道の渋滞を減らすとありますが、新しい道路をつくることによるものですか？ そうだとすれば、 ①上郷や公田を通る高速道路はいつできるんですか？ ②この4年間でできる道路はどこですか？ ③4年間でどのくらい渋滞が減るのですか？ を書いてください。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。なお、今後の渋滞減少の見込みにつきましては概ね10年で2割減少と追記します。</p>
<p>元町より南方向にトラムを走らせよう、との動きがあることは知られています。これが実現すれば都市型トラムとして観光の目玉にもなることと思われます。然しながら様々な交通事情を考えた場合、その実現はなかなか難しいものがあるかと思われれます。そこで、元町中華街駅から根岸駅までの間のみならみ線の伸延に市が助成することを提案します。これに拠り現在、バスにのみ頼っている本牧の人々の移動手段を確保することが出来ます。また、三溪園付近に駅を設けることにより、園の周知と観光客の確保が望めます。そして、いずれは整備されるであろう、根岸森林公園に隣接する米軍サイト跡地の活用にも弾みをつけることが出来ます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、市内の鉄道ネットワークの検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>緑区JR中山駅近くの「川和踏切立体交差計画」を早期に着工し、踏切の悲惨な事故を二度と起こさない事と共に道路整備を推進して円滑、安全な交通網の実現を希望します。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P109の戦略9「市民生活と経済活動を支える都市づくり」に「充実した鉄道ネットワークの構築」とあるが、ブルーラインだけでなく、東急こどもの国線も将来的に小田急線まで延伸してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、市内の鉄道ネットワークの検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P109の充実した鉄道ネットワークの構築について、こどもの国線を鶴川が百合ヶ丘駅への延伸をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、市内の鉄道ネットワークの検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」にかかわって 政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」の主な施策として「働き方改革の推進と生産性向上への取組」が示されています。そのなかでは公共工事の品質の確保が謳われていますが、そのために重要なのは公共工事に従事する労働者の賃金と生活を保障することであると考えます。そのためにも他の多くの自治体で導入されている公契約条例が有効であると考えます。早期に同条例を制定すべきと考えます。 あわせて同項目には、市内中小企業の働き方改革を支援しますと示されています。中小企業における、時短、週休2日制の実現、有給休暇の完全取得などは、相談やアドバイスなどでは不十分であると考えます。よって働き方改革の支援においても、支援策を実施すべきと考えます。 また生産性の向上を優先するばかりに、労働者の権利や処遇が形骸化しては意味がありません。政策の問題意識としてこの点をしっかりと踏まえる必要があると考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>公共工事等の品質確保にあたり、市内中小企業における働き方改革や生産性向上に寄与する取組は重要と考えており、政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」においてしっかり進めていく考えです。ご意見につきましては、参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「テーマ03生産年齢人口流入による経済活性化」の施策例について「横浜環状南線・横浜湘南道路及びアクセス道路の整備推進」は、高速道路中心にカネを落とす行政の継続となる。もともと市民の声を聞き、対応すべきである。	参考	ご意見の趣旨につきましては、横浜環状南線・横浜湘南道路の事業を行うにあたっての参考にさせていただきます。
「市内中小企業の働き方改革の支援」は、評価できるが、市の発注する公共工事で低賃金・長時間労働をさせる企業は契約しないと明記すべきではないか。	参考	公共工事についてのご意見として、参考にさせていただきます。
戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』(P109～) 【提案】 (P109)国際競争力のある港の実現◆カーボンニュートラルポートの形成に記載されている「水素等の輸入拠点」という表記について、以下の通り追記する事をご提案いたします。 臨海部の脱炭素化に向け、水素やアンモニア、合成メタン等の輸入拠点化や供給インフラの整備、船舶への陸上電力供給等の検討を進めます。 本提案は(P113)施策37「国際競争力のある総合港湾づくり」■現状と課題及び★政策の目標枠外の注釈、(P114)主な施策37「国際競争力のある総合港湾づくり」◎主な施策4、(P181)共にめざす都市像「都市基盤の未来」03世界と日本をつなぐ進化した港湾③カーボンニュートラルポート【データ③】においても同内容といたします。	参考	ご意見につきましては、戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』に関するものとして参考にさせていただきます。 なお、等の中にアンモニアや合成メタンは含まれるという認識ですので、ご理解のほどよろしくお願いたします。
戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』 方向性 (意見)人口減少社会を見越したコンパクトシティの概念を導入して、新規開発はやめて、現存する地域の保全を最優先に考えた都市づくりを目指してください。開発を拡げては保全できずに放置するのは行政の姿勢として計画性の放棄です。	参考	市民生活と経済活動を支える都市づくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
政策38公共施設の計画的・効果的な保全更新 政策の目標 (意見)人口減少社会を見越したコンパクトシティの概念を踏まえた都市づくり及びインフラの保全を確実にすることを掲げて下さい。新たな開発は、もう人口減少に入ったのですからやめてください。	参考	都市インフラについてのご意見として、参考にさせていただきます。
総合港湾本牧埠頭 費用対効果を考えず散財が目立ちます。	参考	ご意見につきましては、政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
109頁「市民生活と経済活動を支える都市づくり」 もうクルーズ船の時代ではない。	参考	ご意見につきましては、戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
公営住宅の建設を進め、市民の住まいの確保をして下さい。	参考	市営住宅についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
インフラや公共施設の長寿命化など生活関連の公共事業開発を計画的に進めて下さい。 高速道路優先を改め、生活道路優先に整備して下さい。	参考	道路ネットワーク形成についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略9、政策36～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策36の交通ネットワークの充実について 「川和踏切」の早期実現について。常時渋滞化している。川和踏切に早く市の計画と予算化をお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高速道路 国の作る道路でも、市の負担はあります。市民、住民の使う日常の道路に市のリソース、人員、予算をかけてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、道路ネットワーク形成の検討を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>P110交通ネットワーク 高速鉄道地下鉄ですが、新規に作る駅や駅前広場等はなるべく広く作ってほしい ◎駅構内、駅舎内 ○コンビニや交番を設置する。 ○行政や福祉事務所、ケアプラザの分室など…。 ◎駅前広場 自動運転タクシーの増加が見込めます。広い駐停車スペース、駅前地下 ○防災用品倉庫備蓄、 ○自転車等駐輪場 ○ホームは広く、階段も多く作る。 中計には記述されていませんが、既存の地下鉄も同様です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>交通ネットワーク あざみ野～新百合ヶ丘の延伸に続いての早期のグリーンラインの環状線化動物園に地下鉄がないのは大都市では横浜のみ</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実」の主な施策4「鉄道ネットワークの整備推進等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>道路について ・都市計画道路の30～40%達成からの早期の100%達成へ ・政令指定都市ピリからの脱出 ・右折ゾーン設置による渋滞回避 ・バス停留所の歩道幅員拡幅 ・歩行者の安全のための歩道整備</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、都市計画道路等の整備を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>クルーズだけが魅力の横浜ですがベイブリッジの高さのせいで外国船が大黒ふ頭にしか来ないですがロケーションが悪すぎて交通便も悪いと不評です。 私もよくクルーズに行きますが、大きな桟橋も作ってほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略9『市民生活と経済活動を支える都市づくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>大岡川という二級河川が市内を流れています。弘岡橋の少し上流、観音橋の下流、川岸に遊歩道が有ります。また、越戸橋のたもとから上流も川岸を歩けるようかなり前に作った遊歩道が有ります。これらの遊歩道と堤防とは1年間に1、2回草刈りと木の伐採とを市に委託された植木業者がやってくれていますが、見ていると整備されているとは言えません。 問題は遊歩道に堆積してしまっている土砂を除去しないことには解決しないと言う事です。 普通の公園のように遊歩道も市で整備と管理をしていただけないものでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>河川および道路の維持管理についてのご意見として参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「9つの戦略」について やはりここでも総花的な印象が禁じえません。 戦略は3つ、政策は9本ぐらいに絞った方が良いでしょう。 市長にはぜひ経営の基本である「選択と集中」を進めてほしい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、「行財政運営」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
<p>出産費用、小児医療費、敬老パス、中学校給食についてのコメントです。 横浜市の市民税歳入8450億円のうち市民税が5割近く(4080億円)を占め、法人税(470億円)の8.6倍も市民が納税負担しています。さらに固定資産税の大きな納税負担もあります。 市民税の負担割合からしても市民の強い要求の3つのゼロ(中3まで小児医療費ゼロ、出産費用ゼロ、75歳以上敬老パスゼロ)と全員制の中学校給食は学校調理方式を含め、少子化対策の政策として優先的に実現させてほしいです。 ちなみに兵庫県明石市は所得無制限で5つの無料化(中学校給食無料、医療費は18歳まで完全無料、保育料は第2子以降無料、おむつ満1歳まで無料・・・)をはじめ、大学の学費の建て替え払い、高校進学への給付型奨学金などなど福祉政策実行を実現しています。 この結果、明石市は出生率向上、人口増、市税収入増などにつながり少子化対策の実現が進んでいます。 明石市の泉市長は「明石市で実現できたことは、国でも当然に実現可能。お金なんて、やりくりで何でもなる。要は、政治家の“やる気”次第。必要なのは検討ではなく、決断と実行だ。」と2022年6月の参議院で参考人発言を行っています。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、Ⅲ「基本戦略」、政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」、政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」及び政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>宿泊可能な施設については、子どもたちの育成を担っているボランティア組織の運営を考えると、現状の3月まえ予約開始ではなく、1年前予約開始としていただくと、利用率の向上がはかれると思います。</p>	その他	施設の運営についてのご意見として伺います。
<p>中期計画とはそのようなものと理解しておりますが、総花的で市がこの先どの分野に注力していくのかが今いちよくわからない内容と感じました。おそらく、上述の通り戦略の基礎になっている2040年頃の共にめざす都市像とされている「明日をひらく都市」が、この内容にどの戦略もこじつけることができ非常にあいまいであるためと思われます。戦略を読む限り、柱のひとつは港湾関連の海洋や知識の流通のコントロール（MICEによる専門家来訪の受け皿となる産業や知識基盤の整備）による市の発展、もう一つはそのための都市民の厚遇・育成による人材確保と思われるので、そこを中心にまとめなおしてはどうでしょうか。</p>	参考	「明日をひらく都市」についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>また、確かに横浜市は経済成長のために住宅地の拡張などで発展してきた都市ではありますが、この状態で交通の便が悪い瀬谷を拠点とすることはヴェルサイユに宮殿を移した時並みの無理（交通の便の悪さおよびそもそも水道他インフラを引くには無理な地形によるびつな発達）があると思われます。これは都市軸の方にもいえ、これ以上「軸」なるものを整備したらどこが軸やわからなくなるのではないのでしょうか。それであれば既存インフラ更改の方と結びつけ、既に空き家の発生がほぼ確実である根岸線沿いの南部ニュータウン地域、および新横浜駅周辺などの整備に当たっての方がよい、と思われます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策2「多様な主体と連携した持続可能な郊外住宅地再生の推進」及び政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策3「新横浜都心のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>通信ネットワークの補強を追加したい。 昨今の通信事業者の大規模障害を考えると、市民生活や経済活動を停滞させないためにも、バックアップする通信網が必要だ。横浜市が最低2社(2社同時に通信ネットワークが停止することはあるまい)の通信事業者の光ファイバー網を借上げ、万一市民が契約している通信ネットワークが障害を発生させた場合には、即座に障害ネットワークから横浜市借上げのうち障害の発生していないネットワークに切り替えることで瞬断なく通信サービスを継続できるようにする。ネットワーク借上げにコストはかかるが、通信事業者に対してはバックアップのためのコストであることを理由に値引きを求めることができる。是非検討頂きたい。</p>	参考	ご意見につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>「38の政策」について 2025年までに実施との事ですが、まだ具体的でないように思います。具体化して実施年度を明確にすべきだと思います。ほとんどが25年度にならないような計画策定と実施をお願いします。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「9つの戦略」について 新しいことばかりに飛びつこうとしており、市民が何を臨んでいるかを見失っているように思います。ごみ処理問題や街の美化などにはもっと予算を注ぎ込んで重点的に取り組んでほしいし、それだけで魅力的な戦略が一つできるのではないかと。ゼロカーボンもいいけれど、もっと現実を踏まえた地に足のついた戦略を立てて欲しいと思います。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「38の政策」について 総花的過ぎて横浜をどうしたいのかが伝わって来ません。中期計画はもっと重点を絞って住民に是非を問うべきだと思います。見栄えのいい計画を作るために人や予算を使うのは、もうそろそろ終わりにしたらどうでしょう。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策6「豊かな学びの環境の実現」 政策21「スタートアップの創出・イノベーションの推進」 ・横浜市が持続的に発展し、子供たちに夢を持ってもらうために、横浜市が支援する企業等に小学生～高校生向けに見学会を実施してもらい、子どもたちには将来の夢を描いてもらうことで、自主的な学びを会得してもらおう。一方企業側はPRIになり、将来の人材確保につながる。（横浜版子どもの仕事体験施設+高校説明会のようなものです。） 例として、 ・横浜市長主催で賛同企業を募り、HPに日程等を掲載し事前予約してもらおう。 ・会場にブースを並べる方式と、会社を訪問する形 ・夏休み時期に設定し、学校関係者には負担を増やさないようにする。</p>	参考	ご意見につきましては、政策6「豊かな学びの環境の実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>多数の中小企業は、技術開発力が弱く、新たな施策を進めていくのは限界があると思われます。 そこで、以下のような提案をします。 ・大企業、大学保有の特許の無償解放。ただし、外国企業等参入の問題もあるので、行政が「安く買う」ことで、権利は行政が保有する。 ・大企業、大学は常に新たな技術開発を推進しており、古い特許は、維持費用が莫大になっている。そこで、行政が買い取り、かつ、売った企業、大学には、新しい特許出願費用を割引くとか補助することで、企業、大学の開発モチベーションは維持できる。 ・このようにして取得した特許技術を中小企業に安価または無償で供与することで、新たな経済成長に寄与できると思われます。 ・また、脱炭素、SDGsの観点からも、中小企業が自社技術開発に加えて、大企業、大学の保有する優れた技術を活用できれば、カーボンニュートラル社会の実現に近づくことが期待できます。</p>	参考	ご意見につきましては、政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」をはじめとした各政策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>38の具体的な政策は各部局のレポートのように感じました。 何故中計でありながら毎回変わらぬ38のレポートになっているのでしょうか。前例踏襲が役所の特色といわれます。市政改革・改善のためには思い切った発想の転換をせずこの数字から見直す必要があるでしょう。議会でどこまで議論されているか承知しませんが200ページにもわたる資料では突っ込んだ議論は難しいでしょう。イメージ的に言えば4年ごとの白書と中期計画が混然一体となっているように思います。作る人は大変な労力をかけています。簡略化した部局のレポート（市民がいつでもアクセスできる）はDXを活用し、コストセーブを図ることは出来ないのでしょうか。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「38の政策」について 選択と集中を進めるべき。政策の数が多過ぎるし、具体策に乏しい。効果が出るまで時間がかかるが、サステナブルな横浜の未来のために最も必要なことは、生産年齢人口増加であると考え。予算を集中させ、他地域とは比べ物にならない大胆な支援策を検討、KPIを定めしっかりと効果測定を行う。その投資効果が出始めてから検討するでも遅くない政策が複数ある（脱炭素、一部公共工事）。</p>	参考	政策についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【総論】課題をよく網羅しているが、戦略を展開する必要度の順番が判らない。総花的な施策展開だと結局は効果的な展開が期待できない。内外の情勢を見ながらじっくりやっつけていかざるをえないもの、子供の成長や老人の終活など待てられない課題を長期、短期の施策に分け、取り組む順番を設定するべきではないか。（医療のトリアージのように）</p> <p>現在の重要度から概観すると、横浜市も例外ではない少子高齢化です。これについてはすでに取り組む民間では、郊外にシニアマンションを建設しています。これに関係する施策が手薄と感じます。民間ではできない協働社会の実現に向け、これに関係する諸課題を先進的に解決していくことで他の課題にも効果が波及していくと考えます。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策4「地域生活を支えるサービスの充実とニーズに応じた施設・住まいの確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>「独立国を建国する！」建国する場所：国内園芸博覧会会場一帯 キリキリ国ならぬ「ベテランズ・タウン」を建国する。</p> <p>域内に居住するベテラン国民（高齢者）は、それぞれ豊富な資格、経験、知見を有します。領土である域内（国内）の衣食住、治安、医療、交通などに関係する作業・労働など全ての分野で自給自足が可能です。（グループ化を想定）元氣な国民（住民）自らが、国内に居住し、自身に合った労働、消費を国内でします。それら労働の対価は国内専用通貨で支給し、また国内で消費します。地域一帯を特区指定を受け、システム運営は自治に任せます。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>「子ども一人ひとりを大切に教育の推進」について、基本は理解できます。しかし、子どもに対し「一人ひとりの児童生徒の資質・能力の育成」を唱っているにもかかわらず、指導する教員の資質・能力が低すぎます。次の中心世代として今の社会に合う教育への変換を目指している中堅教員に対し、過去の実績にとらわれ、過去を美化し、新しいことにチャレンジしようとするのを「悪」と決めつけたり、自身を正当化するために陰口、悪口を公然と言う50代教員を校長権限で強制的に異動や降格できるようにしてほしいです。こういう教員を野放しにしているからこそ、働き方改革は進まず、意欲ある教員は育たず、子どもの教育にも影響が出ています。特に特別支援学校は、ひどいものです。一般常識からかけ離れていることが多々あります。</p> <p>一例ですが、特別支援学校には、肢体不自由や知的障害など多様な子どもが在籍しています。当然のことながら、肢体不自由児の指導や支援のために移動のための抱きかかえ等が必要であり、体力が必要です。知的障害児でも突然走り出してしまう子どもや自傷や他害等を止めるだけの指導力と共に体力が必要です。その現場にいる教員ならば年齢やキャリアを問わず、それらができることが大前提と考えられますが、「私はできない。他の人がやればいい。あの人がやらないのがいけない。」等と言う教員がいるのです。市民の大多数は一般企業に勤めているのですから、このようなことを市民が知ったら、どう思いますか。一般企業であれば、異動や解雇になると思います。提案ですが、数年後に小・中学校の教員が採用から10年間のうち、2年間は特別支援教育に携わると文部科学省が決めました。その逆も必要です。特別支援学校に採用になった教員も10年間のうち2年間は一般級の担任をした方が良くと思います。そこで、普通教育の基本を学ぶべきです。また、小・中学校では、特別支援教育が進んでいない現状と聞いています。前述した50代の教員は自己を正当化できるほどの実力があられると思われる方々が揃っているので、小・中学校でその手腕をふるってほしいと思います。校長権限で強制的に異動ができるシステムがあっても良いと思います。適切な教育を行うことを旗印にするならば、教育現場も適正にしなければなりません。教育に関しては、市独自で人事異動や法令を定められます。ぜひ、この政策を実行されていくならば、今すぐに調査し実態を把握し、改革を進めてください。時間の猶予はないです。</p> <p>「障害児・者の支援」についても同様です。古い考え方が蔓延している特別支援学校で障害児にまともな教育をすることはできません。ましてや、社会で生きる力を身につけることが今の特別支援学校では困難ともいえる状況です。政策5にも関連しますが、特別支援学校の教員で学習指導要領を理解して教育をしている教員がどれだけいると思われますか。2割に満たないと思います。このような教員の実態でこんな立派な政策が実現可能と思われますか。計画の決定の前に、教育公務員の実態と現場の教育を改めて見ていただき、政策を見直された方が賢明と思います。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
小児医療費完全無料化、中学校給食の「完全実施」、早急に重要である。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
小児医療費完全無料化、中学校給食の完全実施にかかる予算については、敬老バス負担ゼロを現行の人に半額負担とし、その差し引き分の予算を廻すべきだと考える	参考	ご意見として、今後の参考にさせていただきます。
私は瀬谷区で学習支援活動をしているNPO法人のメンバーです。通ってきている生徒さんたちの多くが被保護世帯や、不登校、個別支援学級のお子さん達です。放課後、区の施設で学習支援をしていますが、このような活動の場を中学校の中に持つことはできないのでしょうか。そうすれば生徒たちは別の施設に通う必要がなく、より通いやすくなるのでは。（他の生徒に知られたくないという思いもあるかもですが）	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策6「豊かな学びの実現」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
学習支援活動をしているNPO法人で、私が担当した中3女子の個別級の生徒の例：中3の夏休みの宿題（英語）がローマ字だったのです。その生徒は週2回英語の学習をまじめに続け、中1～中2のレベルの文まで、ある程度学習できました。個別級の指導の見直しをしていただきたいと思ひます。	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
山下公園、里山ガーデンもそれぞれ近くに人の集まる施設があります。今回の予定地は単独の施設になります。開催した時は一時的に集合はすると思いますが、翌年からはあまり集まらないと思ひます。よって子供達の運動広場の様な施設にした方が利用価値があると思ひます。一部の事業者の利益にはならないと思ひますが、一考していただきたい。	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜市は「ミナトヨコハマ」と呼ばれるように日本の主要港であり、エキゾチックなイメージを持つ人気のある誇れる都市である。 近年は、MM地区への業務機能の集積、山下ふ頭再整備、観光面では、日本丸地区、臨港パーク、象の鼻パーク、金沢地区では海の公園、本牧、大黒への海釣り施設等港湾地区への観光市民利用施設の促進策にも注力している。こうした港を核とした本市の強みを生かし、他都市ではできない特性をアピールし、メリハリを付けた施策に力を入れ強みをさらに伸ばす方向性が必要と考えます。 弱い部分の挺入れを否定する気はありませんが、都市の魅力を高めるには、歴史ある強みをさらに向上させることが重要かと思ひます。	参考	都市の魅力向上についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
横浜市は世界の港の一つでしょう。いったいどんな姿になりたいのでしょうか。自分は次のようになって欲しい。今根岸地区にある石油プラントの土地を更地にして、巨大なEV、ECO見本市会場をつくり、また、輸出入の拠点とします。その財力でもってほかの施策はやれると思ひます。	参考	ご意見につきましては、戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜市大の分校をここか、本牧埠頭において、主に米国の大学と提携して人材交流を図ります。自然と環境が整い、研究生や教師らが集まり企業が横浜をベッドタウンでなく終点として認識すると思ひます。その財力でもってほかの施策はやれると思ひます。	参考	横浜市立大学のあり方についてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>青葉区には公園がたくさんあります。しかし、有効に使用されているとはとても考えられません。</p> <p>奈良町第1公園は広い荒野で雑草刈が主なところもあります。</p> <p>こういうところを利用してココハマスタイルの老人施設、乳幼児施設、障害者施設を同じ所に作り、長期入所者のところを乳幼児が毎日手を振って散歩する。障害者作品や老人作品を販売する場所確保などに結びつけてほしい。</p> <p>現在ある施設はバラバラで独立した人々の姿があるだけでその関連した人々が入り出するだけの淋しい姿しかないし、そういう所に一般人が入り出するのは難しい。開かれた施設にしていけば、地域の開かれた場所としてボランティア活動なども活発になるのでは、と考えます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>崖下、階段でしか行けない宅地は再築不能にして、将来的に居住できないようにして、災害時の命を守ること、行政コストの削減を図るべき。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策34「風水害に強い都市づくり」の主な施策4「崖地等の対策」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>港北区大倉山、大倉山駅前に住んでいますが交通面に不満があります。</p> <p>1-駅前の道路が狭い、片側1本しかない(これ以上上げたり増やすのは不可とは理解してます)</p> <p>2-駅前に信号がないので、歩行者が常に横断歩道を五月雨式に歩き車が渋滞する</p> <p>3-何故か横断歩道を使用せず、走行中または渋滞により停車中の車の間を縫うように横断する歩行者が多すぎる。中には走って渡る者も居て危険</p> <p>4-納品は理解できるが、一般人の路上駐車が目立つ。一台路上駐車するだけで大渋滞を起こし迷惑</p> <p>5-駅前にタクシー乗り場が無い。横浜市営バスとタクシー会社対話の上、バス停付近に1台タクシー停車することの了承は取っていたが、匿名にて毎日「バス停付近で客待ちするな」とクレームが入り、大倉山駅・菊名駅はタクシー客待ち禁止となったそう。タクシー利用者からすると不満。なにより匿名の意見を受け入れる状況に納得いかない。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の渋滞対策の参考にさせていただきます。</p>
<p>新規企業立地件数、市内雇用者数、昼夜間人口比、コンテナ船寄港数、コンテナ取扱量、クルーズ船寄港数、グリーンライン延伸整備、主要駅再開発事業の達成度は、横浜が持続する上で最も大切な指標です。政策の中に入り込むべきだと思います。またみなとみらい地区の就業者数14万人目標は少なすぎます。当初どおり19万人にすべきです。また横浜駅周辺、関内、新横浜の就業者数目標値を設定して課題抽出と国や民間企業の対応策を明示してほしいです。更に都市計画道路の整備延長が4年で目標5キロは余りにも短すぎます。政令市で最下位の都市計画整備率に対して消極的過ぎるのと同時に、現状のような歩道がない道路が錯綜する交通環境では高齢者がいらい歩行補助機やリハビリで社会復帰しようとしても限界点を生じてしまいます。道路整備についてもっと対策を練るべきだと思います。</p>	参考	<p>指標設定についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の発展に対する積極財政投資はとても良いことだとも思います。大規模開発をすれば、世代を超えて長期的な利益を生み出すことができ、財政の改善にも大きく寄与すると思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」の都市基盤の未来に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「戦略8」の「政策35」と、「戦略2」の「政策9・10」の関連についてこの「戦略8」の「政策35」は「戦略2」の「政策9・10」と密接に関わるものですから、相互に関連を持たせ、それぞれが政策の要素の中の重要な部分を占めることを明記して戦略間の連携を示しておく必要があります。現在の戦略・政策の構成であれば、平常時の施策である「政策9・10」の中に防災のための「政策35」の存在とその重要性を記しておくのが良いと思われます。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>人権保障もまた戦略として位置付けられるべきと考えます。</p> <p>全ての人の人権が保障される地域づくり、一人ひとり多様性を認め合い、差別を許さないことです。</p> <p>地域、企業、教育の分野における人権啓発が取り組まれるべきです。男女やLGBTQの差別、障がい者、高齢者、様々な疾病患者への偏見と差別、同和地区出身者や外国籍市民への差別やヘイトスピーチなどを克服する取組みが誰もが安心安全に暮らせる地域づくりです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
財源は、ハコモノ予算をカットして充当してください。	参考	様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
「9つの戦略」について 国際都市横浜、みなとみらいが横浜市の中心という発想はする 海外との接点はもはや航空機やネットであり、「港は海外との窓口」ではない。 横浜は国際都市とはもはや誇れない。 みなとみらい、港、臨海地区に集客能力、観光地としての魅力は低く、この場所で観光収入は難しいのは残念ながら明確。 住民生活の場は横浜市全域であり、市庁舎のあるみなとみらいが中心ではない。そういう発想があればやめてほしい。	参考	市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
38もの政策は総花的。 分かりにくいためもっと市民に分かりやすく。整理し重要度順にまとめること。 1. 住みよい街づくり ①子供たちの未来の街づくり（戦略1，未来に向けて） ②誰でも生涯活躍できる街づくり（戦略2，現在の生活向上）、 2. 住みよい環境づくり ①安全安心な都市づくり（戦略8） ②住まい環境、郊外（戦略5）臨海部（戦略6）、 ③自然環境戦略7：グリーン化、戦略3：自然環境ゼロカーボン（世界の潮流に沿って） 3. 経済・財政 ①経済活動（戦略9） ②経済成長（戦略4）	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
よい街にするには経済活動も活発化させ財政の健全化も必要。きれいごとだけでなく問題点も明確にすべき。 結局は自治体のやるべきことは明確でどこも同じだが具体的に実効性があるか、PDCAを回して、やりっぱなしでなく検証をして改善を重ねることも行政の方針としても明確にしてほしい。 先進的な横浜市は、きれいごとを並べるだけでなく政策実施のプロセスと結果を透明化をすることも大きな施策の一つとして加えてほしい。	修正	ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。
上瀬谷通信基地跡地利用件、全部を横浜一の大きな公園にしては如何でしょうか、公園内の樹木を一般に寄付、公募、子供の誕生とか入学、卒業記念結婚記念等で大きな公園にして残すべきと思われます。如何でしょうか。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
「9つの戦略」について 限られた財源で行うであろうことを考えると、選択と集中によって、重点を絞った方が良いのではないのでしょうか？	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 限られた財源で行うであろうことを考えると、選択と集中によって、重点を絞った方が良いのではないのでしょうか？ 38政策にそれぞれ100億円つぎ込んだら、3800億円とかなりのボリュームになります。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のIX③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>出産に関わる支援が国任せになっており、横浜市としての独自の支援をどうしていくかの言及がない。子育てをしやすい街に、横浜市で子育てをと言っているが、政策からは本気度が伝わってこない。兵庫県明石市のような充実した出産・育児支援を希望する。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>よりよく住みやすい社会を創るには、教育こそ変えていかないとないと思いが、現在は不登校、発達障害などをもつ子どもがどんどん増え、支援級の人数がここ数年倍増し、普通級に子ども達が居づらくなっています。今の子ども達に合っていない教育制度を早急に変えていかないと、何も変わりませんが、それにしては、教育に関して現状とあまりにも変わらない政策で、市民として魅力を感じません。</p> <p>まず第一に、不登校児に対応するというのではなく、不登校児をなくすために教育制度をどう改めるか考えた方がいいと思います。現状の内申やテストなど、単に学力を数値で評価される制度を変えない限り、子ども達は学校に戻ってこないでしょう。また、不登校児の意見やアイデアこそ、今後の学校のあり方を創っていくのに大切なので、子どもの意見を聞く場を設けてはいかがでしょうか。</p> <p>素案にある市の学力調査を基準にして目標を設定する方法自体、これからの社会にそぐわないと思われれます。もっと自由な発想で、子どもを点数で評価せず、子どものやる気を個々に起こさせる教育を考えるべき時代だと思いが。教員も内申や成績を付けるための労働が増え、授業の自由度が狭まり、自主性が持ちにくく、病欠も増えています。教員も子どももやる気を持って自主的に取り組めるように、特に小中学校の学校教育のあり方を見直していただきたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>国連より9月に障害者権利条約に関する勧告が出て、その中で、特別支援学校、特別支援学級の生徒数が増えている現状に対する懸念、また、そういった分離教育が、障害者を隔てる社会に結びついているということで、分離教育（特別支援教育）の廃止に対する計画を提出する様に国連から求められました。</p> <p>大阪府豊中市などはすでに何十年も前から真のインクルーシブ教育がなされていますが、そういった教育こそ、いろんな人を受け入れる土壌、臨機応変に対応する力、誰にでもやさしい社会に繋がっていくのではないのでしょうか。人材はそろっているのに、システムの問題だと思いが、そういった方向性も、もう一度見直し、政策に盛り込んでいただきたいと思いが。</p> <p>教育を抜本的に改革していかなければ、魅力ある都市にならないと思いが。教養や生きる力のある老人や中高年世代の協力を得ながら、改革により、様々なことに対応できる子どもが育ち、周りの人との繋がりが強くなり、誰もが安心して生きがいをもてる社会になっていくと思いが。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市市内に硬式野球の行える球場が、「保土ヶ谷」、「俣野公園」、「本郷公園」、「横浜スタジアム」と4か所しかない。</p> <p>2027年に国際花博を旧米軍上瀬谷基地跡地に開催する予定ですが、多額の予算を要し、中止して、その代わりにスポーツ公園施設（硬式野球場、サッカー場ほか）を造成、建設して欲しい。</p> <p>旧米軍上瀬谷基地跡地に是非公式野球の出来る球場を作ってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」、及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>9つの戦略はまったく総花的なものだし、簡単に税金を使いつぶす政策だけが並びます。事業計画等、税金の行き先の確認また見直しを始め、横浜市として誇りうるもの一つ一つ築き上げましょう。</p> <p>「市民の幸福獲得戦略」は何かを掴むために、市民の声また賢い専門家の声を聴く姿勢が欲しいです。そして税金をうまく収支し、日本一の街「都市」をつくり上げてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略4・5・6・7・9について                      政策は、場所（place）において姿を表し、その効果も場所において実感され検証される。                      横浜市は広大であり、行政の姿を見ることができる場所としては、目下のところ区を単位とすることが有効である。そして、横浜市政の方向として、各区の個性特色を生かし導き出すことを強く打ち出すべきである。                      この観点から、中期計画の諸政策が、各区にどのように反映するか、区単位の記述、説明を計画書に加えることを希望する。                      そのことにより、計画がより鮮明に理解でき、計画が実施された姿も身近に感じ、効果も具体的に検証しやすくなる。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策26、政策27、政策29、政策31について                      子供、高齢者、女性、障害者の利便性、居心地の良さを念頭に置いたユニバーサルなアイデアを駆使することを明言する。</p>	<p>参考</p>	<p>まちづくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>川上第一団地を1回なくして災害時用の施設を作る                      川上小は避難場所として狭すぎるし、アパートは空部屋も多く老朽化も目立つ為                      →川上インターが近いので卸売・小売チェーン店の誘致でもうれしいなー</p>	<p>参考</p>	<p>避難場所についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>9/22の午後6時からのNHKTVをニュースを見ていて、書く事にしました。SNSも入れました。そのニュースはさいたまの事でしたが数年後少子化で保育園が余る→募集しないそのニュースで困惑したお母さんの顔が映されていました。                      専門的かつ幅が広すぎて、具体的な政策については何が問題なのか皆目分かりませんが、とに角総花的すぎないかが私の意見です。                      先日の新聞では横浜市の財源財政（不足？）の事が伝えられていた様に記憶がありますが、現在の国力の事も考えると、もっと的を絞るべきではないでしょうか。ご不満の局も出るとは思いますが、これまでと同じ様な考え方の延長で計画を作るべきではない時代になってしまったと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>どんなになるのか知りませんが、大都市構想とか云われ続けていますが、横浜市が臨海部から郊外部まで市域が広すぎて計画が立てにくいのであれば臨海部と郊外部の区を整理統合し、それぞれ東京のように特別区を目ざした方が、住民には良いような気がします。摩擦があって進みます。</p>	<p>参考</p>	<p>「特別市」は市内に特別区のような新たな自治体を作るのではなく、区役所機能・住民自治を強化する行政区とすることを目指しています。ご意見の趣旨につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>魅力ある、街づくり、ガーデンシティ、健康づくりを目指すならもっと歩道を整備するのが良い都市部では車道を狭めて歩道を広げ店のテラスや街路樹を植えて憩いの場や活気を与える。                      人々の健康づくりに役立つ車社会から歩行社会への移行を促し、脱炭素社会となる。                      遊歩道や自転車道が整備された街には人々が集まってくる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」及び政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>郊外では境川遊歩道のような長距離の歩道を国際園芸博覧会の会場やズーラシア動物園近くの里山ガーデン、阿久和川遊歩道と接続するような広大な遊歩道網を整備してもらいたい。                      人々の健康づくりに役立つ車社会から歩行社会への移行を促し、脱炭素社会となる。                      遊歩道や自転車道が整備された街には人々が集まってくる。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市が尾駅近くの国道246号にかかる歩道橋に、エレベーター設置を希望します スロープも階段よりは楽になりますが、年老いた両親は坂道で距離が長いと息切れします 永楽整形外科前の歩道も平らにさせていただきたいです。 足の悪い方や杖を使っている方もよく見かけます 高齢化の昨今ご検討いただければありがたいです。よろしく願いいたします</p>	参考	<p>道路管理についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、国道246号に関しては、国にお問合せください。</p>
<p>無駄の見直しを大胆に行って欲しい。議員数の見直しも含めて！！</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>横浜独自の都市活性化戦略の考え方 今回の中期計画の策定は、時代の転換点、つまり長い人口増加の時代から人口減少の時代への転換を踏まえる必要があります。また、直近では横浜市民の大きな関心事であったIR計画の撤回後であり、新たな都市活性化への道筋も求められています。しかし大都市の活性化は一朝一夕で実現できるものではなく、過去の都市形成の蓄積の基に、横浜独自の未来像を描き具体化していかなければなりません。次期の基本構想（長期ビジョン）や都市計画マスタープランの策定などを通じて確立されるでしょうが、今回の中期計画でも提示された各戦略に応じた方向性を示す必要があります。</p> <p>私は、横浜の都市形成の歴史は大きなエポックによって、3つの時代区分ができると考えています。第1期は開国開港期であり、国際的にも最先端の技術が導入され、都心部や港湾の形成が進みました。第2期は被災復興期で、関東大震災や戦災の被害を乗り越えて市域拡張や臨海工業地形成、国際港都建設法の制定がされました。第3期は人口急増期で、6大事業による都市構造強化、民間開発の規制誘導、都市デザインの展開など自立的な都市づくりが推進されました。現在は第4期であり「都市づくり4.0」へのバージョンアップが求められますが、今回の素案では脱炭素化、オープンイノベーション、国際連携協力、グリーンインフラ、マイクロツーリズムなどの新しい要素も含まれています。都市活性化戦略として、一般論ではなく横浜のオリジナルな歴史・文化・個性を十分に意識したものを目指し、更なる発信力ある表現を期待しています。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略5および戦略6において、まちづくり施策の中にイノベーション特区などによる利便性改善や環境改善を明記してもらいたい。イノベーションとは企業活動である前に生活者への具体的なベネフィットとして実現しなければ、市民の理解は進まないし、結果的に企業活動も広がらない。 イノベーションについては戦略4に記載があるものの、巻末にあるfutureシナリオのように、それぞれの戦略は連携して実現されるような視点を常に意識しないと、サイロ化され手段が目的化される。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市民生活が明確に変わったと実感できる事案が、毎年起きるようなロードマップをつくり、毎年実現度を検証してもらいたい。2022年にすでに実現してあるものは広く周知してもらいたいし、2023年に試行を予定されていることがあればベータ版参加者を広く募るなど市民参加を促し展開普及しやすいアプローチを取ってもらいたい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略」について 成長ばかりが目立ちます。脱成長戦略が必要です。高層ビルを建てるのでは無く、横浜市に広大な自然と田畑があります。人が生きるには、水と食料が欠かせません。今ある「川」を保全して「田畑」をもっと広く活用に「米4」「麦」「蕎麦」等の穀物の増産が必要です。川が有り、池が有り、田畑が有る事で、昆虫・鳥・花々が咲き誇る自然が再生されます。空気もきれいになります。太陽光発電とメガ「蓄電池」を各区に設置すれば「停電」の不安が亡くなります。災害用井戸の保全が必要です。今横浜市は「再開発」と称して「川」「池」「災害用井戸」「田畑」を無くそうとしています。横浜市の未来は「緑」が多い森林が多い、そしてその「自然の恵」を活用した「産業」の再生が求められています。生きた人間・生物を大切に、未来都市でありたいと思います。自然を一端壊したら戻すことが出来ません。みなとみらいの開発はこれ以上やらないで下さい。無機質な環境がつけられ、息苦しい横浜市になっています。今の「野毛」のような人のおいがする街にしてください。</p>	参考	<p>環境保全についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>9つの戦略及び38の政策                      沢山掲げているのは頼もしいが・・・それぞれの政策の具体的な内容と優先順位、タイムスケジュールを明確にして欲しい</p>	参考	ご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>脱炭素だ、自然だ、災害だとの掛け声は立派ですが航空写真を見れば判るように市内には殆どまとまな緑地は少なく市街化調整区域でさえも虫食い状態で開発されています。元米軍機基地であった上瀬谷や深谷も開発が行われるようです。                      思い切って何も手を付けずに原生林に戻す政策をとられたら如何ですか。温暖防止対策と河川氾濫防止の一助にはなるかと思えます。                      50年も手を付けなければ相当な自然回復が出来ることでしょう。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>戦略8・9とも目的は理解できる。問題は、それをどう実現していくか。同じ目的が達成できるなら、かかるコストは必要最低限の手段を選ぶということを徹底してほしい。                      たとえば、市内で更新中の水道管の品質。一定以下の大きさの管については「ダクタイル管」にこだわる必要は全くないはず。                      日本国内の他都市の多くは、より軽く、より安価なポリエチレン管などを使用しており、効果も問題がないと聞いている。なぜ、全ての管に重くて、値段が高い「ダクタイル管」を用いなければいけないのか？水道料金を値上げする前に、もっと検討できたことがあるはず。市民の税金や市民が支払う水道料金は、市の幹部職員の下取り先を確保するためのものではないということを肝に命じていただきたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策33「地震に強い都市づくり」及び政策38「公共施設の計画的・効果的な保全更新」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>上瀬谷地区は埼玉にあるような大きな公園になるといいなと思ってます。できれば大きいグラウンドも作ってくれるとうれしいです。やたらと遊具をおかないで、原っぱみたいな広々としたところで。草はヤギを飼って食べてもらうとか。                      移動は車でいいと思います。無理に線路を作らなくても、休日はキッチンカーが来て色々料理があれば楽しいかなと。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>くまなく路面電車を敷設しましょう。</p>	その他	交通施策についてのご意見として受け止めさせていただきます。
<p>瀬谷区の米軍通信所跡地の開発についてですが、戦争のため米軍基地であったことを後世に知らせるため、平和資料館など中核にした公園にしてほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>活力ある都市農業の展開で、中学校給食を自校式(親子等含む)にすれば、地産地消で新鮮な野菜を利用出来ます。                      デリバリー型だと、業者の都合になり、数量も多くなり「地産地消」は難しくなると思えます。                      戦略4-20は商店街の活性化ともありますが、農家にも畜産業、漁業の生産者さん、取次の業者にも安定した供給先の給食はメリットあると思います。                      私の結論として、デリバリーでなく、自校式等、学校のより近くで提供する場所での調理は、若い世代の横浜市への定着化に貢献すると思えます。                      デリバリーは所詮、業者の資産。自校式等は市民の資産になりますので、是非、食べる所に近くで調理するをよろしく願います。</p>	参考	現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「9つの戦略」について 重点施策ないし優先順位を明確に。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
最近では子供がのびのびとスポーツをできる公園が少ないと思います。 公園で野球やサッカーをしていてもボールの音がうるさいなどと怒られることもあり、かわいそうだと思います。小学生は体を使って思いっきり遊んだほうが健康にも良いと思いますのでそのような環境がほしいです。 今ある公園でただ遊べれば良いだけなのです。学校から帰って来て遊ぶそのような場もいつかは無くなってしまわないかと心配になります。	参考	ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。
2026年国際園芸博覧会の計画中止を 前林市長が計画したものの多額の費用がかかります。その他の利用のめどもなく、財政困難な折、計画の中止をお願いします。 そのお金をかけるならブラックといわれる教育現場や特別養護老人ホームの増設をおねがいします。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。 後段のご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。
IRの予定地又は花万博の後地に世界に無いアトラクション施設を作り世界の観光乗客を呼び込む。例えば映画で機械化恐竜や絶滅危惧種の動植物、シーラカンス、及びオーム貝等及び日本の貴重種、世界の貴重な動植物の展示、珍しい剥製、ハチ公、南極太郎、次郎等深海の動植物、高山植物、普段見られない動植物を生きた状態で展示する。 又は月面及び火星面を作り、宇宙服で探査車による巡回、仮想住宅での宿泊、地上と地下を掘り下げた設備による、無重力の体験、高風力機器による浮遊体験、宇宙船の乗船、宇宙関連機器のロケットを始め過去から現在、未来を含めた関係機器の資料や物品の展示を世界各国より集める。	参考	まちづくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
ガンダムを常設しアニメ系を集めた施設を作る。アニメ系は世界でも人気があり、近未来的な非日常的なものはストレスを緩和してくれると思う。 ただし短期的なものはすぐあきるので何年か毎に企画を変更していく。	参考	まちづくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
一定地域ごとに大きめのコンポストを設置して近隣住民が生ごみが入られるようにしてほしいです。そうすれば一定のごみを減らせるのできたい肥は地域の花壇や住民のガーデニングに使えるようにしてほしいと思います。	参考	ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」の主な施策2「食品ロス削減の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
現在、神奈川県、横浜市は東京を中心とした一部三県の文化経済圏の中で生きている。従来は東京一極集中の恩恵を受けてきた。この傾向が一段落した現在、横浜の立つ位置は自ら切り開いていかねばならない。 私は横浜は今経済成長でなく、教育文化都市として存在価値を高めるべきと考える。横浜は消費水準も高く、教育水準の高い家庭が多い。市内の子供は市内の優良中学・高校に進むが、優秀な生徒ほど東京の大学に進学する。 東京でも東京工大、東京医科歯科大の統合協議が進んでいる。名古屋大・岐阜大の統合機構はすでに機能している。 横浜では横浜国大の統合構想は昔から議論されているが、一向に進まない。横浜が世界に冠たる教育文化都市となるため、山下ふ頭の一角でも、上瀬谷地区の一部にでも、横浜総合大学（国大、市大、私学も含めた）を設立し、将来名古屋大同称、ノーベル賞受賞者を出してもらいたい。	参考	大学についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
中長期的な9つの戦略につきましては理解できますが、4年間で取り組む38の政策につきましては多いような気がしています。もう少し絞った方がよいと思いますが。	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>良い町造りについて 私の住んでいる地域は、駅の周辺は旧態依然のように細々と農業が営まれており、通勤の利便性を阻害している。即ち、町の発展の障害となっている。 この問題は我々住民だけでは解決できず、行政が前向きに、“良い町造り”を推進すべきと考えます。</p>	参考	郊外部のまちづくりについてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>区の行政の中心区役所の存在の大きさと充実、育児検診、予防接種、様々な生活を守る手続きや交流、学習の場</p>	参考	行政運営3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」では、「市民に身近な行政サービスを市民により近いところで行えるよう、区の更なる強化」を図ることを目標として掲げています。ご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。
<p>政策26、政策29 規模の大きな開発事業は、PFI・PPP・DB方式など新しい形態で実施されることが多いことを危惧している。これら方式の場合、横浜市と直接契約を締結する事業者は在京の大手企業となることが大半で、下請となる横浜市内業者には安価な発注がされ、横浜市民の多くの血税が東京に流出することになる。横浜には歴史も経験も豊富な老舗の建設会社や設計会社があり、そうした事業者の大半は協力会社（下請）も地元業者である。これら地元業者は、市民の生活基盤や災害時の救援・支援などに粉骨砕身の奮闘をしてきており、市民生活・市内経済の重要な支えとなっている。こうした地元業者を最大限に活躍する場を提供するために、大規模開発事業であっても分離発注を徹底し、工区・工種・工期を細かく細分化し、地元業者が元請として受注できるよう計らうべきである。</p>	参考	発注についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>P55・56の高齢者支援について、2 社会参加の推進とあるが、ボランティア活動実績が指標となっているが、人材を有効活用してこそ市が繁栄するし高齢者側も社会参加が推進される。雇用を行う民間業者誘致支援の推進についても施策検討を願いたい。</p>	参考	ご意見につきましては、政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」の主な施策2「社会参加の推進」及び政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策3「事業活動を支える柔軟な働き方の実現とシニア等の人材の活躍支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>小学生～中学生が利用できるスポーツ施設が少ない。特に夏、炎天では活動できないが、屋内で気軽に利用できるプールや体育館を増設してほしい。都市部のエンターテインメント用ではなく、地域の人に活用しやすい施設を。</p>	参考	ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>大規模な開発はもう止めて、子育て、介護関係のお金に使って下さい。 保育士＆介護士の待遇改善</p>	参考	ご意見につきましては、政策2「切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～」及び政策15「高齢者を支える地域包括ケアの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>学校教育で最も忌まわしい問題としていじめがあります。状況によっては子供の生命まで奪うものだからです。しかもその要因（因子）が教育現場に根強く存在し続けていると思われまます。この現実にも市の姿勢を示しておく必要はないですか。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>学校のいじめ問題も含め大人社会でも様々な差別問題が提起されています。市民生活を送るうえで基本となる人権意識、この人権問題への取り組みについて市の考え方を示しておいたら如何でしょうか。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案のⅠ「中期計画の特徴」の1「計画策定にあたっての基本認識」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>次の用語は日常用語として確立していますか。推察できるものがありますが、私にはよくわかりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的養護</li> </ul>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を追記しました。
<p>国際園芸博覧会開催後、上瀬谷通信基地跡地を魅力ある都市像、持続する経済活性化に活用していきたい。</p> <p>以下のポイントは、新しい形の観光、魅力ある郊外部のまちづくり、自然豊かな都市環境、グリーンインフラそれぞれに関連する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>フットパスの中心地として整備する 伊勢原市、厚木市、綾瀬市の方角から上瀬谷を通って渋谷区までを結びイメージ。</li> <li>日本在住者、外国からの入国者ともに日本を歩きたい方が潜在的に多いであろうと推測する。 中世からの古道に共感するもの。</li> <li>現代の物語館を整備する たとえば、絵本作家を招いて画風に触れるといったワークショップをおこなう。</li> <li>空飛ぶ車の発着場を整備する 厚木基地との連携もありえると推測する。</li> <li>豊かな自然を残す 牧草地のような風景をまとまった面積で残す。起伏がある草地をこどもが走り回れる空間。ビオトープ、蝶の食草エリアを整備し、昆虫がいる空間にする。 帷子川、相沢川、和泉川、大門川の源流の地形を残し、それを観察できる場所とする。</li> <li>人間フレンドリーな遊具施設を整備する グリーンインフラにマイナスになりすぎない程度に遊具施設を点在させる。数か所の遊園地などがなくなった状況の中、家族、友人が回帰する場所を考えたい。</li> </ol>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「9つの戦略」について 環境を意識しすぎだと思えます。 戦略3と戦略7はほかにやる事がなくなった時点で取り組むべきだと思います。</p>	参考	計画の推進についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「38の政策」について 戦略7に基づく政策は不要と思えます。</p>	参考	計画の推進についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策1、2、16、18、19、27について これらの政策を実現する基本インフラは、何といたっても、ごみの戸別収集です。 政策18、19実施のために、各戸にごみと循環資源について責任を持たせることができます。現行の集積所方式だと、どうしても分別に無責任な人達が出て来たり、通行人がごみ（ひどいものでは、粗大ごみ）を放置することがあります。 政策1、2、16実施のためには、ごみと循環資源の戸別収集が不可欠です。 集積所方式だと、早朝から日中まで、子育て世帯、高齢者世帯、介護を抱える世帯であっても頻繁にある当番で、身を削って倒れそうになりながら、集積所の準備と片付けを行っております。どの世帯であっても、これら何らかの負担を抱えているので、助け合いで誰かが代わりに行うというのはありません。共働き家庭の中には当番のために仕事を休む人（大抵は妻）もいます。かつての専業主婦を前提とした集積所方式、ステーション方式は男女共同参画という政府の方針にも反します。 このように、ごみの戸別収集が、政策27でいう豊かで暮らしやすい住まい・環境づくりの実現に不可欠であるといえます。 東京では、ほとんどの自治体が戸別収集を実施しております。東京の人々や政策担当者は上記のことをよく理解しております。それに比べ横浜はこの分野でも相対に遅れています。横浜は東京にここでも負けております。</p>	参考	ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>山下ふ頭における多機能図書館とアートを中心とした創造都市  山下ふ頭は、横浜の開港当時から発展してきた横浜の中心部に展開する広い土地です。2040年頃の横浜のあるべき姿を考えた時、より多くの市民が日々の課題を知って、考え続けていく姿勢が必要であると考えました。</p> <p>そこで私は、ここに、市民が何度も訪れたいような多機能図書館と現代アートの美術館をつくり、横浜市の象徴的な場所にしたいと思いました。海に開かれた多機能図書館で培われた想像力や未来への夢は、横浜の未来も明るくしてくれるのではないかと考えたからです。</p> <p>*まちづくり基本構想の1～5【戦略6政策29に関連】  *まちづくり基本構想の1【戦略9政策36に関連】  *まちづくり基本構想の3～5【戦略6政策30に関連】  *まちづくり基本構想の3と4【戦略1政策6に関連】  *まちづくり基本構想の4と5【戦略4政策22に関連】</p> <p>基本構想を5つに分けて、関連する戦略を記しました。最後に別地域での展開として、ZeroCarbonの実現に向けたクリエイティブリユースの提案も記載しました。</p> <p>*まちづくり基本構想クリエイティブリユースの提案【戦略3政策19に関連】  *まちづくりの基本構想—1【戦略6の政策29と戦略9の政策36に関連】  ・インナーハーバーにおける水上交通の拠点とする。  →水面を大きな広場と考えたふ頭の活用  ・具体的な施設整備  現存する波止場の機能を活用し、大型クルーズ船クラスの船を就航させる。  棧橋を増設して、水上バスを定期運行させ、市民や観光客の交通手段として活用する。  →大型クルーズ船クラスの船をランチとディナーの時刻に合わせて就航させる。  →水上バスにも対応した施設整備を行う。  大岡川の橋の下をくぐることも考え、船体は低いが見晴らしのよい船を使用し、「水上交通の拠点」として市民や観光客が日常的に利用できる交通手段の役割を果たす。</p> <p>*まちづくりの基本構想—2【戦略6の政策29に関連】  ・横浜市内の魅力的なスポットを繋ぐ施設とする。  →市民に開かれた情報発信拠点  山下公園側は広場として使用し、横浜市内の農産物のマーケットや文化芸術拠点の紹介、みなとみらい地区に集まる企業の研究施設を紹介するワークショップ、リサイクルマーケットやクリエイティブリユースのワークショップなどを長期休暇や週末毎に定期的に開催する。  市内に点在する魅力的なスポットを紹介し、そこで活躍している人や物が交流する情報発信の場としても機能させる。ここで出会った人や物や体験が、各区で展開している魅力的な場所や事柄を、市民に広く知らせるきっかけとなり、その活動が市の郊外部へと広がっていくと考えた。</p> <p>・具体的な施設整備  象の鼻パークのような大きな窓のある開放的な建物と屋根だけのオープンスペース、大きな公園のような広場で構成する。  →山下公園と元町や中華街方面からは、歩道橋をつなげて、人が行き来しやすいようにする。  →山下公園までエアキャビンを延長させて、人の流れを誘導する仕組みとする。</p> <p>*まちづくりの基本構想—3【戦略1の政策6と戦略6の政策29・30に関連】  ・横浜の都市デザインの拠点的な施設として、大きく開かれた図書館にプラスして、アートを中心にした感性を育む施設（多機能図書館）をつくる。  →市民に広く開放された図書館をつくり、子育て中の家族が気兼ねなく演劇や音楽を楽しめる施設もつくる。この施設で行われる造形活動は、想像力を育むことを目的としたもので、工作キットなどを安易に使用するのではなく、自由な発想の造形活動を行える場所と、芸術活動を支える専門家の研修施設でもある。子どもから大人まで、市民が繰り返し訪れたいような魅力的な場所となることを目指す。</p> <p>・具体的な施設整備  2019年に世界一に選ばれたヘルシンキ中央図書館のような開放的な多機能図書館をつくる。  子育て中の家族が気兼ねなくアートを楽しめるよう、青山にあった「こどもの城」の</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ような機能をもった施設も設ける。  →子育て中の家族や中高生から大人まで、多世代が利用できる開かれた図書館をつくる。  →朝から晩まで過ごすことができ、調べものや勉強をするだけでなく、先端機器やスタジオ機能も活用できるような施設にする。</p> <p>ヘルシンキ中央図書館  →建物は3～4階建ての太陽光や海へ広がる景色をふんだんに取り入れた開放的なものとし、山下埠頭の立地のよさを味わえる展望デッキもつくり、想像力を掻き立てる場所とする。  →書架を低くして、子どもや車いすの方も本を手に取りやすい施設とする。  →特徴的な建物と夜間の灯りが、人を惹きつける空間となる。</p> <p>・ソフト展開  子どもや中高生が感性を高め、興味関心や勉強を自ら進んで楽しんで行える施設を運営する。  大人も心地よく過ごせる市民が何度も訪れたいくなる施設とする。  →横浜市は子育てや子どもの教育に力を入れている。  →子どもの自発的な学びの重要性は、AIが今までであった仕事を担うことになっていく社会の中で、ますます重要になってくると考えられている。</p> <p>欧米のArt Education（芸術教育）は、小さな頃から自主性を重んじる教育で、多くが自分でやりたい課題を探して作品を制作するスタイルが主流である。自分たちで決めた課題を共同で担うとき、自分と違う意見に出会い、時には自分の意見を修正することになる。この繰り返しの中から、課題が完成へと積み上げられていく。このコンセプトやプロセスを重視する姿勢が、大学や社会に出てからの高等教育や企業内での活動にも生かされることになる。それはゼロから1を見出していき想像力に直結する重要な学びの経験である。これは正解のないアートだからこそ、失敗を恐れずにチャレンジできることである。</p> <p>このような経験を積み重ねていくと「自分はどんなものが好き」という感覚が持てるようになる。これは人が幸せに生きていく指針になる重要な要素となると考えられている。また、虐待などで暴力的に生き生きとした感受性や自己肯定感が損なわれた人が「自分はどんなものが好き」という感覚を取り戻すことは、レジリエンスにもつながる。アートは、この分野でも重要視されている。</p> <p>→ニューヨークの美術館のアートエデュケーション施設や青山にあった「こどもの城」を参照して、多方面の造形活動が楽しめる施設やプログラムを展開させる。小さな頃から芸術に触れる経験は、成長してからも文化芸術に親しむことができる、生きていく上での多幸感に繋がっていく。</p> <p>→感性教育を育むレッジョ・エミリア（イタリアのレッジョ・エミリア市で誕生した、子どもを中心に据えた都市政策の考え方）のアトリエスタのような教師やアートセラピーの専門家の研修施設も整備し、人材育成に努めることは、長い目で見ると、横浜市内の教育水準を上げていくことに繋がり、経済を活性化させることに結実していくと思われる。</p> <p>→横浜の開港から現在までの歴史に、中華街や元町、山下埠頭など、苦難や民間外交の歴史も含めたコーナーを設置して、横浜市への理解を深める。  →施設は10時から21時まで開放し、カフェも併設し、長時間滞在できるようにする。</p> <p>→読書や勉強に集中できる、静かでリラックスできる雰囲気がある空間と、文化イベントやコンサートが楽しめ、物づくりや学びの場として積極的に関わられる施設が含まれている。</p> <p>*まちづくりの基本構想－4  【戦略1の政策6と戦略4の政策22および戦略6の政策29・30に関連】</p> <p>・現代アートの美術館をつくる  →社会課題にも積極的に関わっていく美術館とする。</p> <p>・具体的な施設整備  現代アートの美術館をつくる。  →可能ならば、印象的な建物にして、外観からも人を惹きつけるものになりたいが、外観が豪華なものは予算が高いため、シンプルな外観でも、内容の濃い施設としたい。</p> <p>・既存倉庫を1か所残し、2018年に閉館したBankART Studio NYKを再現する。  →取り壊しの時期が決まった倉庫空間で、暫定的に活用するのでもいい。</p>		

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>→アーティストのレジデンス施設を用意し、作品の販売やリユースをコンセプトにした参加できる工房をつくる。</p> <p>→関連書籍や物品の販売ショップやレストランやPubをつくる。</p> <p>・ソフト展開 現代アートの美術館の存在意義 →多様性が重要だとされる現代社会において、アーティストが作品に込めた思いを知ったり想像したりすることは、見る人が社会課題に目を向けるきっかけにもなる。若い人に人気の場所でもある。</p> <p>→小学校3～4年生ぐらいの時、市内のすべての学校の生徒が、多機能図書館と現代アートの美術館を訪問できるようにする。同級生と不思議な空間を訪れた共通体験は、10年後、20年後に、生まれ育った場所につながりを感じる貴重な経験になっていくと思う。</p> <p>→現代アート作品は、写真撮影が可能なものも多く、作品を前にして、その意味を問う面白さもある。複数人で感想を交換する対話型鑑賞とも親和性があり、自分と違う感性を持つ人の存在を再認識させ、学びを深めるきっかけにもなり、魅力的な体験となる。</p> <p>・4の付属：アーティストが作品を販売する場、一般市民が作品を購入できる場を整備する。</p> <p>→創造都市として横浜市が持続可能なまちづくりを進めるには、アーティストが経済的に自立できる環境整備をすることが必要である。</p> <p>アートに関心を持つ一般的な市民が、作品を買ってアーティストを応援したり、インバウンドや国内富裕層に向けてもアート購入の提案ができる。</p> <p>→ロケーションの良さを生かしたPub営業で、様々な分野の人たちの交流の場となる。</p> <p>* まちづくりの基本構想－5【戦略4の政策22と戦略6の政策29・30に関連】</p> <p>・アートを楽しめるホテル、レストランをつくる →ロケーションを生かしたアート作品と過ごせる空間をつくる。 →横浜に宿泊したくなる街としての魅力を創出させる。</p> <p>・具体的な施設整備 アートを楽しめるホテル、レストランをつくる。 →港の見える丘公園からの眺望を考慮して3～4階建ての低層のものとする。 →ふ頭全体の夜景を魅力的に演出する。 →現代アートのコレクター（高橋龍太郎コレクションや小山登美夫コレクションなど）、ギャラリーの協力を得た部屋、作家本人が自分の作品をコーディネートした部屋を用意することにより、宿泊客独り占め空間を確保することができる。 →宿泊者特権で、朝晩の一定時間内は、ホテル内のギャラリースペースの作品を宿泊者のみが鑑賞できるようにする。 →このホテルが成功すれば、周辺に小規模なアートホテルが展開していく可能性が生じる。</p> <p>・ソフト展開 ホテル内で、生活空間にアート作品が存在する楽しさを味わう。 →アートホテル内で、部屋の中にアート作品が存在する楽しさや高揚感を味わうことは、体験した人に多幸感をもたらす。 →いつか自分の家にもお気に入りの作品を飾りたいと願う気持ちは、長い目で見ると、アーティスト支援にも繋がっていくと考えられる。 →日帰りの観光客が圧倒的に多いとされる横浜の現状を変えるきっかけとなる</p> <p>・補足展開 →今後の展開としては、近隣にコンテナ輸送の基地が存在しているし、倉庫業も発展している地域であることから、市内に富裕層のアートコレクションを保管しながら展示する施設が展開することが期待できる。保管技術を整備できれば、魅力的な展開が可能と思われる。</p> <p>* まちづくり基本構想クリエイティブリユースの提案【戦略3政策19に関連】 埠頭とは別の場所で、クリエイティブリユースの施設を展開することを提案したい。 クリエイティブリユースとは、ごみの中に紛れている、廃棄してしまうのは惜しい美しさや面白さを秘めたものや、私たちの目に触れないまま有償で廃棄処分されるごみに、新しい命を吹き込み再び流通させることだ。ごみに見えていた物も、材質や色分けなど分別によって魅力的な素材に変貌する。ものづくりを楽しむ大人や子どもたちの創造的な教育活動に活用したいと考えた。クリエイターが介在すれば、魅</p>		

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>力的な製品となるかもしれない。そこで働く人は、週1～2回4～5時間で市内から募る。定年後の人が自分の得意な技術を教えたり、子育てや介護で外出の機会が少ない人も、短時間でも働く場を持つことで、新しい人間関係に生きがいが生じるのではないかと考えた。</p>		
<p>「9つの戦略」について 「市民の人権を擁護し、ジェンダー平等を進める」「住民自治にもとづく姿勢の運営」「憲法9条がいきる平和なまち横浜の実現」を戦略にすえ、具体的な施策を展開すべきである。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 以下の政策を加える * 各種審議会の委員は公募枠を増やし、男女同数を基本とする。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 以下の政策を加える * 自治基本条例を制定し、常設型の住民投票条例制度をつくる。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 以下の政策を加える * 市内の基地の全面撤去と跡地利用計画を市民とともに進める。</p>	参考	<p>米軍基地の跡地利用についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 以下の政策を加える * 核兵器禁止条約批准国となるよう政府に働きかけるとともに、横浜市議会の非核平和都市宣言をいかして国際平和友好事業を拡充する。</p>	その他	<p>平和施策についてのご意見として伺います。</p>
<p>栄区公田町の公田交差点の辺りから順次歩道幅が拡張され、歩行者に優しい道路設計となっているが、栄区中野町16-1の本郷小学校の少し手前辺りから歩道の拡張工事がストップしており、歩道の幅がかなり狭くなっている。歩道の拡張には本郷小学校の建物の場所自体の移築工事などが必要になってくるかもしれないが交通量の多い道路という事もあり、行政には子供たちの安全も含めた善処をお願いしたいです。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>9つの戦略を横浜市がしようとする時市民の参加が必要です。 市民一人ひとりがパソコン、スマホなどの情報機器の操作ができれば市と市民の間で問題を我が事として共有することができましよう 私は85歳です一回目のコロナ予約時に息子の助けを借りてしまいました。 そこで提案です。市が学びの教室を開いて下さるとありがたいですが、動かない方たちの為に市が郵便局に委託して（有料で例えば1回500円）局員なら信用できるので家に来てもらってスマホの操作を教えてもらうというのはどうでしょうか。 動けなくても、機器の操作が分かれば個人が独立して豊かで暮らしやすい（政策27）市となりましよう。 追記：前回のコロナ予約時に最寄りの郵便局が親切に対応して下さいました。 かかりつけのお医者さんと同じようにかかりつけの郵便局のアイデアはどうでしょうか。</p>	その他	<p>市政運営についてのご意見として伺います。</p>
<p>&lt;pp81-84上瀬谷開発pp90-94都心臨海部のまちづくりpp110-112交通ネットワーク・高速道路&gt; 日本が上げ潮だった頃ならば兎に角、今や国力は下がっており、少子高齢化で横浜市も人口減少が避けられない情勢の中、大型開発・ハコモノは、将来のお荷物・負の遺産になりかねない。ただでさえ、3年間で1000億円もの収支不足が見込まれているのだから、これらの事業は「中止」して貴重な財源は他の重要施策にまわすべきだと思います。（カジノ計画が撤回されて本当に良かった）</p>	参考	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「9つの戦略」について 正直に申し上げますと、内容は良いのだが具体的政策立案の視点に欠けているようです。 進捗具合はどの程度なのか？実現可能性は？市幹部の定期異動で政策が継続的に実行できるのか？など。 海外へ行く機会が多く（年3回以上）、「YOKOHAMA」をご存知の方は非常に多かったです。でも、自慢できる政策やビジョンは何も語れず、単なる観光と歴史しか話せなかったのが非常に残念でなりませんでした。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「38の政策」について 内容は良いのだが具体的政策立案の視点に欠けているようです。 一体、どれだけの市民が横浜市の方針の実行について、具体的かつ実際の利便性等の享受を感じているのか知りたいです。 選挙結果（自身は公約は殆ど信用していない）だけではわかりません。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>「戦略⑧・災害に強い安全・安心な都市作り」「戦略⑤・新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」を達成するため有効と考える戦術についてコメントします。 戦術は郊外部のローカル視点に立った情報機関の設立「コミュニティFMの開局」です。 私の本籍がある横浜市栄区は、柏尾川やイタチ川、それに大丸山や円海山など豊かな水や緑に恵まれた郊外部の街です。 自然の恵みを受取る一方、昨今の気候変動の影響もあり崖崩れや河川の氾濫などの自然災害の恐れは年々高まっているように感じられます。 栄区だけではなく、自然と共生する郊外部では同じ様な課題を抱えている街が少なくないのではないでしょうか。 今年10月1日、郊外部の金沢区では新たなコミュニティFMが放送を開始しました。 金沢区では2019年、大型台風の影響により沿岸部の企業や住宅が浸水等の被害に遭いました。 今回のコミュニティFMの開局により、金沢区では今まで以上に防災情報を正確かつ迅速に周知することが可能になりました。</p>	参考	ご意見につきましては、災害情報の受伝達手段の一環として参考にさせていただきます。
<p>また防災の側面だけでなく、区の行政関連のお知らせや民間イベントの情報等を細めに放送することで街の価値や暮らしの質の向上にも一定程度貢献していると考えます。 また戸塚区でも既に2009年にコミュニティFMが開局していて、地域の身近な情報機関として定着し情報インフラや賑わいの創出の役割を担っています。 私は「戦略⑧・災害に強い安全・安心な都市作り」「戦略⑤・新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」に寄与するのが、ローカル視点に立った情報機関の設立「コミュニティFMの開局」と考えます。 &lt;市民を情報で守る！&gt; &lt;市民を情報で豊かにする！&gt; ことが出来るからです。 「コミュニティFMの開局」を人口減少が進む栄区等の郊外部活性化の有効な戦術としてご検討願います。</p>	参考	ご意見につきましては、災害情報の受伝達手段の一環として参考にさせていただきます。
<p>P84、92、112 大型開発はやめて下さい。</p>	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>全国の9割が実施されている中学校（ほとんどが望んでいる小学校方式）何故にこうも実施されないのが様々な利用を考慮しても不思議。生徒自身が望んでいる事、特に食べる事です。それを理解しない市政に生徒たちは不信感を持ち続ける事でしょう。未来ある子供が信頼する出来る市政の姿を見せて下さい。戦時中を生き抜き戦後の食糧難を生き抜き、これからこれでゆっくりできるようになったと思つたとたんの風当たり、年金の年々の引き下げ、窓口負担の2割負担、目白押しの負担増、現役の時には言われた通りの掛け金を積み立て、楽しみにしていたその積み立てを勝手に無駄遣いして、金が足りなくて若者を食い物にしているとの論法。どこまで年寄を苦しめるのか。せめて横浜から温かい政策の発信。</p>	<p>参考</p>	<p>現在の契約が終わる令和7年度末を見据えた実現可能性や長期的な財政負担、公平性の観点から新たな給食の開始時期は極力全市一律に実施することなどを総合的に勘案し、本市の現状を踏まえた最適な実施方法として、民間事業者の力を最大限活用できるデリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しました。いただいたご意見も参考に、引き続き検討を進めてまいります。また、後段のご意見につきましては、高齢者施策に関するご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P2の政策19「持続可能な資源環境の推進について」 P3政策32活力ある都市、農業の展開、政策26にも通じる 現在横浜市では、家庭から出される生ごみのほとんどを収集し焼却していますが、この「生ごみ」こそ「資源として循環して欲しい。土と混合して有機肥料にする（土壌混合法）ことで、有効活用できます。外国から化学肥料、化学飼料を買うのではなく、自給自足できればCO2を減らし、脱炭素社会の推進にもSDGs達成にも貢献すると考えます。 そこで提案です。専用ごみ袋で分別回収した生ごみを高速堆肥化施設で発酵させ、推肥にする→希望する農家に配布する。→有機栽培野菜として横浜ブランドにする。地元市民に食べてもらう、です。 又、バイオガスプラントのガスエンジンで発電することも可能（バイオマスリサイクルシステム）。バイオマス発電は「循環事業」と捉えられるので、資源循環局での事業として行う。その施設を建てる用地として、旧上瀬谷通信施設地区の広大な敷地を活用してはどうでしょうか。花博開催後の敷地の運用もまだ決まっていなないのであれば、是非検討していただきたく幸いです。（2022年8月6日（土）付、新聞の記事を参考にいたしました。）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」及び政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>大型開発に税金を使わないで下さい。 84P上瀬谷92P都心部112P高速道路）開発 カジノが白紙になったこと評価しています</p>	<p>参考</p>	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略1政策3、戦略2政策14について ☆生活困窮者、特に一人親家庭への支援策の具体化 一人親の貧困率は2人に一人と言われ、コロナ禍で収入が減少した割合は37.6%というデータがあります。生活保護世帯においても、ここ数年生保の基準額が徐々に下げられている中でこの物価高のために、大きな影響を受けている家庭が少なくありません。法人として食糧支援を継続開催していますが、若年層の姿が多く見受けられます。小さなお子さんを抱いたお母さんが、お米やパスタ、ベビーフードを手に入れ「本当に助かります」と言われます。その後もフードドライブとして継続提供をしている方もおられます。命を維持することはもちろんですが、親が生活に追われ続けるとネグレクトになる場合も少なくなく、小さな子どもにとっては、自己肯定感の育成が阻害されます。自己肯定感がはぐまれないと、貧困の負のスパイラルからの脱却はむづかしいと思います。基本戦略に「子育てしたいまち次世代をはぐまむまヨコハマ」をあげているなら、一時的な策ではなく、各方面からの困窮世帯の子どもたちへの継続性のある支援を具体化するべきと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>大規模開発について 山下ふ頭の再開発、上瀬谷旧米軍基地跡地開発と大規模開発に向けた準備が進みます。計画の推進に当たっては、政策形成過程での庁内の議論をきちんと記録し、節目においては市民との意見交換の場を設けて進めてください。新型コロナウイルスのパンデミックで大きく変容した社会・経済状況を考慮し、持続可能な社会の構築をコンセプトとしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「9つの戦略」について 人を中心しつつ、街のあり方まで過不足なく、前向きに整理されていて良いと思います。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 今、必要な政策がほぼもれなく盛り込まれていて良いと思います。 話題になっている小児医療費助成や中学校給食も方向性が示されていますし、内容も良いと思います。 中学校給食は色々と考えはあるでしょうが、子育て経験したものとして、まずは全員喫食を導入することは大きな前進と評価します。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「9つの戦略」について 実現を期待します。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「38の政策」について 自分が思いもよらない事柄まで書いており、よく練られていると感じます。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。
「9つの戦略」について 都市整備よりも人に重点を置いたことは、林文字子元市長から山中現市長への交代の象徴的な部分だと感じ好感が持てました。が、決して市民ひとりあたりの収入が潤沢ではない横浜市が、一体どこまで人にお金をかける方向に転換できるのか、市の姿勢が試されますね。	参考	「9つの戦略」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
地球規模で環境問題が解決すべき重要な事項となっている。子や孫の代にはどうなっているのか。心配である。	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略3『Zero Carbon Yokohamaの実現』及び素案の戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
「9つの戦略」について テーマ・戦略の分け方を再考すべきだと考える。 基本戦略が子育てしたいまち（どこかで聞いたような文言ですが）次世代をともに育むまちヨコハマ（なぜカタカナ？）としたときにテーマとは何か？戦略との違いは？ ①人に基づくテーマ（戦略）（市民すべての老若男女に配慮した生活戦略、経済戦略） ②自然地形・土地に基づくテーマ（戦略）（災害対策を含む郊外部、都心臨海部のまちづくり） の2テーマで良いのではないかと？	参考	計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
「38の政策」について 小児医療費助成や中学校給食など、より重点的に進めていく政策の具体的な記載もあります。計画に基づいてしっかりと実現してください。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>今後の横浜市は、所謂「箱物」を作って他地域から人を呼び込んで収益を上げる、との考え方を止めるべきです。「箱物」は必ず膨大な維持費がかかり、而も老朽化していつかは立て直す、乃至は改修していくことが求められます。これからの横浜市が「売り」とすべきはそういうものではなく、「都市型自然」とそれを維持展開していくアイデア・発想と創造力です。</p> <p>現在、旧米軍通信施設の跡地に所謂イベント施設のようなものの建設が取りざたされていますが、これには強く反対します。此处に作られるべきは、東京都内にある国立昭和記念公園や、水元公園のような広大な公園、緑地帯です。横浜市の緑地面積の市民人口に対する割合は、東京都を下回っていることはつとに聞こえています。横浜市は丘陵地が多いので、広々とした緑地を確保することが難しいのは周知の事実です。ですから、この場所に都市型公園を整備することで、市民の自然に対する関心と呼び起こし、環境保全と防災対策、そして相模野の原風景を造形することで他地域からの人々の訪れを確保し、収益を上げる手立てとするべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2・9：高齢者、障害者等移動手段がなく、家に引きこもりがちになるなど、不自由な生活、社会とのかかわりを持ちにくく孤立した日々を送る方が増えているのではないのでしょうか。年金支給額や生活保護費の目減り、物価高騰等、お金の面でも生活が困難になっている今日、タクシーに乗って外出できる方は限られています。</p> <p>福祉有償移動サービスというサービスもありますが、運営の厳しさから運転手が集まらず、実施団体も充分ではありません。そのため、多くの方に知られていない実態もあります。</p> <p>特に、市内の山坂のある地域では、バス停まで行くこともできない方が多くいらっしゃいますので、福祉有償移動サービス実施団体への補助金制度を設けるとか、狭い道でも運行できる市民バスの運行等を考えていただきたい。</p> <p>子育てしやすいまちづくりと共に、生涯その町に住み続けたいと思えるまちづくりをめざし、年をとっても障害を持っても社会の中で誇りを持って生きられるよこはまを目指してほしいと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」等に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略」について</p> <p>・ブランド力向上とあるが、「ブランド」と言う語は、僅か18回しか登場しない。ブランドと言う語は、人によって感じ方が大きく異なるので注意して使う必要があるが、商標的な意味合いが近い使われ方を感じ、かなり怪しい。P95「横浜の魅力（ブランド）」は頓珍漢だ</p> <p>・P3「こうした変化や課題に着実に対応していくためには、統計データ等から将来を想定し、そこから見える課題を先取りして」とあるが、横浜市の実況の強み・弱みがデータ等から浮き彫りにされておらず、「進取の気風（本当か？同様な気風がある京都とは全く様相が異なるが）」等巷間言われている風聞等をベースにしているようにしか思えない。現時点をしっかり明確にしないと、そこから延ばし先は狙った先と大きく異なった地点にたどり着くことになる</p>	<p>参考</p>	<p>戦略についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について</p> <p>現状認識が甘い。現行中計の達成度合いも明示がなく、強み・弱みも連続性や継続性も判らない。横浜市だけでなく、神奈川県・首都圏・関東地方・東日本・全国・場合によってはアジア・世界・似た行政との比較で、横浜市がどう言う位置づけにあり、強み・弱みは何かを示す必要がある</p>	<p>参考</p>	<p>横浜を取り巻く環境や38の政策等についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>三ツ沢競技場、瀬谷通信基地跡地などの自然を破壊する大規模開発型の変更は見直すべき。「まちの魅力・ブランド力向上」などと、他市に誇る横浜などを市民は望んでいない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「38の政策」について 総花的すぎる。この4年間、力を入れる政策を具体化すべきだ。</p>	<p>参考</p>	<p>政策についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上瀬谷基地跡地の建物には、全てにソーラーパネルを付けて下さい。今からなら できる。 上瀬谷基地跡地に、中小農家の支援を。また、家庭菜園を沢山作り、貸し出し を1年毎の抽選でなく、3年や5年と長く貸して欲しい。近くにサポートの店も。 苗や種や肥料を売る。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策32「活力ある都市農業の展開」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P 27～28政策 2 P 39～40政策 7 P 55～56政策 15 P 59～60政策 17 発生から3年を経過しようとしている新型コロナウイルス感染症は、感染拡大の波を迎える たびに医療や保健所現場の機能不全が顕在化した。これらは効率性を優先し、不採算医療を切り捨て病床の再編・削減を進めてきたこと、保健所の設置 数や職員を削減してきたことに起因していると考え。今後も新たな変異種の発生や未知の感染症の発生が不可避と言われているも、医療や公衆衛生の 体制拡充を進めていただきたい。また、社会的に重要な役割を担っているいわゆるケア労働者について、政策 2、15、17で人材確保・定着、処遇改善について 記述していることは賛同する。市として処遇改善に資する事業者支援策や労働環境改善に資する配置基準等の上乗せ施策などの独自施策を具体化して いただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>9つの戦略は、いずれも重要と考えるが、実現に向けてプロセスに透明性を確保 してほしい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「38の政策」について わかりやすくまとめられていた。 期待しています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>「9つの戦略」について 文化面についての項目が弱く感じました（戦略6が該当すると思いますが）芸術 文化面も力を入れている横浜の戦略がもっと欲しいなと思いました。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略のなかに雇用や働き方に関わる戦略や政策がないため、その項目を新たに 追加すべきと考えます。 市民の多くがその形態は多種多様であるにせよ、労働に従事しています。それら 労働者が尊厳と働きがいをもって生き生きと働ける、いわゆるディーセントワークが 実現する社会は必要不可欠です。 これまでも横浜市では、労働行政は国の所管によるところが大きいとの説明をさ れていますが、公契約条例の制定による地場賃金の引き上げや、公共サービス 基本法による「公共サービスの実施に従事する者の適正な労働条件の確保」、 「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実 等に関する法律（旧・雇用対策法）」での雇用確保や創出、公的就労事業の 強化など、横浜市としておこなえる施策はあります。 これら法制度と憲法に基づいた労働行政の戦略を策定すべきと考えます。とりわ け憲法25条とそれに基づく最低賃金の実現は、多大な市民の生活を保障する ことから重要な政策として位置づけるべきと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、「9つの戦略」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略6の中に政策30が入っているが、その内容は戦略2の方が相応しくないか。37ページの戦略2の主な内容に、「スポーツや文化芸術活動による市民生活の充実」とあるにもかかわらず、以下の政策に文化芸術に関する項目がないのは手落ちだ。また戦略6は都心・臨海部のまちづくりをテーマとしているため、みなとみらいや山下方面にかけて集積している文化施設や赤レンガ倉庫や象の鼻といった海沿いの施設が、観光資源としての魅力を発信し賑わいづくりに寄与していくことの重要性は理解するが、それなら政策30のうち賑わい創出に関する項目を取り出すべきだ。</p> <p>社会包摂の視点からも、政策30は戦略2の方が相応しいのではないか。戦略6の中にあることで、政策30の目標が埋もれてしまうことを懸念する。少なくとも政策30の主な施策のうち、1や4はそれぞれ戦略1や戦略2へ移動すべきである。トリエンナーレや創造界限拠点を活用した賑わいの創出は、もちろん横浜の魅力発信のためには必要だが、子育てしたいまちとしての魅力としては、大型イベントや都心臨海部での取組だけではなく、地域の文化拠点の取組や学校での文化芸術体験が、東京や他都市に対抗できる武器であり、魅力のはずだ。その上で、戦略6には魅力ある都市空間として、ハード系の施策である政策29と対になるような、ソフト系としての政策30を打ち出すべきだ。</p> <p>また、子育て中の身としては、区民文化センターや美術館、市民ギャラリーなど、東京に行かずとも身近な場所で音楽や美術、ダンス、演劇など、他分野の子供向けワークショップや公演に子どもを連れて行けるのは、横浜の魅力だと思っている。子育てしたいまちとして魅力発信をしていきたいのなら、このようなポテンシャルのある文化資源も、戦略1に位置づけることも可能はずだ。これは文化芸術に限らず、スポーツにも同じことが言えると思う。</p> <p>安心して出産や育児ができるまちというのは当たり前のことであり、そこからさらに踏み込んだ、「横浜で子育てすることで得られる、得難い体験」というものに目を向けてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>I。「政策2, 7, 15, 16」に関連した提案  (1) 健康寿命延伸と健康格差縮小へ向けた施策と費用負担軽減策を提案します  (健康寿命延伸への4施策)  1) 「国保の30歳35歳40歳」の節目健診（ガン検診と歯科検診もセット）を創設する（政策7）  生活習慣病対策は40歳からの健診では遅いと考えます。30歳で総合的な健康レベルと健康習慣をチェックし、専門家の援助受けつつ自ら弱点をつかみ、積極的な健康習慣づくりを始め、35歳と40歳時点で改善成果を確認しつつ、必要な補正をして健康を維持・増進に努める。  2) すべての健診費用（がん検診等）の無料化  (政策7)  健診の目的は2つあると考えます。  1つは、健診受診を機に、健診結果と共に自らの健康と生活習慣を振り返り、新たな健康づくりをスタートさせること。  2つは、いわゆる早期発見・早期治療に結び付けること。  健診を全員が気軽に積極的に受けられるようにする重要な施策として負担軽減を進める。  3) 高齢期総合健診の創設（75才以上は後期高齢者医療制度で継続させることを前提に）（政策7）  横浜市として、「65才～74才の総合健診の創設」が、100才時代の豊かな高齢期を過ごすために、決定的な影響を与えようと考えます。次のような、高齢期総合健診の創設を要望します。  1. 実施方法  ①従来の「特定検診+がん検診」に、以下の横浜市独自の高齢期健診を一体的に実施する。  ②追加される検診は、任意健診として本人の選択を基本とします。  2. 追加健診項目案  ①聴力検査目的は、聴力低下を早期につかみ、その低下予防策をとり、社会参加の促進と認知症の予防として重視し実施する。  ②「もの忘れ検診」（実施中）  ③歯科健診（実施中）  ④フレイルチェック（新設）  4) 「保健師（または看護師）による喜寿（77歳）お祝い訪問・総合相談」の創設  (政策7)  目的「当面、単身高齢者のとじこもり防止・多様な不安解消への総合援助」のため、単身者から訪問をはじめ、将来、希望する全員を対象とすることを検討する。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、政策7「市民の健康づくりと安心確保」に関するものとして、参考にさせていただきます。
<p>大規模開発について  自然エネルギー推進の都市モデルの構築、業者利権の排除、カジノ廃止、山下埠頭開発と花博は、徹底した環境アセスメント構築と未来に残せる街づくりの市民視点で行う、花博の収支を推進業者の視点ではなく中立の専門家の意見をきく</p>	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」及び政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開発の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>Maybe to Strategy 4 or Strategy 2  - Creating a Public Japanese language school for foreign residents (I know there are a lot of private Japanese language schools, but their prices are too expensive. There are free classes offered by the volunteers, but it is not enough to learn the language systematically. Having a public Japanese schools with reasonable prices would give opportunity for foreign residents to integrate faster to the Japanese community)</p>	その他	多文化共生の推進についてのご意見として伺います。

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1並び2 区役所の職員の意識改革も実行すべき。 清潔感のないファッションや粗暴な言葉遣い(タメグチ)の職員が多い(神奈川区役所)。 また福祉課においては職員が不足して計画相談員の絶対的な員数が不足している上、人材の質が悪すぎる(計画相談員から暴言を吐かれた経緯あり)、また基幹相談支援センターの職員の質も疑われる。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」にあるとおり、市民目線を重視した行政運営を行っていく必要があると認識しています。ご意見を踏まえ、取組を推進していきます。</p>
<p>9つの戦略・38の政策 各「戦略」、「政策」の「政策の目標」における大半の書きぶりが、いずれも「～ができています」「～が進んでいます」「～が創出されています」、「～が整っています」等々となっている。 これでは、「市としては、既に十分対応している」、「市の施策は充実している」、「目的は達成されている」かの表現であり、あたかも「市民は市に対し、これ以上の要求・要望を出さな」と言っているかの印象を受ける。 今後4年、10年の取組み＝「政策の目標」とするためには、「～していきます」「～進めます」「～整備します」等の形に改めるべきである。すくなくとも現在進行形に。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、V「9つの戦略及び38の政策」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>38の政策に足らざる項目、忘れられた項目 □ディーセントワーク条例を制定する。サービス残業、ブラック企業、ブラックバイトを根絶する。コロナ禍を理由とした解雇・就業条件の切り下げやめさせる デジタル化AI化等、コロナ後を見据えた雇用対策を早めに打ち出す 最低賃金1,500円の実現にむけ関係方面に働き掛ける □各種審議会の委員は公募枠を増やし、男女同数を基本とする □自治基本条例を制定し、常設型の住民投票条例制度をつくりこ □市内に残る米軍基地の早期・全面返還を求める。返還後の跡地利用計画に際しては、地権者のみならず周辺住民・全市民とともに進める方針を示すべき □「ふるさと納税」制度の廃止を打ち出すべき。同制度は、持続可能性、予見可能性ともに低く、不健全 □全市1保健所をやめ、18区の保健所体制に戻し、医療福祉職を拡充する。 高すぎる介護保険料・国民健康保険料を引き下げる □特別養護老人ホームの建設を進め介護離職ゼロ、待機者ゼロを実現する □行政のデジタル化＝DXの前に、デジタル化による利益/不利益等について、全市民に対する説明を徹底する。 マイナカード取得は強制せず、デジタル化によって、またマイナカード不取得によって不利益が被る市民が発生しないよう配慮する □防災対策において、拠点ごとに防災、避難計画を策定し、防災訓練を実施する。帰宅困難者対策を策定する</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』 政策31自然豊かな都市環境の充実 主な施策 (意見)「4 魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」として「三ツ沢公園など老朽化した公園の再整備や公園の不足地域への新設整備を推進するとともに、大規模な土地利用転換や旧上瀬谷通信施設・旧深谷通信所等の米軍施設跡地を活用し、多様なニーズに応じた公園整備を進めます」とあるが、三ツ沢公園はニッパツに屋根を付けたスタンドを作るにとどめ、旧上瀬谷通信施設は緑地を活かした公園のままとし、豊かな環境を保全してください。花博は山下ふ頭で行い、テーマパークを上瀬谷に作らないで下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>臨海部再開発・港湾施設整備など大型事業は見直して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」及び政策37「国際競争力のある総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>上瀬谷通信施設跡地の開発[戦略5政策26][戦略7政策31,32] 2027年予定の国際園芸博覧会および具体的な中身が未定でありながら謳い上げたテーマパーク構想に強く反対する。自然環境を生かした良好な住環境を維持しながら新たな価値を創造し豊かで暮らしやすい環境づくりを目指すと言うなら都市型農業や大規模公園(スポーツ施設を含む)だけに絞って構想すべきである。</p> <p>まず、本計画を白紙に戻し、地元はもとより多方面からの市民意見と併行して、純中立の専門家や識者からの意見や提案を求めて計画ゼロベースで練り直すことを事求める。</p> <p>現計画下の花博とその後のテーマパーク構想は、豊かな上瀬谷の自然環境を大きく破壊し、また多様で貴重な生態系も消滅させてしまう。川(相沢川)の暗渠化などにより水循環にも悪影響が生じる。いったん壊された自然環境や生態系は不可逆であり再生させることは絶対と言っていいほど不可能である。</p> <p>"郊外の開発、活性化、新たな拠点づくり、レガシーの活用、等"と銘打って相変わらずイベント、箱もの主義に固執する行政とはもう決別しなければならない。純粋に事業としても赤字必至と見られている花博になぜ狂奔するのか。</p> <p>参加者数は1,500万人(有料来場者数1,000万人以上)を見込んでいるとのことであるがその合理的、説得的根拠は明らかにされていない。</p> <p>今月終了したばかりのオランダ2022花博(Floriade)の想定入場者数は200万人である。300億円を大きく上回る建設費や運営費、それに新交通システムの整備費負担も含めると莫大な財政負担が発生する。経済合理性の観点からですら失敗に終わるに決まっている事業だ。それでもこれまでと同じように誰も責任を取らされることはない。</p> <p>そのような金があるのなら医療、福祉、子育てや防災、インフラの保全・更新に廻すべきである。</p> <p>2009年Y150博やIRカジノ誘致の失敗をなぜ教訓にしようしないのか。 途中で止める、後戻りする「勇気」を持たなければならない。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>具対施策要望</p> <p>大型開発の抑制～市民サービスを低下させないために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上瀬谷開発のテーマパークの中止し、IR以来の暴走を自省</li> <li>・山下ふ頭再開ありきと止め、IR反省モデル地区として、ていねいな民意反映を</li> <li>・根岸米軍住宅跡地開発の決定プロセスの透明化と費用対効果の最適化</li> </ul>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策4「戦略的な土地利用の誘導・推進」及び主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び政策29「活力ある都心部・臨海部のまちづくり」の主な施策5「山下ふ頭再開の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子育てサポートシステムの提供会員になりましたが、(20年位で活動は1年くらい)</p> <p>知人も支援する機会がありませんでした。</p> <p>バスの置き去り事故の報道から1時間位の点検のお手伝いをサポートしたりする(元気な高齢者)幼稚園等は歩いて行ける所にあります。コミュニティの活性化にも繋がると思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>子育て支援、高齢者支援</p> <p>孤立感を感じることのない見守り、支えのある生活ができるようになると良い。自立していきことは大切なことだが、声を出さず、または出せずがんばっている人々へどう対応していくか考えていくべき。</p> <p>そんな人がいることをわかっていると思いますが、さらに考えてほしいと思います。</p> <p>発信する勇気を出しやすい社会も！</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』及び素案の戦略2『誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり』に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>戦略3</p> <p>上瀬谷基地跡地に建物を作るときは、ソーラーパネルをつけるように推進して欲しい。今からの建築にはまだ間に合います。</p> <p>上瀬谷基地跡地に自然エネルギーを多く取り入れ、作って使う。エネルギーの地産地消を。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」及び政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

9つの戦略及び38の政策（戦略全体）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策8 スポーツ環境の充実について                      私たちは市内小学校です。                      総合的な学習の時間でSDGsについて取り組んでいます。                      今回持続可能な町づくりに関してパブリックコメントに意見を出すことにしました。                      私たちの住む東戸塚、横浜市に望むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の整備について小さい子が安心して遊べるスペースに確保（公園の中に小さい子専用の区画）</li> <li>・ボールを使えるスポーツ広場の整備（野球サッカーバスケ他）</li> <li>・多くの市民がスポーツを楽しめる場所の整備</li> <li>・高齢者が運動に親しめる場所や規格の充実</li> </ul> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策8「スポーツ環境の充実」の主な施策1「スポーツに親しむ環境づくり」及び政策31「自然豊かな都市環境の充実」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備及び管理運営」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「行政運営」も「財政運営」も本来は手段にしか過ぎないのに、「目標」のようになってしまっている感が否めません。 あくまで「実現する政策」に向けての選択と集中の具現化が、「行政運営」と「財政運営」ではないでしょうか。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
小児医療費や給食の充実化が図られるなら、別の所でどう1,000億削るかという議論が展開される章であるはずではないかと考えます。	包含・賛同	計画期間中の収支不足への対応として行政運営2-(2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」とおり、「歳出改革」に取り組むこととしています。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
「行政運営」について 2-③早急な具体策や工程表の作成が欲しい マイナンバーカードの行政としての具体的な利用策 行政はどう変わるのか将来像など デジタル推進部の開発整備など	参考	ご意見の趣旨につきましては、行政運営2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、DX推進に関する具体的な取組等は、「横浜DX戦略」に記載しています。 横浜DX戦略： <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/gyosei-kansa/shigoto/digitalgov/dx-strategy.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/gyosei-kansa/shigoto/digitalgov/dx-strategy.html</a>
「行政運営」について 山中と同級生です。 もっと、もっと同級生として頑張りたい。 期待は今の100倍なので、よろしく！	その他	今後の市政運営へのご期待として伺います。
「財政運営」について 公約に縛られず、現実を直視してください。PDCAをお願いします。	参考	予算編成において、最も施策の達成に効果的な事業を議論・追及するとともに、成果志向・将来志向・公平性の3つの原則に沿って行います。さらに、事業執行後、その結果を評価し、次の予算編成等に反映させるPDCAサイクルを推進します。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」とありますが、三ツ沢野外活動センターの閉鎖検討や、篠原池プールの閉鎖など、子どもたちが利用できる施設が閉鎖（閉鎖検討）されることが続いています。市の財政負担が多く、維持が大変なのは理解できますが、「閉鎖」ではなく「維持に必要な適切な使用料の徴収」により、施設の継続的な維持運営をご検討いただけないでしょうか。施設利用料が無料に近い必要はなく、少なくともランニングコストは確保できる水準の使用料の徴収を行い、施設維持を図ることが合理的だと思います。（民間施設より少しでも安ければ十分だと思います）	参考	本市では、平成27年10月に策定した「プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針」に基づき、プールや野外活動施設等の集約化や経営改善等に取り組んできました。ご意見につきましては、受益者負担の適正化を進める上で参考にさせていただきます。
自治会に多額の補助金が定額で行われていますが、適切な運用がなされているか検証されていますでしょうか。本来、自治会は会員の会費で運営されるべきもので、市からの委託事業については、定額ではなく実費に幾らかの上乗せ程度で交付されるべきだと思います。 自治会の補助金が、自治会から子供会や老人会への定額給付に消費されてしまっているように思います。ボランティア団体への市からの補助金の交付水準や基準に比べると、非常に甘く「雑」に運営されているように感じます。 自治会への補助金について、一度「0」から見直してみても良いように思います。	参考	ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
「財政運営」について これは別に市が悪い、というわけではないのですが、各地で民営化を外部委託によるコストカットとだけみなして結果的に余計に非効率かつ低賃金かつ出費悪化という事例が出てきているようです。少なくとも市税として必要な自分の分は払いますので、インフラと市の運営にかかる分は維持をお願いします。	参考	ご意見につきましては、財政運営4「歳出ガバナンスの強化による効率的で効果的な予算編成・執行」の主な取組4「公民連携による共創やオープンイノベーションの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>財源が無限に有る様な基本戦略の羅列ばかりで、核となる財源戦略が無い。赤字全ては未来の市民に負担を丸投げは市長の方針ですか？</p>	<p>参考</p>	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>行政運営人材の効率的な活用・採用が書かれています。このうちDX要員は何人確保する計画でしょうか。ご案内の通りDX化には人材が欠かせません。既に検討されているとは思いますが、具体的な数値を公にし、積極的に対応することが強く求められています。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>マイナンバーカードもなかなか普及しません。何とか日本で一番普及している街にならないでしょうか。大きな街はきめ細かい対応が難しく大変です。マイナポイントのような姑息な手段ではなく、もっと使い勝手の良いサービスを早く作って欲しい。横浜市は日本で一番健康保険に使われている比率の高い市だと言われるようになって欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」へのご期待と捉え、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>「行政運営」について DXの推進等、一定の変革は行われている印象。日本をリードする行政組織として、従来の行政的な発想ではなく、外部人材登用も含め、挑戦と変革を積極的に推し進めて欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>前例踏襲型の行政運営では立ち行かなくなるという認識のもと、ご意見を参考にしながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「財政運営」について いかに稼ぐかをもっと真剣に考えて欲しい。市民に対して圧倒的なブランド力があるにも関わらず、横浜に住んだことがない人々をまだまだ魅了しきれていない。財政健全化のために、所得が高い現役世代に積極的にアプローチして欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」テーマ04「まちの魅力・ブランド力向上」を掲げており、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>組織の最適化と職員の能力・役割発揮の最大化 これを実現するヒューマンスキル（パーソナルスキル）が何か、という点を考えていただきたい。 あらゆる面で「DX・データ活用」「公民連携」とあるが、責任主体は市/市職員となる認識。 その上で必要とするスキル（資格）が何かということを説明いただきたい。IT側面而言えば以下の資格が必要と捉えるがこれらの取得促進についてどのように取り組むのかを説明いただきたい。 -プロジェクトマネジメント（PMP、プロジェクトマネージャ） -データサイエンティスト -ITSM</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、行政運営 1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>行政サービスの最適化～事業手法の創造・転換～ 既存業務に対する改善を促すことが重要と考えています。これに関する取り組みについても述べていただきたい。 具体的にはクレーム対応系（共産党系プロ市民からのクレーム対応）に対する厳格な対応をお願いしたい。 逆に、日本国民たる横浜市民の権利を侵害する行為は止めてもらいたい。 例えば、「外国人生活保護」については、本パブリックコメント以前に市へ質問を提示しております。 その回答がない中ですので改善可能か否かの判断は難しいですが、ここは財務支出の改善にもつながる内容であるため是非検討いただきたい。 本取り組みは相当な丹力を要することとなりますが、ここでの経験は必ず次に生かされます。</p>	<p>その他</p>	<p>行政運営についてのご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「特別市」制度の実現に向けて取り組みます これに関しては、従来の「市」と「県」の役割分担のうち、「県」の役割の一部を担う宣言と解釈できます。現状の市職員の能力から考え、過剰な負担になることが明白です。 また、「特別市」実現に向けてのハードルが何か、ということをも具体的に考えていただきたい。 神奈川県だけではなく、国（法律）との兼ね合いが出てくると共に、現行法にはない「新制度」を作ることとなるためここにかかるコストは甚大です。 並行し「区における住民自治の強化」が掲げられていますが、重点1および議会の在り方にまで波及する大きな改革となる認識です。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の特別市実現に向けた取組の参考にさせていただきます。
<p>チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり 「人材こそが最も重要な経営資源であることを念頭におき、人材育成に取り組み、DX・データ活用、公民連携をはじめとして、職員一人ひとりの能力・スキルを高めていく必要があります。」とありますが、前半と後半の文章がかみ合いません。 「働き方改革、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント対策を推進し、職員が性別や年齢にかかわらず意欲と能力を最大限に発揮できる職場環境をつくる必要があります。」とありますが、これも前半と後半がかみ合いません。 「男女共同参画」は機会の提供です。機会を的確に提供しているのであれば、職務に相応しい能力のある職員を配置いただくで問題ない認識です。能力が足りない職員を配備することのほうが不幸に繋がります。 能力が足りない、ということは即ち採用試験に問題があるということに直結しますが、この点の改善については何も検討されないのでしょうか？人事制度改革と合わせて検討願います。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の行政運営の参考にさせていただきます。
<p>将来的に『人口減→税収減→市の財源減→行政運営の効率化・ミニマイズ→行政サービスの選択→重点施策/最低限のサービスの維持』がベースとなると考える。 最低限のミニマムのサービスとして 教育 医療、福祉 の2点重点を置いて戦略を策定して頂きたい。</p>	参考	戦略の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>窓口で大声でクレームを言っている人を見かける。不当な要求については毅然とした対応をして、職員が疲弊することのないようにしてください。 ノイジーマイノリティーに寄り添い過ぎないようにしてください。</p>	その他	市民対応についてのご意見として伺います。
<p>外国籍の方への生活保護の支給は段階的に縮小し、国民のみとしてください。 法的根拠はありません。</p>	その他	本市では、生活に困窮する外国人に対し、国の通知に基づき、日本国民に対する生活保護の決定実施の取扱いに準じ、保護の措置を行っています。ご理解のほど、お願いいたします。
<p>みどりアップ税を即刻廃止してください。 今まで何にどのように使われてきたか開示してください。そして廃止してください。 緑を増やすことより、日々の自分たちの生活や命を守るほうが大切です。900円も何年も横浜市民だけ強制徴収するのは理不尽です。 ズーラシアで里山ガーデンなどをやっているくらいしか思いつきません。私たちの生活で、たとえば酸素が増えて恩恵などあるのでしょうか？</p>	参考	「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただいています。ご意見につきましては、政策31「自然豊かな都市環境の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>ふるさと納税の影響で都市部の税収が減少している。横浜市としても魅力的な返礼品を用意して税収を増やす努力をすべき。バイスターズやマリノスの公式グッズや、中華街の商品などの数を増やしてみるのも一手だと思ふ。</p>	参考	ご意見につきましては、財政運営2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」の主な取組5「本市へのふるさと納税の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「財政運営」について カジノ構想を復活して、市長の公約を達成しましょう。</p>	参考	財源確保についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「行政運営」について 各種窓口業務のインターネット申請、郵送、自動発行機導入により、窓口業務の効率化を推進することを目標値に加えて欲しいです。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」では、行政手続のオンライン化を取組指標として掲げています。ご意見につきましては、窓口業務の効率化に向け、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市の機関に働く女性の割合を30%にして欲しい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>令和4年4月1日現在の市職員における女性の割合は37.4%、課長級以上に占める女性の割合は18.9%です。行政運営 1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」では、男女共同参画の観点から、女性職員の活躍促進に向けた取組などを進めることにより、令和8年4月1日までに課長級以上に占める女性の割合を30%以上とすることを指標として掲げています。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>青葉区荏子田の空地は横浜市教育委員会の所管とのことだが約10年前小学校設立が断念され、その数年後ブランド転用等への計画があったが、騒音被害の恐れで近隣住民の反対を受け計画中止となったまま爾後約5年以上放置され、草茫々の荒野と化しており、他の必要な公共施設の不足、欠如の現状に鑑みると無用な姿を曝し出している状態です。教育委員会の行政下にある限り優位な転用効策は不能でタテ割り行政の最たる悪いケースが生じております。そこで以下提案致します。</p> <p>(1) 横浜市の行政執新法として、タテ割り行政の弊害を減らす為、各諸官庁の担当遊休区画施設の所管轄最長期限を3年とし、当該期限を超え所管している遊休施設資産は横浜市の総務課等に移管し有用施設へ転用に資するべく法整備する。</p> <p>(2) この新法制定に暫く時間を要するなら差し当り横浜市内の現時点で3年以上遊休の土地施設の一覧表を作成し、他の庁・課が必要としている施設作りに転用・活用する。</p> <p>以上、余りにも無為無策、野放図な実態に鑑み提案する次第です。早急な対応を期待申し上げます。</p>	<p>参考</p>	<p>遊休資産の活用につきましては、本市が保有する「未利用等土地」約100haについて公表するとともに、個々の資産の特性に応じて役割・位置づけを明確にし、利活用を進めていきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「財政運営」について 地方自治体の財政は厳しく管理すべき。 山中市長になってから財政健全化対策が見えなくなった。 臨海部の開発を取りやめ、瀬谷区の遊園地開発の頓挫している現在、何はほかの手を打っているのか。税収がなくなればインフラの整備は延期となり公共サービスは不十分になり、税金は上がることになる。 結局、子育て世代支援も絵にかいた餅になる。</p>	<p>参考</p>	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「行政運営」について 非常にきめ細かくお考えになっていらっしゃる印象を持ちました。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。「行政運営の基本方針」に基づく信頼と責任のある行政運営にむけ、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>行政組織の改編です。 従来から指摘されている縦割りの組織体系と前例主義に基づく行政対応を根本的に見直さなくては取り組むことができない中期計画であると思っています。 見直しの基本視点は政策課題にかかわる横断的組織体系の構築と当事者視点、現場主義に立脚した思考能力と行動力を全職員が取組の前提とすることです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>前例踏襲型の行政運営では立ち行かなくなるという認識のもと、行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」では、「行政に求められる多様なニーズに、スピード感をもって市民目線で対応するとともに、政策課題に即応できる組織体制を構築」することを目標として掲げています。いただいたご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>行政組織を担うすべての職員が「利他」の精神を基本に諸課題に対応することが肝心である、ということです。とかく当事者意識の欠如や上司への忖度発想、セクショナリズムに基づいた当事者を置き去りにしたらい回し対応等々、組織のための組織運営に陥りがちです。今回のような立派な中期計画を掲げる以上は、これまでのような内向きな行政組織運営では実現化は不可能であると思えません。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>前例踏襲型の行政運営では立ち行かなくなるという認識のもと、行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」では、「行政に求められる多様なニーズに、スピード感をもって市民目線で対応するとともに、政策課題に即応できる組織体制を構築」することを目標として掲げています。いただいたご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>財政 2 財源の構成的充実 企業誘致を展開、スタートアップ企業の支援、外国人留学生が入社したくなる企業育成と彼らの住環境の設定</p>	参考	<p>財源確保についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市有遊休地のガーデンシティへの転活用と財政健全化の維持 戦略は市有遊休地を「農的主体空間活用…花、緑、農的体験、交流、ふれあいの場所」に転活用する。 ボランティアに市有地を無償提供し、市民活用により緑の交流場所にする。 市有遊休地の維持管理は草刈り相当額にのぼります。 具体的には市民有志に遊休市有地を無償で提供し、緑の交流場をつくり、市の遊休地の維持費をへらす。</p>	参考	<p>保有資産に関しては、その特性に応じて役割・位置づけを明確にした上で、売却・貸付を含む活用や公共施設の敷地とするなど、市民の理解を得ながら、価値が最大化されるよう適正化を進めます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>年寄りパソコン、スマホが思う様に使えず、電話をすれば、番号を押ししたりしないと通じないのが多く時間ばかりかかり大変です。切りかわり時とは思いますが困っています。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>自民市議を通じて本年 4 月、旧統一教会から環境局へ寄付のあった件について、目安箱を利用して調査依頼、質問をしているが、市民に迷惑や心配をかけるよう十分に配慮して今後慎重に対応するとの連絡ばかり繰り返されているまったく調査結果も質問への回答も示されないまま（2022. 9. 22 現在）〈広報第 2022-130145 号〉 これまでは市民目線とは言えない返事だし、問題意識がなさすぎる 手法をいじるより課長はじめ課員の意識改革が根底から必要 口先だけの戦略政策はいらぬ まじめに取り組め！！信用なくすぞ。自公に気を使うなら市民に金使え！ 山中市長へ</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>行政運営 2-(2) 1. 行政サービスの最適化は是非行うべきだが、これは適切な実績評価に基づく費用対効果の検証を前提とする。そのためには実績をどう数値化するかという視点が必須であり、DX によるトランザクションのデータ化が前提となる。紙あるいは人手による管理あるいは処理をゼロにすることを前提に、大いに改革を図るべきだ。</p>	包含・賛同	<p>限られた経営資源の中で、多様化する市民ニーズに応えつつ、効率的かつ効果的な行政運営を進めていくために、データを重視した政策形成を進めることなどが重要です。ご意見を参考にしながら、行政運営 2-(2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」を着実に推進していきます。</p>
<p>またどのように便益を定義するかも重要で施策立案時に KPI とともに定義されなければならない。市民あるいは政治家からの要望によるものであってもその便益をきちんと定義させ投資効果との見合いで施策是非を判断するべきだ。その意味では議会運営と議決においても明確な施策効果の定義とその測定指標、過去の同等施策と比較したときの費用対効果の是非、は明確化し公表、広く検証を受けるべきだ。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>財政運営 2 税財源基盤強化は歳出計画とともに重要な視点であり、特に企業活動による税収確保と税以外の資金調達方法の多様化/イノベーションを期待したい。PFI あるいはマイクロファイディング、ICO など、昨今の金融リテラシー強化の流れも活用しながら行政においても積極的な資金調達の手法開発にトライするべきで、税収入と市債発行だけではなく、 またパートナーも既存大手銀行だけではなく、フィンテック企業あるいはファンドなど多様化するべきで、市としての能力開発も求められる。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、財政運営 2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「行政運営」について 市民に開かれた行政運営にして下さい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、行政運営に関するものとして、参考にさせていただきます。
大型商業施設、カジノの誘致に反対します	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
国から「地方交付税」をしっかりと勝ち取って下さい。	参考	市政についてのご意見として、参考にさせていただきます。
大企業の「減免」は止めて、しっかり「法人市民税」をとって下さい。	参考	市政についてのご意見として、参考にさせていただきます。
国から「基地交付金」を横須賀市並みに自由に使えるようにして下さい。横須賀市は基地交付金で「中学校給食」を実現しました。	参考	ご意見につきましては、財源活用に関するものとして、参考にさせていただきます。
「ふるさと納税流失深刻」の記事 ・有効な対応をせず、無策	参考	都市部の自治体財政に与える影響が大きいなど、ふるさと納税の制度上の課題について、国に税制改正要望を行っています。また、より多くの方から制度を通じて本市を応援していただけるよう、返礼品の拡充などを進めます。
行政のDXが行わなければ民間のDXは進まない。範を示してほしい。	包含・賛同	行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」では、「DXの推進により、市民・事業者の皆様の利便性・満足度を高めると同時に、行政の効率化と行政コストの適正化」を図ることを目標として掲げています。ご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。
素案P139財政運営 2「ふるさと納税」へのスタンスについて。 ふるさと納税制度の持つ非論理性や非効率性は議論されて久しいのですが、バブル華やかなりし頃、物（土地）の値段は需要と供給で決まるといった正論が押しつぶされた経過に似て、引き続きもて囃されております。ただ本制度による税収への影響額が年々拡大し、看過できない水準にあると認識されるのであれば、財源確保の観点から市へのふるさと納税を促進する必要があるなどという説得力の無い、非論理的な記載は即刻削除されるべきではないでしょうか。	参考	現行のふるさと納税制度では、都市部の自治体財政への影響が大きいなど課題があるため、国に対し制度の見直しを行うよう要望を続けています。なお、制度の見直しが行われるまでの間は、現行制度下で本市としてでき得る対応を行っていく必要があると考えており、市の魅力PR、市内事業者支援、寄附金の確保を目的に、魅力あふれる返礼品の提供を進めていきます。
取組 2 の②と行政運営の基本方針に関係すると思いますが、市には市政に対する市民の要望・提言・苦情を聴く制度が全くありません。（電話による）下記の東京都のような公聴組織を作ることを切に希望します。横浜の未来のために。 ・東京都生活文化スポーツ局都民生活部地域活動推進課東京都都民相談の声総合窓口 内容によって担当局につないだり、都政に対する都民の要望・提案・苦情・意見（知事も対象）等をメモしたりして、担当事務局に届ける よろしく願いいたします。 記憶はあいまいですが、キング牧師だったと思います。「悲劇は圧政ではなく、それに対する善良な人民の黙認である。黙認することは死んでしまったことと同じである。」と言ってそうですが、横浜市は言いたくても受け皿がないのですから、横浜の未来のため、東京や名古屋のような組織を作ることを切に切にお願い致します。	参考	本市では、市民の皆様からのご提案・意見等を受け止め、市政に生かす「市民からの提案」や「パブリックコメント」などの制度があります。ご意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
テーマ「横浜市のふるさと納税策」 既報で市の税収減の一因に他県のふるさと納税に市民の税金が持っていかれる記事を見て市の将来に不安を感じた。 これに打ち勝つふるさと納税策を市として立案、実施することが重要 市民が市民のふるさと納税に関心を持ち、積極的に納税すると同時に他県民も納税してもらえる事案を市内全域を上げて募集し、効果が期待できる事項は早期実施する。 このことは市を豊かにし、同時に市の魅力を今以上に広めることができるので一石二鳥の効果（集客も含め）が期待できると思う。	参考	ご意見につきましては、財政運営 2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」の主な取組 5「本市へのふるさと納税の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>行政運営 横浜市職員の基本勤務時間を8：30～17：15→8：30～17：00にして欲しい 15分早く仕事が終わることによりワークライフバランスが改善する。 昼休み1時間なんてきっちり取れないのだし。</p>	<p>その他</p>	<p>本市職員の勤務時間は、国の制度を踏まえ、横浜市一般職職員の勤務時間に関する条例及び横浜市一般職職員の勤務時間に関する規程により、1日7時間45分、8時30分から17時15分（勤務時間の途中に1時間の休憩）を基本としています。行政運営1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」に掲げた取組を進め、ワーク・ライフ・バランスの推進を図っていきます。</p>
<p>行政組織の改革について 市や区の行政に従事する公務員の働き方の見直しが必要と思う。 即ち、折角遣り甲斐のある仕事についても、定期的に行われるローテーションのため、実のある実績が挙げられていない。 高学歴にも拘わらず、その知識や能力が発揮できていないのではないだろうか？ 組織の中で、よりよいポジションを得るために妥協し、安住しているのが現状なのだろうか？ これは私が市や区との関わり合いから感じられた印象である。</p>	<p>参考</p>	<p>職員一人ひとりの意欲・能力を引き出す人事給与制度への見直しに不断に取り組み、市役所の組織力を高めていくことが必要だと考えています。ご意見につきましては、行政運営1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>公共施設を民営化せず責任ある保全を市として行って下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>本市の厳しい財政見通しの中、人口動態や時代の要請に対応しながら、公共施設が提供するサービスを持続的に維持・向上させるため、公民連携の視点も入れつつ、施設の規模・数量、質、コストの適正化を図っていきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>次の用語は日常用語として確立していますか。推察できるものがありますが、私にはよくわかりません。 ○ファシリティマネジメント</p>	<p>修正</p>	<p>ファシリティマネジメントとは、一般に「企業・団体等が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動」とされています。 本市では、「本市が保有する施設・資産とその環境（ファシリティ）を、都市経営の観点から総合的に企画、管理、活用する経営活動」と捉えています。 原案には注釈を追記します。</p>
<p>行財政運営 ・DX、DXと叫ぶが、具体的なメリットをよく考えて欲しい ・DXの本質は、トランスフォーメーションである →ⅧDXの推進にちゃんと書いてありますよね →コスト削減というよりは、デジタル化で新たな恩恵やビジネスそのものが変わることに →市政でDXはよく考えないと、やたらIT化しても開発運用コストがかかる →行政をオンライン化するにしても、行政はどこでも同じようなシステム要件になるはずなので、市独自にやるより他の市と共同開発し、上層部だけ各市の機能にすればいいはず。そういう取り組みしていますか？ →DXでいろいろIT化したら、人が減りますよね？減らすんですか？ →人件費しか書かれておらず、人員計画がない →減らさないとしたら、DXでできた余剰人員を新たな価値のある仕事に振り分ける。何に人員をシフトするのか？</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見を参考にしながら、住民基本台帳・地方税など政令で指定された20業務について、国の標準仕様に準拠したシステムに移行（標準化）を契機として様々な業務を見直し、行政運営2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」に掲げる取組を着実に推進していきます。 また、行政運営1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」主な取組4「職員定数の適正管理と人件費の抑制」とおり、人口1,000人あたり職員数を現状値以下に抑制することを目標とし、DXを含む様々な取組を行い、最適な行政サービスを持続的に提供する組織体制を構築していきます。</p>
<p>令和4年度の予算では、ごみの処理や減量・リサイクルに439億円かかっているが、ごみ袋を有料化しても良いのではないかな？ →すでに有料化している地域はある →コスト負担の考え方を進める、使う人は対価を払う →政策19に盛り込む</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策19「持続可能な資源循環の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>令和4年度の予算では、子育て・教育、福祉・保健・医療負担が予算全体の60%近くを占めている →義務的経費の一部ではあるが、ここを見直し、全体でメリハリをつける必要があるのでは？</p>	参考	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「財政運営」について 財政厳しいと思いますので、環境系対策は全部捨ててよいと思います。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>P129で、行政運営の現状と課題が述べられていますが、「新たな行政サービスをデザインする「創造・転換」に取り組むことが必要です。」「データを重視した政策形成を着実に進めることが重要です。」「更なる経営向上に取り組んでいくことが求められます。」など、全く他人事のようなのであ。一体、これらの言葉は、誰からだれに向けられたものでしょうか。</p>	その他	<p>ご意見につきましては、職員が共有すべき横浜市での行政運営における課題として記載しています。</p>
<p>P135以降で、財政運営が記述されていますが、過去の計画は計画通り達成されてきているのでしょうか。その結果を踏まえて、これからの計画の実現性はどの程度なのでしょうか。そして、借入金なくなるのはいつなのでしょうか。それらの実現を考えた「38の施策」になっているのでしょうか。それらの関係が見えません。市行政の縦割り組織感が、そのまま出ていると思われま。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅠ「中期計画の特徴」及び素案の財政運営1「債務管理がバランズの徹底による中長期的な視点に立った債務管理」に記載されており、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>136P財政ビジョンの公共建築物の施設総量の削減について、子供に関連する施設は除外するべきかと考える。図書館や公園といった施設は子供を重要政策に掲げる上で重要な建設物である。</p>	参考	<p>本市の厳しい財政見通しの中、人口動態や時代の要請に対応しながら、公共施設が提供するサービスを持続的に維持・向上させるため、公民連携の視点も入れつつ、施設の規模・数量、質、コストの適正化を図っていきます。本計画の策定後に施設別の検討を進め、個別施設計画にまとめていくこととしています。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>145,146P「財政運営5市民の共感を生み出す情報発信と課題提起」について、DXやデータを活用したり、SNSといったコミュニケーションツールを活用することで、政策・財政の実現には今後よりスピードを求められることになる。そのため、財政だけでなく、本中期計画の政策についても出来れば毎年結果を評価し、公表していただきたい。 達成したというレポートがほしいわけではなく、進捗状況や政策の実現を進める上での課題を正直に公表いただき、市民と一緒に考えていく体制を作ることを期待する。</p>	参考	<p>政策の評価についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【122P】&lt;重点1&gt;のところでも「全体最適」という言葉があります。この意味がわからないです。11Pの「最適化」と同じです。</p>	その他	<p>「全体最適」は、限られた経営資源の中で行政サービスの質の向上を図るためには、特定の対象といった個々に着目するだけではなく、市政全体・市民の皆様全体を俯瞰した検討・判断が重要であるという趣旨で用いています。</p>
<p>【122P】&lt;重点3&gt;のところ住民自治の充実とありますが、注釈を読むと「特別自治市」になるときに実現するように読めます。それまでに住民自治の充実を図ることはできないのでしょうか。制度的なこと、行政側の気持ちの問題と二つの要素があるような気がします。新市庁舎になって2年目です。行政のFACE to FACE的な要素が激減していると感じます。住民本位の市政を意識することも住民自治の充実の要素だと思います。数値目標化しづらいのかもしれませんが、市民がいろいろな話をしにいても、打ち合わせスペースも用意せず、ブースの横に置いた丸テーブルでの話し合いでよしとする気持ちを一掃することから初めてはどうでしょうか。</p>	参考	<p>「横浜特別自治市大綱」では、「特別市」制度の実現を見据え、区行政を民主的にチェックする仕組みや、区行政への住民参画の仕組みの構築、区行政の機能強化などを進めることとしています。 また、本計画では「市民目線」を重視した行政運営を行っていくこととしており、ご意見を参考にしながら、今後の行政運営を推進していきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【122P】職員の意識改革で「公民連携」があげられています。この理由が明確ではありません。課題解決にむけて公民連携が必要な場合もあると思いますが、日頃から公民連携の視点を持つ、とはどういうところからきているのでしょうか。株式会社横浜市、という経済合理性ファーストで行政を行なうことは、市民にやさしくない横浜市になります。丸テーブルでの打ち合わせ、人数制限・時間制限の打ち合わせ、文書回答を求められても口頭で回答、或いは回答日時の引き延ばし、などにつながります。</p> <p>「DX・データ」についても同様です。具体的なことを提示してください。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 2-(2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」に記載のとおり、複雑化する地域課題の解決や、多様化する市民ニーズに応えるためには、行政だけではなく、それぞれ固有のノウハウやリソースを持つNPO、企業など様々な主体と連携した「共創」の推進が必要です。また、行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」に記載のとおり、DXの推進により、市民・事業者の皆様の利便性・満足度を高めると同時に、行政の効率化と行政コストの適正化を図っていくことが必要です。そのため、横浜市役所・職員が、あらゆる場面で「公民連携」「DX・データ活用」の視点をもって業務に取り組んでいくこととしています。</p>
<p>【124P】「チャレンジする職員」とはどのような職員をさすのでしょうか。人事制度の全容を理解することが必要であれば、人事制度の詳細を公開してください。</p> <p>「Weプラン」概要版をみても、住民や企業などとの対応能力についての理解促進、体得などについての言及は殆どないようです。キャリア形成でも「民間企業との交流機会の提供」はありますが、市民・住民との向き合う能力の開発などは触れられていません。</p>	<p>その他</p>	<p>「チャレンジする職員」とは、社会や時代の変化に対応するため、「市民目線」「スピード感」「全体最適」を重視しながら、これまでの手法・ルールにとらわれないことなく、新しい価値を創造していく「創造・転換」＝「イノベーション」に取り組む職員です。行政運営 1-(2)「チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり」を推進し、「DX・データ活用」、「公民連携」も含め、新たな取組にチャレンジしていく組織風土の醸成や人材育成に取り組んでいきます。</p>
<p>【127P】「BPRに取り組み、市民・窓口サービスの向上を図ります」とありますが、具体的にはどうなるのかは、今書かれている内容では理解できないと思います。</p>	<p>その他</p>	<p>住民情報系システムの標準準拠システムへの移行（標準化）を契機として、手続のワンストップ化など、利便性に配慮した市民サービス向上をめざして、様々な業務の見直しや再構築に取り組んでいきます。</p>
<p>【129P】「選択と集中」は、市の業務全てに当てはまることだと思います。中期計画の前提にくるもので、全体最適と同じようなコンセプトだと考えますが、行政運営のところで、改めて「選択と集中」が出てくる意味がわかりません。</p>	<p>その他</p>	<p>本計画の行政運営分野は、財政を土台とし、これからの政策実現を支えていくための行政運営のあり方等を記載しています。ご意見のとおり、市の業務全てに対して「選択と集中」を進めることが必要であり、行政運営分野に記載しているものです。</p>
<p>【129P】行政にとって市民・住民とはどのようなものなのでしょうか。企業における消費者、顧客なのでしょうか。経営資源、効率的、効果的、企業のCSV、などが、市民・住民に対してどのような有益性をもたらすのか、説明をしてほしいところです。</p>	<p>その他</p>	<p>行政だけではなく、それぞれ固有のノウハウやリソースを持つNPO、企業など様々な主体と連携した「共創」を推進することで、質の高い公共サービスの提供や地域の課題解決、地域の活性化等につなげていきます。</p>
<p>【131P】主な取組にある「公民連携の強化による共創の推進」、やはりわかりません。公民連携とはあくまでも手法のひとつではないのでしょうか。この数値目標が2700件とありますが、この根拠も明示してください。目標値が一人歩きして、手法として不適切でも目標数字のために「公民連携」が行なわれる恐れがあります。公民連携を強化することが、本当に行政マンの能力を高めることにつながるのかどうかも明示してください。</p>	<p>その他</p>	<p>本市のあらゆる政策、施策、事業において、共創の取組が展開され、市民満足度の向上や社会課題の解決が図られることが目標です。全庁的な広がり測る指標として、連携取組数を目標値として設定しています。</p>
<p>【146P】2の「共感につなげる双方向型広報の充実」の取組指標欄に、「理解が深まった割合」が数値目標となっています。ここ以外にも「理解を深める」という言葉が市民における事業など施策の支持度合いを測るワードとして使われている感じがします。IRカジノ誘致の時に、散々市民が指摘をしたと思いますが、市の考え方を理解すること、それを支持する、賛意を示すことは別です。部分最適と全体最適、という概念を強調している中期計画です。理解と賛意は別に把握すべきです。理解はあくまでも知ってもらうためのアプローチの評価に使う言葉であって、市民の気持ちは賛意を示す割合で測ってほしいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>わかりやすく、利活用しやすい財政情報を公表・共有し、本市の財政状況を認知していただくことが重要と考えています。ご意見につきましては、今後の取組の参考にさせていただきます。引き続き、市民の皆様のもとに届く形で、財政情報の公表・発信に取り組んでまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>行政運営 3 住民自治の充実と協働・共創による地域の活性化 1 項から 3 項134ページ (提案理由) 住民自治の充実では国の地方制度調査会でも政令都市の自治にかけているのは区段階に住民自治機関がないことと言っている。その後、地方自治法を改正して区に自治協議会を設置できることになった。これを以下のように活用すべきです。</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>自治体の行政運営の原則は憲法92条で地方自治の本旨に基づく(住民自治・団体自治)とされています。住民自治は市民の意思を絶えず聞きながら運営することであり、約20万の人口を有する行政区に市民の意見を聞く仕組みがないことは重大な弱点です。自治法で認められている行政区に区自治協議会(公選又は公募で市民から選出する)を設置し、予算も大幅に増額し、区独自の問題はできるだけ区自治協議会の意見を尊重して決められるよう自治を拡充します。</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>自治基本条例制定し、常設型の住民投票条例を制定し、重要目づ、市の将来に影響を与える施策については市民要求に応じて住民投票ができるようにします。</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>市民の多様な意見を市政に生かすために市に設置されている100数十に及び各種審議会・諮問機関委員の選出は市各局が恣意的に任命することを改め、一般市民からの公募を増やすこと・有識者の選出は弁護士会や各学会からの推薦等民主的方法で決めること・ジェンダー平等の視点で選出する等抜本的に改善します。</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>「財政運営」について 地方交付税算定におけるトップランナー方式やPPP/PFI優先検討方針、デジタル化方針の自治体への強制による地方自治の侵害を改めるよう国に働きかけていくべきである。</p>	その他	地方自治についてのご意見として伺います。
<p>「財政運営」について 市民にとって、財政の現状と今後の取り組みを知ることは大切なことだと思います。今後も、1人でも多くの市民の目にとまり、共感を呼ぶようにさまざまな手段で情報発信がなされることを期待しています。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の財政運営の取組に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、市民の共感を生み出す情報発信に取り組んでいきます。
<p>ふるさと納税制度の改正について、国への提言を行ってもよいのではないかと思います。 現状は返礼品目当てに縁もゆかりもない自治体にふるさと納税を行う人が多数いますが、本人にゆかりのある自治体のみへ寄付できるように改正するなどして、都市部の財政を必要以上に圧迫しないようにしていくことも必要かと思えます。</p>	修正	ふるさと納税による減収が、自治体の財政に与える影響が大きくなっている状況などを踏まえ、制度の見直しについて国に対して要望しています。本市として、制度の趣旨に則り、より多くの方に横浜市を応援し横浜市へのふるさと納税をしていただけるよう、引き続き取り組んでいきます。ご意見を踏まえ、財政運営 2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」の主な取組 5「本市へのふるさと納税の推進」を一部修正します。
<p>財政運営について 「ふるさと納税」で横浜をアピールできる物で、若い世代を魅了できるものを還元してほしい。市民の意見を聞いたらどうでしょうか？</p>	参考	ご意見につきましては、財政運営 2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」の主な取組 5「本市へのふるさと納税の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>住民自治をすすめる市役所・区役所の仕組み・機能について 行財政運営 行政運営 1 - (1) 時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進 P-124主な取り組み 1 行政ニーズに即応できる組織体制づくり (冒頭に付け加える) 大都市横浜における住民自治を進めるために、区への分権・権限移譲をすすめ、区役所の機能強化をすすめます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>行政運営 3 住民自治に充実と協働・共創による地域の更なる活性化 P-133目標「4 行目の(……行えるよう)以降を以下とする」 区への権限移譲・予算拡充、分権をすすめていきます。 P-134主な取り組み 2 地域支援機能の充実 各区の地区懇談会、区民公募・自主参加型の運営として、幅広い区民の声を聞くものとします。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」において、引き続き区役所業務等のあり方検討を進め、検討結果に基づいた区行政の更なる見直し・強化に資する取組を実施することとしています。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「行政運営」について 小生が30年近く居住している青葉区役所は、最近所用でお伺いしたが職員の皆さんの対応の変化（非常に丁寧）に驚きを感じました。 特に非正規雇用の方には、一定の生活水準が保てるよう検討して頂きたい。</p>	<p>その他</p>	<p>市政運営に関するご意見として伺います。</p>
<p>最後に、国の施策とはいえ、返礼品欲しさに「ふるさと納税」を行う市民が多いが、つまるところ横浜市での行政運営（清掃局、交通局等）のレベルが下がることとトレードオフであることに変わりなく、啓もう活動をはじめ最終納税額（ふるさと納税しない方向け）に対する何らかのインセンティブなど検討して頂きたいと強く感じます。</p>	<p>参考</p>	<p>ふるさとやお世話になった地域を応援するという、ふるさと納税本来の趣旨がある一方で、都市部の自治体財政への影響が大きいなど課題があるため、国に対して制度本来の趣旨に沿った見直しを行うよう、引き続き要望してまいります。</p>
<p>「財政運営」について 思いきったふるさと納税政策 時間とお金に余裕のある高齢向けのプラン</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、財政運営 2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」の主な取組 5「本市へのふるさと納税の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>やりたい政策があるならば、税収を上げる政策や、企業をどう呼び込むのか、具体策をださないと、今後の市政運営が不安です。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅢ「基本戦略」、素案のⅤ「9つの戦略及び38の政策」及び素案のⅪ③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>p.128行政運営 2-(1) 主な取組 1 マイナンバーカードの取得は任意であり、市が交付を推進するのは反対である。国の政策にはきっぱりと対峙し、住民の防波堤となるべきである。国からの乱暴な政策誘導・利益誘導に屈してはならない。 マイナンバー制度の運営にかかわる違法再委託問題や、大規模な情報漏洩事故続発の実態を直視すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」に記載のとおり、マイナンバーカードは、オンラインでの認証基盤として重要であり、全ての市民の皆様への交付を目指してまいります。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>住民自治について 370万人都市である横浜市は、市民の声が最も市政に届きにくい都市でもあります。市長が各区の子育て関係グループなどと懇談されたレベルを超えて、幅広く市民の意見を吸い上げ公表し、それらに応じていく仕組みがあって然るべきだと思います。例えば、不作為抽出で選び出された市民が、自由なテーマを設定して意見を述べてそれを公表する。それに対するパブコメを募集した上で、横浜市の対応を広報する。いわば引き民主主義と言われる手法で、横浜市と市民の間に風通しのよい関係性を醸成し、相互の信頼性構築を図ることで、住民自治に配慮する住み続けたいまちヨコハマを目指して頂きたいと思います。 以上です。ご検討をよろしくお願い致します。</p>	<p>参考</p>	<p>横浜市では、市長の集会広聴である「市長と語ろう！」や、個別に寄せられる市民の皆さまからのご意見に対して回答する「市民からの提案」、市政に関するアンケートを行い、事業の企画・改善に役立てる「ヨコハマアンケート」など、多様な広聴事業を実施しています。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「行政運営」について パブリックコメントや陳情書などで市の政策に反対する意見が多くても「参考」として無視するのは止めて下さい。</p>	<p>その他</p>	<p>市政の推進にあたっては、市民の皆様がどのような意見、要望を持っているかといった、ニーズを把握することが必要であると考えています。今後も、ご意見はしっかりと受け止め、取り組んでいきます。</p>
<p>「財政運営」について 大型開発を止めて借金を減らして下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>予算編成において、最も施策の達成に効果的な事業を議論・追及するとともに、成果志向・将来志向・公平性の3つの原則に沿って行います。必要な公共投資を進めつつ、市民一人当たりの負担に着目しながら、中長期の時間軸で借入金残高を管理していきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「財政運営」について 財政的な厳しさは分かるが、少しずつ削減をしていくような方針のように感じる。これでは、各施策が少しずつ目減りしていくことになりかねない。人口減少という先進国の宿命の中で、もっと抜本的でメリハリの利いた考え方をとるべきである。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>「行政運営」について よろしくお願ひいたします。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>「財政運営」について 将来の市民のためにもよろしくお願ひいたします</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見を踏まえながら、持続可能な市政に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>「行政運営」について ①住民自治を進めるため、各区の地区懇談会は、区民公募・自主参加型の運営を行い、幅広い区民の声を吸い上げて下さい。 ②各区で吸い上げられた声を実現するためにも区の分権・機能強化をすすめ、区への権限移譲・予算拡充、分権を進めて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」にあるとおり、「特別市」の実現を見据えながら、市民に身近な行政サービスを市民により近いところで行えるよう、区の更なる強化を図っていきます。ご意見を参考にしながら、取組を推進していきます。</p>
<p>「行政運営」について 地域コミュニティの活性化については、全市一律ではなくもっときめ細やかに対応すべき。そのためにはもっと区の人材を手厚くするべき</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」において、区行政の更なる見直し・強化に取り組むこととしています。ご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>「財政運営」について 地域コミュニティの活性化については、全市一律ではなくもっときめ細やかに対応すべき。そのためにはもっと区への財源移譲をすべき。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、行政運営3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」及び財政運営4「歳出ガバナンスの強化による効率的で効果的な予算編成・執行」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>現在のコスト意識を考えてくれませんか。将来がありません 財政運営について申し上げます。2040年中期計画の前に現在のコストを考えてください。民間では考えない事例を上げます。中期計画のP135参考2を見ると京都市の次に将来負担比率137.5%と多いです。テレビの報道で京都市の赤字体質が分かったが、現在の市の対応を見ると現在から考えないといけない。</p>	<p>参考</p>	<p>予算編成において、最も施策の達成に効果的な事業を議論・追及するとともに、成果志向・将来志向・公平性の3つの原則に沿って行います。また、将来負担比率をはじめとする健全化判断比率の状況も踏まえた財政運営を進めていきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「行政運営」について ざっと見たがカタカナ文字が多い。本来行政が行うべきことは何か。多くの人口を抱える市であり住民サービスが行き届いている面もある。 今後、民間に委託することも多いが財源の確保が十分にできるのか。職員でなすべきことができてきているのか。福祉の分野では、ボランティアという名目での人材に頼っていた施策では実際には担い手となっていたり、一部の人（民生委員や自治会役員など）への負担が増してきている事への配慮はあるのか。</p>	<p>その他</p>	<p>行政運営2-(2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」に記載のとおり、厳しい財政状況の中でも、持続的に行政サービスを提供できるよう取組を進めていきます。また、行政運営3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」にあるとおり、デジタル技術を活用した地域の担い手の負担軽減に取り組んでいきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「財政運営」について 歳入歳出についておおむね述べられていることは妥当だと思う。 歳出について施策との運動していると思うが、具体的には年度予算案に反映されると思うが、継続事業についての説明はどこを見ればよいのか。 財政ビジョンに従って運営されると思うが、中期計画策定前に策定されているので中期計画で示されている施策との結びつきが判るような資料があると良い。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「財政運営」について 市税流出 流出増加問題は深刻化してるので、新たな取組の推進や国への要望はいいことだと思います。ふるさと納税の横浜市への納税を促進するために、アミューズメントパークの入場券あったら、人気あると思います。東北地方みたいに入場券に関する返礼品もあると、違う客層にも着目してもらえると思います。今は通販でも買えるものが多い印象で他の地域に負けてるものもあるかもしれません。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、財政運営 2「戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実」の主な取組 5「本市へのふるさと納税の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P 133～134行政運営 3 本項では、住民自治の充実を課題に掲げているが、脚注で特別市（特別自治市）を前提にした区における住民自治機能に限定する旨、記載をしている。しかし、特別市（特別自治市）は法改正が必要な課題であり、それ以前にも現行法の中で実施できる住民自治充実の施策を実行していただきたい。178万世帯、377万人が暮らす本市はもとより、大都市に共通している課題は、住民自治が形骸化していることにあると考える。市民に身近な行政機構として区役所の機能・体制を強化するとともに、例えば「地域協議会」などを通じた市民参加と施策への意見反映の仕組みをつくっていただきたい。また、市の計画や施策の検討にあたって、有識者による検討会や審議会が設置されるが、こうした場に公募による市民の参加を保障する仕組みをつくっていただきたい。住民自治の充実に向けた基礎として、自治の理念、自治運営・行政運営の基本を規定した「自治基本条例」を制定し、市の重要な施策決定にあたって市民参加と意思反映を保障する常設型の「住民投票条例」を制定していただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>「横浜特別自治市大綱」では、「特別市」制度の実現を見据え、区行政を民主的にチェックする仕組みや、区行政への住民参画の仕組みの構築、区行政の機能強化などを進めることとしております。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>行政運営 1-(1) 主な取組 4 は、これからアイデアを作り上げる市職員がモチベーションを下げものになりかねず、反対である。むしろ、有意な人材を集め、働き続けられるよう、人をいっぱい雇ったり、自治体で最も高い給与でしっかり報いるべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」に記載のとおり、限られた経営資源の中で最大限の効果を発揮できる、効率的・効果的な執行体制の構築が必要であり、職員の能力・役割発揮の最大化に繋がる人事給与制度運用等の改善等と併せ、取り組んでいきます。</p>
<p>財政運営 2 主な取組 1 の横浜みどり税は国や県と重複課税になっており、市民への課税は止めるべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>「横浜みどり税」は、樹林地・農地の保全・活用や、街の魅力を高める緑や花の創出・育成などの事業費の一部に活用させていただいており、国や県の課税とは目的と使いみちが異なります。いただいたご意見につきましては、戦略 7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>財政運営 2 主な取組 5 は国に制度の廃止を求めるべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>ふるさと納税による減収が、自治体の財政に与える影響が大きくなっている状況などを踏まえ、制度の見直しについて国に対して要望しています。本市として、制度の趣旨に則り、より多くの方に横浜市を応援し横浜市へのふるさと納税をしていただけるよう、引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>「行政運営」について 市行政のあらゆる段階と場面での市民、区民の参加を基本とします。 横浜市を、海岸部、中間部、郊外部の三つにエリアに分けて、それぞれの地域の課題について、区を越えた横断的課題についての議論の場、「エリア会議」を設定し、議論します。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」では、「市民に身近な行政サービスを市民により近いところで行えるよう、区の更なる強化」を図ることを目標として掲げています。いただいたご意見を参考にしながら、着実に計画を推進していきます。</p>
<p>「財政運営」について あらゆる事業に、市民及び全国民からの寄付を容易にする「クラウド・ファンディング・システム」を作り、その見返りとしての免税措置等を考えます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>事業単位で寄附金を募集するクラウドファンディング型のふるさと納税では、ふるさと納税制度上の税制優遇措置が適用可能ですので、相応しい事業への活用を図っていきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
135ページの収支がさらに開くようなことを書いてあるが税金を踏み倒している市民には何もペナルティはないのか？正直者が馬鹿を見ることは看過すべきでない。滞納者の氏名をかけたの高額納税者公表と同じように公表したらどうだ。	その他	ご意見として伺います。
「行政運営」について P128の市役所のデジタル化について、本当に素晴らしいのでよろしくお願ひします。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見を踏まえながら着実に取組を推進してまいります。
「行政運営」について 市の職員さんの非正規の方の正規雇用と非正規での働き方を選ぶ場合も賃金を上げてほしいです。公務員の方々をワザと優遇されていると煽って市民と対立させるような地域もありますが横浜市はそんな事にはならないように、どうか職員さんの働きに見合った賃金をお願いします。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
「財政運営」について 横浜は財政状況が厳しいと言われていまし、本当にそうだと思いますが、分かりづらい部分なので収支がわかりやすくなればと思います。財源がどのようになっていて、それがどこにどれだけ使われているかわかりやすく説明している図等があれば税金の重要さやどれだけ財政が厳しいか実感する市民も多くなると思います。	参考	わかりやすく、利活用しやすい財政情報を公表・共有し、本市の財政状況を認知していただくことが重要と考えています。ご意見につきましては、今後の取組の参考にさせていただき、引き続き、市民の皆様のもとに届く形で、財政情報の公表・発信に取り組んでいきます。
国にふるさと納税廃止を訴えてほしいです（市が訴えるのは難しいと思います）ふるさと納税は税金の本来の目的を失わせていると思います。	参考	ふるさと納税による減収が、自治体の財政に与える影響が大きくなっている状況などを踏まえ、制度の見直しについて国に対して要望しています。本市として、制度の趣旨に則り、より多くの方に横浜市を応援し横浜市へのふるさと納税をしていただけるよう、引き続き取り組んでいきます。
IRのような行政の暴走を止める装置のつくれ IR以降も、上瀬谷・花博・内港・山下ふ頭・三ツ沢公園・根岸住宅跡地と、緑を破壊する開発と箱モノ行政を続け、民意と乖離した暴走を続けている。市民意見で反対意見があっても修正すらずに、突き進む市政も全く改善されていない。 暴走をとめる役割をしなければならぬ市会が機能もせず民意を無視しているのは問題だが、市会さえ押さえれば何をすれば良いという市政では、財政破綻するまで暴走しつづける。	その他	ご意見として伺います。
失敗の責任を明確にすること 議会を通さぬ、違法な支出の責任をとれ 他自治体は最低でも特別行政職である市長・副市長は責任をとっている。ガバナンスの問題であるので、管理職以上の減給はあって当然だとは思いますが、市長・副市長が責任をとらないのは論外。	その他	ご意見として伺います。
コロナ支援策として失策であるレシ活の責任をとれ 他自治体のように水道代を減免するような政策に比べて公平性が低く、「お金を使えば使う程メリットを受ける」という所得の低い人への支援になってもいない。スマホが使えるとか使えないとかいう以前の問題として失策である。レシート現物送付に対応するだとか無駄な支出をすることも、結果的に負担が増え市民を苦しめている。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
花博の失敗の責任の取り方を表明せよ 失敗が確実視されている中、強硬するのであれば、行政と議会が推進した責任を最低でも「財政面」でとっていただきたい。市民が負担する赤字はゼロにすることを求める。 「運営費」だけの話ではなく、「建設費」や他事業に付け替えている「造成費」と「基盤整備費」などの、結果的に生まれる上瀬谷関連事業における赤字は、行政職員の減給（赤字の返済を終えるまで続けよ）や議員報酬の返還によりゼロにすること。 その上で、もちろん市長・副市長の辞職と議会の解散を求める。 推進した元市長には賠償を求める。現市長が退任していても、賠償することを議会で決議すること。	参考	ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市長公約を守り、市民サービスは負担に見合うレベルにせよ            中学校給食がない、小学校給食は酷い、図書館は全国最低レベル、児童館は遠くて子連れで行けない。低いレベルの市民サービスを、日本で最も高い市民税に見合うものにせよ。            教員費用の削減、学校修繕費用削減、保育料の値上げ、ごみ収集の有料化などあり得ない。            開発に使われる無駄遣いをやめれば十分に足りる。</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>情報公開の徹底として            民主主義の政治体制の基本原則に基づき、下記を求める            ○諮問会議なども中継・録画公開をすること（関係者の個人情報を含む場合は顔などをぼかした上で録画公開する）            ○傍聴者に配布される資料を、HPで即時公開すること            ○現状遅すぎる会議録などの公開を早めること            ○市長説明も含めてメモすら残っていない市政が続くか、会議等での行政文書は必ず残すこと            ○情報公開が国家機密文書よりも厳しく、永遠に非公開のままだが、時間経過に伴い非開示事由がなくなれば、各公文書と会議録を公開すること            ○企業との提携事業が非常に多いが、契約の経緯と条件、契約書を必ずHPで公開すること</p>	参考	会議の公開や運営、情報公開や文書管理等についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>市民サービス削減による財政の立て直しに断固反対する            今年4月財政局から出され、市民に衝撃を与え、「文書取消」という珍事になった「持続可能な市政運営の実現に向けた「歳出改革」の取り組みについて」には下記記載あり。            ・保育料値上げ            ・教職員数抑制            ・学校修繕費削減            ・キッズクラブ値上げ            ・学童保育とキッズクラブの統合            ・障害者施設は売却か民営化            ・公共施設の値上げor有料化or廃止            ・国民健康保険の値上げ            ・家庭ごみの有料化            これは抜粋だが、これだけでも市民生活に多大な影響があり、生活苦に追い込まれる世帯はより一層増えるとわかる。市民サービスはセーフティネットであり、決して削減してはならない。生活に関係のないミナトミライの箱モノ等と比べて、公益性とコストが高く、確実に市民を守るサービスであるからだ。市民サービスを削らず、公益性のない公共事業をするな。</p>	参考	行政運営2-(2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」にあるとおり、データを活用した事業の「選択と集中」をはじめとした行政サービスの最適化に向けた歳出改革を段階的に進め、限られた経営資源の中で、市民のニーズに応える行政サービスを効率的・効果的に提供する、持続的な行政運営に向けた取組が必要です。ご意見を参考にしながら、今後の行政運営を推進していきます。
<p>デベロッパーへの便宜供与と箱モノ行政をやめよ            財政ビジョンをふまえてとあるが、市民サービスを削減しなくて良いように、上瀬谷・根岸公園・三ツ沢・関内・内港・山下ふ頭の開発などの「自然を破壊して、箱モノを建てれば成長だろ」という勘違い行政をやめろ。            これ以外にも、例えばデベロッパーの言いなりに区域指定の変更などで自然破壊と開発や、市民の財産を散財することをやめ、市民サービスだけをすれば財源は足り、子育て支援も出来る。</p>	参考	社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。いただいたご意見も参考に、必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市職員の身を切る改革をせよ</p> <p>民間との是正などと期末手当を増額したが、民間との格差はひらく一方である。転職サイトでは「日本の年代別の平均年収と比べて、横浜市役所の年収は全年代において約1.58倍以上、198～356万円ほど高い」とされている。</p> <p>このため下記を提案する。</p> <p>1 横浜市常勤特別職職員の給料を「5割削減」、期末手当を「廃止」すること</p> <p>2 行政職員給料表の8級を削除すること</p> <p>3 管理職手当を受ける行政職員（消防・教育・技能・医療職員を除く）の手当上限を「給料月額額の100分の10」とすること</p> <p>4 行政職員（消防・教育・技能・医療職員を除く）の特別手当（期末手当及び勤勉手当）の支給割合を年間2か月を上限すること</p> <p>5 行政職員は市に損失を与えた場合、厳格な懲戒処分を行うこと</p>	参考	<p>行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」にあるとおり、DX・公民連携、全体最適の視点により、全事業の見直しを実施するとともに、最適な行政サービス提供主体の検討を行い、総人件費の抑制を図っていきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>財政ビジョンで国家予算でさえも1年先が見通せないのに、市会が余りにも長期予測を議決し戸惑いを禁じ得ない、花博等の訪問客の推計数字に基づく財政支出をよとする？もっと落ち着いた政策を財政マンは何故注意喚起しないのでしょうか？</p>	参考	<p>予算編成において、最も施策の達成に効果的な事業を議論・追及するとともに、成果志向・将来志向・公平性の3つの原則に沿って行います。さらに、事業執行後、その結果を評価し、次の予算編成等に反映させるPDCAサイクルを推進します。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ゼネコン等に利益追求を容認するコンセッション方式も市民の財産を毀損すること少し考えれば判ります。先頃私は横浜地裁で単独で訴訟を提起し裁判長もたとえ毀損しても当該財産の所有者は市にあり、市民である私ではないと門前払い。裁判長も市の財産が毀損することは判っている判決を下しました。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「行政運営の基本方針素案」-「基本方針の重点3」に関連して- 住民自治に関して、「参加と協働」に関する2つの提案 (この項は、本来、中期計画に基本を明記すべきと考えます。)</p> <p>「市民力と創造力」を結集できる「区政の権限拡充と地区自治協議会の条例化」提案</p> <p>1. 市民が、日常的に考えられるのは、「小学校区から中学校区または、ケアプラザ圏域」です。住民へ計画説明と意見集約や、住民が参加、協働の場合は、上記の場です。</p> <p>この日常参加できる圏域で、地方自治法による「地区自治協議会」の発足が最も重要と考えます。条例で地区自治協議会を規定し、年次計画でその具体化と拡充を要望します。</p> <p>2. 市民が、市政の全体を学び、検討する上では、区政を通じて考えるのが限度ではないでしょうか。</p> <p>区政の独自財政を抜本的に拡充することを基礎に、区政への「参加と協働」の場を拡大することで、初めて市政の多角的発展につながると考えます。区政権限と区財政の拡充を強く要望します。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>「行政運営-重点3」の「特別市における区」の位置付けは「東京の特別区のような自治体」ではなく「区役所機能の強化」としての行政区を目指すという。住民自治を強めるなら区議会設置の自治体を目指す道もある。現在、区長は1億円の裁量予算を持つといわれるが、区民の意見・要求に根差した区政を進めるなら、裁量予算を1億5000万円に増やし、区民の声を直接聞き、区政に採り入れることを求めたい。</p>	参考	<p>行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」にあるとおり、「特別市」の実現を見据えながら、市民に身近な行政サービスを市民により近いところで行えるよう、区の更なる強化を図っていきます。いただいたご意見を参考にしながら、取組を推進していきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>行政運営「行政運営の基本指針」に基づく信頼と責任のある行政運営 行政運営 1 - (1) 時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進 高い給料の常勤職員が委託屋となってしまっており、現場の実態も知らず、調査は民間に丸投げで、市民の実態とは乖離した政策をやって市民に押し付けて仕事をしたふりをするのはやめていただきたい。非常勤職員を全て常勤職員として専門性を担保するとともに責任を持たせ、オールマイティに市民の需要に対応できるように、十分に働いてほしい。コールセンターの丸投げは、マニュアルでした対応できない派遣職員に責任と精神的苦痛を押し付けるものであり、市民の声を直接聞く機会からの逃避です。現場の声を聴かなくなるとは、政策が空疎なものとなります。また、民営化も余計な株主配当と中抜きを生じさせ、専門的知識が行政側に蓄積しないために長期で見て行政の損失となります。必要なサービスを見極めて職員が対応することによりサービスの維持は可能となる筈です。民営化はやめてください。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 1 - (1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」にあるとおり、限られた経営資源の中で最大限の効果を発揮できる、効率的・効果的な執行体制を構築していく必要があり、DX・公民連携、全体最適の視点により、全事業の見直しを実施するとともに、最適な行政サービス提供主体の検討を行っていきます。</p>
<p>行政運営 2 - (1) 新たな価値やサービスを生み出すDXの推進 いくらオンライン化やデジタル化を進めても、政策形成及び政策決定に係る文書を作成して保管し行政文書として閲覧に供することができなければ、住民自治を蔑ろにしているに等しい。政策形成及び政策決定に係る文書をきちんと作成し、黒塗りにせず市民の閲覧に供してください。民間に委託するからと情報公開文書を黒塗りにするのは、行政としての事務の遂行責任の放棄です。</p>	<p>その他</p>	<p>行政運営 2 - (1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」にあるとおり、文書管理体制の更なる適正化を図っていきます。また、行政文書の情報公開にあたっては、引き続き「横浜市の有する情報の公開に関する条例」に基づいて適切に対応していきます。</p>
<p>行政運営 2 - (2) 市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進 「2 データを重視した政策形成とオープンデータの推進」を掲げ、データを集約する行政経営プラットフォームの構築を謳うが、データ化はそれはそれでよくても、例えば中学校のデリバリー弁当のアンケートをとっても結果として出た意見を無視して横浜市のやりたいようにやるのであれば全く意味を成さない。データ化しなくても個々の陳情や請願や市民の声を丹念に見て政策に反映させていくことは十分に可能である。データはいくらでも加工することができ恣意的に用いることができるので、データを振りかざして市政を運営することは危険である。また、エビデンス（根拠）に基づく政策形成を謳うが、取組指標がしょぼいものであればエビデンスの前後もしょぼいものとなるのが必定である。エビデンスを設定する前には、十分に市政の課題の問題把握を行ってお願いしたい。</p>	<p>参考</p>	<p>限られた経営資源の中で、多様化する市民ニーズに応えつつ、効率的かつ効果的な行政運営を進めていくためには、市民の皆様のご意見も含め、データを重視した政策形成を着実に進めることが重要です。ご意見につきましては、今後の行政運営の参考にさせていただきます。</p>
<p>行政運営 2 - (2) 市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進 「3 業務の効率化・経費適正化」を謳うが、市民に必要なないモノ行政そのものをなくすことそのものを実行するだけで、大きく業務をスクラップして他の業務に人員も時間も予算も振り向けられます。小手先の業務の効率化ではなく、政策そのものが本当に市民に必要なものかどうかを見極めて大胆に止めてください。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 2 - (2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」にあるとおり、投資管理も含め歳出・歳入の両面から多様な取組を重ねることで、減債基金の臨時的活用から2030年度までに脱却し、持続的かつ最適な行政サービスの提供の実現を目指してまいります。ご意見につきましては、今後の行政運営の参考にさせていただきます。</p>
<p>財政運営財政ビジョンに基づく「施策の推進と財政の健全化の維持」の両立 財政運営 1 債務管理ガバナンスの徹底による中長期的な視点に立った債務管理(意見)債務が多い中、PFIで債務額をごまかさず、借り換えを積極的に行い、債務を減らす努力をしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>PFI手法には、民間ノウハウの活用による市民サービスの向上、トータルコストの削減、財政支出の平準化といった効果があります。財政運営にあたっては、PFI事業のうち公共施設または公用施設の建設事業費等にかかる経費の支出予定額も含めて算出する将来負担比率の状況なども確認しながら、債務管理を行ってまいります。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>財政運営 5 市民の共感を生み出す情報発信と課題提起 カジノIRが市民に否定されたのは横浜市による情報発信が足りなかったせいではなく、市民に必要な余計な政策を押し売りしようとしたせいです。情報発信にお金をかければ済むという考え方は誤りです。良い政策は根強く市民に支持され、情報発信にお金をかけずとも広がります。情報発信に力を注ぐよりも、市民に必要な政策形成に力を注いでください。</p>	<p>参考</p>	<p>今後の市政運営の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>行政組織の細分化を提案します。</p> <p>現在の横浜市の人口は380万人ほどとのことですが、そのような巨大コミュニティにおいて、一人、一人の住民がみずからのニーズにそった自治的・協働的活動を行うなど、ほとんどあり得ないことでありますので、行政の基礎的組織の細分化を求めます。</p> <p>せめて、現在の18の区を基礎的行政区とし、財政をふくめての権限の委譲・細分化を図ることを求めます。</p> <p>・現行の地方自治法の下では、東京都の23区のように区議会を設置することはできないとのことですが、公選によって区協議会を設置することは可能ということで、そのような形に移行することを求めます。それによって、行政の問題に関して、選出された協議員の方と気軽に話しをしやすいという、本来あるべき姿に近づけることも期待できるように思われます。</p> <p>・同時に、横浜市として、東京都の23区のような制度を施行できるよう、国会に法制度の変更を要請することを求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」にあるとおり、「特別市」の実現を見据えながら、市民に身近な行政サービスを市民により近いところで行えるよう、区の更なる強化を図っていきます。また、Ⅶ「大都市制度」にあるとおり、法制化に向けて、国での議論が進むよう、国や関係機関等への提案・要望を行っていきます。ご意見を参考にしながら、計画を推進していきます。</p>
<p>124頁横浜市民が非正規労働者が5割に迫り皆困窮化しており、市役所も非正規公務員が多いというのに、エリート意識の強い公務員は大企業並みの給与とボーナスを人事委が提言。全市民のことは上から見下し市民の金を貪り市民を踏みつけること甚だしい。</p> <p>市職員は無駄に新市庁舎に籠り、現場で市民と触れるのは非正規や外注丸投げでふざけるんじゃない。現場で市民の話を聞くべきだろう。</p> <p>まず新市庁舎に窓口を開くべきだろう。内線電話を市民にかけさせ電気代をわざわざ使い面倒臭そうに出てきて直ぐ帰り隠れ籠り市民を舐め切っている。</p> <p>市民参画の市政を推進すべきである。市民が意見を言える場を積極的に「創る」べきである。</p>	<p>参考</p>	<p>本計画では「市民目線」を重視した行政運営を行っていくこととしており、ご意見を参考にしながら、今後の行政運営を推進していきます。</p>
<p>139頁</p> <p>コロナの時に債務管理がバナナス等は考えるべきでない。今は特別事態であり、積極財政が必要であり、金融緩和でない財政出動が必要である。その分はハコモノ再開発行政を今は全てやめれば良いのである。</p> <p>市民の民生の為に金は回すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>140頁</p> <p>ふるさと納税を増やすには、観光行政再開発は真逆な施策と知るべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>より多くの方からふるさと納税の制度を通じて、横浜を応援していただけるよう、ふるさと納税の取組を推進してまいります。</p>
<p>145頁</p> <p>市民の話もきかないで市民の共感を生む情報発信もない。市民参加型に情報媒体を作るべき。</p>	<p>参考</p>	<p>財政運営 5「市民の共感を生み出す情報発信と課題提起」において、様々な情報を活用して、市民の皆様への財政出前講座など双方向型広報に取り組むとともにオンライン講座や市民協働による情報発信を進めます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>財政運営</p> <p>市民サービス削減による財政の立て直しに断固反対する今年4月財政局から出され、市民に衝撃を与え、「文書取消」という珍事になった「持続可能な市政運営の実現に向けた「歳出改革」の取り組みについて」には下記記載あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料値上げ</li> <li>・教職員数抑制</li> <li>・学校修繕費削減</li> <li>・キッズクラブ値上げ</li> <li>・学童保育とキッズクラブの統合</li> <li>・障害者施設は売却か民営化</li> <li>・公共施設の値上げor有料化or廃止</li> <li>・国民健康保険の値上げ</li> <li>・家庭ごみの有料化</li> </ul> <p>これは抜粋だが、これだけでも市民生活に多大な影響があり、生活苦に追い込まれる世帯はより一層増えると思われる。市民サービスはセーフティネットであり、決して削減してはならない。生活に関係のないミナトミライの箱モノ等に比べて、公益性とコスパが高く、確実に市民を守るサービスであるからだ。市民サービスを削らず、公益性のない公共事業を断る。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 2-(2)「市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進」にあるとおり、データを活用した事業の「選択と集中」をはじめとした行政サービスの最適化に向けた歳出改革を段階的に進め、限られた経営資源の中で、市民のニーズに応える行政サービスを効率的・効果的に提供する、持続的な行政運営に向けた取組が必要です。ご意見を参考にしながら、今後の行政運営を推進していきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>デベロッパーへの便宜供与と箱モノ行政をやめよ財政ビジョンをふまえてとあるが、市民サービスを削減しなくて良いように、上瀬谷・根岸公園・三ツ沢・関内・内港・山下ふ頭の開発などの「自然を破壊して、箱モノを建てれば成長だろ」という勘違い行政をやめろ。</p> <p>これ以外にも、例えばデベロッパーの言いなりに区域指定の変更などで自然破壊と開発や、市民の財産を散財することをやめ、市民サービスだけをすれば財源は足り、子育て支援も出来る。</p>	<p>参考</p>	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>市職員の身を切る改革をせよ</p> <p>民間との是正などと期末手当を増額したが、民間との格差はひらく一方である。転職相談サイトでは「日本の年代別の平均年収と比べて、横浜市役所の年収は全年代において約1.58倍以上、198～356万円ほど高い」とされている。このため下記を提案する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市常勤特別職職員の給料を「5割削減」、期末手当を「廃止」すること</li> <li>2 行政職員給料表の8級を削除すること</li> <li>3 管理職手当を受ける行政職員（消防・教育・技能・医療職員を除く）の手当上限を「給料月額100分の10」とすること</li> <li>4 行政職員（消防・教育・技能・医療職員を除く）の特別手当（期末手当及び勤勉手当）の支給割合を年間2か月を上限すること</li> <li>5 行政職員は市に損失を与えた場合、厳格な懲戒処分を行うこと</li> </ol>	<p>参考</p>	<p>行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」にあるとおり、DX・公民連携、全体最適の視点により、全事業の見直しを実施するとともに、最適な行政サービス提供主体の検討を行い、総人件費の抑制を図っていきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>〈行政運営〉</p> <p>区への大幅な権限と財源移譲を求めます②小学校単位の住民協議会を設置して下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」にあるとおり、「特別市」の実現を見据えながら、市民に身近な行政サービスを市民により近いところで行えるよう、区の更なる強化を図っていきます。ご意見を参考にしながら、取組を推進していきます。</p>
<p>ふるさと納税で他府県に流出する市民税を止める政策をとって下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>ふるさと納税による減収が、自治体の財政に与える影響が大きくなっている状況などを踏まえ、制度の見直しについて国に対して要望しています。本市として、制度の趣旨に則り、より多くの方に横浜市を応援し横浜市へのふるさと納税をしていただけるよう、引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>行政運営P122</p> <p>住民自治の充実とは特別市となってもできるとは限らない。一番の理想は各区に議会があり区政としての財源や権限がうつされ区民の見える市政となることだと思う。しかし、すぐにできるとは思わないが、少なくとも住民が市政、区政に参加するシステムはできる。公募型の区民協議会など今の町会、自治会とはちがういわゆる区民による自治機能が発揮されるしくみをつくるべきだ。会議の公開や意見募集など区を単位にすすめていくことで住民自治の充実につながる。市政が遠く、自分事を感じられないのが日本一大きな政令市の一番の弱点だ。区民協議会には市長も参加し、もっとオープンに市民と接するべきだ。会議公開し、傍聴できるしくみをつくればもっと身近に感じられる。応募型区民協議会をぜひつくってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>「横浜特別自治市大綱」では、「特別市」制度の実現を見据え、区行政を民主的にチェックする仕組みや、区行政への住民参画の仕組みの構築、区行政の機能強化などを進めることとしています。</p> <p>また、本計画では「市民目線」を重視した行政運営を行っていくこととしており、ご意見を参考にしながら、今後の行政運営を推進していきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P 44、財政ビジョン・行政運営の基本方針との関係 「行政運営の基本方針」を踏まえた、「創造・転換」を理念とする――と記載されています。 「行政運営の基本」は、「地方分権」です。 国は、1993年宮澤内閣以来、「地方分権」と称して30年近く霞が関は、地方自治体に対し政策を示し助成金を付けて募集していますが、これは中央集権と言いませんか。（1番の指定を受けて喜ぶ姿勢は、「地方分権」では、ありません） 欧米諸国の地方政府は、独自に政策を考え実行していますが、これが本当の「地方分権」ではないでしょうか。 横浜市は、開港以来、日本の近代化に対し先導的役割を果たしてきました。 横浜市は、大変革渦中の世界状況のなか、独自に世界から選ばれる都市像を示し行動する時です。⇒国が変わる 横浜市が進める「特別自治市」の実現をロードマップ作製の上、市民の理解と共感を得てゆくべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 大都市よりも、むしろ北部5区（港北、青葉、都筑、鶴見、緑）を独立させてほしい。 今や市内人口の1/3がここに集積しており、経済資源の集中も進んでいる。中や南の高齢化が進む地域を、北部からの税収が支えているとしか思えない。 もしくは、かつての港北区である港北・青葉・都筑・緑を合体させ、独立区とさせてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>本市が目指す「特別市」では、18区の個性と一体性を生かして、効率的・効果的な行政運営を行うことを目指しています。5区の税収についてのご意見につきましては、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 与野党の国会議員と連携して確実に進めるべきです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見を踏まえながら、特別市の早期実現に向けて着実に取り組んでまいります。</p>
<p>「大都市制度」について 正直申し上げて、横浜市としてこれをするのであれば、むしろ神奈川県全体として、権限を国から奪い取ってしまえと思います。横浜の水源地や交通インフラ、観光のことを考えても、むしろ神奈川県一県として、アメリカの州並みに権限をもらった方が広域計画もかなり進むと思われます。その場合、横浜市、川崎市、相模原市などという枠組みがある程度形骸化することはやむを得ない、と考えたうえでのごです。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 二重行政排除のために基本的には賛成。但し、今行すべき政策かは要検証。 費用対効果が大きくプラスになるならば今やるべきだが、そうでないならば、各市でまずは財政健全化を図るべき。厳しい言い方になるが、人口が減少している以上、地方に空白地帯が生まれることはやむを得ない。空白地帯を生まないためにも、地方が発展する方法を行政・住民ともに必死に考えるべき。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>特別市実現してください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。特別市の実現に向けて、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「大都市制度」については以下の点で反対です。本計画からは取り下げ、別の場で議論をお願いします。</p> <p>①「特別市」は現在の『地方自治法』の在り方と大きく異なる概念である。</p> <p>②そのため、法改正を含む調整には数年はおろか十数年にも及ぶと推測される。</p> <p>③「特別市」の考え方は「東京都と23区」の考え方も異なる。東京都型であれば反対することはない。（つまり横浜市を神奈川県に吸収させる）</p> <p>④横浜市、川崎市、相模原市の3政令指定都が「特別市」となった場合、神奈川県からの独立となる。</p> <p>そうなった場合、『内部からの侵略』に耐えられるのが甚だ疑問。川崎市は既に汚染されている。その状況を鑑み、制御としての県の実在は不可欠と考えている。</p> <p>⑤「内地地政学的」的に見て、上記3市の「特別市」化は東京都への侵略の橋頭保となりがねない。そこに対する対策が現計画では一切記載がないため、賛同できない。</p> <p>⑥神奈川県民として、3政令指定都市の人口は神奈川県の2/3を占めている状況を鑑みると、県の破壊に至ることは必至。</p> <p>以上のことから、本計画への反映の取りやめをお願いしたい。</p>	<p>参考</p>	<p>本市は、二重行政や不十分な税制上の措置などの課題を解消することで、市民の皆様の暮らしをしっかりと支え、経済を活性化していくために、新たな大都市制度「特別市」の早期実現に向けて取り組んでいます。ご意見につきましては、Ⅶ「大都市制度」に関するものとして、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 早期に自主財源が確保できるように国と県に働きかけることをしっかりとテーマとして掲げるべきです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては素案のⅦ「大都市制度」に含まれていると考えております。早期実現に向けて、ご意見を踏まえながら着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「大都市制度」について 県と市の仕事の区分がはっきりしていれば、大都市制度は必要なし。仕事取りっこ、税金のとりここの喧嘩をするのは無駄である。</p> <p>ただし現在のコロナワクチン接種場所について、横浜市からも神奈川県からも同様な連絡がくる。県と横浜市の仕事のダブルはやめてほしい。むしろ市民側が行政サービスを自由に選べる選択制して、地方自治体の間に競争原理を働かせ、サービスのコストパフォーマンスを上げてほしい。競争がないところには向上もないので。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 大都市制度できめ細かなサービスを提供すると記載されていましたが、疑問いす。本来きめ細かいサービスを行うには、小さな行政が向いているはず。いっそのこと県の業務を行わないなどしてはいかがでしょうか？政令指定都市を辞めちゃうのはいかがでしょうか？</p>	<p>参考</p>	<p>特別市は市域内のことが市で完結する、横浜市の一体性を生かした効率的・効果的な制度です。いただいたご意見につきましては、行政サービスに関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について もうこれ以上でかい都市は要りません。横浜市を18市に分けて、横浜市は18市の連邦都市にすべきです。行政が身近に感じません。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>大都市制度について 今後の横浜市の効率的な行政と効果的な財源確保のためにこの「特別市」の制度が必要不可欠と感ずります。</p> <p>東京都のようなかたちではなく、横浜市が一体となって行政区として運営する仕組みは横浜市の特性に非常にマッチしていると思います。</p> <p>この制度を実現するためには、市民への認知やアピールによって変更の機運を高めることが必要ですが、我々の市民にとってこの制度の仕組みや、メリットがほとんど伝わって来ないと思います。</p> <p>横浜市が「特別市」になると、このようなメリットを（特にサービスの向上や効率化の面を具体的に、そして税収が上がりよりよい行政が可能等）、市から積極的にアピールしてください。</p> <p>出身を聞かれて、神奈川県民というよりも必ず横浜市というように、県民というよりも横浜市民という自覚が高い市民が大多数だと思います。</p> <p>「特別市」へのメリットを根気よくアピールし続けて、市民の声の高まりから国や県を動かしていきましょう。</p> <p>この制度の実現のために市を心から応援していますし、サポートしていきたいと思っています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅦ「大都市制度」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「特別自治市」実現に向けて着実に進めています。 150ページ ①住民自治の充実では国の地方制度調査会でも政令都市の自治にかけているのは区段階に住民自治機関がないことと言っている。その後、地方自治法を改正して区に自治協議会を設置できることになった。今横浜市が行うべきことは大都市制度ではなく行政区での住民自治を強化することです。 ②大都市制度は神奈川県や近隣都市が反対しており、矛盾を広げます。県との税財政の不公平、二重行政問題は県都の協議により是正することで解決すべきです。教員の県費移管のようにそれは可能と考えます。又二重行政と言っても大学が県と市が持っていていいこともあります。弊害は具体的に示し解決すべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「行政運営」について 住民自治の充実について、特別市の構想では、第30次地制調の指摘に添えていない。現行法のもとでも実施可能な以下のことを提案する。 1. 公選による区長の任命、または準公選若しくは公募制度を経て市長が任命した区長を議会の同意を必要とする制度に改変する。 2. 公募を含む住民代表による区民協議会を設置し、地域課題の解決や区政に関する問題を審議し、区長に提言するとともに、一定の予算を持つ。 3. 区（長）が、使える予算を1区平均1億円5千万にし、さらに早期に2億円にする。</p>	<p>その他</p>	<p>特別市についてのご意見として伺います。</p>
<p>「大都市制度」について 横浜市や政令市が主張する内容には以下の疑問がある。 1. 少子・高齢化の進展による税収の減少、行政需要の増大や社会資本の老朽化等への対応策は、特別市以外にないのか、疑問である。 2. 神奈川県と他市町村への財政の影響は、大きいので双方が納得する解決案を提起すべきである。 3. 二重行政の解消については、次の点を踏まえて個々に対応する必要がある。 ○行政サービスの低下や人員削減等につながらないか。 ○開発行為の最終的な許可等について、場合によっては県が市(長)の暴走をチェックする役割を果たしているものがあるのではないか。 4. 区長公選や区議会の設置を否定する理由として市域の一体性、都市の一体性を挙げている。しかし、東京都の例を見ても行政区を特別区とし、区長公選を導入した場合市域の一体性、都市の一体性を損なうとは言えないのではないか。 5. 警察行政、医療、水源管理など広域的行政をどう引き継ぐのか。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 説明を読んで、地方自治も今の時代に合わせた制度に変わっていく必要があるように感じました。財政の健全化に向けての一つの解決策だとも思います。大都市制度についてさらなる周知をはかり、市民間で一層の議論が高まることを望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅦ「大都市制度」に含まれていると考えております。ご意見の趣旨を踏まえ、新たな大都市制度「特別市」の早期実現に向けて着実に取り組んでまいります。</p>
<p>「大都市制度」について 300万人をかかえる政令指定都市であるが、県政との連携は果たしてうまくいっているのだろうか？ 横浜市議会議員と話をする機会もあるが、県政より市政の方がやりがいがあるとおっしゃっている議員さんもいるほど。 特に横浜は港町のイメージが強いが、青葉区・都筑区のように内陸側に近い地域もあり、東京とは異なる区単位の運営権限など、独自性があっても良いのではないだろうかと思えます。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「大都市制度」について 必要ありません。これは失敗します。 少なくとも横浜をさえ全くコントロールできていない山中竹春氏が市長の座にいる うちには何も進めるべきではありません。</p>	その他	<p>本市としては、大都市横浜が抱える課題を解決するために、 新たな大都市制度「特別市」実現に向けての取組は必要と 考えております。</p>
<p>神奈川県ではなく、横浜です。 あらゆる権限を横浜が持ち、牽引すべきです。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅦ「大都市制度」への ご期待として、取組を推進してまいります。</p>
<p>「大都市制度」について 大阪市の大阪府からの独立、二重行政の廃止を画策したように、横浜市も神 奈川県から独立すべきだと思う。たとえば昨今のコロナ対策にしても、神奈川県は 各自治体平等に、といった対応である。一見、まともな方針に思えるが、本当は 横浜市をはじめ人口密集地域を持つ自治体から優先してワクチン接種等の施 策を取った方が感染拡大を抑えられたのは明らかである。横浜市などから高額な 税金を取り立てて、ほかの地域に使われる今の状況は、国鉄末期と一緒にである。 税金はちゃんと使ってくれる自治体に払いたいものである。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅦ「大都市制度」への ご期待として、取組を推進してまいります。</p>
<p>「大都市制度」について 実現に向けて着実に取り組んで欲しいです</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に 計画を推進してまいります。</p>
<p>大都市制度 全国的に人口減少であり、高齢化にすすんでいるので、税金の使い方をかえ、都 市部に人を集めるのではなく、市内でも川崎のようにまんべんなく区内人口をとと のえたらどうか。事業所や区役所整備etc特別市にする前に市営のハコ物を均等 に整える事業をしてほしい。</p>	参考	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考に させていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 二重行政解消といったことだけで考えるのであれば、特別市に関しては更なる検 討が必要だと思う。現在の状況が3重行政になっていることから、区の役割、区 の予算など現在考えられている案では住民参加は遠ざかる一方である。区に対 しての十分な財源措置がなければ区民の意見を取り入れる余地は少ない。 新聞折込された特別号ではこの項目に対しての提示がなかったが、どうしてなの か。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、Ⅶ「大都市制度」の取組を進 める上で、また、計画の広報・広聴に関するものとして、参考 にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について 横浜市を大都市とする政策について市民にとって市民サービスの低下などデメリッ トはあるがメリットは全く感じられない。システム変更で無駄な税金を使わないでほ しい。</p>	修正	<p>ご意見を踏まえ、Ⅶ「大都市制度」に分かりやすい内容を追 記しました。</p>
<p>「大都市制度」について 大阪のような議論は止めるべきだ。先ずやるべきことは、横浜市のブランド力（こ れが不明瞭）を活かすことを突き詰めていけば、自ずと県やこれから考え得る道 州制とも不整合は減っていく筈だ</p>	参考	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考に させていただきます。</p>
<p>県や近接市町村と協力とあるが、広域水道についても、神奈川県内広域水道 企業団と連携して、横浜市だけの利害にとらわれず、県内の水道施設の再構築 に積極的に協力して、水道用水の供給をどんどん任せざるべきである。</p>	参考	<p>水道事業についてのご意見として、今後の参考にさせていた だきます。</p>
<p>「大都市制度」について 38の政策の災害対策でも意見しましたが、県と市の二重行政による市民への不 利益がなされないようにするために賛成です。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>「大都市制度」について 特別市のメリットとデメリットがわかりやすくなると良いと思います。基本的には賛成 なのですが災害時の連携が不安です。</p>	修正	<p>ご意見を踏まえ、Ⅶ「大都市制度」に分かりやすい内容を追 記しました。</p>
<p>大都市制度の説明がメリットばかりに見えます。大都市制度のデメリットについて しっかりと検討して、検討結果を市民に広く伝えてください。</p>	参考	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考に させていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「大都市制度」について</p> <p>○二重行政の何が悪いのか全く分からない</p> <p>そもそも県がしていないが必要な事業を市がしているわけで、市民には県のサービスも必要である。</p> <p>足りていないコロナの検査も独自に行わずに、「県がしているからしない」と言い続けていたが、足りていないにも関わらず市民の健康を守ろうとせず、市長公約さえも破り続けた。</p> <p>二重行政を解消されては、市民は困るだけである。</p> <p>○市政に見合った税制にすると、市税があがる可能性が高い</p> <p>現在も放漫な箱モノ市政によって財政が逼迫し、積立基金を取崩し続けている。</p> <p>新しい税制になれば市税が上がり、にも関わらずPFIなどの隠れ借金ばかり行う市政は正されず、財政は逼迫しつづける未来しか見えない。</p> <p>○災害時の初期対応をみても、横浜市にその能力はない。</p> <p>独自の権限を持つということは、自市で判断し最適な対応をしなくてはならないということである。</p> <p>地震で電車が止まっても、一次避難所の開設広報すら数時間せず、上水道に異物混入があっても、全く市民に周知できていない。</p> <p>トップはどこにいたのか、初期対応は誰がいつ何をしたのか、後日問われても「適切にしました」しか答えない。</p> <p>こんな調子で、大都市制度など上手く機能するわけがない。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「大都市制度」について</p> <p>住民自治の視点が欠落しています、カジノで二元代表制が機能していないと直接請求制度を求めた事について承知願いたい。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>大都市制度</p> <p>昨年の横浜市長選はかつてない数の立候補があった。しかも、現職・元職の閣僚・国会議員、現職・元職自治体首長、高級官僚といった“つわもの”ばかりであった。これは何を意味するか。日本最大の規模を誇る基礎自治体＝横浜市のトップの座に魅力を感じる、などという単なる名誉欲や情緒論からではない。評者は、今回選挙であり表に出なかった「大都市問題＝特別自治市」が彼らを惹き付けた、と読んでいる。彼らは特別自治市の市長の座がいかなるものかを知っていたからであろう。大きな問題でありながら、誰ひとりこの問題を（表立って）取上げなかった、のにもそれなりの理由がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市」でありながら、「県」と同等の権限を持つ。</li> <li>・「区」には大した権限はない。</li> </ul> <p>つまり、区議会は存在しない。区長は「局長」級程度の市の職員（当然、公選ではない）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初、「総合区」との考えがあったが、なぜ今はあまり語られていない。</li> </ul> <p>それによると、「区議会」の代わりに、区選出の市会議員が、当該区（区民）の意見を調整する。また、一定程度、権限を下された区（区長）が市民の意見・要望（苦情も）を処理する。</p> <p>特に市会議員が「区」に張り付き、区民対応にエネルギーを注げば注ぐほど、本職の市会議員としての仕事（市長追及の力）の質量が薄く低く浅く弱くなるのは必然。</p> <p>市長（市）は、市民と接することもなく、もっぱら市政の中核＝市役所庁舎の本城において脇息にもたれてアゴで指図をしているだけでよくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・したがって、特別自治市の市長は、これまでの市長の権限と県知事と同等の権力を有するばかりでなく、うるさく要求ばかりする市民からも、小姑のような煩わしい市会議員からも、何の干渉も受けずに済む。</li> <li>・であるから、IR誘致やオペラ劇場のような、自分の欲する問題を右から左へ、いとも簡単に実現できてしまう。</li> </ul> <p>これほど、美味しい地位はほかにない。“魔法の杖”を手にしたも同然。特別自治市、万々歳！</p> <p>こんなことを、市民に知らせてはならない。だから、（候補者）みんな黙っていたのだ。もっとも、（都知事だった故石原某のごとき）重戦車型のパーソナリティを持った人物が、この特別自治市の市長の座に就いたならば、上に描いた図が即成り立つ。</p> <p>一方、調整型や若干弱めのパーソナリティの人物であれば、市官僚におだてられ、操られた拳句、「美味しいところ」は全部彼らに持って行かれるのがオチ（官僚天国）ということになる。</p> <p>評者ら市政に対する運動をする市民にとって重要な課題は、「市民自治」の実現!!である。</p> <p>本「素案」において、「市民自治＝住民自治」が取り扱われているのは、「VI行財政運営」の中の「行政運営 3「住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化」（P133）においてくらいである。しかも欄外で、『横浜市特別自治市大綱』における『区における住民自治の強化』（住民代表機能、住民参画と協働の充実）を指（す）」と、している程度なのである。これをみる限り、横浜市は「市民自治＝住民自治」を重視していない、ことは明白と言わざるを得ない。</p> <p>「VII大都市制度」の「本市が目指す『特別市』制度」（P151＝特別自治市）では、4番目に「区」を置き、「区役所機能・住民自治を強化します」とは言うものの、その実態は、横浜の「都市の一体性」（評者には、この程度のものが「横浜の強み」とは、とうてい理解できないのだが）を保持したうえで、単なる現行「行政区」の機能強化でしかない。いずれにせよ、特別自治市と市民自治とは相容れず、共存は不可能。</p> <p>つまり、市民自治を目指すのであれば、特別自治市の実現は断固阻止しなくてはならない。</p> <p>また、この論に相応するかのよう、本「素案」において、「地域コミュニティ」なる語がたびたび出てくる。横浜市としてかかる用語・思想が「住民自治」を代替すると、考えているようだ。それが上位で扱われているところからも見るに、その感は。まず、「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」では、「誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ」（1-01P163）として、全22項目のトップに位置付けられている。子育て関連の「未来を創る子どもが育まれるまち」（1-03P165）や、「子育て世代が住みやすいまち」（2-02P172）よりも上位なのである。これは、2040年には特別自治市が実現している、との前提なのか。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、受け止めます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ちなみに、「基本戦略」(P11～12)を囲む5つのテーマでは「テーマ02」とされている。また、5項目を掲げる「基本姿勢」(P15～17)では「地域コミュニティ強化の視点」で、上から2番目に「重視」されている。さらに、「38の政策」では9番目(政策9(「持続可能な地域コミュニティの実現」)P43)ではあるが、「戦略2(「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」)としては、全11項目のうち3番目に挙げられている。</p> <p>市は、「地域コミュニティ」→「町内会、の再活性化」には頼らず「リビングラボ」とか「公民連携」などの活用→自助自立→(市民)自治の瓦解</p>		
<p>大都市制度 特別市になったからと言って、課題は解決しません。例えばコロナ対応においても、政令指定都市でない自治体が横浜市よりも頑張って市民に必要なサービスを提供しています。政令指定都市でなくてもできるのです。横浜市のやる気の問題です。横浜市は特別市になって、権限と財源を独り占めにしたいただけとしか思えません。神奈川県から受けられていた公営住宅、県立学校、図書館、労働相談のあっせん、各種相談、職業訓練などは、横浜市が今でも補いきれないものです。特別市になったからと言って、補いきれる訳ではありません。神奈川県が広域自治体として果たす役割を十分に果たしてもらいつつ、横浜市は横浜市として住民サービスを充実させることは十分に可能です。横浜市ができないのは、権限と財源の問題ではありません。知恵とやる気のなさの問題です。また、神奈川県から横浜市が独立してしまった場合に、政令市以外の自治体が今後に限界集落化し、地域全体として地盤沈下してしまうことが容易に想定されます。横浜市だけ生き残ればよいという視野の狭い考え方は、行政の取り得るスタンスではありません。特別市とならずに、政令市のまま、各区の区長を公選することこそ望みます。区長を公選し住民自治を充実させてください。横浜市は大き過ぎて市民の声が届かず、利害が広範囲に及んで、大きな声に小さな声がかき消されてしまいます</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>福祉サービスは地域におまかせ、自己責任。これが特別自治市になっても良くなるとはとて思えず横浜市協力しながらやっていくとはとて思えません。デジタルはマイナンバーカードは持ちません</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>148頁大都市制度 特別自治市は、県内の他市町村を小馬鹿にしているのと同じなのでやめるべきである。 他市町村の人々のおかげで横浜市が繁栄していることを忘れるな。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「大都市制度」について</p> <p>○二重行政の何が悪いのか全く分からないそもそも県がしていないが必要な事業を市がしているわけで、市民には県のサービスも必要である。足りないコロナの検査も独自に行わずに、「県がしているからしない」と言い続けていたが、足りないにも関わらず市民の健康を守ろうとせず、市長公約さえも破り続けた。二重行政を解消されては、市民は困るだけである。</p> <p>○市政に見合った税制にすると、市税があがる可能性が高い現在も放漫な箱モノ市政によって財政が逼迫し、積立基金を取崩し続けている。新しい税制になれば市税が上がり、にも関わらずPFIなどの隠れ借金ばかり行う市政は正されず、財政は逼迫しつづける未来しか見えない。</p> <p>○災害時の初期対応をみても、横浜市にその能力はない。独自の権限を持つということは、自市で判断し最適な対応をしなくてはならないということである。地震で電車が止まっても、一次避難所の開設広報すら数時間せず、上水道に異物混入があっても、全く市民に周知できていない。トップはどこにいたのか、初期対応は誰がいつ何をしたのか、後日問われても「適切にしました」しか答えない。こんな調子で、大都市制度など上手く機能するわけがない。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>住民自治の充実</p> <p>素案によれば、「協同・共創による地域の活性化」は、「行政区」の位置付けとのこと、大都市横浜として真の住民自治を目指すならば、東京都における「特別区」の形態を取り入れて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>大都市制度の推進の取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>“財政ビジョン”の中で、「特別自治市」について触れている(p.20)という制度が知らなかったの、市が作成した「『横浜特別自治市』～横浜にふさわしい都市のかたち～」を視聴した。“公平な税財源配分”が実現されると言う。更に調べて見ると、優れた制度であることが分かった。“財政ビジョン”では、「特別自治市」はビジョン策定の目的としているが、「特別自治市」はビジョン実現の手段である。</p> <p>「特別自治市」は国による法制化によって実現できる。これは横浜市の能力を超えている。</p> <p>実現するには国を動かさなくてはならない。10月4日の産経新聞インタビュー記事によると、山中竹春市長は「特別自治市」の実現に意欲があると言う。実現させない限り、昨年の市長選挙にて私たちに約束した諸政策は前に進まない。同市長は“統合型リゾート施設”を否定して当選した。</p> <p>「やってみたらお金が足りなくて選挙公約は実現できません」では済まされない。</p> <p>“財政ビジョン”を読むと、市の職員はやるべきことをやっているのがよく分かる。「特別自治市」の実現に向けて、トップ・ダウンでの誠実かつ強力な取り組みを期待したい。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のⅦ「大都市制度」へのご期待として、取組を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「DXの推進」について DXの推進と言いながら、今年度、デジタル職の採用がたった3名なのは、失笑を禁じえません。 職種に限らずデジタル技術を持つものを重用するというなら、IT資格取得助成金をもっと手厚くしたり（一時金ではなく、民間企業のように手当として給付する）、昇任要件にしても良いのでは。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、行政運営2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>市民にもDX推進してほしい。 公共施設でのオンライン診療の実現など</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 推進に大賛成。業務の効率化を進めてください。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見を踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>地域のDX化を進めるために、自治会館や集会所に横浜市の無線LANスポットを開設する、 もしくは自治会が無線LANのアクセスポイントを設置、運営するための費用補助ができないでしょうか。 通信費用を心配せずに新しい技術に触れることでより多くの市民がDXの推進に参加できるのではないのでしょうか。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 一定の進捗は見られるが、道半ば。全ての行政手続きをネット完結できるのではないか。早急にDX化を進め、余剰資産・人材を、横浜の魅力創出のために使って欲しい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、行政運営2-(1)を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>DXという造語は全く普及していません。デジタル化であれば、これから様々なことがインターネット、スマホで申請することになる旨で分かりやすく発信すべきと思います。また高齢者がデジタル弱者にならなように、地域が各種申請を支える制度設計をすべきと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>授業支援アプリのフェースがお粗末過ぎるので、実績のあるIT企業による抜本的な改善を望む。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>AIすなわちデータ活用を進めれば進めるほど、平均化するのが自明です。人が優れているのは、突発的な思考や選択ができることです。これが個性や自身の成長を生みます。この突発的な事象がEBPMやロジックモデルでは再現できません。ロジックになった瞬間に突発的ではなくなるからです。データ活用に頼り切るとは、競争力のない平均的なつまらぬ施策や人材しか生み出されません。つまりこれを退化といいます。DXの使い方にはくれぐれも留意してください。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「DXの推進」について 民間でのDX化推進のやり方は以下の通り。参考にしてほしい。 1. DX化の前に現在仕事の要件を整理し分析しそのままでもよいか検証する市の行政ルールにがんじがらめな体制のなかではシステムはバラバラになりDX推進は無理。 2. 他の成功事例を参考にする 海外のデンマークなどIT化が進んでいる行政を勉強し（横浜は国際都市なんですよ）、国に媚びらず独自に老人でも使いやすい若者の好んで使えるスマートなシステムを日本のほかの自治体をリードして導入することぐらいしてほしい。 3. 現場にあったユーザ目線での最適化されたシステムに 今までのしがらみを無くし素直な視点でゼロベースでコロナワクチン予約サイトのよう国から指示されたシステムを活用などせず民間が開発した使いやすいシステムを予約サイトを採用するなどともって横浜市のDX推進は柔軟性が必要。 使い手である市民、ユーザフレンドリーでないと使ってくれない、情報を入力してくれない、システムとしては使えない、となる。 何回も検証し徐々にアップグレードできる仕組みにする。 さらに行政システムとしては、 4. DX化だけでなくリアルも連携させるハイブリッドな仕組みに 相手は市民という人間、行政サービスはDX化して現場に行かないというのではだめです。現場がすべてです。パソコン上ではわからない。 「DX化を図りもっと市の担当者も市内を廻ることに時間につかう」も同時に宣言してほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について どんどん推進してください。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「DXの推進」について 市長の強みを活かして是非積極的に取り組んでいただきたい。毎年部署ごとにDX化案件および担当業務のDX化率を施策効果(コスト削減効果、リードタイム短縮、人的負担軽減など)と併せて報告させるべきだ。また市民に進捗として公開するべきである。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 市が取り組んだ経験は特に中小企業などへの横展開も図ってもらうことで行政と企業とのコラボレーションによる相乗効果を狙ってもらいたい。市が企業から組織運営について学ぶこともあるはずだ。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 推進に反対です</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>次の用語は日常用語として確立していますか。推察できるものがありますが、私にはよくわかりません。 ◦ DX</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を追記しました。
<p>「DXの推進」について 最低限でいいと考えています 目的は使えるシステムでその手段がDXなだけだと思います。 無理にDXを推進する必要があるのでしょうか。</p>	参考	DXの推進に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>DXについて 工学部卒で理系でしたが、プログラミングは苦手でした。 就職後、英語を使う機会が増え、上達したところ、プログラミング言語の学習が楽になりました。 これより、英語圏の方はプログラミング学習が比較的楽だと思います。 人それぞれだと思いますが、得意な言語を先にした方がいいのではと個人的には思います。 数学が不得意な方も英語が得意であれば、学び直しが楽かもしれません。 専門家とご検討いただければと思います。</p>	その他	ご意見として伺います。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「DXの推進」について 各種申請をネットから可能にし、役所の業務を効率化し、単純作業ではなくもっと必要な事に職員を回してほしい。国の範囲になるのかもしれないが、不動産登記や相続等で各種資料を取り寄せる手間、申請書がわかりにくい所もDX化してほしい。この程度の申請に何とか書士が必要である事自体が全DX化できていない証拠だと思う。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について マイナンバーカード取得を強制せず、デジタル化によって不利益が被る市民が発生しないよう支援することが大切である。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について DXの基本は、情報開示とオープンイノベーションと思います。 単なる市民の行政サービスの効率化を目指すのではなく、行政のリソースに市民が自由にアクセスし、より良い未来への方策を考えることのできる、そのようなDXの推進を期待します。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 人口が減るのだから、公務員も成り手が減るはず、今から準備して、業務の効率化と外部化に取り組むべき</p>	包含・賛同	行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」等に記載のとおり、DXの推進等により、各種事務事業の効率化・集約化等に取り組むとともに、最適な行政サービス提供主体の検討を行ってまいります。ご意見を参考にしながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「DXの推進」について 横浜市に限らず非常にHPが難解かつ手続きが煩雑で、IT弱者（高齢者、氷河期世代、一部若年層など）向けの施策を検討して頂きたいと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 全体的に概念ばかりで具体的に何をしたく、何をやっているのさっぱりしない。予算の可視化でDX支援ツールを採用するなど、現時点で取り組んでいる内容の目的と事例を紹介した方がわかりやすい</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の行政運営 2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」などに含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>高齢者など「デジタル弱者」に対してもう少し目配りしたサービスをお願いしたいです。 デジタル化は日常生活にどんどん侵入してきて、高齢者などは今後の生活に不安を感じます。 もう少し日常生活に密着したサービスや災害時等に役立つアプリ等、簡素化されたものの開発を（若者の様に色々な多くの機能など必要とせず）希望したい。 日毎デジタル化が進み日常生活に不安と不便の対策として、とりあえず身近な所で講習会等を開いて頂きたいお願い致します。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について これからの時代マストだと思います。 成果に大いに期待します。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「DXの推進」について 世の中の時勢にのって進めてください。</p>	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「横浜DX戦略」は、地方自治、個人情報保護を堅持、貫くべきである。中期計画(素案)には、「基本姿勢」の2番目に「DX推進とデータ活用・オープンイノベーションの推進の視点」が書かれ、さらに「行財政運営」、「大都市制度」と並んで「DXの推進」という新たな大項目が設けられている。</p> <p>「中期計画におけるDXの役割」(P.154)として、「9つの戦略、38の政策のすべてにおいて、DXの考え方に根差した取り組みを進めます」と書いている。続けて「デジタル技術を活用して生み出す新たな価値やサービスにより、これからの生活スタイルや都市の魅力を、日々のあらゆる場面で実感できるまちをつくっていきます」とある。</p> <p>政府は「デジタル田園都市国家構想」の重点政策と位置付けており、DXは全国の自治体が急いで進めるべき課題となっている。横浜市でも「横浜DX戦略」素案が公表された。それによれば、中期計画期間をDX実現に向けた“FirstStep(2022～25年)”と位置づけ、「7つの重点方針」で取り組むとしている。スマホを使っての行政手続きなど「デジタルの恩恵を実感できる取組や成功事例の見える化などを中心に取り組む」としているが、問題なのは、そのための「推進体制や仕組みなどの土台作り」である。</p> <p>詳しくはパブコメで述べたが、基本的方向にかかわる2つの問題点についての結論だけ述べておきたい。</p> <p>①「データ基盤の整備」に関して、「住民情報系システム」の国による「標準化・共同化」が進められ、対応を検討することになっている。「標準化・共同化」は、地方自治体の自由度を低下させ、団体自治を制約し、対応いかんでは地方自治の破壊につながりかねない。</p> <p>標準化基準の策定に当たっては、地方自治の本旨、団体自治の侵害を許さない仕組みを確保すると同時に、これまで積み上げてきた独自施策が継続できるようにしなければならない。</p> <p>②個人情報保護について法律、条例の厳密な適用、強化が重要になっている。これからますます膨大な市民の個人情報が、市によって収集・活用・流通することになる。そうなればなるほど個人情報保護のための規制は強いものでなければならない。</p> <p>「デジタル化の推進が国民を監視するための思想信条、表現、プライバシー等に係る情報収集の手段として用いられることのないようにすること」、「個人の権利利益の保護を図るため、自己に関する情報の取り扱いについて自ら決定できること、個人データが個人の意図しない目的で利用される場合等に当該個人データの削除を求めることができること」など、必要な措置が講じられるようにしなければならない。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 過渡期である現状を踏まえ、慎重に推進することが望まれる。パブリックコメントの申請においても、不得意な人、広く市民に問うことをしない姿勢がある現状では、一概に推進することが良いのかとの疑問も生まれてくる。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 行政手続きのオンライン化をもっと進めて、区役所は福祉など困っている方が対面で相談するための場所にしていくと良いと思います。</p>	包含・賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の行政運営2-(1)「新たな価値やサービスを生み出すDXの推進」などに含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
<p>「DXの推進」について デジタル社会を目指す前に、デジタルの安全性（個人情報の流失等の）の確保 停電や災害が起きた場合に、はたして使えるのか？ 多くの高齢者が対応出来るのか？ スマホを持っていても使いこなせているわけではない。 そういったことをきちんと確認して欲しい</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「DXの推進」について 表題そのものの展開に問題があるとは思えない。個人情報の保護や情報漏洩に対するセキュリティを万全にするよう取り組み強化し推進いただければと思う。それよりも気になるのが「デジタルデバイド」である。関連機器の物理的所持・非所持から始まり、取り扱いに対する知識の有無、実際の操作の可否など、受容者任せになっていないか。DXを無理なく受け入れられる、受発信可能な機器の展開、リテラシーの向上推進をどのように展開していくかを合わせて考えていく必要がある。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 子どもがバカにならないよう、教科書やテキストの電子化は慎重に検討されるべきである。</p>	参考	ご意見につきましては、政策5「子ども一人ひとりを大切にした教育の推進」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について 人口減少の影響で行政サービス窓口の縮小など起こらぬよう、積極的にデジタル化の推進をお願いします。 また、すでに取組事例として実施されてる区もありますが、子どものICT教育にもメリットがありますので、幼いうちからでもできるような取組を継続して実施してもらえると嬉しいです。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について デジタル技術も大事ですし弁論あると思いますが個人情報の漏洩が一番の不安なのでセキュリティ強化を一番お願いします</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>DXを進めて効率化が進んでも、市の職員の人数を減らしたり、非正規化を進めたりするなどはせず、市の正規の職員が市のことをするようにしてください。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>「DXの推進」について ネットのリスク回避がキッチリと出来ているのでしょうか？独立行政法人国民生活センターで検索してみると・・・数多くのトラブルが掲載されています。AIで作成した英文のフェイク記事が蔓延していることも現実に指摘されています。情報化社会の闇の深さをどれほどの人が承知しているのでしょうか？リスクについて子供・老人にしっかりと前広に情報共有が不可欠です。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>中期計画 VIII DXの推進 まずは市のホームページのデザインや内容を刷新して横浜らしくオシャレかつ、より分かりやすいものにして欲しい。 またSNSなど使わずに独自に『横浜アプリ』の実用をしてこそそのDXかと思う。 パソコンやスマホを使いこなせない年寄り市民が多い現在の中での予算は計画・準備期間に留め、完成形・実効性を検証した上で進めるべき。 公民連携では個人情報の流出等の事故が心配。 DXは電気が無ければ仕事にならない。また職員の仕事内容にしても電気がなければ業務が遂行できないと市民サービスに支障をきたす恐れが懸念される。 災害に強い横浜にするのは分かるが、「もし災害が起こったらどうなるのか」もシミュレーションして市民に分かりやすく説明も必要。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>&lt;P152Ⅷ DXの推進&gt;  流行り言葉のようにDXDXと騒ぐことに大変違和感をいただいています。  コロナによって我が国がいかにデジタル化に遅れていたかが明らかになりました。  ある意味で失われた30年の源であったかもしれません。  ではなぜ遅れたのかの反省がなしにお呪いのようにDXと唱えればよいものではありません。  今後の施策のなかで外部に委託しないと出来ない事業はどれくらいありますか。  今までと同じようにすぐ外部委託だけに頼ってはいけません。駄目だと思います。  外部委託を減らし、市職員自らがITを如何に使いこなせるようになるかが課題だと思います。  そのためには市職員の教育、積極的な外部人材の登用、新規職員の重点採用（数理科学系）  ①外部委託、ベンダーITに関する知識は専門家、行政の専門知識はない  ②市職員行政の専門家ITの専門知識は弱い  ①、②は対立するものではないが本当にDXを推進しようと思えば②の人材を意識的に育てることは極めて重要だと考えます。  結果的に無駄をなくし財政改革にも繋がると思います。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>152頁DX  怪しいものにはまだ手を出さないこと。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>DX推進について  画一的なデジタル化には反対です。マイナンバーをはじめ自分の情報を提供することを強制される仕組みはおかしいです。CPが行えば人力作業が軽減されることにはCPを用いるべきだが多様性多様性と言いながらフォーマットでしか受け付けられない社会になるのは逆行です。市民をプロファイリングするだけではなくより様々なケースに対応できるようにするためにデジタル技術を駆使してください。  PC技術に長けた職員、部門も必要ですが、人間に対応できる職員、部門も発展させてください。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>更にすべての市民がスマホを持っている訳ではないので、スマホを持たない、使えない人は情報難民になってしまうので、配慮して下さい。</p>	参考	ご意見につきましては、DXを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P 31中期計画の特徴 1、計画策定にあたっての基本認識 持続可能であることはもちろん、日本・世界をけん引する都市として挑戦を続けることができるように、中期計画を検討していきます。と記載されています。</p> <p>そうであるなら、以下の世界情勢をどのように考慮されたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の進歩に依り、世界は歴史的大変革の渦中に入り、様々な事項が融合し、多様化し、地域間交流が拡大し、日常生活に大きく影響しています。</li> <li>・世界のトップ企業では、この急激な変動に対応、自社の事業領域を“選択と集中”により大胆に入替えを行っています。</li> <li>・コロナ禍・ウクライナ戦争は、日々の市民生活に影響を及ぼしています。</li> </ul>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の I「中期計画の特徴」の 1「計画策定にあたっての基本認識」に含まれていると考えております。</p>
<p>P 44、財政ビジョン・行政運営の基本方針との関係 財政ビジョンで示した収支不足解消に向けて、——と記載されていますが、何故、収支不足の原因究明をされないのですか。原因究明されずに、収支不足解消出来る方策をお持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市は、長年に渡り人口に比して働く場所が少ないという「社会課題」を抱えてきましたが、それに対応する政策を充分講じてこなかったし、認識も弱かったと思います。</li> </ul> <p>解決策は、企業誘致ですが返還された基地跡地利用で、2～3割を企業誘致に利用していたら雇用機会・税収はどうなつたでしょうか。（人口で100万人以上少ない大阪市、名古屋市、川崎市より事業税収入が少ない）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IR誘致を断念して1年、検討されていると思われる代替案についても用地が必要です。上瀬谷地区の一部を対象とする必要ありませんか。</li> <li>・返還された基地跡地利用（用地の1／3程度）で、産業政策に活用する必要があります。税収増と雇用機会の拡大を図る、新たなイノベーションに積極的な企業の育成と誘致が是非必要です。</li> </ul>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>「基本姿勢」について 基本姿勢もごもつものですが、総花的なように感じます。 財源等の経営リソースが限られている以上、限られた4年間で「これを実現する」という一点に経営資源を注がねば、インパクトは薄いのではないのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IV「基本姿勢」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>デジタルやデータ重視はあくまで手段であるとお見受けしますが、これを目標とされるのであれば、「デジタルですべてを変える」という意気込みで、予算上も人もすべてに置いて優先し、例えば「すべての手続きがオンラインで完結する電子市役所を実現する」というぐらいでないと、インパクトは感じにくいと市民として思いました。</p>	<p>参考</p>	<p>「9つの戦略」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>他の地域では早々に5万円給付金を始めてるので関東圏でいち早く給付金を開始してほしい。</p>	<p>その他</p>	<p>給付金に関するご意見として伺います。</p>
<p>中期計画案に示された各種取り組み案は、如何に良い案であっても、将来収支差が増大（歳入の維持のみならず低下）し、財政の下支えがない計画は、「絵に描いた餅」に過ぎないと考えます。やはり、計画に見合った財源が必要です。そのための財政ビジョンも、県と市の二重行政の解消による節減（市収入の増大）は理解できますが、日本全体の少子高齢化・人口減の中での人的（および人口）資源の奪い合い（人や企業の呼び込み：これも確証のない見込みに過ぎない）であり、横浜市が良ければ他の都市はどうでもよい、という発想です。多くの市民が地方都市から就職などで横浜市民となっていることも考慮しますと、Win-Winではない発想は将来性がないと考えます。そのために横浜市に定住している働きたい意欲のある高齢者（65歳以上：2022年においても約3割以上）に働いてもらうことで市税も増加し、また中期計画で実施に要する支出（上記38の政策で述べた高い知識・経験を持つ高齢者が特に貢献できる分野例）も高齢者による積極的で真の意味でのボランティア（意思の尊重など）により削減すると考えます。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「重度障害者」であるため水道料金の基本料金が免除とされており、毎月数十円の請求書が封書で送られてきます。その郵送料金や書類印刷料金などを考えると、免除は本当に有難いことなのですが、とても非効率的だと毎回心苦しく思っています。何らかの改善をご検討ください。そして水道料金が民営化にならないように働きかけてほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>水道事業についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>神奈川の大先輩二宮金次郎さんは「入るを計って出るを制す」を基本思想にして農政改革をされたと聞いております。これは現在でも大切な考え方で、定年前の会社勤めの際は、この考え方をベースに高収益を上げ、納税することで市政にも協力させて頂くことが出来ました。</p> <p>ところが、今回の「38の政策」の大半が、出費の伴う政策で、収入増の為の政策が殆ど見られないことが大変気がかりです。</p> <p>是非、税収を増加させる政策も是非示して頂きたいと思えます。ただ、以前にあったようなカジノ誘致による税収増は感心いたしません。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>IR（カジノを含む）案が却下されましたが、なぜIRが横浜市に必要であるか？の回答策の一つでもありましたが、新市長の下でIRではなく、カジノを含まないMICEで経済効果を期する次第となりました。</p> <p>財政改善を主眼とするこのMICE、箱モノだけを立派に作ってもそれに見合う収益を持続的に確保する手立てと運営能力がどうなのかめいはいくではありません。近年確かにコロナの影響がありますが日本政府観光局によると国際会議の件数は20年で222件であり、19年の3641件のわずか9%という最低水準であり、またそのMICEのあり方がオンライン、リアルとオンラインと融合のハイブリッド型など変わり始めている。今後は持続可能性を図るユニークベニュー（特別な場所）の発信が不可欠になる。このカジノなしのMICEのために建設された箱モノをフル活用できない場合は財政面や環境面でも悲惨な事態に陥るリスクがあるのでカジノ含みのMICEの場合以上に高度な取り組みが要求されるのは明白なことです。</p> <p>都市における規制が細やかに施行されているシンガポールでカジノ含みのIRが成功した事例から私は個人的に横浜市は、首都圏という立地で隣接都市には存在しない、唯一のカジノ含みのIRを開設し海外のカジノに比肩した展開ができ、市の財政を早期に改善できることを切望していました。</p> <p>財政力の改善なしには、9つの戦略と38の政策の達成は困難であると懸念しております。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>日ごろ業務に専念されておられる市役所の方は本当に大変なことと思います。「その業務本当に必要ですか」という目で改めて確認してみてもどうでしょう。前例踏襲ではなく本当に必要かどうか、皆さんの業務は法令で定められていることが多く簡単に修正出来ないことは十分承知しています。印鑑廃止、これは私が社会に出たころから不要と思っていました。菅・河野さんが漸く直してくれました。和暦と西暦の併用も課題です。公的機関が直さないと国民は何時までも両様使いに悩まされます。神の国日本はどうしても和暦使用ですが横浜市は西暦限定にならないものでしょうか。</p>	<p>その他</p>	<p>行政文書の表記についてのご意見として伺います。</p>
<p>都市計画道路の整備率がまだ7割に届かず、市内各所に渋滞箇所が点在していると記載されており、さらに整備を推進していくことは必要だと思いますが、都市計画道路の整備がなかなか進まない中、早期に「#市内道路ネットワーク」を充実させるためには、都市計画道路ではない道路であっても、現在相応の交通量があり地域交通にとって必要不可欠な道路については、現地の土地利用の状況を勘案して、部分的な拡幅・電柱の移設等の整備を進め、交通の円滑化を図ることが必要である。</p> <p>事例：南本宿インター方面と厚木街道の国道16号方面とを結ぶルート 現在でも相応の交通量があるが、現在事業中の鴨居上飯田線の二俣川駅付近の区間が開通すると、さちが丘方面から厚木街道へのルートが相鉄線の跨線橋を頭にして渋滞が慢性化しているため、代替ルートとして一層の交通量増加が懸念される。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>子どもの医療費、認可保育園などの子育て施策、所得のために全くメリットを享受できませんでした。高所得は自分達が育児や老後のために努力して勝ち取ったものです。ただでさえ横浜は住民税が高いのに、高所得ゆえに行政サービスを十分受けられないのでは本末転倒です。</p>	参考	<p>行政サービスの提供についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市にはゆるキャラが各区におり、市としてのキャラクターがわかりにくいです。2002年に横浜市の特例住民票を交付されたアゴヒゲアザラシのタマちゃんを横浜市のイメージキャラクターにし、環境保護や港町横浜市をアピールしてください。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>基本姿勢について、SDGsが本当に邪魔です。取り外してください。日本国ではこの活動を意識せずともやって来ています。誰にアピールしているのかが皆目理解できません。少なくとも横浜市民向けにはアピールにもなりません。アピールしたいのであれば、対「日本国行政府向けだけ」でやってください。横浜市民を巻き込むのはお門違いです。 これがなくても十分意味は通じるのに、いちいち差し込んで来るのはどういう意図ですか？これについて説明してください。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>安倍元首長の葬儀参加について 貴方は市民のサーバンドです。どうしても参加されるなら有給休暇をとり私人として参加してください。</p>	その他	<p>横浜市中期計画2022～2025（素案）に関係する内容ではございません。</p>
<p>国民健康保険料金が高すぎます。料金の引き下げをお願いします。</p>	参考	<p>国民健康保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>老人福祉センター横浜市狩場緑風荘 コロナでお風呂が中止になっています。公衆銭湯やスーパー銭湯は営業しています。再開するようにお願いします。</p>	参考	<p>老人福祉センターについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>財源の不思議？ 要求に反対の時には財源が無い。 推し進めたい大型開発には財源をどこから持ってくるのでしょうか？ 横浜市財源の不思議です。</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>鶴見区本町通のマンション開発を中止、中断させ公園等の避難場所を一部確保できるようお願いします。</p>	その他	<p>災害時の避難場所についてのご意見として伺います。</p>
<p>市民のための市政にかえるため財源をしっかりと示して下さい。</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>様々な方法で意見受け入れしてくださるのはありがたいですが、集計が大変ではありませんか。せめて、メールや郵送の場合は形式を指定するとか、またはこのフォームからしか受け付けられないなど、対策したほうがよいかと思いました。何か自動集計のシステムなど整っていたら余計なお世話ですみません。 こちらのフォーム、スマホから操作するとキーボードの上にチャット問い合わせのバナーが表示されます。あともう少しで書き終わる時にバナーに指が当たり、リセットされてしまいました。チャットバナーは、ページ上部のツールバーとかに移植できないでしょうか？</p>	参考	<p>パブリックコメントの実施方法についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「選挙投票の電子化」 もう、そろそろ、良いのではないのでしょうか。 誰かがどこかで一つ変化をつけていかないと。いち地方から。 うまくいかないことがあっても、笑って変えていかないと。 横浜市中期計画の中身が困難であるとするならば、それは「選挙投票の電子化」を進められないからだと思います。 あくまで、対象を全市民にしましょう。 今は、対象は、高齢者向けになってしまっています。（全国で） 今の若年層が大人になって、黙り込んでしまう前に。</p>	その他	<p>選挙についてのご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
SDGsの実現の視点、地域コミュニティ強化の視点、DX推進とデータ活用、協働共創の視点、脱炭素社会の実現の視点など、5つの視点をあげていますが、内容を読んでも分かり難く、何が必要で何をしたいのか訴えかけてくものがありません。横浜の都市像としての問題点に言及されておらず、市民にこの横浜にとって何が課題で、何を变えていく必要があるのか、もっとシンプルに訴えかける内容にして欲しいと思います。	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
後期高齢者急増に対する財源確保には納税額を増やすか、各個人の自助に委ねるのか、指針を示すべきです。現行の扶助を続けるには納税額を増やすしかありませんので、企業誘致、横浜港のクルーズハブ化、コンテナ取扱量増加、生産人口流入促進、外国人人材の積極登用など、国や県と連携した経済対策を具体的に提示して、横浜市の最重要政策に位置付けるべきだと思います。	修正	ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。
SDGsについて、海外では重要視されていないというSNSの統計があります。本当に取り組むべきなのか？も含め海外の動きを注視されたほうが良いと思います。	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
レシ活、若い市長の元でする事と思えない。アナログ過ぎます。簡単が大事。	その他	ご意見として伺います。
国際都市としての提案 プライベートジェット専用空港と駐機場、ヘリコプターの飛行場。将来飛行許可が出れば1人から3人乗りぐらいのドローン専用の飛行場とドローン専用のタクシー乗り場。プライベートジェット客用の高級ホテルの建設。カジノ建設反対意見が多いのでリラクゼーション施設の建設。治療(鍼灸含む)温浴施設。精進料理、薬膳料理、和食、和菓子、等の店舗の誘致。総持寺が近くにあるので外国人用の禅道場等協力の依頼。	その他	国際都市の実現についてのご意見として伺います。
現市長は「カジノ設置は絶対にさせない」に同調しカジノ反対にりましたが、国際的都市港湾都市としてカジノがあっても良いのでは？ カジノがあることにより更に国際的都市として世界に認められるのでは？ カジノに伴う悪い面も多々あると思うが、それを管理する行政のやり方動き方でどうにでもなると思います。悪くすれば悪く、良くすれば良く管理運営ができると思っています。行政が頭と心(こころ)を使って、日本を代表する港湾都市、横浜となって欲しいです。日本一高い市民税を減らす為、カジノからの税収を活用して下さい。	参考	財源確保についてのご意見として、参考にさせていただきます。
車椅子を常用している身障者であるが、246号線の歩行者用側道の一部に民家側から雑草木が張り出して通行不能のところが多々あります。なんとか、車椅子が通れるようにしてください。	参考	道路管理についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、国道246号につきましては、管理者である国にお問合せください。
コロナワクチン接種。敬老乗車証の手続のお知らせについて 読むのが面倒。あるいはすぐに理解できない封書で案内がきます。もっと簡潔で解り易い文面を考えてください。 3～5程の文章で葉書で案内をいただくとありがたいです。 長文を読むのは高齢者は大変です。はたして、どれだけの人がすぐ理解できるものでしょうか。長々とした説明は実に困ります。 小学校3～4年生でもすぐ理解できるようなご案内をお願い致します。	参考	広報についてのご意見として、参考にさせていただきます。
下記の施策を検討下さい ・市議会議員・市職員(幹部)の旧統一教会団体との関係の調査、結果の公表 ・旧統一教会関係団体の被害者の相談窓口の設置、国の窓口との連携	その他	横浜市中期計画2022～2025(素案)に該当する内容ではございません。
カラスの除去について 横浜市全域にカラスは多いですが、私の住む泉区岡津町は特にひどいものです。夕方は高圧線に鈴なりです。その被害は言うまでもありません。 巢の除去、ワナ対策では手間がかかるばかりで効果は限定的です。 有害鳥獣ですから薬物を使用して一網打尽して街の環境を良くすべきです。	その他	カラスを含めた全ての野生鳥獣は、鳥獣保護管理法により保護されています。そのため、薬物等の使用による捕獲は認められません。また、高圧線につきましては、電力会社等にご相談ください。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
区は多すぎる。合区すべき。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
選挙はデジタル化するべき。いまだに紙でやっているのは時代おくれです	その他	選挙についてのご意見として伺います。
原町に動物検疫所があります。多分厚労省の所有でしょう。全くにも有効に使われていないと誰かが判っています。活性化の利用はいくらでもあります。片よった政策だけの推進では市民が納得しないでしょう。	その他	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。動物検疫所につきましては、農林水産省にお問合せください。
最近、スマホの所持率が80%だそうで、何でも「スマホ」で処理しようという風潮で、政府も自治体もスマホのアプリやポイントで物事を解決しようとしています。高齢者の単身で、スマホを持たない低所得者の我々にこそ一番還元してほしい救済金のはずなのに、電力節電料金や、マイナポイント横浜市の買物レシートでの最大3万円分の還元等々全てが、若くてスマホを所持しているお金のある人（スマホを買い換える人）のみが簡単なポイント還元では、不公平だと思わざるを得ません。全国民に平等に電力料金等々の救済を下さるおつもりならば「スマホのポイント」ではなく全世帯に直接電気料金の基本料金をいくらか安くするとか、水道料金を1～2ヶ月でも安くして下さるとかの平等な救済方法であってほしいと願います。レシ活用も「郵送でも可」とのことですが、スマホがなければ調べることが不可能です！！！！郵送先も何をどう送るかわかりません。あれこれ問い合わせるのにもフリーダイヤルは無く、電話料金が発生するので、問い合わせすらできません。市の広報にはスマホが無い人の為に細々案内をのせて欲しいですし、市の広報への問い合わせに、フリーダイヤルをお願いしたいと思えます。電話代も大変で有益な事も何も聞けません。スマホを持たない弱者救済をよろしくお願い致します。	参考	広報についてのご意見として、参考にさせていただきます。
安心して医療にかかりたい。 健康保険料一割負担が二割負担に急変しました。コロナになる薬代の心配があり、何度も検査、投薬がありましたが、どうしても薬を考えてしまいます。大変ですが薬害に対してもきめ細かい配慮がほしいです。又薬負担を二割はきついです。	参考	後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。
矢向第一陸橋のバリアフリー化を実現してください。	参考	ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策3「子どもから高齢者まで人にやさしい移動環境の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
山中市長様、毎日の公務（ゲキム）頭が下がります。 問題山積でさぞ大変でお疲れでしょう。明後日の「国葬」に市長として参加と伝わってきました。ここは市としての評価をお考えの上、是非出席は見合わせていただきたいです。	その他	横浜市中期計画2022～2025（素案）に関する内容ではございません。
日本では、災害の死傷者よりも交通事故の死傷者や自殺者の方が圧倒的に多い。防災も交通安全も自殺者撲滅も、認知症予防に取り組むことも、すべては人生を豊かにするためのものです。地震や風水害に対してではなく、日々を大事に、幸せに生きようとする気持ちが持つことが、防災の一部だと思います。被害想定や整備率がどうかではなく施策に溺れず人々の生活を大事にした取組を進めてください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、戦略8『災害に強い安全・安心な都市づくり』を進める上での前提であり、災害への対応力をつけることは普段の生活が安心して豊かな生活に繋がるものと考えています。
「基本姿勢」について 行政サービスする側の姿勢なら、行政運営の公正平等透明化、財政の健全化も加えてほしい。 やってる感だけの姿勢はやめてほしい。PDCAを回してほしい。結果を分析し反省しその内容を市民に公表し改善し次の時には反映しよりよくなるかどうか、市の運営をチェックする公正な市議会審査制度を設けてほしい。実現したか失敗したかの審査結果を公表する制度を設けてほしい。 市民の貴重な税金で行政は行っている誠実で真摯な基本姿勢をまず示してほしい。	参考	ご意見につきましては、IV「基本姿勢」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>各区役所に予算と権限、執行を分散させるべき。 例：コロナワクチン接種：横浜市は全国でも最下位の接種の遅さ、一方大都市東京は区ごとに接種体制を取り墨田区江東区は早かった。 市民の健康安全を真っ先にまもることができずに横浜市はなにをやっているのかと思う。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>相談の改革「責任ある対応と回答」 市民と一対一でまじめに対応しようという姿勢がない。 区役所と市役所との間で仕事と責任を押し付けあっている。市役所のなかでも部門ごとに責任を押し付けあっている。 相談に行っても責任ある回答はもらえない。市役所に相談に行っても責任ある回答がもらえず何回も足を運ばざるを得ない。市民は時間を割いて交通費を負担して相談窓口に行くが、市役所側からは相談の明確な回答はもらえず、課題問題が解決しない。 相談してもらちが明かない為そのうち相談をあきらめてしまう。 顧客満足度を高めて窓口を一本化してトータルソリューションを提供している民間企業ではあたり前なことが、行政運営では見られやれない。</p>	その他	<p>窓口対応についてのご意見として伺います。</p>
<p>「市長への手紙・Eメール制度」の設置 意見を言う窓口がない、市民の意見を吸い上げる制度がない。 市役所の担当への問い合わせ電話やメール回答がもらえない。チャット問い合わせしても規定された回答しかなく明かさない。 コロナワクチン接種に対しても電話も通じず、機械的なチャットしかなかった。 山中市長はワクチン接種体制は今は良くなったと記者会見で自己満足なコメントをしていたが、緊急事態の時にいかに目的を達成するプロジェクトチームを立ち上げて早急に対応できるかが勝負。</p>	参考	<p>本市では、市民の皆様からのご提案・意見等を受け止め、市政に生かす「市民からの提案」や「パブリックコメント」などの制度があります。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ウクライナへの長期にわたるロシアの執拗な残虐行為が続いて痛ましい限りです。経済基盤も破壊されなんの収入もないウクライナの人々が、これから寒い冬を迎え、生活の糧や暖房、医療、医薬品等の不足で生活がもっと厳しくなるでしょう。横浜市がウクライナ支援の募金のある短い期間行いましたが現在は行っていません。これから冬を越すのが大変という時に何故やめてしまったのでしょうか？ある地域ケアプラザにウクライナ募金の提案をしてみました。政治的な面がある又、横浜市本局も現在実施していないしお達しないのでそれに従い募金活動は出来ないとの事でした。 もし我が国が近い将来、他国に侵略され蹂躪された時、国際支援は本当にありがたいと感じるでしょう。 世界の苦しんでいる人々に出来る時には援助の手を差し伸べ事は国際都市横浜を目指す横浜にとって重要な事ではないでしょうか。観光や儀礼的な親善だけは国際都市と云えないのではないのでしょうか。実行力が求められると思います。</p>	参考	<p>姉妹都市オデーサ市への浄水装置支援や、オール横浜による、市内に避難された避難民支援を行っています。ご意見を参考に取り組んでまいります。</p>
<p>人権尊重のため、入管法の改善の国への働きかけ、改正要望を決議して欲しい。 人権尊重のため、外国人技能実習生のサポート体制に予算を付けて欲しい。</p>	参考	<p>人権尊重についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>地域コミュニティの強化をするためには家族の絆強化も検討していただきたいです。国がこども家庭庁の設立でのごたごたしていますが、横浜市が先んじてビジョンを示してしまうのが良いと思います。前林市長が預かり保育のモデルを作ったように、家族の絆など家庭についてのビジョンを横浜から発信したらよいと思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>IRを辞めたのは勇気ある一歩だったと思います。かりにIRを誘致できたとしても収入源のVIPは、地政学的に中国からなることが予想できますが、万が一、飛ばれたら回収に行くノウハウがあるのかどうか疑わしかったです。 では財源をどうするのか？市民税を上げて搾り取る？細かいものを積み上げて、劇的な変化は生じないような印象を受けました。財源確保を中心に考えると、どこかに痛みが伴う収支計画を設定する必要があると思います。</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私は幼稚園を経営しており、横浜市政の皆様には大変感謝しております。しかし国の保育政策には非常に抵抗を感じることが多く、労働人口確保のために、預け先を意用する。それは子供達のWell-Beingなんてまったくのお構いなしです。マターナルディプリベーション（母性剥奪）を生むだけで、子供達は決して幸せにはなりません。</p> <p>政策に是非子供達の幸せという視点も足して考えて頂きたい存じます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「9つの戦略・38の政策」と幅広いプランが表現されていますが、その中に「それを担保する財源・収入をどう確保するか？」が一切触れられておりません。</p> <p>横浜市の今後の厳しい市財政を勘案すると、これではこれらの戦略・政策は「絵に描いた餅」になり兼ねないと危惧します。</p> <p>林前市長のカジノを前提とする統合IR計画には反対でしたが、少なくとも財源・収入を担保してイン・アウトが成立する戦略・計画にしようとする意図は理解できました。</p> <p>然るに今回の中期計画はどうでしょうか？どうやってその実現を可能にするかの裏付けの無い計画など、無責任極まりないと言わざるを得ません。</p> <p>山中市長・市当局におかれては、この計画が市民が納得出来る「地に足の着いた＝財源・収入が担保された」物に再構築されます様、強くお願い申し上げます次第です。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>戦略・戦術の実行プロセスをトップダウン方式からボトムアップ方式に重点を変えるべきだと思います。</p> <p>多くの課題は現場において具体的な現象・兆候となって表出しています。これらの課題に対して行政組織が市民目線に立った支援者、助言者として現場からの課題解決の手だてを見つけ出せるように対応できなければならないと思います。</p> <p>それは、現場主義の徹底からでしかなしえないと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のVI「行財政運営」の行財政運営1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」の目標に「行政に求められる多様なニーズに、スピード感をもって市民目線に対応するとともに、政策課題に即応できる組織体制を構築し、限られた経営資源の中で最大限の効果を発揮できる、効率的・効果的な執行体制が構築されています。」と記載しており、素案に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>広報よこはま特別号新聞折込みで配布するのではなく、月一度の町内会の公報といっしょに配ればよいのではないのでしょうか。無駄な税金使って、配布する必要があるのか、もっと税金の使い方を考える</p>	<p>参考</p>	<p>広報よこはま特別号の配布についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>家の周囲の「市の土地」の草刈が全然されていません。不衛生な上に、空缶等投げ入れられる状況です。草の長さ、2mにも達しています。どうかして下さい。</p> <p>市、県民税等沢山納めています。難しいことより先に市民の健康と心の健康を大切にしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>市有地の管理についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市政は、大企業優先から市民優先の市政に転換してください。人への投資はこれからの横浜市政に大きな貢献をするのではないのでしょうか。教育、医療、福祉に予算を使うべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>主要幹線(新幹線・高速道路)からの市役所の位置が遠い。また区役所も同様で駐車場の利便も悪い。図書館等公共施設についても、単に建物を造っただけ、余裕のある設置、使い勝手の良い「市民の施設」という観点からは欠ける。</p>	<p>参考</p>	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>マカオのカジノ産業が途轍もなく低滞しており、マカオの財政8割減の経済は死滅である。横浜市のIRには、どのような判断反省が残ったのでしょうか。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>区役所には2~3書類でお願いしていますが、住居地区の深い排水路の清掃支援、ペット散歩者の糞尿の不始末をもう少し、外国(オランダ、フランスの様に)改善願います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画を着実に実行していくうえで、この視点での行動が重要かつ必要と考えました。</p> <p>国内は、長年閉塞感に覆われています。この状況を破るのは、その歴史、DNAからして横浜市のミッションと考えます。</p> <p>役所を始めとする日本国内では、「時間軸」に対する意識が弱い。拙速を嫌う傾向がある。</p> <p>人間は、「寿命」という絶対的制約に縛られている事を、余り考えない。</p> <p>多様化が進み拡大する社会では、合意形成のため、多数決のルール確認が必要。そんな状況を再確認する為の方策です。</p> <p>合意形成のスピード化</p> <p>背景：</p> <p>1、歴史的大変革の現況は、動きが早く・多様化している。</p> <p>1、国内状況は、国民性が保守的。既得権者の力が強力。政治的リーダーシップが弱く、決められない状況が続き、世界とのギャップが拡大している。(30年前、各種経済指標で世界の1位を占めていたが、現在では、先進国内で最下位に低下している)</p> <p>・長年拙速を嫌う傾向が強く、「時間軸」に対する意識が薄く、人間は、「寿命」という絶対的制約の中で生きている事に気付いていない。</p> <p>1、日本は、民主主義国家であると言いますが、民主主義の意味を良く理解されていない。「民主主義」は、最大多数の最大幸福を実現するシステムで、多数決により担保されている。</p> <p>1、欧米諸国の地方政府は、「地方分権」に従って独自に政策を実施している。我が国では、相変わらず中央集権的政策で行動している。</p> <p>新たな取組：</p> <p>関係者が共有すべき事項</p> <p>◎行政の役目は、地域住民・企業が夢希望誇りを持ち、安心して生活（操業）出来る環境を作る。</p> <p>◎行政は、住民・企業の税金で成り立ち、行政の責任者である市長と議会は、住民の選挙により選ばれている。</p> <p>◎住民は、自己の「幸せ」実現に関する当事者であり、納税者であり、投票者であることを意識する。</p> <p>取組み方法</p> <p>・事業を始めるには、事前にその目的・議論する期間・決定数字（51%でなく60, 70, 80）を決め、期間が来たら採決し、合意に至らない場合には、内容を修正し再度実する。</p> <p>・合意され場合、少数意見に対する配慮が必要に思います。考え方として少数意見者の人には、民主主義の主旨に納得してもらおう。</p> <p>・この業務を行う団体を育成し、しかるべき費用を支払う。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>瀬戸橋付近の立橋も老朽化が激しく立直の検討ありです。バリアフリーで、エレベーターもつけてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>金沢区六浦2丁目の国道16号線の六浦橋バス停近くに歩道橋があります。この歩道橋は老朽化が進んで激しく傷んでいます。渡っていると今にも足元の床面が抜けてしまいそうです。(実際、隅の方はさびて穴があいています)大きな地震が必ず来ると言われている昨今、なるべく早く新しい歩道橋に替えるかまたは修復をお願いします。</p> <p>主要な道路2本が交わっている場所にかかっている歩道橋なので生活になくてはならないものです。</p>	<p>参考</p>	<p>国土交通省所管の道路施設についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>バイリンガル幼稚園・バイリンガル小学校を増やす。外国人居住者の雇用創出にもなる。</p>	<p>参考</p>	<p>多文化共生施策についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>中国語・韓国語表記より、英語表記を街中に増やしていく。世界は英語で通用する時代。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、様々な方々の暮らしやすさに関するものとして、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>障害年金を受けながら、やっと暮らしている50代の女性です。                      現在、親の年金にも助けてもらっているのですが、なんとか生活できているものの、今後の事を考えるととても不安です。                      子ども誰もいなくて助けてくれる人は全くなりません。                      どこか悪くても、自立支援医療になっている精神科以外は3割払うことを考えると我慢して医者にかかる事もためらってしまいます。                      他の医療機関も一割にさせていただけるとありがたいです。どうかよろしく願います。</p>	参考	<p>社会保障制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>もうコロナはいやだ。終わりにしてほしい。                      女性が安心して、おしゃれやファッション、メイクを楽しめる世の中になり市民が安心してショッピングを楽しめるようにしてほしい。つまらないテレビ番組が多い。青少年の健全な育成をめざして、ためになる番組を放送してほしい。                      夜は、安眠妨害になるので、サイレンなどはうるさくならさないで下さい。スーパーでこれ以上値上げをしないでほしい。家計が大変です。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>昔みたいに向こう3軒向隣はもう事実不可能なのですか？！                      1844年～1900年独・ドイツの哲学者フリードリヒ・ニーチェもこう言っていました！                      「自分が立っている所を深く掘れ。そこからきつと泉が湧き出る！！」                      人間は、皆それぞれ1個の生命を持った異なった人格の持ち主です。                      愛するということは、全てにおいて共通する事だと思えます。                      ①配慮②尊重③責任④理解この4つを1つでもかけてはだめです。                      信念と勇気                      フロム愛するということについてこの4つが一番大事ではないでしょうか？！                      1893年～1986年                      セント・ジェルジ・アルベルトハンガリーの生化学者の言葉。                      発見とは、人と同じものを見ながら人の気づかないものを見つけることである。                      常識や先入観にとらわれず、視点を変えてみよう。大きな発見につながるかも、しれない。                      可能の反対語いやまちがい不可能の反対語は可能では無い。「挑戦」だ。                      1919年～1972年                      ジャッキー・ロビンソンの言葉アメリカのプロ野球選手。                      できない理由探しても進歩がない。実現するために、まずは出来る方向に目を向けて実行しようではないでしょうかねえ～</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>山中市長の3つのゼロと中学校給食をちゃんと明記してください。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」、素案の政策5「子ども一人ひとりを大切にされた教育の推進」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>西区西戸部町                      水道みちの                      8：00～8：30                      スクールゾーンの車の進入禁止がいいと思います。</p>	参考	<p>交通安全についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>会社を70才に引退して約20年、現在90歳の男性                      瀬谷通信隊の花博も結構だが短期の事業に投資するのではなく、長期の事業に投資してほしい                      1、横浜市立工業大学、深谷通信隊の跡地には                      2、横浜市立農業大学、横浜市役所跡地は                      3、横浜市立貿易大学、山下公園の近くに                      4、横浜市立市商船大学                      物に投資するのではなく未来に投資をしてほしい                      人材育成に投資してほしい                      それが私の希望です</p>	参考	<p>市政についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>提案された全ての政策はどれも結構なことである しかしそれを実行する裏付けとなる財源はどうか？ それを示してもらいたい</p>	参考	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>新市長はカジノ誘致を廃止しましたが、カジノ誘致には2つの利点があった 1つはわが国で唯一の国際都市である横浜でカジノ創設することは都市としての魅力を増し文化を豊かにするものであった 2つは、財源を新しく増やし市が抱える負債の軽減や新しい施策を行なえるものであった カジノ誘致を否定したことは誠に残念であった。 なんでも反対の勢力におもねるものであった</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>介護施設等に入所している方の選挙権の問題 施設入所者いろいろ。候補者は施設に顔を出していれば…等 選挙管理が難しい</p>	その他	<p>選挙についてのご意見として伺います。</p>
<p>横浜市だけでなく日本中が財政不足となっているが20世紀から続いてきた予算の組み方等を見直す時期にあると思っている。1例として選挙の折などにヘリコプターで報告、注意通知がなされているが、うるさいだけで何を言っているのかは聞き取れない。 車の音やサイレンで騒音だらけの街でヘリコプターのプロペラ音でもうるさいのに効果のない宣伝をすることは無駄遣いだと思う。一度飛ぶと200万円と聞いたことがあるが、このような無駄の見直しを大胆に行って欲しい。</p>	その他	<p>選挙についてのご意見として伺います。</p>
<p>物価高騰で市民は苦しんでいます。横浜市として消費税を5パーセントにするように国に働きかけてほしいと思います。</p>	参考	<p>生活支援についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>新たな基本構想（長期ビジョン）の策定 現行の「横浜市基本構想（長期ビジョン）概要版」では、横浜市の計画体系は20年の基本構想、5年（4年）の中期計画、1年の都市経営の基本方針の3段階になっています。今回の中期計画素案では、「Ⅰ 中期計画の特徴」、「Ⅱ 共に目指す都市像」、「Ⅲ 計画の前提①②」などの内容は長期的な視点から説明した記述が多く、このため中期的視点で説明する「Ⅳ 9つの戦略及び38の政策」との関係性が複雑で分かりにくいものになっています。市民との共有化を目指す計画としては、計画のタイムスパンに合わせエッセンスを明確化して、シンプルな構成に改善することを望みます。 確かに先行き不透明な時代でありバックカスティングの計画手法は理解できませんが、現在の3段階の計画体系との整合性が不明瞭になっています。2006年6月に策定された現行の基本構想（長期ビジョン）は概ね2025年を展望したものです。現在の時代状況に合わない部分が出ており、今回のスタディを活用して新たな基本構想の策定について早急に取り組むべきではないでしょうか。地球温暖化の進展、食糧・水・エネルギーの限界性、貧富など格差の拡大、感染症はじめとした危機管理、国際平和への貢献など、大都市横浜の課題は山積しています。「横浜国際港都建設審議会」などの策定プロセスで、多数のステークホルダーや市民の意見を十分に反映させて、次の時代の羅針盤となる横浜らしい基本構想の策定を目指していただきたいと思います。</p>	参考	<p>計画の策定についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
相武トンネル あの辺の歩道の狭さ、雑草、どうにかありませんか？ 周り市民の森だとかいい場所 沢山あるのに自転車も歩くにも恐ろしい道とご存知ですか。新しい横浜開拓もあり がたいですが、そういった所に手をかけてもらえませんか？ 朝比奈峠？も車道ばかりで歩道にもう少し目を向けて貰えませんか	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
毎年2、3回十字路で事故がある（鶴見区元宮矢向1丁目等） カーブミラーを設置して下さい 車両、バイク、自転車、歩行者全てあぶない	参考	道路の交通安全についてのご意見として、参考にさせていただきます。
矢向第一陸橋にエレベーターの設置をよろしく 尾手側などは坂に人道がなく、3階建ての階段を上るようである。年寄りや子供 等は陸橋を超えるのが大変である。地域の分断になっている。	参考	道路管理についてのご意見として、参考にさせていただきます。
南武線の尾手—矢向駅間の踏切をなくして欲しい。高架にならないか？ 川崎市 は考えているようだ。踏切事故は何件か起きている	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
道路について、私は鶴見市場に住んでいます。近くに旧道が通ってます。夜川崎 方面からくると横浜に入ったとたん暗くなります。同じ明るさにして下さい。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
川崎の道路は両側に歩道が整備されて歩行者が守られています。横浜市は道 はせまくなり道路に白線が引かれてるだけです。時間（時）はかかるかも知れま せんが（セットバック等）歩行者の安全の為川崎並にして下さい。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
川崎に比べると横浜市は道路が狭く暗い。カーブも多いので非常に危険なところ が多いので改善を求めます。とりあえず照明を増やす。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
500～600名位の音楽ホールを作ってほしい。	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
物価上昇に伴う年金の上昇を並行するよう要望する	その他	公的年金につきましては、国の施策として検討されるものと 考えています。
私は川崎市幸区から矢向に引っ越してきましたが川崎はせまい道路でも明るかつ たのに横浜に来てからとても暗さを感じています。細い路地でも明るくして下さい。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
川崎と横浜の境界がすぐわかる。道路の歩道が半分くらい下になっている。高齢 の社会になって安心して歩けるようにしてほしい	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
川崎市と比べて横浜市の道は暗いと思います。ただし、大きい道は別（バスが通 る道）	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
ガス、水道管取替工事後の道路の整備がバラバラの道路の水がきちんと流れず	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
バスの時間が18系4月より30分に一本だったところ、現在1時間に1本になってし まい、1、2分違いでバス停に行った所、出発済だったため、1時間またなければ ならず、区役所と病院の受付にまにあわず困ってます。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
災害拠点として、学校調理の仕組みを作る。アレルギーの子供にも対応出来 る。	参考	地域防災拠点についてのご意見として、参考にさせていただきます。
汐田病院陸橋にエレベーターを付ける。（老人、障害者にやさしく）	参考	道路整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
豊かで暮らしやすくする為にエレベーター設置をのぞむ	参考	エレベーター設置についてのご意見として、参考にさせていただきます。
窓口負担がなぜ1割2割の人を作るのかおかしい。年令で決めてほしい。200万収入という事は月20万以下で生活が苦しいハズ 国が決めたら一自治体は反対するとか、補助をするとか考えてほしい	その他	子ども・子育て支援の拡充や、予防・健康づくりの強化等を通じて、全ての世代が公平に支え合う「全世代対応型の社会保障制度」を構築することを目的に健康保険法等の一部を改正する法律が成立したものです。
道路のあかりを明るくして下さい	参考	道路管理についてのご意見として、参考にさせていただきます。
矢向陸橋をよく利用しますが、階段しがなく、高齢者やベビーカーの若い人たちが苦労しています。エレベーターの設置をお願いします。バリアフリーの街にして下さい。	参考	道路整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。
バス便の拡充、高田駅から新横浜までバスの運行（新道開通により）	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
お金がないのになぜ大型開発が必要なのでしょう？ お金は使うべきところ、子育て、介護、気候危機への対策など、まったなしの所に使ってください。	参考	社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。
今回に限らず、横浜市役所が発信する情報については、PDFベースが多く、PDFを読めない視覚障害者等にも配慮があるとよいと思いました。点字や録音媒体の提供ができなくても、職員の皆さんの負担にならない形、せめてテキストデータを添付するなどの基本的なルールを徹底していただけると嬉しいです。今回のPDFはテキストも組み込まれているため、音声読み上げソフトでも閲覧は可能ですが、画像やイラストがところどころあるため、視覚障害者にとっては読みにくいものです。市民全体が見れるものをもう少しだけ意識して、発信と募集を行っていただくと助かります。強い願いと希望を込めて。	参考	広報についてのご意見として、参考にさせていただきます。
巻末にあったが、本来は市が目指す姿として未来シナリオは基本戦略とともに冒頭に置くべきだ。各戦略各施策が有機的に連携する意識づくりにもつながるはずだし、市民と同じビジョンを共有することにもつながると思う。	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
市役所の技術管理のとりまとめ部署あて 持続可能なインフラの保全更新にあたっては、インフラ管理者の技術力が不可欠です。これから不足が進む中、OJTを基本に戦略的な技術力の伝承をしてください。分野単位でなく組織としてPDCAが回るように、ただ単に座学として教えるだけでなく哲学として伝承してください。職員が所属する2、3年間を見るのではなく、これこそが中長期的な視点でインフラをどう長持ちさせていくか維持管理も新設も同様です。ただ単に構造物を眺めるのではなく、表面だけ補修するのではなく、劣化の原因、それを防ぐには何が必要か、物事の本質をとらえる力をもって、生活や経済を支えるインフラの管理を責任もって取り組んでほしいです。	参考	社会基盤の保全についてのご意見として、参考にさせていただきます。
大規模な大企業ばかりがつくる「横浜市」は横浜市民の地の通った街づくりでは有りません。人々の「日常生活」が一番大切です。交通の不便を無くす、食料難民を無くす。災害用住宅はもちろん、低家賃の市営住宅の増設が必要です。衣・食・住、が足りて「礼節」をなすと古来から言われています。今の横浜市の行政に「市民に寄り添った施策」がかけています。様々な環境で苦しんでいる方々が居ます。なかなか私どもには見えません。行政の窓口には様々な苦情・困りごとの相談が来ると思います。小さなことでも取り上げて、解決策を見つけてください。韓国では「出前福祉」を行っています。行政が自ら心配なご家庭を訪問して解決する。例えば「ごみ屋敷」「空き家」母子家庭・父子家庭の訪問。学生支援等沢山あります。市民の不安・貧困・病気に寄り添った「基本姿勢」にして下さい。	参考	市政についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>山中市長は市長選でお世話になった市民団体の面会に応じていません。住民自治を実現する金沢区民の会では、金沢区にいらっしゃる事を首を長くしてお待ちしています。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>横浜の地方税はとても高い割にそれに対する見返りが全く感じられません。</p>	<p>その他</p>	<p>市町村税は、地方税法における税率や計算方法等の規定に基づいて計算されますので、各自治体において基本的に税額が異なるものではありません。 ただし、横浜市では、緑豊かなまち横浜を次世代に継承するため、条例により、超過課税（横浜みどり税）を実施し、個人の場合は一人あたり年間900円のご負担をお願いしています。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>以前は、横浜生まれ横浜育ちの人達は横浜から離れたくない人が多かったが、今は横浜から離れていく人が増えたことは悲しい事です。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>先日横浜新庁舎に行きましたが、一般市民の生活を考えるとあまりにも立派過ぎて違和感があります。立派な箱物を作っても何故若者が横浜に愛着心を持ってなくなっているのか考えるべきです。このままでは横浜の将来はどうなるか心配です。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>前略山中市長殿 安倍元首相の国葬に参加するそうですね。これには断固絶対反対します。ぜひ参加しないで下さい。 次回市長選には投票しません。</p>	<p>その他</p>	<p>横浜市中期計画2022～2025（素案）に関係する内容ではございません。</p>
<p>気になるヶ所は、新横浜駅の正面側でなく、篠原口に向かう場所が狭く、車、電車、歩行者で危ない場所です。新幹線の高架下ファミリーマートが有り、道を隔てて、JRの場所です。 新横浜一丁目はマンション多く、人口増えてます。 車の禁止や時間制限など考えてもらえればと、よろしく願いいたします。</p>	<p>その他</p>	<p>交通管理のご意見につきましては、神奈川県警察にお問合せください。</p>
<p>戸塚駅東口でバスを降り、JR、地下鉄、乗り換えの昇り降車場から、どこに行くにも2階が地下に階段を利用しなくてはなりません。老人にとってこれは苦痛です。エレベーター1本の設置を希望します。 バス乗り継ぎも近くのお買い物も辛いのです。</p>	<p>参考</p>	<p>公共交通の乗り換えについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>パブリックコメント実施 素晴らしい市政政策です。コメント処理には大変な人手他経費がかかると思います が頑張ってください。陰ながら応援します。 山中市長様応援しています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>過去の反省も必要。 カジノを含むIR推進派市幹部の更迭 「横浜」船の進路変更、船長交代、次は一等航海士 勇気ある船員に期待。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>横浜に住んで60年になります 今回の市民から意見を聞かれるのは始めてです。 遺方厚生年金（主人（亡））1223200 私のが老齢基礎厚生年金728500 老齢支援給付金22428+194128です。 月16万円で暮らしています。固定資産税96700です。 固定資産は国税ですので、直接ではダメですが、私個人は国は遠く、離せない ので、市からお願いたくしい、したためました。86歳なので、元気に過ごしては おりますが、やはり年には勝てませんが、食事やプールへ行ったりして、歩ける 様にと頑張っています。 新しい試み感謝致します。安心して暮らせる様よろしく願い申し上げます。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>防犯力の強化                      (1) 交番の活用できる限り在所をする。不在時はパソコン等の活用で連絡をとれるようにする。                      (2) 警ら車の強化                      バトカー、オートバイの低速による防犯とアピール</p>	その他	<p>交番やバトカーにつきましては、神奈川県警察にお問合せください。</p>
<p>北山田駅から国際プールへ行く直近の道118段の階段があります。車イスはもちろん通れませんし、ベビーカー、自転車、キャリアバックなども通行するのに難しいです。高齢者や小さい子供連れの方々も苦勞しています。                      脇のララヒルズには、住民専用のエスカレーターがあるのに、国際プールへ行く人々にもバリアフリーの道は大まわりしかありません。毎日改善されるべきだと思って通っています。                      急ぎ、善処をお願いします。</p>	その他	<p>まちの施設等についてのご意見として伺います。</p>
<p>なんとか博みたいのはもうやめた方がいいと思います。やるなら若い人向けにどうしたらいいか意見を聞いてからじゃないとあんまり人は来ないと思うので。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市は神奈川県から分離独立します。市内所在の警察、県立学校は市に移管し、その他の県施設は移管もしくは移転します。                      神奈川県庁、県議会、県警察本部、その他の移設は、自動車道3本、鉄道3本が集中する海老名市が最適でしょう。更にJR相模線を複線化して、将来の東海道新幹線とMaglev新幹線の新駅開業に備えます。一方現在の横浜市はあまりにも肥大化し機敏な行政運営ができておりません。分割しましょう。100万都市を3つ、あるいは6分割しても政令市の要件を備えます。更に横浜県にして、各区を市にしてもよろしかろう。                      いずれにせよ税収を「横浜」に留めておくべきです。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>拝啓市長殿                      このようなアンケートをする前に敬老バス（バス代無料の公約）の件はどうなっているのですか？                      選挙で現市政に投票した年金老人</p>	参考	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>広報よこはま誌でこのような“ご意見箱”企画とても良いアイデアだと思います。ありがとうございます。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>ハマトレ体操のパンフレット等の紙の情報が多い。読まれないものは全部ごみになるので印刷物の量を考えて欲しい。                      地下鉄におかれている情報誌パンフも無駄に思う。</p>	参考	<p>広報についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>私は港北区篠原東に80年住まっております。                      ここには水道道が通っており、幼い頃はじゃり道で車が通ると土ぼこりが上がりました。港北小学校に通う頃に、道路は舗装されましたが歩道はありませんでした。でもこの道路は大切な命の水を運ぶ水道道で、今では住宅も建て込み歩道の確保は無理でしょう。40年くらい前にガードレールが付いて事故はすこし心配なくなりましたが歩道は狭くなりました。                      相手を避けなくてはすれ違い出来ず、杖歩行の人はそのけとばかりに通ります。ベビーカー、車イスを使用する人も歩行しにくそう。よける人、待つ人ほとんどが挨拶なしで通ります。歩道を広げることではできなくてもすれ違う人の「ありがとう」の一言がある道になるといいな。ガードレールの上の方にスピーカーを取り付けて「ここはご挨拶の歩道です」とか人の心を促すってことはできないでしょうか。笑顔ですれ違っていていい一日になる歩道。</p>	その他	<p>道路についてのご意見として伺いました。</p>
<p>物価高どうにかして。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>山中市長さんファンです。 市会は自公市議のいじめや妨害をうけているとの事、山中市長さんの応援は多勢います。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>電柱がじゃま 狭い道路に電柱は大きな障害となっている。順次地下化してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>道路整備についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>港湾局はいまだに関連会社や外郭団体に天下りしている。 市民に雇用の機会を奪っているではないか！</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>横浜市独自の蛇口 横浜市の水道は強い圧力が掛かっているため圧力をもっと有効利用した新しい型式の蛇口です。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>政策項目に関し70%賛成の気持ちはありますが、財源はどこから捻出なさるのでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>様々なニーズに対応する施策を進めていくのに必要な財源を確保するためには、歳出・歳入両面からの取組が必要です。創造・転換を理念とする歳出改革を進める仕組みを構築・実践し、各年度の予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を徹底的に追求します。また、戦略的な街づくり等による税財源基盤の強化に取り組みます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P189 大型開発はとめて、市民生活を支援する政策（教育・医療・社会保障など）を進めて下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>残り2つの「ゼロ」も早急な実現をお願いします。収入は増えないのに支出が多くなる現実、生活は苦しくなるばかりです。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」及び素案の政策28「日常生活を支える地域交通の実現」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>多文化共生・平和・人権の尊重・・・国際都市横浜として、隣国の中国や韓国をはじめ、外国人との友好を深める施策を。ヘイトスピーチやSNSでの攻撃を排除する手立てを。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「多文化共生の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>天王山橋の東戸塚駅行きのバス停に関して 東戸塚方面行の天王山橋バス停の位置を東戸塚駅にもう少し近くしていただくと便利かと思えます。天王山橋と東戸塚駅の距離が他よりかなりあるかと思えます。駅にもう少し近づけていただくと便利です。</p>	<p>参考</p>	<p>バス停留所についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>並木団地は高齢化が進み日常生活を支える地域交通の充実が求められています。 区役所や病院通い、食料品の買い出し等、高齢者が外出できることで認知症予防や地域経済の活性化にもつながります。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市長の存在は大きいです頑張ってください応援します。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>自民党や共産党がどうの言う前に従来のやり方を見直して下さい。 市政が良くなければ、他にふるさと納税するのは当たり前です。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>大胆な政策を実現するためには資金が必要である。税収が必要だ。横浜はせっかく潜在的に魅力的な資産を持ちながら、どれもインパクトが弱く、全国から人が泊りがけで遊びに来るような圧倒的な観光資源や魅力的な大規模施設がない。上に挙げた様にテーマパークや、奈良・京都の様な歴史的遺産や長崎の様な異国情緒あふれる街並み、その他有数の観光地にある様な魅力的な場所はない。税収が足りないのは明らか。我が街である都筑区は港北ニュータウンとして開発され、当初は駅周辺などはタイル貼りの歩道、広場が占めて見事に美しかったが、補修する資金がない為に今は化粧タイルであったところをアスファルトで埋めて、非常にみすばらしい状況である。歩道も長い間補修されておらず荒れ放題で心がすさむ程だ。横断歩道の白線なども消えかかっているところが多数あり、かつての美しい港北ニュータウンの面影はなくなってきている。これは誰のせいでもなく、税収が足りないことによるものだろう。今後少子高齢化でますます福祉予算が必要になるが、その税収の見込みはあるのか。IRを辞退することで失ったものは余りにも大きい。IRに代わる、匹敵する、あるいはそれを上回るインパクトのある、魅力的な複合施設、或いはエリア整備を行うことで全国から泊りがけで訪れる様な場所となって生まれ変わることが必要である。それがMICEなのか、山下公園の再開発なのか、どちらにしても圧倒的に魅力溢れるものでなくてはならない。具体的には「3,000億円増収計画」など、税収増加の具体的な定量目的を持って事業計画を作り、それに合致したプラン作りが求められる。その為のプランナー、デザイナーを公募する、或いは事業者をコンペで決めるなどする必要がある。再開発で蘇った、或いは魅力を増加させた街の例はアメリカなど諸外国にいくらでもある。そういう実例を参考にして、人が呼べる街を想像することが一番である。要は横浜市民同士でお金をやり取りするようなまちました考えではなく、日本全国、或いは世界各国から人を呼んでお金を使ってもらえる街を創造して税収増加の目途を付けることが必要と考える。5年では出来ないから10年かけてやるつもりで取り掛かること。こんなものはIRを実現していれば現時点で既に半分は出来ていた様なものだから、それをまた振出しに戻って始めるという、何と時間の無駄遣いしているのか非常に残念で仕方がない。IRに落選したのではなく、自ら辞退したという愚行の代償は余りにも大きい。</p>	<p>参考</p>	<p>財源確保についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P135からの財政ビジョンには支出抑制策の記載はあるものの、IR誘致に代わる大幅な収入増を目指す施策についての言及がない。財政が課題だからこそIRを検討していたはずなのに、IRを辞めて収入改善策は何もなしとなるのはおかしい。具体策を記載するのは難しくても、施策を立ち上げることを目標の一つとして加えていただきたい。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>医療負担はなしにして下さい（本人負担ゼロ）</p>	<p>参考</p>	<p>医療費の本人負担についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市と大きな市になってきて、色々小回りが利かない気がする。もっと区ごとにできることを増やして区の特徴を出したり、区のやれる事を打ち出してほしい。ずうたいが大きいので色々遅い。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>医療の窓に負担軽減を。</p>	<p>参考</p>	<p>医療費の窓口負担についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>並木を走っていた杉田から区役所まで行くバスを再び走らせて下さい。乗り換えるのが大変になって来ました。（94系統）</p>	<p>参考</p>	<p>バス路線についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>関東南部における大きな地震は記録は多く残っているものの、震源については未だ解明されていない。大正関東大震災の震源でさえ複数の説があるくらいで、明治の横浜地震を含め江戸時代、鎌倉時代の多くの大地震の震源は不明確なままだ。ただ言えることは、関東南部では多くの学者が相模トラフを震源とする海洋型地震より直下型地震の方が差し迫っていると考えていることだ。今の横浜市は国が最大被害を生じると評価した「都心南部直下型」地震に対して何も備えられてない。これはゆゆしきことだ。</p>	<p>参考</p>	<p>地震時の被害想定についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私達は平和憲法が守られ、本当に安心して楽しい人生を76年間過ごすことができました。これからも多文化共生で平和、人権の尊重を何よりも大切に！</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>小児医療証の所得制限を撤廃してほしいです 9月に川崎市から引っ越ししてきましたが、引っ越してきて児童手当および無料の小児医療証の所得制限があり夫婦共々非常に落胆しました。 子どもが3人もいるのに、小児医療費の助成がないのも、家計にはかなりの負担です。また、親の所得で医療が自由に受けられる受けられないも、子どもへの差別だと感じます。 (先日病院に行った時に、小学生の子が無料だったのに対し、4歳の息子は1500円の負担があって、なんでお金払うの？と聞かれ、本当の理由を答えられませんでした) 今後の横浜市の子育て支援での平等な改善を望みます。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～」の主な施策5「小児医療費助成の拡充」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>児童手当の所得制限を撤廃してほしいです 9月に川崎市から引っ越ししてきましたが、引っ越してきて児童手当および無料の小児医療証の所得制限があり夫婦共々非常に落胆しました。 我が家はフルタイム共働きですが、子どもが2人おり、現在3人目も妊娠中です。一般市民の中では高所得層ではありますが、学生時代からずっと遊ぶことなく努力を続けて就職し、その分税金も多額に収めています。 保育料も月に8万弱払っていますが、受けられる認可保育園のサービスは他の方と同じです。 年少扶養親族(16歳未満)に係る扶養控除(33万円)が平成24年になくなり、その代わりに児童手当だったはずですがそれが所得制限でなくなるのは不平等だと思います。 今後の横浜市の子育て支援での平等な改善を望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、戦略1『すべての子どもたちの未来を創るまちづくり』をはじめ、今後の計画推進の参考にさせていただきます。 なお、児童手当制度につきましては、国が定めた法令・規則等に基づき、支給要件、給付内容等も全く同一とした、全国民を対象とする単一の制度となっております。</p>
<p>役所に相談に行ってもどこに行ったら良いかわかるようにしてほしい</p>	<p>参考</p>	<p>窓口運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>鶴見がもっと良くなってほしい。にぎやかにも。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>医療費の窓口負担の無料化が軽減をはかってほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>医療費の窓口負担についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>計画の前提 本市は今後、本格的な人口減少社会に突入していくことが見込まれます。→よく言われますが、なぜ人口は減少するのですか？ 高齢化(長寿化)なのに、減るのは出生率が下がっているからですよね？ 戦略1.政策1に現状と課題があるが、少子化の本質原因は晩婚化？結婚したくない世代？子育てがしにくい？教育にかかる所得不足？家が狭い？子供が面倒？はっきりしていない 基本戦略を“子育てしたいまち、次世代を共に育むまち、ヨコハマ”にするなら、そこをはっきりし、取り組みを明らかにしてこそ基本戦略でしょう。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>I 中期計画の特徴4.財政ビジョン・行運営の基本方針との関係 財政ビジョンで示した収支不足解消に向けて、「中期計画」では、施策の方向性と達成状況を測る指標を示し、毎年の予算編成中で施策指標の達成に効果的な事業を議論し、計上していきます。 とありますが、 →危機感が感じられない →財政は減収傾向にあり、大幅な増収は見込まれないため、選択と集中という取り組み方が打ち出されるべき →辞めるモノを決める議論が必要</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>都市基盤の未来07 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用したチャットボットなんて使いものになりませんから、辞めてください</li> <li>→AIとか言えばいい物ではないです</li> <li>・(⑥未来のイメージ(防災・あちごち電力)について</li> <li>いくらイメージと言っても、そのまま絵を持ってこず、もうちょっと、技術をよく考えてください</li> <li>スマホにワイヤレス給電をこのようなイメージでは使えません。</li> </ul>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>IX③計画期間中の財政見通しと収支不足への対応</p> <p>大甘な計画に感じる</p> <p>→税収増につながる人や企業を呼び込む政策・規制緩和・事業投資等を展開して、具体的に何をしますか？踏み込み不足</p>	参考	<p>財源確保についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>裕福なお年寄りにお金を使ってもらう方法考える</p> <p>→お年寄りは何故お金を貯め込むのか？</p> <p>→家計金融資産の7割は高齢者の資産</p> <p>参考) コロナ禍で膨張する個人マネー～家計金融資産1,946兆円の構造～</p> <p>→敬老パスなんて不要</p> <p>→これで歳出100億削減</p> <p>→パスの発行や周辺コストがかかる、裕福でない高齢者には別の給付すればいい</p>	参考	<p>敬老パスにつきましては、高齢者の外出支援の観点で、ICカード化により得られる利用実績等も踏まえながら、持続可能な地域の総合的な移動サービスの検討を進めているところです。</p> <p>ご意見につきましては、政策28「日常生活を支える地域交通の実現」の主な施策2「地域の総合的な移動サービスの確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について</p> <p>SDGsなんて先進国で本気で取り組んでいる国なんて多くはないと聞きます。大事なことだというのはわかりますが、取り組むのは景気が良くなってからで充分で、いまはそんなのは気にしないでいいと思います。</p> <p>脱炭素社会も同様で、環境保護団体が気にしていればよいことだと思います。</p>	参考	<p>戦略政策の優先順位についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>平和が危うい。そのことは人権侵害につながっていきます。ぜひ市政の基本に据えて下さい。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のI「中期計画の特徴」の1「計画策定にあたっての基本認識」に「持続可能であることはもちろん、平和や人権の尊重を市政運営の基調としながら、日本・世界をけん引する都市として挑戦をし続けることができるように、中期計画を検討していきます。」と記載しており、素案に含まれていると考えております。</p>
<p>本当に何を目指し、どうすればそれを実現できるかという考察がない。第一、行政の計画として最重要と思われる「予算」がまるで出てこない。現在3兆円を超える借金を抱えた横浜市が、どの程度の予算を各施策に割り当て目標を実現し、さらに借金をなくしていけるのか。行政の計画であるのに、予算がなくてどうするのか。まったくの絵に描いた餅に過ぎないのではないのか</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>P159の「高い市民力」とは何でしょうか。国際的指標であるなら、その根拠を示してほしい。単に「ピースメッセンジャー都市」の称号を授与」というだけでは、意味不明です。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P195に「有識者意見」が掲示されていますが、これらの方々は、どれだけの時間をかけて内容を見ていただいたのでしょうか。「有識者」の価値があるのでしょうか。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>今回のパブリックコメント募集は、新聞の折り込み広告で知りました。それは、助かりました。</p> <p>ただ、その広告から一月足らずで、締め切りになるのでは、一般市民として十分に検討に時間をかけることができません。</p> <p>もっと早く広告を出していただきたい。</p>	参考	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策25について                      政策のタイトルに国際平和都市と明記してほしい。                      横浜市非核兵器平和都市宣言（1984年）を発展させていくこと核廃絶を実現する為に横浜市が貢献することを望みます。                      横浜市民の誇りです。</p>	<p>参考</p>	<p>国際平和についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「計画の前提について」                      163P自治会町内会加入率に関する意見として、マンションが増えて自治会町内会の案内自体がないことがあるため、加入率の推移＝関心の現象に必ずしも繋がらないと考える。関心があっても、自治会町内会との接点がないため、参画していないケースがある。こういった層にもアプローチする情報共有方法の見直しが必要かと考える。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>165P未来のシナリオの中には、子供のやりたいことが金銭的・機会的問題なく、実現できること、をシナリオに入れていただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>市民生活の未来                      生命の目的は進化すると感じるような内容だと思いました。                      継続は力なり、より気軽に生涯学習が継続できるような機会があれば、生きがいを持って生きられると思いました。                      大人になって楽器を始めましたが、上手くなるにはとにかくやめないことだと励まされながら、少しずつ上手くなることに喜びを覚えています。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>都市の未来                      様々な個性や才能を伸ばす仕組みが設けられ、調和を大切にしているような感想を持ちました。                      才能のある方が惹きつけられるような街になるのではと思いました。                      良い調和により多くのベストプラクティスが生まれ出されていくことを願います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>都市基盤の未来                      人間だけでなく、自然にも優しい都市計画との感想を持ちました。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>財政について                      欧米のコロナ後の経済対策によるインフレやウ露戦争の影響で物価高が続けば、消費税収は上がると思いますので、消費税減税を国に要望していただきたいです。                      公定歩合を上げる余裕もでき、円高になれば、物価も安定し、倒産件数も減るように思います。                      預金利息で高齢者に余裕ができれば、以前のトリクルダウンに戻るように思います。                      思えば消費税の導入や法人税の減税から貧富の格差が広がったように思います。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>全国に比べて水道料金が高いと思います。水道料金の値下げをお願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>水道料金についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>医療費も安心して受けられる様にしてほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>医療費についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>国際的な紛争が発生している状況で、どのように横浜市として世界平和に貢献するかをはっきり宣言することに意味があります。是非、国際平和に関する章を一つ起こしてください。友好都市を増やす、交流する、などこれまで行ってきたことをしっかり意味づけて今後も一貫して行なってほしいところです。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>時系列で行なわれている「市民意識調査」は基本データとして、計画の中でも随所で使われています。今回の調査（令和3年）は、市庁舎が移転して一年後の実施です。今後充実すべき公共サービスでの回答で「身近な住民窓口サービス」を上げたのが、令和2年の15.5%から令和3年は20.7%へと5%強増加しているのは気になります。市民意識を深く分析した結果に基づいて計画に反映させる形が望ましいと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【15P】基本市政ですが、内容を見ると、国の方針を市の方針に置き換えている記述が目立ちます。市は、国の方針の実行部隊ではないと思います。それなりに工夫されているかとは思いますが、計画全体に、官民連携、DX、Park-PFI、共創、CSV、など、国が先立って使っている概念を市も同じように追いかけている感じです。</p> <p>横浜市の行政としてのアイデンティティをまずは示して欲しいと期待します。株式会社横浜市から早く脱却することで新市政が始まります。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>【156P以降】「計画の前提」は最初に置くべきだと思います。その上で、データの分析を精緻に、深く行ない、だから、市行政の方向性はこうだ、という主張してほしいと思います。毎年調査されている市民意識調査のデータも、GTLレベルでの分析表現にとどめず深く読み込むことを期待します。例えば、168Pにある「①市政への要望」ですが、「地球温暖化への対策」に焦点を当てるためなのか、平成28年の調査データと比較する形をとっています。上位10位に入っていなかった項目が令和3年で5位になった、ということでしょう。平成28年のデータは見つけられませんが、平成29年のデータでは13.8%でした。それが、23.9%に上昇ということだと思います。これはこれで結構ですが、「身近な住民窓口サービス」は令和3年で20.7%です。平成29年は10.8%です。市庁舎が移転して一年経った時期の調査で平成29年の倍になった、ということにも注目すべきだと思います。また、169Pにある②「今後の横浜のまち」にある上位2番目の選択肢「豊かな自然がある」も、新たに作り出す自然ではなく、今身近にある自然に期待している、と読み取るのが妥当ではないでしょうか。「新たな緑の創出」に大きな力を注ぐような事業は今ある自然を壊すことを伴う場合は避けるべきだと思います。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>3次元で自動輸送機が行き交う都市 自動走行のモビリティが主流になり、空飛ぶ自動車も出現、日用品の配達運搬車やドローンが活用されて物流は無人化する。 これらを実現するインフラは？ 交通車線、空中規制</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>近視点での問題対応 ロシアや中国を見据えた国防としての他地域協力、シェルター整備（食料等も）</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>近視点でも発展 みなとみらいへのIR相当の構築外国クルーズ船を呼ぶために必須 富裕層向けのIRでギャンブル依存症は増えるか？（現存の競輪競馬とは違う） 海外を参考に警備構築</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>財源が示されることが重要です。 今はそのまま続かない。 停滞はグローバルには衰退となる。世界は進む。 何もせず、今までのことを延々と続けて良くなるのはただの妄想である。 当たり前の文字を並べた個別事案より、全体像を見開き1ページで見せてください。 よろしく。</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>「基本姿勢」について 冒頭の「基本認識」の部分で、「持続可能であることはもちろん、平和や人権の尊重を市政運営の基調としながら、日本・世界をけん引する都市として挑戦を続けることができるように、新たな中期計画を検討していきます。」という内容が、「基本姿勢」のSDGs以下の5項目では、いかされていない。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>石油・ガス等危険物の備蓄設備の点検と防災体制を強化する。</p>	参考	災害時の備蓄についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
教科書採択を横浜市一律ではなく、方面別の教育委員会単位で行う方法に変える。	その他	ご意見として伺います。
<p>「基本姿勢」について</p> <p>横浜市は377万人が暮らす巨大都市です。基本姿勢が掲げる、SDGsや地域コミュニティ強化、DXの推進等において、「住民自治」の観点が欠かせないと考えます。自分たちの地域は自分たちで決める、そう決心できる環境づくりをぜひ、お願いします。</p> <p>その中では、地域の中で相反する意見がぶつかることもあると思います。そのような人々が地域とともに暮らす市民であるという信頼関係を保ちながら、未来のためにオープンに議論する環境づくりを期待します。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>たいしたことではないですが、東京都内のターミナル駅とか東海道新幹線沿いの駅に、横浜の広報を設置したらどうかと思います。</p> <p>市役所が、というよりも、横浜の老舗が東横線の渋谷駅や新幹線の新大阪駅に広告を出す、という感じです。</p>	その他	シティブロモーションについてのご意見として伺います。
<p>全体的として、要求だけでは限られた財源となるので、財源の足し算と引き算も必要となるので、言うのは簡単ですが調整と段階的な対応を希望いたします。</p>	修正	ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。
<p>横浜の漁業についての政策がない。</p> <p>生麦、金沢小柴漁港など貴重な海の資源を育ててほしい。</p> <p>道路、箱物、大型開発はもういらぬ。</p> <p>生活に密着した、農業や漁業、商店街などいねいに育てていく市政を望みます。</p>	その他	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>下記は8月30日記者発表の横浜市中期計画2022～2025(素案)のPDFを見させていただいての意見になります。</p> <p>人口急減</p> <p>50年後、横浜市の人口は約100万人減少します。これから急減していきます。きっと市内でも限界集落地域が多く見られることでしょう。</p> <p>ぜひ市民に危機感を共有すべくスライドや冊子の初めのほうに50年先くらいまでの人口予測カーブを追加してください。</p> <p>高齢者人口と労働人口比率のカーブもあると良いと思います。</p> <p>国が何十年もかけて少子化対策をしていますが結果が出ません。横浜市の子育て支援は賛成ですが成功しても減少カーブはあまり変わらないと思います。そのことも前向きに伝えたいほうが良いと思います。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>税込アップ</p> <p>PDF内のものではインパクトに欠けます。財政破綻もあり得ます。</p> <p>山下ふ頭にアニメのテーマパークをつくり外国人を呼び込むのはどうでしょうか?もちろんテーマパーククラスのクオリティで。客単価2万円以上。アニメーションやゲームのキャラクター、オタク文化などが1日で見れるのでしたら国内外から集客できると思います。</p>	参考	財源確保についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>10月からの医療費2割負担はとてつきついです。横浜市中で負担を軽減できる制度をぜひお願いします。</p>	参考	医療費の負担割合についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>最低賃金の引き上げを</p>	その他	最低賃金の引き上げについてのご意見として伺います。
<p>公園や道路の雑草がコロナ禍でひどくなっているので刈り取ってほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>I 中期計画の特徴、1.計画策定にあたっての基本認識（p3）について「我が国最大の人口を抱える基礎自治体として、これまで発展を続けてきた本市も、…」と記述しているが、「発展を続けてきた」と一言で表現することは事実を述べていない。</p> <p>市民にとってはほとんど必要性を感じない市民排除型新市庁舎建設、市民の声を無視した強引なIR政策推進した。また間違いや不適切な記述が多く全国的にも批判のあった「つくる会系教科書」を多くの市民の反対にも拘わらず10年余に渡って中学校生徒に押し付けてきた。これらは、市税の浪費や不正常的な市政運営による市政の停滞・後退、教員や児童・生徒への負担押し付け教育行政であった。これらはとても発展とはいえず、現在や将来の市民への負担の押し付けにもなっている。上記のような市政についても率直に記述すべきであり、記述の再考を求める。</p> <p>「今後いよいよ人口減少局面を迎え、…。これに伴い、社会のあらゆる分野で担い手が不足することによる、…市内経済の活力低下、市税収入の減少・社会保障経費の増加、都市インフラの老朽化の進行などに伴う、市民サービスの維持等の課題が見込まれます。」と記述しているが、このような状況は今に始まったことではない。それにもかかわらず、前述のように市税の浪費を続けてきた反省はどこに消えてしまったのか。</p> <p>「…統計データ等から将来を想定し、そこから見える課題を先取りして…」などの記述を改め、これまでの行政運営の見直しと問題点抽出と解決すべき課題のリストアップが必要である。</p> <p>「持続可能であることはもちろん、平和や人権の尊重を市政運営の基調としながら、日本・世界をけん引する都市として挑戦をし続けることができるように、中期計画を検討していきます。」と記述しているが、「日本・世界をけん引する都市」とは具体的な意味が不明であり、必要ない。各都市や地域が自主性をもって発展していくことを、必要な時に支援できればいいと思う、その目標となればいい。</p> <p>“平和と人権の尊重”ということであれば、まさに日本国憲法に沿った市政運営であり、歓迎する。そのような“人々の共通の原則”を市政運営の基調とし、“住民自治に基づく市民参加を最重要視するとともに、文化・芸術の振興や市民の健康を大切に、国内外の都市や地域と平和的に共存共栄できるような都市”こそが、日本と世界の諸都市・地域のフォアランナーとなるのではないか。そのようなフォアランナーを目標として、中期計画を検討して欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>たった半年の開催のために、桜並木などともからある自然を破壊するこの2027横浜国際園芸博覧会に、「一過性のイベントにとどまらず、そのレガシーとして」と唱えることに無理があるように思える。(ページ185 06 日本・世界をリードするグリーンシティ)</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策5「郊外部における新たな活性化拠点の形成」及び主な施策6「国際園芸博覧会の開催に向けた取組の推進」についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>国際平和施策に「平和博物館の設置」を山下町地区に入れてほしい。</p>	<p>その他</p>	<p>平和施策についてのご意見として伺います。</p>
<p>平和→「市政運営の基調」としているのは良い。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。</p>
<p>政策の「タイトル」には「国際平和都市」としてください。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、受け止めさせていただきます。</p>
<p>横浜に「国際平和博物館」をみなとみらい～山下町へ設置してください。</p>	<p>その他</p>	<p>平和施策についてのご意見として伺います。</p>
<p>核兵器禁止条約の署名批准を日本政府や核保有国に働きかけ、核廃絶を実現するために、横浜市が貢献すること。市長の出番です。</p>	<p>その他</p>	<p>平和施策についてのご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>&lt;pp187-193計画期間中の財政見通しと収支不足への対応&gt;                      少子高齢化社会の訪れと共に、税収は(増税しないかぎり)頭打ちとなり、一方では必要経費は増大する一方になる。P189表「計画期間中の財政見通し」を見ると人件費見込みは減っていない(増える可能性すらある)。市民サービスの現場を担っている部署(いわばエッセンシャルワーク)をアウトソーシングして見かけ上の人件費削減を行う手法は早晚限界が来ます。                      直接的な市民サービス(学校関係・病院・図書館・など)は減らさずに人件費を削減するとすると、残るところは市役所(区役所)本体に勤める行政職員の人件費の削減が必要になる。事務の効率化・組織の見直し・プルシットジョブの洗い出し・プルシットジョブに従事する職員の削減(該当職員の職場転換)、残業(費)の削減等、市役所(区役所)の行政事務職員の生産性の向上施策を強力に推し進めて欲しい。</p>	<p>参考</p>	<p>行政運営 1-(1)「時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進」に記載のとおり、今後も必要な施策を確実に推進するための体制強化を行う必要がある中でも、DX・公民連携、全体最適の視点により、全事業の見直しを実施するとともに、最適な行政サービス提供主体の検討を行い、総人件費の抑制を図っていきます。ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>医療費の負担軽減を配慮してほしいです。</p>	<p>参考</p>	<p>医療費の負担軽減についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>新市庁舎や環境破壊にも繋がるスタジアムやイベントなどの開発には大盤振る舞いし、旧市庁舎は格安でお友達企業に払い下げ。横浜市は一部の民間企業、政治家、官僚の為の草刈り場となっている。                      ケアワーカーの質、量を他の自治体と比べてみるといい。                      図書館一つあたりの住民の数も比べてみるといい。                      学校給食の現状を他の自治体と比べてみるといい。                      キラキラしたみなとみらい、賑わう中華街、異国情緒溢れるデートスポット。そんなイメージなどもはやどうでも良い。税金で食わせてもらっている者にはわからないだろうが、内側から支える市民は疲弊きまっている。外側だけ取り繕ったハリボテ都市を目指しているのか？                      誰のための、何のための税金かを考えてくれ。                      刹那的な使い方、一部の企業、人間の為だけに使ってることに我々は気づいている。</p>	<p>その他</p>	<p>市政運営に関するご意見として伺います。</p>
<p>『広報よこはま』(同時に配布頂いている『県のたより』もですが)、毎月、有難く拝見しております。                      毎月通常号の紙媒体の広報は、区役所や駅に限定し、デジタルでの配信を中心に、広報配布謝礼金を廃止したらいかがでしょうか。                      町内会には、別途、地域活動推進費等、補助金が投入されており、謝礼金は別の財源として活用して頂きたいと思っております。                      尚、特別号の新聞折り込みは、目に留まりやすく、これからもお願い申し上げます。</p>	<p>参考</p>	<p>市広報についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について                      これは行政の長である山中現市長の情報発信力のなさ(もしかしたら、議員職や行政職に問題があるのかも)につきますと思われる。                      1期のみでも市長在任経歴が欲しいのならともかく、複数期在任される覚悟があるならもっと積極的であっていただきたいと思えます。</p>	<p>その他</p>	<p>情報発信についてのご意見として伺います。</p>
<p>現山中市長の掲げていた政策のうち、財政政策が非常に不明朗に感じます。まさにお役所やコンサルタントが概念的に作成する文面。                      特にIR特区(カジノ)構想の撤回は、港湾関係者の意見が比較的正論のように感じますが、結局のところ前林市長との政治的決着にすぎず、山中市長の横浜市財政に対する明確な全体構想が見えてきません。これが中期計画に於ける最大の不満事項。                      小生の周囲では、相対的に高額な市民税を支払っている方々(小生は傷病のため、現在休職中)の中にも同様の意見を述べられる方も一定数いらっしゃいます。ただ、その方々も徐々に仕事を引退されていることから、みなとみらい地区への企業誘致以外にも、コロナ禍等で落ち込んでいる税収回復の道筋をきちんと議論、方向付けしていただきたいと思えます。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ施設を断念したことは、市長に感謝します。 その他の、財政もコロナ禍で苦しんでいる、市民のために活用することを切に願います。</p>	その他	<p>市政運営についてのご意見として伺います。</p>
<p>朝夕の通学中の放課後の子供たちを守るために、不審者等を排除する政策や交通事故撲滅のために、危険な道には定期的に警察官の配備を御願ひしたいです。</p>	参考	<p>警察に関する事項は中期計画の枠組みには該当しませんが、ご意見につきましては、地域の見守りや通学路の安全対策などの取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>・素案の冊子が配布されておらず、ダウンロードしなければ見られなかった。不便で、ネット環境のない人たちのことを考えると不公平で、行政手続き上、非民主的であるという意見を持つ。 ・山中市長は政策立案の中核となるブレイン集団を早期に組織すべきであると考え。中期計画などがより一貫性のあるものとなり、説得力を増すと思う。 ・また、中期計画など市政の根幹に関わる政策決定のプロセスにあっては、今回のようなパブリックコメントの募集のほか、タウンミーティングの開催など、市民との対話に開かれた場面設定が望まれる。</p>	参考	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>あったかいごはんを一緒にたべられる様にして下さい</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>御誌の2040年頃になりたい姿の6項目中上段右には多種多様な人の才能、その人らしい可能性を開く都市 私は横浜生まれ横浜育ちです。子どもの頃は横浜公園や山下公園が遊び場でした。長じて観光都市と言われるこの町の見世物が港と公園、氷川丸にマリナタワーだけではと考えると違ふかと思いました。 自分の夢でも有り、多くの方に配る夢を考えた時「赤い靴」に出会いました。像を建てるまでに5年くらいかかりましたが、これは行政の反対でした。当時市民の考えたことはNOの時代であったのです。しかし、一般市民の後援の声が高くなってOKが出ました。参加市民は実に4929名でした。像が出来てから40年を越えませんが今まで山下公園を訪れた方がその間に1億8千万人になることがわかりました。話半分にしても9千万人になります。像を建ててから私たちは参加して頂いた大勢の方のご希望で文化活動を始めました。「ジュニア&amp;シニアコーラスコーラス『男声合唱団』ジュニア&amp;一般のミュージカル」や『各種ダンス』を始めまして35年になります。その間自分の才能をこの場で生かし、現在オペラ歌手、宝塚で多くの出身者が活躍し15,000人の応募者で過去トップが3人を輩出し、主宰者を驚かせてもおります。横浜市民ミュージカルは20公演を越え、専門家も驚いております。私はあらゆる文化、演劇が横浜の多くの子ども達の才能によってあの子どもも横浜出身と言わせたいのです。今、コロナ禍でレッスンがしにくく、公演もままならないのですが、必死にこれを越えようと頑張っていますし、横浜の子ども達の才能に賭けているのです。事業団は2000年に横浜市民文化賞、文化藝術奨励賞受賞。私は5年前横浜文化賞、今年度は101歳のコーラスの生徒が賞します。</p>	その他	<p>ご意見の趣旨につきましては、II「共に目指す都市像」に関するものとして伺います。</p>
<p>明治以来いろいろコロナハジメをしてきた横浜からSDGsに向けた政策を期待しています。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>原子力発電について 地震多い日本は原子爆発が発生すれば復興が難しくなります。 江戸時代の富士山の爆発、自然災害のみだから復興できたと思います。</p>	参考	<p>都市災害についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>パブリックコメントや市民からの提案で意見を出しても、都合のいいように解釈して回答したり、そもそも意見を聞かずに「予定通り進めます」というような回答をするのをやめてください。 パブリックコメントや市民からの提案は「市民から意見を聞いた」というアリバイ作りだけのようには見えません。</p>	参考	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>PCやスマホを使用していると体調が悪くなります。ですので最近の世の中は「スマホをご覧ください」「ググってください」「素案の詳細はホームページをご覧ください」などPCを使いこなせないと大変格差社会を経験してしまいます。すべての横浜市民にとって心地よい暮らしを届けてほしいです。PC、スマホが使えない人に向けてもう少し手を差し伸べてほしい。もう一步親切であって下さい。よろしく申し上げます。</p>	参考	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P5の冒頭1 中期計画の特徴 現在と未来の～追求できるスキームへ の「スキーム」は日本語でわかりやすいほうが良いと思います</p>	参考	<p>分かりやすい表現についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>現在の各種物価値上攻勢に対処するため現政権、横浜山中市長の頑張りで消費税5%に減税する様、よろしくお願い致します。 高齢者や障害者、本当に暮らしていくのが大変です。 何の心配もなく老後を毎日暮らせる様な市政を心から願います。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>本当に生命にかかわる社会保障の充実を切に願います。 かなりの諸物価の値上、年金生活者だけではないです。人、皆大変な中、生活しています。 消し税5%の減税が必要と思われます。 安心して暮らせる横浜に山中市長頑張ってください。私達も頑張ります（介護他）</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>高齢化対策に力を入れていた為、子育て世代にお金回っていなかった。是非これからは次世代の日本のために横浜市が子育て世代に力を入れて欲しい。 そして若い人の意見を聞く政治になって欲しい。 市長と子育て世代とのタウンミーティングを月一で何処かで行って欲しい。横浜市を変えましょう。 子育て世代が増えている市にして欲しい。</p>	参考	<p>計画の広報・広聴についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>本提案の検討には今後2-3年の時間を掛け、各界の有識者、専門家による内容の検討、実施計画の立案、関係する国及び県の部署との折衝が急務であると思われます。</p>	参考	<p>計画の策定プロセスについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>医療費の窓口負担の軽減や・無料低減診療を市長在任中に是非実行できるような計画案に盛りこんで下さい。 今後ますますの高齢化社会になるのが目に見えている今、必須事項だと思いますので、是非是非お願いします。</p>	参考	<p>医療費の負担軽減についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>75歳以上の医療費の2割負担は止めて下さい。困ってる人が多く居ます。 介護の負担増は止めて家族の負担も軽減してください。せめて現行の1割にして下さい。</p>	参考	<p>後期高齢者医療制度及び介護保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>73p「観光・MICEの振興」に関して。 「横浜にカジノは作りません」宣言をしてください、山中市長。また、「カジノ禁止条例」を作ってください。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>近郊農地と兼ねている生活道路の整備のため、調査点検を。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「行政運営の基本方針」には、「財政ビジョン」で掲げた「必要な施策の推進と財政の健全性の維持」を実現していくためには、政策の優先順位付けも必須です。そのため、「基本戦略」への貢献度が強い策を優先して実行していくこと、「行政運営の基本方針」を踏まえた行政サービスの最適化（事業手法の創造・転換）をセットで進め、将来の横浜市民を支える財源もしっかり確保していきます。」と書かれ、さらに、「予算編成の中で、最も施策の達成に効果的な事業を議論し追求」とも書かれています。</p> <p>懸念されるのは、成果達成に囚われるばかりに近視眼的な予算編成が為されてしまうのではないかという点ですが、そうならない保証をどう取り付けるか。戦略上の優劣が明確に示されてはいないと受け取りましたが、如何でしょうか。</p>	修正	ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。
<p>その他</p> <p>パブリックコメント実施の方法について</p> <p>市民の意見や提案を求めると言いながら、詳細については、ホームページで見たり、区役所で閲覧するなりせよでは、市民と共に市政を進めるとい姿勢からは程遠いです。</p> <p>「素案」に盛り込むべき内容を欲張り過ぎたために、冊子の枚数が多くなり、紙媒体で供給できなくなったというのなら、せめて概要版でよいから、紙媒体で供給すべきでした。今後の反省材料として下さい。</p> <p>118頁以降は、分冊にすることもできたのではないのでしょうか。工夫が必要です。</p>	参考	パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>・国内外から選ばれる都市間競争について</p> <p>今回の素案は「基本的方向」に比べ横浜市がより積極的に外部から人を呼び込もうとしていることが見て取れた。</p> <p>横浜が国内外から旅行者等呼び込むにあたり、安心して街の中を回遊できることが重要であるが、何より直感的にわかりやすいのが路面軌道である。これにより言葉がわからずとも街の骨格を捉えることが出来、軌道から大きく外れなければ安心して街を歩くことが出来る。いざとなればトラムに乗り中心に戻ることが出来るからだ。言葉も通じない知らない街に夜、降り立った時のことを想像してみたい。ホテルまで複雑なバス路線を安心して利用できるだろうか。そして、帰りはどうか？バスは通り過ぎればただの道路に過ぎず、見知らぬ街で旅行者は途方に暮れてしまうだろう。世界中でLRTの普及が進む中、これがなくて果して世界相手の都市間競争で勝負になるだろうか？横浜の街はわかりづらく、回遊しづらい。トラムは街のシンボルにもなりうる存在である。逆にバスでまちづくりに成功した都市を、私はほとんど知らない。</p> <p>以前林市長の頃にLRTを検討したことがあるが、結局連節バスに化けてしまった。オリンピック後に継続検討のはずだったが、どうなったのか？カジノを睨んでの検討だったのかもしれないが、カジノがなくとも横浜ほどの街にはLRTが必要なのではないだろうか？そして当然の如く、交通機関ごとに初乗り運賃を払うようでは世界から馬鹿にされてしまうので、ゾーン運賃の導入など、もっと世界の常識に目を向けてもらいたいものである。独立採算の是非も然りである。</p> <p>「基本的方向」に比べて公共交通関連の記述が充実したのは評価するが、いま一步踏み込んであるべき交通機関の姿を描き出して欲しい。</p> <p>警察に負けるな！</p>	参考	計画を踏まえた、回遊性の向上に向けた取組についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>「基本姿勢」について</p> <p>4つの視点が示されているが、相互の関係が希薄である。以下のようなつながりなのかと推察するが、明示が必須であろう。『基本戦略を展開する土台として「地域コミュニティ」が重要と考えており、この土台の上に協働・共創が成り立つのだろうが、そのための実践支援としてDXやデータ活用を幅広く考えていく。これを継続して回すためには脱炭素を抑えておかななくてはならない。』</p> <p>また、説明が一方向的であり、それぞれの視点を考えた時の解決課題がどこにあると捉えているかも併せてしめさないと絵に描いた餅になってしまう。</p> <p>さらに、この「姿勢」が、「基本戦略」と「個別戦略」との間に挟まっているのも浮いた感じを受ける。内容等をさらに吟味して、前後のストーリーを見直し、挿入箇所を変更した方が良いのではないかと。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
「基本姿勢」について 基本姿勢に共感します。是非とも実行して欲しいです。	包含・賛同	ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
横浜市は平和都市宣言都市です。しかしMM21の直近には米軍のノースドックがあり開発を妨げています。鶴見区には米軍の鶴見貯油施設があります。横浜市から米軍基地を撤去することを方針に掲げて下さい。	その他	ご意見の趣旨につきましては、本市の基地対策に関する取組へのご意見として伺います。
横浜市に核兵器はいりません。神戸港方式と言われていますが、入港する全ての船舶に核兵器を搭載していないことを宣言させるシステムを取り入れてください。	その他	本市に入港する船舶についてのご意見として受け止めます。
旧統一協会と政治の関係が大問題になっています。被害者の救済相談窓口設置と横浜市会議員の関与を明らかにし、今後は宗教と政治の在り方を憲法に則って厳格に運営することを明記すべきだと思います。	その他	ご意見として伺います。
<p>①先週、市民プラザに会議室の利用しようと思ったが、借りる手続きが煩雑で制限があった。会議当日、資料と資料代の請求は、当館以外でやること。これも条例で決まっており、当該職員ではどうしようもないとのこと。当館の2020年の赤字が年間20万円とのこと。利用を制限して赤字では、市民の利便性を考えて赤字ならいいですが、利用を制限して赤字とは、民間ならば考えられない。現在を改善して将来に備えろと言いたい。市全体ではいくらか。</p> <p>②マイナンバーカードの更新に行きました。取得には国からの補助があるとのことですが、通常業務とは別室で、職員が4～5名いた。この人たちの人件費は、どこから出するのか。当然、市の出費です。5名として、概算日当25000円×5＝125000円である。</p> <p>250日では3125万円/年間の無駄です。港南区だけです。全市ではいくらか。通常業務となぜ平行して行わないのか。人件費の無駄使いです。戸籍課の人件費と部屋代がわからないとの職員の説明です。個人自営業の私は、当然コストを考えております。</p> <p>③今年5月に市民税・県民税計算処理結果を貰いに行った。担当職員は、20分を掛けて書類を持ってきた。職員に聞けば、上司と打ち合わせて正確かどうか確認した。市民税課の入所4年目の職員が窓口で説明できないほど複雑で市民に払わせるのか。また、市民税・県民税税額決定納税通知書の改善がない。通知書自体に、A4の紙にして納税の計算式も出して通知する。提案は15年しているが改善がない。通知書のコストも職員にはわからない。A4の紙とどちらがやすいか。明確である。税の総額の計算式の記載がない。毎年行かないといけない。市民税課の人件費と部屋代がわからないとの職員の説明です。個人自営業の私は、当然コストを考えております。</p> <p>④水道料金の値上げの説明に半年もやり取りしたが、コスト意識がない。川崎の3倍の使用量で県からの購入金額が同じと判明した。3倍の使用料で価格が同じでは、水道料金を値上げする。川崎は値上げなし。ダム建設費は、川崎の3倍払っている。コストを市民に負担しているだけ。コスト意識がない。</p> <p>以上 まだあるが、日ごろの改善もできないのに2040年の横浜の未来を一緒に考えませんか。民間では考えられないです。</p>	その他	ご意見として伺います。
高齢者に安心して医療にかかれるよう無料低額診療の拡充を！	参考	医療費の負担軽減についてのご意見として、参考にさせていただきます。
核兵器廃絶宣言を出していただきたい。又、軍事力の強化をしない国を自治体として求め、その理念を示して下さい。	その他	ご意見として伺います。
国民年金減らさないで下さい。	その他	公的年金につきましては、国の施策として検討されるものと考えています。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
医療費年金の負担を少なくしてほしい	参考	医療費についてのご意見として、参考にさせていただきます。公的年金につきましては、国の施策として検討されるものと考えています。
お金がないなら大型開発はとめて。まず住民が住みごちの良いのに努力してほしい。(住めば都と言いますが昔の話です！)	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
大型開発は止めて。	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
独身の若い人達に向けての援助として家賃補助などの支援策、非正規～正規に対する対策など打ち出して欲しい。	参考	ご意見につきましては、若年層の生活の安定に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。
憲法の内容を生かす行動をして下さい	その他	ご意見として伺います。
道路の舗装を進めてください。	参考	道路舗装についてのご意見として、参考にさせていただきます。
P189お金がないなら大型開発はやめて	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
大型開発はとめてその費用は障害者補助に使って欲しい	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
上瀬谷再開発や三ツ池公園の改修等、大型開発がお金がない、ない、と言いながら次々に出て来るのはどういう事か？税金は市民の生活や子育て（教育費、給食費の無償化等）優先にして欲しい。	参考	まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>&lt;国際園芸博覧会等に税金を使うことの意義を問う:反対&gt;                      地球における社会永続は“生命”あつてのことである。生物生命を犠牲するのがあらゆる戦争である。故、あらゆる戦争をなくすこと治政者の第一優先目的でなければならないこと、税もそのために優先的に使われるべきである。国・民族間の争いは外交という話し合いで、細菌との戦いは国をあげてのあらゆる手だてでというように。</p> <p>ところで、コロナ蔓延(まんえん)のもと菅(元)首相の田園都市化推進が提出されたのである。</p> <p>しかるに田園都市化は戦争のない平和な社会の存在が前提となる。                      (反対の理由)①園芸(花づくり)によっては戦争はなくなる。                      ②園芸(花づくり)は花好きの特定の人々が目指すものであって趣味の表現である。</p> <p>不特定多数の人々による不特定多数の人々のためのものではない。(各種スポーツ・ファッション、茶道・習字・クッキング(食糧(キガ)確保でない)のように。趣味に種を使うのは論外である。(各種スポーツ大会のように開催は趣味仲間による資金集め(参加電等)が基本ではないか)                      但し、市民公園をつくるためのインフラのみならば理解できる</p> <p>③現政権は軍事倍増等抑止と称して軍事国家への道を第一国策としている故、平和を構築することに、程使用優先権がある。同様、国芸(趣味)文化政策に不使用優先権はない。</p> <p>④生命をかけて国民を守る消防・ケイサツ官・自衛隊員等(公務員=税の給与)国防団体構成員の生命も当然守られなければならない。趣味開催の人集めに上記のような団体を利用することの是非も問われるべきではないか。むしろ消防所の“AED”不足等に市民はそれのみためにも支援すべきであろう。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>「基本姿勢」について                      全体としてイメージを述べていることはよくわかるが、9本の柱に重なっている部分での矛盾を感じる。                      HPで198ページ読み込みは難しく、じっくりと検討できる環境をもてなかった。                      全戸配布された特別号での概略をもとに考察したが、あくまでイメージにとどまり、実施されることは今までと変わらないのではないかの感を強くした。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>1 中期計画の特徴4 .財政ビジョン・行政運営の基本方針との関係について特徴2の財政ビジョンおよび行政運営の基本方針を踏まえ計画で予算を固定せず効果的な事業を徹底的に追求。の「予算を固定せず」とは放漫財政や借金財政を助長する言葉に思えてならない。計画には、必ず予算を設けるはずで、それを修正するのは、正当の理由があれば何回もできるものだと思う。言葉を変えるべき。</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について DXやデータ活用による政策形成は、より厳しさを増す財政状況を顧みても、今後の社会課題や地域課題を解決していくうえで、欠かすことのできない視点であると考えます。また、公民連携とオープンイノベーションはあらゆる分野で展開していく姿勢が必要であると考えます。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のIV「基本姿勢」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>「基本姿勢」について 基本姿勢と言う項目自体に必要性を感じない。戦略と戦術（政策）があれば十分。中身も戦略との重複感も強い</p>	参考	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>友人が個人でカウンセリングをしています。御本人がアレルギー体質のためコロナのワクチン接種が出来ません。 そのため、対面でのカウンセリングが出来ず、コロナ流行以来、収入が途絶えています。 個人事業者向けの融資は、結局借金であり、今、その返納どころか生活費もままならない状態です。 ただ僅かに非課税にはならないので、あらゆる給付対象から溢れる落ちてしまっています。 こんな状態の方は沢山います。 市が救済して下さらないとどうにもなりません。 ハコモノ作りに夢中にならず、足元の市民の暮らしを見て下さい。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>ハコモノではなく、市民が生活しやすい街にすることで、人口が増え、税金も増えます。 魅力ある街は市民の暮らしやすい街です。 地道にコツコツの市政であって欲しいです。</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>中期計画の戦略や政策には素晴らしい内容が記載されていますが、それが横浜市が進めようとしている施策と合致していません。戦略・政策と具体的な施策を合致させて下さい。 例えば、中期計画では、戦略7として「花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現」を挙げておりますが、三ツ沢公園の緑地をつぶして、もう一つのサッカー場を増設する計画があると聞きました。中期計画と実際の計画が合致しておりません。整合性をとるようにして下さい（戦略7は非常に重要な戦略ですので、戦略に合致した施策に変更して下さい）。 また、政策8に「スポーツ環境の充実」を挙げていますが、横浜国際プールを取り壊す計画があるとの話を聞いております。実際の計画と中計の政策に矛盾があります。中計の政策に合致した施策にして頂きたいと思います（スポーツの環境整備は身体や精神の健康維持増進の上で非常に重要だと思っております）。 中期計画の色々な政策が記載されており、一部は具体的な施策ができていますが、多くの政策はそれを実現するための施策に落とし込んでいません。もう少し、具体的な施策を明確にして下さい（もしできていないなら、早急に策定して下さい）。 例えば、戦略4で「未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現」を挙げていますが、具体的な施策があいまいになっています。より具体的な施策を記載して下さい（例えば、スタートアップ育成・誘致に向けた事務所スペースや事務機能の提供等）。</p>	参考	<p>計画を踏まえた、政策の推進についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>以前は市民への詳細な説明と意見収集は大変だったかもしれませんが、今は技術が進歩していますので、①リモート説明会を開催し意見収集することや②YouTube等での説明及び意見収集も簡単にできると思います。なお、リアルでの「住民説明会」開催でももちろん問題ありません。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の広報・広聴についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について SDGsの実現は国際都市を目指す観点からも不可欠と思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のIV「基本姿勢」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>野庭団地建替問題以前の修繕対応について、ドアの破損がひどく住民として直してほしい。ドアを開閉するたびに手がけがしていないか心配と子供さん、老人世帯から要望がでています。</p>	<p>参考</p>	<p>野庭団地の再生を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について 脱炭素社会実現の視点について 省エネ住宅の助成など、具体的な施策をお願いします</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「脱炭素社会の推進」に含まれていると考えております。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>平和に関しては憲法の擁護を明確に打ち出すべき。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>財源については、コンクリートから人へで大規模開発を見直し、捻出すべき。</p>	<p>参考</p>	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>女性、外国人、障害者、高齢者などを、横浜市では逆に積極的に優遇し、活用することを市の目標の一つとします。 それを広報することで、他都市からの横浜市への移住を促進していきます。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>14ページ基本姿勢 DXの推進とデータ活用・オープンイノベーションの推進の視点 デジタル化の推進をする際に課題となるのは、個人情報保護です。利便性の拡大の一方で、今まで自治体として多くの個人情報を取り扱い、個人情報保護条例を作り、その乱用を防ぎ、個人情報保護に最大限の配慮をしてきました。しかし、今後自治体から離れて国の機関に集積され、その活用についても企業も含め拡大される可能性があります。ヨーロッパでは個人情報へのアクセス権を市民に与えてその使用、削除等の権利を保障しています。個人情報は各個人のものである点を明確にして、同様の権利を保障するなどの対策が必要です。 また、デジタル化によって、各自治体の行政の方法が一元化＝標準化され、個々の状況に応じた対応が阻害される可能性があります。私は機械的な一元化には反対です。利便性で大切な個人情報にかかわる権利を放棄させられたり、市民や自治体ごとの特殊性、具体的状況に対応しなかったりする標準化には反対です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、IV「基本姿勢」の「DXの推進とデータ活用・オープンイノベーションの推進の視点」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について SDGsの実現の視点ということで若い世代にはわかりやすいと思います。特にあまり目立っていませんが脱炭素社会実現の視点は横浜は他の地域より努力されていると思うのもっとアピールしても良いと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>農業と再生可能エネルギーは地域産業の柱になると思います。 営農型太陽光発電を横浜市にも増やしてほしいです</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策18「脱炭素社会の推進」の主な施策2「再生可能エネルギー導入の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本姿勢」について 16ページ地域コミュニティ強化の視点 地域コミュニティ強化は進めてほしいですが、地域コミュニティのみでは限界があります。地域コミュニティにまかせて終わりにならないように、横浜市として主体的に地域の課題に取り組んでください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策8「スポーツ環境の充実」の政策目標、素案の政策9「地域コミュニティの活性化」、素案の政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策4「商店街の活性化」、素案の政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策2「多様な主体と連携した持続可能な郊外住宅地再生の推進」、素案の戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』及び素案の戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』に記載しており、素案に含まれていると考えております。</p>
<p>横浜市は花博やカジノIR誘致などのイベント関連にお金を多く使うイメージがあるので、医療や福祉に関わる財源が不安です。対応してください。</p>	<p>参考</p>	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>3ページ計画策定にあたっての基本認識 「平和や人権の尊重を市政運営の基調」は必須です。 市の職員、市の議員に平和や人権の尊重について知る機会を作りながら、市政運営をしてください。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご賛同ありがとうございます。ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>地域コミュニティの活性化について 自治会町内会は、変革への抵抗、年功序列、無償奉仕などで担い手が減少しており限界があります。 地域支援を担うNPOなどの活用など、今後の地域コミュニティの受け皿として、自治会町内会の在り方にも変革が必要です。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、政策9「地域コミュニティの活性化」に関するものとして、今後の計画推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「基本姿勢」について 共創については大いに疑問 やたらと企業と提携しているが、本当に市民にとって意味があるか疑問である。共創フロント事業で提携したベガスという実績もなく、疑問と不安しかない。 市の財源を充てにした中身はないのに提携企業の言い値で買われる物資が多いのではないか。 提携企業はどのような経緯で選ばれ、どのような条件で契約したのか、開示請求をかけなくても市民にすぐわかるように公開することを求める。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IV「基本姿勢」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策23 市内大学と連携した人材育成について 横浜の産業やごとの魅力を紹介とあるが、市内企業とのインターンシップのマッチングも含め、政策20で一連の事業をすべき。縦割り行政のあらわれであり、同じような事業であり、違和感がある。 政策24の2、政策25の4も関連している。 バラバラにやっても効果を発揮しないのでは。 主管局が複数に渡るとは明らか。 この点も違和感があり、再考すべき。</p>	<p>その他</p>	<p>今後の市政運営についてのご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「基本姿勢について」 SDGsの実現の視点SDGsの17の目標は、世界の都市に共通した普遍的な課題～ これは、具体的にどういう目標なのか、それを書くべき。本当に持続可能な開発の為には世界の中でも温暖化がN.Y.の倍近くになっている東京、横浜。これ以上横浜の緑環境をコンクリ化すればSDGsなどの言葉を使うべきではない。 上瀬谷のテーマパーク構想・三ツ沢新スタジアム構想などんでもない。今からでも軌道修正し、自然環境を大事にした方向に変えるべき。 今だけ、金だけ、自分だけ（職員、政治家、利権企業）の為の戦略で市民の税金や借金を増やすなら市民の心も人口も離れていく。 許されざる行為を平気でやり、メディアに口封じしてもそのうち露見するか、手痛いしっぺ返しを喰うだろう。 地域コミュニティ強化の視点 地域コミュニティ強化というが、民生委員の責任が大きいにもかかわらずおんぶに抱っこで殆ど無報酬。 これでは担い手など増えぬ。強化の視点の説明も曖昧で具体的な踏み込みが見られず、やる気が見えぬ。 民生委員にある程度の報酬を支払うべき。それだけの働きをしているではないか。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IV「基本姿勢」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>はじめに 新自由主義からの脱却の方法論はいくつか存在すると思いますが、私は「事業規模から規制」を、区画間設計として算出する「事業体を県単位に規制する」案を提案します。横浜市の法整備としては、これを応用した案を願います。この商業体系の実例はイタリアにあります。イタリアの商業体はいまでもチェーン店がほとんど存在されていない（※資料1）FIPE(Federazione Italiana Pubblici Esercizi、イタリア公共飲食店舗連盟)が2011年3月に発表した「イタリアにおける飲食物報告書」による2009年時点、飲食業チェーン店の売上シェアは国の飲食業全体の5パーセント程度にすぎない)ほとんどが家族経営など小売り自営業が主で、商業体に対して地域ごとに介入する法制度（※資料2）があるようです。記述されている方が自由化推進派のようなのですが、法整備の経過を見ると、自由化をおそるおそる進めてみるけど、でもどこか歩みの遅い、イタリアの面白いところかなと感じます。後でスローフードから反グローバル運動にまで発展したイタリアの経緯も記述しますが、商業体の文化としての概念を感じます。 グローバルチェーンは地域文化は造れない。横浜はなぜかグローバルチェーンが、まるで横浜文化であるかのような存在に増しているように見える。本当の文化はその裏通りにひっそりとたたずむ小売り商店なのに…。地域それぞれに風合いを与えている、特有文化の「陽のあたる場所」であったことを説明したいと思います。 資料1、2 FIPE(Federazione Italiana Pubblici Esercizi、イタリア公共飲食店舗連盟)「イタリアにおける飲食物報告書」 ※資料1 「イタリアにおける飲食物報告書」P12より抜粋 市場シェア（地場企業、外資(日系含む) (1) 外食チェーンの動向 シェアは全飲食業市場の5%前後と推定 上述したようにイタリアの飲食店は家族経営の小規模経営が多数を占めており、いわゆる「外食産業」と呼べるチェーン展開を行っている企業は少なく、業界推定では20社ほどの企業（チェーン）が存在し、それら外食企業の売上シェアは飲食業売り上げ全体の5%程度とされている。主要外食チェーンのうち外資企業は実質的にファーストフードチェーン社1社であり、その他はすべてイタリア資本である。外食チェーンの市場未発達背景としては、1) 文化的・社会的側面としては、地元の伝統料理に対する強い絆が、チェーンレストランの発達を妨げ、特にファーストフードチェーン会社のファーストフード店には住民の反対運動も強かつ</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>たこと。2) 後述するようにイタリアでは飲食店の新規開店は、「定数制」「認可制」の時代が続き、現在でも認可制のため多数の店舗を同時に開店することが実質的に極めて難しく、外食企業にとりスケールメリットを享受するのが難しかったことが指摘される。そのため、イタリア企業のチェーン展開は、飲食チェーンに代表されるように、市町村による認可制の枠の外にある、高速道路サービスエリア、鉄道駅、空港、列車内のサービスなど「営業権入札制」エリアで発展をみるという特異な経由をたどった。</p> <p>※資料2                  (※2) イタリアにおける小売商業政策の特色「イタリアにおける飲食物報告書」P7より抜粋                  1971年制定の法律第426号が近代化を妨げる                  イタリアの小売業は従来、都市型の伝統的な商業に根付いており、独立した個人商店の小規模店舗の形態で実現されてきた。1970年代初めから、大型食品スーパーを代表とする近代的流通店舗の最初の形態が導入されたが、こうした事態に対し、乱開発を避け、ゆっくりとした近代化をはかる政策（新規導入を制御することで、過剰な新規進出を避ける）という政策がとられたのである。すなわち、1971年6月1日制定の法律第426条は、急速な自由化による社会的・経済的影響を避け、「商業システムのより合理的な進展を支援する」という意図で制定されたものの、実際には、「市場を固定させ、伝統型を強化するだけで、新規の近代型店舗の進展を阻害、阻止する」</p>		
<p>P163の「01誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ」について                  私は30代の兼業主婦です。子育てのため、親族の住む横浜の田園都市線沿いに都内から引っ越してきました。                  未来の兆しの中にも書かれていますが、「ゆるやかなつきあいを好む人が増えている」と記載されている通り、私も含めて都心から引っ越してくる人は密な地域コミュニティでの関わりが苦手な方もいらっしゃるかと思います。（都心で賃貸暮らしだったら特に）                  また、仕事が忙しく、子どもの用事もあるため、定期的な行事の参加は難しいこともあります。                  初めての方が参加しやすく、かつ時間が空いてもまた参加しやすいようなコミュニティもあると良いなと思います。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策8「スポーツ環境の充実」の政策目標、素案の政策9「地域コミュニティの活性化」、素案の政策20「中小・小規模事業者の経営基盤強化」の主な施策4「商店街の活性化」、素案の政策26「人を惹きつける郊外部のまちづくり」の主な施策2「多様な主体と連携した持続可能な郊外住宅地再生の推進」、素案の戦略6『成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり』及び素案の戦略7『花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現』に記載しており、素案に含まれていると考えております。</p>
<p>P165の「03未来を創る子どもが育まれるまち」                  P172の「02子育て世代が住みやすいまち」                  この2点についてはまとめて意見をお伝えします。                  横浜に来て最初に思ったのは、緑が多く、治安も安定しており、思った以上に子育て世帯が多いということです。                  子どもにとってはよい環境だと思い、引っ越してよかったと当初は思いました。                  ですが、時間が経つにつれ、親としての現実も目の当たりにしました。                  市民税の負担額増、高額な保育園料に各種支援は所得制限により有償であるもしくは支給されない、都内に比べて見劣りする子育て支援などです。特に保育園料と産前産後の金銭・物質的な支援は差が大きいと思います。                  金銭負担が増えるということは、子どもに費やせる金額が減ることにつながります。                  せっかく子どもにはいい環境があるのに、親の負担感が大きいのが残念でなりません。税の負担はある程度は仕方ないかと思っておりますが、その分十分な支援もお願いしたいです。                  横浜愛を育むには、「横浜に育ててもらったな」と親も子ども実感として思えることが重要だと思います。ぜひ、その点を踏まえて未来を描いていただければと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P187計画期間中の財政見通しと収支不足への対応 財源が不足しているとのことで、例えばの提案になります。 昨今児童手当の所得制限が話題となっています。所得制限なしで各種子育て支援を行っている明石市も話題になりました。 そこで、児童手当所得制限世帯に対して、満額の差額分を補助するのはいかがでしょうか？ 国からの支援を外されてしまっている世帯を応援することで、中・高所得者の子育て世代の流入が一定見込まれるのではと思います。 (高校の費用も負担すればもっと増えるかもしれません) 所得が高いかた＝住民税が高い方になるかと思えますし、横浜は子育てをしやすいと親世代がいうことで、子どもにも影響を与え、将来横浜で子育てしようという子どもが増えるのではないのでしょうか。 また、私も出産して実感していますが、子育て世帯は世帯収入が多い一方、あまり遠出をしないため地元でお金を使う傾向にあります。地域経済の活性化にも良いと思います。</p>	参考	財源確保についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>政策のどこかで靈感商法や団体への対応、相談体制をしっかりと進めることを入れてください。</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>山中竹春市長さんは、横浜市民がカジノに反対し、中学校給食の実現を公約に掲げた政策に賛成の市民により誕生しました。自公政権に負けずに頑張ってください！</p>	その他	今後の市政運営についてのご意見として伺います。
<p>中期計画素案の中身を知るためには、自分でパソコンで横浜市のサイトから検索して原文を見るしかない、というはおかしいと思います。 広く意見を聞くためには、中期計画の中身・原文を広く公にして、市民が手にすることが出来るようにすべきです。 200ページは、文章量が多すぎます。行政運営と財政運営のことは別にして、中期計画だけに絞って、市民に印刷物で配るべきです。 意見を広く聞く条件が整っていないと思います。以下は「広報よこはま」特別号を中心に意見を書きます。</p>	参考	計画の広報・広聴についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>共にめざす都市像「明日をひらく都市」基本戦略「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」9つの戦略に38の政策の題名はどれも素晴らしい言葉がなっている。しかし横浜市は2021年8月まで「未来の横浜ためにIR(カジノ)を誘致する」として広報よこはまなどで美辞麗句を駆使して市民に向けて宣伝していた。パブリックコメントでの大多数の反対意見を無視してIR(カジノ)誘致を推進する姿勢を変えなかった。横浜市自身がこうした姿勢は間違っていたと反省して総括しなければならない。今回は本当に市民の意見を聞き、生かしていくパブリックコメント募集にしなければならない。さらに地域での課題について政策に取り入れていくために各区での説明会を開催することを求める。</p>	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>新しい大規模な開発と大企業誘致の優先度を下げて、暮らしに直結する保障を求めます。</p>	参考	社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。いただいたご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。
<p>今期中期計画は、説明会すらない住民参加の欠落した策定過程でした。 今後の策定のあり方について、以下の改善を強く要望します。 1. 中期計画作成の審議会を「市民も参加する常設審議会」として確立する。 計画面策定から遂行点検、総括案まで審議する常設機関とする。 2. 計画作成の市民討議を最低1年間、「市政の現状の学習会(区段階)」から始め、「素案での説明会(地区レベルの開催)」で、十分に質疑・意見発言の場を保障した上で、「広くパブコメ」で意見集約し、可能な限り意見を取り上げ(次回も含め)て、議会で最終決定する。</p>	その他	計画の策定及び広報・広聴についてのご意見として伺います。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期計画に含まれていない政策「横浜行政における主権在民風土の醸成」について</p> <p>中期計画は、先を見越した基本認識に根差した基本姿勢に基づく具体的な戦略が図解入りで大変分かりやすく公表されています。</p> <p>しかし、横浜市が市民自治において負託されている「主権在民の市政を行うための政策のあり方は、いかにあるべきか」等に関する政策が見当たらず、この最も重要な要素が全く欠落しています。どのような立派な計画であっても、これでは画竜点睛を欠くこととなります。</p> <p>具体的な例として、約5年にわたる「横浜IR誘致に係わる取組」において、横浜市は、前市長による「カジノを含むIR誘致の方向性については、市民の意見を踏まえる」とした選挙公約を反故にしたうえ、多数の市民の誘致反対意見を意図的に軽視する施策を駆使しながら、IR誘致推進を強行に押し進めたことが記憶に新しいところです。</p> <p>また、「横浜IR誘致に係わる取組の振り返り」については、その中間報告とそれへの市民意見募集及び最終報告を市会に報告したのみで、市のホームページには記載されているものの、記者発表も「広報よこはま」による市民への周知もなされていません。</p> <p>加えて、「横浜IR誘致に係わる取組の振り返り」は、主権在行政の視点でまとめられており、横浜行政に主権在民の認識があるのかが疑われる構成と内容になっています。</p> <p>市民意見募集が、市民に周知されておらず、この中間報告への市民意見は、募集期間が半年以上あったにも関わらず、提出者14名、意見数24通となっています。</p> <p>そして全ての意見提出者が、異口同音に横浜市の非民主的な市政のあり方について強い抗議を発信していることが注目されます。</p> <p>この横浜市の非民主的な市政のあり方については、「『横浜IR誘致に係わる取組の振り返り』（中間報告）に対する市民の皆さんからのご意見について」をご参照いただき、その真摯な訴えをご確認ください。</p> <p><a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/sogotyousei/IR/irfurikaeri.files/shiminiken.pdf">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/sogotyousei/IR/irfurikaeri.files/shiminiken.pdf</a></p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>主権在民の市政を行うための施策の提案</p> <p>これまで、私は市の施策に関して陳情・質問書を何度も提出し、その回答を得てきた。</p> <p>しかし、陳情・質問に対し正面から回答されない場合も多く、その都度、関係部署の職員と面談の機会を持ち、陳情・質問内容について説明を行ってきましたが、面談時の記録が残されておらず、面談の成果が市政にいかにか反映されたか確認しようとしても、市の不誠実な回答のまま、市民からの陳情が進展していかない状況になっています。</p> <p>（「横浜市のカジノを含むIR計画に関する市長への質問」及び「市長あて質問書への回答」参照）</p> <p>そこで、民主的な市政運営のために、二元代表の一人として市民が選挙で選んだ市長が、市民から提出された陳情を具に把握し、それを市政に反映する制度が行政内に確立されるよう、次の項目通り改善を求めます。</p> <p>(1) 「『市民の声』事業の実施に関する取扱要綱」を改正し、市民団体からの陳情については、市長が必ず目を通し、かつ、その回答についても市長が決裁する制度に変更する。市に提出される陳情は年間約150通であり、多忙な市長であっても十分対応できる程度の数であると考えます。（因みに、川崎市・相模原市・藤沢市・町田市などにおいては、市長が全陳情に目を通し、その回答を適宜決裁する制度となっています。）</p> <p>(2) 「横浜市政行政文書作成要領」を改正し、陳情等の補足のため行われた市民との面談については、その記録を行政文書として作成し保存する。</p>	<p>その他</p>	<p>市政運営にについてのご意見として伺います。</p>
<p>中期計画素案の全文を求めて区役所に足を運んだが、コピーが1部しかなかった。「広報よこはま」特別号は、1ページ目の左の図と右の要約が同じことを書いているなど、全く不十分。パブリックコメントを求めるなら、まず冊子を配布すべきである。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の広報・広聴についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
このほか、公営住宅の建設、介護保険料・国民健康保険料の引き下げ、公共施設のバリアフリー化、産科医のいない区の解消なども取り組むべき政策だが、全く触れていない。項を起こして書き込むべきである。	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
ノースピアをはじめ米軍施設の返還には全く触れていない。返還を繰り返し求めるべきだ。	その他	ご意見の趣旨につきましては、本市の基地対策に関するものとして伺います。
石油・ガスの危険な備蓄設備の点検・防災体制の強化も取り組むべきだ。	参考	災害時の備蓄についてのご意見として、参考にさせていただきます。
カジノをやめ、新劇場整備を中止し、大きな変革を遂げられた市長や行財政を担当される皆さんのご努力に敬意を表します。	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
市の役割は文字通り地方自治＝住民自治を行うことであり、デベロッパーまがいの土建屋などに奉仕することではありません。この住民自治の最も基本的なありようは何よりも住民に奉仕することです。その住民とは年寄り子どもを最優先にし、そのことによりその年寄り子どもを養っている働き盛りの年代に大きな安心感を与え、それぞれの立場を安心して貫けるようにしてあげることです。 その点で市長の選挙公約中学校給食と3つのゼロは、やって当たり前、財源がないなどはまるきり本末転倒と思う。自民公明などの大資本奉仕の原則に立てば財源はないかもしれないが、最優先をその公約に置けばおのずと道は開けるはず。内外において新自由主義が跋扈し、国政でもこの横浜市政でも国民・住民本位ではなくなっているから財源は当然出てこない。それはさかさまにすれば当たり前に出できます。 給食と3つのゼロのようなことを大胆に実行すればこの市は最も住みやすい市になり、あまり意味のない評判とも相まって、子どもを育てる世代が流入してくること必定。	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
グレタ・ツーンベリは一人で国会前に座り込みあつという間に世界を動かしました。皆さんもそこまでのことではなくてもその100分の一の勇気を持っていただければ、優秀な市の担当者（知性・教養・経験）がそろいますから、この勇気が加わり間違いなく前進できます。何のことはありません、あなたのほんのちよつとした勇気が、正しいことを少しやろう、前例主義を打ち破り1歩だけでも前進してみようという勇気さえあれば、事態は革命的に動くはずです。	その他	ご意見として伺います。
住民本位の市政とともに、もう一つの原則は「地域循環経済」に切り替えることです。まるっ岸田めお政権も受け継いでいると思われる新自由主義的な「成長戦力」を否定し、中小企業を含む地域循環型の経済、地産地消的経済に切り替えることにより、市内産業の足腰も自然に強化されます。大企業は放置しておくべきで、決して住民や国民のために動いているわけではない巨大企業を擁護する必要など全くありません。そんなことしなくとも成長できる自動循環能力をすでに持っているのです。	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
行財政を担当される市職員の皆さんを心から応援します。歴史をグレタのように大転換する絶好のチャンスです。ぜひ頑張って、市職員としての人生のやりがいを感じ取ってください。	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>令和4年8月30日に公表されました横浜市中期計画素案において、エネルギー事業者として以下のご提案及び情報提供をさせていただきます。</p> <p>基本姿勢についての意見提示 脱炭素社会実現の視点（P17）</p> <p>【提案】 本計画における脱炭素社会実現までの工程は、脱炭素ではなくその移行段階であるため、移行期だからこそそのエネルギーの供給・調達に関し留意すべき観点を基本姿勢として追記する事をご提案いたします。</p> <p>また、地域特性を生かした市民の行動変容を促す取組や次世代を担う子どもたちの環境学習の推進をすくと共に、脱炭素移行期として、自立・分散型社会やレジリエンスの強化に向けて、エネルギーコストや供給安定性を考慮しながら、地域での再生可能エネルギーの創出や地産地消の推進等をより一層進めます。</p> <p>【理由】 令和3年10月に閣議決定された「第6次エネルギー基本計画※」では、2050年カーボンニュートラルに向けたエネルギー政策の基本的な方向性が示されており、それと同時に気候変動対策を進める中でも、安全性を確保した上で、安定供給の確保やエネルギーコストの低減を目指すという「S+3E（安全性+エネルギーの安定供給、経済効率性の向上、環境への適合）」に向けた取り組みを進めることが非常に重要であると示されています。横浜市の脱炭素化社会実現に向けたエネルギー政策においても、S+3Eの視点を表記する事が望ましいと考えます。</p> <p>※第6次エネルギー基本計画（令和3年10月22日経済産業省）</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、Ⅳ「基本姿勢」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>共にめざす都市像についての意見提示 (P168)市民生活の未来06脱炭素ライフスタイルによるサステナブルな暮らし</p> <p>【提案】 「FUTURE SCENARIO」について、以下の通り追記することをご提案いたします。</p> <p>最近引越したマンションは、すべて再生可能エネルギーや、次世代エネルギーである合成メタン等で賄われ、日々の生活が環境へどれだけの負担や貢献度があるかも、わかりやすく数値化される。</p> <p>【理由】 産業・民生部門のエネルギー消費量の約6割が熱エネルギーです。エネルギー消費量の多くを占める熱エネルギーについては、2021年6月に閣議決定された「グリーン成長戦略※1」にて都市ガスの主成分であるメタンを「合成メタン」に置き換えることにより脱炭素化を進めていく事が掲げられております。横浜市は2022年3月に弊社と共に鶴見区末広地区にてメタネーション実証試験を開始しています※2。合成メタンは既存の都市ガスインフラ・機器を有効活用できる事から市民生活にも大きなメリットがあると期待されており、横浜市はその先進的な取り組みによりこの熱分野における脱炭素化をリードしていることを市民の皆様にご覧いただきたく考えております。</p> <p>※1 グリーン成長戦略（令和4年6月18日内閣官房経済産業省内閣府他） ※2 横浜市鶴見区におけるメタネーション実証試験に関する資料 &lt;令和4年1月18日横浜市記者発表&gt; 横浜市と企業がメタネーション実証試験に向けた連携協定を締結 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2021/0118methanation.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2021/0118methanation.html</a> &lt;令和4年3月23日記者発表&gt; 2050年カーボンニュートラル、脱炭素化社会の実現に向けメタネーション実証試験を開始</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、Ⅱ「共にめざす都市像」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P147区の記事事例の掲載の仕方については概ねその事業を現場や地域活動の中で推進してきた主体は明記せず、やったことの内容が掲載されているが、このままだと区（行政）の実績、成果として捉えられがちなどに違和感がある。</p> <p>公的資金が投入されている内容も多いかと思うがやはり推進主体を主語にして掲載すべきが市民活動を応援する中期計画として最も大事にしなければならないことではないか？</p>	<p>参考</p>	<p>コラム「区の記事事例」についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>計画の前提として市内認証NPO法人の数はこの15年程度で倍増してきているがその実態は縮小および解散しているNPOなど市民活動団体も多いのではないかと？</p> <p>一方で新たな形で市民活動がワークライフバランスの中で位置づけられてきている未来も両輪で語られているP162からの市民生活の未来は興味深く読み物として受け取られた。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>この意見募集は知り合いに聞いて市のHPを見て初めて知った。「重要なお知らせ」としながらもタイトルに「市民意見募集」の文言が無く「年代を問わず多くの市民から広く意見を募集しようとする姿勢」が見られない。タイトル付けを一層改善すべき。</p>	<p>参考</p>	<p>パブリックコメントの実施方法についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市は市民の意見をもっとも具体的に把握・理解し市長の専門であるデータに反映させた上で実現する市政をお願いします。</p> <p>そのためには、市長が率先してSNSやあらゆるメディアで顔を出し、声を上げ、積極的にリーダーシップを発信して、市長の顔の見える市政にすべき。</p>	<p>その他</p>	<p>計画の広報・広聴についてのご意見として伺います。</p>
<p>この市民意見募集の内容を整理してデータとしてまとめ、「中期計画意見募集の結果」のようなタイトルとして市のホームページで公表することを希望します。</p>	<p>包含・賛同</p>	<p>パブリックコメントでいただいたご意見は個人情報を除き、市ホームページなどで本市の考え方と合わせて公表しています。</p>
<p>子育て世代、高齢世帯などへの支援が充実していくことは良いことだと思います。</p> <p>一方で、残念ながら子どもを持たなかった現役世代への様々な形での配慮や支援が欲しいなと思います。現状、たいして年金がもらえるわけでもなく、老後に温かい支援が得られる確約もない中で一生懸命働いて税金を納めて、でもそれが自分たちには還元されている実感を感じられません。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、現役世代への支援についての意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>勤労者が参加しやすい趣味の教室やイベントも開催して欲しいです。夜間の開催や一般的な休日での開催など。地域社会に役立つ講習会も含めてですが、平日昼間に開催されていることが多く、毎月広報をみるたびに悲しくなります。</p>	<p>参考</p>	<p>イベントの開催についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「IRは積極的に導入すべき」との内容を含む「答申」出した「都心臨海部再生マスタープラン」の審議会の人物が、今般「中期計画(素案)」を作成する「有識者」(P195)の一人として、名を連ねている。</p> <p>IR=カジノは、山中市政下において既に無効宣告された。つまり、今般「素案」はIR=カジノ色を一掃したので、IR=カジノのカケラもあつてはならない。であるならば、ほんの僅かでもIR=カジノの誘致・導入に手を貸した、あるいは誘導した人物や組織・機関（に属する人物）は徹底的に排除すべきは、社会における最低限のルールである。</p> <p>委員（「有識者」）として依頼する方も依頼する方だが、受ける方も受ける方だ。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>&lt;市民の声を聞くことについて&gt;</p> <p>山中市長に変わって市民の声をきこうという姿勢は感じられますが、まだ不十分だと思います。</p> <p>声なき声をいかにキャッチするのかご検討をお願い致します。</p> <p>デジタルプラットホームに何人の声が届いていますか。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
併せて、ノースドックや鶴見の貯油施設など今も残されている米軍基地・施設の返還に向けて具体的な計画を示してください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、本市の基地対策に関する取組へのご意見として受け止めます。
横浜市が住みやすさと併せて市民から期待される都市になるためには市政への市民参加が欠かせません。市民の声が市政に反映されるシステムを早急に作ってください。	参考	広聴・広報についてのご意見として、参考にさせていただきます。
横浜市中期計画大型開発を止めて、子育て、教育、福祉へ P：84上瀬谷開発 P：92都心部開発 P：112高速道路 などの大型開発については、緊急性や市民要望を踏まえ、慎重に検討して頂きたい。延期するなり、縮小するなりして、本来の自治体に取り組むべき子育て、教育、福祉に力を入れることを望みます。	参考	社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。
協働・共創の視点として「自治会町内会や大学、NPO法人など様々な団体との協働」を掲げているが、自律した市民が主体的に行動し意見することこそ、住民自治のあり方と考えます。市民意見募集や市民の声の制度を始めとして、横浜市民一人一人が行動し意見することに真摯に向き合ってください。現在の市民意見募集制度は、意見募集はするもののやれない理由も述べずに横浜市がやりたいことを一方的に定型文で述べるだけで、対話行政となっております。市民意見募集制度に対する冒涇です。市民の軽視です。市民一人一人との協働・共創の視点も追加してください。	参考	市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。
市民に必要な無駄なハコモノを作らなければ歳出抑制できます。良い政策であれば市民に親しまれ、市民に必要なものを押し売りしようとするばカジノIRのように広告費が高くなります。歳出ガバナンスに対する考え方を見直してください。	修正	ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。
後期高齢者医療保険料について国に対して国の負担率の引き上げを求める計画を策定すること。後期高齢者の被保険者が無収入や低所得者が多いことから市としても保険料負担減の財政措置計画を作成すること 後期高齢者医療者の窓口負担を軽減すること。国に求めると共に、市の独自措置としても計画すること。10月からの窓口負担2割の該当者は、29%となります。3割負担を入れると41%となります。薬代等も入るので重い負担です。国は令和4年度以降団塊の世代が後期高齢者となり始めるから、医療費の増大、それを支える現役世代の負担上昇を抑える課題の対応といいますが、もう一つの柱国の財政負担を減額しています。消費税導入・税率引き上げの説明で社会保障に使うとされたのに納得できません。国の負担率の引き上げ（財政負担割合減額元に戻し）、加味した社会保障制度の検討・提起を計画に入れること。	参考	後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。
現行の横浜市の教育委員会は6人で構成されているとのことですが、それも、18の区ごとにきっちりとした権限を持たせる形で設置するという形に移行することを求めます。理由は、今日の学校では、不登校や、イジメなど複雑で深刻な問題が多発しています。一方で、大きく変わる社会状況に主体的に対応していくことのできる人づくりのための教育改革も求められているという事情によります。理由は、そうした状況に学校が対応していくことができるようになるためには、委員会と現場の先生方が、手を携えて実のある研究・実践が積み上げて教育力を築きあげていくことが必要です。しかし、そうした大事業を現行の委員会並びに4つの学校教育事務所の体制で行うことには、大きな無理があると考えためです。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
水道料金も上がり豊かな暮らし？	参考	水道料金についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>p.3「一方、地震や激甚化する風水害などの自然災害や、新型コロナウイルス感染症など、市民の安全・安心を脅かす諸課題への迅速な対応はもちろん、脱炭素などの地球温暖化対策、社会のデジタル化など、今日的な課題の解決も求められています」</p> <p>どの問題も深刻ですが、脱炭素と地球温暖化対策が埋もれて、“one of the problems”という印象になってしまいます。気候変動によって自然災害がますます激甚化するのです。その因果関係がしっかりわかるように書いてください。気候変動対策に今しっかり予算をあてなければ、この先どんどん災害被害への対応にお金がかかってくるでしょう。</p>	参考	計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>国際平和博物館の設置を</p> <p>横浜は77年前、大空襲に見舞われ、当時の市民の約半数の31万人が被災し、8千人以上の命を失いました。市街は灰燼に帰しました。いったん戦争が起こると、命と財産はことごとく失ってしまいます。そのことを歴史は教えているのではないのでしょうか。いま、ウクライナで戦争が続き、市民や子どもの命と財産、街が破壊されています。横浜大空襲とも重なります。こうした繰り返してはならない戦争の事実を伝え、学ぶことは横浜の未来を作るうえで欠かせないことです。</p> <p>「横浜市国際平和推進条例」には「横浜大空襲を忘れず」「核兵器の廃絶」「飢餓」「貧困」「環境破壊」などの課題解決のため、「国際平和への貢献」が求められ、そのために市の役割として「国際平和の推進に関する施策を策定し、実施する」「国際平和に関し市民の理解を深めるため、必要な啓発及び教育を行うものとする」としています。</p> <p>その具体化として、横浜市史資料室に保存されている多くの空襲や戦争の資料を常時公開し、市民や横浜に未来を担う子どもたちが見て学ぶことができ、また、核兵器の脅威、飢餓、貧困、環境破壊などの実態を明らかにし、戦争を繰り返すことなく、地球上から核兵器の廃絶、飢餓、貧困、環境破壊をなくしていくための啓発・教育を行うために国際平和博物館の設置を実現して戴きたいと思えます。</p> <p>人類は命と財産、環境を破壊する戦争をせず、核廃絶の意思を世界につながる国際港都横浜から発信することで、横浜が世界の中で平和への役割が果たせるのではないのでしょうか。</p> <p>広島島の負の遺産である原爆ドームや広島平和記念資料館は世界に平和を発信し、多くの外国人が訪れています。</p> <p>国際平和博物館は横浜港に作られるとより望ましいと思います。病院船や引き揚げ船などに徴用され、奇跡的に生き残った氷川丸があり、姉妹都市や姉妹港、シティネットなど平和友好に長年力を注いできた横浜がこうした課題をさらに発展させることを期待しています。平和を希求する市民の誇りにもなるのではないのでしょうか。</p>	その他	平和施策についてのご意見として伺います。
<p>前回基本方針案パブコメを、きちんと読み検討したとは到底思えない。ホームページでも、パブコメ案は端の方にやられている。市民の意見に耳を傾けないことから、カジノIRの失敗を招いたという反省が全く感じられない。カジノIR市民説明会で特に見せた、市民に尻を向け小馬鹿にして高を括り、選良然と市民窓口も廃した白亜の新市庁舎から見下して、俺たちがやってやっているという高踏的な態度にふんぞり返っていた姿が、反省されていると全く思えない。</p> <p>市民の声をそもそも聴いてから中期計画を立てるべきでないのか？</p> <p>4頁「I 中期計画の特徴の3計画の構成」にそれがよく現れている。</p> <p>「先を見越したビジョンを描くのは困難なため、……今後さらに顕在化・深刻化しそうな問題を把握し、それが解決された姿を……描いていきます。」これでは、これまでの市政の流れの延長でしかありえない。</p> <p>「市民の皆様がご自身に置き換えて、様々な暮らしのイメージができるように、いくつかの例で示しています。」この上から目線で市民を軽侮した態度は何だろう？</p> <p>これこそが横浜市政の問題点である。コロナで困窮化している市民に、生活安定し親方日の丸の公務員が上から教えてしんぜようというのか。</p> <p>このような態度が変わらなければ、2040年になっても、何ら問題は解決していないだろう。</p>	その他	ご意見として伺います。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
17頁「協働・共創」この手の言葉をカジノIRの時も使っていたではないか。市民無視の暴政を進めた癖に何が協働共創か。この手の言葉を使うなら、カジノIR推進したことを先ず巻頭で詫げるべきであろう。そしてカジノIRに関わった幹部職員をクビなり市民に奉仕する現場に左遷してから言うべきであろう。	その他	ご意見として伺います。
160頁横浜をとりまく環境 カジノIRの時と同様なことをまた言っている。	その他	ご意見として伺います。
基本姿勢 共創については大いに疑問提携企業はどのような経緯で選ばれ、どのような条件で契約したのか、開示請求をかけなくても市民にすぐわかるように公開することを求める。	参考	共創についてのご意見として、参考にさせていただきます。
IRのような行政の暴走を止める装置をつくれ IR以降も、上瀬谷・花博・内港・山下ふ頭・三ツ沢公園・根岸住宅跡地と、緑を破壊する開発と箱モノ行政を続け、民意と乖離した暴走を続けている。市民意見で反対意見があっても修正すらせずに、突き進む市政も全く改善されていない。 暴走をとめる役割をしなければならぬ市会が機能もせず民意を無視しているのは問題だが、市会さえ押さえれば何をすれば良いという市政では、財政破綻するまで暴走しつづける。	その他	今後の市政運営へのご意見として伺います。
失敗の責任を明確にすること 議会を通さぬ、違法な支出の責任をとれ 他自治体は最低でも特別行政職である市長・副市長は責任をとっている。ガバナンスの問題であるので、管理職以上の減給はあって当然だとは思いますが、市長・副市長が責任をとらないのは論外。	その他	ご意見として伺います。
コロナ支援策として失策であるレシ活の責任をとれ 他自治体のように水道代を減免するような政策に比べて公平性が低く、「お金を使えば使う程メリットを受ける」という所得の低い人への支援になってもいない。スマホが使えなくなるとか以前の課題として失策である。レシート現物送付に対応するだとか無駄な支出をすることも、結果的に負担が増え市民を苦しめている。	参考	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
市長公約を守り、市民サービスは負担に見合うレベルにせよ 中学校給食がない、小学校給食は酷い、図書館は全国最低レベル、児童館は遠くて子連れで行けない。低いレベルの市民サービスを、日本で最も高い市民税に見合うものにせよ。 教員費用の削減、学校修繕費用削減、保育料の値上げ、ごみ収集の有料化などあり得ない。開発に使われる無駄遣いをやめれば十分に足りる。	その他	今後の市政運営へのご意見として伺います。
情報公開の徹底として民主主義の政治体制の基本原則に基づき、下記を求める ○諮問会議なども中継・録画公開をすること（関係者の個人情報を含む場合は顔などをぼかした上で録画公開する） ○傍聴者に配布される資料を、HPで即時公開すること ○現状遅すぎる会議録などの公開を早めること ○市長説明も含めてメモすら残っていない市政が続くか、会議等での行政文書は必ず残すこと ○情報公開が国家機密文書よりも厳しく、永遠に非公開のままだが、時間経過に伴い非開示事由がなくなれば、各公文書と会議録を公開すること ○企業との提携事業が非常に多いが、契約の経緯と条件、契約書を必ずHPで公開すること	参考	会議の公開や運営、情報公開や文書管理等についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>今回のパブリックコメントについて意見を述べる前に、中期計画の素案については広報で知ったが、骨格だけで、区役所などに文章化された冊子が置かれていなかったで、詳細を調べるのにかなり大変だったことを伝えたい。</p> <p>これでは、忙しい子育て世代からの意見が沢山出てこないのではと危惧します。山中市長が公約どおり、カジノ中止を表明したことはとても嬉しかった。今後も、市民の声に寄り添った市政を進めて欲しいとの思いで意見をのべたいと思います。</p>	参考	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>高すぎる国民健康保険料・介護保険料を引き下げて下さい。</p>	参考	<p>国民健康保険制度及び介護保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>公契約条例を制定し、市が発注する仕事に従事する人の賃金水準を保障して下さい。</p> <p>保育所、特別養護老人ホームの建設を進め、地元の中小企業に発注して下さい。</p>	その他	<p>本市では、横浜市中小企業振興基本条例に基づき、中小企業の振興に関する施策を総合的に推進し、市内経済の発展及び市民生活の向上を目指しています。</p>
<p>市民利用施設の指定管理者制度を見直します。</p>	その他	<p>市民利用施設についてのご意見として伺います。</p>
<p>①不要・不急の大型公共事業の見直しをして下さい。</p> <p>②山下ふ頭再整備・上瀬谷基地跡地利用・三ツ沢公園再整備事業など大型開発は止め、市民の意見を生かした計画として下さい。</p>	参考	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>国民健康保険料、介護保険料が高すぎます。予算の見直しをして引き下げて下さい。</p>	参考	<p>国民健康保険制度及び介護保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>マイナンバーカードを保険法に統合は反対です。ぜひやめて下さい。必ず問題が出てきます。その時、自己責任にされては困ります。</p> <p>マイナカード反対です。</p>	その他	<p>マイナンバーカードについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>財源がないなら大型開発は止めるべき</p>	参考	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>公営住宅が適正に提供されているのでしょうか。</p> <p>高級外車の所有者、いつの間にか他の人が住んでいる、預貯金や資産の調査はされるのでしょうか</p> <p>所謂、お金持ちなのと言われる入居者がいるなど等聞くことができました。</p>	参考	<p>市営住宅政策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>年金の支援毎月にして下さい。</p> <p>消費税5%にして下さい。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>過去の多難な時期を生きぬいてきた高齢者の底力と知恵を学び生活を保障する事</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>今、ウクライナでのすさまじい破壊線を目撃していると気候破壊が一段と進み、あんなたる気持ちとなりますが、平和の上には人間の生活はなりたないのだとつくづく思います。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>今年6月の年金削減に加え、10月1日から実施された、75歳以上の高齢者の医療費2倍化は、高齢者にとって大きな負担になっています。それに対する高齢者の医療費負担を軽減してください。</p>	参考	<p>後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>12月で80才になります。年金と働く場所があり、働いて生活しています。窓口負担二割を軽減して下さい。</p>	参考	<p>医療費の窓口負担についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>神奈川県は沖縄県に続いて、米軍基地関係施設が多いそうです。返還や規模の縮小を図って下さい。</p>	その他	<p>本市の基地対策についてのご意見として伺います。</p>
<p>大型開発はやめて、歩道の整備、草刈り等を毎年やってほしい</p>	参考	<p>まちづくりについてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>地区センター、区役所のコピー白黒は5円に</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
子どもの権利条約について明記して下さい。	その他	ご意見として伺います。
最近の政治を見ていると平気でウソをついたり記憶にないと話す政治家が多い。記憶できないなら日本政治を任せられないと思う。	その他	ご意見として伺います。
<p>住みたい街「横浜」は先ず財政を豊かにすること</p> <p>①法人税による収入アップが必要 全国展開する企業の横浜への本社誘致。特にかつて横浜に本社があり米軍の接収で東京へ移転した企業の横浜への回帰誘致。税制などメリットを付与しながらプロジェクトチームを作り長期活動が必要。</p> <p>②新しいIT関連のソフト会社群の工業団地造成と誘致</p> <p>③山下埠頭のレジャーへの活用 テーマパークと提携し関連テーマパークを作る。幕張、横浜間は大型船で結び船旅を楽しんでいただき、翌日は横浜観光にも結び付くのではないか。</p> <p>④瀬谷、泉、緑、青葉区の休耕地、緑地を農業用地として貸与する。 今都会から地方へ農業を志し出ていく人達を対象に、大農業団地の運営などできないものか、市民への地産地消のメリットと地代収入など見込めないものか。</p> <p>⑤市大を更に充実し、優秀な人材を送り出し安心のある生活、魅力ある「大横浜市」作りに従事して頂く。法学部、薬学部、医療学部（理学療法士等）の新設。</p>	参考	財源確保についてのご意見として、参考にさせていただきます。
<p>日本に限らず全世界で地球規模で市民社会化が進んでいます。カジノを止め新しい可能性を示してくれつつある市長先頭に市執行部のみなさんに心からの敬意を表明します。</p> <p>中学校教科書問題でよくわかりましたが、市民本位の住民自治を実現する上で370万横浜は大きすぎます。例えば教科書選定する採択区は元の18区にすみやかに戻すべきです。</p> <p>9でコミュニティの活性化を言われていますが、連合自治会など化物です。20年も30年も役員がバツコしている組織に未来はありません。以前青葉区役所に町内会で助けを求めたが答はゼロだった。</p>	その他	ご意見として伺います。
高齢者の生活が苦しくなっています。年金でじゅうぶん暮らしていける社会を	参考	<p>高齢者の生活についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p> <p>なお、公的年金につきましては、国の施策として検討されるものと考えています。</p>
<p>歩きタバコの罰金 路上での停止タバコの罰金</p>	その他	ご意見として伺います。
<p>包括的に 5月に公表された「基本的方向」に対して410人の個人・団体から意見が提出された。わたしも7/15付けで意見を提出した。結果は「中期計画」のHPに掲載されている。</p> <p>しかし、これら意見が素案策定に至る過程でどのように検討され、生かされたのがまったく分からない。最低限、どのような意見が多かったのか、市にとって厳しい意見はどのようなものであったのかの要約とそれらに対して市がそれらをどう理解し、汲上げ、素案に反映したのかを明らかにするのが普通である。そうでないと意見を出させただけに終わってしまう。少なくともそう取られかねない。</p> <p>また、素案に対してコメントを返しても、“参考にします”と言うだけで、具体的にそれらが原案に生かされることがなければ、同じような捉え方をされてしまう。</p> <p>さらに重要なことは、前期の中期計画(2018~2021)の総括がどうであったのか、特にどのような政策やその個別事業、等が失敗または市民から受け入れられずに終わったのかを真摯に振り返り、その原因・理由を検証し、そこから得られた教訓を今期計画に反映することである。</p> <p>戦略設定とそれに連動した政策という作りは外形的には同様であるが、合理的な連続性や教訓化の反映と明示に関してはほとんど見受けられない。</p> <p>今期に限っての問題ではないにせよ、これでは計画を作成すること自体が目的化しているのではないかの懐疑が付きまとう。</p>	参考	パブリックコメントの実施手法及び計画の策定手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>抗議を含めて反復する。 まずは、本計画を白紙撤回し、あらためて健全なScopingからやり直すことを強く訴える。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の構成についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>条例[行政運営] 横浜市にはたくさん条例があるが、時代環境の変化と要請にっていないものが数多く存在する。 中でも、多くの市民が関心を寄せ、早急の改訂を求めているのは「財産評価審議会条例」である。1964年に作られた本条例は若干の改正はあったものの肝心の第11条1項の「審議会の会議及び議事内容は、公開しないものとする。」は変更がなされていない。情報公開が広く強く求められる今日においてこのようなものが生き続けていることが民主主義に背く。どれほど不当な価格設定がなされようが、いざこの審議会の是認を受けた場合には、監査請求はもとより訴訟においても、行政の処分が妥当であったことの根拠にされる。典型的には、市民の共有財産である市有地の売却あるいは市有地として購買する際に当審議会における価格是認の意思決定プロセスは当然明らかにされなければならない。しかし、横浜市ではこの前近代的な条例が行政の身勝手な処分の盾として機能しているわけである。 至近で顕著な例として、旧市庁舎の建物の売却とその敷地の長期に渡る定期借地権設定がある。 速やかにこの条例の第11条第1項を「公開するものとする」に改訂するべきである。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>「市議会の議決に附すべき財産の取得または処分に関する条例」も大きな欠陥がある。定期借地権設定の場合は本条例の対象にならず、金額がどれほどであっても市議会の議決対象にならないことである。これを利用して、本来定期借地権付き建物として評価されるべき財産を無理やり1億円未満の建物評価とし、議会の議決を回避したのが旧市庁舎の超安価な売却である。 この欠陥を速やかに是正しなければならない。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>IR誘致事業に対しては多くの市民が反対し、2020年に住民投票条例の制定と実施を求める運動が広まり、193,193筆もの有効署名が集まった。しかし、林文字市長(当時)は“結果を尊重する”を翻して“意義を見出し難い”との意見書を付して条例案を議会に提出した。市議会も2021年1月初めの臨時議会で自公の多数によって条例案を否決した。どれほど膨大な市民のエネルギーが使われたことか。 個別の課題に対して都度それに特化した住民投票条例の制定を請求するのではなく、重大な問題に対して恒常的に住民投票が行える住民投票条例を制定しておくのが先進的で民主的である。実際、現在全国で80近い自治体がこの常設型住民投票条例を設けている。神奈川県下でも、川崎市(2009年4月施行)、逗子市(2006年4月施行)大和市(2006年10月施行)が持っている。 横浜市もIR誘致の失敗で得られた大きな教訓を生かす意味でも、一日でも早くこの常設型住民投票条例を設けるべきである。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>あらゆる市の条例を毎年、無理であれば少なくとも2~3年に一度は見直し、改訂が必要なものを見出せば速やかに実施すべきである。情勢や環境変化は激しく、市民の眼も肥え要求も厳しくなっている。こうした表面化しにくい、実際には市民とのInterfaceとしても重要な条例のレビューと改訂に関しての市としての方針と実践化について中期計画にしっかりと盛り込むべきである。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>[X策定スケジュール等]について</p> <p>有識者意見について、ではさまざまな意見が挙げられているが、誰(単数であれ、複数であれ)が投じた意見かを明示すべきである。一覧表に載った有識者はいずれも公の肩書の下に意見を発出したわけで、当然自己の意見に責任をもっており、公開されてまったく問題がないはずである。それが承知できないのであれば、公人として意見は控えるべきである。</p> <p>・市が意見要請をした対象者はその選定理由も合わせてすべて公開すべきである。</p> <p>そもそも'Individual Accountability'を理解せず、またはそれに背くような人物を有識者と見做すべきではない。</p>	<p>参考</p>	<p>有識者意見についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>議会局の市会運営[行政運営]</p> <p>議会局には多くの注文があるが、以下の2点に絞って要望する。</p> <p>中期計画に反映し、早期の実現に向けて努力すべきである。</p> <p>(1)市会のInternet中継をもっと市民目線に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市会への関心が高まる中、Net中継(生であれ録画であれ)は大きな市民サービスの一つと言える。しかし、映像は固定化され、妙味がなく、とりわけ本会議における議員席の様子が分からないのは大きな欠点である。</li> <li>●そもそも新市庁舎の移転に伴った新議会棟の建設に当たり、現状のように傍聴席からほとんど議員席が見えない設計にしたのが問題である。今さら本会議場を変更することは不可であるからには、せめて運営でもって柔軟に議場の様子をNet中継すべきである。</li> </ul> <p>居眠りや野次などの姿を映されたくないといった市議の抵抗など無視すればいい。市民は臨場感ある生々しい映像を望んでいる</p> <p>(2)政務活動費管理を厳しく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜市の議員の政務活動費は55万円/月と大変な額である。にも関わらず、その正当な使用と報告の確認、検証は極めて甘い。「政務活動費の手引き」に背いても咎められることもない。一部の会派、議員を除いて、自ら積極的に使途の客観性や正当性を明らかにするものはいない。議会局は、いかなる議員にも阿ることなく毅然と本来の職務をまっとうしなければならない。</li> <li>●横浜市の政務活動費の公開度ランキングは政令市で最下位であり、実に恥ずかしい位置にある。改善すべき事項は多岐にわたるが、まずは領収書のNet公開を達成すべきである。</li> </ul> <p>議員の抵抗があっても堂々と進めるのが市民目線での行政と言える。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>意見募集は何のため？            新たな中期計画の基本的方向の意見募集をし、今回、横浜市中期計画2022～2025(素案)への意見を募集しましたが、基本的方向の意見をどのように素案へ反映させたかが全くわかりません。また、素案への意見が原案にどう反映されるかも不明です。            これでは、市民の意見を聞いてないと言われないために、聞いている振りをしていただけのアリバイ作りに映ります。そう思われることは、信頼を失う市政の最大損失です。            ○政策に市民意見を反映させる余地はありますか？            市民の声を本気で聞くと言うのなら、この膨大な計画書の作成前に、意見募集を行い、核となるべき政策を総括し、どのように反映させる/反映させないかを、最初に基本的な方向として公表すべきではないでしょうか。「新たな中期計画の基本的方向」が「素案」とほとんど変わらない事からもわかるように、すでに基本的方向からの転換が不可能に近く作り込まれているのでは、市民意見を取り込む余地が大幅に制限されています。            ○意見を政策反映させるプロセスは機能していますか？            「基本的方向」⇒「素案」⇒「原案」⇒「議案」のプロセスで、市民意見がどれほど反映されるのでしょうか。すべてが、「何のために意見募集するか」に帰着されます。市民の声が反映されない損失を、市政がどれほど感じているかが事の本質です。たとえ現行のプロセスでも、魂が入られるかは、市民のためを思う心根次第です。有識者委員会は専門分野の知見を本当に良識をもって提示していますか。審議会も市政権力ばかり見て、物静かな多数である市民を置き去りにしていませんか。その市政の仕組みのなかで、手続きを正当化する儀式になっていませんか。お天道様は、見えています。            市政が市民と対話するつもりがあるならば、ゴリ押しのIRの時だけでなく、財政ビジョンの説明会のように、是非そう言う機会を多く持って頂きたい。いつでも聴く耳は持っています。            ○IRの反省なくば市政も成長しない            近年の市政において、IRカジノほど市民の声を無視した例はありません。それなのに、まるでそれがなかったかのように、中期計画が立てられているのでは、市民の声を聞かなかった市政の反省やその重要性の認識が致命的に欠落していると言わねばなりません。            内実がなくても美しいスローガン内容に敢えて反対はせずとも、隠したくなるほど恥ずかしい悪政は、素直に反省してこそ市政の成長です。            ○ミニシバリズム(地域主義)こそ自治体のめざす道グローバル経済がもたらす貧富格差拡大を受け、自治体が地域住民を直接救う。政策決定に住民意見を積極的に取り入れ、自治体が国家権力に従うだけでなく、大資本支配の既存システムにも抗い、住民・公共財を守る。些末なコンサルの美辞麗句でなく、このような方針こそ、中期計画にうたうに相應しい。利権との決別を志高く唱え、市民のためにこそ、尊敬・信頼に値する市政の第一歩です。            ○民信無くば立たず(孔子)            市政の「在り方」は、全ての政策に先立ち、最も重要な信頼の源です。どんな施策をするにも、誤りは素直に認め、常に反省を心掛け、市民のために心を砕き、誠実で真摯に取り組む姿勢こそ大切です。そうするために、システムが健全に機能しているかをチェックする仕組みが必要だと思います。権力の渦や利害の渦に巻き込まれない強靱な精神で、市民のためにする事をし、せずべきをしない、市政監視機能を求めます。</p>	<p>参考</p>	<p>パブリックコメントの実施についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>②めざす未来の具体像</p> <p>01 誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ ←どう言う施策が自分らしいのか?</p> <p>03 未来を創る子どもが育まれるまち ←子供は皆未来を創るのではないか?</p> <p>01 賑わいとイノベーションがあふれるまち ←イノベーションの実態は?</p> <p>03 グローバル視点で選ばれるまち ←グローバル視点とは?</p> <p>04 観光とビジネスが融和する心地よいまち ←具体的にどうのことか?</p> <p>05 企業にDXと人の力が浸透している ←人の力とは?</p> <p>07 様々なプレーヤーが集う研究開発の集積地へ ←様々とは具体的に何か?</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IX②「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市民生活と経済活動を支える都市インフラ</p> <p>01 ストレスのない暮らしの交通環境 ←現状は交通ストレスが多いのか?</p> <p>02 多様な交通手段により誰もが気軽に移動できるまち ←現状何が問題で新たに作るのか?</p> <p>03 世界と日本をつなぐ進化した港湾 ←進化とは?</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IX②「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>くらしにゆとりと潤いをもたらす環境づくり</p> <p>05 豊かな市民生活を支える横浜ブランドの農 ←横浜ブランドの意味することは?</p> <p>06 日本世界をリードするグリーンシティ ←緑化政策をどう変えるのか?</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IX②「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>安全・安心の確保</p> <p>07 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち ←共に高め合うとは?</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見につきましては、IX②「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」に関するものとして、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>このままでは、個別施策に影響なく、中期計画の意義が問われます。 昔の横浜はもっと輝いていたと、先の都市計画審議会の最後に偉い方がおっしゃっていました。私もその通りと思います。 昔はよかったね「異国情緒あふれるハイカラな街」は横浜の原点時代が進み、その特徴も出しにくいことは理解しています。最近の開発は、高層化でインパクトを与えるものの、画一的で、東京とさほど変わらない風景が多くなっています。 駅前の再開発では、富裕層向けの高層タワーマンションが建ち、全国チェーン店で埋め尽くされる「横浜が横浜でなくなる化」の波を呼び込む政策が目につきます。 大手ゼネコンや銀行を潤す利権が、市政幹部や議会に渦巻くなかであっても、文化や歴史を大切に守り、その良さを継承する地道な開発・保守に目を向けて欲しいと思います。 それこそ、誇りある横浜市政の腕の見せ所です。</p>	<p>参考</p>	<p>市政運営についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「コロナ対応指針」を打ち出す先進都市 世界的なコロナパンデミックを経験したからこそ、今迄と違う視点がでてきておかしくないにもかかわらず、それは全くなかったかのように旧態依然としているのも大変時代遅れだと感じています。国策キャンペーンの執行に終始するのではなく、率先してコロナ環境に対応する都市基盤の指針コンセプトを生み出して頂きたいです。それが、最大政令指定都市の誇りです。</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>大規模ハコモノ開発からの脱却 土地は金を生む資源で、高さ制限をどんどん緩和し、何でも高層化して効率的利用、という開発が目立ちます。景観、街並みは二の次で、その価値の番人がいなくなっているようです。豊かさはお金ばかりではありません。 成熟した欧州の街並みを少しは見習ってください。低層が並んだ穏やかでリッチな空間は、お金では計れません。公園にビジネスを持ち込み収益を上げる計画もあるようですが、貧困な発想は即刻おやめください。市民の心の豊かさは目に見えぬ市の財産です。 全国共通の少子高齢化を挙げ、将来の財政危機をうたい福祉が人質にされる光景をよく目にします。大規模開発予算を聖域とせず大幅削減し、市民生活へ廻してください。</p>	参考	<p>社会の変化が激しい中、多様化・複雑化する課題に着実に対応していくためには、将来を想定し、そこから見える課題を先取りして、解決に向けた最適な方策を選択していく必要があると認識しております。ご意見も参考に必要な施策の推進と財政の健全性の維持を目指してまいります。</p>
<p>パブリックコメントについて 意見を内面に封入する様式であれば氏名や住所も内面に記入欄を作るべきではないですか？</p>	参考	<p>計画の広報・広聴についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>また「出産費用の支援」も同様ですが、国保のみにある「人头割」は中3までは免除すべきです。（現行制度は少子化対策に逆行）</p>	参考	<p>国民健康保険制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>「今だけ、金だけ、自分だけ」の新自由主義社会を脱し、全ての市民が心豊かに暮らせる市政を！</p>	その他	<p>今後の市政運営へのご意見として伺います。</p>
<p>後期高齢者の医療費は無料にして下さい。</p>	参考	<p>後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>追加で、市の広報等にカタカナ語を多用しないで日本語も併用して下さい。</p>	参考	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>山中市長さまと共に 「子育てしたいまち、次世代を共に育むヨコハマ」とする為に 歳出を減らす（毎日生活して考えること！） ◦ 広報、通信連絡費を減らす※紙質、枚数を1/2カットシンプルに！ ※紙封筒など細かな連絡は2回分まとめる ◦ 障害者、高齢者の支援が多岐にわたりバラマキすぎでは？ ※パスカードは無料にしなくても良い4000～15000で継続 市議会議員、役所の幹部職員の人件費を1000万以下はそのまま。1000万以上は高収入ほど減少幅を高くする。（もらい過ぎだ）議員幹部職員から身を切る改革をすることがポイント ◦ ごみ収集の「毎週1回がれき収集」は月1回歳入の増加の為に（市民に直結すること） ◦ 小中学生まで医療費、給食費無料（上記の歳出削減を実行すれば100億出る） ◦ 小中学校のトイレ洋式化など改修 ◦ 横浜は川、海、山と自然が豊か。 臨海部、上瀬谷地域に小中高の一貫教育校の新設や地方大学の誘致、マンション建設など土地を貸して民間に経営してもらおう。 積立準備金は取り崩さない。細々と貯金するのは市民と共に。</p>	修正	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>後期高齢者の医療費は無料にして下さい。</p>	参考	<p>後期高齢者医療制度についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>市の警備体制について 市会本会議、委員会を傍聴していて、警備が異常な感じがする。人数も多い配置で何を警備しているのか？ちょっとつづやいた程度ですぐとんできて「しゃべらない様に」と注意。何故そんなに警備をきびしくするのか聞くと「市の職員にきつく言われている。後で叱られるんです」との答え。 どういった就業規則なのか、市がきめているのか、会社がきめているのか、いずれにしても市民をうけ入れているとは思えない。目をつぶっていたら「寝てますか」と注意に来る。市民に寄り添う市政を実現するには、この警備員ひとりひとりに市民によりそうとはどういうことかしっかり知らしめてほしい。相当な経費を警備に費やすということは市民本意住民自治の観点からいって改めるべき。</p>	その他	<p>ご意見として伺います。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>日夜、市政のためのご尽力感謝いたします。また、今回、「中期計画」作成にあたってパブリックコメントの実施を計画されたこと、大変好ましく思っている者です。しかし、折角のご提案にも拘わらず、一般市民に「素案」があまねくゆきわたる手当が欠けています。広報「特別号」では、素案の具体的中身が把握できません。立派な冊子でなくとも、選挙公報のような印刷物を配布する配慮があってもしかるべきだと思います。「詳細はインターネットで」では、特にインターネット難民、高齢者は除外されてしまいます。ご一考を。</p>	<p>参考</p>	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>まちの魅力やブランド向上をうたう前に、「中期計画」の中に、市内の基地の全面撤去を求める姿勢を明確に示すとともに跡地利用計画を市民とともに進めて下さい。</p>	<p>その他</p>	<p>本市の基地対策についての取組へのご意見として伺います。</p>
<p>「広報よこはま特別号(2022年9月発行)」によると、市では1～9までの戦略を描いている。何れも費用が掛かる。賄えるのか。横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン(概要版)p.14に長期財政推計が示されている。2022年度予算案では一般財源1兆762億円に対して、義務的経費は8,009億円で、2,753億円余る。これが2065年度推計では一般財源は9,809億円まで減る一方、義務的経費は8,500億円まで増え、余りは1,309億円に減少する。両年度共に、その他に属する支出は3,062億円と同額である。不足額は310億円から1,753億円へと5.6倍も拡大する。“財政ビジョン”と名づけて、解決に向けた施策を列挙しているが、施策実行によってどう長期財政推計が改善するかのシミュレーションは示されていない。数字が作れなかったのであろう。</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見等を踏まえ、XI③「計画期間中の財政見通しと収支不足への対応」の記載に追記・修正を加えました。</p>
<p>最初に中期計画の冊子の提供について これまで「中期計画素案」冊子は行政コーナーで無償配布していたと記憶していますが、現在市民に配布しているのは、広報よこはま9月特別号だけであり、それを見てパブリックコメントを述べなければならないのは、無理というほかありません。詳しい施策は、インターネットで検索しなければならず、とても「市民と共に市政を進める」姿勢とはいえないのではないのでしょうか。従来のように希望者には無償配布することを求めます</p>	<p>参考</p>	<p>パブリックコメントの実施手法についてのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>大学までの学費無料化</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>市長さんは公約通りに政策を進めて下さい。 毎月初めに配布される「よこはま」広報の一面の市長のご挨拶を読んでいます。写真がいつも同じポートレートでつまらない。時に見学している様子、市民と交流している様子等に、現場で仕事している姿の写真にはいかがでしょうか。もっと市民に近づいた実感がわいてきますよ。 応援しています</p>	<p>その他</p>	<p>ご意見として伺います。</p>